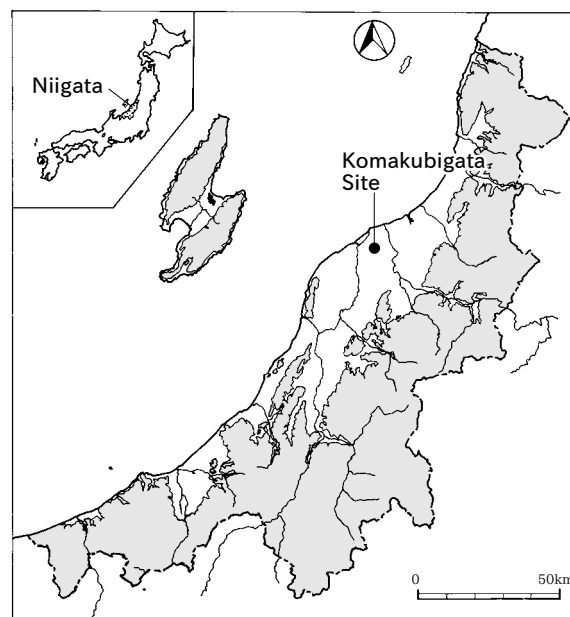


こまくびがた  
駒首潟遺跡 第3・4次調査

— 大型小売店舗建設に伴う駒首潟遺跡第3・4次発掘調査報告書 —



2009

新潟市教育委員会

# 例 言

- 1 本書は、新潟県新潟市江南区亀田早通字駒首潟4224番地ほか（住居表示等により現在は江南区下早通柳田1丁目）に所在する駒首潟遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本調査は、大型小売店舗建設に伴い、施工主の株式会社イオンから新潟市が受託して実施した。発掘調査は、新潟市教育委員会が調査主体となり、新潟市総務局国際文化部歴史文化課埋蔵文化財センター（現新潟市文化スポーツ部歴史文化課埋蔵文化財センター）が補助執行した。
- 3 発掘調査は、平成18年7月18日から12月28日まで（第3次調査）と、平成19年3月1日から3月19日まで（第4次調査）の2回にわたって実施した。
- 4 発掘調査面積は、全面調査（2・3・4区—第3次調査、5区—第4次調査）11,204.8m<sup>2</sup>、トレンチ調査（1T、2T）288.8m<sup>2</sup>で、総面積は11,493.6m<sup>2</sup>である。
- 5 本書の作成過程は、平成19年度に遺構・遺物の整理作業を行い、平成20年度に報告書の刊行を行った。発掘調査と整理作業の体制は第三章に記した。
- 6 出土遺物および発掘調査・整理作業に係わる記録類は、一括して新潟市埋蔵文化財センターが保管・管理している。
- 7 本書の執筆は、渡邊ますみ（新潟市埋蔵文化財センター主査）・河合英夫・迫 和幸・石川真紀・斎藤武士・前川昭彦（株式会社玉川文化財研究所）・相沢 央（新潟市歴史市文化課嘱託）が以下のとおり執筆を分担した。なお、第VI章の自然科学分析については、株式会社古環境研究所に委託し、分析結果を本文に掲載した。  
渡邊ますみ 第I章、第二章、第三章、第四章第1・2節、第五章第1節C、第4・5節、第七章第3節  
河合 英夫 第四章第3節A1)・SB3014・3016・3018、第五章第1節A・B・D・第2・3節、第七章第1節A・C  
迫 和幸 第三章第3節A5)  
石川 真紀 第三章第3節A1) SB3003・3013～3015・2)・3)・4)・7)・8)・9)、第七章第1節B  
斎藤 武士 第三章第3節A1) SB3001・3002・3017・3019～3024  
前川 昭彦 第三章第3節A6)・B  
相沢 央 第七章第2節  
株式会社古環境研究所 第VI章（第2節Cは京都大学大学院人間・環境研究科 菊地大樹）
- 8 本書の編集は、渡邊ますみが行った。
- 9 本書で使用した遺構写真は、各調査員が撮影し、全景など航空写真は株式会社オリスに撮影を委託した。  
但し、写真図版1は国土地理院の提供による。
- 10 本書で使用した遺物写真は、土器類・土製品・石製品は赤間和重（株式会社玉川文化財研究所）、木製品・金属製品は佐藤俊英（ビッグヘッド）が撮影した。木簡は原澤 憲氏（モノクローム新潟）に撮影を依頼した。
- 11 各種図版作成・編集に関しては、株式会社セビアスに委託してデジタル図化並びにデータ編集を実施し、完成データを印刷業者へ入稿して印刷した。
- 12 出土土器の年代・生産地等については春日真実氏（財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団）にご指導・ご教示を賜った。
- 13 調査から本書の作成に至るまで下記の方々・機関よりご指導・ご協力を賜った。  
春日真実・金子拓男・小林昌二・酒井和男・坂井秀弥・澤田 敦・鶴巻康志・藤巻正信・南 憲一・望月精司  
新潟県教育庁文化行政課・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団・株式会社イオン・株式会社福田組・亀田郷土地改良区  
（所属・敬称略）



## 凡 例

- 1 本書は、本文・別表と巻末図版（図面図版・写真図版）からなる。
- 2 本書で示す方位は、すべて座標北である。
- 3 グリッドの南北軸は、座標北に対して1度16分40秒東に偏る。
- 4 掲載図版のうち、既存の地形図等を使用したものは、原図の作成者・作成年を示した。
- 5 本文中における注は、各章の末尾に記し、引用文献は著者と発行年（西暦）を〔 〕中に示し、巻末に一括して掲載した。
- 6 遺構番号は、調査時に現場で付したものをを用いた。番号は遺構の種別毎に付さず、通し番号とした。但し、ピットより抽出した掘立柱建物・柵列については新に番号を付した（SB3001～3024, SA3051）。なお、各建物を構成するピットについては、別表1の主要遺構計測表、別表2の遺物観察表、別表7の主要遺構出土古代土器種構成率等で、旧ピット番号を付した。
- 7 各遺構の名称については、以下の略称を使用した。掘立柱建物 SB、ピット P、柵列 SA、井戸 SD、土坑 SK、溝 SD、不明遺構 SX とし、テラス状遺構と旧河川についてはそのままの用語を用いた。
- 8 各遺構の掲載図面に関して、掘立柱建物・柵列・井戸・土坑・不明遺構については遺構個別実測図（1/50・1/80）として個々の遺構を示したが、ピット・溝・テラス状遺構・旧河川については調査区を25分割した遺構分割図／割図（1/100）の中で示した。
- 9 発掘調査において遺構間の新旧関係が明らかにできた遺構については、割図および遺構個別実測図の中で、その先後関係（旧→新）を矢印（▶）で表記した。
- 10 個々の遺構の説明にあたり、新旧関係が明確な場合には「旧→新」と表記している。
- 11 主要遺構の詳細は、本文と別表1の主要遺構計測表に記載し、ピットは深度表示のみの表記とした。なお、掲載遺物（土器・柱材等）が出土したピットについては、ピット番号を割図等に深度と併せて表記した。
- 12 土層観察の色調は『新版標準土色帳』〔農林水産省農林水産技術会議事務局 1967〕を用い、その記号を本書に掲載した。
- 13 土器実測図の断面は、須恵器を黒塗り、須恵器以外は白抜きとし、黒色土器は濃い網目で表記した。また、土器に付着した煤や炭化物等は不定形の濃い網目で表し、須恵器に付着した自然釉は一点鎖線で表記した。
- 14 土器実測図で、口縁部・底部全周の6/36以下の遺存率の低い資料については、誤差があるため中軸線の両側に空白を設けた。
- 15 遺物の注記は、最初に出土年度「06」、次に駒首潟の略号「KKG」を記し、地区名・グリッド・遺構名・出土年月日等をつけて表記した。
- 16 掲載遺物は通し番号とし、本文・観察表・写真図版の番号は同一番号とした。

# 目 次

## 第I章 序 章

第1節 遺 跡 概 観 .....	1
第2節 発掘調査に至る経緯 .....	1

## 第II章 遺跡の位置と環境

第1節 遺跡の位置と地理的環境 .....	2
第2節 周辺 の 遺 跡 .....	2
第3節 歴 史 的 環 境 .....	6

## 第III章 調 査 の 概 要

第1節 試掘・確認調査 .....	7
第2節 発掘調査・立会い調査 .....	7
A 調 査 方 法 .....	7
B 調 査 経 過 .....	10
C 調 査 体 制 .....	11
第3節 整 理 作 業 .....	12
A 整 理 方 法 .....	12
B 整 理 経 過 .....	12
C 整 理 体 制 .....	12

## 第IV章 遺 跡

第1節 概 要 .....	13
第2節 基 本 層 序 .....	13
第3節 遺 構 .....	14
A 古 代 の 遺 構 .....	14
1) 掘 立 柱 建 物 (SB).....	14
2) ピ ッ ト (P).....	25
3) 柵 列 (SA).....	26
4) 井 戸 (SE).....	26
5) 土 坑 (SK).....	30
6) 溝 (SD).....	46
7) テラス状遺構 (SX).....	53
8) 不 明 遺 構 (SX).....	53
9) 旧 河 川.....	54
B 近世以降の畑作関連と考えられる溝 .....	54
1) 溝 (SD).....	54
2) 不 明 遺 構 (SX).....	54
C 時代不明の遺構 .....	55
1) 溝 (SD).....	55

## 第V章 遺 物

第1節 土器・陶磁器 .....	56
A 土器の分類と記述 .....	56
1) 用語の説明 .....	56
2) 分 類.....	59
B 古墳時代の土器 .....	66
C 古代の土器 .....	66
1) 掘 立 柱 建 物 (SB).....	66
2) ピ ッ ト (P).....	67
3) 井 戸 (SE).....	70
4) 土 坑 (SK).....	71
5) 溝 (SD).....	77
6) 不 明 遺 構 (SX).....	85

7) 旧河川	85	8) 遺構外	87
D 江戸時代の陶磁器			89
第2節 土製品			89
第3節 石製品			90
第4節 木製品			90
第5節 金属製品			93

## 第VI章 自然科学分析

第1節 土壌分析			94
A 土層とテフラ			94
1) 土層の層序	94	2) テフラ検出分析	95
3) 屈折率測定	96	4) 考察	96
5) 小 結	97		
B 放射性炭素年代測定			97
1) 試料と方法	97	2) 測定結果	97
3) 所 見	98		
C 植物珪酸体分析			98
1) 試 料	98	2) 分 析 法	98
3) 分 析 結 果	99	4) 考 察	101
5) ま と め	101		
D 花粉分析			101
1) 試 料	101	2) 方 法	101
3) 結 果	102	4) 花粉分析から推定される植生と環境	104
E 珪藻分析			104
1) 試 料	104	2) 方 法	105
3) 結 果	105	4) 珪藻分析から推定される堆積環境	105
F リン・カルシウム含量分析			107
1) 試 料	107	2) 分 析 方 法	107
3) 分 析 結 果	107	4) 考 察	107
第2節 動植物同定			108
A 樹種同定			108
1) 試 料	108	2) 方 法	108
3) 結 果	108	4) 所 見	108
B 種実同定			111
1) 試 料	111	2) 方 法	111
3) 結 果	111	4) 種実同定から推定される植生と環境	111
C 動物遺存体			113
1) 試 料	113	2) 方 法	113
3) 結果および考察	113		

## 第VII章 総 括

第1節 駒首潟遺跡の集落構成			114
A 掘立柱建物の種類とその構造			114
1) 建物の形式区分	114	2) 建物の平面形式	114
3) 建物の平面規模と平面積	116	4) 建物の柱間寸法	118
B 集落の変遷			118
1) 時代区分の前提条件	119		
C 集落の構成			121

第2節 文字資料	123
A 墨書	123
1) 出土地点および遺構	123
2) 器種と墨書部位	123
3) 文字種と出土地点	123
4) 主な文字の検討	123
5) まとめ	126
B 木簡	127
第3節 駒首潟遺跡の位置づけ	130
A 出土土器の様相について	130
1) 時期・生産地の特徴	130
2) 種別・器種構成	132
B 祭祀・信仰	133
1) 祭祀	133
2) 仏教信仰	134
3) 駒首潟遺跡における信仰	135
C 性格と位置づけ	135
引用・参考文献一覧	138
報告書抄録・奥付	巻末

## 挿図目次

第1図 駒首潟遺跡周辺地形分類図 (1/150,000)	3	第16図 駒首潟遺跡の花粉・寄生虫卵	102
第2図 駒首潟遺跡周辺の遺跡分布図 (1/100,000)	4	第17図 駒首潟遺跡における花粉ダイアグラム	103
第3図 駒首潟遺跡試掘・確認調査位置図 (1/5,000)	8	第18図 駒首潟遺跡における主要珪藻ダイアグラム	106
第4図 調査区設定図 (1/2,000)	9	第19図 駒首潟遺跡の珪藻顕微鏡写真	106
第5図 発掘調査位置図	10	第20図 駒首潟遺跡SK941におけるリン・カルシウム含量	107
第6図 SID工法の痕跡がみられる調査区	10	第21図 駒首潟遺跡の木材及び炭化材1	108
第7図 小グリッド別須恵器出土重量分布図 (S=1/800)	57	第22図 駒首潟遺跡の木材及び炭化材2	109
第8図 小グリッド別土師器出土重量分布図 (S=1/800)	58	第23図 駒首潟遺跡の種実1	111
第9図 駒首潟遺跡古代土器分類図1 (S=1/6)	60	第24図 駒首潟遺跡の種実2	112
第10図 駒首潟遺跡古代土器分類図2 (S=1/6、須恵器1/12)	61	第25図 遺構全体模式図	115
第11図 駒首潟遺跡古代土器分類図3 (S=1/6)	62	第26図 掘立柱建物の分類 (1/300)	117
第12図 駒首潟遺跡古代土器分類図4 (S=1/6)	63	第27図 建物変遷図	120
第13図 駒首潟遺跡の土層柱状図	95	第28図 主な墨書土器の出土位置	125
第14図 駒首潟遺跡の植物珪酸体 (プラント・オパール)	99	第29図 観音寺遺跡出土木簡	129
第15図 駒首潟遺跡における植物珪酸体分析結果	100	第30図 駒首潟遺跡時期別・生産地別土器組成図	130
		第31図 駒首潟遺跡主要遺構別土器組成図1	131
		第32図 駒首潟遺跡主要遺構別土器組成図2	132
		第33図 周辺の遺跡	136

## 表目次

第1表 駒首潟遺跡周辺の遺跡	5	第6表 駒首潟遺跡における種実同定	110
第2表 古代土器編年対照表	13	第7表 駒首潟遺跡出土の動物遺存体	113
第3表 駒首潟遺跡出土遺物	89	第8表 駒首潟遺跡出土墨書土器	124
第4表 テフラ検出分析結果	95	第9表 周辺遺跡の様相	137
第5表 駒首潟遺跡における樹種同定	110		

## 別表目次

別表1-1 主要遺構計測表	142	別表5 石製品観察表	169
別表1-2 掘立柱建物跡計測表	153	別表6 木製品計測表	170
別表2 遺物観察表	154	別表7 木簡観察表	171
別表3 土製品観察表	167	別表8 金属製品観察表	171
別表4 土錘未掲載品計測表	168	別表9 主要遺構出土古代土器器種構成率	172

## 図版目次

図版 1 周辺の旧地形図 (1/25,000)	図版39 遺構全体図／割図18-2
図版 2 周辺の旧地形図 (1/50,000)	図版40 遺構全体図／割図19-1
図版 3 駒首渦遺跡 遺跡位置図 (1/25,000)	図版41 遺構全体図／割図19-2
図版 4 グリッド設定図 (1/2,500)	図版42 遺構全体図／割図20
図版 5 遺構全体図 (1/500)	図版43 遺構全体図／割図21-1
図版 6 遺構分割図 (1/800)	図版44 遺構全体図／割図21-2
図版 7 遺跡地形図 (1/800)	図版45 遺構全体図／割図22
図版 8 基本層序 (1)	図版46 遺構全体図／割図23
図版 9 基本層序 (2)	図版47 遺構全体図／割図24
図版10 遺構部分図1 (1/300)	図版48 遺構全体図／割図25
図版11 遺構部分図2 (1/300)	図版49 遺構個別実測図1 掘立柱建物跡 (1)
図版12 遺構部分図3 (1/300)	図版50 遺構個別実測図2 掘立柱建物跡 (2)
図版13 遺構全体図／割図1-1	図版51 遺構個別実測図3 掘立柱建物跡 (3)
図版14 遺構全体図／割図1-2	図版52 遺構個別実測図4 掘立柱建物跡 (4)
図版15 遺構全体図／割図2-1	図版53 遺構個別実測図5 掘立柱建物跡 (5)
図版16 遺構全体図／割図2-2	図版54 遺構個別実測図6 掘立柱建物跡 (6)
図版17 遺構全体図／割図3	図版55 遺構個別実測図7 掘立柱建物跡 (7)
図版18 遺構全体図／割図4-1	図版56 遺構個別実測図8 掘立柱建物跡 (8)
図版19 遺構全体図／割図4-2, 5-1	図版57 遺構個別実測図9 掘立柱建物跡 (9)
図版20 遺構全体図／割図5-2	図版58 遺構個別実測図10 掘立柱建物跡 (10)
図版21 遺構全体図／割図6	図版59 遺構個別実測図11 掘立柱建物跡 (11)
図版22 遺構全体図／割図7	図版60 遺構個別実測図12 掘立柱建物跡 (12)
図版23 遺構全体図／割図8-1	図版61 遺構個別実測図13 掘立柱建物跡 (13)
図版24 遺構全体図／割図8-2	図版62 遺構個別実測図14 掘立柱建物跡 (14)
図版25 遺構全体図／割図9	図版63 遺構個別実測図15 掘立柱建物跡 (15)
図版26 遺構全体図／割図10	図版64 遺構個別実測図16 掘立柱建物跡 (16)
図版27 遺構全体図／割図11-1	図版65 遺構個別実測図17 掘立柱建物跡 (17)
図版28 遺構全体図／割図11-2	図版66 遺構個別実測図18 掘立柱建物跡 (18)
図版29 遺構全体図／割図12	図版67 遺構個別実測図19 井戸 (1)
図版30 遺構全体図／割図13-1	図版68 遺構個別実測図20 井戸 (2)
図版31 遺構全体図／割図13-2, 14-1	図版69 遺構個別実測図21 井戸 (3)
図版32 遺構全体図／割図14-2	図版70 遺構個別実測図22 井戸 (4)
図版33 遺構全体図／割図15-1	図版71 遺構個別実測図23 土坑 (1)
図版34 遺構全体図／割図15-2	図版72 遺構個別実測図24 土坑 (2)
図版35 遺構全体図／割図16	図版73 遺構個別実測図25 土坑 (3)
図版36 遺構全体図／割図17-1	図版74 遺構個別実測図26 土坑 (4)
図版37 遺構全体図／割図17-2	図版75 遺構個別実測図27 土坑 (5)
図版38 遺構全体図／割図18-1	図版76 遺構個別実測図28 土坑 (6)

図版77	遺構個別実測図29	土坑 (7)	図版117	出土遺物実測図29	土器29 (1/3、1/6)
図版78	遺構個別実測図30	土坑 (8)	図版118	出土遺物実測図30	土器30 (1/3)
図版79	遺構個別実測図31	土坑 (9)	図版119	出土遺物実測図31	土器31 (1/3)
図版80	遺構個別実測図32	土坑 (10)	図版120	出土遺物実測図32	土器32 (1/3)
図版81	遺構個別実測図33	土坑 (11)	図版121	出土遺物実測図33	土器33 (1/3)
図版82	遺構個別実測図34	土坑 (12)	図版122	出土遺物実測図34	土器34 (1/3、1/6)
図版83	遺構個別実測図35	土坑 (13)	図版123	出土遺物実測図35	土器35 (1/3)
図版84	遺構個別実測図36	土坑 (14)	図版124	出土遺物実測図36	土器36 (1/3)
図版85	遺構個別実測図37	土坑 (15)	図版125	出土遺物実測図37	土器37 (1/3)
図版86	遺構個別実測図38	土坑 (16)	図版126	出土遺物実測図38	土器38 (1/3)
図版87	遺構個別実測図39	土坑 (17), 不明遺構 (1)	図版127	出土遺物実測図39	土器39 (1/3)
図版88	遺構個別実測図40	不明遺構 (2)	図版128	出土遺物実測図40	土器40 (1/3)
図版89	出土遺物実測図1	土器1 (1/3)	図版129	出土遺物実測図41	土器41 (1/3)
図版90	出土遺物実測図2	土器2 (1/3、1/6)	図版130	出土遺物実測図42	土器42 (1/3)
図版91	出土遺物実測図3	土器3 (1/3)	図版131	出土遺物実測図43	土器43 (1/3)
図版92	出土遺物実測図4	土器4 (1/3、1/6)	図版132	出土遺物実測図44	土器44 (1/3、1/6)
図版93	出土遺物実測図5	土器5 (1/3、1/6)	図版133	出土遺物実測図45	土器45 (1/3)
図版94	出土遺物実測図6	土器6 (1/3、1/6)	図版134	出土遺物実測図46	陶磁器 土製品1 (1/2、1/3、1/4)
図版95	出土遺物実測図7	土器7 (1/3、1/6)	図版135	出土遺物実測図47	土製品2 (1/2)
図版96	出土遺物実測図8	土器8 (1/3、1/6)	図版136	出土遺物実測図48	石製品1 (1/3)
図版97	出土遺物実測図9	土器9 (1/3、1/6)	図版137	出土遺物実測図49	石製品2 (1/3)
図版98	出土遺物実測図10	土器10 (1/3、1/6)	図版138	出土遺物実測図50	石製品3 (1/3)
図版99	出土遺物実測図11	土器11 (1/3)	図版139	出土遺物実測図51	石製品4 (1/3)
図版100	出土遺物実測図12	土器12 (1/3)	図版140	出土遺物実測図52	石製品5 (1/3)
図版101	出土遺物実測図13	土器13 (1/3、1/6)	図版141	出土遺物実測図53	木製品1 (1/6)
図版102	出土遺物実測図14	土器14 (1/3)	図版142	出土遺物実測図54	木製品2 (1/3)
図版103	出土遺物実測図15	土器15 (1/3)	図版143	出土遺物実測図55	木製品3 (1/3)
図版104	出土遺物実測図16	土器16 (1/3、1/6)	図版144	出土遺物実測図56	木製品4 (1/3、1/6)
図版105	出土遺物実測図17	土器17 (1/3、1/6)	図版145	出土遺物実測図57	木製品5 (1/3、1/4)
図版106	出土遺物実測図18	土器18 (1/3)	図版146	出土遺物実測図58	木製品6 (1/3)
図版107	出土遺物実測図19	土器19 (1/3)	図版147	出土遺物実測図59	木製品7 (1/3)
図版108	出土遺物実測図20	土器20 (1/3、1/6)	図版148	出土遺物実測図60	木製品8 (1/3)
図版109	出土遺物実測図21	土器21 (1/3、1/6)	図版149	出土遺物実測図61	木製品9 鉄製品 (1/3)
図版110	出土遺物実測図22	土器22 (1/3)	図版150	出土遺物実測図62	木簡 (1/3、1/4)
図版111	出土遺物実測図23	土器23 (1/3、1/6)	図版151	墨書・刻書土器集成1	(1/3)
図版112	出土遺物実測図24	土器24 (1/3)	図版152	墨書・刻書土器集成2	(1/3)
図版113	出土遺物実測図25	土器25 (1/3、1/6)	図版153	墨書・刻書土器集成3	(1/3)
図版114	出土遺物実測図26	土器26 (1/3)	図版154	墨書・刻書土器集成4	(1/3)
図版115	出土遺物実測図27	土器27 (1/3、1/6)	図版155	墨書・刻書土器集成5	(1/3)
図版116	出土遺物実測図28	土器28 (1/3、1/6)			

## 写真図版目次

写真図版1	駒首渦遺跡周辺空中写真	駒首渦遺跡全景空中写真5 (東から)
写真図版2	駒首渦遺跡全景空中写真1 (鳥屋野渦・日本海を望む)	写真図版5 SB3014, SA3051, SD421・2244周辺 (東北東から)
	駒首渦遺跡全景空中写真2 (南西から)	SB3016, SD2101周辺 (北西から)
写真図版3	駒首渦遺跡全景空中写真3 (全調査区合成 上が北北西)	写真図版6 北東調査区全景空中写真 (北北東から)
写真図版4	駒首渦遺跡全景空中写真4 (北西から)	北西調査区SB3001・3002, テラス状遺構周辺 (南南東から)



写真図版7	中央調査区SD82（手前）・SD606（奥）周辺 （南南東から） 中央調査区SD606（手前）・SD82（奥）周辺 （北北西から）	（西から） SE2563曲物検出状況 SK3土層断面
写真図版8	南東調査区近景空中写真（南東から） 南東隅調査区全景空中写真（東北東から）	写真図版19 SK6土層断面 SK6完掘（西から） SK10土層断面 SK10完掘（東から） SK11土層断面 SK18完掘（北から） SK20土層断面 SK21土層断面
写真図版9	SD102～114周辺（南南東から） テラス状遺構周辺（南から）	写真図版20 SK21完掘（南から） SK22遺物出土状況 SK22完掘（南から） SK28土層断面 SK28完掘（南から） SK35土層断面 SK74土層断面 SK75土層断面・遺物出土状況
写真図版10	調査前近景（西から） 調査前近景（南側） 1T設置状況（北東から） 基本層序（a-a'） 2T設置状況（北東から） 基本層序（b-b'） 基本層序（f-f'西側） 基本層序（f-f'東側）	写真図版21 SK75遺物出土状況 SK75完掘（南から） SK76土層断面・遺物出土状況 SK85土層断面 SK85完掘（南から） SK86土層断面 SK87土層断面 SK141土層断面
写真図版11	旧河川（g-g'・h・i） 基本層序（j・k・l・m・n） 旧河川（o-o'） 基本層序（w-w'・x） 旧河川（s-s'） 基本層序（p・q-q'・r） 基本層序（c・d・e-e'） 基本層序（t・u・v）	写真図版22 SK141完掘（北東から） SK142土層断面 SK142遺物出土状況 SK142・1059・1291 完掘（北東から） SK143土層断面 SK143土層断面（下部） SK148土層断面 SK148・1256完掘（東から）
写真図版12	SB3001完掘（南東から） SB3003～3006完掘（南南東から） SB3005・3006完掘（西南西から） SB3007周辺完掘（北西から） SB3007・3009・3010周辺完掘（北西から） SB3009周辺完掘（北西から） SB3010完掘（南西から） SB3011完掘（北西から）	写真図版23 SK156土層断面・遺物出土状況 SK156完掘（南西から） SK219土層断面 SK219完掘（南西から） SK229土層断面 SK229完掘（西から） SK243・244土層断面 SK245土層断面
写真図版13	SB3012・3013完掘（北西から） SB3014完掘（東北東から） SB3017周辺完掘（南東から） SB3018～3022・3024周辺完掘（南西から） SE2土層断面 SE2遺物出土状況 SE2完掘（南から） SE4土層断面	写真図版24 SK245・246完掘（北東から） SK248土層断面 SK243・244および周辺遺構（南西から） SK250土層断面 SK256土層断面 SK256完掘（南から） SK257土層断面・遺物出土状況 SK257完掘（北西から）
写真図版14	SE4完掘（東から） SE9土層断面 SE9完掘（東から） SE77土層断面 SE77完掘（北東から） SE347土層断面 SE347完掘（南東から） SE510土層断面	写真図版25 SK260土層断面 SK260完掘（西から） SK264土層断面 SK264完掘（北から） SK270土層断面 SK290土層断面 SK301南北土層断面 SK301東西土層断面
写真図版15	SE510完掘（南から） SE521土層断面 SE521完掘（北東から） SE602土層断面 SE602土層断面 SE603および周辺遺構（北東 から） SE708土層断面 SE708完掘（南から）	写真図版26 SK301完掘（南から） SK304土層断面 SK393土層断面 SK393完掘（北西から） SK424土層断面 SK428土層断面 SK447土層断面 SK605土層断面
写真図版16	SE708遺物出土状況 SE708遺物出土状況（図版142-19） SE811完掘（北東から） SE984土層断面 SE983・2053土層断面 SE985土層断面 SE985完掘（西から） SE989土層断面	写真図版27 SK605および周辺遺構（南から） SK609土層断面 SK609完掘（南から） SK612土層断面 SK612完掘（北から） SK625土層断面 SK625完掘（東から） SK638土層断面
写真図版17	SE989完掘（北から） SE1220土層断面 SE1220完掘（東から） SE1348土層断面 SE1348完掘（南東から） SE1759土層断面 SE1759完掘（東から） SE2118土層断面	写真図版28 SK650完掘（東から） SK661土層断面 SK685土層断面 SK687土層断面 SK687完掘（北から） SK685・688完掘（北東から）
写真図版18	SE2357遺物出土状況 SE2357炭化物検出状況 SE2357完掘（南から） SE2563土層断面（上層） SE2563土層断面（下層） SE2563施設検出状況	SK707土層断面 SK707完掘（東から） 写真図版29 SK724土層断面 SK736土層断面 SK741土層断面 SK741完掘（北から）

	SK749土層断面 SK749完掘（北東から）	SK2140土層断面 SK2140完掘（北から）
	SK790完掘（南東から） SK821土層断面	SK2159土層断面 SK2139・2172完掘（南から）
写真図版30	SK821完掘（北から） SK941北側土層断面	SK2200土層断面 SK2200完掘（北から）
	SK941南側土層断面 SK941完掘（北西から）	写真図版41 SK2217土層断面 SK2225土層断面
	SK942全体土層断面 SK942南側土層断面	SK2260土層断面 SK2289土層断面
	SK942北側土層断面 SK942完掘（北西から）	SK2303土層断面 SK2303完掘（北西から）
写真図版31	SK963土層断面 SK979土層断面	SK2336土層断面 SK2430・2440土層断面
	SK981土層断面 SK981完掘（東から）	写真図版42 SK2430・2440完掘（東から）
	SK990土層断面 SK1008土層断面	SK2455土層断面 SK2455完掘（南から）
	SK1044土層断面 SK1044完掘（東から）	SK2460土層断面 SK2460完掘（北東から）
写真図版32	SK1052土層断面 SK1057土層断面	SK2465完掘（北西から） SK2500土層断面
	SK1059土層断面 SK1073土層断面	SK2500完掘（北から）
	SK1052・1073完掘（南東から）	写真図版43 SK2508土層断面 SK2508・2526完掘（北から）
	SK1093土層断面	SK2635土層断面 SK2637土層断面
	SK1093および周辺遺構（南東から）	SK2771土層断面 SK2801土層断面
	SK1105土層断面	SK2801および周辺遺構（南東から）
写真図版33	SK1105完掘（南東から） SK1126土層断面	SK2807土層断面
	SK1201土層断面	写真図版44 SK2841土層断面 SK2906土層断面
	SK1201および周辺遺構（南から）	SK2906完掘（南から） SK2907土層断面
	SK1203完掘（南から） SK1210土層断面	SK2907完掘（南から） SD15土層断面
	SK1212・1213土層断面	SD15完掘（南から）
	SK1212・1213完掘（南から）	写真図版45 SD34土層断面 SD82土層断面
写真図版34	SK1217土層断面 SK1217完掘（南から）	SD82遺物出土状況 SD200土層断面
	SK1254土層断面 SK1256土層断面	SD200完掘（南西から）
	SK1260土層断面 SK1210・1260完掘（南から）	SD297土層断面・遺物出土状況
	SK1266土層断面 SK1266および周辺遺構（南から）	SD606土層断面1(東側) SD606土層断面2(西側)
写真図版35	SK1271土層断面 SK1272土層断面	写真図版46 SD607土層断面 SD607遺物出土状況
	SK1272完掘（東から） SK1277土層断面	SD697土層断面 SD1060土層断面
	SK1280完掘（西から）	SD1216・1218土層断面 SD1344土層断面
	SK1079・1282および周辺遺構（南東から）	SD1700土層断面 SD1700遺物出土状況
	SK1287土層断面 SK1287完掘（南から）	写真図版47 SD1805完掘（北東から）
写真図版36	SK1408土層断面 SK1408完掘（北から）	SD1806完掘（北東から） SD1913土層断面
	SK1744土層断面 SK1744および周辺遺構（南から）	SD2056土層断面 SD2101土層断面
	SK1754土層断面 SK1754完掘（南から）	SD2107土層断面 SD2426土層断面
	SK1774土層断面 SK1774完掘（南から）	SD2475土層断面
写真図版37	SK1819完掘（北西から） SK1820土層断面	写真図版48 SD2844土層断面 SD2930遺物出土状況
	SK1820完掘（西から） SK1957土層断面	SX118土層断面 SX119土層断面
	SK1957完掘（北西から） SK1958土層断面	SX121土層断面 SX307土層断面
	SK1958完掘（南西から） SK1965土層断面	SX1330土層断面 SX2029土層断面
写真図版38	SK1965完掘（西から） SK1966土層断面	写真図版49 SX2029完掘（北東から）
	SK1978土層断面 SK1978・P1979完掘（西から）	SX2030完掘（北東から） SX2294土層断面
	SK1982土層断面 SK1982完掘（西から）	SX4004土層断面 SX4004完掘（北西から）
	SK2031土層断面 SK2031完掘（北西から）	テラス状遺構完掘（南から）
写真図版39	SK2050完掘（北東から） SK2060土層断面	2b区東側近世以降遺構完掘1（南から）
	SK2076土層断面 SK2090土層断面	2b区西側近世以降遺構完掘2（南から）
	SK2123土層断面 SK2123完掘（南から）	写真図版50 出土遺物 土器1 SB3001・3002・3003・
	SK2125土層断面 SK2134土層断面	3005・3006・3009・3013・3016・
写真図版40	SK2134完掘（東から） SK2139土層断面	3017・3018・3020・3022, P19 (1)
		写真図版51 出土遺物 土器2 P17・19 (2)・25・72・
		180・194・255・288・300・319・326・



- 343 · 387 · 621 · 630 · 712 · 1056 · 1158 · 1263
- 写真図版52 出土遺物 土器3 P1297 · 1300 · 1316 · 1516 · 1597 · 1959 · 2028 · 2673 · 2762 · 2778, SE2 · 77 (1)
- 写真図版53 出土遺物 土器4 SE77 (2) · 347 · 510 · 521 · 602 · 708 · 811
- 写真図版54 出土遺物 土器5 SE983 · 1220 · 1759 · 2118 · 2357 · 2563, SK18 · 22 (1)
- 写真図版55 出土遺物 土器6 SK22 (2) · 24 · 28 · 74 · 75 · 76 (1)
- 写真図版56 出土遺物 土器7 SK76 (2) · 142 · 143 · 156 · 257 · 260 · 393 · 707 · 741 (1)
- 写真図版57 出土遺物 土器8 SK741 (2) · 749 · 941 · 942 · 979 · 981 (1)
- 写真図版58 出土遺物 土器9 SK981 (2) · 990 · 1008 · 1093 · 1212 · 1254 · 1266 · 1515 · 1966 · 2139 · 2200 · 2217 · 2289
- 写真図版59 出土遺物 土器10 SK2500 · 2508, SD15 · 34 · 82 (1)
- 写真図版60 出土遺物 土器11 SD82 (2)
- 写真図版61 出土遺物 土器12 SD82 (3) · 102 · 149 · 150
- 写真図版62 出土遺物 土器13 SD155 · 172 · 190 · 200 · 281 · 297 · 403 · 421 (1)
- 写真図版63 出土遺物 土器14 SD421 (2) · 422 · 455 · 458 · 482 · 601 · 606 (1)
- 写真図版64 出土遺物 土器15 SD606 (2) · 607 · 663 · 695 · 697 (1)
- 写真図版65 出土遺物 土器16 SD697 (2) · 871 · 938 · 939 · 1043 · 1060 · 1091 · 1127 · 1216 · 1218 · 1302 · 1341 · 1344
- 写真図版66 出土遺物 土器17 SD1347 · 1350 · 1517 · 1700 · 1764 · 1802 · 1904 · 1911 · 1913 · 1920 · 2056 · 2061
- 写真図版67 出土遺物 土器18 SD2101 · 2103 · 2290 · 2407 · 2461 · 2475 · 2502 · 2844 · 2930
- 写真図版68 出土遺物 土器19 旧河川 (1)
- 写真図版69 出土遺物 土器20 旧河川 (2)
- 写真図版70 出土遺物 土器21 旧河川 (3)
- 写真図版71 出土遺物 土器22 旧河川 (4)
- 写真図版72 出土遺物 土器23 旧河川 (5)
- 写真図版73 出土遺物 土器24 旧河川 (6)
- 写真図版74 出土遺物 土器25 旧河川 (7)
- 写真図版75 出土遺物 土器26 旧河川 (8), SX118
- 写真図版76 出土遺物 土器27 遺構外 (1)
- 写真図版77 出土遺物 土器28 遺構外 (2)
- 写真図版78 出土遺物 土器29 陶磁器 遺構外 (3)
- 写真図版79 出土遺物 土製品 SB, Pit, SE, SK, SD, 旧河川, 遺構外
- 写真図版80 出土遺物 石製品1 SE602 · 983, SD12 · 167 · 606 · 1268 · 1911 · 2413, 旧河川, 遺構外 (1)
- 写真図版81 出土遺物 石製品2 遺構外 (2)
- 写真図版82 出土遺物 木製品1 P288 · 437 · 483 · 633 · 920 · 933 · 936 · 988 · 1153 · 1514 · 1707 · 2693
- 写真図版83 出土遺物 木製品2 SE2 · 510 · 602 · 708 · 983 · 1348 · 2357, SK981 · 1280 · 1966
- 写真図版84 出土遺物 木製品3 SE2563, SK2140 · 2500, SD12 · 2061
- 写真図版85 出土遺物 木製品4 旧河川 (1)
- 写真図版86 出土遺物 木製品5 旧河川 (2)
- 写真図版87 出土遺物 木製品6 鉄製品 (X線写真) 旧河川 (3)
- 写真図版88 出土遺物 木製品7 旧河川 (4)
- 写真図版89 出土遺物 木製品8 旧河川 (5)
- 写真図版90 出土遺物 木製品9 旧河川 (6), 遺構外
- 写真図版91 出土遺物 木製品10 鉄製品 (X線写真) 木簡 SE2, SD421, 旧河川
- 写真図版92 出土遺物 墨書土器1 SB3001, P255 · 288 · 2673 · 2778, SE510 · 1759, SK981 · 2139 · 2217 · 2289 · 2500, SD82 · 150 · 200 · 458 · 606 · 697 · 1216
- 写真図版93 出土遺物 墨書土器2 SD1216 · 1913 · 2061 · 2101, 旧河川 (1)
- 写真図版94 出土遺物 墨書土器3 旧河川 (2), 遺構外

# 第 I 章 序 章

## 第 1 節 遺 跡 概 観

駒首潟遺跡は、新潟市江南区こうなんく亀田早通かめだ はやどおりあぎこまぐびがた字駒首潟 4224 番地ほか（住居表示等により現在は、江南区下早通こうなんく しもはやどおりやなぎだ柳田 1 丁目）に所在する。かつては、水田が広がる地域であったが、現在は、バイパスや高速道路の建設、企業・店舗の進出により、工業団地・商業地となって市街化が進んでいる。

蒲原の低湿地帯「亀田郷」のほぼ中央にあたるこの地は、周辺に周知の遺跡がごく僅かしか存在しておらず、駒首潟遺跡は平成 18 年 1・2 月に実施された試掘調査で発見された。遺跡は昭和 50 年代まで存在した潟（旧河川）に沿って細長く広がっており、推定面積は、約 20,000m<sup>2</sup> とされる。日本海と新津丘陵との真ん中に位置し、内水面の利点を活かせる場所として選定されたことが、容易に想像できる遺跡である。

## 第 2 節 発掘調査に至る経緯

平成 17 年 8 月末、イオン株式会社（以下、事業者という）から新潟市歴史文化課（以下、歴史文化課という）へ大型商業施設の出店計画が伝えられ、遺跡の有無について照会があった。市歴史文化課では、未周知の遺跡が存在する可能性があるため事前の試掘調査が必要との判断を示し、事業者から、新潟市教育長（以下、市教育長という）あてに平成 17 年 10 月 18 日付で試掘調査の依頼書が提出された。

試掘調査（第 1 次調査）は、事業者側の事情により着手が遅れたが、平成 18 年 1 月 26 日～2 月 3 日に一部を残して実施された。調査の結果、開発予定地西側のエリアにおいて複数の試掘坑から平安時代の遺構・遺物が検出されたため、平成 18 年 2 月 17 日付けで、新潟県教育長（以下、県教育長という）あてに終了報告（新歴第 867 号の 3）と新遺跡発見届（新歴第 867 号の 6）を提出した。発見された遺跡は、小字名から「駒首潟遺跡」こまぐびがた（新潟市遺跡番号 723）と名付けられ、周知化された。

これを受けて、歴史文化課と事業者との間で、本発掘調査実施を前提とした協議が重ねられた。事業者からは、次年度のオープンを実現したいということで、平成 18 年 4 月 19 日付けで本発掘調査依頼書が提出されたが、開発対象地は、都市計画法第 29 条の本申請と農地転用の申請がまだ終了していない状況であり、また、新潟市も大規模な発掘調査をその年度（平成 18 年度）に組み込む体制ができていないことから、早期着手は無理かと思われた。その後、両者で対策を検討する中で、新潟市としては初めて発掘調査支援業務に民間調査組織を導入することにし、また事業者も工事工程の変更や発掘調査費の確保などを行った。そして、本発掘調査実施の目的が立った平成 18 年 6 月 16 日、事業者から県教育長あてに文化財保護法第 93 条の届出が提出された。

平成 18 年 6 月 30 日に事業者と新潟市で 3 ヶ年にわたる発掘調査事業の協定書を取り交わし、開発事業地における遺跡の取り扱い、年度別の発掘調査事業計画・資金計画について定めた。平成 18 年度分の発掘調査業務の契約も同日に行われ、平成 18 年 7 月 7 日付け新歴第 114 号 12 で市教育長による文化財保護法第 99 条の規定に基づく発掘調査の報告を提出し、本発掘調査に着手した。

当初の協定書では、発掘調査を平成 18・19 年度に実施し、平成 20 年度報告書刊行をもって事業終了ということであったが、平成 18 年 9 月に事業者より調査区拡張の依頼があり、民間調査員の増員と経費増額によって年内に発掘調査を必要とする範囲をすべて終了することになった。また、平成 19 年 3 月には工事変更による追加調査が行われ、すべての発掘調査を平成 18 年度において終了した。

## 第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

### 第1節 遺跡の位置と地理的環境

新潟市が所在する越後平野は、信濃川と阿賀野川が運ぶ土砂がもたらした日本有数の沖積平野である。東を朝日・飯豊連峰、南を新津丘陵、西を角田・弥彦山地に囲まれ、2,000km<sup>2</sup>ほどの面積を持つ。そこには、海岸側を中心に砂丘列が存在し、砂丘列と砂丘列の間には低湿地帯が広がっている。

砂丘列は、大きな弧を描きながら海岸に平行しており、10列以上確認されている。更新世に形成された「古砂丘」は確認されておらず、完新世に形成された「新砂丘」が3つのまとまりを見せている。それらは、内陸側から、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲと名付けられ、それぞれの群において確認された砂丘列は枝番を付して「新砂丘Ⅰ-1」「新砂丘Ⅰ-2」等と呼ばれている〔新潟古砂丘グループ1974〕。信濃川から赤塚の間には砂丘列が知られていないが、地盤の沈降により埋没している可能性がある。

越後平野の広大な低湿地帯は、砂丘間低地あるいは後背湿地と呼ばれる軟弱な土地である。自然排水が困難で、治水事業が進むまでは潟や葦沼が散在していた。そして、川や潟が増水・氾濫のたびにつくられる自然堤防が、ところどころに細長い微高地となって存在しており、砂丘とともに人間の生活の場ともなっていた。

駒首潟遺跡は、三方を信濃川、阿賀野川、小阿賀野川に囲まれた「亀田郷」に位置する。海岸から約9km内陸の新砂丘Ⅰと新砂丘Ⅱに挟まれた広い砂丘間低地の真ん中にあり、周辺は標高0m地帯の低湿な土地である。南西には潟端の自然堤防と思われる微高地に現在の亀田早通や長潟といった集落が形成され、また南東には河川際の自然堤防然堤防が発達した微高地に集落が形成され、その周囲の低地には水田が広がっている。この駒首潟もまた、河川がもたらした自然堤防に存在することが調査によって判明したが、その河川は遺跡が出現した当時、この自然堤防を作り出した河川とは異なる流路をとっていたこともわかっており、自然がもたらす地形の変化が頻繁に起こっていたことが想像できる。この河川は昭和50年代まで潟として残っていたが、その後埋め立てられ、土手のような景観でその名残を留めていた。

### 第2節 周辺の遺跡

駒首潟遺跡がほぼ中央に位置する越後平野は、氷河期が終わった約12,000年前以降に形成された平野であり、旧石器時代、縄文時代草創期・早期の遺跡は存在しない。この地域で確認される初期の遺跡は、縄文時代前期の笹山前遺跡〔廣野1997〕があるが、亀田砂丘（新砂丘Ⅰ）に属する小砂丘上にあり、それ以降の縄文時代・弥生時代の遺跡も砂丘上に立地している。沈降の激しい地域でもあること〔卜部・高濱2004〕から確定的なことは言えないが、人が住めるような自然堤防はほとんどなかったであろう。しかし、古墳時代になると、自然堤防上にも人の活動が認められる。上郷遺跡（前期）や下西遺跡（後期）の土器は以前から知られているが、本遺跡でも今回の調査でごくわずかではあるが中・後期の土器が出土している（第Ⅴ章）。また、最近の本調査で後期の竪穴建物が検出された中田遺跡は、やはり自然堤防上にある遺跡で、このころから人々がこの環境に目をつけるような自然堤防が現われてきたことが想像できる。

奈良・平安時代になると低地への進出が著しくなり、遺跡数も格段に増えている。駒首潟遺跡の周辺では、いずれも平安時代が主体となるが、小丸山遺跡〔小池・本間1995〕・中の山遺跡〔川上1982〕・荒木前遺跡〔渡邊1991・川上1996〕といった砂丘上の遺跡や上郷遺跡〔上野・春日1997〕・牛道遺跡〔土橋1999〕・川根谷内



第1図 駒首潟遺跡周辺地形分類図





第2図 駒首瀧遺跡周辺の遺跡分布図 (国土地理院 新潟・新津 2005年 1/50,000 → 1/100,000)

第1表 駒首湯遺跡周辺の遺跡

No.	名称	時代	No.	名称	時代	No.	名称	時代	No.	名称	時代
1	駒首湯	平	52	中山	縄・古・奈・平	103	日水南	縄・弥・古・奈・平・室	154	結	古・奈
2	阿賀野川河口	縄・古・平・中世	53	城山	縄・古・平・鎌	104	日水前	縄・弥・平	155	長沼	平・鎌
3	横山	平	54	神明社裏	平	105	城所道下	平	156	上浦A	平
4	向山	平	55	笹山前	縄・弥・古・奈・平	106	早通前	平・鎌	157	江内	平・中世・江
5	神谷内	奈・平	56	平山	平	107	西前郷	縄・奈～平	158	川口甲	平
6	津島屋の石仏	中世(南北朝)	57	藤山	平・鎌	108	小杉中州	古墳	159	上浦B	古・古代
7	樋ノ入B	縄	58	上の山	弥・平	109	居附A	平～室	160	川口乙	平
8	樋ノ入B	縄	59	茗荷谷	奈・平	110	松嶺寺	平	161	山王浦	平
9	尾山A	平	60	茗荷谷墓地	平	111	山のハサバ	奈～平	162	大下	平
10	尾山B	平	61	駒込小丸山	縄・弥・奈～平	112	江尻	平	163	大野中	縄・平
11	太田古屋	縄	62	駒込墓所	奈～平	113	小杉上田	縄・奈～平	164	埋堀	中世
12	尾山C	平	63	駒込居浦郷	奈～平	114	宮尻郷	奈～平	165	山谷北	古墳
13	樋ノ入C	縄	64	山ノ家	弥・奈～平	115	新田郷	平	166	西沼	平
14	築上山	平	65	前郷	縄・弥・奈～平	116	川根谷内	奈～平	167	川根	鎌～室・平
15	新崎	奈・平	66	迎山	縄・奈～室	117	上沼	奈・平	168	下久保	平
16	居浦郷	平	67	砂崩	縄・奈～平	118	川根谷内墓所	平・室	169	道上	平
17	古屋敷	奈・平・室・江	68	砂崩前郷	縄・平・江	119	上郷C	平	170	盛岩寺石仏	中世
18	溜池	平	69	砂崩上ノ山	奈・平	120	曾我墓所	平	171	細池寺道上	平
19	宮浦	平	70	丸山	平	121	下郷経塚	安	172	西江浦	平
20	山木戸	古・奈・平・中世	71	清水が丘	平	122	下郷	平	173	尻地の塚	室
21	寺山	平	72	大道外	平・中世	123	下谷地	中世	174	草水町1丁目窯跡	平
22	竹尾西	平	73	彦七山	奈・平	124	横越館跡	室	175	草水町2丁目窯跡	旧石器・縄・平
23	本所居館跡	中世	74	北山	平	125	村下	平	176	愛宕澤	縄・平・中世
24	石動	縄・弥・古・平・中世	75	金塚山	縄・奈・平	126	曾郷前	中世	177	滝谷窯跡	平
25	岡山の石仏	中世	76	浦ノ山	平	127	城館跡	平	178	七本松窯跡群	平
26	竹尾	室	77	前山	奈・平	128	本田裏	中世	179	秋葉2丁目窯跡	平
27	下前川原	平・室	78	三條岡	奈・平	129	町道上	中世	180	小手平	縄
28	高森	平	79	袋津向山	縄	130	曾根	平	181	秋葉	縄・弥・平
29	江口館跡	中世	80	塚ノ山	奈・平	131	上郷B	奈・平	182	秋葉ブドウ園	縄・奈・平
30	猿ヶ馬場B	鎌～江	81	砂岡	奈・平	132	上郷	奈・平	183	本町石仏	中世
31	猿ヶ馬場A	平・室	82	茨島	奈・平	133	天王杉	平	184	菅免	古代
32	下場	平・中世	83	岡田	奈・平	134	円通寺石仏	室	185	新津城跡	平・室
33	石山	中世	84	市助裏	平・鎌	135	川原畑	中世	186	程島館跡	戦
34	西野	平	85	狐山	奈・平	136	下等別当	古代～中世	187	山崎	縄
35	大淵	平・中世	86	川西	平・鎌	137	林葉等の五輪塔	室	188	城見山	縄・古代・中世
36	東圃	縄・弥・古	87	貝塚	奈・平	138	紺屋	中世	189	原	縄
37	鷓ノ子	平	88	中の山	奈・平	139	藤の木	室	190	大坪	奈～平
38	石仏山	中世	89	山王山	室	140	諏訪神社	中世	191	東島大道下	古・古代・中世
39	女池稲荷	平	90	亀田城山B	南・室・江	141	小河原	中世	192	桜大門	平
40	親仁山	平・中世	91	齊助山	縄・弥・奈～平	142	嘉瀬島諏訪社	中世	193	西島中谷内	奈・平
41	地蔵山	鎌・室	92	亀田城山A	縄・弥・奈～平	143	居居敷跡	古代	194	古道	平
42	愛宕の塚	中世・近世?	93	牛道	平	144	寺嶋	平・鎌	195	曾根	平・鎌
43	鳥屋野	中世	94	荒木前	鎌	145	長崎(城跡)	室	196	下梅ノ木	鎌～室・平
44	上中沢	中世	95	手代山	鎌	146	久保	平	197	長左工門沼	平
45	縄内	平	96	手代山北	平・中世	147	無頭	平	198	小戸下組	鎌～室・平
46	下西	古	97	泥湯	平	148	新久免の塚	室～江	199	浄楽	室
47	直り山A	平	98	西郷	弥・古代	149	内野	平・中世	200	腰廻	室・安
48	直り山B	平	99	大蔵	古代	150	中谷内	古・奈・平・中世	201	諏訪神社石仏	中世
49	松山	縄・中世	100	養海山	縄・弥・古・平	151	沖ノ羽	古・古代・中世			
50	小丸山	縄・古・平・中世・近世	101	八幡前	弥・平	152	結七島	古・奈・平・中世			
51	松山向山	平	102	日水	奈・平	153	中田	古			

墓所遺跡〔江口2001〕・日水遺跡〔今井2007〕といった自然堤防上の遺跡がみられ、それぞれの本発掘調査において建物跡・井戸・畝状遺構・土坑等の集落を想定させるような遺構が検出されている。低地の遺跡は、水系の利便性が影響していることがみてとれるが、この利便性は、単に流通・交通におけるだけのものではなく、水田開発にも関係していたことが想像される。この時代の水田遺構は、現在のところ上郷遺跡〔上野・春日ほか1997〕で発見されているのみであるが、低地の中の微高地という立地を活かした稲作が各所で行われていた可



能性は大きい。一方、丘陵部では奈良時代にはいと律令体制の下で須恵器や鉄の生産が行われるようになり、新津丘陵では窯跡（七本松遺跡〔中川・倉田 1956〕・草水町 2 丁目遺跡等）が北東斜面に、製鉄遺跡（居村 C 遺跡・大入 C 遺跡等）が西斜面に分布していることが確認されており、海岸部では現在の東港付近でその痕跡を残す遺跡（出山遺跡〔新潟市史編さん原始古代中世史部会 1994〕など）が知られている。物資が豊富になり、活動の場が広がる時代背景も遺跡分布の拡大のひとつの要因であろう。

このような様相は、10 世紀半ばを境として途絶えてしまい、再び人々の動きをみるのは 13 世紀の鎌倉時代である。駒首潟遺跡では中世の痕跡はまったくみられないが、周辺では、砂丘上に中の山遺跡・荒木前遺跡・三王山遺跡〔酒井 1980〕が存在し、多数の井戸、溝、建物跡などが検出されている。また、中の山遺跡や三王山遺跡では、中国産や瀬戸・美濃産の陶磁器もみられ、在地領主クラスが存在が指摘されている。

## 第3節 歴史的環境

古墳時代の記録については明らかなものはないが、『先代旧事本紀』に収録されている「国造本紀」に、国造（地方官）に任命された北陸地方の豪族として高志国造や高志深江国造の名がある。『先代旧事本紀』は後世の偽書とされているが、『隋書』倭国伝や『日本書紀』推古天皇二十八（620）年条等の記事から、ここに列挙されている国造は 6 世紀半ばから 7 世紀後半にかけて実在した国造であると考えられている。新潟県では、久比岐国造、高志深江国造、佐渡国造が、それぞれ後の頸城郡、高志郡・蒲原郡・沼垂郡、佐渡を支配していたとされ、高志深江国造の本拠は「深江」という名から信濃川・阿賀野川の河口付近とするという見方が以前からあった。

北陸地方を一国とする越（高志）国が、越前・越中・越後の 3 国に分割されたのは、『日本書紀』の記事から、689 年から 692 年の間とされる。成立当初、越後国は沼垂郡と磐舟郡に越後国が置かれ、現在の新潟市域の広範囲を占める（阿賀野川以西の地域）蒲原郡は越中国に属していた。その後、大宝 2（702）年、越中国から頸城・古志・魚沼・蒲原の 4 郡が越後国に編入され、新潟市全域が越後国に含まれることになる。当時の地方組織は、国一郡一里（郷）で構成されており、郡司や里（郷）長は在地の豪族や氏族の長が任命された。蒲原郡・沼垂郡の豪族・氏族に関わる史料は少なく、承平年間（931～938）につくられた『倭名抄』や延喜 5（905）年に完成した『延喜式』に記載された郷名や神名との比定により、いくつかの推定がされている。そうした中で、蒲原郡の豪族・氏族を考える上でも大きな発見となったのは、長岡市（旧和島村）八幡林官衙遺跡で出土した 8 世紀前半の木簡である。それは、高志深江国造に系譜をもつ高志君氏が奈良時代前半に蒲原郡で活動していたことを伝え、その一族が本拠とされる頸城郡にとどまらない勢力をもっていたことを窺わせることとなった。沼垂郡の豪族・氏族については、移住氏族の出身地が推定できる郷名があり、足羽郷が越前国足羽郡と、賀地郷が越前国丹生郡可知郷と結びつけられる。これは、大化 4（648）年の磐舟柵造営に伴い行った強制的な移民政策を表すものであり、越や信濃の民が柵戸として連れてこられたことがわかる。沼垂郡に隣接する駒首潟遺跡から出土した「足羽臣」木簡は、それを実感させるものである。

越後においては、平安時代末期から中世にかけて中世に引き続く本格的な荘園が多く成立し、それと並んで保と呼ばれる領域も生まれた。新潟市域では、蒲原津があったと思われる信濃川下流域周辺は国衙領と考えられ、秋葉区には金津保があった。亀田付近は地理的には金津保に含まれてもおかしくないところであり、浄土真宗寺院所蔵の絵像等に見える江戸時代の裏書に「金津保」の記載があるが、中世遺跡のあり方をみると駒首潟遺跡が存在する平野部あたりは、開発の手があまり及ばない地域であったと想像される。

## 第Ⅲ章 調査の概要

### 第1節 試掘・確認調査

2件の調査が行われている。最初の調査は、平成18年1月26日～2月3日に実施した試掘調査（第1次調査）で、この調査により遺跡の所在が確認された。開発予定地の約114,700m<sup>2</sup>は当時休耕地となっており、地権者側の事情により着手できない一部を除いて、79ヶ所の試掘坑をいれた。調査は、バックホウにより少しずつ掘り下げを行う中で、遺物包含層の確認や遺構検出面・土層の精査を人で行い、その都度記録した。掘削はバックホウのアームの届く深さまでとしたが、下方は砂が混じる層が多く崩落も著しいことから、途中で止めたところもある。この時の調査面積は948m<sup>2</sup>で、掘削深度は平均2m以上である。8ヶ所の試掘坑（W22・W24・W25・W30・W34・E31・E33・E42）から平安時代の遺物・遺構が、4ヶ所の試掘坑（W20・W23・W31・E32）から遺物が検出された。それらは土提状となって残る渦跡に沿うような長細い分布を示し、旧河川際に発達した自然堤防上に立地する遺跡であることが想定された。遺構確認面は、地表から15～45cm下の褐灰色粘質シルト（IV層）面であり、その上に未分解の腐植物を含む黒褐色～暗茶褐色の粘性が強いシルトの遺物包含層が存在する。遺跡の範囲は約20,000m<sup>2</sup>とされ、新発見の遺跡として周知化された。

同年の4月26日～4月28日には、第1次調査で着手できなかった土手の東側部分と遺跡の内容が不明確な部分について、10ヶ所の試掘坑を入れる確認調査（第2次調査）を行った。第1次調査で着手できなかった部分は、部分的に削平されている場所があるものの遺構確認面に相当する面は比較的安定して広がっており、包含層相当層も薄く存在する。掘り下げを慎重に行ったが、遺物・遺構は確認できなかった。

これらの結果をもとに開発者と協議を行い、この段階では、調査は工事が遺跡に及ぶ店舗部分と立体駐車場部分の約10,400m<sup>2</sup>を対象とし、2ヶ年にわたる調査期間が設定された。

### 第2節 発掘調査・立会い調査

当初、調査期間は2ヶ年とされていたが、その後開発者側との協議により、平成18年内に調査を終了することになる。さらに、開発計画の変更があり、その結果平成18年度内に2回の本発掘調査と約3週間の立会い調査を実施することになった。

第3次調査は、対象地が広範囲であるため、いくつかの調査区に区切って北側から調査を進めたが、着手後に開発計画の変更があり、調査範囲の変更（3区）および拡大（4区）を行った。また、平成19年に追加部分（5区）の調査を実施した（第4次調査）。立会い調査は、駐車場建設工事（地盤改良工事）が遺跡にかかる部分を対象とし、SID工法による改良剤（生石灰）の注入深度が遺跡に影響を及ぼさないよう立会いを行った。

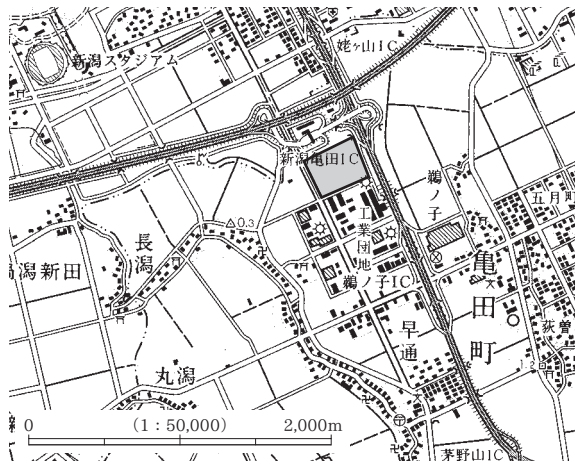
#### A 調査方法

##### 1) 現況

調査地周辺は、標高0m地帯である。ここは亀田郷と呼ばれる低湿地帯で、治水事業以降日本有数の穀倉地帯を担う地域のひとつとなったところである。近年まで水田が広がっていたが、昭和50・60年代の大規模な工業団地造成により風景は変貌し、商工業用地として発展した。現在は、西側に水田の広がりが見え、平坦な地形

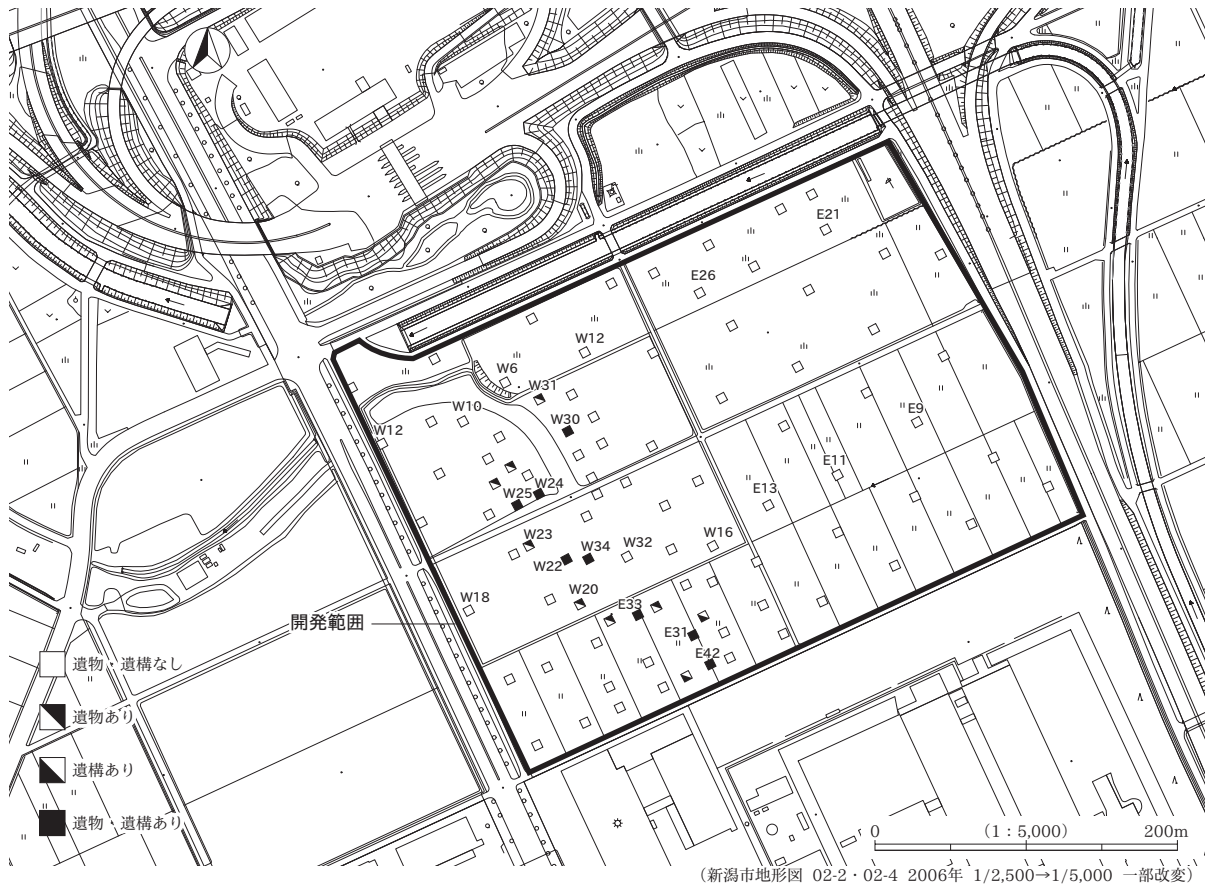
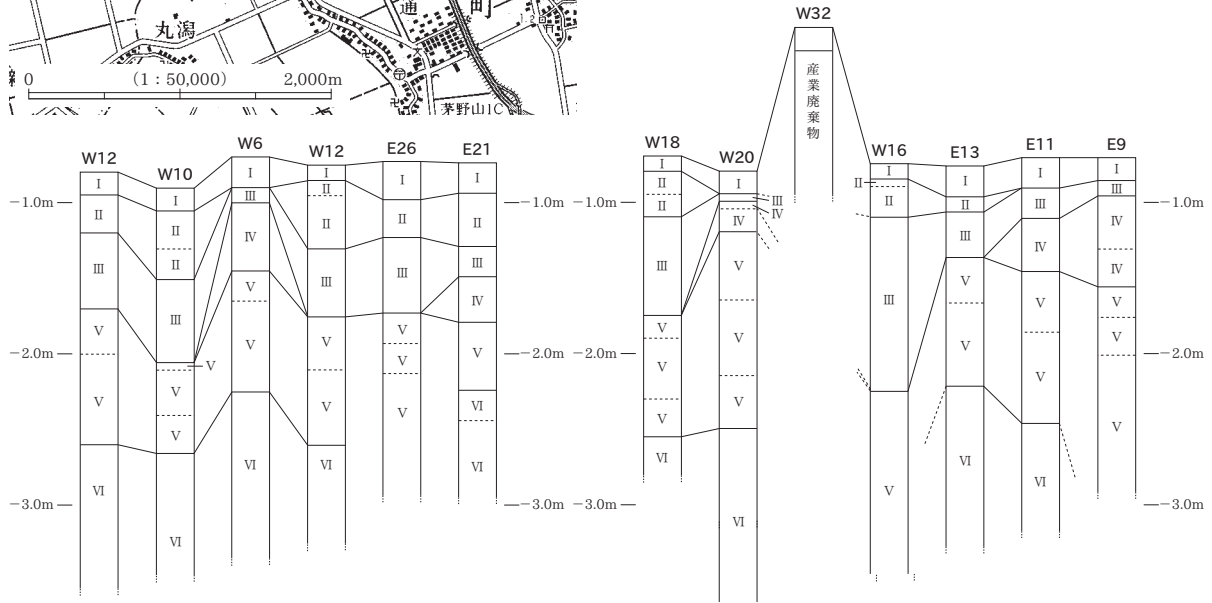


第2節 発掘調査・立会い調査



- I層 耕作土 褐色～灰褐色土。
  - II層 カツボ層直上の粘質土 黒褐～茶褐色。
  - III層 カツボ層 暗茶褐色～黒褐色 包含層。
  - IV層 カツボ層直上の粘質シルト 暗褐色～明褐色。
  - V層 カツボ層の下層の粘土・シルト 砂層との互層も多く見られる。青灰色。
  - VI層 IV層・V層の下層の粘土・シルト 砂層との互層も多く見られる。暗灰褐色～灰白色。
- ※ 各層は、若干の色調の違いや粘性等によって細分されるが、詳しくは書かない。

■ 試掘調査対象地  
 (国土地理院 新潟 2005年 1/50,000)



(新潟市地形図 02-2・02-4 2006年 1/2,500→1/5,000 一部改変)

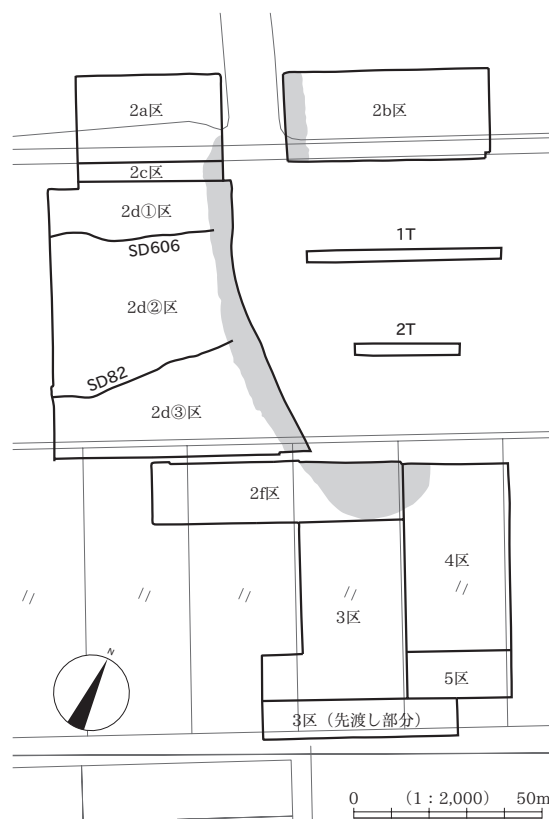
第3図 駒首瀧遺跡試掘・確認調査位置図

と合せてわずかに昔の面影を感じる程度となっている。

## 2) グリッドの設定

グリッドは、X座標 208411.644、Y座標 50985.961 (世界測地系平面直角座標第Ⅷ系)、緯度 37°52'36.26644"、経度 139°04'46.48063"とする基点を設定し、それをもとに 10m 方眼の大グリッドを組んだ。大グリッドの名称は、北西隅(基点)を「1A」杭として、南北方向をアラビア数字、東西方向をアルファベットで表わした。さらに、その中を 2m 方眼で区切り 25 分割する小グリッドを設定し、「4G12」のように呼称した。基準杭の打設は測量業者に委託した。

任意の隣り合う 2つのグリッド杭、14L 杭・15L 杭の座標は、14L 杭が X座標 208279.223、Y座標 51093.035、15L が X座標 208269.226、Y座標 51092.812 であり、15L 杭の座標北は真北に対し 21 分 24 秒東偏、同磁北は真北に対し 7 度 47 分西偏する。なお、グリッド南北方向は座標北からややずれており、15L 杭で座標北に対し 1 度 16 分 40 秒東偏している。



第 4 図 調査区設定図

## 3) 調査方法

### ①トレンチ調査

第 2 次調査において遺構・遺物が確認されなかった渦の東側については遺跡の範囲であることから、遺構・遺物の有無を再度確認するため、東西方向に長いトレンチ (1T—幅 3m・長さ 54.8m、2T—幅 3m・長さ 32m) を入れた。重機により遺構検出面上面まで掘削を行ったが、包含層相当層は存在するものの遺物は出土しなかった。また、遺構についても、プランがわかりにくい土質であるということから、最終的に遺構検出面より 10cm ほど深くして確認を行ったが、検出されなかった。

### ②表土剥ぎ

試掘・確認調査の結果から遺物が出土しないことが予想されたため、遺物包含層 (Ⅲ層) 上面までバックホウにより除去した。その際、遺物包含層までの堆積層が 30cm ~ 40cm のところについてはバックホウによる地下への影響が心配されたため、鉄板を敷いて作業を行った。

### ③包含層掘削

場所によって遺物含量が著しく異なることが予想され、作業は少量のところについては重機で、それ以外のところについては人力で掘削することにした。遺物が多量に表面採集された畑地部分でも地中の遺物含量が少なく、全体的に重機による掘削が主体となったが、重機による掘削は包含層下方を残すかたちにしており、その下方部分については、次の遺構確認面の精査時に並行して人力で掘り下げを行った。

### ④遺構検出・発掘

遺構プラン検出については、本来の遺構検出面でその認識ができない土質であるため、そこから 5 cm ほど下げて精査を行っている。遺構の発掘は、井戸や土坑・ピットについては半截、溝についてはベルトをつくって遺構覆土を掘削したが、遺構プランが不明確な場合はトレンチを入れて断面観察しながら調査したものもある。

旧河川の検出については、試掘調査の結果から土量が多く中央部分には産業廃棄物が存在していることが確

認されていたため、重機により可能な範囲で掘削を行い、包含層相当層についても遺物の出土が希薄なところは同様の作業を行ったが、河川際は河川の形状検出を行う必要があるため人力による作業を行った。

⑤遺物取り上げ

包含層出土遺物は、小グリッド単位で取り上げた。遺構出土遺物は層位ごと、小グリッドごとの取り上げを基本としたが、覆土の分層がしづらく一括で取り上げたものも多い。

⑥実測・写真

調査に係る実測・測量は全て測量業者に委託した。断面実測は1/20で図を作成する手取り作業、平面実測はトータルステーションを用いての作業である。

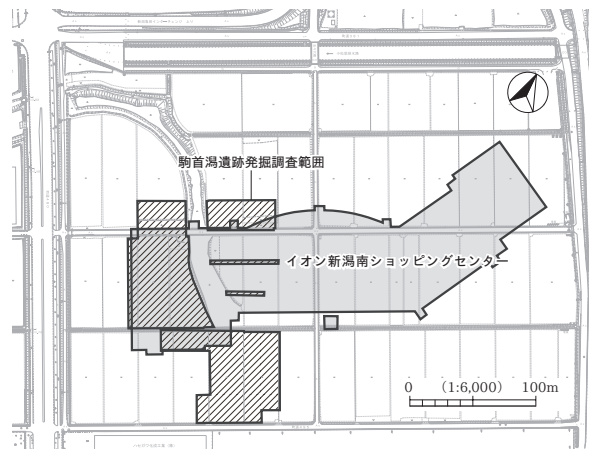
遺構断面・遺構平面の写真撮影は、調査員が撮影内容によってデジタル・35mm版・6×7版のカメラ、白黒フィルム・カラーポジフィルムを適宜選択しながら行った。また、遺跡の全体（俯瞰）写真は、工程や進捗状況の問題から6回に分けて、測量業者が撮影した。

⑦自然科学分析

年代推定の参考とするためにテフラ検出分析及び放射性炭素年代測定、古環境復元のために樹種同定・種実同定・植物珪酸体分析・花粉分析・珪藻分析、そして遺構の性格づけの参考として動物遺存体分析やリン・カルシウム含量分析を行った。

## B 調査経過

第3次調査は、平成18年7月13日に発掘調査支援業者と打ち合わせを行い、諸準備にはいった。7月18日に重機による表土掘削を開始したが、調査範囲が広いので、8月1日から人力による包含層掘削・遺構検出面精査・遺構検出作業を並行して行った。表土掘削は2b区→2a区→2c区・2d区→2f区→3区→4区の順に作業を行った。3区の表土掘削を終了したのは8月23日であるが、その後追加となった4区の表土を10月10日～10月19日に行っている。人力による作業は、北側から始めることにし、まず2a区と2b区の調査に着手、やや遅れて8月7日から2d区の調査を行った。2d区は調査区が広いので、そこを南北に3分割する東西方向に走る溝を境界として、北から2d①区、2d②区、2d③区として作業を分けて行った。8月28日に2b区の調査が終了し、9月1日に3区の調査を開始した。3区については、工事側の事情により南側の一部を先渡しすることになり、11月18日にラジコンヘリコプターによる空中写真撮影、同20日に測量の最終確認をした上で、約520m<sup>2</sup>を引き渡した。11月初め、調査員を増員し4区の調査に着手したが、これと前後して2a区が終了、2f区の調査を開始する。この頃から雨天日が続き、2d区・2f区・3区はテントを大規模に設営し、その中で作業を行った。空中写真撮影は、12月8・9・16・12日の4回に分けて、調査が終了した範囲から行った。全ての調査が終了したのは、12月28日である。なお、10月29日に現地説明会を行い、約350人の参加があった。



第5図 発掘調査位置図



第6図 SID工法の痕跡がみられる調査区

第4次調査は、3区と4区に三方を囲まれた335.1m<sup>2</sup>（5区）を対象に行った。ここは、当初駐車場が予定されていたが、後に立体駐車場への進入路に変更された場所である。既に、駐車場用地としてSID工法による改良剤（生石灰）の注入が終了しており、この痕跡がみられたが、遺跡への影響はそれほど及んでおらず、調査に支障はなかった。平成19年3月1～3日に表土掘削を行い、3月5日から人力作業を開始した。3月15日に空撮を終え、同19日に全ての作業を終了した。

1T・2Tを含めた最終的な発掘調査面積は、上端が11,493.6m<sup>2</sup>、下端が11,280.6m<sup>2</sup>である。

### C 調査体制

#### 【第1次調査（試掘調査） 平成17年度】

調査主体	新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫）
所管課	新潟市歴史文化課（課長 渡辺ユキ子 課長補佐兼文化財係長 倉地一則）
事務局	新潟市埋蔵文化財センター（所長 手島勇平）
調査担当	新潟市埋蔵文化財センター 主事 潮田憲幸
調査員	新潟市歴史文化課文化財係 副主査 福田仁史

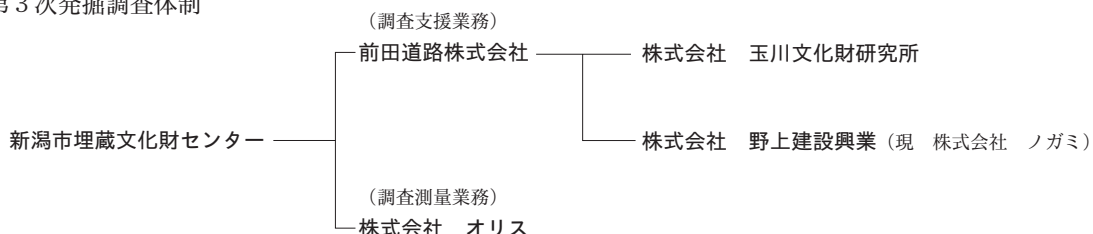
#### 【第2次調査（確認調査） 平成18年度】

調査主体	新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫）
所管課	新潟市歴史文化課（課長 渡辺ユキ子 課長補佐 倉地一則 埋蔵文化財係長 渡邊朋和）
事務局	新潟市埋蔵文化財センター（所長 山田光行 埋蔵文化財係長兼主任 渡邊朋和）
調査担当	新潟市埋蔵文化財センター 主査 渡邊ますみ
調査員	新潟市埋蔵文化財センター 専門臨時職員 池田ひろ子

#### 【第3次調査（本発掘調査） 平成18年度】

調査主体	新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫）
所管課	新潟市歴史文化課（課長 渡辺ユキ子 課長補佐 倉地一則 埋蔵文化財係長 渡邊朋和）
事務局	新潟市埋蔵文化財センター（所長 山田光行 埋蔵文化財係長兼主任 渡邊朋和）
調査担当	新潟市埋蔵文化財センター 主査 渡邊ますみ
支援業者	前田道路株式会社（現場代理人 高橋政男）
調査員	潮田憲幸（新潟市埋蔵文化財センター 主事 H18.10.10～10.20） 佐々木正治・伊藤兼倫（株式会社 野上建設興業 H18.7.13～H19.3.15） 宮宏明（同 H18.7.13～9.19） 鈴木文夫（同 H18.7.13～H19.2.27） 田中暁穂（同 H18.7.13～10.19） 建部真也（同 H18.8.23～H19.2.28） 齋藤武士（同 H18.9.19～12.28） 迫和幸・北平和幸・石川真紀（株式会社 玉川文化財研究所 H18.11.1～H19.12.28）
補助調査員	小林義廣（株式会社 野上建設興業 H18.11.6～12.28）
整理補助員	青池光子 小野里絵梨子 佐々木陽子 佐藤則子 高木裕貴子（新潟市埋蔵文化財センター臨時職員）
測量業者	株式会社 オリス

#### 第3次発掘調査体制



#### 【第4次調査（本発掘調査） 平成18年度】

調査主体	新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫）
所管課	新潟市歴史文化課（課長 渡辺ユキ子 課長補佐 倉地一則 埋蔵文化財係長 渡邊朋和）
事務局	新潟市埋蔵文化財センター（所長 山田光行 埋蔵文化財係長兼主任 渡邊朋和）
調査担当	新潟市埋蔵文化財センター 主査 渡邊ますみ
調査員	株式会社 玉川文化財研究所 迫和幸・石川真紀



## 第3節 整理作業

### A 整理方法

#### 1) 遺物

試掘・確認調査でコンテナ（内径 54.5 × 33.6 × 10.0 cm）3 箱分、本発掘調査で約 250 箱分の遺物が出土している。平安時代の土器が中心であるが、木製品が 40 箱と一定量がみられる。他に石製品・礫が 6 箱、土製品 0.5 箱、鉄製品・鉄滓 0.5 箱分が出土している。

遺物の整理作業は、①洗浄→②注記→③グリッド別・種別の重量計測および遺構出土遺物の器種ごとの重量・固体数計測→④接合→⑤報告書掲載遺物の抽出→⑥実測図・観察表作成→⑦トレース図作成→⑧版下作成の順番で行った。発掘調査期間中は、現場のプレハブで①・②の作業を、現場終了後は市埋蔵文化財センターで③以降の作業を行ったが、平成 19 年度の作業については、市埋蔵文化財センターと（株）玉川文化財研究所で並行して行った。

#### 2) 遺構

現場の測量図はすべて測量業者作成のものであり、機械測量による遺構平面図を 1/20 で出力し、手取りによる 1/20 の遺構断面図の整合を行った。また、遺構平面図に測量時の標高を入れ、断面図がない遺構や地点についてその形状を確認した。

### B 整理経過

出土遺物の水洗・注記は発掘作業と並行して、現場でほぼ終了した。調査終了後は、出土遺物の種別・地点別に分類をし、報告書作成のための重量・点数計測、接合、実測、写真撮影を行った。遺構測量図は、原図の確認作業後、平面図はデジタルデータ、断面図は修正等を行った第二原図をデジタル図化編集業者に渡し、校正作業を行った。並行して、現場記録写真の整理やフィルム写真のデジタル化を行い、報告書掲載用写真を抽出した。図版レイアウト、原稿執筆等は各調査員で分担し、報告書の編集に当たっては市埋蔵文化財センターで一括して行った。

### C 整理体制

【整理作業 平成 19 年度】

調査主体	新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫）
所管課	新潟市歴史文化課（課長 倉地一則 課長補佐 山田一雄 埋蔵文化財係長 渡邊朋和）
事務局	新潟市埋蔵文化財センター（所長 山田光行 埋蔵文化財係長兼主任 渡邊朋和）
調査担当	新潟市埋蔵文化財センター 主査 渡邊ますみ
支援業者	株式会社 玉川文化財研究所
調査員	河合英夫 迫和幸 北平朗久 石川真紀（株式会社 玉川文化財研究所）
整理補助員	青池光子 小野里絵梨子 佐々木陽子 佐藤則子 高木裕貴子 野崎裕美（新潟市埋蔵文化財センター臨時職員）

【整理作業 平成 20 年度】

調査主体	新潟市教育委員会（教育長 佐藤満夫）
所管課	新潟市歴史文化課（課長 倉地一則 課長補佐 山田一雄 埋蔵文化財係長 渡邊朋和）
事務局	新潟市埋蔵文化財センター（所長 山田光行 埋蔵文化財係長兼主任 渡邊朋和）
調査担当	新潟市埋蔵文化財センター 主査 渡邊ますみ
整理補助員	青池光子 大野茂子 佐藤則子 高木裕貴子 野崎裕美（新潟市埋蔵文化財センター臨時職員）

# 第IV章 遺 跡

## 第1節 概 要

駒首瀨遺跡は、標高 0m 地帯の自然堤防上に立地する。古墳時代、奈良・平安時代の遺物が出土するが、遺跡の中心は平安時代（9世紀）であり、今回検出された遺構はこの時期のものがほとんどである。当時の河川（旧河川）が昭和 50 年代まで存在した瀨に重なるように検出され、この河川の西側沿いに遺構が検出された。旧河川は調査区域内で南端が確認されたが、自然堤防をつくり出したそれ以前の河川は、やや噴砂が多くみられる低地となって現れ、南東方向に伸びていたことが窺える。自然堤防の高まりは、南西側に行くにつれて低くなり、遺構もほとんどみられなくなる。その先は後背湿地が広がっていると考えられ、水田域の可能性もある。集落を横切って旧河川から延びる 2 条の大きな溝は灌漑用水路の可能性もある。

検出された遺構は、掘立柱建物、ピット・柵列・井戸・土坑・溝・テラス状遺構などである。配置や重複関係から数時期が捉えられる。出土遺物は土器類が圧倒的な量を占めるが、木製品も一定量出土している。他に石製品や金属製品がみられるが、量的には多くない。土器類は、春日氏がまとめられている編年〔春日 1997a・1997b・1999・2005〕の V 期・VI 期のものが中心であり、木製品やその他の遺物もこの時期に属するものと思われる。

第 2 表 古代土器編年対照表

	春日 1999	山三賀編年	窯跡資料			
			阿賀北	新津	頸城	佐渡
	III 1 期	I 期	下小中山窯跡			苗代の腰窯跡 納戸沢窯跡
	III 2 期				本郷新溜池窯跡	
750	IV 1 期	II 1 期		山崎窯跡	向橋窯跡	
	IV 2 期	II 2 期				
	IV 2 期	III 1 期	貝屋窯跡		滝寺 1 号窯跡	石地河内窯跡
800	IV 3 期	III 2 期			神田長峰 1 号窯跡	
	V 1 期	IV 1 期	馬上窯跡			下口沢窯跡
850	V 2 期	IV 2 期	狼沢窯跡		今熊 1 号窯跡	
	VI 1 期					カメ畑窯跡
	VI 2 期					
	VI 3 期					江の下窯跡
900	VI 1 期					高野

(春日 2005 一部改変)

## 第2節 基本層序

基本層序を図版 8・9 に示した。現地表面から遺構検出面（IV層上面）までは大きく 3 層（I～III層）に分かれ、IV層の下方も試掘調査において掘削可能な範囲で 2 層（V層・VI層）を確認している。ここでは、I 層～IV層までを取り扱う。V層・VI層については、第 3 図を参照されたい。

I 層は現在の盛土や耕作土、II 層は江戸時代以降の耕作土を含む堆積土である。II 層からは、近代～江戸時代の陶磁器などが出土している。I・II 層を合わせた厚さは場所によってばらつきがみられ、50cm のところもある一方で、それらが無く包含層が露出しているところもある。遺構が検出される場所は薄い傾向（0～25cm）があるが、もともとの地形がやや高いということに起因しているようである。III層は遺物包含層。古墳時代・古代の遺物が出土する。厚さは 5～25cm 程度であり、基本的には 3 層に細分されるが、旧河川での堆積は厚く分層数も多い。最上層（III a 層）からは遺物は出土していない。遺構検出面である IV 層は、遺構の確認がしづらい土質でプラン確認は上面から 5～10cm 下くらいのところからうじて認識できることも多い。V・VI 層は、後背湿地で形成された基盤層であり、粘土とシルトからなる。

以下に土層説明を行うが、今回の調査区が非常に広域であることから、同一層でいくつかの土色が捉えられているものもある。ここでは中心となる色調を記載している。

I層 現表土。黄灰色(2.5Y4/1)を呈する粘質土や耕作土は黒褐色(2.5Y3/2～10YR3/2)を基調とした粘質土がみられ、前者は盛土、後者は現在の耕作土およびその基盤土である。

II層 オリーブ黒色(5Y2/2)～褐灰色(10YR6/1)粘質シルト。近世以降の堆積土。

III層 黒褐色(10YR3/1)～黒色(10YR2/1)粘質シルト。未分解植物(ガツボ)や炭化物がみられるが、上層は未分解植物が多く、下層は炭化物が多い。古墳時代・古代の遺物包含層である。

IV層 褐灰色(10YR4/1)粘質シルト。この上面が遺構確認面である。かなり広域に存在するが、標高の低い地点ではみられなくなる。

## 第3節 遺 構

検出された遺構は、掘立柱建物、ピット、柵列、井戸、土坑、溝、テラス状遺構、不明遺構、旧河川である。これらの説明は上記の順で行い、遺構番号は種類に関わらず検出順とした。但し、掘立柱建物と柵列については個々のピットより抽出したため新たに番号を付して対応している(SB3001～3024、SA3051)。

各遺構の図面については、掘立柱建物、柵列、井戸、土坑、不明遺構を遺構個別実測図(1/50・1/80)で個々に遺構を示したが、ピット、溝、テラス状遺構、旧河川は調査区を25分割した割図(1/100)の中で示した。また、割図および遺構個別図の中で重複関係を有する遺構については、その先後関係(旧→新)を矢印(▶)で表記した。主要遺構の詳細は、本文と別表1の主要遺構計測表に記載し、ピットは深度表示のみの表記とした。大半は古代の遺構と判断されるが、不明遺構と溝の一部は近世以降のものを含むとみられる。

### A 古代の遺構

古代の遺構は、褐灰色シルト層としたIV層上面で確認された。古墳時代後期の甕が出土した遺構が1例あるが、大半は平安時代(9世紀後半)の遺構と考えられる。遺構別に数を示すと、掘立柱建物24、ピット1657、柵列1、井戸21、土坑152、溝396、テラス状遺構1、不明遺構11、旧河川1となる。以下、掘立柱建物より記述する。

#### 1) 掘立柱建物(SB)

今次調査で検出された掘立柱建物は計24棟を数えるが、後述のピットとして扱った中にも既存建物や遺構間の重複などの影響で抽出できなかった掘立柱建物も少なからず存在したと考えられる。これらの建物群は、旧河川沿いの微高地上に形成され、西側の後背湿地までには及んでおらず、地形的制約があったことが窺える。

建物24棟の平面形式は、桁行2間×梁行2間が10棟と最も多く、次いで3間×2間が8棟、5間×2間が2棟、以下、3間×3間、4間×2間、5間×3間、5ないし6間×3間が各々1棟となる。構造的には、身舎の内部に柱穴を伴わない側柱建物が19棟を数え、総柱建物の1棟(SB3014)、床束建物の4棟(SB3010・3011・3016)を大きく凌駕している。身舎内部に柱を伴う床束建物のうちの1棟(SB3016)は、身舎の四面に廂が付く、四面廂付建物であった。四面廂付建物の他に片廂建物が3棟(SB3003・3007・3011・3018)ある。

建物の規模を桁行・梁行総長でみると、桁行2間×梁行2間では桁行総長が3.00～5.25m、梁行総長が2.80～4.50mを測り、同一平面形式でもかなりの開きが認められる。同様に3間×2間では桁行総長が4.50～6.90m、梁行総長が3.00～5.70m。5間×2間では桁行総長が4.95～8.85m、梁行総長が3.75～4.50m。4間×2間では桁行総長が8.10m、梁行総長が3.90m。5間×3間では桁行総長が6.90m、梁行総長が4.20m。5ないし6間×3間では桁行総長が8.70m、梁行総長が4.95mを有し、総柱建物の3間×3間では桁行総長が6.75m、梁行総長が5.85mを有する。同様に平面積でみると、桁行2間×梁行2間では概ね

9m<sup>2</sup>以上、24m<sup>2</sup>未満、平均で約13.6m<sup>2</sup>。3間×2間では11m<sup>2</sup>以上、38m<sup>2</sup>未満、平均で約24.2m<sup>2</sup>。5間×2間では33m<sup>2</sup>以上、38m<sup>2</sup>未満、平均で約35.3m<sup>2</sup>。4間×2間では31.59m<sup>2</sup>、5間×3間では28.6m<sup>2</sup>、5ないし6間×3間では43.07m<sup>2</sup>、総柱建物の3間×3間では39.49m<sup>2</sup>を有する。各建物の平面形式や規模・平面積は、例えば総柱建物（高床倉庫）の場合では、平面積と穀の収納量とは強い相関関係をもっているように、それぞれの用途や目的に応じて造営されたものと考えられる。

柱間寸法については柱の位置を厳密に決めることは極めて困難であるが、柱痕跡や柱材をその手がかりとして各柱間の実数値を把握するとともに、桁行・梁行の総長を桁行・梁行で割って平均値を出すなどして求めた結果、建物を施工した際の基準尺は概ね天平尺（1尺=297mm）であったと考えられる。完数値に収まる場合もあるが、整数に1/2を加えたものや桁行・梁行総長を等分するなどして数値を求めたものもあり、必ずしも一定ではない。小規模な建物では柱痕跡や柱抜き取り痕跡が確認できないこともあり、この場合は桁行・梁行総長をまず求めて柱間数で割り、柱間寸法は概略数値とした。

建物の柱掘方は壺掘り（1本の柱を立てるために坑を掘ること）を基本としているが、SB3023で壺掘りと布掘り（複数の柱を立てるために溝状に掘ること）とが併用されている場合があった。柱掘方の平面形には、方形、円形、楕円形、不整形などがあるが、総じて小形の柱掘方には円形や楕円形のものが多く、大形の柱掘方には方形基調のものが目立った。また、廂部分の掘方は身舎の平面形と近似し、大きさは身舎の柱掘方よりも確実に一回り小さいものであった。

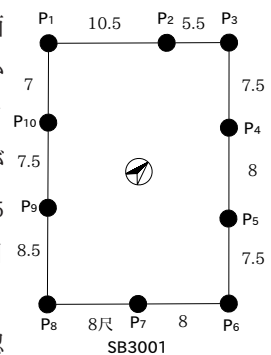
掘立柱建物の周囲にはすべてではないが、建物の付帯施設と考えられる区画溝が「L」字状や「コ」の字状、あるいは建物の桁行方向に沿うように配されている。後述、溝（SD）の一つとして扱うが、建物の付帯施設と考えられる溝については関連する各建物の中で記述する。これらの溝は、近在する当該期の低地遺跡では建物の付帯施設として理解され、建物の軒先直下に配された溝との見方もあるが、複数棟を区画する溝もあることから、ここでは建物の付帯施設として扱う。

最後に掘立柱建物の帰属時期について述べると、各建物も柱掘方などから出土した遺物から判断するには限界があるが、建物の付帯施設と考えられる溝出土の遺物や遺構間の重複関係などを手がかりにすると、概ねV期を初現とし、VI期（9世紀後半）を通して存続していたことが推定される。

**SB3001**（図版49、写真図版6・12）

本遺構は7D24・25、8D3～5・8～10・14・15・20、8E1・6・7・11・12・16を中心に位置する。遺構間の重複関係では、本遺構→SB3002・SD155・SD1219の順に構築される。平面形式は、桁行3間、梁行2間を基本形とする壺掘りの側柱建物である。

規模は桁行総長6.90m（23尺）、梁行総長4.80m（16尺）を有する。心々部分の面積は33.12m<sup>2</sup>。主軸方位はN-43°-Wを指す。柱間寸法は桁行東側柱列では北から1間目（P<sub>3</sub>-P<sub>4</sub>）が2.25m（7.5尺）、2間目（P<sub>4</sub>-P<sub>5</sub>）が2.40m（8尺）、3間目（P<sub>5</sub>-P<sub>6</sub>）が2.25m（7.5尺）を測る。西側柱列では北から1間目（P<sub>1</sub>-P<sub>10</sub>）が2.10m（7尺）、2間目（P<sub>10</sub>-P<sub>9</sub>）が2.25m（7.5尺）、3間目（P<sub>9</sub>-P<sub>8</sub>）が2.55m（8.5尺）を測る。梁行北妻柱列では、西から1間目（P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>）が3.15m（10.5尺）、2間目（P<sub>2</sub>-P<sub>3</sub>）が1.65m（5.5尺）、南妻柱列（P<sub>8</sub>-P<sub>7</sub>-P<sub>6</sub>）では2.40m（8尺）等間となる。



柱掘方は、略方形もしくは楕円形を基本形とする。規模は長軸72～128cm、確認面からの深さは40～95cmを測る。

建物の北東および西側には区画溝が配され、SD167・SD1060がこれに該当する。溝幅は60～125cm、確認面からの深さは平均で25cmである。断面形はU字状を呈し、覆土は灰色～黄灰色シルトを基質とする。

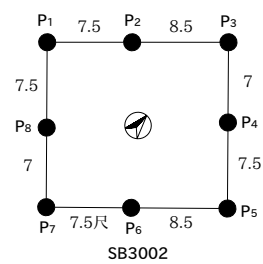
柱掘方の埋土中から須恵器無台杯・杯蓋・長頸壺・甕、土師器無台椀・長甕・佐渡型甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している（図版89）。



**SB3002** (図版 50、写真図版 6)

本遺構は 8E11 ~ 13・16 ~ 19・21 ~ 23、9E2 に位置する。遺構間の重複関係では、SB3001・SK1057 → 本遺構 → P326・P1056・SK1277 の順に変遷する。平面形式は、桁行・梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物である。

規模は桁行総長 4.80m (16 尺)、梁行総長 4.35m (14.5 尺) を測り、心々部分の面積は 20.88m<sup>2</sup>。主軸方位は N - 47° - E を指す。柱間寸法は桁行北側柱列では西から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) が 2.25m (7.5 尺)、2 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 2.55m (8.5 尺)。東側柱列では西から 1 間目 (P<sub>7</sub> - P<sub>6</sub>) が 2.25m (7.5 尺)、2 間目 (P<sub>6</sub> - P<sub>5</sub>) が 2.55m (8.5 尺) となる。梁行東妻柱列では、北から 1 間目 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub>) が 2.10m (7 尺)、2 間目 (P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>) が 2.25m (7.5 尺)、同西妻柱列では北から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>8</sub>) が 2.25m (7.5 尺) 2 間目 (P<sub>8</sub> - P<sub>7</sub>) が 2.10m (7 尺) となる。



柱掘方は、略円形ないし楕円形を基本形とし、規模は長軸 32 ~ 50cm、確認面からの深さは 40 ~ 72cm を測る。P<sub>1</sub> で柱材が確認され、樹種はクリと同定された。

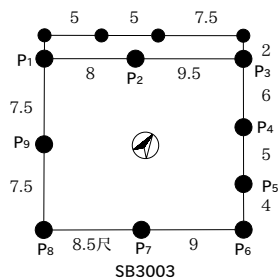
建物の南西側で確認された SD172 が本遺構に伴う区画溝と考えられる。溝幅は 80 ~ 130cm、確認面からの深さは 50cm 内外。断面形は U 字状を呈し、覆土は黄灰色シルトを基質とする。重複関係では SD1060 → SD172 となり、建物 (SB3001 → SB3002) の新旧関係とも合致している。なお、南側で確認された SD150 は、SB3001・3002 を包括する区画溝と考えられる。

柱掘方の埋土中から須恵器無台杯・横瓶、土師器長甕・小甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している (図版 89)。

**SB3003** (図版 51、写真図版 12)

本遺構は 11G19・22 ~ 25、12G2 ~ 5・8 ~ 10 に位置する。遺構間の重複関係では、本遺構 → SK75・SK638 の順に構築される。先後関係は不明であるが SB3004・SB3005 とは重複関係にある。平面形式は桁行 2 間、梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物と考えられ、身舎の北側に廂が取り付く。但し、東妻柱列のみ 3 間で対応関係がやや悪い。

規模は桁行総長 5.25m (17.5 尺)、梁行総長 4.50m (15 尺)、心々部分の面積は 23.625m<sup>2</sup>、廂部を加えると 26.775m<sup>2</sup>。主軸方位は N - 55° - E。柱間寸法は、桁行北側柱列では西から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) が 2.40m (8 尺)、2 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 2.85m (9.5 尺)、同南側柱列では西から 1 間目 (P<sub>8</sub> - P<sub>7</sub>) は 2.55m (8.5 尺)、2 間目 (P<sub>7</sub> - P<sub>6</sub>) が 2.70m (9 尺) を測る。梁行西妻柱列 (P<sub>1</sub> - P<sub>9</sub> - P<sub>8</sub>) では 2.25m (7.5 尺) 等間、同東妻柱列では北から 1 間目 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub>) が 1.80m (6 尺)、2 間目 (P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>) が 1.50m (5 尺)、3 間目 (P<sub>5</sub> - P<sub>6</sub>) が 1.20m (4 尺) を測る。廂は北側柱列の北 0.6m (2 尺) に設けられ、柱間寸法は西側から 1 間目 (P<sub>10</sub> - P<sub>11</sub>)・2 間目 (P<sub>11</sub> - P<sub>12</sub>) が 1.50m (5 尺)、3 間目 (P<sub>12</sub> - P<sub>13</sub>) は 2.25m (7.5 尺) となる。



柱掘方は、概ね略円形を基本形とし、規模は長軸 42 ~ 56cm、確認面からの深さは 36 ~ 72cm を測る。P<sub>1</sub>・P<sub>4</sub>・P<sub>9</sub> の下位で柱材が確認され、P<sub>1</sub>・P<sub>4</sub> の樹種は不明であるが、P<sub>9</sub> の樹種はトネリコ属と同定された。

区画溝は建物の東西および北側には「コ」の字状に配され、SD607・SD632・SD2056 がこれに該当する。SD607 に関しては、本遺構東側の 12H24 付近で溝の延長部分が確認され、旧河川沿いに延びる SD88・SD2274 を含めた区画施設の中に複数棟の建物が配されたと考えられる。溝幅は 20 ~ 45cm、確認面からの深さは平均で 10cm。断面形は U 字状を呈し、覆土は灰褐色シルトを基質とする。

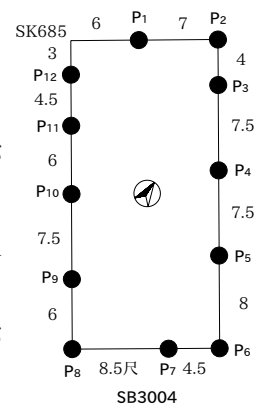
柱掘方の埋土中から須恵器甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している (図版 89)。

**SB3004** (図版 52、写真図版 12)

本遺構は 11G21 ~ 23、12G1 ~ 4・7 ~ 10・12 ~ 15・18 に位置する。遺構間の重複関係では、SK941 → 本遺構 → SK685・SD278・SD478 の順に構築される。なお先後関係は不明であるが、SB3003・

SB3005 とは重複関係にある。平面形式は桁行 4 間、梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物とみられるが、桁行西側柱列では柱間 5 間となる。

規模は桁行総長 8.10m (27 尺)、梁行総長 3.90m (13 尺)、心々部分の面積は 31.59m<sup>2</sup>、主軸方位は N - 33° - W を指す。柱間寸法は、桁行東側柱列では北から 1 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 1.20m (4 尺)、2 間目 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub>)・3 間目 (P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>) が 2.25m (7.5 尺)、4 間目 (P<sub>5</sub> - P<sub>6</sub>) が 2.4m (8 尺)、西側柱列では北から 1 間目 (SK685 - P<sub>12</sub>) が 0.90m (3 尺) と推定され、2 間目 (P<sub>12</sub> - P<sub>11</sub>) が 1.35m (4.5 尺)、3 間目 (P<sub>11</sub> - P<sub>10</sub>) が 1.80m (6 尺)、4 間目 (P<sub>10</sub> - P<sub>9</sub>) が 2.25m (7.5 尺)、5 間目 (P<sub>9</sub> - P<sub>8</sub>) が 1.80m (6 尺) を測る。梁行北妻柱列では、西側から 1 間目 (SK685 - P<sub>1</sub>) が 1.80m (6 尺)、2 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) が 2.10m (7 尺)、同南妻柱列では西側から 1 間目 (P<sub>8</sub> - P<sub>7</sub>) が 2.55m (8.5 尺)、2 間目 (P<sub>7</sub> - P<sub>6</sub>) が 1.35m (4.5 尺) となる。



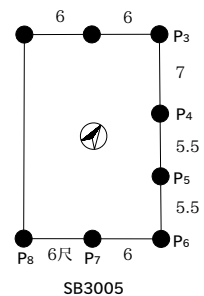
柱掘方は、略円形もしくは略方形を呈し、規模は長軸 36 ~ 66cm、確認面からの深さは 28 ~ 70cm を測る。P<sub>8</sub>・P<sub>9</sub>・P<sub>10</sub> の下位で柱材が確認され、P<sub>8</sub> の樹種は不明であるが、P<sub>9</sub>・P<sub>10</sub> の樹種はクリと同定された。

本遺構も SB3003 と同様、「コ」の字状の区画内 (SD607 他) に配された建物とみられる。西側に配された溝は桁行西側柱列とはほぼ平行関係にある。溝幅は 44 ~ 60cm、確認面からの深さは約 40cm。断面形は U 字状を呈し、覆土は暗褐色シルトより構成されている。

柱掘方の埋土中から須恵器甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・鍋、黒色土器無台椀などが出土している (図版 89)。

**SB3005** (図版 53、写真図版 12)

本遺構は 12G4・5・8 ~ 10・13 ~ 15・19・20、12H11・16 に位置する。SB3003・SB3004・SB3006 と重複関係にあるが、直接的な切り合いはないため先後関係は不明。平面形式は、桁行 3 間、梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物と推定されるが、西側柱列は検出できなかった。



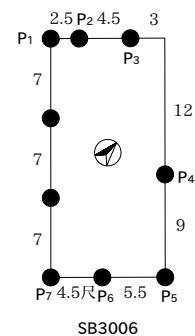
規模は桁行総長 5.40m (18 尺)、梁行総長 3.60m (12 尺)、心々部分の面積は 19.44m<sup>2</sup>。主軸方位は N - 33° - W を指す。柱間寸法は、桁行東側柱列では北側から 1 間目 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub>) が 2.10m (7 尺)、2 間目 (P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>)・3 間目 (P<sub>5</sub> - P<sub>6</sub>) が 1.65m (5.5 尺) 等間であるが、西側柱列は不明。梁行では両妻柱列 (P<sub>8</sub> - P<sub>7</sub>・P<sub>6</sub>) とともに 1.80m (6 尺) 等間である。

柱掘方は、略円形もしくは略方形を基本形とし、規模は長軸 40 ~ 52cm、確認面からの深さは 24 ~ 64cm を測る。P<sub>8</sub> の下位では柱材が確認され、樹種はトネリコ属と同定された。本遺構も SB3003・SB3004 と同様、「コ」の字状の区画内 (SD607 他) に配された建物と考えられる。

柱掘方の埋土中から須恵器無台杯と土師器長甕が出土している (図版 89)。

**SB3006** (図版 53、写真図版 12)

本遺構は 12G19・20・24・25、12H16・21・22、13G5、13H1・2・6 に位置し、前述の SB3005 と重複関係にあるが、直接的な切り合いでないため先後関係は不明である。平面形式は、桁行 3 間、梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物と考えられるが、東側柱列では一部のみの検出となった。また、北妻柱列では柱間が 3 間と推定される。



規模は桁行総長 6.30m (21 尺)、梁行総長は 3.00m (10 尺) を測り、心々部分での面積は 18.9m<sup>2</sup> となる。主軸方位は N - 41° - W。柱間寸法は、桁行東側柱列では北側から 1 間目 (北東隅 - P<sub>4</sub>) が 3.60m (12 尺)、2 間目 (P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>) が 2.70m (9 尺)、同西側柱列 (P<sub>1</sub> - P<sub>7</sub>) では 2.10m (7 尺) 等間となる。梁行北妻柱列では西側から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) が 0.75m (2.5 尺)、2 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 1.35m (4.5 尺)、3 間目 (P<sub>3</sub> - 北東隅) が 0.90m (3 尺) と推定される。南妻柱列では西側

から1間目(P<sub>7</sub>-P<sub>6</sub>)が1.35m(4.5尺)、2間目(P<sub>6</sub>-P<sub>5</sub>)が1.65m(5.5尺)となる。

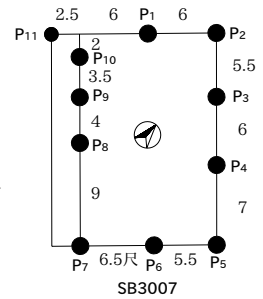
柱掘方は、略円形を呈し、長軸32~52cm、確認面からの深さは32~60cmを測る。

柱掘方の埋土中から土師器丸甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している(図版89)。

**SB3007** (図版54、写真図版12)

本遺構は13G20、13H11~13・16~18・21~23、14H2に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD970の順に構築される。平面形式は桁行3間、梁行2間を基本形とする壺掘りの側柱建物と考えられ、身舎の西側に廂が取り付く。但し、両側柱列との対応関係は悪い。

規模は桁行総長5.55m(18.5尺)、梁行3.60m(12尺)を測り、心々部分の面積は19.98m<sup>2</sup>、廂部分を加えると約24.14m<sup>2</sup>となる。主軸方位はN-40°-Wを指す。柱間寸法は、桁行東側柱列では北側から1間目(P<sub>2</sub>-P<sub>3</sub>)が1.65m(5.5尺)、2間目



(P<sub>3</sub>-P<sub>4</sub>)が1.80m(6尺)、3間目(P<sub>4</sub>-P<sub>5</sub>)が2.10m(7尺)となる。一方、西側柱列では北西隅が確認できず、対応関係が不揃いでP<sub>10</sub>は本遺構に組しない可能性もある。北側からみると1間目は判然としないが、2間目(P<sub>10</sub>-P<sub>9</sub>)が1.05m(3.5尺)、3間目(P<sub>9</sub>-P<sub>8</sub>)が1.20m(4尺)、4間目(P<sub>8</sub>-P<sub>7</sub>)が2.70m(9尺)となる。梁行北妻柱列では1.80m(6尺)等間と推定され、南妻柱列では西から1間目(P<sub>7</sub>-P<sub>6</sub>)が1.95m(6.5尺)、2間目(P<sub>6</sub>-P<sub>5</sub>)が1.65m(5.5尺)となる。廂部(P<sub>11</sub>)は、西側柱列の西0.75m(2.5尺)のところに設けられ、身舎部分の柱穴位置にほぼ対応する。

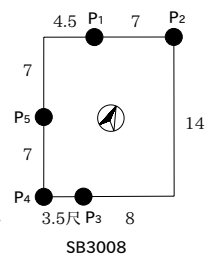
柱掘方は、略円形を基本形とする。規模は長軸28~44cm、確認面からの深さは22~65cmを測る。

柱掘方の埋土中から土師器長甕と鍋が出土している(図版89)。

**SB3008** (図版55)

本遺構は12F4・5・9・10・14・15・19・20、12G5・11に位置し、検出した5個のピットから掘立柱建物を抽出したもので不明瞭な部分が多い。平面形式は、検出状況から桁行2間、梁行2間の側柱建物と推定した。

規模は桁行総長4.20m(14尺)、梁行総長3.45m(11.5尺)、心々部分の面積は14.49m<sup>2</sup>。主軸方位はN-24°-Wを指す。柱間寸法は、桁行西側柱列では2.10m(7尺)等間と推定される。東側柱列は不明である。一方、梁行北妻柱列では北から1間目(北西隅-P<sub>1</sub>)が



1.35m(4.5尺)と推定され、2間目(P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>)が2.10m(7尺)となる。同南妻柱列では西側から1間目(P<sub>4</sub>-P<sub>3</sub>)が1.05m(3.5尺)、2間目が2.40m(8尺)とみられるが、両妻柱列間との対応関係は不揃いである。

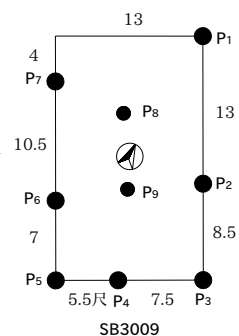
柱掘方は、概ね略円形を呈し、規模は長軸40~76cm、確認面からの深さは24~46cmを測る。

柱掘方の埋土中から黒色土器無台碗が出土した。

**SB3009** (図版55、写真図版12)

本遺構は12G21~24、13G1~4・7~10・13・14に位置する。遺構間の重複関係ではSK979・SD455・SD696・SD697・SD2056などにより柱穴の一部が壊される。平面形式は、桁行3間、梁行2間を基本形とする壺掘りの建物で、内側には床束と推定されるP<sub>8</sub>・P<sub>9</sub>が等間隔に配される。

規模は、桁行総長6.45m(21.5尺)、梁行総長3.90m(13尺)と推定され、心々部分の面積は25.16m<sup>2</sup>。主軸方位はN-39°-Wを指す。柱間寸法は、桁行東側柱列では北側から2番目の柱穴が欠損しているため判然としないが、3間目(P<sub>2</sub>-P<sub>3</sub>)は2.55m(8.5尺)を測る。西側柱列では北西隅が未確認であるため1間目は不明であるが、2間目(P<sub>7</sub>-P<sub>6</sub>)が3.15m(10.5尺)、3間目(P<sub>6</sub>-P<sub>5</sub>)が2.10m(7尺)を測る。梁行南妻柱列では西側から1間目(P<sub>5</sub>-P<sub>4</sub>)が1.65m(5.5尺)、2間目(P<sub>4</sub>-P<sub>3</sub>)が2.25m(7.5尺)を測る。北妻柱列は不明。



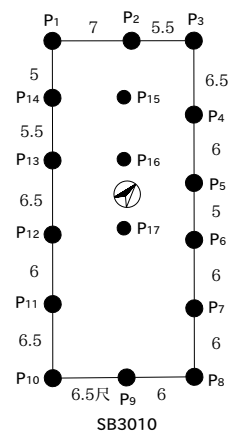
柱掘方は概ね略円形もしくは略方形を基本とし、規模は長軸 34 ~ 56cm、確認面からの深さは 25 ~ 64cm を測る。

柱掘方の埋土中から須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕などが出土している (図版 89)。

**SB3010** (図版 56、写真図版 12)

本遺構は 13F15・20、13G11・12・16 ~ 18・21 ~ 24、14G2 ~ 4・8 区に位置する。遺構間の重複関係では畝状小溝と考えられる SD402・SD403・SD938・SD2065 などにより一部が壊されるが、遺存状態は比較的良い。平面形式は、桁行 5 間、梁行 2 間を基本形とする壺掘りの建物と考えられ、身舎内側の棟中央には床束と推定されるピット (P15 ~ P17) が配される。

規模は、桁行総長 8.85m (29.5 尺)、梁行総長 3.75m (12.5 尺) を有し、心々部分の面積は 33.19m<sup>2</sup>。主軸方位は N - 40° - W を指す。柱間寸法は、桁行東側柱列では北から 1 間目 (P3 - P4) が 1.95m (6.5 尺)、2 間目 (P4 - P5) が 1.80m (6 尺)、3 間目 (P5 - P6) が 1.50m (5 尺)、4 間目 (P6 - P7)・5 間目 (P7 - P8) が 1.80m (6 尺) となる。同西側柱列では北側から 1 間目 (P1 - P14) が 1.50m (5 尺)、2 間目 (P14 - P13) が 1.65m (5.5 尺)、3 間目 (P13 - P12) が 1.95m (6.5 尺)、4 間目 (P12 - P11) が 1.80m (6 尺)、5 間目 (P11 - P10) が 1.95m (6.5 尺) を測る。梁行北妻柱列では西から 1 間目 (P1 - P2) が 2.10m (7 尺)、2 間目 (P2 - P3) が 1.65m (5.5 尺)、同南妻柱列では西側から 1 間目 (P10 - P9) が 1.95m (6.5 尺)、2 間目 (P9 - P8) が 1.80m (6 尺) を測る。



柱掘方は、概ね略円形と推定され、規模は長軸 40 ~ 74cm、確認面からの深さは 38 ~ 64cm を測る。P1・P9・P12・P14・P15 の下位では柱材が確認された。

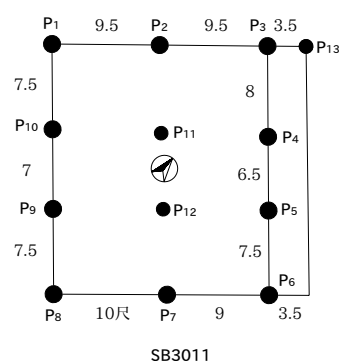
建物の区画施設と考えられる溝が東西面に配される。SD455 (東溝) と SD2061 (西溝) がこれに該当する。SD455 は幅 50 ~ 55cm、確認面からの深さは 36 ~ 41cm を測り、東側柱列の中央付近で途切れる。断面形は U 字状を呈し、覆土は褐灰色シルトを基質とする。西面の SD2061 は幅 70 ~ 95cm、確認面からの深さは 17 ~ 35cm を測り、断面形は U 字状を呈し、覆土は灰色シルトより構成される。また、建物の南側には目隠し塀と考えられる柵列が確認されている。

柱掘方の埋土中から須恵器無台杯・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀などが出土している。

**SB3011** (図版 57、写真図版 12)

本遺構は 14I9・10・13 ~ 15・17 ~ 20・22 ~ 25、15I3 ~ 5、14J11・16・21 に位置する。遺構間の重複関係では本遺構 → SD34・SD2221 → SK24 → SD12 の順に構築される。また、SB3013 の P4 と本遺構廂部 P16 が重なるが先後関係は不明である。平面形式は、桁行 3 間、梁行 2 間を基本形とする壺掘りの構造で、身舎の東側に廂が取り付く。また、身舎の内側には床束と推定される P11・P12 が等間隔に配される。

規模は、桁行総長 6.60m (22 尺)、梁行総長 5.70m (19 尺) を測り、心々部分の面積は 37.62m<sup>2</sup>、廂部分を加えると 44.55m<sup>2</sup> となる。主軸方位は N - 44° - W を指す。柱間寸法は、桁行東側柱列では北側から 1 間目 (P3 - P4) が 2.40m (8 尺)、2 間目 (P4 - P5) が 1.95m (6.5 尺)、3 間目 (P5 - P6) が 2.25m (7.5 尺)。同西側柱列では中央間 (P9 - P10) が 2.10m (7 尺)、両端間 (P1 - P10・P9 - P8) が 2.25m (7.5 尺)。梁行北妻柱列 (P1 - P2 - P3) では 2.85m (9.5 尺) 等間、南妻柱列では西側から 1 間目 (P8 - P7) が 3.00m (10 尺)、2 間目 (P7 - P6) が 2.70m (9 尺) となる。廂部 (P13) は東側柱列の東 1.05m (3.5 尺) の位置に設けられ、身舎部分の柱穴位置にはほぼ対応する。



柱掘方は、概ね略円形もしくは略方形を基本とし、規模は長軸 32 ~ 48cm、確認面からの深さは 32 ~ 44cm を測る。なお、P5・P6 の下位からは柱材の残片が検出された。



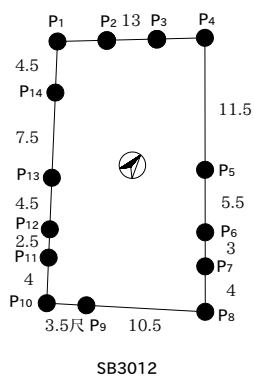
建物の区画施設と考えられる溝が東西および北側の三方から確認された。東側にはSD2290、西・北にはSD32がL字状に配されている。SD2290は幅34～84cm、確認面からの深さは10～20cm。SD32は幅36～90cm、確認面からの深さは10～20cmを測る。断面形はともにU字状を呈し、覆土は暗灰黄色シルトを主体とする。

柱掘方の埋土中から須恵器甕・横瓶、土師器無台碗・長甕、細形管状土錘などが出土している(図版134)。

**SB3012** (図版58、写真図版13)

本遺構は15I10・15、15J1・2・6～8・11～13・16～18・22に位置し、遺構間の先後関係ではSK18と重複関係にあり、柱穴の一部が失われていると考えられる。SB3013とも重複関係にあるが、直接的な切り合いでないため先後関係は不明である。平面形式は、桁行5間、梁行3間を基本形とする壺掘りの側柱建物と考えられる。

規模は、桁行総長6.90～7.20m(23～24尺)、梁行総長3.90～4.20m(13～14尺)、心々部分の面積は28.6m<sup>2</sup>。主軸方位はN-36°-Wを指す。柱間寸法は、桁行東側柱列では北側から2番目の柱穴が欠損した可能性があるため1・2間目は不明。3間目(P<sub>5</sub>-P<sub>6</sub>)は1.65m(5.5尺)、4間目(P<sub>6</sub>-P<sub>7</sub>)は0.9m(3尺)、5間目(P<sub>7</sub>-P<sub>8</sub>)は1.20m(4尺)。同西側柱では北側から1間目(P<sub>1</sub>-P<sub>14</sub>)が1.35m(4.5尺)、2



間目(P<sub>14</sub>-P<sub>13</sub>)が2.25m(7.5尺)、3間目(P<sub>13</sub>-P<sub>12</sub>)が1.35m(4.5尺)、4間目(P<sub>12</sub>-P<sub>11</sub>)が0.75m(2.5尺)、5間目(P<sub>11</sub>-P<sub>10</sub>)が1.20m(4尺)となる。梁行北妻柱列(P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>-P<sub>3</sub>-P<sub>4</sub>)では3.90m(13尺)を三ツ割とし、同南妻柱列では西から1間目(P<sub>10</sub>-P<sub>9</sub>)が1.05m(3.5尺)、2・3間目はSK18により壊されているため不明であるが、P<sub>9</sub>-P<sub>8</sub>間では3.15m(10.5尺)を測る。

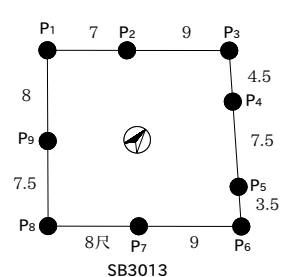
柱掘方は、略円形ないし略方形を基本形とする。規模は長軸30～42cm、確認面からの深さは22～60cmを測る。

区画施設と考えられる溝は、L字状に配されたSD422と、それぞれ単独に配されたSD15・SD34の2条の溝によって四角く区画されている。SD15・SD34は両端が一部途切れている。その一つ東溝(SD15)は、幅35～60cm、確認面からの深さは10～25cmを測り、断面形はU字状ないし逆台形状を呈する。北溝(SD34)は、幅25～50cm、確認面からの深さは10～20cmを測り、断面形は概ねU字状を呈する。西および南側に配された溝(SD422)は、幅26～65cm、確認面からの深さは10～24cm。断面形は概ねU字状を呈し、覆土はともに灰色シルトおよび灰黄色シルトを主体とする。

柱掘方の埋土中から須恵器甕・横瓶、土師器無台碗・鍋などが出土している。

**SB3013** (図版58、写真図版13)

本遺構は14J24・25、14J16・17・21・22、15J1・2・5に位置する。遺構間の重複関係では、本遺構→SK24・SD2221の順に構築される。SB3012と重複関係にあるが、直接的な切り合いでないため先後関係は不明である。また、SB3011の廂部P<sub>16</sub>と本遺構P<sub>4</sub>が交差するが先後関係は不明。平面形式は、桁行・梁行2間を基本形とする壺掘りの側柱建物と考えられるが、梁行東妻柱列は3間となる。



規模は桁行総長4.80～5.10m(16～17尺)、梁行総長4.65m(15.5尺)を測り、桁行の南側柱列が若干長い。心々部分の面積は約23.05m<sup>2</sup>、主軸方位はN-50°-Eを指す。柱間寸法は、桁行北側柱列では西から1間目(P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>)が2.10m(7尺)、2間目(P<sub>2</sub>-P<sub>3</sub>)が2.70m(9尺)を測る。同南側柱列では西側から1間目(P<sub>8</sub>-P<sub>7</sub>)が2.40m(8尺)、2間目(P<sub>7</sub>-P<sub>6</sub>)が2.70m(9尺)。梁行西妻柱列では北側から1間目(P<sub>1</sub>-P<sub>9</sub>)2.40m(8尺)、2間目(P<sub>9</sub>-P<sub>8</sub>)が2.25m(7.5尺)。

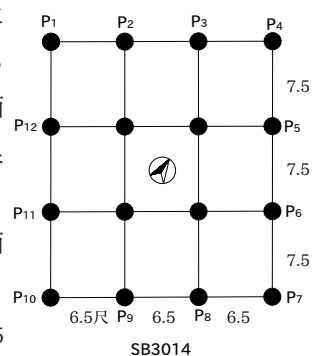
東妻柱列では北側から1間(P<sub>3</sub>-P<sub>4</sub>)が1.35m(4.5尺)、2間目(P<sub>4</sub>-P<sub>5</sub>)が2.25m(7.5尺)、3間目(P<sub>5</sub>-P<sub>6</sub>)が1.05m(3.5尺)を測る。

柱掘方は、概ね略円形を呈し、規模は長軸22～52cm、確認面からの深さは20～50cmを測る。

柱掘方の埋土中から須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・非ロクロケズリ甕などが出土している（図版 89）。

**SB3014**（図版 59、写真図版 5・13）

本遺構は 15H15・20、15I7・8・11～14・16～19・21～24、16I2・3 に位置する。遺構間の重複関係では、SK290・SK424 や畝状小溝と考えられる SD291・SD1127・SD2240 などと重複関係にあり、一部が壊されている。平面形式は、桁行 3 間、梁行 3 間を基本形とする壺掘りの総柱建物で、遺存状態も良好である。



規模は、桁行総長 6.75m（22.5 尺）、梁行総長 5.85m（19.5 尺）、心々部分の面積は 39.49m<sup>2</sup>。主軸方位は N - 31° - W を指す。柱間寸法は、桁行（P1 - P12、P12 - P11、P11 - P10）（P4 - P5、P5 - P6、P6 - P7）では両側柱列とも 2.25m（7.5

尺）等間、梁行（P1 - P2、P2 - P3、P3 - P4）（P10 - P9、P9 - P8、P8 - P7）では両妻柱列とも 1.95m（6.5 尺）等間となる。

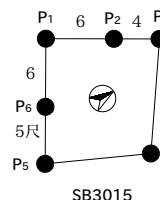
柱掘方は、概ね略方形を基本形とし、規模は長軸 55～110cm、確認面からの深さは 40～64cm を測る。なお、P13 から柱材の残片が検出された。

本遺構の区画施設と考えられる溝（SD421・SD2244）は、建物の南と南東側を除く三方に配される。南側には目隠し塀と推定される柵列（SA3051）が構築されている。溝は幅 40～90cm、確認面からの深さは 15～30cm を測る。断面形は概ね U 字状を呈し、覆土は黒褐色シルトを基質とする。

柱掘方の埋土中から須恵器無台杯・有台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・細形管状土錘などが出土している（図版 89・134）。

**SB3015**（図版 60）

本遺構は 14H21・22、15H1～3・6・7 に位置する。遺構間の重複関係では SD2240・SD2241 と重複関係にあり、一部で削平の影響を受けている。平面形式は、桁行 2 間、梁行 2 間を基本形とする壺掘りの建物と考えられるが、桁行・梁行とも歪みがみられる。西側柱列をもとに主軸方位を求めると、N - 50° - W を指す。



規模は、桁行総長 3.00～3.30m（10～11 尺）、梁行総長 2.80～3.00m（9.5～10 尺）を測り、心々部分の面積は約 9.16m<sup>2</sup> を測る。柱間寸法は、桁行西側柱列では北側から 1 間目（P1 - P6）が 1.80m（6 尺）、2 間目（P6 - P5）が 1.50m（5 尺）、同東側柱列間は不明。梁行北妻柱列では西側から 1 間目（P1 - P2）が 1.80m（6 尺）、2 間目（P2 - P3）が 1.20m（4 尺）。同南妻柱列間は約 2.8m を測るが柱間寸法は不明。

柱掘方は、略円形ないし略方形を基本とする。規模は長軸 24～28cm、確認面からの深さは 16～64cm を測り、深度にばらつきがみられる。なお、本遺構から遺物は出土していない。

**SB3016**（図版 61、写真図版 5）

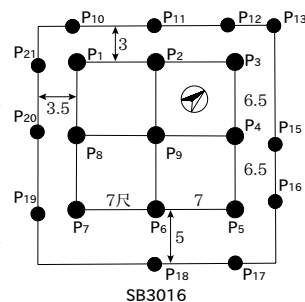
本遺構は 16K5・9・10・14・15・19・20・25、16L1・6・7・11～13・16・17・21 に位置する。溝 SD2101 と本遺構の廂部分（P10・P11）は重複関係にあるが、SD2101 を本遺構の区画施設と考えると両者は同時の構築と推定される。平面形式は、桁行・梁行 2 間を基本形とする身舎の四面に廂が取り付く、四面廂付建物と考えられる。

規模は、桁行総長 4.20m（14 尺）、梁行総長 3.90m（13 尺）を測り、心々部分の面積は 16.38m<sup>2</sup> を有し、廂部分を加えると 39.69m<sup>2</sup>。主軸方位は N - 38° - E。柱間寸法は、桁行（P7 - P6、P6 - P5）では 2.10m（7 尺）等間、梁行（P3 - P4、P4 - P5）では 1.95m（6.5 尺）等間となる。廂は桁行両柱列側では東西に 1.05m（3.5 尺）、梁行妻柱列側では北に 0.9m（3 尺）、南に 1.50m（5 尺）の位置に設けられ、東西隅と南隅の柱穴は未確認であ

るが、身舎部分の柱穴位置にほぼ対応する。

身舎の柱掘方は、概ね略方形を基本形とし、長軸 55 ～ 110cm、確認面長軸 55 ～ 110cm、確認面からの深さは 40 ～ 64cm を測る。一方、廂部の柱掘方は総じて小さく浅いものであった。なお、P<sub>4</sub>・P<sub>8</sub> の下位からは柱材残片が出土した。

本遺構の区画施設と考えられる溝 (SD2101) は「コ」の字状に配され、口は南側に開く。溝は幅 60 ～ 110cm を測り、確認面からの深さは平均 20 ～ 30cm を有する。断面形は台形状を呈し、覆土は黄灰色～黒褐色シルトを基質とする。

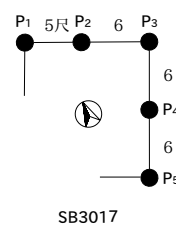


柱掘方の埋土中から須恵器杯蓋、土師器長甕・鍋、黒色土器無台碗などが出土している (図版 89)。

**SB3017** (図版 60、写真図版 13)

本遺構は 17I11 ～ 13・16 ～ 18・22 に位置する。検出された柱穴は 5 基のみで、不明瞭な部分が多いが、積極的に掘立柱建物として抽出した。平面形式は、桁行・梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物と考えられるが、桁行が南側に延びる可能性もある。

規模は、桁行総長 3.60m (12 尺)、梁行総長 3.30m (11 尺)、心々部分の面積は 11.88m<sup>2</sup> を測る。主軸方位は、N - 23° - E。柱間寸法は、桁行東側柱列 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>) では 1.80m (6 尺) 等間、同西側柱列では不明。梁行北妻柱列では、西側から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) が 1.50m (5 尺)、2 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 1.80m (6 尺) となるが、南妻柱列は不明。



柱掘方は、概ね略円形を基本形とし、規模は長軸 32 ～ 44cm、確認面からの深さ 32 ～ 56cm を測り、覆土は黄灰シルトを基質とする。

柱掘方の埋土中から須恵器無台杯と土師器長甕が出土している (図版 89)。

**SB3018** (図版 62、写真図版 13)

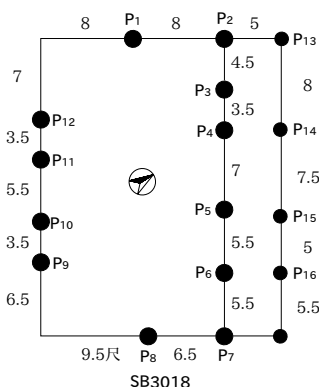
本遺構は 16M13・17 ～ 25、16N21、17M1 ～ 5・7 ～ 11・14、17N01 に位置する。遺構間の重複関係では、SD1901 → 本遺構 → SK2465・SD1902・SD1927 の順に構築される。SB3019・SB3022 と重複関係にあるが、直接的な切り合いでないため先後関係は不明。但し、本遺構の区画施設と考えられる SD1700 が SB3019 に切られていることから本遺構 → SD1700 の関係が成り立つ。平面形式は、桁行 5 間、梁行 2 間を基本形とする身舎の東に廂が取り付く東片廂建物と考えられるが、西側柱列両端部の柱穴は未確認である。

規模は、桁行総長 7.80m (26 尺)、梁行総長 4.80m (16 尺)、心々部分の面積は 37.44m<sup>2</sup>、廂部分を加えると 49.14m<sup>2</sup>。主軸方位は N - 54° - W を指す。柱間寸法は、桁行東側柱列では、北側から 1 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 1.35m (4.5 尺)、2 間目 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub>) が 1.05m (3.5 尺)、3 間目 (P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>) が 2.10m (7 尺)、4・5 間目 (P<sub>5</sub> - P<sub>6</sub> - P<sub>7</sub>) が 1.65m (5.5 尺) 等間となる。西側柱列では北側から 1 間目は 2.10m (7 尺) と推定され、2 間目 (P<sub>12</sub> - P<sub>11</sub>) が 1.05m (3.5 尺)、3 間目 (P<sub>11</sub> - P<sub>10</sub>) が 1.65m (5.5 尺)、4 間目 (P<sub>10</sub> - P<sub>9</sub>) が 1.05m (3.5 尺)、5 間目は概ね 1.95m (6.5 尺) と推定される。梁行北妻柱列 (北西隅 - P<sub>1</sub>、P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) では 2.40m (8 尺) 等間と考えられ、妻中央に収まるとみられる。南妻柱列では西側から 1 間目 (南西隅 - P<sub>8</sub>) が 2.85m (9.5 尺) と推定、2 間目 (P<sub>8</sub> - P<sub>7</sub>) は 1.95m (6.5 尺) となる。廂部は東側柱列の東 1.50m (5 尺) の位置に設けられ、身舎部の柱穴位置にほぼ対応している。

柱掘方は、略方形もしくは楕円形を基本形とし、規模は長軸 35 ～ 72cm、確認面からの深さは 25 ～ 72cm を測り、覆土は黄灰シルトを基質とする。

本遺構の区画施設と考えられる溝 (SD1700) は、建物の北西側には L 字状に配されている。溝幅は 45 ～ 130cm、確認面からの深さは平均 30cm である。断面形は浅い逆台形状を呈し、覆土は灰黄色～黒褐色シルトを基質とする。

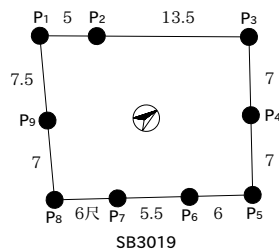
柱掘方の埋土中から須恵器無台杯・杯蓋・長頸壺・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・非口クロケズリ甕、細形管状土鍾などが出土している (図



版 90・134)。

**SB3019** (図版 63、写真図版 13)

本遺構は 16M24・25、17M4・5・8～10・14・15、17N1・6 に位置する。とくに遺構間の先後関係では溝との重複が複雑であり、SD1700・SD1903 → SD1918 → SD1901 → SD1927・SD1928 → SD1902 → 本遺構 → SK1958・SD509・SD1929 の順に構築される。また、SB3018・SB3022 とも重複関係にあるが、直接的な切り合いではないため先後関係は不明。但し、本遺構が SB3018 の区画施設と考えられる SD1700 を切っていることから、SB3018 → 本遺構の関係が成り立つ。平面形式は、桁行 3 間、梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物と推定されるが、北側柱列の南側から 3 番目の柱穴は SD1929 との重複によって欠損したと考えられる。また、微妙に歪みがみられる。



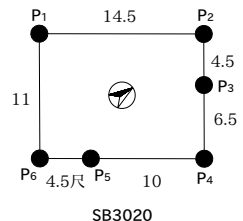
規模は、桁行総長 5.25～5.55m (17.5～18.5 尺)、梁行総長 4.20～4.35m (14～14.5 尺) を測り、心々部分の面積は 23.1m<sup>2</sup> となる。主軸方位は N - 54° - W を指す。柱間寸法は、桁行西側柱列では南側から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) が 1.50m (5 尺)、2・3 間目は不明であるが両間距離 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) は 4.05m (13.5 尺)。同東側柱列では中央間 (P<sub>6</sub> - P<sub>7</sub>) が 1.65m (5.5 尺) 両端間 (P<sub>5</sub> - P<sub>6</sub>、P<sub>7</sub> - P<sub>8</sub>) が 1.80m (6 尺) となる。梁行南妻柱列では西側から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>9</sub>) が 2.25m (7.5 尺)、2 間目 (P<sub>9</sub> - P<sub>8</sub>) が 2.10m (7 尺)。同北妻柱列 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>) では 2.10m (7 尺) 等間と考えられ、概ね妻中央に収まるとみられる。

柱掘方は、略円形を基本形とする。規模は長軸 25～40cm、確認面からの深さは 25～64cm を測る。

柱掘方の埋土中から土師器長甕が出土している。

**SB3020** (図版 63、写真図版 13)

本遺構は 17N7～9・11～13・17・18 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構 → SD1912 の順に構築される。また、SB3022 とも重複関係にあるが、直接的な切り合いではないため先後関係は不明。平面形式は、桁行・梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物と考えられるが、未確認の柱穴も存在する。



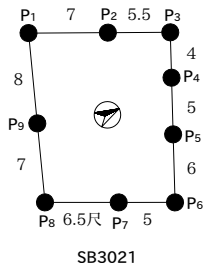
規模は、桁行総長 4.35m (14.5 尺)、梁行総長 3.30m (11 尺)、心々部分の面積は 14.36m<sup>2</sup>。主軸方位は N - 34° - E を指す。柱間寸法は、東側柱列では北側から 1 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 1.35m (4.5 尺)、2 間目 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub>) が 3.00m (6.5 尺)。西側柱列は未確認のため不明。梁行北妻柱列では西側から 1 間目 (P<sub>6</sub> - P<sub>5</sub>) が 1.35m (4.5 尺)、2 間目 (P<sub>5</sub> - P<sub>4</sub>) が 1.95m (10 尺) を測るが、同南妻柱列では不明。

柱掘方は、概ね略円形を基本形とする。規模は長軸 15～25cm、確認面からの深さは 15～32cm を測る。

柱掘方の埋土中から須恵器無台杯と同甕が出土している (図版 90)。

**SB3021** (図版 64、写真図版 13)

本遺構は 17N9・10・14・15・19・20、17O6・11・21 に位置し、遺構間の重複関係では SD1903・SD1904・SD1908・SD1913 → SD2402 → 本遺構 の順に構築され、溝との先後関係が複雑となっている。平面形式は、桁行 3 間、梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物とみられるが、桁行南側柱列では 2 間となり、両側柱列との対応関係は悪い。



規模は、桁行総長 4.50m (15 尺)、梁行総長 3.45～3.75m (11.5～12.5 尺) を測り、梁行では北妻柱列が長い。心々部分の面積は 16.2m<sup>2</sup>、主軸方位は N - 64° - W を指す。柱間寸法は、桁行北側柱列では北側から 1 間目 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub>) が 1.20m (4 尺)、2 間目 (P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>) が 1.50m (5 尺)、3 間目 (P<sub>5</sub> - P<sub>6</sub>) が 1.80m (6 尺) を測り、南側柱列では北から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>9</sub>) が 2.40m (8 尺)、2 間目 (P<sub>9</sub> - P<sub>8</sub>) が 2.10m (7 尺) となる。梁行西妻柱列では南側から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) が 2.10m (7 尺)、2 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 1.65m (5.5 尺) を測り、同東妻柱列では南側から 1 間目 (P<sub>8</sub> - P<sub>7</sub>) が 1.95m (6.5 尺)、2 間目 (P<sub>7</sub> - P<sub>6</sub>) が 1.50m (5 尺) となる。

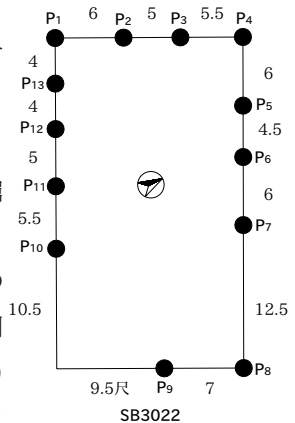


柱掘方は、概ね略円形を基本形とする。規模は長軸 24～48cm、確認面からの深さは 25～40cm を測る。柱掘方の埋土中から須恵器無台杯と土師器非ロクロケズリ甕が出土している。

**SB3022** (図版 65、写真図版 13)

本遺構は 16N16・17・21～24、17M5・10、17N1～10・12～14 に位置する。遺構間の重複関係では、SD1802・SD1902・SD1903・SD1904・SD1905・SD2402 →本遺構の順に構築され、SB3021 と同様に溝との先後関係が複雑となっている。平面形式は、桁行では 5 間ないし 6 間、梁行では 3 間を基本形とする壺掘りの側柱建物と考えられるが、未検出の箇所もあり、詳細は不明である。

規模は、桁行総長 8.70m (29 尺)、梁行総長 4.95m (16.5 尺) を測り、心々部分の面積は 43.065m<sup>2</sup>、主軸方位は N - 62° - W を指す。柱間寸法は、桁行南側柱列では西側から 1・2 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>13</sub> - P<sub>12</sub>) が 1.20m (4 尺) 等間、3 間目 (P<sub>12</sub> - P<sub>11</sub>) は 1.50m (5 尺)、4 間目 (P<sub>11</sub> - P<sub>10</sub>) が 1.65m (5.5 尺)、5 間目は柱穴が未検出のため不明。但し、P<sub>10</sub>・南西隅間の距離は 3.15m (10.5 尺) を測る。同北側柱列では西側から 1 間目 (P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>) が 1.80m (6 尺)、2 間目 (P<sub>5</sub> - P<sub>6</sub>) が 1.35m (4.5 尺)、3 間目 (P<sub>6</sub> - P<sub>7</sub>) が 1.80m (6 尺) を測るが、4・5 間目 (P<sub>7</sub> - P<sub>8</sub>) は不明。但し、P<sub>7</sub>・P<sub>8</sub> 間は 3.75m (12.5 尺) を測る。梁行西妻柱列では南側から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) が 1.80m (6 尺)、2 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 1.50m (5 尺)、3 間目 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub>) が 1.65m (5.5 尺) となる。東妻柱列では南西隅が未検出のため 1・2 間目の柱間寸法は不明であるが、南隅 - P<sub>9</sub> 間の距離は 2.85m (9.5 尺) を測る。2 間目 (P<sub>9</sub> - P<sub>8</sub>) は 2.10m (7 尺) となる。



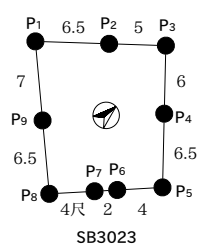
柱掘方は、概ね略円形を基本形とする。規模は長軸 20～32cm、確認面からの深さは 25～72cm を測り、覆土は灰黄色シルトを基質とする。

柱掘方の埋土中から須恵器無台杯・有台杯・長頸壺、土師器長甕・非ロクロケズリ甕などが出土している(図版 90)。

**SB3023** (図版 66)

本遺構は 18P8・9・12～15・18・19 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD1506・SD1801・SD1833 の順に構築される。平面形式は、桁行・梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物と考えられるが、南妻柱列は 3 間となり、その中央間のみ布掘り(溝持ち)となっている。

規模は、桁行総長 3.75～4.05m (12.5～13.5 尺)、梁行総長 3.00～3.45m (10～11.5 尺) を測り全体に歪む。心々部分の面積は 13.72m<sup>2</sup>。主軸方位は、東側柱列を基準に示すと N - 46° - W を指す。柱間寸法は、桁行東側柱列では北から 1 間目 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub>) が 1.80m (6 尺)、2 間目 (P<sub>4</sub> - P<sub>5</sub>) が 1.95m (6.5 尺) を測り、西側柱列では北から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>9</sub>) が 2.10m (7 尺)、2 間目 (P<sub>9</sub> - P<sub>8</sub>) が 1.95m (6.5 尺) を測る。梁行北妻柱列では、南から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) が 1.95m (6.5 尺)、2 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 1.50m (5 尺)。同南妻柱列では中央間 (P<sub>6</sub> - P<sub>7</sub>) が 0.60m (2 尺)、両端間 (P<sub>5</sub> - P<sub>6</sub>、P<sub>7</sub> - P<sub>8</sub>) は 1.20m (4 尺) を測る。



柱掘方は、概ね略方形を基本形とする。規模は長軸 40～65cm、確認面からの深さは 50～72cm を測り、覆土は黄灰色～灰黄色シルトを基質とする。なお、P<sub>4</sub>・P<sub>9</sub> から柱材の残片が検出された。

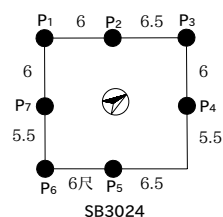
本遺構から遺物は出土していない。

**SB3024** (図版 64、写真図版 13)

本遺構は 17M5、18M5、17N16・17・21～23、18N1・2 に位置する。遺構間の重複関係では本遺構→SD1914 →SD1901・SD2463、SD1700 の順に構築され、東隅の柱穴は SD1901 もしくは SD1914 により壊された可能性が高い。平面形式は、桁行・梁行 2 間を基本形とする壺掘りの側柱建物とみられる。

規模は、桁行総長 3.75m (12.5 尺)、梁行総長 3.45m (11.5 尺)、心々部分の面積は 12.94m<sup>2</sup>、主軸方位は

N - 36° - E を指す。柱間寸法は桁行西側柱列では南側から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>2</sub>) が 1.80m (6 尺) 2 間目 (P<sub>2</sub> - P<sub>3</sub>) が 1.95m (6.5 尺)、同東側柱列では南側から 1 間目 (P<sub>6</sub> - P<sub>5</sub>) が 1.80m (6 尺)、2 間目の柱間寸法は欠損のため不明であるが P<sub>5</sub> - 東隅間の距離は 1.95m (6.5 尺) を測り、両側柱列との対応関係は良好とみられる。梁行南妻柱列では、西側から 1 間目 (P<sub>1</sub> - P<sub>7</sub>) が 1.80m (6 尺)、2 間目 (P<sub>7</sub> - P<sub>6</sub>) が 1.65m (5.5 尺)、北妻柱列では西側から 1 間目 (P<sub>3</sub> - P<sub>4</sub>) が 1.80m (6 尺)、2 間目の柱間寸法は欠損のため不明。なお、P<sub>4</sub> - 東隅の距離は 1.65m (5.5 尺) を測り、両者の対応関係を良好といえよう。



柱掘方は、概ね略円形を基本形とする。規模は長軸 35 ~ 56cm、確認面からの深さは 25 ~ 64cm を測る。覆土は黒褐色～灰黄色シルトを基質とする。P<sub>2</sub>・P<sub>3</sub>・P<sub>5</sub>・P<sub>6</sub> の下位で柱材が確認された。

柱掘方の埋土中から土師器無台碗と長甕が出土している。

## 2) ピ ッ ト (P)

掘立柱建物の柱掘方の平面規模を基準として、土坑よりも総じて小さく、人為的に掘削されたと思われる単独の小穴をピットとして扱った。この結果、本遺跡でピットとした遺構は 1657 個を数える。これらのピットも多数の遺構が検出された微高地上に分布しており、古代の所産と推定される遺構群の分布範囲と重なっている。とくに掘立柱建物の周辺において顕著に認められた。平面形は、概ね略円形ないし楕円形のもものが主体であるが、方形のものも含まれている。規模は長軸 15cm 内外のものから、70 ~ 80cm のものまで様々である。断面形は U 字状や逆台形を呈するものが主体であるが、漏斗状に開くもの、途中に段をもつもの、底部に凹みをもつものなど、多種多様であった。検出されたピットの中には、掘立柱建物の柱掘方や構築時の足場穴、また柵列なども含まれていたと考えられるが、遺構間の重複や攪乱などの影響によって捉え切れなかったものも少なからずある。事実これらの中には、柱材や柱痕跡などが確認されたピットもある。

ピット出土の遺物が全体に少ないことから時期を特定することは難しいが、遺構間の重複関係から整理すると、概して溝より新しいピットは径 10 ~ 15cm ほどの小さなものが主体で、調査区の南東側で多く確認された。覆土は黒褐色シルトを基質とし、遺物はほとんど伴わない。耕作などに関連する遺構の可能性も考えられるが、詳細は不明である。一方、溝より古いものは、遺構密度の低い南西側や北東側を除けば調査区のほぼ全域で検出された。小さなピットも多くあるが、掘立柱建物の柱掘方と同等なものも多く含まれている。掘立柱建物との先後関係では、古いものも新しいものも存在していたが、両者の関連を捉えるところまでには至らなかった。

ピットはプラン確認後、断ち割り調査を実施した。その断面観察の結果、柱材や柱痕跡などが 111 個のピットで確認され、柱材が検出されたピットについては遺構全体図/割図 (1/100) の中にスクリーントーンで示した。また、遺構面からの深度を遺構全体図/割図 (1/100) 内に表記した。

遺物はほとんど検出されなかったが、須恵器、土師器、黒色土器、土錘、柱材などの資料が図示し得た。掲載遺物が出土したピットは 41 個を数える。これらのピットについては出土位置を遺構全体図/割図 (1/100) 内に示した。

掲載資料および図示し得なかった遺物の大半は小破片であったが、掲載資料の中には完形品に近い製品なども含まれている (P180・621・630・1300・2673)。また、須恵器無台杯・無台碗の体部外面もしくは底部外面に「大」・「足」・「丹」・「善」・「久」「一王」などの墨書資料も出土している。

最後に掲載遺物が出土したピットを以下に示す。

P17・19・25・72・180・194・255・288・300・319・326・343・387・437・621・630・633・647・712・800・920・988・1056・1158・1263・1297・1300・1316・1412・1514・1516・1570・1597・1625・1635・1662・1959・1994・2028・2343・2453・2600・2673・2740・2762・2778 (図版 90・91・92・134・141)。

### 3) 柵 列 (SA)

SB3014の南妻柱列と併行関係にあるピット列を建物の柵列として説明する。明瞭に捉えられたものは、以下に示すSA3051の1例のみであるが、掘立柱建物の周囲で確認されたピットの中にも目隠し塀や区画塀などの同類の遺構があったとみてよかろう。なお、遺構図面はSB3014との関連を示すためにSB3014の遺構個別実測図の中に掲載した。

#### SA3051 (図版 59、写真図版 5)

本遺構は、SB3014の南妻柱列側に配されたピット列(P<sub>1</sub>～P<sub>5</sub>)を同建物の南面を画する区画施設と考えた。柵列としたピット列は南妻柱列の南に2.10m(7尺)の距離を置いて配されている。ピット列は5穴確認され、長さは8.70m(29尺)を測り、南妻柱列と併行して並ぶ。それぞれの柱穴間は、P<sub>1</sub>－P<sub>2</sub>間が2.40m(8尺)、P<sub>2</sub>－P<sub>3</sub>間が1.80m(6尺)、P<sub>3</sub>－P<sub>4</sub>間が2.70m(9尺)、P<sub>4</sub>－P<sub>5</sub>間が1.80m(6尺)である。

各ピットは概ね略方形を基本形とし、規模は長軸45～60cm、確認面からの深さは20～62cmで、断面形はU字状を呈する。覆土は灰黄色シルトを基質とし、P<sub>5</sub>の下位で柱材が確認された。なお、遺物は出土していない。

### 4) 井 戸 (SE)

今次調査で検出された井戸は計21基で、いずれも基本土層の第IV層から確認されている。これらの多くは、概ね旧河川に沿うような形で検出されたが、13F・14F・14G付近でも密集度は高かった。また、3mを超す大形の井戸も調査区の南東側で数基確認された。井戸の時期は、畝状遺構の構築時期を境に大きく二分され、新しい時期のものは調査区南東側に分布している大形の井戸が該当する。一方、古い時期のものは掘立柱建物が出現したV期を初現として、概ねVI 2～3期までの所産と推定される。井戸には素掘りの形態のものと、井戸枠を有する形態の二者があったが、井戸枠が確認されなかったものについても規模や形状、深度などから井戸として扱ったものもある。但し、深度の浅いものに関しては溜井としての性格も考えられる。

#### SE2 (図版 67、写真図版 13)

本遺構は15K12・13・17・18に位置する素掘りの構造で、旧河川沿いで確認された。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸1.39m、短軸1.30m、確認面からの深さは1.17m、底面標高は－2.15mを測る。井戸の断面形は概ね逆台形状を呈し、壁は中腹より開きぎみに立ち上がる。覆土は主に黄灰色粘質土や褐灰色シルトから構成され、炭化物粒子を多く含む。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋・甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕、鉄製刀子、木製部材などが出土している(図版92・142)。

#### SE4 (図版 67、写真図版 13・14)

本遺構は15K1・2・6・7に位置する素掘りの構造で、旧河川沿いで確認された。遺構間の重複関係では階段状施設→本遺構の順で構築される。平面形は円形を呈し、規模は径1.50m前後、確認面からの深さは1.35mで、底面標高は－2.50mを測る。断面形は箱形を呈し、壁面はほぼ垂直に立ち上がる。覆土は層下位より灰色シルト→褐灰色シルト→黒褐色粘質土の順に堆積し、炭化物粒子を多く含む。覆土中から須恵器無台杯・甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋などが出土している。

#### SE9 (図版 67、写真図版 14)

本遺構は14I5・10区に位置する素掘りの構造で、旧河川沿いで確認された。遺構間の重複関係ではSD2274→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は隅丸方形を呈し、規模は径1.35m前後、確認面からの深さは1.34m、底面標高は－2.30mを測る。断面形は箱形を呈し、覆土は灰色シルト→褐灰色シルト→黒褐色粘質土の順に堆積し、塊状の酸化鉄や炭化物粒子を多く含む。なお、遺物は出土していない。

#### SE77 (図版 67、写真図版 14)

本遺構は13H15・20に位置する素掘りの井戸で、旧河川沿いで確認された。遺構間の重複関係では本遺構

→SD80→SD12の順で構築される。平面形は略円形を呈し、規模は長軸1.48m、短軸1.38mを測る。確認面から深さ約1.6m付近で水が湧いたため井戸底までは検出していない。断面形は箱形を呈し、壁面は開きぎみに立ち上がる。覆土は層下位より黄灰色シルト→灰色シルト→褐灰色シルト→灰色シルトの順に堆積している。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋・甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、自然木などが出土している（図版93）。

#### SE347（図版67、写真図版14）

本遺構は9D25、9E21に位置し、遺構間の重複関係ではSD1086→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は不整形で、西壁がやや歪む。規模は長軸1.72m、短軸1.38mを測り、確認面からの深さは1.25m、底面標高は-2.27mを測る。断面形は漏斗状を呈し、杵材は検出していないが、土層断面に井戸杵と考えられる土色差が確認された。井戸杵内の覆土は、層下位より青灰色シルト→灰黄色シルト→黄灰色シルト→黒褐色シルトの順で堆積し、各層とも炭化物粒子を少量含む。裏込め部分には層下位より青灰色シルト→暗灰黄色シルトの順で充填される。井戸杵内から須恵器無台杯・長頸壺・短頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕などが出土している（図版93）。

#### SE510（図版67、写真図版14・15）

本遺構は20Q14を中心に位置する素掘りの井戸である。遺構間の重複関係では、SD1349・SD1350・SD1512→本遺構→P518・P519の順で構築される。平面形は不整形を呈し、開口部は大きい井戸底は小さい。規模は長軸2.05m、短軸1.70mを測り、深さは確認面から1.15m、底面標高は-1.96mを測る。断面形は漏斗状を呈し、開口部付近で大きく開く。覆土は層下位より灰色シルト→灰黄褐色シルト→黄灰色シルト→灰黄褐色シルト→褐灰色シルト→黒褐色シルトの順で堆積している。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋、木杭などが出土している（図版93・142）。

#### SE521（図版68、写真図版15）

本遺構は19Q15・16を中心に位置する素掘りの井戸である。遺構間の重複関係ではSD1341・SD1350・SD2913・SD2930→本遺構の順で構築される。平面形は略円形と考えられるが四隅がやや張り出している。規模は長軸2.32m、短軸2.05m、確認面からの深さは1.60mで、底面標高は-2.47mを測る。断面形は漏斗状を呈し、開口部で大きく開く。覆土は6層に区分されるが、大きくは層下位より灰色シルト→灰黄褐色粘質シルト→黒褐色粘質シルトの順で堆積している。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器無台碗・長甕・佐渡型甕などが出土している（図版93）。

#### SE602（図版68、写真図版15）

本遺構は10F4・5・9・10に位置する素掘りの井戸である。遺構間の重複関係では本遺構→SD601の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.60m、短軸1.35m、確認面からの深さは1.12m、底面標高は-2.06mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は主に緑灰色シルトやオリーブ灰色シルト、灰色シルトなどから構成され、層中位を中心に炭化物粒子の出土が目立った。覆土中から須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、木製品、軽石製品などが出土している（図版93・136・142）。

#### SE708（図版68、写真図版15・16）

本遺構は18N15・20を中心に位置する。遺構間の重複関係では、SD1996・SD2477～SD2479→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸3.00m、短軸2.80mを測る大形の井戸である。確認面からの深さは2.04m、底面標高は-2.84mを測る。断面形は漏斗状を呈し、土層断面に井戸杵と考えられる土色差が確認された。井戸杵内の覆土は、層下位より灰褐色シルト→黒褐色シルト→褐灰色シルト→黒褐色シルト→オリーブ黒色シルト→暗褐色シルトの順で堆積し、層下位を中心に炭化物粒子を多く含む。また、裏込め部分には灰褐色シルト小塊が充填される。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・甕、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋、黒色土器無台碗、細形管状土錘、木製祭祀具・部材・蓋板・杭などが出土している（図版94・142）。



SE811 (図版 68、写真図版 16)

本遺構は 11F24・25、12F3・4 に位置する素掘りの井戸である。遺構間の重複関係では SD673 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 1.65m、短軸 1.58m、深さは 0.88m と比較的浅く、底面標高は - 1.78m を測る。断面形は逆台形を呈し、覆土は層下位より緑灰色シルト→明緑灰色シルト→灰白色シルト→褐灰色シルトの順に堆積している。覆土の堆積状態からは井戸枠の痕跡は確認されず、深度も比較的浅いことから溜井の可能性も考えられる。覆土中から須恵器無台杯・甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕、黒色土器無台椀などが出土している (図版 94)。

SE983 (図版 69、写真図版 16)

本遺構は 14F5・10、14G1・6 に位置する素掘りの井戸で、遺構間の重複関係では本遺構→SD2061→SE2053 の順で構築され、本遺構の北側には SE984・SE985 が隣接する。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 1.8m、短軸 1.45m、確認面からの深さは 0.50m と浅く、底面標高は - 1.55m を測る。断面形は逆台形を呈する。覆土は主に灰色シルトから構成され、全体に炭化物粒子をやや多く含み、層上位にはガツボが濃集する。覆土の堆積状態からは井戸枠の痕跡は確認されず、深度も比較的浅いことから溜井の可能性も考えられる。覆土から須恵器無・台杯・甕、土師器無台椀・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋、木製品、軽石製品などが出土している (図版 94・136・142)。

SE984 (図版 69、写真図版 16)

本遺構は 13F25、14F5 に位置する素掘りの井戸である。北側には SE985、南側には SE983・SE2053 が隣接する。遺構間の重複関係では SD2061 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 1.36m、短軸 1.23m、確認面からの深さは 0.50m と浅く、底面標高は - 1.62m を測り、断面形は逆台形を呈する。覆土は層下位より緑灰色シルト→黄灰色シルトの順で堆積している。覆土の土層断面からは井戸枠の痕跡は確認されず、深度も比較的浅いことから溜井の可能性も考えられる。覆土中から須恵器甕、土師器長甕・小甕・非ロクロケズリ甕などが出土している。

SE985 (図版 69、写真図版 16)

本遺構は 13F24・25 を中心に位置する素掘りの井戸で、南東側に SE984 が隣接する。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 1.00m、短軸 0.95m、確認面からの深さは 0.57m と浅く、底面標高は - 1.67m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は層下位より緑灰色シルト→黄灰色シルトの順で堆積している。覆土の土層断面に井戸枠の痕跡は確認されず、深度も比較的浅いことから溜井の可能性も考えられる。覆土中から土師器長甕が出土している。

SE989 (図版 69、写真図版 16・17)

本遺構は 14G7・8 に位置する素掘りの井戸である。遺構間の重複関係では SB3010・P2660 →本遺構→SD938 の順で構築され、北東側の一部は SD938 により壊されている。北側には SE983・SE984・SE985・SE2053 が隣接する。開口部の平面形は略円形とみられ、規模は径 1.3m 前後と推定される。確認面からの深さは 0.53m と浅く、底面標高は - 1.50m を測る。断面形は逆台形状を呈する。覆土は灰色シルトを基質とするが、やや黄色みを帯びるところもみられる。覆土の堆積状態からは井戸枠の痕跡は確認されず、深度も比較的浅いことから溜井の可能性も考えられる。覆土中から土師器長甕が出土している。

SE1220 (図版 70、写真図版 17)

本遺構は 9F7・8 に位置する。遺構間の重複関係では、本遺構→SX307 の順で構築される。開口部は楕円形を呈するが、底面は隅丸方形基調となる。規模は長軸 1.48m、短軸 1.17m、確認面からの深さは 1.40m、底面標高は - 2.30m を測る。断面形は逆台形を呈し、壁面はほぼ垂直に掘り込まれている。覆土の土層観察では井戸枠と考えられる土色差が確認された。枠内覆土は、層下位より緑灰色シルト→青灰色シルト→灰色粘質土→灰白色シルト→黄灰色シルト→黒褐色シルトの順に堆積し、裏込め部分には緑灰色シルトと青灰色シルトが充

填される。覆土中より須恵器長頸壺、土師器長甕・鍋などが出土している（図版94）。

**SE1348**（図版69、写真図版17）

本遺構は18M10・15、18N6・11に位置する。遺構間の重複関係では、SD1914→SD2426、SD1996→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸3.60m、短軸約3.0mを測る大形の井戸である。開口部の内側には5～10cmの段差がつくられ、テラス部分が形成される。確認面からの深さは1.56m、底面標高は-2.37mを測る。断面形は漏斗状を呈し、開口部で大きく開く。覆土は、層下位の灰色シルトと層上位の黒色シルトの堆積に大きく分かれ、層下位には炭化物粒子を多く含む。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕・佐渡型甕・鍋、黒色土器無台碗、細形管状土錘、木製品などが出土している（図版134・142）。

**SE1759**（図版70、写真図版17）

本遺構は11E23、12E3を中心に位置する。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸1.63m、短軸1.55m、確認面からの深さは1.00m、底面標高は-2.14mを測る。断面形は逆台形を呈し、覆土の堆積状態から井戸枠と考えられる土色差が確認された。枠内の覆土は暗青灰色シルトを基質とし、裏込め部分には細砂が多く含まれた青灰色シルト小塊が充填される。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕などが出土している（図版94）。

**SE2053**（図版69、写真図版16）

本遺構は14G1に位置する素掘りの構造である。遺構間の重複関係ではSE983→SD2061・SD2065→本遺構の順で構築される。また本遺構の北側にはSE984・SE985、南側にはSE989が隣接する。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.42m、短軸1.03m、確認面からの深さは0.60mと浅く、底面標高は-1.71mを測る。断面形は逆台形を基本とするが大きく開く箇所もみられる。覆土は概ね5層に区分され、灰色シルトを基質とするが、層界はあまり明瞭ではない。また覆土の堆積状態からは井戸枠の痕跡は確認されず、深度も比較的浅いことから溜井の可能性も考えられる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・甕、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋などが出土している。

**SE2118**（図版70、写真図版17）

本遺構は16K3・4・8・9に位置する素掘りの構造である。遺構間の重複関係ではSD2723→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸2.30m、短軸2.20m、確認面からの深さは0.75mと浅く、底面標高は-1.62mを測る。断面形は逆台形状を呈し、壁は開きぎみに立ち上がる。覆土は層下位より青灰色シルト→灰黄色シルト→黄灰色シルト→黒褐色シルト→黒褐色粘質土の順で堆積し、全体に酸化鉄を含む。土層の堆積状況からは井戸枠の痕跡は確認されず、深度も比較的浅いことから溜井の可能性も考えられる。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋・甕・長頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋、俵形土錘などが出土している（図版94・134）。

**SE2357**（図版70、写真図版18）

本遺構は14H19を中心に位置する。遺構間の重複関係では、SD2578→本遺構→P1121・P1122・P2367・P2368の順で構築される。平面形は略円形を呈し、規模は長軸1.45m、短軸1.42m、確認面からの深さは1.18m、底面標高は-2.08mを測る。断面形は逆台形状を呈する。覆土の堆積状態から井戸枠と考えられる土色差が確認された。枠内覆土は層下位より黄灰色シルト→灰色シルト→黄灰色シルト→黒褐色シルト→灰色シルト→黄灰色シルトの順に堆積し、裏込め部分には黒褐色シルトが充填される。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・非ロクロケズリ甕・鍋、黒色土器無台碗、木製品などが出土している（図版95・142）。

**SE2563**（図版70、写真図版18）

本遺構は15G14・19に位置する。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸1.26m、短軸1.22m、確認面からの深さは0.68mと浅く、底面標高は-1.76mを測る。坑底面の中央部付近には曲物を転用した水溜が配されていた。曲物は直径約41cm、高さは約25cmを測り、断面形は逆台形状を呈する。井戸枠内の覆土は

層下位より灰色シルト→黒褐色シルトの順に堆積しており、裏込め部分では主に灰色シルトにより充填されていた。覆土中から須恵器甕が出土している（図版95・144）。

### 5) 土 坑 (SK)

本遺跡では掘立柱建物の柱穴の平面規模を基準にして、単独で検出された長軸1.0m以上のものを土坑とし、長軸0.8m未満のものをピットとして扱った。この結果、土坑は152基を数える。平面形は略円形や楕円形のものが多いが、方形基調や不整形を呈するものも含まれている。規模は、径0.6～0.7mほどのピットを一回り大きくしたのから3mを超す大形のものまで検出されたが、主体となるのは1.0～1.3mほどのもので、全体の約6割を占めている。また、深さも確認面から0.1m以下の浅いものから1.0mを超える深いものまであるが、約半分は深さ0.15～0.3mの範囲に収まる。深度の浅いものに関しては削平による影響も考慮する必要があるだろう。

土坑は概ね調査区の全体から検出されたが、掘立柱建物の周囲や旧河川沿いにやや密集する傾向がみられる。旧河川沿いに分布する深さ0.5m以上を測る大形の円形土坑などは、溜井の可能性が考えられる（SK28など）。また、掘立柱建物に近在する土坑に関しては、貯蔵施設やごみ穴としての性格が考えられ、出土遺物に須恵器の大甕が顕著にみられることなども、その根拠の一つとなろう。その他、畝状小溝に伴う耕作に係る土坑や、窪地の範疇で捉えられる土坑（SK2831）、覆土の上位に炭化物粒子が濃集する土坑（SK941）、焼土や炭化物、土器などがまとまって検出された土坑（SK981）、炭化物粒子と骨片や骨粉が出土した土坑（SK2031）なども確認されている。

#### SK3（図版71、写真図版18）

15K7・12に位置する。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.00m、短軸0.82m、深さは確認面から0.24m、底面標高は-1.28mを測る。開口部の断面形は皿状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器甕、土師器鍋などが出土している（図版95）。

#### SK6（図版71、写真図版19）

14J24、15J4に位置し、遺構間の重複関係ではSK264→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.10m、短軸0.92m、深さは確認面から0.18m、底面標高は-1.18mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器無台椀・長甕が出土している（図版95）。

#### SK8（図版71）

15J1・6に位置する。遺構間の重複関係では、P2270→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸0.95m、短軸0.91mを測り、深さは確認面から0.08mときわめて浅い。底面標高は-0.98mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋・甕、土師器長甕・小甕・鍋などが出土している。

#### SK10（図版71、写真図版19）

13I22、14I2に位置する。開口部の平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.89m、短軸0.88m、深さは確認面から0.16m、底面標高は-1.07mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は5層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器長甕・小甕、黒色土器無台椀、細形管状土錘などが出土している（図版95・134）。

#### SK11（図版71、写真図版19）

14J24に位置し、遺構間の重複関係ではSX2294→本遺構の順で構築される。北東側の旧河川側が一部失われる。開口部の平面形は略隅丸方形を呈し、規模は長軸1.25m、短軸約1.1mを測り、深さは確認面から0.11mと浅い。底面標高は-1.22mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

#### SK18（図版71、写真図版19）

15J18・23に位置する。遺構間の重複関係では、P17・P19・P2215・SD442→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は概ね隅丸長方形と考えられ、規模は長軸2.33m、短軸0.97m、深さは確認面から0.38m、底

面標高は－1.19mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は9層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・広口壺、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕などが出土している（図版95）。

**SK20**（図版71、写真図版19）

15J18・19に位置する。開口部の平面形は略楕円形を呈し、規模は長軸0.96m、短軸0.78m、深さは確認面から0.16m、底面標高は－1.08mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は5層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕・長頸壺・横瓶、土師器小甕・鍋、依形土錘などが出土している（図版95）。

**SK21**（図版71、写真図版19・20）

13I6・11に位置する。開口部の平面形は略方形を呈し、規模は長軸1.65m、短軸1.42m、深さは確認面から0.25m、底面標高は－1.05mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は2層に分かれる。覆土中から須恵器杯蓋、土師器長甕・非ロクロケズリ甕、黒色土器無台碗などが出土している。

**SK22**（図版71、写真図版20）

12H6・7・12に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD23・SD411の順で構築される。開口部の平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.47m、短軸1.45m、深さは確認面から0.40m、底面標高は－1.30mを測り、断面形は皿状を呈する。覆土は黒褐色粘質土を主体とする。覆土中から須恵器無台杯・甕・長頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋、黒色土器無台碗などが出土している（図版95・96）。

**SK24**（図版72）

14J17・22に位置する。遺構間の重複関係ではSB3013・SD2221→本遺構→SD12の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸1.28m、短軸1.20m、深さは確認面から0.22m、底面標高は－1.13mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋・甕・長頸壺、土師器無台碗・長甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している（図版96）。

**SK28**（図版72、写真図版20）

13I24・25、14I4・5に位置し、遺構間の重複関係ではSD2290→SK2276→本遺構およびSD2274→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸1.58m、短軸1.52m、深さは確認面から0.99m、底面標高は－1.95mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は4層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕・長頸壺、土師器無台碗・長甕・佐渡型甕・非ロクロケズリ甕、黒色土器無台碗などが出土している（図版96）。

**SK35**（図版72、写真図版20）

15J24、16J4に位置する。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.87m、短軸0.63m、深さは確認面から0.12m、底面標高は－1.02mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋、土師器長甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している。

**SK73**（図版72）

14I22、15I2・3に位置する。遺構間の重複関係ではSD421→本遺構→P2348の順で構築される。開口部の平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.40m、短軸1.43m、深さは確認面から最深部で0.40m、底面標高は－1.33mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は暗褐色シルトを主体とする。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器長甕などが出土している。

**SK74**（図版72、写真図版20）

15I20・25に位置し、遺構間の重複関係ではSD447→SD422→本遺構およびSK270→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は不正長方形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸0.88m、深さは確認面から0.34m、底面標高は－1.23mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕・長頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している（図版96）。

**SK75**（図版73、写真図版20・21）

12G5・10、12H1・6に位置し、遺構間の重複関係ではSB3003・P694→本遺構→SD23の順で構築され



る。開口部の平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸 2.82m、短軸 1.67m、深さは確認面から 0.45m、底面標高は -1.35m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 6 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋・甕、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、黒色土器無台椀などが出土している (図版 96・97)。

SK76 (図版 73、写真図版 21)

11H21・22、12H1・2 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD607 の順で構築される。開口部の平面形は略隅丸長方形を呈し、規模は長軸 2.33m、短軸推定 1.85m、深さは確認面から 0.27m、底面標高は -1.16m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器無台椀・長甕・鍋などが出土している (図版 97)。

SK85 (図版 73、写真図版 21)

13H5・10、13I1・6 に位置し、開口部の平面形は略円形を呈する。規模は長軸 1.87m、短軸 1.85m、深さは確認面から 0.37m、底面標高は -1.32m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・甕・長頸壺、土師器無台椀・長甕・鍋、黒色土器無台椀などが出土している (図版 98)。

SK86 (図版 73、写真図版 21)

13H5 に位置する。遺構間の重複関係では、本遺構→SD88 の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸約 1.1m、短軸 0.93m、深さは確認面から 0.30m、底面標高は -1.11m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 5 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している (図版 98)。

SK87 (図版 73、写真図版 21)

12H19・20・24・25 に位置する。遺構間の重複関係では、本遺構→SD88 の順で構築される。開口部の平面形は概ね楕円形とみられ、規模は長軸 1.30m、短軸 1.02m、深さは確認面から約 0.2m、底面標高は最深部で -1.28m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕などが出土している。

SK101 (図版 73)

7H5・9・10 に位置し、開口部の平面形は不整楕円形を呈する。規模は長軸 2.26m、短軸 1.17m、深さは確認面から 0.50m、底面標高は最深部で -1.96m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から土師器長甕が出土している。

SK141 (図版 73、写真図版 21・22)

8F21・22 に位置する。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 0.95m、短軸 0.88m、深さは確認面から 0.20m、底面標高は -1.28m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器無台椀・長甕・小甕・非ロクロケズリ甕などが出土している。

SK142 (図版 79、写真図版 24)

8F16・21 に位置する。遺構間の重複関係では、本遺構・SK1291→SK1059→SD1043 の順で構築されるが、SK1059 との重複により約半分が失われる。平面形は不整円形とみられ、規模は南北軸で 0.88m、深さは確認面から 0.28m、底面標高は -1.29m を測り、断面形は皿状を呈する。覆土中から須恵器無台杯・甕・長頸壺、土師器無台椀・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋などが出土している (図版 98)。

SK143 (図版 74、写真図版 22)

8E14・15 に位置する。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 1.60m、短軸 1.36m、深さは確認面から 0.50m、底面標高は -1.56m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 8 層に分かれ、層中位には炭化物粒子を主体とする薄層が形成される。覆土中から須恵器無台杯・甕・長頸壺、土師器無台椀・長甕・小甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している (図版 98)。

SK148 (図版 74、写真図版 22)

8F22、9F2 に位置する。遺構間の重複関係では、SD143・SK1256 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は概ね不整形とみられ、規模は長軸 1.44m、短軸 1.21m、深さは確認面から 0.20m、底面標高は -1.32m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から須恵器杯・甕、土師器長甕・小甕などが出土している。

**SK156** (図版 74、写真図版 23)

8E13・14・18・19 に位置する。遺構間の重複関係では、P180 →本遺構→SD149 の順で構築される。開口部の平面形は概ね隅丸方形と推定され、規模は長軸 1.98m、短軸 1.68m、深さは確認面から 0.35m、底面標高は -1.20m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・甕・長頸壺・短頸壺、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、細形管状土錘などが出土している (図版 98・99・134)。

**SK219** (図版 74、写真図版 23)

14J17・18 に位置し、遺構間の重複関係では P2291 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸約 1.65m、短軸 1.30m、深さは確認面から 0.30m、底面標高は -1.25m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋、土師器無台椀・長甕・小甕・佐渡型甕などが出土している。

**SK229** (図版 74、写真図版 23)

15K13・14・18・19 に位置し、開口部の平面形は略円形と推定される。規模は長軸 1.48m、短軸 1.36m、深さは確認面から 0.26m、底面標高は -1.23m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 6 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・佐渡型甕・鍋などが出土している。

**SK244** (図版 74、写真図版 23)

15K6 に位置する。遺構間の重複関係では P249 →本遺構→P243 の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸約 0.90m、短軸 0.50m、深さは確認面から 0.08m ときわめて浅く、底面標高は -1.12m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK245** (図版 74、写真図版 23・24)

15J3・4 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD12 の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 0.90m、短軸 0.75m、深さは確認面から最深部で 0.20m、底面標高は -1.20m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕・長頸壺・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋などが出土している。

**SK248** (図版 74、写真図版 24)

15K1・6 に位置する。P247 と P249 が近接するが遺構間の重複は認められない。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 1.07m、短軸 0.75m、深さは確認面から 0.14m、底面標高は -1.21m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から土師器長甕が出土している。

**SK250** (図版 75、写真図版 24)

15K6・7・12 に位置し、遺構間の重複関係では P243 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、中央付近が僅かに窪む。規模は長軸 1.10m、短軸 1.04m、深さは最深部で 0.28m、底面標高は -1.30m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器長甕・佐渡型甕などが出土している。

**SK256** (図版 75、写真図版 24)

13I17・18 に位置する。遺構間の重複関係では SD82 →本遺構→SD2274 の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 1.00m、短軸 0.76m、深さは確認面から 0.16m、底面標高は -1.13m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から土師器長甕・佐渡型甕などが出土している (図版 99)。

**SK257** (図版 75、写真図版 24)

15I20、15J16 に位置する。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 0.92m、短軸 0.76m、深さは確認面から 0.24m、底面標高は－1.14m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋・横瓶、土師器無台碗・長甕などが出土している（図版 99）。

**SK260**（図版 75、写真図版 25）

14I23・24 に位置し、遺構間の重複関係では SD34 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、北側に段をもつ。規模は長軸 1.07m、短軸 0.95m、深さは確認面から 0.34m、底面標高は－1.23m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 5 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕、細形管状土錘などが出土している（図版 99・134）。

**SK264**（図版 71、写真図版 25）

14J23・24、15J4 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SK6 の順で構築される。開口部の平面形は不整楕円形と考えられ、規模は長軸約 1.8m、短軸 1.23m、深さは確認面から 0.28m、底面標高は－1.33m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕などが出土している。

**SK270**（図版 72、写真図版 25）

15I25、15J21 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SK74 の順で構築される。開口部の平面形は楕円形と考えられ、規模は長軸 1.97m、短軸 0.65m、深さは確認面から最深部で 0.09m ときわめて浅く、底面標高は－1.02m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・非ロクロケズリ甕・鍋、黒色土器無台碗などが出土している。

**SK273**（図版 75）

13H14・19 に位置し、開口部の平面形はほぼ円形を呈する。規模は径 1.00m、深さは確認面から 0.37m、底面標高は－1.42m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は黒褐色シルトおよび黒褐色粘質土を基質とする。覆土中から土師器小甕が出土している。

**SK290**（図版 75、写真図版 25）

15I19・20 に位置する。遺構間の重複関係では SD417・SK447・P446 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 1.00m、短軸 0.80m、深さは確認面から 0.15m、底面標高は－1.15m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は単層である。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋などが出土している（図版 99）。

**SK301**（図版 75、写真図版 25・26）

7E15・20、7F16・21 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD200 の順で構築される。開口部の平面形は不整楕円形を呈し、途中で段を形成する。規模は長軸 2.10m、短軸 1.63m、深さは確認面から最深部で 0.47m、底面標高は－2.07m を測る。断面形は逆凸状を呈し、覆土は 5 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・非ロクロケズリ甕・小甕などが出土している（図版 99）。

**SK304**（図版 75、写真図版 26）

8E16・21 に位置する。遺構間の重複関係では SD1219・P1290 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸 1.22m、短軸 0.55m、深さは確認面から 0.14m、底面標高は－1.08m を測る。断面形は皿状を呈する。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕などが出土している（図版 99）。

**SK393**（図版 75、写真図版 26）

9D24、10D4 に位置し、開口部の平面形は不整円形を呈する。規模は長軸 1.60m、短軸 1.36m、深さは確認面から最深部で 0.25m、底面標高は－1.33m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器無台碗・長甕などが出土している（図版 99）。

**SK424**（図版 76、写真図版 26）

15I13・18に位置する。遺構間の重複関係ではSB3014→本遺構→SD291の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.75m、短軸1.34m、深さは確認面から0.20m、底面標高は-1.12mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は4層に分かれる。覆土中から須恵器無台椀、土師器無台椀・長甕・小甕などが出土している。

SK428 (図版76、写真図版26)

13H24、14H4に位置し、遺構間の重複関係ではP2084→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.98m、短軸0.68m、深さは確認面から0.39m、底面標高は-1.43mを測る。断面形は逆台形状を呈する。遺物は出土していない。

SK447 (図版75、写真図版26)

15I20に位置する。遺構間の重複関係では、本遺構→SK290・SD417・SD422の順で構築される。開口部の平面形は概ね略円形と考えられ、規模は長軸1.24m、短軸1.13m、深さは確認面から最深部で0.33m、底面標高は-1.34mを測る。断面形は逆台形状を呈する。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器長甕・小甕などが出土している。

SK605 (図版76、写真図版26・27)

9F17・18に位置する。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.34m、短軸1.13m、深さは確認面から0.35m、底面標高は-1.21mを測る。断面形は逆台形状を呈する。覆土は3層に分かれ、層中位に炭化物粒子を含む薄層が形成される。覆土中から須恵器無台杯、土師器長甕・小甕・鍋などが出土している。

SK609 (図版76、写真図版27)

11G8・9に位置し、開口部の平面形は不整形と推定される。規模は長軸1.26m、短軸1.08m、深さは確認面から0.27m、底面標高は-1.19mを測る。断面形は逆台形状を呈する。覆土は3層に分かれ、層中位に炭化物粒子を含む薄層が形成される。遺物は出土していない。

SK612 (図版76、写真図版27)

11G9・10・14・15に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD607の順で構築される。開口部の平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.97m、短軸0.92m、深さは確認面から0.20m、底面標高は-1.14mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK625 (図版76、写真図版27)

11G17に位置し、開口部の平面形は概ね楕円形と考えられる。規模は長軸0.98m、短軸0.58m、深さは確認面から0.26m、底面標高は-1.12mを測る。断面形は逆台形状を呈する。覆土は4層に分かれ、層上位には炭化物粒子を多く含む。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器無台椀・鍋などが出土している。

SK638 (図版76、写真図版27)

11G23に位置する。遺構間の重複関係ではSB3003→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.35m、深さは確認面から0.26m、底面標高は-1.19mを測る。断面形はU字状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器甕が出土している。

SK650 (図版76、写真図版28)

11G17・18に位置し、開口部の平面形は楕円形と考えられ、規模は長軸0.75m、短軸0.33m、深さは確認面から南側の最深部で0.16m、底面標高は-1.16mを測る。断面形は箱形を呈する。遺物は出土していない。

SK661 (図版76、写真図版28)

11F16に位置し、開口部の平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.07m、短軸0.45m、深さは確認面から0.10m、底面標高は-1.05mを測る。断面形は皿状を呈する。遺物は出土していない。

SK677 (図版76)

12F5・10、12G1に位置する。遺構間の重複関係では本遺構→SD607の順で構築される。開口部の平面形は



略円形を呈し、規模は長軸 1.1m 前後、短軸 0.85m、深さは確認面から 0.22m、底面標高は－1.12m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器長甕などが出土している。  
**SK685** (図版 76、写真図版 28)

11G21、12G1 に位置し、遺構間の重複関係では P688 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 1.22m、短軸 0.77m、深さは確認面から 0.47m、底面標高は－1.36m を測る。断面形は半円形状を呈し、覆土は 5 層に分かれる。覆土中から須恵器甕・横瓶、土師器無台椀・長甕・小甕などが出土している (図版 99)。

**SK687** (図版 77、写真図版 28)

12G11 に位置する。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 1.21m、短軸 0.84m、深さは確認面から 0.38m、底面標高は－1.30m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器長甕などが出土している。

**SK707** (図版 77、写真図版 28)

18O21、19O1 を中心に位置し、遺構間の重複関係では SD2411 → SD523・SD754・SD2426・SD2463・SD2477 →本遺構→ P735・P1371 の順で構築される。開口部の平面形は概ね略円形を呈し、規模は長軸 2.07m、短軸 1.96m、深さは確認面から 0.42m、底面標高は－1.22m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・甕・長頸壺、土師器無台椀などが出土している (図版 99)。

**SK724** (図版 77、写真図版 29)

22O22・23 に位置し、開口部の平面形は概ね略楕円形と考えられる。規模は長軸 1.05m、短軸 0.78m、深さは確認面から 0.16m、底面標高は－1.06m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK736** (図版 77、写真図版 29)

20O13 に位置し、開口部の平面形は略円形に近い。規模は長軸 1.07m、短軸 0.89m、深さは確認面から 0.22m、底面標高は－1.12m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK741** (図版 77、写真図版 29)

19P5・10、19Q1・6 に位置し、遺構間の重複関係では SD2407・SD2409・SD2909・SD2911 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形と考えられ、規模は長軸 1.97m、短軸 1.90m、深さは確認面から 0.17m、底面標高は－0.95m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 7 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器無台椀・長甕・小甕・非ロクロケズリ甕、黒色土器無台椀などが出土している (図版 100)。

**SK749** (図版 77、写真図版 29)

19P8・9・13・14 に位置する。遺構間の重複関係では SD753・SD1349・SD1350 →本遺構→ SD509、並びに SD2912 → SD1350 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は概ね略円形とみられ、規模は長軸 2.00m、短軸 1.93m、深さは確認面から 0.24m、底面標高は－1.07m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器無台椀・長甕・小甕・非ロクロケズリ甕、鍋などが出土している (図版 100)。

**SK790** (図版 77、写真図版 29)

20P14・15・19・20 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→ SD523・SD751 の順で構築される。平面形は楕円形と考えられるが、溝との重複によって半分が失われているため詳細は不明である。規模は東西方向で約 2.4m。深さは確認面から 0.25m、底面標高は－1.08m を測る。断面形は箱形の部分と皿状の部分があり、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から土師器長甕が出土している。

**SK821** (図版 77、写真図版 29・30)

10G22・23 に位置する。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 0.86m、短軸 0.78m、深さは確認面から

0.25m、底面標高は-1.14mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK941** (図版 78、写真図版 30)

12G1・2・6・7・12に位置し、遺構間の重複関係ではP2079→本遺構→SB3004の順で構築される。開口部の平面形は概ね隅丸長方形と考えられ、規模は長軸4.57m、短軸0.80～0.95m、深さは確認面から最深部付近で0.65～0.70m、底面標高は-1.59mを測る。断面形は逆台形状を呈するが、長軸方向の両端側は舟先状となっている。覆土は10層に分かれ、層全体に炭化物粒子が含まれるが、特に2層に集積している。また、底には樹皮が貼り付いていたような痕跡があり(写真図版32)、床面に敷かれていた可能性がある。その範囲(痕跡)を遺構個別図に示した。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋・甕、土師器無台椀・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋などが出土している(図版100)。

**SK942** (図版 78、写真図版 30)

12F23、13F3・4に位置する。遺構間の重複関係ではSD2074→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は概ね隅丸長方形と考えられる。規模は長軸2.97m、短軸0.80～0.90m、深さは確認面から南側の最深部で0.72m、底面標高は-1.81mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は9層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台椀・小甕・鍋、細形管状土錘などが出土している(図版100)。

**SK963** (図版 78、写真図版 31)

13F8・9に位置する。遺構間の重複関係では本遺構→SD962の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.93m、短軸約0.65m、深さは確認面から0.24m、底面標高は-1.30mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK979** (図版 78、写真図版 31)

13G8・9に位置する。遺構間の重複関係ではSB3009→本遺構→SD696・SD978の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、長軸2.17m、短軸1.54m、深さは確認面から中央付近の最深部で0.36m、底面標高は-1.33mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・長頸壺、土師器無台椀・長甕・小甕などが出土している(図版101)。

**SK981** (図版 78、写真図版 31)

13F10・15、13G1・6・11に位置する。遺構間の重複関係ではSK2050→本遺構→SD403・SD697・SD980の順で構築される。開口部の平面形は不整楕円形と考えられ、規模は長軸約3.2m、短軸最大2.08m、深さは確認面から中央の最深部で0.45m、底面標高は-1.43mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は12層に分かれ、層中位を中心に焼土層(6層)と炭化物層(9層)が形成され、焼土層の上下に土器がまとまって出土した。須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・甕・長頸壺、土師器無台椀・長甕・小甕・佐渡型甕・非ロクロケズリ甕・鍋、黒色土器無台椀、木製品などがまとまって出土している。廃棄土坑の一つと考えられる(図版101・142)。

**SK990** (図版 79、写真図版 31)

13G25を中心に位置し、遺構間の重複関係ではSK1148→SD697→SD487→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は卵形を呈し、規模は長軸1.08m、短軸0.63m、深さは確認面から0.48m、底面標高は-1.41mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は5層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕などが出土している(図版102)。

**SK1008** (図版 79、写真図版 31)

8E21・22、9E1・2に位置する。遺構間の重複関係ではP1703→本遺構→SD172・P192の順で構築される。開口部の平面形は隅丸長方形と考えられ、規模は東西軸約1.6m、南北軸約1.4m、深さは確認面から0.16m、底面標高は-1.07mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は4層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台椀・長甕・小甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している(図版102)。

**SK1044** (図版 79、写真図版 31)

8E9・10に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD149・SD1043の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、長軸0.86m、短軸0.78m、深さは確認面から0.54m、底面標高は-1.63mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は4層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1052 (図版 79、写真図版 32)

8D7に位置する。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.17m、短軸0.75m、深さは確認面から0.38m、底面標高は-1.24mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・非ロクロケズリ甕などが出土している(図版102)。

SK1057 (図版 79、写真図版 32)

8E7・8・12・13に位置し、遺構間の重複関係ではSD1088→本遺構→SB3002→P1056→SB3001、並びに本遺構→P1058の順で構築される。平面形は不整円形と考えられるがP1056との重複関係によって詳細は不明。規模は南北軸で1.15m、深さは確認面から0.30m、底面標高は-1.02mを測る。断面形はU字状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1059 (図版 79、写真図版 22・32)

8E20・25、8F16・21に位置し、遺構間の重複関係ではSK142・SK1291→本遺構→SD1043の順で構築される。開口部の平面形は概ね不整円形と考えられ、規模は長軸1.73m、短軸1.45m、深さは確認面から0.31m、底面標高は-1.31mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕などが出土している(図版102)。

SK1079 (図版 80、写真図版 35)

7D25に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD167の順で構築される。平面形は略円形と推定されるが、溝との重複により詳細は不明。規模は東西軸約0.95m、深さは確認面から0.30cm、底面標高は-1.01mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1093 (図版 80、写真図版 32)

8C22に位置する。遺構間の重複関係ではSD1204・SD1286→本遺構の順で構築される。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.86m、短軸0.80m、深さは確認面から0.20m、底面標高は-1.16mを測る。断面形は皿状を呈する。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋などが出土している(図版102)。

SK1104 (図版 80)

14I2・3に位置し、開口部の平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.00m、短軸0.40m、深さは確認面から0.06mときわめて浅い。底面標高は-1.09mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は単層である。覆土中から土師器佐渡型甕が出土している。

SK1105 (図版 80、写真図版 32・33)

14I1に位置する。遺構間の重複関係では本遺構→SD12の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸0.93m、短軸0.80m、深さは確認面から0.25m、底面標高は-1.14mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は4層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯が出土している。

SK1126 (図版 80、写真図版 33)

15H5・10に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD1127の順で構築される。開口部の平面形は隅丸長方形を呈し、西側の半分が一段低くなる。規模は長軸1.04m、短軸0.54m、深さは確認面から最深部で0.14m、底面標高は-0.95mを測る。断面形は皿状を呈する。遺物は出土していない。

SK1139 (図版 80)

14I13に位置し、開口部の平面形は略楕円形を呈する。規模は長軸0.90m、短軸0.48m、深さは確認面から0.12m、底面標高は-1.16mを測る。断面形は逆台形状を呈する。覆土中から須恵器甕、土師器小甕などが出土している。

**SK1148** (図版 79)

13G25 を中心に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD697 の順で構築される。溝との重複によって南西側が失われているため詳細は不明。平面形は不整形円形と考えられ、規模は径約 1.3m と推定される。深さは確認面から 0.23m、底面標高は - 1.14m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 5 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器長甕・小甕などが出土している。

**SK1201** (図版 80、写真図版 33)

9D3・4・8・9 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD1084・SD1086 の順で構築される。開口部の平面形は略円形と推定され、規模は南北軸で 0.93m、深さは確認面から 0.18m、底面標高は - 1.14m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯が出土している。

**SK1203** (図版 80、写真図版 33)

9D10、9E6 に位置し、遺構間の重複関係では SD1083 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 1.10m、短軸 0.75m、深さは確認面から 0.27m、底面標高は - 1.18m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK1210** (図版 80、写真図版 33・34)

9D4・5 に位置し、遺構間の重複関係では SD1083 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は不整形円形を呈する。規模は長軸 0.92m、短軸 0.75m、深さは確認面から 0.18m、底面標高は - 1.10m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK1212** (図版 81、写真図版 33)

8C10 に位置し、遺構の北側半分は調査区外に至る。遺構間の重複関係では SK1213 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形ないし隅丸方形と考えられる。規模は東西軸で 1.33m、深さは確認面から 0.26m、底面標高は - 1.10m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・長頸壺、土師器無台碗・小甕などが出土している (図版 102)。

**SK1213** (図版 81、写真図版 33)

8C10、8D6 に位置し、遺構の北側半分は調査区外に至る。遺構間の重複関係では P1714 →本遺構→SD1212 の順で構築される。開口部の平面形は略円形ないし不整形方形と考えられる。規模は南北軸で約 1.45m、深さは確認面から 0.18m、底面標高は - 1.03m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は単層である。覆土中から須恵器有台杯・長頸壺、土師器長甕・小甕、黒色土器無台碗などが出土している (図版 102)。

**SK1217** (図版 81、写真図版 34)

9E17・22 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD150 の順で構築される。開口部の平面形は概ね楕円形と考えられる。規模は長軸約 1.3m、短軸 0.83m、深さは確認面から 0.68m、底面標高は - 1.63m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 5 層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK1254** (図版 81、写真図版 34)

9C25 を中心に位置し、遺構間の重複関係では SD1261 →SD394 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は「く」の字状を呈し、規模は東西軸で 1.75m、南北軸で 1.50m、深さは確認面から最深部で 0.27m、底面標高は - 1.40m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器長甕・鍋などが出土している (図版 102)。

**SK1256** (図版 74、写真図版 22・34)

8F22、9F2 を中心に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SK148 の順で構築される。遺構の東側部分が重複の影響により失われる。開口部の平面形は概ね略円形と推定され、規模は南北軸で 1.17m、深さは中央の最深部で 0.27m、底面標高は - 1.29m を測る。断面形は半円形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。



SK1260 (図版 81、写真図版 34)

9D5・10 に位置し、開口部の平面形は略円形を呈する。規模は長軸 1.05m、短軸 0.94m、深さは確認面から 0.13m、底面標高は - 1.04m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1266 (図版 81、写真図版 34)

10D14・15・19・20 に位置する。遺構間の重複関係では SD1269 → 本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形と推定され、規模は長軸 3.25m、短軸 1.35m、深さは確認面から 0.48m、底面標高は - 1.65m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 6 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕・非口クロケズリ甕などが出土している (図版 102)。

SK1271 (図版 81、写真図版 35)

9C7・12 に位置し、開口部の平面形は略円形を呈する。規模は長軸 0.87m、短軸 0.76m、深さは確認面から 0.09m ときわめて浅い。底面標高は - 1.20m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は単層である。遺物は出土していない。

SK1272 (図版 81、写真図版 35)

8D15 を中心に位置し、遺構間の重複関係では P1074 → 本遺構 → P1273・SD155 の順で構築される。開口部の平面形は略楕円形と推定され、南側に径 45cm ほどの窪みを有する。規模は長軸 1.35m、短軸約 1.0m、深さは確認面から最深部で 0.60m、底面標高は - 1.69m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 5 層に分かれる。遺物は出土していない。

SK1277 (図版 81、写真図版 35)

8D20、8E16 に位置し、遺構間の重複関係では SB3001・P1708・P1710 → 本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略三角形を呈する。規模は長軸 1.56m、短軸 1.04m、深さは確認面から 0.30m、底面標高は - 1.44m を測る。断面形は逆台形状を呈する。遺物は出土していない。

SK1280 (図版 81、写真図版 35)

8F04・09 に位置し、遺構の東側半分は調査区外に至る。遺構間の重複関係では SD200・SD1061 → 本遺構の順で構築される。詳細は不明であるが、平面形は略円形ないし楕円形と考えられる。東壁の土層断面より東西軸方向を計測すると約 1.6m となる。深さは確認面から 0.45m、底面標高は - 2.18m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から板状の木製品が出土している (図版 143)。

SK1282 (図版 80、写真図版 35)

7D20・25、7E16・21 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構 → SD167 の順で構築される。平面形は遺構間の重複により不明であるが、概ね不整形と考えられる。深さは確認面から 0.14m、底面標高は - 1.20m を測る。断面形は皿状を呈する。遺物は出土していない。

SK1287 (図版 82、写真図版 35)

9F18・23 に位置する。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 1.07m、短軸 0.91m、深さは確認面から 0.23m、底面標高は - 1.14m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から土師器小甕が出土している。

SK1291 (図版 79、写真図版 22)

8E20・25、8F21 に位置する。遺構間の重複関係では本遺構 → SK1059・P195 の順で構築される。開口部の平面形は概ね楕円形と推定される。規模は長軸 1.98m、短軸 1.0m 前後、深さは確認面から 0.18m、底面標高は - 1.20m を測る。断面形は皿状を呈する。遺物は出土していない。

SK1408 (図版 82、写真図版 36)

18N12 に位置する。遺構間の重複関係では SD1915 → 本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 0.93m、短軸 0.70m、深さは確認面から 0.48m、底面標高は - 1.23m を測る。断面形は

逆台形状を呈し、覆土は4層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK1515** (図版 82)

19Q22、20Q2に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD1350の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.70m、短軸1.33m、深さは確認面から0.22m、底面標高は-1.05mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・小甕などが出土している(図版102)。

**SK1744** (図版 82、写真図版 36)

11F21・22に位置し、遺構間の重複関係ではSD606→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は隅丸方形と推定されるが詳細は不明。規模は東西軸で1.07m、深さは確認面から0.22m、底面標高は-1.20mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK1754** (図版 82、写真図版 36)

11E16・17・21・22に位置する。遺構間の重複関係ではSD1764→本遺構→P1741・SD1743の順で構築される。開口部の平面形は略楕円形と考えられ、規模は長軸3.35m、短軸1.45～1.70m、深さは確認面から0.20m、底面標高は-1.34mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は4層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗・長甕・小甕などが出土している(図版102)。

**SK1774** (図版 82、写真図版 36)

10F7に位置し、開口部の平面形は概ね略円形を呈する。規模は長軸0.86m、短軸0.81m、深さは確認面から0.16m、底面標高は-1.20mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK1819** (図版 82、写真図版 37)

17P25に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD1805の順で構築される。現存範囲が狭いことから詳細は不明。深さは確認面から0.30m、底面標高は-1.40mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK1820** (図版 82、写真図版 37)

15O8・9に位置し、開口部の平面形は略円形を呈する。規模は長軸0.87m、短軸0.72m、深さは確認面から0.42m、底面標高は-1.80mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK1957** (図版 82、写真図版 37)

16N16・17に位置する。遺構間の重複関係では本遺構→SD2402の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.85m、深さは確認面から0.22m、底面標高は-1.05mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器長甕などが出土している。

**SK1958** (図版 83、写真図版 37)

17N1・2に位置し、遺構間の重複関係ではSB3019・SD1903・SD1918・SD1920→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は概ね円形と推定される。規模は長軸1.08m、短軸1.00m、深さは確認面から0.36m、底面標高は-0.99mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK1965** (図版 83、写真図版 37・38)

16N7・8・12・13に位置し、開口部の平面形は概ね楕円形と推定される。規模は長軸2.24m、短軸1.38m、深さは確認面から0.43m、底面標高は-1.33mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は7層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器小甕などが出土している(図版102)。

**SK1966** (図版 83、写真図版 38)

16N8・9・13・14に位置する。遺構間の重複関係ではSD1909→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形と考えられる。規模は長軸0.98m、短軸0.82m、深さは確認面から0.35m、底面標高は-1.55mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は4層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器

無台椀・長甕・小甕・鍋、細形管状土鍾、棒状木製品などが出土している（図版102・134・143）。

**SK1978**（図版82、写真図版38）

16N11・12・16・17に位置する。遺構間の重複関係ではSD1907→P1979→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸1.24m、短軸1.12m、深さは確認面から0.30m、底面標高は-1.28mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋・長頸壺、土師器無台椀・長甕・小甕・非ククロケズリ甕・鍋、黒色土器無台椀、細形管状土鍾などが出土している（図版134）。

**SK1982**（図版83、写真図版38）

16O11・12に位置し、開口部の平面形は略円形を呈する。規模は長軸1.34m、短軸1.25m、深さは確認面から0.36m、底面標高は-1.42mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器有台杯が出土している。

**SK2031**（図版83、写真図版38）

12D25、12E21に位置し、平面形は概ね楕円形の範疇と考えられる。規模は長軸1.00m、短軸0.81m、深さは確認面から0.31m、底面標高は-1.48mを測る。断面形は半円形状を呈し、覆土は4層に分かれ、層中位を中心に骨片・骨粉などが確認された。炭化物粒子は層全体に及んでいたが、まとまって出土した層中位の3層を除くと量的には少ない。壁や底面などに焼けた痕跡は確認できないが、発見された場所が居住域より少し離れていることから火葬関連施設の可能性も考えられる。なお、遺物は出土していない。

**SK2050**（図版78、写真図版39）

13F10・15に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SK981の順で構築される。開口部の平面形は円形を呈し、規模は径1.00m、深さは確認面から0.58m、底面標高は-1.80mを測る。断面形は逆台形状を呈する。遺物は出土していない。

**SK2057**（図版83）

12G18・23、13G3・4に位置し、遺構間の重複関係ではP2051・P2666→本遺構→SK458の順で構築される。遺構間の重複関係により詳細は不明であるが平面形は概ね楕円形と考えられる。規模は長軸約3.0m、短軸1m前後、深さは確認面から最深部で0.39m、底面標高は-1.33mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2060**（図版83、写真図版39）

14G3に位置し、開口部の平面形は隅丸長方形と考えられる。規模は長軸0.94m、短軸0.55m、深さは確認面から0.30m、底面標高は-1.40mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は6層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2063**（図版83）

13G17・22に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SK982・SD402の順で構築される。平面形は隅丸方形と推定される。規模は北西-南東軸で1.03m、深さは確認面から0.13m、底面標高は-1.06mを測る。断面形は逆台形状を呈する。遺物は出土していない。

**SK2076**（図版84、写真図版39）

15G1・2・6・7に位置する。遺構間の重複関係では本遺構→SD2089の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.18m、短軸0.58m、深さは確認面から0.23m、底面標高は-1.38mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2090**（図版84、写真図版39）

15G7に位置する。遺構間の重複関係では本遺構→SD2089の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸0.75m、短軸0.66m、深さは確認面から0.12m、底面標高は-1.23mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は単層である。遺物は出土していない。

**SK2123** (図版 84、写真図版 39)

15L16・17・21・22 に位置する。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 1.65m、短軸 1.53m、深さは確認面から 0.35m、底面標高は - 1.30m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 5 層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2124** (図版 84)

16M16・21 に位置する。遺構間の重複関係では SD1700 → 本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 0.78m、短軸 0.56m、深さは確認面から 0.15m、底面標高は - 0.98m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2125** (図版 84、写真図版 39)

16L24 に位置し、開口部の平面形は略円形を呈する。規模は長軸 0.87m、短軸 0.75m、深さは確認面から 0.27m、底面標高は - 1.07m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2134** (図版 84、写真図版 39・40)

15L24・25、16L4・5 に位置し、開口部の平面形は略円形を呈する。規模は長軸 2.31m、短軸 2.20m、深さは確認面から 0.35m、底面標高は - 1.34m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から須恵器甕・横瓶、土師器無台碗・鍋などが出土している (図版 102)。

**SK2139** (図版 84、写真図版 40)

16N6・11 に位置する。遺構間の重複関係では SK2172 → 本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 1.22m、短軸 0.85m、深さは確認面から 0.30m、底面標高は - 1.60m を測る。断面形は U 字状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器無台碗などが出土している (図版 102)。

**SK2140** (図版 84、写真図版 40)

15L17・18・22・23 に位置する。開口部の平面形は隅丸長方形と推定される。規模は長軸 2.48m、短軸 0.70 ~ 0.95m、深さは確認面から 0.40m、底面標高は - 1.53m を測る。断面形は U 字状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・杯蓋、土師器小甕などが、また坑底面では両端が加工された板状や棒状の木製品が出土している (図版 143)。

**SK2159** (図版 84、写真図版 40)

17K1 に位置する。遺構間の重複関係では SD2154 → 本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形を呈し、規模は長軸 1.36m、短軸 0.78m、深さは確認面から 0.20m、底面標高は - 1.19m を測る。断面形は概ね逆台形状と推定される。覆土は 2 層に分かれる。覆土中から土師器長甕が出土している。

**SK2172** (図版 84、写真図版 40)

16N6・11 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構 → SK2139 の順で構築される。平面形は略円形とみられるが詳細は不明。規模は東西軸で 1.08m、深さは確認面から 0.17m、底面標高は - 1.20m を測る。断面形は逆台形状と推定され、覆土は単層である。遺物は出土していない。

**SK2190** (図版 84)

17J15 に位置する。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 0.95m、短軸 0.87m、深さは確認面から 0.15m、底面標高は - 1.13m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器長甕などが出土している。

**SK2200** (図版 85、写真図版 40)

16M11 に位置する。遺構間の重複関係では P2818 → 本遺構の順で構築される。開口部の平面形は略円形とみられ、規模は長軸 0.76m、短軸 0.63m、深さは確認面から 0.26m、底面標高は - 1.17m を測る。断面は逆台形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から土師器甕 (古墳時代中期後半) が出土している (図版 103)。

**SK2217** (図版 85、写真図版 41)



14J19 に位置し、開口部の平面形はほぼ円形を呈する。規模は径 0.85m 前後、深さは確認面から 0.37m、底面標高は - 2.02m を測る。断面形は半円形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器小甕などが出土している（図版 103）。

SK2225（図版 85、写真図版 41）

15J10、15K6 に位置する。遺構間の重複関係では本遺構→ P234・P235・P237 の順で構築される。開口部の平面形は不整形円形と考えられる。規模は長軸 0.93m、短軸 0.79m、深さは確認面から 0.17m、底面標高は - 1.11m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から土師器小甕が出土している。

SK2260（図版 85、写真図版 41）

15K1 に位置し、開口部の平面形は不整形円形とみられる。規模は長軸 1.25m、短軸 1.03m、深さは確認面から 0.20m 前後、底面標高は - 1.40m を測る。断面形は皿状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器無台碗・長甕・小甕などが出土している（図版 103）。

SK2276（図版 72）

14I4 に位置し、遺構間の重複関係では SD2290 →本遺構→ SK28 の順で構築されるが、SK28 との重複関係によって大半が失われている。開口部の平面形は略円形と推定されるが詳細は不明。規模は東西軸で 1.40m、深さは確認面から 0.27m、底面標高は - 1.15m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から土師器小甕が出土している。

SK2289（図版 85、写真図版 41）

14J12 に位置する。遺構間の重複関係では本遺構→ SD220 の順で構築される。開口部の平面形は略円形を呈し、規模は長軸 1.15m、短軸 1.10m、深さは確認面から 0.33m、底面標高は - 1.21m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 4 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・甕、土師器長甕・小甕・佐渡型甕・非ロクロケズリ甕・鍋などが出土している（図版 103）。

SK2303（図版 85、写真図版 41）

16H25 に位置し、開口部の平面形は楕円形を呈する。規模は長軸 0.94m、短軸 0.63m、深さは確認面から 0.24m、底面標高は - 1.27m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、黒色土器無台碗などが出土している。

SK2336（図版 85、写真図版 41）

16I14 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→ SD2240 → SD2331 の順で構築される。開口部の平面形は不整形円形と考えられる。規模は長軸 0.96m、短軸 0.48m、深さは確認面から 0.27m、底面標高は - 1.27m を測り、断面形は逆台形状を呈し、覆土は 2 層に分かれる。覆土中から土師器無台碗が出土している。

SK2341（図版 85）

16I7・12 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→ SD2241 の順で構築される。平面形は楕円形とみられるが詳細は不明。規模も同様。深さは確認面から 0.13m、底面標高は - 1.12m を測り、断面形は皿状を呈する。覆土中から土師器無台碗・長甕などが出土している。

SK2430（図版 85、写真図版 41・42）

18N23 に位置し、遺構間の重複関係では SK2440・SD1517 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は楕円形と推定される。規模は長軸 1.15m、短軸 0.94m、深さは確認面から 0.28m、底面標高は - 1.12m を測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は 3 層に分かれる。覆土中から須恵器無台碗・杯蓋、土師器無台碗・長甕などが出土している。

SK2440（図版 85、写真図版 41・42）

18N23 に位置し、遺構間の重複関係では SD2426 →本遺構→ SK2430 の順で構築される。開口部の平面形は楕円形と推定され、規模は長軸約 0.8m、短軸 0.63m、深さは確認面から 0.15m、底面標高は - 0.98m を測

る。断面形は皿状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2455** (図版 85、写真図版 42)

18M20 に位置し、西側は調査区外に至る。遺構間の重複関係ではSD2425 →本遺構の順で構築される。平面形は略円形と推定されるが詳細は不明。規模は東西軸で0.95m、深さは確認面から0.24m、底面標高は-1.02mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2460** (図版 85、写真図版 42)

18N24 に位置し、遺構間の重複関係ではSD2919 → SD2426 →本遺構の順で構築される。開口部の平面形は概ね略円形とみられる。規模は長軸1.13m、短軸1.05m、深さは確認面から0.26m、底面標高は-1.08mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯が出土している(図版103)。

**SK2465** (図版 85、写真図版 42)

16M19・24 に位置し、遺構間の重複関係ではSB3018 →本遺構→SD1920・SD1927・P1542・P2464の順で構築される。開口部の平面形は概ね略円形と考えられる。規模は東西軸で1.10m、深さは確認面から0.08mときわめて浅く、底面標高は-0.88mを測る。断面形は皿状を呈する。覆土中から須恵器杯蓋が出土している(図版103)。

**SK2500** (図版 86、写真図版 42)

16N10 に位置し、開口部の平面形は概ね略円形と推定される。規模は長軸2.03m、短軸1.95m、深さは確認面から0.65m、底面標高は-1.85mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は4層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・長頸壺、土師器無台碗・長甕・小甕・非ロクロケズリ甕・鍋、細形管状土錘、木製品などが出土している(図版103・134・135)。

**SK2508** (図版 86、写真図版 43)

16I10 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SK2526・SD2567の順で構築される。平面形は略円形と推定される。規模は東西軸で1.13m、深さは確認面から0.24m、底面標高は-1.23mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・甕・横瓶、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・非ロクロケズリ甕・鍋、黒色土器無台碗などが出土している(図版103)。

**SK2526** (図版 86)

16I5・10、16J6 に位置する。遺構間の重複関係ではSK2508・P2504 →本遺構→SD2567の順で構築される。開口部の平面形は不整長方形と推定され、規模は長軸3.40m、短軸0.90m前後、深さは確認面から0.28m、底面標高は-1.25mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2635** (図版 86、写真図版 43)

13F22 に位置し、開口部の平面形は概ね楕円形と推定される。規模は長軸0.93m、短軸0.73m、深さは確認面から0.28m、底面標高は-1.62mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2637** (図版 86、写真図版 43)

14H11・16 に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD402の順で構築される。開口部の平面形は隅丸長方形と推定され、規模は長軸1.37m、短軸0.72m、深さは確認面から0.32m、底面標高は-1.33mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は3層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2771** (図版 86、写真図版 43)

16L10 に位置し、開口部の平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.10m、短軸0.60m、深さは確認面から0.14m、底面標高は-1.06mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

**SK2801** (図版 86、写真図版 43)

17I12に位置し、開口部の平面形は隅丸長方形と考えられる。底面には略円形の浅い窪みが認められる。規模は長軸0.98m、短軸0.45m、深さは確認面から0.14m、底面標高は-1.25mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK2805 (図版86)

17I6に位置し、開口部の平面形は概ね隅丸方形と考えられる。規模は長軸1.00m、短軸0.80m、深さは確認面から0.14m、底面標高は-1.20mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK2807 (図版86、写真図版43)

17I7・12に位置し、開口部の平面形は略円形と推定される。規模は長軸0.94m、短軸0.80m、深さは確認面から0.16m、底面標高は-1.26mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK2831 (図版86)

17K3・4に位置し、遺構間の重複関係ではSD2133→本遺構の順で構築される。開口部の平面形は不整円形と推定される。規模は長軸1.27m、短軸1.12m、深さは確認面から0.08mときわめて浅い。底面標高は-0.97m。断面形は皿状を呈し、覆土は単層である。覆土中から須恵器無台杯・甕、土師器長甕などが出土している。

SK2841 (図版86、写真図版44)

16L22に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→P2737の順で構築される。開口部の平面形は概ね略隅丸方形と推定される。規模は長軸1.28m、短軸1.10m、深さは確認面から0.23m、底面標高は-1.10mを測る。断面形は逆台形状を呈し、覆土は2層に分かれる。遺物は出土していない。

SK2906 (図版87、写真図版44)

19O15・19P11に位置し、遺構間の重複関係では本遺構→SD1955→SD524・SD754→P2915・P2924の順で構築される。平面形は略円形とみられるが詳細は不明。規模は東西軸で1.40m、深さは現存部分で0.18mを測る。底面標高は-1.01m。断面形は皿状を呈し、覆土は3層に分かれる。覆土中から須恵器無台杯、土師器長甕などが出土している。

SK2907 (図版87、写真図版44)

19O10、19P6に位置する。遺構間の重複関係ではSD1518→本遺構→SD509・SD1519の順で構築される。開口部の平面形は略円形と考えられ、規模は長軸2.02m、短軸1.7m前後、深さは確認面から0.15m、底面標高は-0.98mを測る。断面形は皿状を呈し、覆土は2層に分かれる。覆土中から土師器長甕が出土している。

## 6) 溝 (SD)

検出された溝は、規模・用途・時期がそれぞれ異なるため、それらを以下の5項目に大別して記述する。

- a 掘立柱建物の周囲に配置された溝。
- b 居住域を区画する溝。
- c 畑作関連と考えられる溝 (畝状小溝)。
- d 平場施設を区画する溝。

aは、掘立柱建物の付帯施設として捉える必要がある。近在する当該期の低地遺跡の掘立柱建物には、建物の桁行両側柱列に並行する側溝や、また建物の三方あるいは四方を囲む溝状遺構が付帯して検出される事例が多く、この種の付帯施設は軒先直下に配された雨落溝 (排水施設) とする見方が一般的である。本項で扱う溝の中には、柱列との配置関係から雨落溝と推定できるもの (SD15・32・421・422・455・1700・2061・2101・2290・2502) も含む一方、合致しているとは言い難い溝も含まれるが、建物の付随施設として周囲に配置される溝ということで、ここでは一括する。掘立柱建物は、概して存続期の遺物を伴わないという遺構の性格から

存続期間が把握し難い面もある。しかし、付帯施設（溝）の遺物から導き出される年代観は、建物本体の存続期間を量る端緒となり得る。失われた溝もあると考えられるが、主要建物には付帯していた可能性が高い。記載にあたっては番号の若い掘立柱建物に関連する溝より報告する。

b は、SD82 と SD606 の 2 つの遺構であるが、建物群と同時期に機能していたと考えられる。建物群を意識しつつ、南西側の後背湿地から旧河川に向けて直線的に延びていることから、区画施設を兼ねた水路と推定できる。投棄されたと考えられる完形・半完形の土器が多数出土しているが、両者の年代観は微妙に時期がずれており、SD606 の土器の中心時期がVI 1 期であるのに対し、SD82 の土器の中心時期はVI 2～3 期である。

溝の大半を占める c は、畑の耕作痕と考えられ、建物群の廃絶後、この土地が生産地として使用されたことを示している。1 本 1 本の溝は畝状小溝と考えられ、これらのうち並行関係にある畝状小溝群が全体で畝状遺構を構成している。全体として 9 世紀の遺構群を壊して成立しており、中・近世の遺物を含まないことから、10 世紀以降、集落の廃絶後、それほど期間を経ずして生産地へと移行したものと考えられる。旧河川を意識しているが、並行関係から幾つかのグループに分かれる。これは、畑地の単位や、時期差を示していると考えられる。とくに調査区南東側では溝の重複が著しく、何度も繰り返し耕作されたことを示している。なお、耕作痕とした場合の対象物の特定が課題である。遺物は少数ながら検出されているが、生産地という本来あまり遺物を伴わない遺構の性格もあり、また 9 世紀代の遺構を壊して形成されることから、遺物の年代観をもって畝状遺構群の時期を特定することは困難である。以下、各遺構を用途別にまとめて記述する。

#### a 建物の周囲に配置された溝

##### SD167・1060（図版 15、写真図版 46）

本遺構群は SD167 が 7E、SD1060 が 8D にそれぞれ位置する。いずれも SB3001 の周囲に配置された溝の一部と目され、本来は南東に口を開くコの字状の平面形をなしていたとみられる。現状では、SD167 は SB3001 北隅の外縁付近において S 字状に屈曲する溝で、全長約 4.1m、上面幅 0.60～1.00m、深度 0.23～0.37m を測る。SD1060 は、SB3001 の桁行側柱列に並行する北西－南東方向の溝で、全長約 13.2m、上面幅 0.93～1.90m、深度 0.29～0.45m を測る。区画溝の建物北西側部分は攪乱等で消滅していると考えられる。断面形は U 字状を呈する。覆土は SD167 では 3 層に分層され、いずれも灰色シルトを基本とし、漸次的に変化する。SD1060 は、黄灰色シルトの単層である。重複関係では、SK1079・SK1282 → SD167 → SD400 の順に推移し、また SD1060 は SB3002 の区画溝である SD172 に切られている。SD167 では土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋、須恵器無台杯・杯蓋などの小破片が出土し、SD1060 からは図示し得た須恵器有台杯・甕、土師器鍋の他、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕、黒色土器無台碗、須恵器無台杯・杯蓋・長頸壺などの小破片が出土している。

遺構の年代は、出土遺物から V 2 期の範疇に収まると考えられる。

##### SD172（図版 15）

本遺構は 9E に位置する。本来は SB3002 を区画する溝とみられるが、検出し得たのはそのごく一部である。SB3002 の桁行側柱列と並行する北西－南東方向の溝で、全長 3.76m、上面幅 0.77～1.20m、深度 0.33～0.43m を測る。断面形は U 字状を呈し、覆土は 4 層に分層され、何れも黄灰色シルトを基本とし、漸次的に変化する。SB3001 の区画溝である SD1060 より新しい。覆土中からは、土師器長甕・小甕、須恵器無台杯・杯蓋・甕・長頸壺・横瓶などの小破片が出土している。遺構の年代は、出土遺物から概ね VI 期の範疇とみられる。

##### SD150（図版 15）

本遺構は 9E に位置する。北東－南西方向に延び、SB3001・SB3002 の建物配置とほぼ並行関係にある。全長 12.4m、上面幅 0.70～0.90m、深度 28～42cm を測り、断面形は逆台形状を呈する。軸方位および SB3001・SB3002 との配置関係から SB3001・3002 を包括する区画施設と考えられる。覆土は黄灰色シル



トを基本とする。覆土中からは、図示し得た須恵器無台杯・有台杯、土師器無台碗・小甕・鍋の他、土師器長甕・佐渡型甕、須恵器杯蓋・長頸壺などの小破片も出土している。遺構の年代は、本遺構出土の遺物からはVI 1期の年代観が得られる。

#### SD607・632・2056 (図版 20・21・23・25、写真図版 46)

本遺構群はSD607が11F・G・H、12G・H、SD632が11G、SD2056が12・13Gに位置する。本来は大きなコの字状の区画溝を構成していたと考えられる。区画内には主軸のほぼ一致するSB3003・SB3004・SB3005・SB3006の計4棟の建物が重複して検出されているが、個々の建物は区画溝の規模とは一致しない。本遺構はこれら区画内の建物のうち、重複しない複数棟の建物を区画していたと考えられるが、さらにSD88・SD673・SD2274とも連結し、SB3003～SB3010の建物群を大きく区画していた可能性もある。また一方で、コの字状の区画内に検出し得なかった別の大形建物が存在していた可能性も残る。現状では、SD607は平面形が南東に口を開くコの字形を呈し、総延長約36.8m、断面形はU字状を呈し、上面幅0.20～0.60m、深度6～40cmを測る。

SD632は、SD607の北西側で分岐し、約2.2m並走する。断面形はU字状を呈し、上面幅0.23～0.25m、深度6～8cmと浅い。SD2056は、SD607の西側延長部分に位置し、全長約6.6m、断面形はU字状を呈し、上面幅0.80m、深度22～25cmを測る。覆土は灰褐色シルトを基本とする。

SD607の覆土中から図示し得た須恵器無台杯および甕の他、土師器無台碗・長甕・小甕、須恵器杯蓋などの小破片が出土している。また、SD632の覆土中から須恵器無台杯・甕の小破片各1点のみ、SD2056からは図示し得た須恵器無台杯、土師器小甕の他、土師器無台碗・長甕・須恵器甕・長頸壺の各破片が出土している。遺構の年代は出土遺物からはVI 1期の年代観が得られる。

#### SD455・2061 (図版 22・23)

本遺構群はSD455が13G、SD2061が14Gにそれぞれ位置する。いずれもSB3010の桁行方向に沿って配置された溝と推定される。SD455はSB3010の桁行東側柱列に並行する北西－南東方向の溝で、全長約5.7m、上面幅0.50～0.55m、深度36～41cmを測る。SD2061はSB3010の桁行西側柱列に並行する北西－南東方向の溝で、全長約9.0m、上面幅0.70～0.95m、深度17～35cmを測る。断面形はU字状を呈する。覆土はSD455は6層に分層され、1・2層は有機質を含む褐灰色シルト、3層は有機質を含む黄灰色シルト、4・5層は粘性を有する褐灰色シルト、6層は粘性の高い灰白色シルトである。SD2061は3層に分層され、1・2層は灰色シルト、3層は黄灰色シルトである。重複関係では、畝状小溝とみられるSD697・SD939などに切られている。

SD455では図示し得た土師器無台碗・長甕・鍋の他、土師器小甕・佐渡型甕、黒色土器無台碗、須恵器無台杯・甕などの小破片が出土し、同様にSD2061からは図示し得た土師器無台碗・長甕・鍋、黒色土器無台碗、須恵器無台杯の他、土師器小甕・佐渡型甕、須恵器甕・長頸壺などの小破片が出土している。出土遺物から遺構の年代はVI 2～3期の年代観が得られる。

#### SD32・2290 (図版 27・29)

本遺構群はSD32が14I、SD2290が14I・Jにそれぞれ位置する。いずれも本来はSB3011の周囲をコの字状あるいは四方に巡った溝の一部と目される。現状では、SD32はSB3011の西隅に沿って屈曲するL字形の平面形を呈する溝で、全長8.95m、上面幅0.35～0.72m、深度5～19cmを測る。SD2290はSB3011の南側に並行する北西－南東方向の溝で、全長約8.3m、上面幅0.30～0.84m、深度5～20mを測る。断面形はU字状を呈する。覆土はSD32は3層に分層され、1層は黒褐色シルト、2・3層は暗灰褐色粘質土である。SD2290は暗灰黄色シルトを基本とする。重複関係では、SD32がSD12に切れ、SD2290はSD34に切られている。

SD32では図示し得た内面が黒色処理された無台碗破片の他、土師器長甕・小甕・鍋、黒色土器無台碗、須恵器無台杯・甕などの小破片が、SD2290では図示し得た須恵器杯蓋の他、土師器長甕・鍋、黒色土器無台碗、

須恵器長頸壺などの小破片が出土している。遺構の年代は、遺物から概ねVI期の範疇に収まると考えられる。SD421の東側部分はSD32の延長部分である可能性がある。

#### SD15・34・422 (図版 27・29、写真図版 44・45)

本遺構群は、SD15が15J、SD34が14I・J、SD422が15Iから15J・16Jにかけて位置する。いずれも本来はSB3012の周囲をコの字状あるいは四方に巡った溝の一部と目される。現状では、SD15はSB3012の桁行東側柱列に並行する北西-南東方向の直線の溝で、全長約5.7m、上面幅0.35～0.60m、深度10～25cm。SD422はSB3012の南隅に沿って屈曲するL字形の平面形を呈する溝で、全長約18.6m、上面幅0.26～0.65m、深度7～24cmを測る。断面形はU字状を呈する。SD34はSB3012の北東側を大きく区画する溝と考えられ、全長約8.8m、上面幅0.25～0.50m、深度10～20cmを測る。断面形はU字状を呈する。覆土はSD15は3層に分層され、1・2層は黒褐色粘質土、3層は黄灰色粘質土である。SD422は灰色シルトを基本とする。SD34は3層に分層され、1層が灰黄褐色シルト、2層が灰褐色シルト、3層が灰白色シルトで、レンズ状に堆積する。重複関係ではSD15・SD34・SD422ともSD12に切られ、またSD422はSK447より新しく、SD258より古い。SD34はSB3011・SD2290より新しく、SK260より古い。

SD15では図示し得た須恵器無台杯・有台杯、土師器長甕、細形管状土錘の他、土師器無台椀・小甕・佐渡型甕・鍋、須恵器甕・長頸壺などの小破片が多量に出土している。また、SD422では図示し得た須恵器無台杯、土師器無台椀・鍋の他、土師器長甕・小甕・佐渡型甕、黒色土器無台椀、須恵器甕・長頸壺などの小破片が多量に、SD34では図示し得た須恵器横瓶・甕、土師器無台椀、細形管状土錘の他、土師器長甕・小甕・佐渡型甕・鍋、須恵器無台杯・長頸壺など小破片が出土している。出土遺物の年代観は、SD15・SD422がV2～VI1期、SD34は概ねVI期の範疇に収まると考えられる。したがって、これらの遺構もその年代で捉えられよう(図版104・109・135)。

#### SD421・2502 (図版 27・29、写真図版 5)

本遺構は15H・I、16Iに位置する。SB3014を囲む区画溝と考えられる。SD421とSD2244は別々に調査されたが、本来は南東に口を開いたU字状の平面形を呈する溝であったと考えられる。総全長約22mを測るが、SD421の北東側は端部が東側に屈曲し、途切れている。SB3014との配置関係を考慮すると、東端部は別遺構で、溝はさらに南東方向に延びていた可能性がある。現状では、SD421はSB3014の北西側外縁を半周する溝で、全長約13.3m、上面幅0.40～0.90m、深度15～30cmを測る。SD2244はSD421の南西端の延長上に位置する溝で、全長約9.0mを測る。断面形はU字状を呈する。覆土は両遺構とも黒褐色シルトを基本とし、2～3層に分層される。重複関係では、SD421はSK73および畝状小溝と考えられるSD291・SD1127・SD2240に切られ、SD2244も畝状小溝SD2241に切られている。

遺物はSD421から、図示し得た土師器無台椀・小甕・佐渡型甕・鍋、須恵器杯蓋・甕、鉄斧などの他、土師器長甕、須恵器無台杯・有台杯・長頸壺・横瓶などの小破片が多量に出土している。これらの出土遺物から概ねVI1期の年代観が得られる(図版109・117)。

#### SD417 (図版 27・29)

本遺構は15Iに位置する。L字形の平面形をなし、遺構北側では北東-南西方向に約4.3m、南西端でほぼ直角に屈曲し、北西-南東方向に約3.0m延び、SK2526に壊されて終わっている。全長約7.3m、上面幅0.28～0.60m、深度は12～22cm。断面形はU字状を呈する。SK447を切っているが、SD422との新旧関係は不明である。出土遺物は、土師器無台椀・長甕・小甕・鍋、須恵器無台杯などの小破片が少量出土している。本遺構は、重複するSK2526と、15Jに位置するSK18を含め、南東側に口を開いたコの字状の平面形と考えることもできよう。建物の周囲に配置された溝と推定されるが、該当する建物は検出できなかった。

#### SD2101 (図版 32・33、写真図版 5・47)

本遺構は16K・L、17Lに位置する。南東側に口を開くコの字形の平面形で、総延長約28.8mを測る。

SB3016の周囲に配された溝と考えられる。上面幅0.60～0.80m、深度15～30cmを測り、断面形はU字状を呈する。覆土は3層に分層され、1層が暗オリーブ褐色シルト、2層が黒褐色シルト、3層が暗灰黄色砂質土である。重複するSD2126を切り、SD2103に切られる。遺物は、図示し得たもので須恵器無台杯・杯蓋・甕、土師器無台碗・小甕・鍋、黒色土器無台碗、細形管状土錘などがあり、その他須恵器有台杯・長頸壺・横瓶、土師器長甕・佐渡型甕などの小破片を含め多量に出土している。遺物からは概ねVI 2～3期の年代が得られる(図版115・116・135)。

**SD1700** (図版33・36、写真図版46)

本遺構は16・17Mに位置する。SB3018の周囲に配された溝と考えられる。L字形を呈し、建物の梁行北側柱列に沿って北東-南西方向に約7.2m、建物西隅の外縁で屈曲し、桁行西側柱列に沿って約15m伸び、総延長22.2m、上面幅0.45～1.30m、深度約30cm。断面形は逆台形状を呈する。覆土は5層に分層され、1・2層が黒褐色シルト、3・4層が灰黄褐色シルト、5層が暗灰黄色シルトである。重複するSK2124、また畝状小溝と推定されるSD1903・SD1911・SD1918・SD1927・SD1928いずれよりも古い。

遺物は、図示し得たもので半完形を含む須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器長甕・鍋、細形管状土錘などがあり、これら以外に土師器無台碗・小甕・佐渡型甕、須恵器甕・横瓶などの小破片が多数出土している。遺物からは概ねVI 1期の年代観が得られる。

以上の他に、建物の周囲に配置されたとみられる溝として、調査区中央の建物群を大きく括ったSD88・SD678・SD2089・SD2091・SD2274、調査区南東側の建物群を括ったSD1907・SD1803なども建物に関連する区画施設と考えられる(図版114・135)。

**b 居住域を区画する溝**

**SD82** (図版25～27、写真図版7・45)

本遺構は13I、14H、15G、16E、16Fに位置する。調査区西側の16Eより東方向に向けて調査区内に進入し、16Fで北東方向に屈曲してから、ほぼそのまま真っ直ぐ走行して旧河川に直交するようにして交わる。建物域となる14H付近では、SB3006・SB3007・SB3009・SB3010・SB3015などと軸を同じくする。調査区内の全長は約50.9mを測る。断面形は逆台形を呈し、上面幅0.60～1.60m、深さは16Eで30cm、13Iで66cmを測る。溝は旧河川に向けて徐々に深くなっている。覆土は7層に分層されるが、大きく上層が褐灰色シルト、下層が青灰色シルトを基調としている。重複するSK256、SD12、畝状小溝とみられるSD402・403・697・938・939・940・1127・2240・2241・2242いずれよりも本遺構の方が古い。

遺物は、図示し得たものでは食膳具や貯蔵具などの完形品を含む計55点。器種別で須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・長頸壺・短頸壺・平瓶・甕、土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋、黒色土器無台碗・有台皿などがあり、他に小破片を含めると総点数は700点にのぼる。土器以外では細形管状土錘が出土している。遺物の中心時期はVI 2～3期と考えられる(図版104～107)。

**SD606** (図版18～21、写真図版7・45)

本遺構は11F・G、12D・Eに位置する。調査区西側12D付近より北東方向に向けて調査区内に進入し、緩やかに東向きに進路を変え、12Eでは再び北東方向に戻し、建物域となる11F・Gでは、SB3003・SB3004・SB3005に軸を合わせてほぼ真っ直ぐ向し、旧河川に直交して終わる。調査区内の全長は約44mを測る。断面形は逆台形状を呈し、上面幅0.95～1.57m、深度は12Dで47cm、11Gで88cmを測る。溝は旧河川へ向けてより深くなる傾向が看取される。覆土は6層に分層されるが、基本的にはオリーブ灰色シルトで、レンズ状堆積をなしている。重複するSK1744、SD1778より本遺構の方が古い。

遺物は、図示し得たものでは須恵器無台杯や有台杯・長頸壺、土師器無台碗や小甕などの完形品を含む計21点。器種別で須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・長頸壺・甕、土師器無台碗・長甕・小甕・鍋などである。他に小

破片を含めると総点数は300点を数える。遺物からはVI 1期の年代観が得られる(図版110・111・136)。

c 畑作関連と考えられる溝(畝状小溝)

SD397・398・663・871・1051・1053・1077・1081・1082・1083・1084・1085・1086・1087・1089・1091・1092・1204・1205・1216・1218・1223・1250・1253・1257・1259・1268・1269・1270・1284・1285・1286・1293・1766・1779・1781(図版13～20、写真図版46)

本遺構群は、8B・C・D、9C・D、9E・F、10D・E・F、11E・Fに位置する。北西側は調査区外に延びるが、現状の規模は北西-南東方向が約40m、北東-南西方向が約20mを測る。畝の山側は遺存せず、小溝(さく)のみが11列、35条検出された。小溝の規模は、幅約50cm、深さは約20cm、畝合いは平均1mを測る。方位は概ねN-40°-Wを指す。覆土は灰色シルトを基本とする。

溝内から出土した遺物は、図示し得たものでは土師器無台碗・長甕、須恵器無台杯・杯蓋など、主に小破片が中心である(図版112・113・136)。

SD678・679・680・681・691・698・924・961・962(図版18～20・22)

本遺構群は調査区12Fに位置する。遺存する規模は、北西-南東方向に約13.5m、北東-南西方向に約4.4mを測る。畝の山側は遺存せず、小溝(さく)のみ4列、9条の検出である。小溝の規模は幅約30cm、深さ約15cm、畝合いは1.40～1.70mを測る。方位は概ねN-30°-Wを指す。覆土は灰色シルトを基本とする。

遺物は土師器無台碗や須恵器甕などの小破片が僅かに検出されたのみである。

SD278・291・402・403・458・478・695・696・697・938・939・940・1127・2240・2241・2242(図版23・24・26・27、写真図版46)

本遺構群は12・13・14G、14・15H、15・16Iに位置する。現状の規模は、北東-南西方向に最大で約18m、北西-南東方向に約53mを測る。畝の山側は遺存せず、小溝(さく)のみが多いところで10列並ぶ。小溝の規模は幅約30cm、深さ約20cm、畝合いは平均1.90mを測る。方位は北側がN-50°-Wを指すが、南側でやや西寄りに屈曲し、N-35°-Wと向きを変える。覆土は褐灰色シルトを基本とする。

SD403から図示し得た須恵器甕の大破片が出土した他、各小溝から土師器無台碗・長甕・小甕・佐渡型甕・鍋、須恵器有台杯・杯蓋・短頸壺などの小破片や細形管状土錘などが出土している(図版108・109・110・112・113)。

SD419・448・2129・2130・2131・2132・2133・2151・2154・2165・2166・2195・2331・2332・2333・2507・2509・2567・2844・2845(図版27・29～32、写真図版48)

本遺構群は16I・J、17J・Kに位置する。遺存する現状の規模は、北西-南東方向に約30m、北東-南西方向に約12mを測る。畝の山側は遺存せず、小溝(さく)のみが11列、計20条が検出されている。小溝の規模は幅約40cm、深さ約20cm、畝合いは極端に狭いところもあり、耕作痕が重複していると考えられる。方位は概ねN-60°-Wを指す。覆土は灰色シルトを基本とする。

覆土中からは、図示し得た須恵器無台杯・杯蓋・甕、細形管状土錘など、小破片を中心に少量が出土している(図版116・117・135)。

SD1411・2421・2422・2424・2471～2475(図版36・37・42、写真図版47)

本遺構群は19Nに位置する。南西側が調査区外にかかり詳細は不明であるが、調査区内での規模は北西-南東方向に約19m、北東-南西方向に約9mを測る。畝の山側は遺存せず、小溝(さく)のみが10列並ぶ。小溝の規模は幅約40cm、深さ約20cm、畝合いは平均で0.90mを測るが、まちまちである。方位は概ねN-65°-Wを指す。覆土は褐灰色シルトを基本とする。

SD2422・SD2475の覆土中から図示し得た土師器無台碗や須恵器杯蓋などがあるが、全体の遺物量は少ない(図版116・135)。

SD1911～1918(図版33・35～39、写真図版47)



本遺構群は16N・O、17M・N・Oに位置する。南西側の調査区外にかかり、また各溝が必ずしも並行関係にないため詳細は不明であるが、調査区内での規模は北西－南東方向に約13m、北東－南西方向に約27mを測る。畝の山側は遺存せず、小溝（さく）のみが8列並ぶ。小溝の規模は幅約40cm、深さ約20cm、畝合いは17N～O付近では平均で1.9mを測るが、16OではSD1915がSD1913・SD1914と交差したり、17NではSD1912がSD1913・SD1914と交差するなど、小溝は南西端、北東端とも並行関係にあるとは言い難い状況である。これは切り合い関係にある数条の溝を1条として調査した可能性も考慮する必要がある。ある程度並行関係を示すSD1911・SD1914・SD1918では概ねN－30°－Eを指す。覆土は褐灰色シルトを基本とし、4層に分層される。

遺物は、図示し得たものではSD1913から須恵器無台杯、SD1911・SD1913から細形管状土錘が出土しているが、各溝の遺物量は僅かである（図版114・135・136）。

#### SD1901～1904・1920・1944・2402（図版33～39）

本遺構群は、調査区で16・17N、17Oに位置する。現状の規模は、北西－南東方向に約20m、北東－南西方向に約10mを測る。SD1902のみさらに南東方向に延びて総延長約35mとなる。畝の山側は遺存せず、小溝（さく）のみが7列並ぶ。小溝の規模は幅約40cm、深さ約20cm、畝合いはSD1901～SD1903間が約2.2m間隔である一方、SD1903～SD2402間は1.1m間隔である。方位は概ねN－60°－Wを指す。覆土は褐灰色シルトを基本とする。

遺物の出土量は全体に少なく、図示し得たものではSD1903から須恵器杯蓋、SD1904から土師器長甕、SD1920から土師器小甕が、それぞれあるのみであるが、須恵器無台杯や有台杯、土師器無台碗・長甕・小甕、細形管状土錘などの小破片も出土している（図版114）。

#### SD1341～1345・1349・1350・1501～1513・1823・1833・2405・2406・2409・2480・2908・2911・2912・2913・2968・4302（図版38～40・43～45、写真図版46）

本遺構群は、調査区で18O・P・Q、19P・Q・R、20Q・Rに位置する。現状の規模は、北西－南東方向に約40m、北東－南西方向に最大で18mを測る。畝の山側は遺存せず、小溝（さく）のみが22列並ぶ。小溝の規模は幅約35cm、深さ約15cm、畝合いは極端に狭いところがあり、耕作痕が何度か重複していると考えられる。方位は概ねN－60°－Wを指す。覆土は黄灰色シルトを基本とする。

遺構の規模からすれば、全体の遺物出土量は少なく、図示し得たものではSD1341・SD1344・SD1350から出土した須恵器無台杯があるのみである（図版113・114）。

#### d 平場施設を区画する溝

##### SD1803～1806、1905（図版38～41、写真図版47）

本遺構群は、16N・O・P、17O・P・Qに位置する。旧河川の氾濫原に沿い、SD1803とSD1905が概ねN－60°－Wの方位で8mの間隔を開けて約30m並行する。その内側南東寄りに、SD1805とSD1806がそれぞれ土地を区画し、溝の内側には平場が構築される。SD1805は平面形が台形状で、南西側約5m、北東側約6m、南西－北東方向が約6.5mを測る。区画された面積は約22m<sup>2</sup>である。SD1806は平面形が約5m四方の方形で、区画された面積は20m<sup>2</sup>である。溝の規模はSD1803が上面幅が0.20～0.55m、深さは11～23cm。SD1805が上面幅が0.30～0.90m、深さは12～46cm。SD1806が上面幅が0.30～0.60m、深さは8～30cm。SD1905が上面幅が0.33～0.73m、深さは18～34cmを測る。新旧関係では建物群、畝状遺構群より新しいと考えられるが、時期を比定できる資料に乏しい。

遺物はSD1803より須恵器無台杯、土師器長甕・佐渡型甕などの小破片、SD1905より細形管状土錘などが検出されたが、図示し得た資料はなかった。

## 7) テラス状遺構 (SX) (図版 17、写真図版 9・49)

旧河川の肩口付近には、次項の不明遺構の中で「階段状施設」と推定される遺構の他に、船着場あるいは物資の荷揚場と考えられるテラス状遺構が調査区北東隅の 7F、8F 周辺で確認されている（遺構全体図／割図 3）。

テラス状遺構は SD336・SD1043 と旧河川との間に位置すると考えられ、他の遺構群が検出された微高地上の面よりも 20～30cm ほど低い場所に形成されている。検出された範囲は、南北約 19m、東西約 7m を有するが、その範囲は北および東側に広がるものと推定される。テラス面はほぼ平坦に仕上げられており、旧河川の肩口を改変して形成された「水上交通施設」であったと考えられる。

テラス状遺構からは遺物がほとんど出土していないため時期の比定は困難であるが、周囲にみられる溝や土坑をその付属施設と考えると概ね VI 期の範疇で理解できよう。また、遺構の性格を船着場あるいは物資の荷揚場と捉えると、掘立柱建物群との関連性が窺え、旧河川を利用した水上交通の存在を想定することができよう。

## 8) 不 明 遺 構 (SX)

本項では前述までの土坑やピットとも異なる形態の不明瞭な遺構について「不明遺構 SX」として取り扱う。階段状遺構と判断した SX2029・SX2030・SX2294 は、旧河川の肩口に位置しており、平面形はやや不明瞭であるが、断面が階段状を呈することから人為的な掘削によるものと考えた。出土遺物からの時期の比定は困難であるが、立地や配置などを考慮すると、掘立柱建物群が形成された時期の所産と推定される。また、窪地地形と考えた SX1330・SX4004 は、自然の落ち込みを人為的に整地したものと捉えている。窪地地形の時期については、覆土の様相より判断すると近世以降の所産と考えられる。

## SX1330 (図版 88、写真図版 48)

20P3・4・8・9 で検出された窪地の一つと考えられ、遺構間の重複関係では本遺構→SD752→SD523・SD524・SD754 の順で構築されるが、重複による影響で遺存状態はよくない。平面形は不整形と推定され、規模は長軸方向で 2.96m、確認面からの深さは最深部で 0.25m、底面標高は -1.06m。覆土は 3 層に分けられ、層下位より暗灰黄色シルト→黄灰色シルトの順で堆積する。覆土中より須恵器無台杯や土師器小甕・非ロクロケズリ甕などの小破片が出土している。

## SX2029 (図版 88、写真図版 48・49)

本遺構は旧河川の肩口で検出された「階段状施設」とした遺構の一つで、11H16・17・21・22 を中心に位置する。規模は長軸 4.44m、短軸 1.92m。三段から構成され、高低差は約 0.65m。最下段の底面標高は -1.63m。遺構は旧河川に向かって東側へ階段状に下がる。西側に隣接する掘立柱建物との位置関係から河川への降り口と考えられる。覆土は層下位より青灰色シルト→灰白色土→褐灰色土の順に堆積している。覆土中より須恵器甕、土師器長甕・小甕などの小破片が出土している。

## SX2030 (図版 88、写真図版 49)

旧河川の肩口で検出された「階段状施設」とした一つで、12H25、12I21 に位置する。遺構間の重複関係では本遺構→P996 の順に構築される。規模は長軸 2.65m、短軸 1.00m、高低差は最大で 0.30m、底面標高は -1.30m。断面形が階段状を呈することから、SX2029 と同様に旧河川への降り口と考えられる。覆土は、層下位より明青灰色シルト→灰白色土→褐灰色粘質土の順に堆積する。遺物は出土していない。

## SX2294 (図版 88、写真図版 49)

旧河川の肩口で検出された「階段状施設」とした一つで、14J25、14K21、15J5 に位置する。遺構間の重複関係では SK11 に一部が壊される。規模は東西軸で約 3.9m、南北軸で約 2.1m を測る。四段から構成され、高低差は最大で約 0.6m。最下段の底面標高は -1.80m を測る。旧河川に向かって東側へ階段状に下がる。西側に隣接する掘立柱建物との位置関係から河川への降り口と考えられる。覆土は黒褐色シルトを基質とし、層全

体にガツボが含まれる。遺物は出土していない。

9) 旧 河 川 (図版 21・25・29・33・35)

調査区の東壁際に位置し、8F、9F、9G、10G、10H、11G、11H、12H、12I、13I、13J、14J、14K、14N、14O、15K、15L、15M、15N、15O にかけて確認された旧河川である。北西から南東方向に延びており、15M、15N、15O 付近では東側に強く湾曲する。調査区の制約から詳細は不明であるが、確認面からの深さは最大で約 2m を測り、最深部の底面標高は約 - 2.5m である。

旧河川の肩口部分には、前述の「階段状施設」と推定される遺構の他に、船着場状遺構と考えられるテラス状遺構が調査区北側の 7F・8F の周辺で確認されている。河川際に設けられたこれらの施設は、集落における水運の様相を示すものであり、注目される。

旧河川より出土した遺物は、9 世紀代後半を中心とする食膳具（須恵器無台杯・有台杯・杯蓋、土師器無台碗・有台皿、黒色土器無台碗・無台皿）や煮炊具（土師器長甕・小甕・佐渡型甕・鍋）、貯蔵具（須恵器甕・長頸壺・短頸壺・横瓶）、供用具（水瓶もしくは浄瓶）などの土器類が主体であるが、古墳時代後期の黒色土器鉢や奈良時代の土師器甕、近世の陶磁器も僅かに出土している。土器類以外では木簡や祭祀具、生活用具、建築部材などの木製品、漁撈具（土錘）、石製品（砥石・有頭石錘・石槌・磨石状製品・石皿・軽石製品）などもある。木製品や漁撈具は古代の所産と考えられる（図版 117～127・135～138・144～149）。

## B 近世以降の畑作関連と考えられる溝

### 1) 溝 (SD)

SD100・102～114 (図版 47・48、写真図版 9)

本遺構群は、調査区北端、4K・L、5J・K・L・M、6K・L・M、7I・J・K にわたって展開する。地形的には、古代遺構群と旧河川を挟んで対面するが、旧地形に影響されてはならず、また軸も一致しない。溝は SD102・SD107・SD108・SD112・SD113・SD114 が東西方向に並行して走行し、SD100・SD104・SD105・SD106・SD109・SD110・SD111 が並行して南北方向に走行し、互いに直交する。方位は東西方向の溝が N - 65° - E を指し、南北方向の溝が N - 25° - W を指す。現状の規模は、東西に約 38m、南北に約 23m であるが、調査区外にさらに展開する。溝の規模は上面幅で 0.25～1.80m、深度は 10cm ほどと浅く、断面形は皿状を呈する。各溝は、畝状小溝とみられるが、畝合いが等間隔でなく、詳細は不明である。覆土は全体に有機質を多く含む。

遺物はごく僅かで、SD102 から図示し得た肥前系の磁器碗と須恵器有台杯が、また SD107 から土師器長甕が出土しているが、遺構の年代を比定する資料としてはやや心許ない。肥前系の磁器碗を目安とすれば 18 世紀代の年代観となり得る資料であり、覆土の様相を考慮に入れても近世以降の成立と考えるのが妥当であろう（図版 107・134）。

### 2) 不明遺構 (SX)

SX118 (図版 87、写真図版 48)

本遺構は北東側調査区の中央で 4 基並んで確認された窪地の一つとみられ、6K16・17・21 に位置する。平面形はアメーバ状を呈し、底面には凹凸がみられる。規模は長軸 2.24m、短軸 0.38～0.77m、深さは確認面から最深部で 0.10m を測る。底面標高は - 1.03m。覆土は表土層に近似する。近世以降の所産とみられる。土師器無台碗や鍋などの小破片が出土している（図版 128）。

SX119 (図版 87、写真図版 48)

北東側調査区の中央で 4 基並んで確認された窪地の一つと推定され、6J15・20、6K11 に位置する。平面形

はアメーバ状を呈し、底面には若干の凹凸がみられる。規模は長軸 2.80m、短軸 0.45～1.03m、深さは確認面から最深部で 0.08m を測る。底面標高は -1.01m で、覆土は表土層に近似することから本遺構も近世以降の所産と考えられる。土師器無台椀や鍋などの小破片が出土している。

#### SX120 (図版 87)

北東側調査区の中央で 4 基並んで確認された窪地の一つと考えられ、6J9・10 に位置する。平面形はアメーバ状を呈し、底面には若干の凹凸がみられる。規模は長軸 2.85m、短軸 0.60～0.96m、深さは確認面から 0.08m を測る。底面標高は -1.03m。覆土は表土層に近似する。本遺構より遺物は出土していない。

#### SX121 (図版 87、写真図版 48)

本遺構は北東側調査区の中央で 4 基並んで確認された窪地の一つとみられ、6J4 に位置する。平面形はアメーバ状を呈し、底面は比較的平坦である。規模は長軸 1.55m、短軸 0.72m、深さは確認面から 0.08m、底面標高は -0.98m を測る。覆土は表土層に近似する。須恵器長頸壺や土師器無台椀などの小破片が出土している。

#### SX307 (図版 87、写真図版 48)

本遺構は 9F6～8・11・12 に位置する。2 基並んで確認され、2 つは一連の遺構と考えられる。遺構間の重複関係では SE1220・SD1077・SD1223→本遺構の順で構築される。平面形は 2 基とも長方形を呈するが、やや歪みがみられる。規模は西側で検出されたものがやや大きく、長軸 1.95m、短軸 1.10m、底面標高は -1.04m を測る。東側は長軸 1.60m、短軸 0.90m、底面標高は -1.10m。深さは両者とも 0.10m 前後で、底面は比較的平坦である。覆土は青黒色シルトより構成され、須恵器甕や土師器長甕などの小破片が出土している。

#### SX314 (図版 88)

本遺構は 9E14・15・19・20 に位置し、遺構間の重複関係では P321→本遺構の順で構築される。平面形は長方形を呈するが、やや歪みがみられる。規模は長軸 2.05m、短軸 1.48m、深さは最深部で 0.12m、底面標高は -1.01m。規模・形状から隣接する SX307 との関連が指摘できるが詳細は不明である。覆土は青黒色シルトより構成され、土師器長甕や小甕などの小破片が出土している。

#### SX4004 (図版 88、写真図版 49)

本遺構は調査区南東側の東隅で検出された窪地の一つとみられ、19S1・2・6・7 に位置する。平面形はアメーバ状を呈し、規模は長軸 2.58m、短軸 1.35m、底面には凹凸がみられる。深さは最深部で 0.20m を測り、底面標高は -1.16m。覆土は基本層序の第 I 層に対比されることから、窪地地形であった可能性が高い。遺物は出土していない。

## C 時代不明の遺構

### 1) 溝 (SD)

古代集落の溝が埋没したのちに成立していることから、少なくとも 10 世紀以降の流路とみられる。

#### SD12 (図版 23・25・27・29・32)

本遺構は調査区の中央付近に位置し、12・13H、15J、16K、17K を跨ぐ溝である。自然流路と考えられ、底面標高値から推定すると、調査区南側の 17K からはじまり、流路を北向きに取り、途中でやや西寄りに変えながら、しばらく旧河川と並行し、再び北向きに進路を戻して旧河川と合流する。調査区内での総延長は約 62m を測り、断面形は逆台形状で、上面幅は 1.25～3.35m、深度は 20～56cm を測り、やや幅を持つ。新旧関係では、重複するすべての遺構を壊している。覆土は、植物遺存体を含む暗褐色粘質土を主体としている。

遺物は、須恵器無台杯・有台杯・杯蓋・長頸壺・甕、土師器無台椀・長甕・小甕・佐渡型甕・非ロクロケズリ甕・鍋、黒色土器無台椀、俵形土錘など計 2,000 点近い遺物が出土したが、大半が小破片であり、これら出土遺物は重複関係によりもたらされた副次的な混入遺物である可能性が高く、本遺構の時期を比定しうる資料にはなり得ないと考える (図版 136・143)。



## 第V章 遺物

今次調査によって出土した遺物量は、コンテナ（内径 54.3 × 33.6 × 10.0cm）換算で示すと、土器が約 250 箱、木製品が約 40 箱、石製品・礫が約 6 箱、土製品が 1 箱弱、金属製品が 0.5 箱となる。その大半は須恵器・土師器を中心とする平安時代の土器群である。土器以外では、木筒や祭祀具、生活用具・生産用具・建築部材などの木製品がまとまって出土したが、これらも平安時代のものと思われる。他に古墳時代中・後期の土器や奈良時代の土器、近世の陶磁器類などが僅かに出土しているが、中世の遺物は確認されていない。

また、この他に土製品、石製品、金属製品、鍛冶関連遺物（輪の羽口、鋳滓）などが出土している。そのほとんどが古代に属するものと思われる。

### 第1節 土器・陶磁器

駒首瀆遺跡から出土した古代の土器は、その中心をなす須恵器・土師器の他に黒色土器が少量出土しているが、灰釉陶器や緑釉陶器などの施釉製品は確認されていない。

出土した土器の大半は、平安時代に帰属する掘立柱建物やそれに伴う溝状遺構、井戸・土坑などの遺構、隣接する旧河川、並びにそれら遺構群の確認時に出土したものである。遺構が出土した地区と小グリッド別土器出土分布図（第7・8図／須恵器・土師器の重量分布図）は両者の関係を示すもので、分布図の濃淡は遺構の分布密度とほぼ対応していることがわかる。

出土土器の編年的位置づけや時期区分については、春日編年〔春日 1997a・1997b・1999〕を基本としたが、坂井秀弥氏による研究成果〔坂井 1984・1989・1999〕を援用している。なお、春日真実氏には、本資料の時期や生産地についてご教示いただいたことを併記しておく。

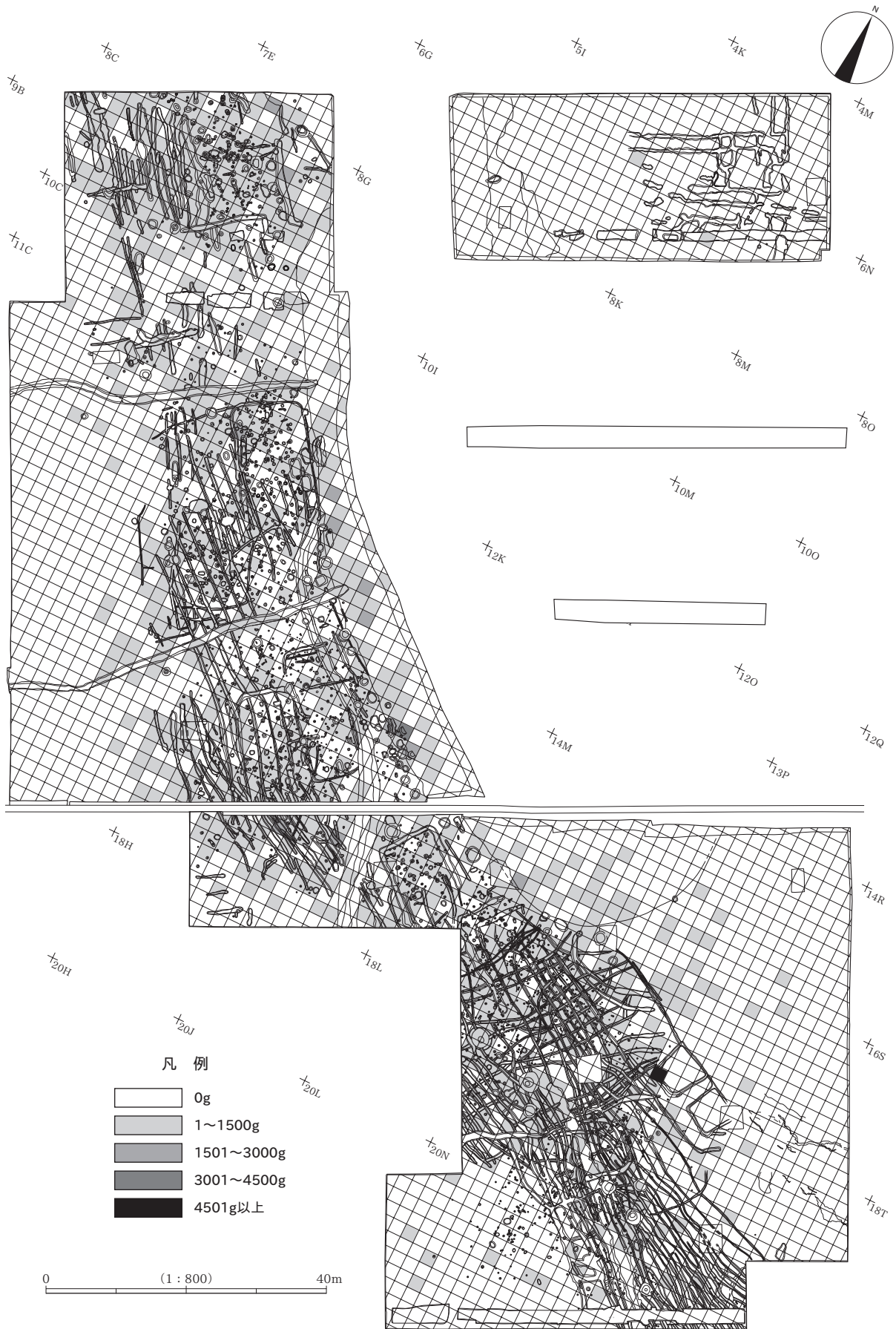
#### A 土器の分類と記述

##### 1) 用語の説明

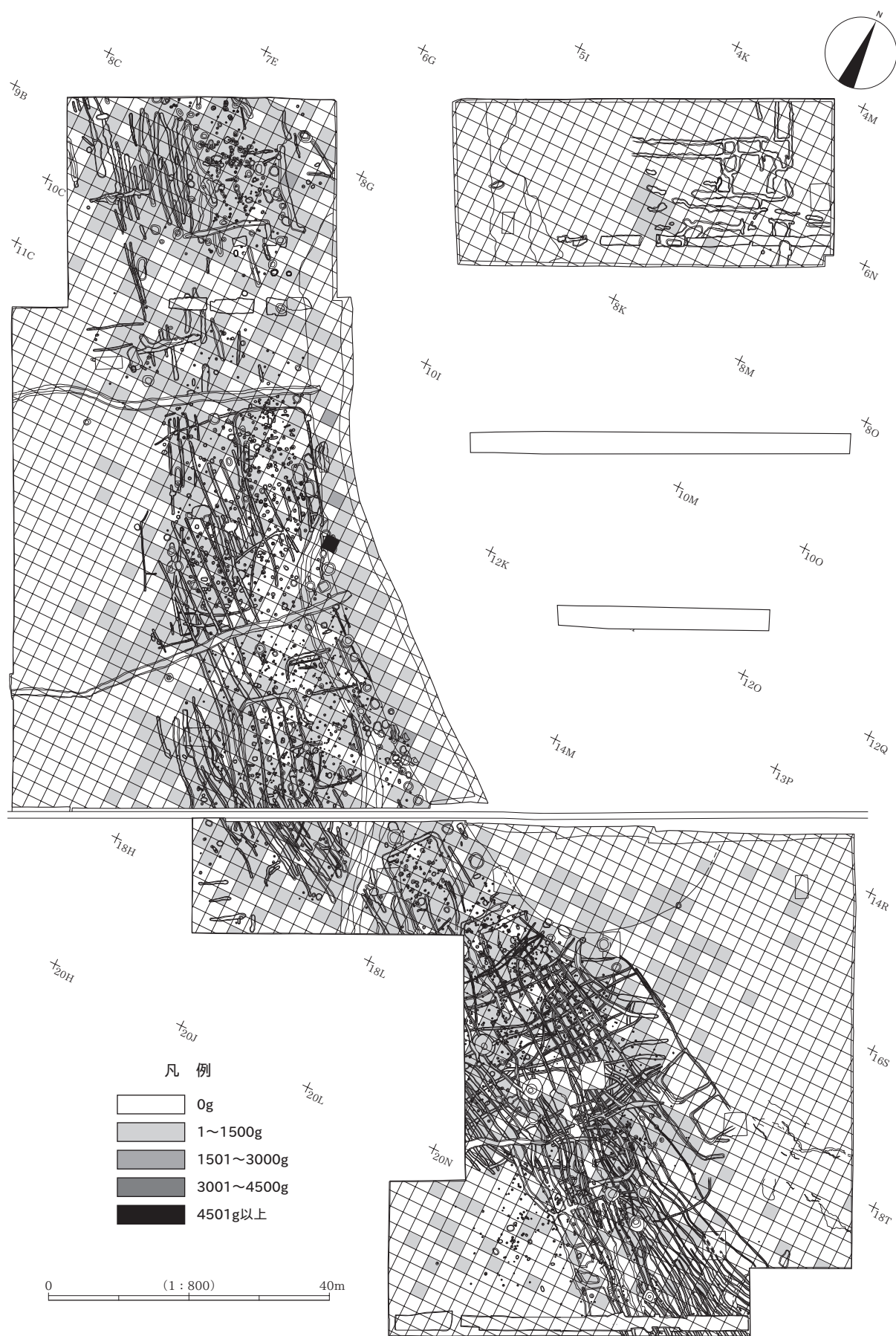
形態や手法による分類はアルファベットの大文字と小文字（A・B…，a・b…）で表記し、法量による分類はローマ数字と算用数字（I・II…1・2…）で表し、それぞれ類表記とし、大別の分類では群を用いた。

成形・調整技法の表現は、山三賀Ⅱ遺跡の報告〔坂井ほか 1989〕や寺道上遺跡〔渡邊 2001〕、日水遺跡第3次調査〔今井ほか 2007〕の記載を参考に以下のとおりとした。

1. 「ロクロナデ」ーロクロ・回転台使用、「ナデ」ーロクロ・回転台未使用。
2. 「ロクロケズリ」ーロクロ・回転台使用、「ケズリ」ーロクロ・回転台未使用。
3. 「カキメ」ーロクロ・回転台使用、「ハケメ」ーロクロ・回転台未使用。
4. 「ミガキ」ーロクロ・回転台未使用。
5. 「タタキメ」ー外面、「あて具痕」ー内面。
6. 底部の「ヘラ切り」・「糸切り」は、いずれもロクロの回転を利用したものである。本来ならば回転ヘラ切り・回転糸切りとすべきものであるが、「回転」は省略した。
7. 「無調整」ー糸切り後、調整を行わない。「再調整」ーロクロナデ・ナデ・ハケメ・ロクロケズリ・ケズリなどの調整を行う。
8. 非ロクロ成形による小甕底部の「無調整」は切り離し技法の認められないもの。



第7図 小グリッド別須恵器出土重量分布図 (S = 1/800)



第8図 小グリッド別土師器出土重量分布図 (S = 1/800)



9. 須恵器・土師器の区分は基本的には形態差を重視したが、出土土器の観察表記載では須恵器を還元炎焼成、土師器を酸化炎焼成としている。

この他、分量・胎土・出土地点・接合関係などの詳細については、巻末別表2の遺物観察表を参照されたい。須恵器の胎土は山三賀Ⅱ遺跡〔坂井ほか1989〕、古代阿賀北地域の土器様相〔春日ほか2004〕などを参考にA～D群に分類した。なお、報告書の作成過程において須恵器の産地同定については春日真実氏にご教示を賜った。

A群：胎土そのものが相対的に粗く、石英・長石・金雲母を多く含む。器面はざらついたものが一般的で、小礫が露出する。笹神丘陵の笹神・真木山窯跡群を中心とする阿賀北地方の須恵器と推定される一群。

B群：胎土そのものが精良で、白色小粒子を多く含む。器面に黒色の斑点、吹き出しがみられる。佐渡の小泊窯跡群の須恵器と推定される一群。

C群：胎土そのものは比較的精良で、石英・長石の小粒子を少量含む。器面は滑らかである。新津丘陵窯跡群の須恵器と推定される一群。

D群：A～C群以外のもを一括した。高田平野西部丘陵産と推定されるものも含む。

以下、須恵器、土師器、黒色土器の順で、それぞれの器種分類を行う。

## 2) 分類

### 須 恵 器 (第9・10図)

食膳具・貯蔵具それに供用具がある。食膳具には無台杯・有台杯・有台碗・杯蓋があり、貯蔵具には長頸壺(瓶)・広口壺・短頸壺・横瓶・平瓶・甕などの器種がある。また、供用具には鉄鉢・小瓶・水瓶もしくは浄瓶などの器種がある。

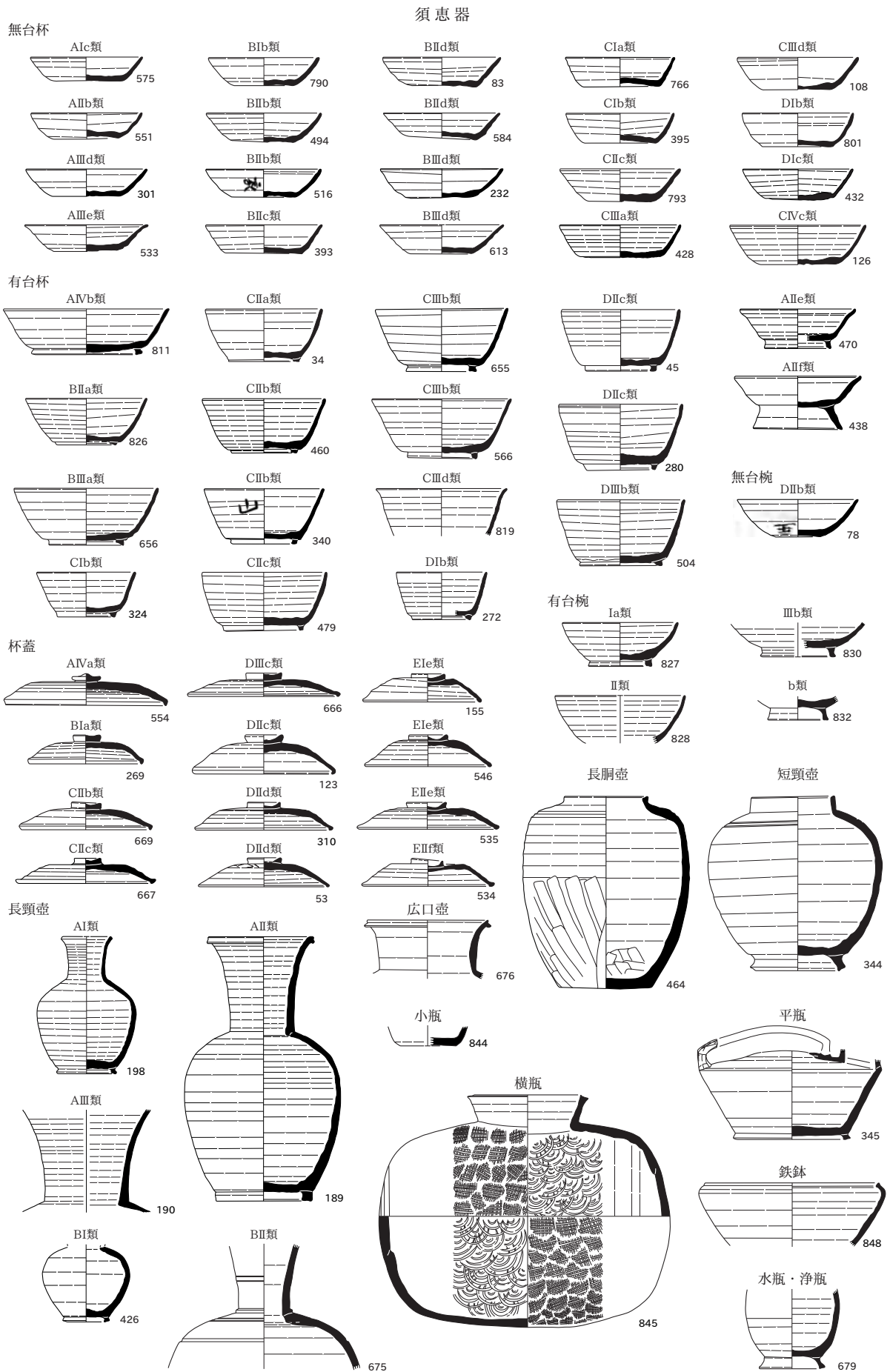
無台杯 杯のうち、高台を持たないもので、器高、口径、形態に着目して細分した。器高は器高指数によって身の浅いA類(23未満)・B類(23～25前後)と、身の深いC類(26～27前後)・D類(28以上)に分けられる。口径は12cm未満をI類、12～13cm未満をII類、13～14cm未満をIII類、14cm以上をIV類とした。形態的特徴でみると、体部の傾きが急なものをa類、体部が内湾ぎみに立ち上がるものをb類、体部が外傾ぎみに立ち上がるものをc類、体部の開きが大きいものをd類、体部の開きが大きくかつ口縁端部で外反するものをe類とした。これらを底径指数で示すと、a類は60前半～後半、b・c類は50後半～60前半、d類は50前半～後半、e類は50前半に概ね収まる。底部の切り離し技法はヘラ切りによる手法であるが、ナデなどの再調整を加えたものもある。また、切り離し技法が糸切りで、内湾しながら立ち上がる杯は無台碗として説明する。

上述の分類をもとに出土量を比較してみると、口径では12cm台のII類が最も多く、器高指数では身のやや浅いB類、底径指数ではb・c類が多いという結果が得られた。底径指数の大きいa・b類は、総じて底部の器壁が厚く、体部の開きが大きいd類は概して薄い傾向にあった。分類上ではBⅡc類が最も多く、次いでBⅡd類が続く。一方、体部の傾きが急なa類や口縁端部で外反するe類、口径の大きいIV類は全体的に少なかった。胎土別では、B群が最も多い。

形態的特徴より時期を考えると、体部の傾きが急なa類は総じてV期、体部が内湾ぎみに立ち上がるb類と外傾ぎみに立ち上がるc類はVI1期、体部の開きが大きいd類は総じてVI2～3期と推定することができる。

有台杯 杯のうち、高台を持つもの。器高、口径、形態によって細分した。やや身の浅いものも含まれるが、総じて深いものが中心となる。器高を器高指数で示すと、身の浅いA類(34未満)・B類(38～40)、身のやや深いC類(42～47)、身の深いD類(49以上)とに分けられる。口径では10～11cm前後をI類、12～13cm前後をII類、14～15cm前後をIII類、16cm以上をIV類とした。形態的特徴でみると、内湾ぎみに立ち上がるものをa類、外傾的に立ち上がるものをb類、外傾的に立ち上がり口縁端部で起きるものをc類、口縁端部で外反するものをd類、外傾ぎみに立ち上がり口縁端部が受け口状を呈するものをe類、高台の高いものをf類とし、高台が底部の外周に取り付くものを1類、やや内側に取り付くものを2類とした。



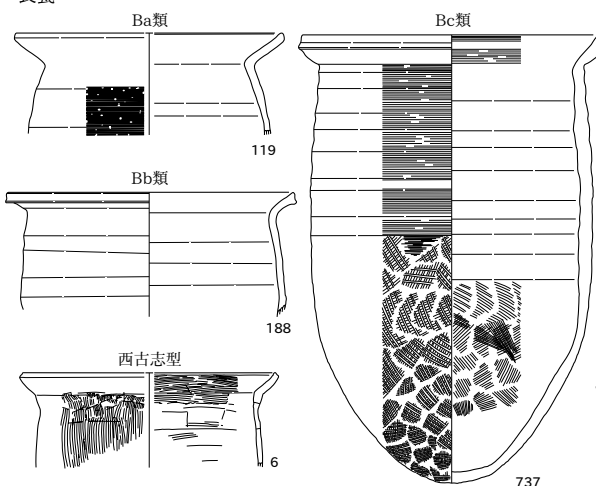


第9圖 駒首渦遺跡古代土器分類圖1 (S = 1/6)

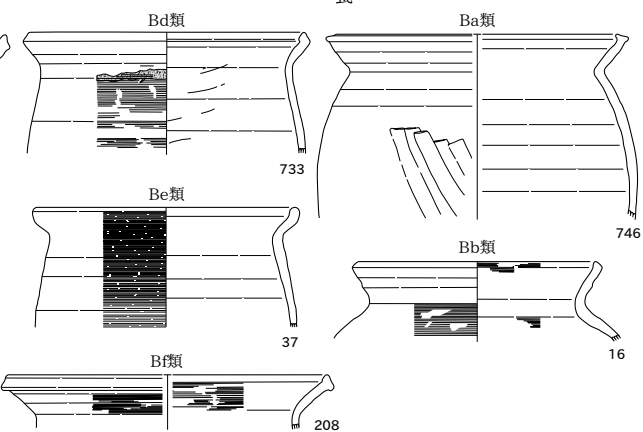


土師器

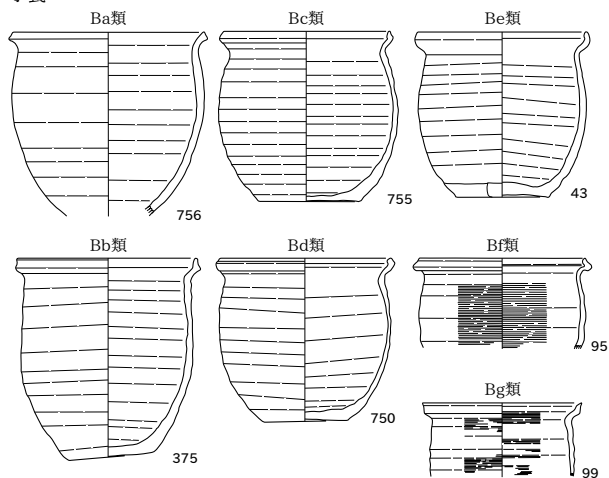
長甕



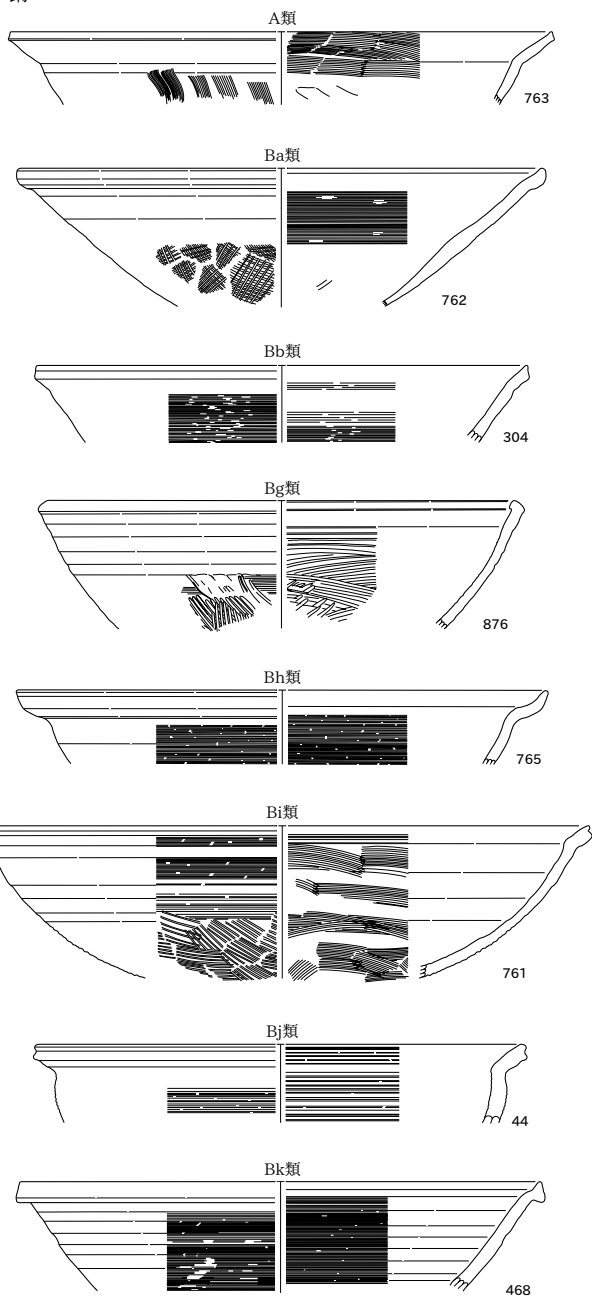
甕



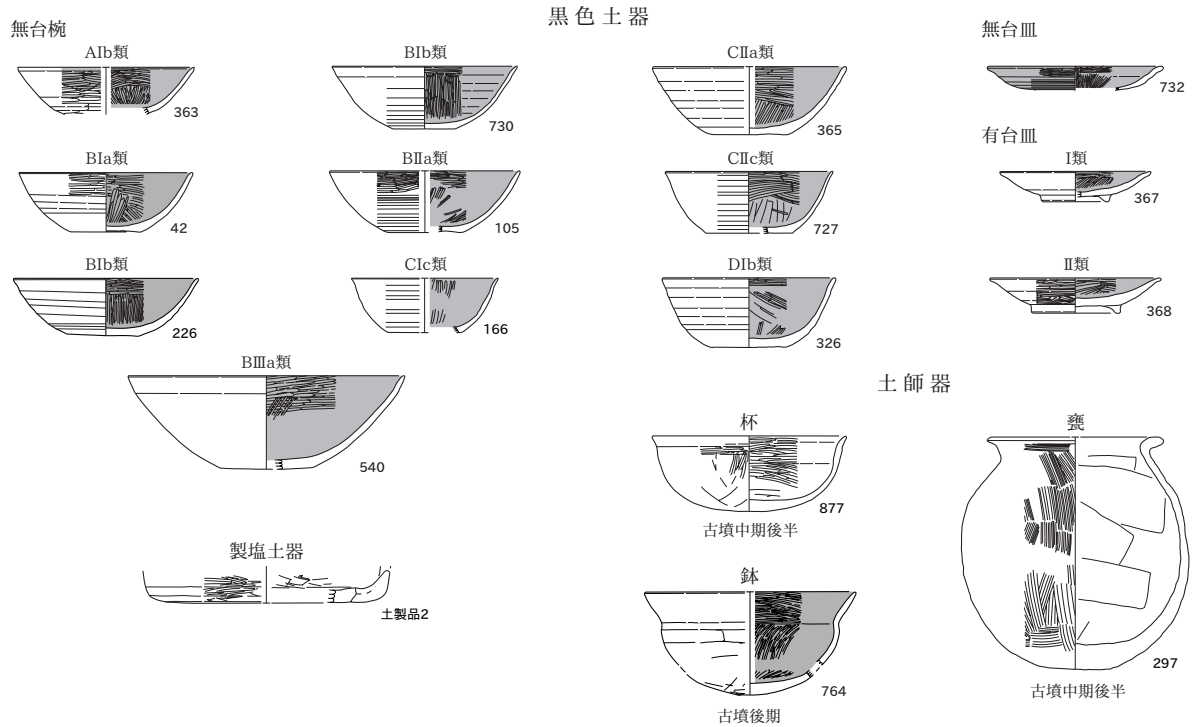
小甕



銅



第11圖 駒首瀧遺跡古代土器分類圖3 (S = 1/6)



第 12 図 駒首瀆遺跡古代土器分類図 4 (S = 1/6)

駒首瀆遺跡では器高の深い C・D 類が中心で、浅い A 類はほとんどみられず、器高による高低二者の分離はできない。一方、口径では概ね 4 分類でき、形態的特徴を加えると同一法量の中にも微妙な形態差として表れるが、これらは産地などに起因するものと考えられる。出土量では a～c 類が中心をなし、d～f 類は全体的に少ない。胎土別では a～c 類は胎土 B 群で占められ、d 類は C 群、e・f 類は A 群と推定される。

**無台椀** 無台杯のうち、切り離し技法が糸切り手法で、内湾しながら立ち上がる杯を無台椀として分類する。器形が判断できるものは 1 例のみで、無台杯の分類では D III b 類に属する。

**有台椀** 杯のうち、高台を持ち、内湾しながら立ち上がるもの。総じて器高の深いものが中心となる。口径は 12cm 前後を I 類、14cm 前後を II 類、16cm 以上を III 類とし、高台の高低で低いものを a 類、高いものを b 類とした。胎土は B 群が中心と思われるが、A～C 類以外のものも含まれている。但し器形の分かるものは少ない。

**杯 蓋** 有台杯に伴う蓋。つまみ・口径・端部の形態によって細分した。つまみは、宝珠形を呈するものを A 類、ボタン状を呈し中央がほぼ平らなものを B 類、ボタン状を呈し中央がやや凹むものを C 類、ボタン状を呈し中央が凹むものを D 類、環状を呈するものを E 類とした。口径は 12～13cm 前後を I 類、14～15cm 前後を II 類、16cm 台を III 類、17cm 以上を IV 類とした。端部の形態からは、端部の長さがやや長めのものを a 類、端部の長さが短いものを b 類、端部の屈曲が強いものを c 類、端部の屈曲が弱いものを d 類、端部が丸く収まるものを e 類、端部がやや外反するものを f 類とした。最大で 17.5cm のものまでであるが、多くは 14～15cm 台に収まる II 類で、有台杯との関係では I・II 類が杯蓋 I 類、II 類が同 III 類、III・IV 類が同 IV 類と対応するものと考えられる。杯蓋の多くは内面に墨痕が残ることから硯に転用された可能性が高い。

**長頸壺・瓶** 長い頸部を持つ壺・瓶類。胴部の形態で分類すると、肩部に稜を有する A 類と球胴形の B 類とに分けられるが、後者は少ない。また、大中小に種別でき、胴部の最大径で 10cm 前後を I 類、17～18cm 前後を II 類、20cm 以上を III 類とした。A 類は胎土 B 群が主体と考えられるが、球胴形の B 類は胎土 A 群に属するものが多いと思われる。1 点のみであるが頸部にリング状凸帯が付く長頸壺は胎土 A 群と推定される。



広口壺 器形の分かるものはないが、大きく口が開く壺を広口壺とした。3個体のみの識別で、胎土はB群と考えられる。

長胴壺 口縁が短く直立し、無台で長めの体部をもつものである。出土量はごく少量である。

短頸壺 口縁が短く直立し、球形に近い体部をもつものである。出土量は少ない。

横 瓶 俵形の体部に「く」の字状の短い口縁部が付くもの。口頸部や胴部の形態で細分できるが高台が付くものはない。胎土はいずれもB群で占められる。

平 瓶 肩に稜線が巡る体部の上面に大形のコ字形の提梁が付く形態の平瓶。底部は平底で高台のあるもの。1個体のみの出土。産地不明。

鉄 鉢 口縁が内湾し、肩が張り、底に向かってすぼまる器形。1個体のみの識別で、胎土はB群。供用具。

水瓶・浄瓶 高台および胴部下半の形態より水瓶もしくは浄瓶と推定した器種である。1個体のみの出土で、胎土はD群。供用具に分類される。

小 瓶 下半部のみ1点出土。底部に糸切り痕を留める。胎土はD群。供用具の類か。

甕 甕は出土量とともに大中小とバラエティに富む。口縁部の形態より分類すると、口縁部が直立ぎみに立ち上がるA類、「く」の字状に外反するB類、強く外反するC類とに分けられる。大中小を基準に分類すると、口径が40cm以上の大形品をI類、25～30cm前後の中形品をII類、20cm前後の小形品をIII類とした。胎土別では、B群が最も多いが、胎土A群と推定されるものやA～C以外のものも存在する。

#### 土 師 器 (第10・11図)

食膳具と煮炊具に大別される。食膳具は無台椀と無台皿の2種があるが、皿は僅かに1点のみの出土である。煮炊具は長甕、丸甕、小甕、鍋の4種で構成されるが、丸甕の出土はごく少量である。

無台椀 内外面ロクロナデ、底部糸切り無調整を典型とするが、ロクロケズリやミガキ、底部ヘラケズリなどの技法を特徴とする椀類も一定量含まれる。前者をA群、後者をB群とし、さらに器高、口径、形態より細分した。器高は身の浅いA類(30未満)・B類(30以上～35未満)、身の深いC類(35以上～40未満)・D類(40以上)に分けられる。口径は12cm未満をI類、12～13.5cm未満をII類、13.5～15cm未満をIII類、15～16.5cm未満をIV類、17～19cm前後をV類、20cm以上をVI類とした。形態的特徴では、体部が内湾ぎみに立ち上がるものをa類、開きぎみに立ち上がるものをb類、内湾ぎみに立ち上がり端部で外反するものをc類とした。また、底部をヘラケズリ調整されるB群は、体部の内外面や底部などにロクロケズリやミガキなどの調整がみられるが、これらの記載については遺構出土遺物もしくは遺構外出土遺物の項で説明する。なお、A群の中にも体部外面にケズリや内面にミガキなどの再調整されたものが一部にみられる。

無台皿 皿形を呈する無台の器種と考えられるが、全体の器形が窺えるものはない。器面は内画面ともロクロケズリされている。本資料は無台椀B群に含まれる器種と考えられる。

長 甕 非ロクロ成形のA類とロクロ成形のB類に大別されるが、A類の出土量は甕全体ではごく少量である。A類は口縁部や胴部および底部の形態、器面調整などによって細分できるが、総じて小片が多いため底部形態と器面調整に着目して分類した。底部では平底のa類と丸底のb類とに分けられるが前者はさらに少ない。a類とした平底の甕は全体に厚手で、ハケメも一部に認められるがケズリやミガキが中心である。一方、丸底のb類は全体に薄手で、基本はハケメのみの調整である。後者は「佐渡型甕」と呼ばれるもので、他の長甕と比べ器高がやや低い。また、ロクロ成形であるが、胴部にハケメを多用する「西古志型」と呼ばれる甕も1例出土している。ロクロ成形のB類は、いわゆる「長胴甕」で、口縁部はロクロナデされ、頸部から胴部上半はカキメ、下半はタタキメで調整され、すべて丸底と判断される。口縁部形態や調整などバラエティに富み、数量ともに豊富で、多種多様な細分も可能であるが、ここでは口縁端部の形態に着目して6分類とした。以下に示すと、口縁端部が丸く収められるa類、端部が立ち上がるb類、端部が上方につまみ出されるc類、端部が内傾するd類、端部が受け口状を呈するe類、上下につまみ出されるf類。さらにc～e類は口頸部の形態によって頸部

がやや長めの1類と短めの2類に分けられる。また、例外的に口縁部にカキメを有する3類、胴部にカキメがない4類がある。これらの分類のうち、主体はc・d類で、a・b・e類は少ない。

**甕** ロクロ成形(B類)の胴張りのものを一括した。底部の形態は不明。出土量はごく少量で、口縁部は「く」の字状に外傾し、胴部外面がヘラケズリ調整のa類とカキメ調整のb類とに分けられる。a類の口縁端部は平滑にされ、端部がつまみ出される。b類は丸く収められる。これらの分類のうち、Ba類はIV～V期、Bb類はV期に比定される。

**小甕** 非ロクロ成形のA類とロクロ成形のB類に大別される。A類はごく少量で佐渡型の小甕とみられる。一方、B類は口縁部から体部下半までロクロナデで調整された小形の甕で、底部はすべて糸切り無調整である。また、少量であるが胴部内外面もしくは内面にカキメが施されたものがある。口縁端部の形態より分類すると、口縁端部が外反ぎみに立ち上がるa類、口縁端部が上方につまみ出されるb類、内傾する口縁端部が上方につまみ出されるc類、内傾する口縁端部が丸く収められるd類、口縁端部が内湾ぎみに立ち上がるe類、端部が内側に強く屈曲するf類、口縁端部が外傾ぎみに立ち上がるg類とに分けられる。これらの分類のうち、主体はb・c類で、a・e・g類は少ない。

**鍋** 非ロクロ成形のA類とロクロ成形のB類に大別されるが、A類の出土量は鍋全体ではごく微量である。A類は全体を窺えるものはないが、体部上半をハケメやナデで調整する。一方、B類は体部上半をロクロナデやカキメなどで調整し、下半をタタキメで整えるものが基本であるが、一部にヘラケズリ調整されるものがあり、口縁部形態とともにバラエティに富む。B類を口縁端部の形態で細分すると、口縁端部が丸く収められるa類、直線的に立ち上がり口縁端部に面を持つb類、頸部で弱く屈曲し口縁端部に面を持つc類、頸部で屈曲し口縁端部が上方につまみ出されるd類、頸部で強く屈曲し口縁端部がつまみ出されるe類、口縁端部が外傾するf類、口縁端部が内傾するg類、口縁端部が受け口状を呈するh類、頸部で屈曲し端部外面に凹みを巡らすi類、頸部で強く屈曲し端部外面に凹みを巡らすj類、上下につまみ出されるk類に分類され、a・d類の一部とf・g類は体部にケズリ調整される。これらの分類のうち、主体はd～f類で、a・g・h・k類は少ない。

#### 黒色土器(第12図)

食膳具のみで構成され、器種では無台碗と無台皿・有台皿の3種。皿類で図示し得た資料は3点のみである。体部外面はロクロナデ・ロクロミガキもしくはミガキ、内面はミガキで調整し、内面に黒色処理を施したもの。外面に黒色処理したのも無台碗と無台皿にそれぞれ1点ずつ確認した。

**無台碗** 底部はヘラケズリのみの無調整のもの、ケズリ後にミガキやナデなどの再調整を加えたものがある。分類に際しては土師器無台碗と同じく、器高、口径、形態より細分した。器高は身の浅いA類(29未満)・B類(30～34未満)、身のやや深いC類(35～37未満)、身の深いD類(39以上)とした。口径は11～12cm台をI類、13～14cm台をII類、15～17cm台をIII類、20cm以上をIV類とした。体部の特徴では、内湾ぎみに立ち上がるものをa類、外傾ぎみに立ち上がるものをb類、内湾ぎみに立ち上がり口縁端部で外反するものをc類とした。

**無台皿** 皿形を呈する無台の器種とみられ、器高が低く体部の開きが大きい。全体の器形が窺えるものはない。器面は外面がミガキとロクロケズリ、内面がミガキ調整で、黒色処理は両面に施される。出土例は本例のみ。

**有台皿** 器高が低く体部の開きが大きい皿形の器形に高台が付く器種。器面は外面がロクロナデのみの器種と、ミガキのみの器種があり、内面は両者ともミガキ調整され、黒色処理は内面のみとなっている。口径で分けると、12cm前後をI類、13cm台後半をII類とした。図示し得た資料は上述の2点のみ。

以上、駒首瀉遺跡における古代(奈良・平安時代)の出土土器について、その分類基準を示し説明を行った。春日編年に置き換えると、III期頃を初現とし、VII期までの資料が含まれているが、その中心はVI期の時期であり、暦年代では9世紀後半の年代が与えられている[春日1999]。本遺跡の中心となるVI期は、在地産(越後国内)の須恵器が大幅に減少し、佐渡小泊窯跡群の須恵器と在地産の土師器類が食膳具の中心を占める時期と考え

られ、両者の消長関係により概ね2時期（VI1期、VI2～3期）に分けることができる〔春日1999・伊藤2005〕。

## B 古墳時代の土器

古墳時代の土器は、中期後半の土師器無台杯と甕、それに後期の所産と考えられる黒色土器鉢の計3点である。いずれも前代からの伝統的な遺制を残すものであるが、両時代とも遺跡内における様相は不明である。それぞれ時代毎に土器の特徴を示すと、中期後半の土器は土師器無台杯と非ロクロ成形の土師器甕の計2点で、無台杯は丸底を呈し、内外面がミガキ調整される。甕は球胴形を呈し、外面がハケメ調整される。無台杯は遺構外出土、甕はSK2200内出土。後期の土器は鉢形を呈し、内面が黒色処理される。出土地は旧河川内である（第12図）。

## C 古代の土器

### 1) 掘立柱建物(SB)

#### SB3001 (図版89、写真図版50・92)

図示し得た資料は、P1・P2・P5～7・P10の各埋土内より出土した須恵器や土師器などの破片9点。器種別では、須恵器無台杯(1)・杯蓋(2)、土師器無台碗(3)・長甕(5)・西古志型甕(6)・小甕(7・8)・鍋(4・9)など。無台杯の底部外面には「三」の文字が墨書される。1～3・6は概ねV期、5はVI期頃か。

#### SB3002 (図版89・141、写真図版50・82)

図示し得た資料は、P4の埋土内より出土した土師器鍋(10)とP1内出土の柱材(木製品11)の計2点。鍋は概ねBa類に属する。

#### SB3003 (図版89・141、写真図版50・82)

図示し得た資料は、P4・P11の埋土内より出土した須恵器甕(11)と土師器小甕(12)の破片、P9内出土の柱材(木製品3)の計3点。須恵器甕は胎土D群で産地は不明。小甕はBb類に属する。概ねVI期か。

#### SB3004 (図版89・141、写真図版82)

図示し得た資料は、P9の埋土内より出土した黒色土器無台碗(13)の小破片とP9・P10内出土の柱材(木製品6・10)の計3点。である。黒色土器無台碗はB I b類に属し、内面にミガキ調整が入念に施される。概ねVI期に比定される。

#### SB3005 (図版89・141、写真図版50・82)

図示し得た資料は、P8の埋土内より出土した須恵器無台杯(14)の口縁部破片とP8内出土の柱材(木製品7)の計2点。須恵器無台杯はB II b類に属し、時期は概ねVI1期に比定される。

#### SB3006 (図版89、写真図版50)

図示し得た資料は、P7の埋土内より出土した土師器長甕(15)と丸甕(16)の口縁部破片で、後者は胴張り形態を特徴とする。15は長甕Bd類、16は丸甕Bb類に属する。後者は概ねV期に比定される。

#### SB3007 (図版89)

図示し得た資料は、P11の埋土内より出土した土師器長甕(17)の口縁部片で、Bc類に属する。概ねV期か。

#### SB3009 (図版89、写真図版50)

図示し得た資料は、P2の埋土内より出土した須恵器無台杯(18)のみ。A II d類に属し、VI2～3期に比定。

#### SB3011 (図版134、写真図版79)

図示し得た資料は、P2の埋土内より出土した俵型の土鍾(土鍾3)のみ。

#### SB3013 (図版89、写真図版50)

図示し得た資料は、P7の埋土内より出土した須恵器杯蓋(19)のみ。III d類に属し、胎土はA群。概ねV期か。

#### SB3014 (図版89・134、写真図版79)

図示し得た資料は、P13・P15の埋土内より出土した須恵器有台杯の口縁部破片(20)と細形管状土鍾(土鍾4)

の2点。須恵器有台杯はⅡb類に属し、概ねⅤ～Ⅵ1期までの所産と考えられる。

**SB3016** (図版 89、写真図版 50)

図示し得た資料は、P<sub>9</sub>の埋土内より出土した黒色土器無台碗(21)のみ。内面にミガキ調整が入念に入る。BⅠa類に属し、概ねⅥ期に相当する。

**SB3017** (図版 89、写真図版 50)

図示し得た資料は、P<sub>1</sub>の埋土内より出土した須恵器無台杯(22)のみ。AⅡd類に属し、胎土はB群。概ねⅥ2～3期に相当する。

**SB3018** (図版 90・134、写真図版 50・79)

図示し得た資料は、P<sub>4</sub>・P<sub>5</sub>の埋土内より出土した須恵器や土師器などの破片9点。器種別では須恵器無台杯(23～25)・杯蓋(26)・長頸壺(27)・横瓶(28)、土師器小甕(29)、細形管状土鍾(土鍾5・6)など。23はAⅡc類に属し、時期はⅥ1期に相当する。24・25も同様か。28の横瓶は概ねⅤ期までの所産と考えられる。24の無台杯は胎土A群、他の須恵器はB群と推定される。

**SB3020** (図版 90、写真図版 50)

図示し得た資料は、P<sub>3</sub>の埋土内より出土した須恵器無台杯(30)と甕(31)の破片。30はBⅡc類に属し、概ねⅥ1期に比定される。30は胎土B群、31は胎土C群と推定される。

**SB3022** (図版 90、写真図版 50)

図示し得た資料は、P<sub>3</sub>の埋土内より出土した長頸壺を含む須恵器類4点。器種別では無台杯(32・33)、有台杯(34)、長頸壺(35)など。32の無台杯はBⅠc類、33はBⅡc類、34の有台杯はCⅡa1類、35の長頸壺はAⅡ類に属し、概ねⅥ1期までの所産と考えられる。胎土は32～34がB群、35はA群と推定される。

## 2) ピ ッ ト (P)

**P17** (図版 90、写真図版 51)

図示し得た資料は、須恵器甕(36)の胴部大破片。P19およびSK18と接合関係にある。胎土はB群である。

**P19** (図版 90、写真図版 50・51)

図示し得た資料は、土師器甕類の破片3点で、内訳は長甕(37)と小甕(38・39)で、長甕はBe類に属する。

**P25** (図版 90、写真図版 51)

図示し得た資料は、土師器無台碗(40)の破片で、外面下半にはヘラによる調整痕が残る。BⅡa類に属する。

**P72** (図版 90、写真図版 51)

図示し得た資料は、須恵器無台杯(41)の破片で、底部外面には「大」と推定される墨書が残る。CⅡc類に属し、胎土B群。概ねⅥ1期に比定される。

**P180** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、土師器と黒色土器の3点で、内訳は黒色土器無台碗(42)、土師器小甕(43)・鍋(44)など。黒色土器無台碗の外面上半および内面はミガキ調整が入念に施される。42はBⅠa類、43はBe類、44はBj類に属する。

**P194** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、須恵器有台杯(45)の破片で、DⅡc類に属し、胎土はB群である。

**P255** (図版 91・134、写真図版 51・79・92)

図示し得た資料は、須恵器無台杯(46)と細形管状土鍾(土鍾7)の2点。須恵器無台杯の外面体部には「足」と判読される墨書が逆位に記載される。無台杯はBⅡd類で、Ⅵ2～3期に比定される。胎土はB群に属する。

**P288** (図版 91・141、写真図版 51・82・92)

図示し得た資料は、須恵器無台杯(47)の破片と柱材(木製品1)の計2点。須恵器無台杯の体部外面には



「丹」と判読される文字が横位に墨書される。無台杯はB II d類に属し、時期はVI 2～3期に比定される。胎土はB群に属する。

**P300** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、須恵器無台杯 (48) の破片。B II b類に属し、概ねVI 1期頃か。胎土はB群に属する。

**P319** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、須恵器長頸壺 (49) の口縁部破片。胎土はB群に属する。

**P326** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、土師器長甕 (50) の口縁部破片で、口縁部形態はBd類に属する。

**P343** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、土師器小甕 (51) の胴部上半の破片で、口縁部形態はBc類に属する。

**P387** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、土師器小甕 (52) の胴部上半の破片で、口縁部形態はBd類に属する。

**P437** (図版 141、写真図版 82)

図示し得た資料は、ピット内から出土した柱材 (木製品 2) の部位。

**P621** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、須恵器杯蓋 (53) と土師器無台碗 (54) の 2 点。無台碗の外面上半にはヘラによる調整痕が残る。53の蓋はE II e類に属し、概ねVI 2～3期。54の無台碗はB I a類に属し、概ねVI期の範疇に収まる。

**P630** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、土師器無台碗 (55) で、ほぼ現存する。B II a類に属し、時期は概ねVI期の範疇。

**P633** (図版 141、写真図版 82)

図示し得た資料は、ピット内から出土した柱材 (木製品 4) の部位。

**P647** (図版 91)

図示し得た資料は、須恵器無台杯 (56) の小破片。A II b類に属し、時期は概ねVI期の範疇で、胎土はB群。

**P712** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、土師器鍋 (57) の大形破片で、口縁部形態はBd類に属する。時期は概ねVI期の範疇。

**P800** (図版 134、写真図版 79)

図示し得た資料は、細形管状土錘 (土錘 8) が 1 点である。

**P920** (図版 141、写真図版 82)

図示し得た資料は、ピット内から出土した柱材 (木製品 5) の部位。

**P988** (図版 141、写真図版 82)

図示し得た資料は、ピット内から出土した柱材 (木製品 8) の部位。

**P1056** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、土師器長甕 (58) の口縁部破片で、口縁部形態はBc類に属し、時期は概ねV期の範疇と推定される。

**P1158** (図版 91・134、写真図版 51・79)

図示し得た資料は、須恵器長頸壺 (59) と細形管状土錘 (土錘 9～13) 5 点の計 6 点で、長頸壺は胎土B群に属する。

**P1263** (図版 91、写真図版 51)

図示し得た資料は、土師器鍋 (60) の大形破片で、本資料には体部にカキメ調整がみられない。口縁部形態は概ねBd類に属し、時期はVI 2～3期に比定される。

**P1297** (図版 92、写真図版 52)

図示し得た資料は、土師器長甕 (61) の口縁部破片で、口縁部形態はBc類に属し、時期は概ねV期の範疇と

推定される。

**P1300** (図版 92、写真図版 52)

図示し得た資料は、土師器無台椀 (62) の略完形品である。C V a 類に属し、時期は概ねVI期の範疇である。

**P1316** (図版 92、写真図版 52)

図示し得た資料は、土師器長甕 (63) の胴部上半の大形破片。口縁部形態は Bc 類に属し、時期はV期の範疇。

**P1412** (図版 134、写真図版 79)

図示し得た資料は、細形管状土錘 (土錘 14・15) が2点である。

**P1514** (図版 141、写真図版 82)

図示し得た資料は、ピット内から出土した柱材 (木製品 9) の部位。

**P1516** (図版 92、写真図版 52)

図示し得た資料は、土師器鍋 (64) の大形破片。口縁部形態は Bc 類に属し、時期は概ねVI期の範疇。

**P1570** (図版 134、写真図版 79)

図示し得た資料は、細形管状土錘 (土錘 16) が1点である。

**P1597** (図版 92、写真図版 52)

図示し得た資料は、土師器小甕 (65・66) の2点。小甕 66 の口縁部形態は Bc 類に属する。

**P1625** (図版 134、写真図版 79)

図示し得た資料は、細形管状土錘 (土錘 17) が1点である。

**P1635** (図版 134、写真図版 79)

図示し得た資料は、細形管状土錘 (土錘 18) が1点である。

**P1662** (図版 134、写真図版 79)

図示し得た資料は、細形管状土錘 (土錘 19) が1点である。

**P1959** (図版 92、写真図版 52)

図示し得た資料は土師器小甕 (67) 胴上半の破片で、口縁部形態は Bc 類に属する。

**P1994** (図版 134、写真図版 79)

図示し得た資料は、細形管状土錘 (土錘 20) が1点である。

**P2028** (図版 92、写真図版 52)

図示し得た資料は、土師器鍋 (68) の口縁部破片のみ。口縁部形態は Bg 類に属し、時期は概ねVI 2～3期に比定される。

**P2343** (図版 92)

図示し得た資料は、土師器無台椀 (69) の破片のみで、口縁部形態は B II c 類に属する。

**P2453** (図版 134、写真図版 81)

図示し得た資料は、細形管状土錘 (土錘 21) が1点である。

**P2600** (図版 92)

図示し得た資料は、須恵器無台杯 (70) の破片のみ。胎土は B II d 類に属し、時期はVI 2～3期に比定される。胎土は B 群に属する。

**P2673** (図版 92、写真図版 52・92)

図示し得た資料は、須恵器無台杯 (71・72) と土師器無台椀 (73) の計3点。無台杯の底部外面には「久」と判読される文字が墨書される。また、無台椀の内外面にはミガキによる調整が入念に加えられる。71の無台杯は B II c 類、72は B III c 類、73の無台椀は C IV a 類に属し、時期は概ねVI 1期に収まるものと考えられる。須恵器の胎土は B 群に属する。

**P2693** (図版 141、写真図版 82)

図示し得た資料は、ピット内から出土した柱材（木製品12）の部位。

**P2740**（図版134、写真図版79）

図示し得た資料は、細形管状土錘（土錘22）が1点である。

**P2762**（図版92、写真図版52）

図示し得た資料は、須恵器無台杯（74）と有台杯（75）、それに土師器小甕（76・77）2点の計4点。無台杯の底部外面には「孝」と判読される墨書が残る。75の高台はやや内側に取り付く。小甕はBb類に属する。時期は概ねVI1期頃か。

**P2778**（図版92、写真図版52・92）

図示し得た資料は、須恵器無台碗（78）の破片。底部は糸切り無調整で、体部外面には「一王」と判読される文字が逆位に墨書される。無台碗の分類ではDⅢb類に属し、時期は概ねV期の範疇と推定される。胎土はC群。

### 3) 井戸 (SE)

**SE2**（図版92・142、写真図版52・83）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋（79）・甕（80・81）、土師器無台碗（82）などの小破片と木製品（木製品13～16）などの計8点。土師器無台碗の底部外面には「×」と判読される焼成前の刻書が残る。79の杯蓋はEⅠe類、82の無台碗はAⅡc類に属する。79・82は概ねVI2～3期、須恵器は胎土B群に属する。

**SE77**（図版93、写真図版52・53）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器や土師器などの破片計7点。器種別では須恵器無台杯（83）・蓋（84）・甕（85）、土師器無台碗（86・87）・長甕（88）・鍋（89）など。83の須恵器無台杯はBⅡd類、86・87の土師器無台碗はBⅡb類・AⅡb類、88の長甕はBd類、89の鍋はBd類に属する。時期はVI2～3期に比定される。須恵器は胎土B群に属する。

**SE347**（図版93、写真図版53）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器長頸壺（90）と土師器長甕（91・92）の計3点で、91の長甕はBc類に分類される。長頸壺は概ねV期の所産と考えられる。

**SE510**（図版93・142、写真図版53・83・92）

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台碗（93・94）と小甕（95・96）、木杭（木製品17）などの計5点。無台碗93の体部外面には「虫」と判読される墨書が斜位に残る。無台碗93・94はBⅡc類・AⅡb類、小甕95はBf類に属する。無台碗93は概ねVI期の範疇、小甕117はVI2～3期の所産と推定される。

**SE521**（図版93、写真図版53）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯（97）と甕（98）の2点。甕は井戸底より出土したほぼ完形品で、AⅡ類に属する。無台杯97は概ねV期の所産と考えられる。須恵器の胎土は無台杯がB群、甕はA群と推定される。

**SE602**（図版93・136・142、写真図版53・80・83）

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器小甕（99）と長甕（100）の破片、軽石製品（石製品1）、板状木製品（木製品18）の計4点。長甕100はBf類、小甕99はBg類に属し、時期はVI期の範疇と考えられる。

**SE708**（図版94・142、写真図版53・83）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器・土師器などの破片6点と祭祀具や棒状製品・部材断片などの木製品（木製品19～28）10点の計15点。土器類の内訳は、須恵器無台杯（101・102）・有台杯（103）・甕（104）、黒色土器無台碗（105）、土師器小甕（106）など。黒色土器無台碗105の内外面にはミガキ調整が入念に入る。須恵器無台杯101・102はBⅡc類、有台杯103はCⅡb類、黒色土器無台碗105はBⅡa類に分

類される。須恵器無台杯は胎土B群、甕はD群に属する。時期は概ねVI 1期に比定される。

**SE811** (図版94、写真図版53)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器や土師器などの破片計7点。内訳は須恵器無台杯(107・108)・甕(109・110)、土師器小甕(111～113)など。無台杯107・108はB II d類・C III c類、小甕111はBc類に分類され、時期は須恵器無台杯より推定すると、VI 2～3期に比定される。無台杯は胎土B群に属し、甕はD群で産地は不明。

**SE983** (図版94・136・142、写真図版54・80・83)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器や土師器類などの破片4点と、軽石製品(石製品2)、木製品(木製品29～31)の計8点。土器では須恵器無台杯(114)、土師器小甕(115・116)・鍋(117)などの破片。無台杯の内面には墨痕が残る。無台杯114はC II d類、鍋117は非ロクロのA類に分類される。時期を無台杯より推定すると、概ねVI 2～3期に比定される。

**SE1220** (図版94、写真図版54)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器横瓶(118)と土師器長甕(119)の破片。長甕はBa類に属し、横瓶は概ねIV 2～3期に比定されよう。横瓶は胎土B群に属する。

**SE1348** (図版134・142、写真図版79・83)

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土錘(土錘23・24)と、板状木製品(木製品32)の計3点。

**SE1759** (図版94、写真図版54・92)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(120・121)と土師器無台碗(122)の計3点。無台碗の体部外面には「十」と判読される文字が正位に墨書される。無台杯120はB II d類に属し、時期はVI 2～3期。無台杯121はB II c類に属し、時期は概ねVI 1期。無台碗122はA III c類に属し、VI 2～3期に比定される。須恵器の胎土はB群。

**SE2118** (図版94・134、写真図版54・79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋(123)・甕(124)、土師器無台碗(125)、俵形・細形管状土錘(土錘25・26)の計5点。土師器無台碗の内面下位にはへらによる調整痕が残る。須恵器杯蓋123はD II c類、土師器無台碗125はC IV a類、須恵器甕は大形のC I類に属する。時期はいずれもV期の範疇。須恵器の胎土は蓋・甕ともB群と推定される。

**SE2357** (図版95・142、写真図版54・83)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(126)・甕(127)、黒色土器無台碗(128)、土師器長甕(129)・鍋(130)、木製品(木製品33)の計6点。黒色土器無台碗は、両面黒色処理され、内外面の上半にへらによる調整痕が残る。須恵器無台杯126はD IV c類、黒色土器無台碗は概ねB III c類、須恵器甕はA II類、土師器鍋はBd類に分類。須恵器は胎土B群に属し、時期は無台杯と無台碗がVI 2～3期に比定される。

**SE2563** (図版95・144、写真図版54・84)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器甕(131)の口縁部片と土師器無台碗(132)の2点、井戸枠に転用された曲物(木製品44)の計3点。須恵器甕はA II類に分類され、胎土はC群に属する。無台碗はA II a類に分類され、概ねVI 1期に比定される。

#### 4) 土坑(SK)

**SK3** (図版95)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器鍋(133)の口縁部破片で、Bd類に属し、概ねVI期の範疇に収まるものと思われる。

**SK6** (図版95)



図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀（134）の破片で、A III b 類に属し、概ねVI期の範疇に収まるものと思われる。

SK10（図版 95・134、写真図版 79）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯（135）と細形管状土鍾（土鍾 27・28）の計 3 点。無台杯は概ねVI期の範疇と考えられ、胎土は B 群に属する。

SK18（図版 95、写真図版 54）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器広口壺（136）の肩部破片と土師器無台椀（137）の底部破片。無台椀の内面にはヘラによる調整痕が残る。広口壺は胎土 A 群と推定され、V 期もしくはそれ以前とみられる。無台椀はVI期の範疇に収まるものと思われる。

SK20（図版 95）

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器鍋（138）の口縁部破片のみ。Bf 類に属し、概ねVI期の範疇に収まるものと思われる。

SK22（図版 95・96、写真図版 54・55）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器や土師器などの破片計 14 点。器種別では須恵器無台杯（139）・長頸壺（140・141）、土師器無台椀（142～144）・長甕（145）・小甕（146～149）・鍋（150～152）などである。無台椀 143・144 の内面にはミガキ調整が入念に入る。土師器無台椀 142 は A II b 類。同 143・144 は A 群に属し、概ね C V a 類、長甕 145 は Bc 類、小甕 146・147・149 は Bc 類、148 は Bb 類に属する。鍋 150～152 は Bd 類に分類される。須恵器無台杯は概ねVI 2～3 期、土師器の煮炊具はVI期の範疇と考えられる。須恵器は胎土 B 群に属する。

SK24（図版 96、写真図版 55）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯（153・154）と杯蓋（155）、それに土師器無台椀（156）の計 4 点。須恵器無台杯 153 は C II c 類、杯蓋 155 は E I e 類に分類される。時期はVI 2～3 期と推定される。須恵器はすべて胎土 B 群に属する。

SK28（図版 96、写真図版 55）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯（157）の底部と小形の長頸壺（158）、それに土師器の無台椀（159・160）の計 4 点。無台椀 160 の底部外面には「×」と記された焼成前の刻書が残る。無台椀 159 は A II a 類に分類される。本址の資料は概ねVI期の範疇に収まると思われるが、長頸壺はやや古型式の遺制を残す。須恵器無台杯は胎土 B 群、長頸壺は胎土 D 群で産地は不明である。

SK74（図版 96、写真図版 55）

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀（161）の底部で、時期はVI期の範疇と考えられる。

SK75（図版 96・97、写真図版 55）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器や土師器などの完形品を含む計 12 点。とくに須恵器甕の出土が目立つ。内訳は須恵器無台杯（162・163）・甕（167～170）、土師器無台椀（164・165）・長甕（171）・鍋（172・173）、黒色土器無台椀（166）など。須恵器無台杯 162 は体部が外傾ぎみに立ち上がる c 類、土師器無台椀 164 は B II b 類、同 165 は B II c 類、黒色土器無台椀 166 は C I c 類、須恵器甕 167 は小形の B III 類、同 168 は B II 類、同 169・170 は A II 類。土師器長甕 171 は Bc 類、鍋 172・173 は概ね Bd 類に分類される。土師器無台椀の中にはやや新しい様相のものも含まれるが、概ねVI 1 期に収まるものと考えられる。須恵器無台杯および甕 169・170 は胎土 B 群、甕 167・168 は A 群と推定される。

SK76（図版 97、写真図版 55・56）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器や土師器などの完形品を含む計 7 点。器種別では須恵器無台杯（174）・甕（177・178）、土師器無台椀（175・176）・長甕（179・180）など。須恵器無台杯 174 は c 類、土

師器無台椀 175 は B II a 類、同 176 は B II b 類、須恵器甕 177 は中形の B II 類、土師器長甕 179 は Bc 類・同 180 は Bd 類に分類される。時期は概ね VI 1 期に相当するものと考えられるが、須恵器甕 178 は V 期まで遡る可能性もある。須恵器の胎土は無台杯 174・甕 178 が B 群、甕 177 は D 群で産地は不明である。

**SK85** (図版 98)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器有台杯 (181) の底部破片と長頸壺 (182) の口縁部破片の 2 点。時期は概ね V~VI 1 期に収まるものと思われる。両者とも須恵器の胎土は B 群と推定される。

**SK86** (図版 98)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋 (183) のつまみ。つまみはボタン状を呈し、その形態から概ね V 期の所産と推定される。

**SK142** (図版 98、写真図版 56)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (184)、土師器無台椀 (185・186)、須恵器甕 (187)、土師器長甕 (188) の計 5 点。無台椀 186 の内外面にはミガキによる調整痕が残る。須恵器無台杯 184 は B II e 類、土師器無台椀 185 は C II a 類、同 186 は D II c 類に分類される。時期は概ね VI 2~3 期に収まるものと思われる。須恵器の胎土は、無台杯 184 は胎土 B 群、甕 187 は A 群と判断される。

**SK143** (図版 98、写真図版 56)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器長頸壺の完形品を含む計 6 点。内訳は須恵器長頸壺 (189~191) と土師器小甕 (192・193)・長甕 (194) など。長頸壺 189 は A II 類、同 190・191 は A III 類と推定される。土師器長甕 194 は Be 類、同小甕 192・193 は Be 類に分類される。時期は概ね VI 2~3 期に収まるものと推定される。須恵器長頸壺は胎土 B 群と判断される。

**SK156** (図版 98・99・134、写真図版 56・79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した小形の須恵器長頸壺の完形品を含む計 14 点。器種別では須恵器無台杯 (195~197)・長頸壺 (198~200)・甕 (201)、土師器無台椀 (202)・小甕 (203)・鍋 (204~207)、それに細形管状土錘 (土錘 29) などである。須恵器長頸壺 (200) の底部外面には「×」と刻書された焼成前の印が残る。須恵器無台杯 195 は B III d 類、同 196 は A IV d 類、同 197 は B II a 類、長頸壺 198 は A I 類、同 199 は A III 類、甕 201 は C III 類。土師器無台椀 202 は B II a 類、同小甕 203 は Ba 類、同鍋 204 は Bb 類、同 205・206 は Ba 類、同 207 は Bj 類に分類される。時期は概ね VI 2~3 期に収まるものと思われるが、須恵器無台杯 197 は V 期の所産と考えられる。須恵器無台杯・長頸瓶は胎土 B 群であるが、甕 201 のみ胎土 D 群で産地は不明である。

**SK256** (図版 99)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器長甕 (208) の口縁部破片。Bf 類に分類され、端部が上下つまみ出される。時期は概ね VI 2~3 期から VII 1 期に収まるものと推定される。

**SK257** (図版 99、写真図版 56)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (209) の完形品と土師器長甕 (210・211) の計 3 点。無台杯は A II d 類、長甕 210 は Bc 類に分類される。時期は VI 2~3 期に収まるものと推定される。なお、須恵器無台杯は胎土 B 群に属する。

**SK260** (図版 99・134、写真図版 56・79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器有台杯 (212) の底部破片と細形管状土錘 (土錘 30) の 2 点。有台杯の底部外面には「大」と墨書された文字が残る。時期は VI 1 期と考えられ、有台杯の胎土は B 群に属する。

**SK290** (図版 99)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (213) の破片。B II c 類に属し、時期は概ね VI 1 期と推定される。須恵器は胎土 B 群に属する。

SK301 (図版 99)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀 (214・215) の破片 2 点。無台椀 214 の内外面にはヘラによるミガキ調整が入念に加えられる。無台椀 214 は A IV a 類に分類され、概ねVI期の範疇と考えられる。

SK304 (図版 99)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (216) の破片で、B II c 類に分類される。時期はVI 1 期に収まるものと思われる。胎土は B 群。

SK393 (図版 99、写真図版 56)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器有台杯 (217) の底部破片と杯蓋 (218) の口縁部破片の計 2 点。杯蓋 218 の内面には墨痕が残ることから硯に転用された可能性が高い。時期は概ねV期の範疇と考えられ、須恵器無台杯は胎土 A 群、杯蓋は B 群と推定される。

SK685 (図版 99)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀 (219) の底部破片で、概ねVI期の範疇と考えられる。

SK707 (図版 99、写真図版 56)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (220～222) の破片と杯蓋 (223) の略完形品の計 4 点。無台杯 220 は B I c 類、同 221 は B II d 類、同 222 は B II c 類、杯蓋 223 は D II c 類に分類され、時期はVI 1 期に収まるものと考えられる。なお、須恵器は胎土 B 群である。

SK741 (図版 100、写真図版 56・57)

図示し得た資料は覆土内より出土し、土師器無台椀の完形品を含む計 6 点。器種別では土師器無台椀 (224)、黒色土器無台椀 (225・226)、土師器長甕 (227～229) など。土師器無台椀 224 の底部外面には刻書された焼成前の線条痕が残る。黒色土器無台椀 225・226 の内面にはミガキによる調整が入念に行われる。土師器無台椀 224 は B IV b 類、土師器長甕 227～229 は概ね Bc 類、黒色土器無台椀 225 は B II a 類、同 226 は B I b 類に分類され、時期は概ねVI期の範疇と考えられる。

SK749 (図版 100、写真図版 57)

図示し得た資料は、覆土内より出土した大形の土師器無台椀 (230) と鍋 (231) の口縁部破片の計 2 点。前者の内面にはヘラによるミガキ調整が入念に入る。無台椀 230 は B V a 類、鍋 231 は Bc 類に分類され、時期は概ねVI期の範疇に収まるものと思われる。

SK941 (図版 100、写真図版 57)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (232) と土師器長甕 (233) の計 2 点。無台杯は B III d 類、長甕は Bc 類に分類され、無台杯は胎土 B 群に属する。無台杯は概ねVI 2～3 期と推定されるが、SB3004 との重複関係を重視すると、建物の廃絶時に混入した可能性がある。

SK942 (図版 100、写真図版 57)

図示し得た資料は、覆土内より出土した煮炊具を中心とする土師器 5 点。内訳は無台椀 (234)・小甕 (235)・長甕 (236)・鍋 (237・238) などの破片。無台椀 234 の底部外面には「×」と刻書された焼成前の印が残る。小甕は Bb 類、鍋は Bd 類に分類される。時期は概ねVI期の範疇に収まるものと思われる。

SK979 (図版 101、写真図版 57)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (239) の略完形品と長頸壺 (240) の底部片の計 2 点。無台杯は B II c 類に属する。時期はVI 1 期に相当し、須恵器は 2 点とも胎土 B 群に属する。

SK981 (図版 101・142、写真図版 57・58・83・92)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀や小甕などの略完形品を含む計 21 点。器種別では須恵器無台杯 (241～243)・有台杯 (244)・長頸壺 (245)・甕 (246・247)、土師器無台椀 (248～253)・長甕 (254)・小甕 (255～258)・佐渡型甕 (259)・鍋 (260・261) など。土器以外では木製品 (木製品 34) が 1 点。

土師器無台椀 252・253 の体部外面には「十」の墨書、また底部外面には「×」と刻書された焼成前の印が残る。同様の刻書は別の土師器無台椀 (250) にも認められ、内面にはミガキが入念に施される。同様の調整は無台椀 249 の内面にもあり、無台椀 251 の外面下端にはケズリが残る。佐渡型甕は底部付近まで確認できる資料である。須恵器無台杯 241・242 は B II c 類、同 243 は D II c 類、有台杯 244 は C I b2 類、長頸瓶 245 は I 類、甕 246 は A II 類、同 247 は C I 類。土師器無台椀 248 は B I a 類、同 249 は A II a 類、同 250 は A III b 類、同 251 は B IV b 類、同 252 は A II a 類、同 253 は A II b 類、長甕 254 は Bd 類、佐渡型甕 259 は Ab 類、小甕 255・257 は Bb 類、鍋 260・261 は Bd 類に分類される。これらは概ね VI 1 期に収まるものと推定される。須恵器の胎土は、長頸壺 245 が C 群、甕 247 が D 群 (上越滝寺窯産)、他は概ね B 群に属すると考えられる。

**SK990** (図版 102、写真図版 58)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (262) と土師器無台椀 (263・264) の略完形品を含む計 3 点。須恵器無台杯 262 は B I b 類、土師器無台椀 263 は A II c 類、同 264 は A II b 類に分類される。無台杯は胎土 C 群に属し、概ね VI 1 期と推定される。土師器も同様の時期と考えられる。無台杯は胎土 C 群に属する。

**SK1008** (図版 102、写真図版 58)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀 (265) と小甕 (266) の破片計 2 点。無台椀は内外面にミガキによる調整が入念に入る。無台椀は D IV c 類で、器形より推定すると金属器の写しとみることもできよう。小甕は Bb 類に分類される。詳細は不明であるが VI 期の範疇に収まるものと考えられる。

**SK1052** (図版 102)

図示し得た資料は、覆土内より出土した大形の土師器無台椀 (267) の口縁部破片。B VI a 類に属する。概ね VI 期の範疇に収まるものと考えられる。

**SK1059** (図版 102)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (268) の破片。A II c 類に属し、時期は概ね VI 1 期に比定される。胎土は B 群に属する。

**SK1093** (図版 102、写真図版 58)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器蓋 (269) の大破片。B I a 類に属し、概ね V 期に比定される。胎土は C 群に属する。

**SK1212** (図版 102、写真図版 58)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器や土師器などの小破片が 6 点。器種別では無台杯 (270・271)・有台杯 (272・273)、土師器小甕 (274・275) など。無台杯は底部のやや厚い資料。有台杯 272 は D I b1 類、小甕 274・275 は概ね Bb 類に属する。時期は V 期の範疇に収まると思われる。須恵器の胎土は B 群に属する。

**SK1213** (図版 102)

図示し得た資料は、覆土内より出土した黒色土器無台椀 (276) の 1 点。内外面にはミガキ調整が入念に入る。時期は概ね VI 期の範疇に収まるものと思われる。

**SK1254** (図版 102、写真図版 58)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (277) の破片。B II b 類に分類される。時期は V 期の範疇に収まるものと思われる。胎土は B 群に属する。

**SK1266** (図版 102、写真図版 58)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (278・279) と有台杯 (280) の略完形品を含む計 3 点。無台杯 279 の底部外面には判読不明の文字が墨書される。無台杯 278 は C II c 類、同 279 は A III b 類、有台杯 280 は D II c 類に分類される。無台杯 278 と有台杯 280 は V 2 期、無台杯 279 は VI 1 期に比定されよう。



須恵器の胎土は須恵器無台杯 278 が A 群、須恵器無台杯 279 と有台杯 280 が B 類に属する。

**SK1280** (図版 143、写真図版 83)

図示し得た資料は、覆土内より出土した板状木製品 (木製品 35) の断片。

**SK1515** (図版 102、写真図版 58)

図示し得た資料は、覆土内より出土した略完形の製品を含む須恵器無台杯 (281 ~ 283) の 3 点で、281・282 は B II c 類、283 は A III d 類に分類される。時期は概ね VI 1 期に比定されよう。須恵器はいずれも B 類に属する。

**SK1754** (図版 102)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (284) と土師器小甕 (285) の破片 2 点。無台杯 284 は概ね A II d 類と考えられ、概ね VI 2 ~ 3 期の範疇と思われる。胎土は B 群に属する。

**SK1965** (図版 102)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器小甕 (286) 胴部下半の破片。時期は V ~ VI 期の範疇。

**SK1966** (図版 102・134・143、写真図版 58・79・83)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器・土師器を中心とする土器片 7 点と、細形管状土錘 (土錘 31 ~ 33)、棒状木製品 (木製品 36) の計 11 点。土器の内訳は須恵器無台杯 (287 ~ 290)・有台杯 (291)・杯蓋 (292)、土師器小甕 (293) など。須恵器無台杯 288 は D II c 類、同 289 は C II b 類、同 290 は B III c 類、有台杯 291 は概ね C II c 類、杯蓋 292 のつまみは D 類に分類される。時期は須恵器無台杯で考えると VI 1 期に比定される。なお、須恵器はすべて胎土 B 群に属する。

**SK1978** (図版 134、写真図版 79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土錘 (土錘 34) の 1 点。

**SK2134** (図版 102)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器長頸壺 (294) と考えられる胴部下半の破片で、胎土は B 群に属する。時期等の詳細は不明。

**SK2139** (図版 102、写真図版 58・92)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (295) と土師器無台碗 (296) の破片 2 点。無台碗 296 の体部外面には「十」と墨書される文字が残る。無台杯 295 は B II b 類、無台碗 296 は B II a 類に分類され、時期は概ね VI 1 期に比定される。無台杯は胎土 B 群に属する。

**SK2140** (図版 143、写真図版 84)

図示し得た資料は、坑底面より出土した板状木製品 (木製品 37) の 1 点。

**SK2200** (図版 103、写真図版 58)

図示し得た資料は、覆土内より出土した非ロクロ成形の土師器甕 (297)。古墳時代中期後半の所産。当該期の資料は、本資料と遺構外出土の土師器無台杯 (877) の 2 点のみである。

**SK2217** (図版 103、写真図版 58・92)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (298) の 1 点のみ。底部外面には「大」と考えられる墨書が残る。概ね B II d 類に分類され、時期は VI 2 ~ 3 期に比定される。胎土は B 群に属する。

**SK2260** (図版 103)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台碗 (299・300) の口縁部破片が 2 点。無台碗 299 は III b 類、同 300 は II a 類に分類される。時期は概ね VI 期の範疇と推定される。

**SK2289** (図版 103、写真図版 58・92)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (301)、土師器小甕 (302)・佐渡型甕 (303)・鍋 (304) の計 4 点。須恵器無台杯の底部の内外面には「大」と墨書された文字が残る。無台杯は A III d 類、小甕は Bc

類、鍋はBb類に属する。須恵器無台杯は胎土B群に属し、VI2～3期に比定される。

**SK2460** (図版103)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(305)の破片1点のみで、全体に器壁が厚い。胎土はA群に属し、時期はV2期に比定される。

**SK2465** (図版103)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(306)の大破片。AIIc類に属し、時期は概ねVI期の範疇。胎土はB群に属する。

**SK2500** (図版103・134・135、写真図版59・84・92)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土器11点、土錘3点、木製品4点である。器種別では須恵器無台杯(307～309)・杯蓋(310～312)・長頸壺(313)、土師器無台椀(314～316)・長甕(317)など。土器以外では細形管状土錘(土錘35～37)、容器の底板・建築部材断片・棒状製品などの木製品(木製品38～41)。土師器無台椀316の体部外面には「物女」と判読される墨書が残る。須恵器無台杯307はBIIb類、同308はAIIc類、同309はBIIb類に分類され、底部は概して厚くなっている。須恵器杯蓋310はDII d類、同311はIIb類、同312はIII e類。土師器無台椀314は概ねAII a類、同無台椀316はBII a類。土師器長甕317はBc類に分類される。須恵器の胎土は、無台杯307～309および杯蓋310がB群、他はD群と推定されるが詳細は不明。時期は概ねVI1期と考えられる。

**SK2508** (図版103、写真図版59)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台椀(318)と横瓶(319)の破片2点。無台椀は底部糸切り無調整の西古志産と推定され、時期はV2期～VI1期の所産と考えられる。横瓶は俵形の体部を特徴とし、時期は概ねV期の範疇とみられる。胎土は須恵器無台椀(318)がD群、横瓶(319)がB群に属する。

5) 溝(SD)

**SD12** (図版136・143、写真図版80・84)

図示し得た資料は、覆土内より出土した砥石と磨石状製品(石製品3・4)、板状断片(木製品42)の計3点。

**SD15** (図版104・135、写真図版59・79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯を中心とする計9点。内訳は須恵器無台杯(320～323)・有台杯(324)、土師器長甕(325)、細形管状土錘(土錘38～40)など。須恵器無台杯(323)の底部外面端には「大」と墨書される。須恵器無台杯321はBIIc類、同322はCIIc類、有台杯はCIIb類。土師器長甕はBd類に分類される。時期は須恵器・土師器とも概ねVI1期に比定される。須恵器の胎土はすべてB群に属する。

**SD32** (図版104)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀(326)の1点で、内面にはヘラミガキ後に漆が塗られている。時期は概ねVI期の範疇と推定される。なお、漆が用いられた土器は本例のみ。

**SD34** (図版104・135、写真図版59・79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器横瓶(327)・甕(328)、土師器無台椀(329)、細形管状土錘(土錘41・42)の計5点。横瓶は俵形の体部に「く」の字状の短い口縁部が付くもので、胎土はB群に属する。甕は胎土A群。土師器無台椀はBIIb類に分類される。時期は概ねVI期の範疇と推定される。

**SD82** (図版104～107、写真図版59～61・92)

図示し得た資料は、覆土内を中心に出土した食膳具や貯蔵具などの完形品を含む計49点の土器。器種別では、須恵器無台杯(330～339)・有台杯(340・341)・無台椀(342)・長頸壺(343)・短頸壺(344)・平瓶(345)・甕(346～350)、土師器無台椀(351～362)、黒色土器無台椀(363～366)・有台皿(367・368)、土師器長甕

(369・370)・佐渡型甕(371・372)・小甕(373～375)・鍋(376～378)など。須恵器の食膳具では無台杯が中心であるが、有台杯や回転糸切り痕を残す無台碗も1点出土した。土師器無台碗の大半はロクロナデ成形であるが、内面にミガキが施されたもの(361)や外面の体部下端にヘラケズリが残るもの(351・359)などもある。また、無台碗の底部は糸切り無調整を典型とするが、ヘラケズリされたものも1例(362)ある。黒色土器無台碗および有台皿の切り離し手法は回転ヘラケズリであるが、再調整されたものも含まれる。黒色土器の内外面にはミガキによる調整が入念になされるものが多い。墨書土器は、須恵器無台杯に3例〔「十」(体部外面/332)・「久」(底部外面/333)・「大」(底部外面/334)〕・有台杯に1例〔「山」(体部外面/340)〕、土師器無台碗に2例〔「口」(体部外面/360)・「十」(体部外面/361)〕、黒色土器無台碗に1例〔「王」(底部外面/366)〕の計7例。線刻例は土師器無台碗の底部外面に4例。刻書は「×」が3例(355～357)、条線が1例(361)で、いずれも焼成前の記載である。

個々の土器を分類基準によって示すと、須恵器無台杯330はAⅡd類、同331はAⅡc類、同332はBⅡc類、同333はAⅡc類、同334はCⅡc類、同335はAⅢc類、同336はCⅡc類、同338はAⅢd類、同339はAⅢb類。同有台杯340はCⅡb類、同341も概ねCⅡb類とできよう。同長頸壺343はAⅡ類。同甕346はCⅡ類、同347はAⅢ類、同348はBⅡ類、同349はⅠ類に相当する。土師器無台碗352はAⅡa類、同353はAⅡc類、同354・355はAⅡa類、同357はBⅡa類、同358はBⅡb類、同359はBⅣb類、同361はCⅣa類。黒色土器無台碗365はCⅢb類。黒色土器有台皿367はⅠ類、同368はⅡ類。土師器長甕369はBc類、同370はBb類、同371・372は非ロクロナデ成形のA類(佐渡型甕)。同小甕373はBc類、同374・375はBb類。同鍋376・377はBd類、同378も概ねBd類に分類され、体部外面にケズリ調整されるものもある(377・378)。

須恵器の胎土は、大半がB類に属するが、無台碗342はC類、甕348・350はA類、長頸壺343・短頸壺344・平瓶345・甕347・349は胎土D群に属する。出土した土器の多くは概ねVI2～3期に比定されるが、V期やVI1期のものも含まれている。

**SD102** (図版107・134、写真図版61・78)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器有台杯(379)の破片と肥前系磁器碗(880)の破片の2点で、有台杯はDⅡb類に属し、胎土はB群、時期は概ねV期と推定される。磁器碗は18世紀後半の所産と推定される。

**SD149** (図版107、写真図版61)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(380)の破片。BⅢa類に属し、胎土はB群。時期は概ねV期の範疇と推定される。

**SD150** (図版107、写真図版61・92)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯の略完形品(383)を含む計8点。内訳は須恵器無台杯(381～384)・有台杯(385)、土師器無台碗(386)・小甕(387)・鍋(388)など。須恵器無台杯(383)の底部外面には「柱卍」と墨書された大きな文字が残る。須恵器無台杯381～383はBⅡc類、同384はAⅡd類。土師器無台碗386はBⅣa類、同小甕387はBd類、同鍋388はBd類に分類され、時期は概ねVI1期に比定される。須恵器の胎土はいずれもB類に属する。

**SD155** (図版108、写真図版62)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器鍋(391)の口縁部破片。概ねBd類に属し、時期はVI期の範疇と推定される。

**SD167** (図版136、写真図版80)

図示し得た資料は、覆土内より出土した石槌(石製品5)の1点のみ。

**SD172** (図版107、写真図版62)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器鍋（389）の口縁部破片。Bf類に属し、時期は概ねVI期の範疇と推定される。

**SD190**（図版 107、写真図版 62）

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀（390）の大破片。B I a類に属し、時期は概ねVI期の範疇と推定される。

**SD200**（図版 108、写真図版 62・92）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯（392～395）の4点。このうちの3点は墨書土器である。墨書は底部外面に記され、392・393は「柱卅」、394は「柱六十」と判読される。無台杯392～394はB II c類、同395はC I a類に属する。胎土はいずれもB類に属し、概ねVI 1期に該当するが、395のみV期に比定される。

**SD281**（図版 108、写真図版 62）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯（396）のほぼ完形品である。A II d類に属し、胎土はB群。時期は概ねVI 2～3期に比定される。

**SD297**（図版 108・135、写真図版 62・79）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器長頸壺（397）と細形管状土鍾（土鍾43）の2点。長頸壺はA I類に属し、胎土はB類。時期は概ねV期の範疇と推定される。

**SD403**（図版 108・109、写真図版 62）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器甕の大形破片を含む計7点。内訳は須恵器杯蓋（398）・甕（399・400）、土師器無台椀（401）・小甕（402）・佐渡型甕（403）・鍋（404）など。須恵器蓋はD II f類、同甕399・400は概ねII類の中形品と推定される。土師器無台椀はB I a類、同小甕はBc類、同甕は非口口成形のA類（佐渡型甕）、同鍋は概ねBd類に分類される。須恵器の胎土は杯蓋がB群、甕399がA群、甕400がD群で産地不明。時期は概ねVI期の範疇と推定される。

**SD421**（図版 109、写真図版 62・63）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯（405～407）・甕（408～410）、土師器長甕（411・412）、同佐渡型甕（413）の計9点。須恵器無台杯405はB II c類、同406はC II b類、同407はB III c類。須恵器甕408はB III類、同409はB II類、同410はC II類。土師器長甕411はBc類、同412も概ねBc類と推定される。須恵器の胎土は無台杯の3点と甕409がB群、甕408がA群、甕410がD群。時期は概ねVI 1期と考えられるが、底部が厚手の無台杯406はV 2期まで遡ると推定される。

**SD422**（図版 109、写真図版 63）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯（414・415）、土師器無台椀（416）・鍋（417）の4点。須恵器無台杯414の底部内面には「大」とみられる墨書が残る。土師器無台椀416はB V c類、同鍋は概ねBd類に分類される。須恵器は胎土B類に属し、時期は無台杯415・無台椀416が概ねV期、無台杯414がVI期の範疇と思われる。

**SD455**（図版 109・110、写真図版 63）

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀（418～420）・長甕（421）・鍋（422・423）の計6点。土師器無台椀420の内外面には弱いミガキが施される。土師器無台椀418はB I c類、同420はB I a類。土師器鍋422はBe類、同423はBk類に分類され、時期は概ねVI 2～3期に比定されようか。

**SD458**（図版 110、写真図版 63・92）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯（424）と土師器長甕（425）の計2点で、須恵器無台杯の底部外面には「久」と墨書された文字が残る。無台杯はA II d類、長甕は概ねBc類に分類される。無台杯は胎土B群に属し、概ねVI 2～3期の所産と考えられる。



SD482 (図版 110、写真図版 63)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器長頸壺(426)で、長頸部が失われている。B I 類に分類され、胎土はC 群に属する。時期は概ねVI期の範疇と推定される。

SD509 (図版 110)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器小甕(427)の破片。詳細は不明。

SD524 (図版 110・134、写真図版 79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(428)の破片と鞆の羽口(土製品1)破片の計2点。無台杯428はC III a 類に属し、胎土はB 群。時期は概ねV期に比定される。

SD601 (図版 110、写真図版 63)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋(429)の略完形品1点。E II a 類に分類され、胎土はB 群。時期は概ねVI期の範疇に収まるものと推定される。

SD606 (図版 110・111・136、写真図版 63・64・80・92)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯や有台杯・長頸壺、土師器無台椀や小甕などの完形品や略完形品22点、磨石状製品1点である。器種別では須恵器無台杯(430～436)・有台杯(437・438)・長頸壺(439)・甕(440)、土師器無台椀(441～443)・長甕(444～447)・小甕(448・449)・鍋(450)、磨石状製品(石製品6)など。無台椀442の内面にはミガキが入念に施される。無台椀443は底部をヘラ削り調整されたB 群で、体部外面はロクロミガキされる。墨書土器は須恵器無台杯に2例、いずれも底部外面に記され、430は「善」、431は「柱十」と判読される。

個々の土器を分類基準により示すと、須恵器無台杯430はC II c 類、同431～434はB II c 類、同435はA II c 類、同436はC II c 類。同有台杯438は高脚高台を特徴とする身のやや浅い器種でA II f 類に分類される。本例のみ。同長頸壺439はA II 類。土師器無台椀441はB II a 類、同442はB II c 類。同長甕444は概ねBf 類、同445はBc 類、同446はBd 類、同小甕448はBc 類、同鍋450はBd 類に分類される。須恵器の胎土は、無台杯430～436・有台杯437・長頸壺439はB 群に属する。高脚高台の有台杯438・甕440はD 群の範疇で、産地は不明。時期について須恵器無台杯類より判断すると、概ねVI 1 期に比定されよう。

SD607 (図版 111、写真図版 64)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(451～454)と甕(455・456)の計6点。甕455は器高70cmを超える大形の製品で、他の遺構出土の破片と接合関係を有する(SD458・670・680、SK75・677・685・686・688、SE811、旧河川)。甕456も同様に接合関係を有する(SD172・458・606・679、SE10・811、SK75・143・685)。無台杯451はB II c 類、同452・453はA II c 類、甕455・456はC I 類に分類され、無台杯は胎土B 群、甕455はA 群、甕456はD 群に属すると推定される。時期はVI 1 期に比定されよう。

SD662 (図版 112)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀(457)の破片のみ。概ねB II c 類に属し、VI期の範疇と考えられる。

SD663 (図版 112、写真図版 64)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器長甕(458)の底部下半の破片。時期は概ねV～VI期の範疇と考えられるが、詳細は不明。

SD695 (図版 112、写真図版 64)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器長甕(459)の底部下半の破片。SD663と同様に概ねV～VI期の範疇と考えられるが、詳細は不明。

SD697 (図版 112、写真図版 64・65・92)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋や短頸壺の半完形品を含む計10点。器種別では須恵器有

台杯(460)・杯蓋(461～463)・長胴壺(464)、土師器無台椀(465)・小甕(466)・鍋(467～469)など。鍋469の体部外面にはケズリ調整が認められる。須恵器杯蓋463の天井部外面には「三」と推定される墨書が横位に記される。須恵器有台杯460はCⅡb類、同蓋461はEⅡb類、土師器無台椀465はAⅡc類、同小甕466はBb類、同鍋467・468はBk類、同鍋469はBd類に分類される。須恵器の胎土は、食膳具がB群、短頸壺がA類に属する。時期は概ねVI2～3期に比定されよう。

#### SD753 (図版112)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器有台杯(470)の破片で、法量では概ねAⅡ類に分類されるが、口縁端部が僅かに屈曲して受け口状を呈するやや特異な形態で、高台部がやや高い。ここではAⅡe類とした。胎土はA群に属し、時期は概ねV2期～VI1期の間に収まるものと考えられる。

#### SD871 (図版113、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀(474)と長甕(475・476)の破片計3点。無台椀474は糸切り無調整の製品で、内面はミガキ調整となる。同長甕475はBd類、同476は概ねBc類に分類され、時期はV期の範疇と考えられる。

#### SD938 (図版112、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀(471)の底部破片。底部外面に墨痕が認められるが、詳細は不明。時期はVI期の範疇と考えられる。

#### SD939 (図版112、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器有台杯(472)と黒色土器無台椀(473)の底部破片2点である。詳細は不明であるが、時期は概ねVI期の範疇と考えられる。

#### SD1043 (図版113、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(477)と土師器小甕(478)の破片。無台杯はやや薄手の製品で、胎土はB群に属する。小甕はBb類に分類される。時期はVI期の範疇と考えられる。

#### SD1060 (図版113、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器有台杯(479・480)・杯蓋(482)・甕(481)、土師器鍋(483)の計5点。蓋は内面に墨痕が残ることから硯に転用された可能性が高い。有台杯479は半完形の製品でCⅡa類、同杯蓋482はDⅡd類、同甕481は概ねAⅢ類。土師器鍋483はBd類に分類され、口唇部に焼成後の穿孔が認められる。須恵器の胎土は有台杯および杯蓋がB群、甕がC群と推定される。時期はV期の範疇と推定されるが、須恵器杯蓋のみVI期の所産と考えられる。

#### SD1061 (図版135、写真図版79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土鍾(土鍾44)の1点のみ。

#### SD1091 (図版113、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(484)の底部破片。底部外面には「善」と推定される文字が墨書される。胎土はB群に属し、時期は概ねVI期の範疇と推定される。

#### SD1127 (図版113、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋(485)の破片と土師器無台椀(486)の半完形の2点。杯蓋は概ねⅡa類に分類され、胎土はB群に属する。無台椀はBⅡa類。時期は概ねVI期の範疇に収まると考えられる。

#### SD1216 (図版113、写真図版65・93)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(487・488)と杯蓋(489)の計3点。無台杯2点の底部外面にはそれぞれ「柱卍」と墨書され、蓋の内面にも墨書されるが文字は不明。無台杯487はBⅡa類、同488はAⅡa類、同杯蓋489は概ねⅡc類に分類される。蓋は内面に墨痕が残ることから硯に転用された可能性もある。無台杯は底径が大きく、全体に厚手であることからV2期頃と考えられる。杯蓋はVI期の範疇と推

定される。須恵器無台杯は胎土B群、蓋はD群と考えられる。

SD1218 (図版113、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台碗(490)の底部破片。底部外面には「柱」と推定される文字が墨書される。時期等の詳細は不明。

SD1268 (図版136、写真図版80)

図示し得た資料は、覆土内より出土した砥石(石製品7)の1点のみ。

SD1301 (図版113)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(491)の破片。BⅡc類に属し、胎土はB群。時期は概ねⅥ期の範疇と推定される。

SD1302 (図版113、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器小甕(492)の口縁部破片。Bb類に分類されるが詳細は不明。

SD1341 (図版113、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(493)の破片で、概ねBⅢc類に属する。胎土はB群。時期は概ねⅥ期の範疇と推定される。

SD1344 (図版114、写真図版65)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(494)の完形品。BⅡd類に属し、胎土はB群。時期は概ねⅥ2～3期に比定されよう。

SD1347 (図版114、写真図版66)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋(495)の破片。概ねⅠd類に相当し、胎土はC群。時期はⅤ期の範疇に収まると考えられる。

SD1350 (図版114、写真図版66)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(496～498)の計3点。無台杯496はAⅡc類、同497はCⅡb類、同498はAⅢc類に分類される。胎土はいずれもB群に属し、496・498はⅥ1期、497はⅤ期の範疇と考えられる。

SD1517 (図版114・135、写真図版66・79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した半完形の須恵器無台杯(499)と細形管状土錘(土錘45)の2点で、無台杯はBⅡc類に属し、全体に厚手の器形である。胎土はA群に属し、時期は概ねⅤ2期に比定される。

SD1700 (図版114・135、写真図版66・79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯や有台杯・杯蓋などの半完形品を含む計20点。器種別では須恵器無台杯(500～503)・有台杯(504)・杯蓋(505・506)、土師器長甕(507)・鍋(508)、細形管状土錘(土錘46～56)など。須恵器無台杯500はBⅡc類、同501はCⅠc類、同502はAⅢd類、同503はBⅡb類、同有台杯504はDⅢb類、同杯蓋505はDⅡe類、同506はDⅡc類。土師器長甕507はBd類、同鍋508はBc類に分類される。須恵器の胎土はすべてB類に属し、時期はⅥ1期に収まると考えられる。

SD1764 (図版114、写真図版66)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(509)と有台杯(510)の計2点。無台杯はBⅡb類、有台杯はBⅢb類に分類され、須恵器の胎土は両者ともB群に属し、時期は無台杯が概ねⅥ1期、有台杯がやや古いⅤ期の範疇と考えられる。

SD1802 (図版114・135、写真図版66・79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台碗(511)の破片と細形管状土錘(土錘57・58)の計3点。無台碗は底部へラ削り手法のB群に属し、BⅢa類に分類される。時期はⅥ期の範疇と推定される。

SD1822 (図版114)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器小甕（512）の底部片。時期等の詳細は不明。

**SD1903**（図版 114）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋（513）の破片。口縁端部はc類に分類され、胎土はB群。時期は概ねVI期の範疇と考えられる。

**SD1904**（図版 114、写真図版 66）

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器長甕（514）の胴部上半の破片。口縁端部はBc類に分類され、時期はVI期の範疇に収まると考えられる。

**SD1909**（図版 135、写真図版 79）

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土鍾（59～63）の5点のみ。

**SD1911**（図版 114・135・136、写真図版 66・79・80）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋（515）の破片と細形管状土鍾（土鍾 64～69）、石槌（石製品 8）の計8点で、須恵器杯蓋はC II d類に分類され、胎土はB群に属する。時期は概ねVI期の範疇と推定される。

**SD1913**（図版 114・135、写真図版 66・79・93）

図示し得た資料は、覆土内より出土した半完形の須恵器無台杯（516）と細形管状土鍾（土鍾 70）の計2点。無台杯の体部外面には「家」と墨書された文字が横位に残る。B II d類に分類され、胎土はB群に属する。時期は概ねVI 2～3期に比定されよう。

**SD1920**（図版 114、写真図版 66）

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器小甕（517）の半完形品。口縁部形態はBb類に属し、時期はVI期の範疇に収まると考えられる。

**SD1927**（図版 135、写真図版 79）

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土鍾（土鍾 71・72）の2点のみ。

**SD1929**（図版 135、写真図版 79）

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土鍾（土鍾 73）の1点のみ。

**SD2056**（図版 115、写真図版 66）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯（518～520）・長頸壺（521）、土師器小甕（522～525）の計8点。須恵器無台杯 518・520 は内湾ぎみに立ち上がる A III b類。土師器小甕 522 は Bb類、同 523 は Bd類に分類される。須恵器の胎土はすべて B群と考えられ、時期は概ねVI 1期に比定される。

**SD2061**（図版 115、写真図版 66・93）

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台椀の半完形品（527）を含む計6点。内訳は須恵器無台杯（526）、土師器無台椀（527・528）・長甕（530）・鍋（531）、黒色土器無台椀（529）など。須恵器無台杯 526 の底部外面には「千」の墨書。胎土はB群に属する。土師器無台椀 527 は B III b類、同長甕 530 は Bc類、同鍋 531 は Bd類。黒色土器無台椀 529 は D III a類に分類され、内面と外面の口縁部付近にはミガキが入念に加えらる。時期は概ねVI 2～3期に比定される。

**SD2101**（図版 115・116・135、写真図版 67・79・93）

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器や土師器などの半完形を含む計13点。器種別では須恵器無台杯（532・533）・杯蓋（534・535）・甕（536）、土師器無台椀（537～539）・小甕（541）・鍋（542・543）、黒色土器無台椀（540）、細形管状土鍾（土鍾 74）など。須恵器無台杯 532 の底部外面には「孝」の墨書。黒色土器無台椀の内面にはミガキが入念に施される。また、土師器鍋 542 の体部外面にはケズリ調整が残る。須恵器無台杯 532 は B II d類、同無台杯 533 は A III e類。同杯蓋 534 は E II f類、同杯蓋 535 は E II e類。同甕 536 は B II類。土師器無台椀 537 は概ね B II a類、同無台椀 538 は A III a類、同無台椀 539 は A II b類、



同鍋 542 は Bf 類、同鍋 543 は Bd 類。黒色土器無台碗 540 は B IV b 類に分類される。須恵器の胎土は、無台杯 532・杯蓋 534・杯蓋 535・甕 536 が胎土 B 群、無台杯 533 が A 群に属し、時期は無台杯 533 が VI 期の範疇、他は概ね VI 2～3 期に比定されよう。

SD2102 (図版 135、写真図版 79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土鍾 (土鍾 75・76) の 2 点のみ。

SD2103 (図版 116、写真図版 67)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器甕 (544) の口縁部破片。口径より判断すると中形の B II 類に相当する。胎土は D 群。時期等の詳細は不明。

SD2107 (図版 135、写真図版 79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土鍾 (土鍾 77) の 1 点のみ。

SD2130 (図版 116・135、写真図版 79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器甕 (545) と細形管状土鍾 (土鍾 78) の計 2 点。甕は A II 類に相当し、胎土は C 群と推定される。時期等の詳細は不明。

SD2133 (図版 135、写真図版 79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土鍾 (土鍾 79・80) の 2 点のみ。

SD2166 (図版 135、写真図版 79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土鍾 (土鍾 81) の 1 点のみ。

SD2290 (図版 116、写真図版 67)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋 (546) の 1 点である。E I e 類に分類され、胎土は B 類に属する。時期は VI 2～3 期と推定される。

SD2324 (図版 135、写真図版 79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した細形管状土鍾 (土鍾 82) の 1 点のみ。

SD2407 (図版 116、写真図版 67)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台碗 (547) の略完形品の 1 点のみ。無台碗 547 は B II a 類。底部の切り離しは静止糸切り。時期は概ね VI 2～3 期に比定されよう。

SD2408 (図版 116)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台碗 (548) の底部破片で、概ね VI 期の範疇と推定される。

SD2413 (図版 136、写真図版 80)

図示し得た資料は、覆土内より出土した磨石状製品 (石製品 8) の 1 点のみ。

SD2422 (図版 116・135、写真図版 79)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器無台碗 (549) の底部破片と細形管状土鍾 (土鍾 83) の計 2 点。時期は VI 期の範疇と考えられる。

SD2426 (図版 116)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯 (550・551) の 2 点。無台杯 550 は A II c 類に分類され、底径が大きい。551 は A II b 類に分類され、底部がやや厚手である。胎土は両者とも B 群に属する。時期は概ね V 2～VI 1 期に収まるものと考えられる。

SD2461 (図版 116、写真図版 67)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器有台杯 (552) の底部破片。小形の製品で胎土は B 群に属する。時期は概ね V 期の範疇と考えられる。

SD2475 (図版 116、写真図版 67)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器杯蓋 (554) の略完形品。A IV a 類に分類され、つまみが宝珠

形を呈するものは本例のみ。胎土はC群に属し、時期は概ねⅢ期に比定される。

#### SD2476 (図版 116)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(553)の底部破片。概ねBⅢc類に分類され、胎土はB群。時期は概ねⅥ期の範疇と考えられる。

#### SD2502 (図版 117、写真図版 67)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器の食膳具を中心とする7点。内訳は須恵器無台杯(555～558)・有台杯(559)、土師器無台椀(560)・小甕(561)など。須恵器無台杯555はAⅡd類、同無台杯556・557はBⅡd類、同558はDⅡc類。土師器無台椀560はBⅣb類、同小甕561はBb類に分類される。須恵器の胎土は555～557・559がB群、558がA群に属する。時期はⅥ2～3期に比定される。

#### SD2568 (図版 117)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(562)と土師器小甕(563)の計2点。無台杯はBⅠc類、胎土はB群に属する。時期はⅥ1期に収まるものと考えられる。

#### SD2844 (図版 117、写真図版 67)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器無台杯(564)と杯蓋(565)の計2点。無台杯564は半完形品で、CⅡc類。杯蓋565は口縁端部が丸く収まるⅠe類で、内面に墨痕が残ることから硯に転用された可能性が高い。胎土は両者ともB群に属し、時期は概ねⅥ1期に比定されよう。

#### SD2930 (図版 117、写真図版 67)

図示し得た資料は、覆土内より出土した須恵器有台杯(566)の半完形の製品と甕(567)の大形破片の2点。有台杯はCⅢb2類、甕は中形品のⅡ類と推定される。胎土は無台杯がB群に属し、甕がC群の可能性が高い。時期は概ねⅤ期の範疇と考えられる。

### 6) 不 明 遺 構 (SX)

#### SX118 (図版 128、写真図版 75)

図示し得た資料は、覆土内より出土した土師器鍋(765)の口縁部破片で、Bh類とした。不明遺構の中では唯一の資料であるが、混入遺物と考えられる。

### 7) 旧 河 川

(図版 117～127・135・136～138・144～149、写真図版 68～75・79・80・86～90・93・94)

図示し得た資料は、旧河川より出土した須恵器・土師器の食膳具や煮炊具を中心とする完形や半完形品を含む計197点の土器と土錘9点。砥石や石製模造品などを含む石製品13点。木簡や祭祀具・食事具・容器・生活用具・建築部材・雑具などを含む木製品62点、これら出土遺物の多くは、旧河川の中層から下層にかけて検出された。また、土器類を時期別にみると、古くは古墳時代後期の所産と推定される内黒処理された土師器鉢や、奈良時代前半に比定される土師器甕などの資料が僅かに出土したが、その中心は平安時代前期(9世紀後半代/Ⅵ期)の土器群で、駒首瀉遺跡で調査された遺構群の時期と極めて密接な関係にあることが知られる。また、Ⅶ期以降に続く資料はほとんどみられず、平安時代後期以降、近世の陶磁器類が出土するまでの約600年間は空白の時代といえよう。

掲載した土器の内訳を器種別にみると、須恵器では無台杯(568～633・635～651)・有台杯(652～662)・有台椀(634)・杯蓋(663～670)・長頸壺(671～675・680～682)・広口壺(676・677)・短頸壺(683)・横瓶(678)・水瓶もしくは浄瓶(679)・甕(684～690)。土師器では無台椀(691～725)・有台皿(726)・長甕(733～745)・甕(746)・非口クロの長甕(747・748)・小甕(749～756)・鍋(757～763)。黒色土器では無台椀(727～731)・無台皿(732)・鉢(764)。この他に細形・太形などの管状土錘(土錘84～89)。木製品(木

製品 45～110)、石製品(石製品 10～23)などが出土しているが、これらの遺物については別項で述べる。以下、食膳具を中心に概略を述べたのち、土器の分類基準を示しておく。

須恵器無台杯は食膳具の中では出土量が最も多く、体部はロクロナデによって形成され、底部の切り離し手法はヘラ切り手法である。産地は佐渡小泊窯跡群のものが大半で、他は阿賀北(A群)や新津諸窯(C群)などの製品が僅かに確認される程度である。他の器種においても産地はほぼ同様と考えられる。希少な例としては水瓶もしくは浄瓶の高台と考えられる資料(679)が1点含まれる。つぎに多い器種が土師器の無台碗である。無台碗の多くはロクロナデにより成形され、底部を糸切り手法で切り離されたもの(691～720)が主体であるが、ヘラ削り手法により切り離されたもの(721～725)も定量みられる。後者の成形および調整技法は、ロクロナデによる手法とは異なり、内外面をロクロミガキやロクロ・回転台未使用によるミガキで最終的に調整されている。721は外面下半がロクロミガキで内面はミガキ、722は内外面ともミガキ、723は内外面ともロクロミガキ。724は外面がロクロミガキ、内面は上半がロクロミガキで下半がミガキ。725は外面下半のみがロクロミガキである。土師器の皿(726)は1例のみの出土であるが、下半の形状より有台皿とみられ、内外面ともミガキによる調整が入念になされている。黒色土器の出土はごく僅かで、図示可能なものはすべて掲載した。図示した無台碗は、ヘラ削り手法で切り離されている(727～731)。また、ロクロナデによるもの(728)もあるが、ロクロミガキによる手法が中心で、内面にはミガキによる調整が入念になされている。皿(732)は1例のみで、体部下半の形状から無台皿と推定される。内外面とも入念にミガキがなされ、両面黒色処理されている。

希少例として、土師器非ロクロの長甕(747・748)とハケメ調整の土師器鍋(763)、古墳時代後期の所産と推定される黒色土器鉢(764)などが注意される。非ロクロの長甕は底部が平底で、胴部上半は縦方向のハケメ、下半でヘラナデ・ヘラケズリと変わる。器体は全体に厚手で、古墳時代以来の系譜下にあるものと考えられ、鉢についても同様と思われる。ハケメ調整の鍋は本例の他にSE983から口縁部破片が出土しただけである。

図示し得た墨書土器は43点。器種毎に示すと、須恵器無台杯が33点、同有台杯が2点、同有台碗と同蓋が各1点、土師器無台碗が6点で、須恵器無台杯に墨書される例が際立つ。墨書は文字が最も多く、記号や略号はごく僅かである。墨書された文字は1文字が大半で、2文字が4例、3文字が1例で、それ以上の例はみられない。文字の多い順に並べると、「大」が8例、「久」が6例、「足」「十」が3例、「山」「井」「善」「山村」が2例、「土」「王」「門」「物」「村」「中」「卅」「富入」「口久」「柱六十」が1例で、他に判読不明の墨書が7例ある。墨書された部位は、杯碗類では底部外面が最も多く、42例中34例が底部外面、体部外面が7例、底部内面が2例で、その内の1例(622)は同一文字「大」が内外面に記されている。刻書例は、土師器無台碗の底部外面(712)と内面(708)にそれぞれ確認された。刻書は「×」と判読され、前者が焼成前、後者が焼成後に記される。

以下に土器の分類基準を示すと、須恵器無台杯 568～571・574・582・585・586・589・594・625はA II c類に分類、同572・605はB I c類、同573・576・579・583・584・587・588・590～593・595・597・598・600・601・614・615・617～621・636・640・642・645はB II c類、同575・581はA I c類、同577・596・599はB II b類、同578はA II b類、同602・609・626・649はB III c類、同603・604・607・650はB III b類に、同606・608・610・611・635はC II c類、同612・622・631・632・637・638・643・648はB II d類、同580・613はB III d類、同616はD II c類、同624・627・633・639はA II d類、同630はA I d類、同644はB II a類。同有台杯 652・653・655はC III b類、同656はB III a類。同杯蓋 663はE II f類、同664・670はE II d類、同665はIII a類、同666はC III c類、同667はC II c類、同668はII d類、同669はC II a類。同長頸壺 675はB II類に分類され、頸部にリング状凸帯が付く。同680・681は概ねA II類に分類される。同短頸壺 683は球胴形のB類。同甕 684～687は中形のII A類、同689は小形のIII類に分類される。これら須恵器の大半は胎土B群に属するが、B群以外では無台杯 598・612・613がA群。無台碗 634がC群。杯蓋 665はD群。長頸壺 675・同672はA群。同

680はD群。水瓶もしくは浄瓶はD群。短頸壺683・甕684はC群。甕689はD群。同690はA群。

土師器無台碗は、内外面ロクロナデ・底部糸切りを典型とするA群と、ロクロケズリやミガキ、底部ヘラケズリを特徴とするB群に分けられるが、両者はA群が主体でB群が客体という関係にある。A群より示すと、無台碗691はAⅠb類、同692はAⅡb類、同693はAⅡa類、同694・695はCⅡa類、同696・701・702はBⅡa類、同697・698・699はBⅡb類、同700はCⅠa類、同703・709はAⅡb類、同704はAⅡc類、同705はAⅢc類、同706はAⅢb類、同707はBⅢb類、同708はBⅡb類、710も概ねBⅡb類と推定される。同711はBⅡc類、同712はBⅢC類、同713・714はBⅣb類、同715は概ねBⅢb類、同716・717はBⅣb類、同718はBⅤa類、同719はAⅤa類、同720はBⅣa類に分類される。一方、B群では、無台碗721はBⅡa類、同722はBⅣa類、同723はCⅣc類、同724はBⅤb類、同725はCⅤc類に分類される。土師器有台皿726は無台碗B群に含まれると考えられる。

土師器長甕735～737・743～745は概ねBc類、733・734・738・739・741・742はBd類、同747・748は非ロクロ成形のAa類。土師器甕746はBa類に属する。土師器小甕749はBb類、同752・753も概ねBb類の範疇と考えられる。同750・751はBd類、同755はBc類、同756はBa類。土師器鍋757・759はBd類、同758はBf類、同760はBc類、同761はBi類、同762はBa類。同763はA類に区分した旧河川では唯一の資料で、体部外面がハケメやナデで調整されている。

黒色土器無台碗727はCⅡc類、同729はBⅡa類、同730はBⅡc類、同731は概ねⅢ類の範疇。鉢とした764は古墳時代後期に比定される資料と考えられる。

最後にこれらの時期について若干補足しておく。まず、食膳具の中で出土量がとくに多かった須恵器無台杯はⅥ期の範疇で捉えられるものが大半であるが、前後に分けて考えると、前半のⅥ1期が後半のⅥ2～3期よりも多いように見受けられる。やや古い資料としては、胎土A群の無台杯598、胎土C群の無台杯629・同無台碗634、墨書「柱六十」の無台杯644、同「十」の646や650などが概ねⅤ期の所産と考えられる。また、無台杯以外では墨書「山村」の有台杯655や杯蓋667もⅤ期の範疇と推定される。貯蔵具では、頸部にリング状凸帯が付く胎土A群の長頸壺675や胎土C群の短頸壺683なども概ねⅤ期の範疇と考えられる。土師器類では、丸甕746がⅣ～Ⅴ期、非ロクロ成形の長甕746・748はⅢ期まで遡ると考えられる。

#### 8) 遺 構 外 (図版128～133・134・135・138・139・140・149、写真図版76～81・90・94)

遺構外出土土器の掲載にあたっては、出土量が最も多かった須恵器無台杯については遺存状態の良好の資料を中心に載せた。一方、出土量の少ない器種については、図上復元を可能な限り試みた。また、墨書・刻書土器も同様、可能な限り掲載した。

出土土器の多くは、遺構の集中する地区より検出され、遺構の希薄な地区からの出土は少ない。出土した土器を時期別にみると、古くは古墳時代中期の土師器無台杯や古墳時代終末期から奈良時代初頭頃の須恵器有台杯も一部に見受けられるが、その中心は平安時代前期(9世紀後半代/Ⅵ期)の土器群であり、当遺跡で調査された遺構の時期と密接な関係にあるといえる。なお、平安中期以降では近世の陶磁器が僅かに出土したのみである。

はじめに図示し得た器種とその数量を示すと、須恵器では無台杯(766～794・796～810)44点・有台杯(811～826)16点・有台碗(827～832)6点・杯蓋(833～836)4点・長頸壺・瓶類等(837・839～843)6点・小瓶(844)1点、広口壺(838)1点・横瓶(845・846)2点、短頸壺(847)1点・鉄鉢(848)1点・甕(849～853)5点。土師器では無台碗(795・854～866)14点・長甕(867・868)2点・佐渡型甕(869)1点・鍋(870～876)7点、古墳中期の所産と考えられる土師器無台杯(877)など。土器以外では、土錘(土錘90～93)4点、製塩土器(土製品2)1点、砥石や有頭石錘・磨石状製品・石槌などを含む(石製品24～36)13点。以下、食膳具を中心に概略を述べたのち、図示した土器の分類基準を示しておく。

須恵器無台杯は、ロクロナデによって形成され、底部の切り離し技法はヘラ切り手法である。産地は佐渡小



泊窰跡群のものが大半で、他は阿賀北（A群）や新津諸窰（C群）などの製品が僅かに出土する程度である。他の器種についても同様とみられる。須恵器製品で希少な例としては、小瓶（844）や横瓶（845・846）、供用具と考えられる鉄鉢（848）などがある。

土師器無台碗の多くは、ロクロナデによって成形され、底部を回転糸切り手法で切り離されたもの（854～864）が主体をなすが、ヘラケズリによって調整されたもの（865・866）も僅かに含まれる。無台碗の大半はロクロナデによる手法が基本であるが、ロクロミガキもしくはミガキ調整されたものも僅かに含まれる（858・865・866）。土師器の希少例としては、前述した古墳時代中期の所産と考えられる無台杯（877）や奈良時代前半とみられる製塩土器（土製品2）などがある。

図示し得た墨書土器は18点で、すべて食膳具で占められる。器種毎に示すと、須恵器無台杯が15点、土師器無台碗が3点で、須恵器無台杯に墨書される例が際立つ。墨書は大半が文字と考えられるが、記号と判断されるものも含まれる（808）。文字数は1文字が大半で、2文字が5例、3文字が1例で、それ以上の例はみられない。文字の多い順に並べると、「大」が4例、「善」が2例で、以下は1例のみの資料。「山」「浄」「十」「工」「三」「柱十」「柱卅」「柱卅」「口口」「柱六十」。他に記号が1例、判読不明が2例（809・810）。墨書された部位は、19例中（内外面合計）17例が底部外面、体部外面と底部内面が各1例で、後者は同一文字「大」が底部の内外面に記されている。

線刻は、土師器無台碗（795・854・861）3例の底部外面に施されている。798が「井」もしくは「井」、854・861が「×」と判読でき、795と861は焼成前、854は焼成後の記載と推定される。

以下に土器類の分類基準を示すと、須恵器無台杯766はCⅠa類、同767はBⅡa類、同768・770～773・776・779・783・784・786・788・791・796はBⅡc類、同769はCⅠc類、同774・782はBⅡb類、同775はBⅠc類、同777はAⅡd類、同778はCⅡa類、同780・802はCⅡc類、同785・787はBⅢc類、同789・790はBⅠb類、同792はAⅡc類、同793はCⅡc類、同798はAⅢd類、同801はDⅠb類、同803・805・806はBⅡa類、同810はBⅢc類。須恵器有台杯811はAⅣb類、同815はCⅢb類、同816はCⅡb類、同817はDⅢb類、同818は概ねCⅢd類、同826はBⅡa類。須恵器有台碗827はⅠa類、同828・829は概ねⅡa類、同830はⅢa類、同832は高台の高いb類。須恵器杯蓋は環状のつまみで占められ、835・836は概ねEⅡc類。須恵器長頸壺837はBⅡ類、同839はAⅡ類、同841はAⅠ類。横瓶845・846は俵形の体部に「く」の字状の短い口縁部が付く形態で、高台が付くものはない。須恵器短頸壺847は肩部を有するA類。須恵器鉄鉢、同小瓶は1個体のみ出土。須恵器甕851はBⅢ類、同852・853はBⅡ類に分類される。これら須恵器の大半は胎土B群に属するが、B群以外のもものでは、無台杯781・788・792～794、有台杯811、長頸壺837がA群。有台杯819、長頸壺839、短頸壺847がC群。瓶840、長頸壺843、小瓶844、甕849・851・852がD群と考えられる。

土師器無台碗は内外面ロクロナデで底部を糸切り手法で切り離すA群が主体で、854はBⅡc類、同855・859はAⅡa類、同856はBⅡa類、同857はAⅢa類、同858はAⅡb類、同862はDⅢc類。B群に属する同865はDⅢc類。土師器長甕867はBd類、同868はBc類。同869は非ロクロ成形の佐渡型甕。土師器鍋870はBa類、同872はBh類、同873・875は概ねBd類、同871・874・876は概ねBg類に分類される。

これら出土遺物の時期について補足しておく、出土量が目立った須恵器無台杯でみると、Ⅵ期に収まるものが大半であるが、Ⅵ期を前後に分けてみると、旧河川と同様に前半期のⅥ1期のものが主体となっている。やや古い資料としては、無台杯766・778・801・803～806・808が概ねⅤ期の所産と考えられる。最も古い資料としては、有台杯811の概ねⅢ期に比定される資料で、7世紀末～8世紀初頭の年代観が与えられる。一方、最も新しい資料はⅦ期の所産と考えられる有台碗827で、概ね10世紀初頭まで下ると考えられる。土師器類も同様で、無台碗857・長甕867などが概ねⅤ期に比定されるが、大半はⅥ期に収まると考えられる。

## D 江戸時代の陶磁器

江戸時代の陶磁器は、テンバコで約1箱分出土している。いずれもⅡ層出土で一部Ⅲ層をきる攪乱土からも出土しているが、近現代の耕作土（Ⅰ層）より下で確認されている。

ここでは、江戸時代の時期幅を示す資料を抽出した。17世紀前半～18世紀の肥前産陶磁器である。

878は陶器皿で、体部上半が欠損している。高台を除いて灰釉が施されている。見込みに4つの砂目積み跡がみられる。1600～1630年代の所産のものであろう。879は染付磁器皿で、体部内面に唐草文が描かれている。見込みは蛇ノ目釉剥ぎされている。18世紀代（半ば）のもの。880は青磁染付碗で、「朝顔形」を呈す。口縁部内面に呉須で四方櫛文が描かれ、外面には青磁釉が施される。18世紀第3四半期のものと思われる。881は陶器瓶で、外面に刷毛目が施されている。底部は碁笥底になっており、その内面も施釉（透明釉）されている。18世紀後半所産である。881は播鉢で、8本1単位の播目が施され、上端はヨコナデによって揃えられている。内外面ともに鉄釉が施されており、口縁部直下の外面には、タタキ成形の跡が格子状の凹凸となってみられる。

## 第2節 土製品

土製品等は遺構別に取り扱わず、一括して記す。以下に述べる土製品とした遺物は、鍛冶関連遺物である。轆の羽口と製塩土器、土錘の3種である。

羽口（図版134、写真図版81）

図示し得た轆の羽口は、SD524の覆土内より出土した小破片の1点のみである。断面形は略円形と考えられ、遺存部は先端部付近と考えられるが剥脱が著しい。外径約7.6cm、孔径約3.1cmを有し、色調は灰黄褐色を呈する。この他に、羽口の細破片が僅かに出土しており、その中には溶解しているものもみられる。

鍛冶関連遺物として、鉾滓（鉄滓）の小塊が24点（369.6g）確認されている。科学的な分析を行っていないため、鍛錬鍛冶レベルのものか精錬鍛冶レベルのものは不明である。

製塩土器（図版134、写真図版79）

製塩土器として確認できた資料は、遺構外から出土した底部片の1点のみである。器形はバケツ状を呈すると考えられる。全容は不明であるが、断面観察の所見からは粘土紐を積み上げた成形とみられる。底径は約15.8cm、体部下半の調整は外面がミガキ調整、内面はやや粗いナデ調整である。色調はにぶい黄橙色を呈する。

土錘（図版134・135、写真図版79）

土錘は、各遺構および遺構外出土の掲載資料として計91点、この他に両端部もしくは片端部欠損、小片などの未掲載資料が遺構内より105点、同遺構外より31点出土した。なお、遺構外出土資料は代表例のみを掲載した。未掲載資料は出土地、計測値、焼成などを観察表に記載した。

土錘の形態は、数点の例外を除き細形管状の製品で、他に太形管状の製品と俵形の製品が数点ずつ含まれる。

これらの出土地点は、未掲載資料を含めると各遺構内（含旧河川）より192点、遺構外より35点となる。遺構別では、掘立柱建物の埋土内より4点、ピット内より16点、井戸内より7点、土坑内より25点、溝内より127点、不明遺構内より3点、旧河川内より10点となる。遺構内出土のまとまった例としては、SD1700内出土の16点が最も多く、次いでSD15内出土の14点、

第3表 駒首湯遺跡出土遺物

羽口		
出土地点	点数(点)	重量(g)
SD2901	1	43.0
9E2	6	28.4
15F20	1	16.1
15G3	1	35.7
15G11	1	7.2
19P11	3	27.8

鉄滓		
出土地点	点数(点)	重量(g)
SE510	1	17.5
SD403	5	19.0
SD697	2	11.0
SD2056	1	5.0
SD2065	1	16.0
SD2408	1	6.5
SD2901	4	19.0
7E17	1	50.1
7E18	2	184.9
13G21	1	12.0
14F4	1	6.2
16N8	1	8.6
17M3	1	10.3
9F	1	2.5
13G	1	1.0

## 第4節 木製品

SD1911の10点となる。以下に、3点以上出土した遺構内事例を示すと、SD82より9点、SK942・SD904・SD1903・SD1909・SD2101より各6点、P1158・SK156・SD1905・SD2102より各5点、SE1348・SK1966・SD1517・SD1927より各4点、SK1966・SK2500・SD34・SD1517・SD1901・SD2422・SX1330より各3点となる。

形態別にそれぞれの特徴を示すと、最も多い細形管状土錘では図示し得た完形品の50点よりみると、最大品はP2740出土(土錘22)の長さ5.8cm、重さ5.4g、最小品はSE2118出土(土錘26)の長さ2.8cm、重さ1.2gの土錘となる。50点の平均値は、長さ約4.2cm、重さ約2.8gを測る。太形管状土錘では、図示し得た完形品は2点で、P800出土(土錘8)の製品は長さ3.3cm、重さ6g、遺構外出土(土錘90)の製品は長さ4.4cm、重さ10.8gを測る。俵形土錘では、図示し得た完形品は4点で、最大品はSB3011出土(土錘3)の長さ8.9cm、重さ157g、平均値は長さ約7.6cm、重さ約144gを測り、孔径も大きい。

土錘はすべて土師質の焼成である。胎土は全体にきめが細かく、外面はナデにより整形される。但し、俵形の最大品は細形管状土錘に比べて胎土がやや粗く、表面に凹凸が目立つ。色調は灰白色～灰黄色系のものが多い。

## 第3節 石製品 (図版136～140、写真図版80・81)

石製品は、各遺構および遺構外出土の掲載資料として計36点を示した(図版136～140)。出土地点は、遺構内より21点、遺構外より15点である。遺構内出土の内訳をみると、井戸より2点、溝より6点、旧河川より13点となる。器種別では、砥石が最も多く17点、次いで磨石状製品の6点、石槌・軽石製品の各4点、台石の3点、模造品・有頭石錘の各1点となる。28は提砥と理解して砥石に含めたが、秤のおもりを模した権状錘としての検討も必要と考える。砥石類の多くは古代にみられる砥石の特徴と近似している。1・2・11・27・32は軽石であり、1は円形の中央に孔が開けられている。時代は不明。24は石錘と思われ、遺跡の中心時代に比定されるものであろう。

## 第4節 木製品

駒首瀆遺跡では、テンバコ換算で約40箱分の木製品が旧河川や井戸から出土している。旧河川からの出土量が多く、そのほとんどが南端部分に集中している。日常的な道具の欠損品や部材などが多いことから、廃棄場であったことが窺える。また、祭祀具と思われる遺物の完形品が岸に近いところから出土しており、水際は祭祀場であった可能性もある。これらはいずれも、平安時代の遺物と思われるものであり、土器が示す時期に対応するものと思われるが、詳細な時期判定はできなかった。樹種同定はすべてについて実施してはいるが、同定結果があるものについては、観察表に記載した。欠損部分と「コゲ」部分は、実測図においてスクリーンで表わしている。

ピット (図版141、写真図版82)

ピットからは、柱根が42点検出されているが、そのうち10点は不確実なものである。遺存状況が良好なP288・P437・P483・P633・P920・P933・P936・P988・P1514・P1153・P1707・P2693で出土したものを掲載している。建物跡以外では、杭列や柵等が考えられる。ほとんどが芯持ち材で、下方先端は加工痕がみられるが、加工はその部分だけであり、もともと樹皮付きの状態で使用されたようである。底先端の加工の仕方には、2種類あり、先端を尖らしているもの(1・3・5・7・11・12)と平らに加工しているもの(4・6・8～10)がある。前者にはさらに2つの形状がみられ、多方向からの削りによって円錐状に尖らすものと2～3方向からの大きな削りによって先端が線状に尖るものがある。

1はP288の柱根で、端部を4方向から大きなカットを入れて、先を尖らせている。2はP437の柱根で、対向2方向からの大きなカットとその脇の調整の小さなカットが行われている。3は掘立柱建物が確認されたピット(SB3003 - P<sub>9</sub>)の柱根で、欠損による不明部分はあるが、大きなカットが2方向から入れられている。4はP633で検出された柱根で、端部は平らである。加工は不明。5はP920で検出された柱根で、大きなカットを2方向から入れている。6は掘立柱建物が確認されたピット(SB3004 - P<sub>9</sub>)の柱根で、先端は平らに加工されている。7は掘立柱建物が確認されたピット(SB3005 - P<sub>8</sub>)の柱根で、先端は欠損しているが、鈍角の角度で4～5方向からカットされており、先が円錐状に尖っていた可能性がある。8はP988で検出された柱根で、先端は平らに加工されているが、欠損と表面の磨耗のためその痕跡は不明である。9はP1514で検出された柱根である。端部は平らであるが、その脇に大きなカットが1箇所入っている。10は掘立柱建物が確認されたピット(SB3004 - P<sub>10</sub>)の柱根で、端部が平らに加工されたものである。11は掘立柱建物が確認されたピット(SB3002 - P<sub>1</sub>)の柱根で、やや斜め気味の平らに加工されている。12はP2693で検出された柱根で、3方向からのカットによって先端が線状に尖っている。

SE(井戸)(図版142・144、写真図版83・84)

井戸は21基検出されているが、そのうち7基から木製品が出土している。SE2・SE510・SE602・SE708・SE983・SE1348・SE2357・SE2563で出土したものを掲載している。

13～16はSE2出土のもの。13は断面方形の棒状製品。表面がきれいに加工されており、先端が尖っている。斎串の可能性もある。14は板状製品で表面はきれいに加工されているが、欠損しているため全体形状が不明。15は片側の先端部分が荒れている。用途不明。16はやや厚みがある板状製品で、片側(図面下方)に加工痕のようなものがみられる。17はSE510出土のもの。打込みあるいは差込みされた状況は窺われなかった。18はSE602出土の板状製品としたもの。全体の形状不明。19～28はSE708出土。19～23は薄い板材の斎串で、いずれも上端は圭頭、下端部は剣先のように鋭角に尖らせている。24は断面が楕円形に近い棒状製品で、細かい面取りがされているようである。25は片側端部が鋭角の先細りになっており、斎串の可能性もある。26・27は板状としたが、大振りの板状と思われるもの。28は曲物の底板で、縁部に側板が据え付けられた跡と木釘の痕跡(1ヶ所)がある。内面に僅かであるが線状痕がみられる。29～31はSE983出土。端部にコゲがみられ、付け木と思われるもの。割った(裂いた)ままの端木を利用しており、29・31は片端、30は両端にコゲがついている。32はSE1348出土のものであり、両面がきれいに加工されている薄いものである。四方欠損しているため形状はわからないが、板状製品とした。33はSE2357出土の付け木。片端にコゲがみられる。44はSE2563の底で検出された曲物。水溜施設として設置されたものである。下部は少し荒れているが、側板の綴紐もそのまま残っており、遺存状況は良い。内面のケビキも明瞭に確認できる。

SK(土坑)(図版142・143、写真図版83・84)

土坑から出土した木製品は少なく、SK981、SK1280、SK1966、SK2140、SK2500から出土した8点を掲載した。34はSK981出土の付け木。端木を利用しており、片端にコゲがついている。35はSK1280出土で、両端が欠損している。表面がやや磨耗している。36はSK1966出土。断面円形の棒状製品で面取りを細かく行っている。残存している端部に向かってやや細めになっている。37は細長いSK2140から、その長軸に合せたようなかたちでほぼ真ん中から出土している。円形・長方形のホゾ穴が対象する位置で2ヶ所にあり、また貫通した孔も1ヶ所ある。荒れの少ない面では加工痕のほか、擦痕のような線状痕もみられる。38～41はSK2500出土。38は曲物の底板としたが、木釘痕は確認できず据え付けの痕跡もはっきりしない。39は薄い板状製品。全体形状は不明。40は棒状製品としたが、斎串の可能性のあるものである片端が斜めに裁断されており、反対の先端は鋭角に細くなっている。41は、断面円形の棒状製品で面取りを細かく行っている。

SD(溝状遺構)(図版143、写真図版84)

溝状遺構から出土したものは少ない。SD12とSD2061から出土した木製品を掲載した。42はSD12出土。



SD12は古代以降の時期不明の遺構であるが、出土遺物のほとんどが古代であることから、同時期のものである可能性が高いものである。表面が滑らかに加工された板状製品である。43はSD2061から出土した付け木である。片端にコゲがみられる。

旧河川（図版144～149、写真図版85～91）

先述したように、木製品の多くが旧河川から出土している。日用品や祭祀具が出土しているが、後者は前者よりも完形品が多い。45は柄杓の容器。ひょうたんの上下端に小さな孔が開いており、上方の孔から棒を差し込み、下の穴で止まるまで差し込むようになっている。体部には大きな円形の孔が開けてあり、そこが液体などを汲み上げる口になる。46は柄杓の柄。45の上下の孔に合うサイズのものであり、2つはセットであろう。47～52は皿類。身の浅いもの（48・49・50?）とやや深いもの（47・51・52）がある。内面の中央にコゲ痕と線状痕がみられるもの（49・50）があり、人為的な痕跡かもしれない。また、52は外面に線刻が施されているが、字なのかマークなのかは不明である。53は体部上部が欠損しているが、立ち上がりやや急で、鉢と思われるもの。54～61は円形の板状製品。54は側板があたる縁部が段になっており曲物の底板としたが、木釘や綴紐の痕跡はみられないことから、曲物等の容器の蓋の可能性もある。外面は線状痕が顕著である。55は木釘が2ヶ所に残っており、曲物の底板と思われる。56は片面にわずかな線状痕が残る。木釘等はみられない。57～60は曲物の底板と思われるもので、木釘（57～60）や綴紐（61）が残る曲物の底板。62は容器と思われるもの。おそらく円形の板をはめ込んで底をつくり、外面に付く円形の突起は把手であろう。63は工具の柄と思われる棒状製品。片側の先端に金属の板状工具の柄を差し込むための切り込みが入っており、2ヶ所に鉄製と思われる釘が残っている。64・65は断面円形の棒状製品であり、片側の端部が頭のように大きくなっている。栓あるいは叩き棒のような実用品か祭祀具かは不明である。66・67は火鑪臼。66は使用した窪みが2ヶ所みられる。67は火鑪杵があたる切り欠きが2ヶ所みられるが、1ヶ所は未使用、もう1ヶ所も使いかけのような感じである。68は両側面に刻みが入っている薄い板状製品。刻みの間隔は一致していない。69～73は斎串。69は上端が圭頭状、下端が剣先状の斎串で、両側面の上方に切り込みを入れている。70～73は、両端が鋭角気味の圭頭状をなしている斎串。20cm前後の長さをもつが、厚さはかなり薄く0.4cmほどである。74～79は片端が尖っている小形製品。74・75は断面多角形の細い棒状製品で、同一個体の可能性がある。表面はきれいに加工されており、75の端部は尖っている。76は両端とも加工されており、一方は水平であるが、もう一方は片側から斜めに切られ鋭角に尖っている。77は断面方形の短い棒状製品であるが、端部は一方は片側から斜めに切断され、もう一方は鋭角に尖らせている。78は端部の一方が平ら、もう一方が斜めに尖っている。79は上端が圭頭状、下端が剣先状で、厚みがあるもの。76・77・79は斎串の可能性もある。80～82は全ての面が滑らかに加工された棒状製品である。84～86は、片端が鋭角に尖っているやや大きめの板状・棒状製品。84・85は断面長方形で板材を使用しているものであるが、下部が剣先状に尖るもの。84は上部が片側から斜めに切断されている。86は材の加工が荒く片側にその痕跡が残り、反対側は未調整である。87・88は断面が円形で、片端が鋭角に尖っている棒状製品。87は断面円形の棒状製品で、中央がやや膨らむ。上部は山状に丸く加工され、下部は鋭角に尖っていることから、斎串の可能性もある。88は片側が欠損しており、全体の形状は不明であるが、尖った先端がコゲており、火に関わる道具の可能性もある。89は細かく面取りされた断面円形の棒状製品であるが、全体形状は不明である。90～92は加工品の破片。表面は滑らかであるが、全体の形状は不明。93は片側しか残存しないが、端部を削って突起状にしている。差し込む（引っ掛ける）部分か紐状のものを結ぶためのものであろう。94は幅の狭い面に鋸歯状の刻みが施されているもの。それに棒をこすり付けて音をだす「ささら」の可能性もあるが、刻みの間隔が一定ではないところは模倣品ということなのであろうか。95は一部欠損しているが、鋤先をイメージさせる板状製品である。実用品ではないようである。96は一部欠損しているが、舟形製品と思われるもの。中央が盛り上がったやや特異な形態であるが福岡県井相田遺跡に同じ形態のものがあり、舟形とされている[金子1988]ことから、それに倣った。97・98は浮子。

中央がやや膨らみをもち、両端は網紐を結ぶための細い溝を入れている。99は端部がやや細くなる中央付近に、浅い方形の窪みがみられる。ホゾ穴のようなものであろうか。100は断面隅丸方形の棒状製品。長方形の孔か端部の切り込みと思われるものがみられ、部材であろう。101は片側面を弓状に削っている。折敷の部品であろうか。102は木釘が7ヶ所打たれた板状製品。1ヶ所にその痕跡である孔だけがみられるが、6ヶ所は木釘が残っている。木釘の位置に規則性は感じられない。103は折敷と思われる板状製品。縁部に1ヶ所綴紐が残っている。104は中央の側面に弧状のえぐりがみられる板状製品。片側は欠損としたが、切断面がきれいであり、当時の切断の可能性もある。表面は滑らかに加工されている。105は厚みのある板状製品で、片側が弧状に加工されている。106は角材。107～109は表面の加工痕が顕著な板状製品である。用途は不明であるが、部材と思われる。表面の荒れ・欠損がない面で、加工痕が確認できる。110は杭状製品。ピットで検出された柱根に比べ細く、先端は6方向からやや鋭角にカットされている。

**遺構外** (図版 149、写真図版 90)

ほとんどが旧河川近くのⅢc層から出土している。

111は曲物の底板で、木釘孔が2ヶ所確認されている。112は付け木で片端にコゲがみられる。113は長方形の板状製品。両短辺付近に孔があげられているが、片側はやや大きい孔が中央に1ヶ所、もう片側は小さい孔が1列に並んでいる。

**木簡** (図版 150、写真図版 91)

駒首瀉遺跡からは、3点の木簡が旧河川から出土している。いずれも習書あるいは下書きの木簡で、表裏にその墨書がみられる。内容については第VII章第2節で触れているので、ここでは出土状況や形態等について記載する。第1号木簡(117)は、旧河川南端域(15N8)の2b層(図版9, S-S')から出土している。長さ42cm・幅6.4cm・厚さ0.5cm。大形の曲物底板のようなものを利用しており、薄いものである。樹種はヒノキ亜種。第2号木簡(118)は、旧河川中央付近(13I3)の5b層(図版9, O-O')から出土している。長さ20.3cm・幅2.4cm・厚さ0.4cm。短冊形の板状製品を利用したものであり、表面は滑らかである。樹種はヒノキ亜種。第3号木簡(119)は、旧河川南端域(15N8)の2b層(図版9, S-S')から出土している。長さ82.8cm・幅4.9cm・厚さ1.3cm。表面の整形加工がみられない材である。樹種はスギ。文字が下方に続くことから、かなり長い素材であったことが窺われるが、これだけ大きいものは珍しく、下書きゆえのことなのであろうか。

## 第5節 金 属 製 品

鉄製品が2点出土している。いずれも遺構出土である。

**SE2** (図版 149、写真図版 91)

木製の柄(114)が残る刀子が出土している。柄はところどころ欠損しているが、両端部は残存しており長さ166cmである。平棟造り・両関式の刃(115)は、切先をわずかに欠損しているものの、そこから茎部までほぼ完全に近い状態で残る。刃部基部あたりまで柄に装着されており、茎先が柄の中位まで達している。

**SD421** (図版 149、写真図版 91)

手斧(116)が出土している。袋作りで、柄と思われる木質が基部に残る。基部にやや欠損がみられる。

## 第VI章 自然科学分析

### 第1節 土壌分析

#### A 土層とテフラ

新潟平野とその周辺には、妙高、焼山、沼沢、浅間、榛名、御岳など周辺に位置する火山のほか、中国地方や九州地方など遠方に分布する火山に由来するテフラ（火山<sup>さいせつぶつ</sup>砕屑物、いわゆる火山灰）が降灰している。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている指標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになっている。

そこで、年代や層位が不明な土層が認められた駒首潟遺跡においても、地質調査を行って土層断面の観察記載を行うとともに、採取された試料を対象としたテフラ検出分析と屈折率測定により指標テフラの検出同定を行うことになった。

調査分析の対象となった地点は、旧河川（2f区）・SK301・4区北地点・4区中央地点・4区南地点の5地点である。また、SK941については、すでに採取されていた柱状試料について観察記載を実施した。

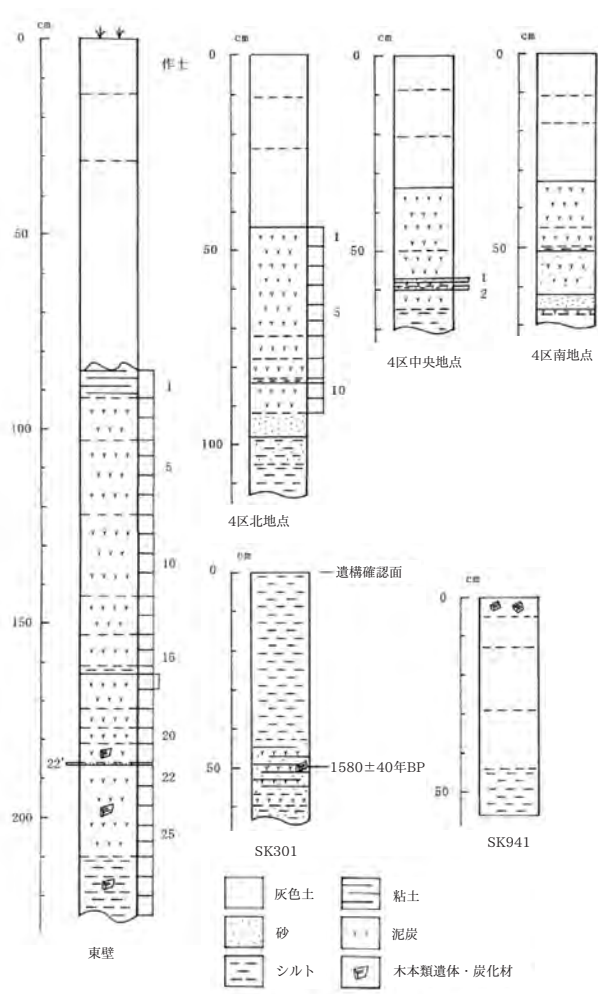
##### 1) 土層の層序

旧河川（2f区） 旧河川（2f区）では、旧河道部の土層をよく観察できた。ここでは、下位より木本類遺体を含む緑色がかった灰色シルト層（層厚 15cm 以上）、木本類遺体を含む灰褐色泥炭層（層厚 25cm）、青灰色砂層（層厚 0.3cm）、灰褐色泥炭層（層厚 5cm）、暗灰褐色泥炭層（層厚 4cm）、灰褐色泥炭層（層厚 5cm）、暗灰褐色泥炭層（層厚 9cm）、灰色シルト層（層厚 2cm、より状態が良い地点：試料 16'）、暗灰褐色泥炭層（層厚 8cm）、黒灰褐色泥炭層（層厚 10cm）、黒灰褐色泥炭層（層厚 21cm）、暗灰褐色泥炭層（層厚 19cm）、褐色泥炭層（層厚 11cm）、若干青みがかった灰白色粘土層（層厚 7cm）が認められる。発掘調査では、これらのうち黒灰褐色泥炭層（層厚 21cm）以下の土層から 9～10 世紀の遺物が検出されている。さらに上位には、下位より灰色土（層厚 54cm）、褐色がかった灰色土（層厚 17cm）、若干色調の暗い灰色土（層厚 14cm）の連続からなる耕地整理に関係すると考えられている土層が認められる。これらの土層のうち、灰色シルト層の直下の泥炭層（試料 17）では 1120 ± 40 年 BP の放射性炭素年代（暦年代は AD890～980 年）が得られている。

SK301 微高地上に位置する SK301 の壁面では、SK301 の基盤にあたる土層をよく観察できた。その土層は、下位より青灰色シルト質砂層（層厚 3cm 以上）、暗褐色泥炭層（層厚 3cm）、木本類遺体を含む青灰色砂と褐色腐植質泥の互層（層厚 14cm）、青灰色シルト質砂層（層厚 43cm）からなる。木本類遺体を含む青灰色砂と褐色腐植質泥の互層から採取された樹木片については 1580 ± 40 年 BP の放射性炭素年代（暦年代は AD420～540 年）が得られている。

SK941 SK941 の柱状試料では、下位より黄灰色シルト質砂層（層厚 12cm）、灰色土（層厚 15cm）、若干黄色がかった灰色土（層厚 16cm）、色調が少し暗い灰色土（層厚 8cm）、黒色炭化物層（層厚 5cm）が認められる。

4区北地点 ここでは、下位より黄灰色シルト層（層厚 8cm 以上）、砂混じり灰色シルト層（層厚 7cm）、黄灰色砂層（層厚 6cm）、暗褐色泥炭層（層厚 8cm）、灰白色シルト層（層厚 0.6cm）、暗褐色泥炭層（層厚 5cm）、灰褐色泥炭層（層厚 6cm）、暗褐色泥炭層（層厚 28cm）が認められる。発掘調査では、これらのうち灰白色シルト層の直下の暗褐色泥炭層から、9～10 世紀初頭の遺物が検出されている。その上位には、さらに最近までの耕作土を構成する、灰色土（層厚 20cm）、黄色がかった灰色土（層厚 13cm）、灰色土（層厚 11cm）が認められる。



第13図 駒首湯遺跡の土層柱状図  
(数字はテフラ分析の試料番号)

第4表 テフラ検出分析結果

地点	試料	軽石・スコリア			火山ガラス			
		量	色調	最大径	量	形態・色調		
旧河川 (2f区)	1	-	-	-	-	-		
	3	-	-	-	+	pm	透明	
	5	-	-	-	-	-	-	
	7	-	-	-	-	-	-	
	9	-	-	-	-	-	-	
	11	-	-	-	-	-	-	
	13	-	-	-	-	-	-	
	15	-	-	-	-	-	-	
	16	-	-	-	-	-	-	
	16'	-	-	-	+	pm>bw	透明,白	
	17	-	-	-	-	-	-	
	19	-	-	-	-	-	-	
	20	-	-	-	+	pm>bw	透明,白,淡褐	
21	-	-	-	+	pm>bw	透明,白		
22'	-	-	-	+	pm>bw	透明,白,淡褐		
23	-	-	-	+	pm>bw	透明,白,淡褐		
25	-	-	-	-	-	-		
27	-	-	-	+	pm>bw	透明,白,淡褐		
29	-	-	-	-	-	-		
4区北地点	1	-	-	-	-	-		
	3	-	-	-	-	-		
	5	-	-	-	-	-		
	7	-	-	-	+	pm	透明,白	
	8	-	-	-	+	pm	透明,白	
	9	-	-	-	++	pm>bw	透明,白,淡褐	
	10	-	-	-	++	pm	透明,白	
	11	-	-	-	++	pm	透明,白	
	4区中央地点	1	-	-	-	++	pm	透明,白
		2	-	-	-	++	pm	透明,白

++++ : とくに多い、+++ : 多い、++ : 中程度、+ : 少ない、- : 認められない、  
bw : パブル型、pm : 軽石型。

4区中央地点 ここでは、下位より黄灰色シルト層（層厚 5cm 以上）、灰褐色泥層（層厚 5cm）、白色凝灰質砂質シルト層（層厚 0.2cm）、灰色泥層（層厚 0.3cm）、灰色砂層（層厚 0.4cm）、灰褐色泥層（層厚 7cm）、暗褐色泥炭層（層厚 16cm）、灰色土（層厚 13cm）砂混じり灰色シルト層（層厚 7cm）、黄灰色砂層（層厚 6cm）、暗褐色泥炭層（層厚 8cm）、灰白色シルト層（層厚 0.6cm）、暗褐色泥炭層（層厚 5cm）、灰褐色泥炭層（層厚 6cm）、暗褐色泥炭層（層厚 28cm）が認められる。その上位には、さらに最近までの耕作土を構成する灰色土（層厚 13cm）、黄色がかかった灰色土（層厚 12cm）、灰色土（層厚 9cm）が認められる。

4区南地点 ここでは、下位より暗褐色泥層（層厚 0.5cm）、灰色砂層（層厚 4cm）、砂混じり灰色泥層（層厚 11cm）、白色シルト層（層厚 0.3cm）、灰褐色泥層（層厚 5cm）、暗褐色泥炭層（層厚 12cm）が認められる。発掘調査では、これらのうち灰色砂層の上位の砂混じり灰色泥層から、9～10世紀初頭の遺物が検出されている。その上位には、さらに最近までの耕作土を構成する、灰色土（層厚 13cm）、黄色がかかった灰色土（層厚 12cm）、灰色土（層厚 9cm）が認められる。

## 2) テフラ検出分析

### 分析試料と分析方法

地質調査の対象となった地点のうち、旧河川 (2f区)、4区北地点、4区中央地点から採取された 28 点の試料について、テフラ検出分析を実施して、特徴的なテフラ粒子の検出とその特徴記載を行った。テフラ検出分析の手順は次の通りである。



- ①試料 8g を秤量。
- ②超音波洗浄により泥分を除去。
- ③ 80 °C で恒温乾燥。
- ④実体顕微鏡下で、テフラ粒子の量や特徴を観察。

### 分析結果

テフラ検出分析の結果を第 4 表に示す。いずれの試料においても、径が 2mm より大きい軽石やスコリアは認められなかった。ただ、分析対象のうち、旧河川 (2f 区) では、試料 25 から試料 20 にかけて、また試料 16 のより純度が高い試料から採取された試料 16'、さらに試料 3 から、火山ガラス検出することができた。試料 25 から試料 20 にかけて含まれる火山ガラスは、軽石型や平板状のいわゆるバブル型で、色調は透明や淡褐色である。試料 16' にも軽石型やバブル型の火山ガラスが少量含まれている。また試料 3 には、透明の軽石型ガラスがごく少量含まれている。

### 3) 屈折率測定

#### 測定試料と測定方法

テフラ検出分析試料の中で火山ガラスが比較的多く含まれている 4 区北地点の試料 10 に含まれる火山ガラスについて、屈折率 (n) の測定を行った。測定には、温度変化型屈折率測定装置 (古澤地質社製、MAIOT) を利用した。

#### 測定結果

4 区北地点の試料 10 に含まれる火山ガラス (39 粒子) の屈折率 (n) は、1.496-1.503 である。

### 4) 考 察

#### 指標テフラとの同定

テフラ検出分析および屈折率測定の対象となった 4 区北地点の試料 10 に含まれる火山ガラスについては、その特徴と従来の新潟平野部で検出されているテフラの特徴を比較すると、約 5,000 年前に沼沢火山から噴出した沼沢テフラ (Nm-N, n : 1.500-1.505) [只見川第四紀研究グループ 1966a・1966b、町田・新井 2003] のほか、915 年に十和田火山から噴出したと推定されている十和田 a テフラ (To-a, n : 1.496-1.508) [大池 1972、町田ほか 1981、町田・新井 1992・2003 など] に由来する火山ガラスが混在している可能性が考えられる。つまり 4 区北地点の試料 10 が採取された土層の最終的な形成年代は、To-a の降灰より新しいのかも知れない。

4 区北地点の試料 10 が採取された土層では、9 世紀から 10 世紀初頭の遺物が検出されており、またその土層に相当する可能性のある旧河川 (2f 区) の土層の放射性炭素年代は  $1120 \pm 40$  年 BP (暦年代は AD890 ~ 980 年) である (第 III 章)。このように、遺物の年代、放射性炭素年代測定結果、およびテフラの産出状況は調和的である。しかしながら、東北地方南部で認められる To-a 起源の火山ガラスは細粒で水和の影響をうけており、会津・福島・仙台地方での火山ガラスの屈折率 (n) は 1.503-1.507 と記載されている [町田・新井 2003]。また、妙高火山などは完新世に 1.496-1.499 の屈折率 (n) をもつ火山ガラスを噴出しているらしい [町田・新井 2003]。

以上のことから、今回の To-a への同定精度は高いとはいえない。今後、信頼度の高い EPMA (エレクトロンプローブ X 線マイクロアナライザー) による個々の火山ガラスの主成分化学組成分析を実施して、指標テフラとの同定精度のさらなる向上がはかれると良い。

#### 土層の層位と年代

微高地上 (自然堤防) に位置する 2-a 区の SK301 の基盤層中の樹木片では、 $1580 \pm 40$  年 BP (暦年代は AD420 ~ 540 年) の年代値が得られている。本遺跡の基盤層の堆積は、堆積終了時期に関する明確な年代資料は得られていないものの、少なくとも 5 ~ 6 世紀以降まで続いていと推定される。そして、遺跡の年代であ

る9世紀後半以前には、微高地として存在していたと考えられる。低地部（旧河道部）に位置する旧河川（2f区）で観察できた低地を埋積させている泥炭層の下部では、 $1120 \pm 40$  年 BP（暦年代はAD890～980年）の年代値が得られている。9世紀後半から10世紀にかけて、低地部は泥炭が形成されるような湿地で、まだ埋積は進んでおらず、現在より相対的に凸地形が顕著な場所で人々が生活していたと推定される。

## 5) 小 結

駒首潟遺跡において、地質調査を行って土層の観察記載を実施するとともに、採取された試料を対象としてテフラ検出分析と火山ガラスの屈折率測定を行った。その結果、沼沢テフラ（Nm-N, 約5,000年前）に由来する火山ガラスのほか、十和田 a 火山灰（To-a, AD915年）に由来する可能性のある火山ガラスが混在している可能性が指摘された。

## B 放射性炭素年代測定

放射性炭素年代測定は、呼吸作用や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素（ $^{14}\text{C}$ ）の濃度が、放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。過去の大気中の $^{14}\text{C}$ 濃度は一定ではなく、年代値の算出に影響を及ぼしていることから、年輪年代学の成果などを利用した較正曲線により $^{14}\text{C}$ 年代から暦年代に換算する必要がある。

### 1) 試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整	測定法
No.1	旧河川（2f区）、テフラ試料 No.17	泥炭	acid/alkali/acid	AMS
No.2	SK301 基盤層	樹木片	acid/alkali/acid	AMS

acid/alkali/acid : 酸-アルカリ-酸洗浄

### 2) 測定結果

試料名	測定 No. (Beta-)	未補正 $^{14}\text{C}$ 年代 (年 BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	$^{14}\text{C}$ 年代 (年 BP)	暦年代 Calendar Age (2 $\sigma$ :95% 確率, 1 $\sigma$ :68% 確率)
No.1	227789	$1170 \pm 40$	-28.3	$1120 \pm 40$	交点 : Cal AD 900, 920, 950 2 $\sigma$ : Cal AD 810 ~ 1010 1 $\sigma$ : Cal AD 890 ~ 980
No.2	227790	$1610 \pm 40$	-26.8	$1580 \pm 40$	交点 : Cal AD 440, 490, 520 2 $\sigma$ : Cal AD 400 ~ 570 1 $\sigma$ : Cal AD 420 ~ 540

BP : Before Physics (Present), Cal : Calibrated, AD : 紀元後

### 未補正 $^{14}\text{C}$ 年代

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在（AD1950年）から何年前かを計算した値。 $^{14}\text{C}$ の半減期は5730年であるが、国際的慣例により Libby の5568年を用いて計算している。

### $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比（ $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ ）。この値は標準物質（PDB）の同位体比からの千分偏差（‰）で表す。試料の $\delta^{13}\text{C}$ 値を-25（‰）に標準化することで同位体分別効果を補正する。

### $^{14}\text{C}$ 年代

$\delta^{13}\text{C}$  測定値により同位体分別効果を補正して算出した年代。暦年代較正にはこの年代値を使用する。

### 暦年代 (Calendar Age)

$^{14}\text{C}$ 年代を実際の年代（暦年代）に近付けるには、過去の宇宙線強度の変動などによる大気中 $^{14}\text{C}$ 濃度の変動および $^{14}\text{C}$ の半減期の違いを較正する必要がある。較正には、年代既知の樹木年輪の $^{14}\text{C}$ の詳細な測定値およ

びサンゴの U/Th (ウラン/トリウム) 年代と  $^{14}\text{C}$  年代の比較により作成された較正曲線を使用した。IntCal04 では BC24050 年までの換算が可能である (樹木年輪データは BC10450 年まで)。

暦年代の交点は、 $^{14}\text{C}$  年代値と較正曲線との交点の暦年代値を示し、 $1\sigma$  (68% 確率) と  $2\sigma$  (95% 確率) は、 $^{14}\text{C}$  年代値の偏差の幅を較正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点や複数の  $1\sigma \cdot 2\sigma$  値が表記される場合もある。

### 3) 所 見

加速器質量分析法 (AMS) による放射性炭素年代測定の結果、No.1 の泥炭では  $1120 \pm 40$  年 BP ( $1\sigma$  の暦年代で AD890 ~ 980 年)、No.2 の樹木片では  $1580 \pm 40$  年 BP (同 AD420 ~ 540 年) の年代値が得られた。

## C 植物珪酸体分析

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸 ( $\text{SiO}_2$ ) が蓄積したもので、植物が枯れたあともガラス質の微化石 (プラント・オパール) となって土壤中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている [杉山 2000]。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である [藤原・杉山 1984]。

### 1) 試 料

分析試料は、旧河川 (2f 区) ・ 4 区中央地点 ・ 4 区南地点 ・ SK301 ・ SK941 の 5 地点、および畠跡とみられる溝状遺構 (SD402 ・ SD403 ・ SD404 ・ SD455 ・ SD456 ・ SD457) から採取された計 24 点である。試料採取箇所を分析結果図に示す。

### 2) 分 析 法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスビーズ法 [藤原 1976] を用いて、次の手順で行った。

- ①試料を  $105^\circ\text{C}$  で 24 時間乾燥 (絶乾)
- ②試料約 1g に対し直径約  $40\ \mu\text{m}$  のガラスビーズを約 0.02g 添加 (電子分析天秤により 0.1mg の精度で秤量)
- ③電気炉灰化法 ( $550^\circ\text{C}$  ・ 6 時間) による脱有機物処理
- ④超音波水中照射 ( $300\text{W}$  ・  $42\text{kHz}$  ・ 10 分間) による分散
- ⑤沈底法による  $20\ \mu\text{m}$  以下の微粒子除去
- ⑥封入剤 (オイキット) 中に分散してプレパラート作成
- ⑦検鏡・計数

同定は、400 倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が 400 以上になるまで行った。これはほぼプレパラート 1 枚分の精査に相当する。試料 1g あたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料 1g 中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重 (1.0 と仮定) と各植物の換算係数 (機動細胞珪酸体 1 個あたりの植物体乾重、単位:  $10^{-5}\text{g}$ ) をかけて、単位面積で層厚 1cm あたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的に捉えることができる。イネの換算係数は 2.94、ヨシ属 (ヨシ) は 6.31、ススキ属 (ススキ) は 1.24、チマキザサ節・チシマザサ節は 0.75、ミヤコザサ節は 0.30 である [杉山 2000]。タケ亜科については、植物体生産量の推定値から各分類群の比率を求めた。

## 3) 分析結果

## 分類群

検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を第14・15図に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。

## 〔イネ科〕

イネ、キビ族型、ヨシ属、マコモ属、ススキ属（おもにススキ属）、ウシクサ族 A（チガヤ属など）、ウシクサ族 B（大型）

## 〔イネ科-タケ亜科〕

チマキザサ節型（ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など）、ミヤコザサ節型（ササ属ミヤコザサ節など）、未分類等

## 〔イネ科-その他〕

表皮毛起源、棒状珪酸体（おもに結合組織細胞由来）、茎部起源、地下茎部起源、未分類等

## 〔樹木〕

その他

## 植物珪酸体の検出状況

旧河川（2f区） 最下層の試料11では、ヨシ属、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。また、海綿動物に由来する海綿骨針も少量検出された。試料10ではウシクサ族Aが出現している。試料9では、ヨシ属が大幅に増加しており、マコモ属も出現している。試料5から試料1にかけても、おおむね同様の結果であるが、試料7と試料6ではヨシ属は少量である。また、試料2と試料1ではイネが検出された。イネの密度は700個/gと低い値であり、稲作跡の検証や探査を行う場合の判断基準としている3,000個/gを下回っている。おもな分類群の推定生産量によると、おおむねヨシ属が優勢となっている。

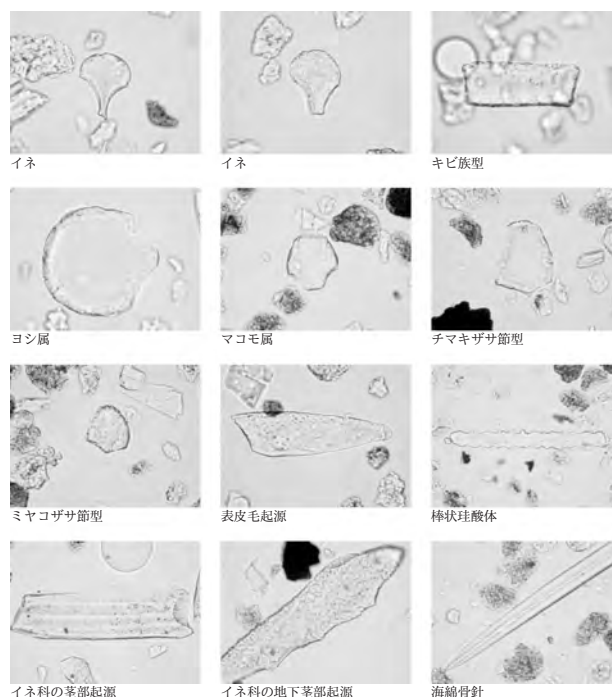
4区中央地点 試料2'と試料2では、ヨシ属が多量に検出され、チマキザサ節型なども少量検出された。また、海綿骨針も少量検出された。試料2ではイネが検出されたが、密度は1,200個/gと低い値である。おもな分類群の推定生産量によると、ヨシ属が優勢となっている。

4区南地点 試料1では、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。

SK941 試料4では、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。

SK301 試料6では、キビ族型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。試料5ではヨシ属が出現している。試料2ではイネが検出されたが、密度は500個/gと低い値である。

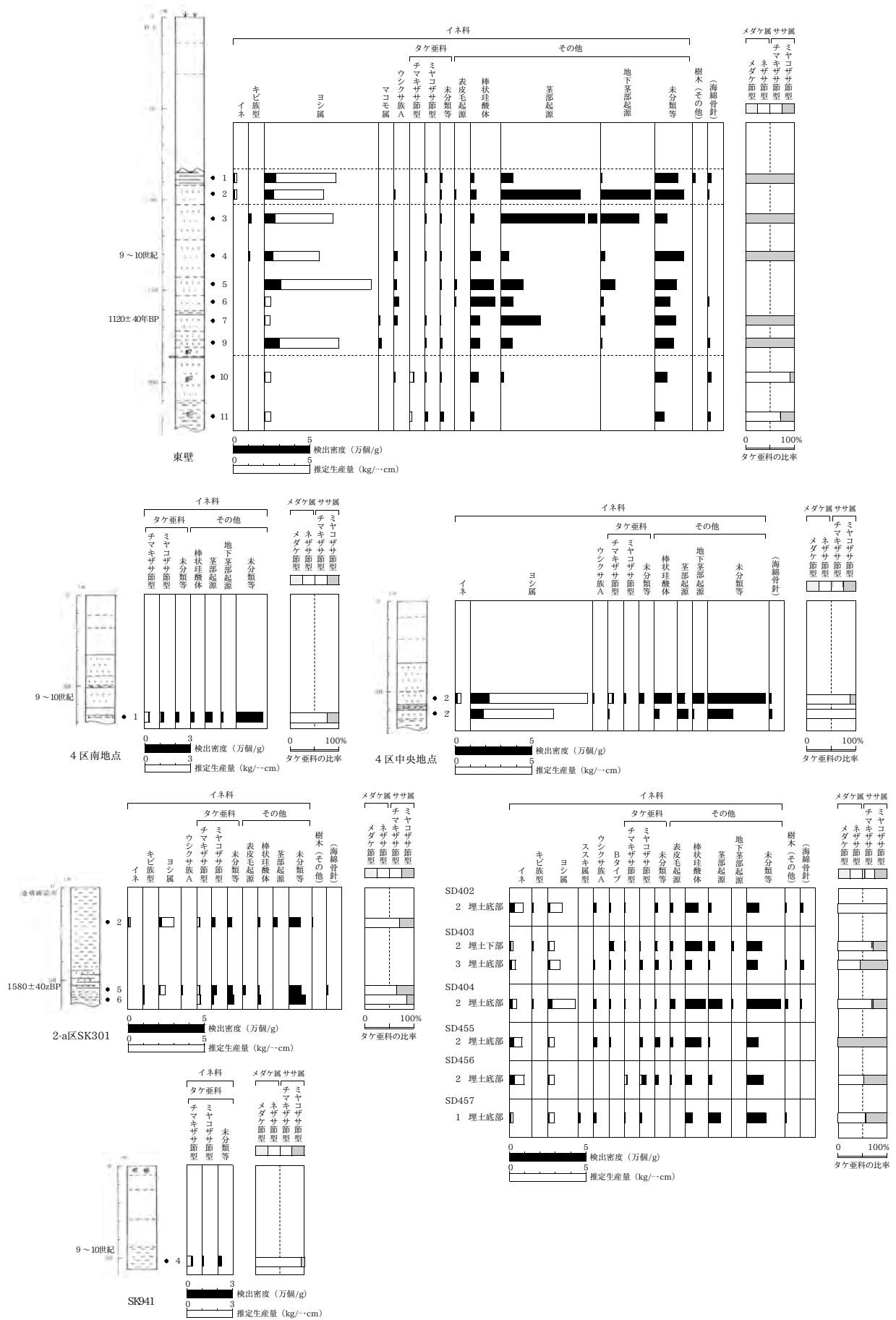
溝状遺構（SD402・403・404・455・456・4057） 畝跡とみられる溝状遺構（SD402・403・404・455・456・457）の埋土では、すべての試料からイネが検出された。イネの密度は、SD402の試料2とSD456の試料2では3,000個/gおよび3,300個/gと比較的高い値であり、その他の試料では700～2,800個/gと比較的低い値である。なお、イネを畝で栽培する場合は、連作障害や地力の低下を避けるために輪作を行ったり休閑期間をおく必要がある。このため、畝跡におけるイネの植物珪酸体密度は水田跡と比較してかなり低くなり、1,000～2,000個/g程度である場合が多い。その他の分類群では、ヨシ属、ウシクサ族A、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。また、部分的に樹木（その他）や海綿骨針も検出された。



第14図 駒首淵遺跡の植物珪酸体（プラント・オパール）



第1節 土 壤 分 析



第 15 図 駒首冨遺跡における植物珪酸体分析結果

#### 4) 考 察

##### イネ科栽培植物の検討

畠跡とみられる溝状遺構 (SD402・403・404・455・456・457) の埋土では、すべての試料からイネが検出された。このうち、SD402とSD456では密度が3,000個/g以上と比較的高い値である。したがって、これらの遺構では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

旧河川 (2f区) (試料1・2)、4区中央地点 (試料2)、SK301 (試料2) でもイネが検出されたが、密度は500～1,200個/gと低い値である。イネの密度が低い原因としては、稲作が行われていた期間が短かったこと、土層の堆積速度が速かったこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったこと、および上層や他所からの混入などが考えられる。

その他のイネ科植物 (ムギ類、ヒエ、アワなど) に由来する植物珪酸体は、いずれの試料からも検出されなかった。  
植物珪酸体分析から推定される植生と環境

9～10世紀の遺物包含層およびその前後層の堆積当時は、おおむねヨシ属などが生育する湿地的な環境であったと考えられ、周辺の比較的乾燥したところにはウシクサ属やササ属などが生育していたと推定される。

#### 5) ま と め

植物珪酸体 (プラント・オパール) 分析の結果、畠跡とみられる溝状遺構 (SD402・403・404・455・456・457) の埋土では、すべての試料からイネが検出され、稲作が行われていた可能性が高いと判断された。また、旧河川 (2f区) (試料1・2)・4区中央地点 (試料2)・SK301 (試料2) でもイネが検出され、稲作が行われていた可能性が認められた。

9～10世紀の遺物包含層およびその前後層の堆積当時は、おおむねヨシ属などが生育する湿地的な環境であったと考えられ、周辺の比較的乾燥したところにはウシクサ属やササ属などが生育していたと推定される。

## D 花 粉 分 析

花粉分析は、一般に低湿地の堆積物を対象とした比較的広域な植生・環境の復原に応用されており、遺跡調査においては遺構内の堆積物などを対象とした局地的な植生の推定も試みられている。花粉などの植物遺体は、水成堆積物では保存状況が良好であるが、乾燥的な環境下の堆積物では分解されて残存していない場合もある。

#### 1) 試 料

分析試料は、旧河川 (2f区)・4区中央地点・4区南地点・SK301・SK941の5地点から採取された計11点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

#### 2) 方 法

花粉の分離抽出は、[中村1973]の方法をもとに、以下の手順で行った。

- ① 0.5%リン酸三ナトリウム (12水) 溶液を加えて15分間湯煎
- ② 水洗処理の後、0.5mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法で砂粒を除去
- ③ 25%フッ化水素酸溶液を加えて30分放置
- ④ 水洗処理の後、氷酢酸によって脱水し、アセトリシス処理 (無水酢酸9:濃硫酸1のエルドマン氏液を加え1分間湯煎) を施す
- ⑤ 再び氷酢酸を加えて水洗処理
- ⑥ 沈渣に石炭酸フクシンを加えて染色し、グリセリンゼリーで封入してプレパラート作成

⑦検鏡・計数

検鏡は、生物顕微鏡によって300～1000倍で行った。花粉の同定は、[鳥倉1973]および[中村1980]をアトラスとして、所有の現生標本との対比で行った。結果は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類し、複数の分類群にまたがるものはハイフン(－)で結んで示した。イネ属については、[中村1974・1977]を参考にして、現生標本の表面模様・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して同定しているが、個体変化や類似種もあることからイネ属型とした。

3) 結 果

分 類 群

出現した分類群は、樹木花粉40、樹木花粉と草本花粉を含むもの5、草本花粉25、シダ植物孢子2形態の計72である。また、寄生虫卵1分類群が検出された。分析結果を第17図に示し、花粉数が100個以上計数された試料については花粉総数を基数とする花粉ダイアグラムを示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。

**樹木花粉** モミ属、トウヒ属、ツガ属、マツ属複維管束亜属、マツ属単維管束亜属、スギ、コウヤマキ、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科、ヤナギ属、クルミ属、サワグルミ、ノグルミ、ハンノキ属、カバノキ属、クマシデ属-アサダ、クリ、シイ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属、ニレ属-ケヤキ、エノキ属-ムクノキ、シキミ属、アカメガシワ、キハダ属、ウルシ属、モチノキ属、ニシキギ科、カエデ属、トチノキ、ムクロジ属、ブドウ属、シナノキ属、ハイノキ属、エゴノキ属、モクセイ科、トネリコ属、ツツジ科、タニウツギ属、スイカズラ属

**樹木花粉と草本花粉を含むもの** クワ科-イラクサ科、バラ科、マメ科、ウコギ科、ニワトコ属-ガマズミ属

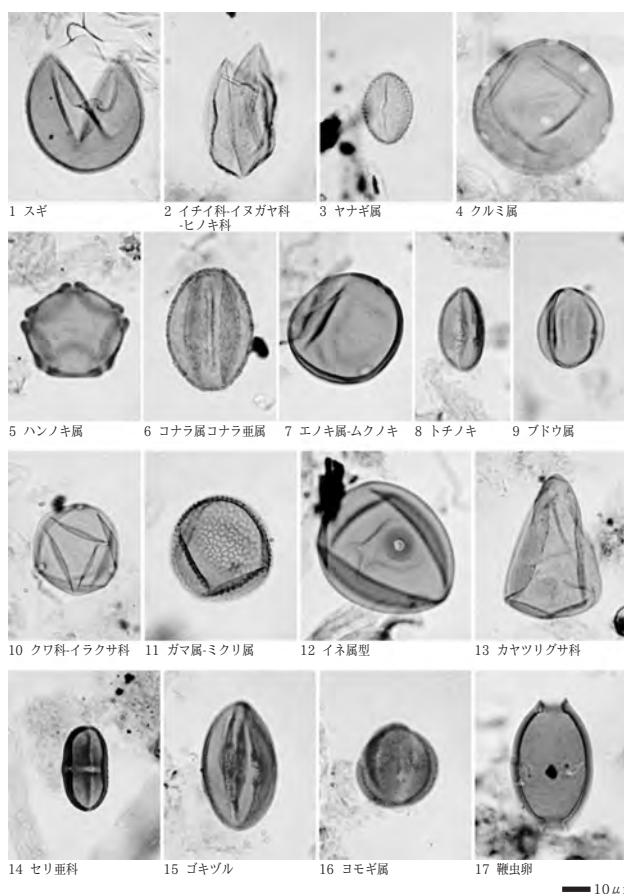
**草本花粉** ガマ属-ミクリ属、サジオモダカ属、オモダカ属、イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、イボクサ、ユリ科、タデ属、タデ属サナエタデ節、アカザ科-ヒユ科、ナデシコ科、キンポウゲ属、アブラナ科、ツリフネソウ属、ノブドウ、アリノトウグサ属-フサモ属、チドメグサ亜科、セリ亜科、シソ科、ゴキヅル、タンポポ亜科、キク亜科、オナモミ属、ヨモギ属

**シダ植物孢子** 単条溝孢子、三条溝孢子

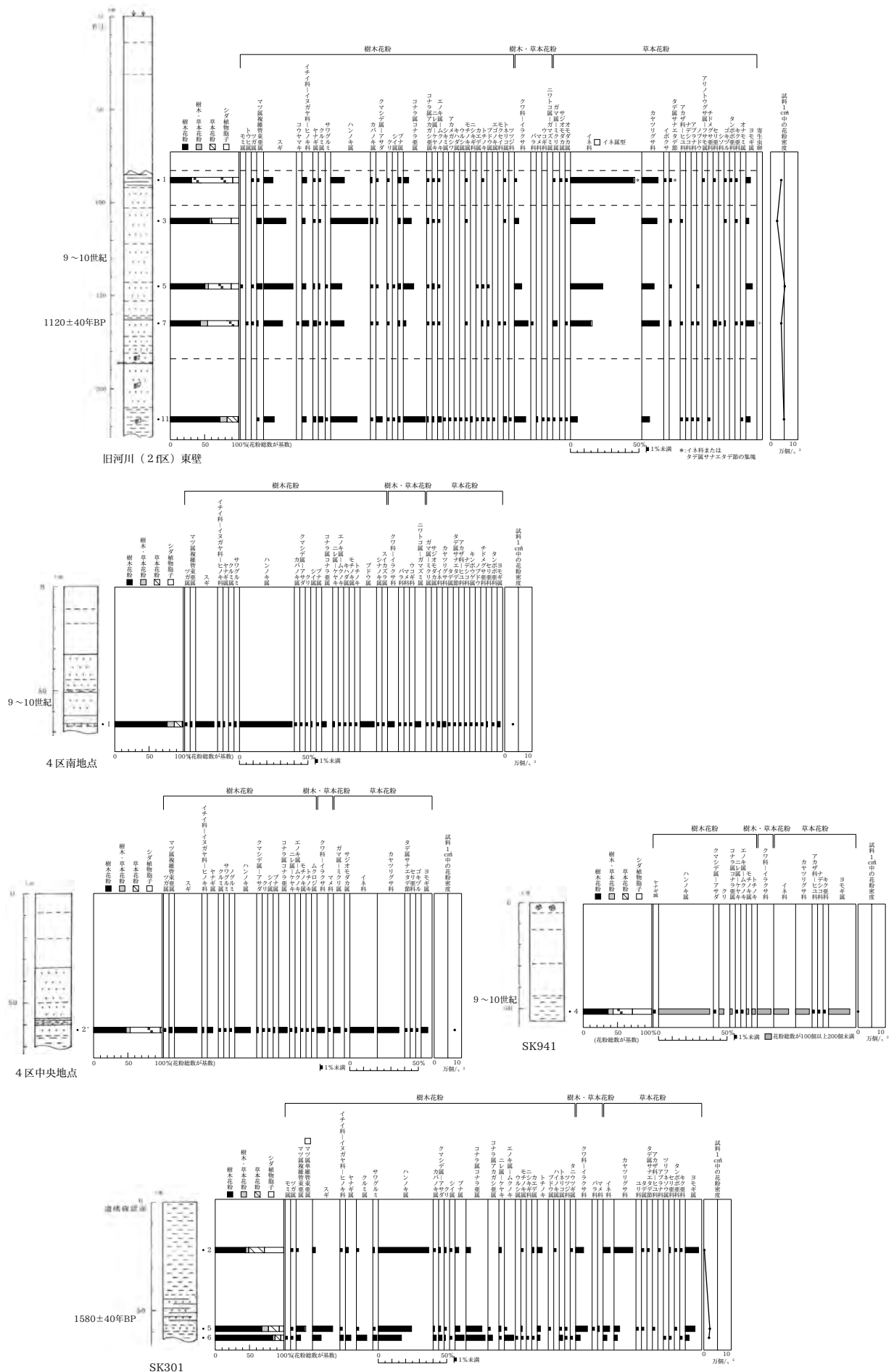
**寄生虫卵** 鞭虫卵

花粉群集の特徴

旧河川(2f区) 最下層の試料11では、樹木花粉の占める割合が草本花粉より高い。樹木花粉ではハンノキ属、コナラ属コナラ亜属が優勢で、スギ、クマシデ属-アサダ、ヤナギ属、クルミ属、イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科などが伴われる。草本花粉では、イネ科、カヤツリグサ科、ヨモギ属などが低率に出現する。試料7と試料5では、樹木花粉と草本花粉の占める割合



第16図 駒首瀉遺跡の花粉・寄生虫卵



第 17 図 駒首瀧遺跡における花粉ダイアグラム



が同程度である。樹木花粉ではスギが増加し、コナラ属コナラ亜属などは減少している。草本花粉ではイネ科、カヤツリグサ科が増加している。試料3ではハンノキ属が増加している。試料1では、樹木花粉より草本花粉の占める割合が高い。草本花粉ではイネ科（イネ属型を含む）が卓越し、カヤツリグサ科などが伴われる。なお、試料7では鞭虫卵が少量検出された。

4区中央地点 試料2'では、樹木花粉と草本花粉の占める割合が同程度である。樹木花粉ではスギ、ハンノキ属が優勢で、コナラ属コナラ亜属、ヤナギ属などが伴われる。草本花粉では、イネ科、カヤツリグサ科が優勢で、ガマ属ーミクリ属、ヨモギ属などが伴われる。

4区南地点 試料1では、樹木花粉の占める割合が高い。樹木花粉ではハンノキ属が卓越し、スギ、ブドウ属、コナラ属コナラ亜属などが伴われる。また、樹木・草本花粉のクワ科ーイラクサ科、ニワトコ属ーガマズミ属、草本花粉のカヤツリグサ科、イネ科、ヨモギ属などが低率に出現する。

SK301 下位の試料6では、樹木花粉の占める割合が高い。樹木花粉では、ハンノキ属、コナラ属コナラ亜属が優勢で、クルミ属、エノキ属ームクノキ、ヤナギ属、スギ、マツ属複維管束亜属などが伴われる。草本花粉では、イネ科、カヤツリグサ科、ヨモギ属などが低率に出現する。試料5では、ハンノキ属、スギ、マツ属複維管束亜属が増加し、クルミ属、エノキ属ームクノキは減少している。試料2では、樹木花粉ではハンノキ属が卓越し、草本花粉ではカヤツリグサ科、ヨモギ属が優勢である。

SK941 覆土 試料4では、花粉密度が低く、樹木花粉、草本花粉、シダ植物胞子の占める割合が同程度である。樹木花粉ではハンノキ属が卓越し、クリなどが伴われる。草本花粉ではヨモギ属、イネ科、カヤツリグサ科が優勢で、樹木・草本花粉のクワ科ーイラクサ科なども認められる。

### 4) 花粉分析から推定される植生と環境

SK301で1580 ± 40年BP（暦年代はAD420～540年）の年代値が得られた層準および旧河川（2f区）の最下層の堆積当時は、周囲にハンノキの湿地林をはじめ、ヤナギ属、クルミ属などの河辺林が分布していたと考えられ、遺跡周辺にはナラ類（コナラ属コナラ亜属）、ブナ属などの落葉広葉樹林、およびスギ林などが分布していたと推定される。また、森林の縁辺部などにはイネ科、カヤツリグサ科、ヨモギ属などの草本類が生育していたと考えられる。

旧河川（2f区）で1120 ± 40年BP（暦年代はAD890～980年）の年代値が得られた層準および各地点の9～10世紀の遺物包含層の堆積当時は、ハンノキの湿地林やナラ類などの落葉広葉樹林がやや減少し、イネ科、カヤツリグサ科などの草本類が増加したと推定される。また、遺跡周辺ではスギ林が増加したと考えられ、気候の湿潤化が示唆される。

その後、一時的にハンノキの湿地林が増加したと考えられるが、旧河川（2f区）の上位の粘土層の時期にはイネ科などの草本類が優勢になり、調査地点もしくはその近辺では稲作が行われていたと推定される。

## E 珪 藻 分 析

珪藻は、珪酸質の被殻を有する単細胞植物であり、海水域や淡水域などの水域をはじめ、湿った土壌、岩石、コケの表面にまで生息している。珪藻の各分類群は、塩分濃度、酸性度、流水性などの環境要因に応じて、それぞれ特定の生息場所を持っている。珪藻化石群集の組成は、当時の堆積環境を反映しており、水域を主とする古環境復原の指標として利用されている。

### 1) 試 料

分析試料は、旧河川（2f区）およびSK301の2地点から採取された計4点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

## 2) 方 法

以下の手順で、珪藻の抽出と同定を行った。

- ①試料から 1cm<sup>3</sup> を秤量
- ② 10 %過酸化水素水を加え、加温反応させながら 1 晩放置
- ③上澄みを捨て、細粒のコロイドと薬品を水洗 (5 ~ 6 回)
- ④残渣をマイクロピペットでカバーガラスに滴下して乾燥
- ⑤マウントメディアによって封入し、プレパラート作成
- ⑥検鏡・計数

検鏡は、生物顕微鏡によって 600 ~ 1500 倍行った。計数は珪藻被殻が 100 個体以上になるまで行い、少ない試料についてはプレパラート全面について精査を行った。

## 3) 結 果

### 分 類 群

出現した珪藻は、中～真塩性種 (汽-海水生種) 3 分類群、貧塩性種 (淡水生種) 103 分類群である。分析結果として、珪藻総数を基数とする百分率を算定したダイアグラムを第 18 図に示す。珪藻ダイアグラムにおける珪藻の生態性については Lowe (1974) や渡辺 (2005)、陸生珪藻については小杉 (1986)、環境指標種群の海水生種から汽水生種については小杉 (1988)、淡水生種については安藤 (1990) の記載を参照した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。

### 珪藻群集の特徴

旧河川 (2f 区) 最下層の試料 11 では、真・好止水性種、流水不定性種、陸生珪藻が同程度の割合を示し、真・好流水性種も低率に検出された。特に優占する種はなく、陸生珪藻の *Navicula confervacea*、真・好止水性種の *Gomphonema truncatum*、真・好流水性種の *Gomphonema parvulum* などが認められた。試料 7 では、珪藻密度が低いが、流水不定性種の *Amphora copulata*、沼沢湿地付着生環境指標種群の *Pinnularia viridis*、*Pinnularia gibba*、陸生珪藻の *Navicula mutica*、*Hantzschia amphioxys* が優勢で、中塩性種 (汽水生種) の *Navicula peregrina* なども検出された。試料 1 では、真・好止水性種の占める割合が高く、沼沢湿地付着生環境指標種群の *Tabellaria fenestrata-flocculosa*、*Eunotia minor*、*Gomphonema acuminatum* などが優勢である。また、真・好流水性種の *Gomphonema parvulum* なども検出された。

SK301 珪藻密度が低いが、真・好流水性種の占める割合が高く、中～下流性河川環境指標種群の *Achnanthes lanceolata*、*Cymbella minuta*、*Cymbella sinuata* が優勢で、沼沢湿地付着生環境指標種群の *Cocconeis placentula*、真・好流水性種の *Gomphonema clevei*、*Gomphonema parvulum* なども検出された。流水不定性種では、*Fragilaria capucina* を主に、*Gomphonema minutum* などが検出され、陸生珪藻の *Navicula mutica*、*Navicula contenta* も低率に認められた。

### 4) 珪藻分析から推定される堆積環境

旧河川 (2f 区) 最下層の堆積当時は、流水の影響がある沼沢地および湿潤な陸域などの多様な環境、もしくはこれらが繰り返される不安定な環境が推定される。1120 ± 40 年 BP (暦年代は AD890 ~ 980 年) の年代値が得られた層準では、水草が生育する不安定な浅水域から湿地および湿潤な陸域などの多様な環境が推定され、何らかの汽水の影響を受けていた可能性も考えられる。上位の粘土層では、流水の影響がある水草の生育する沼沢地の環境が推定される。

SK301 1580 ± 40 年 BP (暦年代は AD420 ~ 540 年) の年代値が得られた層準の上位層では、河川の流水域の



影響がある水草の生育する浅い止水域や湿地域の環境が推定される。

## F リン・カルシウム含量分析

土壌に含まれるリンやカルシウムの起源としては、土壌の母材、動物遺体、植物遺体などがある。また、遺跡の生活面や遺構内には遺体、排泄物、代謝物、食物残渣、燃料灰などに由来するリンやカルシウムが蓄積している。カルシウムは一般に水に溶解しやすいが、リンは土壌中の鉄やアルミニウムと強く結合して難溶性の化合物となるため、土壌中における保存性が高い [竹追 1993]。このようなリンやカルシウムの性質を利用して、墓状遺構などにおける生物遺体（人骨など）の確認、および生活面や遺構面の確認などが試みられている。

### 1) 試料

分析試料は、2d ② SK941 から採取された試料 1～試料 4 の 4 点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

### 2) 分析方法

エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置（日本電子（株）製、JSX3201）を用いて、元素の同定およびファンダメンタルパラメータ法（FP 法）による定量分析を行った。試料の処理法は次のとおりである。

- ①試料を絶乾（105℃・24時間）
- ②試料を粉碎して塩化ビニール製リング枠に入れ、圧力 15t/No.ナプレスして錠剤試料を作成
- ③測定時間 600 秒、照射径 20mm、電圧 30kV、試料室内真空の条件で測定

### 3) 分析結果

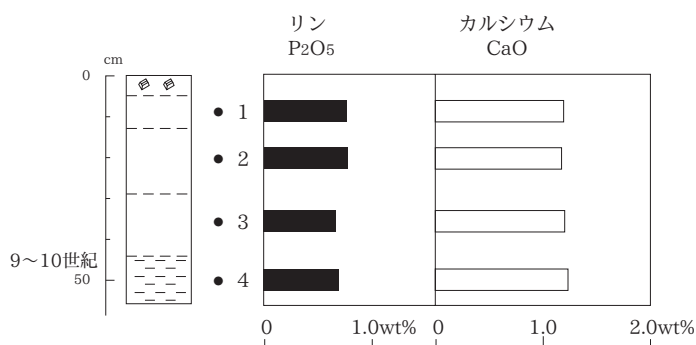
各元素の定量分析結果は割愛したが、リン酸（ $P_2O_5$ ）とカルシウム（CaO）の含量を第 20 図に示す。なお、各元素の定量分析結果は、埋蔵文化財センターにおいて保管している。

### 4) 考察

一般に未耕作地の土壌中におけるリン酸含量は 0.5 % 以下であり、耕作地でリン酸肥料が投入された場合は 1.0 % 程度である。農耕地では施肥による影響が大きく、目的とする試料の分析結果のみから遺構・遺物内における生物遺体の存在を確認するのは困難である。このため、比較試料（遺物・遺構外の試料）との対比を行う必要がある。

分析の結果、リン酸含量は 9～10 世紀とされる遺物包含層（試料 4）では 0.70 % であり、上位層（試料 1～3）の 0.67～0.78 % と比較して明瞭な差異は認められなかった。また、カルシウム含量は遺物包含層（試料 4）では 1.24 % であり、上位層（試料 1～3）の 1.18～1.21 % と比較して明瞭な差異は認められなかった。

以上の結果から、9～10 世紀とされる遺物包含層にリン酸やカルシウムを多く含む生物遺体が存在していた可能性は低いと考えられる。



第 20 図 駒首湯遺跡 SK941 におけるリン・カルシウム含量



## 第2節 動植物同定

### A 樹種同定

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質の特徴から樹種の同定が可能である。木材は花粉などの微化石と比較して移動性が小さいことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

#### 1) 試料

試料は、旧河川（2f区）から採取された木材2点、SK301から採取された流木1点、井戸や土坑から採取された炭化材53点である。いずれも平安時代前期（9世紀）に属するとされる遺構である。

#### 2) 方法

木材についてはカミソリを用いて、試料の新鮮な横断面（木口と同義）、放射断面（柎目）、接線断面（板目）の基本三断面の切片を作製し、生物顕微鏡によって40～1000倍で観察した。炭化材については、試料を割折して同様の基本三断面の切片を作製し、落射顕微鏡によって50～1000倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

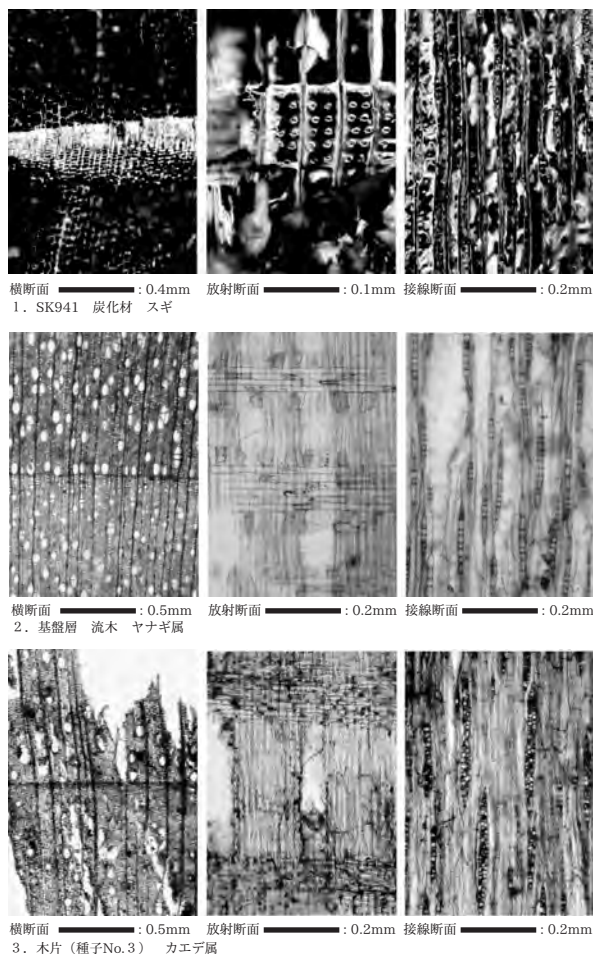
#### 3) 結果

第5表に結果を示し、主要な分類群の顕微鏡写真を示す（同定根拠となった特徴：省略）。

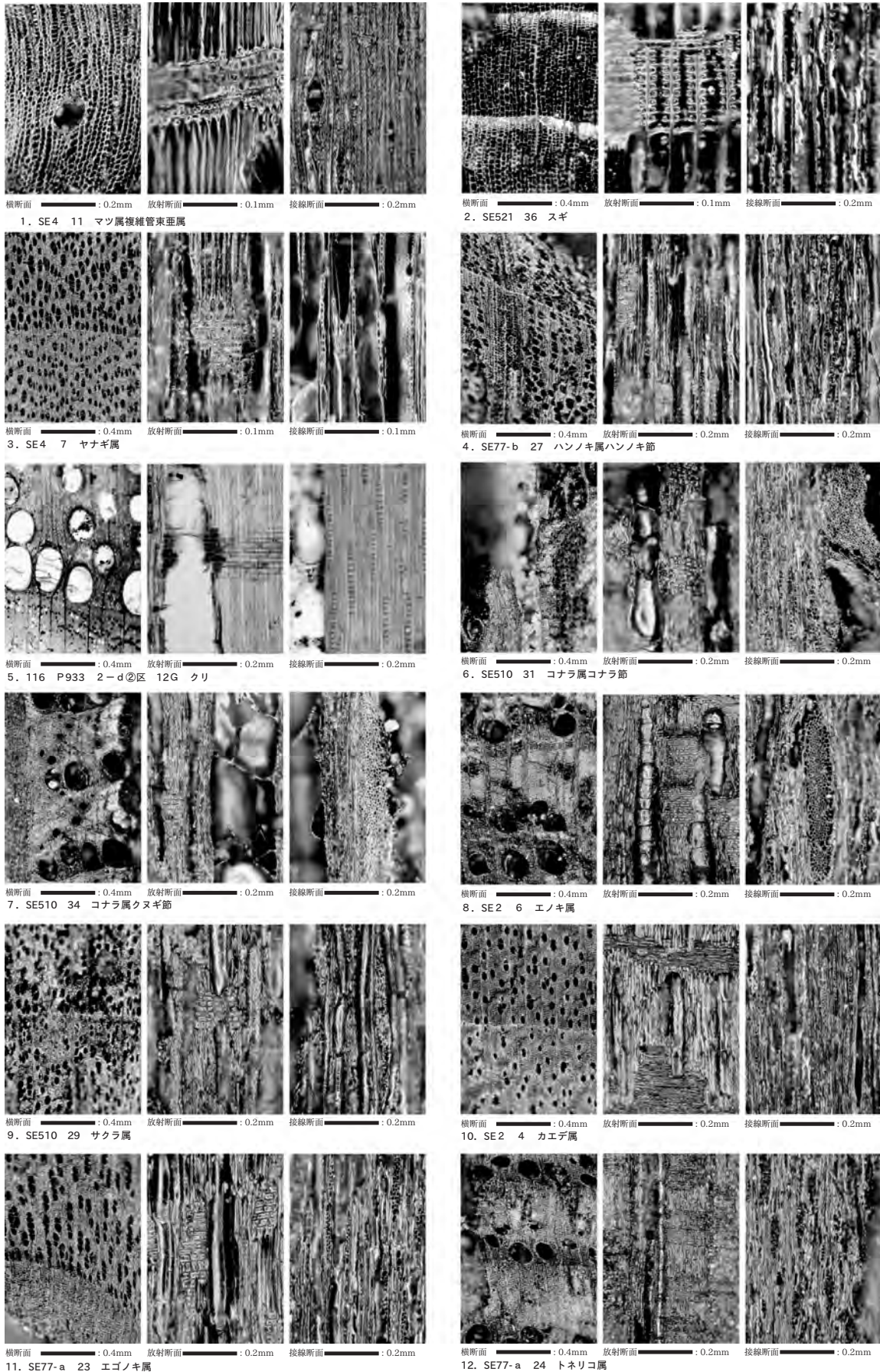
#### 4) 所見

樹種同定の結果、旧河川（2f区）から採取された木材はカエデ属と環孔材、SK301から採取された流木はヤナギと同定され、井戸や土坑の炭化材については、ハンノキ属ハンノキ節16点、トネリコ属13点、ヤナギ属4点、コナラ属コナラ節3点、エノキ属3点、マツ属複雑管束亜属2点、コナラ属クスギ節2点、ブナ科2点、サクラ属2点、カエデ属2点、エゴノキ属2点、スギ2点、広葉樹1点が同定された。

最も多く同定されたハンノキ属ハンノキ節やトネリコ属は、温帯を中心に広く分布する広葉樹であり、沢沿いなどの湿原や水湿のある低地に生育し、ときには湿地林を形成する。ヤナギ属、エゴノキ属も湿地や河辺などの水辺に生育する。コナラ属コナラ節は、ミズナラなどの冷温帯落葉広葉樹林の主要構成要素や暖温帯性のナラガシワ、二次林要素でもあるコナラなどが含まれる。コナラ属クスギ節にはクスギとアベマキがあり、乾燥した台地や丘陵地に生育し二次林要素でもある。エノキ属、サクラ属、カエデ属は谷間や斜面



第21図 駒首渦遺跡の木材及び炭化材 1



第 22 図 駒首潟遺跡の木材及び炭化材 2



第2節 動植物同定

第5表 駒首湯遺跡における樹種同定

遺構名	炭化材														
	マツ属 複雑管束型属	スギ	ヤナギ属	ハンノキ属 ハンノキ節	クリ	コナラ属 コナラ節	コナラ属 クヌギ節	ブナ科	エノキ属	サクラ属	カエデ属	エゴノキ属	トネリコ属	広葉樹	環孔材
旧河川下層											1				
旧河川最下層															1
SK301 基盤層			1												
SK941		1													
SE2				1		1			1		1		2		
SE4	1		1	1				1				1	1		
SE9			2	3				1					1		
SE77	1			4				1				1	2		
SE510				1		2	1			1	1				
SE521		1											2		
SK981				2											
SK982				2			1			1			3	1	
SK2031				1											
SE2050													1		
SK2140													1		
SE2357				1											
SE2563									1						

ブナ科は、クリ、シイ属、コナラ属コナラ節のいずれか

第6表 駒首湯遺跡における種実同定

分類群	樹木													草本																				
	コナラ属	ムクノキ	ヤマグワ	コブシ	スモモ	モモ	キイチゴ属	バラ科	イヌザンショウ	カラスザンショウ	サンシヨウ属	アカメガシワ	アオハダ	ブドウ属	サルナシ	エゴノキ	ニワトコ	イグサ科	イネ	エノコログサ属	アワ	オオムギ	ムギ類	イネ科	ホタルイ属	スゲ属	カヤツリグサ科	イボクサ	アサ	カナムグラ				
旧河川試料 7																																2		
旧河川試料 10																																	3	
旧河川試料 11																		34															1	
SE2			2	3				1	1	2		40		3		12			46	(?)2		1	2	39	12	2						146		
SE4	1		1		1	1						23		3	1	4			44		1	1	1	1	1	3	4					144		
SE9			1			1						13	1		1	5			16	161			1		4	5	7					368		
SE77			3							2		52		50		37	1		245	5		1	1	15	44	16						190		
SE510									1			115		1		11			52					1	2							12		
SE521					1							21				18			5				4	1	1					13		116		
SK981												6							94				2	4	2	2						2		
SK982												59							10				1	1	1	1								
SK2031																1			3		1			1								28		
SE2050												2																					4	
SK2140												4				9			54														1	
SE2357												2				1																4	3	
SE2563				1						1	1	41		1		3										1	8						46	

分類群	草本																							樹木	不明										
	イヌビエ属	イシミカワ	ミソバ	タデ属サナエタデ節	タデ属	ギシギシ属	アカザ属	ナデシコ科	コウホネ?	オニバス	ソラマメ属	ササゲ属	カタバミ属	ツリフネソウ	ノブドウ	ヒシ	セリ亜科	エゴマ	シソ属	イヌホオズキ	ナス	スズメウリ	キカラスウリ	ウリ類	ヒヨウタン類	メナモミ	オナモミ	キク亜科	ブドウ科	不明					
旧河川試料 7					1												4																		
旧河川試料 10					1												1																		
旧河川試料 11																																			
SE2				35	41		60				1						1	12		2	11		4	1	6					12	18				
SE4				405	94					7			1									1		1								5			
SE9		43	39	67	403	2				2		7		1	3	13	5			5										1	26				
SE77	2			106	261	25	143	1		65		2		11	1	1	576	48		25	1	51	13		221	2				68	1				
SE510				1	6																											1			
SE521			10	97	14		3										1	2									1					1			
SK981					5																1														
SK982					2																														
SK2031					6					83																	1								
SE2050					1																														
SK2140																2						1													
SE2357					186						1								2	1														2	
SE2563				1	4										2				3			1	1											3	

※イネ、アワ、オオムギ、ムギ類、イネ科果実、コウホネ?、ササゲ属、ヒシはすべて炭化

等に生育する。いずれも温帯ないし温帯下部の暖温帯に分布する広葉樹である。マツ属複雑管束亜属には、土壌条件の悪い岩山に生育し二次林を形成するアカマツと、砂地の海岸林を形成するクロマツとがある。スギは湿潤を好み、特に積雪地帯や多雨地帯で純林を形成する。どちらも温帯に広く分布する針葉樹である。

いずれも当時の遺跡周辺もしくは近隣の地域で採取可能な樹種であったと考えられる。

## B 種 実 同 定

植物の種子や果実は比較的強靱なものが多く、堆積物や遺構内に残存している場合がある。堆積物などから種実を検出し、その種類や構成を調べることで、過去の植生や栽培植物を明らかにすることができる。

### 1) 試 料

試料は、旧河川（2f区）の下位層から採取された3点の堆積物（試料7・10・11）と14遺構から採取された選別済み試料である。

### 2) 方 法

以下の手順で、種実の抽出と同定を行った。

①試料 500cm<sup>3</sup> に水を加えて泥化

②攪拌した後、0.25mm の篩で水洗選別

③双眼実体顕微鏡下で検鏡・計数

同定は形態的特徴および現生標本との対比で行い、結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示した。

### 3) 結 果

#### 分 類 群

学名、和名および粒数を第6表に示し、主要な分類群を写真に示す（同定根拠となる形態的特徴：省略）。

#### 4) 種実同定から推定される植生と環境

旧河川（2f区）の最下層の木本類遺体を含む緑色がかった灰色シルト層（試料11）では、イグサ科が多く検出され、カヤツリグサ科、タデ属も認められた。また、その上位の木本類遺体を含む灰褐色泥炭層（試料10）と暗灰褐色泥炭層（試料7）では、カヤツリグサ科、セリ亜科などが少量検出された。これらの分類群は、いずれも湿生植物から抽水植物にあたる水生植物である。各層準の堆積当時は、これらの草本類が生育する湿地から浅水域の沼沢地の環境であったと推定される。

井戸や土坑の試料からは、栽培植物、果樹、食用となる有用樹木、人里植物ないし畑作雑草、湿地ないし水田雑草、二次林種の樹木などが多様に検出された。

栽培植物としては、イネ、アワ、オオムギ、ムギ類、アサ、ササゲ属、エゴマ、ナス、ウリ類、ヒョウタン類があり、SE77-aではイネやエゴマがまとまって多量に検出された。畑作物が多様である特徴を示す。

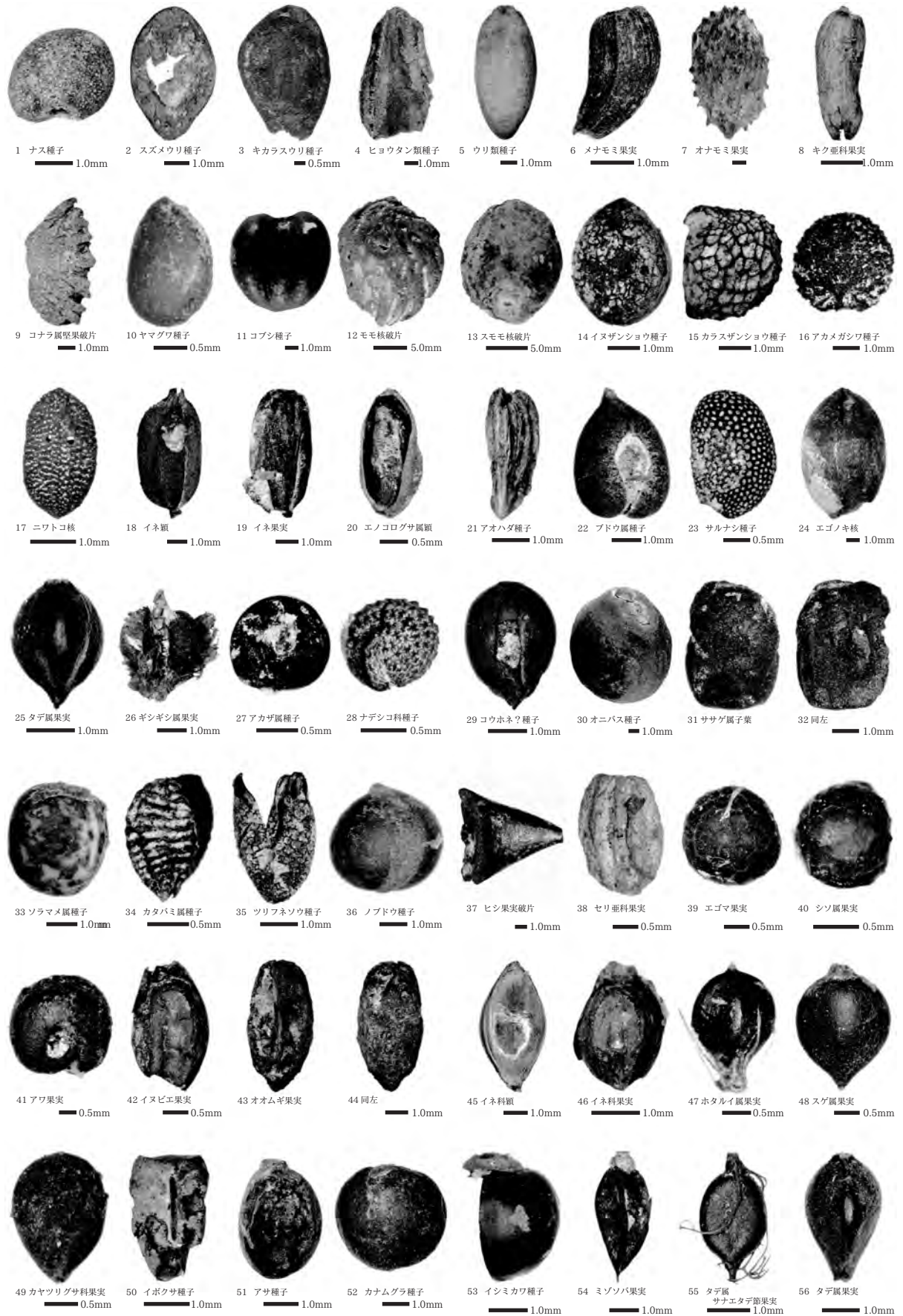
果樹ではモモ、スモモ、種実が食用になる有用植物ではムクノキ、



第23図 駒首湯遺跡の種実1



第2節 動植物同定



第 24 図 駒首渦遺跡の種実 2

ヤマグワ、キイチゴ属、ブドウ属、サルナシがある。

草本では、乾燥した人里や畑地に生育するエノコログサ属、イネ科、カナムグラ、イシミカワ、タデ属、アカザ属、ナデシコ科、ソラマメ属、カタバミ属、ノブドウ、シソ属、イヌホオズキ、スズメウリ、キカラスウリ、メナモミ、オナモミ、キク亜科があり、特に土手や放棄地に生育するカナムグラが各試料とも多く、エノコログサ属、タデ属、アカザ属が多い試料もある。湿地ないし水田雑草である草本としては、ホタルイ属、スゲ属、カヤツリグサ科、イボクサ、ミゾソバ、タデ属サナエタデ節、ギシギシ属、セリ亜科があり、スゲ属、タデ属サナエタデ節は多い。ツリフネソウは清水の水際に生育する。

二次林種ではイヌザンショウ、カラスザンショウ、サンショウ属、アカメガシワ、ニワトコがあり、アカメガシワは各試料ともに多い。また、エゴノキは水際に生育する樹木である。池沼に生育する浮葉植物のオニバスとヒシも認められた。これらは食用にもなる。

以上のように、イネをはじめ、畑作物であるアワ、オオムギ、ムギ類、アサ、ササゲ属、エゴマ、ナス、ウリ類、ヒョウタン類が多様に認められ、人里植物ないし畑作雑草の性格をもつカナムグラ、エノコログサ属、タデ属、アカザ属、湿地ないし水田雑草の性格をもつスゲ属、タデ属サナエタデ節、二次林種のアカメガシワなどが多いのが特徴的であり、集落の周囲に畑と水田が近接して分布していた状況が推定される。

## C 動物遺存体

日本の国土は、火山灰に由来する酸性土壌に広く覆われており、高温多湿という気候からも動物遺存体の保存状態には恵まれていない。このため、ほとんどの遺跡では動物性または植物性の遺物は分解されて残っていない。遺跡から出土する動物遺存体は、例外的に消失を免れて取りあげられたものである。このような資料の蓄積により、その遺跡で生活していた人々の食生活や動物利用を解明する手がかりとなり、当時の自然環境やそれに適応しようとする人間の歴史を明らかにすることができる。

### 1) 試料

試料は、平安時代前期（9世紀後半）とされる遺構（SE2・77-b、SK981・2031）から採取された25点の動物遺存体である。試料の詳細を分析結果表に示す。

### 2) 方法

試料を肉眼および双眼実体顕微鏡で観察し、形態的特徴および現生骨格標本との対比により同定を行った。

### 3) 結果および考察

観察の結果、いずれの試料も火熱を受けて破損が著しく、同定が困難な状態であった。なお、白色化した骨の破片を観察すると、破碎してから火を受けて変形した痕跡を持つものがみられる。このことから、破片の状態で焼かれた骨が、井戸や土坑などの遺構に廃棄された可能性が考えられる。

第7表 駒首瀧遺跡出土の動物遺存体

No.	シール番号	種別 code	No.	シール番号	種別 code	No.	シール番号	種別 code
1	SK981,39c	不明	10	SK2031,50C	不明	19	SK2031,50C	不明
2	SK981,40c	不明	11	SK2031,50C	不明	20	SK2031,50C	不明
3	SE77b,26C	不明	12	SK2031,50C	不明	21	SK2031,50C	不明
4	SE77b,27C	不明	13	SK2031,50C	不明	22	SK2031,50C	不明
5	SE2,4C	不明	14	SK2031,50C	不明	23	SK2031,50C	不明
6	SK2031,50C	不明	15	SK2031,50C	不明	24	SK2031,50C	不明
7	SK2031,50C	不明	16	SK2031,50C	不明	25	SK2031,50C	不明
8	SK2031,50C	不明	17	SK2031,50C	不明			
9	SK2031,50C	不明	18	SK2031,50C	不明			

# 第Ⅶ章 総 括

## 第 1 節 駒首瀉遺跡の集落構成

新潟県内における古代集落の研究は、坂井秀弥氏〔坂井 1984・1989・1996a・1996b〕や川村浩司氏〔川村 1989〕、春日真実氏〔1995a〕などによって調査資料に基づく詳細な検討がなされ、また近年では木簡や墨書土器などの文字資料も加わり、新たな研究段階を迎えつつある。本項ではこれらの論考を踏まえつつ、駒首瀉遺跡における 24 棟の掘立柱建物と関連する溝を題材に、集落の構成について考えてみたい。

### A 掘立柱建物の種類とその構造

本項では、掘立柱建物の基礎部分に関する情報から造営技術の特徴や建物の特性について検討し、建物個々の属性認識の共有化を図ることを目的とする。その検討作業にあたっては、掘立柱建物の形式区分ならびに建物の平面形式と規模・柱間寸法などに着目して類型化を図る。

#### 1) 建物の形式区分

掘立柱建物の柱穴配置をもとに床のあり方の違いに着目すると、側柱建物、総柱建物、床束建物に大別される。側柱建物は、外回りのみに柱穴が配置され、身舎内部に柱穴を伴わない建物を指す。通有の建物で、廂が取り付くものもある。SB3001～3008・3012・3013・3015・SB3017～3024 の 19 棟。

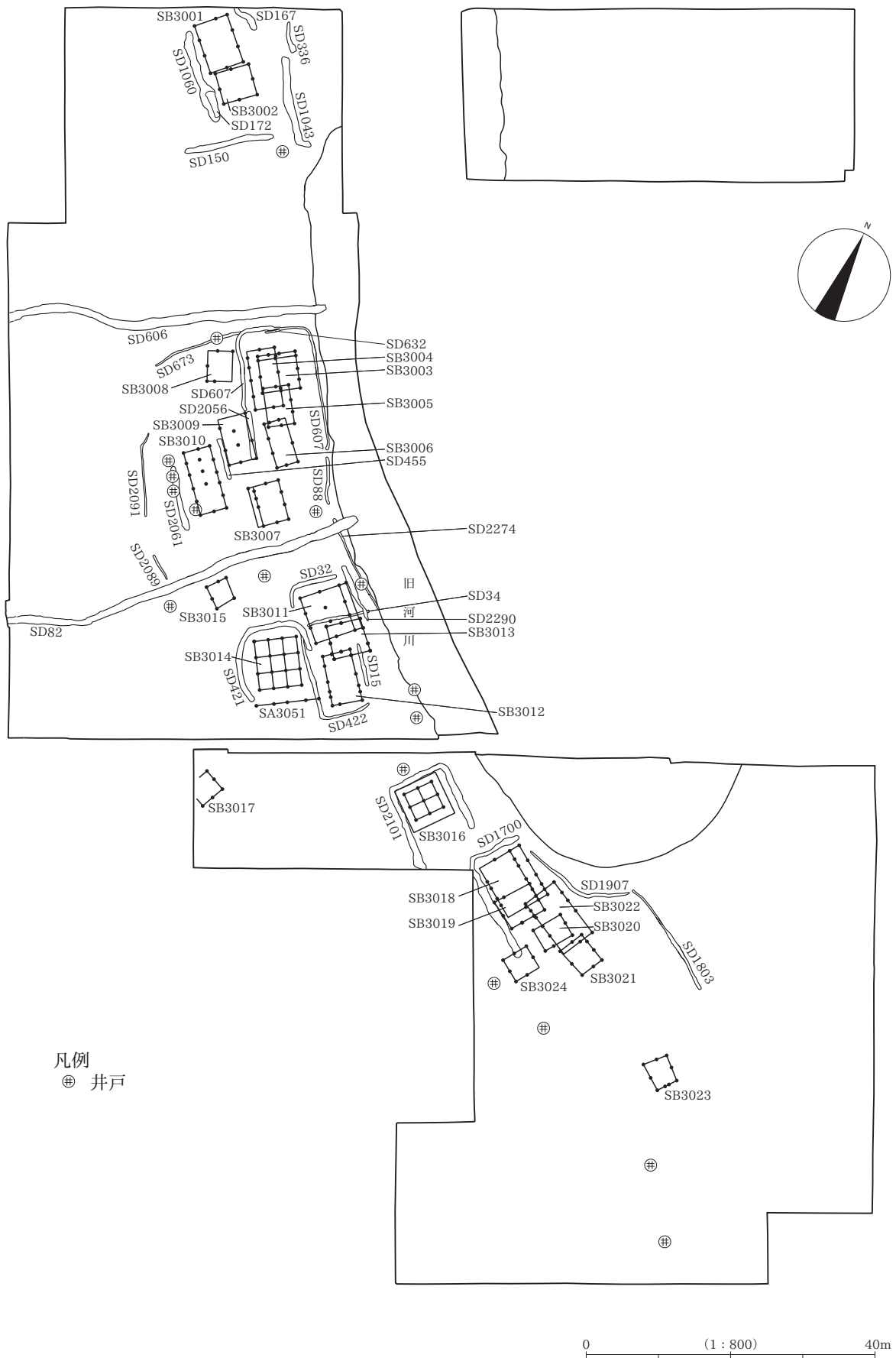
総柱建物は、身舎内部にも碁盤目状に柱穴が配置され、外回りの柱穴と内部の柱穴との差はなく、一般的には高床倉庫と考えられ、顕穀収納などの重荷にも耐えうる堅固な構造の建物とみられる。SB3014 の 1 棟のみ。

床束建物は、建物内部の柱穴が外回りの柱穴より総じて小さい建物を指し、床板、根太受けの大引きを支える柱と推定される。内部の柱穴を床束、床束を伴う建物を床束建物と称し、この建物にも無廂と廂付建物がある。床束建物の床は、総柱建物に伴うような高床ではなく、低い床であったと考えられている。この低層の高床説と、建物内部を複数の室に仕切ることを目的とする間仕切説が知られるが、通常的生活などに対応した構造の建物とみられる。一般的には側柱建物よりもやや格式のある建物と考えられる。SB3009～3011・SB3016 の 4 棟。

#### 2) 建物の平面形式

最初に、建物の中で最も多い側柱建物の桁行・梁行の間数や柱配置などの建物の平面形式について検討する。平面では建物規模の大小に関わらず、梁行を 2 間とする例が通例であるが、例外的に身舎梁行を 3 間とする例が 2 棟 (SB3012・3022) 存在する。以下、桁行と梁行の間数についてみると、2 間×2 間が 9 棟と最も多く、次いで 3 間×2 間が 6 棟、以下、4 間×2 間、5 間×2 間、5 間×3 間、5 ないし 6 間×3 間が各々 1 棟となる。

本遺跡では全体の占める割合としては、2 間×2 間ないしは 3 間×2 間の側柱建物が 80 % 近くにも及んでおり、両者が最も一般的な平面形式であったと考えられる。新潟県内における掘立柱建物の平面形式を集成・検討した川村浩司氏〔川村 1989〕や北陸地方を対象とした田島明人氏〔田島 1983〕の検討においても桁行 3 間・梁行 2 間の建物が普遍的にみられる点では概ね共通する。一方、桁行 4 間以上の側柱建物も 4 棟みられ、構成率としては全体の 21 % ほどにとどまるが、桁行 5 間以上の大形の部類の側柱建物も存在する。仮に豪族住宅や富豪層などの建物群構成の中でみると、主屋などのごく一部に採用された建物群と考えることもでき、前



第 25 図 遺構全体模式図



者の桁行3間以下の建物群は納屋などの雑舎群とみることもできよう〔山中2007〕。また、身舎梁行の柱間数は、既述したように2間の例が大多数(約90%)を占めるが、梁行3間としている例も2棟(SB3012・3022)存在している。SB3012は桁行5間、SB3022は桁行6間と考えられ、いずれも大型の部類に属しており、建物の屋内空間を広くとった平面形式であったと考えられる。また、大形の側柱建物の存在は遺跡の性格を考える上で注目されよう。

ここで廂付建物についてみると、無廂建物と廂付建物の割合は、無廂建物84.2%に対して廂付建物は15.8%で、廂付建物は限られた存在であった。なお、床束建物の場合(SB3009～3011・3016)では、無廂・廂付建物がそれぞれ半々ずつで、側柱建物に比べて高い割合を示している。側柱建物の廂は、平側片面だけに付く片廂建物であり、SB3003・SB3007・SB3018の3棟で確認された。SB3003・SB3007は桁行3間、SB3018は桁行5間と考えられる大形の建物である。廂の柱配置はいずれも不揃いで、身舎の柱筋と良好な対応関係を示すものは少ない。本例の場合、屋内空間を広げる廂とは異なった、縁束、軒支柱、棚などにあたる柱列の可能性が高いと考えられる。一方、床束建物で、唯一の四面廂付建物であるSB3016は、入側柱と側柱とがほぼ対置する平面形式のもので、前者の平側片面だけに廂が取り付く片廂建物とは構造が異なっていたものと考えられる。しかし、廂の規模は小さく、入側柱に比べて小規模な点であることから身舎とは一体的な構造ではなく、裳階風の別屋根や軒支柱を検討する必要があるだろう。

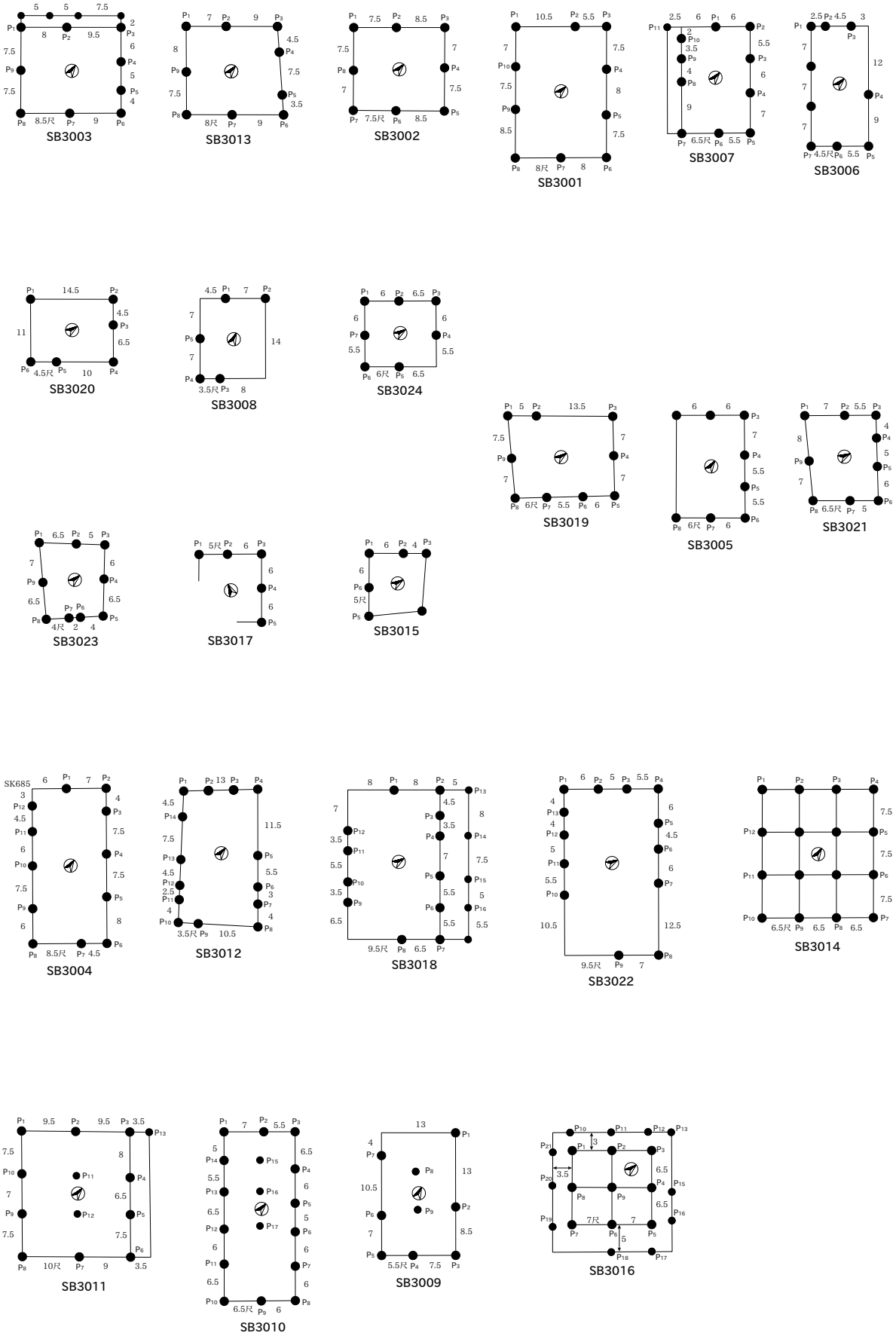
廂の有無によって建物の格式を推定しうる場合があるが、二面廂が取り付く建物や本例のような片面廂付建物は、地方豪族居宅などでは主屋や主要な建物などに採用されていることが少なくない。また、SB3016のような小形の四面廂付建物は、おそらくは仏堂と考えられるが、その建物の建てられている場所や、周囲との関係を総合して判断する必要がある。仏教建築も当初から身舎・廂による空間構成をもっていたように、伝統的な技術や構造を取り入れた建物と、官衙に採用された建物との違いについても検討していく必要があるだろう。

次に総柱建物について検討すると、今次調査で検出された掘立柱建物は計24棟であるが、総柱建物はSB3014の1例のみで、建物総数24棟中、総柱建物は全体の4.2%に過ぎない。その平面形式は桁行・梁行3間で、郡衙の正倉に近似している。郡衙の倉の大半は高床式の倉庫で、桁行・梁行3間が39%、桁行4間・梁行3間が24%で、両者で60%以上を占めている。これに対して居宅の倉に最も多いのは桁行・梁行2間の建物で65%、次いで桁行3間・梁行2間の建物で23%と、この両者で90%近くを占めるといえる〔山中2007〕。また、集落においても同様、在地社会の中では桁行・梁行2間、桁行3間・梁行2間が倉の標準的な平面形式であったとみられる。SB3014は、在地社会には少ない郡衙の正倉に近い平面形式が採用されていたと考えるべきである。

最後に床束建物についてみると、桁行3間・梁行2間が2棟(SB3009・3011)、桁行・梁行2間が1棟(SB3016)、桁行5間・梁行2間が1棟(SB3010)で、建物全体に占める床束建物の割合は16.7%である。これらの中で廂を有する建物はSB3011とSB3014の2例で、前者は桁行3間・梁行2間の平側片廂付建物、後者は桁行・梁行2間の四面廂付建物である。これらの柱配置をみると、両妻柱列と両側柱列間を結んだ柱筋の交点上に配置されたもの(SB3011・3014)と、両妻柱列を結ぶ線上に配置されるもの(SB3009・3010)とがある。後者のSB3010は、桁行5間の建物で、床束が建物の半分に配置された側柱・床束併用の建物とみられる。床は、側柱建物の平地式の床とは異なり、低い高床式とみる場合が通例であるが、後者のやや変則的な位置に床束が配置された建物は建物内部を複数の室に仕切ることを目的とした床束と考えられ、本来の床束建物とは区別されよう。

### 3) 建物の平面規模と平面積

最初に平面規模でみると、側柱建物の最大はSB3022の桁行総長8.70m(29尺)、梁行総長4.95m(16.5尺)で、他に8mを超えるものはSB3004の1例のみで、桁行総長が10mを超えるような例はない。側柱建物はそ



第 26 図 掘立柱建物の分類 (1/300)

の多くが桁行総長 6m 未満までの範囲に集中する。これらの建物は側柱建物の 80 % 近くを占める桁行・梁行 2 間ないしは桁行 3 間・梁行 2 間の平面形式の建物である。一方、床東建物では、特殊例の SB3016 を除くと、桁行総長で 6m 未満のものではなく、最大は SB3010 の桁行総長 8.85m (29.5 尺) で、平面規模では最大の建物である。床東建物は総体として側柱建物より大形の傾向を示しており、その格式の高さを裏付けている。平面形式にみられる特徴と関連しており、大形の掘立柱建物の存在は平面形式に関わらず遺跡の性格を考える上で注目される。

総柱建物は 1 棟のみであるが、平面規模は桁行総長 6.75m (22.5 尺)、梁行総長 5.85m (19.5 尺) を有する。郡衙正倉にみられる桁行・梁行 3 間の平面形式の倉と共通しているが、高床式の倉は 1 例に過ぎず、郡衙正倉の配置とは異なっている。また、桁行・梁行 3 間の倉は通有の集落では特異な例であろう。次に建物の平面積でみると、側柱建物の最大は SB3022 の 43.07m<sup>2</sup> で、次いで桁行総長で 8m を超える SB3004 が 31.59m<sup>2</sup> となる。桁行総長 6m 未満の側柱建物は、いずれも 24m<sup>2</sup> 未満で、平均値では 17.2 m<sup>2</sup> となり、この範囲に全体の 7 割以上が集中している。これに対して、桁行総長 6m 以上の側柱建物 6 棟での平均値は 32.1m<sup>2</sup> となり、同じ側柱建物でも平面形式や柱間寸法によって格差が見出せる。一方、床東建物では、特殊例の SB3016 を除くと 25m<sup>2</sup> 未満の床東建物はなく、3 棟の平均値では 30m<sup>2</sup> を超える結果となり、側柱建物との顕著な差を見出すことができる。総柱建物では 39.49m<sup>2</sup> を測り、この平面積は郡衙正倉の典型的な平面形式と対応している [山中 2007]。また、居宅では 30m<sup>2</sup> 以下の倉が 96 % を占め、官衙関連では 92 %、その他官衙では 67 % を占めるといふ。さらに、居宅では 10 ~ 15m<sup>2</sup> の平面積に占める割合が 40 % に達し、集落でも 10 ~ 20m<sup>2</sup> の範囲に高い割合を示す [山中 2007]。SB3014 は郡衙の正倉と比較しても見劣りしない倉であるといえよう。

#### 4) 建物の柱間寸法

柱間寸法は、掘立柱建物の造営技術を探る上で重要な情報となる。以下、それぞれの建物について検討する。

掘立柱建物の調査では、その調査指針として柱痕跡や柱材、柱抜き取り痕跡などを手がかりとして、各柱間の実数値を把握するとともに、手がかりがない場合には桁行・梁行の総長を桁行・梁行で割って平均値を出すなどして柱間寸法を求めることとした。その結果、多少のばらつきはあるものの、建物を施工した際の基準尺は概ね天平尺 (1 尺 = 297mm) であったと考えられる。総体としては完数値に取まると思われるが、整数に 1/2 を加えたものや桁行・梁行総長を等分するなどして柱間寸法を求めたものもあり、必ずしも一定ではない。既述のごとく、小規模な建物では柱痕跡や柱抜き取り痕跡が確認できないこともあり、この場合は桁行・梁行総長をまず求めて柱間数で割り、柱間寸法は概略数値とした。しかしながら柱間寸法のばらつきは、24 棟の掘立柱建物が画一的な柱間寸法で造営されたのではなく、各建物の機能や用途に応じて設計・造営された結果であったと考えられる。

それぞれの柱間寸法を総体として比較すると、最小単位は 0.75m (2.5 尺) もしくは 0.90m (3 尺) とみられ、最大では 3.00m (10 尺) に及ぶものもあった。平均的な柱間寸法は、1.50m (5 尺)、1.65m (5.5 尺)、1.80m (6 尺)、1.95m (6.5 尺)、2.10m (7 尺)、2.25m (7.5 尺) までのものが多く、2.40m (8 尺) 以上のものは概して少なかった。また、同一の建物においても柱間寸法に長短やばらつきがみられることは、郡衙遺構などのある程度、計画的に造営された建物群との大きな相違と考えられる。しかし、総柱建物や床東建物などの特定の建物でみると、桁行・梁行とも規格性に富んだ平面形式と構造であり、基本的には建物の使用目的や機能などによって柱間寸法の違いが見出せるものと考えられる。また、柱間寸法の規格性は、等間、不等間の割合の差にも現れているとみられる。

## B 集落の変遷

本項では、駒首潟遺跡で検出された 24 棟の掘立柱建物と関連する溝並びに出土遺物を題材として、相対年代

に基づく掘立柱建物の変遷過程を明らかにしていきたい。

掘立柱建物群はその分布状況から、北側で検出された建物群（SB3001・3002）と、中央地区の建物群（SB3003～3015）、そして南東側の建物群（SB3016～3024）に分けられる。以下、これらの建物群を便宜的に北、中央、南東の3ブロックに大別して検討する。

### 1) 時期区分の前提条件

相対年代に基づく時期区分の前提条件としては、掘立柱建物との新旧関係、その付帯施設と考えられる区画溝との新旧関係、並びに両者間の組み合わせ、そして出土土器の年代観より判断した。また、遺構間の重複関係や遺物が出土していない掘立柱建物に関しては、建物相互の配置より帰属時期を推定することとした。なお、出土土器による掘立柱建物の年代観についてはある程度の参考年代であるが、柱掘方の埋土内出土の土器をもってその上限年代（構築年代）とし、区画溝については覆土下層出土の土器をもって下限年代（埋没年代）とした。

以下、時期区分の前提条件となるそれぞれブロックの掘立柱建物と関連する区画溝について検討する。なお、出土土器の時期区分については、春日編年[春日1997a・1997b・1999など]を基本としたことを明記しておく。

#### 〔北ブロック〕

北ブロックは、SB3001・SB3002の2棟が該当するが、その範囲は北西方向に延びることが予想される。両者は、建物を構成する柱掘方の重複関係からSB3001→SB3002の変遷が確認され、土器の年代観からSB3001が概ねⅤ期、SB3002がⅥ期と考えられる。溝との関連ではSD167・SD1060がSB3001の周囲に配された区画溝の一部と目され、南東に開く「コ」の字状の形式と推定される。一方、SD172はSB3002の西妻柱列側を区画する溝とみられる。また、SB3002の南東側に位置するSD150は、SB3001・SB3002とほぼ併行関係にあることから北ブロックを区画する施設とみられる。SD172が概ねⅥ期、SD150・SD1060がⅥ1期の年代観が与えられ、建物の年代観とも一致する。加えて、北ブロック内で確認されたテラス状遺構やSD150の南東側に広がる空地などもSB3001・SB3002の性格を考える上で極めて重要な空間と考えられる。

#### 〔中央ブロック〕

中央ブロックは、調査区中央を東西に走る大溝（SD82）を境に中央南と中央北のブロックに分けて検討する。北ブロックの境界ともなるSD606からは概ねⅥ1期、南側のSD82からはⅥ2～3期の土器が他よりも多量に出土している。両溝は、出土土器の年代観において明らかな差がみられることから、中央ブロックの形成過程に影響を与えたと考えられる。

中央北ブロックの建物は、SB3003～SB3010の8棟からなる建物群である。SB3003～SB3006まではそれぞれの建物と重複関係にあるが、直接的な切り合い関係が確認されていないため先後関係は不明である。しかし、出土土器からはSB3006・SB3007が概ねⅤ期、SB3003・SB3004がⅥ期、SB3005がⅥ1期、SB3009・SB3010がⅥ2～3期という年代観が得られている。区画溝の土器では、SD607・SD2056が概ねⅥ1期、SD455・SD2061がⅥ2～3期の年代観が与えられている。

建物と区画溝との組み合わせでみると、SB3003～SB3006の4棟は南東に口を開く「コ」の字状の区画溝SD607と、それと連結するSD2056の中に収まるが、個々の建物は区画溝の規模とは必ずしも一致していない。SD607は、これら区画内の建物のうち、重複しない複数棟の建物を区画するための施設とみるのが妥当と思われる。両者の先後関係を明らかにすることは難しいが、溝と建物との配置関係をみると、SB3003はSD607の中心に収まり、SB3004は溝の片側に寄っている。また、建物の配置関係では、SB3004とSB3006はほぼ南東側柱筋を揃えて直列に配置されている。これらの事象を重視すると、SB3004→SB3003の関係が窺える。SB3008に関しては、SD607の区画外であるが、SD607を意識した配置とも考えられることから両者の関係が推定される。SD455・SD2061は、SB3010の桁行両平側に沿って配置された溝と考えられる。加えて、





判断すると、Ⅵ期の中で変遷していたものと考えられる。遺構間の重複関係をみると、SB3018の区画溝SD1700と、SB3019、SB3024はそれぞれ先後関係にあり、SB3024→SB3018→SB3019という変遷が捉えられる。また、重複関係にあるが、先後関係の認められないSB3020・SB3021・SB3022に関しては、建物配置からSB3022とSB3024、SB3018とSB3020、SB3019とSB3021の並存が推定される。区画溝との関連では、SB3016とSD2101、SB3018とSD1700の関係が理解される。前者の四面廂付建物は「コ」の字状の区画施設内の奥に収まっている。南東側に開く開口付近にも建物を想定し、双堂形式の仏堂を念頭において調査にあたったが建物を検出するまでには至らなかった。後者は、「L」字状の区画溝で、SB3018よりもやや長いことから複数棟の建物を区画するための施設であったと推定される。溝出土の土器ではSD2101がⅥ2～3期、SD1700がⅥ1期の年代観が与えられる。これらを整理すると、SB3022・SB3024→SB3018・SB3020→SB3019・SB3021→SB3016という建物の変遷が捉えられる。

以上の前提条件のもとに示したものが第27図の建物変遷図である。記載にあたっては遺構間の新旧関係は矢印(古→新)で示し、同時期もしくは同時併存の可能性のあるものは縦線(∥)で表記し、継続するものは点線(…)で表した。概ね3ブロックとも建て替えや重複が認められ、ある一定期間存続していたことが確認された。また、建物の平面形式や規模などによって空間領域に違いがあったことも明らかとなった。主要部分は大形側柱建物や床束建物を中心とする建物配置であったこと、複数棟の建物が直列型・雁行型・L字型・並列型などと意図的な配置をなしていたこと、一方で収納空間や宗教施設は分離・独立していたこと。そして、それぞれのブロックに空閑地をもっていたことなどであった。

便宜的に3ブロックに分けて説明したが、これらはいわゆる集落の空間領域を構成していたものと考えられる。今回は検討の対象から外したが、建物や溝の他に、井戸や貯蔵施設、廃棄土坑、工房、畑地などを伴っていたと考えられる。本遺跡は空間領域の中で両者が一体的に配置された例といえよう。

## C 集落の構成

本項では上述までの検討成果を踏まえて、駒首渦遺跡の集落構成についてまとめてみたい。

各ブロックの建物群の検討によって、それぞれがある一定期間存続していたことが確認され、また空間領域に違いがあったことも明らかとなった。集落の主要部分は大形の側柱建物や床束建物を中心とする建物配置であり、それらは複数の建物によって直列型や雁行型、あるいは両者の組み合わせによりL字型や並列型などの意図的な建物配置であったことも判明した。また、倉庫や仏堂などの収納空間や宗教施設は、前者の建物群と区別される傾向にあるが、隔てられた施設ではなく、各ブロックは一体的に配置されていたとみることができる。

駒首渦遺跡は、いわゆる古代の集落であるが、新潟県内の古代集落については春日真実氏によって類型化され、検討されている[春日1995a]。この論考によれば、本遺跡は概ねE類に分類される。1～3棟の掘立柱建物が小群をなして散在し、比較的大形の建物が1棟単独で存在する集落で、領域内には井戸や土坑や畑を伴い、また大規模な建物を有する小群には倉庫が伴う場合もあり、9世紀の前半が出現の目安とされる。これらの背景には自立した有力農民層の出現や富豪層の台頭が挙げられるが、本遺跡の場合も建物小群と呼ばれる単位がいくつか集まって構成されている点ではE類型に近い集落といえる。

古代の集落は、竪穴住居と掘立柱建物で構成されていることが通有であるが、ある規模以上の構成については建物の規模や構造、あるいは時代や地域性などによってもその姿は様々であり、それらは郡衙や官衙遺跡などを除くと、「官衙周辺の集落」、「公的の性格を有する集落」、「官衙的性格を帯びた施設」、「豪族居宅」、「富豪層の居住施設」、「村落首長層の居住施設」などと報告されてきた。前項までの検討でみてきたように、駒首渦遺跡の掘立柱建物群も建物小群と呼ばれる単位がいくつか集まって構成された集落であるが、その空間的構成をみると、居住・家政関係施設としての空間、収納施設としての空間、そして宗教施設を伴う空間とで構成さ

れた集落であったと考えられる。以下、前項の集落変遷をもとに、成立期、展開期、終焉期に分けて本遺跡の集落構成についてまとめてみたい。なお、3時期区分については、春日編年のV期、VI1期、VI2～3期に概ねあてた[春日1997a・1997b・1999<sub>など</sub>]。

まず、成立期の建物配置は、北ブロック（以下ブロックをBと略称）ではSB3001、中央北BではSB3006・SB3007、中央南BではSB3013を中心とする建物で構成されている。SB3006・SB3007は雁行型の配置をとり、SB3004を加えるとL字型の建物配置と推定される。SB3004・SB3007は規模・構造とも他の建物より卓越していることから、居宅・家政関係施設の中核となりうる主屋的な施設とみられ、また南西側の空地は中庭的な空間を想定することができる。北B内で確認されたテラス状遺構や中央北Bとの境に広がる空地は、船着場とその荷揚場に関わる作業領域と考えることもでき、北Bの性格を考える上でも重要な空間とみられる。この成立期の建物小群は主屋、作業空間、雑舎などで構成された建物群と考えられる。なお、厨房施設については不明であるが、竪穴住居を伴わないため井戸付近に関連遺構（小形の建物や土坑など）を想定したい。

展開期の建物配置は、北BではSB3002、中央北BではSB3003・SB3009もしくはSB3005・SB3009→SB3005・SB3010、中央南BではSB3011→SB3012→SB3014、南東BではSB3024→SB3018・SB3020・SB3023→SB3019・SB3021を中心とする3つの建物小群で構成され、その空間領域は調査区の全体に広がっていく。居宅・家政関係施設の中心は、大形の側柱建物や床東建物が確認された中央北Bであるが、成立期の建物配置とは空間的構成が異なっている。但し、中庭的な空間は維持されている。主屋に準じた規模・構造の建物を仮に副屋と仮称すると、中央南B、南東Bの建物小群がその空間領域を構成する施設であったと考えられる。一方、中央南Bは短期間のうちに収納施設としての空間領域に変わっていく。SB3014は単独の倉庫であるが、重荷にも耐えうる堅固な構造の総柱建物で、郡衙正倉にみられる規模や構造などと共通することから本遺跡の性格を考える上で倉のもつ意味は重要であろう。また、その周囲に配置された小形の建物も屋や納屋などの収納施設と思われる。この展開期の建物小群は、主屋、副屋、収納施設、雑舎などで構成される建物群と考えられ、調査区内の様相は規模が拡大していったことを示している。

終焉期の建物配置は、中央北BではSB3010、中央南BではSB3014・SB3015、南東BではSB3016を中心とする3つの建物小群で構成されているが、規模・構造とも衰退の道をたどっている。居宅・家政関係施設は展開期と同様に中央南Bに存在し、収納空間は中央北Bで存続していたと思われる。また、南東BのSB3016は小形の2間四面の廂付建物で、居宅内に配置された宗教施設と考えられる。居宅には隣接して仏堂や塔などに比定される小規模の仏教施設を伴う例があるが、SB3016に隣接する旧河川からは浄瓶もしくは水瓶、小瓶、鉄鉢などの供用具や仏典の文字を練習した習書木簡などが出土していることを重視すると、SB3016は仏堂や草堂などの宗教施設と考えるのが妥当であろう。この終焉期の建物小群も、主屋や副屋、収納施設、雑舎などで構成されているとみられるが、当該期には宗教施設も伴っていたと考えられる。

最後に集落の構成をまとめるにあたり、駒首瀉遺跡の性格付けと今後の課題について考えてみたい。

掘立柱建物の構造的特徴と集落の変遷を通して、集落を構成する諸施設の構成や機能について検討してきたが、遺構の特徴として、各期とも建物小群と呼んだ単位がいくつか集まって一体的に構成されていることがわかった。また、各ブロックの建物には建て替えが認められるが、存続期間が比較的短期間であったことも明らかにされた。駒首瀉の集落は、竪穴住居を中心に構成された集落とは明らかに異なり、遺跡の規模、建物の構成、建物の配置、その内容、出土遺物などを踏まえて考えると、「富豪層の出現」などを考えるべきであろう[戸田1967]。

今回踏み込んだ考察はできなかったが、主屋・副屋の構成員や実務的施設・厨房関係施設の問題、倉庫の収納物や経済活動の問題、居住者の階層性の問題などは常に着目すべき問題であり、これらの課題が明らかにされたとき、在地社会の実態に初めて迫ることができるものと考えられる。

## 第2節 文字資料

### A 墨書

#### 1) 出土地点および遺構

駒首瀧遺跡からは109点の墨書土器が出土した(第8表)。この内、遺構からの出土は47点、旧河川からの出土は44点、包含層出土は18点である。出土地点の全体的な傾向として、旧河川とその西側の遺構からの出土がほとんどで、畝状小溝が密集して検出された調査区南東部からは2点出土しただけである。

墨書土器が出土した遺構には、溝、土坑、井戸、掘立柱建物の柱穴などがあるが、調査区中ほどのSD82から6点、調査区北側のSD200とSD1216からそれぞれ3点、調査区北寄りのSD606とSK981からそれぞれ2点と複数出土している。旧河川では、大グリッド12H、12I、13I、14J、14Kからの出土がほとんどで、検出された旧河川の中ほどに集中する傾向がある(第28図)。

#### 2) 器種と墨書部位

墨書土器109点の内訳は、須恵器が90点(約82.6%)、土師器が19点(約17.4%)である。器種は、須恵器杯・杯蓋、土師器碗で、すべて食膳具である。

墨書部位は、須恵器無台杯82点では、底部外面67点(約81.7%)、体部外面10点(約12.2%)、その他5点(約6.1%)で、底部外面が大半であるが、体部外面への墨書も一定量見られる。長岡市(旧和島村)八幡林遺跡出土の須恵器杯の場合、それまで底部外面への墨書が圧倒的多数であったのに対して、IV期(9世紀中葉~末)になると体部外面への墨書も一定量確認されるようになり、この時期に須恵器杯の墨書部位に変化がみられる<sup>1)</sup>。これに対して土師器碗19点では、底部外面8点(約42.1%)、体部外面10点(約52.6%)、その他1点(約5.3%)で、底部外面が8割以上を占める須恵器無台杯とは異なる様相が見られる。このような須恵器と土師器における墨書部位の相違は、これまでに新潟県内から出土した墨書土器全体についての傾向と同じである<sup>2)</sup>。

#### 3) 文字種と出土地点

墨書土器109点の内、文字を判読できたのは94点(推定によるものを含む。以下に記す点数も同じ)である。27種に及ぶ文字が記され、中でも「大」(17点)、「十」(12点)、「久」(10点)、「善」(7点)、「足」「升」「柱卍」(各5点)、「山」(4点)、「三」「柱六十」(各3点)などは複数出土している。

文字種ごとの出土地点では次のような傾向が見られる。「大」「足」「山」は、すべてSD82付近より南側の調査区中ほどから出土した。「柱十」「柱卍」「柱六十」「柱口」「柱」など「柱」を含む文字が書かれたものが13点あるが、82以外はSD606より北側の調査区北部から出土した。このような出土地点がある程度まとまる文字種がある一方で、「十」「久」「善」「升」「三」は出土地点のまとまりがみられない。

#### 4) 主な文字(図版151~154)の検討

##### 「大」(1~17)

底部外面に記すものには、文字を大きく書くタイプ(約5cm四方)と小さく書くタイプ(約3cm四方)の2種類がある。1・5・8・10・14などが大きく書くタイプ、2・3・4・7などが小さく書くタイプである。大きく書くタイプでは「大」の終面を大きくはらう特徴がある。また、底部の内外両面に「大」と記すものが3点出土している(14・15・16)。いずれも外面は大きく書くタイプであるが内面は小さく書いている。「大」は事物の良好な状態を示す吉祥的な文字と考えられ、多くの遺跡から出土する文字種である<sup>3)</sup>。



第8表 駒首湯遺跡出土墨書土器

No.	種別	器種	部位・方向	出土地点	釈文	時期	備考
1	須恵器	無台杯	底外	旧河川 14J15	大	VI1	大振り、3画目大きく払う
2	須恵器	無台杯	底外	旧河川 13116	大	VI2~3	小振り
3	須恵器	無台杯	底外	旧河川 13119	大	VI1	小振り
4	須恵器	無台杯	底外	SD82	大		小振り
5	須恵器	無台杯	底外	SK2217	□〔大 <sub>ナ</sub> 〕	VI2~3	大振り、3画目大きく払う
6	須恵器	無台杯	底外	旧河川 14K17	大	VI2~3	
7	須恵器	無台杯	底外	15M	大	VI1	小振り
8	須恵器	無台杯	底外	旧河川 14K21	大	VI2~3	大振り、3画目大きく払う
9	須恵器	無台杯	底外	Pit72	□〔大 <sub>ナ</sub> 〕	VI2~3	3画目大きく払う
10	須恵器	無台杯	底外	16J21	□〔大 <sub>ナ</sub> 〕	VI1	大振り、3画目大きく払う
11	須恵器	無台杯	底外	SD15	大		
12	須恵器	無台杯	底内	旧河川 14J20	大	VI2~3	小振り
13	須恵器	無台杯	底内	SD422	□〔大 <sub>ナ</sub> 〕	VI	小振り
14	須恵器	無台杯	底外/底内	SK2289	大(底外)/大(底内)	VI2~3	外面大振り、内面小振り、内外面とも3画目大きく払う
15	須恵器	無台杯	底外/底内	旧河川 14J20	大(底外)/大(底内)	VI2~3	外面大振り、内面小振り、外面2・3画目大きく払う
16	須恵器	無台杯	底外/底内	15M	大(底外)/大(底内)	VI2~3	外面大振り、内面小振り、外面3画目大きく払う
17	須恵器	有台杯	底外	SK260	大	VI1	小振り
18	須恵器	無台杯	底外	SD458	久		
19	須恵器	無台杯	底外	旧河川 13112	久	VI2~3	
20	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12I21	久	VI2~3	
21	須恵器	無台杯	底外	SD82	□〔久 <sub>ナ</sub> 〕	VI2~3	
22	須恵器	無台杯	底外	Pit2673	久	VI2~3	
23	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12J25	久		
24	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12H10	久	VI2~3	
25	須恵器	無台杯	底外	旧河川 14J19	久	VI	
26	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12H9	久	V	
27	須恵器	有台杯	底外	旧河川 10G19	久	VI	内面に墨痕あり
28	須恵器	無台杯	底外	SD606	善		大振り
29	須恵器	無台杯	底外	9D11	□〔善 <sub>ナ</sub> 〕	VI	大振り
30	須恵器	無台杯	底外	15I25	善		小振り
31	須恵器	無台杯	底外	Pit2762	□〔善 <sub>ナ</sub> 〕	VI2~3	大振り
32	須恵器	無台杯	底外	SD1091	□〔善 <sub>ナ</sub> 〕	VI	大振り
33	土師器	碗	底外	旧河川 1318	善	VI	小振り、内面に墨痕あり
34	土師器	碗	底外	旧河川 1318	善	VI	小振り
35	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12H25	山	VI1	35~37は同じ字形
36	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12H25	山	VI1	35~37は同じ字形
37	須恵器	無台杯	底外	15F3	山	V	35~37は同じ字形
38	須恵器	有台杯	体外・正位	SD82	山		
39	須恵器	有台杯	底外	旧河川 13120	山村	V	山は35~37と同じ字形、体外に墨痕あり
40	須恵器	蓋	外面	旧河川 12H20	山村	V	山は35~37と同じ字形、内面に墨痕あり
41	須恵器	無台杯	底外	旧河川 14J13	□〔村 <sub>ナ</sub> 〕	VI2~3	
42	須恵器	無台杯	体外・倒位	旧河川 14J15	足	VI2~3	42~45は同じ字形、内面転用硯
43	須恵器	無台杯	体外・倒位	旧河川 14K21	足	VI2~3	42~45は同じ字形
44	須恵器	無台杯	体外・倒位	旧河川 14K21	足	VI2~3	42~45は同じ字形
45	須恵器	無台杯	体外・倒位	Pit255	足	VI2~3	42~45は同じ字形
46	須恵器	無台杯	底外	旧河川 2d	主	VI2~3	
47	土師器	碗	底外	SD82	王	VI	
48	須恵器	無台杯	体外・横位	SD1913	家	VI2~3	
49	須恵器	無台杯	底外	SD2101	孝	VI2~3	
50	須恵器	無台杯	底外	SD2061	千	VI	
51	須恵器	無台杯	底外	旧河川 1319	□	VI1	
52	須恵器	無台杯	底外	旧河川 1318	井	VI2~3	
53	須恵器	無台杯	底外	16L25	□	VI1	
54	須恵器	無台杯	体外・倒位	Pit2778	主	V	
55	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12H25	物	VI1	
56	土師器	碗	体外・正位	旧河川 1318	中	VI	
57	土師器	碗	体外・横位	SE510	虫	VI	
58	土師器	碗	底外	9E19	工	VI	
59	須恵器	無台杯	底外	旧河川 15M21	□		
60	須恵器	無台杯	底外	SB1-P2	三	V	
61	土師器	碗	底外	17J14	□〔三 <sub>ナ</sub> 〕	V~VI	
62	須恵器	無台杯	底外	旧河川 1318	井	VI2~3	
63	須恵器	無台杯	体外・倒位	旧河川 2f	井	VI2~3	
64	須恵器	無台杯	体外・横位	Pit288	井	VI2~3	
65	須恵器	無台杯	底外	SK1266	□〔井 <sub>ナ</sub> 〕	VI1	
66	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12I18	卍		
67	須恵器	無台杯	体外・横位	旧河川 13I13	富入	V	
68	土師器	碗	体外・正位	SK2500	□□〔物女 <sub>ナ</sub> 〕	VI	
69	土師器	碗	体外・正位	13G25	□□		
70	須恵器	蓋	外面	SD1216	□〔十 <sub>ナ</sub> 〕		内面転用硯
71	須恵器	無台杯	底外	SD606	柱十		
72	須恵器	無台杯	底外	2a区	柱□	V2	
73	須恵器	無台杯	底外	SD1216	柱冊		
74	須恵器	無台杯	底外	SD1216	柱冊	V2	
75	須恵器	無台杯	底外	SD200	柱冊		内面墨たまり
76	須恵器	無台杯	底外	SD150	柱冊	VI1	
77	須恵器	無台杯	底外	SD200	柱冊		
78	須恵器	無台杯	底外	9D	□〔柱 <sub>ナ</sub> 〕□	V	
79	須恵器	無台杯	底外	9C7	□卍	V	
80	須恵器	無台杯	底外	旧河川 10G2	柱六十	V	
81	須恵器	無台杯	底外	SD200	柱六十		
82	須恵器	無台杯	底外	18E	□〔柱 <sub>ナ</sub> 〕六□〔十 <sub>ナ</sub> 〕	V	
83	土師器	碗	底外	SD1218	柱	V	
84	須恵器	無台杯	体外・正位	SD820	十	VI2~3	
85	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12I21	十	VI1	
86	須恵器	無台杯	底外	18P12	十	VI1	
87	須恵器	無台杯	底外	旧河川 14J	十	V~VI1	
88	土師器	碗	体外・横位	SK981	十		底外刻書「十」
89	土師器	碗	体外・正位	SK981	十		底外刻書「十」
90	土師器	碗	体外・横位	SE1759	十	VI	底外刻書「十」
91	土師器	碗	体外・正位	旧河川 2f	十		底外刻書「十」
92	土師器	碗	体外	SK2139	□〔十 <sub>ナ</sub> 〕	VI	
93	土師器	碗	体外・正位	SD82	十		
94	土師器	碗	底外/体外	SD82	□〔底外〕/十〔体外〕	VI	
95	土師器	碗	底外	旧河川 13J22	□	V	
96	須恵器	無台杯	底外	16L22	□	VI	
97	須恵器	無台杯	底外	18E5	□	V	
98	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12H10	□		
99	須恵器	無台杯	底外	旧河川 1319	□		
100	須恵器	無台杯	底外	旧河川 12H10	□		
101	須恵器	無台杯	底外	カクニンE32T	□		
102	須恵器	無台杯	底外	旧河川 2d	□〔物 <sub>ナ</sub> 〕		
103	土師器	碗	底外	旧河川 1318	□〔足 <sub>ナ</sub> 〕		
104	須恵器	蓋	外面	SD697	三		内面転用硯
105	須恵器	無台杯	底外	SK1213	□〔柱 <sub>ナ</sub> 〕		
106	須恵器	蓋	外面	SD12	□		
107	須恵器	無台杯	底外	SE602	□		
108	須恵器	無台杯	底外	SE4	□		
109	須恵器	無台杯	底外	SK1059	□		



第28図 主な墨書土器の出土位置

「善」(28～34)

7点すべて底部外面に記され、「大」と同じように大小2種類がある。28・29・32が大きく書くタイプ、30・31・33・34が小さく書くタイプである。土師器碗の2点(33・34)は、ほとんど同じ大きさであり、字形も類似している。「善」も事物の良好な状態を示す吉祥的な文字と考えられる。県内では市内東区の山木戸遺跡で「善」、西蒲区の土手内遺跡で「善福」と書かれた墨書土器が出土している<sup>4)</sup>。

「山」(35～38)・「山村」(39・40)

4点出土した「山」のうち底部外面に記す35～37は、いずれも底部外面の上側に小さく記す。また、2画目の止めと3画目の入りを連続的に書いており、字形が類似している。この字形は2点出土した「山村」にも見られる。「山村」はウジ名を記している可能性があり、「山」は「山村」の省略かもしれない。ウジ名「山村」は左京、山背国などに分布している<sup>5)</sup>。

「足」(42～45・103)

103以外の4点は、いずれも須恵器無台杯の体部外面に倒位で書かれており、字形も類似している。「足」は第1号木簡に見られるウジ名「足羽臣」の省略とも考えられるが、「足」は比較的多くの遺跡から出土する文字種であり断定できない。

「柱+(数字)」(71～82)

「柱十」「柱卅」「柱六十」など「柱+(数字)」の書かれたものは、いずれも底部外面いっぱい大きな文字で記す。また、「柱」の隣の1画目の点は、いずれも右上から左下へ打つ。「柱」は神仏や高貴な人を数えるのに用いる語であり、「柱+(数字)」は“数多くの神仏”を意味しているのかもしれない。

「十」(70・84～94)

土師器碗の体部外面に「十」と記す88～94のうち、88～91には底部外面に「十」の刻書(ヘラ書き)もある。焼成前に刻書されたものを選んで、さらに墨書したのであろう。

その他

「富入」(67)は富の集積を意味する吉祥的な語句と考えられる。市内秋葉区の結七島遺跡でも「富□〔入カ〕」と記された墨書土器が出土している。「□□〔物女カ〕」(68)は女性の名前を記している可能性がある。県内出土の墨書土器で女性名を記すものとしては、市内西区の的場遺跡出土の「秋庭女」や阿賀野市腰廻遺跡出土の「飯女」、十日町市柳木田遺跡出土の「富女」などがある。

5) ま と め

駒首瀉遺跡出土の墨書土器では、「大」「足」「山」「柱+(数字)」など、文字種ごとに出土地点のまとまりがみられる点が注目される。墨書土器に記された文字については、主に官衙関連遺跡から出土する人名や職名・施設名などが記されたものは、土器の所有や所属を示し、集落遺跡などから出土する意味のよく通らない1～数文字が記されたものは、集団の標識的な文字であり、何らかの祭祀で使われたものと考えられている<sup>6)</sup>。しかし、駒首瀉遺跡から出土した「柱+(数字)」の墨書土器は、前述したように“数多くの神仏”を意味している可能性があり、集団の標識的な文字とは考えられない。むしろ祭祀の内容に関わる文字と考えられよう。そのような祭祀の内容に関わる墨書土器の出土地点がある程度まとまっていることは、特定の祭祀が一定の場所で行われていたことを示している。つまり、「大」「足」「山」などの墨書土器を用いた祭祀と、「柱+(数字)」の墨書

土器を用いた祭祀とでは、祭祀の内容が異なり、祭祀を行う場も異にしていたと考えられる。

## B 木 簡

駒首瀧遺跡からは3点の木簡が出土した。いずれも旧河川から出土し、出土地点は近接している。

### 第1号木簡（図版150-117）

[釈文と法量]

図中のとおり。

[形状]

現状では縦に3片に割れている。下端と左右辺は原状をとどめているが、上端は裏面から刃物を入れて切断されており欠損している。下端部が緩くカーブしていることから、何らかの木製品を転用したものと考えられる。

[内容]

表裏両面に文字が書かれているが、裏面は削られているため墨痕が薄く判読は困難である。表面は基本的に4行書きであるが、3行目と4行目の行間にも4文字書かれている。この行間の4文字は後から書かれた文字であり、他の文字よりひとまわり大きく書かれている。

「我」「衆」「佛」「道」「見」「是」などの文字を繰り返し記す習書木簡である。表面だけで81文字書かれている。県内ではこれまでに10点ほどの習書木簡が出土しているが、本木簡ほど多数の文字が書かれたものはない。書かれた文字の種類（「衆」「佛」「道」「是」など）から仏典をテキストとして習書した可能性がある。また、3行目には「足羽臣」の習書が見られる。

[考察]

3行目に書かれた「足羽臣」（＝阿須波臣）は、越前国足羽郡を本拠地とする地方豪族のウジ名である。越後国には沼垂郡に足羽郷があり（『和名類聚抄』）、城柵の設置に伴って越前国足羽郡から移住してきた柵戸に因む郷名と考えられている<sup>7)</sup>。また、長岡市（旧和島村）八幡林遺跡（古代には古志郡域）からは、「能等豊万呂」（能等＝能登、23号）や「足□□〔羽郡カ〕」（35号）と書かれた木簡が出土しており<sup>8)</sup>、城柵が設置された阿賀北より南の地域でも、越前国（能登国は養老2（718）年に越前国から分置）からの移住があったことが知られる。本木簡に記された「足羽臣」は、遺跡近辺における足羽臣の存在を示しており、遺跡の所在する蒲原郡にも越前国からの移住があったことが窺える。

### 第2号木簡（図版150-118）

[釈文と法量]

図中のとおり。

[形状]

左辺は原状をとどめるが、上下端および右辺は欠損している。

[内容]

表裏両面に文字が書かれている。裏面は表面と天地を逆にして文字が書かれているが、木簡の右辺が欠損しているため、文字の右半分が欠けており判読は困難である。表面は「大」の字を繰り返し記した習書木簡である。

### 第3号木簡（図版150-119）

[釈文と法量]

図中のとおり。



[形状]

上下端、左右辺とも原状をとどめている。上端は左側から削って尖らせている。厚さは左辺で12mm、右辺で5mmで、断面が不定形になっている。文字を書くために木を加工・成形したのではなく、何らかの部材に文字を書いたようである。また、木筒の中ほどで折れている。

[内容]

表裏両面に文字が書かれている。表面の下端付近と裏面の下半分は墨痕が極めて薄い。表面は上端付近が1行書きだが、途中から2行書きになっている。裏面は上端付近には文字が確認できず、途中から2行書きで記している。

「諸王臣資人」や「資」「領」などの文字を繰り返し書いていることから、習書木筒と考えられる。第1号木筒や第2号木筒とは異なり、「諸王臣資人」「大納言阿倍大夫殿」「次田連」のような語句が書かれていることから、文字の練習と言うよりも文章の練習（下書き）のようであり、資人に関する何らかの文書を作成する際の下書きと考えられる。

[考察]

(1)「諸王臣資人」について

本木筒に記される資人とは、律令制で位階と官職に応じて与えられる従者であり、五位以上の貴族に与えられる従者を位分資人、大臣・大納言に与えられる従者を職分資人といった。本主の位階と官職に応じて資人数に差があり、本木筒にみられる大納言の場合、その相当位正三位に対して与えられる位分資人の数は60人、官職に対して与えられる職分資人の数は100人である（軍防令49給帳内条）。資人は本主の警固や雑務に使役され、毎年3等の基準による考課（勤務評定）が行なわれ（考課令69考帳内条）、8年間の総合成績により叙位された（選叙令14叙舍人史生条）。

また、資人は課役を免除され（賦役令19舍人史生条）、白丁（無位無官の良民）が官職につくためのほとんど唯一の道であった（軍防令48帳内条）。そのため、資人の任用をめぐることは、激しい競望があったと考えられる。さらに、次に掲げる史料にみられるように、資人は王臣家の庇護のもと課役を忌避する手段としても利用された。

○『続日本紀』養老元（717）年5月丙辰条

丙辰、詔曰、率土百姓、浮浪四方、規避課役、遂仕王臣、或望資人、或求得度。王臣、不經本属、私自駈使、囑請国郡、遂成其志。因茲、流宕天下、不帰郷里。若有斯輩、輒私容止者、揆状科罪、並如律令。

律令政府は、畿外からの資人任用を禁止（『続日本紀』和銅3（710）年3月戊午条）したり、資人への叙位を制限（『続日本紀』和銅4年5月辛亥条）したりして、資人任用の規制を行うとともに、王臣家が浮浪人や地方有力者を資人とすることを禁止した（『続日本紀』養老元年5月丙辰条、天平神護元（765）年3月丙申条）。

これらの資人に関する諸法令からすれば、律令政府は資人任用者の厳密な把握・管理を行っていたと考えられる。

○徳島県徳島市観音寺遺跡出土勘籍木筒<sup>9)</sup>（第29図）

観音寺遺跡出土の勘籍木筒は、阿波国司が自国出身の資人についての勘籍（身元調査）の結果を報告した文書の下書きであり、律令政府による資人任用者の厳密な把握・管理が行われていたことが窺える。勘籍木筒は8世紀中頃の層から出土した。駒首瀉遺跡出土の第3号木筒は、前述のように資人に関する何らかの文書の下書きと考えられるが、このような資人の把握・管理に関わる文書の下書きの可能性もあろう。

ところで、養老令（軍防令 48 帳内条）によれば、越後国は、三関国（伊勢・美濃・越前）・大宰部内・陸奥・石城・石背・越中とともに、資人の任用が禁止されていた。これらの諸国は、軍事的に重要な地域であるため、資人の任用が禁止されたと考えられている<sup>10)</sup>。しかし、『続日本紀』神亀 5（728）年 3 月甲子条にみられる位分資人の任用禁止地域に越後国が入っていないことから、越後国からの資人任用は早い段階から行われていたと考えられる<sup>11)</sup>。

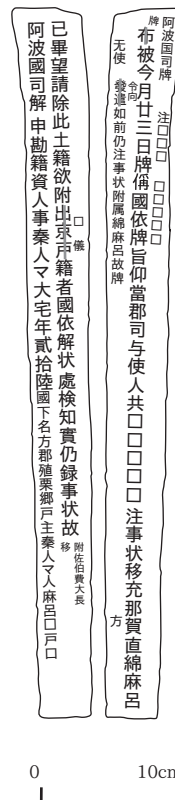
9 世紀になると、諸国に居住して「王臣家之人」と称し、国司や郡司と対立したり騒擾したりする資人がみられるようになる。彼らは、この頃に台頭する富豪層である。

○『類聚三代格』寛平 6（894）年 11 月 30 日太政官符

太政官符

応<sub>レ</sub>禁<sub>下</sub>断<sub>下</sub>諸国百姓称<sub>下</sub>王臣家人<sub>上</sub>騒<sub>中</sub>擾部内<sub>上</sub>事  
右舍人帳内資人之外、託<sub>下</sub>仕官家<sub>上</sub>一切禁断、去寛平三年九月十一日新制已立、下<sub>レ</sub>符之後未<sub>レ</sub>経<sub>下</sub>年序<sub>上</sub>、而無頼<sub>下</sub>奸猾之類<sub>上</sub>、猶称<sub>下</sub>王臣家之人<sub>上</sub>、放縱暴猛不<sub>レ</sub>從<sub>下</sub>国郡<sub>上</sub>、侮<sub>下</sub>慢牧宰<sub>上</sub>騒<sub>中</sub>擾所部<sub>上</sub>、誠雖<sub>下</sub>猾民之濫惡<sub>上</sub>、抑又憲綱之寛簡也、不<sub>レ</sub>立<sub>下</sub>嚴制<sub>上</sub>皇威何張、左大臣宣、奉<sub>レ</sub>勅、重立<sub>下</sub>法制<sub>上</sub>以絶<sub>下</sub>暴惡<sub>上</sub>者、諸国承知、舍人帳内資人以外、若称<sub>下</sub>宮家人<sub>上</sub>好<sub>下</sub>濫惡<sub>上</sub>者、随<sub>レ</sub>犯見決莫<sub>レ</sub>以<sub>下</sub>寛宥<sub>上</sub>、如有<sub>下</sub>蔭贖<sub>上</sub>注<sub>下</sub>状言上、不<sub>レ</sub>得<sub>下</sub>阿容<sub>上</sub>

寛平六年十一月卅日



第 29 図 観音寺遺跡出土木簡

この太政官符は、舍人・帳内・資人以外の者が「王臣家之人」と称して国郡に従わず騒擾することに対して厳しい対処をするように命じたものであるが、逆に言えば、舍人・帳内・資人が、「王臣家之人」と称してそのような行動をとることがあったことを示している。第 3 号木簡は、遺跡周辺の蒲原の地にそのような王臣家（具体的には大納言安倍家）と結託した富豪層がいたことを示している。また、この太政官符において、舍人・帳内・資人かそれ以外かが問題とされていることは興味深い。律令政府は「王臣家之人」としての舍人・帳内・資人とそれ以外とを明確に区別するために、9 世紀においても舍人・帳内・資人の厳密な把握・管理を行おうとしていた可能性があり、本木簡の記載内容とも関わる。

(2) 「大納言阿倍大夫殿」について

裏面 1 行目には「大納言阿倍大夫殿」という注目すべき記載がある。『公卿補任』によれば、8 世紀から 9 世紀の間で大納言に就任した阿倍（安倍）氏出身者は次の 3 人である。

- ①阿倍朝臣御主人…大宝元（701）年 3 月 21 日任。同日任右大臣
- ②阿倍朝臣宿奈麻呂…養老 2（718）年 3 月 3 日任。同 4 年正月 10 日薨

1) 小林昌二・相沢央 2004 「新潟県内出土墨書土器の基礎的考察」『資料学研究』1  
 2) 注 1) に同じ  
 3) 平川南 2000 『墨書土器の研究』吉川弘文館  
 4) 県内の出土例については、小林昌二・戸根与八郎・相沢央 2004 『新潟県内出土古代文字資料集成』新潟墨書土器検討会による。  
 5) 竹内理三・山田英雄・平野邦雄 1973 『日本古代人名辞典』第 6 巻 吉川弘文館  
 6) 注 3)、高島英之 2000 『古代出土文字資料の研究』東京堂出版  
 7) 平川南 1982 「古代における東北の城柵について」『日本史研究』236  
 8) 和島村教育委員会 1994 『和島村埋蔵文化財調査報告書第 3 集 八幡林遺跡』  
 9) 徳島県教育委員会・財団法人徳島県埋蔵文化財センター 2006 『観音寺遺跡の調査』  
 10) 井上光貞・関晃・土田直鎮・青木和夫校注 1976 『日本思想大系 律令』岩波書店  
 11) 相沢央 2007 「越後国の成立と蝦夷政策」『新潟史学』58

③安倍朝臣安仁…天安元（857）年4月18日任。貞観元（859）年4月23日薨

伴出した土器の年代観（9世紀後半が主体）などから、本木簡に記された「大納言阿倍大夫殿」は③安倍朝臣安仁のことであり、本木簡の年代は857～859年に限定できる。

ところで、資人の任用にあたっては、その前提として地方有力者と中央貴族層との関係・結び付きが必要不可欠であったと考えられる。阿倍（安倍）氏と越後国の関係では、古くは越後守阿倍比羅夫の存在もあるが、9世紀における次の2人の越後国司就任者がより注目される。

- i 安倍朝臣小笠…大同元（806）年5月1日任越後介
- ii 安倍朝臣朔麻呂…承和12（845）年正月11日任越後介

彼らが越後介就任時に在地の富豪層との間で築いた関係を前提として、本木簡に見られるような、越後国出身者の大納言安倍朝臣安仁の資人任用ということが行われたのかもしれない。

### 第3節 駒首瀉遺跡の位置づけ

遺跡の主要部分を調査することができた今回の調査では、本遺跡の性格を考える多くの情報が得られている。特に、第1節、第2節で触れている集落の変遷や木簡・墨書土器などは、時代的な様相をも映し出している重要な情報であるが、ここでは、それ以外の資料について少し掘り下げ、当時の生活の様子を復元するとともに、信濃川・阿賀野川に挟まれたこの地での駒首瀉遺跡の位置づけを考える。

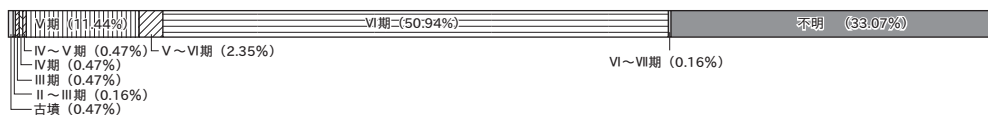
#### A 出土土器の様相について

各出土土器の時期や生産地については、第IV章本文・観察表において春日氏のご教示や春日編年に基づく見解を示しているのので、ここでは全体の様相について触れる。

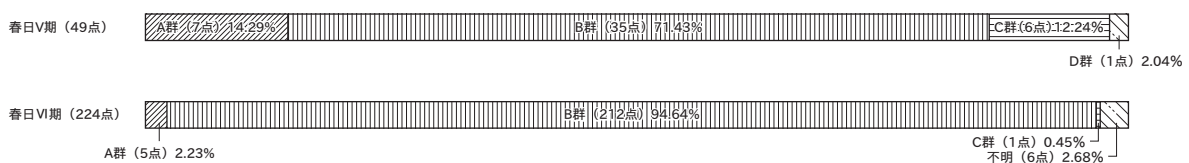
##### 1) 時期・生産地の特徴

土器の時期別出土量を第30図に示した。これは、報告書掲載遺物を対象に、個体識別がされているものを点数で割り出したものである。駒首瀉遺跡では、第IV章で記述されているとおり古墳時代中期の遺物が一番古い遺物となるが、一定量みられるのは平安時代前半、春日編年のV期・VI期（以下「春日〇期」とする。ただし、連続する場合は「春日」を省略することもある）であり、遺構から出土する土器もほぼV期・VI期土器であることから、本遺跡の集落はこの時期に属することがわかる。量的にはV期よりもVI期の方が多く、また遺構からの出土状

時期別構成比率



生産地別構成比率

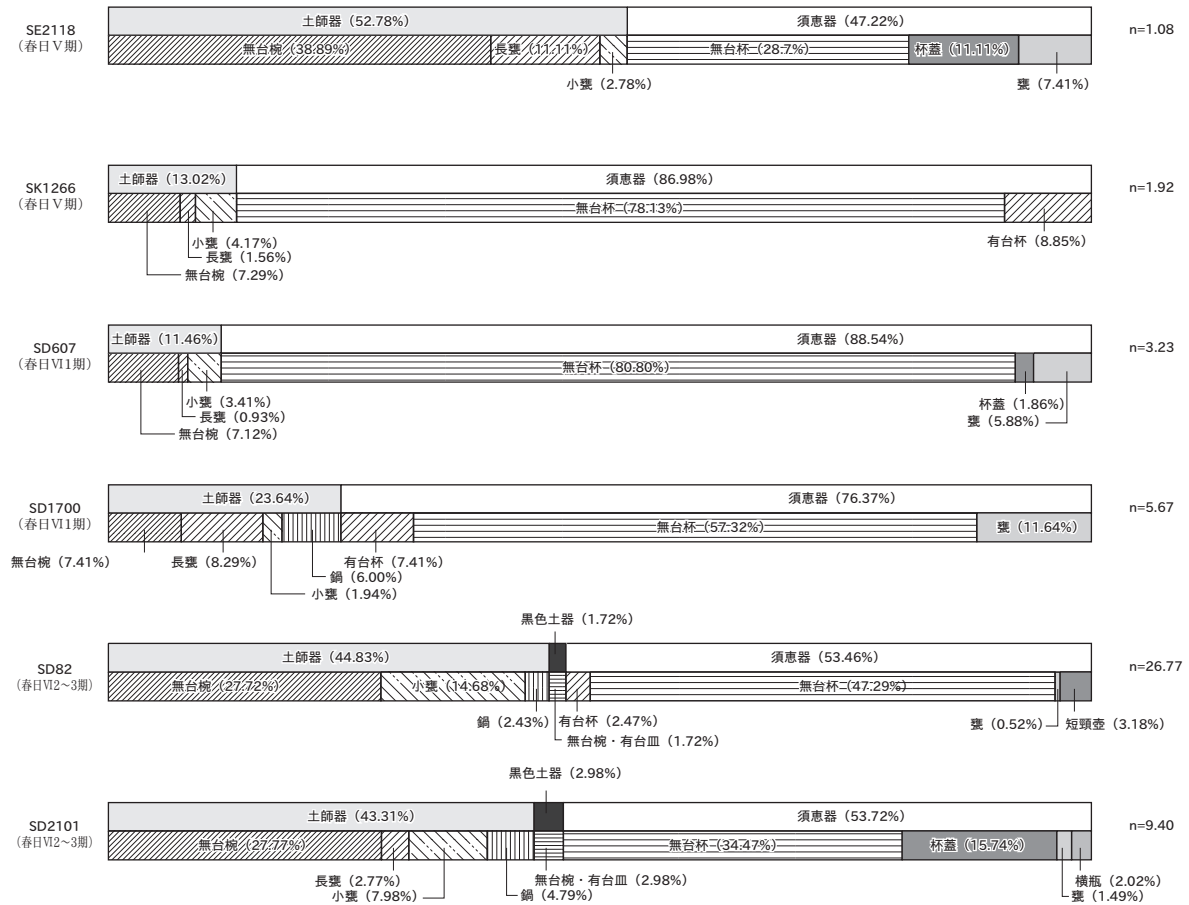


第30図 駒首瀉遺跡時期別・生産地別土器組成図

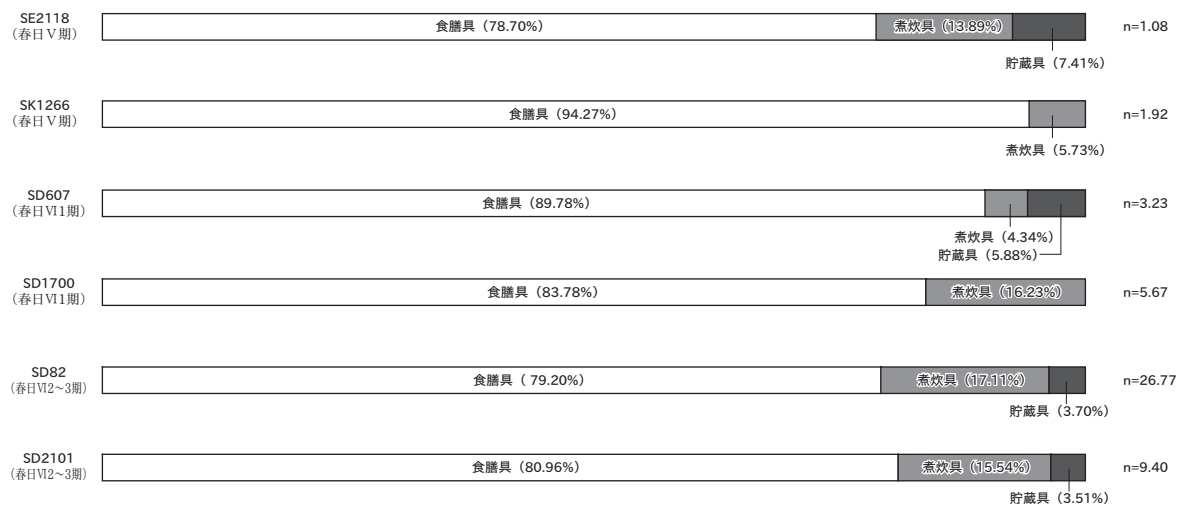
況を合わせてみると、集落のピークはVI期と考えられる（第1節）。

次に須恵器の生産地であるが、ここでは量的に安定しているV期・VI期について比較的判定のしやすい食膳具を取り上げる。第30図にV期・VI期における生産地比率を示した。生産地は、A群が笹神・真木山窯跡群を

種類別・器種別構成比率（口残値）



機能別構成比率（口残値）



第31図 駒首湯遺跡主要遺構別土器組成図1



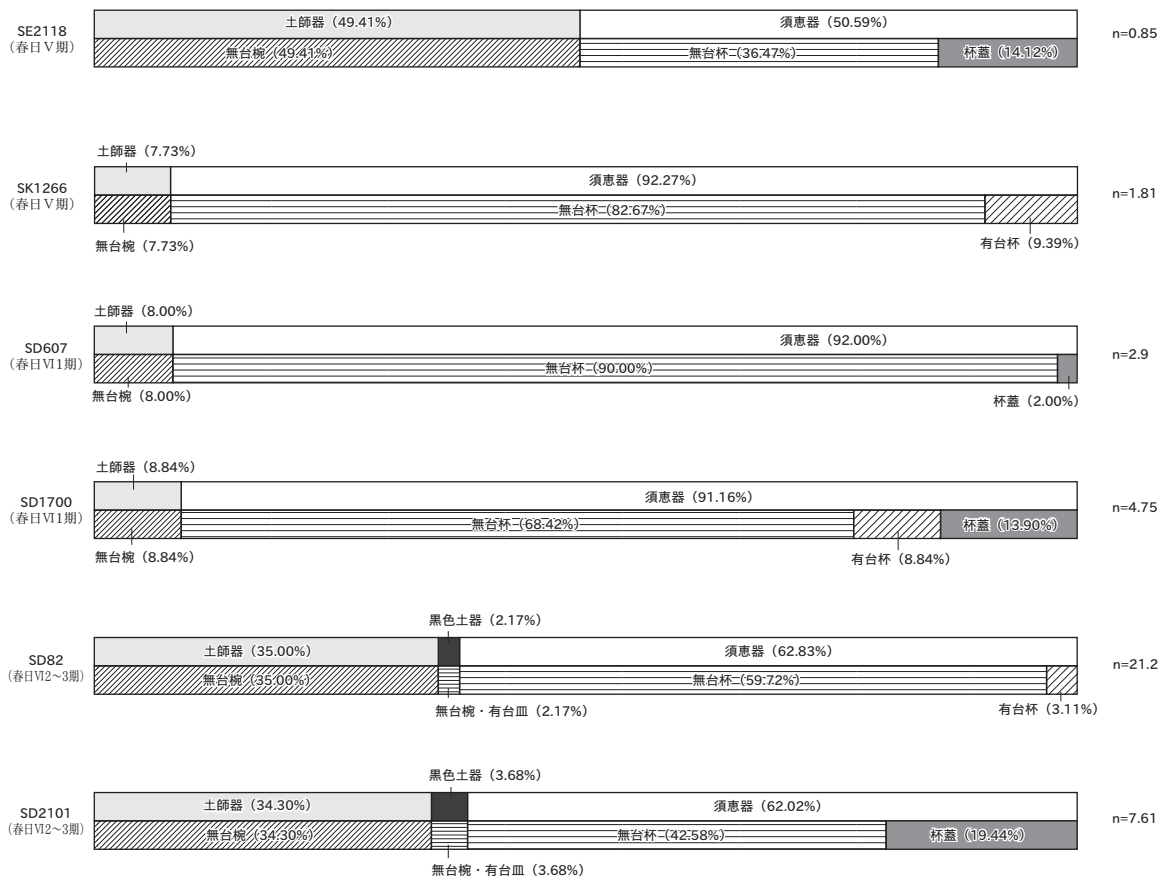
中心とする阿賀北地方、B群が佐渡小泊窯、C群が新津丘陵窯跡群、D群がA～C群以外の生産地としている。本遺跡では、V期・VI期ともにB群が主体であるが、その割合は変化しており、V期では71.4%だったのがVI期になると94.6%と大幅に増え、圧倒的な割合を占めるようになってきている。この状況は、A群・C群の製品が9世紀半ばを境に減少しB群が増大するという周辺地域（新津丘陵周辺を除く）の様相と同じである。少量出土のA群・C群では地理的には遠いA群がやや目立つが、特に周囲と大きく異なるようなものではない。ところで、この時期は蒲原郡内の各地で佐渡型甕（土師器煮炊具）がみられるが、駒首渦遺跡でも一定量流入しており、主な遺構476ヶ所のうち87ヶ所の遺構で、出土が確認されている。在地のロクロ成形土師器甕が定着している中、運搬にはやや弱い土師器である佐渡型甕が流入してきているのは、佐渡産須恵器の流通の勢いが影響しているのであろうか。

## 2) 種別・器種構成

本遺跡で集落が存在する春日V期・VI期の主要遺構について、土器の在り方を概観する。サンプルとした遺構は6遺構で、比較的遺存率のよいものを抽出したが、V期は全体的に出土量が少なく、遺構出土遺物も一括性という部分ではやや弱いかもしれない。出土土器から推測された各遺構の時期は、SE2118・SK1266がV期（SK1266は若干VI1期のものも含まれる）、SD607・SD1700がVI1期、SD82・SD2101がVI2～3期である。

いずれの遺構も越後でみられるこの時期の基本的な器種を揃えており、食膳具が3/4以上を占めている。そしてV期からVI期への移り変わりの中でその種別についてみると、V期で高い比率をもっていた須恵器がVI期

種類別・器種別構成比率（口残値）



第32図 駒首渦遺跡主要遺構別土器組成図2

になると減少し、土師器が増え、黒色土器が出現している（第32図）。須恵器・土師器の増減は周辺遺跡でもみられるものであるが、駒首瀉遺跡では多くの遺跡で確認されているような須恵器と土師器の出土量の逆転はみとめられない。VI 2～3 期に位置づけられる SK143・SK156 の食膳具でも須恵器が半数以上を占めており、須恵器食膳具が土師器食膳具にとって代わられることがなかったことは、本遺跡のひとつの特徴として捉えられるものであろう。一方、黒色土器は SE708 で確認されるように、VI 1 期で出現しており、新潟市小丸山遺跡〔小池・本間 1995〕や加茂市馬越遺跡〔伊藤 2005〕といった周辺遺跡と同じような状況を示している。生産地別土器の割合なども合わせてみると、物流そのものは遺跡間で大きな違いはなかったと思われる。

## B 祭祀・信仰

駒首瀉遺跡からは、祭祀・信仰（葬送を含む）に関わる遺構・遺物が検出されている。ここでは、周辺遺跡の状況を概観しながら、駒首瀉遺跡における信仰について考えてみたい。

### 1) 祭祀

本遺跡では、水辺の祭祀に代表される律令祭祀や在地的な墨書土器の祭祀がみられる。

#### 律令祭祀

水辺の祭祀では、旧河川からの斎串（図版 146, 70～73）や農具を思わせるようなミニチュア木製品（95）、形状に疑問が残るが舟形木製品（96）の出土がみられる。斎串は、40cm を超える大形品 4 点と 20cm 未満の小形品 1 点が狭い範囲（15N16 グリッド・15N20 グリッド）でみられ、近接（15N8 グリッド）して舟形木製品が出土している。旧河川の南端にあたるこの場所が祭祀場であったと認識されるが、祭祀具にバラエティがなく、律令祭祀の内容を忠実に踏襲しているかは疑問である。時期は、旧河川の出土遺物に時期幅があるため特定できず、春日 V～VI 期と捉えられる。

井戸祭祀では、SE708 からの斎串（図版 142 - 19～23）、SE2 からの刀子（図版 149 - 114）の出土がみられる。斎串は 20cm 未満の小形品が 5 点出土しており、他にやはり祭祀具と思われる片方の先端が尖っている棒状製品がある。刀子は完形に近いものが出土しているが、鉄製品のリサイクル性から廃棄物とは考えにくく、祭祀の道具として投入されたと思われる。刀子や小刀が井戸から出土する例は、加茂市馬越遺跡〔伊藤 2005〕（春日 V～VI 期とされる井戸）や中世ではあるが新潟市沖ノ羽遺跡〔春日 2003〕にある。木製祭祀具に刀（剣）形があるが、それらは外部からの邪気を防ぎ、祭場を神聖に保つためのものとされる〔小林謙一 2004〕ことから、同じような意味で使われたのであろう。これらは、多くが壁や底から離れた井戸覆土からの出土であることより、埋井時の祭祀と考えられる。相伴土器から SE708 は春日 VI 1 期に、SE2 は春日 VI 2～3 期行われた祭祀と捉えられる。

宮都の（水辺の）祭祀をみると、平城京・長岡京では溝（条坊側溝）での行為が多いが、平安京では条坊側溝のほか、井戸や池沼・湿地状の落ち込みでも盛んに行われている。条坊側溝での祭祀は、人々の往来がある場での行為ということから強い公的関与（管理）がみいだされるが、私的な行為と思われる井戸や自然地形である池沼・湿地状の落ち込みを利用した祭祀は公的管理が及びにくいことが想定され、律令体制の崩壊に伴う規制力の弛緩傾向が指摘されている〔財団法人古代学協会・古代学研究所 1994〕。

県内の（律令）祭祀具については上越市の延命寺遺跡〔山崎ほか 2008〕で、各祭祀具の変遷案や出土状況が把握されているが、その中で、木製祭祀具が 9 世紀前半以前では官衙あるいはその関連遺跡と考えられる遺跡に、9 世紀後半以降ではそれに加えて有力者層の集落とされる遺跡に多いことが述べられている。そして祭祀具の内容（種類・組み合わせ）についても遺跡の性格が反映されていることを示唆し、その変化についてやはり律令体制から王朝国家体制への移行の中での集落再編が大きく関連しているとしている。

このような状況の中で、駒首瀉遺跡の祭祀のあり方は、律令体制の弱体化の中で生まれた集落の祭祀と捉え

られるものであるが、その受容には、中央（公）との結びつきを求める当時の有力者の姿を感じる。つまり、律令祭祀を行うという行為自体が重要であり、それによって公との結びつきを意識したと思われるのである。

#### 墨書土器の祭祀

墨書土器の祭祀は、前節でも触れられているが、「柱+（数字）」・「富入」・「大」・「善」などがそれと考えられるものである。「柱+（数字）」は“数多くの神仏”、「富入」は富の集積を意味している可能性があり、「大」・「善」は吉祥的な文字と捉えられる（前節）。これらには、時期的・空間的なまとまりがみられ、その文字の意味とあわせて考えると、墨書土器の祭祀のあり方に2つの様相が窺え、それがこの集落での変化として捉えられる。ひとつは春日Ⅴ期における「柱+（数字）」・「富入」で、「柱+（数字）」は荷揚場あるいはそれに近い場所で出土していることから、水上交通に関係した祭祀の可能性があり、また、「富入」はその文字の意味から物資の流通に対する祭祀と考えられる。もうひとつはⅥ期の「大」・「善」で、数も多く、集落中央の河川から出土している。そして、副屋や倉庫、収納施設等の存在するブロックに隣接するところである。日常生活あるいは労働（作業）上の祭祀なのかもしれない。

墨書土器の祭祀は、その実態があまりよくわかっていないが、墨書土器が出土する遺跡では、多くの遺跡で祭祀が想定されることから、日常的に行われていたものと思われる。文字や記号によって祭祀の対象（原因）を変えることができるため、その集落独自の祭祀となり得るわけで、だからこそいろいろな文字が書かれたのであろう。本遺跡の場合、集落の祭祀として水運交通・流通に対する祭祀が行われていたのが、「お守り」的あるいは「縁起を担ぐ」的なありふれた祭祀へと代わっていったと考えることができるのではないであろうか。

#### 2) 仏教信仰

在地の仏教信仰については、近年そのあり方が注目され、認識が強かった関東においては、いち早く考古学的な検討がなされてきた。その成果は、須田勉氏〔須田1985・2005<sup>ほか</sup>〕や笹生衛氏〔笹生1993・2004・2005〕の関東を中心とした研究に代表されるが、その他の地域を含んで広範囲な議論が積極的になされるようになったのは、最近のことである〔山中編2005〕。これらの背景には、かつての研究対象が上位階層の様相を示す古代寺院が中心であったり、祭祀・信仰などの認定の根拠について研究者間の共通認識が得られにくい状況があったりしたことが考えられるが、その後、考古資料の蓄積や文献資料との相互研究により、地方における仏教信仰の受容の様子が明らかになってきた。

新潟県内における仏教信仰についての研究は、寺院や遺物からのアプローチがあるが断片的なものとなっており、越後における仏教信仰が在地でどのように広がっていったかは明らかにされていない。ひとつには、それらの要素である仏教関連施設についての調査事例が少ないことが大きな要因であると思われるが、一般の掘立柱建物との区別がつきにくく整理されていないのが現状である。そうした中で、新発田市坂ノ沢C遺跡では、施設は確認できなかったものの、9世紀後半を中心とした仏教関連遺物が多量に出土した好事例であり、それらを仏堂施設に係るものとし、その施設が山林開発を生業とする一般集落の結合強化のために必要な「装置」であった可能性を指摘している。

駒首渦遺跡では、四面庇付きの2間×2間の掘立柱建物（SB3016）が検出されており、その特異な形態と須恵器の仏鉢形土器（図版131-848）や浄瓶（図版121-679）、仏典の手習いと思われる木簡（図版150-117）などが出土していることから、前々節では仏教関連施設とした。この身舎の形態は出雲の9本柱の神殿に象徴されるような神社形式として捉えられる可能性もあるが、いずれにしろ集落にとっては信仰に関わる特別な建物であったと思われる。県内では土師器が多い仏鉢がここでは須恵器であることに仏教への手厚さを感じられ、また、仏典が身近にあったことが窺える習書木簡はそれを裏付けるものであろう。僧侶の往来も考えられる。

この建物は、集落の終焉期（春日編年Ⅵ2～3期）に位置付けられるものであり、そこに受容のピークをみることができると。県内でのいくつかの事例をみてみると、蒲原郡内の周辺遺跡では、その遺跡の存続時期にも関係し

てくるのであろうが、仏教信仰の痕跡がみられるのは、9世紀後半がピークのようなものである。仏具として比較的出土量の多い土師器仏鉢形土器は、9世紀前半や10世紀前半のものもみられるものの9世紀後半がもっとも多い時期であり〔北村<sup>ほか</sup>2004〕、また、新発田市坂ノ沢C遺跡でも、多量に出土している仏教関連遺物の主体時期を9世紀後半としている。〔渡邊・田中2001〕。本遺跡でも、遺構・遺物の年代から9世紀後半とされるが、須恵器(図版110-438)を仏器写しの土器と捉えるならば、その芽は9世紀前半にあったと考えることもできる。

### 3) 駒首潟遺跡における信仰

駒首潟遺跡では、神祇信仰と仏教信仰が混在しているが、そのあり方は時期によって変化する。

集落の成立期においては、墨書土器の祭祀と律令祭祀が行われており、この段階は、在地的な信仰と都から伝わった祭祀が、厄除け・幸福祈願を目的としたこの集落(村)の信仰として共存していたことが窺える。中央との結びつきが強調される律令祭祀は、儀礼形式が異なるものの目的が同一であるところで在地的な祭祀とともに積極的に行われていたのであろう。

その後、展開期・終焉期では集落の力(繁栄)が安定してくるが、この時期は、それ以前に顕著だった「集落にとっての信仰」に加え、個人的な精神の拠りどころとしての仏教信仰も盛んであったと思われる。仏典をテキストとして習書を行った木簡やいくつかの仏具、仏教関係の施設と思われる掘立柱建物は、仏教的儀礼を本格的に行おうとする表れと捉えられ、笹生氏のいう「集落内の有力氏族による仏教信仰の受容と持仏堂的な仏教施設」〔笹生2005〕の様相が想定される。

周辺遺跡をみると、有力者の存在が想定される集落では信仰にバラエティがあることが窺われる(第9表)が、本格的な儀礼を行うためには財力が必要であり、おそらく当時の有力者にとって自分の立場を意識する重要なものでもあったと思われる。本遺跡は、このような当時の有力者の姿をみせているといえるのではないだろうか。

## C 性格と位置づけ

駒首潟遺跡では、今回の調査で、古墳時代中・後期、平安時代前半、近世、近代までの遺構・遺物が確認された。ここでは、これらの時代を通して、本遺跡の特徴を整理し、その位置づけを考える。

駒首潟遺跡のこの地で、最初に人が活動したのは古墳時代中期後半である。しかし、自然科学分析により、本遺跡の基盤層の堆積は少なくとも5～6世紀以降まで続いていと推定されることから、この段階では9世紀にみられるような微高地が完全には形成されていなかったことが想像される。おそらく住空間としては不適當な環境であったと思われ、短期間あるいは一時的な活動の場として利用されていたと考えられる。

その後、自然堤防もできあがり、河川は流路を変え、平安時代には河川沿いの微高地に集落が形成される。その地形は調査によって検出されたが、河川が流路を変えて陸地となったところ(調査区4区)は、遺構・遺物がほとんど検出されておらず、噴砂が顕著であることから、地盤が弱かったと考えられる。そして、流路を変えた地点は、川端となって祭祀やゴミ捨て場として利用されていたことが出土遺物から推測される。

集落の構成については、第1節で述べているが、ここで注目されるのが、集落の北側に構築された「荷揚場」と考えられるテラス状の遺構と集落を横断する2本の大きな溝である。前者はこの集落が水辺の立地を活かした集落であることを示しており、水上交通による物資・情報の集散が盛んであったと考えられる。また、後者は溝が続く先に開墾された田んぼが存在する可能性を窺わせ、水田耕作を基盤としていたことが考えられる。この2つの要素は、駒首潟遺跡の人々がこの地を選んだ理由であり、繁栄の背景となるものでもある。

周辺の遺跡(第33図)についてみると、官衙関連遺跡とされる的場遺跡・緒立遺跡以外のほとんどの遺跡が9世紀を主体とする遺跡であり、9世紀後半にピークを迎える。これらの遺跡は、検出された遺構・遺物から、農業(水田耕作・畑作)や漁撈、鍛冶を行い、自給自足的な生活をしてきたことが窺える。信仰も行われており、





第33図 周辺の遺跡

基本的には物流や情報における遺跡間の差はほとんどないと思われるが、「階層」や「富裕」の差が遺跡の様相の差として現われていることがわかる。山木戸遺跡・釈迦堂遺跡・上浦遺跡は、帯金具や円面硯など階層性を感じさせる遺物や「郡」と書かれた墨書土器（釈迦堂遺跡〔江口ほか2000〕）、奈良三彩（上浦遺跡〔渡邊1992、川上1997〕）、多量の施釉陶器（山木戸遺跡〔諫山2004〕）といった一般集落ではみられない遺物が出土していることから、「役人」の存在あるいは関係していることが考えられる。一方、小丸山遺跡〔小池ほか1982〕・牛道遺跡〔土橋1999〕・沖ノ羽遺跡〔石川ほか1994、星野ほか1996、細野2002、春日2003、立木・澤野2005、立木・澤野2008〕は、施釉陶器の出土や信仰の係わり方から有力者の存在が考えられ、また、日水遺跡〔今井2007〕・上郷Ⅱ遺跡〔上野・春日1997〕・結七島遺跡〔立木・澤野2003、植田ほか2003、田中ほか2004、朝岡2008〕は特に高い階層性や富裕さを示したものがほとんどみられないことから一般集落と考えられる。こうした中で、駒首瀧遺跡は高い階層を直接示すものはないが、仏教をはじめとする信仰を積極的に行ったり、「資人」木簡にみられるように中央との結びつきを求めていたりする様子が窺われ、地元の有力者を中心とした集落と考えられる。

9世紀は、中央の権力が弱くなり、地方政治が乱れ始めた時代といわれる。こうした中で、駒首瀧遺跡は、新田開発を目的とした開拓ののりだし、その生業を行う傍ら水利を活かした活動により力を蓄えていったと考えられる。そして、その中心人物は中央とのつながりをもった地方の有力者であり、その繁栄が仏教信仰をもたらした、といえるのではないであろうか。

これ以降、この地は近世前期まで人の活動はみられない。おそらく洪水などによる土砂の流入により、それができない状況であったと思われる。そして、近世以降は人々の努力により開墾が進み、農地として利用され、現在に至ったのである。

第9表 周辺遺跡の様相

地点No.	遺跡名	立地	時期・種類	遺構	施釉陶器	墨書土器	祭祀・(神仏信仰)	生産・生活道具				特殊遺物	銭貨	備考	
								漁撈具	鍛冶関係	紡錘車	製塩土器				
1	山木戸	砂丘	8C前半～10C初頭 集落	掘立柱建物 竪穴建物 井戸 土坑 溝	緑釉陶器 灰釉陶器 多数	墨書土器(刻書含む) 131点 「寺」「井」他	墨書「寺」	土錘	ファイゴの 羽口	紡錘車(石)	有	石帯 鉄織 飾金具	—	—	
2	小丸山	砂丘	9C後半～10C初頭 集落	掘立柱建物 井戸 土坑 溝 畝状遺構 柵列 性格不明遺構	緑釉陶器 (素地) 微量	墨書土器107点 「七」「西家」 「田」「万」他	井戸祭祀 (斎串・箸・磔)	土錘	ファイゴの 羽口 鉄滓	紡錘車(石)	有	—	—	—	
3	日水	自然堤防	9C後半～10C初頭 集落	掘立柱建物 竪穴建物 井戸 土坑 溝 性格不明遺構	—	墨書土器4点 「上」「一」他	井戸祭祀 (刀子・炭屑)	土錘	ファイゴの 羽口 鉄滓	—	—	—	—	—	
4	牛道	自然堤防	9C第3四半期～ 10C初頭 生産遺跡 (集落の一部)	井戸 土坑 畝状遺構	緑釉陶器 灰釉陶器	墨書土器33点 則天文字ほか	井戸祭祀(楡屑?)・ 土器・火鏡棒・炭・ 灰・墨書土器など 墨書土器(則天文字)	—	—	—	—	—	—	—	井戸から動 植物遺体
5	上郷Ⅱ	自然堤防	9C末～10C初頭 集落 生産遺跡	掘立柱建物 竪穴建物 井戸 土坑 溝 畝状遺構 水田跡 性格不明遺構	—	有	—	—	—	—	—	—	—	—	
6	結七島	自然堤防	9C～10C初頭 集落	土坑 溝 ビツト 水田畦畔 性格不明遺構	灰釉陶器	墨書土器 「下」「万」 「向田入」他	仏鉢形土器(土師器)	土錘	ファイゴの 羽口 鉄滓	—	—	風字硯	開元通寶 元祐通寶	—	
7	沖ノ羽	自然堤防	9C～10C初頭 集落	掘立柱建物 井戸 土坑 小土坑 溝 ビツト 旧河川 畝状遺構 水田跡? 性格不明遺構	緑釉陶器 灰釉陶器	墨書土器多数 「花寺」他	井戸祭祀(斎串) 瓦塔 浄瓶 仏鉢形土器(土師器) 香炉(緑釉陶器) 墨書「花寺」	土錘	ファイゴの 羽口 鉄滓	紡錘車(土)	—	—	—	—	
8	上浦(A・B)	自然堤防	9C～10C初頭 集落	掘立柱建物 土坑 溝 畝状遺構 旧河川	奈良三彩 (小壺)	墨書土器80点 「赤背山家」「孝」 「物」「二」「山」他	仏鉢形土器(土師器) 奈良三彩小壺?	土錘 石錘	ファイゴの 羽口 鉄滓	—	—	銅鈴 円面硯	—	—	
9	的場	砂丘	8C前半～10C後半 集落 官衙関連遺跡	掘立柱建物 土坑 溝 集石遺構 性格不明遺構	緑釉陶器 灰釉陶器	墨書土器317点 「酒屋」「秋庭女」 「廣成」「乙長」他	水辺の祭祀(斎串・ 人形・舟形・馬形・ 刀形) 地鎮(和同開珎) 仏鉢形土器(土師器)	土錘 石錘 木製網 針	ファイゴの 羽口 鉄滓	紡錘車 (土・石・鉄)	有	銅鈴 円面硯 鈴 大刀金物 木杵 木筒	和同開珎22点 神功開宝1点	多量の 漁撈具	
10	緒立(A・B・C)	砂丘	8C前半～10C前半 集落 官衙関連遺跡	掘立柱建物 竪穴住居 井戸 土坑 溝 杭列 性格不明遺構	灰釉陶器	墨書土器約30点 「官カ」他	水辺の祭祀(斎串・ 人面墨書土器) 手づくね土器 サイコロ(骨角製) 仏鉢形土器(土師器) 瓦塔	土錘 石錘	ファイゴの 羽口 鉄滓	紡錘車 (土・石)	有	銅鈴 サイコロ (骨角製) 木筒	和同開珎	—	
11	釈迦堂	自然堤防	9C全般 中心は9C第2四半期 集落	土坑 溝 ビツト 火葬灰埋納土坑 火化遺構	—	墨書土器79点 「郡」「千繩」他	斎串 手づくね土器 仏鉢形土器(土師器) 埴状土製品	土錘 石錘	鉄滓	—	—	銅 円面硯 碁石 (双六)	—	—	
12	駒首器	自然堤防	9C全般 集落	掘立柱建物 井戸 土坑 溝 杭列 畝状遺構 火葬灰埋納土坑? 旧河川 性格不明遺構	—	墨書土器109点 「柱六十」「山村」「足」 他	井戸祭祀 (斎串・刀子) 仏鉢形土器(須恵器) 木簡文字	土錘 石錘	ファイゴの 羽口 鉄滓	—	有	「資人」 木筒	—	四面庇付掘 立柱建物	

## 引用・参考文献

(第II～V、VII章)

- ア 朝岡政康 2008 『結七島遺跡Ⅳ 第13・15・17次調査－荻川駅東土地区画整理事業に伴う結七島遺跡第7～9次発掘調査報告書－』 新潟市教育委員会
- 阿部義平 1989 「律令期集落の復元」『国立歴史民俗博物館研究報告』 第22集国立歴史民俗博物館
- イ 石川考古学研究会・北陸古代土器研究会 1988 『シンポジウム北陸の土器研究の現状と課題』資料編
- 石川智紀ほか 1994 『磐越自動車道関係発掘調査報告書 沖ノ羽遺跡Ⅰ (A地区)』 新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 諫山えりか 2004 『新潟市山木戸遺跡 マンション等建設予定地内発掘調査報告書』 新潟市教育委員会
- 伊藤秀和 2005 『馬越遺跡－国道403号線道路改良工事に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書－』 加茂市教育委員会
- 伊藤秀和 2005 『馬越遺跡』加茂市文化財調査報告(14) 新潟県加茂市教育委員会
- 今井さやか 2007 『日水遺跡第3次調査－鍋田土地区画整理事業に伴う日水遺跡発掘調査報告書－』 新潟市教育委員会
- ウ 植田真・遠竹陽一郎ほか 2003 『結七島遺跡発掘調査Ⅱ』 新潟市教育委員会
- 上野一久・春日真美 1997 『横雲バイパス関係発掘調査報告書 上郷遺跡Ⅱ』 新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 宇野隆夫 1989 「井戸考」『考古資料にみる古代と中世の歴史と社会』 真陽社
- 宇野隆夫 1991 『律令社会の考古学研究北陸を舞台として』 桂書房
- 宇野隆夫 1992 「食器計量の意義と方法」『国立歴史民俗博物館研究報告』第40集 国立歴史民俗博物館
- 卜部厚志・高濱信行 2004 「滯足柵を探索する浅層地質調査および越後平野の形成過程の復元」『前近代の潟湖河川交通と遺跡立地の地域史的研究』2000(平成12)年度～2003(平成15)年度科学研究費補助金基盤研究(A)－(2)研究成果報告書
- エ 江口友子・小濱亨ほか 2000 『釈迦堂遺跡』新潟県埋蔵文化財報告書第100集 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 江口友子 2001 『国道49号横雲バイパス関係発掘調査報告書Ⅳ 川根谷内墓所遺跡』 新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- オ 小田由美子・高橋保雄ほか 2006 『滝寺古窯跡群・大貫古窯群』新潟県埋蔵文化財報告書第149集 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- カ 春日真実 1991 「古代佐渡小泊窯における須恵器の生産と流通」『新潟考古学談話会』第8号 新潟考古学談話会
- 春日真実 1995a 「古代集落の展開－越後を事例として－」『研究紀要』 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 1995b 「越後・佐渡における8世紀中葉の画期」『北陸古代土器研究』第5号 北陸古代土器研究会
- 春日真実 1997a 「越後・佐渡における9世紀中葉の画期」『北陸古代土器研究』第6号 北陸古代土器研究会
- 春日真実 1997b 「越後における10・11世紀の土器様相」『北陸古代土器研究』第7号 北陸古代土器研究会
- 春日真実・笹沢正史 1999 「佐渡・越後の様相」『須恵器貯蔵具を考えるⅠつぼとかめ』北陸古代土器研究』第8号北陸古代土器研究会
- 春日真実 1999 「第4章古代第2節土器編年と地域性」『新潟県の考古学』 高志書院
- 春日真実 2000 「第5章まとめ」『吉田町史』資料編1 考古・古代・中世 吉田町
- 春日真実 2003 『磐越自動車道関係発掘調査報告書 沖ノ羽遺跡Ⅲ (C地区)』 新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 2004 『越後阿賀北地域の古代土器様相』 新潟古代土器研究会
- 春日真実 2005 「越後における奈良・平安時代土器編年の対応関係について－「今池編年」・「下ノ西編年」・「山三賀編年」の検討を中心に－」『新潟考古』第16号 新潟県考古学会
- 神奈川考古学会編 2006 『平成18年度考古学講座古代遺跡再発見』
- 金子拓男ほか 1983 『緒立遺跡発掘調査報告書』 黒崎町教育委員会
- 金子裕之ほか 1988 『律令期祭祀遺物集成』昭和61～63年度文部省科学研究費補助金総合研究A 課題番号61300007「日本古代の律令制神祇祭祀の成立過程と構造の研究」研究成果報告書Ⅱ
- 亀田町史編さん委員会 1988 『亀田の歴史』通史編上巻 亀田町
- 亀田町史編さん委員会 1990 『亀田の歴史』資料編 亀田町



- 川上貞雄 1983 『亀田町文化財報告2 中の山遺跡』 亀田町教育委員会
- 川上貞雄・木村宗文・鈴木郁夫 1989 『新津市史』資料編第1巻原始・古代・中世 新津市
- 川上貞雄 1996 『亀田町文化財調査報告第4集 荒木前遺跡 第2次調査』 亀田町教育委員会
- 川上貞雄 1997 『上浦A遺跡 新津工業団地第2期工事地内発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 川村浩司 1989 「越後の古代集落の素描－遺跡の種類とその展開－」『新潟県考古学談話会会報』第3号 新潟県考古学談話会
- キ 北村 淳ほか 2004 『中谷内遺跡Ⅲ・沖ノ羽遺跡Ⅱ・細池寺道上遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 鬼頭清明 1989 「郷・村・集落」『国立歴史民俗博物館研究報告』第22集国立歴史民俗博物館
- ク 黒埼町 1998 『黒埼町史資料編－ 原始・古代・中世』 黒埼町教育委員会
- コ 小池邦明ほか 1992 『山木戸遺跡第1次発掘調査概報』 新潟市教育委員会
- 小池邦明・本間圭吉 1993 『新潟市の場遺跡の場土地区画整理事業用地内発掘調査報告書』 新潟市教育委員会
- 小池邦明・本間圭吉 1995 『小丸山遺跡直り山団地建設事業用地内発掘調査報告書』 新潟市教育委員会
- 小池邦明 1999 『山木戸遺跡第2次発掘調査概要』 新潟市教育委員会
- 小林謙一 2004 「Ⅳ－3 祭祀具」『古代の官衙遺跡Ⅱ遺物・遺跡編』 独立行政法人奈良文化財研究所
- 小林昌二 1996 「越地域における部民分布の再検討」『越と古代の北陸』古代王権と交流3 名著出版
- 小林昌二・戸根与八郎・相沢央編 2004 『新潟県内出土古代文字資料集成』 新潟墨書土器検討会
- 駒見和夫 1992 「戸戸をめぐる祭祀－地域的事例の検討から－」『考古学雑誌』第77巻第4号 日本考古学学会
- サ 財団法人古代学協会・古代学研究所 1994 『平安京提要』 角川書店
- 酒井和男 1980 『三王山遺跡』 亀田町教育委員会
- 坂井秀弥 1984 「今池遺跡群における奈良・平安時代の土器」『今池・下新町・子安遺跡』 新潟県埋蔵文化財発掘調査報告書第35集 新潟県教育委員会
- 坂井秀弥 1989 『新新バイパス開発発掘調査報告書山三賀Ⅱ』新潟県埋蔵文化財発掘調査報告書第53集 新潟県教育委員会・建設省北陸地方建設局新潟県国道工事事務所
- 坂井秀弥・鶴間正昭・春日真実 1991 「佐渡の須恵器」『新潟考古』第2号 新潟考古学会
- 坂井秀弥 1996a 「水辺の古代官衙遺跡－越後平野の内水面・舟運・漁業－」『越と古代の北陸』古代王権と交流3 名著出版
- 坂井秀弥 1996b 「遺跡が語る開発と村の歴史－古代・中世を中心として－」『月刊文化財』398号 第一法規出版
- 坂井秀弥 1999 「第4章古代第2節総論」『新潟県の考古学』 高志書院
- 坂上康俊 1989 『律令国家の転換と「日本」』日本の歴史第05巻 講談社
- 坂上有紀ほか 2003 『磐越自動車道関係発掘調査報告書 上浦遺跡』 新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 笹生 衛 1993 「第四章 第四節 国分寺以降の地方寺院」「第六章 古代の信仰」『房総考古学ライブラリー7 歴史時代(1)』 (財)千葉県文化財センター
- 笹生 衛 2004 「古代村落における祭祀の場と仏教施設－東国の事例から－」『季刊考古学』第87号 有山閣
- 笹生 衛 2005 「古代東国集落と仏教信仰－千葉県内の事例を中心に－」『古代官衙・研究集会 在地社会と仏教 研究報告資料』 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所
- ス 菅原祥夫 2007 「東北の豪族居宅」『地方豪族居宅と機能』 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
- 須田 勉 1985 「平安時代初期における村落内寺院の存在形態」『古代探叢Ⅱ』 早稲田大学出版部
- 須田 勉 2005 「村落寺院の構造と信仰」『古代の信仰を考える』 日本考古学協会総会実行委員会
- セ 関雅之・澤田秀実 1989 『新五兵衛山遺跡Ⅰ』 新潟県豊栄市教育委員会
- タ 高野裕子・渡邊朋和 2003 『川口乙遺跡発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 田島明人 1983 「奈良・平安時代の建物グループと集落遺跡－加賀・能登の掘立柱建物を中心とした覚書－」『北陸の考古学』 石川県考古学研究会
- 田中一博ほか 2004 『結七島遺跡発掘調査Ⅲ』 新津市教育委員会
- 田中久男ほか 1996 「新潟砂丘の形成史」『第四紀研究』第35巻3号 日本第四紀学会
- 田中広明 2007 「地方官衙の「館」と豪族の居宅」『地方豪族居宅と機能』 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
- ツ 立木宏明ほか 1999 『中谷内遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2003 『結七島遺跡発掘調査報告書Ⅰ』 新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2004 『山王浦遺跡発掘調査報告書』 新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2005 『沖ノ羽遺跡発掘調査報告書Ⅲ』 新津市教育委員会
- 立木宏明・澤野慶子ほか 2008 『沖ノ羽遺跡Ⅳ第15次調査－県営圃場整備事業(担い手育成型)満日地区に伴う沖ノ羽遺跡第8



- 次発掘調査報告書』新潟市教育委員会
- テ 出越茂和 1999 「古代北陸における官寺・山寺・里寺」『北陸の考古学Ⅲ』石川考古学研究会々誌 第42号 石川考古学研究会
- ト 戸田芳実 「平安初期の国衙と富豪層」『日本領土制成立史の研究』岩波書店
- 土橋由理子ほか 1999 『国道49号横雲バイパス関係発掘調査報告書Ⅲ 牛道遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 土橋由理子 2007 「西郷遺跡」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報』平成18年度 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- ナ 奈良国立文化財研究所 1985 『木器集成図録』近畿古代篇奈良国立文化財研究所史料第27冊 奈良国立文化財研究所
- ニ 新潟古砂丘グループ 1974 「新潟砂丘と人類遺跡—新潟砂丘の形成史Ⅰ—」『第四紀研究』13-2 日本第四紀学会
- 新潟市史編さん原始古代中世史部会 1994 『新潟市史』資料編1 原始古代中世 新潟市
- 新潟市史編さん原始古代中世史部会・新潟市史編さん近世史部会 1995 『新潟市史』通史編1 原始古代中世・近世(上) 新潟市
- ヒ 廣野耕造 1997 『笹山前遺跡・神明社裏遺跡・城山遺跡』新潟市教育委員会
- フ 藤塚明・小池邦明・渡邊朋和 1982 『新潟市小丸山遺跡発掘調査概報』新潟市教育委員会
- ホ 星野信明ほか 1996 『磐越自動車道関係発掘調査報告書 沖ノ羽遺跡Ⅱ(B地区)』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 細野高伯ほか 2002 『沖ノ羽遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- マ 松村恵司 1998 「律令国家の末端支配と集落」『律令国家の地方末端支配機構をめぐって—研究集会の記録』奈良国立文化財研究所
- ミ 宮本長二郎 1996 『日本原始古代の住居建築』中央公論美術出版
- 宮本長二郎 2001 「原始・古代住居の復元」『日本の美術』420 至文堂
- モ 望月精司 2003 「古代権状錘に関する一考察—北陸出土権衡資料の検討を中心として」『北陸の古代と土器』北陸古代土器研究第10号 北陸古代土器研究会
- ヤ 山崎忠良ほか 2008 『一般国道253号上越三和道路関係発掘調査報告書Ⅵ 延命寺遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 山中敏史 1998 「律令国家の地方末端支配機構—研究の現状と課題—」『律令国家の地方末端支配機構をめぐって—研究集会の記録』奈良国立文化財研究所
- 山中敏史ほか 2003 『古代の官衙遺跡Ⅰ 遺跡編』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
- 山中敏史ほか 2004 『古代の官衙遺跡Ⅱ 遺物・遺跡編』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
- 山中敏史編 2006 『在地社会と仏教』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所
- 山中敏史 2007 「地方豪族居宅の建物構造と空間的構成」『地方豪族居宅と機能』独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
- 山中敏史・家原圭太 2007 『古代官衙の造営技術に関する考古学的研究』独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
- ワ 渡邊朋和 1992 『上浦遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 渡邊朋和・立木宏明ほか 2000 『中谷内遺跡発掘調査報告書Ⅱ』新津市教育委員会
- 渡邊朋和ほか 2001 『寺道上遺跡発掘調査報告書』新津市教育委員会
- 渡邊ますみ 1991 『荒木前遺跡』亀田町教育委員会
- 渡邊ますみほか 1994 『緒立C遺跡発掘調査報告書』黒崎町教育委員会
- 渡邊ますみ 2007 「新潟市駒首湯(こまくびがた)遺跡の調査概要」『新潟県考古学会第19回大会研究発表会発表要旨』新潟県考古学会
- 渡邊ますみ 2008 「駒首湯遺跡」『平成19年度新潟市遺跡発掘調査速報会資料』新潟市埋蔵文化財センター
- 渡邊美穂子・田中耕作 2001 『坂ノ沢C遺跡Ⅱ(平安時代編)』新発田市教育委員会

## (第Ⅵ章)

- ア 安藤一男 1990 「淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用」『東北地理』42 p.73-88.
- イ 伊藤良永・堀内誠示 1991 「陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用」『珪藻学会誌』6 p.23-45.
- オ 大池昭二 1972 「十和田火山東麓における完新世テフラの編年」『第四紀研究』11 p.232-233.
- 大池昭二・中川久夫・七崎修・松山力・米倉伸之 1966 「馬淵川中・下流域沿岸の段丘と火山灰」『第四紀研究』5 p.29-35.
- 尾畷大真 2005 「INTCAL98からIntCal04へ」『学術創成研究費 弥生農耕の起源と東アジア No.3—炭素年代測定による高精度編年体系の構築—』p.14-15.

- カ 笠原安夫 1985 『日本雑草図説』 養賢堂 494p.  
 笠原安夫 1988 「作物および田畑雑草種類」『弥生文化の研究第2巻 生業』 雄山閣出版 p.131-139.  
 金原正明 1993 「花粉分析法による古環境復原」『新版古代の日本第10巻 古代資料研究の方法』 角川書店 p.248-262.  
 金原正明 1996 「古代モモの形態と品種」『月刊考古学ジャーナルNo.409』 ニューサイエンス社 p.15-19.
- コ 小杉正人 1986 「陸生珪藻による古環境解析とその意義—わが国への導入とその展望—」『植生史研究 第1号』 植生史研究会 p.29-44.  
 小杉正人 1988 「珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用」『第四紀研究27』 p.1-20.
- シ 島倉巳三郎 1973 「日本植物の花粉形態」『大阪市立自然科学博物館収蔵目録第5集』 60p.  
 島地謙・佐伯浩・原田浩・塩倉高義・石田茂雄・重松頼生・須藤彰司 1985 『木材の構造』 文永堂出版 290p.  
 島地謙・伊東隆夫 1988 『日本の遺跡出土木製品総覧』 雄山閣 296p.
- ス 杉山真二 1987 「タケ亜科植物の機動細胞珪酸体」『富士竹類植物園報告31』 p.70-83.  
 杉山真二 2000 「植物珪酸体（プラント・オパール）」『考古学と植物学』 同成社 p.189-213.
- タ 竹迫 紘 1993 「リン分析法」『第四紀試料分析法2 研究対象別分析法』 日本第四紀学会編 東京大学出版会 p.38-45.  
 只見川第四紀研究グループ 1966a 「福島県野沢盆地の浮石質砂層の基底部より産出した木材の<sup>14</sup>C年代—日本の第四紀層の<sup>14</sup>C年代XXVI」『地球科学82』 p.8-9.  
 只見川第四紀研究グループ 1966b 「只見川・阿賀野川流域の第四紀の編年—とくに沼沢浮石層の層位学的諸問題について」『第四紀8』 p.76-79.
- ナ 中村 純 1973 『花粉分析』 古今書院 p.82-110.  
 中村 純 1974 「イネ科花粉について、とくにイネ (*Oryza sativa*) を中心として」『第四紀研究13』 p.187-193.  
 中村 純 1977 「稲作とイネ花粉」『考古学と自然科学第10号』 p.21-30.  
 中村 純 1980 「日本産花粉の標徴」『大阪自然史博物館収蔵目録第13集』 91p.  
 中村俊夫 1999 「放射性炭素法」『考古学のための年代測定学入門』 古今書院 p.1-36  
 南木睦彦 1991 「栽培植物」『古墳時代の研究第4巻 生産と流通I』 雄山閣 p.165-174.  
 南木睦彦 1992 「低湿地遺跡の種実」『月刊考古学ジャーナルNo.355』 ニューサイエンス社 p.18-22.  
 南木睦彦 1993 「葉・果実・種子」『第四紀試料分析法』 日本第四紀学会編 東京大学出版会 p.276-283.
- ハ 早川由紀夫 1983 「十和田火山中振テフラ層の分布、粒度、組成、年代」『火山』28 p.263-273.
- フ 藤原宏志 1976 「プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)—数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法—」『考古学と自然科学9』 p.15-29.  
 藤原宏志・杉山真二 1984 「プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)—プラント・オパール分析による水田址の探査—」『考古学と自然科学17』 p.73-85.
- マ 町田洋・新井房夫 1992 「火山灰アトラス」『東京大学出版会』 276p.  
 町田洋・新井房夫 2003 「新編火山灰アトラス」『東京大学出版会』 336p.  
 町田洋・新井房夫・森脇広 1981 「日本海を渡ってきたテフラ」『科学51』 p.562-569.
- ヤ 山田昌久 1993 「日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成」『植生史研究特別1号』 植生史研究会 242p.
- ヨ 吉崎昌一 1992 「古代雑穀の検出」『月刊考古学ジャーナルNo.355』 ニューサイエンス社 p.2-14.
- ワ 渡辺仁治 2005 『淡水珪藻生態図鑑 群集解析に基づく汚濁指数DAIpo,pH耐性能』 内田老鶴圃 666p.
- A Asai,K.&Watanabe,T. 1995 Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa.Diatom,10,p.35-47.
- K K. Krammer · H.Lange-Bertalot 1986-1991 Bacillariophyceae · 1 - 4.
- P Paula J Reimer et al., 2004 IntCal04 Terrestrial radiocarbon age calibration, 26-0 ka BP. Radiocarbon 46, 1029-1058.

別 表

別表 1-1 主要遺構計測表

凡 例  
 1 本表に掲載した遺構は、掘立建物( SB )の各柱穴、井戸( SE )、土坑( SK )、溝( SD )、不明遺構( SX )の他に、図示し得た遺物が出土したピット( P )を含む。  
 2 グリッド表記は、小規模な遺構( SE・SK・SX )については小グリッドまで記載し、大規模な遺構( SD )については大グリッドを表すにとどめた。  
 3 各遺構の規模、深度、底面標高等の数値はメートル表記とした。  
 4 規模計測値のうち、( )内表記は遺構の現存値を表す。  
 5 以下に表記した溝は同一遺構と考えられるが、調査工程上、遺構全体図/割図に示した水抜き用トレンチを境にそれぞれ別な遺構番号が付けられた。報告書作成にあたっては、出土遺物のデータ処理上の都合により、これらを統一せずそのまま掲載した。本来の溝の総長は同一遺構の長軸を合算したものとなるが、ここでの表記は省略し、それぞれの範囲のみの記載としている。  
 SD1302-SD2429 SD1342-SD2968 SD1343-SD2913 SD1344-SD2912 SD1501-SD2911 SD1505-SD2908 SD1506-SD1823-SD2480 SD1802-SD1905 SD1821-SD2404 SD1822-SD2414 SD1824-SD2401  
 SD1825-SD2413 SD1826-SD2412 SD1827-SD2415 SD1829-SD1999 SD1830-SD1998 SD1831-SD1906 SD1833-SD2405 SD1834-SD1985 SD1903-SD2407-SD4003 SD2409-SD4302

図版 No.	遺 構	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規 模 (m)		深 度	形 態		底面標高 (m)	遺物有無	遺物図版頁
						上 端			平 面	断 面			
						長 軸	短 軸						
49	SB3001-P1 (P1100)	8D8	古代	IV層		1.03	0.85	0.88	楕円形		-1.68	○	89
49	SB3001-P2 (P1182)	8D4	古代	IV層		0.69	0.59	0.41	略円形		-1.22	○	153
49	SB3001-P3 (P1024)	7D24・25	古代	IV層		0.81	0.57	0.90	隅丸長方形		-1.73	○	
49	SB3001-P4 (P1255)	8D5	古代	IV層		0.75	0.52	0.78	隅丸長方形		-1.62	○	
49	SB3001-P5 (P1276)	8E6	古代	IV層		0.75	0.62	0.78	隅丸方形		-1.59	○	89
49	SB3001-P6 (P1215)	8E7・8	古代	IV層		0.95	0.75	1.01	隅丸長方形		-1.81	○	89
49	SB3001-P7 (P1046)	8E11・16	古代	IV層		0.75	0.68	0.59	隅丸方形		-1.40	○	89
49	SB3001-P8 (P344)	8D20	古代	IV層		0.87	0.85	0.89	隅丸方形		-1.71	○	
49	SB3001-P9 (P1211)	8D14・19	古代	IV層		1.32	0.90	0.81	隅丸長方形		-1.66	○	
49	SB3001-P10 (P1221)	8D8・9・13・14	古代	IV層		0.80	0.70	0.90	隅丸方形		-1.70	○	89
50	SB3002-P1 (P1707)	8E16	古代	IV層		0.51	0.40	0.64	楕円形		-1.46	○	141
50	SB3002-P2 (P1047)	8E11	古代	IV層		(0.34)	0.27	0.44	隅丸方形		-1.25	○	
50	SB3002-P3 (P1231)	8E12	古代	IV層		0.35	0.33	0.47	略円形		-1.29	○	
50	SB3002-P4 (P1262)	8E13	古代	IV層		0.49	0.48	0.59	略円形		-1.44	○	89
50	SB3002-P5 (P325)	8E19	古代	IV層		0.34	0.27	0.46	略円形		-1.31	—	
50	SB3002-P6 (P1054)	8E23	古代	IV層		0.31	0.31	0.25	略円形		-1.06	—	
50	SB3002-P7 (P1246)	9E2	古代	IV層		0.37	0.35	0.06	略円形		-0.81	—	
50	SB3002-P8 (P1243)	8E21	古代	IV層		0.35	0.31	0.38	略円形		-1.24	○	
51	SB3003-P1 (P499)	12G2	古代	IV層		0.55	0.50	0.42	略円形		-1.31	○	
51	SB3003-P2 (SK638)	11G23	古代	IV層		0.90	0.35	0.29	略円形		-1.22	—	
51	SB3003-P3 (P622)	11G19	古代	IV層		0.46	0.45	0.61	略円形		-1.51	—	
51	SB3003-P4 (P904)	11G25	古代	IV層		0.60	0.58	0.36	略円形		-1.29	○	89
51	SB3003-P5 (P907)	12G5	古代	IV層		0.42	0.38	0.33	略円形		-1.23	—	
51	SB3003-P6 (P910)	12G25	古代	IV層		0.42	0.39	0.58	略円形		-1.49	—	
51	SB3003-P7 (P444)	12G9	古代	IV層		0.46	0.43	0.54	略円形		-1.45	○	
51	SB3003-P8 (P675)	12G13	古代	IV層		0.48	0.46	0.62	隅丸方形		-1.46	○	
51	SB3003-P9 (P483)	12G7・8	古代	IV層		0.47	0.46	0.63	略円形		-1.47	○	141
51	SB3003-P10 (P652)	12G2	古代	IV層		0.43	0.35	0.07	卵形		-0.97	—	
51	SB3003-P11 (P631)	11G22	古代	IV層		0.40	0.37	0.64	略円形		-1.51	○	89
51	SB3003-P12 (P1174)	11G23	古代	IV層		0.46	0.45	0.63	略円形		-1.54	—	
51	SB3003-P13 (P620)	11G19	古代	IV層		0.39	0.36	0.72	略円形		-1.61	○	
52	SB3004-P1 (P648)	11G22	古代	IV層		0.47	0.34	0.33	楕円形		-1.19	—	
52	SB3004-P2 (P637)	11G17	古代	IV層		0.37	0.32	0.26	略円形		-1.15	○	
52	SB3004-P3 (P2651)	11G23	古代	IV層		0.35	0.34	0.26	略円形		-1.19	—	
52	SB3004-P4 (P671)	12G4	古代	IV層		0.50	0.45	0.60	略円形		-1.50	○	
52	SB3004-P5 (P923)	12G9	古代	IV層		0.48	0.46	0.36	略円形		-1.27	—	
52	SB3004-P6 (P445)	12G15	古代	IV層		0.55	0.51	0.47	略円形		-1.41	○	
52	SB3004-P7 (P931)	12G14	古代	IV層		0.48	0.44	0.46	略円形		-1.37	—	
52	SB3004-P8 (P933)	12G18	古代	IV層		0.67	0.62	0.40	隅丸方形		-1.27	—	
52	SB3004-P9 (P1153)	12G13	古代	IV層		0.52	0.48	0.46	略円形		-1.37	○	89・141
52	SB3004-P10 (P937)	12G7	古代	IV層		0.45	0.42	0.62	略円形		-1.54	○	141
52	SB3004-P11 (P1152)	12G2	古代	IV層		0.50	0.42	0.62	不整形		-1.54	—	
52	SB3004-P12 (P2654)	12G1	古代	IV層		0.45	(0.42)	0.44	略円形		-1.36	○	
53	SB3005-P1 (P922)	12G8	古代	IV層		0.36	0.33	0.63	略円形		-1.48	—	
53	SB3005-P2 (P674)	12G9	古代	IV層		0.53	0.50	0.62	略円形		-1.52	—	
53	SB3005-P3 (P2650)	12G4・5	古代	IV層		0.48	0.46	0.39	略円形		-1.34	—	
53	SB3005-P4 (P915)	12G10	古代	IV層		0.52	0.48	0.52	略円形		-1.44	—	
53	SB3005-P5 (P916)	12H11	古代	IV層		0.48	0.43	0.65	略円形		-1.58	—	
53	SB3005-P6 (P919)	12H11・16	古代	IV層		0.48	0.38	0.37	楕円形		-1.30	—	
53	SB3005-P7 (P926)	12G20	古代	IV層		0.38	0.33	0.22	略円形		-1.13	—	
53	SB3005-P8 (P936)	12G20・25	古代	IV層		0.55	0.46	0.17	隅丸方形		-1.06	○	89・141
53	SB3006-P1 (P935)	12G19	古代	IV層		0.52	0.46	0.41	略円形		-1.28	—	
53	SB3006-P2 (P1156)	12G19・20	古代	IV層		0.45	0.41	0.30	略円形		-1.19	—	
53	SB3006-P3 (P928)	12G20	古代	IV層		0.35	0.31	0.25	隅丸方形		-1.17	—	
53	SB3006-P4 (P56)	12H21・22	古代	IV層		0.37	0.29	0.43	楕円形		-1.38	—	
53	SB3006-P5 (P2092)	13H2	古代	IV層					略円形			—	
53	SB3006-P6 (P2093)	13H2	古代	IV層					略円形			—	
53	SB3006-P7 (P442)	13H6	古代	IV層		0.50	0.40	0.53	略円形		-1.45	○	
53	SB3006-P8 (P1000)	13H1	古代	IV層		0.48	0.40	0.54	略円形		-1.45	—	
53	SB3006-P9 (P476)	12G25	古代	IV層		0.53	0.47	0.51	楕円形		-1.40	○	89
54	SB3007-P1 (P994)	13H11	古代	IV層		0.37	0.34	0.27	略円形		-1.19	—	
54	SB3007-P2 (P439)	13H7	古代	IV層		0.43	0.39	0.57	略円形		-1.47	○	
54	SB3007-P3 (P430)	13H12	古代	IV層		0.47	0.39	0.51	楕円形		-1.44	—	
54	SB3007-P4 (P436)	13H18	古代	IV層		0.39	0.37	0.53	略円形		-1.45	—	
54	SB3007-P5 (P1171)	13H24	古代	IV層		0.43	0.40	0.21	略円形		-1.15	—	
54	SB3007-P6 (P穴)	13H23	古代	IV層		0.30	0.3	0.10	略円形		-1.00	—	
54	SB3007-P7 (P1182)	14H2	古代	IV層		0.35	0.33	0.20	略円形		-1.13	—	
54	SB3007-P8 (P474)	13H21	古代	IV層		0.43	0.38	0.60	略円形		-1.47	—	
54	SB3007-P9 (P2636)	13H16	古代	IV層		0.34	0.23	0.19	略円形		-1.08	—	
54	SB3007-P10 (P1185)	13H16	古代	IV層		0.43	0.41	0.61	略円形		-1.54	—	
54	SB3007-P11 (P486)	13G20	古代	IV層		0.39	0.34	0.54	略円形		-1.49	○	89
54	SB3007-P12 (P1192)	13G20	古代	IV層		0.31	0.29	0.34	略円形		-1.29	—	
54	SB3007-P13 (P2097)	13H21・16	古代	IV層		0.38	0.37	0.64	略円形		-1.60	—	
54	SB3007-P14 (P1184)	13H21	古代	IV層		0.33	0.31	0.49	略円形		-1.43	—	

図版 No.	構 造	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規 模 (m)			形 態		底面 標高 (m)	遺物 有無	遺物図版頁
						上 端		深 度	平 面	断 面			
						長 軸	短 軸						
54	SB3007-P15 (P1183)	14H2	古代	IV層		0.39	0.33	0.39	楕円形		1.34	—	
55	SB3008-P1 (P810)	12F4	古代	IV層		0.58	0.48	0.60	楕円形		-1.54	○	
55	SB3008-P2 (P2652)	12F5	古代	IV層		0.40	0.37	0.16	略円形		-1.10	—	
55	SB3008-P3 (P971)	12F15	古代	IV層		0.74	0.55	0.41	楕円形		-1.38	—	
55	SB3008-P4 (P2658)	12F19	古代	IV層		0.50	0.47	0.26	略円形		-1.28	—	
55	SB3008-P5 (P813)	12F9・14	古代	IV層		0.54	0.52	0.44	略円形		-1.42	—	
55	SB3009-P1 (P2608)	12G18	古代	IV層		0.35	0.34	0.30	隅丸方形		-1.30	—	
55	SB3009-P2 (P2052)	13G4	古代	IV層		0.43	0.42	0.46	略円形		-1.43	○	89
55	SB3009-P3 (P2634)	13G10	古代	IV層		0.37	0.33	0.68	略円形		-1.64	—	
55	SB3009-P4 (P2096)	13G	古代	IV層		0.58	0.45	0.69	楕円形		-1.65	—	
55	SB3009-P5 (P2632)	13G13	古代	IV層		0.42	0.31	0.48	不整形		-1.59	—	
55	SB3009-P6 (P2639)	13G8	古代	IV層		0.43	(0.40)	0.31	楕円形		-1.34	—	
55	SB3009-P7 (P2624)	13G1・2	古代	IV層		0.52	0.46	0.61	略円形		-1.63	—	
55	SB3009-P8 (P2612)	13G2・3	古代	IV層		0.36	0.31	0.40	略円形		-1.45	—	
55	SB3009-P9 (P2099)	13G8	古代	IV層		0.37	0.33	0.56	隅丸方形		-1.58	—	
56	SB3010-P1 (P2627)	13F20	古代	IV層		0.60	0.47	0.62	楕円形		-1.73	—	
56	SB3010-P2 (P2625)	13G11	古代	IV層		0.60	0.58	0.34	隅丸方形		-1.43	—	
56	SB3010-P3 (P2618)	13G6・7・11・12	古代	IV層		0.62	0.54	0.39	略円形		-1.44	—	
56	SB3010-P4 (P2008)	13G12	古代	IV層		0.48	0.41	0.38	略円形		-1.43	—	
56	SB3010-P5 (P2602)	13G18	古代	IV層		0.50	0.42	0.43	楕円形		-1.48	—	
56	SB3010-P6 (P2626)	13G18・23	古代	IV層		0.55	0.48	0.48	略円形		-1.52	—	
56	SB3010-P7 (P1200)	13G24	古代	IV層		0.67	0.62	0.64	略円形		-1.64	○	
56	SB3010-P8 (P1196)	14G4・5	古代	IV層		0.72	0.51	0.58	楕円形		-1.56	○	
56	SB3010-P9 (P2045)	14G9	古代	IV層		0.48	0.45	0.25	略円形		-1.25	—	
56	SB3010-P10 (P2641)	14G8	古代	IV層		0.45	0.36	0.61	略円形		-1.63	—	
56	SB3010-P11 (P2629)	14G2	古代	IV層		0.40	0.39	0.53	略円形		-1.57	—	
56	SB3010-P12 (P2630)	14G2	古代	IV層		0.60	0.47	0.53	楕円形		-1.56	○	
56	SB3010-P13 (P2619)	13G21	古代	IV層		0.59	0.56	0.55	略円形		-1.62	○	
56	SB3010-P14 (P2631)	13F20, 13G16	古代	IV層		0.46	0.42	0.28	隅丸方形		-1.42	—	
56	SB3010-P15 (P2663)	13G16	古代	IV層		0.42	0.38	0.39	略円形		-1.49	—	
56	SB3010-P16 (P2015)	13G17	古代	IV層		0.43	0.32	0.14	不整形		-1.19	—	
56	SB3010-P17 (P2081)	13G23	古代	IV層		(0.36)	0.30	0.49	略円形		-1.48	○	
57	SB3011-P1 (P2374)	14I17	古代	IV層		0.35	0.33	0.38	略円形		-1.31	—	
57	SB3011-P2 (P1137)	14I13	古代	IV層		0.40	0.23	0.25	楕円形		-1.18	○	134
57	SB3011-P3 (P2296)	14I9	古代	IV層		0.33	0.31	0.43	略円形		-1.33	○	
57	SB3011-P4 (P2209)	14I15	古代	IV層		0.39	0.38	0.29	略円形		-1.25	—	
57	SB3011-P5 (P2238)	14I20	古代	IV層		0.39	0.36	0.38	略円形		-1.31	—	
57	SB3011-P6 (P2262)	14J16	古代	IV層		0.33	0.30	0.46	略円形		-1.39	○	
57	SB3011-P7 (P2236)	14I25, 15I5	古代	IV層		0.40	0.33	0.33	隅丸方形		-1.24	—	
57	SB3011-P8 (P2548)	15I9	古代	IV層		0.33	0.32	0.46	略円形		-1.37	—	
57	SB3011-P9 (P1131)	15I3	古代	IV層		0.33	0.31	0.37	略円形		-1.30	—	
57	SB3011-P10 (P2373)	14I23	古代	IV層		0.40	0.33	0.43	楕円形		-1.36	—	
57	SB3011-P11 (P1132)	14I18・19	古代	IV層		0.53	0.48	0.39	略方形		-1.31	○	
57	SB3011-P12 (P2266)	14I24	古代	IV層		0.47	0.33	0.38	楕円形		-1.32	—	
57	SB3011-P13 (P2297)	14I9	古代	IV層		0.27	0.23	0.23	略円形		-1.17	—	
57	SB3011-P14 (P2210)	14I15	古代	IV層		0.26	0.24	0.24	略円形		-1.18	—	
57	SB3011-P15 (P203)	14J11	古代	IV層		0.30	0.24	0.13	略円形		-1.08	—	
57	SB3011-P16 (P242)	14J17	古代	IV層		0.30	0.25	0.06	隅丸方形		-0.98	—	
58	SB3012-P1 (P2551)	15I10	古代	IV層		0.32	0.29	0.31	略円形		-1.24	○	
58	SB3012-P2 (P40)	15I10	古代	IV層		0.13	0.13	0.13	略方形		-1.03	—	
58	SB3012-P3 (P46)	15J1	古代	IV層		0.15	0.15	0.13	楕円形		-1.06	—	
58	SB3012-P4 (P2559)	16I8	古代	IV層		0.27	0.24	0.22	略円形		-1.20	—	
58	SB3012-P5 (P228)	15J7・8	古代	IV層		0.37	0.34	0.21	略方形		-1.14	—	
58	SB3012-P6 (P2587)	15J13	古代	IV層		0.37	0.35	0.34	略円形		-1.27	—	
58	SB3012-P7 (P2258)	15J13	古代	IV層		0.31	0.30	0.45	略円形		-1.36	—	
58	SB3012-P8 (P2592)	15J19	古代	IV層		0.28	0.24	0.25	隅丸方形		-1.21	—	
58	SB3012-P9 (P2278)	15J22	古代	IV層		0.30	0.29	0.23	略円形		-1.19	—	
58	SB3012-P10 (P2264)	15J22	古代	IV層		0.33	0.27	0.36	楕円形		-1.28	—	
58	SB3012-P11 (P2266)	15J17	古代	IV層		0.37	0.28	0.27	略方形		-1.17	○	
58	SB3012-P12 (P2255)	15J16	古代	IV層		0.42	0.30	0.35	楕円形		-1.24	—	
58	SB3012-P13 (P58)	15J16	古代	IV層		0.32	0.27	0.36	略円形		-1.33	○	
58	SB3012-P14 (P2251)	15I15	古代	IV層		0.36	0.31	0.56	略円形		-1.48	○	
58	SB3013-P1 (P57)	14I24	古代	IV層		0.29	0.27	0.24	略円形		-1.14	○	
58	SB3013-P2 (P2231)	14I20	古代	IV層		0.33	0.30	0.33	略円形		-1.25	—	
58	SB3013-P3 (P215)	14J16	古代	IV層		0.51	0.38	0.11	楕円形		-1.02	○	
58	SB3013-P4 (P242)	14J17	古代	IV層		0.14	0.13	0.06	略円形		-0.98	○	
58	SB3013-P5 (P2292)	14J22	古代	IV層		0.23	0.20	0.27	略円形		-1.23	○	
58	SB3013-P6 (P2222)	14J23	古代	IV層		0.26	0.24	0.34	略円形		-1.32	—	
58	SB3013-P7 (P7)	15J2	古代	IV層		0.46	0.41	0.12	略円形		-1.04	○	89
58	SB3013-P8 (P2239)	15J6	古代	IV層		0.23	0.23	0.37	略円形		-1.27	—	
58	SB3013-P9 (P2256)	15I5	古代	IV層		0.32	0.28	0.45	楕円形		-1.37	○	
59	SB3014-P1 (P2537)	15H15	古代	IV層		0.69	0.65	0.45	隅丸方形		-1.42	—	
59	SB3014-P2 (P2538)	15I11	古代	IV層		0.67	0.50	0.32	略方形		-1.23	—	
59	SB3014-P3 (P2539)	15I7	古代	IV層		1.17	0.75	0.33	隅丸方形		-1.24	○	
59	SB3014-P4 (P2398)	15I8	古代	IV層		0.70	0.60	0.37	隅丸方形		-1.29	—	
59	SB3014-P5 (P2533)	15I13	古代	IV層		0.81	0.65	0.40	略方形		-1.32	—	
59	SB3014-P6 (P2531)	15I19	古代	IV層		0.89	(0.78)	0.48	方 形		-1.43	—	
59	SB3014-P7 (P446)	15I25	古代	IV層		(0.75)	0.37	0.37	隅丸長方形		-1.30	○	
59	SB3014-P8 (P2536)	15I24	古代	IV層		0.65	0.51	0.44	隅丸方形		-1.39	—	
59	SB3014-P9 (P2328)	15I23, 16I3	古代	IV層		0.90	0.66	0.57	隅丸長方形		-1.52	○	
59	SB3014-P10 (P2340)	16I2	古代	IV層		0.77	0.65	0.60	隅丸方形		-1.59	○	
59	SB3014-P11 (P2512)	15I21	古代	IV層		0.60	0.57	0.58	隅丸方形		-1.56	—	
59	SB3014-P12 (P2540)	15I16	古代	IV層		0.70	0.35	0.46	隅丸長方形		-1.41	○	



別 表

図版 No.	遺 構	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規 模 (m)			形 態		底面 標高 (m)	遺物 有無	遺物図版頁
						上 端		深 度	平 面	断 面			
						長 軸	短 軸						
59	SB3014-P13 (P429)	15I17	古代	IV層		0.60	0.47	0.68	略方形		-1.61	○	89
59	SB3014-P14 (P467)	15I12・13	古代	IV層		0.64	0.58	0.56	隅丸方形		-1.47	○	
59	SB3014-P15 (P2399)	15I18	古代	IV層		0.77	0.48	0.54	隅丸長方形		-1.50	○	134
59	SB3014-P16 (P2400)	15I22	古代	IV層		0.54	0.50	0.55	隅丸方形		-1.47	—	
60	SB3015-P1 (P2564)	15H1	古代	IV層		0.32	0.27	0.64	略方形		-1.61	—	
60	SB3015-P2 (P2524)	15H1	古代	IV層		0.25	0.21	0.13	略円形		-1.08	—	
60	SB3015-P3 (P2676)	14H22	古代	IV層		0.27	0.25	0.62	略円形		-1.56	—	
60	SB3015-P4 (P2598)	15H3	古代	IV層		0.26	0.24	0.49	略円形		-1.44	—	
60	SB3015-P5 (P2384)	15H7	古代	IV層		0.23	0.15	0.39	隅丸長形		-1.34	—	
60	SB3015-P6 (P2677)	15H6	古代	IV層		0.29	0.25	0.20	略円形		-1.16	—	
61	SB3016-P1 (P2703)	16K14	古代	IV層		0.65	0.48	0.50	隅丸長方形		-1.35	○	
61	SB3016-P2 (P2704)	16K10・15	古代	IV層		0.35	0.30	0.37	隅丸方形		-1.23	—	
61	SB3016-P3 (P2705)	16K10、16L6	古代	IV層		0.65	0.58	0.53	隅丸方形		-1.41	—	
61	SB3016-P4 (P2706)	16L6	古代	IV層		0.62	0.55	0.47	隅丸方形		-1.31	—	
61	SB3016-P5 (P2707)	16L12	古代	IV層		0.65	0.56	0.35	隅丸方形		-1.18	○	
61	SB3016-P6 (P2708)	16L16	古代	IV層		0.37	0.32	0.33	隅丸方形		-1.15	—	
61	SB3016-P7 (P2701)	16L11・21	古代	IV層		0.47	0.39	0.43	隅丸方形		-1.33	—	
61	SB3016-P8 (P2702)	16K20	古代	IV層		0.62	0.54	0.57	楕円形		-1.41	—	
61	SB3016-P9 (P2709)	16K15、16L11	古代	IV層		0.62	0.52	0.70	略方形		-1.50	○	89
61	SB3016-P10 (P2766)	16K14	古代	IV層		0.28	(0.23)	0.30	略円形		-1.18	-	
61	SB3016-P11 (P2714)	16K9	古代	IV層		0.18	0.16	0.27	略円形		-1.19	-	
61	SB3016-P12 (P2715)	16K5・10	古代	IV層		0.24	0.20	0.27	略円形		-1.17	-	
61	SB3016-P13 (P2731)	16K5、16L1	古代	IV層		0.25	0.21	0.14	略円形		-1.05	-	
61	SB3016-P14 (P2716)	16L1	古代	IV層		0.27	0.24	0.16	略円形		-1.06	-	
61	SB3016-P15 (P2717)	16L7	古代	IV層		0.21	0.18	0.32	略円形		-1.19	-	
61	SB3016-P16 (P2718)	16L7	古代	IV層		0.42	0.34	0.34	楕円形		-1.20	-	
61	SB3016-P17 (P2719)	16L12・13	古代	IV層		0.38	0.27	0.30	楕円形		-1.12	○	
61	SB3016-P18 (P2720)	16L17	古代	IV層		0.33	0.29	0.39	略円形		-1.24	○	
61	SB3016-P19 (P2710)	16K25	古代	IV層		0.18	(0.15)	0.27	楕円形		-1.20	—	
61	SB3016-P20 (P2711)	16K20	古代	IV層		0.17	0.14	0.25	略円形		-1.19	—	
61	SB3016-P21 (P2713)	16K19	古代	IV層		0.22	0.08	0.23	長楕円形		-1.11	—	
60	SB3017-P1 (P2804)	17I11	古代	IV層		0.45	0.36	0.51	隅丸方形		-1.64	○	89
60	SB3017-P2 (P2803)	17I12	古代	IV層		0.40	0.30	0.36	略円形		-1.47	—	
60	SB3017-P3 (P2802)	17I13・18	古代	IV層		0.32	0.28	0.33	略円形		-1.46	—	
60	SB3017-P4 (P2808)	17I11	古代	IV層		0.38	0.32	0.39	略円形		-1.53	—	
60	SB3017-P5 (P2198)	17I22	古代	IV層		0.43	0.38	0.60	略円形		-1.77	—	
62	SB3018-P1 (P2784)	16M17・22	古代	IV層		0.75	0.60	0.46	隅丸方形		-1.37	—	
62	SB3018-P2 (P2775)	16M12・17	古代	IV層		0.50	0.38	0.48	略円形		-1.39	○	
62	SB3018-P3 (P2138)	16M18	古代	IV層		0.50	0.47	0.35	略円形		-1.24	—	
62	SB3018-P4 (P2137)	16M18・19	古代	IV層		0.56	0.43	0.39	隅丸方形		-1.28	○	90
62	SB3018-P5 (P1930)	16M24・25	古代	IV層		0.75	0.50	0.72	隅丸長方形		-1.52	○	90・134
62	SB3018-P6 (P1545)	16M25	古代	IV層		0.30	0.20	0.27	楕円形		-1.05	—	
62	SB3018-P7 (P2000)	17N1	古代	IV層		(0.55)	0.47	0.33	略円形		-1.10	—	
62	SB3018-P8 (P1942)	17M10	古代	IV層		0.45	0.33	0.23	不整円形		-0.99	○	
62	SB3018-P9 (P2459)	17M9	古代	IV層		0.28	0.23	0.34	楕円形		-1.18	—	
62	SB3018-P10 (P1600)	17M8	古代	IV層		0.45	0.35	0.36	略円形		-1.16	○	
62	SB3018-P11 (P2937)	17M2・7	古代	IV層		0.50	0.45	0.48	不整円形		-1.29	○	
62	SB3018-P12 (P1594)	17M2	古代	IV層		0.45	0.43	0.32	略円形		-1.10	—	
62	SB3018-P13 (P2143)	16M13	古代	IV層		0.35	0.30	0.26	略方形		-1.24	—	
62	SB3018-P14 (P2142)	16M19	古代	IV層		0.68	0.36	0.26	楕円形		-1.19	—	
62	SB3018-P15 (P2458)	16M20	古代	IV層		0.30	0.23	0.61	略円形		-1.42	—	
62	SB3018-P16 (P1641)	16M25	古代	IV層		0.19	0.15	0.13	不整円形		-0.95	—	
62	SB3018-P17 (P2962)	16N21	古代	IV層		0.22	0.21	0.26	略円形		-1.09	—	
63	SB3019-P1 (P2941)	17M8	古代	IV層		0.40	0.37	0.24	略円形		-1.06	—	
63	SB3019-P2 (P1533)	17M8・9	古代	IV層		0.21	0.27	0.23	略円形		-1.03	—	
63	SB3019-P3 (P1636)	16M25	古代	IV層		0.28	0.25	0.87	略円形		-1.71	—	
63	SB3019-P4 (P2410)	17M5	古代	IV層		0.39	0.30	0.68	略円形		-1.54	—	
63	SB3019-P5 (P1989)	17N1	古代	IV層		0.25	0.18	0.33	略円形		-1.16	○	
63	SB3019-P6 (P1605)	17N6	古代	IV層		0.40	0.32	0.27	略円形		-1.03	—	
63	SB3019-P7 (P1987)	17M15	古代	IV層		0.22	0.20	0.85	略円形		-1.67	—	
63	SB3019-P8 (P1960)	17M15	古代	IV層		0.50	0.37	0.43	楕円形		-1.20	—	
63	SB3019-P9 (P1674)	17M14	古代	IV層		0.33	0.29	0.23	略円形		-1.02	—	
63	SB3020-P1 (P1529)	17N11	古代	IV層		0.21	0.19	0.21	略円形		-0.99	—	
63	SB3020-P2 (P1552)	17N3	古代	IV層		0.18	0.15	0.16	楕円形		-0.95	—	
63	SB3020-P3 (P1969)	17N3	古代	IV層		0.21	0.18	0.11	略円形		-0.91	○	90
63	SB3020-P4 (P1611)	17N9	古代	IV層		0.16	0.12	0.07	略円形		-0.85	—	
63	SB3020-P5 (P1678)	17N13	古代	IV層		0.30	0.26	0.26	略円形		-1.02	—	
63	SB3020-P6 (P2945)	17N18	古代	IV層		0.25	0.22	0.24	略円形		-1.06	○	
64	SB3021-P1 (P1558)	17N14	古代	IV層		0.16	0.16	0.18	略円形		-0.95	—	
64	SB3021-P2 (P1964)	17N9	古代	IV層		0.28	0.25	0.31	略円形		-1.09	—	
64	SB3021-P3 (P1561)	17N9・10	古代	IV層		0.35	0.30	0.20	略円形		-0.99	—	
64	SB3021-P4 (P1562)	17N	古代	IV層		0.27	0.24	0.26	楕円形		-1.02	○	
64	SB3021-P5 (P1970)	17O6	古代	IV層		0.27	0.25	0.26	略円形		-1.02	○	
64	SB3021-P6 (P1995)	17O12	古代	IV層		0.22	0.18	0.25	略円形		-1.02	—	
64	SB3021-P7 (P1948)	17M20、17N16	古代	IV層		0.26	0.23	0.25	略円形		-1.02	—	
64	SB3021-P8 (P1480)	17O16	古代	IV層		0.29	0.18	0.24	楕円形		-1.00	—	
64	SB3021-P9 (P1477)	17N20	古代	IV層		0.45	0.40	0.33	略円形		-1.09	—	
65	SB3022-P1 (P1956)	17M5	古代	IV層		0.29	0.22	0.25	略円形		-1.01	—	
65	SB3022-P2 (P2410)	17M5	古代	IV層		0.37	0.30	0.76	略円形		-1.52	—	
65	SB3022-P3 (P1560)	16N21	古代	IV層		0.31	0.27	0.48	略円形		-1.29	○	
65	SB3022-P4 (P2951)	16N16	古代	IV層		0.32	0.20	0.19	楕円形		-1.05	○	90
65	SB3022-P5 (P1655)	16N22	古代	IV層		0.26	0.22	0.22	略円形		-1.04	—	
65	SB3022-P6 (P1654)	16N23	古代	IV層		0.20	0.20	0.18	略円形		-1.03	—	

図版 No.	遺構	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規模 (m)			形態		底面 標高 (m)	遺物 有無	遺物図版頁
						上端		深度	平面	断面			
						長軸	短軸						
65	SB3022-P7 (P1612)	16N23	古代	IV層		0.30	0.25	0.07	略円形		-0.88	-	
65	SB3022-P8 (P1651)	17N5	古代	IV層		0.30	0.25	0.14	略円形		-0.95	-	
65	SB3022-P9 (P1580)	17N10	古代	IV層		0.27	0.25	0.36	略円形		-1.13	○	
65	SB3022-P10 (P1554)	17N13	古代	IV層		0.24	0.21	0.20	略円形		-0.99	-	
65	SB3022-P11 (P1531)	17N7	古代	IV層		0.26	0.20	0.19	略円形		-0.96	-	
65	SB3022-P12 (P1667)	17N6	古代	IV層		0.25	0.21	0.31	略円形		-1.07	-	
65	SB3022-P13 (P1583)	16O22	古代	IV層		0.35	0.32	0.09	略円形		-0.98	-	
66	SB3023-P1 (P1364)	18P12	古代	IV層		0.52	0.45	0.37	隅丸方形		-1.24	-	
66	SB3023-P2 (P2981)	18P8	古代	IV層		0.75	0.58	0.36	隅丸方形		-1.20	-	
66	SB3023-P3 (P2985)	18P3・4・8・9	古代	IV層		0.65	0.63	0.62	隅丸方形		-1.50	-	
66	SB3023-P4 (P1832)	18P	古代	IV層		0.65	0.61	0.52	略円形		-1.39	-	
66	SB3023-P5 (P1811)	18P	古代	IV層		0.67	0.60	0.39	略円形		-1.30	-	
66	SB3023-P6 (P久)	18P15	古代	IV層		0.67	0.66	0.39	略円形		-1.30	-	
66	SB3023-P7 (P久)	18P19	古代	IV層		0.66	0.60	0.42	略円形		-1.30	-	
66	SB3023-P8 (P2984)	18P19	古代	IV層		0.72	0.70	0.46	隅丸方形		-1.29	-	
66	SB3023-P9 (P2495)	18P13・18	古代	IV層		0.55	0.50	0.38	略円形		-1.20	-	
64	SB3024-P1 (P2439)	17M25、18M5	古代	IV層		0.51	0.50	0.65	略円形		-1.40	○	
64	SB3024-P2 (P2942)	17N21	古代	IV層		0.35	0.32	0.59	隅丸方形		-1.37	-	
64	SB3024-P3 (P2936)	17N11	古代	IV層		0.35	0.30	0.41	略円形		-1.21	-	
64	SB3024-P4 (P1988)	17N22	古代	IV層		0.38	(0.36)	0.30	略円形		-1.13	-	
64	SB3024-P5 (P2959)	18N2	古代	IV層		0.22	0.20	0.34	略円形		-1.19	-	
64	SB3024-P6 (P2960)	18N2	古代	IV層		0.40	0.38	0.61	略円形		-1.38	-	
64	SB3024-P7 (P1432)	18N1	古代	IV層		0.45	0.30	0.38	楕円形		-1.17	-	
29	P17	15J23	古代	IV層		0.65	(0.50)	0.41	略円形		-1.34	○	90
29	P19	15J18・19	古代	IV層		(0.78)	0.58	0.07	楕円形		-1.03	○	90
29	P25	14J22	古代	IV層		0.67	0.39	0.17	楕円形と円形		-1.14	○	90
29	P72	15J8	古代	IV層		0.73	0.57	0.18	略方形		-1.09	○	90・151
15	P180	8E13	古代	IV層		0.86	0.81	0.37	略円形		-1.22	○	91・155
15	P194	8E19	古代	IV層		0.50	0.48	0.34	略円形		-1.22	○	91
29	P255	15J2	古代	IV層		0.55	0.47	1.33	楕円形		-2.32	○	91・134・152
23	P288	12H17	古代	IV層		0.68	0.57	0.55	楕円形		-1.46	○	91・141・153
23	P300	12G15	古代	IV層		0.62	0.55	0.56	隅丸方形		-1.49	○	91
15	P319	9E18・23	古代	IV層		1.03	0.84	0.17	楕円形		-1.13	○	91
15	P326	8E19	古代	IV層		0.60	(0.54)	0.38	略円形		-1.23	○	91
15	P343	8E18	古代	IV層		1.02	0.84	0.42	楕円形		-1.24	○	91
15	P387	8D14	古代	IV層		1.10	0.90	0.27	楕円形		-1.07	○	91
20	P621	11G19	古代	IV層		0.39	0.37	0.17	略円形		-1.08	○	91
20	P630	11G12	古代	IV層		0.50	0.40	0.63	楕円形		-1.52	○	91
20	P647	11G17	古代	IV層		0.41	0.39	0.07	略円形		-0.95	○	91
42	P712	19P14	古代	IV層		0.42	0.35	0.28	不整円形		-1.12	○	91
43	P800	20P9	古代	IV層		0.57	0.38	0.55	楕円形		-1.44	○	134
15	P1056	8E7・12	古代	IV層		-	0.76	34	楕円形		-1.16	○	91
23	P1158	12H17	古代	IV層		0.50	0.40	0.41	卵形		-1.33	○	91・134
15	P1263	8E13・18	古代	IV層		0.33	0.32	0.23	略円形		-1.09	○	91
15	P1297	8E12	古代	IV層		0.34	0.32	0.28	略円形		-1.10	○	92
15	P1300	8D3	古代	IV層		0.79	0.66	0.49	略方形		-1.30	○	92
43	P1316	19P8・9	古代	IV層		0.52	0.40	0.24	不整円形		-1.01	○	92
36	P1412	18N9	古代	IV層		0.83	0.70	0.27	楕円形		-1.02	○	134
43	P1516	19Q21	古代	IV層		0.80	0.55	0.41	楕円形		-1.48	○	92
38	P1570	17N8	古代	IV層		0.37	0.25	0.12	楕円形		-0.89	○	134
33	P1597	16M23・24、17M3・4	古代	IV層		0.58	0.45	0.33	略円形		-1.09	○	92
38	P1625	17N10	古代	IV層		0.21	0.18	0.23	楕円形		-1.00	○	134
33	P1635	16M20	古代	IV層		0.20	0.20	0.05	略円形		-0.84	○	134
38	P1662	17N9	古代	IV層		0.35	0.30	0.12	略円形		-0.90	○	134
33	P1959	16M23	古代	IV層		0.30	0.25	0.33	略円形		-1.13	○	92
38	P1994	17O7	古代	IV層		0.61	0.55	0.46	略円形		-1.30	○	134
23	P2028	14G14	古代	IV層		0.51	0.42	0.20	略円形		-1.21	○	92
27	P2343	16I14	古代	IV層		(0.50)	0.46	0.45	楕円形		-1.51	○	92
36	P2453	17N11	古代	IV層		(0.22)	(0.22)	0.22	略円形		-1.02	○	134
27	P2600	15H8	古代	IV層		0.30	(0.27)	0.23	略円形		-1.18	○	92
27	P2673	16I9	古代	IV層		0.23	0.16	0.20	略方形		-1.21	○	92・151
33	P2740	16L18・19	古代	IV層		0.38	0.35	0.30	隅丸方形		-1.19	○	134
33	P2762	16L18	古代	IV層		0.15	0.13	0.16	略円形		-1.03	○	92・152
33	P2778	16M21	古代	IV層		0.45	0.35	0.29	楕円形		-1.18	○	92・153
67	SE2	15K12・13・17・18	古代	IV層		1.39	1.30	1.17	略円形	台形状	-2.15	○	92・142・149
67	SE4	15K1・2・6・7	古代	IV層		1.57	1.50	1.35	略円形	箱形	-2.55	○	
67	SE9	14I5・10	古代	IV層		1.32	1.31	1.34	隅丸方形	箱形	-2.34	-	
67	SE77	13H15・20	古代	IV層		1.48	1.38	-	略円形	箱形	-	○	93
67	SE347	9D25、9E21	古代	IV層		1.72	1.38	1.25	不整円形	漏斗状	-2.27	○	93
67	SE510	20Q14	古代	IV層		2.05	1.70	1.15	不整方形	漏斗状	-1.96	○	93・142・153
68	SE521	19Q15・16	古代	IV層		2.32	2.05	1.60	略円形	漏斗状	-2.47	○	93
68	SE602	10F4・5・9・10	古代	IV層		1.60	1.35	1.12	楕円形	台形状	-2.06	○	93・136・142
68	SE708	18N15・20	古代	IV層		3.00	2.80	2.04	略円形	漏斗状	-2.84	○	94・142
68	SE811	11F24・25、12F3・4	古代	IV層		1.65	1.58	0.88	略円形	台形状	-1.78	○	94
69	SE983	14F5・10、14G1・6	古代	IV層		1.80	1.45	0.50	楕円形	台形状	-1.55	○	94・136・142
69	SE984	13F25、14F5	古代	IV層		1.36	1.23	0.50	略円形	台形状	-1.62	○	
69	SE985	13F24・25	古代	IV層		1.00	0.95	0.57	略円形	台形状	-1.67	○	
69	SE989	14G7・8	古代	IV層		1.30	1.13	0.53	略円形	台形状	-1.50	○	
70	SE1220	9F7・8	古代	IV層		1.48	1.17	1.40	楕円形	台形状	-2.30	○	94
69	SE1348	18M10・15、18N6・11	古代	IV層		3.60	3.00	1.56	略円形	漏斗状	-2.37	○	134・142
70	SE1759	11E23、12E3	古代	IV層		1.63	1.55	1.01	略円形	台形状	-2.14	○	94・154
69	SE2053	14G1	古代	IV層		1.43	1.03	0.60	楕円形	台形状	-1.71	○	
70	SE2118	16K3・4・8・9	古代	IV層		2.30	2.20	0.75	略円形	台形状	-1.62	○	94・134

別 表

図版 No.	遺 構	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規 模 (m)			形 態		底面標高 (m)	遺物有無	遺物図版頁
						上 端		深 度	平 面	断 面			
						長 軸	短 軸						
70	SE2357	14H19	古代	IV層		1.45	1.42	1.18	略円形	台形状	-2.08	○	95・142
70	SE2563	15G14・19	古代	IV層		1.26	1.22	0.68	略円形	台形状	-1.76	○	95
71	SK3	15K7・12	古代	IV層	N-40°-W	1.00	0.82	0.24	楕円形	皿形	-1.28	○	95
71	SK6	14J24・15J4	古代	IV層	N-60°-W	1.10	0.92	0.18	楕円形	皿形	-1.18	○	94
71	SK8	15J1・6	古代	IV層		0.95	0.91	0.08	略円形	皿形	-0.98	○	
71	SK10	13I22・14I2	古代	IV層	N-33°-W	0.89	0.88	0.16	隅丸方形	皿形	-1.07	○	95・134
71	SK11	14J24	古代	IV層		1.25	1.12	0.11	隅丸方形	皿形	-1.22	—	
71	SK18	15J18・23	古代	IV層	N-41°-W	2.33	0.97	0.38	隅丸長方形	皿形	-1.19	○	95
71	SK20	15J18・19	古代	IV層	N-50°-W	0.96	0.78	0.16	楕円形	皿形	-1.08	○	95
71	SK21	13I6・11	古代	IV層	N-39°-E	1.65	1.42	0.25	略方形	皿形	-1.05	○	
71	SK22	12H6・7・12	古代	IV層	N-33°-W	2.47	1.45	0.40	隅丸長方形	皿形	-1.30	○	95・96
72	SK24	14J17・22	古代	IV層		1.28	1.20	0.22	略円形	皿形	-1.13	○	96
72	SK28	13I24・25・14I4・5	古代	IV層		1.58	1.52	0.99	略円形	皿形	-1.95	○	96・155
72	SK35	15J24・16J4	古代	IV層	N-63°-W	0.87	0.63	0.12	楕円形	皿形	-1.02	○	
72	SK73	14I22・15I2・3	古代	IV層	N-74°-W	2.40	1.43	0.40	不整形	台形状	-1.33	○	
72	SK74	15I20・25	古代	IV層	N-7°-W	1.20	0.88	0.34	不整長方形	台形状	-1.23	○	96
73	SK75	12I5・10・12H1・6	古代	IV層	N-35°-W	2.82	1.67	0.45	隅丸長方形	台形状	-1.35	○	96・97
73	SK76	11H21・22・12H1・2	古代	IV層	N-50°-W	2.33	(1.85)	0.27	隅丸長方形	皿形	-1.16	○	97
73	SK85	13H5・10・13I1・6	古代	IV層		1.87	1.85	0.37	略円形	皿形	-1.32	○	98
73	SK86	13H5	古代	IV層	N-10°-W	(1.10)	0.93	0.30	楕円形	台形状	-1.11	○	98
73	SK87	12H19・20・24・25	古代	IV層	N-64°-E	(1.30)	1.02	0.20	楕円形	皿形	-1.28	○	
73	SK101	7H5・9・10	古代	IV層	N-50°-E	(2.26)	1.17	0.50	不整楕円形	台形状	-1.96	○	
73	SK141	8F21・22	古代	IV層		0.95	0.88	0.20	略円形	台形状	-1.28	○	
79	SK142	8F16・21	古代	IV層	N-48°-W	—	0.88	0.28	不整円形	皿形	-1.29	○	98
74	SK143	8E14・15	古代	IV層		1.60	1.36	0.50	略円形	台形状	-1.56	○	98
74	SK148	8F22・9F2	古代	IV層		1.44	1.21	0.20	不整円形	台形状	-1.21	○	
74	SK156	8E13・14・18・19	古代	IV層	N-26°-W	1.98	1.68	0.35	隅丸方形	皿形	-1.20	○	98・99・134・155
74	SK219	14J17・18	古代	IV層	N-57°-W	(1.65)	1.30	0.30	楕円形	皿形	-1.25	○	
74	SK229	15K13・14・18・19	古代	IV層		1.48	1.36	0.26	略円形	皿形	-1.23	○	
74	SK244	15K6	古代	IV層	N-88°-W	(0.90)	0.50	0.08	楕円形	皿形	-1.12	—	
74	SK245	15J3・4	古代	IV層	N-25°-W	0.90	0.75	0.20	楕円形	台形状	-1.20	○	
74	SK248	15K1・6	古代	IV層	N-44°-W	1.07	0.75	0.14	楕円形	皿形	-1.21	○	
75	SK250	15K6・7・12	古代	IV層		1.10	1.04	0.28	略円形	皿形	-1.30	○	
75	SK256	13I17・18	古代	IV層	N-78°-E	1.00	0.76	0.16	楕円形	皿形	-1.13	○	99
75	SK257	15I20・15J16	古代	IV層		0.92	0.76	0.24	略円形	台形状	-1.14	○	99
75	SK260	14I23・24	古代	IV層		1.07	0.95	0.34	略円形	台形状	-1.23	○	99・134・151
71	SK264	14J23・24・15J4	古代	IV層	N-41°-W	(1.80)	1.23	0.28	不整楕円形	台形状	-1.33	○	
72	SK270	15I25・15J21	古代	IV層	N-37°-W	1.97	0.65	0.09	隅丸長方形	台形状	-1.02	○	
75	SK273	13H14・19	古代	IV層		1.00	1.00	0.37	略円形	台形状	-1.42	○	
75	SK290	15I19・20	古代	IV層		1.00	0.80	0.15	略円形	皿形	-1.15	○	99
75	SK301	7E15・20・7F16・21	古代	IV層	N-78°-E	2.10	1.63	0.47	不整楕円形	階段状	-2.07	○	99
75	SK304	8E16・21	古代	IV層	N-24°-W	1.22	0.55	0.14	隅丸長方形	皿形	-1.08	○	99
75	SK393	9D24・10D4	古代	IV層	N-53°-W	1.60	1.36	0.25	不整楕円形	台形状	-1.33	○	99
76	SK424	15I13・18	古代	IV層	N-2°-W	1.75	1.34	0.20	楕円形	皿形	-1.12	○	
76	SK428	13H24・14H4	古代	IV層	N-19°-E	0.98	0.68	0.39	楕円形	台形状	-1.43	—	
75	SK447	15I20	古代	IV層		1.24	1.13	0.33	略円形	台形状	-1.34	○	
76	SK605	9F17・18	古代	IV層		1.34	1.13	0.35	楕円形	台形状	-1.21	○	
76	SK609	11G8・9	古代	IV層	N-60°-W	1.26	1.08	0.27	不整円形	台形状	-1.19	—	
76	SK612	11G9・10・14・15	古代	IV層	N-63°-E	0.97	0.92	0.20	隅丸方形	台形状	-1.14	—	
76	SK625	11G17	古代	IV層	N-27°-W	0.98	0.58	0.26	楕円形	台形状	-1.12	○	
76	SK638	11G23	古代	IV層	N-55°-E	0.90	0.35	0.26	楕円形	U字状	-1.19	○	
76	SK650	11G17・18	古代	IV層	N-17°-W	0.75	0.33	0.16	楕円形	箱形	-1.16	—	
76	SK661	11F16	古代	IV層	N-27°-W	1.07	0.45	0.10	楕円形	皿形	-1.05	—	
76	SK677	12F5・10・12G1	古代	IV層	N-51°-E	(1.15)	0.85	0.22	略円形	台形状	-1.12	○	
76	SK685	11G21・12G1	古代	IV層	N-37°-W	1.22	0.77	0.47	楕円形	半円形	-1.36	○	99
77	SK687	12G11	古代	IV層	N-40°-W	1.21	0.84	0.38	楕円形	台形状	-1.30	○	
77	SK707	18M25・18O21・19M5・19O1	古代	IV層		2.07	1.96	0.42	略円形	台形状	-1.22	○	99
77	SK724	20O22・23	古代	IV層	N-64°-W	1.05	0.78	0.16	略楕円形	台形状	-1.06	—	
77	SK736	20O13	古代	IV層	N-59°-E	1.07	0.89	0.22	略円形	台形状	-1.12	—	
77	SK741	19P5・10・19Q1・6	古代	IV層		1.97	1.90	0.17	略円形	皿形	-0.95	○	100・155
77	SK749	19P8・9・13・14	古代	IV層		2.00	1.93	0.24	略円形	皿形	-1.07	○	100
77	SK790	20P14・15・19・20	古代	IV層	N-43°-W	2.40	—	0.25	楕円形	皿形	-1.08	○	
77	SK821	10G22・23	古代	IV層		0.86	0.78	0.25	略円形	台形状	-1.14	—	
78	SK941	12G1・2・6・7・12	古代	IV層	N-25°-W	4.57	0.95	0.70	隅丸長方形	台形状	-1.59	○	100
78	SK942	12F23・13F3・4	古代	IV層	N-23°-W	2.97	0.80	0.72	隅丸長方形	台形状	-1.81	○	100・155
78	SK963	13F8・9	古代	IV層	N-58°-E	0.93	0.65	0.24	楕円形	台形状	-1.30	—	
78	SK979	13G8・9	古代	IV層	N-45°-E	2.17	1.54	0.36	楕円形	台形状	-1.33	○	101
78	SK981	13F10・15・13G1・6・11	古代	IV層	N-51°-W	(3.20)	2.08	0.45	不整楕円形	台形状	-1.43	○	101・142・154・155
79	SK990	13G20・25・13H21	古代	IV層	N-35°-E	1.08	0.63	0.48	楕円形	台形状	-1.41	○	102
79	SK1008	8E21・22・9E1・2	古代	IV層		(1.60)	(1.40)	0.16	隅丸方形	台形状	-1.07	○	102
79	SK1044	8E9・10	古代	IV層		0.86	0.78	0.54	略円形	台形状	-1.63	—	
79	SK1052	8D7	古代	IV層	N-61°-W	1.17	0.75	0.38	楕円形	台形状	-1.24	○	102
79	SK1057	8E7・8・12・13	古代	IV層	N-3°-W	1.15	—	0.30	不整円形	U字状	-1.02	—	
79	SK1059	8E20・25・8F16・21	古代	IV層	N-41°-W	1.73	1.45	0.31	不整円形	皿形	-1.31	○	102
80	SK1079	7D25	古代	IV層	N-49°-W	—	0.95	0.30	略円形	皿形	-1.35	—	
80	SK1093	8C22	古代	IV層	N-50°-E	1.86	0.80	0.20	楕円形	皿形	-1.05	○	102
80	SK1104	14I2・3	古代	IV層	N-50°-E	1.00	0.40	0.06	隅丸長方形	皿形	-1.09	○	
80	SK1105	14I1	古代	IV層		0.93	0.80	0.25	略円形	皿形	-1.14	○	
80	SK1126	15H5	古代	IV層	N-87°-E	1.04	0.54	0.14	隅丸長方形	皿形	-0.95	—	
80	SK1139	14I13	古代	IV層	N-54°-W	0.90	0.48	0.12	略楕円形	台形状	-1.16	○	
79	SK1148	13G20・25・13H21	古代	IV層	N-28°-E	—	1.30	0.23	不整円形	台形状	-1.14	○	
80	SK1201	9D3・4・8・9	古代	IV層		0.93	—	0.18	略円形	皿形	-1.15	○	
80	SK1203	9D10・9E6	古代	IV層	N-84°-E	(1.10)	0.75	0.27	楕円形	台形状	-1.18	—	

図版 No.	遺構	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規模 (m)		深度	形態		底面 標高 (m)	遺物 有無	遺物図版頁
						上端			平面	断面			
						長軸	短軸						
80	SK1210	9D4・5	古代	IV層	N-40°-W	0.92	0.75	0.18	楕円形	皿形	-1.10	-	
81	SK1212	8C10	古代	IV層		1.33	-	0.26	不明	台形状	-1.10	○	102
81	SK1213	8C10、8D6	古代	IV層		(1.45)	-	0.18	不明	台形状	-1.03	○	102
81	SK1217	9E17・22	古代	IV層	N-43°-W	(1.30)	0.83	0.68	楕円形	台形状	-1.46	-	
81	SK1254	9C20・25、9D21	古代	IV層		1.75	1.50	0.26	不整形	皿形	-1.38	○	102
74	SK1256	8F21・22、9F1・2	古代	IV層	N-3°-E	1.17	-	0.27	略円形	半円形	-1.29	-	
81	SK1260	9D5・10	古代	IV層		1.05	0.94	0.13	略円形	皿形	-1.04	-	
81	SK1266	10D14・15・19・20	古代	IV層	N-21°-W	3.25	1.35	0.48	楕円形	台形状	-1.65	○	102・153
81	SK1271	9C7・12	古代	IV層		0.87	0.76	0.09	略円形	台形状	-1.20	-	
81	SK1272	8D15・20	古代	IV層	N-27°-W	1.35	1.00	0.60	略楕円形	台形状	-1.69	-	
81	SK1277	8D20、8E16	古代	IV層	N-67°-E	1.56	1.04	0.30	略三角形	台形状	-1.44	-	
81	SK1280	8F4・9	古代	IV層		1.60	-	0.45	不明	台形状	-2.18	○	143
80	SK1282	7D20・25、7E16・21	古代	IV層	N-31°-W	-	1.15	0.14	不明	皿形	-1.20	-	
82	SK1287	9F18・23	古代	IV層	N-34°-E	1.07	0.91	0.23	楕円形	台形状	-1.14	○	
79	SK1291	8E20・25、8F21	古代	IV層	N-48°-W	1.98	(1.05)	0.18	楕円形	皿形	-1.20	-	
82	SK1408	18N12	古代	IV層	N-56°-W	0.93	0.70	0.48	楕円形	台形状	-1.23	-	
82	SK1515	19Q22、20Q2	古代	IV層	N-30°-W	1.70	1.33	0.22	楕円形	皿形	-1.05	○	102
82	SK1744	11F21・22	古代	IV層		1.07	-	0.22	不明	台形状	-1.20	-	
82	SK1754	11E16・17・21・22	古代	IV層	N-45°-W	3.35	1.70	0.20	略楕円形	皿形	-1.34	○	102
82	SK1774	10F7	古代	IV層		0.86	0.81	0.16	略円形	台形状	-1.20	-	
82	SK1819	17P25	古代	IV層		-	-	0.30	不明	台形状	-1.40	-	
82	SK1820	15O8・9	古代	IV層	N-21°-W	0.87	0.72	0.42	略円形	台形状	-1.80	-	
82	SK1957	16N16・17	古代	IV層		0.90	0.86	0.22	略円形	台形状	-1.05	○	
83	SK1958	17N1・2	古代	IV層		1.08	1.00	0.36	略円形	台形状	-0.99	-	
83	SK1965	16N7・8・12・13	古代	IV層	N-80°-W	2.24	1.38	0.43	楕円形	台形状	-1.33	○	102
83	SK1966	16N8・9・13・14	古代	IV層	N-10°-E	0.98	0.82	0.35	略円形	台形状	-1.55	○	102・134・143
82	SK1978	16N11・12・16・17	古代	IV層		1.24	1.12	0.30	略円形	台形状	-1.28	○	134
83	SK1982	16O11・12	古代	IV層		1.34	1.25	0.36	略円形	台形状	-1.44	○	
83	SK2031	12D25、12E21	古代	IV層	N-55°-E	1.00	0.81	0.31	楕円形	半円形	-1.48	-	
78	SK2050	13F10・15	古代	IV層		1.00	0.98	0.58	略円形	台形状	-1.80	-	
83	SK2057	12G18・23、13G3・4	古代	IV層	N-28°-W	(3.00)	1.00	0.39	楕円形	台形状	-1.33	-	
83	SK2060	14G3	古代	IV層	N-70°-E	0.94	0.55	0.30	隅丸長方形	台形状	-1.40	-	
83	SK2063	13G17・22	古代	IV層		1.03	-	0.13	隅丸方形	台形状	-1.06	-	
84	SK2076	15G1・2・6・7	古代	IV層	N-40°-W	1.18	0.58	0.23	楕円形	台形状	-1.38	-	
84	SK2090	15G7	古代	IV層		0.75	0.66	0.12	略円形	皿形	-1.23	-	
84	SK2123	15L16・17・21・22	古代	IV層		1.65	1.53	0.35	略円形	台形状	-1.30	-	
84	SK2124	16M16・21	古代	IV層	N-52°-W	0.78	0.56	0.15	楕円形	台形状	-0.98	-	
84	SK2125	16L24	古代	IV層		0.87	0.75	0.27	略円形	台形状	-1.07	-	
84	SK2134	15L24・25、16L4・5	古代	IV層		2.31	2.20	0.35	略円形	台形状	-1.34	○	102
84	SK2139	16N6・11	古代	IV層	N-87°-W	1.22	0.85	0.30	楕円形	U字状	-1.60	○	102・154
84	SK2140	15L17・18・22・23	古代	IV層	N-53°-W	2.48	0.95	0.40	隅丸長方形	U字状	-1.53	○	143
84	SK2159	17K1	古代	IV層	N-29°-W	1.36	0.78	0.20	楕円形	台形状	-1.19	○	
84	SK2172	16N6・11	古代	IV層		1.08	-	0.17	不明	台形状	-1.20	-	
84	SK2190	17J15	古代	IV層		0.95	0.87	0.15	略円形	台形状	-1.13	○	
85	SK2200	16M11	古代	IV層	N-56°-W	0.76	0.63	0.26	略円形	台形状	-1.17	○	103
85	SK2217	14J19	古代	IV層		0.85	0.85	0.37	略円形	半円形	-2.02	○	103・151
85	SK2225	15J10、15K6	古代	IV層	N-42°-W	0.93	0.79	0.17	不整形	皿形	-1.11	○	
85	SK2260	15K1	古代	IV層	N-11°-W	1.25	1.03	0.21	不整形	皿形	-1.40	○	103
72	SK2276	14I4	古代	IV層		1.40	-	0.27	略円形	台形状	-1.15	○	
85	SK2289	14J12	古代	IV層		1.15	1.10	0.33	略円形	台形状	-1.21	○	103・151
85	SK2303	16H25	古代	IV層	N-73°-E	0.94	0.63	0.24	楕円形	台形状	-1.27	○	
85	SK2336	16I14	古代	IV層	N-55°-E	0.96	0.48	0.27	不整形	台形状	-1.27	○	
85	SK2341	16I7・12	古代	IV層		-	-	0.13	不明	皿形	-1.12	○	
85	SK2430	18N23	古代	IV層	N-72°-W	1.15	0.94	0.28	楕円形	台形状	-1.12	○	
85	SK2440	18N23	古代	IV層	N-2°-W	(0.82)	0.63	0.15	楕円形	皿形	-0.98	-	
85	SK2455	18M20	古代	IV層		0.95	-	0.24	不明	台形状	-1.02	-	
85	SK2460	18N24	古代	IV層		1.13	1.05	0.26	略円形	台形状	-1.08	○	103
85	SK2465	16M19・24	古代	IV層		1.10	-	0.08	略円形	皿形	-0.88	○	103
86	SK2500	16N10	古代	IV層		2.03	1.95	0.65	略円形	台形状	-1.85	○	103・134・143・153
86	SK2508	16I10	古代	IV層		1.13	-	0.24	略円形	台形状	-1.23	○	103
86	SK2526	16I5・10、16J6	古代	IV層	N-40°-W	3.40	0.90	0.28	不整形	台形状	-1.25	-	
86	SK2635	13F22	古代	IV層	N-49°-W	0.93	0.73	0.28	楕円形	台形状	-1.62	-	
86	SK2637	14H11・16	古代	IV層	N-50°-E	1.37	0.72	0.32	隅丸長方形	台形状	-1.33	-	
86	SK2771	16L10	古代	IV層	N-44°-E	1.10	0.60	0.14	楕円形	台形状	-1.06	-	
86	SK2801	17I12	古代	IV層	N-63°-W	0.98	0.45	0.14	隅丸長方形	台形状	-1.25	-	
86	SK2805	17I6	古代	IV層	N-87°-E	1.00	0.80	0.14	隅丸方形	皿形	-1.20	-	
86	SK2807	17I7・12	古代	IV層		(0.94)	0.80	0.16	略円形	台形状	-1.26	-	
86	SK2831	17K3・4	古代	IV層		1.27	1.12	0.08	不整形	皿形	-0.97	○	
86	SK2841	16L22	古代	IV層	N-5°-W	1.28	1.10	0.23	隅丸方形	台形状	-1.10	-	
87	SK2906	19O15、19P11	古代	IV層		1.40	-	0.18	不明	皿形	-1.01	○	
87	SK2907	19O10、19P6	古代	IV層	N-47°-W	(2.02)	(1.70)	0.15	略円形	皿状	-0.98	○	
23-25-27 -29-32	SD12	12・13H、15J、16K、17K	古代	不明	N-30°-W	61.84	1.25~3.35	0.02~0.56		台形状	-1.52	○	136・143
29	SD15	15J	古代	IV層	N-37°-W	(5.70)	0.35~0.60	0.10~0.25		U字状	-1.16	○	104・135・151
23-25	SD23	12H1・6・7	古代	IV層	N-30°-W	(8.20)	0.35~0.55	0.21~0.27		U字状	-1.21	○	
27-29	SD32	14I7・8・11・12・13・16・21・22	古代	IV層	N-48°-E	8.95	0.35~0.72	0.05~0.19		U字状	-1.11	○	104
27-29	SD33	14I13・17・18	古代	IV層	N-60°-E	2.65	0.27~0.37	0.09~0.10		皿形	-1.05	-	
27-29	SD34	14I・14J	古代	IV層	N-51°-E	8.80	0.25~0.50	0.03~0.14		U字状	-1.10	○	104・135
25	SD80	13H15、13I16	古代	IV層	N-47°-W	2.95	0.26~0.35	0.08~0.15		皿形	-1.06	○	
23-25-27	SD82	13I、14H、15G、16E-F	古代	IV層	N-45°-E	50.90	0.60~1.60	0.30~0.66		台形状	-1.75	○	104~107・151-152-154-155
25	SD88	12H24・25、13H5・10、13I6	古代	IV層	N-28°-W	6.67	0.30~0.50	0.19~0.22		台形状	-1.18	○	
48	SD100	6L	近世力	IV層	N-25°-W	3.50	1.40~1.65	0.05		皿形	-1.05	-	
47-48	SD102	5M、6K・L・M、7I・J・K	近世力	IV層	N-65°-E	(39.0)	0.50~1.80	0.10		皿形	-1.20	○	107



別 表

図版 No.	遺 構	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規 模 (m)			形 態		底面 標高 (m)	遺物 有無	遺物図版頁
						上 端		深 度	平 面	断 面			
						長 軸	短 軸						
48	SD104	4K	近世カ	IV層	N-25°-W	(2.60)	0.40~0.65	0.05		皿形	-1.15	-	
48	SD105	4K・L	近世カ	IV層	N-25°-W	(7.20)	0.42~0.60	0.04		皿形	-1.05	-	
48	SD106	4・5L	近世カ	IV層	N-25°-W	(9.40)	0.28~1.15	0.05		皿形	-1.05	-	
47-48	SD107	4K, 5J・K	近世カ	IV層	N-65°-E	19.70	0.28~0.88	0.05		皿形	-1.15	○	
47-48	SD108	5J・K・L, 6J	近世カ	IV層	N-65°-E	20.80	0.28~0.88	0.03		皿形	-1.13	-	
48	SD109	5J・K	近世カ	IV層	N-25°-W	4.90	0.26~0.60	0.04		皿形	-1.14	-	
48	SD110	5K	近世カ	IV層	N-25°-W	5.50	0.70~0.80	0.05		皿形	-1.15	-	
47-48	SD111	5K	近世カ	IV層	N-25°-W	8.00	0.28~0.93	0.05		皿形	-1.15	-	
47-48	SD112	5K・L, 6K	近世カ	IV層	N-65°-E	13.40	0.40~1.40	0.02		皿形	-1.12	-	
47-48	SD113	5L, 6K・L	近世カ	IV層	N-65°-E	13.60	0.38~0.90	0.05		皿形	-1.15	-	
47-48	SD114	6K・L	近世カ	IV層	N-65°-E	9.90	0.55~1.22	0.03		皿形	-1.03	-	
15-17	SD149	8E9・14	古代	IV層	N-40°-E	(2.15)	0.25~0.38	0.11~0.17		U字状	-1.16	○	107
15	SD150	9E	古代	IV層	N-50°-W	12.40	0.70~0.90	0.28~0.42		U字状	-1.37	○	107・153
15	SD155	8D14・15	古代	IV層	N-60°-E	(2.10)	0.23~0.34	0.16~0.18		皿形	-0.99	○	108
15	SD159	8D3	古代	IV層	N-25°-W	(1.08)	0.52~0.55	0.09~0.10		皿形	-0.92	-	
15	SD167	7E	古代	IV層		4.11	0.60~1.00	0.23~0.37		U字状	-1.31	○	136
15	SD172	9E1・2・7	古代	IV層	N-45°-W	3.76	0.77~1.20	0.33~0.43		U字状	-1.31	○	107
15	SD190	8E23, 9E3・4	古代	IV層	N-43°-W	-	-	0.14~0.23		U字状	-1.08	○	107
17	SD200	7F21・22・23, 8F3・4	古代	IV層	N-60°-E	(5.55)	0.41~0.60	0.27~0.34		U字状	-2.01	○	108・153・154
29	SD220	14J12	古代	IV層		(0.50)	0.32	0.10		U字状	-1.08	-	
29	SD258	15J11・21・22, 16J2・9・17・22	古代	IV層	N-15°-W	13.28	0.23~0.53	0.08~0.28		U字状	-1.39	-	
27-29	SD262	14I12・13・16・17	古代	IV層	N-53°-E	(4.45)	0.18~0.25	0.01~0.06		皿形	-0.96	-	
23	SD278	12G・H, 13H	古代	IV層	N-50°-W	(10.92)	0.25~0.40	0.10~0.23		U字状	-1.14	○	
23	SD279	13H2・3	古代	IV層	N-60°-W	4.13	0.27~0.35	0.03~0.15		皿形	-1.09	-	
23	SD280	12G15, 12H11・16・17・22	古代	IV層	N-40°-W	(4.50)	0.27~0.32	0.22~0.25		U字状	-1.19	-	
23	SD281	12H6・11・12・19・22	古代	IV層	N-40°-W	6.25	0.32~0.40	0.19~0.24		U字状	-1.16	○	108
27	SD291	15I1・2・6・7・8・12・13・18・19	古代	IV層	N-35°-W	8.90	0.25~0.40	0.14~0.25		U字状	-1.16	○	
25	SD297	12H13・18	古代	IV層		(1.25)	0.40~0.45	0.20		U字状	-1.18	○	108・135
17	SD336	7E19・24・25	古代	IV層		4.33	0.40~0.85	0.11~0.23		U字状	-1.47	○	
13	SD394	9D12・16	古代	IV層	N-57°-E	4.70	0.45~0.95			皿形	-1.41	○	
13	SD397	8B25	古代	IV層	N-40°-W	1.63	0.30	0.22~0.23		U字状	-1.41	-	
13	SD398	8B25	古代	IV層	N-40°-W	1.95	0.27	0.22~0.26		U字状	-1.38	○	
15	SD400	7E21, 8E1	古代	IV層	N-35°-W	(3.40)	0.20~0.30	0.11~0.23		U字状	-1.13	-	
22-23	SD402	13G, 14G	古代	IV層	N-50°-W	17.05	0.30~0.50	0.24~0.27		U字状	-1.34	○	
23	SD403	13G・14G・14H	古代	IV層	N-50°-W	(16.40)	0.30~0.50	0.25		U字状	-1.20	○	108・109
25	SD411	12H12・13・17・18	古代	IV層	N-35°-W	-	-	0.10~0.14		U字状	-1.08	-	
27-29	SD417	15I	古代	IV層		(7.30)	0.28~0.60	0.12~0.22	L字状	U字状	-1.15	○	
29-32	SD419	16J3・4・9・10	古代	IV層	N-60°-W	5.73	0.35~0.42	0.11~0.27		U字状	-1.20	○	
27-29	SD421	15I1・2・6, 15H10・14・15	古代	IV層		13.26	0.35~0.90	0.10~0.31		U字状	-1.23	○	109・149
27-29	SD422	15I・J, 16J	古代	IV層	N-37°-W	(11.90)	0.26~0.65	0.07~0.24		U字状	-1.18	○	109・151
29	SD448	16J7・8	古代	IV層	N-60°-W	(2.50)	0.28~0.43	0.17~0.19		U字状	-1.14	○	
23	SD455	13G7・8, 12・13・18・19	古代	IV層	N-41°-W	5.74	0.50~0.55	0.36~0.41		U字状	-1.47	○	109・110
23	SD457	13G4・5・10	古代	IV層	N-50°-W	2.42	0.28~0.32	0.09~0.16		U字状	-1.09	○	
23	SD458	12・13G, 13H	古代	IV層	N-50°-W	20.60	0.32~0.52	0.12~0.37		U字状	-1.28	○	110・151
23	SD478	12G13・18・19・24・25, 13G5	古代	IV層	N-50°-W	(8.55)	0.28~0.40	0.10~0.17		U字状	-1.09	○	
23	SD487	13G19・20・25	古代	IV層	N-30°-W	4.03	0.50~0.80	0.29		U字状	-1.34	-	
33-36	SD509	16-17M, 17N, 18O, 19P, 20Q	近世カ	IV層	N-47°-W	(61.30)	1.00~2.20	0.04~0.29		皿形	-1.05	○	110
45	SD515	19R18・19・24, 20R4・5・9・10	古代	IV層		7.65	1.95~2.35	0.08~0.14		皿形	-0.95	○	
36-42-43	SD522	20P・21P	近世カ	IV層	N-47°-W	(15.90)	0.72~1.57	0.10~0.22		台形状	-1.05	○	
36-38-43	SD523	19O・P, 20P・Q	近世カ	IV層	N-50°-W	(29.51)	0.40~1.27	0.17~0.22		台形状	-1.07	○	
42-43	SD524	18N・O, 19O・P, 20P・Q	近世カ	IV層	N-50°-W	(39.15)	0.28~0.75	0.11~0.27		台形状	-1.05	○	110
18-20	SD601	10E・F	近世カ	IV層	N-66°-E	(17.00)	1.10~2.45	0.07~0.15		台形状	-1.13	○	110
18-20-21	SD606	11F・G, 12D・E	古代	IV層	N-60°-E	44.05	0.95~1.57	0.47~0.88		台形状	-1.87	○	110-111-136-152-153
20-21-23	SD607	11F・G・H, 12G・H	古代	IV層	N-35°-W	36.85	0.20~0.60	0.06~0.40		U字状	-1.82	○	111
20	SD624	11G13	古代	IV層	N-60°-E	(0.90)	0.20	0.05~0.06		U字状	-0.98	-	
20	SD629	11G18・19	古代	IV層	N-48°-E	0.97	0.17	0.04		U字状	-0.96	-	
20	SD632	11G16	古代	IV層	N-50°-E	(2.23)	0.23~0.25	0.06~0.08		U字状	-1.02	○	
20	SD662	10E, 11E・F	古代	IV層	N-28°-W	(4.71)	0.65~0.87	0.20		皿形	-1.20	○	112
18-20	SD663	10E13・18・24, 11E4	古代	IV層	N-40°-W	5.70	0.67~0.87	0.18		皿形	-1.20	○	112
18-20	SD673	11・12F	古代	IV層	N-46°-E	(12.60)	0.23~0.45	0.14~0.20		U字状	-1.19	○	
20	SD678	12F2・3・8	古代	IV層	N-30°-W	3.70	0.23~0.33	0.15~0.18		U字状	-1.18	○	
18-20	SD679	12F2・7・12・13	古代	IV層	N-30°-W	3.90	0.28~0.34	0.14~0.18		U字状	-1.21	○	
18	SD680	12F6・7・12	古代	IV層	N-30°-W	3.41	0.25~0.30	0.10~0.13		U字状	-1.14	○	
18	SD681	12F6・11	古代	IV層	N-30°-W	2.86	0.25~0.34	0.14~0.15		U字状	-1.16	-	
18	SD691	12F6	古代	IV層	N-30°-W	1.37	0.23	0.11		U字状	-1.10	-	
23	SD695	12F・G, 13G	古代	IV層	N-50°-W	13.25	0.40~0.55	0.20~0.42		U字状	-1.34	○	112
23	SD696	12F・G, 13G	古代	IV層	N-50°-W	13.80	0.40~0.54	0.26~0.33		U字状	-1.28	○	
20-23	SD697	12・13F, 13G, 14H	古代	IV層	N-50°-W	(27.55)	0.31~0.52	0.19~0.31		U字状	-1.33	○	112・154
18-22	SD698	12・13F	古代	IV層	N-30°-W	6.87	0.40~0.52	0.27~0.30		U字状	-1.33	○	
43	SD750	20P20・25, 20Q16	近世カ	IV層	N-60°-W	(2.15)	0.95~1.10	0.43		台形状	-1.50	○	
43	SD751	20P	近世カ	IV層		(1.70)	1.00~1.15	0.15		台形状	-0.94	○	
43	SD752	20P3・4・8・9	近世カ	IV層		(3.50)	0.38~0.52	0.08~0.14		台形状	-1.13	○	
42-43	SD753	19P, 20O・P	近世カ	IV層	N-43°-E	(12.30)	0.29~0.92	0.08~0.28		台形状	-1.13	○	112
36-38-43	SD754	18-19O, 19-20P, 20Q	古代	IV層	N-50°-W	(30.00)	0.26~0.60	0.11~0.33		U字状	-1.29	○	
20	SD871	10E・F, 11F	古代	IV層	N-40°-W	6.42	0.50~0.93	0.25~0.40		U字状	-1.30	○	113
23	SD924	12F24	古代	IV層	N-30°-W	(2.18)	0.26~0.33	0.17		U字状	-1.16	-	
22-23-27	SD938	13F・G, 14G・H	古代	IV層	N-50°-W	17.20	0.40~0.62	0.22~0.26		U字状	-1.35	○	112
22-23	SD939	14F・G	古代	IV層	N-50°-W	(10.80)	0.28~0.40	0.24~0.27		U字状	-1.37	○	112
22-23-27	SD940	14F・G, 15G	古代	IV層	N-50°-W	(13.26)	0.27~0.40	0.21~0.27		U字状	-1.42	○	
18-22	SD961	12F17・22・23, 13F3	古代	IV層	N-30°-W	4.60	0.38~0.50	0.32~0.41		U字状	-1.43	-	
22	SD962	13F3・8・9・14	古代	IV層	N-30°-W	4.25	0.32~0.37	0.01~0.25		U字状	-1.35	-	
23	SD969	13G・H	古代	IV層	N-30°-E	(8.08)	0.33~0.56	0.12~0.20		U字状	-1.16	○	
23	SD970	13G・H, 14G・H	古代	IV層		(16.85)	0.20~0.45	0.09~0.47	L字状	U字状	-1.56	○	

図版 No.	遺構	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規模 (m)			形態		底面 標高 (m)	遺物 有無	遺物図版頁
						上端		深度	平面	断面			
						長軸	短軸						
18	SD976	12F1・6, 12E10	古代	IV層	N-46°-E	1.59	0.23	0.13		U字状	-1.13	-	
23	SD977	13G3・4・9・10・14・15	古代	IV層	N-41°-W	(4.57)	0.31~0.42	0.14~0.15		U字状	-1.10	○	
23	SD978	13G7・8・13・14・19・20	古代	IV層	N-45°-W	7.23	0.30~0.41	0.10~0.21		U字状	-1.22	○	
23	SD980	13G6・7・12・13・18・19・24	古代	IV層	N-40°-W	(8.90)	0.27~0.40	0.22~0.29		U字状	-1.31	-	
23	SD987	13H1・2・7	古代	IV層	N-40°-W	2.58	0.23~0.30	0.12		U字状	-1.06	-	
17	SD1043	8E・F, 9F	古代	IV層	N-35°-W	13.50	0.68~1.36	0.23~0.32		台形状	-1.49	○	113
15	SD1051	9E18・19・23・24	古代	IV層	N-40°-W	(3.70)	0.90~1.16	0.36~0.47		U字状	-1.41	-	
15-20	SD1053	9E20, 9F16・21・22, 10F2	古代	IV層	N-40°-W	6.00	0.56~0.80	0.28~0.30		U字状	-1.23	-	
17	SD1055	7E25, 8F1	古代	IV層	N-36°-W	3.58	0.21~0.35	0.08~0.19		U字状	-1.71	-	
15	SD1060	8E	古代	IV層	N-43°-W	13.20	0.93~1.90	0.29~0.45		U字状	-1.30	○	113
17	SD1061	8F7・8	古代	IV層	N-70°-E	(3.60)	0.34~0.52	0.21~0.33		U字状	-1.99	○	135
15-17	SD1077	9F11・12・17	古代	IV層	N-40°-W	2.44	0.57	0.27~0.31		U字状	-1.21	-	
15	SD1081	9E11・16	古代	IV層	N-40°-W	(4.07)	0.31~0.41	単点なし		U字状	-1.06	○	
15	SD1082	8・9D, 9E	古代	IV層	N-40°-W	14.35	0.45~0.73	単点なし		台形状	-1.10	○	
15	SD1083	8D18・19・23・24, 9D4・5	古代	IV層	N-40°-W	(6.67)	0.34~0.84	0.04~0.16		U字状	-1.09	○	
15	SD1084	8・9D, 9E	古代	IV層	N-40°-W	16.18	0.40~0.70	0.10~0.25		U字状	-1.21	○	
15	SD1085	9D14・15・20	古代	IV層	N-40°-W	(3.98)	-	0.14~0.25		U字状	-1.22	○	
15	SD1086	9D・E	古代	IV層	N-40°-W	10.25	0.37~0.52	0.17~0.35		U字状	-1.35	○	
15	SD1087	8C15, 8D11・16・21・22	古代	IV層	N-40°-W	6.25	0.55~0.75	0.30~0.47		U字状	-1.37	○	
15-17	SD1088	8E8・9・13	古代	IV層	N-60°-E	(3.70)	0.26~0.48	0.13~0.16		U字状	-1.14	-	
13-15	SD1089	10D3・4	古代	IV層	N-40°-W	2.17	0.35	0.15		U字状	-1.31	-	
13	SD1090	9D21, 10D1・2	古代	IV層	N-45°-W	3.68	0.25~0.35	0.19~0.23		U字状	-1.35	○	
13	SD1091	9C・D, 10D	古代	IV層	N-40°-W	11.37	0.35~0.45	0.15~0.40		U字状	-1.45	○	113・152
13	SD1092	9C・D	古代	IV層	N-40°-W	9.50	0.38~0.68	0.12~0.24		U字状	-1.32	○	
15	SD1097	8E22	古代	IV層	N-57°-E	-	-	0.29		U字状	-1.14	-	
27	SD1127	14・15H, 15・16I	古代	IV層	N-35°-W	(24.20)	0.20~0.50	0.02~0.17		U字状	-1.17	○	113
13	SD1204	8・9C, 9・10D	古代	IV層	N-40°-W	(16.25)	0.35~1.10	0.07~0.22		U字状	-1.32	○	
13	SD1205	9C2・8・13・14・19	古代	IV層	N-40°-W	(8.50)	0.53~1.26	0.10~0.28		U字状	-1.10	-	
15	SD1209	8D23, 9D3	古代	IV層	-	(2.03)	0.26~0.46	0.10		U字形	-1.00	-	
15	SD1214	9E6・7・11・12・17	古代	IV層	N-24°-W	-	1.50~2.10	0.13~0.23		皿形	-1.13	-	
13-15	SD1216	8C, 9D	古代	IV層	N-40°-W	14.13	0.50~1.55	0.19~0.47		U字状	-1.52	○	113・153
13-15	SD1218	8C15・20, 8D21, 9D2・7	古代	IV層	N-40°-W	9.80	-	0.10~0.33		U字状	-1.25	○	113・154
15	SD1219	8D20・25, 8E16	古代	IV層	N-67°-E	3.00	0.27~0.67	0.08~0.17		U字状	-1.00	-	
17	SD1223	9F6・7	古代	IV層	N-40°-W	(2.00)	0.65~0.83	0.10~0.12		皿形	-1.06	-	
13	SD1250	8C19・24・25	古代	IV層	N-40°-W	4.75	0.28	0.90~0.14		U字状	-1.00	-	
15	SD1253	9D2・7・8・13・14・19・20	古代	IV層	N-40°-W	(10.72)	0.40~0.72	0.11~0.27		U字状	-1.30	○	
13-15	SD1257	9D6・7・12	古代	IV層	N-40°-W	(3.75)	0.39~0.50	0.12~0.21		U字状	-1.29	○	
13	SD1258	9C7	古代	IV層	N-75°-W	2.06	0.30	0.28~0.29		U字状	-1.38	-	
13	SD1259	9D6・11・17	古代	IV層	N-40°-W	4.65	0.30~0.38	0.10~0.23		U字状	-1.31	-	
13	SD1261	9C20・24・25	古代	IV層	N-46°-E	4.50	0.30~0.50	0.20		U字状	-1.40	○	
15	SD1264	10E3・4	古代	IV層	N-24°-W	2.35	0.30~0.40	0.11~0.13		U字状	-1.09	○	
13	SD1268	9C6・11・12・17・22・23	古代	IV層	N-40°-W	(7.04)	0.47~0.91	0.26~0.49		U字状	-1.75	○	136
13-18	SD1269	10D8・13・14・19・20・25	古代	IV層	N-40°-W	9.00	0.26~0.47	0.21~0.24		U字状	-1.40	○	
13-18	SD1270	10D・11E	古代	IV層	N-40°-W	11.62	0.26~0.40	0.17~0.43		U字状	-1.55	○	
13	SD1284	8B20・8C21	古代	IV層	N-40°-W	(3.50)	0.22~0.28	0.18~0.23		U字状	-1.36	-	
13	SD1285	8C16	古代	IV層	N-40°-W	(1.82)	0.40~0.55	0.23~0.34		U字状	1.43	-	
13	SD1286	8C16・17	古代	IV層	N-40°-W	(2.80)	0.25~0.38	0.19~0.23		U字状	-1.27	-	
13	SD1293	8C12・17	古代	IV層	N-40°-W	(1.02)	0.48~0.55	0.19~0.25		U字状	-1.26	-	
15	SD1294	9D2	古代	IV層	N-20°-W	-	-	0.11~0.12		皿形	-1.10	○	
38-43	SD1301	18P18・19・23・24, 19P4	古代	IV層	N-42°-W	(4.00)	0.36~0.45	0.20		U字状	-0.98	○	113
38-43	SD1302	18・19P	古代	IV層	N-55°-W	(12.88)	0.34~0.76	0.09~0.20		台形状	-1.49	○	113
38-43-45	SD1341	19P・Q, 20Q・R	古代	IV層	N-60°-W	(25.58)	0.20~0.53	0.08~0.26		U字状	-1.07	○	113
43-45	SD1342	19・20Q, 20R	古代	IV層	N-60°-W	(10.60)	0.16~0.45	0.03~0.16		皿形	-0.99	○	
43-45	SD1343	19・20Q, 20R	古代	IV層	N-60°-W	(11.45)	0.20~0.50	0.06~0.27		U字状	-1.05	○	
43-45	SD1344	19・20Q, 20R	古代	IV層	N-60°-W	(13.62)	0.21~0.62	0.04~0.34		U字状	-1.13	○	114
45	SD1345	19・20Q, 20R	古代	IV層	N-60°-W	9.00	0.16~0.37	0.04~0.12		U字状	-1.09	○	
43	SD1346	19P	古代	IV層	N-44°-W	4.25	0.20~0.33	0.15		U字状	-1.05	-	
43	SD1347	19P・Q, 20P・Q	古代	IV層	N-50°-W	9.40	0.25~0.50	0.14~0.23		U字状	-1.09	○	114
43	SD1349	19P・Q, 20Q・R	古代	IV層	N-60°-W	(18.11)	0.27~0.43	0.11~0.24		U字状	-1.05	○	
38-43	SD1350	18O・P, 19P・Q, 20Q・R	古代	IV層	N-60°-W	(38.14)	0.26~0.68	0.11~0.29		U字状	-1.13	○	114
36-42	SD1411	18M・N, 19N・O, 20O	古代	IV層	N-65°-W	23.00	0.35~0.90	0.16~0.27		U字状	-1.14	○	
43-45	SD1501	19Q・R, 20R	古代	IV層	N-60°-W	(16.73)	0.14~0.55	0.04~0.24		U字状	-1.10	○	
45	SD1502	19R22, 20R2・3・4・9	古代	IV層	N-60°-W	(7.30)	0.36~0.47	0.10~0.30		U字状	-1.22	○	
45	SD1503	19Q・R, 20R	古代	IV層	N-60°-W	12.00	0.16~0.53	0.05~0.28		U字状	-1.14	○	
43-45	SD1504	19Q・R, 20R・S	古代	IV層	N-60°-W	(21.05)	0.20~0.62	0.03~0.24		U字状	-1.14	-	
43-45	SD1505	19Q・R	古代	IV層	N-60°-W	21.25	0.20~0.51	0.02~0.27		U字状	1.17	○	
43-45	SD1506	19Q	古代	IV層	N-60°-W	20.90	0.18~0.43	0.01~0.26		U字状	-1.18	-	
45	SD1507	19R13・18・19・20	古代	IV層	N-60°-W	(4.75)	0.22~0.41	0.07~0.22		U字状	-1.14	-	
45	SD1508	20R5, 20S1	古代	IV層	N-60°-W	(1.90)	0.30~0.38	0.06~0.10		皿形	-0.91	-	
45	SD1509	20R2・3・8・9	古代	IV層	N-60°-W	4.82	0.36~0.60	0.09~0.21		U字状	-1.04	-	
45	SD1510	20R7・8・13	古代	IV層	N-60°-W	(3.30)	0.28~0.31	0.18~0.19		U字状	-1.01	-	
43-45	SD1511	20Q・R	古代	IV層	N-60°-W	(7.35)	0.28~0.70	0.10~0.18		U字状	-0.99	-	
43	SD1512	20Q13・14・19・20	古代	IV層	N-60°-W	(5.00)	0.36~0.47	0.13~0.26		U字状	-1.09	-	
43	SD1513	20Q19・20	古代	IV層	N-60°-W	(1.05)	0.34~0.43	0.15~0.20		U字状	-1.07	-	
36-42	SD1517	18M・N, 19N・O, 20O	古代	IV層	N-65°-W	25.65	0.32~0.85	0.15~0.23		U字状	-1.07	○	114・135
43	SD1518	19P6・11・12・17・18・23・24	古代	IV層	N-45°-W	(8.20)	0.22~0.45	0.10~0.20		U字状	-1.03	-	
38-43	SD1519	19P	古代	IV層	N-45°-W	(12.75)	0.25~0.64	0.10~0.21		U字状	-1.06	○	
33-36	SD1700	16・17M	古代	IV層	-	22.20	0.43~1.84	0.12~0.37	L字状	台形状	-1.24	○	114・135
18	SD1743	11E22・23	古代	IV層	N-82°-W	1.03	0.28~0.33	0.25		U字状	-1.39	-	
20	SD1745	10F18・23, 11F3	古代	IV層	N-24°-W	4.91	0.31	0.20~0.23		U字状	-1.12	-	
20	SD1746	10E13・14	古代	IV層	-	(1.42)	0.55~0.85	0.22~0.26		U字状	-1.21	-	
18	SD1752	11D10・13・14・15・18, 11E6	古代	IV層	N-57°-E	8.15	0.25~0.45	0.17~0.30		U字状	-1.52	○	
18	SD1753	11D20・24・25, 11E16	古代	IV層	N-55°-E	5.64	0.28	0.18~0.19		U字状	-1.40	-	

別 表

図版 No.	遺 構	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規 模 (m)			形 態		底面標高 (m)	遺物有無	遺物図版頁
						上 端		深 度	平 面	断 面			
						長 軸	短 軸						
18	SD1755	11E8・9・11・12・13	古代	IV層		6.85	0.67~0.98	0.29		皿形	-1.32	—	
18	SD1756	12D4	古代	IV層		—	—	0.17		U字状	-1.40	—	
20	SD1763	11F5・10、11G6	古代	IV層	N-38°-W	2.50	0.40~0.50	0.08~0.09		皿形	-0.99	—	
18-20	SD1764	11E5・8・9・12・13・17	古代	IV層	N-50°-E	(9.30)	0.55~1.07	0.13		皿形	-1.17	○	114
18	SD1766	11E3・8・9・14・15・19・20	古代	IV層	N-40°-W	8.00	0.38~0.78	0.12		U字状	-1.15	○	
20	SD1778	11F6・7・11・12・17	古代	IV層	N-25°-W	3.96	0.86~1.07	0.07~0.11		皿形	-1.04	○	
18	SD1779	11E13・18	古代	IV層	N-40°-W	—	—	0.05		U字状	-1.15	—	
18	SD1781	11E7・8・14	古代	IV層	N-40°-W	4.10	0.30~0.60	0.25		U字状	-1.30	—	
38-40	SD1802	17P、18P・Q	古代	IV層	N-60°-W	(12.00)	0.40~0.73	0.27		U字状	-1.24	○	114・135
35-38-40	SD1803	16O・P、17P	古代	IV層	N-60°-W	16.50	0.20~0.60	0.11~0.23		U字状	-1.49	○	
35-38-40	SD1804	16O13・14・19・20、16P16	古代	IV層	N-60°-W	7.00	0.16~0.30	0.05~0.12		皿形	-1.46	—	
38-40	SD1805	17PQ	古代	IV層		—	0.28~0.90	0.13~0.47	口の字	U字状	-1.40	—	
40	SD1806	17・18Q	古代	IV層		—	0.30~0.50	0.08~0.28	口の字	U字状	-1.18	—	
40	SD1807	18Q	古代	IV層	N-64°-E	2.20	0.30~0.45	0.10		U字状	-1.40	—	
40	SD1808	18Q	古代	IV層	N-53°-E	2.50	0.50~0.60	0.20		U字状	-1.35	—	
38	SD1821	18P	古代	IV層	N-70°-W	2.35	0.36~0.42	0.15		U字状	-1.05	—	
38	SD1822	17・18P	古代	IV層	N-47°-W	(1.65)	0.25~0.95	0.18		U字状	-1.00	○	114
43	SD1823	18P・Q	古代	IV層	N-60°-W	(1.30)	0.18~0.43	0.01~0.26		U字状	-1.18	—	
38	SD1824	17P	古代	IV層	N-67°-W	(1.50)	0.40~0.82	0.17		皿形	-1.15	—	
38	SD1825	17P	古代	IV層	N-30°-E	(1.30)	0.23~0.63	0.17		U字状	-0.98	—	
38	SD1826	17P	古代	IV層	N-30°-E	(1.60)	0.13~0.35	0.12		U字状	-0.90	—	
38	SD1827	17P	古代	IV層	N-30°-E	(1.20)	0.20~0.40	0.15		U字状	-1.15	—	
38-40	SD1829	17P	古代	IV層	N-55°-E	(1.80)	0.32~0.65	0.07~0.20		皿形	-1.10	—	
38-40	SD1830	17P2・6・7	古代	IV層	N-58°-E	(2.30)	0.43~0.64	0.10~0.16		皿形	-1.14	—	
38	SD1831	16・17P	古代	IV層		(0.80)	0.40~0.58	0.13~0.24		U字状	-1.16	—	
38-40	SD1833	18・19Q、19R	古代	IV層	N-60°-W	(26.60)	0.20~0.30	0.02~0.14		皿形	-1.14	—	
38	SD1834	16O18・19・20・23・24	古代	IV層	N-70°-E	(0.20)	0.85	0.08~0.12		皿形	-1.20	—	
33-36-38	SD1901	16・17M、17・18N、18O	古代	IV層	N-60°-W	24.56	0.24~0.60	0.16~0.32		U字状	-1.10	○	
33-36-38	SD1902	16・17M、17N・O、18O、19P	古代	IV層	N-60°-W	35.22	0.22~0.50	0.14~0.33		U字状	-1.13	○	
33-36-38	SD1903	17M・N・O	古代	IV層	N-60°-W	(11.60)	0.35~0.50	0.12~0.32		U字状	-1.10	○	114
35-38	SD1904	16N、17N・O	古代	IV層	N-60°-W	15.70	0.40~0.55	0.17~0.35		U字状	-1.10	○	114
35-38	SD1905	16・17N、17O・P	古代	IV層	N-60°-W	(23.20)	0.33~0.73	0.18~0.34		U字状	-1.20	○	
38	SD1906	16N・O、17O	古代	IV層		(12.46)	0.40~0.58	0.13~0.24		U字状	-1.16	—	
33-35	SD1907	16M・N・O	古代	IV層		15.46	0.23~0.57	0.05~0.24		U字状	-1.28	○	
38	SD1908	17N・O、18O	古代	IV層	N-60°-W	(9.88)	0.31~0.45	0.17~0.28		U字状	-1.06	○	
35	SD1909	16N13・14・18・19	古代	IV層	N-25°-W	(3.85)	0.70~0.95	0.18~0.23		U字状	-1.28	○	135
33-36	SD1910	17・18M	古代	IV層		8.84	0.25~0.32	0.21~0.27		U字状	-1.09	○	
35	SD1911	16N、17M・N	古代	IV層	N-30°-E	16.17	0.25~0.46	0.13~0.29		U字状	-1.11	○	114・135
35-38	SD1912	16・17・18N	古代	IV層		(16.50)	0.25~0.52	0.14~0.27		U字状	-1.08	○	
35-38	SD1913	16N・O、17N、18M・N	古代	IV層		(25.95)	0.32~0.55	0.16~0.32		U字状	-1.34	○	114・135・152
35-36-38	SD1914	16O、17N、18M・N	古代	IV層	N-30°-E	(26.61)	0.25~0.67	0.12~0.25		U字状	-1.24	○	
36-38	SD1915①	17・18N	古代	IV層	N-33°-E	5.00	0.25~0.40	0.09~0.32		U字状	-1.12	○	
35-36-38	SD1915②	16O、17N・O	古代	IV層		14.80	0.30~0.50	0.09~0.32		U字状	-1.12	○	
36-38	SD1916	16・17O、17・18N	古代	IV層	N-30°-E	(14.90)	0.28~0.42	0.13~0.32		U字状	-1.15	○	
36-38	SD1917	17O、18N・O	古代	IV層	N-30°-E	(21.70)	0.30~0.52	0.08~0.25		U字状	-1.09	○	
33-35	SD1918	16N、17M・N	古代	IV層	N-30°-E	18.43	0.29~0.60	0.17~0.26		U字状	-1.32	○	
35-38	SD1919	16N・O	古代	IV層		6.64	0.35~0.60	0.15~0.34		U字状	-1.29	○	
33-35-38	SD1920	16M・N、17N・O	古代	IV層	N-60°-W	21.04	0.25~0.48	0.15~0.21		U字状	-1.00	○	114
33	SD1927	16・17M	古代	IV層	N-20°-E	11.34	0.16~0.26	0.12~0.22		U字状	-1.18	○	135
33	SD1928	16M・N、17M	古代	IV層	N-30°-E	(13.48)	0.18~0.25	0.07~0.16		U字状	-1.13	○	
33	SD1929	16M20・25、16N11、17M5	古代	IV層		(7.08)	0.20~0.30	0.12~0.21		U字状	-1.13	○	135
33	SD1941	16M25、16N11・16・21	古代	IV層	N-15°-E	(4.43)	0.19~0.26	0.11~0.17		U字状	-1.03	○	
35-38	SD1944	16N・N、17O	古代	IV層	N-60°-W	10.00	0.19~0.28	0.09~0.23		U字状	-1.05	○	
43	SD1955	19O	古代	IV層	N-45°-E	2.25	0.28~0.50	?		?	?	—	
38	SD1985	16O18・19・20・23・24	古代	IV層	N-70°-E	(5.35)	0.70~0.90	0.08~0.12		U字状	-1.20	○	
36	SD1996	17・18M、18N	古代	IV層		(15.40)	0.35~0.55	0.20~0.27		U字状	-1.08	○	
38	SD1997	16O24、17O4	古代	IV層	N-13°-E	(3.25)	0.50~0.60	0.12		皿形	-1.14	—	
38	SD1998	17O10・14・15、17P6	古代	IV層	N-58°-E	7.00	0.43~0.64	0.10~0.16		皿形	-1.14	—	
38	SD1999	17O・P、18N・O	古代	IV層	N-55°-E	(20.18)	0.32~0.65	0.07~0.20		U字状	-1.10	—	
22-23	SD2012	14G19・20・23	古代	IV層	N-64°-E	5.55	0.28~0.55	0.14~0.15		U字状	-1.24	—	
22-23	SD2054	14G18・19・24	古代	IV層	N-36°-W	(4.08)	0.28~0.36	0.27		U字状	-1.34	○	
23	SD2056	12・13G	古代	IV層	N-35°-W	(6.62)	0.80	0.22~0.25		U字状	-1.29	○	115
22	SD2061	14G	古代	IV層	N-40°-W	9.00	0.70~0.95	0.17~0.35		U字状	-1.46	○	115・143・152
22-26	SD2064	14G17・18・23	古代	IV層	N-36°-W	4.15	0.25~0.38	0.12		皿形	-1.23	○	
22	SD2065	13F・G、14G	古代	IV層		13.50	0.37~0.45	0.13~0.32		台形状	-1.44	○	
22-26	SD2066	14G22・23、15G3	古代	IV層	N-36°-W	1.83	0.24	0.20		U字状	-1.31	○	
26-27	SD2067	14G19・24、15G3・4・7・8	古代	IV層		(9.05)	0.22~0.33	0.11~0.24	L字状	U字状	-1.31	—	
26-27	SD2069	14G24	古代	IV層	N-50°-E	(1.05)	0.18~0.21	0.16		U字状	-1.25	—	
22	SD2074	13F4	古代	IV層		—	—	0.36		U字状	-1.43	—	
22-23	SD2087	14G17・18・19	古代	IV層	N-65°-E	(2.45)	0.12~0.27	0.12~0.23		U字状	-1.32	—	
26	SD2089	15G1・2・7・8	古代	IV層	N-55°-W	3.80	0.18~0.31	0.13~0.16		U字状	-1.36	○	
22	SD2091	13・14F	古代	IV層	N-30°-W	11.80	0.15~0.31	0.06~0.21		U字状	-1.36	—	
23	SD2094	12H23、13H3	古代	IV層	N-34°-W	1.90	0.24~0.30	0.03~0.20		U字状	-1.16	—	
32-33	SD2101	16K・L、17L	古代	IV層	N-51°-E	28.80	0.65~1.25	0.14~0.25	コの字状	U字状	-1.15	○	115・116・135・152
33	SD2102	16L2・3・8・9・10	古代	IV層	N-58°-W	6.84	0.28~0.40	0.13~0.15		U字状	-1.06	○	135
33	SD2103	16L14・19・20	古代	IV層	N-38°-W	(2.53)	0.16~0.25	0.08~0.12		U字状	-1.02	○	116
33	SD2104	16L13・14・19	古代	IV層	N-50°-W	(2.26)	0.20~0.25	0.19		U字状	-1.08	○	
33	SD2105	16L13・18・19・24・25	古代	IV層	N-42°-W	6.43	0.28~0.45	0.27~0.30		U字状	-1.16	○	
33	SD2106	16L24、17L4	古代	IV層	N-20°-E	(2.46)	0.24~0.27	0.11~0.15		U字状	-1.01	○	
31-33	SD2107	16・17L	古代	IV層	N-42°-W	6.00	0.44~0.58	0.28~0.32		U字状	-1.18	○	135
33	SD2109	16M6・7・11	古代	IV層		(1.86)	0.28~0.37	0.17~0.26	L字状	U字状	-1.18	—	
32	SD2116	16K14・19	古代	IV層	N-82°-E	(0.93)	0.17~0.23	0.08		皿形	-0.94	—	
33	SD2119	17L4・5	古代	IV層	N-60°-W	(1.60)	0.28~0.50	0.18		U字状	-1.04	○	

図版 No.	遺構	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規模 (m)			形態		底面 標高 (m)	遺物 有無	遺物図版頁
						上端		深度	平面	断面			
						長軸	短軸						
32	SD2126	16L21, 17L1・2・7・8	古代	IV層	N-45°-W	5.25	-	0.24~0.33		U字状	-1.23	-	
32	SD2128	17K5, 17L1・6・7・12	古代	IV層		5.75	0.30~0.53	0.19~0.23		U字状	-1.19	○	
30	SD2129	16・17I, 17J	古代	IV層	N-60°-W	10.45	0.35~0.60	0.15~0.24		U字状	-1.36	-	
27-30	SD2130	16I・J, 17J	古代	IV層	N-60°-W	11.76	0.39~0.53	0.14~0.27		U字状	-1.40	○	116・135
27-30	SD2131	16I17・18, 17I4	古代	IV層	N-60°-W	(5.05)	0.25~0.39	0.13~0.23		U字状	-1.34	-	
27-30	SD2132	16I19・20, 16J21・22	古代	IV層	N-60°-W	7.22	0.32~0.62	0.17~0.30		U字状	-1.44	○	
27-30-33	SD2133	17K3・4・9・10	古代	IV層	N-60°-W	4.80	0.51~0.80	0.22		U字状	-1.21	○	135
33	SD2136	16M9・14	古代	IV層	N-40°-W	1.41	0.28~0.31	0.16		U字状	-1.14	-	
33	SD2150	16M8	古代	IV層	N-37°-E	0.65	0.12~0.15	0.13		U字状	-1.17	-	
32	SD2151	16J14・19・20, 16K16	古代	IV層	N-60°-W	4.93	0.31~0.50	0.13~0.26		U字状	-1.22	○	
32	SD2153	16J24・25, 16K21	古代	IV層	N-60°-W	(3.00)	0.25~0.30	0.08~0.13		U字状	-1.14	-	
32	SD2154	16J・J, 17K	古代	IV層	N-60°-W	(6.00)	0.40~0.65	0.10~0.19		U字状	-1.24	○	
32	SD2155	16J24	古代	IV層	N-60°-E	1.55	0.38~0.45	0.21		U字状	-1.21	-	
32	SD2156	16J20	古代	IV層	N-26°-E	(0.61)	0.16~0.22	0.10		皿形	-1.08	-	
30-32	SD2165	16・17J	古代	IV層	N-60°-W	5.53	0.50~0.80	0.20~0.22		U字状	-1.28	-	
30-32	SD2166	16・17J, 17K	古代	IV層	N-60°-W	12.05	0.55~0.70	0.16~0.24		U字状	-1.33	○	135
32	SD2170	16J14・15・20	古代	IV層	N-36°-W	(2.67)	0.33~0.45	0.17~0.22		U字状	-1.21	○	
30-32	SD2171	17J8・9・14・15	古代	IV層	N-50°-W	4.90	0.35~0.45	0.15~0.21		U字状	-1.26	○	
30	SD2174	17I3・4・9・10	古代	IV層	N-60°-W	4.93	0.28~0.40	0.09~0.17		U字状	-1.31	○	
30	SD2182	17J7・11・12	古代	IV層	N-26°-E	1.88	0.34~0.40	0.13~0.16		U字状	-1.28	-	
30	SD2183	17J6・7・11・16・17	古代	IV層		4.58	0.24~0.40	0.11~0.20		U字状	-1.35	-	
30	SD2184	17I9・14・15・20	古代	IV層	N-50°-W	4.76	0.28~0.38	0.11~0.25		U字状	-1.37	○	
30	SD2195	16I25, 16J21	古代	IV層	N-60°-W	(1.88)	0.43	0.23		U字状	-1.34	-	
29	SD2221	14J16・17・23	古代	IV層	N-56°-W	(4.65)	0.40~0.50	0.05~0.15		皿形	-1.13	○	
27	SD2240	14・15H, 15・16I	古代	IV層	N-35°-W	(24.85)	0.35~0.70	0.11~0.22		U字状	-1.25	○	
27	SD2241	15H・I, 16H・I	古代	IV層	N-35°-W	(22.45)	0.38~0.85	0.02~0.25		U字状	-1.25	○	
27-30	SD2242	15G・H, 16H・I, 17I	古代	IV層	N-35°-W	(25.95)	0.35~0.88	0.14~0.28		U字状	-1.30	○	
25-29	SD2274	13I・1, 14J	古代	IV層	N-53°-W	(11.95)	0.17~0.32	0.08~0.15		皿形	-1.17	○	
25	SD2275	13I18・19・24	古代	IV層	N-53°-W	1.95	0.20~0.26	0.06~0.09		皿形	-1.06	-	
29	SD2290	14I・J	古代	IV層	N-50°-W	8.31	0.30~0.84	0.05~0.20		U字状	-1.84	○	116
29-32	SD2295	15K17・18	古代	IV層	N-48°-W	(1.28)	0.30	0.13		皿形	-1.07	-	
27	SD2322	15・16H	古代	IV層	N-40°-W	13.00	0.27~0.50	0.07~0.13		皿形	-1.20	○	
27-30	SD2324	16H・I	古代	IV層	N-56°-W	6.50	0.40	0.15		U字状	-1.28	○	135
27-30	SD2325	16H・I, 17I	古代	IV層	N-56°-W	10.07	-	0.10~0.18		U字状	-1.30	○	
27-30	SD2326	16H・I	古代	IV層	N-50°-W	13.50	0.20~0.55	0.15		U字状	-1.28	○	
27	SD2327	16H9・14・15, 16I16・17	古代	IV層		(7.57)	0.18~0.36	0.04~0.13		U字状	-1.19	-	
27-30	SD2331	16I・J, 17J	古代	IV層	N-60°-W	11.83	0.35~0.48	0.14~0.38		U字状	-1.49	○	
27-30	SD2332	16I14・15, 16J16	古代	IV層	N-60°-W	4.57	0.45~0.68	0.11~0.33		U字状	-1.40	○	
27-30	SD2333	16I・J	古代	IV層	N-60°-W	10.57	0.28~0.55	0.17~0.31		U字状	-1.41	○	
27-30	SD2339	15・16H, 16I	古代	IV層	N-52°-W	(12.56)	0.23~0.50	0.07~0.17		U字状	-1.26	-	
27	SD2344	16I12・17・18	古代	IV層	N-55°-W	4.41	0.28~0.60	0.06~0.14		U字状	-1.25	○	
38	SD2401	17O20, 17P16・17・22	古代	IV層	N-67°-W	(4.50)	0.40~0.80	0.17~0.27		U字状	-1.18	○	
33-35-38	SD2402	16・17N, 17・18O	古代	IV層	N-60°-W	22.80	0.30~0.52	0.08~0.20		U字状	-1.02	-	
38	SD2403	17N・O, 18O・P	古代	IV層	N-60°-W	(13.15)	0.30~1.00	0.15~0.24		U字状	-1.49	○	
38	SD2404	17O, 17・18P	古代	IV層		(8.85)	0.45~0.65	0.16~0.21		U字状	-1.02	○	
38	SD2405	17・18O, 18P	古代	IV層	N-60°-W	(9.55)	0.27~0.51	0.12~0.22		U字状	-1.02	-	
38-43-45	SD2406	18P・Q, 19Q・R	古代	IV層	N-60°-W	(20.00)	0.17~1.00	0.03~0.16		U字状	-1.10	○	
38-43	SD2407	18O・P, 19P・Q	古代	IV層	N-60°-W	(17.43)	0.32~0.60	0.08~0.21		U字状	-1.49	○	116
38	SD2408	18O・P	古代	IV層	N-67°-W	(6.95)	0.20~0.40	0.07~0.14		皿形	-0.95	○	116
38-43	SD2409	18・19P, 19Q	古代	IV層		(11.78)	0.23~0.61	0.08~0.16		皿形	-0.98	-	
36-38	SD2411	17P, 18O, 19N・O	古代	IV層	N-40°-E	(18.20)	0.40~0.60	0.11~0.27		U字状	-1.50	○	
38	SD2412	17P, 18O・P	古代	IV層	N-30°-E	12.70	0.22~0.37	0.10~0.19		U字状	-1.60	○	
38	SD2413	17P, 18O・P	古代	IV層	N-30°-E	12.40	0.35~0.64	0.12~0.20		U字状	-1.58	○	136
38	SD2414	18O・P	古代	IV層	N-47°-W	9.00	0.26~0.95	0.12~0.19		U字状	-1.02	○	
38	SD2415	17P, 18O・P	古代	IV層	N-30°-E	13.12	0.28~0.45	0.11~0.20		U字状	-1.59	○	
36	SD2421	19N・O	古代	IV層	N-65°-W	(10.00)	0.26~0.50	0.23		U字状	-1.10	○	
36	SD2422	19N1・2・3・7・8	古代	IV層	N-65°-W	(4.50)	0.35~0.45	0.20		U字状	-1.06	○	116・135
36	SD2424	18M・N, 19N・O	古代	IV層	N-65°-W	(16.60)	0.27~0.60	0.16~0.18		U字状	-1.05	○	
36	SD2426	18M・N, 19N	古代	IV層	N-65°-W	(16.80)	0.33~0.70	0.20		U字状	-1.02	○	116
38-43	SD2428	18O・P, 19P	古代	IV層	N-50°-W	(15.50)	0.20~0.40	0.07~0.20		U字状	-1.48	○	
38	SD2429	18O	古代	IV層	N-60°-W	4.00	0.40	0.15		U字状	-0.94	○	
38	SD2454	18P12・17・21・22	古代	IV層	N-25°-E	(3.78)	0.27~0.50	0.09~0.11		皿形	-0.93	-	
36	SD2461	18・19N	古代	IV層	N-30°-E	(8.50)	0.45~0.74	0.10		U字状	-0.95	○	116
36	SD2463	18N	古代	IV層		(12.90)	0.32~0.57	0.20		U字状	-1.00	○	
36-42	SD2471	19N23・24	古代	IV層	N-65°-W	3.06	0.30~0.40	0.10		U字状	-1.01	-	
36-42	SD2472	19N17・18・23・24・25	古代	IV層	N-65°-W	6.05	0.35~0.52	0.12		U字状	-1.03	-	
36-42	SD2473	19N12・17・18・19・24・25	古代	IV層	N-65°-W	(6.20)	0.35~0.55	0.11		U字状	-1.02	-	
36-42	SD2474	19N12・13・18・19・20・25	古代	IV層	N-65°-W	8.78	0.31~0.45	0.10		U字状	-1.00	○	
36-42	SD2475	19N・O	古代	IV層	N-65°-W	(13.80)	0.31~0.55	0.13		U字状	-1.03	○	116
38	SD2476	18O23・24, 19O2・3	古代	IV層	N-40°-E	(4.40)	0.35~0.48	0.10~0.20		U字状	-1.02	○	116
36	SD2477	18N・O	古代	IV層	N-50°-W	(1.80)	0.44~0.50	0.15		U字状	-0.98	○	
36-38	SD2478	18N・O, 19O	古代	IV層	N-54°-W	(14.60)	0.22~0.45	0.14~0.24		U字状	-1.03	○	
36	SD2479	18N	古代	IV層	N-46°-W	2.30	0.30~0.36	0.20		U字状	-1.05	○	
38-43	SD2480	18P	古代	IV層		(4.60)	0.30~0.50	0.04~0.08		皿形	-0.90	-	
27	SD2502	15H・I, 16H・I	古代	IV層	N-33°-W	(9.55)	(0.67)~1.91	0.13		皿形	-1.15	○	117
27-29-32	SD2507	16J・K	古代	IV層	N-60°-W	13.60	0.30~0.88	0.14~0.34		U字状	-1.27	○	
27-30	SD2509	16I15, 16J11・17・18	古代	IV層	N-60°-W	6.43	0.23~0.40	0.01~0.25		U字状	-1.33	○	
27	SD2530	16I7	古代	IV層	N-67°-E	(0.85)	0.30	0.21		U字状	-1.21	○	
27-30	SD2567	16I10, 16J6・7	古代	IV層	N-60°-W	0.29	0.26	0.15~0.29		U字状	-1.33	○	
26-27	SD2568	16・17H	古代	IV層	N-36°-W	12.95	0.38~1.00	0.11~0.31		U字状	-1.47	○	117
26	SD2569	16G4・9・10・15, 16H11・16	古代	IV層	N-42°-W	6.35	0.42~0.82	0.05~0.11		皿形	-1.24	○	
26	SD2570	15H21, 16H1・2	古代	IV層	N-31°-W	7.00	0.65~1.06	0.16~0.22		U字状	-1.29	○	
27	SD2578	14H19・24	古代	IV層	N-46°-W	(1.63)	0.64~0.75	0.20		U字状	-1.20	○	



別 表

図版 No.	遺 構	グリッド	時代	確認面	主軸方位	規 模 (m)			形 態		底面 標高 (m)	遺物 有無	遺物図版頁
						上 端		深 度	平 面	断 面			
						長 軸	短 軸						
27	SD2585	16H4	古代	IV層	N-50°-W	1.83	0.21~0.30	0.05~0.06		皿形	-1.07	-	
27	SD2685	16H9	古代	IV層	N-13°-W	-	-	0.15		U字状	-1.18	-	
32	SD2723	16K2・3・9	古代	IV層	N-40°-W	3.70	0.91~1.34	0.15		皿状	-1.04	○	
32	SD2767	16L22・23、17L2・3	古代	IV層	N-65°-E	1.38	0.18~0.28	0.21	L字状	U字状	-1.08	-	
32	SD2806	16J8・9・14	古代	IV層	N-15°-W	4.13	0.40	0.14~0.22		U字状	-1.18	-	
30	SD2809	17I23・24、18I2・3	古代	IV層	N-60°-E	4.30	0.25~0.58	0.08~0.18		U字状	-1.34	○	
30	SD2810	18I4・5・8	古代	IV層	N-55°-E	3.18	0.25~0.51	0.12~0.20		U字状	-1.39	-	
30	SD2811	18I10・14・15、18J1・6	古代	IV層	N-57°-E	5.18	0.47~0.70	0.11~0.20		U字状	-1.37	○	
30	SD2813	18J6	古代	IV層	N-24°-W	(0.75)	0.37	0.12		皿形	-1.25	-	
30	SD2814	18J2・7	古代	IV層	N-24°-W	2.50	0.50	0.10~0.16		U字状	-1.25	-	
32	SD2844	17K・L	古代	IV層	N-60°-W	(6.70)	0.45~0.66	0.16~0.26		U字状	-1.18	○	117
32	SD2845	17K3・9	古代	IV層	N-60°-W	(2.55)	0.29~0.40	0.14		U字状	-1.10	○	
32	SD2849	16K23	古代	IV層	N-36°-W	2.28	0.58	0.17~0.18		U字状	-1.10	○	
32	SD2851	17L8・9	古代	IV層		-	-	0.20		U字状	-1.04	○	
43	SD2901	18P、19O・P	古代	IV層	N-50°-E	(10.33)	0.58~1.00	0.03~0.38		U字状	-1.19	○	
36・42	SD2902	19N20・25、19O16	古代	IV層	N-35°-E	(3.50)	0.50~0.65	0.10		U字状	-1.00	-	
36・38	SD2903	18O・P、19N・O	古代	IV層	N-58°-E	(21.15)	0.40~1.25	0.10~0.24		U字状	-1.15	-	
43	SD2904	19P・Q	古代	IV層	N-78°-E	(3.80)	0.26~0.45	0.07~0.09		皿形	-0.91	○	
36	SD2905	18N25、19N4・5	古代	IV層	N-17°-E	(2.72)	0.56~0.87	0.17~0.18		U字状	-1.04	-	
43	SD2908	18P24・25、19P5	古代	IV層	N-60°-W	(3.00)	0.25~0.33	0.03~0.12		皿形	-0.95	-	
38	SD2910	18O・P、19O	古代	IV層		(8.75)	0.31~0.70	0.01~0.17		皿形	-0.97	-	
43	SD2911	19P・Q	古代	IV層	N-60°-W	(8.45)	0.27~0.48	0.04~0.15		皿形	-0.96	○	
43	SD2912	19P・Q	古代	IV層		(6.45)	0.32~0.53	0.06~0.20		U字状	-1.11	-	
43	SD2913	19Q16・17・22	古代	IV層	N-60°-W	(1.67)	0.58~0.66	0.13~0.17		U字状	-1.01	○	
36・42	SD2916	19O12・13・18・19	古代	IV層	N-50°-W	(4.00)	0.32~0.37	0.14~0.20		U字状	-1.05	-	
42・43	SD2917	19O・P	古代	IV層		(3.70)	3.50~4.00	0.10		U字状	-1.05	-	
38	SD2918	18・19P	古代	IV層	N-45°-E	(4.23)	0.40~0.52	0.10~0.17		U字状	-1.02	○	
36	SD2919	18・19N	古代	IV層	N-30°-E	(8.54)	0.45~0.72	0.23~0.26		U字状	-1.12	○	
43	SD2930	19P15・19・20、19Q11	古代	IV層	N-55°-E	(4.00)	1.50~1.80	0.10		皿状	-0.98	○	117
43	SD2968	19Q	古代	IV層		-	0.25	0.10		皿状	-0.92	-	
45	SD2969	20S6・11	古代	IV層	N-60°-W	(0.92)	0.30~0.40	0.07		皿形	-0.88	-	
45	SD2970	20S11	古代	IV層	N-60°-W	(0.83)	0.30~0.36	0.08		皿形	-0.92	-	
45	SD2971	20R15、20S11	古代	IV層	N-60°-W	(0.80)	0.49	0.15		U字状	-1.03	-	
45	SD2972	20R15	古代	IV層	N-60°-W	(0.80)	0.40	0.13		皿形	-0.99	-	
45	SD2973	20R14・15・20	古代	IV層	N-60°-W	(0.80)	0.42	0.14		皿形	-1.05	-	
45	SD2974	20R19	古代	IV層	N-60°-W	(0.78)	0.45	0.17		U字状	-1.13	-	
45	SD2975	20R18	古代	IV層	N-60°-W	(0.75)	0.38	0.16		U字状	-1.02	-	
45	SD2976	20R18	古代	IV層	N-60°-W	(0.72)	0.36	0.13		皿形	-0.99	-	
45	SD2977	20R17・18	古代	IV層	N-65°-W	(0.78)	0.48	0.14		皿形	-0.97	-	
43・45	SD2978	20R22	古代	IV層	N-65°-W	(0.73)	0.40	0.15		U字状	-1.00	-	
43・45	SD2979	20R21・22	古代	IV層	N-60°-W	(0.66)	0.57	0.09		皿形	-0.92	-	
43	SD2980	20R21	古代	IV層	N-60°-W	(1.23)	0.44	0.27		U字状	-1.09	-	
43	SD2986	20Q25、20R21、21R1	古代	IV層	N-60°-W	(1.24)	0.40	0.15		皿形	-1.00	-	
43	SD2987	21Q5	古代	IV層	N-40°-W	(0.51)	0.36	0.10		皿形	-0.96	-	
43	SD2988	21Q4	古代	IV層	N-40°-W	(1.00)	0.50	0.11		皿形	-1.01	-	
43	SD2989	21Q3・4	古代	IV層	N-50°-W	(0.74)	0.35	0.16		皿形	-1.05	-	
43	SD2990	21Q3・8	古代	IV層	N-50°-W	(0.77)	0.32	0.13		皿形	-1.04	-	
43・45	SD4002	18・19Q	古代	IV層		(10.92)	0.15~0.42	0.04~0.07		皿形	-1.04	-	
43・45	SD4003	19Q・R	古代	IV層	N-60°-W	(11.10)	0.18~0.28	0.03~0.08		皿形	-1.01	-	
43・45	SD4302	19Q・R	古代	IV層	N-60°-W	(10.50)	0.24~0.40	0.11~0.21		U字状	-1.08	-	
87	SX118	6K	近世カ	IV層	N-64°-E	2.20	0.78	0.07	不整形		-1.03	○	
87	SX119	6J15・20、6K11・16	近世カ	IV層	N-58°-E	2.70	0.68	0.06	不整形		-0.99	○	
87	SX120	6J9・10	近世カ	IV層	N-82°-E	2.88	0.60	0.08	不整形		-1.03	-	
87	SX121	6J4	近世カ	IV層	N-82°-E	1.52	0.55	0.04	楕円形		-0.98	○	
87	SX307	9F7・8・11・12	古代	IV層	N-65°-E	1.38	0.65	0.16	長方形		-1.06	○	
88	SX314	9E15・19・20	古代	IV層	N-55°-E	2.06	1.20	0.06	長方形		-0.94	○	
88	SX1330	20P3・4・8・9	古代	IV層		2.07	1.05	0.05	楕円形		-0.88	○	
88	SX2029	11H16・17・21・22、12H2	古代	IV層		4.44	1.92	0.74	不整形		-1.64	○	
88	SX2030	12H20・25	古代	IV層		2.60	1.00	0.22	不整形		-1.37	-	
88	SX2294	14・15J	古代	IV層		7.00	0.90	1.04	不整形		-1.84	-	
88	SX4004	19S6・7・12	古代	IV層	N-6°-W	2.58	0.85	0.21	不整形		-1.15	-	

別表1-2 掘立柱建物跡計測表

図版No.	遺構	平面形式	構造	桁行×梁行総長	柱間寸法	面積 (㎡)	主軸方位	主な遺構との重複関係	時期	備考
				(上段m/下段尺)	(桁行×梁行m/尺)					
49	SB3001	3間×2間	側柱	6.90×4.80 23×16	2.10~2.55×1.65~3.15 7~8.5×5.5~10.5	33.12	N-43°-W	SB3001→SB3002, SD155・219	V2期	区画溝 (SD167・1060)
50	SB3002	2間×2間	側柱	4.80×4.35 16×14.5	2.25~2.55×2.10~2.25 7.5~8.5×7~7.5	20.88	N-47°-E	SB3001・SK1057→SB3002→ P326・1056, SK1277	VI期	区画溝 (SD172)
51	SB3003	2間×2間	側柱	5.25×4.50 17.5×15	2.40~2.85×1.20~2.25 8~9.5×4~7.5	23.63	N-55°-E	SB3003→SK75/SB3004・3005	VI期	片廂 (26.775㎡) 区画溝 (607・632・2056)
52	SB3004	4間×2間	側柱	8.10×3.90 27×13	0.90~2.40×1.35~2.55 3~8×4.5~8.5	31.59	N-33°-W	SK941→SB3004→SK685, SD278・478/SB3003・3005不明	VI期	区画溝 (607・632・2056)
53	SB3005	3間×2間	側柱	5.40×3.60 18×12	1.65~2.10×1.80 5.5~7×6	19.44	N-33°-W	SB3003・3004・3006と重複するが不明	VI期	区画溝 (607・632・2056)
53	SB3006	3間×2間	側柱	6.30×3.00 21×10	2.10~2.70×0.75~1.65 7~9×2.5~5.5	18.9	N-41°-W	SB3005と重複するが不明	V期	
54	SB3007	3間×2間	側柱	5.55×3.60 18.5×12	1.05~2.70×1.65~1.95 3.5~9×5.5~6.5	19.98	N-40°-W	SB3007→SD970	V期	片廂 (24.14㎡)
55	SB3008	2間×2間	側柱	4.20×3.45 14×11.5	2.10×1.05~2.40 7×3.5~8	14.49	N-24°-W			
55	SB3009	3間×2間	床東	6.45×3.90 21.5×13	1.20~3.15×1.65~2.25 4~10.5×5.5~7.5	25.16	N-39°-W	SB3009→SK979, SD455・ 696・697・2056	VI2~3期	
56	SB3010	5間×2間	床東	8.85×3.75 29.5×12.5	1.50×1.95~1.65×2.10 5~6.5×5.5~7	33.19	N-40°-W	SB3010→SD402・403・938・ 2065	VI2~3期	区画溝 (455・2061)
57	SB3011	3間×2間	床東	6.60×5.70 22×19	1.95~2.40×2.70~3.00 6.5~8×9~10	37.62	N-44°-W	SB3011→SD34・2221→SK24 →SD12/SB3013不明	VI期	片廂 (44.55㎡) 区画溝 (SD32・2290)
58	SB3012	5間×3間	側柱	6.90~7.20×3.90~4.20 23~24×13~14	0.75~2.25×1.05~1.30 2.5~7.5×3.5~(4.3)	28.6	N-36°-W	SB3012→SK18/SB3013不明	V2~VI期	区画溝 (SD15・34・422)
58	SB3013	2間×2間	側柱	4.80~5.10×4.65 16~17×15.5	2.10~2.70×1.05~2.40 7~9×3.5~8	23.05	N-50°-E	SB3013→SK24, SD2221/ SB3012不明	V期	
59	SB3014	3間×3間	総柱	6.75×5.85 22.5×19.5	2.25×1.95 7.5×6.5	39.49	N-31°-W	SB3014→SK290・424, SD291・1127・2240	VI1期	区画溝 (SD421・2502)
60	SB3015	2間×2間	側柱	3.00~3.30×2.80~3.00 10~11×9.5~10	1.50~1.80×1.20~1.80 5~6×4~6	9.16	N-50°-W	SB3015→SD2240・2241		
61	SB3016	2間×2間	床東	4.20×3.90 14×13	2.10×1.95 7×6.5	16.38	N-38°-E	SD2101→SB3016-P10・11, SB3016P1・SD1201→SD2116	VI期	四面廂 (39.69㎡) 区画溝 (SD2101)
60	SB3017	(2間)×2間	側柱	(3.60×3.30) (12×11)	1.80×1.50~1.80 6×5~6	11.88	N-23°-E		VI2~3期	
62	SB3018	5間×2間	側柱	7.80×4.80 26×16	1.05~2.10×1.95~2.85 3.5~7×6.5~9.5	37.44	N-54°-W	SD1901→SB3018→SK2465・ SD1902・1927	VI期	片廂 (49.14㎡) 区画溝 (SD1700)
63	SB3019	(3間×2間)	側柱	5.25~5.55×4.20~4.35 17.5~18.5×14~14.5	1.50~1.80×2.10~ 2.255~6×7~7.5	23.1	N-34°-E	SD1700・1903→SD1918→ SD1901→SD1927・1928→ SD1902→SB3019→SK1958, SD509・1929		
63	SB3020	(2間×2間)	側柱	4.35×3.30 14.5×11	1.35~3.00×1.35~1.95 4.5~10×4.5~6.5	14.36	N-34°-E	SD1912→SB3020/SB3022不 明	VI1期	
64	SB3021	3間×2間	側柱	4.50×3.45~3.75 15×11.5~12.5	1.20~2.40×1.50~2.10 4~8×5~7	16.2	N-64°-W	SD1903・1904・1908・1913 →SD2402→SB3021		
65	SB3022	(6間)×3間	側柱	8.70×4.95 29×16.5	1.20~1.80~1.50~2.10 4~6×5~7	43.07	N-62°-W	SD1802・1902・1903・ 1904・1905・2402→SB3022	VI1期	
66	SB3023	2間×2間	側柱	3.75~4.05×3.00~3.45 12.5~13.5×10~11.5	1.80~2.10×0.60×1.95 6~7×2~6.5	13.72	N-46°-W	SB3023→SD1506・1801・183		
64	SB3024	2間×2間	側柱	3.75×3.45 12.5×11.5	1.80~1.95×1.65~1.80 6~6.5×5.5~6	12.94	N-36°-E	SB3024→SD1914→SD1901・ 2463, SD1700		

注1) 平面形式：舎身平面形式、面積：舎身面積㎡ (小数点第二位で四捨五入)

注2) SB3012北妻柱列の柱間寸法は、梁行総長39尺を三ツ割としている。

## 別表2 遺物観察表

- 凡 例  
 1 出土位置 遺構名・グリッド名を記した。  
 2 器 種 第V章に記した。  
 3 径高指数 器高/口径×100  
 4 底径指数 底径/口径×100  
 5 法 量 口径・底径・器高を示す。括弧付きの数値は推定値である。  
 6 胎 土 胎土中に含まれる鉱物等について記した。「石」は石英粒、「長」は長石粒、「雲」は金雲母・黒雲母、「角」は角閃石、「海」は海綿骨針、「白」・「赤」・「黒」・「褐」・「灰」は各色の不明小粒子を示す。産地については第V章に記した。  
 7 色 調 『新版標準土色帳』(小山・竹原1967)の記号を記した。  
 8 焼 成 酸化焙焼成・還元焙焼成の区別を記した。須臾器で酸化としたものは褐色あるいは橙色の色調で軟質なものを表す。白色・灰白色のものは含めない。  
 9 手 法 特徴的な手法のみを記し、網羅的な記載は行っていない。底部の切り離し技法うちで、「糸切り」・「ヘラ切り」等の記載は回転台を用いた手法を示している。回転方向は、回転台の回転方向が判るもののみ記した。  
 10 遺 存 率 分数表示で遺存割合を示した。

図版No.	報告書No.	出土位置		種 別	器 種	分 類	法 量 (cm)			器高指数	底径指数	胎 土		色 調	焼 成	手 法				遺存率			備 考				
		遺構名	グリッド				口径	底径	器高			含有物	産地			外 面		内 面		底部	回転方向	口縁部		底部	全体		
																須臾器	黒色土器	白・雲	黒							白・雲	黒
89	1	SB3001-P <sub>2</sub>	8D4	須臾器	無台杯							白・雲	B	灰 (10Y5/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	左			36/36		底部外面に墨書「三」カ			
89	2	SB3001-P <sub>1</sub>	8D8	須臾器	杯蓋							白・雲	B	灰 (10Y5/1)	還元	クロロナデ・ケズリ	クロロナデ							内面に墨痕、転用硯カ			
89	3	SB3001-P <sub>1</sub>	8D8	土師器	無台碗			(6.8)				赤・雲		明赤褐 (5YR5/6)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り				8/36					
89	4	SB3001-P <sub>1</sub>	8D8	土師器	銅カ							雲・小礫		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ										
89	5	SB3001-P <sub>1</sub>	8E6	土師器	長甕							石・長		浅黄橙~にぶい橙 (7.5YR8/3~7/3)	酸化	カキメ・タタキ	クロロナデ・ハケメ→ナデ										
89	6	SB3001-P <sub>1</sub>	8E7-8	土師器	長甕		(20.0)					赤・白		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	横ナデ・ハケメ	横ナデ・ヘラナデ				4/36			外面煤付着、西古志型甕			
89	7	SB3001-P <sub>10</sub>	8E8-9・13・14	土師器	小甕			(6.8)				長・小礫・白		にぶい黄橙 (10YR6/3)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右			36/36					
89	8	SB3001-P <sub>1</sub>	8E11-16	土師器	小甕			7.7				雲・白・赤・黒		にぶい橙 (7.5YR7/4)	酸化	クロロナデ・クロケズリ	クロロナデ	糸切り	右			36/36	10/36				
89	9	SB3001-P <sub>1</sub>	8E7-8	土師器	銅							石・長・赤		灰白 (10YR8/2)	酸化	クロロナデ	クロロナデ										
89	10	SB3002-P <sub>1</sub>	8E13	土師器	銅	Ba	(37.6)					白・黒・赤・雲・小礫		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	クロロナデ・カキメ	ナデ					5/36					
89	11	SB3003-P <sub>1</sub>	11G22, 12G1	須臾器	甕							白・黒	D	黒 (10Y2/1)	還元	クロロナデ→タタキ									アテ具痕		
89	12	SB3003-P <sub>1</sub>	11G25	土師器	小甕	Bb	(14.2)					石・雲・白		にぶい黄橙 (5YR7/4)	酸化	クロロナデ	クロロナデ		右		6/36						
89	13	SB3004-P <sub>1</sub>	12G13	黒色土器	無台碗	B1b	(14.2)	(6.0)	4.5	(31.7)	(42.3)	赤・白・雲・黒		にぶい橙 (5YR7/4)	酸化	クロロナデ・クロケズリ	クロロナデ	ヘラケズリ	右		3/36	2/36	4/36				
89	14	SB3005-P <sub>1</sub>	12G18	須臾器	無台杯	B1Ib	(12.4)					白・雲		灰 (N6/)	還元	クロロナデ	ナデ					6/36					
89	15	SB3006-P <sub>1</sub>	13H7	土師器	長甕	Bd						石・雲・赤		にぶい橙 (7.5YR7/4)	酸化	クロロナデ	クロロナデ										
89	16	SB3006-P <sub>1</sub>	13H7	土師器	丸甕	Bb	(18.9)					石・雲・白		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・カキメ				7/36						
89	17	SB3007-P <sub>1</sub>	13G20	土師器	長甕	Bc						石・雲・角・赤・白・海		にぶい橙 (7.5YR6/4)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・カキメ										
89	18	SB3009-P <sub>1</sub>	13G4	須臾器	無台杯	AII d	(12.4)	(7.1)	2.8	(22.6)	(57.3)	白	B	灰 (10Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り			8/36	7/36	8/36				
89	19	SB3013-P <sub>1</sub>	15J2	須臾器	杯蓋	III d	(16.2)					白	A	灰 (N6/)	還元	クロケズリ・クロロナデ	クロロナデ					8/36		14/36			
89	20	SB3014-P <sub>1</sub>	15I16-17	須臾器	有台杯	II b	(9.6)					長	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ					4/36					
89	21	SB3016-P <sub>1</sub>	16K15, 16L11	黒色土器	無台碗	B1a	(15.3)	(6.6)	4.6	(30.0)	(43.1)	赤・白・海		外・にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	クロロナデ・クロケズリ	クロロナデ→ミガキ	ヘラケズリ			6/36	18/36	12/36				
89	22	SB3017-P <sub>1</sub>	17I11	須臾器	無台杯	AII d	(12.3)	7.5	2.85	(23.2)	(61.0)	長	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	左		16/36	36/36	28/36				
89	23	SB3018-P <sub>1</sub>	16M18-19	須臾器	無台杯	AII c	(12.4)	7.5	2.9	(23.4)	(60.5)	長・白		灰 (7.5Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	右		7/36	36/36	24/36				
90	24	SB3018-P <sub>1</sub>	16M24-25	須臾器	無台杯		(14.2)					白・雲・海	A	暗青灰 (10B6/3)	還元	クロロナデ	クロロナデ					4/36					
90	25	SB3018-P <sub>1</sub>	16M24-25	須臾器	無台杯			(7.7)				白	B	灰 (10Y5/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り					11/36				
90	26	SB3018-P <sub>1</sub>	16M24-25	須臾器	杯蓋		(14.8)					白・雲	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ					4/36					
90	27	SB3018-P <sub>1</sub>	16M24-25	須臾器	長頸壺		(11.8)					白	B	オリーブ黒 (10Y3/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ					3/36			内面に降灰		
90	28	SB3018-P <sub>1</sub>	16M24-25他	須臾器	横瓶							白・小礫		灰 (5Y5/1)	還元	クロロナデ・タタキ	クロロナデ・アテ具痕								SD1927・旧河川・17N9と接合		
90	29	SB3018-P <sub>1</sub>	16M24-25	土師器	小甕		(16.2)					白・雲		灰黄褐 (10YR6/2)	酸化	クロロナデ	クロロナデ・ヘラナデ					3/36			口縁部内外面煤付着		
90	30	SB3020-P <sub>1</sub>	17N3	須臾器	無台杯	BII c	12.5	7.8	3.0	24.0	62.4	白	B	オリーブ (2.5GY6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	左		20/36	21/36	21/36				
90	31	SB3020-P <sub>1</sub>	17N3	須臾器	甕							白・黒	C	黄灰 (2.5Y6/1)	還元	タタキ→ナデ	アテ具痕										
90	32	SB3022-P <sub>1</sub>	16N16	須臾器	無台杯	B1c	(12.0)	7.6	2.9	(24.2)	(63.3)	長・黒	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	左		9/36	36/36	4/36				
90	33	SB3022-P <sub>1</sub>	16N16	須臾器	無台杯	BII c	12.9	7.6	3.2	24.8	58.9	長	B	灰白 (5Y7/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	右		22/36	34/36	19/36				
90	34	SB3022-P <sub>1</sub>	16N16	須臾器	有台杯	CII a1	(12.6)	(7.6)	(5.7)	(45.2)	(60.3)	長	B	灰 (2.5GY5/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り				12/36	12/36	14/36			
90	35	SB3022-P <sub>1</sub>	16N16	須臾器	長頸壺	AII		11.2				石・長・小礫	A	灰 (N6/)	還元	クロロナデ・クロケズリ	クロロナデ	ヘラケズリ					18/36				
90	36	P17	15J23他	須臾器	甕							白	B	灰 (7.5Y5/1~4/1)	還元	タタキ	アテ具痕								P19・SK18と接合		
90	37	P19	15J18-19	土師器	長甕	Be	(21.2)					白・赤・黒		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	クロロナデ→カキメ	クロロナデ				9/36				外面煤付着		
90	38	P19	15J18-19	土師器	小甕			7.0				石・白・雲		にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右			36/36			板目圧痕		
90	39	P19	15J18-19	土師器	小甕			7.0				白・赤・雲		灰白 (10YR8/2)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右			21/36			板目圧痕		
90	40	P25	14J22	土師器	無台碗	BII a	(12.2)	(4.6)	3.6	(29.5)	(37.7)	石・長・赤		灰白 (10YR8/2)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り			9/36	12/36	9/36				
90	41	P72	15J8	須臾器	無台杯	CII c	(12.3)	(7.2)	3.2	(26.0)	(58.5)	白	B	灰 (7.5Y6/1)	還元 や軟質	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り				2/36	15/36			底部外面墨書「大」カ	
91	42	P180	8E13	黒色土器	無台碗	B1a	13.8	5.6	4.7	34.1	40.6	黒・白・海		外・にぶい黄橙 (10YR7/4)	酸化、軟質	ミガキ・クロロナデ・ヘラケズリ	ミガキ	ヘラケズリ	左		30/36	36/36	34/36			内面黒色処理、底部外面線刻カ	
91	43	P180	8E13	土師器	小甕	Be	13.9	7.3	13.1			黒・赤・白		にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	クロロナデ・ヘラケズリ	クロロナデ	糸切り	右		28/36	36/36	30/36				
91	44	P180	8E13	土師器	銅	Bj	(39.4)					白・雲・黒		にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	クロロナデ→カキメ	クロロナデ後カキメ					5/36					
91	45	P194	8E19	須臾器	有台杯	DII c	(12.8)	(7.6)	6.6	(51.6)	(59.4)	長・小礫	B	灰 (N6/)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り後ナデ				15/36	14/36	4/36			
91	46	P255	15J2	須臾器	無台杯	BII d	12.6	6.9	3.0	23.8	54.8	白・雲	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	右		21/36	19/36	18/36			体部外面墨書「足」	
91	47	P288	15J7-8	須臾器	無台杯	BII d	(13.0)	(7.2)	3.0	(23.1)	54.8	白	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	左		17/36	20/36	19/36			板目圧痕、体部外面墨書「井」カ	
91	48	P300	12G15	須臾器	無台杯	BII b	(12.6)	(7.0)	3.2	(25.4)	(55.6)	長・小礫	B	灰 (5Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り後ナデ				11/36	17/36	12/36			底部内面墨付着、転用硯カ
91	49	P319	9E18-23	須臾器	長頸壺		(9.6)					白・雲	B	灰~暗灰 (N3/~6/)	還元	クロロナデ	クロロナデ						10/36			内面自然軸	
91	50	P326	8E19	土師器	長甕	Bd	(22.8)					石・長		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化、軟質	クロロナデ	クロロナデ					6/36					
91	51	P343	8E18	土師器	小甕	Bc	(13.6)					白・赤・黒		浅黄橙 (10YR8/4)	酸化	クロロナデ	クロロナデ					6/36					
91	52	P387	8D14	土師器	小甕	Bd	(1																				





図版No.	報告書No.	出土位置		種別	器種	分類	法量 (cm)			器高 指数	底径 指数	胎土		色調	焼成	手法				通存率		備考			
		遺構名	グリッド				口径	底径	器高			含有物	産地			外面		内面		底部	回転方向		口縁部	底部	全体
																左	右	左	右						
94	122	SE1759	11E23・24, 12E3	土師器	無台碗	AIIIc	13.6	5.0	4.0	29.4	36.7	石・白・雲・赤	長	浅黄 (2.5Y7/3)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右	16/36	36/36	22/36	体部外面墨書「十」、底部外面線刻「×」		
94	123	SE2118	16K3・4・8・9	須恵器	杯蓋	DIIc	(15.3)		4.2			長	灰 (N6/)	還元	クロロナデ	クロロナデ				2/36		12/36			
94	124	SE2118	16K3・4・8・9	須恵器	甕	CI	(39.1)					長	青灰 (10BG6/1)	還元	クロロナデ・タタキ	クロロナデ				6/36					
94	125	SE2118	16K3・4・8・9	土師器	無台碗	CVa	(16.0)					石・長・白・赤	長	橙 (2.5YR7/8)	酸化、軟質	クロロナデ	クロロナデ→ナデ				6/36				
95	126	SE2357	14H18・19	須恵器	無台杯	DIVc	14.6	8.0	4.1	28.1	54.8	長	灰 (5Y4/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り			16/36	16/36	16/36			
95	127	SE2357	14H18・19他	須恵器	甕	AII	21.5					長	灰白 (7.5Y7/)	還元	クロロナデ・タタキ	クロロナデ・アテ具痕				34/36			SK75・12H6・14H26と接合		
95	128	SE2357	14H18・19	黒色土器	無台碗	BIIIc		(7.0)				石・黒・雲	外・灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	ヘラケズリ			6/36			両面黒色処理		
95	129	SE2357	14H18・19	土師器	長甕							白・黒・雲・海	灰黄褐 (10YR6/2)	酸化、軟質	タタキ	アテ具痕									
95	130	SE2357	14H18・19	土師器	鉢	Bd	(40.0)					石・長・小礫・黒・海	明黄褐 (10YR6/6)	酸化、軟質	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・カキメ				1/36					
95	131	SE2563	15G14・19	須恵器	甕	AII	(30.0)					長	灰 (N5/)	還元	クロロナデ	クロロナデ				4/36					
95	132	SE2563	15G14・19	土師器	無台碗	AIIa	(12.6)	(5.0)	3.5	(27.8)	(39.7)	石・長・白・黒・雲	灰黄 (2.5Y7/2)	酸化、軟質	クロロナデ	クロロナデ	糸切り			17/36	17/36	17/36	口唇部内面油煙、灯明器カ		
95	133	SK3	15K7・12	土師器	鉢	Bd						赤・雲	灰白～にぶい黄橙 (10YR8/2～7/2)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・カキメ									
95	134	SK6	14J24, 15J4	土師器	無台碗	AIIIb	(13.8)	5.8	2.9	(21.0)	(42.0)	赤・黒・雲	灰白 (2.5Y8/2)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り			7/36	11/36	8/36			
95	135	SK10	13I22, 14I2	須恵器	無台杯			7.5				白・黒	灰白 (7.5Y7/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	左			14/36				
95	136	SK18	15J18・23	須恵器	広口壺カ							長	灰 (N4/)	還元	クロロナデ	クロロナデ									
95	137	SK18	15J18・23	土師器	無台碗			5.5				灰・長・赤	浅黄橙 (10YR8/4)	酸化	クロロナデ	ミガキ	糸切り					32/36			
95	138	SK20	15J18・19	土師器	鉢	Bf	(39.5)					石・赤・黒・雲	灰白 (10YR8/1)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・カキメ				3/36					
95	139	SK22	12H6・7・12	須恵器	無台杯			(8.0)				白・雲	灰 (10Y5/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	左			18/36				
95	140	SK22	12H6・7・12	須恵器	長頸壺		(12.5)					白	灰 (N4/)	還元	クロロナデ	クロロナデ				4/36			内面降灰		
95	141	SK22	12H6・7・12	須恵器	長頸壺			(11.1)				長	灰 (10Y5/1)	還元	クロロナデ・クロケズリ	クロロナデ	ヘラ切り後ナデ				18/36				
95	142	SK22	12H6・7・12	土師器	無台碗	AIIb	(13.3)	5.4	3.1	(23.3)	(40.6)	赤・黒	浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右		8/36	19/36	16/36			
95	143	SK22	12H6・7・12	土師器	無台碗	CVa	(17.6)					白・雲	灰黄褐 (10YR6/2)	酸化	クロロナデ・クロロミガキ	クロロナデ→ミガキ				6/36					
95	144	SK22	12H6・7・12	土師器	無台碗	CVa	(19.0)					白・雲	にぶい黄橙 (10YR6/3)	酸化	クロロナデ	ミガキ・一部クロロナデ				2/36					
95	145	SK22	12H6・7・12	土師器	長甕	Bc	(22.3)					石・赤・雲・小礫	にぶい黄橙 (10YR7/3～4)	酸化	クロロナデ・カキメ・タタキ	クロロナデ・カキメ・アテ具痕				3/36					
95	146	SK22	12H6・7・12	土師器	小甕	Bc	(14.1)					赤・雲	浅黄橙 (7.5YR8/3)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・カキメ				12/36					
95	147	SK22	12H6・7・12	土師器	小甕	Bc	(13.8)					褐・黒・雲	灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・カキメ				7/36					
96	148	SK22	12H6・7・12	土師器	小甕	Bb	(14.9)					黒・雲	灰褐 (7.5YR6/2)	酸化	クロロナデ	クロロナデ				6/36					
96	149	SK22	12H6・7・12	土師器	小甕	Bc	15.2					黒・赤	灰黄褐 (10YR6/2)	酸化	クロロナデ	クロロナデ				22/36					
96	160	SK22	12H6・7・12	土師器	鉢	Bd						石・小礫・白・雲	浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・カキメ									
96	161	SK22	12H6・7・12	土師器	鉢	Bd	(43.0)					白・雲・赤・黒	浅黄橙 (10YR8/4)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・カキメ				5/36					
96	162	SK22	12H6・7・12	土師器	鉢	Bd	(44.5)					白・雲・海	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	クロロナデ・ヘラケズリ・カキメ	クロロナデ・カキメ・アテ具痕				3/36					
96	163	SK24	14J17・22	須恵器	無台杯	CIc	(12.0)	6.2	(3.25)	(27.1)	(12.0)	白・雲・黒	長	灰白 (7.5Y7/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り		6/36	9/36	9/36			
96	164	SK24	14J17・22	須恵器	無台杯			8.0				白・雲	灰 (10Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	左			28/36				
96	165	SK24	14J17・22	須恵器	杯蓋	EIe	12.5		3.0			長	灰 (5Y6/1)	還元	クロロナデ・クロケズリ	クロロナデ				36/36					
96	166	SK24	14J17・22	土師器	無台碗							赤・雲	浅黄橙 (10YR8/4)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右			28/36				
96	167	SK28	13I24・25, 14I4・5	須恵器	無台杯			6.5				白・雲	灰 (7.5Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	右			36/36				
96	168	SK28	13I24・25, 14I4・5	須恵器	長頸壺		(8.0)					白	青灰 (10BG6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ				10/36					
96	169	SK28	13I24・25, 14I4・5	土師器	無台碗	AIIa	(13.0)	(5.4)	3.5	(26.9)	(41.5)	石・白・赤・雲	灰白 (10YR8/3)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り			12/36	8/36	15/36	底部外面線刻「×」(焼成前)		
96	170	SK28	13I24・25, 14I4・5	土師器	無台碗			5.4				石・赤・雲	浅黄橙 (10YR8/4)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右			33/36		底部外面線刻「×」(焼成前)		
96	171	SK74	15I20・25	土師器	無台碗			5.0				石・白・雲	浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	左			36/36		外面残存部ほぼ煤付着		
96	172	SK75	12H5・10, 12H1・6	須恵器	無台杯			7.3				白	灰 (10Y6/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	左			21/36				
96	173	SK75	12H5・10, 12H1・6	須恵器	無台杯			7.5				白	灰 (7.5Y5/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ	ヘラ切り	右			34/36		板目瓦痕		
96	174	SK75	12H5・10, 12H1・6	土師器	無台碗	BIIb	12.5	4.0	4.1	32.8	32.0	白・雲・赤・海	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右	7/36	36/36	17/36				
96	175	SK75	12H5・10, 12H1・6	土師器	無台碗	BIIc	(12.7)	5.7	3.8	(30.0)	(44.9)	白・黒	浅黄橙 (10YR8/4)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右	7/36	25/36	10/36				
96	176	SK75	12H5・10, 12H1・6	黒色土器	無台碗	CIc	(11.6)	(5.8)	(4.3)	(37.1)	(50.0)	白・雲・海	外・淡黄 (2.5Y8/3)	酸化	クロロミガキ	ミガキ				4/36	1/36	9/36	内面黒色処理		
96	177	SK75	12H5・10, 12H1・6	須恵器	甕	BIII	(21.0)		39.5			石・白・小礫	灰 (N5/)	還元	クロロナデ・タタキ	クロロナデ・アテ具痕				7/36	21/36	28/36			
96	178	SK75	12H5・10, 12H1・6他	須恵器	甕	BII	(22.4)		(52.5)			石・白	灰 (5Y5/1)	還元	クロロナデ・タタキ・カキメ・ハナメ	クロロナデ・アテ具痕・ハナメ				8/36		16/36	SD23・SD458と接合		
96	179	SK75	12H5・10, 12H1・6他	須恵器	甕	AII	(26.0)					長・白・黒	青灰 (10BG6/1)	還元	クロロナデ・タタキ	クロロナデ・アテ具痕				6/36			旧河川・遺構外と接合		
96	180	SK75	12H5・10, 12H1・6他	須恵器	甕	AII	(31.6)					長	灰白 (N7/)	還元	クロロナデ・タタキ	クロロナデ・アテ具痕				6/36			SK76・旧河川・遺構外と接合		
96	181	SK75	12H5・10, 12H1・6	土師器	長甕	Bc						石・白・赤・雲	にぶい黄橙 (7.5YR7/4)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・ハケメ									
96	182	SK75	12H5・10, 12H1・6	土師器	鉢	Bd	(43.0)					石・白・赤・雲	浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	クロロナデ・カキメ	クロロナデ・カキメ							外面煤付着		
96	183	SK75	12H5・10, 12H1・6	土師器	鉢	Bd	(43.0)					白・赤・黒	にぶい黄橙 (7.5YR7/3)	酸化	クロロナデ・カキメ・ヘラケズリ	クロロナデ・カキメ				4/36					
96	184	SK76	11H21・22, 12H1・2	須恵器	無台杯	c	(12.0)					石・白	灰 (10Y5/1)	還元	クロロナデ	クロロナデ				7/36					
96	185	SK76	11H21・22, 12H1・2	土師器	無台碗	BIIa	(12.0)	(4.9)	3.6	(30.0)	(40.8)	石・小礫・白・灰・赤・海	浅黄橙 (10YR8/4)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右	14/36	15/36	16/36				
96	186	SK76	11H21・22, 12H1・2	土師器	無台碗	BIIb	12.8	5.5	4.1	32.0	43.0	長・白・灰・小礫・雲	灰白 (2.5Y8/2)	酸化	クロロナデ	クロロナデ	糸切り	右	36/36	36/36	36/36		口唇部内面煤付着、灯明器カ		
96	187	SK76	11H21・22, 12H1・2他	須恵器	甕	BII	(35.0)					長・黒・白	オリーフ灰 (2.5GY6/1)	還元	クロロナデ・タタキ	クロロナデ・アテ具痕				3/36			SK75・旧河川と接合		
96																									





Table with columns for: 図版No., 番号No., 遺構名, 出土位置, 種別, 器種, 分類, 法量 (cm) [口径, 底径, 器高], 器高指数, 底径指数, 胎土 (胎土含有物, 産地), 色調, 焼成, 外面, 手法 (内面, 底部), 回転方向, 口縁部, 底面, 通存率 (全体), 備考.



図版No.	備考No.	遺構名	出土位置	種別	器種	分類	法量 (cm)			器高 指数	底径 指数	胎土		色調	焼成	手法				遺存率			備考				
							グリッド		口径			底径	器高			含有物	産地	外面		内面		底部		回転方向	口縁部	底部	全体
							13G24, 13G, 1619	13G18・19他										須恵器 杯蓋 D II f (14.8)			長						
108	398	SD403	13G24, 13G, 1619	須恵器	杯蓋	D II f						長	B	灰 (5Y5/1)	還元	ロクロナデ・ロクロナズリ	ロクロナデ										
108	399	SD403	13G18・19他	須恵器	甕	II						石・長・灰	A	灰白 (5Y7/1)	還元	タタキ・カキメ・ハケメ	アテ具痕									上部自然軸付着、SD455・697・SK28・981・旧河川と接合	
108	400	SD403	13・14G	須恵器	甕							長	D	灰 (N6/)	還元	ナデ・タタキ	ナデ・アテ具痕										
108	401	SD403	13G23	土師器	無台碗	B I a	11.8	4.7	4.0	33.9	39.8	長・灰・白・雲		灰 (N7/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	赤切り	右	19/36	36/36	24/36					
108	402	SD403	13G9	土師器	小甕	Bc (12.8)						長・小礫・白・灰・雲		浅黄橙 10YR8/2	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ										
109	403	SD403	13G24	土師器	甕	A (16.0)						長・小礫・白・灰・海		灰黄 (2.5Y6/2)	酸化	ハケメ						6/36				佐渡型甕	
109	404	SD403	13G24, 13G他	土師器	甕	Bd (37.0)						長・白・赤・黒・雲・海		浅黄橙 10YR8/3	酸化	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・カキメ						6/36				SD455・697と接合
109	405	SD421	151	須恵器	無台杯	B II c (12.0)	7.2	2.8	(23.3)	(60.0)		長・白・灰・海	B	灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右	17/36	18/36	16/36					
109	406	SD421	151	須恵器	無台杯	C II b (12.6)	7.1	3.3	(26.2)	(56.3)		長・白・灰・小礫・海	B	灰白 (N7/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	17/36	24/36	21/36					
109	407	SD421	151	須恵器	無台杯	B III c 13.0	7.0	3.0	23.1	53.8		長・白・赤・胚・海	B	灰白 (7.5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	19/36	21/36	21/36					
109	408	SD421	15H10, 151他	須恵器	甕	B III c (22.4)						石・長・小礫	A	灰白 (10Y7/1)	還元	ロクロナデ・タタキ→ハケメ	ロクロナデ	アテ具痕					11/36				SD12・422・SK73・P2157と接合
109	409	SD421	1518, 151	須恵器	甕	B II (29.0)						白・長・赤	B	明オリーブ灰 (2.5GY7/1)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ・アテ具痕						3/36				
109	410	SD421	151	須恵器	甕	C II (32.4)						石・長	D	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ・アテ具痕						13/36				
109	411	SD421	1519	土師器	長甕	Bc (27.0)						長・赤・黒・灰		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・カキメ						5/36				
109	412	SD421	15H10, 1512	土師器	長甕	Bc 18.5						灰・赤・雲		橙 (5YR6/6)	酸化	ロクロナデ・カキメ・ヘラケズリ	ロクロナデ・カキメ						18/36				
109	413	SD421	1518	土師器	甕							白・黒・雲		灰 (N7/)	還元	ハケメ・ナデ											佐渡型甕、内面焦げ痕
109	414	SD422	16J2	須恵器	無台杯		(6.4)					白・雲	B	灰白 (7.5Y7/1)	還元 やや軟質	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り					5/36				底部内面墨書「大」カ
109	415	SD422	15J23	須恵器	無台杯		8.4					白・雲	B	灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左				22/36				
109	416	SD422	1518・14	須恵器	無台碗	B V c (17.0)	(7.4)	5.5	(32.4)	(43.5)		石・白・小礫・雲		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナズリ						10/36	10/36	14/36		
109	417	SD422	16113	土師器	甕	Bd (36.0)						石・赤・雲		灰 (N6/)	還元	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・カキメ						7/36				
109	418	SD455	13G13	土師器	無台碗	B I c (11.6)	(3.7)	3.6	(32.1)	(31.9)		長・灰・小礫・白・雲		橙 (7.5YR7/6)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	赤切り					14/36	12/36	12/36		
109	419	SD455	13G13	土師器	無台碗		5.2					石・白・赤・雲		灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	赤切り	右				24/36				
109	420	SD455	13G13	土師器	無台碗	B I a (11.8)	(5.0)	4.0	(33.8)	(42.4)		石・白・雲		浅黄橙 10YR8/3	酸化	ロクロナデ・ミガキ	ロクロナデ・ミガキ	赤切り					8/36	29/36	10/36		
109	421	SD455	13G13	土師器	長甕							石・小礫・雲		灰 (N6/)	還元	タタキ	当て具痕・指ナデ										
110	422	SD455	13G8	土師器	甕	Bc (36.8)						石・赤・雲		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・細かく洗いカキメ						7/36				
110	423	SD455	13G7	土師器	甕	Bk (38.0)						石・白・雲		灰 (N7/)	還元	ロクロナデ→カキメ→ヘラケズリ	ロクロナデ・カキメ→ナデ						1/36				外面煤付着
110	424	SD458	12G18	須恵器	無台杯	A II d 12.0	7.2	2.7	22.5	60.0		長・灰・白・雲	B	灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	14/36	36/36	22/36					底部外面墨書「久」
110	425	SD458	12G18	土師器	長甕	Bc (20.0)						長・灰・白・雲		浅黄橙 10YR8/4	酸化	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ						6/36				
110	426	SD482	12G7, 12F2	須恵器	長頸壺	B I	5.0					白	C	灰 (5Y10/1)・輪・オリーブ黒 (5Y3/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナズリ					36/36				内外・自然軸
110	427	SD509	17M4	土師器	小甕		7.0					長・灰・雲		灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	赤切り					24/36				
110	428	SD524	20P3	須恵器	無台杯	C III a (13.0)	(8.6)	3.5	(26.9)	(66.2)		長・白・灰	B	灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り					12/36	8/36	9/36		
110	429	SD601	10F7, 16F18	須恵器	杯蓋	E II a (14.9)		3.7				白	B	灰 (10Y6/1)	還元 やや軟質	ロクロナデ	ロクロナデ						7/36		10/36		内面墨痕、転用硯カ
110	430	SD606	12E7	須恵器	無台杯	C I c 12.0	7.0	3.2	26.6	58.3		白・海	B	灰 (10Y6/1)	還元 やや軟質	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	21/36	36/36	29/36					底部外面墨書「高」
110	431	SD606	12E7	須恵器	無台杯	B II c 12.4	7.5	3.1	25	60.4		白	B	灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	36/36	36/36	36/36					底部外面墨書「杜」
110	432	SD606	12E8	須恵器	無台杯	B II c 11.8	6.1	3.3	28.0	51.7		長・白	B	灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右	32/36	36/36	32/36					
110	433	SD606		須恵器	無台杯	B II c 12.9	7.8	3.0	23.3	60.5		長・白・灰・海	B	灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	23/36	36/36	28/36					
110	434	SD606		須恵器	無台杯	B II c (12.4)	7.0	2.9	(23.4)	(56.5)		長・白・海	B	灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右	11/36	20/36	14/36					
110	435	SD606		須恵器	無台杯	A II c (12.4)	(8.0)	2.8	(22.6)	(64.5)		白・灰	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右	7/36	21/36	14/36					
110	436	SD606	12E8	須恵器	無台杯	C II c (12.6)	(7.4)	(3.3)	(26.2)	(58.7)		長・白・灰	B	灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右	6/36	6/36	8/36					
110	437	SD606	12E8	須恵器	有台杯		(8.8)					長・白・灰	B	灰白 (N7/)	還元	ロクロナズリ→ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					2/36				
110	438	SD606		須恵器	有台杯	A II f 13.6	9.5	5.7	41.9	69.9		石・長	D	灰 (5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					25/36	36/36	32/36		自然軸付着、高脚高台
110	439	SD606	11G21	須恵器	長頸壺	A II (10.6)						石・長	B	灰オリーブ (5Y6/2)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ	ヘラ切り					12/36				
110	440	SD606	11F14	須恵器	甕							白・黒	D	灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ	波状文	ロクロナデ									外面に自然軸、断面に気泡
111	441	SD606		土師器	無台碗	B II a (12.1)	4.8	4.2	(34.7)	(39.7)		長・白・赤・灰・雲		灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	赤切り	左	8/36	35/36	16/36					
111	442	SD606	12E5	土師器	無台碗	B II c (13.0)	5.0	4.5	(34.6)	(38.5)		長・白・灰・赤・海		灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	赤切り	右	8/36	36/36	32/36					
111	443	SD606	11G3	土師器	無台碗		6.0					長・白・灰・雲		灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ミガキ	ヘラケズリ後ミガキ									
111	444	SD606	11F21	土師器	長甕	Bf (16.0)						赤・白・小礫・雲		灰 (N6/)	還元	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・ヘラナデ						4/36				外面焦げ痕
111	445	SD606	11F21	土師器	長甕	Bc (20.4)						石・白・赤・小礫・雲		灰 (N6/)	還元	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・弱いカキメ						9/36				
111	446	SD606		土師器	長甕	Bd (27.4)						石・赤・雲		灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						7/36				外面煤付着
111	447	SD606	12H2, 12J2	土師器	長甕							赤・白・小礫・雲		灰 (N6/)	還元	タタキ (粗い)	アテ具痕										
111	448	SD606	12D22	土師器	小甕	Bc 14.9	6.4	12.7				白・雲		灰黄 (2.5Y4/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	赤切り	右	18/36	36/36	20/36					

図版No.	報告書No.	出土位置		種別	器種	分類	法量 (cm)			器高指数	底径指数	胎土		色調	焼成	手法				遺存率		備考					
		遺構名	グリッド				口径	底径	器高			含有物	産地			外面	内面	底部	回転方向	口縁部	底部		全体				
112	467	SD697		土師器	鉢	Bk						白・褐・小礫・雲	にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・カキメ					7/36		内外面焦げ痕				
112	468	SD697	13G19	土師器	鉢	Bk	(41.4)					長・灰・白・海	にぶい黄橙 (7.5YR7/4)	酸化	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・カキメ					3/36						
112	469	SD697	13G19・25	土師器	鉢	Bd	(40.2)					長・白・黒・灰・海	にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ					6/36						
112	470	SD753	19P21他	須恵器	有台杯	AⅡe	(12.4)	(7.2)	4.2	(33.9)	(58.1)	長・白・灰	A 灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り後ナデ	11/36	15/36	18/36	遺構外と接合		
112	471	SD938	13G21	土師器	無台碗			4.7				赤・小礫・雲	にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ					糸切り		右	32/36		底部外面曇痕	
112	472	SD939	14G6	須恵器	有台杯			(6.4)				長・白	B 灰 (N6/)	還元	ロクロナデ・ヘラケズリ	ロクロナデ					ロクロナデ		右	11/36			
112	473	SD939	14G20	黒色土器	無台碗			(6.5)				黒・赤・海	外・灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ロクロナデ	ミガキ					ヘラケズリ			15/36		内面黒色処理	
113	474	SD871	11E23	土師器	無台碗			7.0				長・白・黒・雲	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ→ミガキ					糸切り		左	22/36			
113	475	SD871	11F1・2	土師器	長甕	Bd	(22.0)					長・白・赤・灰・黒	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ								10/36			
113	476	SD871	11F1	土師器	長甕	Bc	(22.2)					長・灰・黒・白	灰黄褐 (10YR6/2)	酸化	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ								7/36			
113	477	SD1043	8E10	須恵器	無台杯			(7.4)				白・雲	B 灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			16/36			
113	478	SD1043	8E10	土師器	小甕	Bb	(16.4)					黒・雲	灰黄2.5Y7/2	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ								6/36			
113	479	SD1060	8D13	須恵器	有台杯	CⅡa	13.4	8.5	6.3	47.0	63.4	長・白・灰	B 灰白 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り後ナデ		左	29/36	36/36	30/36	
113	480	SD1060	8D13	須恵器	有台杯			(8.6)				長・白・灰	B 灰白 (N7/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ									2/36		
113	481	SD1060	8D24	須恵器	甕	AⅢ	(22.0)					石・長	C 灰灰 (2.5Y4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ								9/36			
113	482	SD1060	8D24, 8F	須恵器	杯蓋	DⅡd	(14.9)		3.15			石・長	B 灰白 (N7/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ								16/36		24/36	内面曇痕、転用視カ
113	483	SD1060	8D10	土師器	鉢	Bd						角・黒・褐・雲	淡黄 (2.5Y8/3)	酸化	ロクロナデ・カキメ・タキ	ロクロナデ・アテ具痕→ナデ										煤付着、口唇部に穿孔	
113	484	SD1091	9C10	須恵器	無台杯			(7.3)				白・雲	B 灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			8/36		底部外面曇書「善」カ	
113	485	SD1127	15I23	須恵器	杯蓋	Ⅱa	(14.3)					石・長	B 灰 (10Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ								6/36			
113	486	SD1127	14H17	土師器	無台碗	BⅡa	13.3	5.2	4.0	30.1	39.1	石・長・赤・小礫	浅黄橙 (10YR8/4)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ					糸切り		右	18/36	36/36	28/36	
113	487	SD1216	8D21	須恵器	無台杯	BⅡa	12.6	8.0	3.0	23.8	63.4	白	B 灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り		左	31/36	36/36	33/36	底部外面曇書「柱・冊」
113	488	SD1216	9D7	須恵器	無台杯	AⅡa	12.4	8.0	2.8	22.5	64.5	白	B 灰 (10Y5/1)	還元、やや軟質	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			16/36	27/36	23/36	底部外面曇書「柱・冊」
113	489	SD1216	9D1	須恵器	杯蓋	Ⅱc	(15.0)					白	D 灰 (10Y6/1)	還元	ロクロナデ・ロクロナデ	ロクロナデ								3/36			天部外面曇書「出」カ、内面曇、転用視カ
113	490	SD1218	8D21	土師器	無台碗							石・赤・雲	灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ					糸切り					底部外面曇書「柱」カ	
113	491	SD1301	18P23	須恵器	無台杯	BⅡc	(12.0)	(7.0)	3.1	(25.8)	(58.3)	白	B 灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			9/36	9/36	16/36	
113	492	SD1302	18P23	土師器	小甕	Bb	(13.9)					白・黒・赤・雲	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ								9/36			
113	493	SD1341	20Q2・3	須恵器	無台杯	BⅢc	(13.4)	(7.2)	3.3	(24.6)	(53.7)	白・黒	B 灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			13/36	13/36	16/36	
114	494	SD1344	19Q17	須恵器	無台杯	BⅡd	12.4	6.5	3.1	25.0	52.4	白	B オリーブ灰 (2.5GY6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り		右	36/36	36/36	36/36	
114	495	SD1347	19P19, 20Q8	須恵器	杯蓋	I d	12.7					石・長	C 灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ								31/36			
114	496	SD1350	19Q22, 20Q2・21	須恵器	無台杯	AⅡc	12.6	7.7	2.8	22.2	61.1	白・雲	B 灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り		左	24/36	36/36	28/36	
114	497	SD1350	20Q2	須恵器	無台杯	CⅡb	(12.4)	(7.9)	(3.35)	(27.0)	(63.7)	白・黒	B 灰白 (7.5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			8/36	14/36	12/36	
114	498	SD1350	20Q2	須恵器	無台杯	AⅢc	(13.4)	(8.6)	(2.8)	(20.9)	(64.2)	石・長	B 灰 (10Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			8/36	8/36	12/36	
114	499	SD1517	18N, 19N	須恵器	無台杯	BⅠc	12.9	6.1	3.2	24.8	47.3	長	A 青灰 (5B5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り		左	30/36	36/36	31/36	
114	500	SD1700	17M7	須恵器	無台杯	BⅡc	(12.0)	(6.4)	(2.8)	(23.3)	(53.3)	長	B 灰 (N5/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			14/36	14/36	14/36	
114	501	SD1700	17M7	須恵器	無台杯	CⅠc	(11.6)	6.6	3.1	(26.7)	(56.9)	長	B 灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り		左	10/36	21/36	18/36	
114	502	SD1700	17M8	須恵器	無台杯	AⅢd	(13.0)	(6.2)	(2.9)	(22.3)	(47.7)	長	B 灰 (10Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			13/36	12/36	13/36	
114	503	SD1700	17M7	須恵器	無台杯	BⅡb	12.4	7.1	3.1	25.0	57.3	長・小礫	B 灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り		左	30/36	36/36	33/36	
114	504	SD1700	17M7・8・13	須恵器	有台杯	DⅢb	13.8	8.8	7.1	51.4	63.8	長	B 灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り後ナデ		左	19/36	36/36	24/36	
114	505	SD1700	17M13・14・19	須恵器	杯蓋	DⅡe	(14.0)		2.8			長	B 灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ・ロクロナデ	ロクロナデ								10/36		12/36	
114	506	SD1700	17M3, 16M12・15	須恵器	杯蓋	DⅡc	(14.6)		3.0			長	B 灰 (N4/)	還元	ロクロナデ・ロクロナデ	ロクロナデ								7/36		24/36	
114	507	SD1700	17M7	土師器	長甕	Bd	(22.4)					石・長・白・小礫・黒	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化、軟質	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・カキメ								13/36			
114	508	SD1700	17M3	土師器	鉢	Bc	(41.6)					黒・黒・小礫・海	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化、軟質	ロクロナデ・カキメ・タキ	ロクロナデ・カキメ・アテ具痕								6/36			
114	509	SD1764	11E8・12	須恵器	無台杯	BⅡb	12.1	7.4	2.9	23.9	61.2	長	B 灰 (N5/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り		左	25/36	29/36	30/36	
114	510	SD1764	11E8他	須恵器	有台杯	BⅢb	(14.1)	(8.4)	(5.7)	(40.4)	(59.6)	長	B 灰 (N4/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り後ナデ			8/36	17/36	17/36	
114	511	SD1802	17N4	土師器	無台碗	BⅢa	(14.4)	6.2	5.0	(34.7)	(43.1)	石・長・赤・雲	浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラケズリ			7/36	18/36	16/36	
114	512	SD1822	18P7	土師器	小甕			5.4				石・黒・雲	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化、軟質	ロクロナデ	ロクロナデ					糸切り		右			36/36	
114	513	SD1903	17N	須恵器	杯蓋		(14.9)					白・黒	B 灰 (N6/~5/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ								8/36			重ね焼き痕
114	514	SD1904	16N18・22	土師器	長甕	Bc	(23.2)					黒・白・雲・海	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化、軟質	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・カキメ								6/36			
114	515	SD1911	17N2	須恵器	杯蓋	CⅡd	(14.4)		3.3			石・長・黒	B 灰白 (N7/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ								12/36			
114	516	SD1913	17N9	須恵器	無台杯	BⅡd	12.4	6.9	3.0	24.1	55.6	白	B 灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り		右	28/36	36/36	31/36	体外外面曇書「家」
114	517	SD1920	16M25	土師器	小甕	Bb	13.5	(6.9)	13.2			赤・黒・雲	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ					糸切り		右	22/36	11/36	20/36	
115	518	SD2056	13G4	須恵器	無台杯	AⅢb	(13.0)	(7.2)	(2.8)	(21.5)	(55.4)	長	B 灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			9/36	13/36	10/36	
115	519	SD2056	13G4	須恵器	無台杯			(7.8)				白・黒	B 灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り				8/36		
115	520	SD2056	13G4	須恵器	無台杯	AⅢb	(13.0)	(7.5)	(2.9)	(22.3)	(57.7)	白・海	B 灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り			7/36	8/36	6/36	
115	521	SD2056	13G4	須恵器	長頸壺カ			9.8				長	B 灰 (N4/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ										36/36	
115	522	SD2056	12G23	土師器	小甕	Bb	(14.1)					石・白・雲	灰黄褐 (10YR6/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ								4/36			全体に焦げ痕
115	523	SD2056	13G4	土師器	小甕	Bd	(15.0)					石・赤・雲	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ								7/36			口唇部焦げ痕
115	524	SD2056	12G24, 13G4他	土師器	小甕			6.4				石・長・白・赤	にぶい黄橙 (7.5YR7/4)	酸化、軟質	ロクロナデ	ロクロナデ→ナデ					糸切り		右		36/36		遺構外と接合
115	525	SD2056	13G4	土師器	小甕			7.0				白・赤・雲	にぶい黄橙 (5YR7/4)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ					糸切り				12/36		板目区痕
115	526	SD2061	14F5	須恵器	無台杯			(7.0)				白	B 灰 (10Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					ヘラ切り		左		19/36		

図版No.	番号No.	出土位置		種別	器種	分類	法量 (cm)			器高指数	底径指数	胎土		焼成	手法							備考			
		遺構名	グリッド				口径	底径	器高			含有物			色調	外面		内面		底部	回転方向		口縁部		全体
												産地	産地			外面	内面	口縁部	底部						
115	536	SD2101	16L21他	須惠器	甕	BII	32.1		53.6			石・長・小礫	B	灰 (N5/)	還元	クロナデ・タタキ	口縁部クロナデ・胴部アテ具痕				8/36	24/36	24/36		
116	537	SD2101	16L7	土師器	無台碗	BIIa	(12.8)	6.0	4.3	(33.6)	(46.9)	灰・雲		黄橙 (7.5YR8/8)	酸化	クロナデ	クロナデ	糸切り				7/36	20/36	24/36	
116	538	SD2101	16L14	土師器	無台碗	AIIIa	(13.6)			(25.0)		灰・雲		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	クロナデ	クロナデ					12/36			
116	539	SD2101	16L他	土師器	無台碗	AIIIb	(12.8)	4.8	3.8	(29.7)	(37.5)	石・長・黒・海		にぶい青7.5YR7/3	酸化・軟質	クロナデ	クロナデ	糸切り	左		6/36	36/36	24/36	SD2101・遺構外と接合	
116	540	SD2101	16L9・14	黒色土器	無台碗	BIVb	(22.0)	(7.4)	(7.4)	(33.6)	(33.6)	白・赤・黒・雲		外・浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	クロナデ (器面剥落)	ミガキ (器面剥落)				9/36	18/36	16/36	内面黒色処理・灰 (7.5Y4/1)	
116	541	SD2101	16L2	土師器	小甕				7.5			石・長・小礫・雲		にぶい褐 (7.5YR6/3)	酸化	剥落のため不明	クロナデ	糸切り	右			36/36			
116	542	SD2101	16L2・7	土師器	鉢	Bf	(40.2)		(15.0)			灰・赤・雲・海		にぶい黄橙 (10YR6/3)	酸化	クロナデ・タタキ・ヘラケズリ	クロナデ・ハケム・アテ具痕					15/36		25/36	
116	543	SD2101	16L1他	土師器	鉢	Bd	(44.2)		(15.35)			灰・赤・黒		にぶい黄橙 (10YR5/3)	酸化	クロナデ・カキメ・タタキ	クロナデ・カキメ・アテ具痕					6/36			
116	544	SD2103	16L20	須惠器	甕	BII	(26.2)					長		D 灰 (N5/)	還元	クロナデ	クロナデ					6/36			
116	545	SD2130	16I25他	須惠器	甕	AII						石・長		C 灰 (7.5Y6/1)	還元	タタキ・頸部下端道具痕	クロナデ・アテ具痕								
116	546	SD2290	14I	須惠器	杯蓋	E I e	(13.6)		3.4			白		B 灰白 (5Y7/1)	還元	クロナデ	クロナデ					7/36		24/36	
116	547	SD2407	18P12	土師器	無台碗	BIIa	12.7	5.1	4.2	33.1	40.2	石・長・白・小礫・黒		にぶい黄橙 (10YR7/4)	酸化・軟質	クロナデ	クロナデ	静止糸切り	左		35/36	36/36	35/36	SD1903と同一	
116	548	SD2408	18P16	土師器	無台碗				4.6			石・小礫・白・雲		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	クロナデ	クロナデ	糸切り	右				36/36		
116	549	SD2422	19N1	土師器	無台碗				5.1			黒・白		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化・軟質	クロナデ	クロナデ	糸切り	右				36/36		
116	550	SD2426	18N	須惠器	無台杯	AIIc	(12.0)	8.0	2.35	(19.6)	(66.7)	長		B 灰 (N6/)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り			11/36	19/36	17/36		
116	551	SD2426	18N他	須惠器	無台杯	AIIb	(12.0)	7.0	2.75	(22.9)	(58.3)	長		B 灰 (N5/)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		13/36	32/36	18/36		
116	552	SD2461	19N1	須惠器	有台杯				(6.0)			白		B 灰 (N6/)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り				18/36			外面底部に墨痕
116	553	SD2476	18O	須惠器	無台杯	BIIIc	(13.6)	(7.6)	(3.4)	(25.0)	(55.9)	長		B 灰 (10Y6/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り			13/36	13/36	13/36		
116	554	SD2475	18N7・19N13	須惠器	杯蓋	AIVa	17.5		3.4			石・長		C 灰白 (7.5Y7/1)	還元	クロナデ	クロナデ					35/36		35/36	Ⅲ期
117	555	SD2502		須惠器	無台杯	AII d	(12.6)	(7.4)	2.7	(21.4)	(58.7)	白		B 灰 (N6/)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り			4/36	7/36	12/36		
117	556	SD2502		須惠器	無台杯	BII d	(12.7)	7.3	3.0	(23.6)	(57.5)	白		B 灰白 (N7/)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		15/36	36/36	20/36		
117	557	SD2502		須惠器	無台杯	BII d	(12.8)	7.2	3.2	(25.0)	(56.3)	白		B 灰 (N6/)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	右		17/36	36/36	24/36		
117	558	SD2502	15H19・25	須惠器	無台杯	DII c	(12.7)	7.2	3.4	(26.8)	(56.7)	石・長・小礫		A 灰 (N5/)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切りカ			12/36	9/36	16/36		
117	559	SD2502	15H19	須惠器	有台杯				(13.0)			石・長		B オリープ灰 (2.5GY6/1)	還元	クロナデ	クロナデ					6/36			
117	560	SD2502		土師器	無台碗	BIVb	(16.2)	(5.8)	5.6	(34.5)	(35.8)	石・黒・雲		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	クロナデ	クロナデ	糸切り	左		7/36	16/36	10/36		
117	561	SD2502	16H3・5	土師器	小甕	Bb	10.5					石・長・黒・小礫・雲		にぶい黄橙 (10YR6/3)	酸化	クロナデ	クロナデ					33/36			
117	562	SD2568	17H4	須惠器	無台杯	B I c	(11.6)	7.0	2.75	(23.7)	(60.3)	白・赤		B 灰 (N5/)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り			7/36	19/36	18/36		
117	563	SD2568	16H17	土師器	小甕				4.7			白・赤		灰黄褐 (10YR6/2)	酸化・軟質	クロナデ	クロナデ	糸切り	右			18/36			
117	564	SD2844	17K8~10	須惠器	無台杯	CII c	(12.7)	7.6	3.35	(26.4)	(59.8)	黒		B 灰白 (10Y7/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		14/36	26/36	20/36		
117	565	SD2844	17K8	須惠器	杯蓋	I e	(13.6)					石・長		B 灰白 (N7/)	還元	クロナデ	クロナデ					8/36			内面墨痕・転用視カ
117	566	SD2930	19P15他	須惠器	有台杯	CIIIb2	(15.0)	7.5	6.4	(42.7)	(50.0)	石・長		B 灰 (10Y6/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り後ナデ	左		9/36	26/36	25/36	SD2904・遺構外と接合	
117	567	SD2930	19P15他	須惠器	甕	II						長		C 明赤褐 (2.5YR5/6)	還元	タタキ	タタキ								遺構外と接合
117	568	旧河川	12H25	須惠器	無台杯	AIIc	12.2	7.0	2.6	21.3	57.4	長		B 黄灰 (2.5Y6/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		19/36	30/36	20/36		
117	569	旧河川	12H15	須惠器	無台杯	AII c	12.1	7.0	2.7	23.3	57.9	長		B 灰 (5Y6/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		21/36	24/36	22/36		
117	570	旧河川	12H25	須惠器	無台杯	AII c	(12.2)	(8.5)	2.7	(22.1)	(69.6)	石・白		B 灰 (10Y5/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り			10/36	11/36	10/36		
117	571	旧河川	14J25	須惠器	無台杯	AII c	12.3	7.0	2.75	22.4	56.9	長		B 灰 (5Y6/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		21/36	36/36	24/36		
117	572	旧河川	15M20	須惠器	無台杯	B I c	11.9	7.0	3.0	25.2	58.8	白		B 暗灰黄 (2.5Y4/2)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		29/36	36/36	32/36		
117	573	旧河川	13I15	須惠器	無台杯	BIIc	12.1	7.5	3.0	24.7	61.9	白・雲		B 灰 (7.5Y5/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		30/36	36/36	33/36		
117	574	旧河川	14K21	須惠器	無台杯	AII c	12.5	8.4	2.8	22.4	67.4	白・雲		B 灰 (5Y6/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		36/36	36/36	36/36	板目瓦痕	
117	575	旧河川	15N23	須惠器	無台杯	A I c	11.9	7.4	2.5	21.6	63.8	小礫・白		B 黄灰 (2.5Y5/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		36/36	36/36	36/36		
117	576	旧河川	15N23	須惠器	無台杯	BII c	12.2	7.5	3.0	24.5	61.4	白		B 灰 (5Y4/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	右		36/36	36/36	36/36		
117	577	旧河川	13I9	須惠器	無台杯	BIIb	12.2	7.3	2.9	23.7	59.8	白・雲		B 灰オリーブ (5Y4/2)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	右		36/36	36/36	36/36		
117	578	旧河川	13I9	須惠器	無台杯	AIIb	(12.4)	6.9	2.8	(22.6)	(55.6)	長		B 灰オリーブ (5Y6/2)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り			17/36	17/36	16/36		
117	579	旧河川	15M20	須惠器	無台杯	BIIc	12.4	(7.8)	2.9	23.8	(63.9)	長・海		B 黄灰 (2.5Y5/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り			14/36	9/36	13/36		
117	580	旧河川		須惠器	無台杯	BIII d	(13.0)	7.6	3.0	(23.0)	(58.4)	長		B 灰 (5Y6/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		16/36	22/36	20/36		
118	581	旧河川	14K17	須惠器	無台杯	A I c	11.9	7.1	2.7	22.6	59.6	白・海		B オリープ黒 (5Y3/2)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		36/36	36/36	36/36		
118	582	旧河川	15M20	須惠器	無台杯	AII c	12.2	6.9	2.7	22.1	56.6	長		B オリープ黒 (5Y3/2)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		24/36	36/36	28/36		
118	583	旧河川	13I8	須惠器	無台杯	BII c	12.5	7.0	3.0	24	56	石・白・雲		B 灰オリーブ (5Y4/2)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		36/36	36/36	36/36		
118	584	旧河川	15N18, 15N24	須惠器	無台杯	BIIc	(12.5)	7.2	2.9	(23.2)	(57.6)	長・赤		B 黄灰 (2.5Y6/2)	酸化	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		15/36	36/36	24/36		
118	585	旧河川	13I3	須惠器	無台杯	AIIc	12.5	7.6	2.75	22.0	60.8	長		B 灰 (7.5Y6/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		19/36	36/36	28/36		
118	586	旧河川	15K3	須惠器	無台杯	AII c	(12.6)	7.8	2.8	(22.2)	(61.9)	長・小礫		B 灰 (N6/)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左		9/36	36/36	20/36	灰ふくれ	
118	587	旧河川	12H25	須惠器	無台杯	BIIc	12.4	7.6	2.9	23.4	61.3	白・雲		B 灰 (5Y5/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	右		25/36	26/36	28/36	口縁部内外面油煙付着・灯明器カ	
118	588	旧河川	15N25	須惠器	無台杯	BIIc	12.2	7.6	2.9	23.9	62.3	長		B オリープ灰 (2.5GY6/1)	還元	クロナデ	クロナデ	ヘラ切り	左						

図版 No.	報告書 No.	遺構名	出土位置	種別	器種	分類	法量 (cm)			器高指数	底径指数	胎土		焼成	手法					備考			
							口径	底径	器高			含有物	産地		色調	外面	内面		底部		回転方向	口縁部	底部
118	605	旧河川	15N20・21	須恵器	無台杯	B1c (11.9)	6.5	3.0	25.2	(54.6)	長・白	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り		左	14/36	36/36	24/36	
118	606	旧河川	14J15	須恵器	無台杯	C11c	12.5	7.3	3.3	26.4	58.4	長		還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り		左	27/36	27/36	32/36	
118	607	旧河川	9F20	須恵器	無台杯	B1Ib (13.2)	7.6	3.2	(24.9)	(58.5)	長	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラケズリ			9/36	36/36	16/36	
118	608	旧河川	14J7	須恵器	無台杯	C11c (12.5)	8.2	3.2	(25.6)	(65.6)	白	B	暗灰黄 (2.5Y5/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			15/36	22/36	16/36	
118	609	旧河川	12I21	須恵器	無台杯	B1Ic (13.2)	7.9	3.2	(24.2)	(59.8)	長・小礫	B	灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	11/36	26/36	24/36		
118	610	旧河川		須恵器	無台杯	C11c	12.2	7.45	3.2	26.2	61.1	長	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右	21/36	27/36	24/36	
118	611	旧河川	12I21	須恵器	無台杯	C11c (12.0)	6.7	3.2	(26.7)	(55.8)	長	B	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	14/36	24/36	20/36		
118	612	旧河川	15N16	須恵器	無台杯	B1Id (12.9)	6.3	3.2	24.8	48.8	白・赤・海・雲	A	オリーブ黒 (7.5Y3/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	29/36	36/36	33/36		
119	613	旧河川	15O16	須恵器	無台杯	B1IId (13.3)	6.6	3.1	(23.3)	(49.6)	石・長	A	灰 (5Y3/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	9/36	28/36	15/36		
119	614	旧河川	15M20	須恵器	無台杯	B1Ic	12.9	7.5	3.0	23.2	58.1	白・雲・海	B	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右	36/36	36/36	36/36	
119	615	旧河川	12H25、12I21	須恵器	無台杯	B1Ic (12.3)	(6.5)	3.1	25.2	(52.8)	白・灰	B	灰黄 (2.5Y7/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左カ	24/36	16/36	20/36		
119	616	旧河川	15N18・23	須恵器	無台杯	D11c (12.6)	7.6	3.55	(28.2)	(60.3)	石・長	Bカ	灰黄 (2.5Y5/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			7/36	18/36	16/36	
119	617	旧河川	14J15	須恵器	無台杯	B1Ic (12.0)	7.0	3.0	(25.0)	(58.3)	白	B	オリーブ黒 (5Y3/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	14/36	26/36	22/36		
119	618	旧河川	13I16	須恵器	無台杯	B1Ic (12.4)	7.0	2.9	23.3	56.4	白	B	灰オリーブ (5Y4/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ			24/36	36/36	28/36	
119	619	旧河川	14K21	須恵器	無台杯	B1Ic (12.8)	7.3	3.0	(23.4)	(57.0)	白	B	灰オリーブ (5Y4/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	11/36	32/36	20/36		
119	620	旧河川	13I9	須恵器	無台杯	B1Ic 123-125	7.2	3.1	25.2-24.8	57.6-58.5	白	B	オリーブ黒 (5Y3/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右	36/36	36/36	36/36		
119	621	旧河川	14K17	須恵器	無台杯	B1Ic (12.7)	7.4	3.0	23.6	58.2	白	B	灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			28/36	24/36	26/36	
119	622	旧河川	14J20	須恵器	無台杯	B1IId (12.8)	7.4~7.6	3.0	23.4	57.8-59.3	白	B	灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			19/36	36/36	26/36	
119	623	旧河川	14J20	須恵器	無台杯		(7.3)				白・灰	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			13/36			
119	624	旧河川	13I12	須恵器	無台杯	A1Id (12.2)	(6.8)	2.8	(22.9)	(55.7)	白・黒・雲	B	暗灰黄 (2.5Y4/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			13/36	17/36	16/36	
119	625	旧河川	12I25	須恵器	無台杯	A1Ic (12.4)	(7.3)	2.8	(22.5)	(58.8)	白	B	灰 (5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	10/36	23/36	16/36		
119	626	旧河川	12H10	須恵器	無台杯	B1Ib (13.0)	(7.3)	3.1	(23.8)	(56.2)	白・雲	B	暗灰黄 (2.5Y4/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			9/36	8/36	8/36	
119	627	旧河川	12I21	須恵器	無台杯	A1IId (12.6)	6.8	2.8	22.2	53.9	白・雲	B	灰黄 (2.5Y6/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	12/36	36/36	24/36		
119	628	旧河川	14J19	須恵器	無台杯		7.5				白・雲	B	黒褐 (2.5Y3/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右		36/36			
119	629	旧河川	12H9	須恵器	無台杯		(7.3)				白	C	灰 (10Y4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			17/36	13/36		
119	630	旧河川	14J15	須恵器	無台杯	A1Id (11.8)	6.5	2.7	(22.9)	(55.0)	白	B	灰 (5Y4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			17/36	28/36	23/36	
119	631	旧河川	14K21	須恵器	無台杯	B1Id (12.2)	(6.4)	2.9	(23.7)	(52.4)	白	B	灰 (5Y4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左カ		11/36	16/36	15/36	
119	632	旧河川	14K21	須恵器	無台杯	B1IId (12.0)	6.3	2.8	23.3	52.5	白・赤	B	灰 (5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右	36/36	36/36	36/36		
119	633	旧河川		須恵器	無台杯	A1IId (12.4)	(7.0)	2.7	(21.7)	(56.4)	白・海	B	灰オリーブ (7.5Y4/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			13/36	15/36	15/36	
119	634	旧河川	13I13	須恵器	無台杯		(5.8)				赤	C	灰白 (2.5Y8/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	左		7/36			
120	635	旧河川	12H25	須恵器	無台杯	C11c (12.3)	7.4	3.1	25.2	60.1	白	B	灰 (5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	36/36	36/36	36/36		
120	636	旧河川	12H25	須恵器	無台杯	B1Ic (12.1)	6.9	3.0	24.7	57.0	白	B	灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	23/36	36/36	28/36		
120	637	旧河川	13I8	須恵器	無台杯	B1IId (12.7)	7.5	3.1	24.4	59.0	白	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	36/36	36/36	36/36		
120	638	旧河川	13I8	須恵器	無台杯	B1IId (12.7)	7.6	3.1	24.4	59.8	白	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	25/36	36/36	28/36		
120	639	旧河川		須恵器	無台杯	A1IId (12.2)	6.7	2.6	21.3	56.5	白・海	B	灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	27/36	36/36	29/36		
120	640	旧河川	13I9	須恵器	無台杯	B1Ic (12.4)	6.9	3.0	24.1	55.6	白・雲・海	B	灰オリーブ (5Y4/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	36/36	36/36	36/36		
120	641	旧河川	12H25	須恵器	無台杯		7.5				白・海	B	灰 (5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り				29/36		
120	642	旧河川	14J13	須恵器	無台杯	B1Ic (12.6)	7.4	3.1	(24.6)	(58.7)	白・雲	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	15/36	25/36	19/36		
120	643	旧河川	15M21	須恵器	無台杯	B1Id (12.5)	7.2	2.9	(23.2)	(57.6)	石・白	B	灰 (5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	10/36	34/36	22/36		
120	644	旧河川	10G2	須恵器	無台杯	B1Ia (12.3)	8.2	3.0	(24.3)	(66.6)	白	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	8/36	29/36	19/36		
120	645	旧河川	12I21	須恵器	無台杯	B1Ic (12.4)	7.8	3.1	25.0	62.9	白	B	灰~灰オリーブ (5Y4/1~4/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	20/36	36/36	28/36		
120	646	旧河川	14G13	須恵器	無台杯		7.3				白・雲	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左		29/36			
120	647	旧河川	12I18	須恵器	無台杯		(6.8)				石・白	B	灰 (2.5Y4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左		12/36			
120	648	旧河川	12H10	須恵器	無台杯	B1IId (12.6)	(6.6)	2.9	(23.0)	(52.3)	白	B	暗灰黄 (2.5Y4/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	左	7/36	17/36	11/36		
120	649	旧河川	13I9	須恵器	無台杯	B1Ic (13.0)	(7.6)	3.1	(23.8)	(58.4)	白・雲	B	暗オリーブ (5Y4/3)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り			10/36	8/36	9/36	
120	650	旧河川	12H10	須恵器	無台杯	B1Ic (13.2)	(8.1)	3.2	(24.2)	(61.3)	黒・白・雲	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ			11/36	15/36	15/36	
120	651	旧河川		須恵器	無台杯		(7.4)				白	B	灰 (5Y5/1~4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り	右			9/36		
120	652	旧河川	15M、15N23	須恵器	有台杯	C1Ib (13.6)	7.7	6.1	(44.9)	(56.6)	長	B	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左	17/36	32/36	24/36		
120	653	旧河川	10G8	須恵器	有台杯	C1Ib (14.2)	7.1	6.1	(43.0)	(50.0)	長	B	灰 (N4)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左	8/36	36/36	24/36		
120	654	旧河川	16N4	須恵器	有台杯		8.3				白・黒	B	灰黄 (2.5Y6/3)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左		36/36			
121	655	旧河川	13I20	須恵器	有台杯	C1Ib (14.2)	7.6	6.7	47.2	53.5	白・雲・海	B	灰 (5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左	17/36	36/36	26/36		
121	656	旧河川	15N8	須恵器	有台杯	B1Ia (15.4)	8.0	6.1	(39.6)	(51.9)	長	Bカ	暗灰黄 (2.5Y5/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左	12/36	36/36	28/36		
121	657	旧河川		須恵器	有台杯		7.7				長	B	灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ			21/36			
121	658	旧河川	10G19	須恵器	有台杯	B1IId (10Y5/1)	7.0				長	B	灰 (10Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ		右	36/36			
121	659	旧河川	15L25	須恵器	有台杯		7.2				長	B	灰 (5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左		21/36			
121	660	旧河川	15N24	須恵器	有台杯		7.4				長	B	灰 (10Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ			22/36			
121	661	旧河川		須恵器	有台杯		(8.2)				長	B	オリーブ灰 (2.5GY6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ				17/36		
121	662	旧河川		須恵器	有台杯		(6.0)				長	B	灰 (10Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					11/36		
121	663	旧河川	16N9	須恵器	杯蓋	E1If (14.0)		2.9			白・雲	B	灰 (2.5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ			7/36		15/36		
121	664	旧河川	15M17	須恵器	杯蓋	E1Id (14.6)		2.6			白	B	灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ			28/36		36/36		32/36
121	665	旧河川	13I3	須恵器	杯蓋	I1a (15.8)					白・黒・雲	D	灰 (7.5Y4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ			8/36				
121	666	旧河川	13I	須恵器	杯蓋	C1Ic (16.4)		2.5			白	B	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ			17/36		18/36		
121	667	旧河川	12H20	須恵器	杯蓋	C11c (15.0)		2.8			白・海	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ			17/36		30/36		
121	668	旧河川	13I6	須恵器	杯蓋	I1d (14.6)					白・雲	B	灰 (7.5Y4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ			8/36				
121	669	旧河川	13I15	須恵																			



図版No.	報告書No.	出土位置		種別	器種	分類	法量 (cm)			器高指数	底径指数	胎土		色調	焼成	手法				通存率			備考				
		遺構名	グリッド				口径	底径	器高			含有物				外面	内面	底部	回転方向	口縁部	底部	全体					
												白	産地														
121	674	旧河川		須恵器	長頸壺							白・海	B	オリーブ黒 (5Y3/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ										
121	675	旧河川	15K7	須恵器	長頸壺	BII						石・白	A	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ										
121	676	旧河川	11H16	須恵器	甕		13.0					白・雲		灰 (7.5Y6/1~5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					36/36			内外面自然釉		
121	677	旧河川	14J6	須恵器	甕		(13.4)					白		黒 (7.5Y2/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					4/36					
121	678	旧河川	14K21	須恵器	横瓶		(12.0)					石・白・黒	Bc	灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ・アテ具痕					11/36			内外面一部自然釉		
121	679	旧河川		須恵器	浄瓶又は水筒*		7.0					白・黒・雲	D	暗オリーブ灰 (5GY3/1)	還元	上群ロクロナデ・下群ロクロナデ	ロクロナデ						27/36				
122	680	旧河川	14J7・8	須恵器	長頸壺カ	AII		11.5				長	Dc	灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						24/36				
122	681	旧河川	14J25、13110	須恵器	長頸壺カ	AII		9.9				長	B	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						36/36				
122	682	旧河川	14J7	須恵器	長頸壺カ			11.0				石・長	Bc	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						36/36				
122	683	旧河川	12H25	須恵器	短頸壺	B	(10.8)					白	C	灰 (10Y4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					15/36					
122	684	旧河川	14J18・25	須恵器	甕	IIA						長・白・灰・小礫	C	灰 (N6/)	還元	ロクロナデ・タタキ	アテ具痕										
122	685	旧河川	14J25	須恵器	甕	IIA	(28.0)					白	B	灰 (10Y4/1)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ・アテ具痕					4/36			胴部外面自然釉付着		
122	686	旧河川	14K21・23、15K2	須恵器	甕	IIA						長	B	灰 (N5/)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ・アテ具痕										
122	687	旧河川	17J5、15K3	須恵器	甕	IIA						長・白・灰	B	灰 (N5/)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ・アテ具痕										
122	688	旧河川	15K2・3、1703、17K4	須恵器	甕							白・黒	B	灰 (7.5Y4/1)	還元	タタキ	アテ具痕										
122	689	旧河川	9G1、8B25	須恵器	甕	III						白	D	灰~オリーブ黒 (10Y4/1~3/1)	還元	タタキ	アテ具痕								器形歪み		
122	690	旧河川	13・14G	須恵器	甕							小礫	A	灰白 (2.5Y7/1)	還元	タタキ	アテ具痕										
123	691	旧河川	11G5	土師器	無台椀	A1b	(11.8)	5.8	(3.5)	(29.7)	(49.2)	白		にぶい黄緑 (7.5YR6/4)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			12/36	36/36	12/36		内外面全面煤痕	
123	692	旧河川	14J14	土師器	無台椀	A1b	(12.0)	(5.7)	3.5	(29.2)	(47.5)	赤・雲		黒褐 (2.5Y3/1)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			12/36	12/36	12/36			
123	693	旧河川	14K23	土師器	無台椀	A1a	(12.0)	(5.1)	3.5	(29.2)	(42.5)	赤・雲		浅黄緑 (10YR8/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り				5/36	19/36	16/36			
123	694	旧河川	14K17、15K2	土師器	無台椀	C1a	(12.0)	(5.9)	4.2	(35.0)	(49.2)	赤・雲		にぶい黄褐 (10YR7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り				9/36	9/36	16/36			
123	695	旧河川	14K17	土師器	無台椀	C1a	(12.0)	(5.6)	(4.3)	(35.8)	(46.7)	赤・海		灰黄 (2.5Y6/2)	酸化	ロクロナデ	ナデ	糸切り				6/36	6/36	7/36			
123	696	旧河川	1318	土師器	無台椀	B1a	12.0	6.2	4.0	33.3	51.7	石・黒・赤・雲		にぶい黄緑 (10YR7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	左			28/36	36/36	34/36			
123	697	旧河川	1319	土師器	無台椀	B1b	(12.2)	(5.8)	4.25	(34.8)	(47.5)	石		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			11/36	36/36	16/36			
123	698	旧河川		土師器	無台椀	B1b	(12.6)	(5.9)	3.9	(31.0)	(46.8)	白・小礫・雲		暗灰黄 (2.5Y4/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	左			1/36	17/36	16/36			
123	699	旧河川	1318	土師器	無台椀	B1b	12.6~12.8	4.9	3.9	30.4~30.9	38.2~38.8	石・白・赤・雲		暗灰黄 (2.5Y5/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			36/36	34/36	35/36			
123	700	旧河川	1318	土師器	無台椀	C1a	11.6~12.0	5.3~5.4	4.2	36.2~35	45.6~45	石・白・雲		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			34/36	36/36	35/36		底部外面墨書「善」	
123	701	旧河川	1318	土師器	無台椀	B1a	12.3	5.9	4.0	32.5	47.9	石・赤・小礫・雲		灰黄 (2.5Y7/2~6/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			32/36	36/36	35/36		底部外面墨書「善」	
123	702	旧河川	1318	土師器	無台椀	B1a	12.0	5.4	4.1	34.1	45	石・小礫・雲		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			29/36	36/36	32/36		底部外面墨書「中」	
123	703	旧河川	1318	土師器	無台椀	A1b	12.2	5.5	3.6	29.5	45.0	石・白・雲		にぶい黄緑 (10YR5/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			36/36	36/36	36/36		底部外面墨書記号・口唇内面塗膜、灯明器*	
123	704	旧河川	12H9	土師器	無台椀	A1c	(13.0)	6.8	3.5	(26.9)	(52.3)	石		浅黄緑 (10YR8/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り				13/36	4/36	14/36			
123	705	旧河川	13115	土師器	無台椀	A1c	13.1	4.9	4.0	30.5	37.4	石・白・小礫・雲		にぶい黄緑 (10YR6/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			22/36	36/36	28/36			
123	706	旧河川	1318	土師器	無台椀	A1b	(13.7)	(5.7)	3.9	(28.4)	(41.6)	白・赤・雲		にぶい黄緑 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			7/36	12/36	14/36		底部外面墨書「足」カ	
123	707	旧河川	12H25	土師器	無台椀	B1b	(13.6)	5.6	(4.1)	(30.1)	(41.2)	黒		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り				1/36	7/36	16/36			
123	708	旧河川		土師器	無台椀	B1b	13.0	5.0	4.3	33.0	38.4	石・白・赤・雲		にぶい黄緑 (10YR6/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			34/36	36/36	35/36		底部内面線刻「×」	
123	709	旧河川	12118、13111	土師器	無台椀	A1b	(13.4)	5.2	3.85	(28.7)	(38.8)	白・雲		にぶい黄緑 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り				8/36	18/36	8/36			
123	710	旧河川	15K9	土師器	無台椀	B1b	12.9	(6.2)	4.0	31.0	(48.0)	石・白・海		にぶい黄緑 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			18/36	24/36	16/36			
123	711	旧河川	15L24	土師器	無台椀	B1c	(12.4)	3.5	3.85	(31.0)	(28.2)	石・長・赤・雲	A	にぶい黄緑 (10YR7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	左			12/36	36/36	20/36			
123	712	旧河川		土師器	無台椀	B1c	13.0	5.3	4.3	33.0	40.7	石・小礫・雲		にぶい黄緑 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			25/36	36/36	31/36		体部外面墨書「十」、底部外面線刻「×」	
123	713	旧河川	15M	土師器	無台椀	B1b	(15.0)	(5.8)	4.7	(31.3)	(38.7)	小砂・小礫・黒		灰黄 (2.5Y6/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り				11/36	11/36	16/36			
123	714	旧河川		土師器	無台椀	B1b	15.0	6.6	4.9	32.7	44.0	雲		にぶい黄緑 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			28/36	36/36	32/36			
124	715	旧河川	14K21	土師器	無台椀	B1b	(14.8)					白・雲		にぶい黄緑 (10YR5/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ					10/36					
124	716	旧河川		土師器	無台椀	B1b	(15.3)	(5.4)	5.3	(34.6)	(35.3)	黒・雲		にぶい黄緑 (10YR6/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ→ミガキ→ロクロナデ	糸切り				7/36	36/36	16/36			
124	717	旧河川	12H20	土師器	無台椀	B1b	15.4	6.0	5.1	33.1	39.0	石・長・小礫		橙 (5YR7/8)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ・ヘラケズリ	糸切り	右			19/36	36/36	28/36			
124	718	旧河川	1319	土師器	無台椀	BVa	17.0	5.8	5.6	33.0	34.1	白・雲		にぶい黄緑 (7.5YR6/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	左			26/36	36/36	24/36			
124	719	旧河川	10G2	土師器	無台椀	AVa	(17.6)	(7.8)	4.7	(26.7)	(44.3)	赤・黒・雲		にぶい黄緑 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ・ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り				8/36	17/36	16/36			
124	720	旧河川	13110	土師器	無台椀	B1a	(16.6)	5.6	5.6	(33.7)	(33.7)	黒・赤・海		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			17/36	36/36	12/36			
124	721	旧河川	1318	土師器	無台椀	B1a	(13.0)	(5.4)	4.1	(31.5)	(41.5)	白・黒		灰黄褐 (10YR5/2)	酸化	ロクロナデ・ロクロナデ	ロクロナデ→ミガキ	ヘラケズリ後調整				4/36	11/36	12/36			
124	722	旧河川	15N18	土師器	無台椀	B1a	15.6	5.7	4.7	36.5	30.0	石・赤・雲		にぶい黄緑 (7.5YR6/4)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ→ミガキ	ヘラケズリ				19/36	34/36	22/36			
124	723	旧河川	12I21	土師器	無台椀	C1c	(15.8)	6.4	5.7	(36.0)	(40.5)	小礫		にぶい黄緑 (10YR6/4)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り				7/36	20/36	16/36		
124	724	旧河川	1312、12I21	土師器	無台椀	B1b	17.3	6.7	5.7	33.0	38.7	石・長・黒・雲		にぶい黄緑 (10YR7/4)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り				27/36	36/36	32/36		
124																											



図版No.	番号No.	遺構名	出土位置 グリッド	種別	器種	分類	法量 (cm)			器高 指数	底径 指数	胎土		色調	焼成	手法				遺存率			備考			
							口径	底径	器高			含有物	産地			外面		底部	回転方向	口縁部	底部	全体				
																内面	底面									
130	813	遺構外	7E21、7D25	須恵器	有台杯		(12.4)					白・灰	B	灰 (7.5Y4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ				7/36					
130	814	遺構外		須恵器	有台杯			(7.0)				長	B	灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					17/36				
130	815	遺構外	7F23	須恵器	有台杯	CIIIb	(14.0)	(8.1)	5.9	(42.1)	(57.9)	長	Aカ	灰 (N6/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ			5/36	6/36	10/36			
130	816	遺構外	18P11・16	須恵器	有台杯	CIIb	(13.6)	(7.4)	6.2	(45.6)	(55.2)	長・白	B	灰 (N5/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左		6/36	6/36	10/36			
130	817	遺構外	1708、17P17	須恵器	有台杯	DIIIb	(13.9)	(9.1)	7.0	(50.4)	(65.5)	長	B	黄灰 (2.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ			11/36	14/36	10/36			
130	818	遺構外	15N11	須恵器	有台杯	CIII d	(14.2)					白	B	オリーブ黒 (7.5Y3/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					7/36				
130	819	遺構外	8F21	須恵器	有台杯		(14.0)					白	C	灰 (10Y4/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					7/36				
130	820	遺構外	17O25、18O9	須恵器	有台杯			7.7				長	B	灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					19/36			
130	821	遺構外	8F9	須恵器	有台杯			(6.2)				長	B	灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					12/36			
130	822	遺構外	16N24	須恵器	有台杯			(7.8)				長・黒	B	灰白 (2.5Y8/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					17/36			
130	823	遺構外	12G23	須恵器	有台杯			7.5				長	B	灰白 (5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					36/36			
130	824	遺構外	16O16	須恵器	有台杯			(8.2)				長	B	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					16/36			
130	825	遺構外	14G6	須恵器	有台杯			8.5				長	B	灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左				36/36		高台内曇痕、転用硯カ	
130	826	遺構外	8F11	須恵器	有台杯	BII a	(13.0)	6.4	5.0	(38.5)	(49.2)	長・白・灰	B	灰 (N5/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左	11/36	36/36	16/36				
130	827	遺構外	8D13	須恵器	有台碗	I a	12.4	6.8	4.7	37.9	54.8	長・白・灰	B	灰白 (N7/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左	25/36	36/36	27/36			高台内線刻「×」(調整前)	
130	828	遺構外	17I6・7	須恵器	有台碗	II a	(14.0)					長・白・灰	B	灰白 (N7/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					6/36				
130	829	遺構外	17O21・22	須恵器	有台碗	II a		(5.6)				長	B	灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					17/36			
130	830	遺構外	8E9	須恵器	有台碗	III a	(8.0)					長	B	オリーブ灰 (2.5GY6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					15/36			
130	831	遺構外	14G1	須恵器	有台碗			(6.4)				長	B	灰 (10Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					20/36			
130	832	遺構外	15G3	須恵器	有台碗	b		6.5				長	D	灰白 (10Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ	左				24/36			
130	833	遺構外	12F10	須恵器	杯蓋							長	B	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ									
130	834	遺構外	12F15、12G7、15G2	須恵器	杯蓋		(13.5)					白	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						2/36		内面曇痕、転用硯カ	
130	835	遺構外	13G23	須恵器	杯蓋	EII c	(14.7)		2.8			長	B	灰 (10Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					7/36	12/36	内面曇痕 転用硯カ		
130	836	遺構外	16P2・3・12・17・18	須恵器	杯蓋	EII c	(15.2)		1.8			長	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ					7/36	32/36			
131	837	遺構外	7E18	須恵器	長頸壺	BII						白・黒・小礫	A	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ・カキメ・黒ヘラズリ	ロクロナデ									
131	838	遺構外	12H12	須恵器	甕		(14.8)					白・黒	B	灰～オリーブ黒 (10Y4/1～3/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						7/36		内外降灰	
131	839	遺構外	7D25	須恵器	長頸壺	AII		(8.6)				石・長	C	灰 (N5/)	還元	ロクロナデ・回転ヘラズリ	ロクロナデ						13/36			
131	840	遺構外		須恵器	長頸壺カ		(10.7)					白	D	灰白 (2.5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					5/36			
131	841	遺構外	表採	須恵器	長頸壺カ	A I		10.3				長	B	灰白 (2.5Y7/1)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ	ヘラ切り後ナデ					32/36		高台内線刻「×」	
131	842	遺構外		須恵器	長頸壺			5.4				長・白	B	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						36/36			
131	843	遺構外	8D5	須恵器	長頸壺			4.0				白	D	灰白 (2.5Y7/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						21/36		内外自然釉	
131	844	遺構外	8D5	須恵器	小瓶			(6.2)				白・雲	D	灰 (10Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り						3/36		
131	845	遺構外	7E18、8E4	須恵器	横瓶		12.9		24.9			石・長・小礫	B	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ・アテ具痕						36/36	20/36	24/36	
131	846	遺構外	16M3	須恵器	横瓶		12.4		23.15			石・長・小礫	A	灰 (7.5Y6/1)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ・アテ具痕						27/36			
131	847	遺構外	8E4	須恵器	短頸壺	A	(12.4)					白・雲	C	オリーブ黒 (5Y2/2)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						11/36			
131	848	遺構外	17H7	須恵器	鉄鉢		(18.6)					白	B	灰 (7.5Y5/1)	還元	ロクロナデ・ロクロナズリ	ロクロナデ・口唇面取肌						7/36		外面火燐き痕	
132	849	遺構外	11F17	須恵器	甕							白	D	灰オリーブ (7.5Y4/2)	還元	ロクロナデ・液状文	ロクロナデ									
132	850	遺構外	15L22	須恵器	甕							白・黒	B	暗灰 (N3/)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ・アテ具痕									
132	851	遺構外	9E2	須恵器	甕	BIII	(21.3)					長	D	灰 (5Y6/1)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						5/36			
132	852	遺構外	17J5	須恵器	甕	BII	(26.5)					白	D	暗灰 (N3/)	還元	ロクロナデ	ロクロナデ						7/36			
132	853	遺構外	16J19、17J5	須恵器	甕	BII	(28.4)					長	B	灰 (N5/)	還元	ロクロナデ・タタキ	ロクロナデ・アテ具痕						6/36			
132	854	遺構外	10E25	土師器	無台碗	BII c	(12.5)	4.4	3.8	(30.4)	(35.2)	石・長・黒・海		にぶい黄橙 (10YR7/3)	軟質・酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	左			12/36	36/36	24/36		
132	855	遺構外	12G9	土師器	無台碗	AII a	12.8	6.0	3.8	29.7	46.9	長・小礫・雲		にぶい黄橙 (10YR5/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			36/36	36/36	36/36		煤付着
132	856	遺構外	13G23	土師器	無台碗	BII a	(13.0)	5.8	4.2	32.3	44.6	石・長・黒・海		にぶい黄橙 (10YR7/3)	軟質・酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			12/36	36/36	27/36		
132	857	遺構外	18M16	土師器	無台碗	AIII a	(13.7)	4.9	3.85	(28.1)	(35.8)	石・長・黒・赤		浅黄橙 (7.5YR8/6)	軟質・酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			17/36	36/36	26/36		
132	858	遺構外	15K13・15	土師器	無台碗	AII b	(13.4)	5.0	4.0	(29.8)	(37.3)	小礫・灰・赤		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ロクロナデ 器面剥落	ロクロナデ→ミガキ	糸切り	左			7/36	36/36	19/36		
132	859	遺構外	18P11	土師器	無台碗	AII a	(12.4)	3.9	3.25	(26.2)	(31.5)	白・黒		にぶい黄橙 (10YR7/2)	軟質・酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			13/36	36/36	25/36		
132	860	遺構外	9E19	土師器	無台碗			4.8				石・雲		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右				36/36		底部外面墨書「エ」	
132	861	遺構外	14G6	土師器	無台碗			5.7				石・白・雲		にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右				35/36		底部外面線刻「×」(焼成前)	
132	862	遺構外		土師器	無台碗	DIII c	(14.0)	5.6	5.6	(40.0)	(40.0)	白・黒・赤		橙 (5YR6/6)	軟質・酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右			8/36	36/36	29/36		
132	863	遺構外	17J14	土師器	無台碗			6.0				石・白・赤		灰白 (10Y8/2)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右				27/36		底部外面墨書「三」カ、1条の条線	
132	864	遺構外	13G25	土師器	無台碗			5.6				赤・雲		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切り	右				36/36		体部外面墨書「口口」	
132	865	遺構外	7E21	土師器	無台碗	DIII c	(13.9)	5.5	6.2	(44.6)	(39.6)	白・赤		にぶい橙 (7.5YR7/4)	酸化	ロクロナデ・ロクロナズリ	ロクロナデ	ヘラズリ					7/36	33/36	10/36	
132	866	遺構外	9D5・9K19	土師器	無台碗			4.8				白・黒・赤		にぶい橙 (7.5YR7/4)	軟質・酸化	ロクロナデ・ロクロナズリ	ロクロナデ	ヘラズリ					27/36		内面煤付着	
132	867	遺構外	15J21、15I25	土師器	長甕	Bd	22.6					石・長・赤・小礫		浅黄橙 (10YR8/4)	酸化	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ・カキメ						18/36			
132	868	遺構外	11E6	土師器	長甕	Bc	(21.6)																			

別表3 土製品観察表

図版 No.	報告書 No.	出土位置		時代	器種	法量 (cm・g)				色 調	焼成	手 法	備 考	
		遺構名	グリッド			長さ	径	孔径	重さ					
132	1	SD524	19P16	古代	輪の羽口			(7.6)	(3.1)		灰黄褐色 (10YR6/2)	酸化		小片
132	2	遺構外		古代	製塩土器	15.8					にぶい黄橙 (2.5Y7/4)	酸化	外・ミガキ、内・ヘラナデ	
132	3	SB11-P <sub>2</sub>	14H13	古代	土 錘	8.9	4.3	1.8	157.1		にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ナ デ	依形
132	4	SB14-P <sub>15</sub>	15H18	古代	土 錘	(3.8)	0.7	0.35	1.7		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	5	SB18-P <sub>5</sub>	16M24・25	古代	土 錘	4.0	0.8	0.3	2.5		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	6	SB18-P <sub>5</sub>	16M24・25	古代	土 錘	(4.2)	1.0	0.4	3.1		にぶい橙 (7.5YR6/4)	酸化	ナ デ	細形管状
132	7	P255	15J2	古代	土 錘	4.4	0.8	0.3	1.9		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	8	P800	20P9	古代	土 錘	3.3	1.3	0.4	6.0		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	大形管状
132	9	P1158	12H17	古代	土 錘	3.5	1.1	0.4	4.0		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	10	P1158	12H17	古代	土 錘	3.5	1.0	0.3	3.5		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	11	P1158	12H17	古代	土 錘	3.7	1.0	0.3	3.7		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	12	P1158	12H17	古代	土 錘	3.6	1.0	0.35	3.9		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	13	P1158	12H17	古代	土 錘	3.7	1.0	0.35	4.2		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	14	P1412	18N9	古代	土 錘	(3.2)	1.0	0.3	2.6		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	15	P1412	18N9	古代	土 錘	(3.05)	0.8	0.35	1.4		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ナ デ	細形管状
132	16	P1570	17N8	古代	土 錘	3.3	0.9	0.3	1.8		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ナ デ	細形管状
132	17	P1625	17N10	古代	土 錘	(2.9)	1.0	0.4	2.4		灰白 (10YR7/1)	酸化	ナ デ	細形管状
132	18	P1635	16M20	古代	土 錘	4.1	0.8	0.3	2.1		にぶい黄橙 (10YR6/3)	酸化	ナ デ	細形管状
132	19	P1662	17N9	古代	土 錘	(3.2)	0.9	0.3	2.7		にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	20	P1994	17O7	古代	土 錘	4.1	0.8	0.3	2.7		黄灰 (2.5Y6/1)	酸化	ナ デ	細形管状
132	21	P2453	17N11	古代	土 錘	(4.5)	0.9	0.35	3.8		にぶい橙 (7.5YR7/3)	酸化	ナ デ	細形管状
132	22	P2740	16L18・19	古代	土 錘	5.8	0.9	0.3	5.4		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ナ デ	細形管状
132	23	SE1348	18M10・15、18N6・11	古代	土 錘	(4.15)	0.8	0.3	3.2		灰白 (2.5Y7/1)	酸化	ナ デ	細形管状
132	24	SE1348	18M10・15、18N6・11	古代	土 錘	(4.9)	1.0	0.3	3.4		にぶい黄褐 (10YR7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	25	SE2118	16K8・9	古代	土 錘	7.6	(4.3)	(1.4)	46.4		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ナ デ	依形
132	26	SE2118	16K8・9	古代	土 錘	2.8	0.7	0.25	1.2		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	27	SK10	13I22、14I2	古代	土 錘	3.1	0.75	0.3	1.3		灰白 (10Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	28	SK10	13I22、14I2	古代	土 錘	(4.6)	0.8	0.3	2.6		灰白 (10Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	29	SK156	8E13・14・19	古代	土 錘	3.9	0.8	0.4	1.6		にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	30	SK260	14I23・24	古代	土 錘	4.2	1.1	0.3	3.5		浅黄橙 (7.5YR8/3)	酸化	ナ デ	細形管状
132	31	SK1966	16N8・9・13・14	古代	土 錘	3.8	0.8	0.3	2.0		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ナ デ	細形管状
132	32	SK1966	16N8・9・13・14	古代	土 錘	(3.7)	0.8	0.4	2.3		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	33	SK1966	16N8・9・13・14	古代	土 錘	(4.0)	0.8	0.4	3.1		灰黄 (2.5Y6/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	34	SK1978	16N8・9・13・14	古代	土 錘	4.1	0.7	0.3	1.3		灰黄 (2.5Y6/2)	酸化	ナ デ	細形管状
132	35	SK2500	16N10・15	古代	土 錘	3.85	0.8	0.3	2.2		にぶい橙 (7.5YR7/3)	酸化	ナ デ	細形管状
132	36	SK2500	16N10・15	古代	土 錘	(5.1)	1.0	0.4	3.4		にぶい黄橙 (10YR6/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	37	SK2500	16N10・15	古代	土 錘	5.2	0.9	0.3	3.6		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	38	SD15	15J2	古代	土 錘	(3.4)	0.85	0.2	2.0		灰白 (10YR8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	39	SD15	15J2	古代	土 錘	(3.4)	0.9	0.2	2.2		灰白 (7.5YR8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	40	SD15	15J2	古代	土 錘	(3.4)	0.8	0.25	1.7		にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	41	SD34	14I	古代	土 錘	(3.7)	0.8	0.3	1.8		浅黄橙 (7.5YR8/3~8/4)	酸化	ナ デ	細形管状
133	42	SD34	14I	古代	土 錘	4.7	0.85	0.3	2.5		浅黄橙 (7.5YR8/3~8/4)	酸化	ナ デ	細形管状
133	43	SD297	12H18	古代	土 錘	3.4	1.05	0.35	4.4		にぶい黄橙10YR7/2	酸化	ナ デ	細形管状
133	44	SD1061	8E7	古代	土 錘	3.3	1.0	0.3	4.0		にぶい黄橙 (10YR6/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	45	SD1517	18N3	古代	土 錘	4.2	0.8	0.3	2.1		灰白 (10YR8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	46	SD1700		古代	土 錘	3.7	0.75	0.4	1.7		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	47	SD1700		古代	土 錘	(4.0)	0.8	0.3	2.2		灰白 (10YR8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	48	SD1700		古代	土 錘	4.2	0.9	0.3	2.9		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	49	SD1700	17M7	古代	土 錘	(4.6)	0.8	0.35	2.5		浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	50	SD1700		古代	土 錘	4.2	0.9	0.35	2.4		灰白 (10YR8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	51	SD1700		古代	土 錘	4.7	1.0	0.3	3.6		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	52	SD1700		古代	土 錘	4.4	0.9	0.3	3.4		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	53	SD1700		古代	土 錘	(4.8)	1.1	0.35	4.9		灰白 (10YR8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	54	SD1700		古代	土 錘	4.9	1.0	0.4	4.0		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	55	SD1700		古代	土 錘	5.1	1.0	0.35	3.7		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	56	SD1700		古代	土 錘	5.2	0.95	0.3	4.1		灰白 (10YR8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	57	SD1905	16N24	古代	土 錘	4.1	0.7	0.3	1.8		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	58	SD1905	17O7	古代	土 錘	(4.8)	0.9	0.3	3.6		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	59	SD1909	16N18	古代	土 錘	2.9	0.7	0.25	1.6		灰白 (10YR8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	60	SD1909	16N24	古代	土 錘	3.2	0.8	0.3	1.8		にぶい黄橙 (10YR7/4)	酸化	ナ デ	細形管状
133	61	SD1909	16N24	古代	土 錘	3.4	0.9	0.3	1.7		灰白 (2.5Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	62	SD1909	16N24	古代	土 錘	(3.7)	0.8	0.25	2.1		にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	63	SD1909	16N24	古代	土 錘	4.15	1.05	0.3	3.1		にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	64	SD1911	17N2	古代	土 錘	(3.8)	0.9	0.3	2.6		灰白 (10Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	65	SD1911	17M20	古代	土 錘	3.9	0.9	0.25	2.3		灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	66	SD1911	17N2	古代	土 錘	(4.1)	1.0	0.3	3.1		灰白 (2.5Y8/1)	酸化	ナ デ	細形管状
133	67	SD1911	17N2	古代	土 錘	(5.0)	0.85	0.3	2.7		にぶい褐 (7.5YR6/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	68	SD1911	17N2	古代	土 錘	4.9	0.9	0.3	3.2		にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ナ デ	細形管状



別 表

図版 No.	報告書 No.	出土位置		時代	器種	法量 (cm・g)				色 調	焼 成	手 法	備 考
		遺構名	グリッド			長さ	径	孔径	重さ				
133	69	SD1911	17M2	古代	土 錘	5.1	0.9	0.3	3.5	にぶい褐 (7.5YR6/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	70	SD1913	16O21	古代	土 錘	5.25	1.0	0.4	4.9	灰白 (10YR8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	71	SD1927	16M24	古代	土 錘	3.65	0.8	0.3	2.3	にぶい橙 (7.5YR8/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	72	SD1927	16M24	古代	土 錘	5.5	0.85	0.35	3.0	灰白 (10YR8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	73	SD1929	16M25	古代	土 錘	3.7	0.8	0.3	1.8	にぶい褐 (7.5YR6/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	74	SD2101	16L14	古代	土 錘	5.05	0.95	0.35	3.5	にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	75	SD2102	16L9	古代	土 錘	4.0	1.0	0.3	2.4	灰黄 (2.5Y7/2~6/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	76	SD2102	16L9	古代	土 錘	4.2	0.8	0.3	2.3	灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	77	SD2107	16L22	古代	土 錘	(3.7)	0.9	0.35	2.7	灰白 (10Y8/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	78	SD2130	16I9	古代	土 錘	4.25	0.75	0.3	2.0	にぶい橙 (5YR7/4)	酸化	ナ デ	細形管状
133	79	SD2133	17K4	古代	土 錘	(4.0)	0.9	0.3	2.8	にぶい橙 (5YR6/4)	酸化	ナ デ	細形管状
133	80	SD2133	17K10	古代	土 錘	(4.6)	0.9	0.3	3.0	にぶい橙 (5YR6/4)	酸化	ナ デ	細形管状
133	81	SD2166	17K6	古代	土 錘	(3.5)	1.2	0.35	3.6	にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	82	SD2324	17I8	古代	土 錘	(3.5)	0.8	0.3	2.1	浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	83	SD2422	19N1	古代	土 錘	(3.2)	0.8	0.3	1.5	浅黄橙 (10YR8/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	84	旧河川		古代	土 錘	(2.4)	1.0	0.3	1.4	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	85	旧河川		古代	土 錘	3.5	0.95	0.4	3.4	にぶい黄橙 (10YR7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	86	旧河川		古代	土 錘	3.4	1.0	0.3	3.3	灰黄褐 (10YR6/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	87	旧河川		古代	土 錘	3.8	0.8	0.4	2.2	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ナ デ	細形管状
133	88	旧河川		古代	土 錘	(3.8)	1.0	0.3	3.7	灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ナ デ	細形管状
133	89	旧河川	15N24	古代	土 錘	7.7	4.1	1.2	126.7	明褐灰 (7.5YR7/1)	酸化	ナ デ	俵形
133	90	遺構外	13G6	古代	土 錘	4.4	1.5	0.4	10.8	灰黄 (2.5Y7/2)	酸化	ナ デ	太形管状
133	91	遺構外	17P5	古代	土 錘	(5.2)	3.2	0.9	45.6	黄灰 (2.5Y6/1)	酸化	ナ デ	太形管状
133	92	遺構外	16J20	古代	土 錘	7.1	4.1	1.7	103	にぶい黄橙 (10YR7/3)	酸化	ナ デ	依形
133	93	遺構外	14I20	古代	土 錘	6.8	4.9	1.6	165	にぶい黄橙 (10YR6/3)	酸化	ナ デ	依形

注：1) 括弧付きの数値は現存数値を示す。2) 製塩土器の法量数値は底径を示す。

別表4 土 錘未掲載品計測表

整理 No.	出土位置		形態	寸 法 (cm) 長×径×孔	重 量 g	残 存 値	整理 No.	出土位置		形態	寸 法 (cm) 長×径×孔	重 量 g	残 存 値
	遺構名	グリッド						遺構名	グリッド				
1	SE708	18N15・20	細形管状	2.2×0.8×0.3	4.4	両端欠	40	SD523	20P15	細形管状	2.5×1.1×0.5	2.3	完形
2	SE1348	18M10・15他	細形管状	2.2×1.0×0.3	1.6	両端欠	41	SD697	14H7	細形管状	3.0×0.8×0.3	1.3	両端欠
3	SE1348	18M10・15他	細形管状	2.1×0.75×0.3	1.1	両端欠	42	SD697	14H6	細形管状	2.8×0.7×0.3	1.3	両端欠
4	SK20	15J18・19	依形	3.5×4.1×1.6	16.6	小片 両端欠	43	SD1061	8E7	細形管状	3.3×1.0×0.3	4.0	完形
5	SK156	8E13・14他	細形管状	2.3×0.7×0.3	0.9	片端欠	44	SD1517	18N22	細形管状	2.6×0.9×0.35	2.2	両端小欠
6	SK156	8E13・14他	細形管状	2.0×0.8×0.3	1.0	小片 片端欠	45	SD1517	18N16	細形管状	2.45×0.9×0.3	1.3	両端欠
7	SK156	8E13・14他	細形管状	1.9×0.8×0.3	0.8	小片 片端欠	46	SD1517	18N16	細形管状	1.1×0.6×0.3	0.2	小片 片端欠
8	SK156	8E13・14他	細形管状	1.3×0.7×0.3	0.5	小片 片端欠	47	SD1700	17M7	細形管状	4.6×0.8×0.3	2.5	両端欠
9	SK942	12F23他	細形管状	3.4×0.9×0.3	2.3	片端欠	48	SD1700	18M8	細形管状	4.0×0.9×0.35	1.5	両端欠
10	SK942	12F23他	細形管状	2.7×0.9×0.3	1.8	両端欠	49	SD1700	17M8	細形管状	3.6×0.2×0.4	2.0	両端欠
11	SK942	12F23他	細形管状	2.7×0.9×0.3	1.5	片端欠	50	SD1700	17M8	細形管状	2.5×1.0×0.2	0.7	小片 両端欠
12	SK942	12F23他	細形管状	2.7×0.9×0.3	1.6	両端欠	51	SD1700	17M8	細形管状	1.7×0.9×0.35	0.9	小片 片端欠
13	SK942	12F23他	細形管状	2.4×1.0×0.4	1.6	小片 片端欠	52	SD1901	17N16	細形管状	3.5×0.8×0.3	1.8	片端欠
14	SK942	12F23他	細形管状	1.5×1.2×0.3	1.2	小片 片端欠	53	SD1901	17N18	細形管状	2.7×0.9×0.3	1.2	両端欠
15	SK1966	16N8・9他	細形管状	2.6×0.8×0.2	1.4	片端欠	54	SD1901	17N16	細形管状	2.4×0.8×0.3	0.8	両端欠
16	SK2500	16N10	細形管状	3.2×1.0×0.3	2.5	両端欠	55	SD1903	17N8	細形管状	2.8×0.7×0.4	1.0	両端欠
17	SK2831	17K3・4	細形管状	1.6×1.1×0.3	1.3	小片 片端欠	56	SD1903	17N15	細形管状	2.8×0.7×0.3	1.4	片端欠
18	SD12	15J25	依形	6.9×4.8×1.5	63.0	両端欠	57	SD1903	17O16	細形管状	2.7×0.9×0.3	1.8	両端欠
19	SD15	15O2	細形管状	3.6×0.8×0.3	1.7	両端欠	58	SD1903	17O16	細形管状	2.7×0.9×0.3	1.4	両端欠
20	SD15	15J2	細形管状	2.5×0.7×0.3	1.0	片端欠	59	SD1903	17N15	細形管状	2.5×0.9×0.9	1.2	両端欠
21	SD15	15J2	細形管状	2.3×0.7×0.4	0.9	両端欠	60	SD1903	17N15	細形管状	1.8×0.9×0.3	2	両端欠
22	SD15	15J2	細形管状	2.2×0.8×0.3	1.3	両端欠	61	SD1904	17N10	細形管状	3.5×1.0×0.3	2.9	片端欠
23	SD15	15J2	細形管状	2.0×0.7×0.4	0.9	両端欠	62	SD1904	17N10	細形管状	2.7×0.8×0.4	1.0	片端欠
24	SD15	15J2	細形管状	2.0×0.7×0.3	0.8	片端欠	63	SD1904	17N2	細形管状	2.3×0.8×0.3	1.1	小片 片端欠
25	SD15	15J2	細形管状	2.0×0.7×0.25	0.9	両端欠	64	SD1904		細形管状	1.8×0.8×0.4	0.7	小片 片端欠
26	SD15	15J2	細形管状	1.9×0.8×0.3	1.0	両端欠	65	SD1904	17N3	細形管状	1.7×0.7×0.3	0.6	小片 片端欠
27	SD15	15J2	細形管状	1.8×0.8×0.3	0.8	両端欠	66	SD1904	17O11	細形管状	1.4×0.8×0.3	0.6	小片 片端欠
28	SD15	15J2	細形管状	1.5×0.7×0.3	0.7	両端欠	67	SD1905	16N25	細形管状	3.8×0.9×0.3	2.1	片端欠
29	SD15	15J2	細形管状	1.4×0.6×0.2	0.3	小片 片端欠	68	SD1905	17N4	細形管状	2.8×0.8×0.3	0.8	両端欠
30	SD34	14H	細形管状	2.35×0.8×0.2	0.8	片端欠	69	SD1905	17N4	細形管状	1.3×0.8×0.3	0.4	小片 片端欠
31	SD82	14I14	依形	3.25×3.9×1.7	28.6	片端欠	70	SD1909	16N24	細形管状	2.9×0.9×0.3	1.7	片端欠
32	SD82	14J22	細形管状	2.4×0.8×0.3	1.4	両端欠	71	SD1911	17N2	細形管状	3.5×0.9×0.3	2.9	片端欠
33	SD82	13H14	細形管状	2.4×0.9×0.3	1.1	片端欠	72	SD1911	17N2	細形管状	2.6×1.0×0.3	2.2	両端欠
34	SD82	14J22	細形管状	2.1×0.7×0.3	0.9	両端欠	73	SD1911	17N2	細形管状	2.1×0.8×0.3	0.9	片端欠
35	SD82	14J22	細形管状	1.9×0.8×0.2	1.1	両端欠	74	SD1911	17N2	細形管状	1.2×0.6×0.2	0.4	小片 片端欠
36	SD82	14H8・9	細形管状	1.7×0.7×0.3	0.7	片端欠	75	SD1912	17N4	細形管状	2.9×0.8×0.3	1.4	両端欠
37	SD82	14J22	細形管状	1.7×0.7×0.2	0.8	両端欠	76	SD1914	17O1	細形管状	2.8×0.7×0.3	0.9	両端欠
38	SD82		細形管状	1.2×0.7×0.2	0.5	小片 片端欠	77	SD1919	16O21	細形管状	2.8×0.9×0.3	2.0	片端欠
39	SD82		細形管状	0.9×0.6×0.2	0.3	小片 片端欠	78	SD1927	16M25	細形管状	2.7×0.9×0.3	2.3	両端小欠

整理No.	出土位置		形態	寸法 (cm) 長×径×孔	重量 g	残存値	整理No.	出土位置		形態	寸法 (cm) 長×径×孔	重量 g	残存値
	遺構名	グリッド						遺構名	グリッド				
79	SD1927	16M25	細形管状	2.5×0.8×0.3	2.3	両端小欠	108	遺構外	16N23	細形管状	5.0×0.9×0.3	3.9	完形
80	SD1941	16N21	細形管状	2.5×0.8×0.3	0.9	両端欠	109	遺構外	16P10	細形管状	4.9×0.9×0.3	4.4	略完 片端小欠
81	SD2101	17L7	細形管状	3.4×1.1×0.3	3.4	両端欠	110	遺構外	16N24	細形管状	4.7×1.0×0.3	3.6	完形
82	SD2101	16L1	細形管状	2.5×0.9×0.3	1.5	両端欠	111	遺構外	17N9	細形管状	4.6×1.0×0.3	3.4	略完 片端小欠
83	SD2101	16L14	細形管状	2.4×0.9×0.3	1.5	両端欠	112	遺構外	17I3	細形管状	4.5×1.0×0.3	4.5	略完 片端欠
84	SD2101	16K13・14	細形管状	2.4×0.9×0.4	1.4	両端欠	113	遺構外	16N24	細形管状	4.5×0.9×0.3	3.6	完形
85	SD2101	16L9	細形管状	1.8×0.9×0.4	1.6	両端欠	114	遺構外	16O16	細形管状	4.5×1.0×0.3	3.0	略完 両端小欠
86	SD2101	16L9	細形管状	1.0×0.8×0.3	0.4	小片 両端欠	115	遺構外	17N2	細形管状	4.4×0.8×0.3	2.7	略完 片端小欠
87	SD2102	16L9	細形管状	3.2×0.8×0.3	2.3	略完 両端小欠	116	遺構外	17I9	細形管状	4.3×0.8×0.3	2.5	略完 片端小欠
88	SD2102	16L9	細形管状	3.0×1.0×0.3	2.4	片端欠	117	遺構外	15P2	細形管状	4.3×0.8×0.3	2.1	略完 片端小欠
89	SD2102	16L9	細形管状	20.0×0.9×0.3	1.1	小片 両端欠	118	遺構外	17L6	細形管状	4.2×1.1×0.3	3.6	略完 両端小欠
90	SD2107	16L22	細形管状	3.8×0.9×0.4	2.7	略完	119	遺構外	16N24	細形管状	4.2×0.9×0.3	2.8	完形
91	SD2166	17I3	細形管状	3.5×0.8×0.3	3.7	片端欠	120	遺構外	19N4	細形管状	4.2×0.8×0.3	2.4	略完 片端小欠
92	SD2324	17K6	細形管状	2.3×1.6×0.3	2.1	片端欠	121	遺構外	15P4	細形管状	4.1×0.8×0.3	3.1	略完 片端小欠
93	SD2422	19N1	細形管状	3.2×0.8×0.3	1.6	片端欠	122	遺構外	16N24	細形管状	4.0×0.8×0.3	2.2	完形
94	SD2422	19N1	細形管状	1.8×0.8×0.3	1.0	小片 片端欠	123	遺構外	17P	細形管状	3.9×0.7×0.3	2.0	完形
95	SD2461	18N22	細形管状	1.8×0.8×0.3	1.1	小片 両端欠	124	遺構外	17M15	細形管状	3.9×0.9×0.3	2.5	略完 両端小欠
96	SD2478	18O22	細形管状	3.0×0.9×0.3	2.1	両端欠	125	遺構外	16N24	細形管状	4.0×0.9×0.3	2.4	略完 両端小欠
97	SD2502		細形管状	3.0×1.0×0.4	2.2	両端欠	126	遺構外	16N24	細形管状	3.8×0.9×0.3	2.5	略完 両端小欠
98	SD2844	17K8	細形管状	2.9×0.9×0.3	2.2	両端欠	127	遺構外	17K9	細形管状	3.8×0.9×0.3	2.7	略完 両端小欠
99	SX1330	20P3・4他	細形管状	2.6×1.0×0.4	2.2	両端欠	128	遺構外	12G10	細形管状	3.7×0.9×0.3	3.9	略完 両端小欠
100	SX1330	20P3・4他	細形管状	2.4×1.0×0.4	1.9	両端欠	129	遺構外	16N21	細形管状	3.7×0.9×0.3	2.6	略完 両端小欠
101	SX1330	20P3・4他	細形管状	2.0×0.9×0.3	0.6	両端欠	130	遺構外	17I2	細形管状	3.6×0.9×0.3	2.7	略完 片端小欠
102	旧河川	16N9	細形管状	4.6×0.9×0.4	2.8	片端欠	131	遺構外	17N5	細形管状	3.5×1.0×0.3	3.2	略完 片端小欠
103	旧河川	16M15	細形管状	3.2×1.0×0.3	2.1	片端欠	132	遺構外	16O21	細形管状	3.3×0.7×0.3	1.6	略完 両端小欠
104	旧河川	13I18	細形管状	2.4×0.7×0.3	1.4	片端欠	133	遺構外	16N24	細形管状	3.2×0.7×0.3	1.3	略完 片端小欠
105	旧河川	16M3	細形管状	2.2×0.8×0.3	1.3	両端欠	134	遺構外	18N8	細形管状	3.3×0.9×0.3	1.7	略完 片端小欠
106	遺構外	16P2	細形管状	5.5×1.0×0.3	4.6	完形	135	表探	依形	7.2×4.0×1.6	49.8	縦割1/2	
107	遺構外	17N15	細形管状	5.2×0.9×0.3	3.7	完形	136	表探		細形管状	3.3×0.9×0.2	2.3	略完 片端小欠

別表5 石製品観察表

図版No.	報告書No.	出土位置		器種	石材	法量 (cm・g)				備考
		遺構名	グリッド			長さ	幅	厚さ	重量	
136	1	SE602	10F4・5・9・10		軽石	7.5	6.6	2.3	35	完形
136	2	SE983	14G1・6		軽石	7.8	5.2	4.35	52	完形
136	3	SD12	14I14	砥石	流紋岩	9.0	6.3	3.8	160	完形
136	4	SD12		磨石状製品	軽石	10.3	11	9.5	360	片端欠損
136	5	SD167		石槌	安山岩	15.1	6.8	4.35	530	片端欠損
136	6	SD606		磨石状製品	閃緑岩	5.55	4.55	4.1	105	完形
136	7	SD1268	9B10	砥石	砂岩	11.6	5.15	3.95	315	完形
136	8	SD1911		石槌	花崗岩	15.8	9.0	6.5	1340	完形
136	9	SD2413	18D7	磨石状製品	多孔質安山岩	10.6	5.6	3.4	235	完形
136	10	旧河川	2d	石製模造品	粘板岩	5.2	3.35	0.6	15	片端欠損
136	11	旧河川	12C10		軽石	6.35	3.7	1.65	15	完形
136	12	旧河川	14J7	砥石	流紋岩	8.4	5.6	2.9	170	完形
137	13	旧河川	13I10	砥石	流紋岩	8.3	5.8	3.2	270	片端欠損
137	14	旧河川		砥石	流紋岩	9.0	5.6	3.4	255	両端欠損
137	15	旧河川	13I	砥石	細粒凝灰岩	15.5	6.9	5.7	735	完形
137	16	旧河川	12C1	砥石	砂岩	15.0	11.2	5.5	875	一部剥落
137	17	旧河川	16N9	砥石カ	安山岩	10.4	7.8	8.0	560	破片
137	18	旧河川	14K17	砥石カ	閃緑岩	16.9	12.05	9.4	2300	破片
137	19	旧河川	13I9	砥石	安山岩	8.4	14.1	10.4	1740	破片
138	20	旧河川	14J15	台石	礫岩	28.1	16.1	5.1	7005	片端欠損
138	21	旧河川	14J16	台石	ホルンフェルス	10.75	14.4	10.7	2295	破片
138	22	旧河川	13I10	磨石状製品	安山岩カ	9.8	8.4	7.4	855	完形
138	23	旧河川	15N23	磨石状製品	軽石	12.7	8.6	6.7	310	完形
138	24	遺構外	12F4	有頭石錘	閃緑岩	11.0	5.7	5.9	504	完形
138	25	遺構外	16J17	石槌	砂岩	7.5	5.9	3.9	239	片端欠損
139	26	遺構外	15R21	石槌	閃緑岩カ	18.3	7.0	5.1	882	完形
139	27	遺構外	18P2		軽石	9.7	8.8	4.9	65	完形
139	28	遺構外	16J19	砥石	流紋岩	5.3	2.8	2.4	40	完形、提砥カ
139	29	遺構外	8E23	砥石	流紋岩	5.2	3.1	1.9	50	片端欠損
139	30	遺構外	8F22	砥石	流紋岩	6.9	2.3	3.2	40	片端欠損
139	31	遺構外	16K25	砥石	流紋岩	11.9	4.8	3.2	175	片端欠損
139	32	遺構外	15M24	砥石	軽石	8.2	8.8	6.5	220	片端欠損、有溝
139	33	遺構外	16M24	磨石状製品	閃緑岩	10.4	8.7	2.5	325	完形
140	34	遺構外	14J15	砥石	ホルンフェルス	19.2	19.4	10.1	3780	完形、再加工品
140	35	遺構外	14K21	砥石	花崗岩	17.2	20.2	14.1	4995	破片
140	36	遺構外	16N22	台石	閃緑岩	8.9	13.1	6.8	730	破片

別表6 木製品計測表

図版No.	図示No.	種類	出土位置		遺存状況	法量 (mm)			木取	樹種	(備考)
			遺構名	グリッド		長さ	幅	厚さ			
141	1	柱根	P288	12H	上部欠損	(483)	151	137		トネリコ属	芯持ち材
141	2	柱根	P437	13H	上部欠損	(474)	95	108		トネリコ属	芯持ち材
141	3	柱根	P483	12G	上部欠損	(345)	89	87		トネリコ属	芯持ち材
141	4	柱根	P633	11G	上部欠損	(239)	75	88		コナラ属コナラ節	芯持ち材
141	5	柱根	P920	12H	上部欠損	(390)	133	150		トネリコ属	芯持ち材
141	6	柱根	P933	12H	上部欠損	(390)	152	136		クリ	芯持ち材
141	7	柱根	P936	12H	上部欠損	(323)	94	94		トネリコ属	芯持ち材
141	8	柱根	P988	12H	上部欠損	(276)	153	147		トネリコ属	芯持ち材
141	9	柱根	P1514	20P	上部欠損	(569)	169	149			芯持ち材
141	10	柱根	P1153	12G	上部欠損	(198)	128	123		クリ	芯持ち材
141	11	柱根	P1707	8D・E	上部欠損	(381)	98	92		クリ	芯持ち材
141	12	柱根	P2693	15H	上部欠損	(167)	101	85			芯持ち材
142	13	棒状製品 (斎串?)	SE2	15K	完形	145	10	10	板目	スギ	
142	14	板状?製品	SE2	15K	部位・残存率不明	281	(20)	5	板目	ヒノキ亜科	
142	15	板状製品	SE2	15K	片端完形	215	21	7	板目		
142	16	板状製品	SE2	15K	部位・残存率不明	442	(91)	22	板目		加工痕か?
142	17	杭状製品	SE510	20Q	上部欠損	(421)	46	45		マツ属炭酸管束系属	芯持ち材 樹皮一部残
142	18	板状?製品	SE602	9F	部位・残存率不明	(256)	(22)	(9)	板目		
142	19	斎串	SE708	18NO	完形	117	17	3	板目	スギ	
142	20	斎串	SE708	18NO	切り込み部・下端部欠損	(124)	22	1	板目	ヒノキ亜科	8層
142	21	斎串	SE708	18NO	切り込み部・下端部欠損	(124)	18	2	板目	スギ	
142	22	斎串	SE708	18NO	下部欠損	(92)	18	2	板目		8層
142	23	斎串	SE708	18NO	切り込み部・下端部欠損	(119)	13	2	板目		8層
142	24	棒状製品	SE708	18NO	部位・残存率不明	(120)	10	6			8層
142	25	棒状製品 (斎串?)	SE708	18NO	完形	300	20	21		ヒノキ亜科	覆土上面
142	26	板状製品	SE708	18NO	部位・残存率不明	(43)	63	8	板目		覆土上面
142	27	板状製品	SE708	18NO	部位・残存率不明	(42)	62	12	板目		
142	28	円形板状製品 (曲物底板)	SE708	18NO	側板据付痕あり	径(210)	-	9	板目		覆土上面 木釘痕1ヶ所 線状痕あり
142	29	付け木	SE983	14F5	ほぼ完形	111	12	11			片端コゲ
142	30	付け木	SE983	14F5	ほぼ完形	94	11	8			両端コゲ
142	31	付け木	SE983	14F5	ほぼ完形	59	10	5			片端コゲ
142	32	板状?製品	SE1348	18M・N	部位・残存率不明	181	(14)	4	板目		
142	33	付け木	SE2357	14H	ほぼ完形	99	12	6			下層片端コゲ
142	34	付け木	SK981	13F	ほぼ完形	112	5	9			片端コゲ
143	35	板状?製品	SK1280	8F	部位・残存率不明	(180)	33	9	板目		
143	36	棒状製品	SK1966	16N13	上部欠損	(438)	14	15		ヒノキ亜科	
143	37	板状製品 (建築部材?)	SK2140	15L	ほぼ完形	1032	(174)	36	板目	スギ	円形・長方形ホゾ穴各2ヶ所 円形孔1ヶ所 整形 (加工) 痕あり 線状痕あり
143	38	円形板状製品 (曲物底板?)	SK2500	16N	1/2残存	径(270)	-	13	板目	スギ	
143	39	板状製品	SK2500	16N	部位・残存率不明	(315)	95	7	不明		
143	40	棒状製品 (斎串?)	SK2500	16N	ほぼ完形	(540)	(28)	8	板目		
143	41	棒状製品	SK2500	16N	上部欠損	(442)	13	13		スギ	
143	42	板状製品	SD12	14J7	部位・残存率不明	(114)	(35)	7	板目		
143	43	付け木	SD2061	14G1	ほぼ完形	104	11	4			片端コゲ
144	44	曲物	SE2563	15G	上・下端一部欠損	径(444)	-	高さ256		スギ	
144	45	柄杓	旧河川	15N1	一部欠損	-	103	101		ひょうたん	
144	46	柄 (柄杓)	旧河川	16N23	完形	560	15	11		スギ	
144	47	皿	旧河川	16N23	破片	口径(220) 底径(168)	21		板目	ケヤキ	
144	48	皿	旧河川	15N24	破片	口径(240) 底径(224)	9		板目	ケヤキ	
144	49	皿	旧河川	15N23	破片	口径(70) 底径(59)	8		板目	ケヤキ	底部内面一部コゲ 線状痕あり
144	50	皿	旧河川	15N24	破片	底径(110)	-	高さ(9)	板目		底部内面一部コゲ あり
144	51	皿	旧河川	15M20	2/5残存	口径(190) 底径(148)	17		板目	ケヤキ	底部外面に刻書?あり
144	52	皿	旧河川	15N24	破片	口径(210) 底径(168)	20		板目	スギ	
144	53	鉢?	旧河川	15M	破片	底径(100)	-	(22)	不明	ケヤキ	
144	54	円形板状製品 (曲物底板?)	旧河川	15O16	1/2残存	径(190)	-	7	板目	ヒノキ亜科	内面一部コゲ 線状痕あり 縁部段差
144	55	円形板状製品 (曲物底板?)	旧河川	16N2	1/4残存	径(180)	-	8	板目		木釘2ヶ所
144	56	円形板状製品	旧河川	15N13	完形	径(158)	- (156)	8	板目	ヒノキ亜科	線状痕あり
145	57	円形板状製品 (曲物底板)	旧河川	15N21	ほぼ完形	径(164)	- (164)	10	板目	スギ	木釘3ヶ所
145	58	円形板状製品 (曲物底板)	旧河川	14J13	ほぼ完形	径(163)	-	6	板目		木釘2ヶ所
145	59	円形板状製品 (曲物底板)	旧河川	12I21	ほぼ完形	径(184)	-	8	板目		木釘3ヶ所
145	60	円形板状製品 (曲物底板)	旧河川	15N23	3/5残存	径(273)	-	12	板目	スギ	木釘2ヶ所 木釘孔1ヶ所 線状痕あり
145	61	円形板状製品 (曲物底板)	旧河川	15M	1/2残存	径(263)	-	6	板目		縁部縦紐1ヶ所 縦紐孔1ヶ所
145	62	容器?	旧河川	15N18	一部	口径(288) 底径(330)	高さ381		板目	スギ	把手あり
146	63	棒状製品 (柄)	旧河川	15M	ほぼ完形	342	46	21	板目	スギ	上部切り込みあり 鉄釘2ヶ所
146	64	棒状製品	旧河川	15N8	部位・残存率不明	(244)	41	44		スギ	
146	65	棒状製品	旧河川	15N21	ほぼ完形	204	43	44		スギ	
146	66	火鉢白	旧河川	14J9	片側欠損	(308)	34	19	板目	ヒノキ科	くぼみ2ヶ所
146	67	火鉢白	旧河川	15N21	部位・残存率不明	501	37	18		ヒノキ亜科	片側切り欠き2ヶ所
146	68	板状製品	旧河川	13I7	部位・残存率不明	(87)	23	4	板目		両側面刻みあり
146	69	斎串	旧河川	15M20	切り込み部欠損	144	18	4	板目	スギ	
146	70	斎串	旧河川	15N20	ほぼ完形	466	20	4	板目	スギ	
146	71	斎串	旧河川	15N20	完形	461	19	4	板目	スギ	
146	72	斎串	旧河川	15O16	部分的欠損	451	16	3	板目	スギ	
146	73	斎串	旧河川	15N20	完形	427	20	5	板目	スギ	
146	74	棒状製品	旧河川	15N23	上部欠損	(155)	8	6			
146	75	棒状製品	旧河川	15N23	部位・残存率不明	(151)	18	6			
146	76	板状製品 (斎串?)	旧河川	15N24	ほぼ完形	164	19	6	板目		
147	77	棒状製品 (斎串?)	旧河川	15M20	ほぼ完形	154	9	9		スギ	
147	78	棒状製品	旧河川	15N23	片側欠損	(97)	14	8	板目		

図版No.	図示No.	種類	出土位置		遺存状況	法量 (mm)			木取	樹種	(備考)
			遺構名	グリッド		長さ	幅	厚さ			
147	79	棒状製品 (斎串?)	旧河川	15N20	下部欠損	(111)	21	15	楕目		
147	80	棒状製品	旧河川	15N13	ほぼ完形	107	11	8	板目		
147	81	棒状製品	旧河川	16N2	片側欠損	(108)	6	4	楕目		
147	82	棒状製品	旧河川	15N8	上・下部欠損	(299)	10	9	板目		
147	83	棒状製品	旧河川	15M	ほぼ完形?	439	6	4	楕目	スギ	
147	84	棒状製品	旧河川	15N24	上部一部欠損	(481)	26	9	板目		
147	85	板状製品	旧河川	15M	上・下部欠損	(511)	27	10	板目		
147	86	棒状製品	旧河川	15N13	上部欠損	458	28	14			
147	87	棒状製品 (斎串?)	旧河川	13I7	完形	313	24	17		ヒノキ亜科	
147	88	棒状製品	旧河川	16N2	上部欠損	302	15	13			下端コゲ
147	89	棒状製品	旧河川	15N24	片側欠損	(168)	14	11			
147	90	棒状製品	旧河川	15N21	部位・残存率不明	(132)	10	(5)	楕目		
147	91	板状製品	旧河川	15N21	片側部位・率不明	(69)	22	8	楕目		
147	92	板状製品 (斎串?)	旧河川	15N23	部位・残存率不明	80	(14)	4	不明		
147	93	棒状製品	旧河川	14N22	片側欠損	(577)	23	21		ヒノキ亜科	
147	94	棒状製品	旧河川	16N2	上・下部欠損	(414)	22	13	板目	スギ	片側刻みあり
148	95	鋤先形板状製品	旧河川	12H9	一部欠損	111	(69)	6	楕目	スギ	
148	96	舟形?製品	旧河川	15N8	一部欠損	250	37	24		スギ	
148	97	浮子	旧河川	15N8	片端一部欠損	231	18	15		スギ	
148	98	浮子	旧河川	15N8	片端一部欠損	284	22	17		スギ	
148	99	棒状製品	旧河川	15N8	上部欠損	(303)	34	22	楕目		方形ホゾ穴
148	100	棒状製品 (建築部材?)	旧河川	15N8	部位・残存率不明	(270)	35	28			
148	101	板状製品 (折敷?)	旧河川	15N8	部位・残存率不明	329	(68)	12	板目	スギ	
148	102	板状製品	旧河川	16N9	片側欠損	(170)	41	19	楕目	スギ	木釘6ヶ所 木釘孔1ヶ所
148	103	板状製品 (折敷?)	旧河川		部位・残存率不明	(180)	55	7	楕目		縁部縦紐1ヶ所
148	104	板状製品	旧河川	15M20	部位・残存率不明	(134)	57	(8)	楕目	スギ	
148	105	板状製品 (加工部材)	旧河川	15N13	部位・残存率不明	(105)	(85)	28	板目		
148	106	板状製品 (角材)	旧河川	14P3	部位・残存率不明	(91)	90	87	板目		
148	107	板状製品	旧河川	15N23	上・下部欠損	(394)	(34)	(8)	楕目		加工痕あり
149	108	板状製品	旧河川(隼上)		部位・残存率不明	(476)	73	(15)	楕目		加工痕あり
149	109	板状製品	旧河川	13I9	部位・残存率不明	(384)	(197)	45	板目		加工痕あり
149	110	杭状製品	旧河川	15M20	上部欠損	(171)	39	40		ヤナギ属	芯持ち材 樹皮一部残
149	111	円形板状製品 (曲物底板)	Ⅲc層	8E14	1/2残存	径 (164)	-	6	楕目		木釘孔2ヶ所
149	112	付け木	Ⅲc層	8E9	ほぼ完形	169	9	8			先端コゲ
149	113	板状製品	Ⅲc層	8D9	ほぼ完形	120	49	6		ヒノキ亜科	孔4ヶ所
149	114	柄 (刀子)	SE2	15K	一部欠損	166	20			コナラ族	

別表7 木簡観察表

図版No.	図示No.	種類	出土位置		遺存状況	法量 (mm)			木取	樹種	(備考)
			遺構名	グリッド		長さ	幅	厚さ			
150	117	木簡	旧河川	15N8	残存率不明	(415)	(64)	5	楕目	ヒノキ亜科	第1号木簡 曲物底板利用
150	118	木簡	旧河川	13I13	残存率不明	(202)	26	4	楕目	ヒノキ亜科	第2号木簡
150	119	木簡	旧河川	15O16	残存率不明	(826)	50	14	板目	スギ	第3号木簡

別表8 金属製品観察表

図版No.	図示No.	種類	出土位置		遺存状況	法量 (mm)			木取	樹種	(備考)
			遺構名	グリッド		長さ	幅	厚さ			
149	115	鉄製品 刀子	SE2	15K	切先わずかに欠損	(127)	17	4			
149	116	鉄製品 手斧	SD421	15I~H	基部一部欠損	(73)	36	19			



別表 9 主要遺構出土古代土器種構成率

凡 例

- 1 本表は、主要遺構 (SB・P・SE・SK・SD・SX・旧河川) から出土した土器 (土師器、黒色土器、須恵器) の構成比率を示したものである。出土点数の少ない遺構 (P) については、図示した遺構のみを掲載した。
- 2 土器の計測法は、口縁部残存率法 [宇野 1992、春日 1994] とそれに応じた底部残存率法により計測した。また、併せて口縁数・底部数を示した。
- 3 口縁・底部残存率によって得られた数値は 1/36 で示し、それぞれ口残値・底残値と略記した。
- 4 黒色土器無台碗・有台皿とした器種は、ほぼ総てが無台碗で占められるが、本項目には有台皿が SD82 より 2 点と旧河川より 1 点、無台皿が旧河川より 1 点出土している。
- 5 須恵器無台杯とした器種のうち、何項目には糸切り無調整の無台杯が P2778・SK2508・SD82・旧河川よりそれぞれ 1 点ずつ出土している。
- 6 須恵器有台杯とした器種のうち、何項目には有台杯が遺構外より計 6 点出土している。

遺構名	種別	食膳具										煮炊具						貯蔵具					合計	
		土師器		黒色土器		須恵器		須恵器		土師器		土師器		土師器		土師器		土師器		土師器				
	計測値	無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長巻	小甕	佐渡型甕	鍋	非口クロケズリ甕	甕	長頸甕	短頸甕	横瓶	その他							
SB3001-P1 (P1100)	口残値				0.13	59.09%		0.03	13.64%				0.06	27.27%				0.22	100.00%					
	口縁数 (点)				3	50.00%		1	16.67%				2	33.33%				6	100.00%					
	底残値	0.36	100.00%															0.36	100.00%					
	底部数 (点)	1	100.00%															1	100.00%					
	体部数 (点)				1.00	5.88%		1	5.88%			11	64.71%	4	23.53%				17	100.00%				
	総点数 (点)	1	4.17%		4	16.67%		2	8.33%			13	54.17%	4	16.67%				24	100.00%				
総重量 (g)	26.00	13.07%		6.50	3.27%		15.70	7.89%			138.40	69.58%	12.30	6.18%				198.90	100.00%					
SB3001-P3 (P1024)	口残値				0.08	100.00%												0.08	100.00%					
	口縁数 (点)				1	100.00%												1	100.00%					
	底残値																							
	底部数 (点)														1	100.00%			1	100.00%				
	体部数 (点)												1	33.33%	2	66.67%			3	100.00%				
	総点数 (点)				1	20.00%							1	20.00%	3	60.00%			5	100.00%				
総重量 (g)				5.30	8.45%							2.70	4.31%	54.70	87.24%			62.70	100.00%					
SB3001-P4 (P1255)	口残値																							
	口縁数 (点)																							
	底残値																							
	底部数 (点)																							
	体部数 (点)													1	100.00%				1	100.00%				
	総点数 (点)													1	100.00%				1	100.00%				
総重量 (g)								1.00	100.00%									1.00	100.00%					
SB3001-P5 (P1276)	口残値				0.06	100.00%												0.06	100.00%					
	口縁数 (点)				1	100.00%												1	100.00%					
	底残値																							
	底部数 (点)																							
	体部数 (点)				1	16.67%								5.00	83.33%				6	100.00%				
	総点数 (点)				2	28.57%								5.00	71.43%				7	100.00%				
総重量 (g)				4.70	3.44%								131.90	96.56%				136.60	100.00%					
SB3001-P6 (P1215)	口残値												0.11	78.57%	0.03	21.43%		0.14	100.00%					
	口縁数 (点)												1	50.00%	1	50.00%		2	100.00%					
	底残値				1.00	100.00%												1	100.00%					
	底部数 (点)				1	100.00%												1	100.00%					
	体部数 (点)												4	100.00%				4	100.00%					
	総点数 (点)				1	14.29%							4	57.14%	1	14.29%	1	14.29%	7	100.00%				
総重量 (g)				78.60	30.55%							97.80	38.01%	57.00	22.15%	23.90	9.29%	257.30	100.00%					
SB3001-P7 (P1046)	口残値				0.06	66.67%							0.03	33.33%				0.09	100.00%					
	口縁数 (点)				2	66.67%							1	33.33%				3	100.00%					
	底残値	0.22	16.18%															0.22	100.00%					
	底部数 (点)	1	16.67%															1	100.00%					
	体部数 (点)				1	2.94%													1	100.00%				
	総点数 (点)	1	2.33%		3	6.98%													4	100.00%				
総重量 (g)	7.60	1.92%		7.20	1.82%									53.80	13.60%	294.70	74.48%	324.00	100.00%					
SB3001-P8 (P344)	口残値	0.06	50.00%					0.06	50.00%									0.12	100.00%					
	口縁数 (点)	1	50.00%					1	50.00%									2	100.00%					
	底残値																							
	底部数 (点)																							
	体部数 (点)			1	8.33%														1	100.00%				
	総点数 (点)	1	7.14%		1	7.14%													6	100.00%				
総重量 (g)	1.50	2.93%		4.60	8.98%													10.20	100.00%					
SB3001-P9 (P1211)	口残値				0.11	100.00%												0.11	100.00%					
	口縁数 (点)				1	100.00%												1	100.00%					
	底残値																							
	底部数 (点)																							
	体部数 (点)																		16	100.00%				
	総点数 (点)				1	5.88%													16	100.00%				
総重量 (g)				3.00	2.26%													129.60	97.74%					





遺構名	種別	食器具							煮炊具					貯蔵具					合計								
		土師器		黒色土器		須恵器			土師器					須恵器													
		無台椀	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長巻	小巻	佐渡型巻	鍋	非ロクロケズリ巻	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他										
SB3006-P7 (P442)	口残値											0.03	17.65%	0.14	82.35%									0.17	100.00%		
	口縁数(点)											1	50.00%	1	50.00%									2	100.00%		
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)																										
	総点数(点)												1	50.00%	1	50.00%									2	100.00%	
SB3007-P2 (P439)	口残値																										
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)													1	100.00%										1	100.00%	
	総点数(点)													1	100.00%										1	100.00%	
SB3007-P11 (P486)	口残値																										
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)											4	100.00%												4	100.00%	
	総点数(点)											4	100.00%												4	100.00%	
SB3008-P1 (P810)	口残値																										
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)					0.14	100.00%																			0.14	100.00%
	体部数(点)					1	100.00%																		1	100.00%	
	総点数(点)					1	100.00%																		1	100.00%	
SB3009-P2 (P2052)	口残値																										
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)	1	33.33%																								
	総点数(点)	1	16.67%									2	66.67%												3	100.00%	
SB3010-P7 (P1200)	口残値	0.08	34.78%																								
	口縁数(点)	2	33.33%																								
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)																										
	総点数(点)	2	13.33%																								
SB3010-P8 (P1196)	口残値	1.90	1.45%																								
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)																										
	総点数(点)																										
SB3010-P12 (P2630)	口残値																										
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)																										
	総点数(点)																										
SB3010-P13 (P2619)	口残値																										
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)	1	20.00%																								
	総点数(点)	1	16.67%																								
SB3010-P13 (P2619)	口残値																										
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)	1	16.67%																								
	総点数(点)	1	16.67%																								
SB3010-P13 (P2619)	口残値																										
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)	1	8.38%																								
	総重量(g)	2.80	8.38%																								



遺構名	種別	食器具						煮炊具					貯蔵具					合計										
		土師器		黒色土器		須恵器		土師器					須恵器															
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長甕	小甕	佐渡型甕	鍋	非ロクロケズリ甕	裏	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他											
SB3011-P3 (P2296)	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)	1	100.00%																						1	100.00%		
	総点数(点)	1	100.00%																							1	100.00%	
SB3011-P6 (P2262)	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)											1	16.67%					5	83.33%								6	100.00%
	総点数(点)											1	16.67%				5	83.33%								6	100.00%	
SB3011-P11 (P1132)	口残値	0.03	100.00%																						0.03	100.00%		
	口縁数(点)	1	100.00%																						1	100.00%		
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)	1	25.00%																						2	50.00%		
	総点数(点)	2	40.00%																						2	40.00%		
SB3012-P1 (P2551)	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)																											
	総点数(点)																									1	100.00%	
SB3012-P11 (P266)	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)	1	100.00%																							1	100.00%	
	総点数(点)	1	100.00%																							1	100.00%	
SB3012-P13 (P58)	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)																											
	総点数(点)																									1	100.00%	
SB3012-P14 (P2251)	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)																											
	総点数(点)																									2	100.00%	
SB3013-P1 (P57)	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)																											
	総点数(点)																									3	99.97%	
SB3013-P3 (P215)	口残値	0.03	100.00%																							0.03	100.00%	
	口縁数(点)	1	100.00%																							1	100.00%	
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)	1	20.00%																							1	20.00%	
	総点数(点)	2	33.33%																							2	66.67%	

遺構名	種別	食器具						煮炊具					貯蔵具					合計				
		土師器		黒色土器	須恵器		長巻	小巻	土師器			罌	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他						
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯			杯蓋	佐渡型罌	罌						非ロクロケズリ罌					
SB3013-F <sub>5</sub> (P2292)	口残値																					
	口縁数(点)																					
	底残値																					
	底部数(点)																					
	体部数(点)	2	50.00%					1	25.00%	1	25.00%										4	100.00%
	総点数(点)	2	50.00%					1	25.00%	1	25.00%										4	100.00%
総重量(g)	4.00	31.25%					6.80	53.13%	2.00	15.63%										12.80	100.00%	
SB3013-F <sub>6</sub> (P2222)	口残値																					
	口縁数(点)																					
	底残値									0.22	100.00%										0	100.00%
	底部数(点)									1	100.00%										1	100.00%
	体部数(点)	4	80.00%					1	20.00%												5	100.00%
	総点数(点)	4	66.67%					1	16.67%	1	16.67%										6	100.00%
総重量(g)	5.90	18.21%					15.90	49.07%	10.60	32.72%										32.40	100.00%	
SB3013-F <sub>7</sub> (P7)	口残値						0.03	50.00%		0.03	50.00%										0.06	100.00%
	口縁数(点)						2	66.67%		1	33.33%										3	100.00%
	底残値						0.58	100.00%													0.58	100.00%
	底部数(点)																					
	体部数(点)							3	37.50%	4	50.00%	1	12.50%								8	100.00%
	総点数(点)							5	45.45%	4	36.36%	2	18.18%								11	100.00%
総重量(g)							67.00	53.60%	53.70	42.96%	4.30	3.44%								125.00	100.00%	
SB3013-F <sub>9</sub> (P2256)	口残値																					
	口縁数(点)																					
	底残値																					
	底部数(点)																					
	体部数(点)													1	50.00%				1	50.00%	2	100.00%
	総点数(点)													1	50.00%				1	50.00%	2	100.00%
総重量(g)													28.50	86.63%				4.40	13.37%	32.90	100.00%	
SB3014-F <sub>3</sub> (P2539)	口残値																					
	口縁数(点)	0.22	100.00%																		0.22	100.00%
	底残値																					
	底部数(点)	1	100.00%																		1	100.00%
	体部数(点)																					
	総点数(点)	1	100.00%																		1	100.00%
総重量(g)	7.20	100.00%																		7.20	100.00%	
SB3014-F <sub>7</sub> (P446)	口残値																					
	口縁数(点)																					
	底残値																					
	底部数(点)																					
	体部数(点)									2	100.00%										2	100.00%
	総点数(点)									2	100.00%										2	100.00%
総重量(g)									3.80	100.00%										3.80	100.00%	
SB3014-F <sub>9</sub> (P2328)	口残値																					
	口縁数(点)										0.06	100.00%									0.06	100.00%
	底残値										1	100.00%									1	100.00%
	底部数(点)																					
	体部数(点)									2	28.57%	5	71.43%								7	100.00%
	総点数(点)									2	25.00%	6	75.00%								8	100.00%
総重量(g)									27.00	66.83%	13.40	33.17%								40.40	100.00%	
SB3014-F <sub>10</sub> (P2340)	口残値																					
	口縁数(点)																					
	底残値																					
	底部数(点)																					
	体部数(点)									6	100.00%										6	100.00%
	総点数(点)									6	100.00%										6	100.00%
総重量(g)									59.80	100.00%										59.80	100.00%	
SB3014-F <sub>12</sub> (P2540)	口残値	0.11	100.00%																		0.11	100.00%
	口縁数(点)	2	100.00%																		2	100.00%
	底残値																					
	底部数(点)																					
	体部数(点)									1	100.00%										1	100.00%
	総点数(点)	2	66.67%							1	33.33%										3	100.00%
総重量(g)	3.90	40.63%							5.70	59.38%										9.60	100.00%	

遺構名	種別	食器具										煮炊具					貯蔵具					合計	
		土師器		黒色土器		須恵器		杯蓋		土師器			銅		非クロケズリ		須恵器		横瓶	その他			
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯		長巻	小巻	佐渡型巻			巻	長頸壺	短頸壺								
SB3014-P13 (P429)	口残値					0.14	82.35%			0.03	17.65%											0.17	100.00%
	口縁数(点)					2	66.67%			1	33.33%											3	100.00%
	底残値																						
	底部数(点)																						
	体部数(点)					1	14.29%			6	85.71%											7	100.00%
	総点数(点)					3	30.00%			7	70.00%											10	100.00%
総重量(g)					14.80	12.77%			101.10	87.23%											115.90	100.00%	
SB3014-P14 (P467)	口残値				0.11	100.00%																0.11	100.00%
	口縁数(点)				1	100.00%																1	100.00%
	底残値																						
	底部数(点)																						
	体部数(点)									8	100.00%											8	100.00%
	総点数(点)					1	11.11%			8	88.89%											9	100.00%
総重量(g)					6.30	3.24%			188.00	96.76%											194.30	100.00%	
SB3014-P15 (P2399)	口残値					0.11	78.57%			0.03	21.43%											0.14	100.00%
	口縁数(点)					1	50.00%			1	50.00%											2	100.00%
	底残値																						
	底部数(点)																						
	体部数(点)	2	33.33%							4	66.67%											6	100.00%
	総点数(点)	2	25.00%			1	12.50%			5	62.50%											8	100.00%
総重量(g)	4.70	12.53%			14.00	37.33%			18.80	50.13%											37.50	100.00%	
SB3016-P1 (P2703)	口残値					0.06	100.00%															0.06	100.00%
	口縁数(点)					1	100.00%															1	100.00%
	底残値																						
	底部数(点)																						
	体部数(点)																						
	総点数(点)					1	100.00%															1	100.00%
総重量(g)						2.40	100.00%														2.40	100.00%	
SB3016-P5 (P2707)	口残値																						
	口縁数(点)																						
	底残値																						
	底部数(点)																						
	体部数(点)														2	100.00%						2	100.00%
	総点数(点)														2	100.00%						2	100.00%
総重量(g)														27.50	100.00%						27.50	100.00%	
SB3016-P9 (P2709)	口残値			0.30	100.00%																	0.30	100.00%
	口縁数(点)			8	100.00%																	8	100.00%
	底残値			0.61	100.00%																	0.61	100.00%
	底部数(点)			2	100.00%																	2	100.00%
	体部数(点)									4	100.00%											4	100.00%
	総点数(点)			10	71.43%					4	28.57%											14	100.00%
総重量(g)			67.50	77.59%					19.50	22.41%											87.00	100.00%	
SB3016-P17 (P2719)	口残値					0.08	100.00%															0.08	100.00%
	口縁数(点)					1	100.00%															1	100.00%
	底残値																						
	底部数(点)																						
	体部数(点)					1	11.11%			2	22.22%	5	55.56%				1	11.11%				9	100.00%
	総点数(点)					2	20.00%			2	20.00%	5	50.00%				1	10.00%				10	100.00%
総重量(g)					5.40	1.78%			48.40	3.85%	11.70	15.92%				238.50	78.45%				304.00	100.00%	
SB3016-P18 (P2722)	口残値																						
	口縁数(点)																						
	底残値																						
	底部数(点)																						
	体部数(点)															1	100.00%					1	100.00%
	総点数(点)															1	100.00%					1	100.00%
総重量(g)															42.40	100.00%					42.40	100.00%	
SB3017-P1 (P2804)	口残値					0.47	100.00%															0.47	100.00%
	口縁数(点)					1	100.00%															1	100.00%
	底残値					1.00	100.00%															1	100.00%
	底部数(点)					1	100.00%															1	100.00%
	体部数(点)									1	100.00%											1	100.00%
	総点数(点)					2	66.67%			1	33.33%											3	100.00%
総重量(g)					73.20	77.13%			21.70	22.87%											94.90	100.00%	

遺構名	種別	食器具										煮炊具						貯蔵具						合計				
		土師器			黒色土器		須恵器		土師器			土師器			須恵器			その他										
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長巻	小巻	佐渡型巻	鍋	非クロケズリ巻	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他										
SB3018-P <sub>2</sub> (P2775)	口残値								0.06	100.00%															0.06	100.00%		
	口縁数(点)								1	100.00%																1	100.00%	
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)																											
	総点数(点)									1	50.00%															1	100.00%	
総重量(g)									8.20	77.36%															10.60	100.00%		
SB3018-P <sub>4</sub> (P2137)	口残値					0.22	100.00%																		0.22	100.00%		
	口縁数(点)					1	100.00%																			1	100.00%	
	底残値					1.00	90.09%		0.11	9.91%																1.11	100.00%	
	底部数(点)					1	50.00%		1	50.00%																2	100.00%	
	体部数(点)									7	100.00%															7	100.00%	
	総点数(点)						2	20.00%		8	80.00%															10	100.00%	
総重量(g)					63.80	51.12%			61.00	48.88%															124.80	100.00%		
SB3018-P <sub>5</sub> (P1930)	口残値	0.08	11.59%			0.36	52.17%		0.11	15.94%				0.06	8.70%				0.08	11.59%					0.69	100.00%		
	口縁数(点)	1	12.50%			4	50.00%		1	12.50%				1	12.50%				1	12.50%					8	100.00%		
	底残値					0.22	100.00%																			0.22	100.00%	
	底部数(点)					1	100.00%																			1	100.00%	
	体部数(点)	3	33.33%							6	66.67%															9	100.00%	
	総点数(点)	4	22.22%				5	27.78%		1	5.56%			1	5.56%				1	5.56%						18	100.00%	
総重量(g)	4.90	3.25%			31.70	21.01%		9.10	6.03%	89.20	59.11%			13.00	8.61%				3.00	1.99%					150.90	100.00%		
SB3018-P <sub>8</sub> (P1942)	口残値					0.11	100.00%																			0.11	100.00%	
	口縁数(点)					1	100.00%																			1	100.00%	
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)										1	100.00%															1	100.00%
	総点数(点)						1	50.00%			1	50.00%														2	100.00%	
総重量(g)					3.40	25.56%			9.90	74.44%															13.30	100.00%		
SB3018-P <sub>10</sub> (P1600)	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)										2	100.00%														2	100.00%	
	総点数(点)										2	100.00%														2	100.00%	
総重量(g)									8.30	100.00%															8.30	100.00%		
SB3018-P <sub>11</sub> (P2937)	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)					1.00	20.00%			3	60.00%									1	20.00%					5	100.00%	
	総点数(点)					1.00	20.00%			3	60.00%									1	20.00%					5	100.00%	
総重量(g)					2.30	1.56%			92.90	63.07%															52.10	35.37%	147.30	100.00%
SB3019- P <sub>5</sub> (P1989)	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)										1	100.00%															1	100.00%
	総点数(点)										1	100.00%															1	100.00%
総重量(g)										27.00	100.00%															27.00	100.00%	
SB3020-P <sub>3</sub> (P1969)	口残値					0.56	100.00%																			0.56	100.00%	
	口縁数(点)					1	100.00%																			1	100.00%	
	底残値					0.61	100.00%																			0.61	100.00%	
	底部数(点)					1	100.00%																			1	100.00%	
	体部数(点)					1	20.00%													4	80.00%					5	100.00%	
	総点数(点)					3	42.86%													4	57.14%					7	100.00%	
総重量(g)					73.80	8.90%													755.00	91.10%					828.80	100.00%		
SB3020-P <sub>6</sub> (P2945)	口残値					0.08	100.00%																			0.08	100.00%	
	口縁数(点)					1	100.00%																			1	100.00%	
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)										1	100.00%															1	100.00%
	総点数(点)						1	100.00%																			1	100.00%
総重量(g)					4.60	100.00%																				4.60	100.00%	





遺構名	種別	食膳具													煮炊具							貯蔵具					合計	
		土師器			黒色土器			須恵器			長巻		小巻		土師器			須恵器										
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯		有台杯	杯蓋			佐渡型巻	銅	非クロケズリ巻	巻		長頸壺	短頸壺	横瓶	その他								
P180	口残値	0.06	4.32%		0.58	41.73%	0.03	2.16%			0.03	2.16%	0.69	49.64%								1.39	100.00%					
	口縁数 (点)	1	8.33%		6	50.00%	1.00	8.33%			1	8.33%	3	25.00%								12	100.00%					
	底残値				1.00	50.00%							1.00	50.00%								2.00	100.00%					
	底部数 (点)				3	75.00%							1	25.00%								4	100.00%					
	体部数 (点)				5	26.32%	1.00	5.26%			3	15.79%	5	26.32%			1	5.26%	4	21.05%		19	100.00%					
	総点数 (点)	1	2.78%		14	38.89%	2.00	5.56%			4	11.11%	10	27.78%			1	2.78%	4	11.11%		36	100.00%					
	総重量 (g)	1.40	0.18%		157.30	20.57%	2.00	0.26%			28.50	3.73%	376.80	49.27%			1.40	0.18%	197.30	25.80%		764.70	100.00%					
P194	口残値							0.03	100.00%												0.03	100.00%						
	口縁数 (点)							1	100.00%												1	100.00%						
	底残値																											
	底部数 (点)							2	100.00%												2	100.00%						
	体部数 (点)	1	20.00%					3	60.00%							1	20.00%				5	100.00%						
	総点数 (点)	1	12.50%					6	75.00%						1	12.50%					8	100.00%						
	総重量 (g)	1.40	1.99%					67.00	95.44%							1.80	2.56%					70.20	100.00%					
P255	口残値					0.92	76.67%			0.17	14.17%	0.08	6.67%			0.03	2.50%				1.20	100.00%						
	口縁数 (点)					6	50.00%			2	16.67%	3	25.00%			1	8.33%				12	100.00%						
	底残値					0.53	100.00%														0.53	100.00%						
	底部数 (点)					1	100.00%														1	100.00%						
	体部数 (点)					1	2.50%			1	2.50%	30	75.00%	8	20.00%						40	100.00%						
	総点数 (点)					8	15.09%			3	5.66%	33	62.26%	8	15.09%	1	1.89%				53	100.00%						
	総重量 (g)					67.00	25.62%			13.60	5.20%	150.30	57.48%	18.60	7.11%	12.00	4.59%				261.50	100.00%						
P288	口残値					0.47	100.00%														0.47	100.00%						
	口縁数 (点)					2	100.00%														2	100.00%						
	底残値					0.56	100.00%														0.56	100.00%						
	底部数 (点)					3	100.00%														3	100.00%						
	体部数 (点)																											
	総点数 (点)					5	100.00%														5	100.00%						
	総重量 (g)					57.70	100.00%														57.70	100.00%						
P300	口残値					0.31	83.78%								0.06	16.22%					0.37	100.00%						
	口縁数 (点)					3	75.00%								1	25.00%					4	100.00%						
	底残値					0.44	100.00%														0.44	100.00%						
	底部数 (点)					1	100.00%														1	100.00%						
	体部数 (点)									1	100.00%										1	100.00%						
	総点数 (点)					4	66.67%			1	16.67%				1	16.67%					6	100.00%						
	総重量 (g)					44.40	63.61%			11.00	15.76%				14.40	20.63%					69.80	100.00%						
P319	口残値	0.42	48.28%			0.06	6.90%					0.11	12.64%							0.28	32.18%	0.87	100.00%					
	口縁数 (点)	7	63.64%			1.00	9.09%					2	18.18%						1	9.09%	11	100.00%						
	底残値					0.22	100.00%														0.22	100.00%						
	底部数 (点)					1	100.00%														1	100.00%						
	体部数 (点)	4	9.30%			3.00	6.98%			6	13.95%	10	23.26%	6	13.95%	3	6.98%			9	20.93%	2	4.65%					
	総点数 (点)	11	20.00%			5	9.09%			6	10.91%	12	21.82%	6	10.91%	3	5.45%			9	16.36%	3	5.45%					
	総重量 (g)	29.40	3.96%			24.50	3.30%			131.20	17.67%	53.70	7.23%	34.00	4.58%	72.00	9.70%			377.90	50.91%	19.60	2.64%					
P326	口残値					0.08	32.00%			0.17	68.00%										0.25	100.00%						
	口縁数 (点)					1	50.00%			1	50.00%										2	100.00%						
	底残値																											
	底部数 (点)																											
	体部数 (点)											9	47.37%	2	10.53%			1	5.26%	2	10.53%	4	21.05%					
	総点数 (点)					1	4.76%			10	47.62%	2	9.52%			1	4.76%	2	9.52%	4	19.05%							
	総重量 (g)					11.00	1.64%			176.40	26.25%	24.40	3.63%			77.10	11.47%	0.60	0.09%	377.30	56.15%							
P343	口残値	0.03	7.50%			0.06	15.00%					0.31	77.50%								0.40	100.00%						
	口縁数 (点)	1	20.00%			1.00	20.00%					3	60.00%								5	100.00%						
	底残値					0.19	100.00%														0.19	100.00%						
	底部数 (点)					1	100.00%														1	100.00%						
	体部数 (点)															1	100.00%			1	100.00%							
	総点数 (点)	1	14.29%			2	28.57%					3	42.86%			1	14.29%			1	7	100.00%						
	総重量 (g)	1.00	2.42%			8.00	19.37%					31.70	76.76%			0.60	1.45%				41.30	100.00%						
P387	口残値											0.22	100.00%								0.22	100.00%						
	口縁数 (点)											3	100.00%								3	100.00%						
	底残値																											
	底部数 (点)																											
	体部数 (点)									1	33.33%	2	66.67%								3	100.00%						
	総点数 (点)									1	16.67%	5	83.33%								6	100.00%						
	総重量 (g)									13.40	27.24%	35.80	72.76%								49.20	100.00%						

遺構名	種別	食器										煮炊具						貯蔵具						合計	
		土師器			黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻	小巻	土師器		鍔	非ロクロケズリ巻	須恵器								
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯			佐渡型巻				裏			長頸壺	短頸壺	横瓶	その他					
P621	口残値	0.44	44.44%						0.55	55.56%											0.99	100.00%			
	口縁数(点)	4	40.00%						6	60.00%											10	100.00%			
	底残値	1.00	100.00%																		1.00	100.00%			
	底部数(点)	1	100.00%																		1	100.00%			
	体部数(点)	6	85.71%						1	14.29%											7	100.00%			
	総点数(点)	11	61.11%						7	38.89%											18	100.00%			
	総重量(g)	74.80	33.89%						145.90	66.11%											220.70	100.00%			
P630	口残値	0.89	83.96%				0.17	16.04%													1.06	100.00%			
	口縁数(点)	6	66.67%				3	33.33%													9	100.00%			
	底残値	1.00	100.00%																		1.00	100.00%			
	底部数(点)	3	100.00%																		3	100.00%			
	体部数(点)	1	33.33%				2	66.67%													3	100.00%			
	総点数(点)	10	66.67%				5	33.33%													15	100.00%			
	総重量(g)	134.90	92.65%				10.70	7.35%													145.60	100.00%			
P647	口残値								0.22	100.00%											0.22	100.00%			
	口縁数(点)						3	100.00%													3	100.00%			
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)																								
	総点数(点)						3	100.00%													3	100.00%			
	総重量(g)						17.40	100.00%													17.40	100.00%			
P712	口残値													0.11	100.00%						0.11	100.00%			
	口縁数(点)													2	100.00%						2	100.00%			
	底残値						0.25	100.00%													0.25	100.00%			
	底部数(点)						1	100.00%													1	100.00%			
	体部数(点)													7	100.00%						7	100.00%			
	総点数(点)						1	10.00%						9	90.00%						10	100.00%			
	総重量(g)						16.30	6.23%						245.30	93.77%						261.60	100.00%			
P 800	口残値						0.19	100.00%													0.19	100.00%			
	口縁数(点)						3	100.00%													3	100.00%			
	底残値						0.42	100.00%													0.42	100.00%			
	底部数(点)						4	100.00%													4	100.00%			
	体部数(点)						1	100.00%													1	100.00%			
	総点数(点)						8	100.00%													8	100.00%			
	総重量(g)						33.40	100.00%													33.40	100.00%			
P1056	口残値	0.06	10.17%				0.39	66.10%		0.14	23.73%										0.59	100.00%			
	口縁数(点)	1	12.50%				5	62.50%		2	25.00%										8	100.00%			
	底残値						0.19	100.00%													0.19	100.00%			
	底部数(点)						1	100.00%													1	100.00%			
	体部数(点)	3	12.00%							10	40.00%	5	20.00%		1	4.00%	5	20.00%		1	4.00%	25	100.00%		
	総点数(点)	4	11.76%				6	17.65%		12	35.29%	5	14.71%		1	2.94%	5	14.71%		1	2.94%	34	100.00%		
	総重量(g)	6.40	2.39%				32.10	11.99%		178.30	66.60%	21.20	7.92%		20.00	7.47%	2.90	1.08%		6.80	2.54%	267.70	100.00%		
P1158	口残値																				0.44	100.00%			
	口縁数(点)																				1	100.00%			
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)									4	100.00%											4	100.00%		
	総点数(点)									4	80.00%										1	20.00%	5	100.00%	
	総重量(g)									150.60	76.64%										45.90	23.36%	196.50	100.00%	
P1263	口残値													0.08	100.00%						0.08	100.00%			
	口縁数(点)													1	100.00%						1	100.00%			
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)																								
	総点数(点)														1	100.00%					1	100.00%			
	総重量(g)														129.50	100.00%					129.50	100.00%			
P1297	口残値								0.10	100.00%											0.10	100.00%			
	口縁数(点)								1	100.00%											1	100.00%			
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)									2	100.00%										2	100.00%			
	総点数(点)									3	100.00%										3	100.00%			
	総重量(g)									134.50	100.00%										134.50	100.00%			

遺構名	種別	食器具										煮炊具					貯蔵具					合計				
		土師器		甕	黒色土器		須恵器		杯蓋	長巻	小巻	土師器			鍔	非ロクロケズリ巻	裏	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他					
		無台碗	有台皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	佐渡型巻				鍋														
P1300	口残値	0.64	100.00%																			0.64	100.00%			
	口縁数(点)	2	100.00%																			2	100.00%			
	底残値	1.00	100.00%																			1.00	100.00%			
	底部数(点)	1	100.00%																			1	100.00%			
	体部数(点)										1	100.00%										1	100.00%			
	總点数(点)	3	75.00%								1	25.00%										4	100.00%			
	總重量(g)	288.00	96.87%								9.30	3.13%										297.30	100.00%			
P1316	口残値																					0.16	100.00%			
	口縁数(点)																					1	100.00%			
	底残値						0.28	100.00%														0.28	100.00%			
	底部数(点)						1	100.00%														1	100.00%			
	体部数(点)										4	100.00%										4	100.00%			
	總点数(点)						1	16.67%			5	83.33%										6	100.00%			
	總重量(g)						15.60	18.03%			70.90	81.97%										86.50	100.00%			
P1412	口残値																					0.64	100.00%			
	口縁数(点)									8	100.00%											8	100.00%			
	底残値									1.00	100.00%											1.00	100.00%			
	底部数(点)									1	100.00%											1	100.00%			
	体部数(点)									2	50.00%											4	100.00%			
	總点数(点)									11	84.62%			1	7.69%							13	100.00%			
	總重量(g)									252.40	97.26%											4.40	1.70%	2.70	1.04%	259.50
P1516	口残値																					0.125	100.00%			
	口縁数(点)																					1	100.00%			
	底残値																					0.28	100.00%			
	底部数(点)										1	100.00%										1	100.00%			
	体部数(点)																					3	100.00%			
	總点数(点)										1	20.00%										4	80.00%			
	總重量(g)										13.00	3.45%										363.50	96.55%	376.50	100.00%	
P1570	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)																					1	100.00%			
	總点数(点)																					1	100.00%			
	總重量(g)																					6.80	100.00%			
P1597	口残値	0.11	25.00%																			0.44	100.00%			
	口縁数(点)	1	20.00%																			5	100.00%			
	底残値																					0.83	100.00%			
	底部数(点)																					2	100.00%			
	体部数(点)																					25	100.00%			
	總点数(点)	1	3.13%																			31	96.88%			
	總重量(g)	4.60	5.46%																			79.70	94.54%	84.30	100.00%	
P1625	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)																					1	100.00%			
	總点数(点)																					1	100.00%			
	總重量(g)																					1.90	100.00%			
P1635	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)																					2	100.00%			
	總点数(点)																					2	100.00%			
	總重量(g)																					20.80	100.00%			
P1662	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)																					2	50.00%			
	總点数(点)																					2	50.00%			
	總重量(g)																					3.50	20.00%			



遺構名	種別	食器具										煮炊具					貯蔵具					合計			
		土師器		黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻		小巻		土師器		鍋		非ロックケズリ巻		須恵器					
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯																			
P1959	口残値											0.22	100.00%											0.22	100.00%
	口縁数(点)											3	100.00%											3	100.00%
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)											1	6.25%	15	93.75%									16	100.00%
	総点数(点)											1	5.26%	18	94.74%									19	100.00%
総重量(g)											4.90	5.65%	81.90	94.35%									86.80	100.00%	
P1994	口残値													0.06	100.00%									0.06	100.00%
	口縁数(点)													1	100.00%									1	100.00%
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)																								
	総点数(点)														1	100.00%								1	100.00%
総重量(g)														23.30	100.00%								23.30	100.00%	
P2028	口残値											0.03	27.27%			0.08	72.73%							0.11	100.00%
	口縁数(点)											1	50.00%			1	50.00%							2	100.00%
	底残値	0.19	100.00%																					0.19	100.00%
	底部数(点)	1	100.00%																					1	100.00%
	体部数(点)	1	20.00%													4	80.00%							5	100.00%
	総点数(点)	2	25.00%										1	12.50%		5	62.50%							8	100.00%
総重量(g)	9.4	6.75%										0.8	0.57%		129	92.67%							139.2	100.00%	
P2343	口残値	0.33	84.62%									0.06	15.38%											0.39	100.00%
	口縁数(点)	4	80.00%									1	20.00%											5	100.00%
	底残値					0.08	100.00%																	0.08	100.00%
	底部数(点)					1	100.00%																	1	100.00%
	体部数(点)	2	66.67%									1	33.33%											3	100.00%
	総点数(点)	6	66.67%				1	11.11%				1	11.11%	1	11.11%									9	100.00%
総重量(g)	27.10	51.52%			5.10	9.70%					16.60	31.56%	3.80	7.22%									52.60	100.00%	
P2600	口残値	0.14	100.00%																					0.14	100.00%
	口縁数(点)	1	100.00%																					1	100.00%
	底残値	0.36	100.00%																					0.36	100.00%
	底部数(点)	1.00	100.00%																					1	100.00%
	体部数(点)																								
	総点数(点)	2	100.00%																					2	100.00%
総重量(g)	58.00	100.00%																					58.00	100.00%	
P2673	口残値	0.47	20.89%			1.78	79.11%																	2.25	100.00%
	口縁数(点)	7	41.18%			10	58.82%																	17	100.00%
	底残値	0.14	4.98%			2.67	95.02%																	2.81	100.00%
	底部数(点)	1	8.33%			11	91.67%																	12	100.00%
	体部数(点)	2	28.57%			4	57.14%					1	14.29%											7	100.00%
	総点数(点)	10	27.78%			25	69.44%					1	2.78%											36	100.00%
総重量(g)	80.50	24.32%			240.50	72.66%					10.00	3.02%											331.00	100.00%	
P2762	口残値	0.11	26.19%								0.03	7.14%	0.28	66.67%										0.42	100.00%
	口縁数(点)	1	20.00%								1	20.00%	3	60.00%										5	100.00%
	底残値	0.86	33.73%			0.69	27.06%	1.00	39.22%															2.55	100.00%
	底部数(点)	3	30.00%			6	60.00%	1	10.00%															10	100.00%
	体部数(点)	3	25.00%			2	16.67%					2	16.67%	5	41.67%									12	100.00%
	総点数(点)	7	25.93%			8	29.63%	1	3.70%			3	11.11%	8	29.63%									27	100.00%
総重量(g)	65.00	22.18%			32.00	10.92%	92.50	31.57%			32.00	10.92%	71.50	24.40%									293.00	100.00%	
P2778	口残値					0.08	100.00%																	0.08	100.00%
	口縁数(点)					1	100.00%																	1	100.00%
	底残値					0.42	100.00%																	0.42	100.00%
	底部数(点)					1	100.00%																	1	100.00%
	体部数(点)																								
	総重量(g)					2	100.00%																	2	100.00%
SE2	口残値	0.03	9.38%			0.15	46.88%			0.14	43.75%													0.32	100.00%
	口縁数(点)	1	20.00%			3	60.00%			1	20.00%													5	100.00%
	底残値	0.50	58.14%			0.36	41.86%																	0.86	100.00%
	底部数(点)	1	33.33%			2	66.67%																	3	100.00%
	体部数(点)	10	25.00%			2	5.00%					9	22.50%	3	7.50%			14	35.00%			2	5.00%	40	100.00%
	総重量(g)	12	25.00%			7	14.58%			1	2.08%	9	18.75%	3	6.25%			14	29.17%			2	4.17%	48	100.00%
総重量(g)	60.50	3.06%			39.60	2.00%			69.50	3.51%	53.60	2.71%	15.50	0.78%			1591.00	80.37%			150.00	7.58%	1979.70	100.00%	

遺構名	種別	食器具												煮炊具						貯蔵具						合計				
		土師器				黒色土器		須恵器		長巻		小巻		土師器		須恵器		貯蔵具												
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋					佐渡型費	鏝	非ロクロケズリ費			長頸壺	短頸壺	横瓶	その他										
SE4	口残値	0.37	62.71%			0.22	37.29%																		0.59	100.00%				
	口縁数(点)	4	66.67%			2	33.33%																			6	100.00%			
	底残値	0.14	100.00%																							0.14	100.00%			
	底部数(点)	1	33.33%			2	66.67%																			3	100.00%			
	体部数(点)	4	6.45%			4	6.45%																			4	100.00%			
	総点数(点)	9	12.68%			8	11.27%																			9	100.00%			
	総重量(g)	40.60	8.76%			24.20	5.22%																			40.60	100.00%			
SE77	口残値	0.73	32.30%			1.20	53.10%																			2.26	100.00%			
	口縁数(点)	11	55.00%			4	20.00%																			20	100.00%			
	底残値					1.06	100.00%																			1.06	100.00%			
	底部数(点)					2	100.00%																			2	100.00%			
	体部数(点)	11	18.03%			4	6.56%																			11	100.00%			
	総点数(点)	22	26.51%			10	12.05%																			22	100.00%			
	総重量(g)	120.70	9.27%			128.70	9.89%																			120.70	100.00%			
SE347	口残値					0.12	41.38%																			0.29	100.00%			
	口縁数(点)					2.00	40.00%																			5	100.00%			
	底残値																										0.14	12.28%		
	底部数(点)																									1	50.00%			
	体部数(点)	3	16.67%			3	16.67%																				3	100.00%		
	総点数(点)	3	12.00%			5	20.00%																				5	100.00%		
	総重量(g)	7.70	0.53%			13.60	0.94%																				13.60	100.00%		
SE510	口残値	0.71	68.27%			0.14	13.46%																			1.04	100.00%			
	口縁数(点)	8	72.73%			2	18.18%																			11	100.00%			
	底残値	0.72	41.86%																							1.72	100.00%			
	底部数(点)	3	75.00%																								3	100.00%		
	体部数(点)	9	42.86%																								9	100.00%		
	総点数(点)	20	55.56%			2	5.56%																				21	100.00%		
	総重量(g)	106.80	21.73%			14.80	3.01%																				106.80	100.00%		
SE521	口残値	0.03	8.57%			0.20	57.14%																				0.35	100.00%		
	口縁数(点)	1	14.29%			4	57.14%																				5	100.00%		
	底残値	0.19	27.14%			0.51	72.86%																				0.70	100.00%		
	底部数(点)	1	25.00%			3	75.00%																					4	100.00%	
	体部数(点)	4	6.67%			4	6.67%																					8	100.00%	
	総点数(点)	6	8.45%			51	71.83%																					52	100.00%	
	総重量(g)	15.10	2.05%			85.00	11.54%																					100.10	100.00%	
SE602	口残値																										0.38	100.00%		
	口縁数(点)																										4	100.00%		
	底残値					0.33	100.00%																				0.33	100.00%		
	底部数(点)					1	100.00%																					1	100.00%	
	体部数(点)																											1	100.00%	
	総点数(点)					1	7.69%																					1	100.00%	
	総重量(g)					11.10	8.30%																					11.10	100.00%	
SE708	口残値			0.11	4.38%	1.90	75.70%	0.17	6.77%	0.19	7.57%	0.08	3.19%														0.06	2.39%		
	口縁数(点)			3	13.64%	14	63.64%	1	4.55%	2	9.09%	1	4.55%														1	4.55%		
	底残値			0.31	7.95%	2.26	57.95%																					1	4.55%	
	底部数(点)			2	18.18%	6	54.55%																					3	100.00%	
	体部数(点)	3	9.09%			16	48.48%	4	12.12%																			3	100.00%	
	総点数(点)	3	4.55%			21	31.82%	24	36.36%	1	1.52%	5	7.58%	4	6.06%	4	6.06%	1	1.52%	2	3.03%							1	1.52%	
	総重量(g)	5.00	0.52%			107.00	11.12%	244.40	25.40%	14.90	1.55%	37.70	3.92%	49.00	5.09%	252.70	26.27%	9.50	0.99%	46.70	4.85%							195.20	20.29%	
SE811	口残値	0.34	12.88%			1.02	38.64%																					2.64	100.00%	
	口縁数(点)	3	11.54%			11	42.31%																					26	100.00%	
	底残値			0.25	6.53%	1.39	36.29%																					3.83	100.00%	
	底部数(点)			2	14.29%	5	35.71%																					7	100.00%	
	体部数(点)			1	1.72%	14	24.14%	28	48.28%																			13	22.41%	
	総点数(点)	3	3.06%			3	3.06%	16	16.33%																			13	13.27%	
	総重量(g)	19.20	0.83%			16.20	0.70%	150.40	6.47%																			1339.20	57.59%	
SE983	口残値	0.43	38.05%			0.53	46.90%																					1.13	100.00%	
	口縁数(点)	7	46.67%			5	33.33%																					15	100.00%	
	底残値	0.33	19.53%			0.39	23.08%																					1.69	100.00%	
	底部数(点)	2	33.33%			1	16.67%																						6	100.00%
	体部数(点)	3	7.89%																										3	100.00%
	総点数(点)	12	20.34%			6	10.17%																					19	100.00%	
	総重量(g)	56.60	5.41%			56.10	5.36%																					170.20	16.26%	



遺構名	種別	食器具											煮炊具							貯蔵具						合計	
		土師器			黒色土器		須恵器			土師器			須恵器				須恵器		横瓶		その他						
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長巻	小巻	佐渡型巻	鍋	非ロクロケズリ巻	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	横瓶	その他								
SE2563	口残値	0.55																					0.61	100.00%			
	口縁数(点)	5	83.33%																				6	100.00%			
	底残値	0.39	100.00%																				0.39	100.00%			
	底部数(点)	2	100.00%																				2	100.00%			
	体部数(点)	2	100.00%																				2	100.00%			
	総点数(点)	9	90.00%																				10	100.00%			
	総重量(g)	61.20	36.82%																				166.20	100.00%			
SK3	口残値																						0.06	100.00%			
	口縁数(点)																					1	100.00%				
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)																										
	総点数(点)																						1	100.00%			
	総重量(g)																						2	100.00%			
SK6	口残値	0.11	57.89%					0.08	42.11%															106.40	100.00%		
	口縁数(点)	2	66.67%					1	33.33%															3	100.00%		
	底残値	0.25	100.00%																					0.25	100.00%		
	底部数(点)	1	100.00%																					1	100.00%		
	体部数(点)	1	VALUE!					1.00	7.14%															14	100.00%		
	総点数(点)	4	22.22%					2	11.11%															18	100.00%		
	総重量(g)	35.90	8.22%					3.50	0.80%															437.00	100.00%		
SK8	口残値							0.11	26.19%	0.06	14.29%	0.08	19.05%											0.42	100.00%		
	口縁数(点)							1	12.50%															8	100.00%		
	底残値							0.06	100.00%															0.06	100.00%		
	底部数(点)							1	100.00%															1	100.00%		
	体部数(点)																							17	100.00%		
	総点数(点)							2	7.69%															26	100.00%		
	総重量(g)							12.00	6.99%															171.60	100.00%		
SK10	口残値							0.06	100.00%															0.06	100.00%		
	口縁数(点)							1	100.00%															1	100.00%		
	底残値																							0.44	100.00%		
	底部数(点)							0.44	100.00%															1	100.00%		
	体部数(点)																							5	100.00%		
	総点数(点)							1	14.29%															7	100.00%		
	総重量(g)							4.30	4.54%															94.80	100.00%		
SK18	口残値	0.19	67.86%																					0.28	100.00%		
	口縁数(点)	3	60.00%																					5	100.00%		
	底残値	1.00	66.67%																					2	100.00%		
	底部数(点)	4	57.14%																					7	100.00%		
	体部数(点)	3	27.27%																					11	100.00%		
	総点数(点)	10	43.48%																					23	100.00%		
	総重量(g)	70.60	31.41%																					224.80	100.00%		
SK20	口残値																							0.11	100.00%		
	口縁数(点)																							3	100.00%		
	底残値																							0.33	100.00%		
	底部数(点)																							2	100.00%		
	体部数(点)																							25	100.00%		
	総点数(点)																							30	100.00%		
	総重量(g)																							287.50	100.00%		
SK21	口残値																							0.12	100.00%		
	口縁数(点)																							4	100.00%		
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)																										
	総点数(点)																							9	100.00%		
	総重量(g)																							13	100.00%		
SK22	口残値	0.39	14.29%					0.03	25.00%															0.12	100.00%		
	口縁数(点)	8	21.62%					1	25.00%															4	100.00%		
	底残値	0.81	43.32%																								
	底部数(点)	3	30.00%																								
	体部数(点)	4	2.86%																								
	総点数(点)	15	8.02%																								
	総重量(g)	69.70	1.87%																								



遺構名	種別	食器具														煮炊具										貯蔵具						合計	
		土師器				黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻		小巻		土師器		鍋		非ロクロケズリ巻		裏		長頸壺		短頸壺		横瓶		その他			
		無台碗	皿			無台碗・有台皿	無台杯	有台杯																									
SK24	口残値	0.14	6.06%				1.11	48.05%				1.00	43.29%	0.06	2.60%															2.31	100.00%		
	口縁数(点)	3	9.68%				18	58.06%				9	29.03%	1	3.23%															31	100.00%		
	底残値	0.89	34.50%				1.69	65.50%																						2.58	100.00%		
	底部数(点)	3	18.75%				13	81.25%																						16	100.00%		
	体部数(点)	15	10.00%				12	8.00%				2	1.33%	49	32.67%			1	0.67%	65	43.33%	5	3.33%	1	0.67%					150	100.00%		
	総点数(点)	21	10.66%				43	21.83%				11	5.58%	50	25.38%			1	0.51%	65	32.99%	5	2.54%	1	0.51%					197	100.00%		
総重量(g)	87.70	11.00%				180.00	22.58%				132.50	16.62%	233.70	29.32%			24.20	3.04%	96.00	12.05%	13.40	1.68%	29.50	3.70%					797.00	100.00%			
SK28	口残値	0.42	48.84%			0.08	9.30%				0.17	19.77%					0.03	3.49%												0.86	100.00%		
	口縁数(点)	6	37.50%			2	12.50%			2	12.50%						1	6.25%								3	18.75%			16	100.00%		
	底残値	1.09	45.99%				1.28	54.01%																						2.37	100.00%		
	底部数(点)	6	66.67%				3	33.33%																						9	100.00%		
	体部数(点)	3	7.50%				1	2.50%						16	40.00%					3	7.50%	6	15.00%	11	27.50%					40	100.00%		
	総点数(点)	15	23.08%			2	3.08%	6	9.23%					18	27.69%			1	1.54%	3	4.62%	6	9.23%	14	21.54%					65	100.00%		
総重量(g)	116.70	14.95%			8.20	1.05%	57.80	7.40%					222.70	28.53%			10.00	1.28%			3.70	0.47%	200.70	25.71%	160.90	20.61%			780.70	100.00%			
SK35	口残値						0.17	73.91%			0.06	26.09%																		0.23	100.00%		
	口縁数(点)						4	80.00%			1	20.00%																		5	100.00%		
	底残値																																
	底部数(点)						1	16.67%						2	33.33%			1	16.67%	2	33.33%										6	100.00%	
	体部数(点)						5	45.45%			1	9.09%	9.09%	2	18.18%			1	9.09%	2	18.18%										11	100.00%	
	総重量(g)						10.20	20.77%			2.30	4.68%	10.50	21.38%					16.90	34.42%	9.20	18.74%									49.10	100.00%	
SK73	口残値						0.06	100.00%																						0.06	100.00%		
	口縁数(点)						1	100.00%																						1	100.00%		
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)													4	30.77%								9	69.23%							13	100.00%	
	総重量(g)						3.70	1.19%						19.00	6.09%								289.20	92.72%							311.90	100.00%	
SK74	口残値	0.28	22.58%				0.56	45.16%			0.17	13.71%	0.06	4.84%			0.03	2.42%												1.24	100.00%		
	口縁数(点)	5	27.78%				8	44.44%			2	11.11%	1	5.56%			1	5.56%												18	100.00%		
	底残値	1.14	67.06%				0.39	22.94%						0.17	10.00%															1.70	100.00%		
	底部数(点)	2	33.33%				3	50.00%						1	16.67%																6	100.00%	
	体部数(点)	6	15.38%				7	17.95%						12	30.77%			4	10.26%	3	7.69%	5	12.82%	1	2.56%	1	2.56%			39	100.00%		
	総重量(g)	13	20.63%				18	28.57%						14	22.22%	2	3.17%	4	6.35%	4	6.35%	5	7.94%	1	1.59%	2	3.17%			63	100.00%		
SK75	総重量(g)	87.00	24.08%				46.30	12.81%					92.80	25.69%	8.80	2.44%	20.00	5.54%	75.50	20.90%	3.10	0.86%	5.60	1.55%	22.20	6.14%				361.30	100.00%		
SK75	口残値	0.81	34.03%			0.36	15.13%	0.39	16.39%		0.03	1.26%	0.14	5.88%	0.06	2.52%			0.20	8.40%			0.39	16.39%						2	100.00%		
	口縁数(点)	6	19.35%			5	16.13%	7	22.58%		1	3.23%	2	6.45%	1	3.23%			4	12.90%			5	16.13%						31	100.00%		
	底残値	1.75	50.00%				1.75	50.00%																						3.50	100.00%		
	底部数(点)	3	23.08%			5	38.46%	5	38.46%																						13	100.00%	
	体部数(点)	8	2.40%				2	0.60%					17	5.11%	8	2.40%			4	1.20%			294	88.29%						333	100.00%		
	総重量(g)	17	4.51%			10	2.65%	14	3.71%		1	0.27%	19	5.04%	9	2.39%			8	2.12%			299	79.31%						377	100.00%		
SK76	総重量(g)	163.60	0.81%			59.20	0.29%	113.10	0.56%		9.30	0.05%	299.20	1.48%	13.30	0.07%			406.30	2.01%			19150.20	94.74%						20214.20	100.00%		
SK76	口残値	1.28	73.14%				0.25	14.29%											0.03	1.71%			0.19	10.86%						1.75	100.00%		
	口縁数(点)	17	70.83%				2	8.33%												2	8.33%		3	12.50%						24	100.00%		
	底残値	1.39	100.00%																											1.39	100.00%		
	底部数(点)	2	100.00%																												2	100.00%	
	体部数(点)	7	7.14%										9	9.18%					6	6.12%			76	77.55%						98	100.00%		
	総重量(g)	26	20.97%				2	1.61%					11.40	0.36%					8	6.45%			79	63.71%						124	100.00%		
SK85	総重量(g)	162.50	5.17%										67.50	2.15%					107.70	3.43%			2791.70	88.88%						3140.80	100.00%		
SK85	口残値	0.25	24.51%				0.44	43.14%	0.11	10.78%									0.14	13.73%										1.02	100.00%		
	口縁数(点)	3	21.43%				5	35.71%	2	14.29%									3	21.43%										14	100.00%		
	底残値					0.06	15.38%	0.11	28.21%	0.22	56.41%																				0.39	100.00%	
	底部数(点)					1	33.33%	1	33.33%	1	33.33%																				3	100.00%	
	体部数(点)												25	71.43%					1	2.86%			7	20.00%	2	5.71%				35	100.00%		
	総重量(g)	3	5.77%			1	1.92%	6	11.54%	3	5.77%			25	48.08%					4	7.69%			7	13.46%	3	5.77%			52	100.00%		
SK86	総重量(g)	16.60	2.33%			8.80	1.24%	17.10	2.40%	14.70	2.07%			146.90	20.66%					15													

遺構名	種別	食器具										煮炊具						貯蔵具						合計								
		土師器			黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻		小巻		土師器		銅		非ロクロケズリ巻		裏		長頸壺			短頸壺		横瓶		その他		
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯																									
SK87	口残値	0.19	76.00%			0.03	12.00%																						0.25	100.00%		
	口縁数(点)	4	66.67%			1	16.67%																						6	100.00%		
	底残値																															
	底部数(点)					1	100.00%																							1	100.00%	
	体部数(点)	2	7.14%			1	3.57%					24	85.71%	1	3.57%														28	100.00%		
	総点数(点)	6	17.14%			3	8.57%					25	71.43%	1	2.86%														35	100.00%		
総重量(g)	16.10	3.08%			12.30	2.35%					488.00	93.25%	6.90	1.32%														523.30	100.00%			
SK101	口残値																															
	口縁数(点)																															
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)											1	100.00%																	1	100.00%	
	総点数(点)											1	100.00%																	1	100.00%	
総重量(g)											17.50	100.00%																17.50	100.00%			
SK141	口残値					0.11	55.00%																									
	口縁数(点)					2	40.00%																									
	底残値					0.25	89.29%																									
	底部数(点)					1	50.00%																									
	体部数(点)	1	3.85%									16	61.54%	4	15.38%					2	7.69%	3	11.54%						26	100.00%		
	総点数(点)	1	3.03%			3	9.09%					17	51.52%	7	21.21%					2	6.06%	3	9.09%						33	100.00%		
総重量(g)	1.20	0.35%			22.40	6.44%					265.40	76.31%	32.50	9.34%					1.30	0.37%	25.00	7.19%						347.80	100.00%			
SK142	口残値	0.28	24.35%			0.14	12.17%																									
	口縁数(点)	7	50.00%			1	7.14%																									
	底残値	0.22	53.66%			0.19	46.34%																									
	底部数(点)	1	50.00%			1	50.00%																									
	体部数(点)	6	9.84%									36	59.02%	4	6.56%	2	3.28%	2	3.28%			8	13.11%	3	4.92%				61	100.00%		
	総点数(点)	14	18.18%			2	2.60%					40	51.95%	5	6.49%	2	2.60%	2	2.60%			8	10.39%	4	5.19%				77	100.00%		
総重量(g)	65.80	4.52%			26.10	1.79%					719.70	49.48%	13.30	0.91%	22.50	1.55%	60.10	4.13%			501.00	34.45%	45.90	3.16%				1454.40	100.00%			
SK143	口残値	0.08	6.40%			0.33	26.40%																									
	口縁数(点)	1	5.88%			6	35.29%																									
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)					2	2.38%					22	26.19%	33	39.29%					3	3.57%	10	11.90%	1	1.19%	13	15.48%			84	100.00%	
	総点数(点)	1	0.99%			8	7.92%					8	7.92%	40	39.60%					4	3.96%	10	9.90%	2	1.98%	13	12.87%			101	100.00%	
総重量(g)	4.10	0.38%			25.30	2.33%					250.00	23.04%	281.80	25.97%			41.30	3.81%	9.40	0.87%	126.00	11.61%	347.20	32.00%				1085.10	100.00%			
SK148	口残値					0.06	100.00%																									
	口縁数(点)					1.00	100.00%																									
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)											2	28.57%	4	57.14%																	
	総重量(g)					1.00	12.50%					2	25.00%	4	50.00%									1	12.50%					8	100.00%	
SK156	口残値	0.81	14.78%			1.58	28.83%	0.83	15.15%	0.56	10.22%	0.28	5.11%	0.42	7.66%																	
	口縁数(点)	10	18.87%			18	33.96%	1	1.89%	1	1.89%	5	9.43%	8	15.09%																	
	底残値	0.36	9.89%			1.89	51.92%	0.14	3.85%					0.25	6.87%																	
	底部数(点)	1	4.76%			14	66.67%	1	4.76%					1	4.76%																	
	体部数(点)	19	5.92%			3	0.93%					99	30.84%	15	4.67%					15	4.67%	132	41.12%	17	5.30%	20	6.23%	1	0.31%	321	100.00%	
	総重量(g)	119.10	2.86%			208.70	5.01%	10.20	0.25%	4.70	0.11%	836.40	20.09%	95.20	2.29%					1058.50	25.43%	198.60	4.77%	458.10	11.00%	558.70	13.42%	615.00	14.77%	4163.20	100.00%	
SK219	口残値	0.03	4.84%			0.36	58.06%					0.03	4.84%																			
	口縁数(点)	1	10.00%			4	40.00%					1	10.00%	2	20.00%	1	10.00%															
	底残値					0.47	65.28%								0.25	34.72%																
	底部数(点)					3	75.00%								1	25.00%																
	体部数(点)	1	3.33%									22	73.33%	7	23.33%																	
	総重量(g)	3.00	1.53%			34.70	17.67%					3.20	1.63%	101.00	51.43%	43.50	22.15%	11.00	5.60%													
SK229	口残値	0.36	53.73%			0.22	32.84%					0.06	8.96%																			
	口縁数(点)	5	45.45%			4	36.36%					1	9.09%																			
	底残値					0.19	100.00%																									
	底部数(点)					1	100.00%																									
	体部数(点)	4	12.12%			1	3.03%					24	72.73%							1	3.03%	3	9.09%									
	総重量(g)	31.00	6.54%			31.70	6.69%					250.00	52.73%							9.00	1.90%	152.40	32.15%									



遺構名	種別	食器具										煮炊具						貯蔵具						合計				
		土師器			黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻		小巻		土師器		銅		非ロクロケズリ巻		須恵器		その他					
		無台碗	皿		無台杯	有台皿	有台杯							佐渡型巻														
SK290	口残値	0.08	20.51%			0.22	56.41%							0.06	15.38%			0.03	7.69%							0.39	100.00%	
	口縁数(点)	2	28.57%			3	42.86%							1	14.29%			1	14.29%							7	100.00%	
	底残値					0.36	59.02%							0.25	40.98%											0.61	100.00%	
	底部数(点)					3	75.00%							1	25.00%											4	100.00%	
	体部数(点)	2	15.38%															2	15.38%							13	100.00%	
	総点数(点)	4	16.67%			6	25.00%							8	33.33%	3	12.50%		3	12.50%						24	100.00%	
総重量(g)	3.70	1.47%			32.40	12.90%							133.10	53.01%	32.20	12.82%		49.70	19.79%						251.10	100.00%		
SK301	口残値	0.25	69.44%			0.11	30.56%																			0.36	100.00%	
	口縁数(点)	3	75.00%			1	25.00%																			4	100.00%	
	底残値	0.39	100.00%																							0.39	100.00%	
	底部数(点)	1	100.00%																							1	100.00%	
	体部数(点)																										1	100.00%
	総点数(点)	4	57.14%			1	14.29%								1	50.00%				1	50.00%					2	100.00%	
総重量(g)	50.00	79.87%			5.30	8.47%								3.90	6.23%					3.40	5.43%				62.60	100.00%		
SK304	口残値	0.14	37.84%			0.17	45.95%						0.06	16.22%												0.37	100.00%	
	口縁数(点)	2	50.00%			1	25.00%					1	25.00%													4	100.00%	
	底残値					0.31	100.00%																			0.31	100.00%	
	底部数(点)					1	100.00%																			1	100.00%	
	体部数(点)					1	33.33%																			3	100.00%	
	総点数(点)	2	25.00%			3	37.50%							2	66.67%											8	100.00%	
総重量(g)	5.20	12.04%			25.50	59.03%							12.50	28.94%											43.20	100.00%		
SK393	口残値					0.25	52.08%	0.17	35.42%	0.06	12.50%															0.48	100.00%	
	口縁数(点)					4	66.67%	1	16.67%	1	16.67%															6	100.00%	
	底残値	0.06	11.32%			0.19	35.85%	0.28	52.83%																	0.53	100.00%	
	底部数(点)	1	33.33%			1	33.33%																			3	100.00%	
	体部数(点)	4	26.67%			1.00	6.67%			3	20.00%	7	46.67%													15	100.00%	
	総点数(点)	5	20.83%			6	25.00%	2	8.33%	4	16.67%	7	29.17%													24	100.00%	
総重量(g)	13.50	6.34%			33.50	15.73%	28.10	13.20%	76.70	36.03%	61.10	28.70%													212.90	99.99%		
SK424	口残値	0.11	21.15%			0.19	36.54%								0.22	42.31%										0.52	100.00%	
	口縁数(点)	1	8.33%			5	41.67%								6	50.00%										12	100.00%	
	底残値					0.22	100.00%																			0.22	100.00%	
	底部数(点)					3	100.00%																			3	100.00%	
	体部数(点)					4	10.00%							24	60.00%	12	30.00%									40	100.00%	
	総点数(点)	1	1.82%			12	21.82%							24	43.64%	18	32.73%									55	100.00%	
総重量(g)	8.00	2.47%			26.50	8.17%							232.50	71.69%	57.30	17.67%									324.30	100.00%		
SK447	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値														0.03	100.00%										0.03	100.00%	
	底部数(点)														1	100.00%										1	100.00%	
	体部数(点)					1.00	10.00%							2	20.00%	5	50.00%			2	20.00%					10	100.00%	
	総点数(点)					1.00	9.09%							2	18.18%	6	54.55%			2	18.18%					11	100.00%	
総重量(g)					1.30	1.47%							38.60	43.67%	40.30	45.59%			8.20	9.28%					88.40	100.00%		
SK605	口残値					0.06	100.00%																			0.06	100.00%	
	口縁数(点)					1	100.00%																			1	100.00%	
	底残値					0.19	38.00%								0.31	62.00%										0.50	100.00%	
	底部数(点)					3	75.00%								1	25.00%										4	100.00%	
	体部数(点)												2	33.33%	2	33.33%			2	33.33%						6	100.00%	
	総点数(点)					4	36.36%							2	18.18%	3	27.27%			2	18.18%					11	100.00%	
総重量(g)					18.10	13.62%							35.10	26.41%	31.10	23.40%			48.60	36.57%					132.90	100.00%		
SK625	口残値					0.08	100.00%																			0.08	100.00%	
	口縁数(点)					1	100.00%																			1	100.00%	
	底残値	0.14	100.00%																							0.14	100.00%	
	底部数(点)	1	100.00%																							1	100.00%	
	体部数(点)																		1	33.33%					2	66.67%	3	100.00%
	総重量(g)	7.00	5.27%			6.40	4.82%												109.40	82.32%					10.10	7.60%	132.90	100.00%
SK638	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)																								2	100.00%	2	100.00%
	総重量(g)																								2	100.00%	2	100.00%



遺構名	種別	食器具										煮炊具					貯蔵具							合計																
		土師器			黒色土器		須恵器		長巻	小巻	土師器			罎	非ロクロケズリ罎	罎	長頸壺		短頸壺		横瓶		その他																	
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋			佐渡型罎	罎	罎				罎																							
SK677	口残値																																				0.14	100.00%		
	口縁数(点)																																				2	100.00%		
	底残値																																							
	底部数(点)																																							
	体部数(点)																																							
	総点数(点)																																							
総重量(g)																																								
SK685	口残値																																							
	口縁数(点)																																							
	底残値	0.56	100.00%																																			0.56	100.00%	
	底部数(点)	1	100.00%																																			1	100.00%	
	体部数(点)	1	11.11%																																			9	100.00%	
	総点数(点)	2	20.00%																																			10	100.00%	
総重量(g)	25.40	2.40%																																				1060.40	100.00%	
SK687	口残値																																							
	口縁数(点)																																							
	底残値																																							
	底部数(点)																																							
	体部数(点)																																							
	総点数(点)																																							
総重量(g)																																								
SK707	口残値	0.03	1.40%																																					
	口縁数(点)	1	5.88%																																					
	底残値	0.17	10.69%																																					
	底部数(点)	2	33.33%																																					
	体部数(点)	3	12.50%																																					
	総点数(点)	6	12.77%																																					
総重量(g)	14.90	3.89%																																						
SK741	口残値	0.83	41.50%																																					
	口縁数(点)	14	42.42%																																					
	底残値	1.00	36.76%																																					
	底部数(点)	1	11.11%																																					
	体部数(点)	17	15.74%																																					
	総点数(点)	32	21.33%																																					
総重量(g)	138.70	10.65%																																						
SK749	口残値	0.50	71.43%																																					
	口縁数(点)	9	75.00%																																					
	底残値	0.11	100.00%																																					
	底部数(点)	1	100.00%																																					
	体部数(点)	3	6.98%																																					
	総点数(点)	13	23.21%																																					
総重量(g)	104.30	23.95%																																						
SK790	口残値																																							
	口縁数(点)																																							
	底残値																																							
	底部数(点)																																							
	体部数(点)																																							
	総点数(点)																																							
総重量(g)																																								
SK941	口残値	0.14	13.86%																																					
	口縁数(点)	2	15.38%																																					
	底残値	0.50	33.33%																																					
	底部数(点)	2	66.67%																																					
	体部数(点)																																							
	総点数(点)	4	7.69%																																					
総重量(g)	16.60	1.79%																																						
SK942	口残値																																							
	口縁数(点)																																							
	底残値	0.17	100.00%																																					
	底部数(点)	1	100.00%																																					
	体部数(点)																																							
	総点数(点)	1	1.92%																																					
総重量(g)	8.10	1.04%																																						

遺構名	種別	食膳具													煮炊具							貯蔵具						合計		
		土師器			黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻		小巻		土師器			須恵器			横瓶		その他							
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	有台杯	有台杯	杯蓋					佐渡型巻	鍋	非ロクロケズリ巻	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他										
SK979	口残値	0.14	21.88%			0.44	68.75%																			0.64	100.00%			
	口縁数(点)	2	25.00%			5	62.50%																				8	100.00%		
	底残値					1.08	61.02%																				1.77	100.00%		
	底部数(点)					4	66.67%																				6	100.00%		
	体部数(点)																										4	100.00%		
	総点数(点)	2	11.11%			9	50.00%																				18	100.00%		
総重量(g)	7.00	1.48%			94.20	19.85%																					474.50	100.00%		
SK981	口残値	4.28	50.71%		0.08	0.95%	2.08	24.64%		0.08	0.95%	0.14	1.66%	0.33	3.91%	0.39	4.62%				0.25	2.96%						8.44	100.00%	
	口縁数(点)	50	53.19%		1	1.06%	16	17.02%		1	1.06%	2	2.13%	5	5.32%	5	5.32%				8	8.51%		2	2.13%	4	4.26%	94	100.00%	
	底残値	3.73	38.41%				2.42	24.92%		0.25	2.57%					3.31	34.09%											9.71	100.00%	
	底部数(点)	10	33.33%				8	26.67%		1	3.33%					9	30.00%							2	6.67%			30	100.00%	
	体部数(点)	23	10.80%			4	1.88%							88	41.31%	55	25.82%	3	1.41%	14	6.57%	16	7.51%	10	4.69%			213	100.00%	
	総点数(点)	83	24.63%		1	0.30%	28	8.31%		2	0.59%	2	0.59%	93	27.60%	69	20.47%	3	0.89%	22	6.53%	16	4.75%	14	4.15%	4	1.19%	337	100.00%	
総重量(g)	535.40	12.39%		3.30	0.08%	280.70	6.49%	23.00	0.53%	4.20	0.10%	1379.40	31.91%	795.30	18.40%	18.00	0.42%	501.20	11.60%	19.70	0.46%	744.60	17.23%	17.50	0.40%	4322.30	100.00%			
SK990	口残値	1.22	64.55%			0.56	29.63%						0.03	1.59%	0.08	4.23%												1.89	100.00%	
	口縁数(点)	11	55.00%			6	30.00%						1	5.00%	2	10.00%												20	100.00%	
	底残値	1.61	74.19%			0.50	23.04%								0.06	2.76%												2.17	100.00%	
	底部数(点)	3	60.00%			1	20.00%									1	20.00%											5	100.00%	
	体部数(点)	3	16.67%												12	66.67%	3	16.67%											18	100.00%
	総点数(点)	17	39.53%			7	16.28%							13	30.23%	6	13.95%												43	100.00%
総重量(g)	155.50	37.30%			85.40	20.48%							147.40	35.36%	28.60	6.86%												416.90	100.00%	
SK1008	口残値	0.50	61.73%			0.03	3.70%									0.22	27.16%			0.06	7.41%							0.81	100.00%	
	口縁数(点)	5	50.00%			1.00	10.00%									2	20.00%			2	20.00%							10	100.00%	
	底残値	0.33	100.00%																									0.33	100.00%	
	底部数(点)	1	100.00%																									1	100.00%	
	体部数(点)	2	6.06%			1.00	3.03%							13	39.39%	5	15.15%			7	21.21%	5	15.15%					33	100.00%	
	総点数(点)	8	18.18%			2.00	4.35%							13	29.55%	7	15.91%			9	20.45%	5	11.36%					44	99.80%	
総重量(g)	104.30	21.40%			2.40	0.49%							152.30	31.25%	46.30	9.50%			178.30	36.59%	3.70	0.76%					487.30	100.00%		
SK1052	口残値	0.17	68.00%			0.08	32.00%																					0.25	100.00%	
	口縁数(点)	6	85.71%			1	14.29%																					7	100.00%	
	底残値					0.25	100.00%																					0.25	100.00%	
	底部数(点)					1	100.00%																					1	100.00%	
	体部数(点)	6	23.08%			4	15.38%							8	30.77%													8	30.77%	
	総点数(点)	12	35.29%			6	17.65%							8	23.53%													8	23.53%	
総重量(g)	44.80	44.76%			22.50	22.48%							23.20	23.18%													9.60	9.59%		
SK1059	口残値	0.08	14.29%			0.42	75.00%								0.06	10.71%												0.56	100.00%	
	口縁数(点)	1	14.29%			5	71.43%								1	14.29%												7	100.00%	
	底残値					0.89	100.00%																					0.89	100.00%	
	底部数(点)					3	100.00%																					3	100.00%	
	体部数(点)	2	40.00%											2	40.00%	1	20.00%											5	100.00%	
	総点数(点)	3	20.00%			8	53.33%							2	13.33%	2	13.33%											15	100.00%	
総重量(g)	7.00	7.22%			75.40	77.73%							6.10	6.29%	8.50	8.76%												97.00	100.00%	
SK1093	口残値									0.78	100.00%																	0.78	100.00%	
	口縁数(点)									6	100.00%																	6	100.00%	
	底残値					0.28	100.00%																					0.28	100.00%	
	底部数(点)					2	100.00%																					2	100.00%	
	体部数(点)					1	100.00%																					1	100.00%	
	総点数(点)					3	33.33%																					9	100.00%	
総重量(g)					20.70	13.83%																					149.70	100.00%		
SK1104	口残値																			0.03	100.00%							0.03	100.00%	
	口縁数(点)																			1	100.00%							1	100.00%	
	底残値																													
	底部数(点)																													
	体部数(点)																													
	総重量(g)																				1	100.00%						1	100.00%	
SK1105	口残値																			25.00	100.00%							25.00	100.00%	
	口縁数(点)																													
	底残値																													
	底部数(点)																													
	体部数(点)					1.00	100.00%																						1	100.00%
	総重量(g)					1.00	100.00%																						1	100.00%
総重量(g)					2.70	100.00%																								



遺構名	種別	食器														煮炊具										貯蔵具						合計	
		土師器				黒色土器		須恵器		杯蓋	長巻	小費		土師器		鍔	非ロクロケズリ	裏	長頸壺		短頸壺		横瓶	その他									
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	有台杯	杯蓋	佐渡型費			鍋	須恵器	須恵器	須恵器				須恵器	須恵器	須恵器	須恵器											
SK1754	口残値	0.11	28.21%			0.14	35.90%					0.14	35.90%													0.39	100.00%						
	口縁数(点)	2	33.33%			2	33.33%					2	33.33%														6	100.00%					
	底残値	0.11	8.59%			0.11	8.59%					1.17	91.41%														1.28	100.00%					
	底部数(点)					1	25.00%					3	75.00%														4	100.00%					
	体部数(点)											4	18.18%	18	81.82%												22	100.00%					
	総点数(点)	2	6.25%			3	9.38%					4	12.50%	23	71.88%												32	100.00%					
総重量(g)	5.10	1.99%			17.30	6.74%					83.80	32.63%	150.60	58.64%												256.80	100.00%						
SK1957	口残値					0.06	100.00%																			0.06	100.00%						
	口縁数(点)					1.00	100.00%																			1	100.00%						
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)					1.00	33.33%							2	66.67%												3	100.00%					
	総点数(点)					2.00	50.00%							2	50.00%												4	100.00%					
総重量(g)					3.30	13.81%					20.60	86.19%														23.90	100.00%						
SK1965	口残値					0.17	60.71%						0.11	39.29%													0.28	100.00%					
	口縁数(点)					2	66.67%						1	33.33%													3	100.00%					
	底残値					0.11	15.94%						0.58	84.06%													0.69	100.00%					
	底部数(点)					1	33.33%						2	66.67%													3	100.00%					
	体部数(点)												4	100.00%													4	100.00%					
	総点数(点)					3	30.00%						7	70.00%													10	100.00%					
総重量(g)					13.60	16.50%						68.80	83.50%													82.40	100.00%						
SK1966	口残値	0.19	11.24%			1.06	62.72%	0.08	4.73%	0.11	6.51%		0.14	8.28%			0.11	6.51%								1.69	100.00%						
	口縁数(点)	4	16.67%			10	41.67%	1	4.17%	3	12.50%		2	8.33%			4	16.67%								24	100.00%						
	底残値					2.20	85.94%						0.36	14.06%												2.56	100.00%						
	底部数(点)					12	92.31%						1	7.69%												13	100.00%						
	体部数(点)	3	8.82%			2	5.88%			1	2.94%	7	20.59%	14	41.18%			7	20.59%							34	100.00%						
	総点数(点)	7	9.86%			24	33.80%	1	1.41%	4	5.63%	7	9.86%	17	23.94%			11	15.49%							71	100.00%						
総重量(g)	32.20	4.19%			195.30	25.43%	18.40	2.40%	28.90	3.76%	245.70	32.00%	96.30	12.54%			151.10	19.68%							767.90	100.00%							
SK1978	口残値					0.25	80.65%			0.03	9.68%						0.03	9.68%								0.31	100.00%						
	口縁数(点)					4	66.67%			1	16.67%						1	16.67%								6	100.00%						
	底残値	0.17	23.29%			0.56	76.71%																			0.73	100.00%						
	底部数(点)	1	20.00%			4	80.00%																			5	100.00%						
	体部数(点)	1	5.56%		4	22.22%					8	44.44%	1	5.56%						1	5.56%					3	16.67%	18	100.00%				
	総点数(点)	2	6.90%		4	13.79%	8	27.59%		1	3.45%	8	27.59%	1	3.45%			1	3.45%							3	10.34%	29	100.00%				
総重量(g)	11.00	5.49%			5.80	2.90%	37.70	18.83%			2.80	1.40%	55.60	27.77%	2.80	1.40%		24.50	12.24%	0.80	0.40%				59.20	29.57%	200.20	100.00%					
SK1982	口残値									0.08	100.00%																0.08	100.00%					
	口縁数(点)									1	100.00%																1	100.00%					
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)									2	100.00%																2	100.00%					
	総点数(点)									3	100.00%																3	100.00%					
総重量(g)										15.70	100.00%															15.70	100.00%						
SK2134	口残値																																
	口縁数(点)																																
	底残値																								0.28	100.00%	0.28	100.00%					
	底部数(点)																							1	100.00%	1	100.00%						
	体部数(点)	1	25.00%															2	50.00%								4	100.00%					
	総点数(点)	1	20.00%															2	40.00%						1	20.00%	5	100.00%					
総重量(g)	0.60	0.39%															16.10	10.54%						1	20.00%	119.90	78.52%	152.70	100.00%				
SK2139	口残値	1.02	72.34%			0.39	27.66%																				1.41	100.00%					
	口縁数(点)	4	44.44%			5	55.56%																				9	100.00%					
	底残値	1.00	59.17%			0.69	40.83%																				1.69	100.00%					
	底部数(点)	2	50.00%			2	50.00%																				4	100.00%					
	体部数(点)					1	100.00%																				1	100.00%					
	総点数(点)	6	42.86%			8	57.14%																				14	100.00%					
総重量(g)	131.20	68.62%			60.00	31.38%																				191.20	100.00%						
SK2140	口残値					0.03	50.00%			0.03	50.00%																0.06	100.00%					
	口縁数(点)					1	50.00%			1	50.00%																2	100.00%					
	底残値					0.19	100.00%																				0.19	100.00%					
	底部数(点)					1	100.00%																				1	100.00%					
	体部数(点)																										1	100.00%					
	総点数(点)					2	50.00%			1	25.00%			1	25.00%												4	100.00%					
総重量(g)					13.40	63.21%			1.70	8.02%			6.10	28.77%												21.20	100.00%						

遺構名	種別	食器具							煮炊具					貯蔵具					合計										
		土師器		黒色土器		須恵器			土師器					須恵器															
		無台椀	皿	無台椀・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長巻	小巻	佐渡型巻	鍋	非ロクロケズリ巻	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他												
SK2159	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)																												
	総点数(点)																												
総重量(g)																													
SK2190	口残値																												
SK2190	口縁数(点)																												
SK2190	底残値																												
SK2190	底部数(点)																												
SK2190	体部数(点)																												
SK2190	総点数(点)																												
SK2190	総重量(g)																												
SK2200	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)																												
	総点数(点)																												
SK2200	総重量(g)																												
SK2217	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)																												
	総点数(点)																												
SK2225	総重量(g)																												
SK2260	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)																												
	総点数(点)																												
SK2276	総重量(g)																												
SK2289	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)																												
	総点数(点)																												
SK2303	総重量(g)																												







遺構名	種別	食器具														煮炊具						貯蔵具						合計	
		土師器			黒色土器		須恵器			長巻		小巻		土師器		銅		非ロクロケズリ巻		須恵器		横瓶		その他					
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋																					
SD102	口残値																										0.06	100.00%	
	口縁数(点)																											1	100.00%
	底残値																										1.00	100.00%	
	底部数(点)																										2	100.00%	
	体部数(点)																										1	100.00%	
	総点数(点)																										3	75.00%	
総重量(g)																										185.50	63.64%		
SD107	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)																												
	総点数(点)																												
SD149	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)																												
	総点数(点)																												
SD150	口残値	0.25	8.50%																										
	口縁数(点)	2	6.45%																										
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)	7	6.14%																										
	総重量(g)	57.40	5.47%																										
SD155	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値	0.08	100.00%																										
	底部数(点)	1	100.00%																										
	体部数(点)	4	4.26%																										
	総重量(g)	11.40	0.87%																										
SD167	口残値	0.12	22.64%																										
	口縁数(点)	2	25.00%																										
	底残値	0.31	39.74%																										
	底部数(点)	1	33.33%																										
	体部数(点)	3	6.67%																										
	総重量(g)	28.20	6.13%																										
SD172	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)																												
	総重量(g)																												
SD190	口残値	0.59	86.76%																										
	口縁数(点)	6	75.00%																										
	底残値	1.50	100.00%																										
	底部数(点)	2	100.00%																										
	体部数(点)	4	50.00%																										
	総重量(g)	109.50	60.02%																										
SD200	口残値	1.56	45.61%																										
	口縁数(点)	6	42.86%																										
	底残値	1.00	25.38%																										
	底部数(点)	1	16.67%																										
	体部数(点)	7	29.17%																										
	総重量(g)	162.00	29.26%																										

遺構名	種別	食器具												煮炊具								貯蔵具						合計	
		土師器			黒色土器			須恵器			土師器		須恵器				須恵器		横瓶		その他								
		無台碗	皿	無台杯・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長巻	小巻	佐渡型甕	鍋	非ロクロケズリ甕	甕	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他												
SD278	口残値				0.25	73.53%								0.09	26.47%								0.34	100.00%					
	口縁数(点)				3	60.00%								2	40.00%								5	100.00%					
	底残値				0.39	100.00%																	0.39	100.00%					
	底部数(点)				3	100.00%																	3	100.00%					
	体部数(点)	3	11.11%			2	7.41%					12	44.44%	1	3.70%	4	14.81%	4	14.81%				1	3.70%	27	100.00%			
	総点数(点)	3	8.57%			8	22.86%					12	34.29%	1	2.86%	4	11.43%	6	17.14%				1	2.86%	35	100.00%			
総重量(g)	5.00	1.86%			42.50	15.77%					86.00	31.91%	7.50	2.78%	21.00	7.79%	103.00	38.22%				4.50	1.67%	269.50	100.00%				
SD281	口残値				0.94	94.00%								0.03	3.00%	0.03	3.00%							1.00	100.00%				
	口縁数(点)				8	80.00%								1	10.00%	1	10.00%							10	100.00%				
	底残値				1.00	85.47%																		0.17	14.53%	1.17	100.00%		
	底部数(点)				2	66.67%																		1	33.33%	3	100.00%		
	体部数(点)					1	14.29%					1	14.29%	4	57.14%	1	14.29%									7	100.00%		
	総点数(点)					11	55.00%					1	5.00%	5	25.00%	2	10.00%							1	5.00%	20	100.00%		
総重量( g )					98.00	59.61%					7.40	4.50%	32.50	19.77%	16.50	10.04%							10.00	6.08%	164.40	100.00%			
SD291	口残値	0.41	35.04%							0.06	5.13%	0.06	5.13%				0.06	5.13%							1.17	100.00%			
	口縁数(点)	5	33.33%							1	6.67%	1	6.67%				1	6.67%							15	100.00%			
	底残値													0.28	32.94%										0.85	100.00%			
	底部数(点)													1	25.00%										4	100.00%			
	体部数(点)	8	16.00%			1	2.00%	5	10.00%			23	46.00%	3	6.00%	6	12.00%	4	8.00%						50	100.00%			
	総点数(点)	13	18.84%			1	1.45%	15	21.74%			1	1.45%	24	34.78%	4	5.80%	6	8.70%	5	7.25%					69	100.00%		
総重量( g )	57.50	10.79%			2.50	0.47%	85.50	16.04%			4.00	0.75%	187.50	35.18%	44.00	8.26%	17.50	3.28%	134.50	25.23%					533.00	100.00%			
SD297	口残値	0.06	33.33%								0.06	33.33%													0.18	100.00%			
	口縁数(点)	1	33.33%								1	33.33%													3	100.00%			
	底残値																								1.00	100.00%			
	底部数(点)																							1	100.00%				
	体部数(点)	3	11.54%									19	73.08%	4	15.38%										26	100.00%			
	総点数(点)	4	13.33%									20	66.67%	4	13.33%									1	3.33%	30	100.00%		
総重量( g )	4.50	1.24%									2.50	0.69%												251.00	69.43%	361.50	100.00%		
SD336	口残値	0.06	35.29%		0.03	17.65%	0.08	47.06%																	0.17	100.00%			
	口縁数(点)	1	33.33%		1	33.33%																			3	100.00%			
	底残値	0.28	33.33%				0.56	66.67%																	0.84	100.00%			
	底部数(点)	1	50.00%				1	50.00%																	2	100.00%			
	体部数(点)	2	33.33%				1	16.67%				2	33.33%	1	16.67%										6	100.00%			
	総点数(点)	4	36.36%			1	9.09%	3	27.27%			2	18.18%	1	9.09%										11	100.00%			
総重量( g )	27.50	27.92%			3.00	3.05%	35.50	36.04%			26.50	26.90%	6.00	6.09%										98.50	100.00%				
SD394	口残値	0.03	6.82%				0.15	34.09%	0.06	13.64%	0.14	31.82%					0.06	13.64%							0.44	100.00%			
	口縁数(点)	1	12.50%				3	37.50%	1	12.50%	2	25.00%					1	12.50%							8	100.00%			
	底残値						0.53	100.00%																	0.53	100.00%			
	底部数(点)						3	100.00%																	3	100.00%			
	体部数(点)	2	9.09%				7	31.82%				11	50.00%					2	9.09%						22	100.00%			
	総点数(点)	3	9.09%				13	39.39%	1	3.03%	2	6.06%	11	33.33%				3	9.09%						33	100.00%			
総重量( g )	12.60	5.69%				51.30	23.16%	3.60	1.63%	6.10	2.75%	65.10	29.39%				82.80	37.38%						221.50	100.00%				
SD398	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値						0.17	100.00%																		0.17	100.00%		
	底部数(点)						2	100.00%																	2	100.00%			
	体部数(点)	1	50.00%				1	50.00%																	2	100.00%			
	総点数(点)	1	25.00%				3	75.00%																	4	100.00%			
総重量( g )	0.90	5.73%				14.80	94.27%																	15.70	100.00%				
SD402	口残値	0.08	47.06%				0.06	35.29%					0.03	17.65%											0.17	100.00%			
	口縁数(点)	2	50.00%				1	25.00%						1	25.00%										4	100.00%			
	底残値													0.25	100.00%										0.25	100.00%			
	底部数(点)													1	100.00%										1	100.00%			
	体部数(点)	1	4.00%			1	4.00%	3	12.00%			6	24.00%	11	44.00%			2	8.00%				1	4.00%	25	100.00%			
	総点数(点)	3	10.00%			1	3.33%	4	13.33%			6	20.00%	13	43.33%			2	6.67%				1	3.33%	30	100.00%			
総重量( g )	6.40	2.82%			4.70	2.07%	9.10	4.00%			68.70	30.22%	82.30	36.21%			52.40	23.05%						227.30	100.00%				
SD403	口残値	2.08	48.15%		0.03	0.69%	0.39	9.03%			0.61	14.12%	0.28	6.48%	0.81	18.75%		0.06	1.39%						4.32	100.00%			
	口縁数(点)	34	56.67%		1	1.67%	8	13.33%			6	10.00%	5	8.33%	4	6.67%		1	1.67%						60	100.00%			
	底残値	2.15	59.72%		0.28	7.78%	0.56	15.56%						0.61	16.94%										3.60	100.00%			
	底部数(点)	10	52.63%		2	10.53%	3	15.79%						4	21.05%										19	100.00%			
	体部数(点)	65	24.07%		11	4.07%	6	2.22%			7	2.59%	81	30.00%	62	22.96%		14	5.19%					1	0.37%	270	100.00%		
	総点数(点)	109	31.23%		14	4.01%	17	4.87%			13	3.72%	86	24.64%	70	20.06%		15	4.30%				23	6.59%	1	0.29%	349	100.00%	
総重量( g )	334.70	8.41%			52.90	1.33%	61.30	1.54%			151.00	3.80%	653.40	16.43%	248.60	6.25%		509.80	12.82%					1957.70	49.22%	3.60	0.09%	3977.70	100.00%

遺構名	種別	食器具												煮炊具						貯蔵具						合計				
		土師器			黒色土器			須恵器			長巻		小巻		土師器		須恵器		須恵器		横瓶	その他								
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋						佐渡型費	鍋	非ロクロケズリ費	壺	長頸壺	短頸壺											
SD417	口残値					0.37	86.05%						0.06	13.95%										0.43	100.00%					
	口縁数(点)					5.00	62.50%						3	37.50%										8	100.00%					
	底残値																													
	底部数(点)																													
	体部数(点)	5	16.13%			6.00	19.35%						17	54.84%	2	6.45%		1	3.23%					31	100.00%					
	総点数(点)	5	12.82%			11.00	28.21%						20	51.28%	2	5.13%		1	2.56%					39	100.00%					
総重量(g)	7.50	3.75%			21.00	10.51%						139.60	69.83%	5.20	2.60%		26.60	13.31%					199.90	100.00%						
SD419	口残値				0.06	12.50%	0.42	87.50%																0.48	100.00%					
	口縁数(点)				1	11.11%	8	88.89%																9	100.00%					
	底残値	0.22	23.16%					0.73	76.84%															0.95	100.00%					
	底部数(点)	1	25.00%					3	75.00%															4	100.00%					
	体部数(点)	4	11.43%			5	14.29%						17	48.57%			2	5.71%	3	8.57%		1	2.86%	35	100.00%					
	総点数(点)	5	10.42%			16	33.33%						17	35.42%			2	4.17%	3	6.25%		1	2.08%	48	100.00%					
総重量(g)	23.30	7.94%			3.60	1.23%	72.70	24.79%				97.00	33.07%			10.30	3.51%	47.40	16.16%				4.20	1.43%	10.80	3.68%	293.30	100.00%		
SD421	口残値	0.17	1.87%			2.02	22.27%		0.11	1.21%	0.14	1.54%	0.23	2.54%	5.80	63.95%							0.60	6.62%	9.07	100.00%				
	口縁数(点)	3	6.38%			20	42.55%		1	2.13%	3	6.38%	3	6.38%	6	12.77%							11	23.40%	47	100.00%				
	底残値	0.94	23.90%			3.01	76.20%																		3.95	100.00%				
	底部数(点)	5	29.41%			12	70.59%																	17	100.00%					
	体部数(点)	6	2.60%			16	6.93%						55	23.81%	19	8.23%	22	9.52%	7	3.03%				97	41.99%	7	3.03%	231	100.00%	
	総点数(点)	14	4.75%			48	16.27%		1	0.34%	3	1.02%	58	19.66%	25	8.47%	22	7.46%	7	2.37%				108	36.61%	7	2.37%	295	100.00%	
総重量(g)	72.60	1.99%			329.70	9.06%		6.20	0.17%	14.80	0.41%	670.00	18.41%	71.40	1.96%	167.20	4.59%	244.10	6.71%				1975.00	54.26%	44.20	1.21%	45.00	1.24%	3640.20	100.00%
SD422	口残値	0.55	40.74%			0.29	21.48%						0.20	14.81%					0.14	10.37%			0.17	12.59%	1.35	100.00%				
	口縁数(点)	6	31.58%			5	26.32%					4	21.05%						1	5.26%			3	15.79%	19	100.00%				
	底残値	0.31	19.50%			1.11	69.81%																	1.59	100.00%					
	底部数(点)	1	20.00%			3	60.00%								0.17	10.69%									5	100.00%				
	体部数(点)	19	12.84%			1	0.68%	9	6.08%				54	36.49%	11	7.43%	21	14.19%	2	1.35%				30	20.27%	1	0.68%	148	100.00%	
	総点数(点)	26	15.12%			17	9.88%						58	33.72%	12	6.98%	21	12.21%	3	1.74%				33	19.19%	1	0.58%	172	100.00%	
総重量(g)	79.50	4.21%			1.00	0.05%	134.90	7.15%				427.50	22.66%	50.00	2.65%	52.50	2.78%	120.00	6.36%				1013.50	53.73%	7.50	0.40%	1886.40	100.00%		
SD448	口残値	0.23	54.76%			0.19	45.24%																	0.42	100.00%					
	口縁数(点)	3	60.00%			2	40.00%																	5	100.00%					
	底残値	0.11	100.00%																					0.11	100.00%					
	底部数(点)	1	100.00%																					1	100.00%					
	体部数(点)	1	11.11%			2	22.22%						4	44.44%	1	11.11%	1	11.11%							9	100.00%				
	総点数(点)	5	33.33%			4	26.67%						4	26.67%	1	6.67%	1	6.67%							15	100.00%				
総重量(g)	22.50	45.92%			10.00	20.41%						15.00	30.61%	0.50	1.02%	1.00	2.04%							49.00	100.00%					
SD455	口残値	0.94	46.53%			0.59	29.21%					0.06	2.97%	0.09	4.46%			0.34	16.83%					2.02	100.00%					
	口縁数(点)	11	37.93%			6	20.69%					1	3.45%	2	6.90%			9	31.03%					29	100.00%					
	底残値	2.95	91.33%			0.28	8.67%																	3.23	100.00%					
	底部数(点)	8	80.00%			2	20.00%																	10	100.00%					
	体部数(点)	14	13.73%			1	0.98%						47	46.08%	8	7.84%	4	3.92%	17	16.67%				11	10.78%			102	100.00%	
	総点数(点)	33	23.40%			1	0.71%	8	5.67%				48	34.04%	10	7.09%	4	2.84%	26	18.44%				11	7.80%			141	100.00%	
総重量(g)	233.50	9.81%			4.50	0.19%	40.00	1.68%				652.50	27.40%	68.00	2.86%	14.00	0.59%	875.50	36.77%				493.00	20.71%			2381.00	100.00%		
SD457	口残値																													
	口縁数(点)																													
	底残値																													
	底部数(点)																													
	体部数(点)													1	50.00%	1	50.00%								2	100.00%				
	総点数(点)													1	50.00%	1	50.00%								2	100.00%				
総重量(g)													15.00	88.24%	2.00	11.76%								17.00	100.00%					
SD458	口残値	0.17	6.91%			0.06	2.44%	0.83	33.74%	0.17	6.91%	0.06	2.44%	0.58	23.58%	0.22	8.94%	0.14	5.69%	0.09	3.66%		0.14	5.69%			2.46	100.00%		
	口縁数(点)	3	8.82%			1	2.94%	11	32.35%	2	5.88%	1	2.94%	8	23.53%	2	5.88%	3	8.82%	2	5.88%		1	2.94%		0.44	20.66%	34	100.00%	
	底残値	0.41	19.25%			1.28	60.09%																		2.13	100.00%				
	底部数(点)	2	25.00%			5	62.50%																		8	100.00%				
	体部数(点)	4	4.44%			3	3.33%			2	2.22%			48	53.33%	8	8.89%	5	5.56%	6	6.67%		9	10.00%	2	2.22%	90	100.00%		
	総点数(点)	9	6.82%			4	3.03%	19	14.39%	4	3.03%	1	0.76%	56	42.42%	10	7.58%	8	6.06%	8	6.06%		10	7.58%	3	2.27%	132	100.00%		
総重量(g)	37.50	2.29%			10.00	0.61%	121.90	7.43%	28.00	1.71%	2.50	0.15%	640.50	39.06%	91.00	5.55%	88.00	5.37%	152.50	9.30%				352.00	21.46%	116.00	7.07%	1639.90	100.00%	
SD478	口残値					0.06	50.00%					0.06	50.00%											0.12	100.00%					
	口縁数(点)					1.00	50.00%					1	50.00%											2	100.00%					
	底残値																													
	底部数(点)																													
	体部数(点)														4	80.00%	1	20.00%							5	100.00%				
	総点数(点)					1.00	14.29%			1	14.29%	4	57.14%	1	14.29%										7	100.00%				
総重量(g)					2.50	7.69%			2.50	7.69%	22.50	69.23%	5.00	15.38%										32.50	100.00%					



遺構名	種別	食器具										煮炊具										貯蔵具								合計				
		土師器			黒色土器			須恵器				長巻		小巻		土師器						須恵器												
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋							佐渡型甕	甕	非ロクロケズリ甕				長頸壺	短頸壺	横瓶	その他										
SD509	口残値	0.82	44.09%				0.70	37.63%				0.11	5.91%	0.03	1.61%	0.20	10.75%															1.86	100.00%	
	口縁数(点)	9	36.00%				11	44.00%				2	8.00%	1	4.00%	2	8.00%															25	100.00%	
	底残値	0.47	38.52%				0.75	61.48%																							1.22	100.00%		
	底部数(点)	2	33.33%				4	66.67%																							6	100.00%		
	体部数(点)	19	19.19%			1	1.01%	9	9.09%			1	1.01%	41	41.41%	18	18.18%	1	1.01%	6	6.06%						3	3.03%			99	100.00%		
	総点数(点)	30	23.08%			1	0.77%	24	18.46%			3	2.31%	42	32.31%	20	15.38%	1	0.77%	6	4.62%						3	2.31%			130	100.00%		
	総重量(g)	105.00	10.50%			6.00	0.60%	85.00	8.50%			31.50	3.15%	390.00	39.00%	70.00	7.00%	2.50	0.25%	182.50	18.25%						127.50	12.75%			1000.00	100.00%		
SD515	口残値											0.08	100.00%																		0.08	100.00%		
	口縁数(点)											1	100.00%																		1	100.00%		
	底残値						0.25	100.00%																							0.25	100.00%		
	底部数(点)						2	100.00%																							2	100.00%		
	体部数(点)						1	5.56%			1	5.56%	10	55.56%			1	5.56%	2	11.11%						2	11.11%	1	5.56%			18	100.00%	
	総点数(点)						3	14.29%			2	9.52%	10	47.62%			1	4.76%	2	9.52%						2	9.52%	1	4.76%			21	100.00%	
	総重量(g)						168.00	39.96%			6.70	1.59%	69.50	16.53%			1.30	0.31%	28.60	6.80%						107.20	25.50%	39.10	9.30%			420.40	100.00%	
SD522	口残値						0.23	100.00%																							0.23	100.00%		
	口縁数(点)						3	100.00%																							3	100.00%		
	底残値						0.17	100.00%																							0.17	100.00%		
	底部数(点)						1	100.00%																							1	100.00%		
	体部数(点)	3	21.43%				1	7.14%					8	57.14%	1	7.14%			1	7.14%											14	100.00%		
	総点数(点)	3	16.67%				5	27.78%					5	27.78%	1	5.56%			1	5.56%											18	100.00%		
	総重量(g)	4.80	4.65%				21.70	21.03%					53.80	52.13%	4.20	4.07%			18.70	18.12%												103.20	100.00%	
SD523	口残値	0.31	41.89%				0.29	39.19%								0.14	18.92%														0.74	100.00%		
	口縁数(点)	5	41.67%				4	33.33%								3	25.00%														12	100.00%		
	底残値						0.95	100.00%																							0.95	100.00%		
	底部数(点)						4	100.00%																							4	100.00%		
	体部数(点)	5	11.63%			1	2.33%	3	6.98%					25	58.14%	4	9.30%	5	11.63%													43	100.00%	
	総点数(点)	10	16.95%			1	1.69%	11	18.64%					25	42.37%	7	11.86%	5	8.47%													59	100.00%	
	総重量(g)	36.40	11.02%			2.00	0.61%	74.70	22.61%					143.60	43.46%	35.50	10.74%	38.20	11.56%														330.40	100.00%
SD524	口残値	0.03	6.00%				0.41	82.00%					0.03	6.00%	0.03	6.00%															0.50	100.00%		
	口縁数(点)	2	25.00%				4	50.00%					1	12.50%	1	12.50%															8	100.00%		
	底残値	0.25	21.37%				0.25	21.37%						0.67	57.26%																1.17	100.00%		
	底部数(点)	1	16.67%				3	50.00%							2	33.33%															6	100.00%		
	体部数(点)	9	13.43%			3	4.48%	2	2.99%					35	52.24%	16	23.88%			2	2.99%											67	100.00%	
	総点数(点)	12	14.81%			3	3.70%	9	11.11%					36	44.44%	19	23.46%			2	2.47%											81	100.00%	
	総重量(g)	37.10	6.55%			16.10	2.84%	48.00	8.47%					308.60	54.45%	123.60	21.81%			33.40	5.89%											566.80	100.00%	
SD601	口残値	0.03	6.52%				0.12	26.09%			0.17	36.96%	0.03	6.52%	0.11	23.91%															0.46	100.00%		
	口縁数(点)	1	12.50%				2	25.00%			2	25.00%	1	12.50%	2	25.00%															8	100.00%		
	底残値	0.22	26.19%				0.62	73.81%																							0.84	100.00%		
	底部数(点)	1	20.00%				4	80.00%																							5	100.00%		
	体部数(点)	1	12.50%				2	25.00%					4	50.00%	1	12.50%															8	100.00%		
	総点数(点)	3	14.29%				8	38.10%					2	9.52%	5	23.81%	3	14.29%														21	100.00%	
	総重量(g)	19.10	7.98%				29.20	12.20%				78.40	32.76%	99.60	41.62%	13.00	5.43%															239.30	100.00%	
SD606	口残値	1.35	15.45%				4.57	52.29%	0.75	8.58%			0.80	9.15%	0.70	8.01%			0.21	2.40%					0.36	4.12%					8.74	100.00%		
	口縁数(点)	24	32.00%				27	36.00%	1	1.33%			8	10.67%	6	8.00%			5	6.67%					4	5.33%					75	100.00%		
	底残値	4.41	27.79%				7.01	44.17%	1.06	6.68%					2.89	18.21%											0.50	3.15%			15.87	100.00%		
	底部数(点)	13	27.08%				21	43.75%	2	4.17%					11	22.92%																48	100.00%	
	体部数(点)	38	20.88%			4	2.20%	9	4.95%	1	0.55%	1	0.55%	53	29.12%	36	19.78%			2	1.10%					33	18.13%	5	2.75%			182	100.00%	
	総点数(点)	75	24.59%			4	1.31%	57	18.69%	4	1.31%	1	0.33%	61	20.00%	53	17.38%			7	2.30%					37	12.13%	6	1.97%			305	100.00%	
	総重量(g)	455.10	7.39%			11.50	0.19%	677.70	11.01%	289.00	4.70%	8.90	0.14%	844.20	13.72%	573.70	9.32%			219.50	3.57%					2376.20	38.61%	698.50	11.35%			6154.30	100.00%	
SD607	口残値	0.23	7.12%				2.61	80.80%					0.06	1.86%	0.03	0.93%	0.11	3.41%							0.19	5.88%					3.23	100.00%		
	口縁数(点)	4	8.89%				36	80.00%					1	2.22%	1	2.22%	1	2.22%							2	4.44%					45	100.00%		
	底残値						2.60	93.19%							0.19	6.81%															2.79	100.00%		
	底部数(点)						8	88.89%							1	11.11%															9	100.00%		
	体部数(点)	6	5.17%				6	5.17%					5	4.31%	12	10.34%									87	75.00%					116	100.00%		
	総点数(点)	10	5.88%				50	29.41%					1	0.59%	6	3.53%	14	8.24%							89	52.35%					170	100.00%		
	総重量(g)	24.90	0.41%				260.70	4.30%			11.40	0.19%	47.80	0.79%	78.50	1.30%									5636.00	93.01%					6059.30	100.00%		
SD632	口残値						0.06	100.00%																							0.06	100.00%		
	口縁数(点)						1	100.00%																							1	100.00%		
	底残値																																	
	底部数(点)																																	
	体部数(点)																																	
	総点数(点)							1																										

遺構名	種別	食器具														煮炊具								貯蔵具						合計		
		土師器			黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻		小巻		土師器		鍔		非ロクロケズリ巻		巻		長頸壺		短頸壺		横瓶		その他			
		無台碗	皿	有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長巻	小巻	土師器	鍔	非ロクロケズリ巻	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他															
SD662	口残値	0.37	100.00%																											0.37	100.00%	
	口縁数(点)	6	100.00%																											6	100.00%	
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)	1	50.00%									1	50.00%																	2	100.00%	
	総点数(点)	7	87.50%									1	12.50%																	8	100.00%	
総重量(g)	39.00	69.03%									17.50	30.97%																	56.50	100.00%		
SD663	口残値					0.14	70.00%			0.06	30.00%																		0.20	100.00%		
	口縁数(点)					1	50.00%			1	50.00%																		2	100.00%		
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)	5	31.25%															1	6.25%											16	100.00%	
	総点数(点)	5	27.78%				1	5.56%			1	5.56%					1	5.56%												18	100.00%	
総重量(g)	5.00	3.96%				7.50	5.94%			4.00	3.17%	81.20	64.34%				28.50	22.58%											126.20	100.00%		
SD673	口残値					0.09	100.00%																						0.09	100.00%		
	口縁数(点)					2	100.00%																						2	100.00%		
	底残値					0.25	100.00%																						0.25	100.00%		
	底部数(点)					1	100.00%																						1	100.00%		
	体部数(点)																			1	100.00%								1	100.00%		
	総点数(点)					3	75.00%															1	100.00%						4	100.00%		
総重量(g)					24.50	44.95%															30.00	55.05%							54.50	100.00%		
SD678	口残値	0.06	50.00%			0.06	50.00%																						0.12	100.00%		
	口縁数(点)	1	50.00%			1	50.00%																						2	100.00%		
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)					1	50.00%																							2	100.00%	
	総点数(点)	1	25.00%			2	50.00%																	1	50.00%				4	100.00%		
総重量(g)	8.00	6.87%			8.50	7.30%																	100.00	85.84%					116.50	100.00%		
SD679	口残値																												0.06	100.00%		
	口縁数(点)																												1	100.00%		
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)																						2	100.00%					2	100.00%		
	総点数(点)																						2	66.67%					3	100.00%		
総重量(g)																						107.50	19.28%					450.00	80.72%	557.50	100.00%	
SD680	口残値																												0.06	100.00%		
	口縁数(点)																												1	100.00%		
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)																															
	総点数(点)																															
総重量(g)																													200.00	100.00%		
SD695	口残値	0.09	60.00%			0.03	20.00%																							0.15	100.00%	
	口縁数(点)	2	50.00%			1	25.00%																							4	100.00%	
	底残値					0.62	100.00%																							0.62	100.00%	
	底部数(点)					4	100.00%																							4	100.00%	
	体部数(点)	4	5.00%			4	5.00%			1	1.25%	30	37.50%	16	20.00%	13	16.25%	2	2.50%					9	11.25%	1	1.25%		80	100.00%		
	総点数(点)	6	6.82%			9	10.23%			1	1.14%	30	34.09%	16	18.18%	14	15.91%	2	2.27%					9	10.23%	1	1.14%		88	100.00%		
総重量(g)	11.50	0.93%			37.50	3.02%					7.00	0.56%	618.50	49.88%	62.50	5.04%	35.50	2.86%	21.00	1.69%			438.00	35.32%	8.50	0.69%		1240.00	100.00%			
SD696	口残値											0.11	100.00%																	0.11	100.00%	
	口縁数(点)											2	100.00%																	2	100.00%	
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)																															
	総重量(g)																													23.00	100.00%	
SD697	口残値	2.18	40.60%		0.11	2.05%	0.92	17.13%		0.34	6.33%	0.34	6.33%	0.28	5.21%	0.23	4.28%	0.97	18.06%											5.37	100.00%	
	口縁数(点)	37	42.05%		2	2.27%	11	12.50%		6	6.82%	6	6.82%	1	1.14%	5	5.68%	20	22.73%											88	100.00%	
	底残値	1.61	29.11%				0.97	17.54%						2.67	48.28%															5.53	100.00%	
	底部数(点)	9	36.00%				5	20.00%						10	40.00%															25	100.00%	
	体部数(点)	54	21.77%		4	1.61%	10	4.03%		5	2.02%	82	33.06%	35	14.11%	8	3.23%	24	9.68%					21	8.47%		5	2.02%	248	100.00%		
	総点数(点)	100	27.70%		6	1.66%	26	7.20%		11	3.05%	88	24.38%	46	12.74%	13	3.60%	44	12.19%					21	5.82%		6	1.66%	361	100.00%		
	総重量(g)	343.00	7.24%		36.30	0.77%	101.00	2.13%		58.20	1.23%	821.00	17.34%	351.50	7.42%	5																

遺構名	種別	食器具										煮炊具						貯蔵具						合計				
		土師器		黒色土器		須恵器		須恵器		土師器		土師器		須恵器		須恵器		須恵器										
		無台椀	皿	無台椀・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長巻	小巻	佐渡型巻	鍋	非ロクロケズリ巻	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他											
SD698	口残値					0.25	100.00%																			0.25	100.00%	
	口縁数(点)					3	100.00%																				3	100.00%
	底残値					0.48	100.00%																				0.48	100.00%
	底部数(点)					2	100.00%																				2	100.00%
	体部数(点)					1	14.29%					6	85.71%														7	100.00%
	総点数(点)					6	50.00%					6	50.00%														12	100.00%
総重量(g)					81.00	54.00%					69.00	46.00%														150.00	100.00%	
SD750	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)	11	100.00%																								11	100.00%
	総点数(点)	11	100.00%																								11	100.00%
総重量(g)	8.00	100.00%																								8.00	100.00%	
SD751	口残値					0.08	100.00%																				0.08	100.00%
	口縁数(点)					1	100.00%																				1	100.00%
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)																											
	総点数(点)					1	100.00%																				1	100.00%
総重量(g)					5.00	100.00%																				5.00	100.00%	
SD752	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)											1	100.00%														1	100.00%
	総点数(点)											1	100.00%														1	100.00%
総重量(g)											6.50	100.00%														6.50	100.00%	
SD753	口残値					0.33	73.33%				0.12	26.67%															0.45	100.00%
	口縁数(点)					4	66.67%				2	33.33%															6	100.00%
	底残値					0.42	100.00%																				0.42	100.00%
	底部数(点)					1	100.00%																				1	100.00%
	体部数(点)					1	3.33%				29	96.67%															30	100.00%
	総点数(点)					6	16.22%				31	83.78%															37	100.00%
総重量(g)					65.00	18.31%				290.00	81.69%															355.00	100.00%	
SD754	口残値	0.33	47.14%			0.28	40.00%				0.03	4.29%	0.06	8.57%													0.70	100.00%
	口縁数(点)	6	54.55%			3	27.27%				1	9.09%	1	9.09%													11	100.00%
	底残値	0.77	55.80%			0.61	44.20%																				1.38	100.00%
	底部数(点)	3	75.00%			1	25.00%																				4	100.00%
	体部数(点)	18	72.00%								7	28.00%															25	100.00%
	総点数(点)	27	67.50%			4	10.00%				8	20.00%	1	2.50%													40	100.00%
総重量(g)	71.60	35.66%			44.90	22.36%				80.80	40.24%	3.50	1.74%													200.80	100.00%	
SD871	口残値										0.67	85.90%	0.11	14.10%													0.78	100.00%
	口縁数(点)										7	77.78%	2	22.22%													9	100.00%
	底残値	0.64	100.00%																								0.64	100.00%
	底部数(点)	1	100.00%																								1	100.00%
	体部数(点)										19	90.48%	2	9.52%													21	100.00%
	総点数(点)	1	3.23%								26	83.87%	4	12.90%													31	100.00%
総重量(g)	73.80	8.89%								725.00	87.32%	31.50	3.79%													830.30	100.00%	
SD938	口残値					0.03	4.48%	0.19	28.36%	0.08	11.94%	0.12	17.91%				0.06	8.96%			0.19	28.36%				0.67	100.00%	
	口縁数(点)					1.00	12.50%	1	12.50%	1	12.50%	2	25.00%				2	25.00%			1	12.50%				8	100.00%	
	底残値	0.94	84.68%																								1.11	100.00%
	底部数(点)	3	75.00%										1	25.00%													4	100.00%
	体部数(点)	6	15.38%			1.00	2.56%					13	33.33%	2	5.13%	6	15.38%	11	28.21%							39	100.00%	
	総点数(点)	9	17.65%			2.00	3.92%	1	1.96%	1	1.96%	15	29.41%	3	5.88%	6	11.76%	13	25.49%			1	1.96%			51	100.00%	
総重量(g)	72.20	11.15%			5.80	0.90%	21.00	3.24%	4.40	0.68%	125.00	19.31%	14.00	2.16%	70.30	10.86%	234.70	36.25%			100.00	15.45%			647.40	100.00%		
SD939	口残値	0.08	25.81%			0.06	19.35%					0.17	54.84%														0.31	100.00%
	口縁数(点)	1	33.33%			1	33.33%					1	33.33%														3	100.00%
	底残値			0.56	41.79%			0.56	41.79%					0.22	16.42%												1.34	100.00%
	底部数(点)			2	40.00%			2	40.00%					1	20.00%												5	100.00%
	体部数(点)	3	37.50%									2	25.00%				2	25.00%				1	12.50%				8	100.00%
	総点数(点)	4	25.00%			2	12.50%	1	6.25%	2	12.50%	3	18.75%	1	6.25%		2	12.50%				1	6.25%				16	100.00%
総重量(g)	18.00	8.22%			40.50	18.49%	0.50	0.23%	65.00	29.68%							9.50	4.34%			2.50	1.14%				219.00	100.00%	

遺構名	種別	食器具										煮炊具							貯蔵具						合計								
		土師器		黒色土器		須恵器		杯蓋		土師器			非ロクロケズリ器				須恵器		横瓶		その他												
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯		長巻	小巻	佐渡型巻	鍋		巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他																
SD940	口残値											0.08	72.73%																			0.11	100.00%
	口縁数(点)											1	50.00%																			2	100.00%
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)												4	36.36%	4	36.36%																11	100.00%
	総点数(点)												5	38.46%	4	30.77%																13	100.00%
総重量(g)												61.50	40.20%	15.00	9.80%																153.00	100.00%	
SD969	口残値																																
	口縁数(点)																																
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)																																
	総点数(点)																																
SD970	口残値																																
	口縁数(点)																																
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)																																
	総点数(点)																																
SD977	口残値																																
	口縁数(点)																																
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)																																
	総点数(点)																																
SD978	口残値																																
	口縁数(点)																																
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)																																
	総点数(点)																																
SD1043	口残値																																
	口縁数(点)																																
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)																																
	総点数(点)																																
SD1060	口残値	0.06	2.73%																														
	口縁数(点)	1	5.26%																														
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)	12	14.81%																														
	総点数(点)	13	12.26%																														
SD1081	口残値																																
	口縁数(点)																																
	底残値																																
	底部数(点)																																
	体部数(点)	1	100.00%																														
	総点数(点)	1	100.00%																														

遺構名	種別	食器具										煮炊具					貯蔵具					合計	
		土師器		黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻		小費		土師器			須恵器		その他				
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯							佐渡型費	鍋	非ロックケズリ費	襖	長頸壺	短頸壺	横瓶				
SD1082	口残値																					0.02	100.00%
	口縁数(点)											1	100.00%									1	100.00%
	底残値					0.36	100.00%															0.36	100.00%
	底部数(点)					2	100.00%															2	100.00%
	体部数(点)	1	6.25%			2	12.50%				4	25.00%	9	56.25%								16	100.00%
	総点数(点)	1	5.26%			4	21.05%				4	21.05%	10	52.63%								19	100.00%
総重量(g)	0.50	0.74%			11.20	16.47%				38.10	56.03%	18.20	26.76%								68.00	100.00%	
SD1083	口残値																						
	口縁数(点)																						
	底残値																						
	底部数(点)																						
	体部数(点)												5	100.00%								5	100.00%
	総点数(点)												5	100.00%								5	100.00%
総重量(g)												10.40	100.00%								10.40	100.00%	
SD1084	口残値					0.12	66.67%			0.06	33.33%											0.18	100.00%
	口縁数(点)					2	66.67%			1	33.33%											3	100.00%
	底残値									0.31	100.00%											0.31	100.00%
	底部数(点)									1	100.00%											1	100.00%
	体部数(点)	4	33.33%			1	8.33%					2	16.67%	1	8.33%			4	33.33%			12	100.00%
	総点数(点)	4	25.00%			3	18.75%	1	6.25%	1	6.25%	2	12.50%	1	6.25%			4	25.00%			16	100.00%
総重量(g)	8.00	8.49%			10.10	10.72%	25.70	27.28%	5.00	5.31%	6.10	6.48%	4.40	4.67%			34.90	37.05%			94.20	100.00%	
SD1085	口残値												0.03	100.00%								0.03	100.00%
	口縁数(点)												1	100.00%								1	100.00%
	底残値																						
	底部数(点)																						
	体部数(点)	3	15.79%			7						4	21.05%	5	6.99%							19	43.83%
	総点数(点)	3	15.00%			7						4	20.00%	6	11.11%							20	46.11%
総重量(g)	8.50	14.91%			13.10	4.63%					27.50	48.25%	7.90	2.78%							57.00	70.57%	
SD1086	口残値					0.06	50.00%				0.06	50.00%										0.12	100.00%
	口縁数(点)					1	50.00%				1	50.00%										2	100.00%
	底残値	0.33	63.46%			0.19	36.54%															0.52	100.00%
	底部数(点)	1	50.00%			1	50.00%															2	100.00%
	体部数(点)	3	27.27%			3	27.27%					2	18.18%	3	27.27%							11	100.00%
	総点数(点)	4	26.67%			5	33.33%					3	20.00%	3	20.00%							15	100.00%
総重量(g)	11.00	20.00%			12.50	22.73%					19.50	35.45%	12.00	21.82%							55.00	100.00%	
SD1087	口残値																					0.03	100.00%
	口縁数(点)																					1	100.00%
	底残値																						
	底部数(点)																						
	体部数(点)	2	66.67%											1	33.33%							3	100.00%
	総点数(点)	2	50.00%											1	25.00%							4	100.00%
総重量(g)	11.50	60.53%											3.50	18.42%							19.00	100.00%	
SD1090	口残値					0.03	50.00%						0.03	50.00%								0.06	100.00%
	口縁数(点)					1	50.00%						1	50.00%								2	100.00%
	底残値					0.17	100.00%															0.17	100.00%
	底部数(点)					1	100.00%															1	100.00%
	体部数(点)					1	20.00%					3	60.00%									5	100.00%
	総点数(点)					3	37.50%	1	12.50%			3	37.50%	1	12.50%							8	100.00%
総重量(g)					15.00	25.64%	6.00	10.26%			35.00	59.83%	2.50	4.27%							58.50	100.00%	
SD1091	口残値					0.03	100.00%															0.03	100.00%
	口縁数(点)					1	100.00%															1	100.00%
	底残値					0.42	65.63%			0.22	34.38%											0.64	100.00%
	底部数(点)					2	66.67%			1	33.33%											3	100.00%
	体部数(点)	1	20.00%			3	60.00%					1	20.00%									5	100.00%
	総点数(点)	1	11.11%			6	66.67%			1	11.11%	1	11.11%									9	100.00%
総重量(g)	2.00	4.26%			29.90	63.75%			13.50	28.78%	1.50	3.20%									46.90	100.00%	
SD1092	口残値																						
	口縁数(点)																						
	底残値																						
	体部数(点)																		1	100.00%		1	100.00%
	総点数(点)																		1	100.00%		1	100.00%
総重量(g)																		16.50	100.00%		16.50	100.00%	







遺構名	種別	食器具											煮炊具						貯蔵具						合計	
		土師器			黒色土器		須恵器		須恵器		土師器		銅		非ロクロケズリ		須恵器		横瓶		その他					
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長巻	小巻	佐渡型巻	鍋		巻		長頸壺	短頸壺	横瓶								
SD1344	口残値					1.17	84.17%						0.22	15.83%										1.39	100.00%	
	口縁数(点)					15	93.75%						1	6.25%										16	100.00%	
	底残値					1.25	100.00%																	1.25	100.00%	
	底部数(点)					5	100.00%																	5	100.00%	
	体部数(点)	10	37.04%			2	7.41%						10	37.04%	5	18.52%								27	100.00%	
	総点数(点)	10	20.83%			22	45.83%						10	20.83%	6	12.50%								48	100.00%	
	総重量(g)	9.00	3.41%			134.10	50.85%						99.00	37.54%	21.60	8.19%								263.70	100.00%	
SD1345	口残値																							0	100.00%	
	口縁数(点)																							1	100.00%	
	底残値					0.11	100.00%																	0.11	100.00%	
	底部数(点)					1	100.00%																	1	100.00%	
	体部数(点)																								1	100.00%
	総点数(点)					1	100.00%																	1	100.00%	
	総重量(g)					6.20	100.00%																	6.20	100.00%	
SD1347	口残値									0.56	100.00%													0.56	100.00%	
	口縁数(点)									4	100.00%													4	100.00%	
	底残値	0.17	100.00%																					0.17	100.00%	
	底部数(点)	1	100.00%																					1	100.00%	
	体部数(点)											3	60.00%	2	40.00%									5	100.00%	
	総点数(点)	1	10.00%								4	40.00%	3	30.00%	2	20.00%								10	100.00%	
	総重量(g)	16.30	13.00%								100.00	79.74%	6.00	4.78%	3.10	2.47%								125.40	100.00%	
SD1349	口残値	0.14	43.75%			0.09	28.13%					0.03	9.38%	0.06	18.75%								0.32	100.00%		
	口縁数(点)	2	33.33%			2	33.33%					1	16.67%	1	16.67%								6	100.00%		
	底残値					0.36	100.00%																0.36	100.00%		
	底部数(点)					2	100.00%																2	100.00%		
	体部数(点)	4	12.50%			3	9.38%					7	21.88%	7	21.88%	3	9.38%	8	25.00%					32	100.00%	
	総点数(点)	6	15.00%			7	17.50%					7	17.50%	8	20.00%	4	10.00%	8	20.00%					40	100.00%	
	総重量(g)	22.90	7.98%			25.70	8.96%					29.10	10.14%	52.10	18.16%	55.20	19.24%	101.90	35.52%					286.90	100.00%	
SD1350	口残値					0.83	83.84%					0.08	8.08%			0.08	8.08%						0.99	100.00%		
	口縁数(点)					9	81.82%					1	9.09%			1	9.09%						11	100.00%		
	底残値					1.11	93.28%					0.08	6.72%										1.19	100.00%		
	底部数(点)					3	75.00%					1	25.00%										4	100.00%		
	体部数(点)					10	15.15%					43	65.15%	13	19.70%									66	100.00%	
	総点数(点)					22	27.16%					43	53.09%	15	18.52%			1	1.23%					81	100.00%	
	総重量(g)					124.50	20.50%					260.90	42.97%	95.80	15.78%			126.00	20.75%					607.20	100.00%	
SD1411	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)					2	28.57%					4	57.14%			1	14.29%							7	100.00%	
	総点数(点)					2	28.57%					4	57.14%			1	14.29%							7	100.00%	
	総重量(g)					5.40	6.57%					36.40	44.28%			40.40	49.15%							82.20	100.00%	
SD1501	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)												1	100.00%										1	100.00%	
	総点数(点)												1	100.00%										1	100.00%	
	総重量(g)												51.00	100.00%										51.00	100.00%	
SD1502	口残値					0.03	100.00%																	0.03	100.00%	
	口縁数(点)					1	100.00%																	1	100.00%	
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)												3	100.00%										3	100.00%	
	総点数(点)												3	75.00%										4	100.00%	
	総重量(g)					4.00	16.33%						20.50	83.67%										24.50	100.00%	
SD1503	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)												1	100.00%										1	100.00%	
	総点数(点)												1	100.00%										1	100.00%	
	総重量(g)												23.00	100.00%										23.00	100.00%	

遺構名	種別	食器具										煮炊具					貯蔵具						合計	
		土師器			黒色土器		須恵器			長巻		小巻		土師器	銅	非ロクロケズリ巻	巻	長頸壺		短頸壺	横瓶			その他
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋																
SD1505	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)																							
	総点数(点)																							
総重量(g)																								
SD1517	口残値					1.28	86.49%	0.08	5.41%	0.06	4.05%						0.06	4.05%						
	口縁数(点)					9	75.00%	1	8.33%	1	8.33%						1	8.33%						
	底残値					1.69	100.00%																	
	底部数(点)					4	100.00%																	
	体部数(点)					2	28.57%										1	14.29%						
	総点数(点)					15	65.22%			1	4.35%	1	4.35%	1	4.35%	3	13.04%			2	8.70%			
総重量(g)					205.50	71.85%			7.50	2.62%	4.50	1.57%	9.00	3.15%	8.50	2.97%			51.00	17.83%				
SD1519	口残値	0.17	27.87%			0.11	18.03%																	
	口縁数(点)	4	40.00%			2	20.00%																	
	底残値	0.19	52.78%			0.17	47.22%																	
	底部数(点)	1	50.00%			1	50.00%																	
	体部数(点)	3	8.33%			1	2.78%																	
	総点数(点)	8	16.67%			4	8.33%																	
総重量(g)	36.50	5.56%			12.50	1.90%																		
SD1700	口残値	0.42	7.41%			3.25	57.32%	0.42	7.41%	0.66	11.64%	0.47	8.29%	0.11	1.94%									
	口縁数(点)	7	12.07%			27	46.55%	6	10.34%	6	10.34%	5	8.62%	2	3.45%									
	底残値	1.28	20.45%			3.98	63.58%	1.00	15.97%															
	底部数(点)	5	23.81%			15	71.43%	1	4.76%															
	体部数(点)	12	6.94%			18	10.40%	6	3.47%	6	3.47%	87	50.29%	25	14.45%	1	0.58%	4	2.31%			3	1.73%	
	総点数(点)	24	9.52%			60	23.81%	13	5.16%	12	4.76%	92	36.51%	27	10.71%	1	0.40%	9	3.57%			3	1.19%	
総重量(g)	137.50	3.77%			412.20	11.30%	275.00	7.54%	274.00	7.51%	1481.00	40.61%	91.00	2.50%	1.00	0.03%	646.50	17.73%			194.00	5.32%		
SD1752	口残値	0.06	66.67%			0.03	33.33%																	
	口縁数(点)	1	50.00%			1	50.00%																	
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)					4	100.00%																	
	総点数(点)	1	16.67%			4	66.67%	1	16.67%															
総重量(g)	9.90	31.23%			20.10	63.41%	1.70	5.36%																
SD1764	口残値	0.06	7.32%			0.70	85.37%	0.06	7.32%															
	口縁数(点)	1	10.00%			7	70.00%	2	20.00%															
	底残値					1.27	71.75%	0.50	28.25%															
	底部数(点)					6	66.67%	3	33.33%															
	体部数(点)	2	16.67%			1	8.33%	1	8.33%	1	8.33%			4	33.33%	3	25.00%							
	総点数(点)	3	9.68%			1	3.23%	14	45.16%	6	19.35%			4	12.90%	3	9.68%							
総重量(g)	4.60	2.08%			1.50	0.68%	110.20	49.89%	71.80	32.50%			29.20	13.22%	3.60	1.63%								
SD1766	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)	2	40.00%											1	20.00%	2	40.00%							
	総点数(点)	2	40.00%											1	20.00%	2	40.00%							
総重量(g)	2.20	10.63%											15.00	72.46%	3.50	16.91%								
SD1778	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)	2	66.67%											1	33.33%									
	総点数(点)	2	66.67%											1	33.33%									
総重量(g)	2.70	72.97%											1.00	27.03%										
SD1803	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)					1	33.33%							1	33.33%									
	総点数(点)					1	33.33%							1	33.33%									
総重量(g)					0.50	1.47%							19.70	57.94%										

遺構名	種別	食器具										煮炊具							貯蔵具						合計			
		土師器			黒色土器		須恵器			土師器							須恵器											
		無台輪		皿	無台輪・有台皿		無台杯		有台杯	杯蓋	長巻	小巻	佐渡型巻	鍋	非ロックケズリ巻	巻	長頸巻		短頸巻	横瓶	その他							
SD1901	口残値	0.03	7.89%			0.27	71.05%																	0.38	100.00%			
	口縁数(点)	1	14.29%			5	71.43%																	7	100.00%			
	底残値					0.19	36.54%		0.33	63.46%														0.52	100.00%			
	底部数(点)					1	50.00%		1	50.00%														2	100.00%			
	体部数(点)	2	12.50%			6	37.50%				7	43.75%			1	6.25%								16	100.00%			
	総点数(点)	3	12.00%			12	48.00%		1	4.00%	7	28.00%			1	4.00%		1	4.00%					25	100.00%			
	総重量(g)	14.30	10.27%			35.00	25.13%		45.20	32.45%	33.00	23.69%			9.00	6.46%		2.80	2.01%					139.30	100.00%			
SD1902	口残値			0.03	15.00%	0.14	70.00%									0.03	15.00%							0.20	100.00%			
	口縁数(点)			1	25.00%	2	50.00%								1	25.00%								4	100.00%			
	底残値	0.50	60.24%			0.19	22.89%		0.14	16.87%														0.83	100.00%			
	底部数(点)	1	33.33%			1	33.33%		1	33.33%														3	100.00%			
	体部数(点)	1	4.17%			3	12.50%				11	45.83%	1	4.17%	4	16.67%	3	12.50%						24	100.00%			
	総点数(点)	2	6.45%			6	19.35%		1	3.23%	11	35.48%	1	3.23%	4	12.90%	4	12.90%						31	100.00%			
	総重量(g)	31.70	13.85%		2.40	1.05%	29.50	12.89%		8.00	3.50%	103.90	45.41%	4.00	1.75%	10.30	4.50%	38.00	16.61%					228.80	100.00%			
SD1903	口残値					0.26	54.17%			0.22	45.83%													0.48	100.00%			
	口縁数(点)					5	83.33%			1	16.67%													6	100.00%			
	底残値	0.11	100.00%																					0.11	100.00%			
	底部数(点)	1	100.00%																					1	100.00%			
	体部数(点)	4	10.26%			6	15.38%		1	2.56%														39	100.00%			
	総点数(点)	5	10.87%			11	23.91%		1	2.17%	1	2.17%	13	28.26%	8	17.39%	6	13.04%	1	2.17%				46	100.00%			
	総重量(g)	12.50	5.03%			23.10	9.30%		10.10	4.07%	39.70	15.98%	103.40	41.63%	13.30	5.35%	35.30	14.21%	11.00	4.43%				248.40	100.00%			
SD1904	口残値	0.03	5.17%			0.43	74.14%		0.06	10.34%														0.58	100.00%			
	口縁数(点)	1	7.69%			9	69.23%		1	7.69%					2	15.38%								13	100.00%			
	底残値	0.36	25.00%			1.08	75.00%																	1.44	100.00%			
	底部数(点)	2	25.00%			6	75.00%																	8	100.00%			
	体部数(点)	5	8.77%			1	1.75%	8	14.04%			24	42.11%	10	17.54%	2	3.51%	5	8.77%					57	100.00%			
	総点数(点)	8	10.26%			1	1.28%	23	29.49%		1	1.28%	24	30.77%	12	15.38%	2	2.56%	5	6.41%					78	100.00%		
	総重量(g)	31.60	8.16%		2.60	0.67%	90.60	23.40%		5.90	1.52%	163.10	42.13%	24.00	6.20%	3.70	0.96%	57.90	14.96%					5.30	1.37%	2.40	0.62%	387.10
SD1905	口残値	0.03	6.52%			0.12	26.09%			0.11	23.91%	0.17	36.96%			0.03	6.52%							0.46	100.00%			
	口縁数(点)	1	12.50%			2	25.00%			2	25.00%	2	25.00%			1	12.50%							8	100.00%			
	底残値	0.30	57.69%			0.22	42.31%																	0.52	100.00%			
	底部数(点)	2	50.00%			2	50.00%																	4	100.00%			
	体部数(点)	3	8.11%			1	2.70%	6	16.22%		1	2.70%	16	43.24%	6	16.22%			3	8.11%				37	100.00%			
	総点数(点)	6	12.24%			1	2.04%	10	20.41%		1	2.04%	3	6.12%	18	36.73%	6	12.24%						49	100.00%			
	総重量(g)	20.10	5.09%			1.90	0.48%	28.10	7.12%		6.00	1.52%	35.40	8.97%	204.60	51.82%	17.20	4.36%						81.50	20.64%	394.80	100.00%	
SD1907	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)													1	100.00%										1	100.00%		
	総点数(点)													1	100.00%										1	100.00%		
	総重量(g)													10.40	100.00%										10.40	100.00%		
SD1908	口残値																											
	口縁数(点)																											
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)													1	100.00%										1	100.00%		
	総点数(点)													1	100.00%										1	100.00%		
	総重量(g)													3.00	100.00%										3.00	100.00%		
SD1909	口残値					0.29	50.00%					0.06	10.34%	0.17	29.31%			0.06	10.34%						0.58	100.00%		
	口縁数(点)					7	58.33%					1	8.33%	3	25.00%			1	8.33%						12	100.00%		
	底残値					0.64	100.00%																		0.64	100.00%		
	底部数(点)					3	100.00%																		3	100.00%		
	体部数(点)	1	2.56%			6	15.38%					16	41.03%	14	35.90%			2	5.13%						39	100.00%		
	総点数(点)	1	1.85%			16	29.63%					17	31.48%	17	31.48%			3	5.56%						54	100.00%		
	総重量(g)	0.60	0.21%			52.90	18.46%					94.90	33.12%	53.40	18.64%			84.70	29.56%						286.50	100.00%		
SD1910	口残値					0.06	100.00%																	0.06	100.00%			
	口縁数(点)					1	100.00%																	1	100.00%			
	底残値																											
	底部数(点)																											
	体部数(点)																											
	総点数(点)																								1	100.00%		
	総重量(g)																								2.70	100.00%		



遺構名	種別	食器具												煮炊具						貯蔵具						合計	
		土師器			黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻		小巻		土師器		非ロクロケズリ巻	須恵器		横瓶		その他					
		無台椀	皿	無台杯	有台杯	有台杯	杯蓋	長巻	小巻	佐渡型巻	鍋	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他											
SD1911	口残値	0.12	14.12%			0.31	36.47%							0.11	12.94%								0.85	100.00%			
	口縁数(点)	3	27.27%			5	45.45%			1	9.09%				2	18.18%							11	100.00%			
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)	4	11.76%			5	14.71%		1	2.94%	13	38.24%	5	14.71%	3	8.82%	3	8.82%						34	100.00%		
	総点数(点)	7	15.56%			10	22.22%		2	4.44%	13	28.89%	5	11.11%	3	6.67%	5	11.11%						45	100.00%		
総重量(g)	20.00	3.07%			32.00	4.91%		87.50	13.43%	168.50	25.86%	29.50	4.53%	40.00	6.14%	274.00	42.06%						651.50	100.00%			
SD1912	口残値					0.08	57.14%									0.06	42.86%						0.14	100.00%			
	口縁数(点)					2	50.00%									2	50.00%						4	100.00%			
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)					1	16.67%					1	16.67%			4	66.67%							6	100.00%		
	総点数(点)					3	30.00%					1	10.00%			6	60.00%							10	100.00%		
総重量(g)					7.40	11.47%					2.60	4.03%			54.50	84.50%							64.50	100.00%			
SD1913	口残値					0.92	93.88%		0.06	6.12%													0.98	100.00%			
	口縁数(点)					5.00	83.33%		1	16.67%													6	100.00%			
	底残値					1.31	100.00%																1.31	100.00%			
	底部数(点)					2.00	100.00%																2	100.00%			
	体部数(点)					4.00	21.05%				5	26.32%	8	42.11%	2	10.53%								19	100.00%		
	総点数(点)					11.00	40.74%		1	3.70%	5	18.52%	8	29.63%	2	7.41%								27	100.00%		
総重量(g)					138.80	53.82%		2.50	0.97%	61.00	23.65%	32.60	12.64%	23.00	8.92%								257.90	100.00%			
SD1914	口残値					0.06	100.00%																0.06	100.00%			
	口縁数(点)					1	100.00%																1	100.00%			
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)					5	45.45%				2	18.18%	4	36.36%										11	100.00%		
	総点数(点)					6	50.00%				2	16.67%	4	33.33%										12	100.00%		
総重量(g)					12.50	34.72%				7.50	20.83%	16.00	44.44%										36.00	100.00%			
SD1915-2	口残値					0.08	100.00%																0.08	100.00%			
	口縁数(点)					1	100.00%																1	100.00%			
	底残値					0.25	100.00%																0.25	100.00%			
	底部数(点)					2	100.00%																2	100.00%			
	体部数(点)					2	40.00%				2	40.00%	1	20.00%										5	100.00%		
	総点数(点)					5	62.50%				2	25.00%	1	12.50%										8	100.00%		
総重量(g)					14.50	32.95%				26.00	59.09%	3.50	7.95%										44.00	100.00%			
SD1916	口残値																										
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)																										
	総点数(点)																										
総重量(g)																											
SD1917	口残値																										
	口縁数(点)																										
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)										1	100.00%												1	100.00%		
	総点数(点)										1	100.00%												1	100.00%		
総重量(g)										30.00	100.00%												30.00	100.00%			
SD1918	口残値	0.17	36.96%			0.12	26.09%																0.46	100.00%			
	口縁数(点)	2	33.33%			3	50.00%																6	100.00%			
	底残値					0.41	100.00%																0.41	100.00%			
	底部数(点)					3	100.00%																3	100.00%			
	体部数(点)	2	14.29%			1	7.14%				9	64.29%	2	14.29%										14	100.00%		
	総点数(点)	4	17.39%			7	30.43%				10	43.48%	2	8.70%										23	100.00%		
総重量(g)	14.10	7.49%			22.10	11.74%				149.70	79.54%	2.30	1.22%										188.20	100.00%			
SD1919	口残値					0.06	100.00%																0.06	100.00%			
	口縁数(点)					1	100.00%																1	100.00%			
	底残値																										
	底部数(点)																										
	体部数(点)																										
	総点数(点)					1	100.00%																	1	100.00%		
総重量(g)					2.80	100.00%																	2.80	100.00%			

遺構名	種別	食器具										煮炊具					貯蔵具					合計	
		土師器		黒色土器		須恵器		長巻	小巻	土師器		鍋	非ロクロケズリ巻	裏	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他					
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋			佐渡型巻													
SD1920	口残値				0.25	30.86%				0.56	69.14%									0.81	100.00%		
	口縁数(点)				2	40.00%				3	60.00%									5	100.00%		
	底残値									0.33	100.00%									0.33	100.00%		
	底縁数(点)									1	100.00%									1	100.00%		
	体部数(点)									17	100.00%									17	100.00%		
	総点数(点)				2	8.70%				21	91.30%									23	100.00%		
総重量(g)				16.60	6.89%				224.20	93.11%									240.80	100.00%			
SD1927	口残値	0.03	27.27%		0.08	72.73%														0.11	100.00%		
	口縁数(点)	1	50.00%		1	50.00%														2	100.00%		
	底残値				0.06	100.00%														0.06	100.00%		
	底縁数(点)				1	100.00%														1	100.00%		
	体部数(点)				2	25.00%			3	37.50%	3	37.50%								8	100.00%		
	総点数(点)	1	9.09%		4	36.36%			3	27.27%	3	27.27%								11	100.00%		
総重量(g)	0.80	1.16%		13.50	19.59%			41.30	59.94%	13.30	19.30%								68.90	100.00%			
SD1928	口残値	0.03	50.00%									0.03	50.00%							0.06	100.00%		
	口縁数(点)	1	50.00%									1	50.00%							2	100.00%		
	底残値	0.08	36.36%							0.14	63.64%									0.22	100.00%		
	底縁数(点)	1	50.00%							1	50.00%									2	100.00%		
	体部数(点)	2	13.33%		2	13.33%			9	60.00%	1	6.67%				1	6.67%			15	100.00%		
	総点数(点)	4	21.05%		2	10.53%			9	47.37%	2	10.53%			1	5.26%			1	5.26%	19	100.00%	
総重量(g)	19.90	22.14%		9.10	10.12%			30.00	33.37%	12.00	13.35%			5.30	5.90%			13.60	15.13%	89.90	100.00%		
SD1929	口残値				0.06	50.00%		0.06	50.00%											0.12	100.00%		
	口縁数(点)				1	50.00%		1	50.00%											2	100.00%		
	底残値																						
	底縁数(点)																						
	体部数(点)									1	16.67%	5	83.33%							6	100.00%		
	総点数(点)				1	12.50%		1	12.50%	1	12.50%	5	62.50%							8	100.00%		
総重量(g)				0.80	2.72%		1.70	5.78%	7.40	25.17%	19.50	66.33%							29.40	100.00%			
SD1941	口残値				0.17	100.00%														0.17	100.00%		
	口縁数(点)				6	100.00%														6	100.00%		
	底残値																						
	底縁数(点)																						
	体部数(点)				2	66.67%											1	33.33%			3	100.00%	
	総点数(点)				8	88.89%											1	11.11%			9	100.00%	
総重量(g)				12.20	45.69%											14.50	54.31%			26.70	100.00%		
SD1944	口残値				0.50	100.00%														0.50	100.00%		
	口縁数(点)				8.00	100.00%														8	100.00%		
	底残値				0.34	100.00%														0.34	100.00%		
	底縁数(点)				1	100.00%														1	100.00%		
	体部数(点)				1	25.00%			1	25.00%	2	50.00%								4	100.00%		
	総点数(点)				10	76.92%			1	7.69%	2	15.38%								13	100.00%		
総重量(g)				37.50	71.43%			10.50	20.00%	4.50	8.57%								52.50	100.00%			
SD1985	口残値				0.17	100.00%														0.17	100.00%		
	口縁数(点)				3	100.00%														3	100.00%		
	底残値																						
	底縁数(点)																						
	体部数(点)	1	6.25%		1	6.25%			2	12.50%	5	31.25%	7	43.75%						16	100.00%		
	総点数(点)	1	5.26%		4	21.05%			2	10.53%	5	26.32%	7	36.84%						19	100.00%		
総重量(g)	1.50	0.85%		19.50	11.08%			14.50	8.24%	8.50	4.83%	132.00	75.00%						176.00	100.00%			
SD1996	口残値				0.06	26.09%							0.17	73.91%						0.23	100.00%		
	口縁数(点)				1.00	16.67%							5	83.33%						6	100.00%		
	底残値																						
	底縁数(点)																						
	体部数(点)				2	22.22%							7	77.78%						9	100.00%		
	総点数(点)				3	20.00%							12	80.00%						15	100.00%		
総重量(g)				6.00	1.73%							340.00	98.27%						346.00	100.00%			
SD2054	口残値				0.14	100.00%														0.14	100.00%		
	口縁数(点)				2	100.00%														2	100.00%		
	底残値																						
	底縁数(点)																						
	体部数(点)										1	100.00%								1	100.00%		
	総点数(点)				2	66.67%					1	33.33%								3	100.00%		
総重量(g)				5.00	47.62%					5.50	52.38%								10.50	100.00%			

遺構名	種別	食器														煮炊具									貯蔵具						合計	
		土師器				黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻			小巻		土師器		鍔		非ロクロケズリ巻		長頸壺		短頸壺		横瓶		その他			
		無台椀	皿	無台椀・有台皿	無台杯	有台杯	須恵器	杯蓋	長巻	小巻	佐渡型巻	鍔	非ロクロケズリ巻	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他														
SD2056	口残値					1.48	67.58%					0.23	10.50%	0.48	21.92%														2.19	100.00%		
	口縁数(点)					15	57.69%					5	19.23%	6	23.08%														26	100.00%		
	底残値					0.95	31.05%							1.55	50.65%														3.06	100.00%		
	底部数(点)					4	36.36%							6	54.55%														11	100.00%		
	体部数(点)	4	6.15%					1	1.54%				25	38.46%	32	49.23%					2	3.08%	1	1.54%					65	100.00%		
	総点数(点)	4	3.92%					20	19.61%				30	29.41%	44	43.14%					2	1.96%	2	1.96%					102	100.00%		
総重量(g)	8.00	0.69%					137.00	11.76%				412.50	35.41%	414.50	35.58%					68.50	5.88%	124.50	10.69%					1165.00	100.00%			
SD2061	口残値	1.39	54.72%			0.14	5.51%	0.17	6.69%										0.20	7.87%				0.22	8.66%				2.54	100.00%		
	口縁数(点)	16	59.26%			1	3.70%	2	7.41%										3	11.11%				1	3.70%				27	100.00%		
	底残値	2.75	66.75%			0.56	13.69%	0.50	12.14%																				4.12	100.00%		
	底部数(点)	7	58.33%			3	25.00%	1	8.33%																		1	8.33%	12	100.00%		
	体部数(点)	17	23.61%			1	1.39%	2	2.78%				27	37.50%	6	8.33%	5	6.94%	3	4.17%			11	15.28%					72	100.00%		
	総点数(点)	40	36.04%			5	4.50%	5	4.50%				28	25.23%	9	8.11%	5	4.50%	6	5.41%			12	10.81%			1	0.90%	111	100.00%		
総重量(g)	260.50	9.94%			51.00	1.95%	41.50	1.58%				398.50	15.21%	55.00	2.10%	33.00	1.26%	461.00	17.60%			1169.00	44.63%			150.00	5.73%	2619.50	100.00%			
SD2064	口残値	0.11	64.71%					0.06	35.29%																				0.17	100.00%		
	口縁数(点)	1	50.00%					1	50.00%																				2	100.00%		
	底残値	0.36	62.07%					0.22	37.93%																				0.58	100.00%		
	底部数(点)	1	50.00%					1	50.00%																				2	100.00%		
	体部数(点)												1	100.00%															1	100.00%		
	総点数(点)	2	40.00%					2	40.00%				1	20.00%															5	100.00%		
総重量(g)	16.50	51.24%					10.50	32.61%				5.20	16.15%															32.20	100.00%			
SD2065	口残値	0.19	52.78%																										0.36	100.00%		
	口縁数(点)	3	75.00%																										4	100.00%		
	底残値	0.25	100.00%																										0.25	100.00%		
	底部数(点)	1	100.00%																										1	100.00%		
	体部数(点)					1	25.00%						2	50.00%					1	25.00%									4	100.00%		
	総点数(点)	4	44.44%			1	11.11%						2	22.22%					1	11.11%					1	11.11%			9	100.00%		
総重量(g)	38.70	41.70%			2.20	2.37%						9.70	10.45%					21.60	23.28%					20.60	22.20%			92.80	100.00%			
SD2066	口残値	0.06	100.00%																										0.06	100.00%		
	口縁数(点)	1	100.00%																										1	100.00%		
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)																															
	総点数(点)	1	100.00%																										1	100.00%		
総重量(g)	2.00	100.00%																										2.00	100.00%			
SD2089	口残値					0.03	100.00%																						0.03	100.00%		
	口縁数(点)					1	100.00%																						1	100.00%		
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)												1	33.33%	2	66.67%														3	100.00%	
	総点数(点)												1	25.00%	2	50.00%													4	100.00%		
総重量(g)					4.00	16.74%						11.60	48.54%	8.30	34.73%													23.90	100.00%			
SD2101	口残値	2.61	27.77%			0.28	2.98%	3.24	34.47%			1.48	15.74%	0.26	2.77%	0.75	7.98%			0.45	4.79%			0.14	1.49%			0.19	2.02%	9.40	100.00%	
	口縁数(点)	49	36.84%			4	3.01%	43	32.33%			11	8.27%	5	3.76%	11	8.27%			7	5.26%			2	1.50%			1	0.75%	133	100.00%	
	底残値	1.97	24.23%			0.44	5.41%	4.51	55.47%					0.10	1.23%	1.11	13.65%												8.13	100.00%		
	底部数(点)	6	16.22%			1	2.70%	24	64.86%					1	2.70%	5	13.51%												37	100.00%		
	体部数(点)	56	16.23%			9	2.61%	28	8.12%			1	0.29%	1	0.29%	120	34.78%	59	17.10%	24	6.96%	26	7.54%	18	5.22%	3	0.87%	345	100.00%			
	総点数(点)	111	21.55%			14	2.72%	95	18.45%	1	0.19%	12	2.33%	126	24.47%	75	14.56%	24	4.66%	33	6.41%			20	3.88%	3	0.58%	1	0.19%	515	100.00%	
総重量(g)	499.30	7.98%			167.70	2.68%	797.70	12.75%	9.80	0.16%	298.80	4.78%	948.60	15.16%	503.00	8.04%	85.90	1.37%	1833.30	29.31%			922.00	14.74%	177.20	2.83%	12.10	0.19%	6255.40	100.00%		
SD2102	口残値	0.06	100.00%																										0.06	100.00%		
	口縁数(点)	1	100.00%																										1	100.00%		
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)																															
	総点数(点)	1	100.00%																										1	100.00%		
総重量(g)	3.30	100.00%																										3.30	100.00%			
SD2103	口残値												0.03	13.64%										0.19	86.36%			0.22	100.00%			
	口縁数(点)												1	33.33%										2	66.67%			3	100.00%			
	底残値																															
	底部数(点)																															
	体部数(点)							1	100.00%																				1	100.00%		
	総点数(点)							1	25.00%					1	25.00%									2	50.00%			4	100.00%			
総重量(g)							4.80	3.11%					12.20	7.91%									137.20	88.98%			154.20	100.00%				

遺構名	種別	食器具											煮炊具					貯蔵具						合計	
		土師器			黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻		小巻		土師器			須恵器		横瓶		その他			
		無台碗		皿	無台杯		有台杯																		
		口残値			無台碗・有台皿										銅		非ロクロケズリ巻	巻		長頸壺	短頸壺				
SD2104	口残値	0.35	76.09%																				0.46	100.00%	
	口縁数(点)	8	80.00%			0.08	17.39%								0.03	6.52%							10	100.00%	
	底残値					0.17	100.00%								1	100.00%							0.17	100.00%	
	底部数(点)					1	100.00%																1	100.00%	
	体部数(点)	10	55.56%									8	44.44%										18	100.00%	
	総点数(点)	18	62.07%			2	6.90%					8	27.59%		1	3.45%							29	100.00%	
	総重量(g)	27.30	43.26%			14.50	22.98%					12.40	19.65%		8.90	14.10%							63.10	100.00%	
SD2105	口残値					0.31	68.89%	0.14	31.11%														0.45	100.00%	
	口縁数(点)					4	57.14%	3	42.86%														7	100.00%	
	底残値					0.14	100.00%																0.14	100.00%	
	底部数(点)					1	100.00%																1	100.00%	
	体部数(点)					2	22.22%							1	11.11%			1	11.11%				9	100.00%	
	総点数(点)					7	41.18%	3	17.65%			2	11.76%	3	33.33%			1	5.88%				17	100.00%	
	総重量(g)					22.50	16.07%	11.50	8.21%			9.50	6.79%	9.50	6.79%			19.50	13.93%				140.00	100.00%	
SD2106	口残値																								
	口縁数(点)																								
	底残値																								
	底部数(点)																						6	100.00%	
	体部数(点)	6	100.00%																					6	100.00%
	総点数(点)	6	100.00%																					6	100.00%
	総重量(g)	4.00	100.00%																					4.00	100.00%
SD2107	口残値					0.28	100.00%																0.28	100.00%	
	口縁数(点)					4	100.00%																4	100.00%	
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)					3	30.00%					4	40.00%	2	20.00%			1	10.00%					10	100.00%
	総点数(点)					7	50.00%					4	28.57%	2	14.29%			1	7.14%					14	100.00%
	総重量(g)					19.40	42.83%					20.50	45.25%	2.50	5.52%			2.90	6.40%					45.30	100.00%
SD2119	口残値																								
	口縁数(点)																								
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)	1	100.00%																					1	100.00%
	総点数(点)	1	100.00%																					1	100.00%
	総重量(g)	2.50	100.00%																					2.50	100.00%
SD2126	口残値					0.06	100.00%																0.06	100.00%	
	口縁数(点)					1	100.00%																1	100.00%	
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)											3	60.00%	1	20.00%			1	20.00%					5	100.00%
	総点数(点)					1	16.67%					3	50.00%	1	16.67%			1	16.67%					6	100.00%
	総重量(g)					2.00	2.23%					5.00	5.59%	2.50	2.79%			80.00	89.39%					89.50	100.00%
SD2128	口残値																								
	口縁数(点)																								
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)											3	100.00%											3	100.00%
	総点数(点)											3	100.00%											3	100.00%
	総重量(g)											3.00	100.00%											3.00	100.00%
SD2130	口残値	0.14	63.64%			0.08	36.36%																0.22	100.00%	
	口縁数(点)	1	33.33%			2	66.67%																	3	100.00%
	底残値	0.19	46.34%			0.22	53.66%																	0.41	100.00%
	底部数(点)	1	20.00%			4	80.00%																	5	100.00%
	体部数(点)	3	9.38%			3	9.38%					12	37.50%	7	21.88%			5	15.63%			2	6.25%	32	100.00%
	総点数(点)	5	12.50%			9	22.50%					12	30.00%	7	17.50%			5	12.50%			2	5.00%	40	100.00%
	総重量(g)	35.00	12.48%			13.50	4.81%					47.50	16.93%	29.50	10.52%			52.00	18.54%			103.00	36.72%	280.50	100.00%
SD2132	口残値					0.53	67.95%	0.19	24.36%	0.03	3.85%				0.03	3.85%							0.78	100.00%	
	口縁数(点)					7	63.64%	2	18.18%	1	9.09%				1	9.09%							11	100.00%	
	底残値					0.22	100.00%																0.22	100.00%	
	底部数(点)					1	100.00%																	1	100.00%
	体部数(点)					10	47.62%	2	9.52%	6	28.57%	2	9.52%							1	4.76%			21	100.00%
	総点数(点)					18	54.55%	4	12.12%	7	21.21%	2	6.06%			1	3.03%			1	3.03%			33	100.00%
	総重量(g)					55.00	27.17%			44.50	21.99%	63.50	31.37%	4.00	1.98%			32.50	16.06%			2.90	1.43%	202.40	100.00%





遺構名	種別	食器具										煮炊具						貯蔵具						合計		
		土師器		黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻		小巻		土師器		鍋		非ロクロケズリ巻		須恵器		横瓶			その他	
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯																				
SD2221	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)	1	33.33%									2	66.67%												3	100.00%
総点数(点)	1	33.33%									2	66.67%													3	100.00%
総重量(g)	0.30	2.65%									11.00	97.35%													11.30	100.00%
SD2240	口残値	0.06	9.38%																							
	口縁数(点)	1	11.11%																							
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)	3	10.00%									4	13.33%													
総点数(点)	4	9.76%									11	26.83%														
総重量(g)	15.00	3.83%									50.50	12.88%														
SD2241	口残値	0.42	32.06%																							
	口縁数(点)	7	35.00%																							
	底残値	0.44	46.81%																							
	底部数(点)	2	40.00%																							
	体部数(点)	27	26.73%									1	0.99%													
総点数(点)	36	28.57%									12	9.52%														
総重量(g)	117.50	15.26%									42.70	5.54%														
SD2242	口残値	0.18	28.13%																							
	口縁数(点)	5	41.67%																							
	底残値																									
	底部数(点)	1	50.00%																							
	体部数(点)	4	19.05%									2	9.52%													
総点数(点)	9	25.71%									7	20.00%														
総重量(g)	18.00	7.76%									22.00	9.48%														
SD2274	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)											3	100.00%													
総点数(点)											3	75.00%														
総重量(g)											15.50	51.67%														
SD2290	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)			2	18.18%							2	18.18%													
総点数(点)			2	15.38%							3	23.08%														
総重量(g)			5.00	3.14%							81.50	51.26%														
SD2322	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)											4	100.00%													
	体部数(点)											5	62.50%													
総点数(点)											44.50	71.20%														
総重量(g)											4.50	7.20%														
SD2324	口残値	0.03	21.43%																							
	口縁数(点)	1	33.33%																							
	底残値	0.52	55.32%																							
	底部数(点)	2	50.00%																							
	体部数(点)	1	8.33%									8	66.67%													
総点数(点)	3	15.79%									4	21.05%														
総重量(g)	24.50	19.84%									10.50	8.50%														
SD2325	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)											1	33.33%													
	体部数(点)											2	66.67%													
総点数(点)											1	33.33%														
総重量(g)											2.50	5.49%														

遺構名	種別	食器具												煮炊具					貯蔵具						合計	
		土師器		黒色土器		須恵器		杯蓋		長巻	小巻	土師器			非ロックケズリ巻	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他						
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	須恵器	杯蓋	佐渡型巻			鍋	須恵器													
SD2326	口残値					0.06	100.00%															0.06	100.00%			
	口縁数(点)					1	100.00%																1	100.00%		
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)					2	40.00%					2	40.00%		1	20.00%							5	100.00%		
	総点数(点)					3	50.00%					2	33.33%		1	16.67%							6	100.00%		
総重量(g)					6.00	13.64%					9.00	20.45%		29.00	65.91%							44.00	100.00%			
SD2331	口残値	0.06	11.11%			0.28	51.85%	0.03	5.56%	0.06	11.11%			0.08	14.81%			0.03	5.56%				0.54	100.00%		
	口縁数(点)	1	10.00%			5	50.00%	1	10.00%	1	10.00%			1	10.00%			1	10.00%				10	100.00%		
	底残値					0.19	57.58%							0.14	42.42%								0.33	100.00%		
	底部数(点)					2	66.67%							1	33.33%								3	100.00%		
	体部数(点)							1	4.17%									2	8.33%				24	100.00%		
	総点数(点)	1	2.70%			7	18.92%	2	5.41%	1	2.70%	20	83.33%	1	4.17%			3	8.11%				37	100.00%		
総重量(g)	2.70	0.56%			27.50	5.71%	6.00	1.25%	2.50	0.52%	286.20	59.41%	26.30	5.46%			130.50	27.09%				481.70	100.00%			
SD2332	口残値	0.06	100.00%																				0.06	100.00%		
	口縁数(点)	1	100.00%																				1	100.00%		
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)											2	100.00%										2	100.00%		
	総点数(点)	1	33.33%									2	66.67%										3	100.00%		
総重量(g)	1.20	6.00%									18.80	94.00%										20.00	100.00%			
SD2333	口残値	0.22	100.00%																				0.22	100.00%		
	口縁数(点)	2	100.00%																				2	100.00%		
	底残値							0.22	100.00%														0.22	100.00%		
	底部数(点)							1	100.00%														1	100.00%		
	体部数(点)													4	100.00%								4	100.00%		
	総点数(点)	2	28.57%					1	14.29%					4	57.14%								7	100.00%		
総重量(g)	13.20	31.65%					13.00	31.18%					15.50	37.17%								41.70	100.00%			
SD2344	口残値					0.06	100.00%																0.06	100.00%		
	口縁数(点)					1	100.00%																1	100.00%		
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)											3	75.00%	1	25.00%								4	100.00%		
	総点数(点)											3	60.00%	1	20.00%								5	100.00%		
総重量(g)					2.40	7.64%					25.60	81.53%	3.40	10.83%								31.40	100.00%			
SD2401	口残値	0.03	100.00%																				0.03	100.00%		
	口縁数(点)	1	100.00%																				1	100.00%		
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)	1	50.00%											1	50.00%								2	100.00%		
	総点数(点)	2	66.67%											1	33.33%								3	100.00%		
総重量(g)	3.90	73.58%											1.40	26.42%								5.30	100.00%			
SD2403	口残値																									
	口縁数(点)																									
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)											1	100.00%										1	100.00%		
	総点数(点)											1	100.00%										1	100.00%		
総重量(g)											7.30	100.00%										7.30	100.00%			
SD2404	口残値	0.08	100.00%																				0.08	100.00%		
	口縁数(点)	3	100.00%																				3	100.00%		
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)	4	50.00%								1	12.50%	3	37.50%									8	100.00%		
	総点数(点)	7	63.64%								1	9.09%	3	27.27%									11	100.00%		
総重量(g)	5.70	31.84%								4.10	22.91%	8.10	45.25%									17.90	100.00%			
SD2406	口残値	0.03	100.00%																				0.03	100.00%		
	口縁数(点)	1	100.00%																				1	100.00%		
	底残値																									
	底部数(点)																									
	体部数(点)	1	4.55%			1	4.55%				13	59.09%	3	13.64%	3	13.64%			1	4.55%			22	100.00%		
	総点数(点)	2	8.70%			1	4.35%				13	56.52%	3	13.04%	3	13.04%			1	4.35%			23	100.00%		
総重量(g)	3.70	1.97%			1.30	0.69%				110.60	58.83%	7.90	4.20%	19.20	10.21%			45.30	24.10%			188.00	100.00%			

遺構名	種別	食器											煮炊具						貯蔵具					合計	
		土師器			黒色土器		須恵器		須恵器		土師器		土師器		土師器		土師器		土師器		土師器				
		無台碗	皿		無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋			長巻	小巻	佐渡型巻	鍋	非ロックケズリ巻			長頸壺	短頸壺	横瓶	その他				
SD2407	口残値	1.11	88.10%			0.03	2.38%			0.06	4.76%											1.26	100.00%		
	口縁数(点)	22.00	84.62%			1.00	3.85%			2	7.69%											26	100.00%		
	底残値	1.44	85.21%			0.25	14.79%															1.69	100.00%		
	底部数(点)	6.00	85.71%			1.00	14.29%															7	100.00%		
	体部数(点)	17.00	29.31%			3.00	5.17%			1	1.72%	22	37.93%	15	25.86%								58	100.00%	
	総点数(点)	45.00	49.45%			5.00	5.49%			3	3.30%	22	24.18%	16	17.58%								91	100.00%	
	総重量(g)	196.70	21.98%			198.00	22.12%			1.50	0.17%	452.20	50.52%	46.70	5.22%								895.10	100.00%	
SD2408	口残値	0.03	16.67%		0.06	33.33%									0.03	16.67%						0.18	100.00%		
	口縁数(点)	1	25.00%		1	25.00%									1	25.00%						4	100.00%		
	底残値	1.00	75.19%			0.14	10.53%						0.19	14.29%								1.33	100.00%		
	底部数(点)	2	50.00%			1	25.00%						1	25.00%								4	100.00%		
	体部数(点)	7	19.44%			4	11.11%					7	19.44%	4	11.11%	12	33.33%					36	100.00%		
	総点数(点)	10	22.73%		1	2.27%	6	13.64%				7	15.91%	5	11.36%	12	27.27%	1	2.27%		2	4.55%	44	100.00%	
	総重量(g)	65.90	23.16%		9.20	3.23%	19.80	6.96%				64.70	22.74%	29.40	10.33%	31.80	11.88%	6.80	2.39%			56.90	20.00%	284.50	100.00%
SD2411	口残値					0.11	100.00%															0.11	100.00%		
	口縁数(点)					1	100.00%															1	100.00%		
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)											1	100.00%										1	100.00%	
	総点数(点)					1	50.00%					1	50.00%										2	100.00%	
	総重量(g)					8.50	22.49%					29.30	77.51%										37.80	100.00%	
SD2412	口残値	0.03	27.27%			0.08	72.73%															0.11	100.00%		
	口縁数(点)	1.00	50.00%			1	50.00%															2	100.00%		
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)																								
	総点数(点)	1.00	50.00%			1	50.00%																2	100.00%	
	総重量(g)	1.00	29.41%			2.40	70.59%																3.40	100.00%	
SD2413	口残値					0.06	100.00%															0.06	100.00%		
	口縁数(点)					1	100.00%															1	100.00%		
	底残値					0.08	100.00%															0.08	100.00%		
	底部数(点)					1	100.00%															1	100.00%		
	体部数(点)					1	12.50%					2	25.00%	1	12.50%						1	12.50%	8	100.00%	
	総点数(点)					3	30.00%					2	20.00%	1	10.00%						1	10.00%	10	100.00%	
	総重量(g)					15.90	21.23%					13.90	18.56%	5.40	7.21%	3.60	4.81%					36.10	48.20%	74.90	100.00%
SD2414	口残値																								
	口縁数(点)																								
	底残値					0.06	5.66%						1.00	94.34%								1.06	100.00%		
	底部数(点)					1	25.00%						3	75.00%									4	100.00%	
	体部数(点)										1	33.33%	2	66.67%									3	100.00%	
	総点数(点)					1	14.29%				1	14.29%	5	71.43%									7	100.00%	
	総重量(g)					3.10	2.79%					6.00	5.40%	102.00	91.81%								111.10	100.00%	
SD2415	口残値																								
	口縁数(点)																								
	底残値					0.17	100.00%															0.17	100.00%		
	底部数(点)					1	100.00%															1	100.00%		
	体部数(点)																								
	総点数(点)					1	100.00%																1	100.00%	
	総重量(g)					4.90	100.00%																4.90	100.00%	
SD2421	口残値																								
	口縁数(点)																								
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)	1	25.00%										2	50.00%	1	25.00%							4	100.00%	
	総点数(点)	1	25.00%										2	50.00%	1	25.00%							4	100.00%	
	総重量(g)	2.50	16.13%										3.00	19.35%	10.00	64.52%							15.50	100.00%	
SD2422	口残値					0.06	42.86%						0.08	57.14%								0.14	100.00%		
	口縁数(点)					1	50.00%						1	50.00%								2	100.00%		
	底残値	1.00	100.00%																			1.00	100.00%		
	底部数(点)	1	100.00%																			1	100.00%		
	体部数(点)	1	25.00%			1	25.00%					2	50.00%										4	100.00%	
	総点数(点)	2	28.57%			2	28.57%					2	28.57%	1	14.29%								7	100.00%	
	総重量(g)	55.00	67.90%			3.50	4.32%					17.50	21.60%	5.00	6.17%								81.00	100.00%	

遺構名	種別	食器										煮炊具					貯蔵具					合計			
		土師器			黒色土器		須恵器		長巻	小巻	佐渡型巻	鍋	非ロクロケズリ巻	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他							
		無台碗	皿		無台杯	有台皿	有台杯	杯蓋																	
SD2424	口残値					0.28	100.00%																	0.28	100.00%
	口縁数(点)					2	100.00%																	2	100.00%
	底残値					0.61	100.00%																	0.61	100.00%
	底部数(点)					3	100.00%																	3	100.00%
	体部数(点)					4	66.67%						1	16.67%	1	16.67%								6	100.00%
	総点数(点)					9	81.82%						1	9.09%	1	9.09%								11	100.00%
	総重量(g)					35.50	81.61%						5.50	12.64%	2.50	5.75%								43.50	100.00%
SD2426	口残値					0.69	89.61%																	0.77	100.00%
	口縁数(点)					5	83.33%					1	16.67%											6	100.00%
	底残値					1.94	100.00%																	1.94	100.00%
	底部数(点)					6	100.00%																	6	100.00%
	体部数(点)					2	40.00%						2	40.00%			1	20.00%						5	100.00%
	総点数(点)					13	76.47%						3	17.65%			1	5.88%						17	100.00%
	総重量(g)					134.80	68.67%						51.50	26.24%			10.00	5.09%						196.30	100.00%
SD2428	口残値																								
	口縁数(点)																								
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)													2	66.67%	1	33.33%							3	100.00%
	総点数(点)													2	66.67%	1	33.33%							3	100.00%
	総重量(g)													37.50	92.59%	3.00	7.41%							40.50	100.00%
SD2429	口残値					0.14	100.00%																	0.14	100.00%
	口縁数(点)					2	100.00%																	2	100.00%
	底残値																								
	底部数(点)																								
	体部数(点)					3	42.86%						3	42.86%	1	14.29%								7	100.00%
	総点数(点)					5	55.56%						3	33.33%	1	11.11%								9	100.00%
	総重量(g)					12.60	10.49%						103.00	85.76%	4.50	3.75%								120.10	100.00%
SD2461	口残値	0.22	78.57%																					0.28	100.00%
	口縁数(点)	3	75.00%																					4	100.00%
	底残値																							0.36	100.00%
	底部数(点)								0.36	100.00%														1	100.00%
	体部数(点)	1	12.50%			1	12.50%							4	50.00%	2	25.00%							8	100.00%
	総点数(点)	4	30.77%			1	7.69%						4	30.77%	3	23.08%								13	100.00%
	総重量(g)	27.00	18.91%			7.50	5.25%	32.80	22.97%				47.50	33.26%	28.00	19.61%								142.80	100.00%
SD2463	口残値																								
	口縁数(点)																								
	底残値					0.19	100.00%																	0	100.00%
	底部数(点)					1	100.00%																	1	100.00%
	体部数(点)												2	100.00%										2	100.00%
	総点数(点)					1	33.33%						2	66.67%										3	100.00%
	総重量(g)					8.20	52.23%						7.50	47.77%										15.70	100.00%
SD2474	口残値	0.14	100.00%																					0.14	100.00%
	口縁数(点)	2	100.00%																					2	100.00%
	底残値																							0.28	100.00%
	底部数(点)														0.28	100.00%								1	100.00%
	体部数(点)	1	16.67%			3	50.00%						1	16.67%	1	16.67%								6	100.00%
	総点数(点)	3	33.33%			3	33.33%						1	11.11%	2	22.22%								9	100.00%
	総重量(g)	12.10	19.18%			3.50	5.55%						20.00	31.70%	27.50	43.58%								63.10	100.00%
SD2475	口残値					0.06	19.35%	0.06	19.35%	0.19	61.29%													0.31	100.00%
	口縁数(点)					1	25.00%	1	25.00%	2	50.00%													4	100.00%
	底残値	0.33	100.00%																					0.33	100.00%
	底部数(点)	1	100.00%																					1	100.00%
	体部数(点)	1	33.33%											2	66.67%									3	100.00%
	総点数(点)	2	25.00%			1	12.50%	1	12.50%	4	50.00%													8	100.00%
	総重量(g)	19.00	16.81%			1.50	1.33%	7.50	6.64%	85.00	75.22%													113.00	100.00%
SD2476	口残値					0.19	100.00%																	0.19	100.00%
	口縁数(点)					5	100.00%																	5	100.00%
	底残値					1.22	100.00%																	1.22	100.00%
	底部数(点)					6	100.00%																	6	100.00%
	体部数(点)																								
	総点数(点)					11	100.00%																	11	100.00%
	総重量(g)					86.50	100.00%																	86.50	100.00%

遺構名	種別	食器具												煮炊具						貯蔵具						合計			
		土師器			黒色土器		須恵器			土師器			鍔	非ロクロケズリ	須恵器														
		無台椀	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋	長甕	小甕	佐渡型甕	長頸壺	短頸壺			横瓶	その他													
SD2477	口残値	0.81	96.43%																							0.84	100.00%		
	口縁数(点)	10	90.91%								0.03	3.57%															11	100.00%	
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)	6	66.67%		1	11.11%					1	11.11%	1	11.11%													9	100.00%	
	総点数(点)	16	80.00%		1	5.00%					1	5.00%	1	5.00%													20	100.00%	
総重量(g)	51.50	85.83%		0.50	0.83%					2.00	3.33%	2.50	4.17%	3.50	5.83%												60.00	100.00%	
SD2478	口残値	0.28	50.00%				0.28	50.00%																			0.56	100.00%	
	口縁数(点)	4	44.44%				5	55.56%																			9	100.00%	
	底残値						0.14	100.00%																			0.14	100.00%	
	底部数(点)						1	100.00%																			1	100.00%	
	体部数(点)	4	25.00%				10	62.50%									2	12.50%									16	100.00%	
	総点数(点)	8	30.77%				16	61.54%									2	7.69%									26	100.00%	
総重量(g)	21.00	25.45%				33.50	40.61%									28.00	33.94%										82.50	100.00%	
SD2479	口残値						0.25	100.00%																			0.25	100.00%	
	口縁数(点)						5	100.00%																			5	100.00%	
	底残値						0.08	100.00%																			0.08	100.00%	
	底部数(点)						1	100.00%																			1	100.00%	
	体部数(点)	2	50.00%				1	25.00%								1	25.00%										4	100.00%	
	総点数(点)	2	20.00%				7	70.00%								1	10.00%										10	100.00%	
総重量(g)	5.00	13.70%				21.50	58.90%								10.00	27.40%											36.50	100.00%	
SD2480	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)																												
	総点数(点)																											2	100.00%
総重量(g)																											16.00	100.00%	
SD2502	口残値	0.92	14.35%				2.78	43.37%	0.31	4.84%	2.03	31.67%				0.06	0.94%											6.41	100.00%
	口縁数(点)	10	12.05%				39	46.99%	3	3.61%						1	1.20%											83	100.00%
	底残値						5.14	73.43%																				7.00	100.00%
	底部数(点)	5	16.67%				17	56.67%					8	26.67%														30	100.00%
	体部数(点)	12	4.65%		7	2.71%	30	11.63%	4	1.55%						7	2.71%	5	1.94%									258	100.00%
	総点数(点)	27	7.28%		7	1.89%	86	23.18%	7	1.89%						8	2.16%	5	1.35%	5	1.35%							371	100.00%
総重量(g)	230.40	7.10%		32.50	1.00%	465.50	14.34%	48.30	1.49%						156.90	4.83%	6.60	0.20%	86.10	2.65%							3245.50	100.00%	
SD2507	口残値	0.08	57.14%				0.06	42.86%																				0.14	100.00%
	口縁数(点)	2.00	66.67%				1.00	33.33%																				3	100.00%
	底残値	0.45	61.64%				0.28	38.36%																				0.73	100.00%
	底部数(点)	2.00	50.00%				2.00	50.00%																				4	100.00%
	体部数(点)	8.00	33.33%				2.00	8.33%			8	33.33%	3	12.50%					3	12.50%								24	100.00%
	総点数(点)	12.00	38.71%				5.00	16.13%			8	25.81%	3	9.68%					3	9.68%								31	100.00%
総重量(g)	51.00	40.64%				18.00	14.34%			30.00	23.90%	18.00	14.34%					8.50	6.77%								125.50	100.00%	
SD2509	口残値						0.03	100.00%																				0.03	100.00%
	口縁数(点)						1	100.00%																				1	100.00%
	底残値						0.11	100.00%																				0.11	100.00%
	底部数(点)						1	100.00%																				1	100.00%
	体部数(点)										1	100.00%																1	100.00%
	総点数(点)						2	66.67%			1	33.33%																3	100.00%
総重量(g)						10.50	87.50%			1.50	12.50%																12.00	100.00%	
SD2523	口残値						0.06	100.00%																				0.06	100.00%
	口縁数(点)						1	100.00%																				1	100.00%
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)										1	100.00%																1	100.00%
	総点数(点)						1	50.00%			1	50.00%																2	100.00%
総重量(g)						2.50	13.89%			15.50	86.11%																18.00	100.00%	
SD2530	口残値																												
	口縁数(点)																												
	底残値																												
	底部数(点)																												
	体部数(点)																			1	100.00%							1	100.00%
	総点数(点)																			1	100.00%							1	100.00%
総重量(g)																			6.00	100.00%							6.00	100.00%	







遺構名	種別	食器										煮炊具					貯蔵具					合計		
		土師器			黒色土器		須恵器			長巻		小巻		土師器	鍔	非ロックケズリ巻	裏	長頸壺		短頸壺	横瓶		その他	
		無台椀	皿		無台碗・有台皿		無台杯	有台杯	杯蓋															
SD2567	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)																							
	総点数(点)																							
SD2568	口残値				0.23	71.88%										0.06	18.75%							
	口縁数(点)				3	60.00%										1	20.00%							
	底残値				0.50	43.86%										0.64	56.14%							
	底部数(点)				2	40.00%										3	60.00%							
	体部数(点)				1	4.17%										7	29.17%	13	54.17%	3	12.50%			
	総点数(点)				6	17.65%										7	20.59%	17	50.00%	3	8.82%	1	2.94%	
SD2569	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)																							
	総点数(点)																							
SD2570	口残値	0.06	13.33%				0.28	62.22%								0.08	17.78%							
	口縁数(点)	1	14.29%				3	42.86%								2	28.57%							
	底残値						0.14	100.00%																
	底部数(点)						1	100.00%																
	体部数(点)						3	30.00%																
	総点数(点)	1	5.56%				4	22.22%	5	27.78%						1	5.56%							
SD2578	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)																							
	総点数(点)																							
SD2723	口残値	0.25	89.29%													0.03	10.71%							
	口縁数(点)	2	66.67%													1	33.33%							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)																							
	総点数(点)	2	22.22%																					
SD2809	口残値	36.90	55.57%																					
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)																							
	総点数(点)																							
SD2811	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)																							
	総点数(点)																							
SD2844	口残値	0.14	14.43%				0.36	37.11%	0.22	22.68%	0.19	19.59%												
	口縁数(点)	4	26.67%				5	33.33%	3	20.00%	1	6.67%												
	底残値						0.75	100.00%																
	底部数(点)						3	100.00%																
	体部数(点)	4	30.77%																					
	総点数(点)	8	25.81%				12	38.71%	3	9.68%	1	3.23%	1	3.23%	5	16.13%								

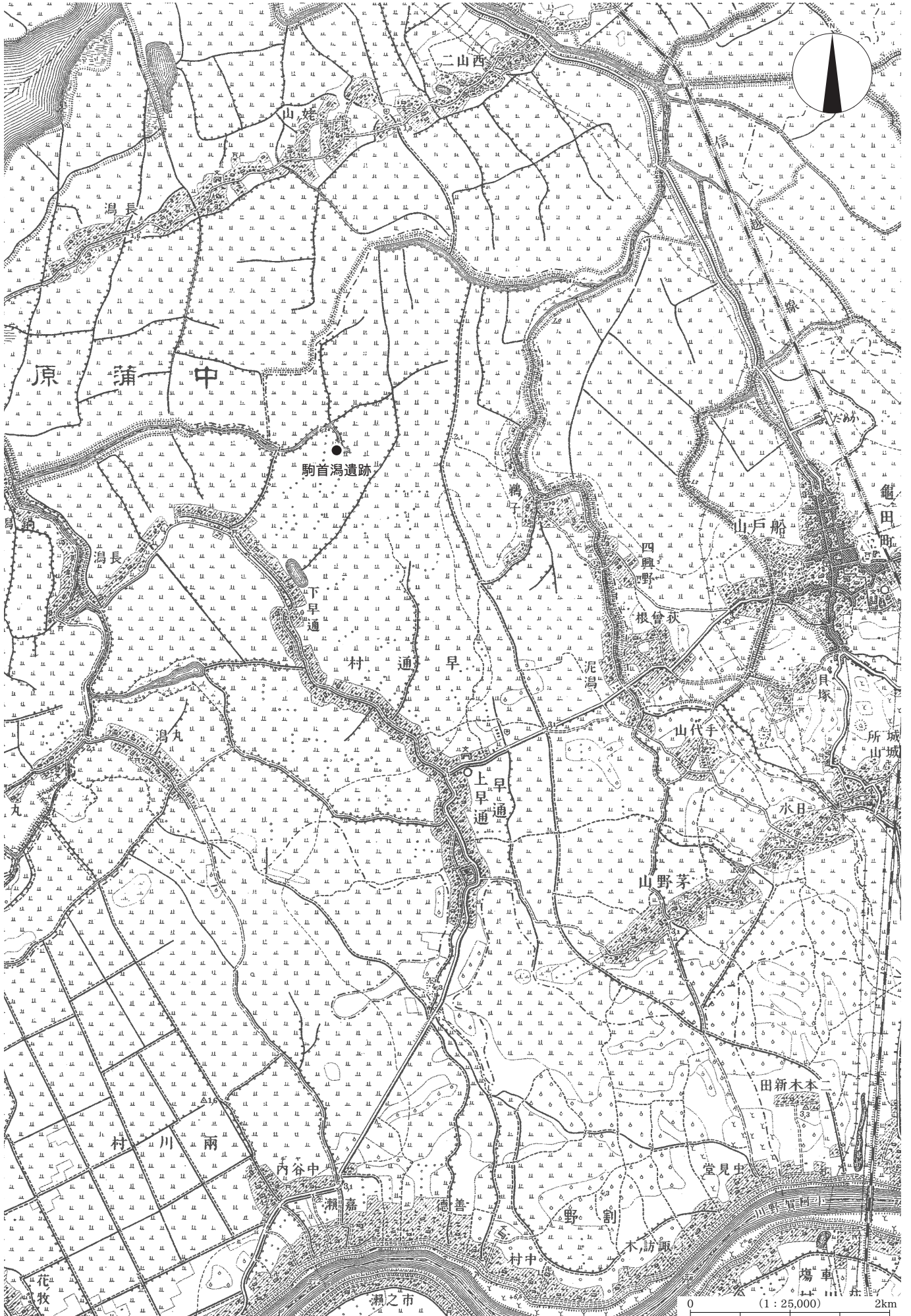
遺構名	種別	食器具										煮炊具					貯蔵具					合計		
		土師器		黒色土器		須恵器		長巻	小巻	土師器			非ロクロケズリ巻	裏	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他						
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	杯蓋			佐渡型巻	鍋	その他												
SD2845	口残値					0.11	78.57%																0.14	100.00%
	口縁数(点)					2	66.67%																3	100.00%
	底残値	0.22	78.57%			0.06	21.43%																0.28	100.00%
	底部数(点)	1	50.00%			1	50.00%																2	100.00%
	体部数(点)	1	14.29%					1	14.29%	3	42.86%												7	100.00%
	総点数(点)	2	16.67%			3	25.00%			1	8.33%	3	25.00%										12	100.00%
	総重量(g)	7.50	5.84%			12.00	9.34%			3.50	2.72%	51.50	40.08%										54.00	42.02%
SD2849	口残値								0.03	100.00%													0.03	100.00%
	口縁数(点)								1	100.00%													1	100.00%
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)										2	66.67%	1	33.33%									3	100.00%
	総点数(点)									1	25.00%	2	50.00%	1	25.00%								4	100.00%
	総重量(g)									2.50	7.04%	10.50	29.58%	22.50	63.38%								35.50	100.00%
SD2851	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)										1	100.00%											1	100.00%
	総点数(点)										1	100.00%											1	100.00%
	総重量(g)										27.50	100.00%											27.50	100.00%
SD2901	口残値												0.06	100.00%									0.06	100.00%
	口縁数(点)												1	100.00%									1	100.00%
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)	2	15.38%								4	30.77%	7	53.85%									13	100.00%
	総点数(点)	2	14.29%								4	28.57%	8	57.14%									14	100.00%
	総重量(g)	2.20	1.85%								19.00	15.97%	97.80	82.18%									119.00	100.00%
SD2904	口残値	0.03	100.00%																				0.03	100.00%
	口縁数(点)	1	100.00%																				1	100.00%
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)	4	33.33%								1	8.33%	7	58.33%									12	100.00%
	総点数(点)	5	38.46%								1	7.69%	7	53.85%									13	100.00%
	総重量(g)	32.60	41.69%								9.10	11.64%	36.50	46.68%									78.20	100.00%
SD2911	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)										1	100.00%											1	100.00%
	総点数(点)										1	100.00%											1	100.00%
	総重量(g)										12.10	100.00%											12.10	100.00%
SD2913	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)										0.14	100.00%											0	100.00%
	総点数(点)										1	100.00%											1	100.00%
	総重量(g)										8.70	45.55%											19.10	100.00%
SD2918	口残値																							
	口縁数(点)																							
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)										1	100.00%											1	100.00%
	総点数(点)										1	100.00%											1	100.00%
	総重量(g)										3.40	100.00%											3.40	100.00%
SD2919	口残値	0.11	100.00%																				0.11	100.00%
	口縁数(点)	2	100.00%																				2	100.00%
	底残値																							
	底部数(点)																							
	体部数(点)										1	16.67%											5	83.33%
	総点数(点)	2	25.00%								1	12.50%											5	62.50%
	総重量(g)	4.80	1.95%								19.80	8.04%											221.60	90.01%

遺構名	種別	食器												煮炊具								貯蔵具								合計								
		土師器				黒色土器		須恵器		杯蓋	長巻		小巻		土師器		銅	非クロケズリ巻		巻		長頸壺		短頸壺		横瓶		その他										
		無台碗	皿	無台碗・有台皿	無台杯	有台杯	長巻	小巻	佐渡型巻		鍋	巻	長頸壺	短頸壺	横瓶	その他																						
SD2930	口残値	0.03	7.14%																													0.42	100.00%					
	口縁数(点)	1	14.29%																													7	100.00%					
	底残値																															1.24	100.00%					
	底部数(点)																															4	100.00%					
	体部数(点)																																35	100.00%				
	総点数(点)	1	2.17%																														46	100.00%				
総重量(g)	1.80	0.09%																														1988.70	100.00%					
SX118	口残値	0.16	44.44%																													0.36	100.00%					
	口縁数(点)	2	33.33%																													6	100.00%					
	底残値																																					
	底部数(点)																																					
	体部数(点)	1	20.00%																															5	100.00%			
	総点数(点)	3	27.27%																															11	100.00%			
総重量(g)	6.70	4.62%																															145.10	100.00%				
SX119	口残値																																	0.11	100.00%			
	口縁数(点)																																	3	100.00%			
	底残値																																					
	底部数(点)																																					
	体部数(点)	2	25.00%																																8	100.00%		
	総点数(点)	2	18.18%																																9	81.82%		
総重量(g)	1.10	0.97%																																112.90	100.00%			
SX121	口残値	0.11	100.00%																															0.11	100.00%			
	口縁数(点)	2	100.00%																															2	100.00%			
	底残値																																					
	底部数(点)																																					
	体部数(点)	1	50.00%																																	1	50.00%	
	総点数(点)	3	75.00%																																	4	100.00%	
総重量(g)	5.00	25.00%																																	20.00	100.00%		
SX307	口残値																																					
	口縁数(点)																																					
	底残値																																					
	底部数(点)																																					
	体部数(点)																																					
	総点数(点)																																					
総重量(g)																																						
SX314	口残値																																					
	口縁数(点)																																					
	底残値																																					
	底部数(点)																																					
	体部数(点)																																					
	総点数(点)																																					
総重量(g)																																						
SX1330	口残値																																					
	口縁数(点)																																					
	底残値																																					
	底部数(点)																																					
	体部数(点)																																					
	総点数(点)																																					
総重量(g)																																						
SX2029	口残値																																					
	口縁数(点)																																					
	底残値																																					
	底部数(点)																																					
	体部数(点)																																					
	総点数(点)																																					
総重量(g)																																						
旧河川	口残値	23.39	19.17%	0.14	0.11%	0.97	0.79%	61.93	50.75%	2.81	2.30%	4.18	3.43%	6.81	5.58%	14.37	11.77%	0.42	0.34%	2.34	1.92%	0.84	0.69%	0.77	0.63%	1.88	1.54%	0.44	0.36%	0.75	0.61%			122.04	100.00%			
	口縁数(点)	167	19.51%	2.00	0.23%	15	1.75%	381	44.51%	26	3.04%	20	2.34%	88	10.28%	78	9.11%	6	0.70%	43	5.02%	6	0.70%	14	1.64%	7	0.82%	1	0.12%	2	0.23%			856	100.00%			

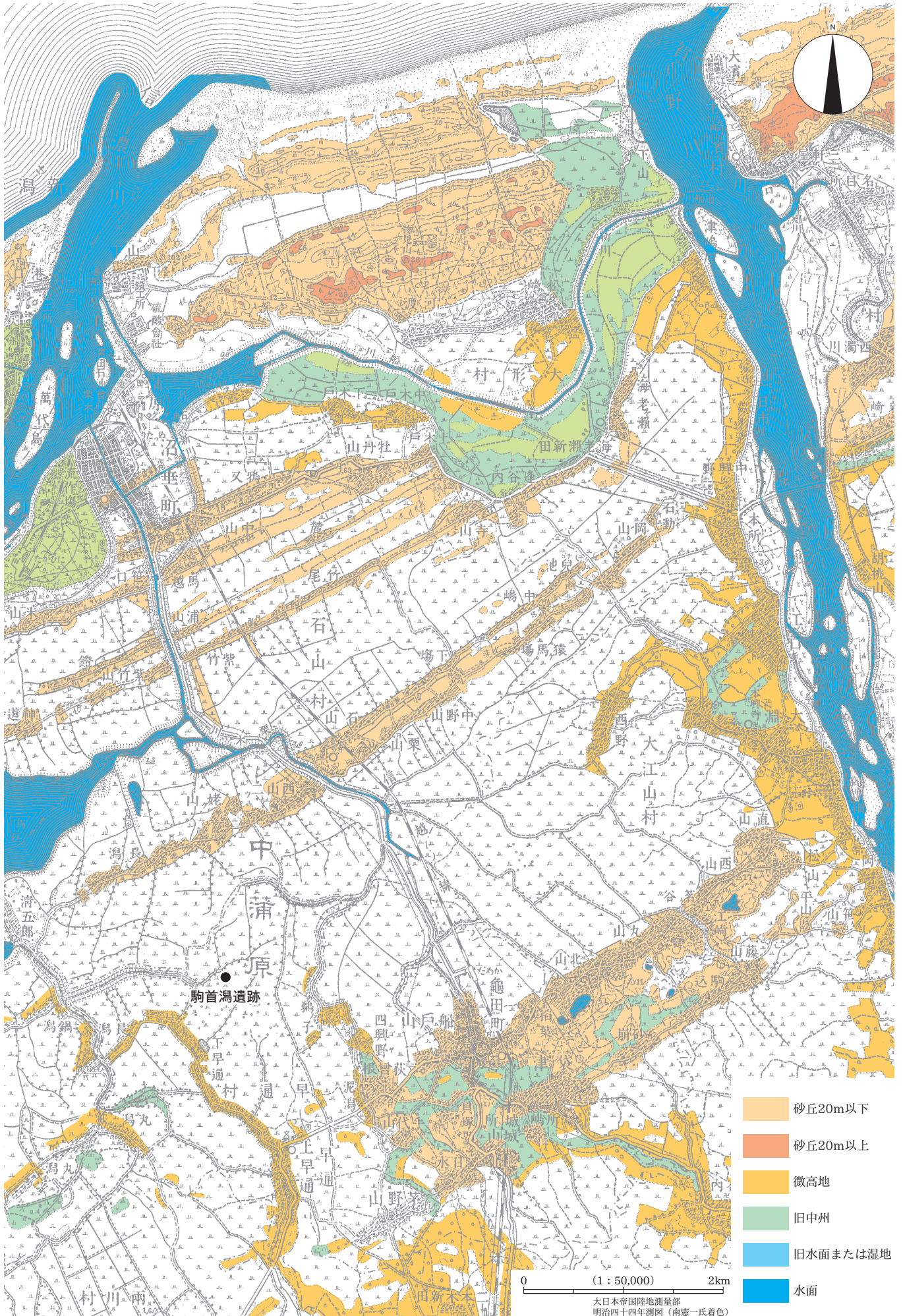
# 図 版

## 凡 例

-  黒色処理
-  油煙・スス
-  コゲ痕（木製品）
-  欠損部分（木製品）



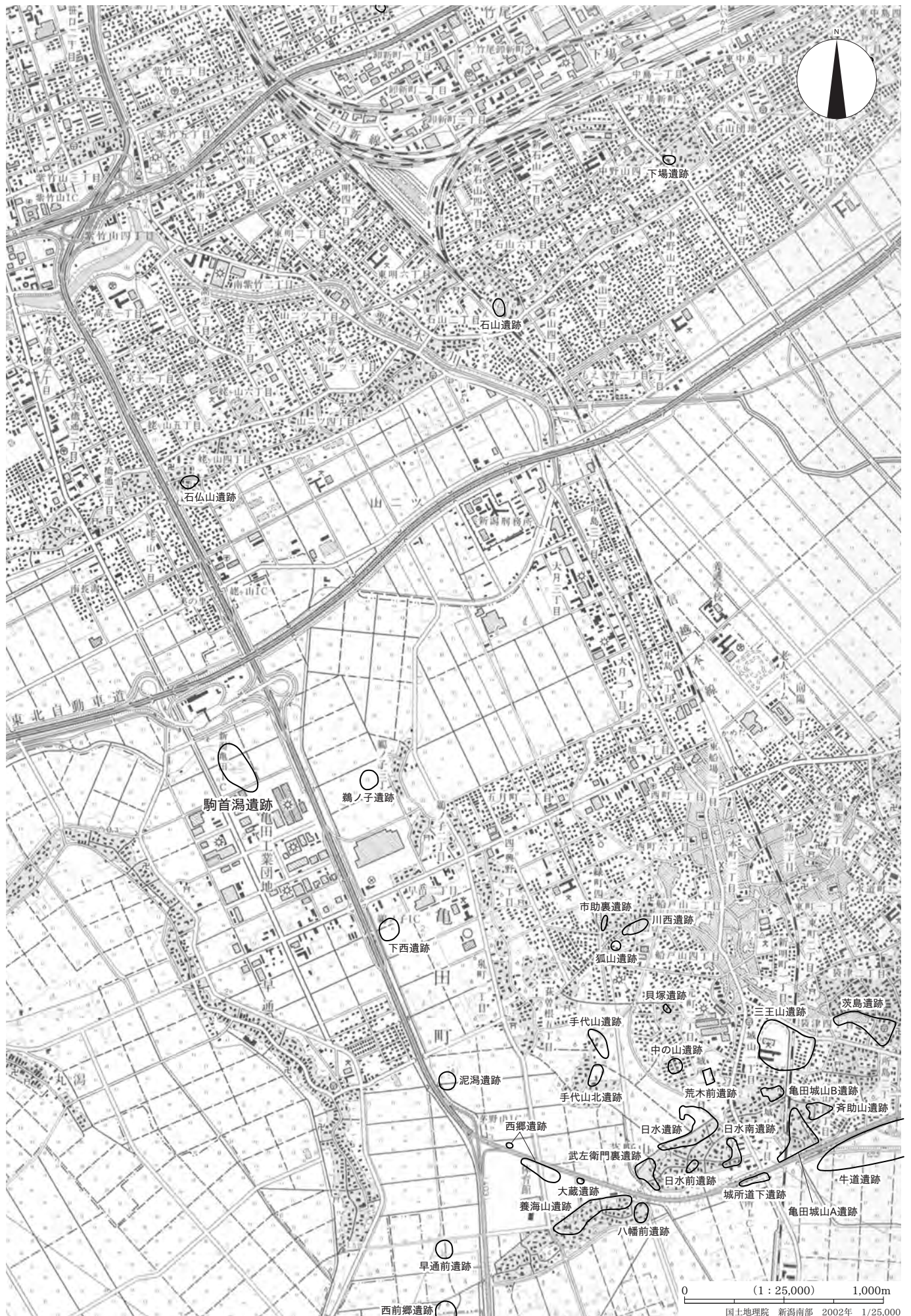




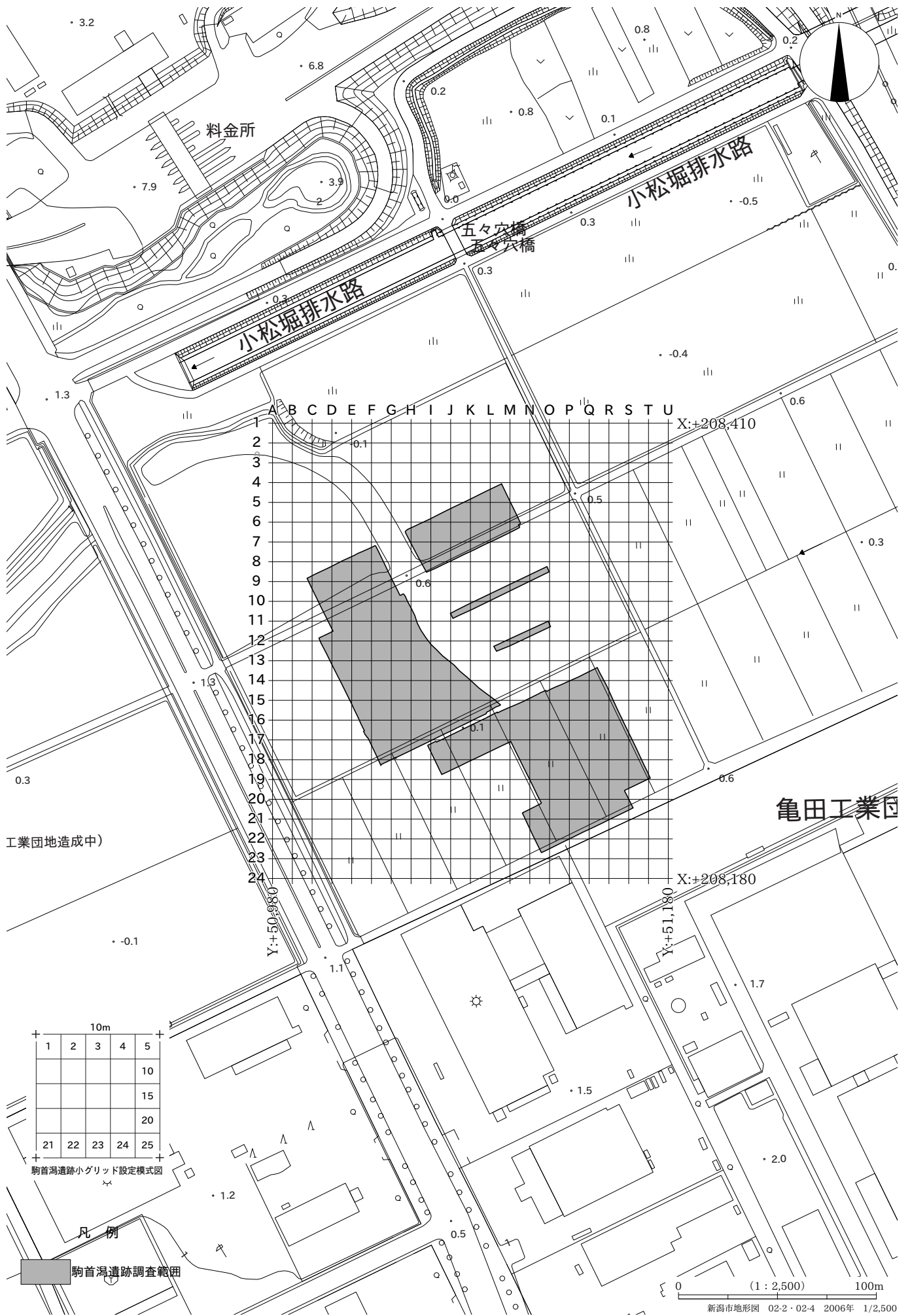
- 砂丘20m以下
- 砂丘20m以上
- 微高地
- 旧中州
- 旧水面または湿地
- 水面

0 (1 : 50,000) 2km  
 大日本帝国陸地測量部  
 明治四十四年測図 (南憲一氏着色)









工業団地造成中)

亀田工業団

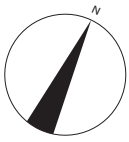
10m

1	2	3	4	5
				10
				15
				20
21	22	23	24	25

駒首湯遺跡小グリッド設定模式図

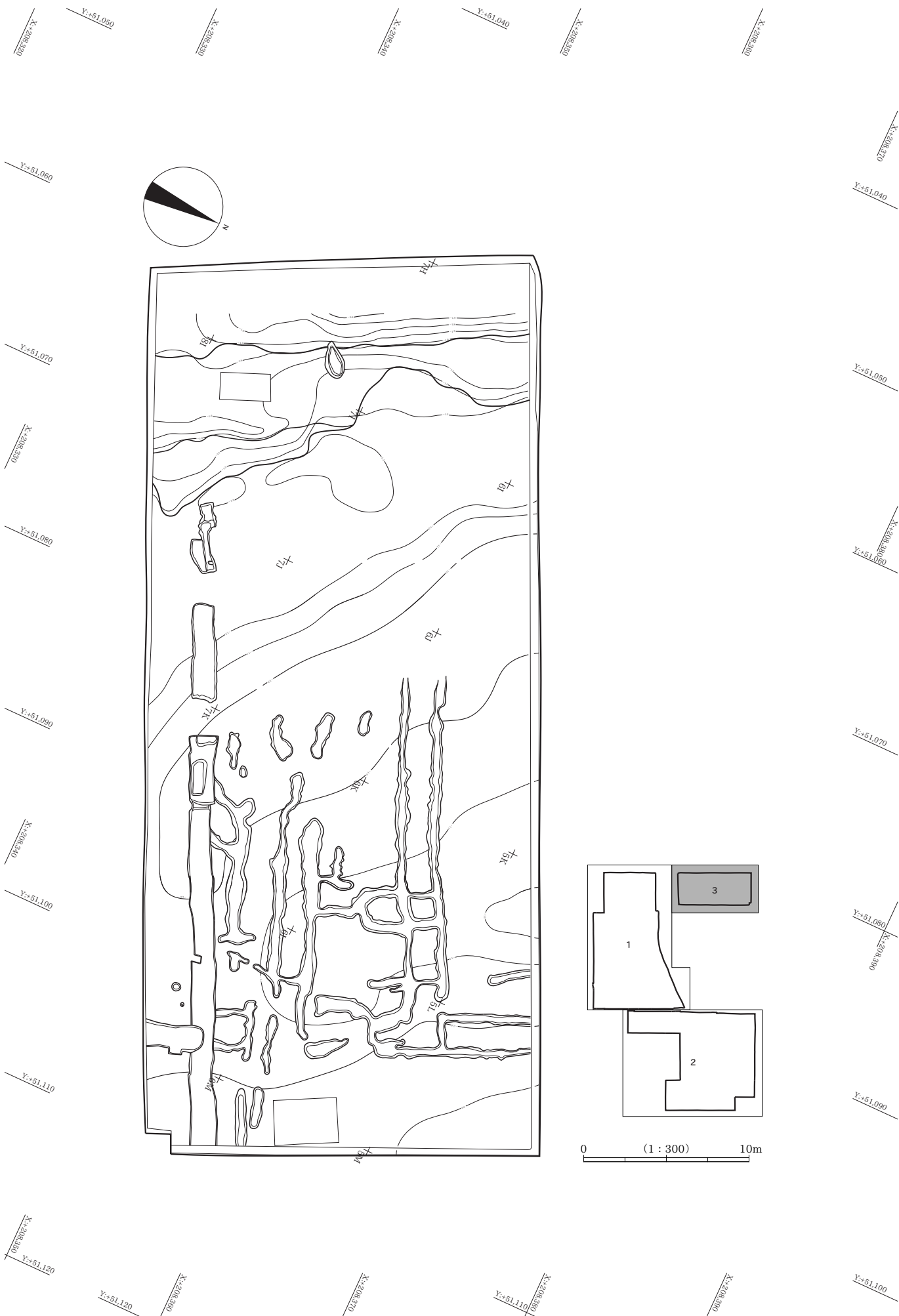
凡例

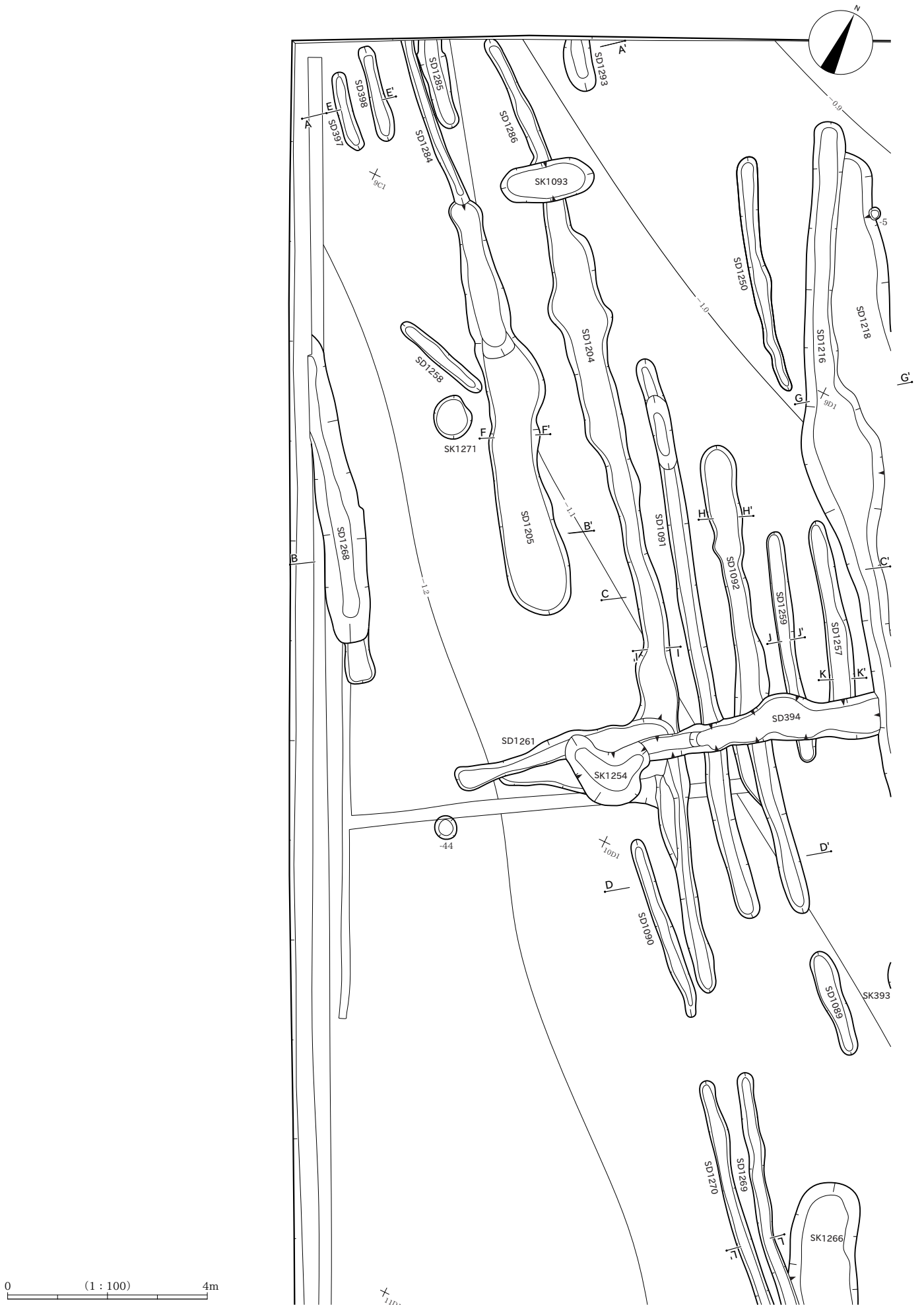
駒首湯遺跡調査範囲



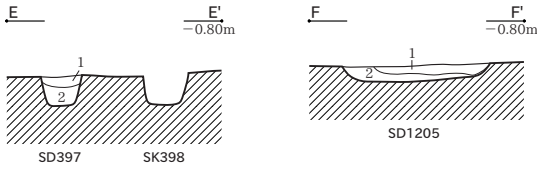
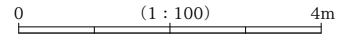
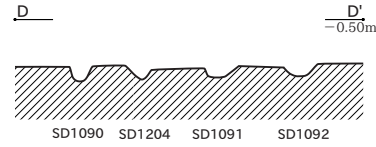
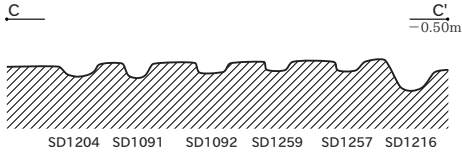
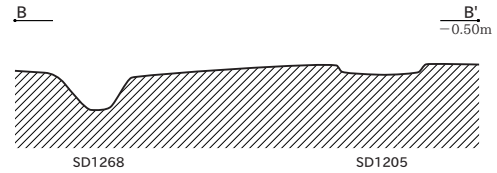
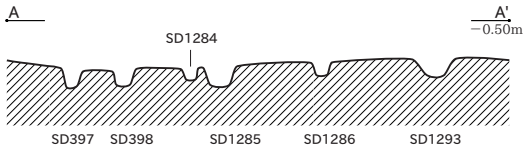






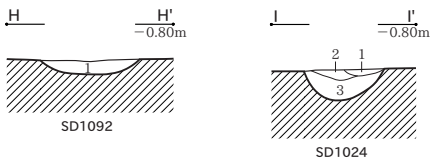


(割図1)



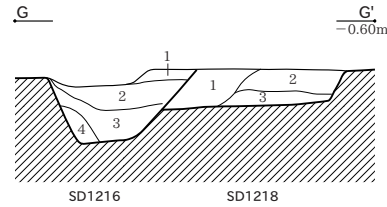
**E-E' (SD397 割図1)**  
 1 灰色シルト (5Y6/1~5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子・暗オリーブ色シルト小塊を斑紋状に少量含み、粘性を有する。  
 2 灰色シルト (5Y5/1~4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。斑紋状のシルト小塊は減少する。

**F-F' (SD1205 割図1)**  
 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。  
 2 灰白色シルト (2.5Y7/1) 酸化鉄やや多くを含み、強く締まり、粘性に富む。



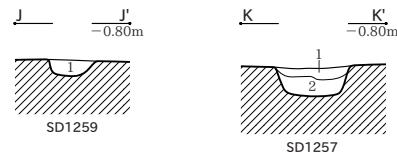
**H-H' (SD1092 割図1)**  
 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりに欠ける。

**I-I' (SD1204 割図1)**  
 1 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、強く締まり、粘性に富む。  
 2 灰色シルト (5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、強く締まり、粘性に富む。  
 3 灰色シルト (5Y6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、強く締まり、粘性に富む。



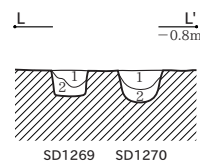
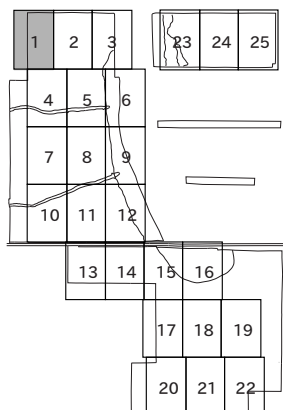
※G'は割図2のG'に続く

**G-G' (SD1216・SD1218 割図1)**  
**SD1216**  
 1 黒～オリーブ黒色シルト (5Y2/1~3/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、強く締まり、粘性に富む。  
 2 灰オリーブ色シルト (5Y5/2~6/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性にやや富む。  
 3 灰～灰オリーブ色シルト (5Y5/1~5/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。  
 4 灰～灰オリーブ色シルト (5Y5/1~6/1) 酸化鉄やや多くを含み、粘性に富む。  
**SD1218**  
 1 灰オリーブ色シルト (5Y4/2~5/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性にやや富む。  
 2 灰オリーブ色シルト (5Y5/2~6/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。  
 3 灰～灰オリーブ色シルト (5Y6/1~6/2) 酸化鉄やや多くを含み、粘性を有する。  
 4 灰～灰オリーブ色シルト (5Y5/1~6/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性にやや欠ける。

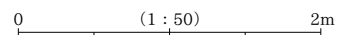


**J-J' (SD1259 割図1)**  
 1 緑灰色シルト (7.5GY6/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。

**K-K' (SD1257 割図1)**  
 1 緑灰色シルト (7.5GY6/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。  
 2 緑灰色シルト (7.5GY6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

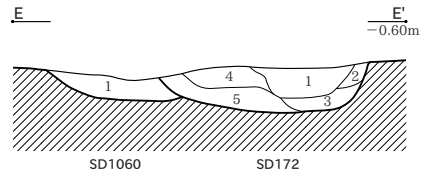
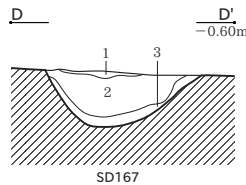
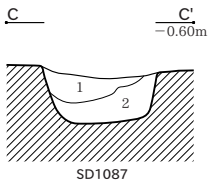
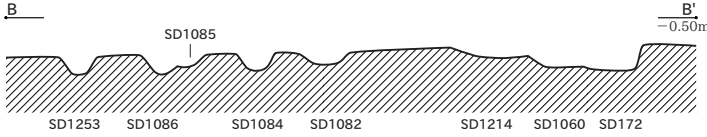
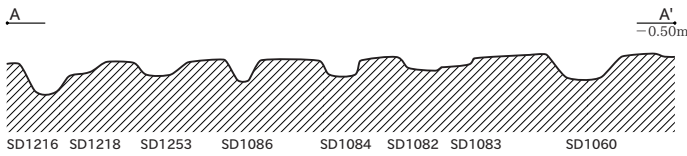


**L-L' (SD1269・SD1270 割図1)**  
**SD1269**  
 1 暗オリーブ灰色シルト (2.5GY4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。  
 2 オリーブ灰色シルト (2.5GY6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
**SD1270**  
 1 暗オリーブ灰色シルト (2.5GY4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。  
 2 オリーブ灰色シルト (2.5GY6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。





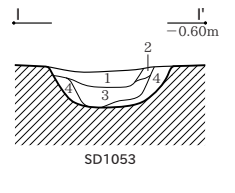
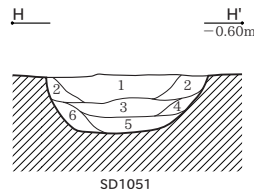
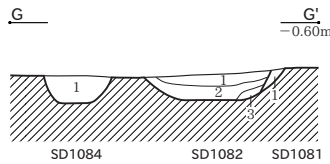
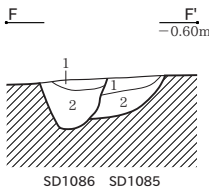
(割図2)



- C-C' (SD1087 割図2)
- 1 灰色シルト (5Y5/1~6/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子少量を含み、堅く締まり、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子少量を含み、堅く締まり、粘性に富む。

- D-D' (SD167 割図2)
- 1 灰色シルト (5Y5/1~6/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、堅く締まり、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1~6/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1~6/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子・細砂微量を含み、粘性を有する。

- E-E' (SD172・SD1060 割図2)
- SD172
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄やや多くを含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄やや多くを含み、粘性に富む。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄やや減少するが、粘性に富む。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
  - 5 黄灰色シルト (2.5Y6/1) シルト小塊少量を含み、粘性に富む。
- SD1060
- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄微量を含み、粘性に富む。

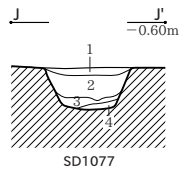
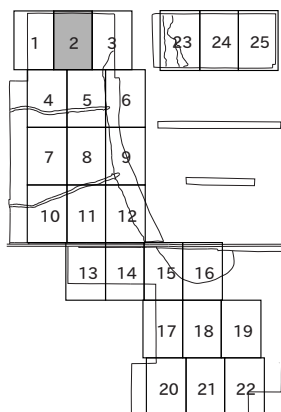


- F-F' (SD1085・SD1086 割図2)
- SD1085
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、堅く締まり、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、堅く締まり、粘性を有する。
- SD1086
- 1 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子少量を含み、堅く締まり、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。

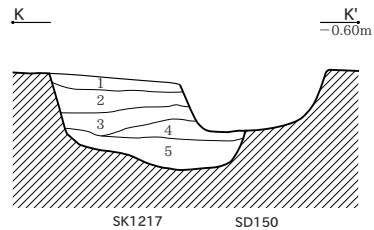
- H-H' (SD1051 割図2)
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、灰オリーブ色シルト小塊を斑紋状に含む、堅く締まり、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、灰オリーブ色シルト小塊を斑紋状に含む、堅く締まり、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、堅く締まり、粘性を有する。
  - 4 灰色シルト (5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、堅く締まり、粘性を有する。
  - 5 オリーブ灰色シルト (5GY6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 6 オリーブ灰色シルト (5GY5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

- G-G' (SD1081・SD1082・SD1084 割図2)
- SD1081
- 1 灰色シルト (5Y6/1) 酸化鉄やや多くを含み、堅く締まる。
- SD1082
- 1 灰色シルト (5Y6/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、堅く締まる。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 酸化鉄やや多くを含み、堅く締まる。
- SD1084
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、灰色シルトを斑文状に少量を含む。

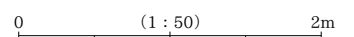
- I-I' (SD1053 割図2)
- 1 オリーブ灰色シルト (5GY5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 2 オリーブ灰色シルト (5GY5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 3 オリーブ灰色シルト (5GY6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 4 オリーブ灰色シルト (5GY6/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも有する。



- J-J' (SD1077 割図2)
- 1 灰色シルト (5Y5/1~6/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、堅く締まり、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、堅く締まり、粘性に富む。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 4 緑灰色シルト (7.5GY5/1) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。

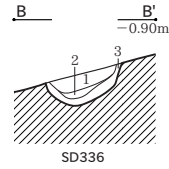
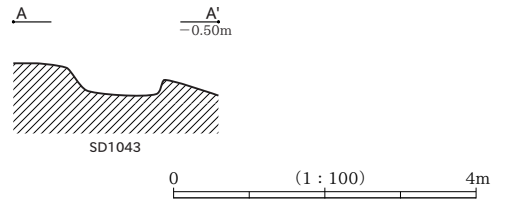


- K-K' (SK1217 割図2)
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 オリーブ灰色粘質土 (5GY6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 3 オリーブ灰色粘質土 (5GY5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 4 オリーブ灰色粘質土 (5GY5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 5 青灰色粘質土 (10BG5/1) 酸化鉄微量を含み、粘性に富む。



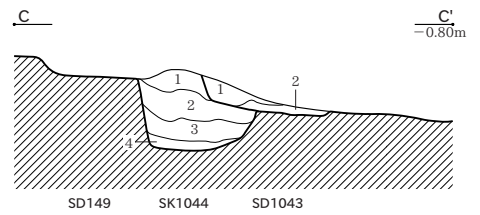


(割図3)



B-B' (SD336 割図3)

- 1 オリーブ灰色シルト (2.5GY5/1) 炭化物粒子多くを含み、青灰色粘土小塊が混入。
- 2 青灰色粘質土 (10BG4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 3 青灰色粘質土 (10BG5/1) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。



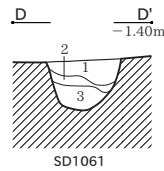
C-C' (SD1043・SK1044 割図3)

SD1043

- 1 暗灰色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・炭化物粒子やや多くを含み、堅く締まり、粘性に富む。
- 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、堅く締まり、粘性を有する。

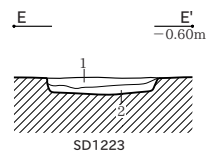
SK1044

- 1 黄灰色砂質土 (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、堅く締まる。
- 2 灰色砂質土 (7.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、全体に締まる。
- 3 緑灰色砂質土 (7.5GY6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、全体に締まる。
- 4 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 酸化鉄少量、炭化物微量を含み、粘性に富む。



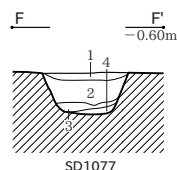
D-D' (SD1061 割図3)

- 1 灰～灰オリーブ粘質土 (5Y4/1～4/2) 酸化鉄多く、炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 2 灰～灰オリーブ粘質土 (5Y6/1～6/2) 酸化鉄・炭化物微量を含み、粘性に富む。
- 3 灰オリーブ粘質土 (5Y5/2～6/2) 酸化鉄・炭化物微量を含み、粘性に富む。



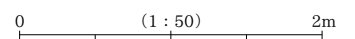
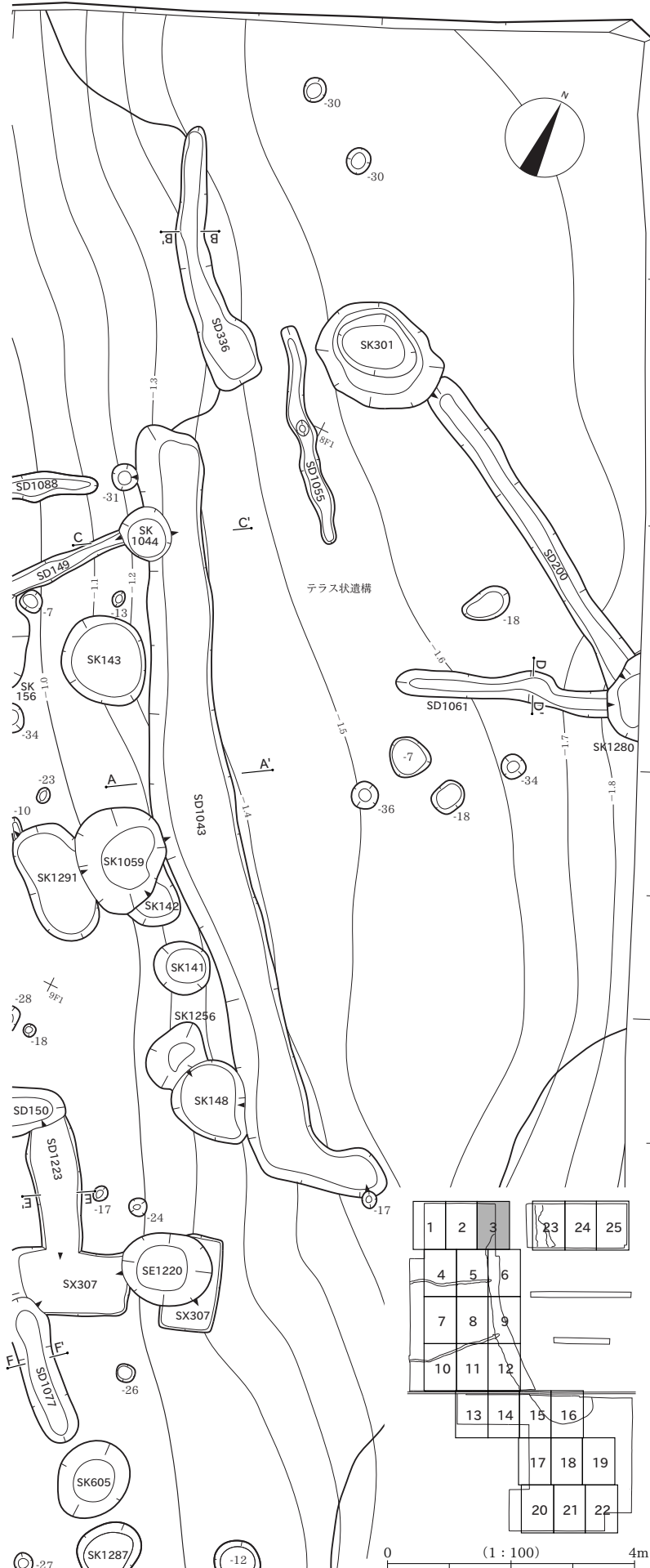
E-E' (SD1223 割図3)

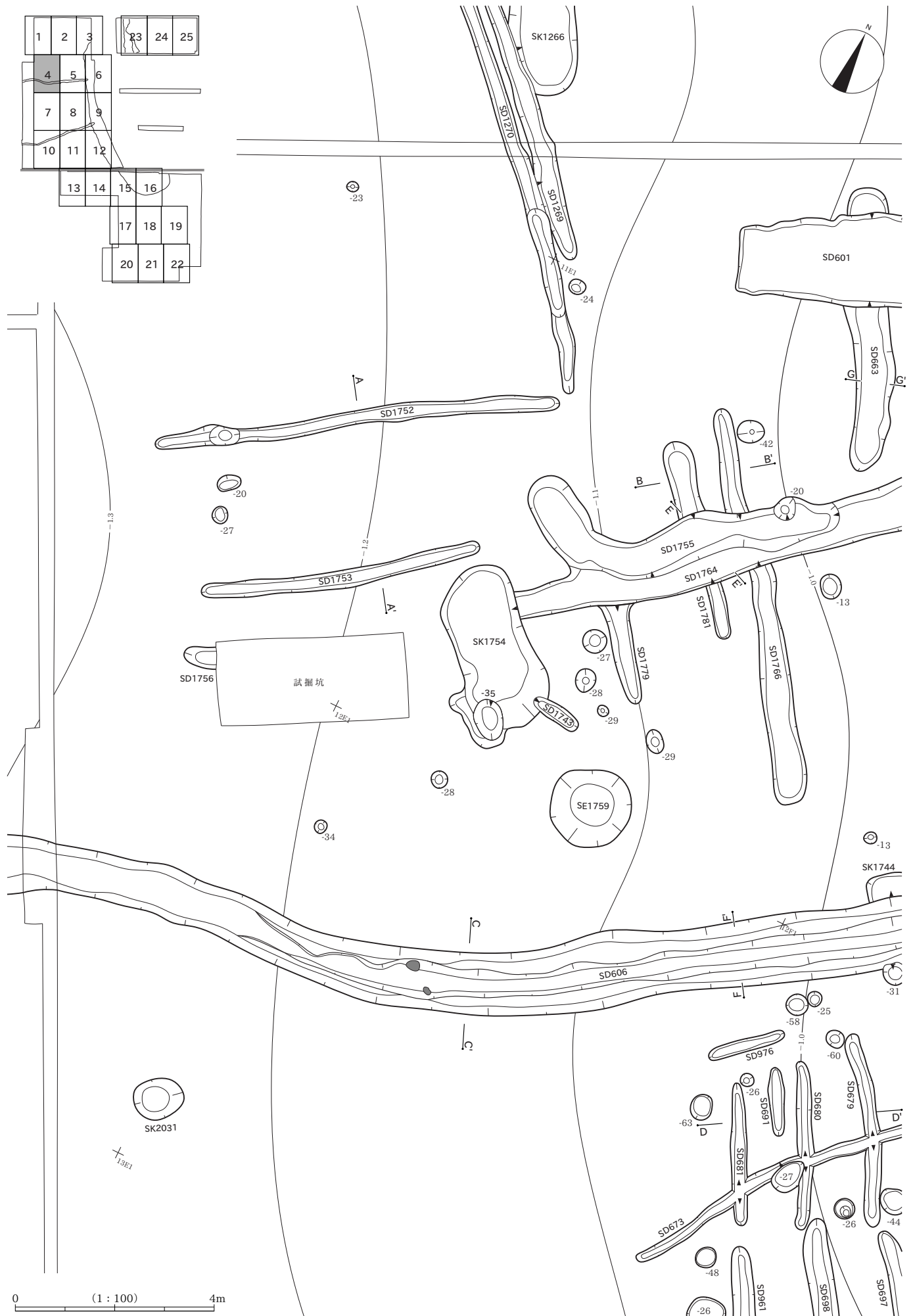
- 1 灰色シルト (5Y5/1～6/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、堅く締まり、粘性に富む。
- 2 灰色シルト (5Y5/1～6/1) 酸化鉄やや多く含み、堅く締まり、粘性に富む。



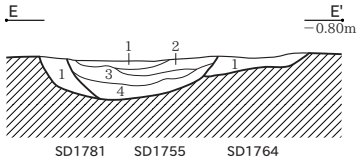
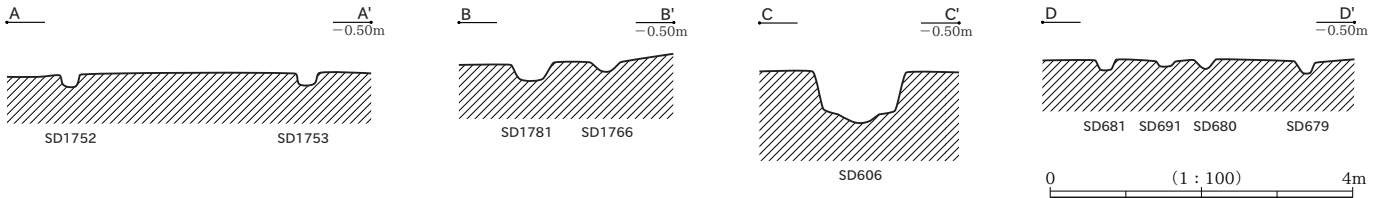
F-F' (SD1077 割図3)

- 1 灰色シルト (5Y5/1～6/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、堅く締まり、粘性に富む。
- 2 灰色シルト (5Y4/1～5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、堅く締まり、粘性に富む。
- 3 灰色シルト (5Y4/1～5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 4 緑灰色シルト (7.5GY5/1) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。



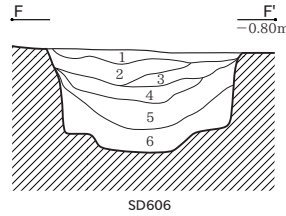


(割図4)



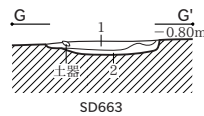
E-E' (SD1755・SD1764・SD1781 割図4)

- SD1755**
- 1 緑灰色シルト (10GY6/1) 最上層にガツボ少量、酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 暗緑灰色シルト (10GY4/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 3 青灰色シルト (5BG5/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 4 青灰色シルト (10BG5/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- SD1764**
- 1 緑灰色シルト (7.5GY5/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- SD1781**
- 1 緑灰色シルト (7.5GY5/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。



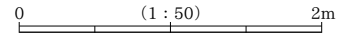
F-F' (SD606 割図4)

- 1 黒色粘質土 (10YR2/1) ガツボ・炭化物粒子を多く含み、粘性に富む。
- 2 オリーブ灰色シルト (2.5GY5/1) ガツボ・炭化物粒子多くを含み、粘性に富む。
- 3 オリーブ灰色シルト (2.5GY5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 4 オリーブ灰色シルト (2.5GY4/1) 炭化物微量を含み、粘性に富む。
- 5 オリーブ灰色シルト (5GY5/1) オリーブ灰色シルト小塊少量、及び炭化物粒子少量をレンズ状に含み、粘性に富む。
- 6 オリーブ灰色シルト (5GY6/1) 炭化物粒子微量・オリーブ灰色シルト小塊少量を含み、粘性に富む。

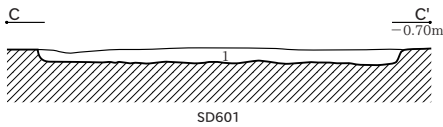
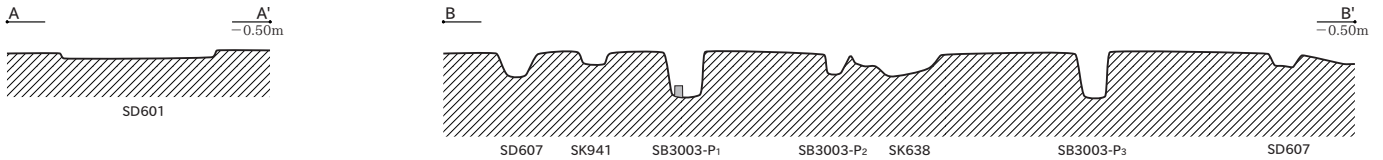


G-G' (SD663 割図4)

- 1 緑灰色シルト (10GY6/1) ガツボ中量、酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 2 暗緑灰色シルト (10GY4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。

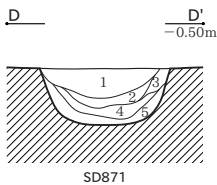


(割図5)



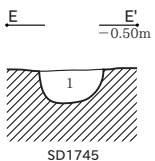
C-C' (SD601 割図5)

- 1 褐灰色土 (10YR5/1) ガツボ・酸化鉄やや多く含み、粘性に富む。



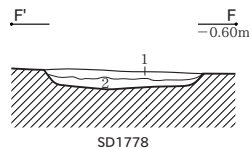
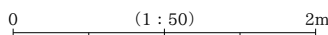
D-D' (SD871 割図5)

- 1 灰色シルト (7.5Y4/1~5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 2 灰色シルト (7.5Y4/1~5/1) 酸化鉄・炭化物粒子やや多くを含み、粘性を有する。
- 3 灰色シルト (7.5Y5/1~6/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、やや粘性を有する。
- 4 灰色シルト (7.5Y5/1~4/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子少量を含み、やや粘性を有する。
- 5 緑灰色粘質土 (7.5GY5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。



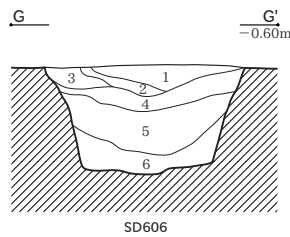
E-E' (SD1745 割図5)

- 1 灰黄色砂質土 (2.5Y6/2) 酸化鉄中量、炭化物微量を含み、締まり・粘性にやや欠ける。



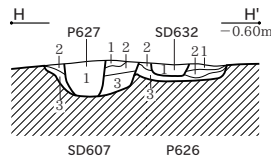
F-F' (SD1778 割図5)

- 1 緑灰色砂質土 (7.5GY5/1) ガツボ・酸化鉄多くを含み、粘性を有する。
- 2 オリーブ灰色砂質土 (5GY4/1) 酸化鉄やや多くを含み、やや粘性に欠ける。



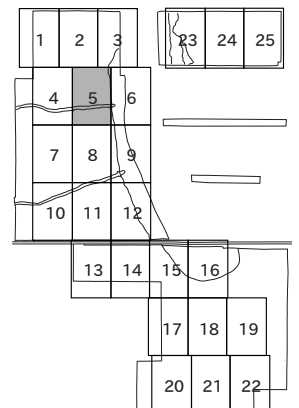
G-G' (SD606 割図5)

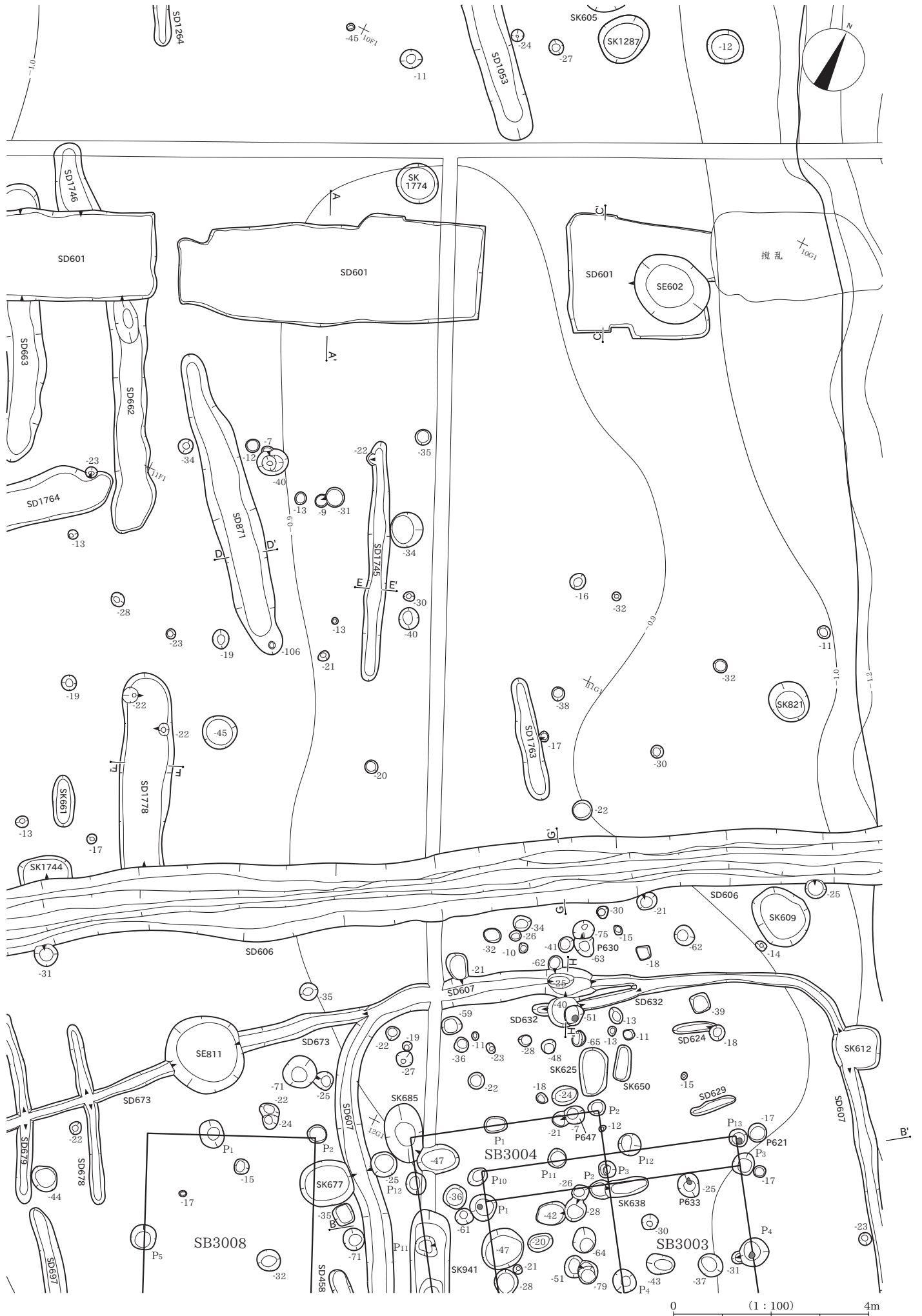
- 1 黒褐色粘質土 (10YR2/2) ガツボ・炭化物粒子を多く含み、粘性に富む。
- 2 褐灰色粘質土 (10YR5/1) ガツボ・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 3 オリーブ灰色シルト (2.5GY5/1) ガツボ・炭化物粒子多くを含み、粘性に富む。
- 4 オリーブ灰色シルト (2.5GY4/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 5 オリーブ灰色シルト (5G4/1~5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 6 オリーブ灰色シルト (5GY5/1~6/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。

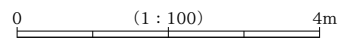
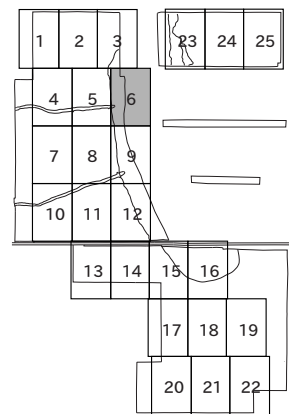
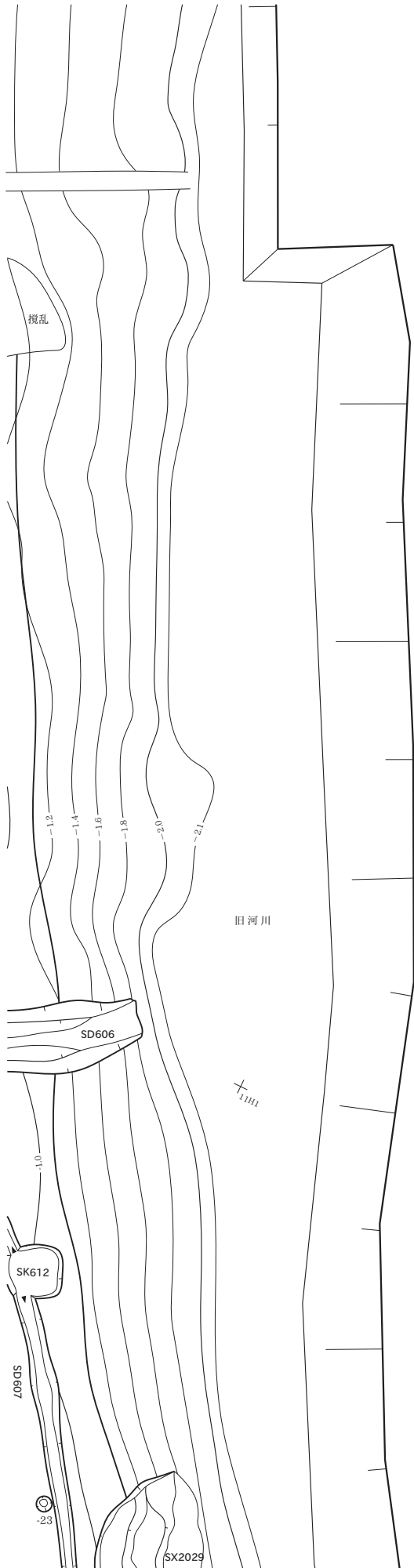


H-H' (P627・SD607・SD632・P626 割図5)

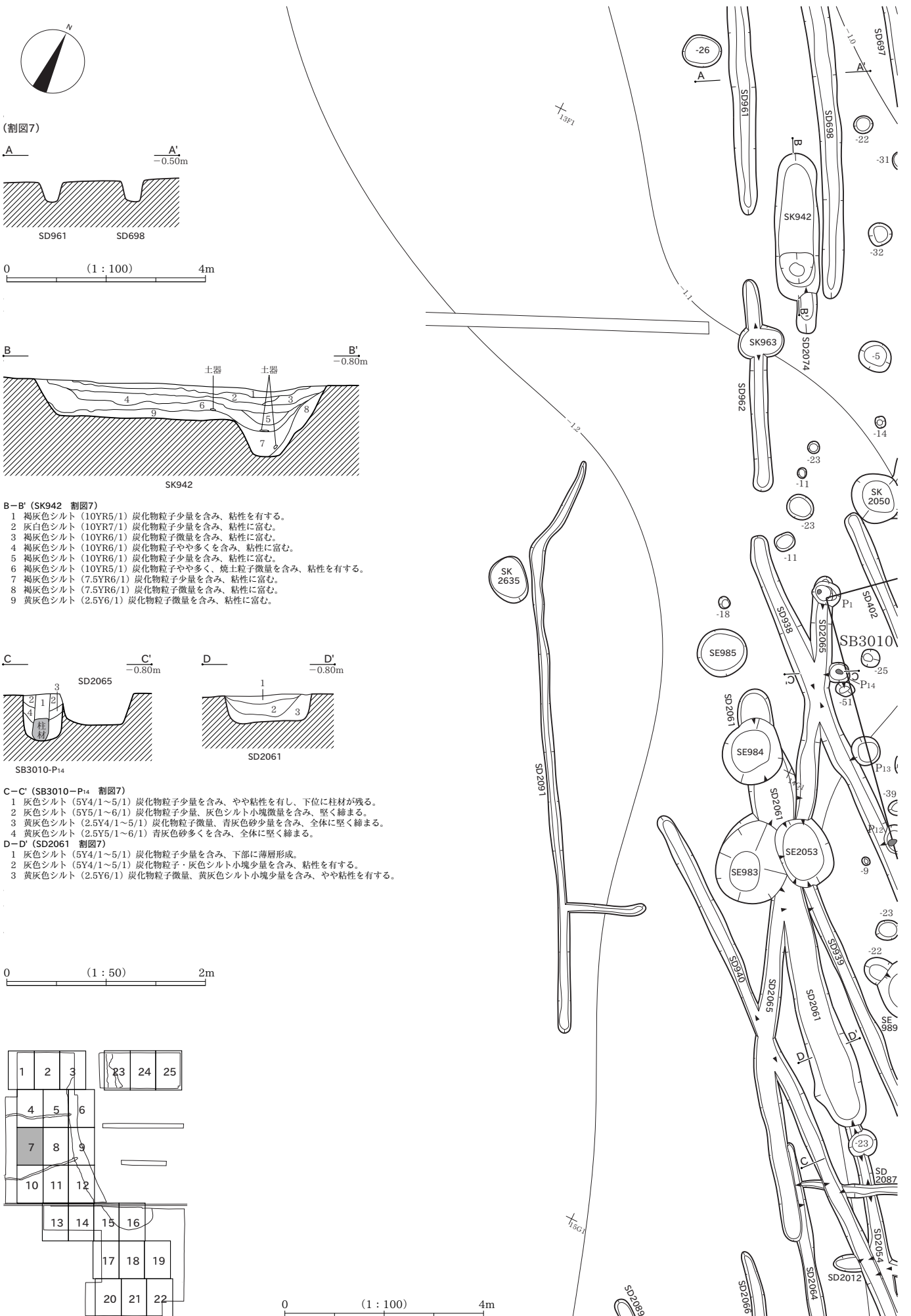
- P627**
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子・砂質土少量を含み、粘性・締まりを有する。
- SD607**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、全体に締まる。
  - 3 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、全体に締まる。
- SD632**
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量、褐灰色シルト小塊微量を含み、粘性・締まりを有する。
- P626**
- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) 砂質土を含み、全体に締まる。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 砂質土を含み、全体に締まる。
  - 3 灰白色シルト (10YR7/1) 砂質土を含み、全体に締まる。

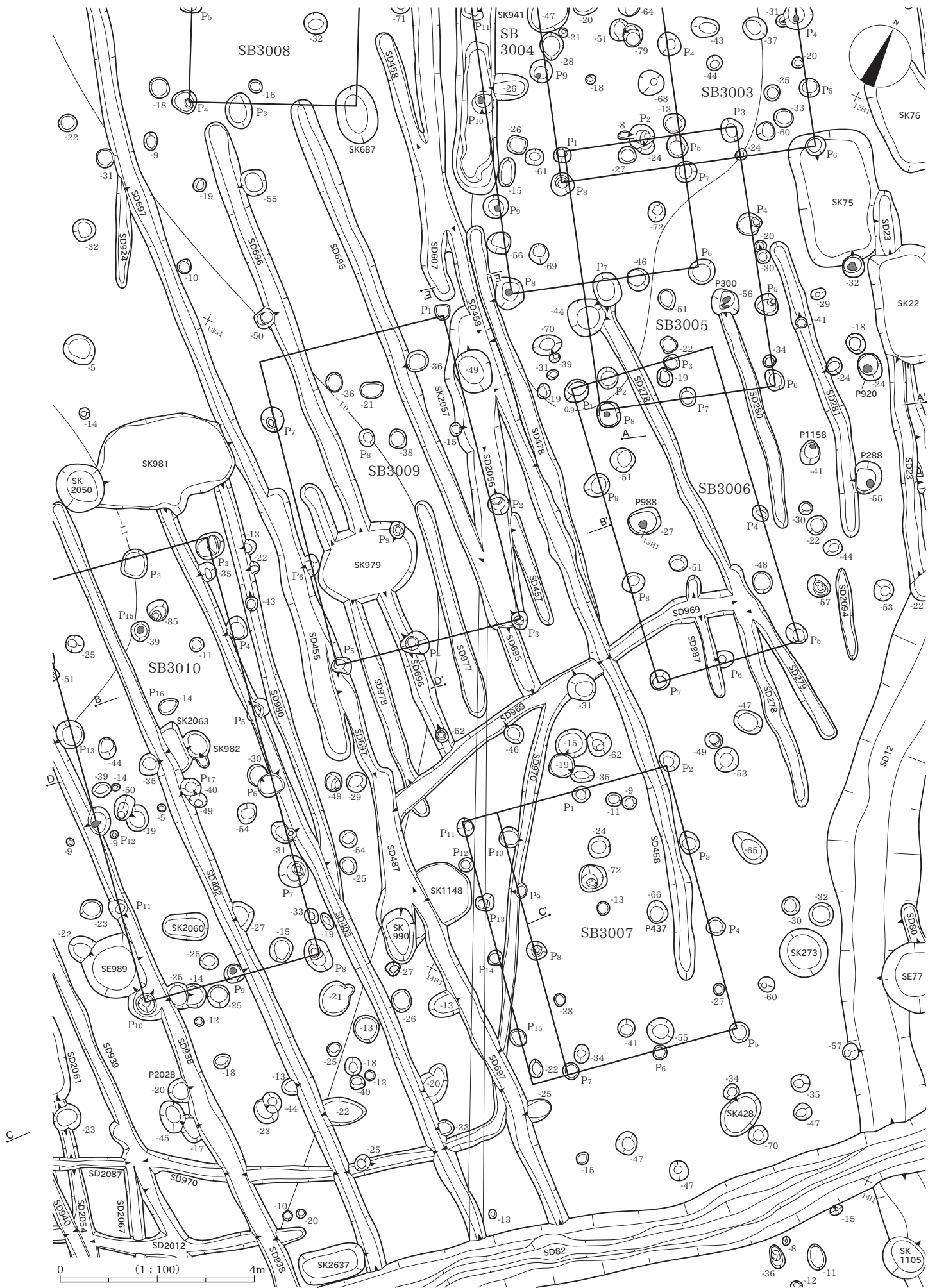




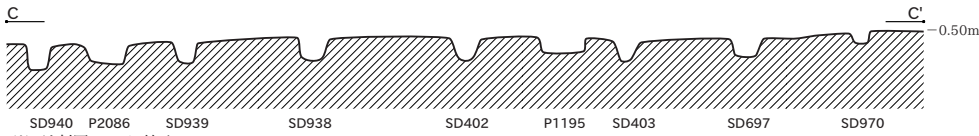
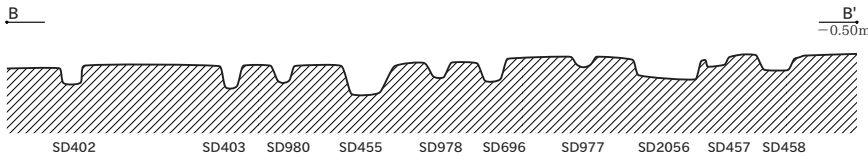
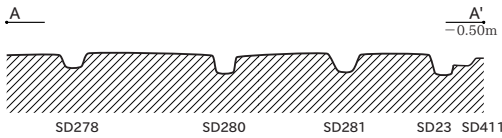




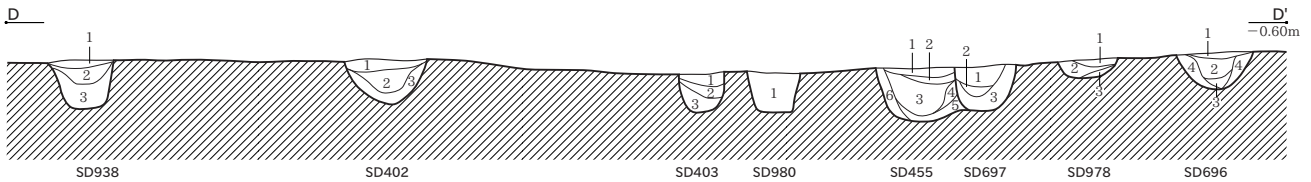
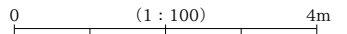




(割図8)



※Cは割図7のCに続く



D-D' (SD402・SD403・SD455・SD696・SD697・SD938・SD978・SD980 割図8)

SD402

- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
- 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
- 3 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。

SD403

- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 2 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 3 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SD455

- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) ガツボ多量、炭化物粒子・黄褐色シルト小塊少量を含む。
- 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量、黄褐色シルト小塊・ガツボ少量を含む。
- 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子・黄褐色シルト小塊・ガツボ少量を含む。
- 4 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子・黄褐色シルト小塊少量を含み、粘性を有する。
- 5 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 6 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SD696

- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子・ガツボ少量を含む。
- 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含む。
- 3 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 4 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SD697

- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
- 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 3 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SD938

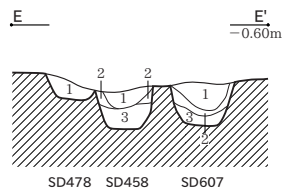
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子中量、灰白色砂少量を含み、粘性を有する。
- 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
- 3 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SD978

- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子・黄褐色シルト小塊少量を含む。
- 2 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 3 におい黄褐色シルト (10YR7/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SD980

- 1 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、中～下位にかけて粘性を増す。



E-E' (SD458・SD478・SD607 割図8)

SD458

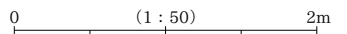
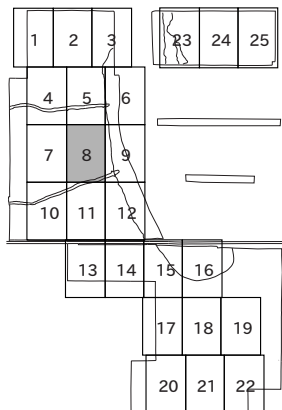
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、やや粘性を有する。
- 2 灰白色シルト (10YR7/2) 炭化物粒子少量を含み、やや粘性を有する。
- 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。

SD478

- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量を含み、やや締まる。

SD607

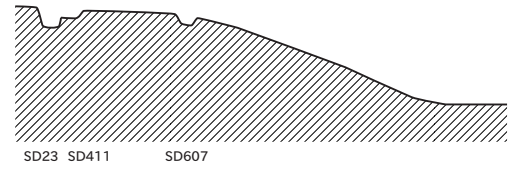
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 3 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。



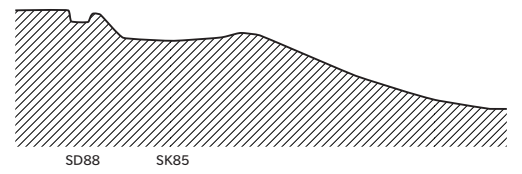


(割図9)

A A'   
 -0.50m

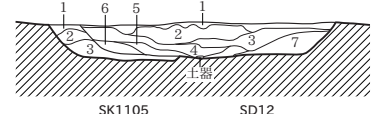


B B'   
 -0.50m



0 (1 : 100) 4m

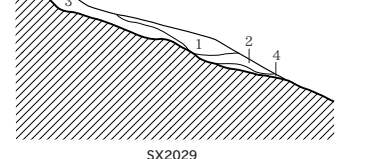
C C'   
 -0.60m



C-C' (SD12・SK1105 割図9)

- SD12**
- 1 黒褐色シルト (10YR2/3) ガツボを含み、粘性に富む。
  - 2 暗褐色粘質土 (7.5YR3/4) ガツボを含み、粘性に富む。
  - 3 暗褐色粘質土 (7.5YR3/3) ガツボを含み、粘性に富む。
  - 4 暗褐色粘質土 (10YR3/3) ガツボを含み、粘性に富む。
  - 5 暗褐色粘質土 (10YR3/3) ガツボ少量を含み、粘性に富む。
  - 6 暗褐色粘質土 (10YR3/4) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 7 黒褐色粘質土 (2.5Y3/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- SK1105**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1~4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。

D D'   
 -0.90m



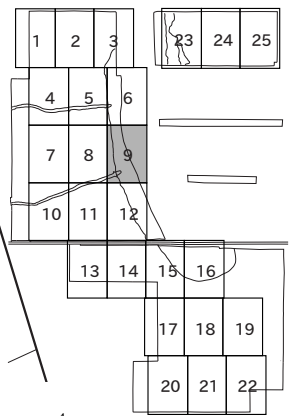
D-D' (SX2029 割図9)

- 1 褐灰色砂質土 (10YR4/1) ガツボ・炭化物粒子・灰白色砂多くを含み、やや粘性を有する。
- 2 褐灰色砂質土 (10YR5/1) 炭化物粒子、灰白色砂少量を含み、やや粘性を有する。
- 3 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。
- 4 明青灰色シルト (5B7/1) 明青灰色シルト主体で、全体に締まる。

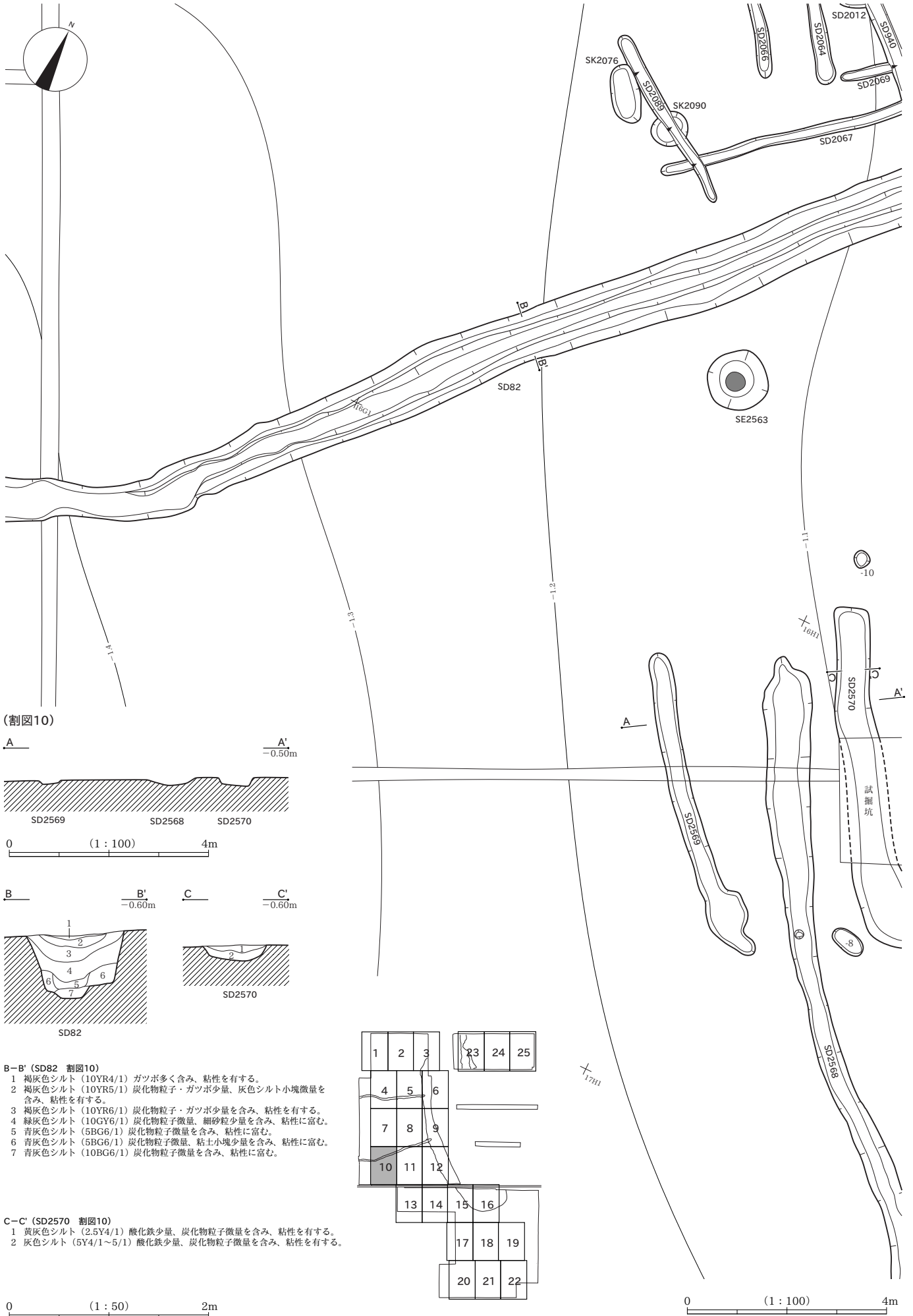
0 (1 : 50) 2m

0 (1 : 100) 4m

旧河川



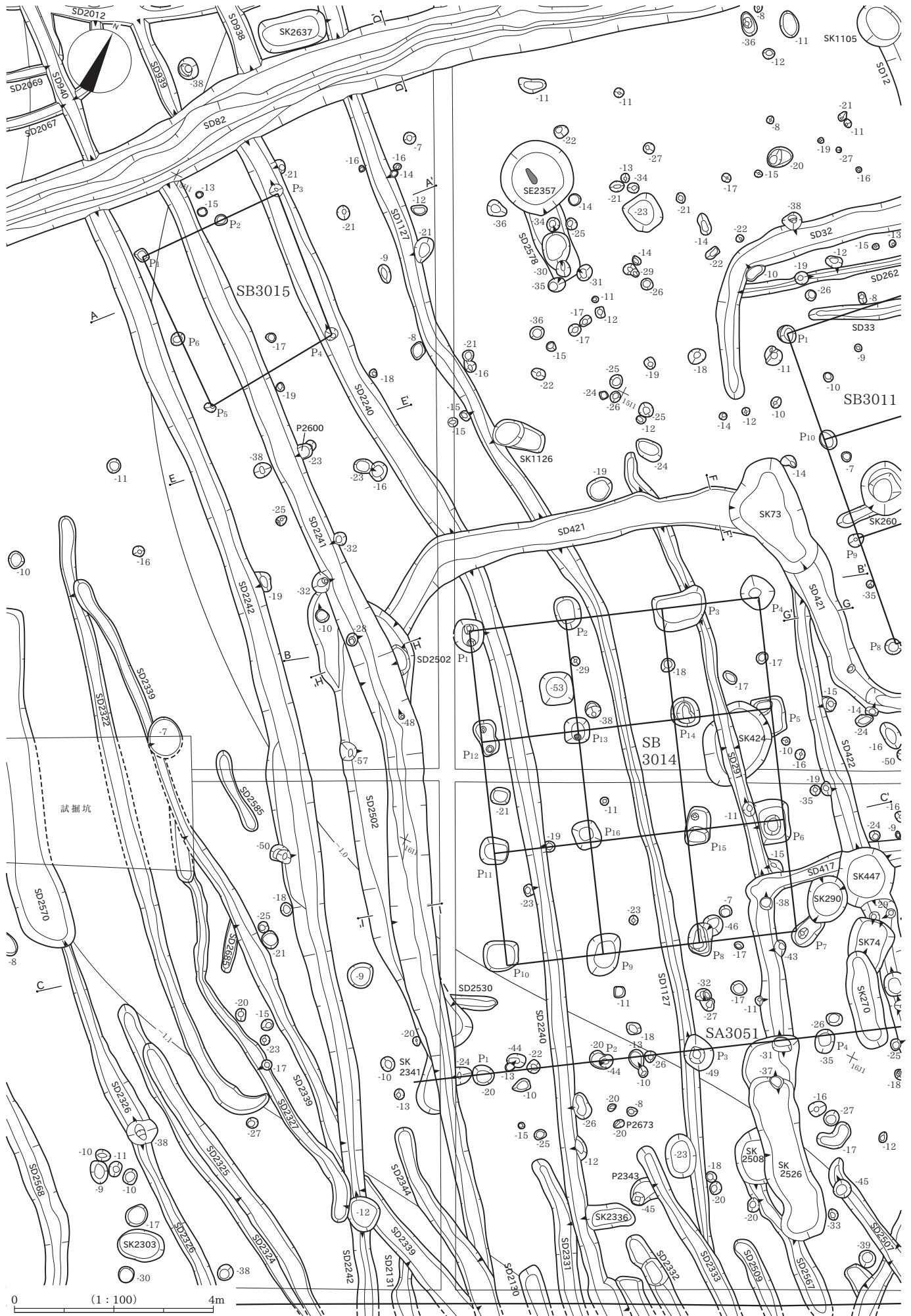




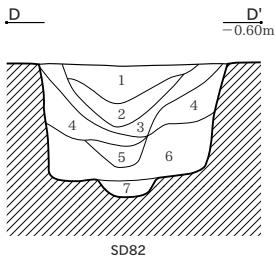
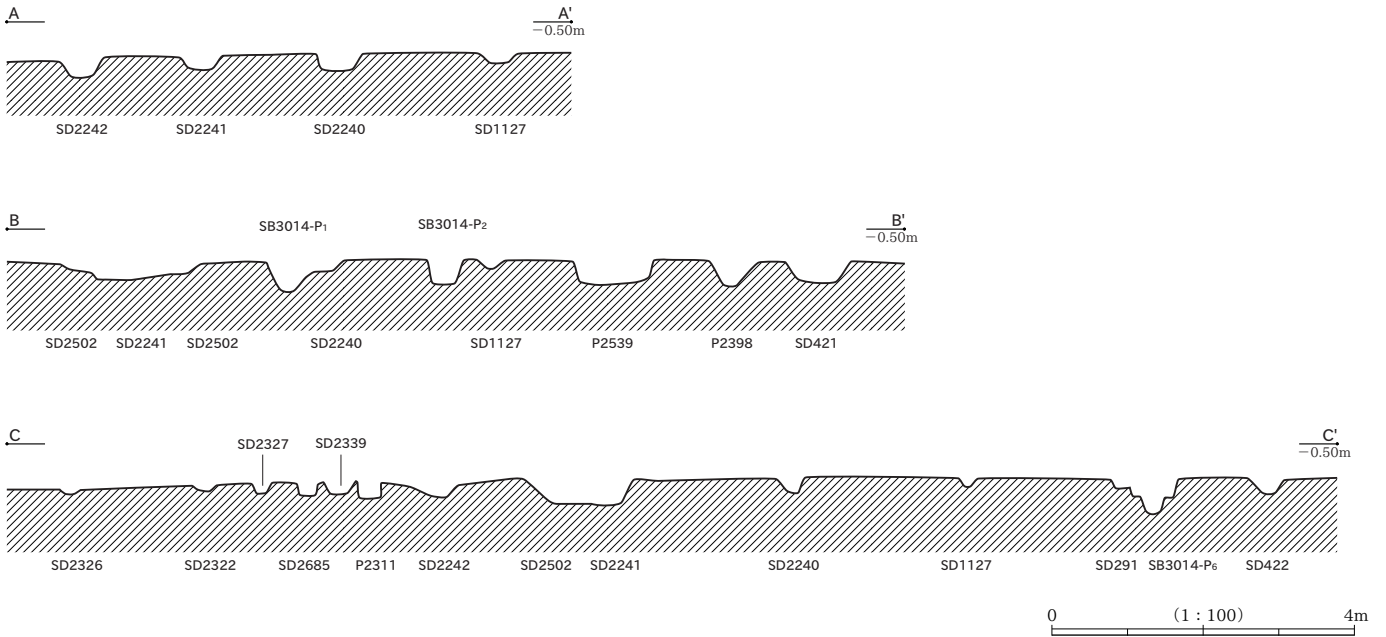
- B-B' (SD82 割図10)
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) ガツボ多く含み、粘性を有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子・ガツボ少量、灰色シルト小塊微量を含み、粘性を有する。
  - 3 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子・ガツボ少量を含み、粘性を有する。
  - 4 緑灰色シルト (10GY6/1) 炭化物粒子微量、細砂粒少量を含み、粘性に富む。
  - 5 青灰色シルト (5BG6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 6 青灰色シルト (5BG6/1) 炭化物粒子微量、粘土小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 7 青灰色シルト (10BG6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

- C-C' (SD2570 割図10)
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

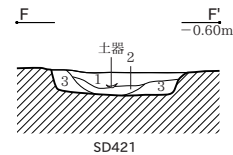




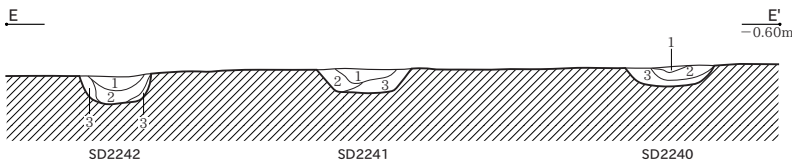
(割図11)



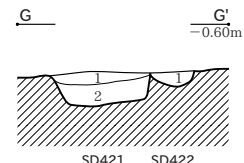
- D-D' (SD82 割図11)**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) ガツボ・酸化鉄・炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。
  - 2 暗灰色粘質土 (N3/0) 酸化鉄少量、炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰白色粘質土 (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 4 灰色シルト (10Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、全体に締まる。
  - 5 灰色シルト (10Y5/1) 炭化物粒子多くを含み、やや締まる。
  - 6 青灰色シルト (5BG6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 7 青灰色シルト (10BG6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。



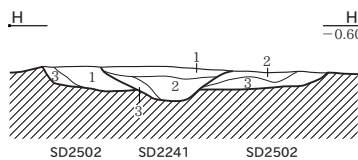
- F-F' (SD421 割図11)**
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 2 オリーブ黒色シルト (5Y3/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。



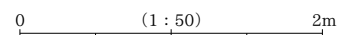
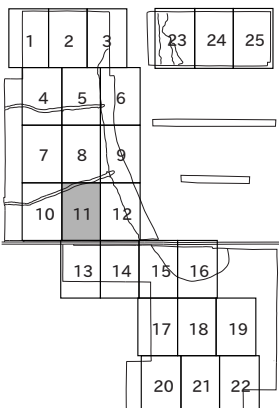
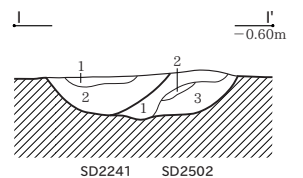
- E-E' (SD2240・SD2241・SD2242 割図11)**
- SD2240**
- 1 オリーブ黒色シルト (5Y3/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 2 オリーブ黒色シルト (5Y3/2) 酸化鉄・ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄・ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- SD2241**
- 1 オリーブ黒色シルト (5Y3/1) 酸化鉄・ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄・ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 3 オリーブ黒色シルト (5Y3/2) 酸化鉄中量、ガツボ少量、炭化物粒子微量を含む。
- SD2242**
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 酸化鉄・ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 2 オリーブ黒色シルト (5Y3/1) 酸化鉄中量、ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄中量、ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。

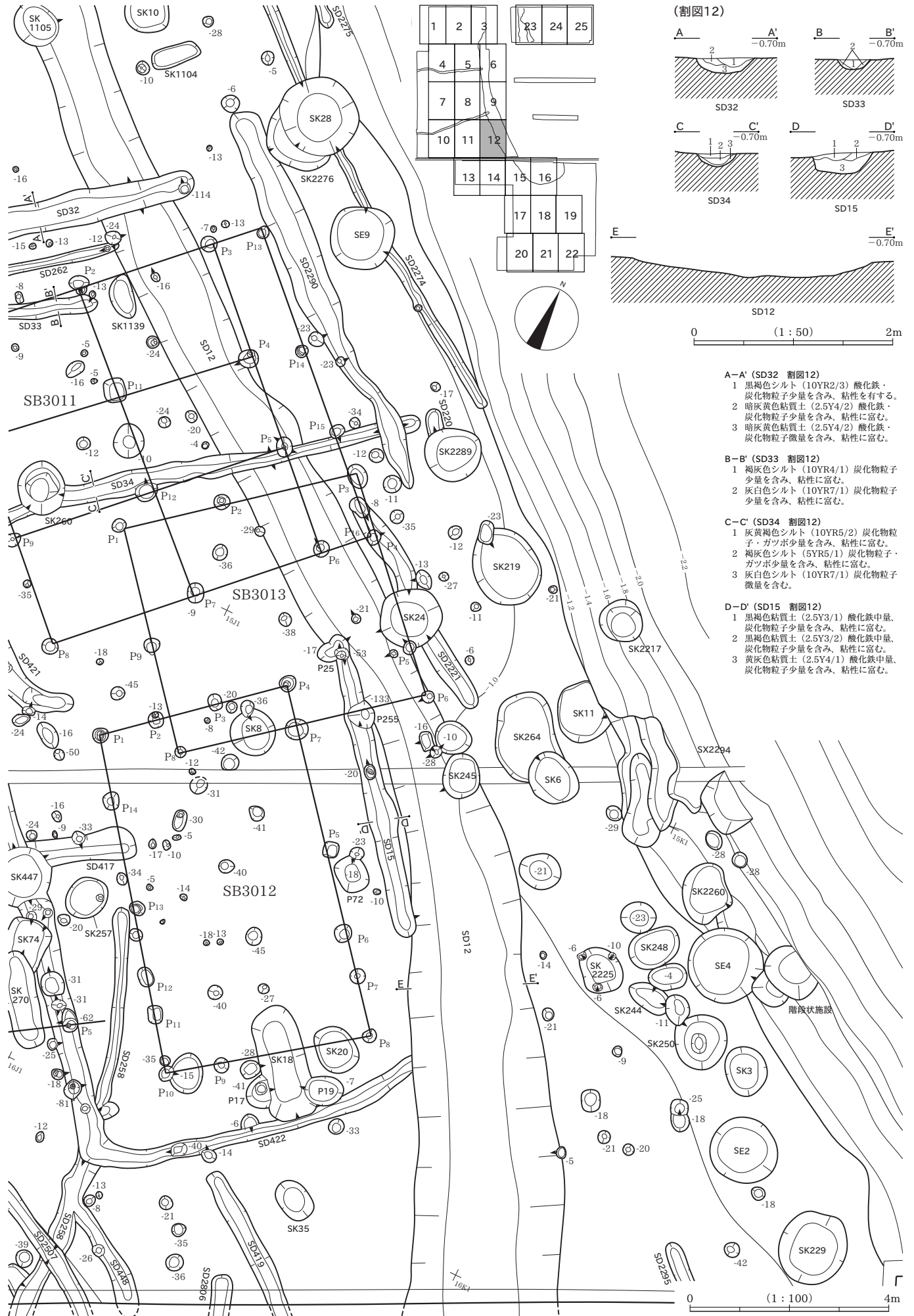


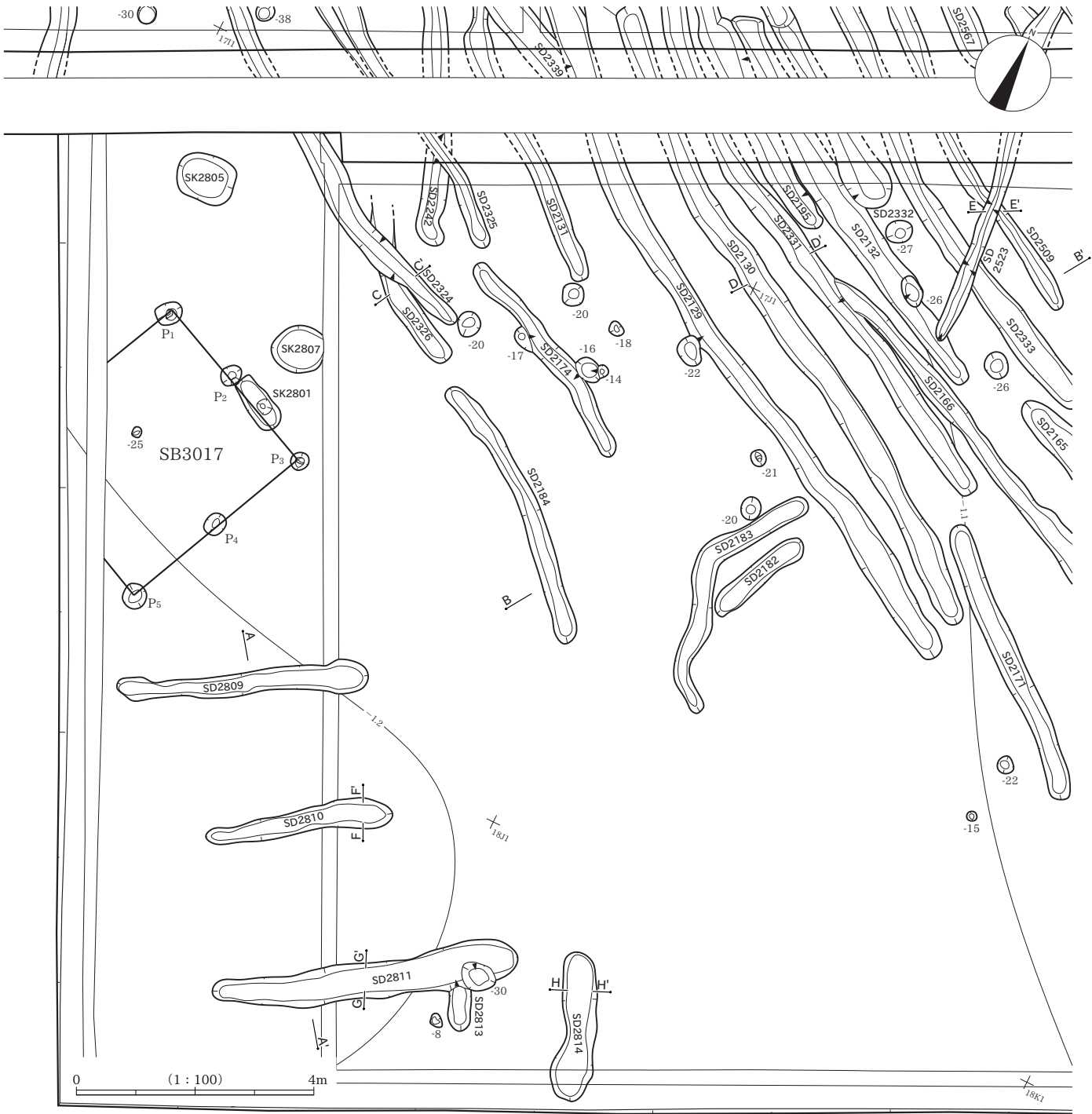
- G-G' (SD421・SD422 割図11)**
- SD421**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- SD422**
- 1 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。



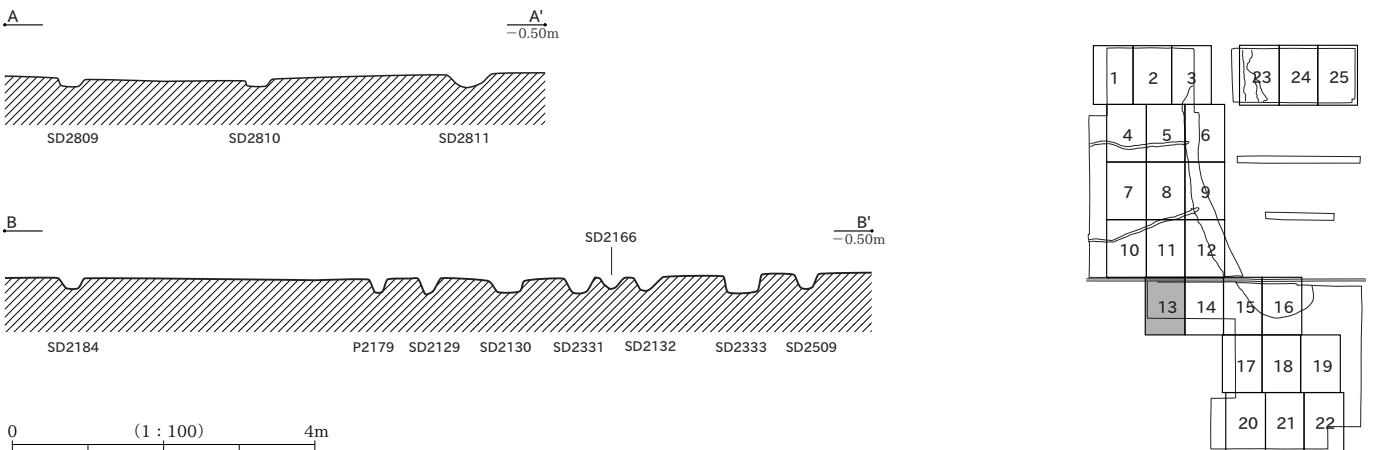
- H-H'・I-I' (SD2241・SD2244 割図11)**
- SD2241**
- 1 オリーブ黒色シルト (5Y3/1) 酸化鉄・ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄中量、ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 3 オリーブ黒色シルト (5Y3/2) 酸化鉄中量、ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- SD2502**
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 酸化鉄・ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 2 オリーブ黒色シルト (5Y4/1) 酸化鉄中量、ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。





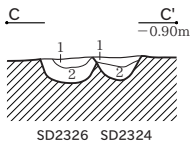


(割図13)



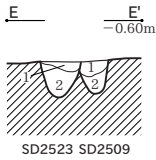


(割図13)



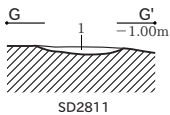
C-C' (SD2324・SD2326 割図13)

- SD2324
- 1 灰色粘質土 (5Y4/1) 酸化鉄・ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色粘質土 (5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- SD2326
- 1 灰色粘質土 (5Y5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色粘質土 (5Y6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。



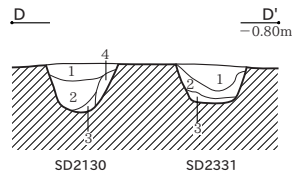
E-E' (SD2509・SD2523 割図13)

- SD2509
- 1 灰色粘質土 (7.5Y6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色粘質土 (7.5Y6/1) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
- SD2523
- 1 灰色粘質土 (5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色粘質土 (5Y6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。



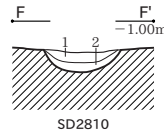
G-G' (SD2811 割図13)

- 1 灰白色シルト (2.5Y7/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。



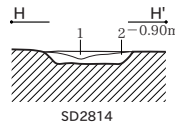
D-D' (SD2130・SD2331 割図13)

- SD2130
- 1 灰色粘質土 (5Y4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色粘質土 (5Y5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰色粘質土 (5Y4/1~5/1) 酸化鉄中量を含み、粘性に富む。
  - 4 灰色粘質土 (5Y6/1~7/1) 酸化鉄中量を含み、粘性に富む。
- SD2331
- 1 オリーブ黒色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、層下位に炭化物粒子集積。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 3 オリーブ黒色シルト (5Y3/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まる。



F-F' (SD2810 割図13)

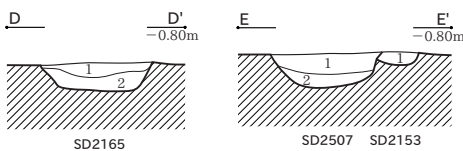
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。



H-H' (SD2814 割図13)

- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y4/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄中量、炭化物微量を含み、粘性を有する。

(割図14)

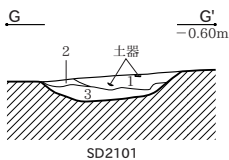


D-D' (SD2165 割図14)

- 1 灰色粘質土 (5Y6/1) 酸化鉄中量、炭化物微量を含み、粘性に富む。
- 2 灰白色粘質土 (5Y7/1) 酸化鉄中量を含み、粘性に富む。

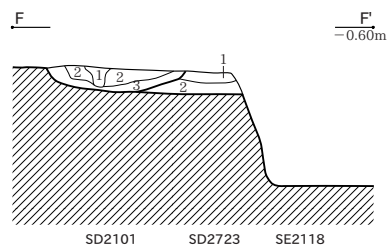
E-E' (SD2153・SD2507 割図14)

- SD2153
- 1 灰色粘質土 (5Y5/1~6/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- SD2507
- 1 灰色粘質土 (5Y5/1~6/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色粘質土 (5Y5/1~6/1) 酸化鉄中量を含み、粘性に富む。



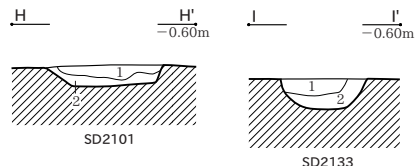
G-G' (SD2101 割図14)

- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 2 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 3 暗灰黄色砂質土 (2.5Y4/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含む。



F-F' (SD2101・SD2723 割図14)

- SD2101
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 暗灰黄色砂質土 (2.5Y4/2) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子少量を含む。
- SD2723
- 1 暗灰褐色シルト (2.5Y4/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

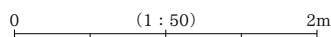


H-H' (SD2101 割図14)

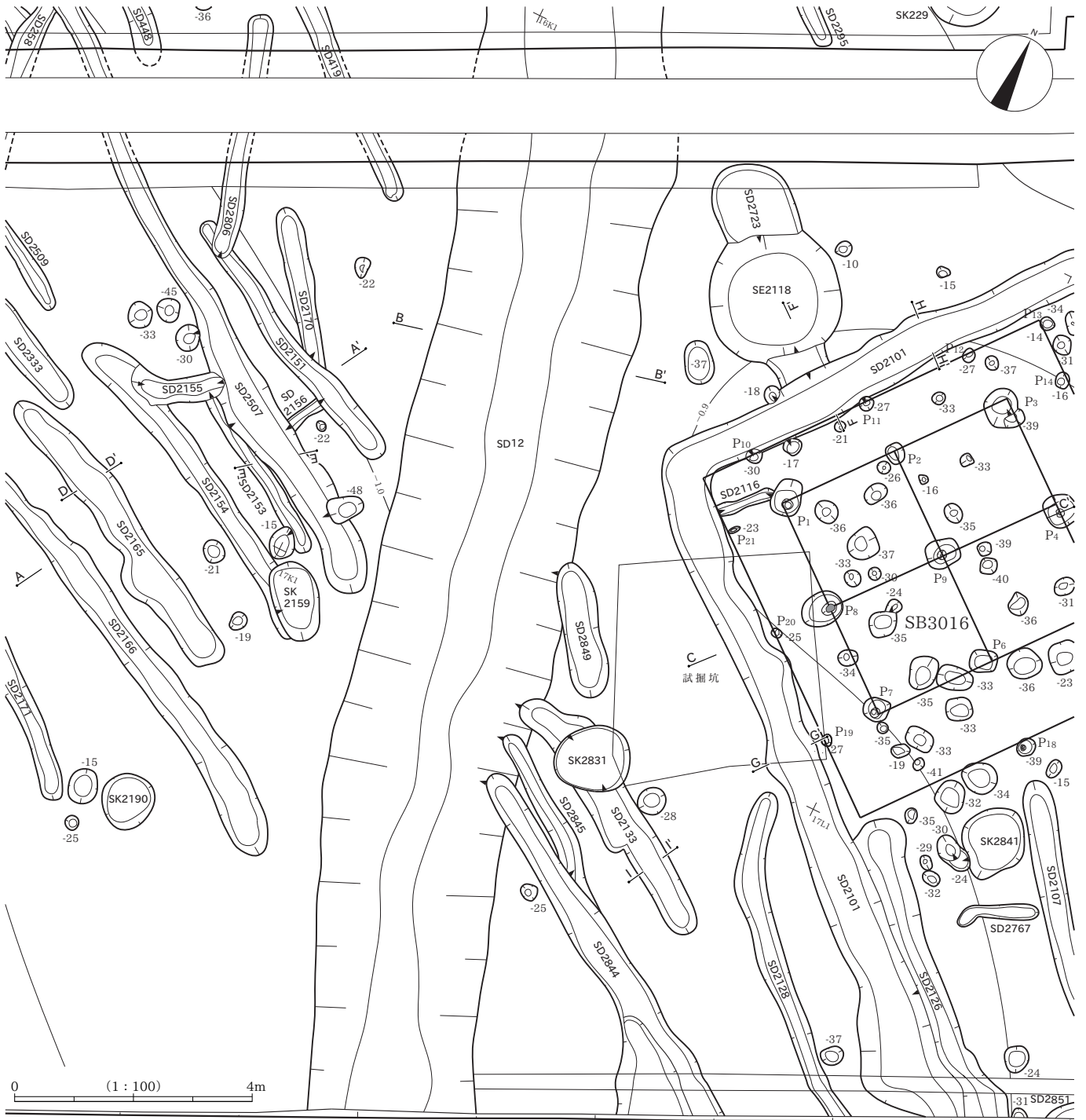
- 1 暗オリーブ褐色シルト (2.5Y3/3) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 2 暗灰黄色砂質土 (2.5Y4/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含む。

I-I' (SD2133 割図14)

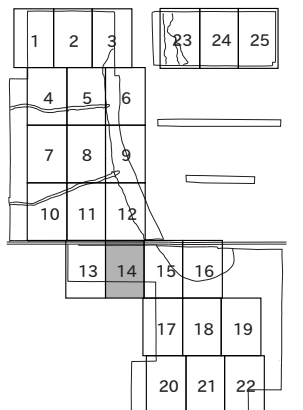
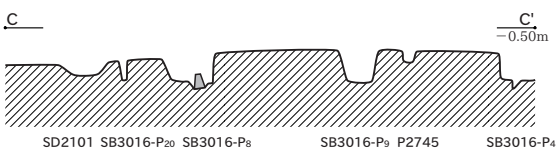
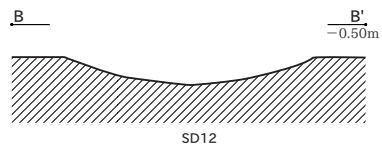
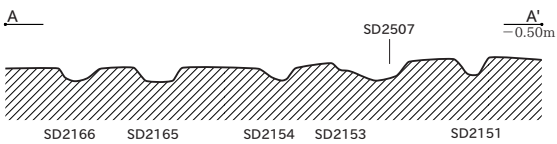
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄やや多く、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。



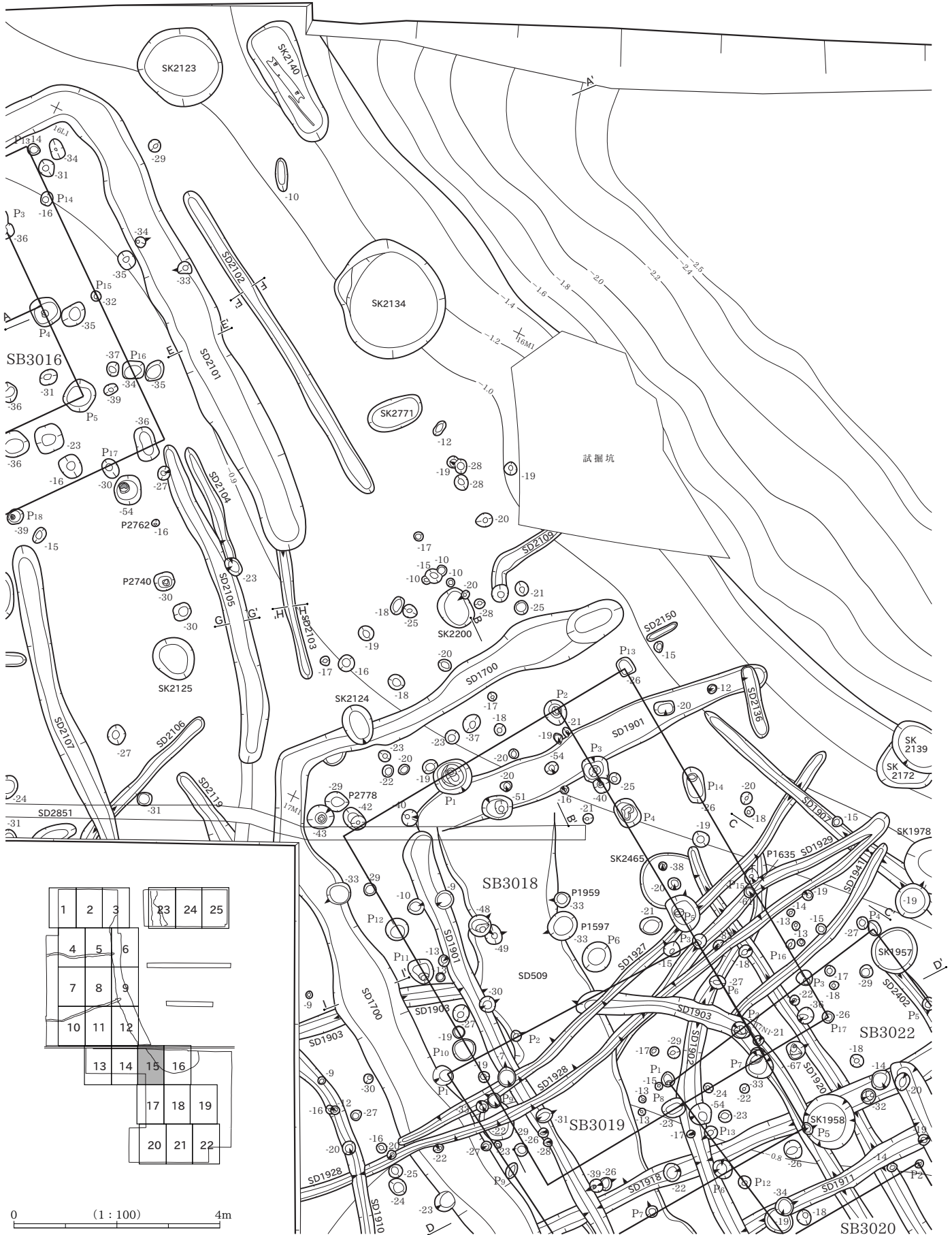




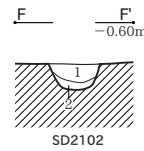
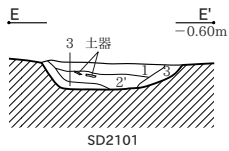
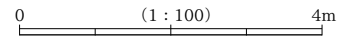
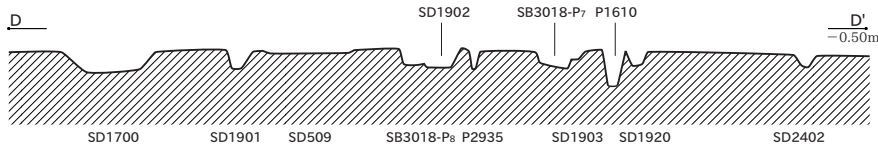
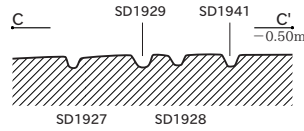
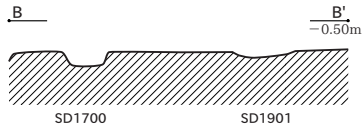
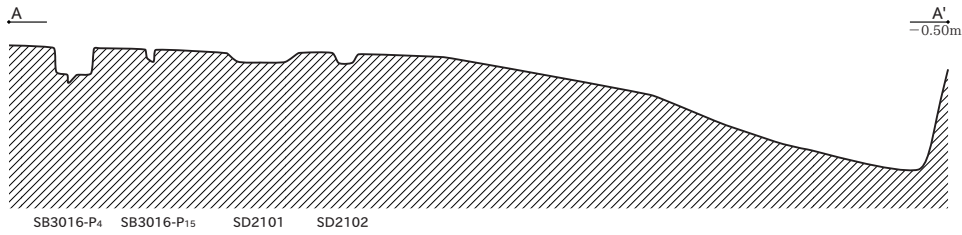
(割図14)



0 (1 : 100) 4m



(割図15)

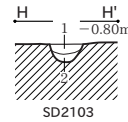
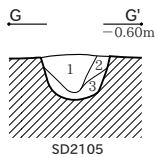


E-E' (SD2101 割図15)

- 1 暗オリーブ褐色シルト (2.5Y3/3) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 2 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 3 暗灰黄色砂質土 (2.5Y4/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、全体に締まる。

F-F' (SD2102 割図15)

- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、全体に締まる。
- 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 酸化鉄やや多く含み、粘性を有する。

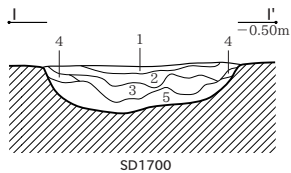


G-G' (SD2105 割図15)

- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まり有する。
- 2 灰白色シルト (2.5Y7/1) 酸化鉄少量を含み、粘性・締まり有する。
- 3 灰白色シルト (2.5Y7/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや粘性を有する。

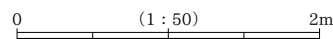
H-H' (SD2103 割図15)

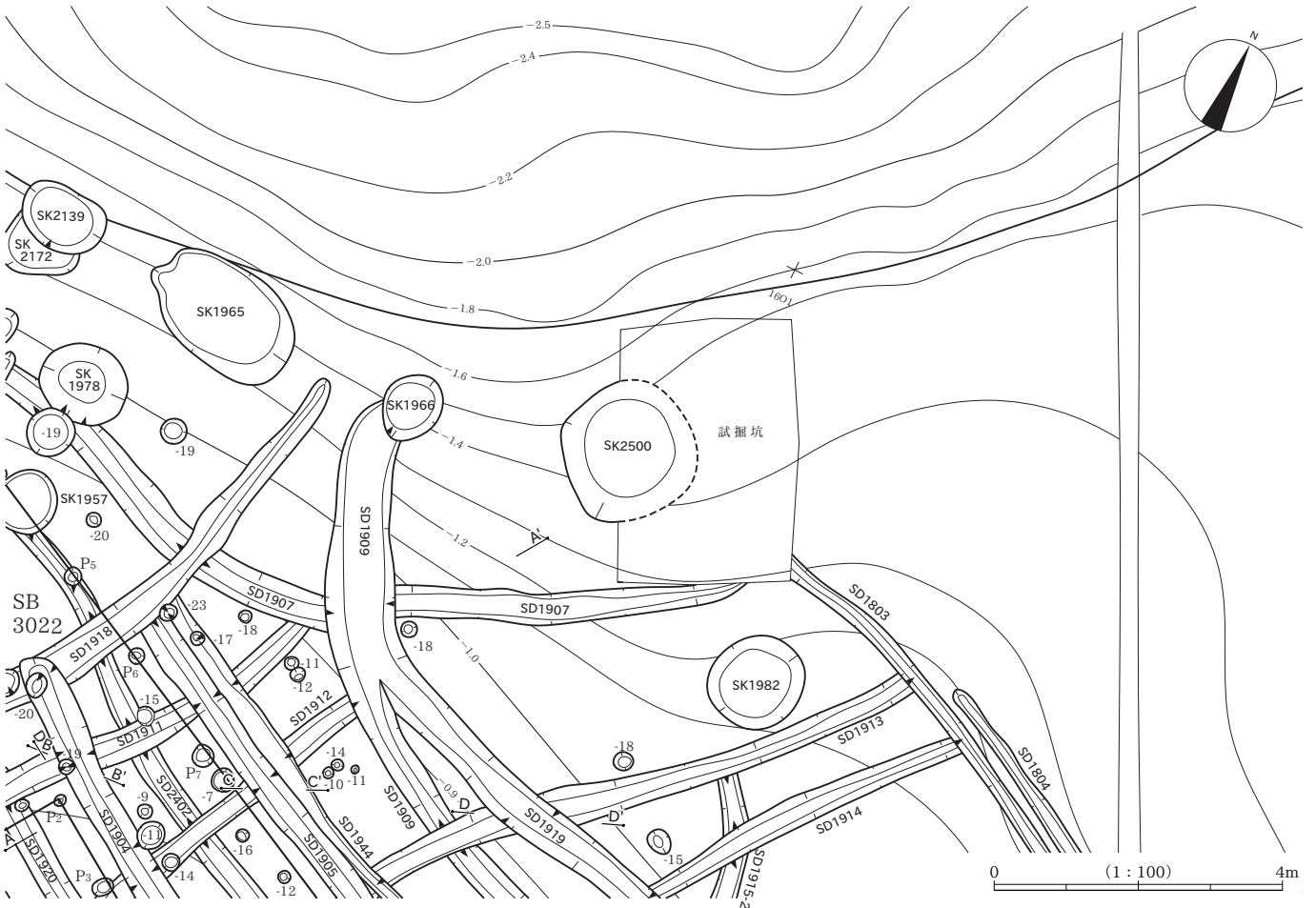
- 1 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄やや多く含み、粘性・締まり有する。



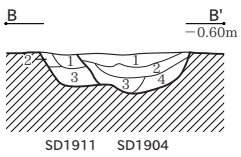
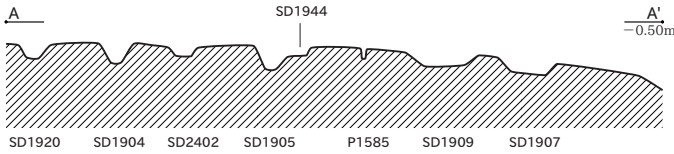
I-I' (SD1700 割図15)

- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 2 黒褐色シルト (10YR3/1) 1層に近似するが、灰白色細砂少量を含む。
- 3 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、全体に締まり有する。
- 4 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 灰黄色シルト小塊を含み、粘性・締まりに欠ける。
- 5 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりに欠ける。





(割図16)



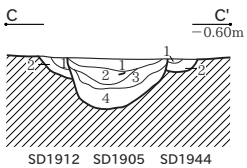
B-B' (SD1904・SD1911 割図16)

SD1904

- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- 2 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性をやや有する。
- 3 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 炭化物粒子少量を含み、締まりに欠ける。
- 4 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。

SD1911

- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子・黒褐色粒子微量を含み、粘性・締まりとも有する。
- 2 黒褐色シルト (10YR3/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性をやや有する。
- 3 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 炭化物粒子微量、鉄少量含む。粘性・締まりとも弱い。



C-C' (SD1905・SD1912・SD1944 割図16)

SD1905

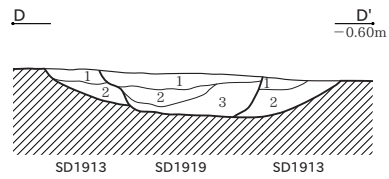
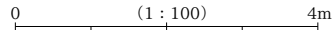
- 1 黒褐色シルト (10YR3/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- 2 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- 3 黒褐色シルト (10YR3/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性をやや有する。
- 4 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。

SD1912

- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。

SD1944

- 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりやや有する。
- 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。



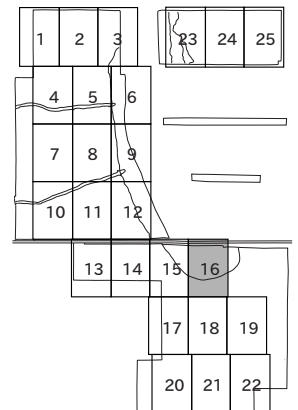
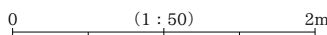
D-D' (SD1913・SD1919 割図16)

SD1913

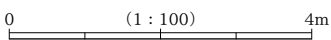
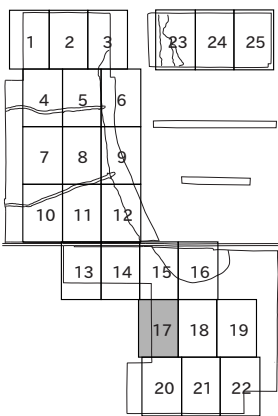
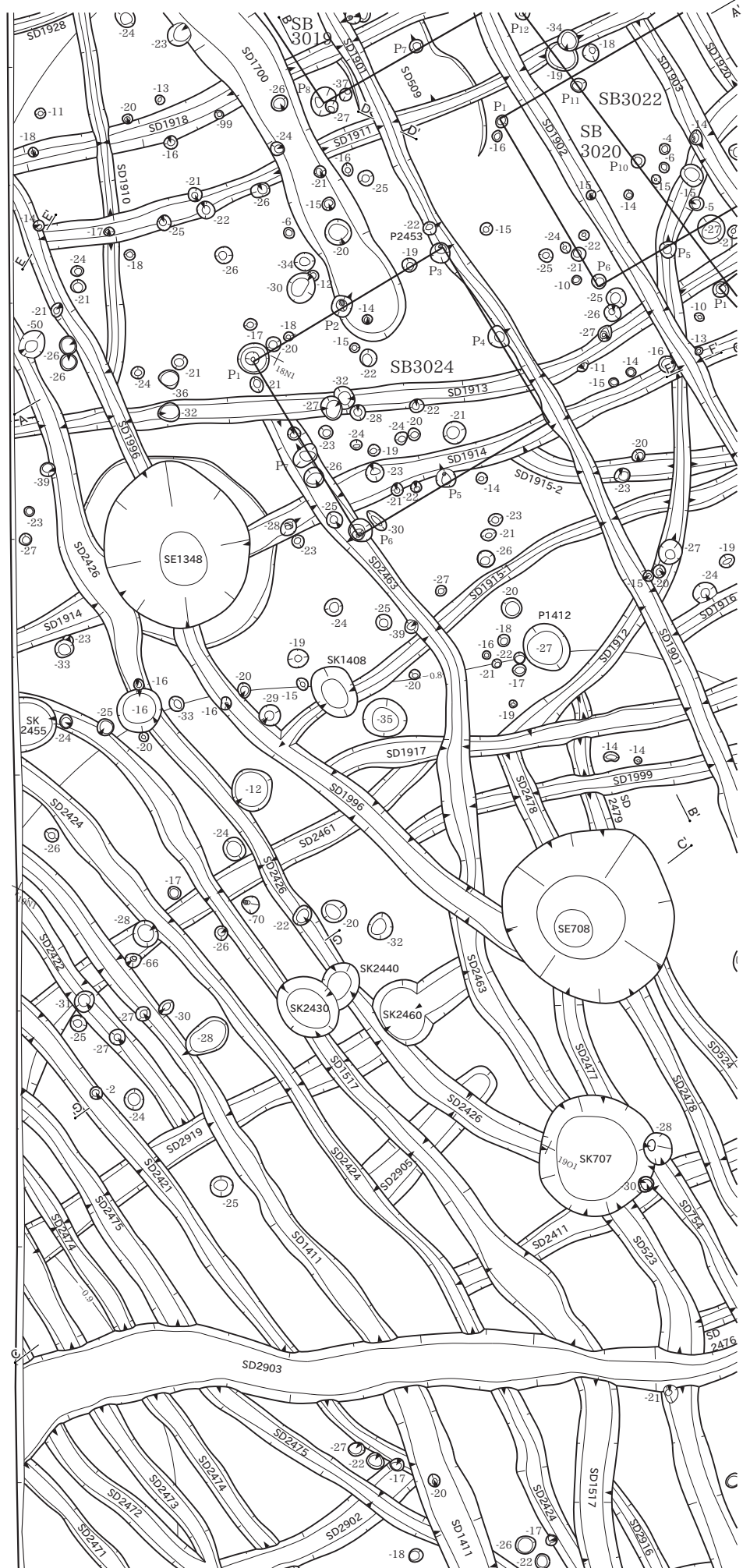
- 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも有する。
- 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも有する。

SD1919

- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも有する。
- 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも有する。
- 3 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、2層に比し粘性やや増。

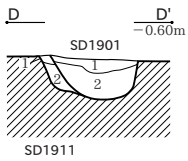
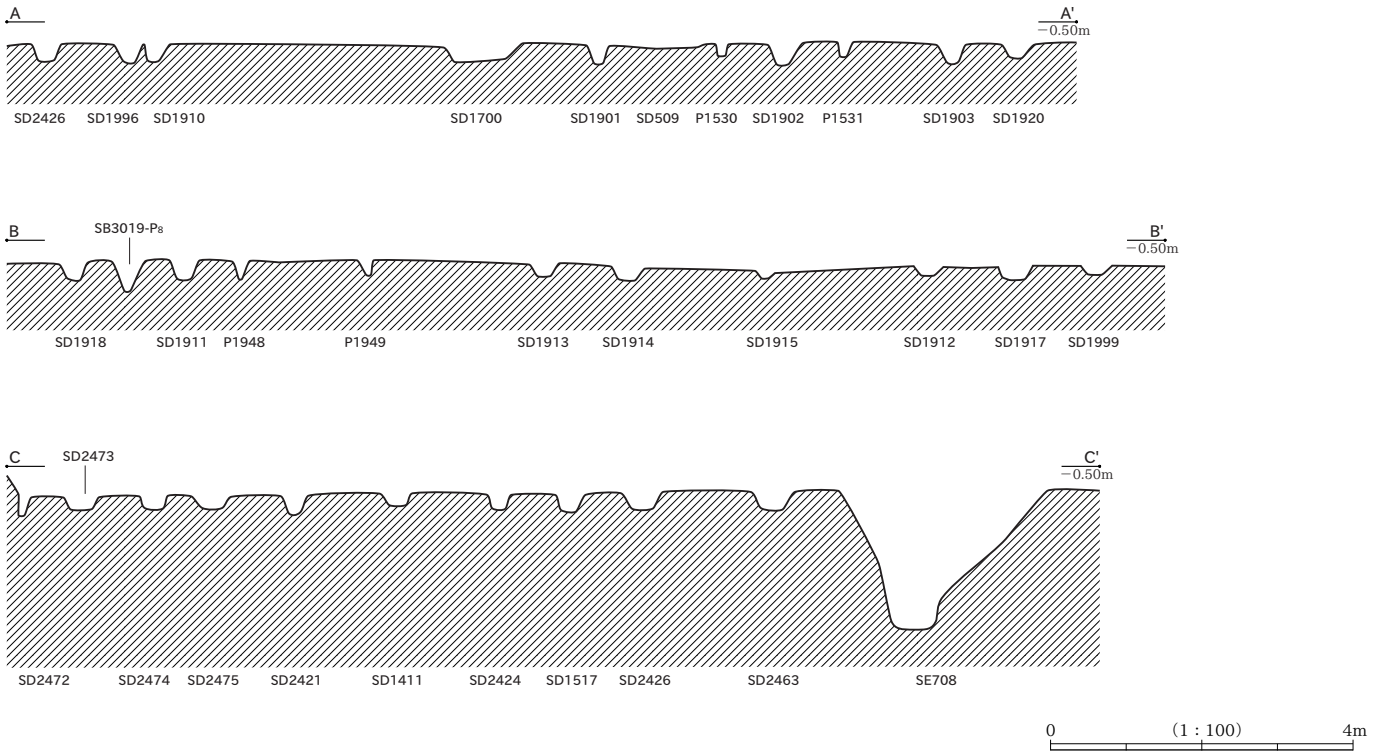






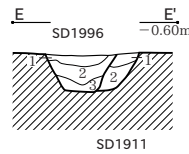


(割図17)



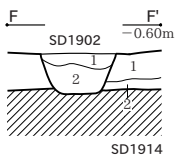
D-D' (SD1901・SD1911 割図17)

- SD1901**
- 1 褐色シルト (10YR4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性やや有する。
  - 2 灰色シルト (7.5Y4/1) 層上位に酸化鉄集積、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- SD1911**
- 1 褐色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・黒褐色シルト小塊少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 褐色シルト (10YR4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。



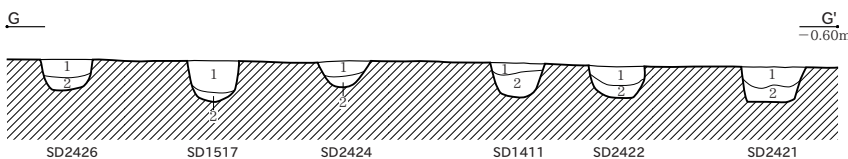
E-E' (SD1911・SD1996 割図17)

- SD1911**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性やや有する。
- SD1996**
- 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 3 灰黄色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性やや有する。



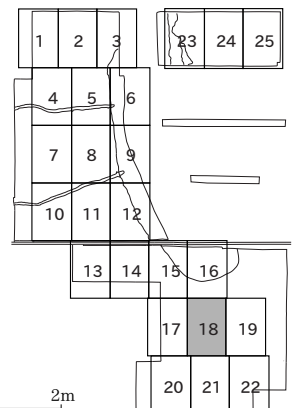
F-F' (SD1902・SD1914 割図17)

- SD1902**
- 1 褐色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりに欠ける。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- SD1914**
- 1 褐色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 黒褐色シルト (10YR3/2) 酸化鉄多く、炭化物粒子少量を含み、粘性やや有する。



G-G' (SD1411・SD1517・SD2421・SD2422・SD2424・SD2426 割図17)

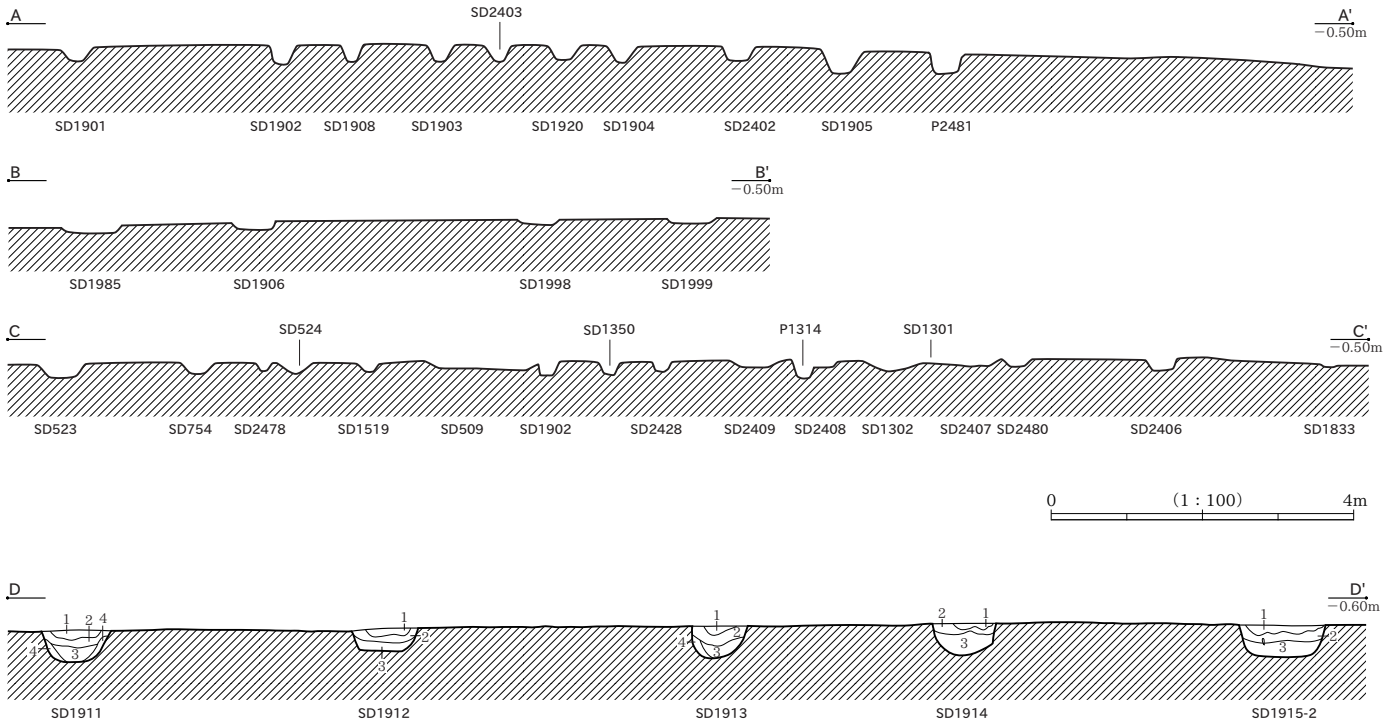
- 1 褐色シルト (10YR4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- ※上記遺構の覆土は共通する。



(1 : 50) 2m



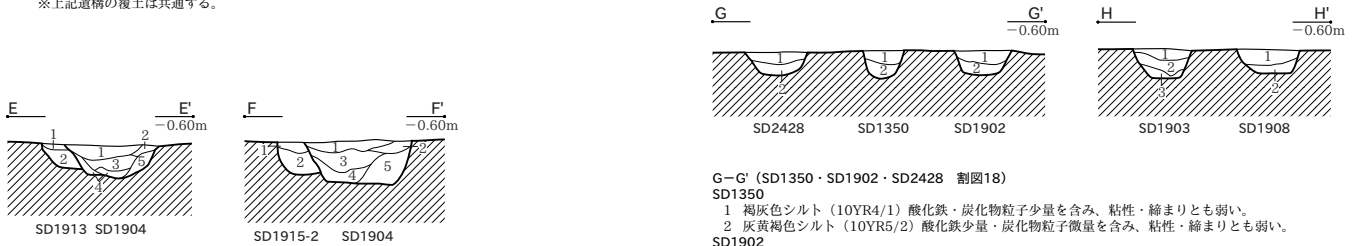
(割図18)



※Dは割図16のDに続く

D-D' (SD1911・SD1912・SD1913・SD1914・SD1915 割図18)

- 1 黒褐色シルト (10YR3/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄中央に顕著、炭化物粒子・黒褐色シルト小塊少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 3 黒褐色シルト (10YR3/2) 上面に酸化鉄集積、炭化物粒子少量を含み、粘性・締まり弱い。
  - 4 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子・黒褐色シルト少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- ※上記遺構の覆土は共通する。

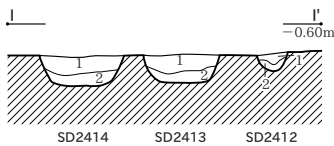


E-E' (SD1904・SD1913 割図18)

- SD1904**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性やや有する。
  - 3 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性やや有する。
  - 4 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりに欠ける。
  - 5 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりに欠ける。
- SD1913**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性・締まり弱い。
  - 2 黒褐色シルト (10YR3/2) 炭化材少量、鉄少量含む。1層に比べ粘性やや増す。。

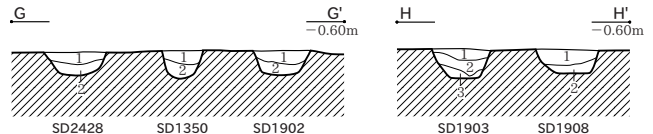
F-F' (SD1904・SD1915 割図18)

- SD1904**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性やや有する。
  - 3 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性やや有する。
  - 4 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 5 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- SD1915**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 黒褐色シルト (10YR3/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性やや有する。



I-I' (SD2414・SD2413・SD2412 割図18)

- SD2414**
- 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性やや有する。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性・締まり弱い。
- SD2413**
- 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子・黒褐色シルト小塊微量を含み、粘性やや有する。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性・締まり弱い。
- SD2412**
- 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子・黒褐色シルト小塊微量を含み、粘性やや有する。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性・締まり弱い。

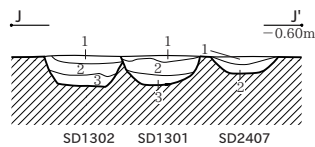


G-G' (SD1350・SD1902・SD2428 割図18)

- SD1350**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- SD1902**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- SD2428**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。

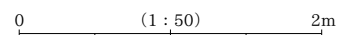
H-H' (SD1903・SD1908 割図18)

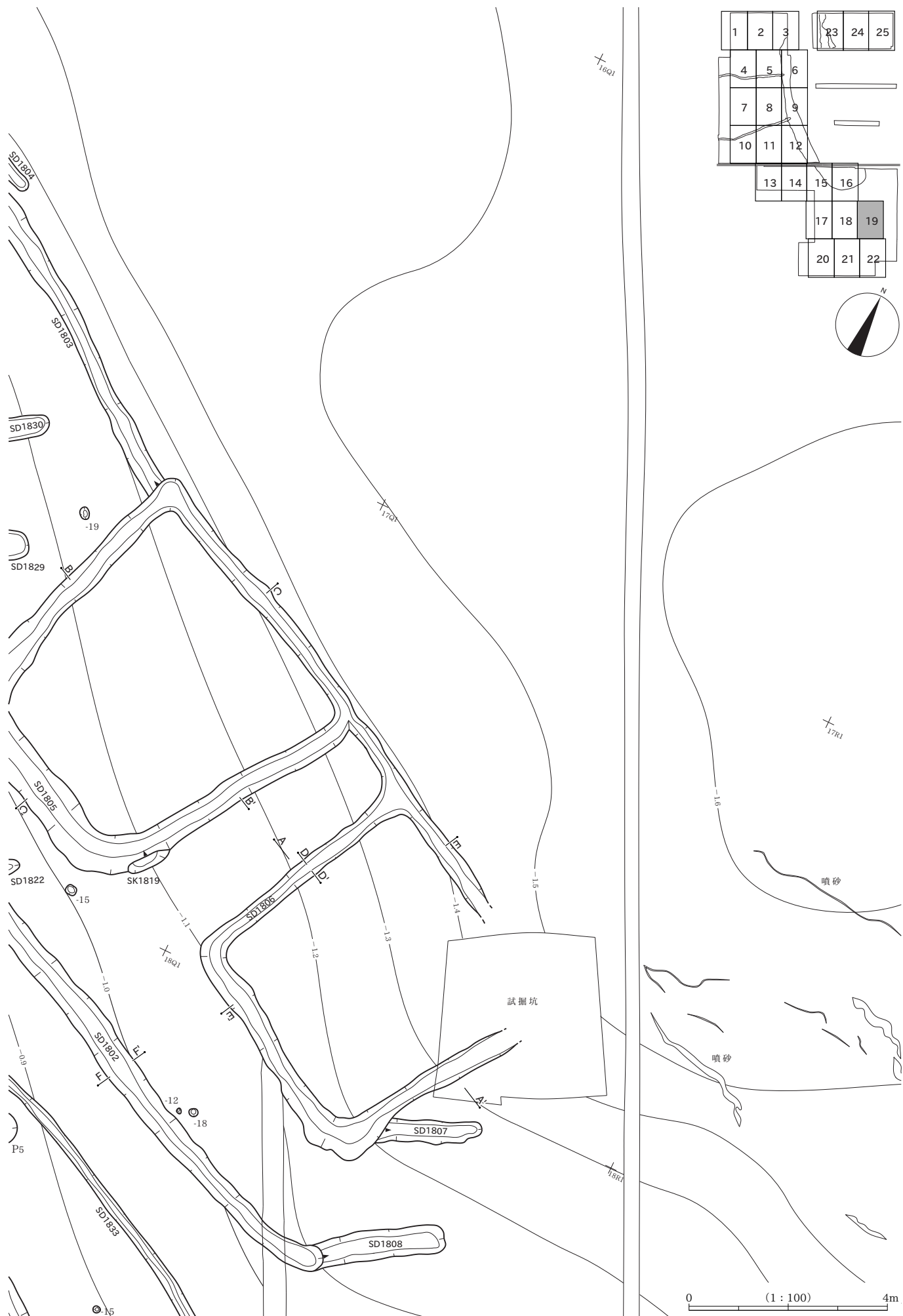
- SD1903**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子・黒褐色シルト少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性・締まり弱い。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子・褐灰色シルト微量を含み、粘性・締まり弱い。
- SD1908**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まり弱い。



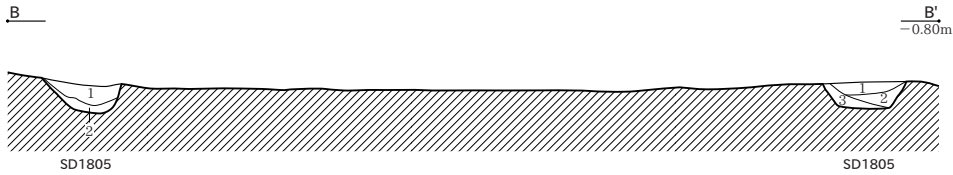
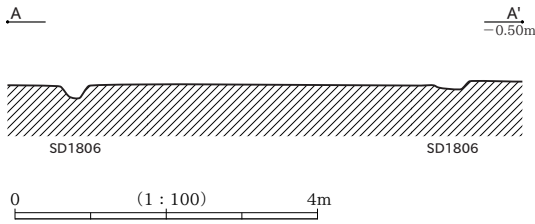
J-J' (SD1301・SD1302・SD1903 割図18)

- SD1301**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子・灰白色シルト微量を含み、粘性・締まり弱い。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性・締まり弱い。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- SD1302**
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄・灰白色シルト微量、炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 層上位に酸化鉄集積し、炭化物粒子・黒褐色シルト微量を含み、粘性やや有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まり弱い。
- SD2407**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子・黒褐色シルト小塊少量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子・黒褐色シルト小塊微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子・褐灰色シルト微量を含み、粘性・締まりとも弱い。



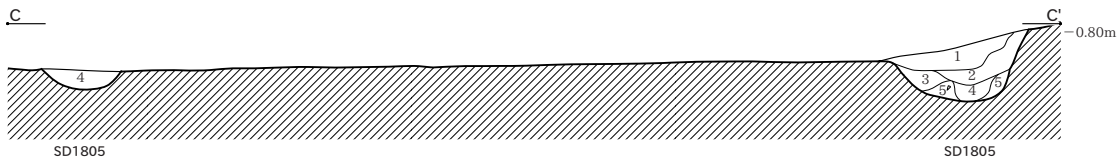


(割図19)



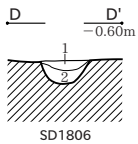
B-B' (SD1805 割図19)

- 1 灰色シルト (N6/1) ガツボ顕著、炭化物粒子・灰白色砂小塊少量を含み、粘性を有する。
- 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量、灰色粘土小塊少量を含み、粘性に富む。
- 3 青灰色シルト (5BG6/1) 炭化物粒子・青灰色粘土小塊微量、青灰色砂やや多く含み、粘性に富む。



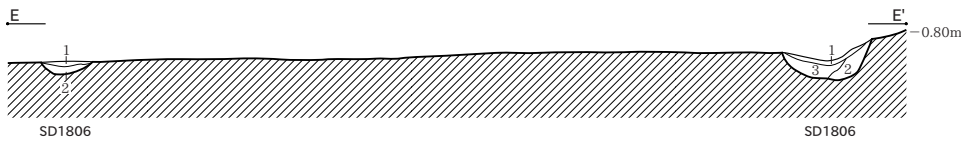
C-C' (SD1805 割図19)

- 1 灰色シルト (N5/1~6/1) ガツボ・炭化物粒子・灰白色砂少量を含み、粘性に富む。
- 2 灰色シルト (N6/1) ガツボ顕著、炭化物粒子・灰白色砂小塊少量を含み、粘性を有する。
- 3 灰白色シルト (5Y7/1) 灰白色粘土小塊・青灰色砂少量を含み、粘性に富む。
- 4 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子・灰色粘土小塊少量を含み、粘性に富む。
- 5 青灰色シルト (5BG6/1) 炭化物粒子・青灰色粘土小塊微量、青灰色砂やや多く含み、粘性に富む。



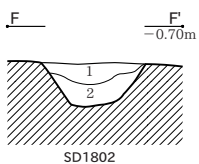
D-D' (SD1806 割図19)

- 1 灰色シルト (N6/1) ガツボ顕著、炭化物粒子・灰白色砂小塊少量を含み、粘性を有する。
- 2 青灰色シルト (5BG6/1) 炭化物粒子・青灰色粘土小塊微量、青灰色砂やや多く含み、粘性に富む。



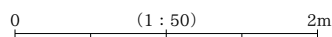
E-E' (SD1806 割図19)

- 1 灰色シルト (N6/1) ガツボ顕著、炭化物粒子・灰白色砂小塊少量を含み、粘性を有する。
- 2 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子・灰色粘土小塊少量を含み、粘性に富む。
- 3 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子・灰色粘土小塊少量、灰白色砂中量を含み、粘性に富む。

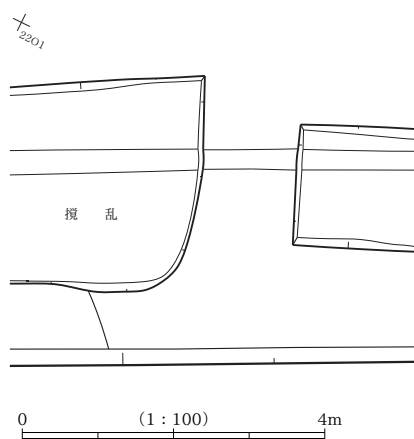


F-F' (SD1802 割図19)

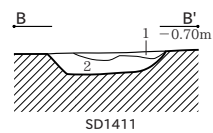
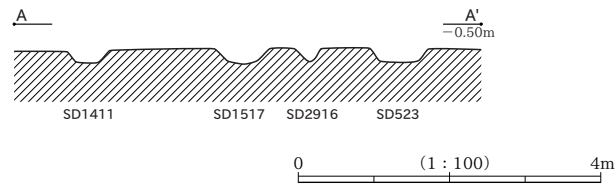
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量、灰色粘土小塊少量を斑紋状に含み、やや締まる。
- 2 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子少量、灰色粘土小塊微量を斑紋状に含み、やや締まる。



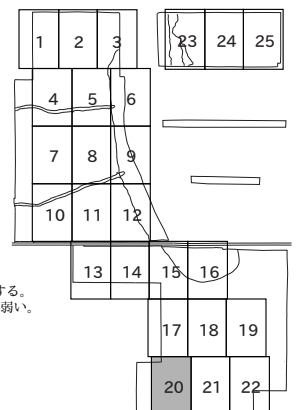




(割図20)

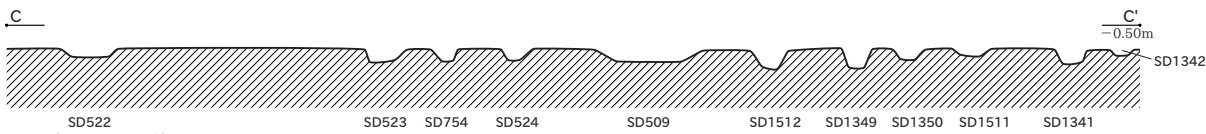
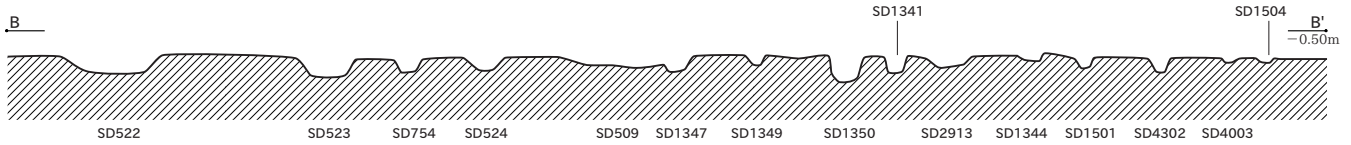
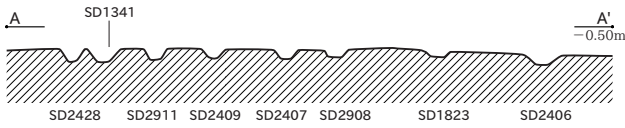


B-B' (SD1411 割図20)  
 1 黒褐色シルト (10YR3/2) 炭化物粒子微量を含み、締まり有する。  
 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物粒子少量を含み、締まりやや弱い。

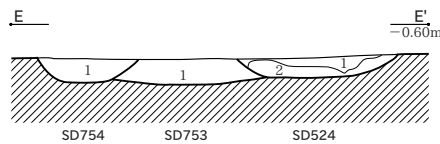
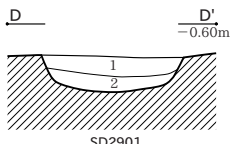
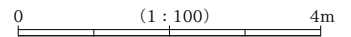




(割図21)



※C'は割図22のC'に続く

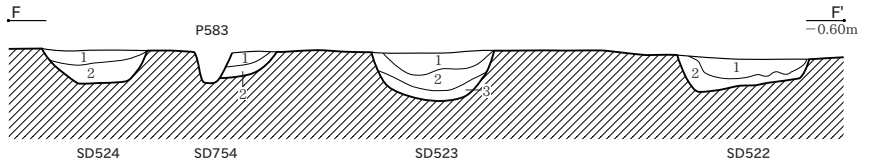


D-D' (SD2901 割図21)

- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・黒褐色シルト少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりとも弱い。
- 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・黒褐色シルト少量、炭化物粒子微量を含み、粘性やや有する。

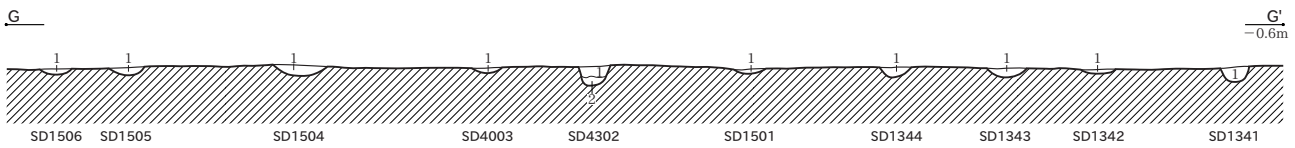
E-E' (SD524・SD753・SD754 割図21)

- SD524**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 1層に近似するが、締まりやや弱い。
- SD753**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。
- SD754**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。



F-F' (SD522・SD523・SD524・SD754 割図21)

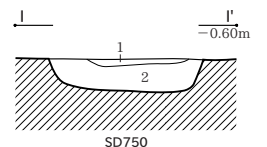
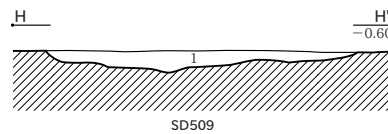
- SD522**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まり有する。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性やや有する。
- SD523**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まり有する。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性やや有する。
  - 3 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 砂粒少量を含み、締まりやや増す。
- SD524**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子中量を含み、全体に締まる。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- SD754**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子中量を含み、粘性・締まり有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子中量を含み、やや粘性を有する。



※Gは割図22のGに続く

G-G' (SD1341・SD1342・SD1343・SD1344・SD1501・SD1504・SD1505・SD1506・SD4002・SD4003 割図21)

- SD1341**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・炭化物粒子・暗灰褐色シルト小塊少量を含み、全体に締まる。
- SD1342**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子・暗灰黄色シルト小塊微量を含み、全体に締まる。
- SD1343**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・炭化物粒子・暗灰黄色シルト小塊少量を含み、全体に締まる。
- SD1344**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子中量、暗灰黄色シルト小塊少量を含み、全体に締まる。
- SD1501**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子・黄灰色シルト小塊少量を含み、全体に締まる。
- SD1504**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子・黄灰色シルト小塊少量を含み、全体に締まる。
- SD1505**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄部分的に集積し、炭化物粒子・暗灰黄色シルト小塊少量を含み、粘性・締まりを有する。
- SD1506**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性・締まり有する。
- SD4302**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子・黄灰色シルト小塊少量を含み、粘性を有する。
- SD4003**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、全体に締まり有する。

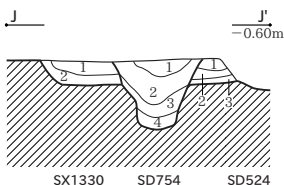


H-H' (SD509 割図21)

- 1 暗褐色シルト (10YR3/3) 酸化鉄・炭化物粒子を含み、締まりを有する。

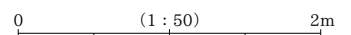
I-I' (SD750 割図21)

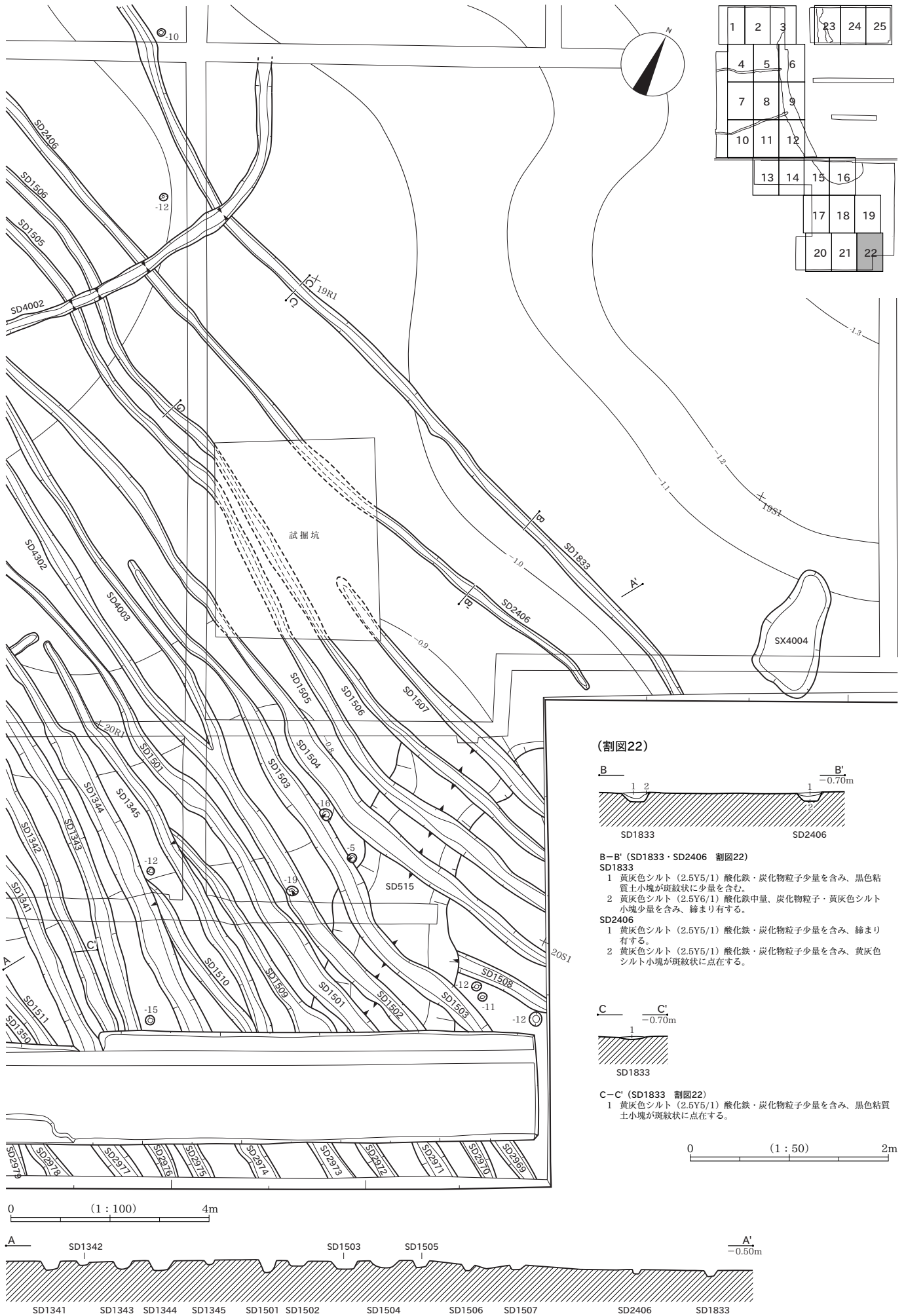
- 1 黒褐色シルト (10YR3/2) 締まりを有する。
- 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子少量を含む



J-J' (SD754・SX1330 割図21)

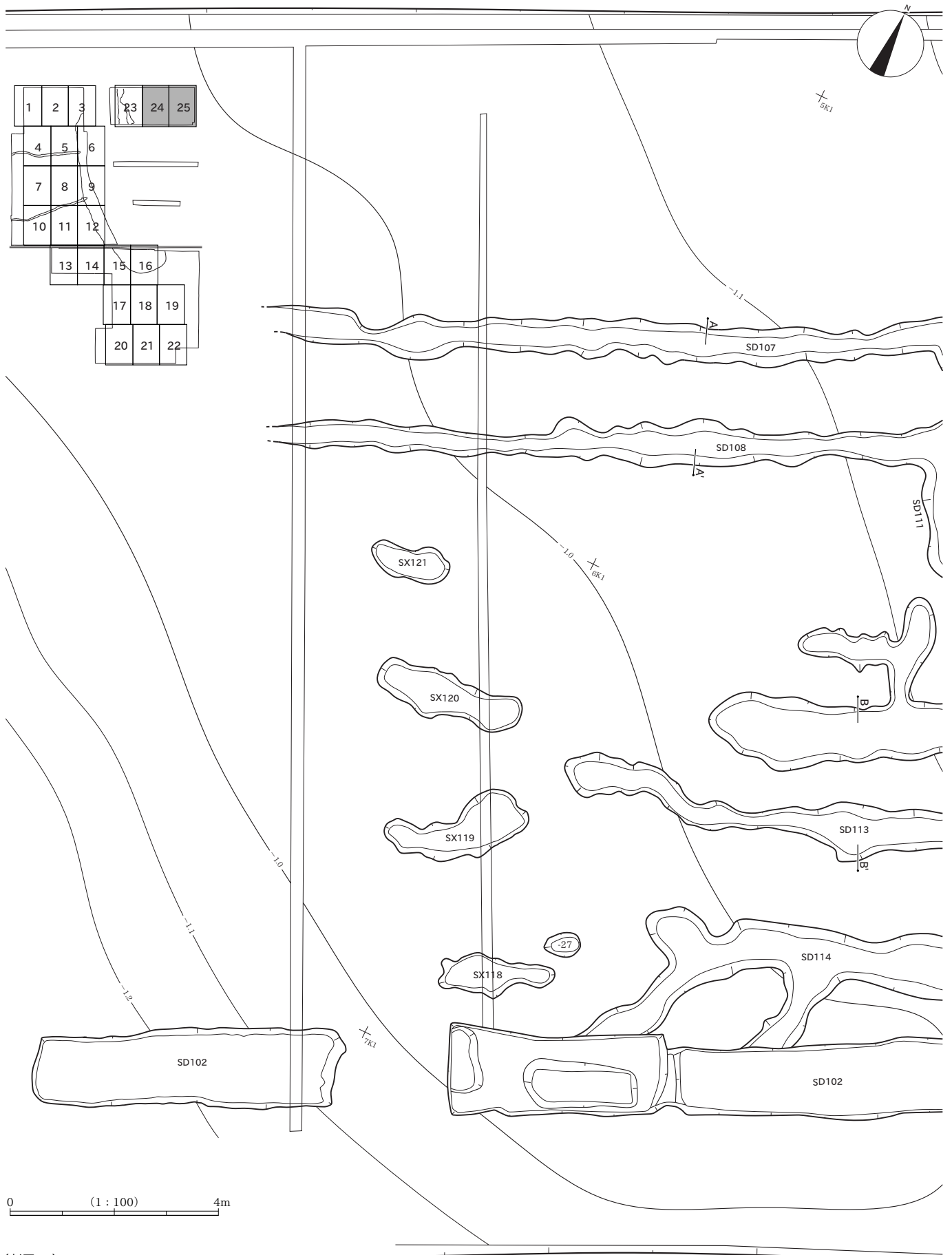
- SD754**
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子中量を含み、締まりを有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子中量を含み、締まりを有する。
  - 3 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子少量を含み、締まりを有する。
  - 4 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子・灰黄褐色砂質土少量を含む。
- SX1330**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子中量を含み、締まりをやや有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、締まりを有する。
  - 3 暗灰黄色シルト (2.5Y4/2) 締まりを有する。



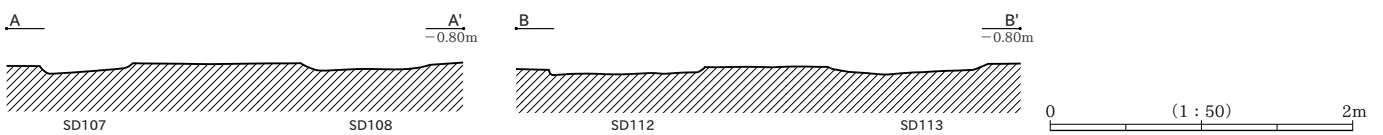




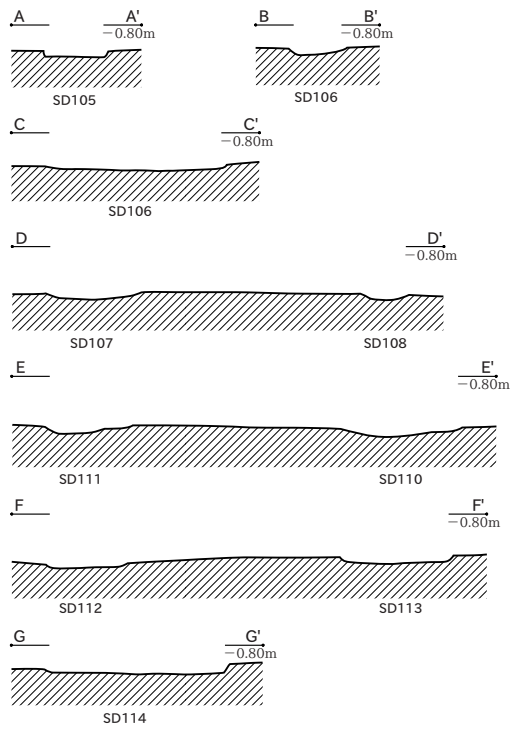




(割図24)



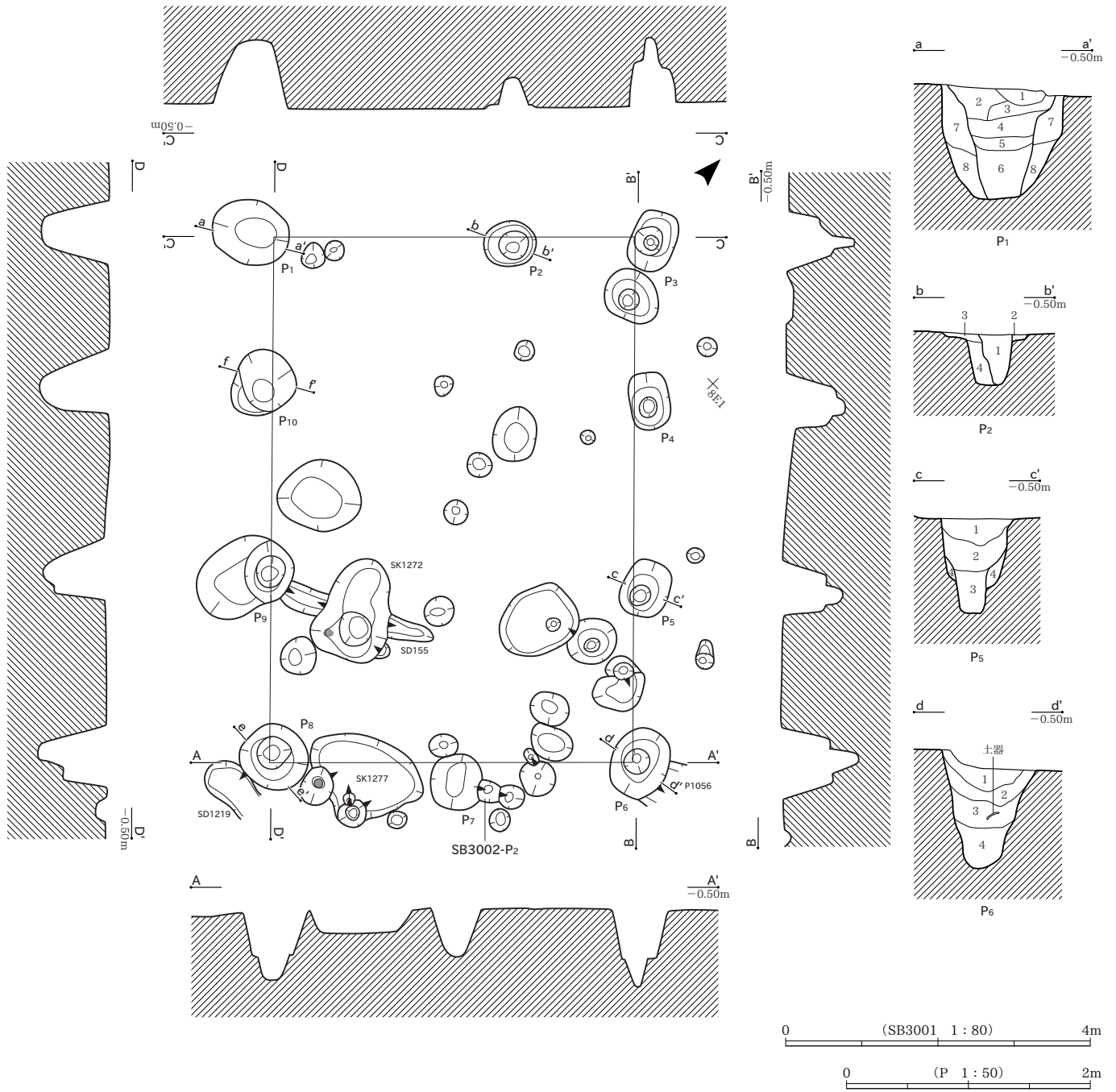
(割図25)



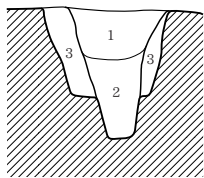
0 (1 : 50) 2m



SB3001 (割図2)



e e' -0.50m



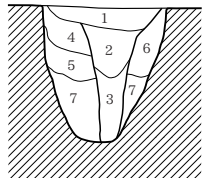
P8

- P1 (a-a')**
- 1 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量、酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 4 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子をやや多く含み、やや粘性を有する。
  - 5 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子中量、酸化鉄微量を含み、やや粘性を有する。
  - 6 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子微量を含み、やや粘性を有する。
  - 7 灰色シルト (5Y6/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 8 灰色シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、やや締まる。
- ※1~6層は柱抜き取り痕跡か。7・8層は埋土。

P2 (b-b')

- 1 灰色シルト (7.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 3 灰色シルト (N4/0) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 4 灰色シルト (5Y4/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、やや締まる。
- ※1層は柱痕跡か。2~4層は埋土。

f f' -0.50m



P10

P5 (c-c')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子少量、酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子やや多く含み、粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量を含み、やや粘性を有する。
  - 4 緑灰色シルト (10YG5/1) 緑灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1~3層は柱痕跡か。4層は埋土。

P6 (d-d')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 3 青灰色シルト (5BG6/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まりに欠ける。
  - 4 青灰色シルト (5BG6/1) 酸化鉄微量を含み、やや締まりに欠ける。
- ※1~4層は柱抜き取り痕跡か。

P8 (e-e')

- 1 灰色シルト (N5/0) 炭化物粒子やや多く含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量を含み、やや締りに欠ける。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 灰色粘質シルトを塊状紋状に含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡か。3層は埋土。

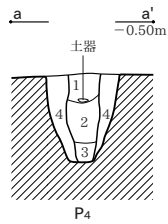
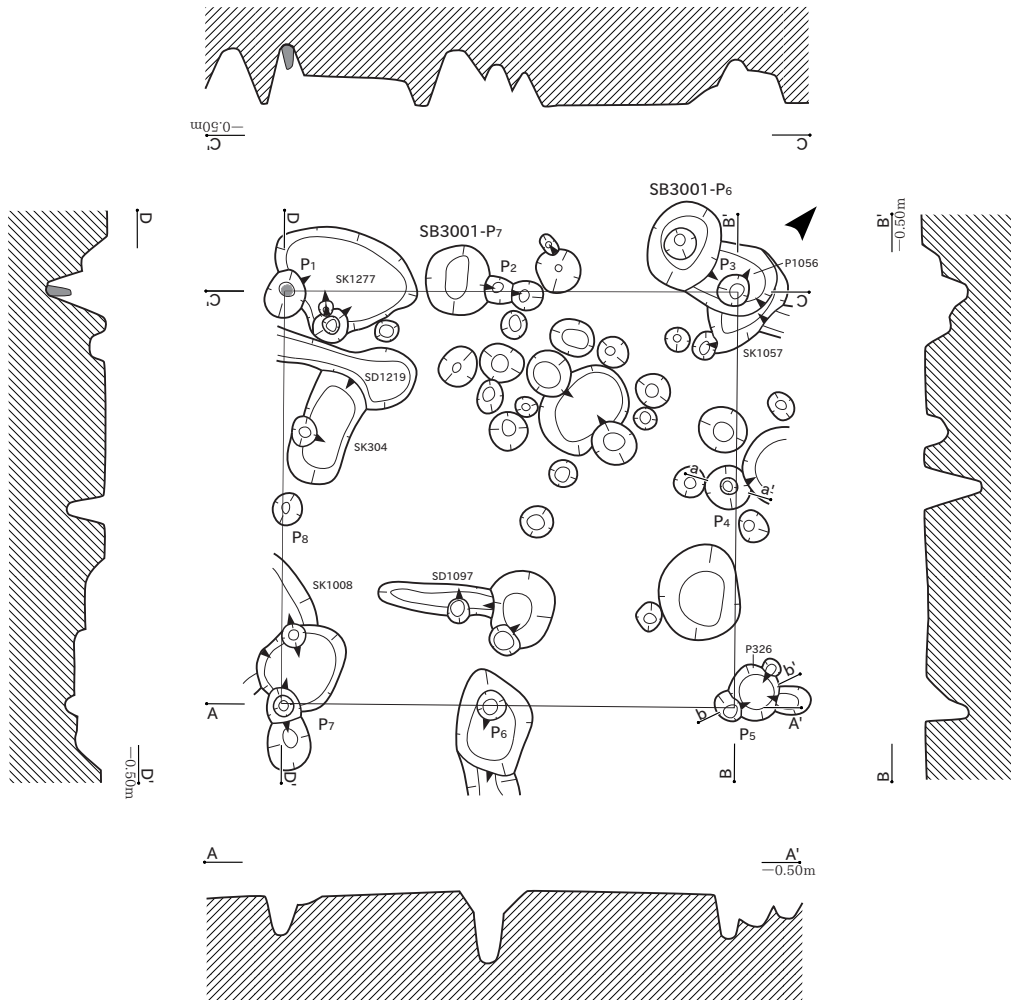
P10 (f-f')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 3 青灰色シルト (10BG5/1) 炭化物粒子少量、酸化鉄微量を含み、粘性を有する。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 6 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、やや締まる。
  - 7 青灰色シルト (10BG5/1) 青灰色砂質シルト小塊を含み、やや締まる。
- ※1~3層は柱痕跡か。4~7層は埋土。

0 (SB3001 1 : 80) 4m

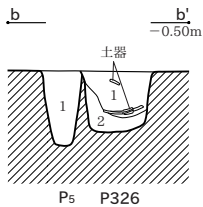
0 (P 1 : 50) 2m

SB3002 (割図2)



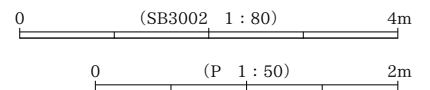
P4 (a-a')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1~5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1~5/1) 炭化物粒子少量、酸化鉄微量を含み、粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み粘性を有する。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1~3層は柱痕跡か。4層は埋土。

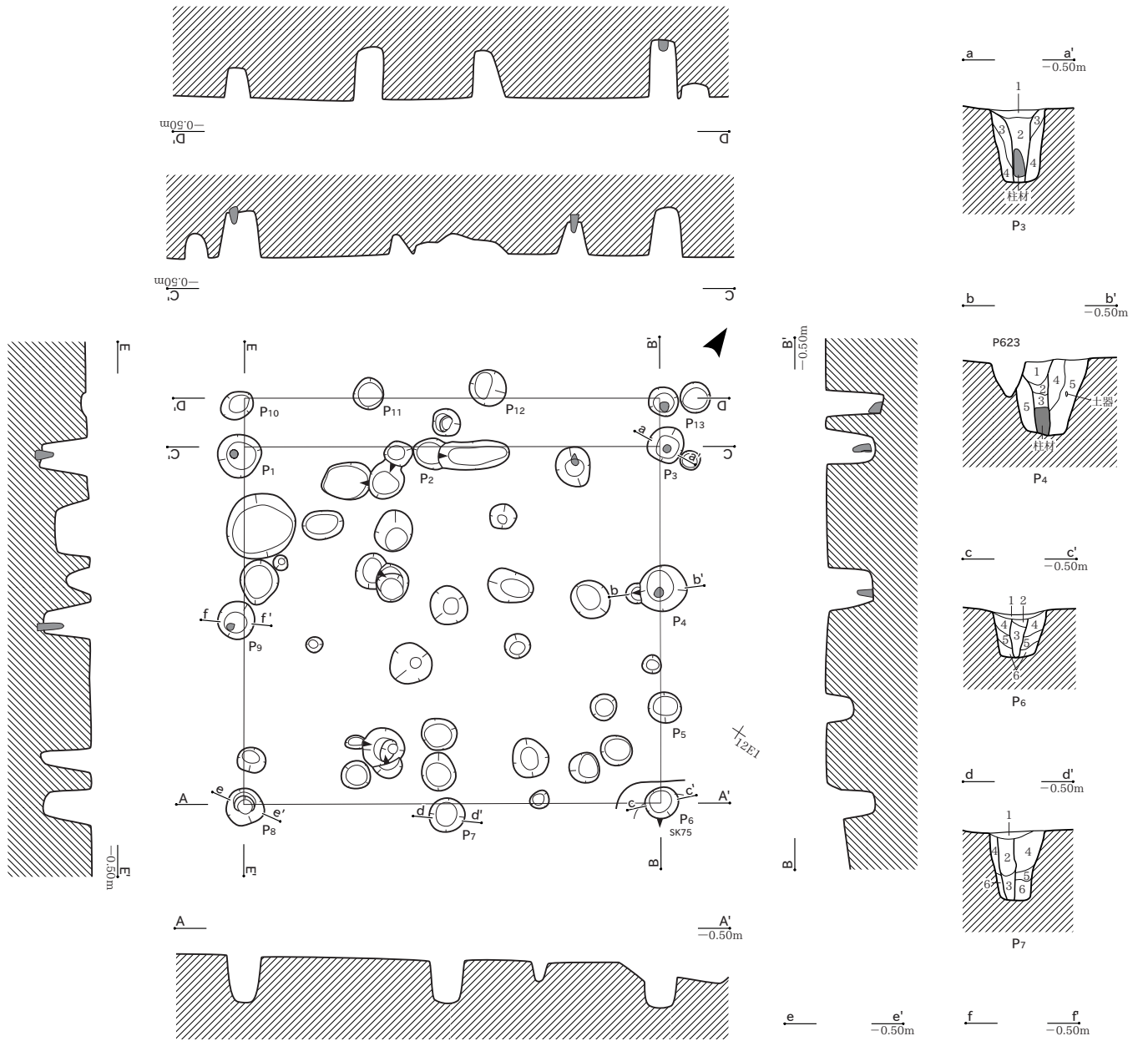


P5・P326 (b-b')

- P5
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子少量、灰色砂質シルト小塊を含み、粘性を有する。
- ※柱抜き取り痕跡か。
- P326
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 炭化物粒子、酸化鉄やや多く含み、粘性を有する。
- 2 灰白色シルト (7.5Y8/2) 炭化物粒子、酸化鉄少量を含み、やや締まりに欠ける。



SB3003 (割図5・8)



**P3 (a-a')**  
 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。  
 2 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。下位に柱材が残る。  
 3 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 灰黄褐色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 4 褐灰色シルト (10YR6/1) 褐灰色砂質シルト小塊を斑紋状に含み、やや締まる。  
 ※1・2層は柱痕跡。3・4層は埋土。

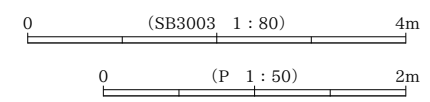
**P4 (b-b')**  
 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。  
 2 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子微量を含み、下位に柱痕が残る。  
 4 灰白色シルト (10YR7/1) 灰白色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 5 褐灰色シルト (10YR5/1) 褐灰色砂質シルト小塊を含み、やや締まる。  
 ※1~3層は柱痕跡。4・5層は埋土。

**P6 (c-c')**  
 1 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。  
 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。  
 3 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子多量を含む。  
 4 灰白色シルト (2.5Y7/1) 灰白色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 5 灰白色シルト (10YR7/1) 灰白色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 6 青灰色シルト (10BG6/1) 青灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 ※2・3層は柱痕跡。4~6層は埋土。

**P7 (d-d')**  
 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子やや多く含み、粘性に富む。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子を多く含み、粘性を有する。  
 3 灰白色シルト (2.5Y7/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。  
 4 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 5 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 6 灰色シルト (5Y6/1) 灰色シルト小塊を含み、やや締まる。  
 ※2・3層は柱痕跡。4~6層は埋土。

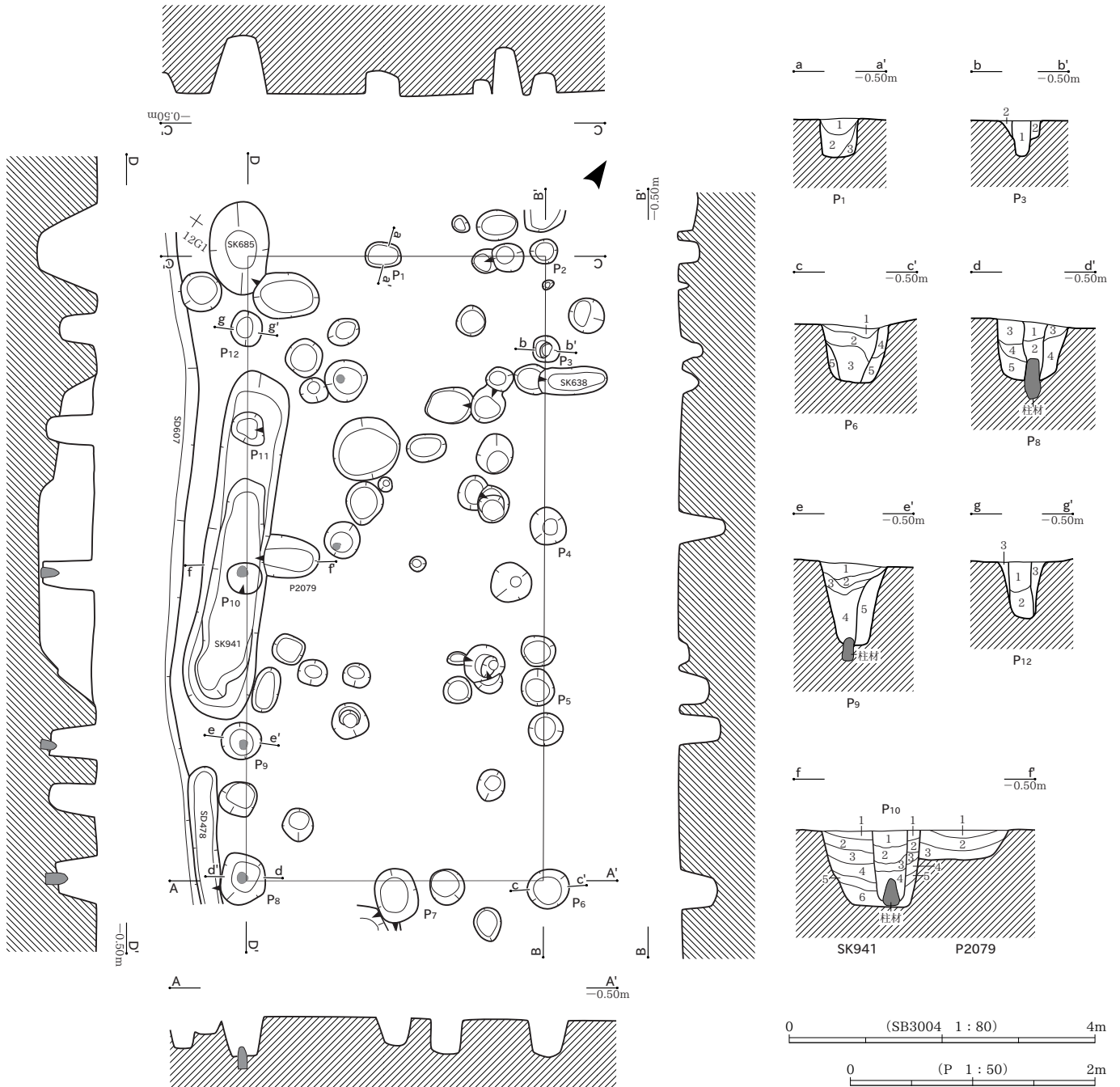
**P8 (e-e')**  
 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子やや多く含み、粘性を有する。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。  
 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、やや粘性を有する。  
 4 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子少量、灰色シルト少量を含み、やや粘性を有する。  
 5 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 6 灰色シルト (N6/1) 灰色シルト小塊を含み、やや締まる。  
 ※3・4層は柱痕跡。5・6層は埋土。

**P9 (f-f')**  
 1 灰色シルト (N5/0) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。  
 2 灰色シルト (N6/0) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 3 オリーブ灰色シルト (5GY6/1) 炭化物粒子少量を含み、下位に柱材が残る。  
 4 青灰色シルト (5B6/1) 青灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 5 青灰色シルト (5B5/1) 青灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 ※3層は柱痕跡。4・5層は埋土。





SB3004 (割図5・8)



P1 (a-a')

- 1 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子を多く含み、粘性に富む。
- 2 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 3 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。

P3 (b-b')

- 1 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量、黄灰色シルトを塊斑紋状に含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y6/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1層は柱痕跡か。2層は埋土。

P6 (c-c')

- 1 褐色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子中量、黄灰色砂質シルト小塊少量を含む。
  - 3 褐色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子中量、褐色シルト小塊少量を含み、粘性を有する。
  - 4 灰黄色シルト (2.5Y7/2) 灰黄色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 灰色シルト (10Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1~3層は柱抜き取り痕跡か。4・5層は埋土。

P8 (d-d')

- 1 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量、黄灰色粘質シルト微量を含み、粘性に富む。
  - 2 褐色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まりに欠ける。下位に柱材が残る。
  - 3 褐色シルト (10YR6/1) 褐色シルト小塊を多く含み、全体に締まる。
  - 4 褐色シルト (10YR5/1) 褐色シルト小塊を斑紋状に少量含み、やや締まる。
  - 5 褐色シルト (10YR6/1) 褐色シルト小塊を少量含み、やや締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3~5層は埋土。

P9 (e-e')

- 1 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子中量、灰色シルト小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1) 灰色シルト小塊を多く含み、全体に締まる。
  - 4 灰色シルト (5Y4/1) 灰色シルトを塊・斑紋状に含み、下位に柱材が残る。
  - 5 灰色シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルトをやや多く含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3~5層は埋土。

P10・SK941・P2079 (f-f')

P10

- 1 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子中量、褐色砂質シルト小塊少量を含み、粘性を有する。
  - 2 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量、褐色砂質シルト小塊少量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量、灰白色砂質シルト小塊少量を含み、粘性を有する。
  - 4 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、下位に柱材が残る。
- ※1~4層は柱痕跡。

SK941

- 1 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 2 褐色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。
- 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 4 青灰色シルト (10BG6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 5 明青灰色シルト (10BG7/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 6 青灰色シルト (10BG6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

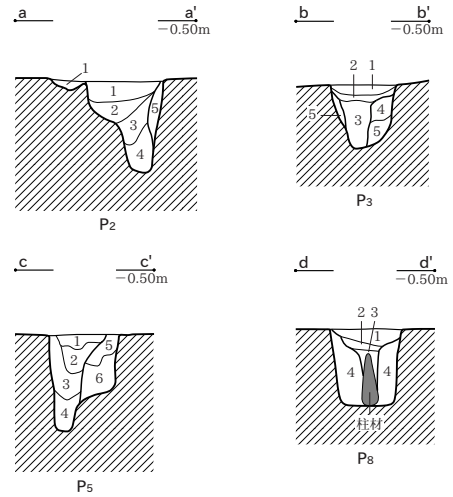
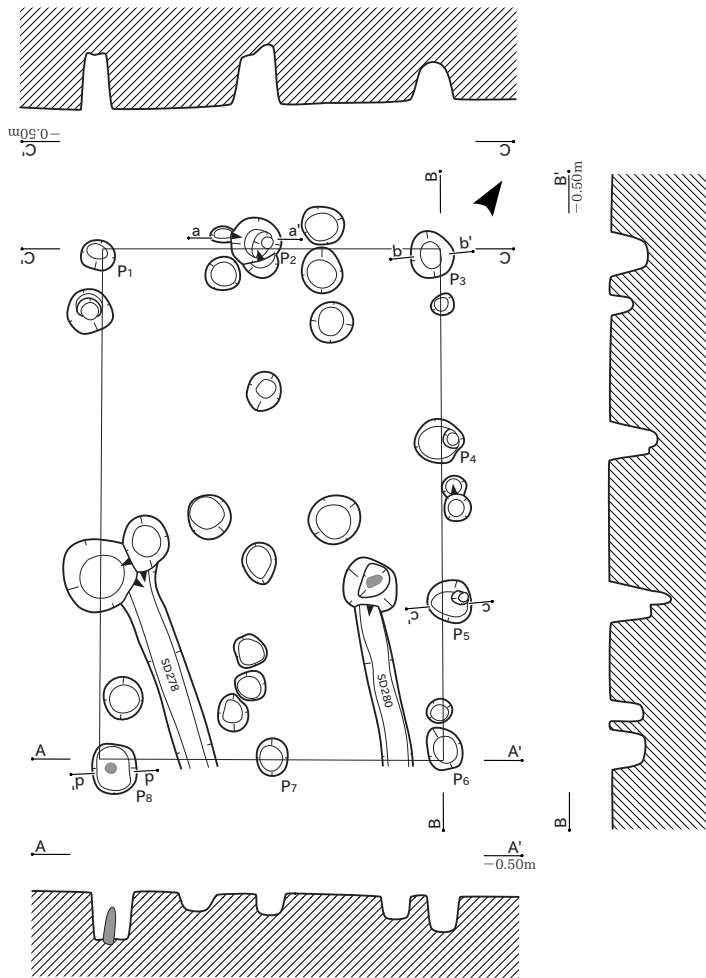
P2079

- 1 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子中量、灰色粘土小塊少量を含む。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

P12 (g-g')

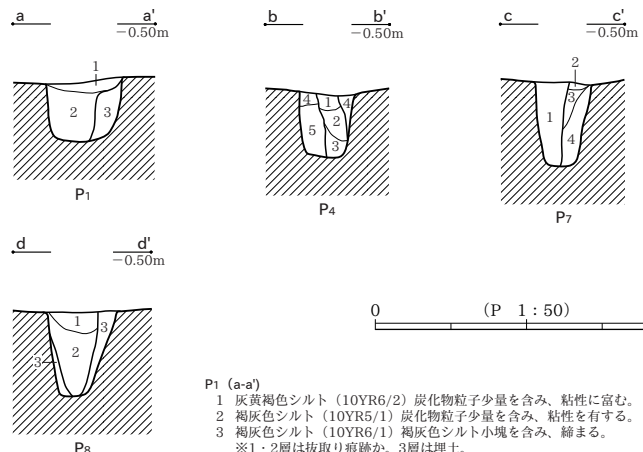
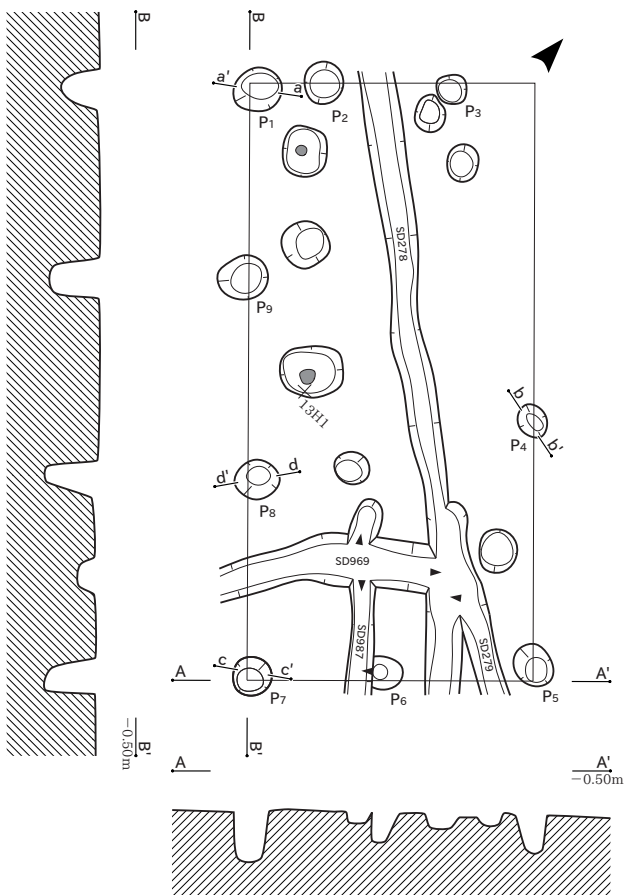
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子やや多くを含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子中量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3層は埋土。

SB3005 (割図8)



- P2 (a-a')**
- 1 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、締まりに欠ける。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊少量を含み、全体に締まる。
  - 5 灰色シルト (5Y5/1) 青灰色砂質シルト小塊少量を含み、やや締まる。
- ※1~4層は柱抜き取り痕跡か、5層は埋土。
- P3 (b-b')**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、締まりにやや欠ける。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊少量を含み、全体に締まる。
  - 5 灰色シルト (5Y5/1) 青灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※3層は柱痕跡。4・5層は埋土。
- P5 (c-c')**
- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰黄色シルト (2.5Y7/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 4 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 5 灰白色シルト (10YR7/1) 灰白色シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 6 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1~4層は柱抜き取り痕跡か、5・6層は埋土。
- P8 (d-d')**
- 1 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子微量を含み、中位以下に柱材が残る。
  - 4 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、全体に締まる。
- ※3層は柱痕跡。4層は埋土。

SB3006 (割図8)

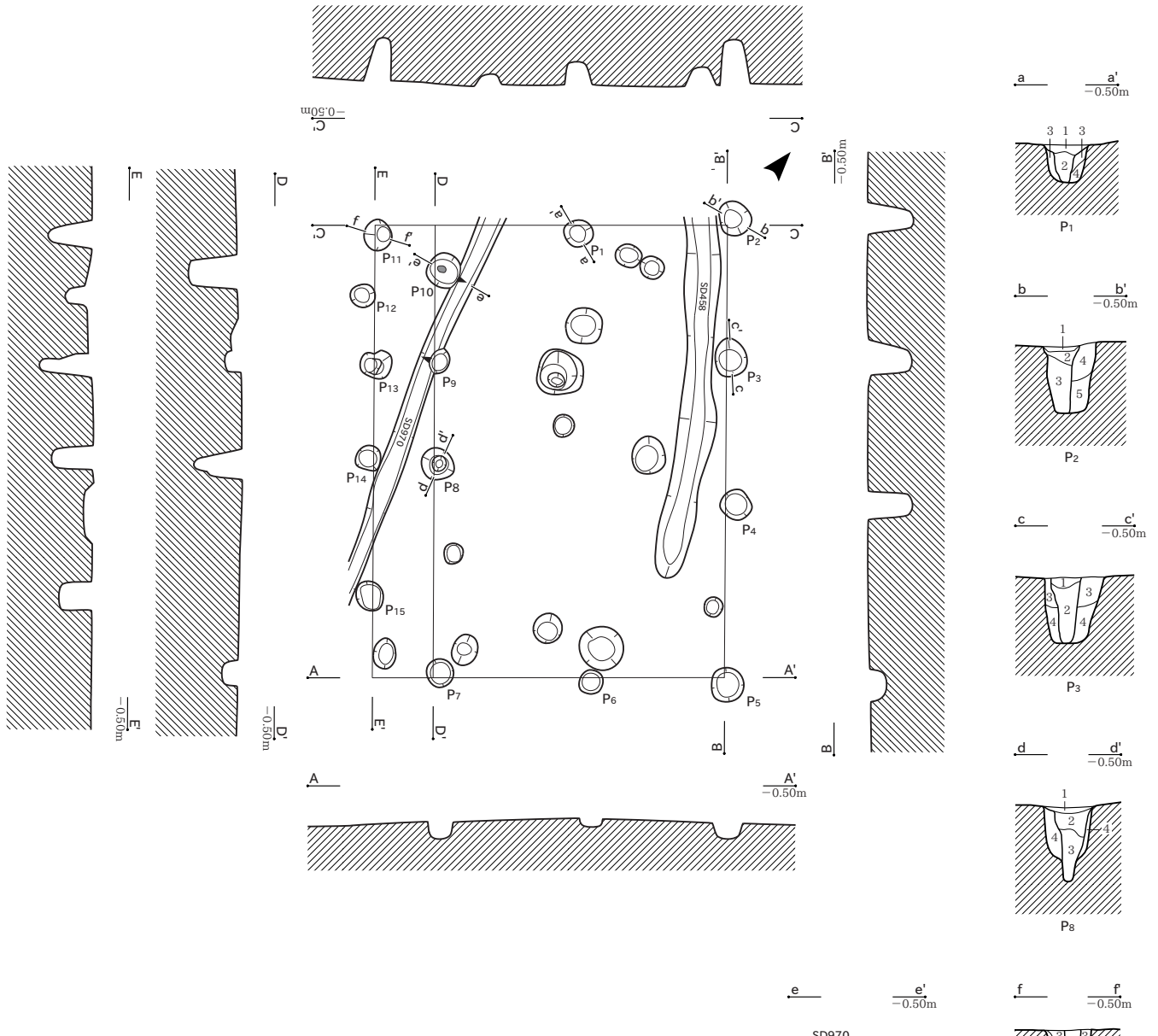


- P1 (a-a')**
- 1 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 褐灰色シルト (10YR6/1) 褐灰色シルト小塊を含み、締まる。
- ※1・2層は抜き取り痕跡か、3層は埋土。
- P4 (b-b')**
- 1 褐灰色シルト (7.5YR4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。
  - 4 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 炭化物粒子少量を含み、締まる。
  - 5 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、締まる。
- ※1~3層は柱痕跡。4・5層は埋土。
- P7 (c-c')**
- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子、ガツボ少量を含む。
  - 2 にぶい黄褐色シルト (10YR7/3) にぶい黄褐色シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 3 灰白色砂質シルト (10YR7/1) 灰白色シルト小塊を含み、締まる。
  - 4 灰白色砂質シルト (10YR7/1) 3層と近似するがシルト小塊が少ない。
- ※1層は柱痕跡。2~4層は埋土。
- P8 (d-d')**
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量、黄褐色粘土塊を含む。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子多くを含み、締まりに欠ける。
  - 3 灰黄褐色シルト (10YR7/2) 灰黄褐色シルト小塊を含み、締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3層は埋土。

(SB3005・SB3006 1 : 80) 4m

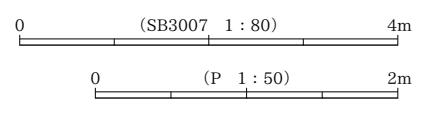
(P 1 : 50) 2m

SB3007 (割図8)

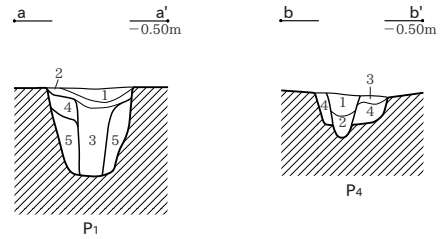
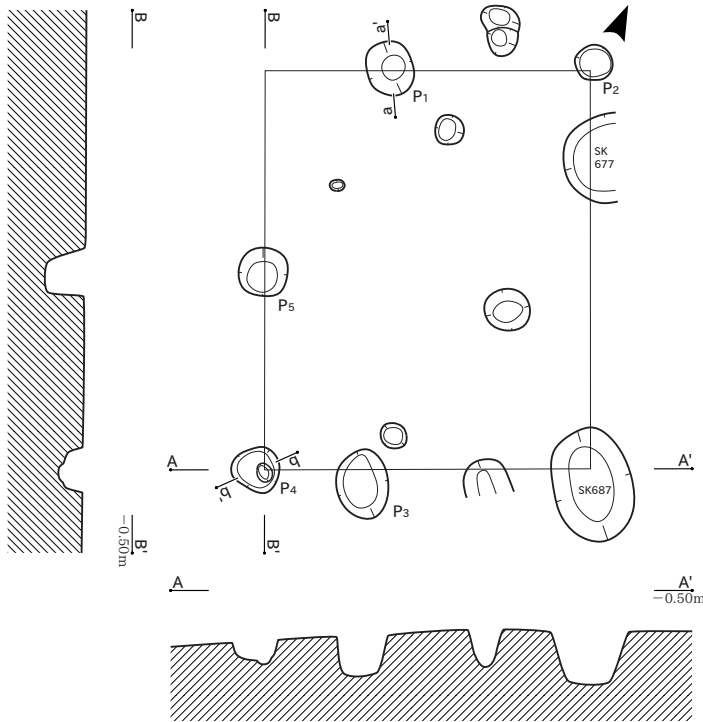


- P1 (a-a')**
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 灰色シルト小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (N5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (N5/1) 灰色砂質シルト小塊を少量含み、全体に締まる。
  - 4 灰色シルト (5Y6/1) 灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※2層は柱痕跡。3・4層は埋土。
- P2 (b-b')**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 炭化物粒子微量、ガツボ少量、砂質シルト小塊少量を含む。
  - 3 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子微量を含み、やや粘性に欠ける。
  - 4 灰色シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 灰色シルト (5Y6/1) 灰色砂質シルト小塊を少量含み、全体に締まる。
- ※1~3層は柱痕跡。4・5層は埋土。
- P3 (c-c')**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子少量を含み、褐灰色砂質シルト少量を含む。
  - 2 黄褐色シルト (10YR7/2) 炭化物粒子少量、黄褐色砂質シルト少量を含む。
  - 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 褐灰色砂質シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 4 灰白色シルト (10YR8/2) 青灰色砂質シルト小塊少量を含み、よく締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3・4層は埋土。
- P8 (d-d')**
- 1 褐灰色シルト (7.5YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まりに欠ける。
  - 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量、褐灰色砂質シルト少量を含む。
  - 4 灰白色シルト (10YR7/1) 灰白色シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※2・3層は柱痕跡。4層は埋土。

- P10 (e-e')**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量、灰色シルト小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量、灰色シルト小塊少量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1) 灰色砂質シルト少量を含み、下位に柱材が残る。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、柱材が残る。
  - 5 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 6 灰色シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、よく締まる。
- ※3・4層は柱痕跡。5・6層は埋土。
- P11 (f-f')**
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まりに欠ける。
  - 3 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 灰黄褐色シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 4 褐灰色シルト (10YR6/1) 褐灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 褐灰色シルト (10YR6/1) 褐灰色砂質シルト小塊を含み、よく締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3~5層は埋土。

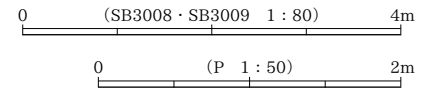


SB3008 (割図5・8)

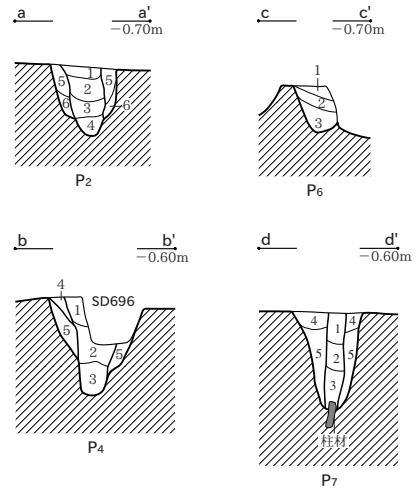
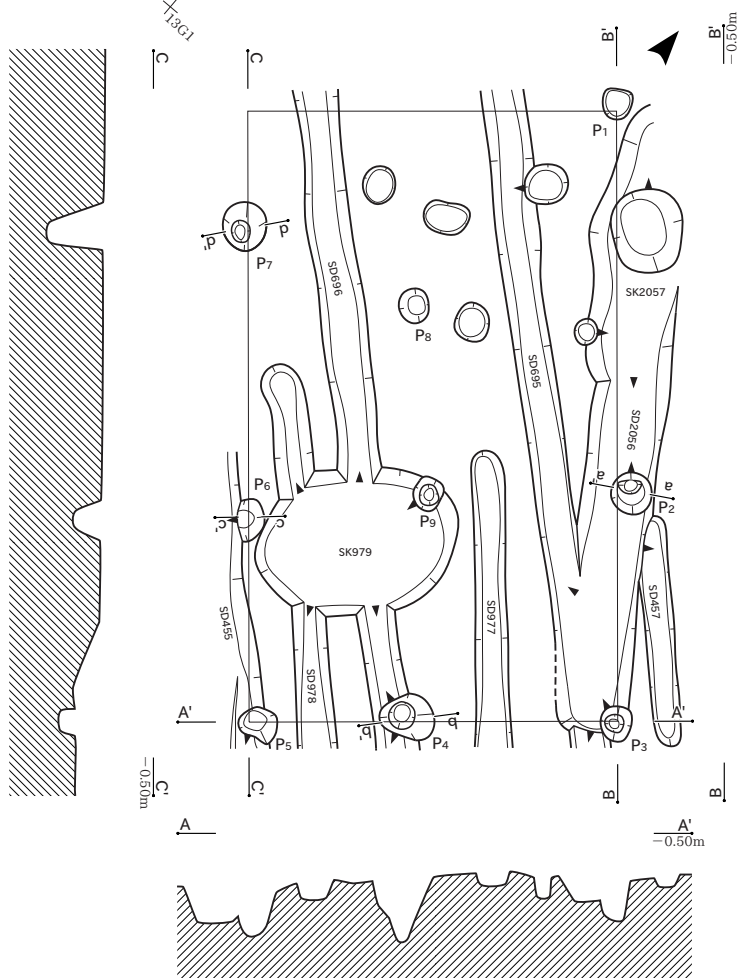


**P1 (a-a')**  
 1 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。  
 2 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 3 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 4 灰色シルト (N5/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 5 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 ※3層は柱痕跡。4・5層は埋土。

**P4 (b-b')**  
 1 灰色砂質シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量、砂質シルト小塊少量を含み、やや締まりに欠ける。  
 2 灰色砂質シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まりに欠ける。  
 3 灰色シルト (N5/1) 灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、よく締まる。  
 ※1・2層は柱痕跡か、3・4層は埋土。



SB3009 (割図8)



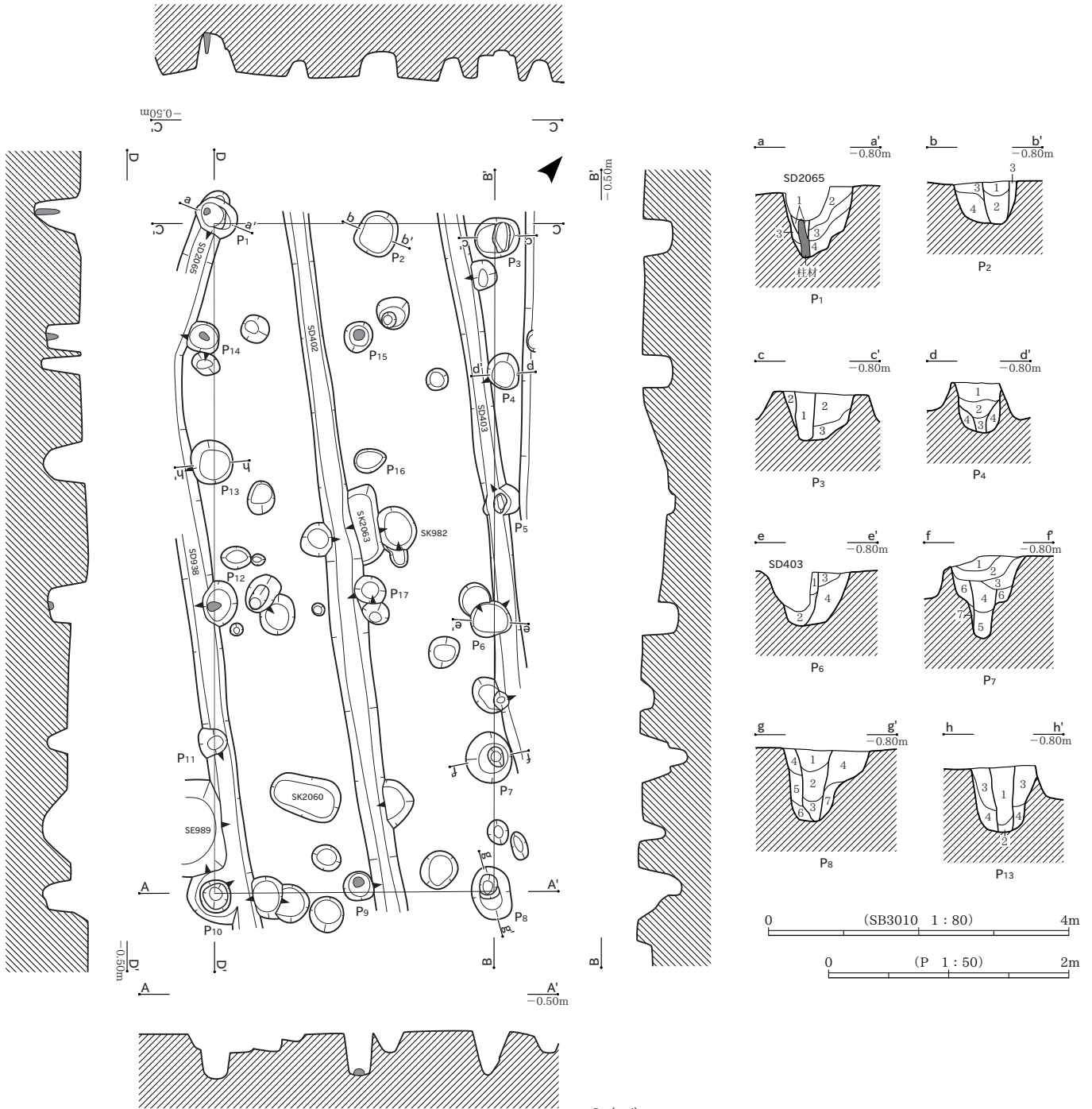
**P2 (a-a')**  
 1 暗灰色シルト (N3/1) 炭化物粒子少量、灰色シルト小塊微量を含み、粘性に富む。  
 2 黒色シルト (N2/1) 炭化物粒子少量、灰色シルト小塊微量を含み、やや粘性に欠ける。  
 3 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子少量、黒褐色シルト小塊微量を含み、粘性を有する。  
 4 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子微量、砂質シルト少量を含み、やや粘性に欠ける。  
 5 灰色シルト (5Y6/1) 灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 6 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量、灰色砂質シルト小塊少量を含み、全体に締まる。  
 ※1~4層は柱痕跡か。5・6層は埋土。

**P4 (b-b')**  
 1 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子・灰白色シルト小塊少量を含み、粘性を有する。  
 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子多く含み、やや粘性に欠ける。  
 3 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量、灰色砂質シルト斑紋状を含み、やや締まる。  
 4 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色砂質シルト小塊をやや多く含み、全体によく締まる。  
 5 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 青灰色砂質シルト小塊をやや多く含み、全体によく締まる。  
 ※1~3層は柱痕跡か。4・5層は埋土。

**P6 (c-c')**  
 1 灰白色シルト (2.5Y7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。  
 3 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子・灰色砂質シルト小塊少量を含み、やや締まる。

**P7 (d-d')**  
 1 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量、灰色砂質シルト少量を含み、やや粘性に欠ける。  
 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 3 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量、灰色砂質シルト少量を含み、下に柱材が残る。  
 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 5 灰色シルト (5Y6/1) 灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。  
 ※1~3層は柱痕跡。4~6層は埋土。

SB3010 (割図7・8)



**P1 (a-a')**

- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量、灰色砂質シルト少量を含み、柱材が残る。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を斑紋状に含み、全体に締まる。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を多く含み、全体に締まる。
  - 4 灰色シルト (5Y5/1) 灰色シルト小塊を多く含み、やや締まる。
- ※1層は柱痕跡。2~4層は埋土。

**P2 (b-b')**

- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 4 灰色シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3・4層は埋土。

**P3 (c-c')**

- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1層は柱痕跡。2・3層は埋土。

**P4 (d-d')**

- 1 灰白色シルト (5Y7/1) 炭化物粒子少量を含み、やや粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まりに欠ける。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、締まりに欠ける。
  - 4 灰色砂質シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1~3層は柱抜き取り痕跡か。4層は埋土。

**P6 (e-e')**

- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、ガツボ微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色砂質シルト小塊少量を含み、締まる。
  - 4 灰色シルト (5Y5/1) 灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3・4層は埋土。

**P7 (f-f')**

- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量、灰色シルト小塊少量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、やや粘性を有する。
  - 4 灰色シルト (N4/1) 炭化物粒子やや多く、灰色砂質シルト小塊を含み、やや粘性を有する。
  - 5 灰色シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊、青灰色砂質シルト微量を含む。
  - 6 灰色シルト (5Y4/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 7 灰色シルト (5Y4/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※4・5層は柱痕跡。6・7は埋土。

**P8 (g-g')**

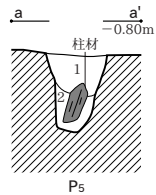
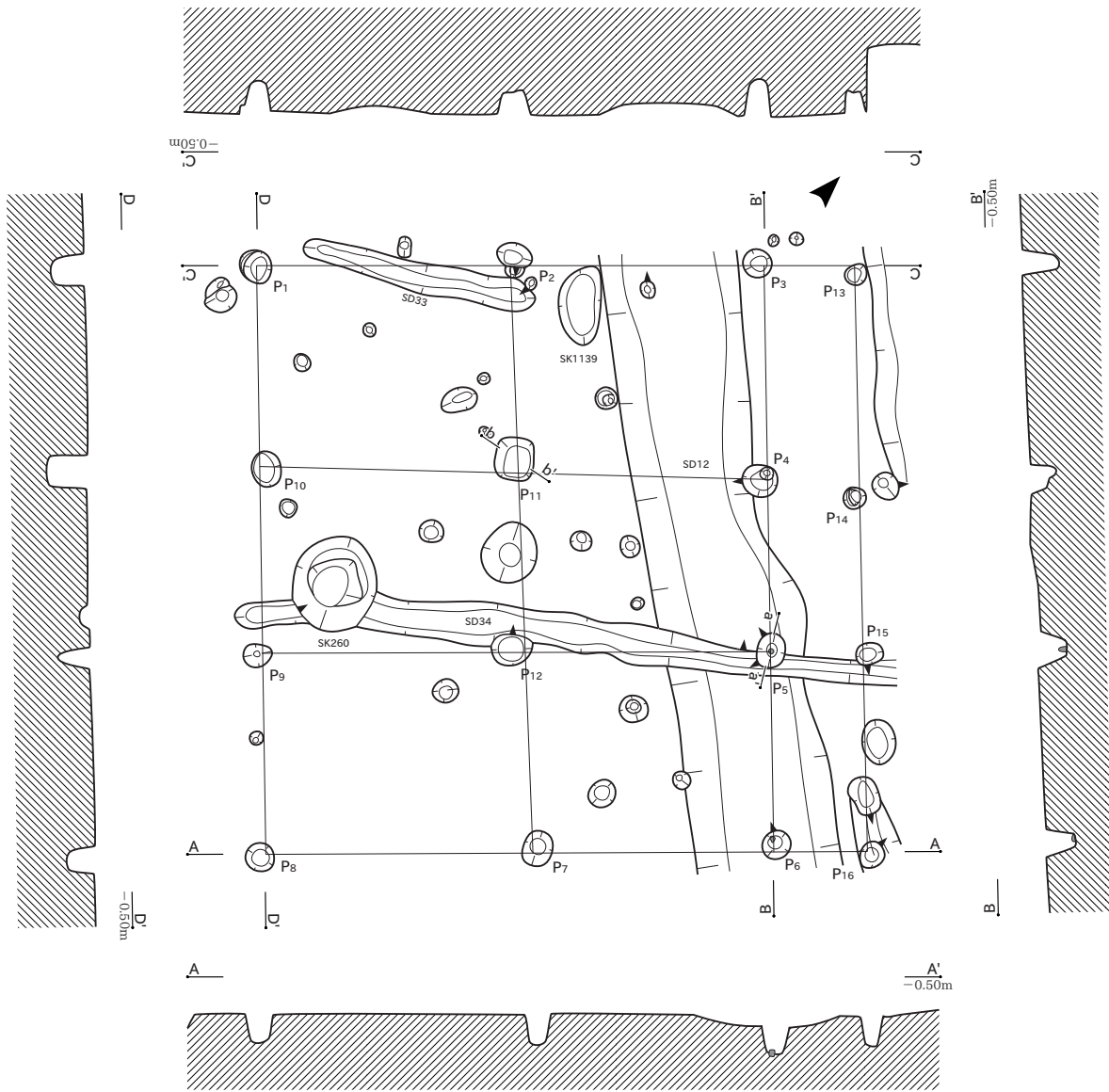
- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量、灰色シルト少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量、黄灰色シルト小塊少量を含み、やや粘性を有する。
  - 4 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子微量、灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 灰色シルト (5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 6 灰色シルト (5Y4/1) 黄灰色シルト小塊少量を含み、やや締まる。
  - 7 灰色シルト (5Y5/1) 黄灰色シルト小塊少量を含み、やや締まる。
- ※1~3層は柱痕跡。4~7層は埋土。

**P13 (h-h')**

- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 4 灰色シルト (5Y6/1) 青灰色シルト小塊を少量含み、やや締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3・4層は埋土。

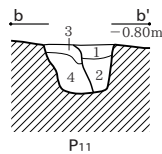


SB3011 (割図11・12)



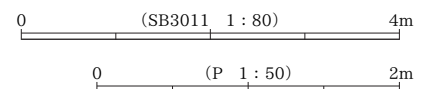
P5 (a-a')

- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量を含み、粘性を有する。
- 2 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量を含み、柱材が残る。

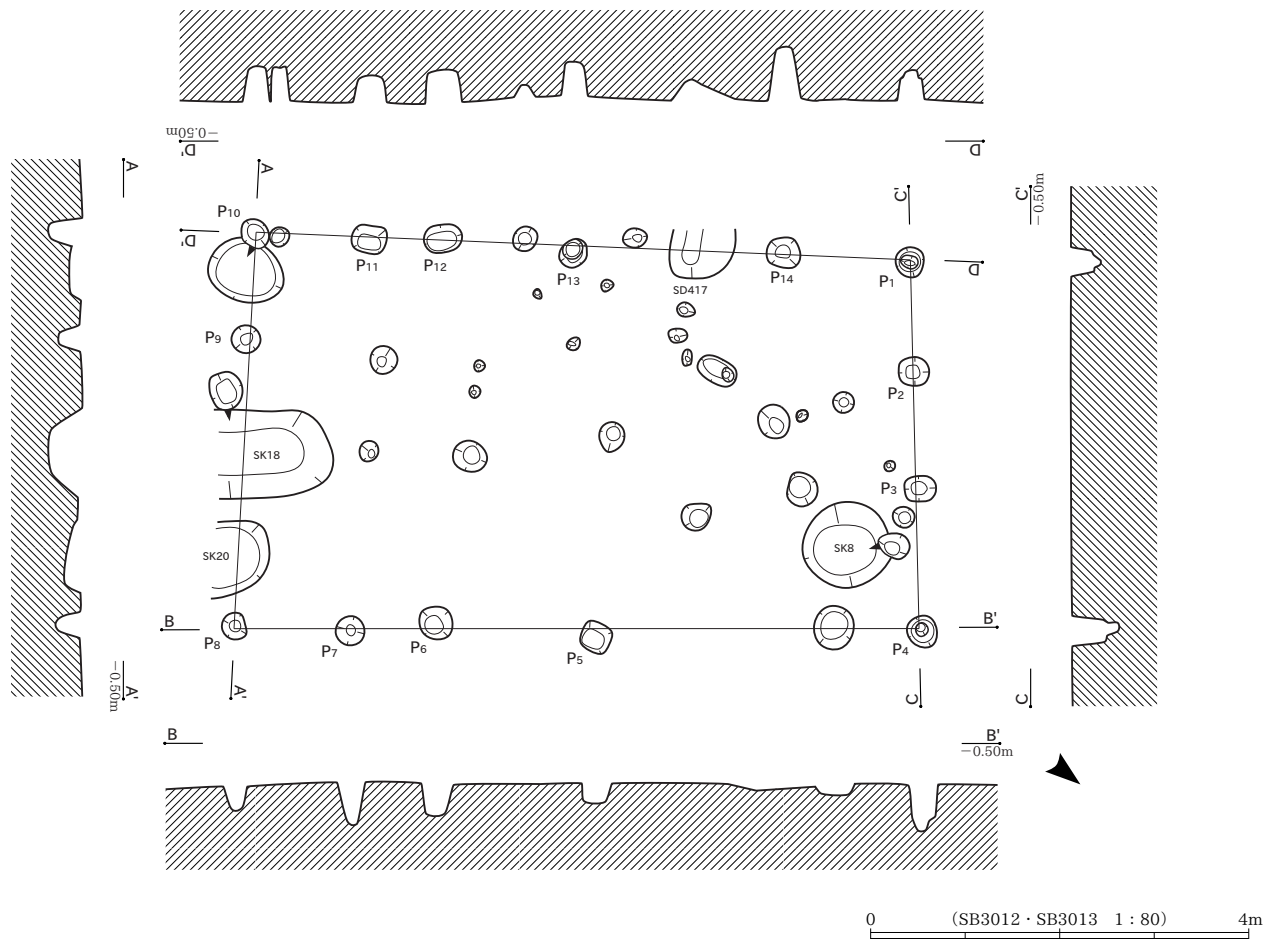


P11 (b-b')

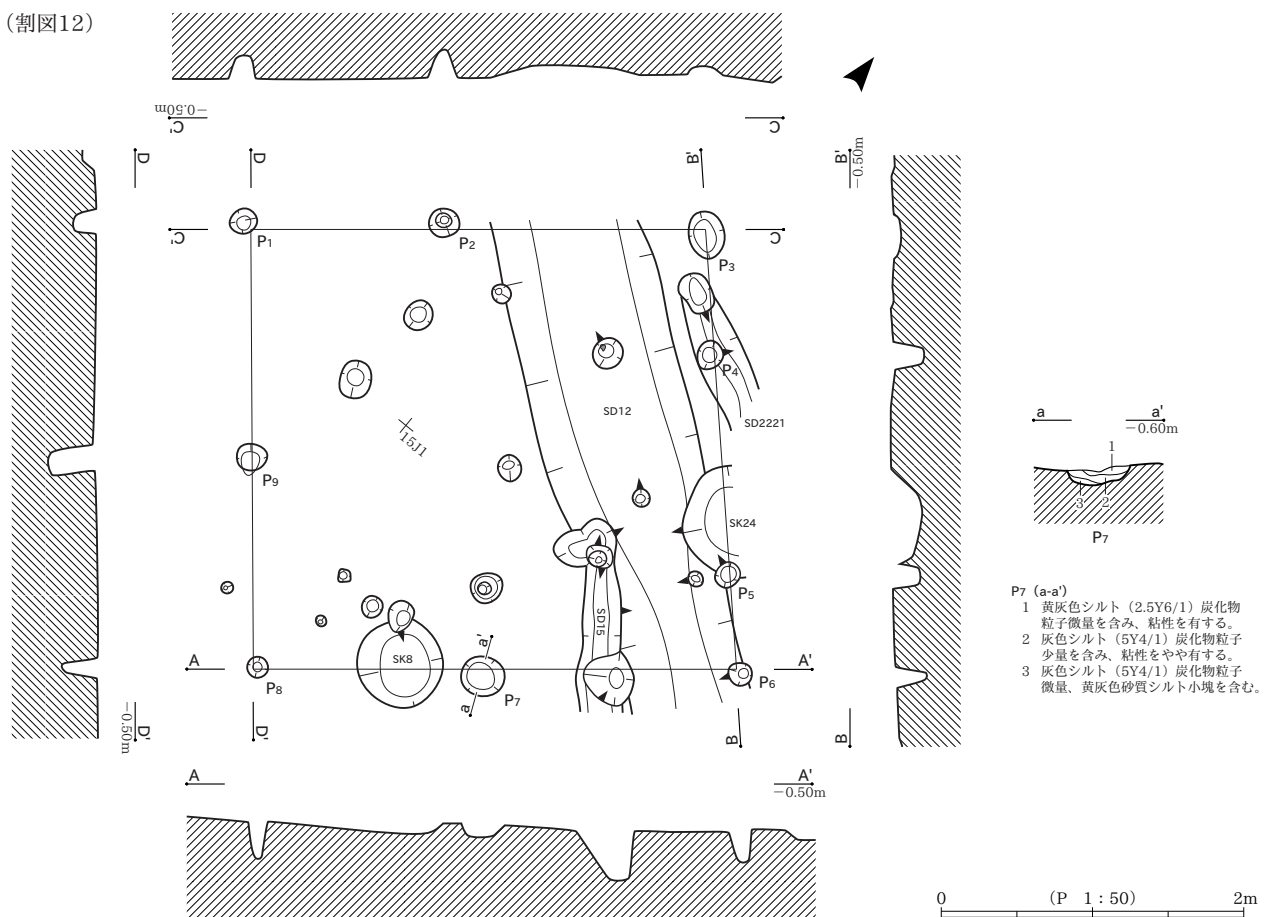
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量を含み、締まりに欠ける。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや締まりに欠ける。
  - 3 黄褐色シルト (2.5Y5/3) 黄褐色シルト小塊少量を含み、全体に締まる。
  - 4 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 黄褐色シルト小塊をやや多く含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3・4層は埋土。



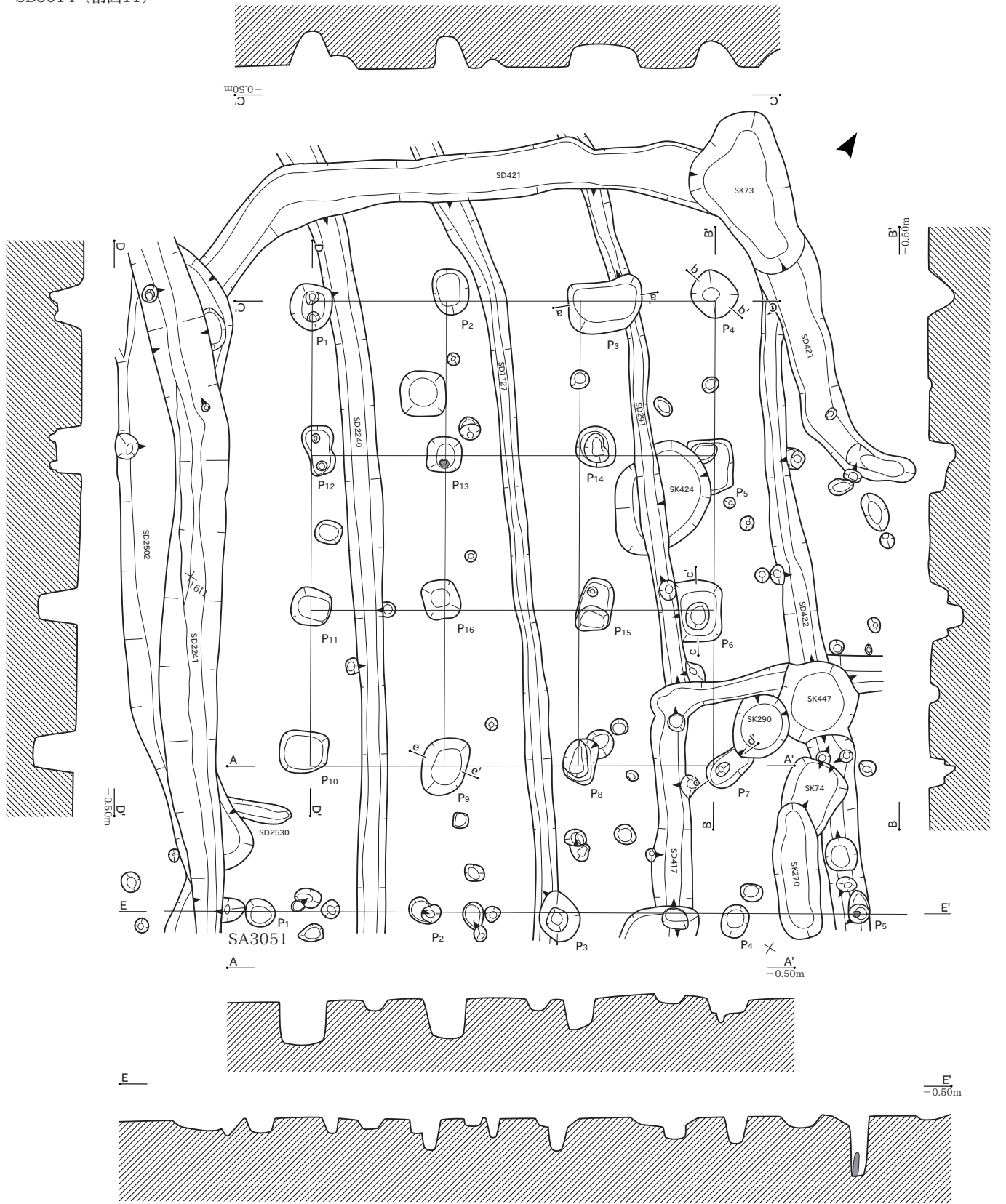
SB3012 (割図12)



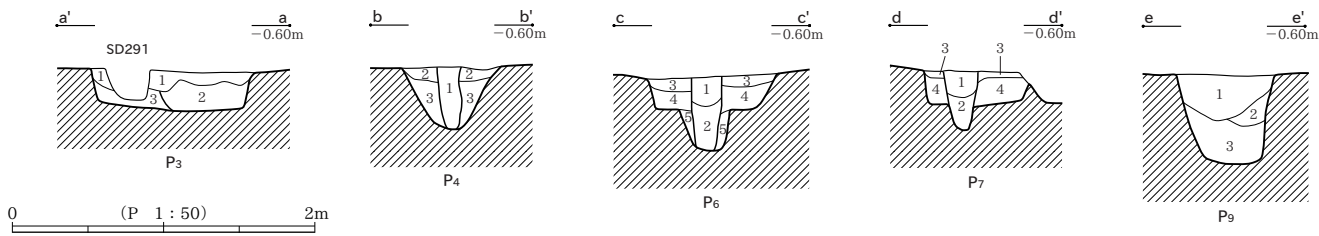
SB3013 (割図12)



SB3014 (割図11)



0 (SB3014・SA3051 1:80) 4m



0 (P 1:50) 2m

SB3014

P3 (a-a')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子少量、酸化鉄微量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1) 灰色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
- ※1・2層は柱抜き取り痕跡か。3層は埋土。

P4 (b-b')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1) 灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1層は柱痕跡。2・3層は埋土。

P6 (c-c')

- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 灰色シルト (5Y4/1) 灰色シルト小塊少量を含み、やや締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3~5層は埋土。

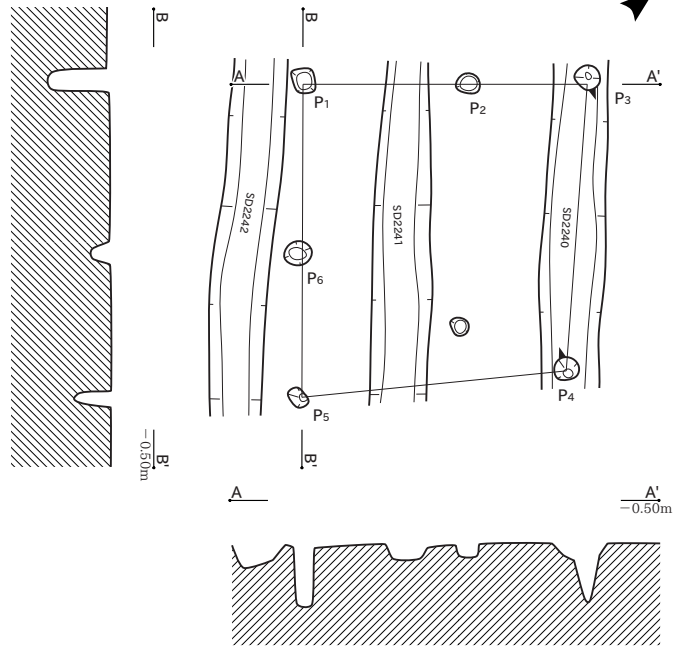
P7 (d-d')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子少量、酸化鉄微量を含み、粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 4 灰色シルト (5Y4/1) 灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3・4層は埋土。

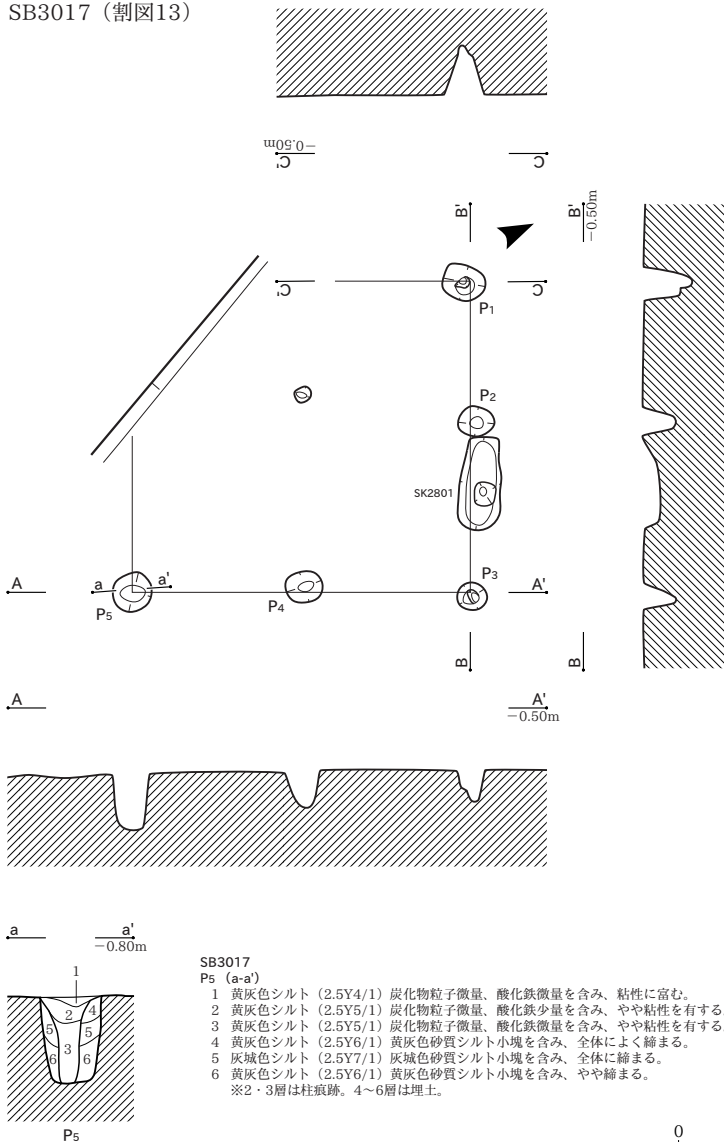
P9 (e-e')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量、ガツボ少量を含む。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量、ガツボ少量を含む。
  - 3 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量、ガツボ少量を含む。
- ※1~3層は柱抜き取り痕跡か。

SB3015 (割図11)



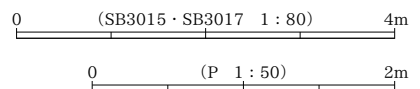
SB3017 (割図13)



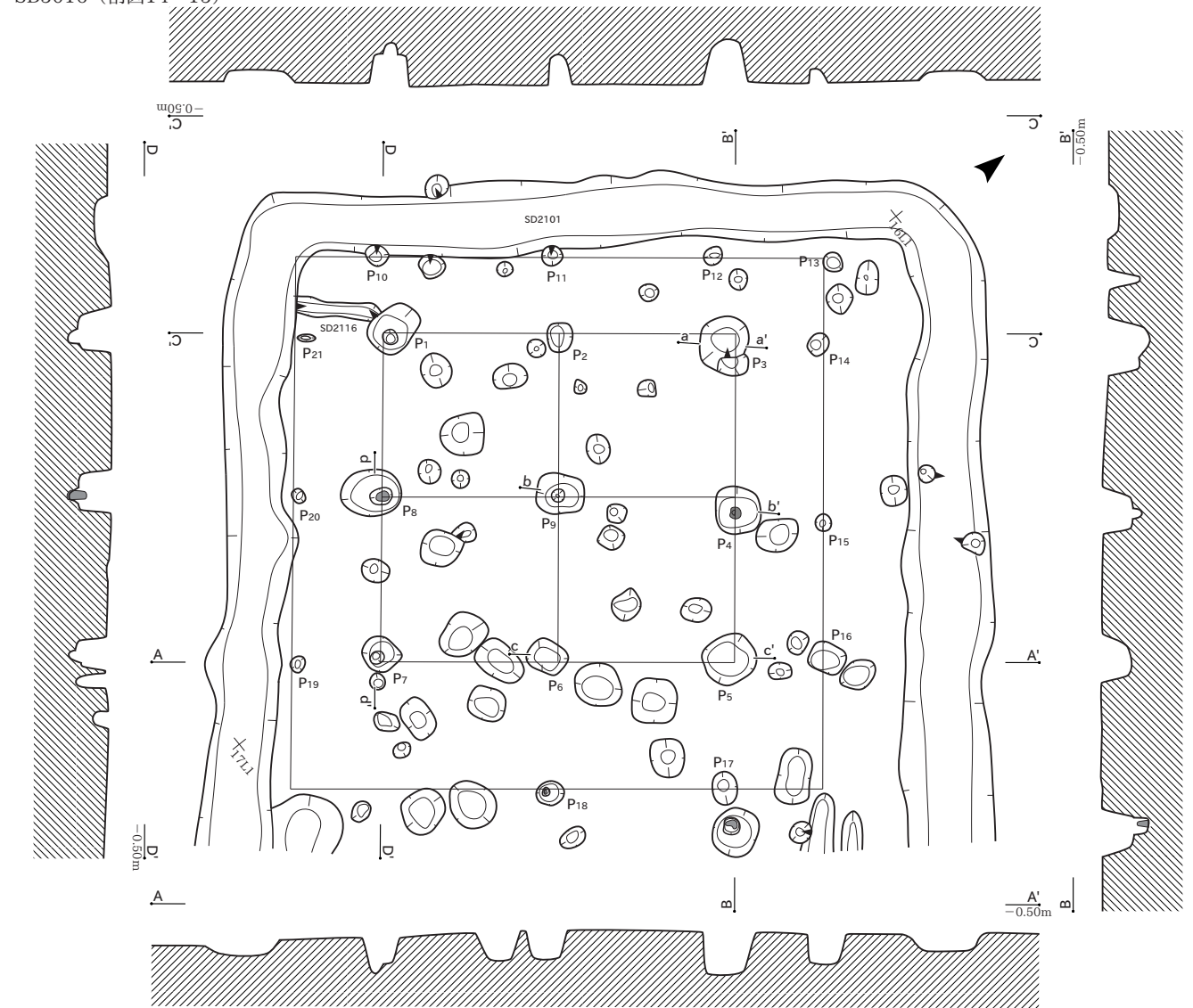
SB3017

P5 (a-a')

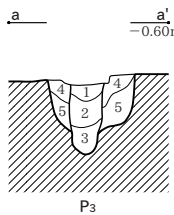
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量を含み、やや粘性を有する。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 5 灰褐色シルト (2.5Y7/1) 灰褐色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 6 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、やや締まる。
- ※2・3層は柱痕跡。4~6層は埋土。



SB3016 (割図14・15)



0 (SB3016 1 : 80) 4m



P3 (a-a')

- 1 オリーブ褐色シルト (2.5Y4/3) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 2 暗灰色シルト (2.5Y4/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 オリーブ黒色シルト (5Y3/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや締まりに欠ける。
  - 4 灰オリーブシルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量、黄灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 灰オリーブ色シルト (5Y4/2~5/2) 灰青色シルト小塊少量を含み、全体に締まる。
- ※1~3層は柱痕跡。4・5層は埋土。

P4・P9 (b-b')

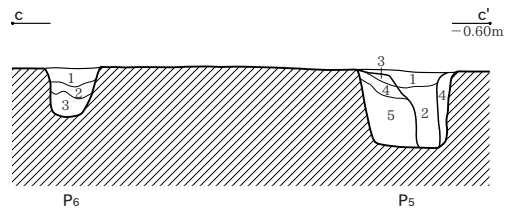
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、下位に柱材が残る。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 4 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 黒褐色シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 暗灰色シルト (2.5Y4/2) 灰黄色シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3~5層は埋土。

P9

- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 3 暗灰色シルト (2.5Y4/2) 灰黄色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 4 暗灰色シルト (2.5Y5/2) 灰黄色シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 暗灰色シルト (2.5Y3/3) 灰黄色シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3~5層は埋土。

P5・P6 (c-c')

- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 2 暗オリーブ褐色シルト (2.5Y3/3) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 暗灰色シルト (2.5Y4/2) 暗灰色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 4 オリーブ褐色シルト (2.5Y4/3) 灰褐色シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 暗灰色シルト (2.5Y4/2) 暗灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3~5層は埋土。



P6

- 1 暗灰色シルト (2.5Y4/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
- 2 オリーブ褐色シルト (2.5Y4/3) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
- 3 暗オリーブ褐色シルト (2.5Y3/3) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。

P7・P8 (d-d')

- 1 オリーブ褐色シルト (2.5Y4/3) 炭化物粒子微量、酸化鉄多くを含み、粘性を有する。
  - 2 暗灰色シルト (2.5Y4/2) 炭化物微量、酸化鉄中量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 黄褐色シルト (2.5Y5/3) 黄褐色砂質シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 4 暗灰色シルト (2.5Y5/2) 暗灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 オリーブ褐色シルト (2.5Y4/4) 灰褐色砂質シルト小塊を含み、やや締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3~5層は埋土。

P8

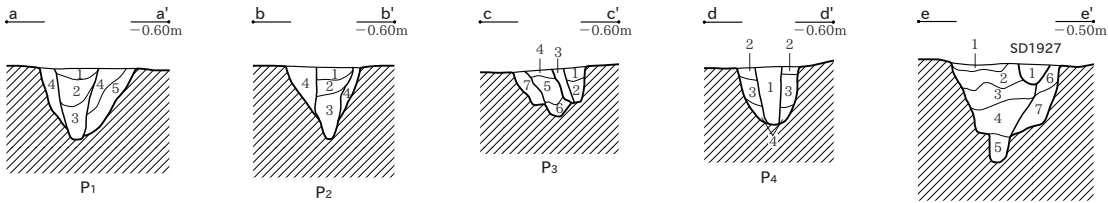
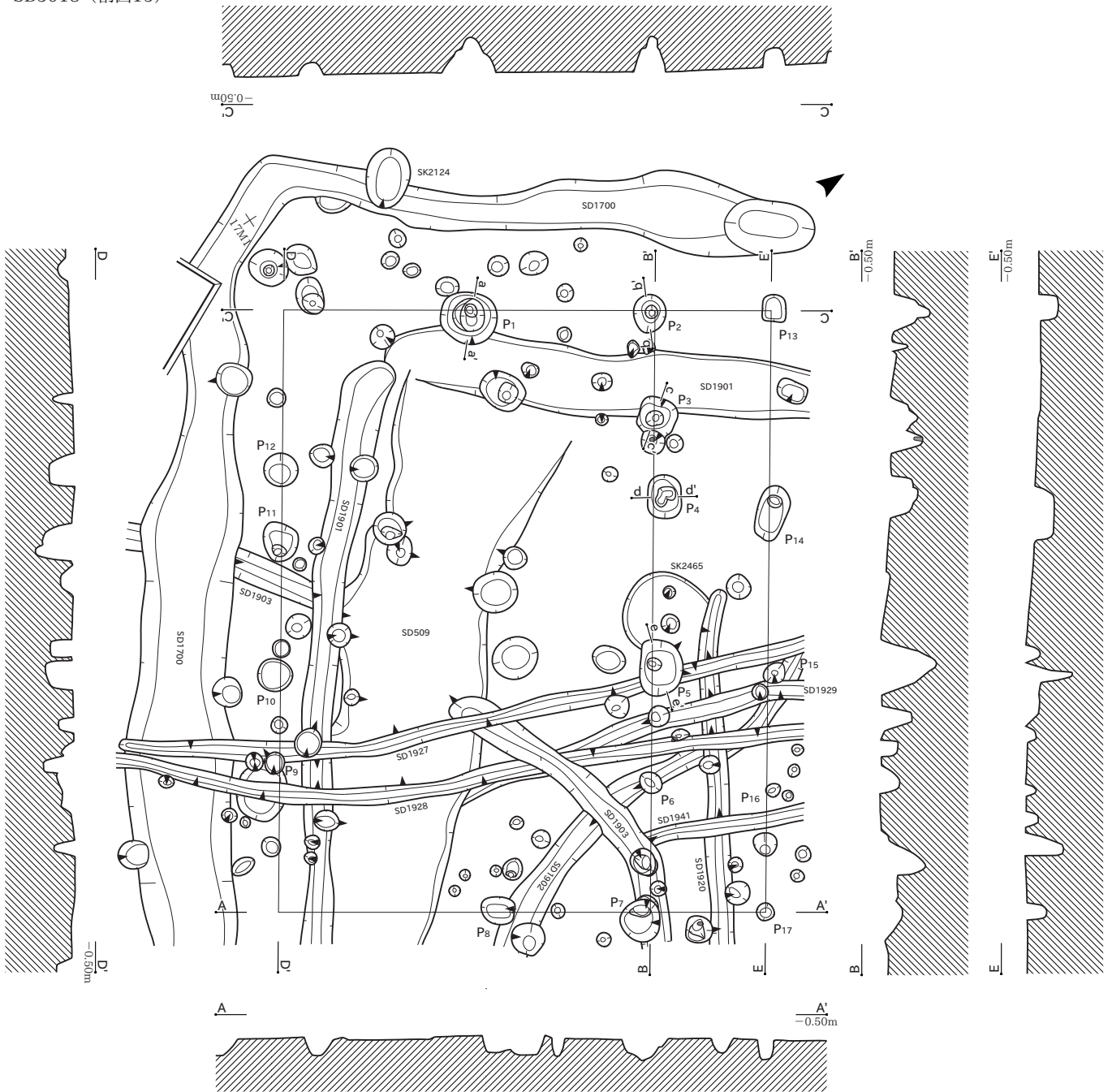
- 1 暗灰色シルト (2.5Y4/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、下位に柱材が残る。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 5 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 6 暗オリーブ褐色シルト (2.5Y3/3) 暗灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 7 暗灰色シルト (2.5Y4/2) 暗灰色砂質シルト小塊を含み、やや粘性を有する。
- ※2・3層は柱痕跡。4~7層は埋土。

P2722

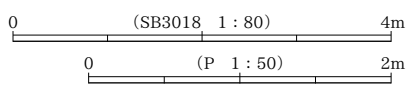
- 1 オリーブ褐色粘質シルト (2.5Y4/3) 炭化物極微量 ( $\phi$ 1~3mm, 1%)、酸化鉄少量 (10%) 含む。



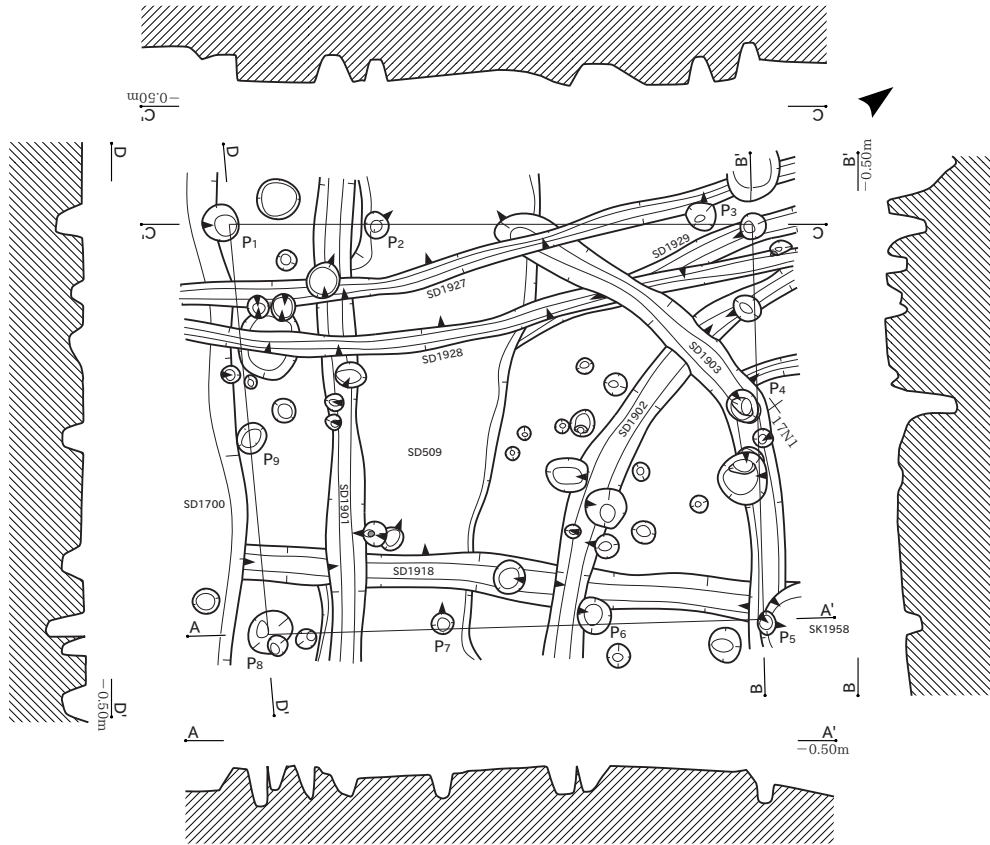
SB3018 (割図15)



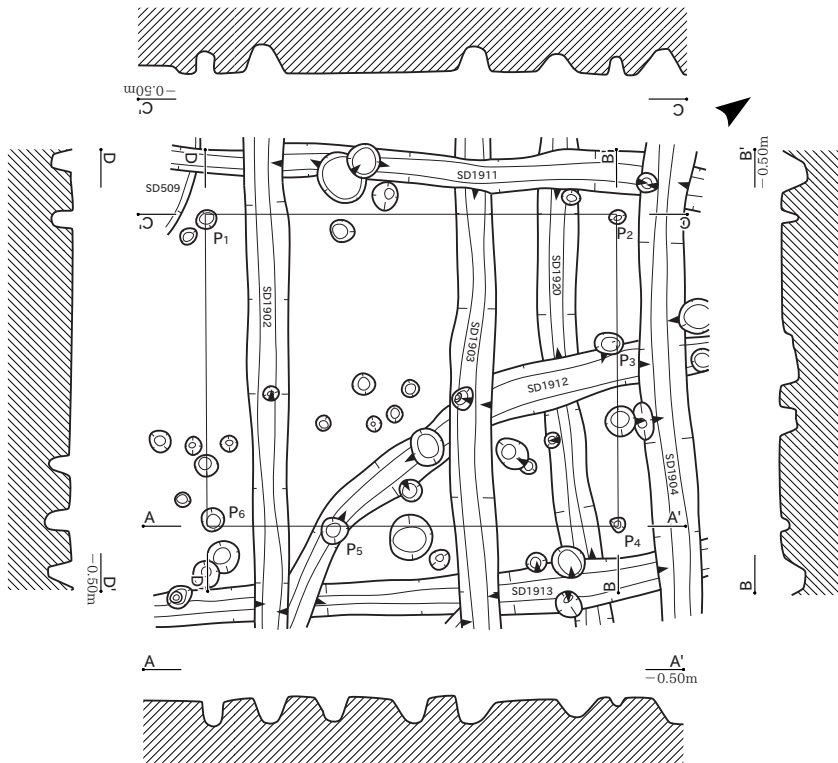
- P1 (a-a')**
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子少量、酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄微量を含み、やや粘性を有する。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 灰褐色砂質シルト小塊を含み、やや締まる。
- ※1~3層は柱痕跡。4・5層は埋土。
- P2 (b-b')**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 2 暗黄褐色シルト (2.5Y4/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 3 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 灰褐色砂質シルト小塊少量を含み、全体に締まる。
- ※1~3層は柱痕跡。4層は埋土。
- P3 (c-c')**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子少量、酸化鉄やや多くを含み、粘性を有する。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y7/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄やや多くを含み、やや粘性を有する。
  - 3 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 灰黄色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 4 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄やや多くを含み、やや粘性を有する。
  - 5 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物粒子少量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 6 緑灰色シルト (10G6/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄やや多くを含み、やや粘性を有する。
  - 7 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 灰黄色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※4~6層は柱痕跡。7層は埋土 (1~3層はP2168の覆土)。
- P4 (d-d')**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y7/2) 灰黄色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 4 青灰色シルト (5BG6/1) 青灰色砂質シルト小塊を含み、やや締まる。
- ※1層は柱痕跡。2~4層は埋土。
- P5 (e-e')**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子少量、酸化鉄やや多くを含み、粘性に富む。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y7/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄やや多くを含み、やや粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まりに欠ける。
  - 4 暗黄褐色シルト (2.5Y4/2) 炭化物粒子少量、黄灰色シルト小塊少量を含み、締まりに欠ける。
  - 5 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まりに欠ける。
  - 6 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 灰褐色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 7 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1~4層は柱抜き取り痕跡か。6・7層は埋土。
- SD1927**
- 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性ややなし。



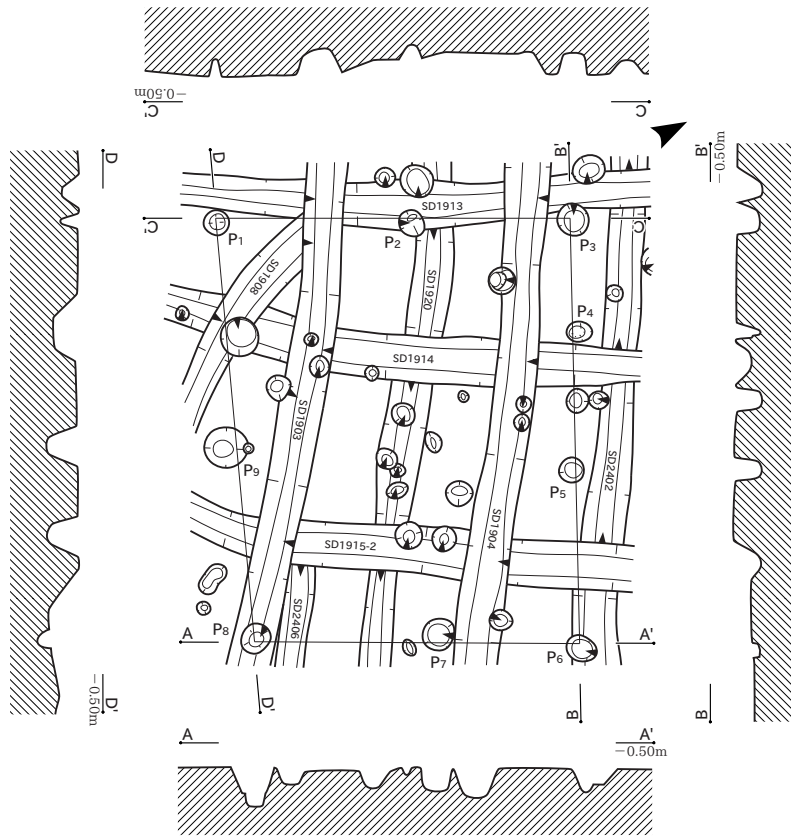
SB3019 (割図15・17)



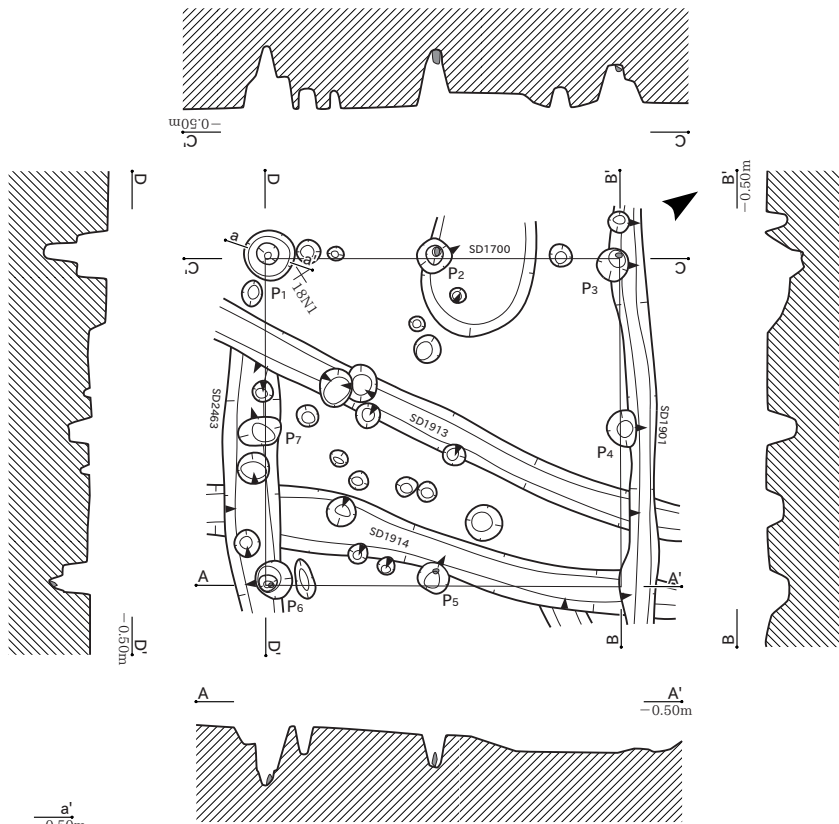
SB3020 (割図15~18)



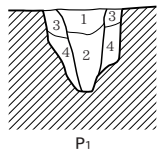
SB3021 (割図18)



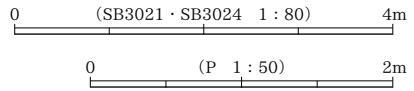
SB3024 (割図17)



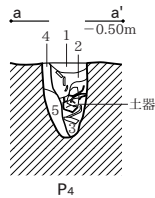
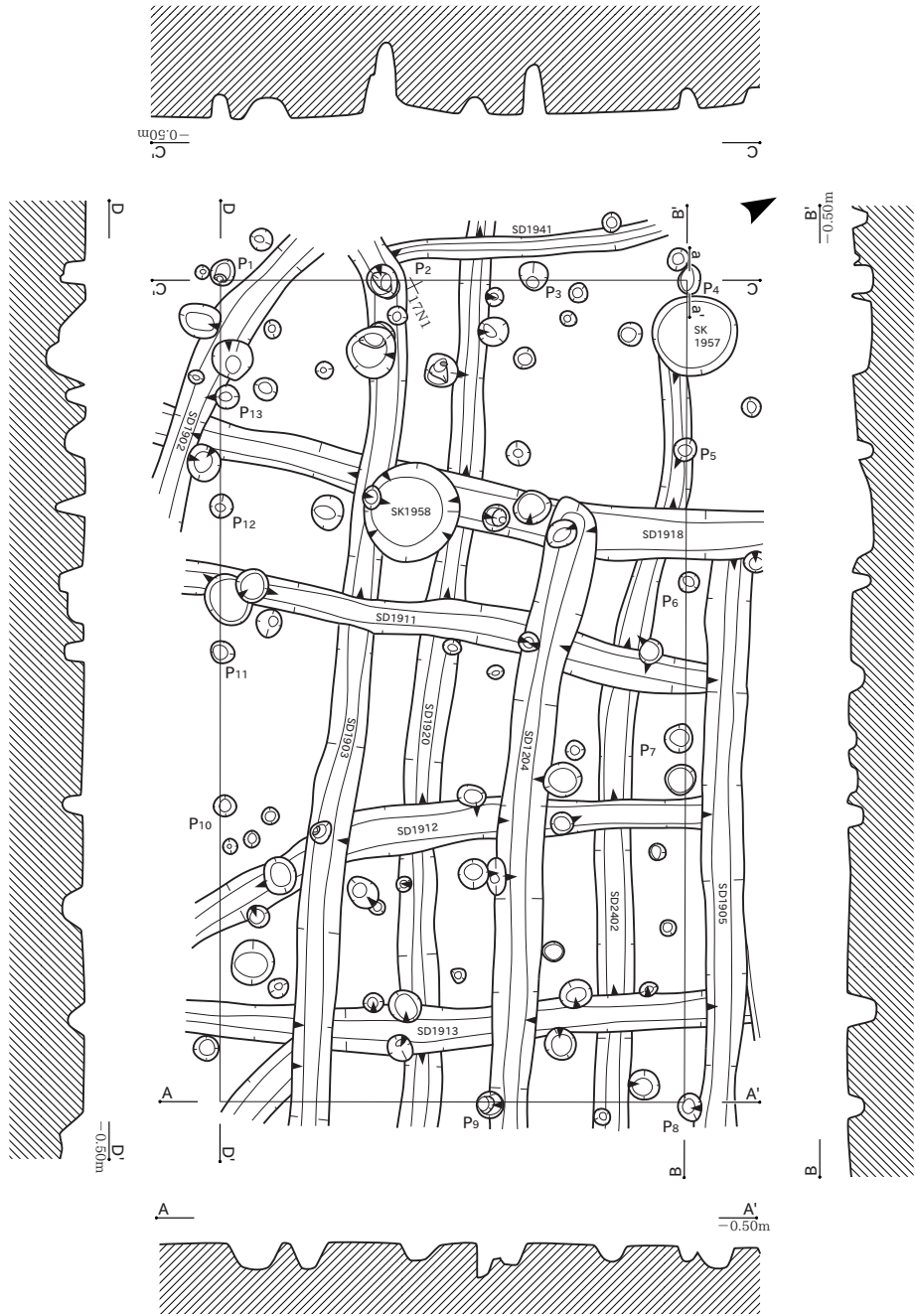
a a' -0.50m



- P1 (a-a')
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 炭化物微量、酸化鉄微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 炭化物微量を含み、層上位に酸化鉄少量沈着。
  - 3 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 灰黄褐色シルト小塊を含み、全体によく締まる。
  - 4 灰色シルト (5Y5/1) 灰色シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3・4層は埋土。

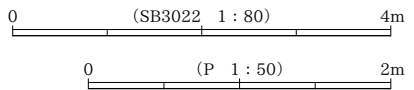


SB3022 (割図15~18)

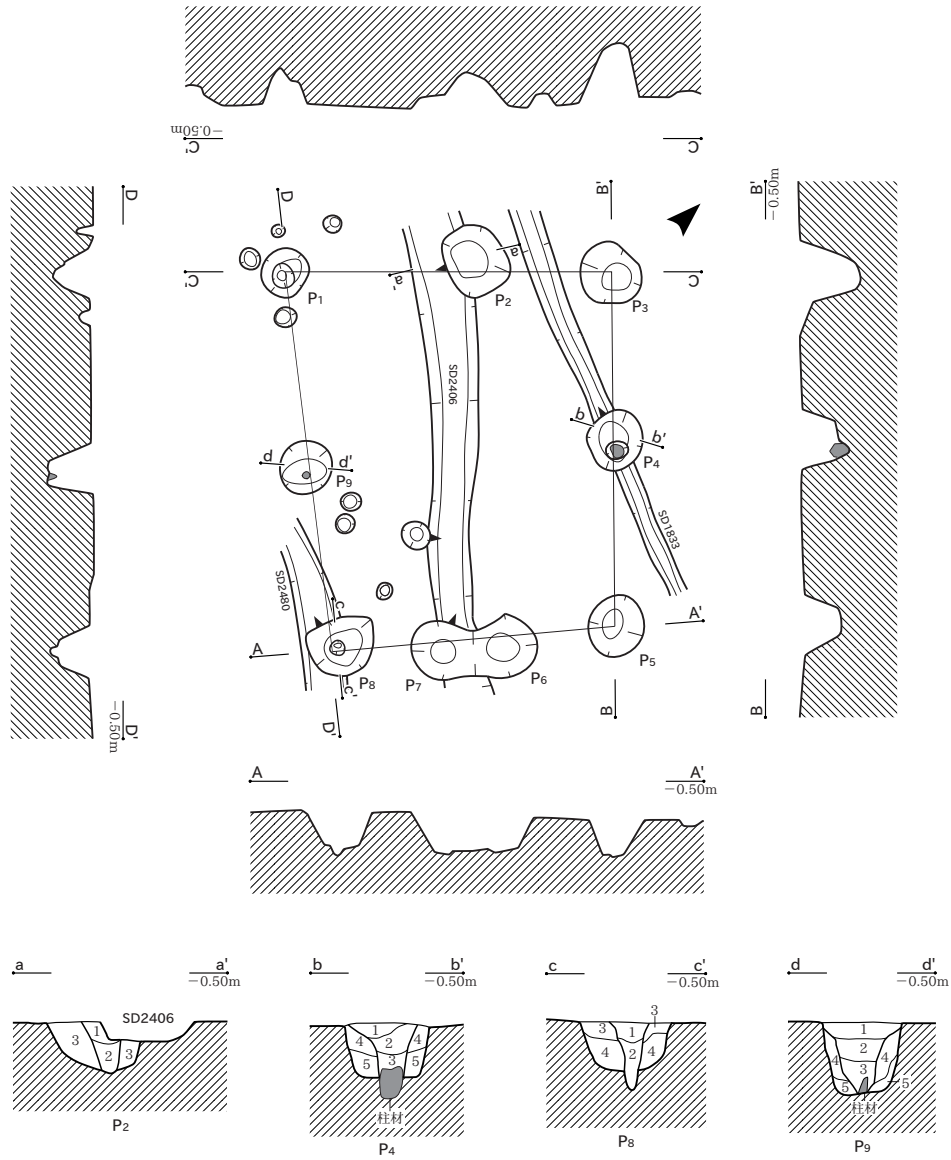


P4 (a-a')

- 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 炭化物微量、酸化鉄少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 炭化物微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 炭化物少量、酸化鉄微量を含み、やや締まりに欠ける。
  - 4 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 灰黄色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 褐灰色シルト (10YR5/1) 褐灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1~3層は柱抜き取り痕跡。4・5層は埋土。



SB3023 (割図18)



P2 (a-a')

- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y4/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 2 オリーブ褐色シルト (2.5Y4/3) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、やや締まりに欠ける。
  - 3 灰オリーブ色シルト (5Y5/2) 灰青色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡か。3層は埋土。

P4 (b-b')

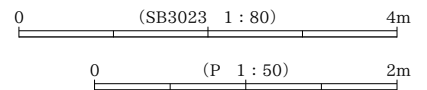
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子、酸化鉄少量を含み、やや粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子、酸化鉄少量を含み、下位に柱材が残る。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 暗灰黄色シルト (2.5Y4/2) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1~3層は柱痕跡。4・5層は埋土。

P8 (c-c')

- 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量、砂質シルト小塊少量を含み、締まりに欠ける。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子少量、酸化鉄少量、砂質シルト小塊を少量含み、締まりに欠ける。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1・2層は柱痕跡。3・4層は埋土。

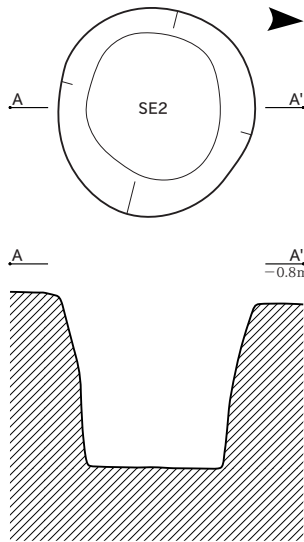
P9 (d-d')

- 1 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量、砂質シルト小塊少量を含み、締まりに欠ける。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子少量、酸化鉄少量、砂質シルト小塊を少量含み、締まりに欠ける。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量、酸化鉄少量を含み、締まりに欠ける。下位に柱材が残る。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 黄灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
  - 5 灰色シルト (7.5Y5/1) 灰色砂質シルト小塊を含み、全体に締まる。
- ※1~3層は柱痕跡。4・5層は埋土。

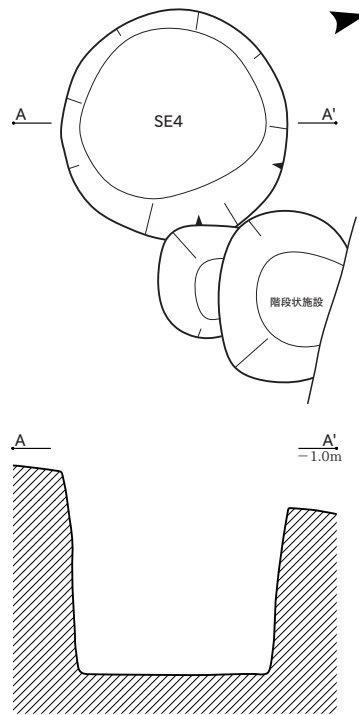




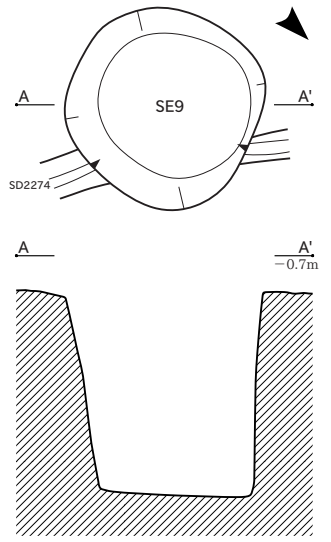
SE2 (割図12)



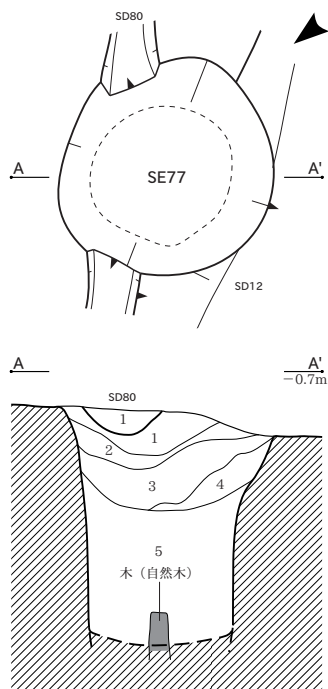
SE4 (割図12)



SE9 (割図12)



SE77 (割図9)

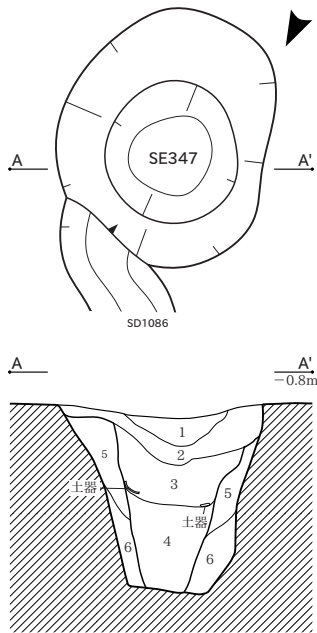


SE77・SD80 (A-A')

- SE77
- 1 灰色シルト (N4/0) 炭化物粒子多量、褐灰色シルト小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (N4/0) 炭化物粒子少量、青灰色シルト小塊多くを含み、粘性に富む。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子少量・青灰色シルト小塊中量を含み、粘性に富む。
  - 5 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量・青灰色シルト小塊中量を含み、粘性に富む。最下部から自然木出土。

- SD80
- 1 灰黄褐色シルト。(10YR6/2) 炭化物粒子少量・灰黄褐色砂質土中量を含み、粘性を有する。

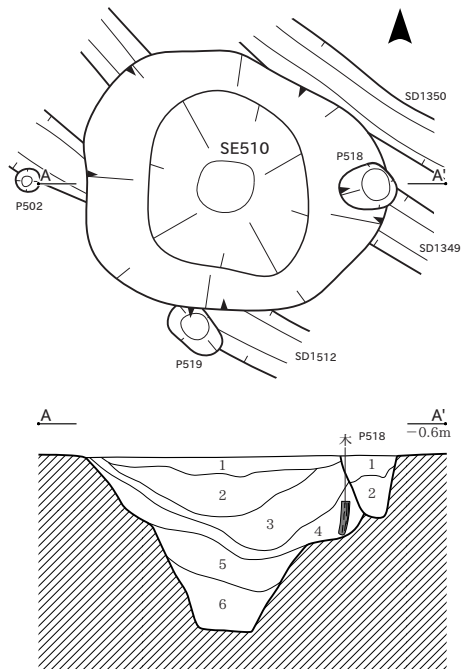
SE347 (割図2)



SE347 (A-A')

- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 炭化物粒子少量、酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1~5/1) 炭化物粒子・酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
- 3 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物及び炭化物粒子を層上位に含み、粘性に富む。
- 4 青灰色シルト (5BG6/1) 炭化物粒子微量、黒褐色シルト小塊少量を含み、粘性に富む。
- 5 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 暗灰黄色シルト小塊を主体とし、堅く締まる。
- 6 青灰色シルト (5BG5/1) 青灰色シルト塊を主体とし、酸化鉄微量を含み、堅く締まる。※5・6層は裏込土。

SE510 (割図21)

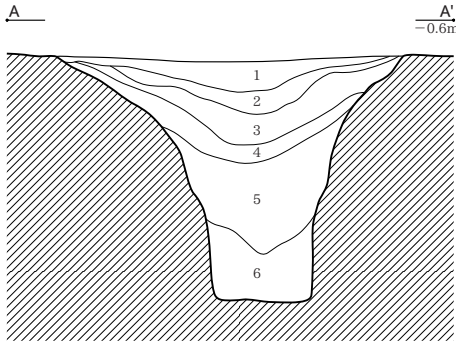
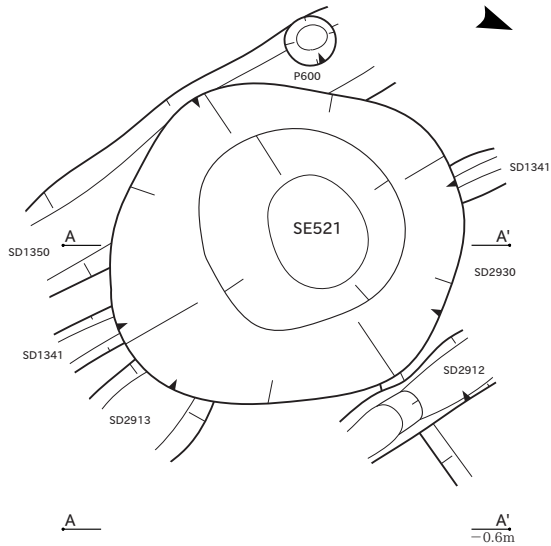


SE510・P518 (A-A')

- SE510
- 1 黒褐色シルト (10YR2/1) 炭化物粒子・酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 2 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子・黒褐色シルト小塊・灰黄褐色シルト小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 褐灰色シルト斑紋状に含み、粘性を有する。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子・細砂少量を含み、粘性に富む。
  - 5 灰黄褐色シルト (10YR4/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 6 灰色シルト (10Y4/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

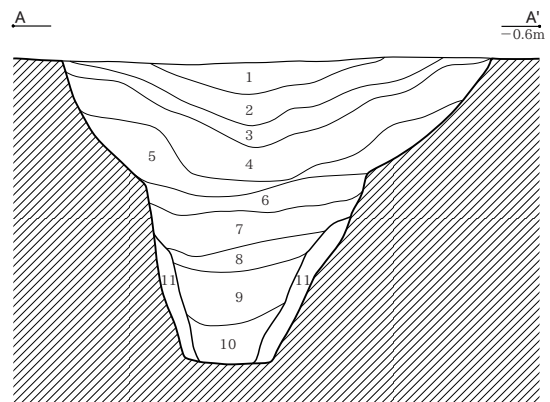
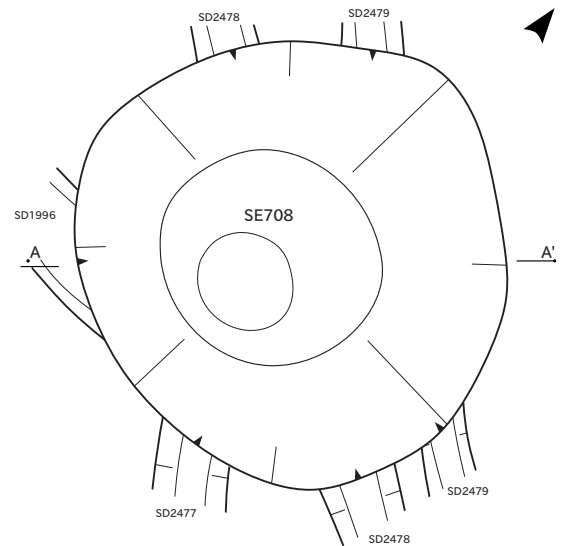
- P518
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 黄灰色シルト小塊少量を含み、粘性・締まり有する。
  - 2 黒褐色シルト (10YR3/1) 炭化物粒子微量、黄灰色シルト小塊少量を含み、粘性を有する。

SE521 (割図21)



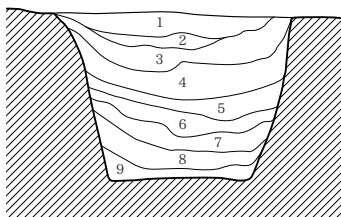
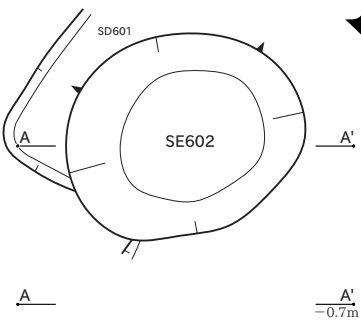
- SE521 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (10YR2/1) 炭化物粒子少量を含み、締まり有する。
  - 2 黒褐色シルト (10YR3/1) 炭化物粒子少量、褐灰色・灰黄褐色シルト微量を含み、粘性に富む。
  - 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量、灰黄褐色・黒褐色シルト少量を含み、粘性に富む。
  - 4 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 5 灰色シルト (10Y4/1) ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 6 灰色シルト (10Y4/1) ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SE708 (割図17)



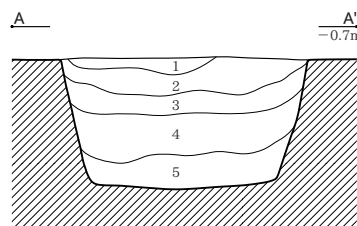
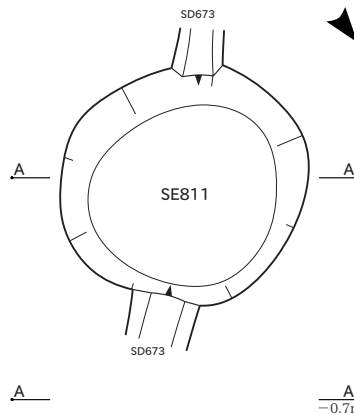
- SE708 (A-A')
- 1 暗褐色シルト (10YR3/3) ガツボ多量、酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 2 黒褐色シルト (10YR2/1) ガツボ多量、酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 3 オリーブ黒色シルト (7.5Y3/1) ガツボ少量、黒褐色シルト微量を含み、粘性に富む。
  - 4 黒褐色シルト (10YR3/1) ガツボ・酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 5 褐灰色シルト (10YR4/1) 細砂少量を含み、粘性に富む。
  - 6 黒褐色シルト (10YR3/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 7 灰色シルト (10Y5/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
  - 8 灰色シルト (10Y4/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
  - 9 灰色シルト (10Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 10 灰色シルト (10Y4/1) 青灰色砂微量を含み、粘性に富む。
  - 11 灰褐色シルト (10YR5/2) 灰褐色シルト小塊を主体とする。
- ※11層は裏込土。

SE602 (割図5)

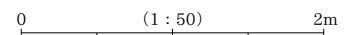


- SE602 (A-A')
- 1 灰色シルト (N4/0) カツボ・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 2 暗灰色シルト (N3/0) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 3 オリーブ灰色土 (2.5GY6/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
  - 4 オリーブ灰色土 (2.5GY6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 5 緑灰色シルト (5G6/1) 炭化物粒子多くを含み、粘性に富む。
  - 6 緑灰色シルト (5G6/1) 炭化物粒子少量、褐灰色粘土小塊微量を含み、粘性に富む。
  - 7 緑灰色シルト (5G6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 8 緑灰色シルト (5G5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 9 緑灰色シルト (5G6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

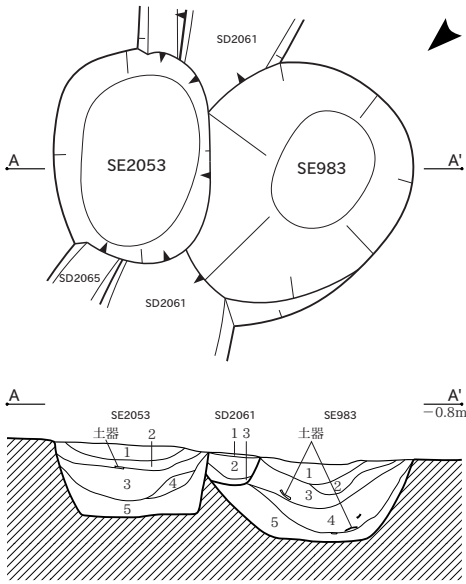
SE811 (割図5)



- SE811 (A-A')
- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) ガツボ・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 明緑灰色シルト (5G7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 4 緑灰色シルト (10G6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 5 緑灰色シルト (10G6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に含む。



SE983・SE2053 (割図7)



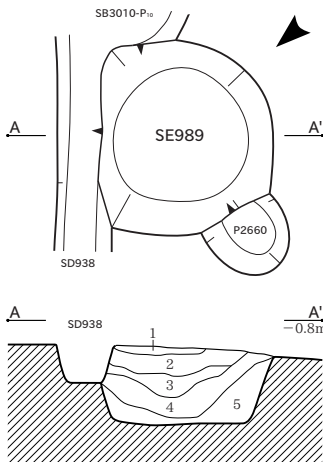
SE983・SE2053・SD2061 (A-A')

- SE983**
- 1 黒色粘質土 (N2/1) ガツボ多くを含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子・灰色シルト小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 4 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 5 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子微量、青灰色細砂少量を含み、粘性に富む。

- SE2053**
- 1 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子少量、灰色粘土小塊微量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子・灰色シルト小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 4 灰色シルト (5Y6/1) 灰色シルト小塊、細砂少量を含み。
  - 5 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。

- SD2061**
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子・シルト小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子少量、粘土小塊微量を含み、粘性に富む。

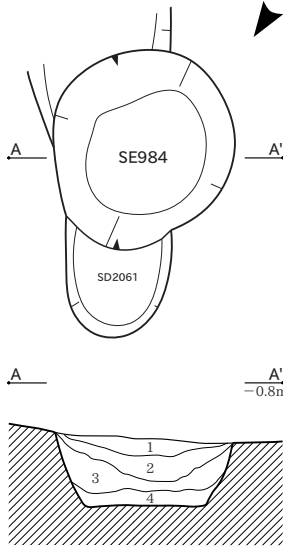
SE989 (割図8)



SE989 (A-A')

- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 2 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性やや減。
- 3 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 4 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 5 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子・青灰色細砂微量を含み、粘性を有する。

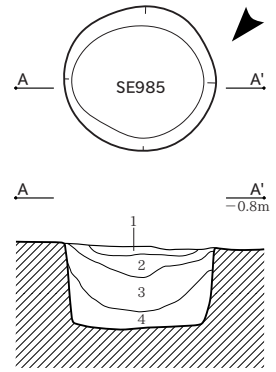
SE984 (割図7)



SE984 (A-A')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 4 緑灰色シルト (10GY6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

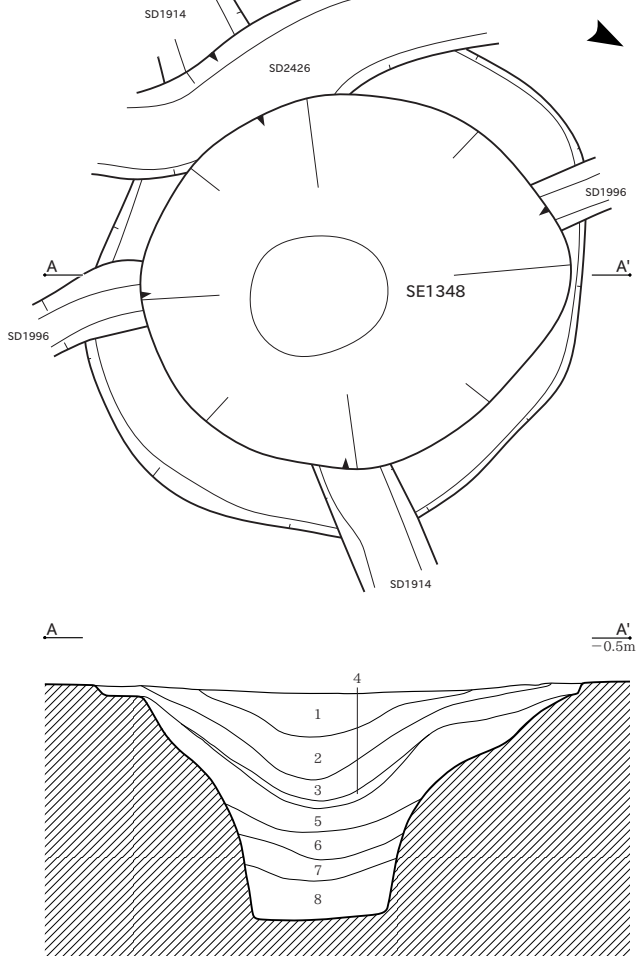
SE985 (割図7)



SE985 (A-A')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 4 緑灰色シルト (10GY6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SE1348 (割図17)

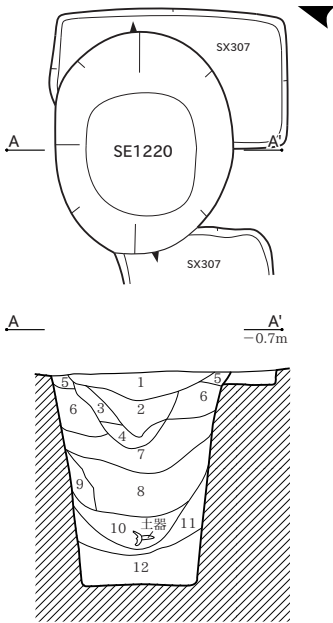


SE1348 (A-A')

- 1 黒褐色シルト (10YR3/3) ガツボ多くを含み、粘性を有する。
- 2 黒褐色シルト (10YR2/2) ガツボ少量を含み、粘性に富む。
- 3 黒褐色シルト (7.5YR3/1) 褐灰色シルト少量を斑紋状に含み、粘性に富む。
- 4 黒褐色シルト (10YR3/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 5 灰色シルト (10Y5/1~4/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
- 6 灰色シルト (5Y5/1~4/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
- 7 灰色シルト (10Y5/1~4/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- 8 灰色シルト (10Y5/1~4/1) 細砂少量を含み、粘性・締まり増。

0 (1 : 50) 2m

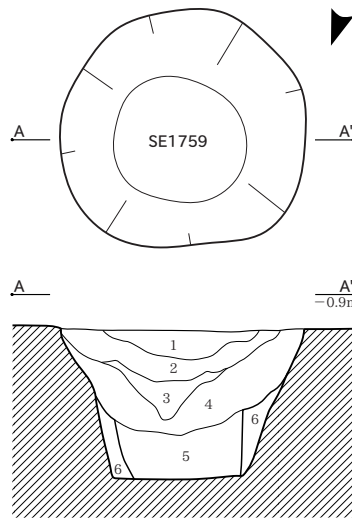
SE1220 (割図3)



SE1220 (A-A')

- 1 黒褐色粘質シルト (2.5Y3/1) やや硬い。酸化鉄大小やや多 (12%)、炭化粒大小やや多 (10%)、帯状に炭化物含む。
- 2 黄灰色粘土 (2.5Y4/1~5/1) やや硬い。酸化鉄大少 (6%)、炭化粒大小やや多 (10%)、帯状に炭化物含む。斑状。
- 3 黄灰色粘土 (2.5Y6/1) やや硬い。酸化鉄大小少 (6%)、炭化粒小少 (5%)。
- 4 黄灰色粘土 (2.5Y6/1) やや硬い。炭化粒大小少 (5%)、帯状に炭化物含む。
- 5 黄灰~灰白色粘土 (2.5Y6/1~7/1) やや硬い。酸化鉄 大小 やや多 (11%)。
- 6 灰色粘土 (5Y5/1) やや硬い。酸化鉄大微、炭化粒大小少 (8%)。
- 7 灰色粘土 (5Y4/1~5/1) やや硬い。炭化粒小少 (5%)。
- 8 青灰色粘土 (10BG5/1) 軟らかい。炭化粒大小少 (6%)。
- 9 青灰色粘土 (10BG5/1) 軟らかい。
- 10 暗緑灰色粘土 (10GY4/1) 軟らかい。炭化粒小微 (2%)。
- 11 緑灰色粘土 (7.5GY5/1) 軟らかい。炭化粒小微 (1%)。
- 12 緑灰色粘土 (7.5GY5/1) 粘土+砂。軟らかい。

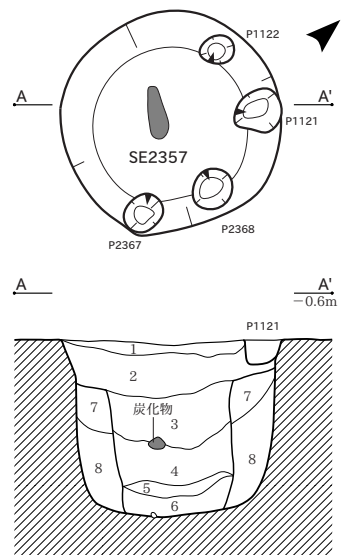
SE1759 (割図4)



SE1759 (A-A')

- 1 暗青灰色シルト (5BG3/1) ガツボ多量、酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
- 2 暗青灰色シルト (5BG4/1) ガツボ・炭化物粒子少量、酸化鉄・青灰色シルト微量を含み、粘性に富む。
- 3 暗青灰色シルト (5BG3/1) 酸化鉄・炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
- 4 暗青灰色シルト (5BG4/1) 炭化物粒子・細砂粒中量を含み、粘性に富む。
- 5 暗青灰色シルト (5BG4/1) 炭化物粒子・細砂粒少量を含み、粘性に富む。
- 6 青灰色シルト (10BG5/1) 青灰色シルト小塊・細砂を多く含み、堅く締まる。  
※6層は裏込土。

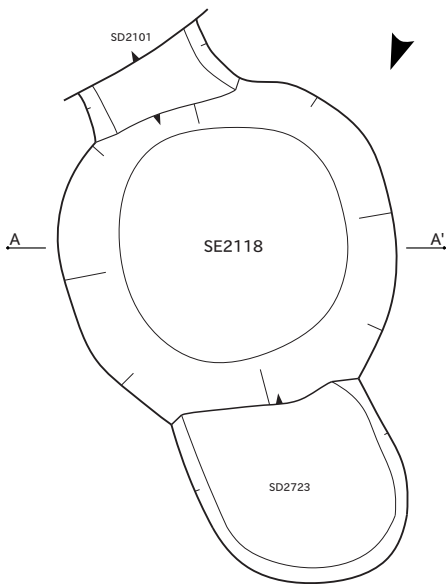
SE2357 (割図11)



SE2357 (A-A')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりにやや欠ける。
- 2 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 3 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 4 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりにやや欠ける。
- 5 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりにやや欠ける。
- 6 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりにやや欠ける。
- 7 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、堅く締まる。
- 8 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、堅く締まる。  
※7・8層は裏込土。

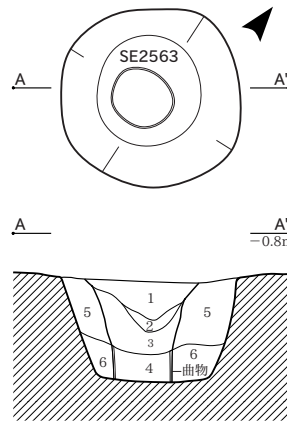
SE2118 (割図14)



SE2118 (A-A')

- 1 黒褐色粘質土 (2.5Y3/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子少量を含み、すこぶる粘性に富む。
- 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
- 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子・黒褐色シルト小塊微量を含み、粘性に富む。
- 4 灰黄色シルト (2.5Y7/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 5 灰黄色シルト (2.5Y7/2) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
- 6 青灰色シルト (5BG6/1) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
- 7 青灰色シルト (5BG6/1) 酸化鉄・細砂粒少量を含み、粘性に富む。

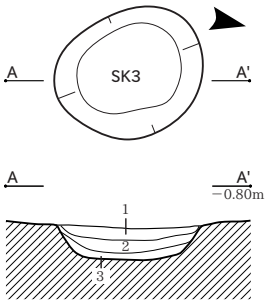
SE2563 (割図10)



SE2563 (A-A')

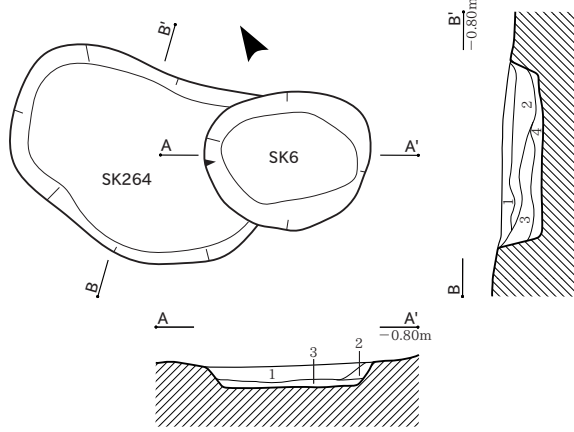
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性・締まりにやや欠ける。
- 2 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりにやや欠ける。
- 3 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量、細砂粒微量を含み、粘性・締まりにやや欠ける。
- 4 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子・細砂粒微量を含み、やや締まる。
- 5 灰色シルト (5Y5/1~4/1) 灰色シルト小塊・細砂粒多くを含み、堅く締まる。
- 6 灰色シルト (5Y5/1~4/1) 灰色シルト小塊・細砂粒多くを含み、5層より堅さが増す。  
※5・6層は裏込土。

SK3 (割図12)



- SK3 (A-A')**
- 1 明褐色シルト (7.5YR7/1) 炭化物粒子微量を含む。
  - 2 褐色シルト (7.5YR6/1) 炭化物粒子少量を含む。
  - 3 灰黄褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含む。

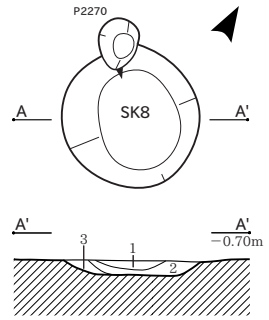
SK6・SK264 (割図12)



- SK6 (A-A')**
- 1 黒色シルト (5Y2/1) 酸化鉄・炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まる。

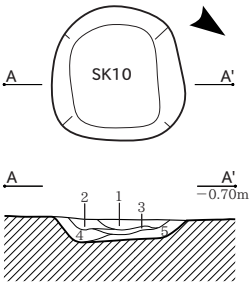
- SK264 (B-B')**
- 1 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量、茶褐色粘質土小塊少量を含む。
  - 2 褐色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 3 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量、茶褐色粘質土小塊少量を含む。
  - 4 青灰色シルト (5B6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK8 (割図12)



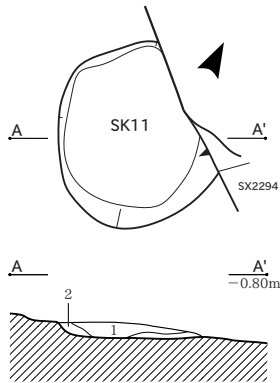
- SK8 (A-A')**
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 3 褐色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。

SK10 (割図9)



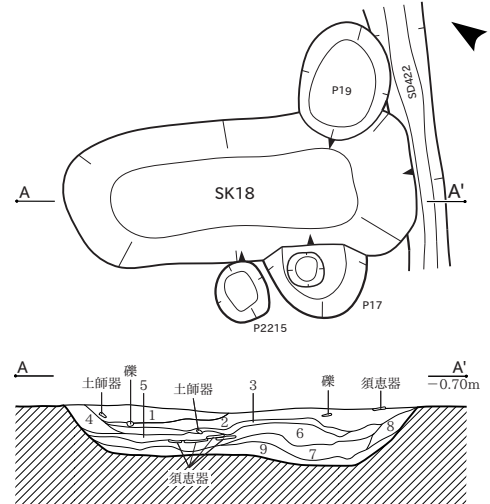
- SK10 (A-A')**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒色粘質土 (10Y2/1) 酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 3 黒色粘質土 (7.5Y2/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 4 黄灰色粘質土 (2.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 5 黒色粘質土 (7.5YR1.7/1) 酸化鉄多くを含み、粘性に富む。

SK11 (割図12)



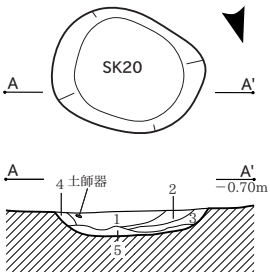
- SK11 (A-A')**
- 1 黒褐色シルト (10YR2/2) 酸化鉄微量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒褐色粘質土 (10YR2/3) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。

SK18 (割図12)



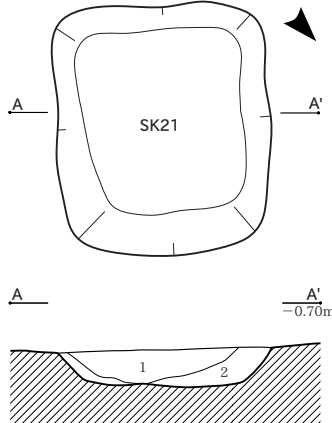
- SK18 (A-A')**
- 1 黒褐色粘質土 (10YR2/3) 酸化鉄微量、炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 2 黒褐色粘質土 (10YR2/3) 酸化鉄微量、炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰オリーブ色粘質土 (5Y5/2) 茶褐色粘質土小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 4 黒褐色粘質土 (2.5Y3/2) 茶褐色粘質土小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 5 暗灰黄色粘質土 (2.5Y4/2) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
  - 6 黒褐色粘質土 (2.5Y3/2) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
  - 7 オリーブ黒色粘質土 (5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 8 灰オリーブ色粘質土 (5Y4/2) 茶褐色粘質土小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 9 オリーブ黒色粘質土 (5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SK20 (割図12)



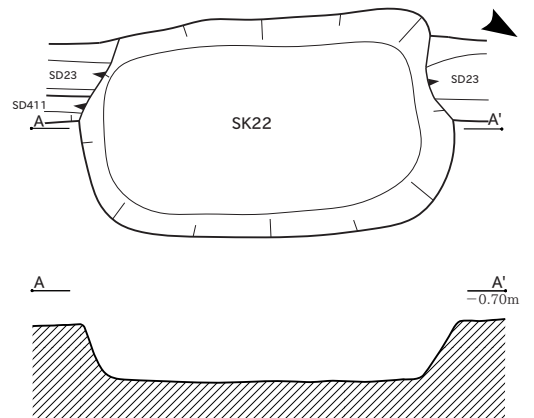
- SK20 (A-A')**
- 1 黒褐色粘質土 (5YR2/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 黒褐色粘質土 (7.5YR2/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
  - 3 オリーブ黒色粘質土 (5Y3/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 4 黒褐色粘質土 (10YR3/1) 酸化鉄少量を含み、粘性に富む。
  - 5 暗灰黄色シルト (2.5Y4/2) 茶褐色砂質土少量を含み、締まる。

SK21 (割図9)



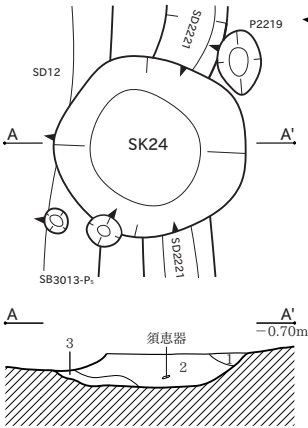
- SK21 (A-A')**
- 1 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。

SK22 (割図9)



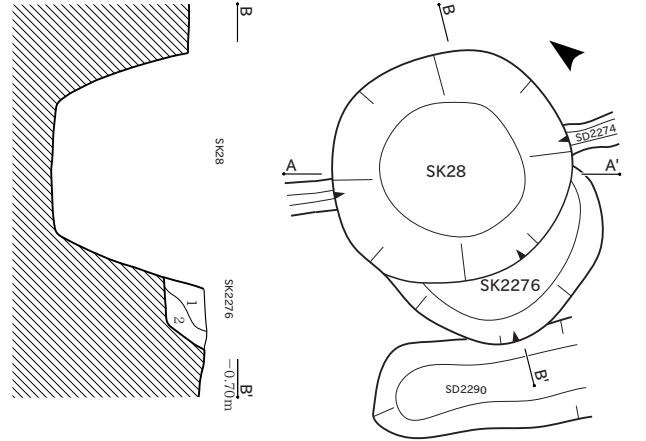


SK24 (割図12)



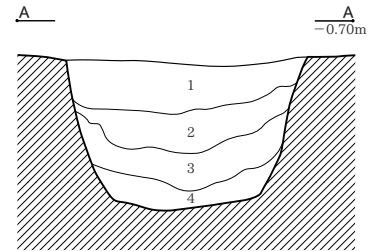
- SK24 (A-A')
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y4/2) 酸化鉄微量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒褐色粘質土 (2.5Y3/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰色粘質土 (5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SK28・SK2276 (割図12)

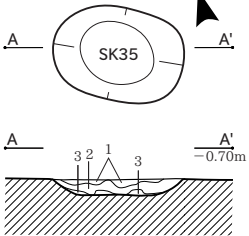


- SK28 (A-A')
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子中量を含み、締まり有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量を含み、締まり有する。
  - 3 褐灰色粘質土 (7.5YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 4 褐灰色粘質土 (7.5YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

- SK2276 (B-B')
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y4/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含む。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y4/2) ガソボ、炭化物粒子微量、酸化鉄中量を含む。

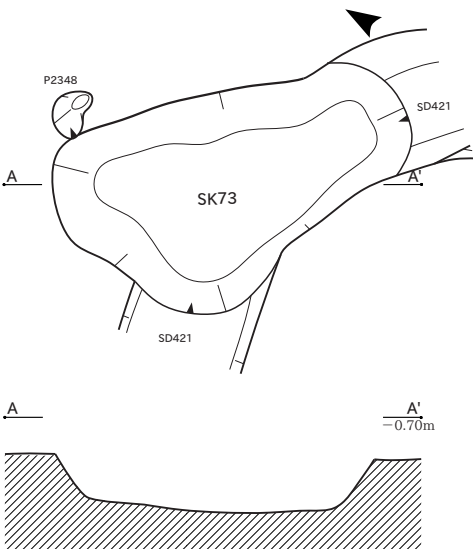


SK35 (割図12)

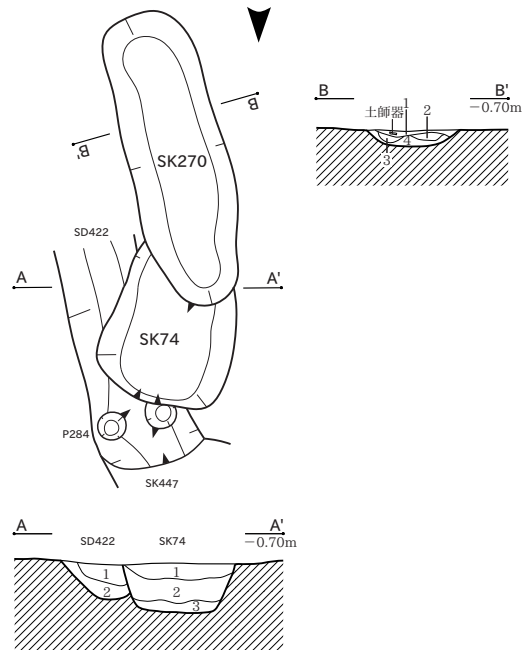


- SK35 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (10YR2/3) 炭化物粒子少量を含む。
  - 2 灰褐色粘質土 (10YR5/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 3 褐灰色シルト (10YR7/3) 茶褐色粘質土主体で、粘性に富む。

SK73 (割図11)



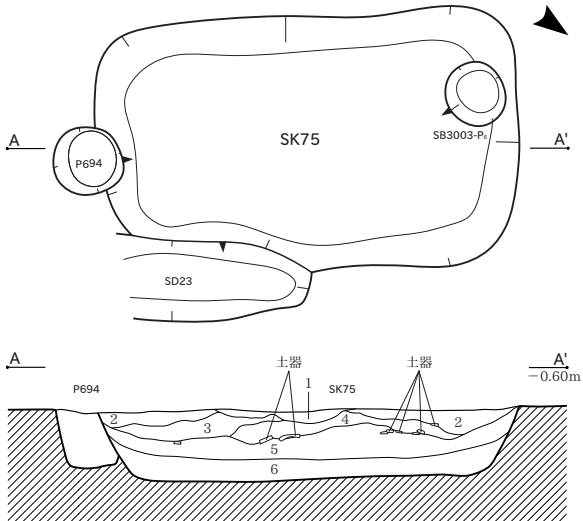
SK74・SK270 (割図11)



- SK74・SD422 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄、炭化物粒子微量を含む。
  - 2 オリーブ黒色シルト (5Y3/2) 酸化鉄、炭化物粒子微量を含む。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄、炭化物粒子微量を含む。

- SK270 (B-B')
- 1 黒褐色シルト (10YR2/3) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒褐色シルト (10YR3/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 3 黒色腐植土 (7.5YR1.7/1) 炭化物粒子中量を含み、腐食に富む。
  - 4 黒褐色粘質土 (7.5YR3/1) 酸化鉄、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

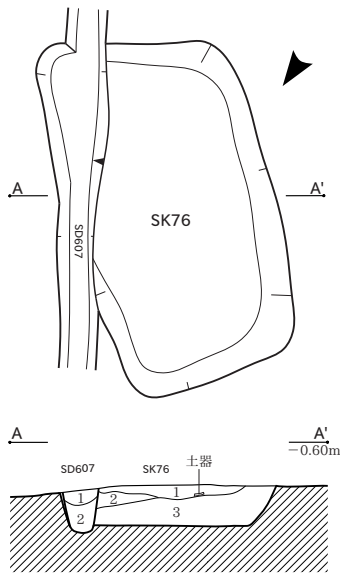
SK75 (割図8)



SK75 (A-A')

- 1 黒褐色粘質土 (10YR2/3) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 2 黒褐色粘質土 (10YR3/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 3 黒褐色粘質土 (2.5Y3/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 4 黒褐色粘質土 (2.5Y3/1) 茶褐色粘質土小塊中量を含み、粘性に富む。
- 5 オリーブ黒粘質土 (5Y3/1) 酸化鉄・炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
- 6 黄灰色粘質土 (2.5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子多くを含み、粘性に富む。

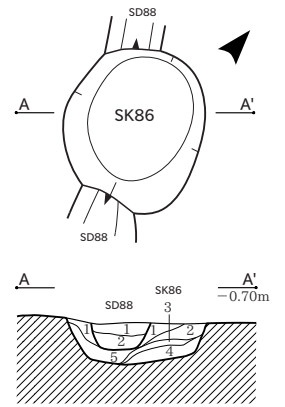
SK76 (割図9)



SK76・SD607 (A-A')

- SK76
- 1 黒褐色シルト (10YR2/2) 炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子多く、茶褐色粘質土塊少量を含み、粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性にやや欠ける。
- SD607
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量、褐灰色シルト小塊少量を含み、粘性を有する。

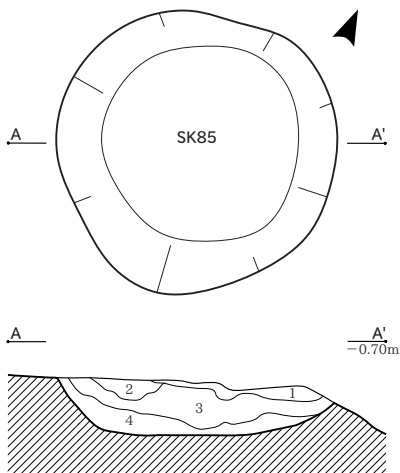
SK86 (割図9)



SK86・SD88 (A-A')

- SK86
- 1 黒褐色シルト (10YR3/2) ガツボ少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒褐色粘質土 (10YR2/3) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 3 黒褐色粘質土 (10YR2/3) 茶褐色粘質土小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 4 黒色粘質土 (10YR2/1) 炭化物粒子・茶褐色粘質土小塊少量を含み、粘性に富む。
  - 5 黒色粘質土 (5YR1.7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- SD88
- 1 暗褐色粘質土 (10YR3/4) 酸化鉄少量、炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
  - 2 黒褐色粘質土 (2.5Y3/2) 炭化物粒子・黒褐色粘質土小塊多くを含み、粘性に富む。

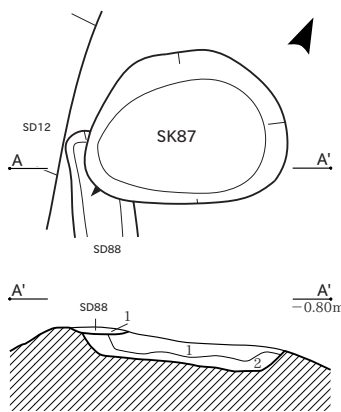
SK85 (割図9)



SK85 (A-A')

- 1 黒褐色粘質土 (10YR2/3) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 2 オリーブ黒粘質土 (5Y3/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 3 黒褐色粘質土 (2.5Y3/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
- 4 灰色粘質土 (7.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

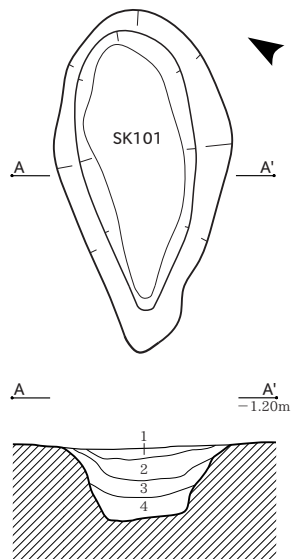
SK87 (割図9)



SK87・SD88 (A-A')

- SK87
- 1 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色粘質土 (5Y4/1) 炭化物粒子微量、茶褐色粘質土小塊少量を含み、粘性に富む。
- SD88
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

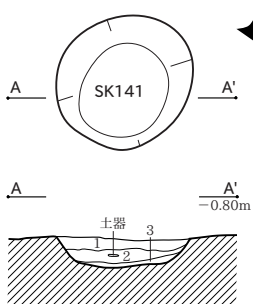
SK101 (割図23)



SK101 (A-A')

- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) ガツボ・黒褐色粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。
- 2 黒褐色シルト (10YR3/2) ガツボ少量を含み、粘性・締まりを有する。
- 3 暗褐色シルト (10YR3/3) 炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。
- 4 灰色シルト (10Y4/1) ガツボ・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

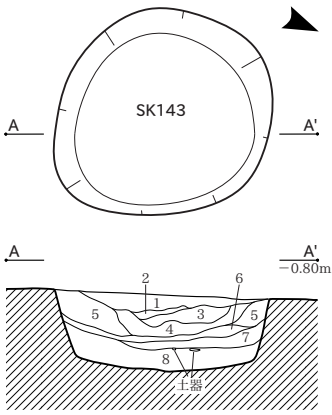
SK141 (割図3)



SK141 (A-A')

- 1 黒色シルト (5Y2/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 2 オリーブ黒シルト (5Y3/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子・茶褐色粘質土小塊少量を含み、粘性に富む。

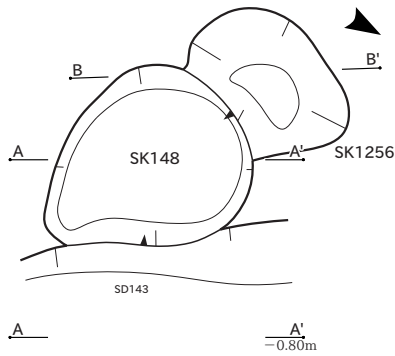
SK143 (割図3)



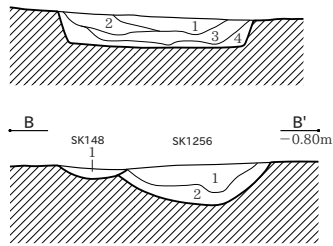
SK143 (A-A')

- 1 黒色シルト (5Y2/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
- 2 灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 3 黒色シルト (7.5Y2/1) ガツボ少量、炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
- 4 黒色シルト (7.5Y2/1) 茶褐色粘質土多量を含み、粘性に富む。
- 5 灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 6 黒色シルト (N2/0) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
- 7 灰色シルト (7.5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 8 黒色シルト (N2/0) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。

SK148・SK1256 (割図3)



SK148 (A-A')



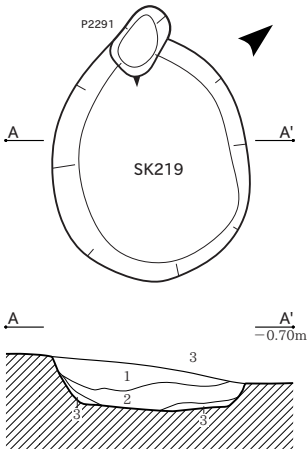
SK148 (A-A')

- 1 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 2 灰色シルト (5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 3 灰色粘質土 (5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 4 灰色粘質土 (5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SK148・SK1256 (B-B')

- SK148
- 1 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- SK1256
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y6/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

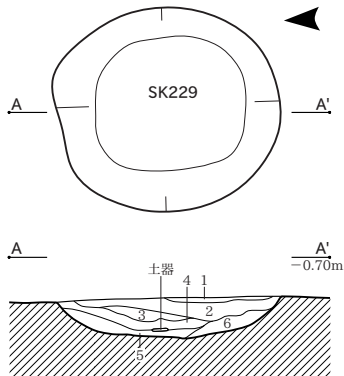
SK219 (割図12)



SK219 (A-A')

- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、やや粘性を有する。
- 2 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、やや粘性を有する。
- 3 灰白色シルト (10YR7/1) 茶褐色粘質土塊を主体とし、粘性に富む。

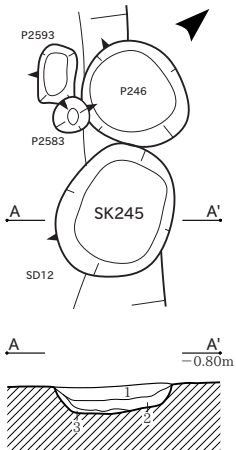
SK229 (割図12)



SK229 (A-A')

- 1 暗灰色シルト (N3/0) 炭化物粒子少量を含み、やや粘性を有する。
- 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量を含み、やや粘性を有する。
- 3 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子中量を含み、やや粘性を有する。
- 4 暗灰色シルト (N3/0) 炭化物粒子中量、茶褐色粘質土塊少量を含み、粘性を有する。
- 5 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量を含み、やや粘性を有する。
- 6 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量、茶褐色粘質土塊中量を含み、粘性を有する。

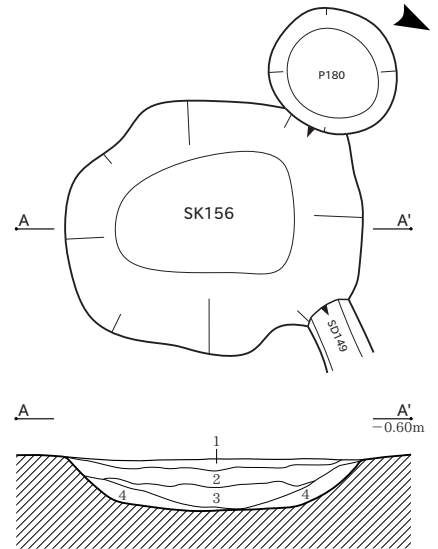
SK245 (割図12)



SK245 (A-A')

- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや粘まる。
- 2 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 炭化物粒子少量を含み、やや粘まる。
- 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量を含み、やや粘性を有する。

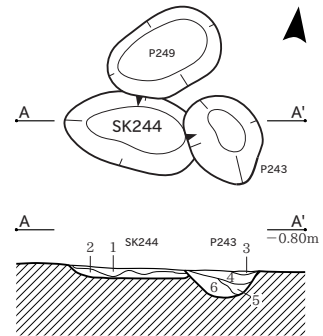
SK156 (割図2)



SK156 (A-A')

- 1 黒色シルト (5Y3/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 2 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 3 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 4 褐灰色シルト (10YR7/3) 茶褐色粘質土を主体とし、粘性に富む。

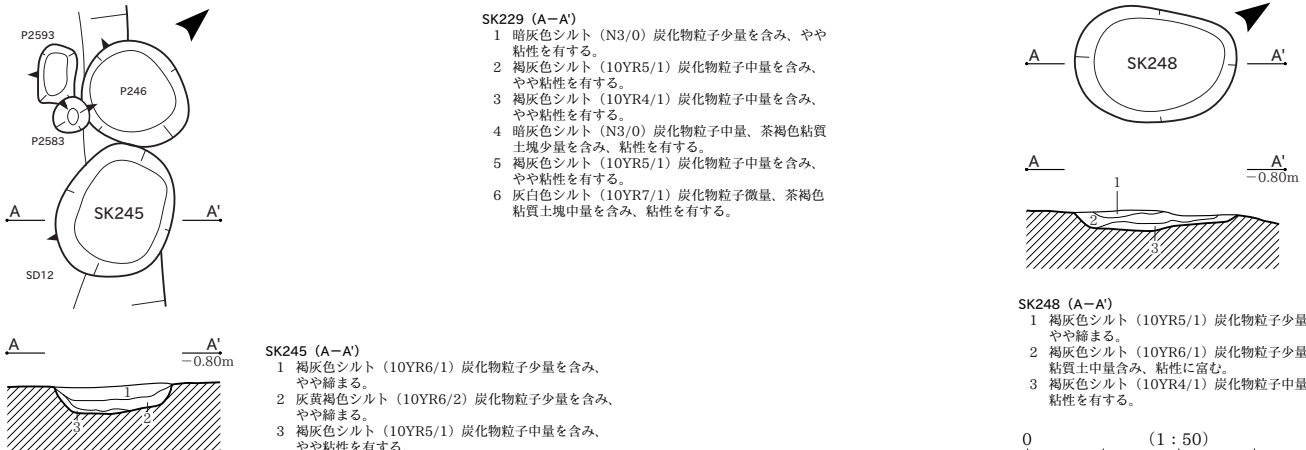
SK244 (割図12)



SK244 (A-A')

- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子微量、茶褐色粘質土塊少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量、茶褐色粘質土塊少量を含み、粘性を有する。
- P243
- 3 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 4 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 5 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 灰黄褐色シルト小塊少量を含み、粘性を有する。
  - 6 灰白色シルト (10YR7/1) 灰黄褐色シルト小塊を主体とし、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。

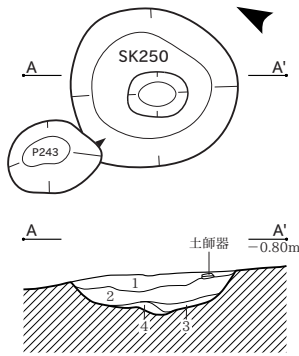
SK248 (割図12)



SK248 (A-A')

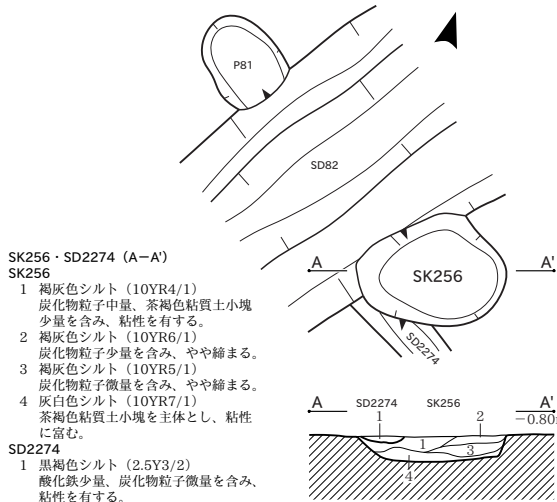
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、やや粘まる。
- 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量、茶褐色粘質土中量を含み、粘性に富む。
- 3 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。

SK250 (割図12)



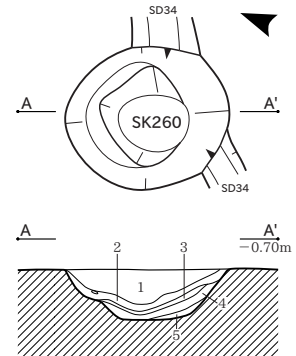
- SK250 (A-A')
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子微量、茶褐色粘質土塊中量を含み、粘性に富む。
  - 4 灰色シルト (5Y5/1) 茶褐色粘質土小塊を主体とし、粘性に富む。

SK256 (割図9)



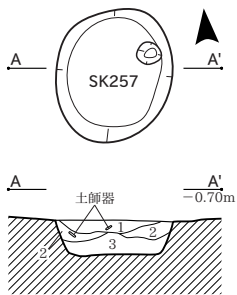
- SK256・SD2274 (A-A')
- SK256
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子中量、茶褐色粘質土小塊少量を含み、粘性を有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
  - 4 灰白色シルト (10YR7/1) 茶褐色粘質土小塊を主体とし、粘性に富む。
- SD2274
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK260 (割図12)



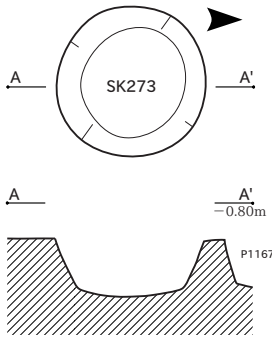
- SK260 (A-A')
- 1 褐灰色シルト (7.5YR4/1~5/1) ガツボ・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR4/2~5/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰褐色粘質土 (10YR4/2) 暗褐色粘質土を主体とし、粘性に富む。
  - 4 にぶい黄褐色シルト (10YR6/4) ガツボ少量を含み、粘性を有する。
  - 5 にぶい黄褐色シルト (10YR7/3) 茶褐色粘質土を主体とし、粘性に富む。

SK257 (割図12)

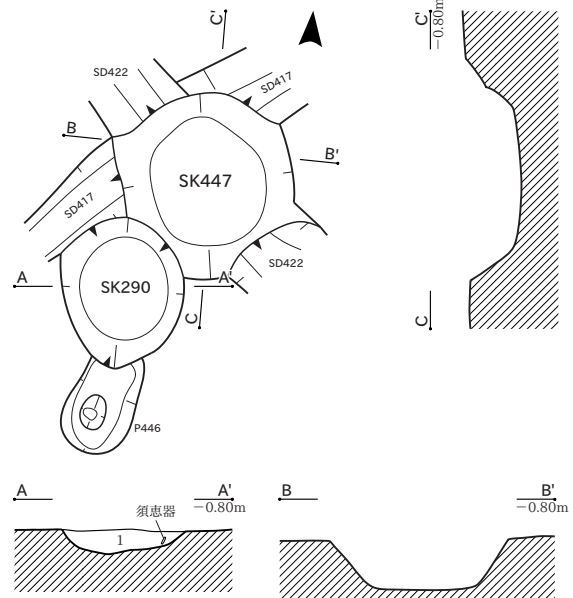


- SK257 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 黒色粘質土 (5Y2/1) 酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 3 黒色腐植土 (2.5Y2/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、腐食に富む。

SK273 (割図8)

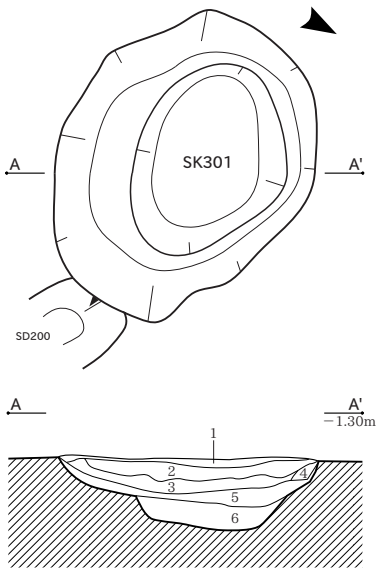


SK290・SK447 (割図11)



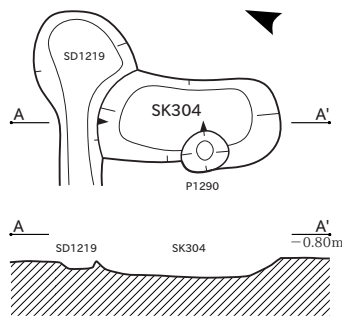
- SK290 (A-A')
- 1 オリーブ褐色シルト (2.5Y4/3) 酸化鉄微量、茶褐色粘質土塊少量を含み、粘性を有する。

SK301 (割図3)

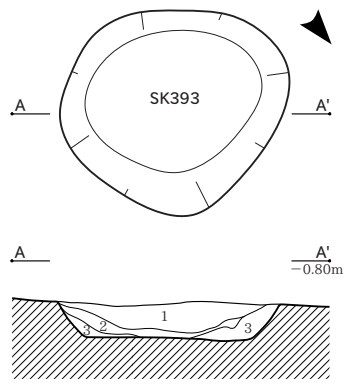


- SK301 (A-A')
- 1 暗灰色シルト (N3/0) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量を含み、やや締まる。
  - 3 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子中量を含み、やや締まる。
  - 4 暗灰色シルト (N3/0) 炭化物粒子中量、茶褐色粘質土小塊少量を含み、粘性を有する。
  - 5 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子多くを含み、粘性・締まりを有する。
  - 6 灰色粘質土 (5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。

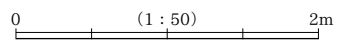
SK304 (割図2)



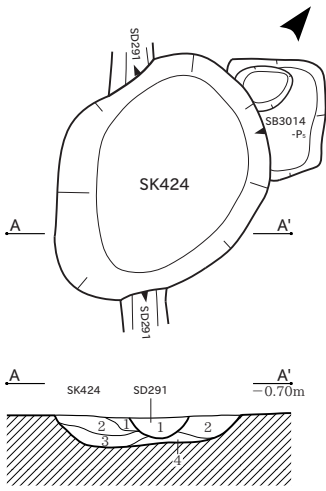
SK393 (割図2)



- SK393 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) ガツボ少量、炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。



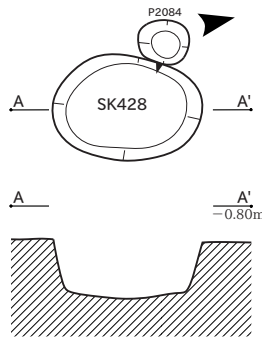
SK424 (割図11)



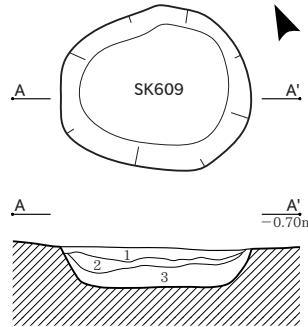
SK424・SD291 (A-A')

- SK424
- 1 褐灰色粘質土 (10YR4/1) 酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 2 黒褐色粘質土 (2.5Y3/2) 酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰色粘質土 (5Y4/1) 酸化鉄微量を含み、粘性に富む。
  - 4 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄微量を含み、粘性を有する。
- SD291
- 1 褐灰色粘質土 (5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む

SK428 (割図8)



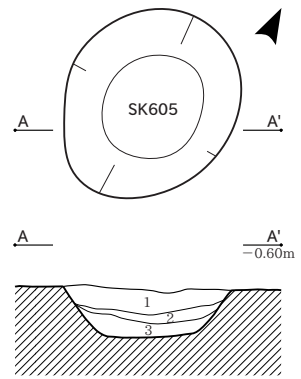
SK609 (割図5)



SK609 (A-A')

- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。
- 3 にぶい黄橙色シルト (10YR7/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。

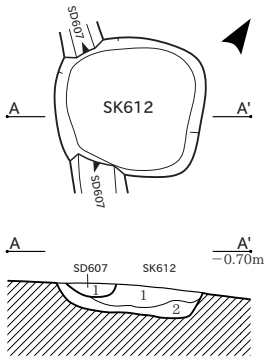
SK605 (割図3)



SK605 (A-A')

- 1 オリブ灰色シルト (2.5GY5/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 2 黒褐色シルト (10YR3/1) 炭化物粒子多くを含み、やや締まる。
- 3 オリブ灰色シルト (2.5GY6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。

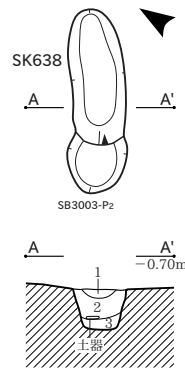
SK612 (割図5)



SK612・SD607 (A-A')

- SK612
- 1 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 2 にぶい黄橙色シルト (10YR7/2) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- SD607
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。

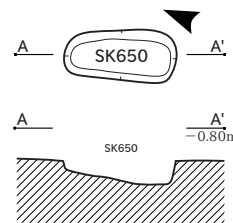
SK638 (割図5)



SK638 (A-A')

- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子微量を含み、締まる。
- 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、締まる。
- 3 オリブ灰色シルト (2.5GY6/1) 炭化物粒子少量を含み、締まる。

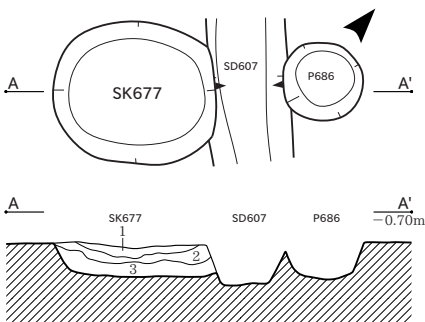
SK650 (割図5)



SK625 (A-A')

- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子微量、茶褐色粘質土小塊少量を含み、粘性を有する。
- 2 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。
- 3 灰黄褐色シルト (10YR6/2) 炭化物粒子微量、茶褐色粘質土少量を含み、粘性を増す。
- 4 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、締まる。

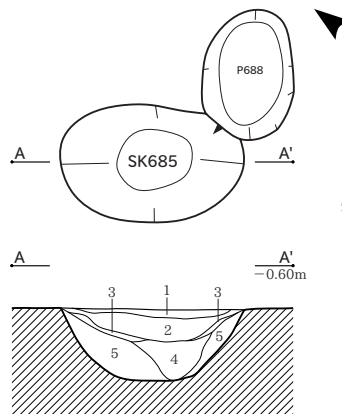
SK677 (割図5)



SK677 (A-A')

- 1 褐灰色シルト (10YR4/1~5/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
- 2 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 3 オリブ灰色シルト (5GY5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。

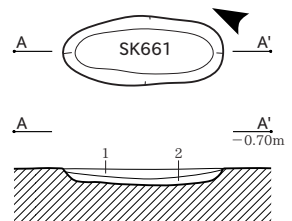
SK685 (割図5)



SK685 (A-A')

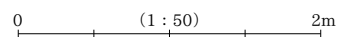
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1~6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- 2 灰色シルト (N5/0~6/0) 炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。
- 3 褐灰色シルト (10YR5/1~6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 4 灰色シルト (N4/0~5/0) 炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。
- 5 灰色シルト (10Y5/1~6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや粘性に欠ける。

SK661 (割図5)



SK661 (A-A')

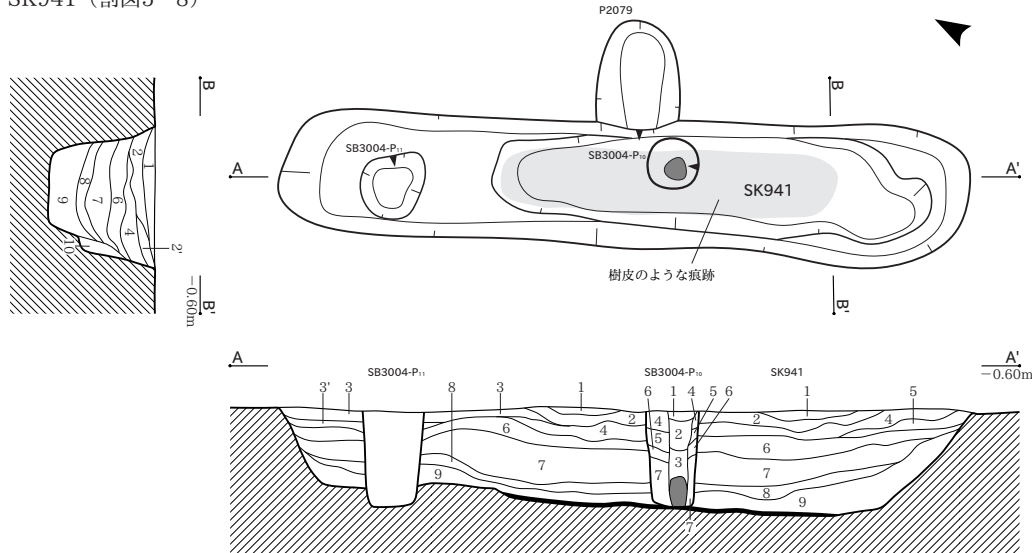
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- 2 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。







SK941 (割図5・8)



SK941・SB3004-P10 (A-A'・B-B')

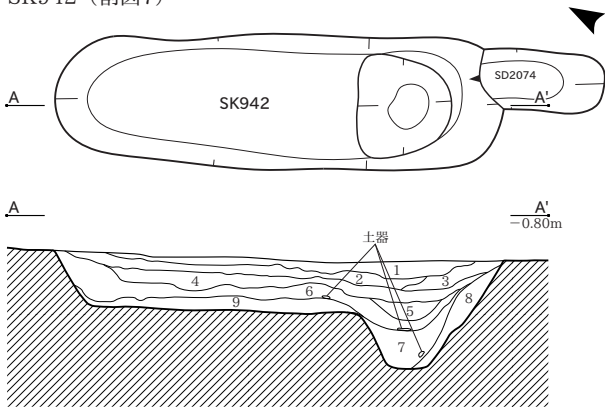
SK941

- 1 灰白色砂質土 (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、全体に締まる。
- 2 褐色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子多くを含み、粘性を有する。
- 2' 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
- 3 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- 3' 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 4 褐色シルト (10YR5/2) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 5 灰黄色シルト (2.5Y7/2) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 6 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 7 青灰色シルト (10BG6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 8 青灰色シルト (10BG6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- 9 青灰色シルト (10BG6/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 10 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。

SB3004-P10

- 1 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、締まりにやや欠ける。
  - 2 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子中量を含み、締まりにやや欠ける。
  - 3 褐色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量、黄褐色シルト塊少量を含み、下に柱材が残る。
  - 4 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量、黄灰色シルト塊多くを含み、全体によく締まる。
  - 5 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、全体に締まる。
  - 6 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量、灰白色シルト塊多くを含み、全体に締まる。
  - 7 灰白色シルト (10YR7/1) 灰白色シルト塊を主体とし、全体に締まる。
- ※1~3層は柱痕跡。4~7層は埋土。

SK942 (割図7)



SK942 (A-A')

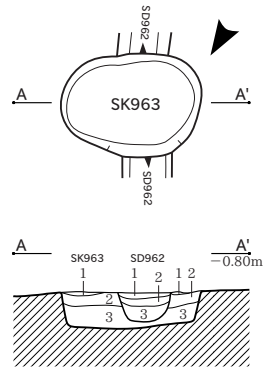
- 1 褐色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- 2 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 3 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 4 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子中量を含み、やや締まる。
- 5 黄灰色シルト (2.5YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- 6 褐色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量、焼土粒子微量を含み、粘性を有する。
- 7 褐色シルト (7.5Y6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 8 褐色シルト (2.5YR6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 9 灰白色シルト (2.5Y7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK981 (A-A')

- 1 褐色シルト (10YR5/1) カツボ中量、炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- 2 褐色シルト (10YR6/1) カツボ、炭化物終止少量を含み、やや締まる。
- 3 褐色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子多量、焼土粒子中量を含み、粘性を有する。
- 4 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子多量、焼土粒子中量を含み、粘性を有する。
- 5 赤色焼土層 (10R5/6) 焼土層を主体とし、炭化物粒子少量を含み、締まる。
- 6 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子、灰色粘質土小塊少量を含み、粘性を有する。
- 7 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子、灰色粘質土小塊少量を含み、粘性を有する。
- 8 黒色炭化物層 (N2/1) 炭化物層を主体とし、焼土粒子少量を含み、粘性を有する。
- 9 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 10 灰色砂質土 (10Y6/1) 砂質土を主体とし、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。

0 (1:50) 2m

SK963 (割図7)



SK963・SD962 (A-A')

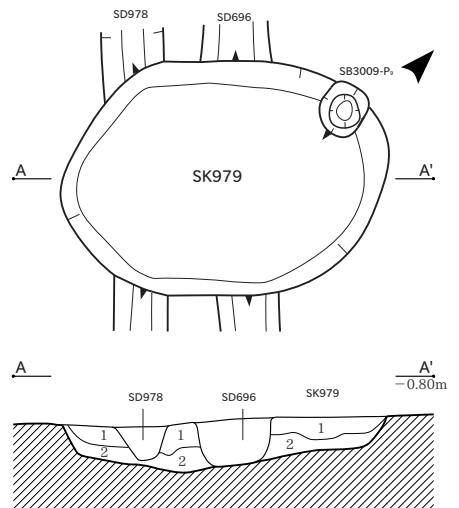
SK963

- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) カツボ・炭化物粒子少量を含む。
- 2 灰黄色シルト (2.5Y7/2) 炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
- 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SD962

- 1 灰色シルト (5Y4/1~5/1) カツボ・灰色粘質土小塊中量、炭化物粒子少量を含む。
- 2 灰色シルト (5Y5/1~6/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まる。
- 3 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 炭化物粒子微量、灰白色砂粒少量を含み、粘性を有する。

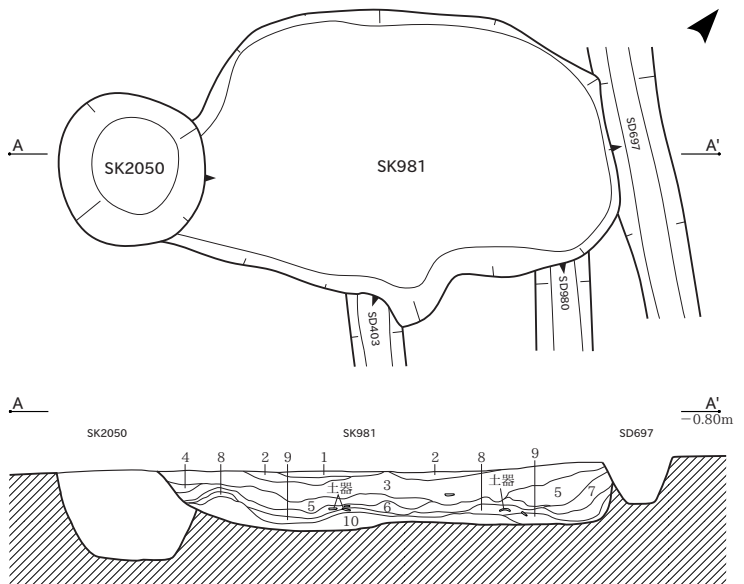
SK979 (割図8)



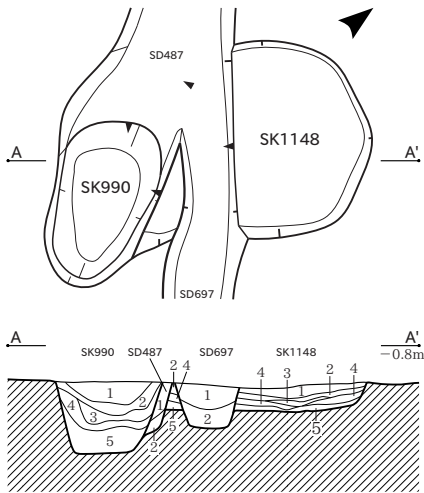
SK979 (A-A')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 2 灰黄色シルト (2.5Y7/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK981・SK2050 (割図8)

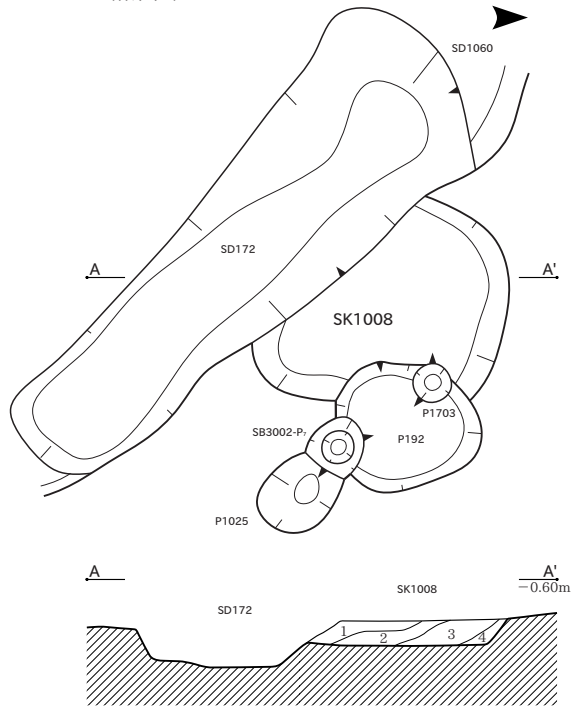


SK990・SK1148 (割図8)



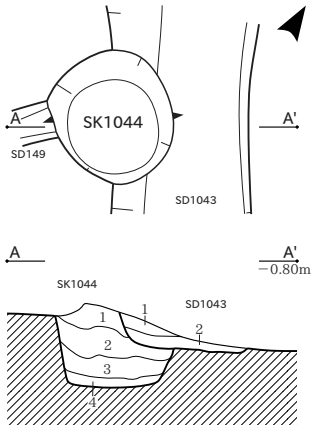
- SK990・SK1148・SD487・SD697 (A-A')  
SK990
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1)  
炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 2 褐灰色シルト (10YR6/1)  
炭化物粒子少量を含み、やや締まる。
  - 3 褐灰色シルト (10YR5/1)  
炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 4 青灰色シルト (10BG6/1)  
炭化物粒子少量を含み、粘性にやや欠ける。
  - 5 灰黄色シルト (2.5Y7/2)  
炭化物粒子微量を含み、粘性にやや欠ける。
- SK1148
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1)  
炭化物粒子少量、茶褐色粘質土小塊少量を含む。
  - 2 黒褐色シルト (10YR2/2)  
炭化物粒子中量、焼土粒子少量を含む。
  - 3 灰及び焼土層 (2.5Y7/2)  
灰・焼土主体層。
  - 4 黒褐色炭化物層 (10YR3/1)  
炭化物主体層。
  - 5 灰白色シルト (2.5Y7/1)  
炭化物粒子微量を含み、全体に締まる。
- SD487
- 1 青灰色シルト (10BG6/1)  
炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 青灰色シルト (10BG6/1)  
炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。
- SD697
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1)  
炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR6/1)  
炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。

SK1008 (割図2)



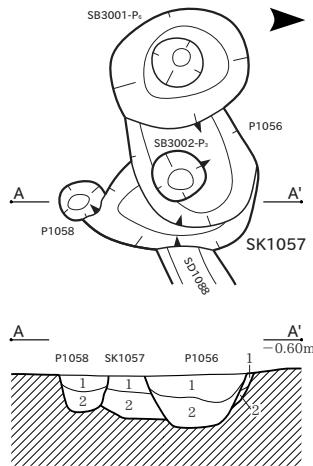
- SK1008 (A-A')
- 1 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量、茶褐色粘質土少量を含み、粘性を有する。
  - 4 灰白色シルト (2.5Y7/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

SK1044 (割図3)



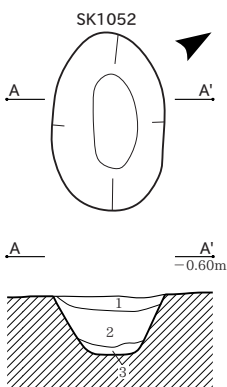
- SK1044・SD1043 (A-A')
- SK1044
- 1 黄灰色砂質土 (2.5Y6/1)  
酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含む。
  - 2 灰色砂質土 (7.5Y5/11)  
酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含む。
  - 3 緑灰色砂質土 (7.5GY6/1)  
酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含む。
  - 4 灰黄色シルト (2.5Y6/2)  
酸化鉄少量、炭化物微量、褐色粘質土小塊中量を含み、粘性を有する。
- SD1043
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2)  
酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2)  
酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK1057 (割図2)



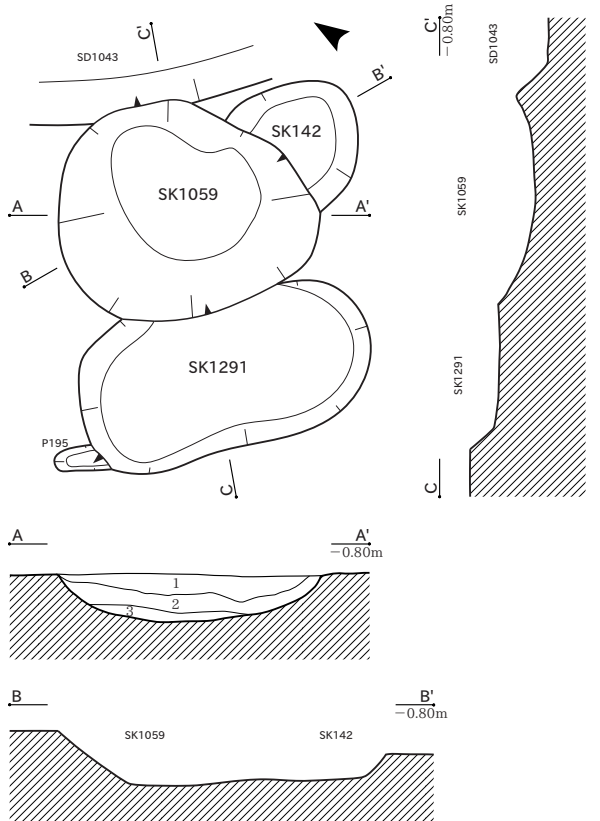
- SK1057・P1056・P1058 (A-A')
- SK1057
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1)  
酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、全体に締まる。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2)  
酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、締まる。
- P1056
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1)  
酸化鉄・炭化物粒子中量を含み、締まる。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1)  
酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、締まる。
- P1058
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1)  
酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、全体に締まりに欠ける。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1)  
酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、全体に締まりに欠ける。

SK1052 (割図2)



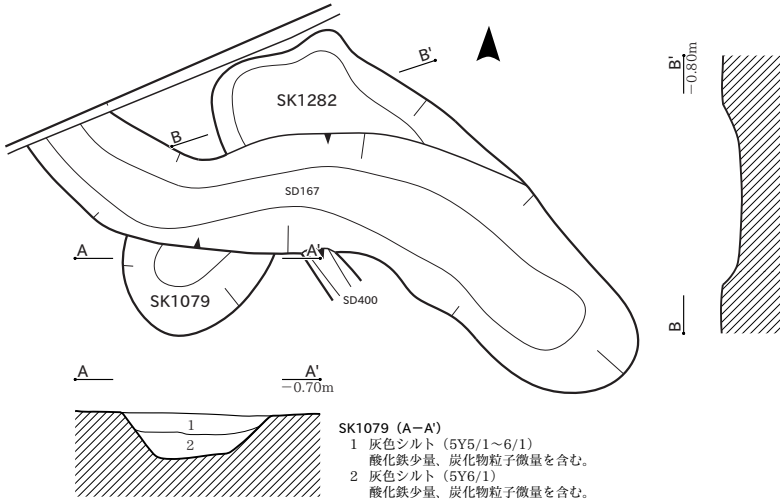
- SK1052 (A-A')
- 1 黄灰色粘質土 (2.5Y5/1)  
酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 黄灰色粘質土 (2.5Y6/1)  
酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 3 黄灰色粘質土 (2.5Y5/1)  
酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SK142・SK1059・SK1291 (割図3)



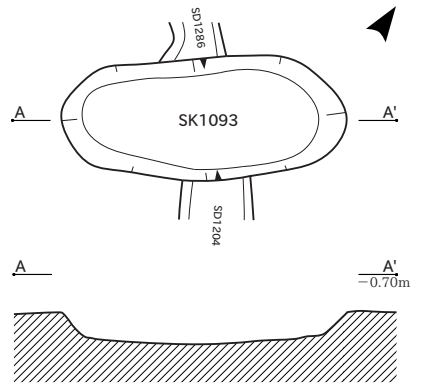
- SK1059 (A-A')
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰白色シルト (2.5Y7/1) 酸化鉄微量を含み、粘性を有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄少量を含み、粘性を有する。

SK1079・SK1282 (割図2)

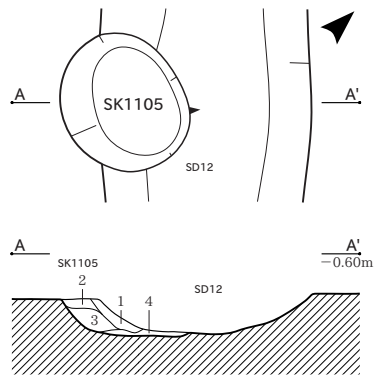


SK1079 (A-A')  
 1 灰色シルト (5Y5/1~6/1)  
 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含む。  
 2 灰色シルト (5Y6/1)  
 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含む。

SK1093 (割図1)

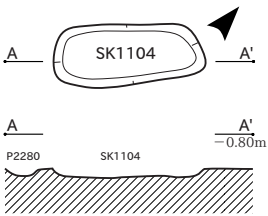


SK1105 (割図9)

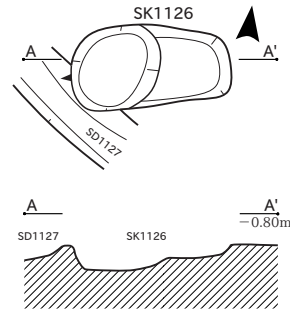


SK1105 (A-A')  
 1 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含む。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含む。  
 3 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含む。  
 4 灰色シルト (5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含む。

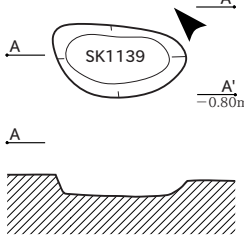
SK1104 (割図12)



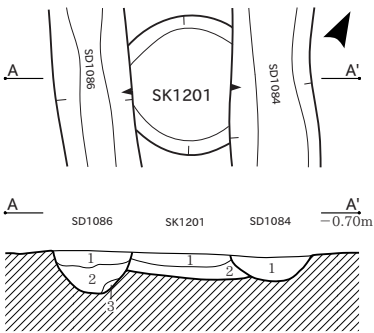
SK1126 (割図11)



SK1139 (割図12)

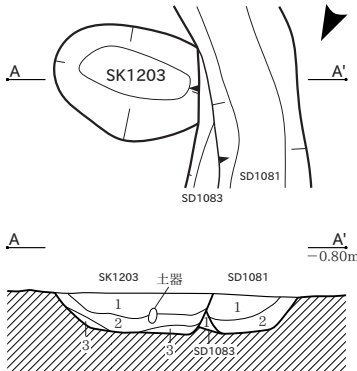


SK1201 (割図2)



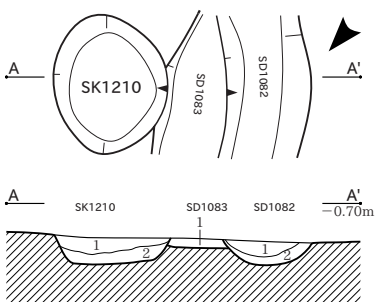
SK1201・SD1084・SD1086 (A-A')  
 SK1201  
 1 灰色シルト (7.5Y4/1~5/1)  
 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。  
 2 オリーブ灰色シルト (5GY5/1)  
 酸化鉄中量を含み、粘性・締まりを有する。  
 SD1084  
 1 灰色シルト (5Y4/1~5/1)  
 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。  
 SD1086  
 1 灰色シルト (5Y4/1~5/1)  
 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。  
 2 オリーブ灰色シルト (5GY5/1)  
 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。  
 3 オリーブ灰色シルト (5GY5/1)  
 酸化鉄中量を含み、粘性・締まりを有する。

SK1203 (割図2)



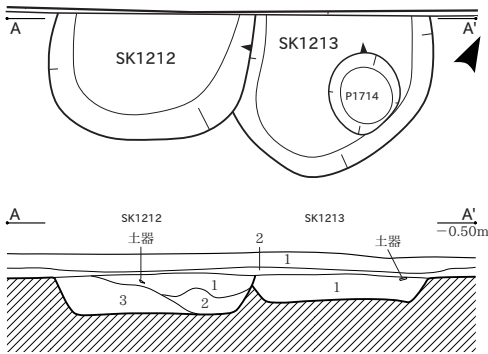
SK1203・SD1082・SD1083 (A-A')  
 SK1203  
 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1)  
 酸化鉄・茶褐色粘質土少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1)  
 酸化鉄・青灰色シルト小塊少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 3 緑灰色シルト (7.5GY5/1)  
 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 SD1082  
 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1)  
 酸化鉄中量、炭化物粒子・灰白色シルト小塊少量を含み、粘性・締まりを有する。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1)  
 酸化鉄・灰白色シルト塊中量を含み、粘性・締まりを有する。  
 SD1083  
 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1)  
 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

SK1210 (割図2)



SK1210・SD1082・SD1083 (A-A')  
 SK1210  
 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1)  
 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、堅く締まる。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1)  
 酸化鉄中量、炭化物粒子微量、緑灰色粘質土小塊少量を含み、堅く締まる。  
 SD1082  
 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1)  
 酸化鉄中量、炭化物粒子・灰白色シルト塊少量を含み、粘性・締まりを有する。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1)  
 酸化鉄・灰白色シルト塊中量を含み、粘性・締まりを有する。  
 SD1083  
 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1)  
 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

SK1212・SK1213 (割図2)



SK1212・SK1213 (A-A')

基本層序

- 1 暗灰黄色土 (2.5Y5/1) 表土。全体に腐食に富む。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄中量、茶褐色粘質土斑紋状に少量含む。

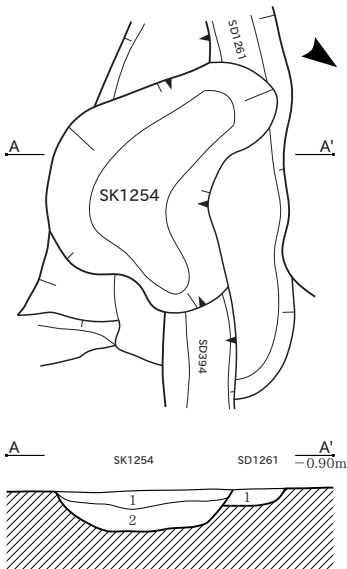
SK1212

- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄中量、茶褐色粘質土斑紋状に少量、炭化物粒子微量を含む。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄少量、茶褐色粘質土斑紋状に多量を含む。
- 3 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄少量、茶褐色粘質土斑紋状に少量を含む。

SK1213

- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄少量、茶褐色粘質土斑紋状に中量を含む。

SK1254 (割図1)



SK1254・SD1261 (A-A')

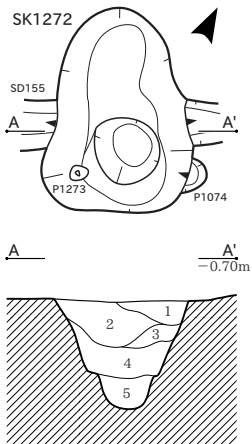
SK1254

- 1 灰色粘質土 (10Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 2 灰色粘質土 (10Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SD1261

- 1 灰色粘質土 (10Y6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

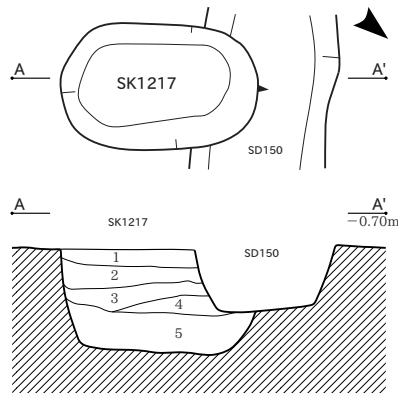
SK1272 (割図2)



SK1272 (A-A')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 4 緑灰色粘質土 (10GY5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 5 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄・茶褐色粘質土斑紋状に含み、粘性に富む。

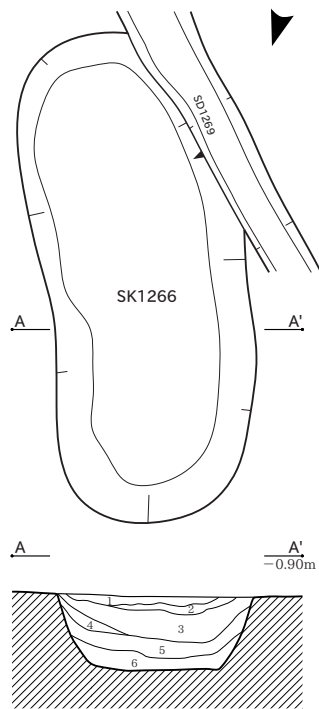
SK1217 (割図2)



SK1217 (A-A')

- 1 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- 2 オリーブ灰色粘質土 (5GY6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 3 オリーブ灰色粘質土 (5GY5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 4 オリーブ灰色粘質土 (5GY5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 5 青灰色粘質土 (10BG5/1) 酸化鉄微量を含み、粘性に富む。

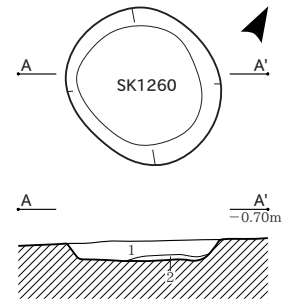
SK1266 (割図1・4)



SK1266 (A-A')

- 1 灰色粘質土 (7.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 2 灰色粘質土 (7.5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 3 灰色粘質土 (7.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 4 灰色粘質土 (7.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 5 灰色粘質土 (7.5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- 6 灰色粘質土 (7.5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

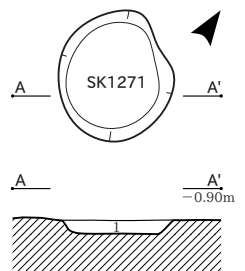
SK1260 (割図2)



SK1260 (A-A')

- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物微量を含み、粘性・締まりを有する。
- 2 灰白色シルト (2.5Y7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

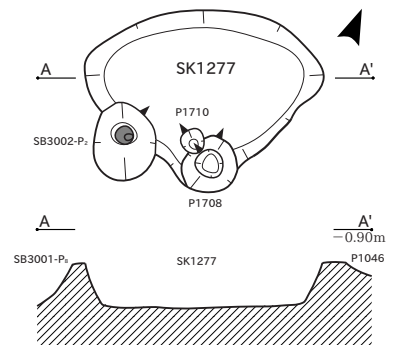
SK1271 (割図1)



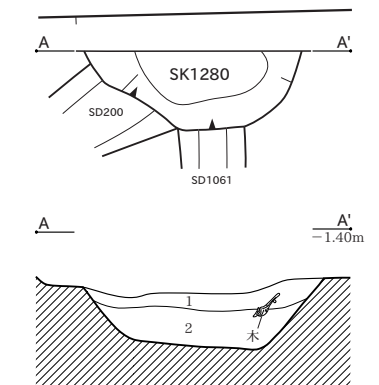
SK1271 (A-A')

- 1 灰色粘質土 (5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SK1277 (割図2)



SK1280 (割図3)



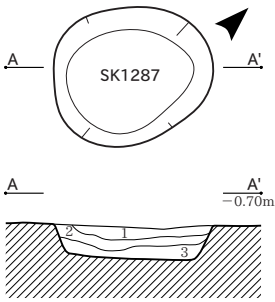
SK1280 (A-A')

- 1 褐色シルト (7.5YR4/1) 炭化物粒子・青灰色シルト小塊少量を含み、粘性・締まりを有する。
- 2 褐色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。

0 (1:50) 2m

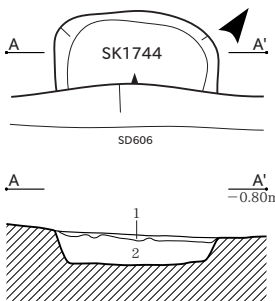


SK1287 (割図5)



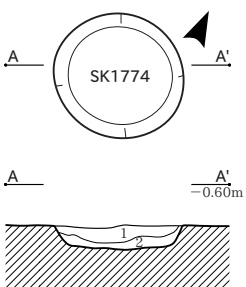
- SK1287 (A-A')
- 1 灰色粘質土 (5Y4/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色粘質土 (5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 3 灰色粘質土 (5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SK1744 (割図4)



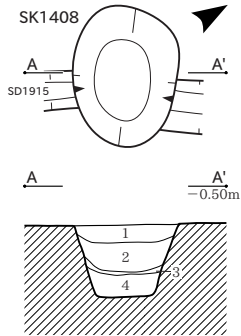
- SK1744 (A-A')
- 1 浅黄色シルト (2.5Y7/3) 酸化鉄中量を含み、全体に締まる。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK1774 (割図5)



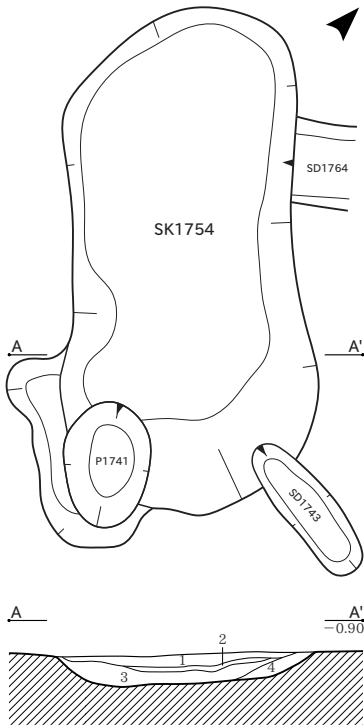
- SK1774 (A-A')
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄微量を含み、粘性を有する。

SK1408 (割図17)



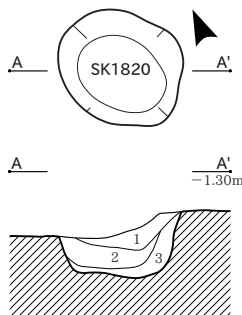
- SK1408 (A-A')
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、堅く締まる。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、堅く締まる。
  - 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、堅く締まる。
  - 4 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄微量を含み、堅く締まる。

SK1754 (割図4)



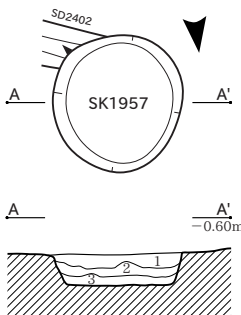
- SK1754 (A-A')
- 1 褐色シルト (10YR5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 オリーブ灰色シルト (5GY5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 オリーブ灰色シルト (5GY5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 4 緑灰色シルト (7.5GY6/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK1820 (部分図2)



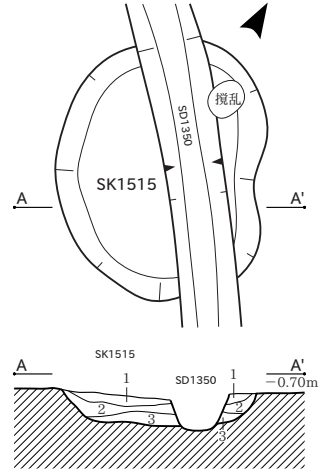
- SK1820 (A-A')
- 1 灰色シルト (5Y4/1) ガツボ多量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 オリーブ黒色シルト (5Y3/1) ガツボ・炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

SK1957 (割図15)



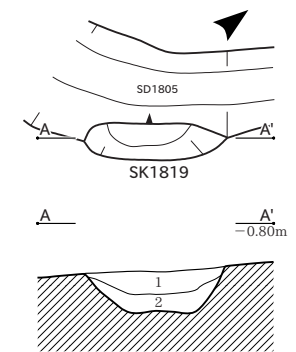
- SK1957 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 2 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 3 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。

SK1515 (割図21)



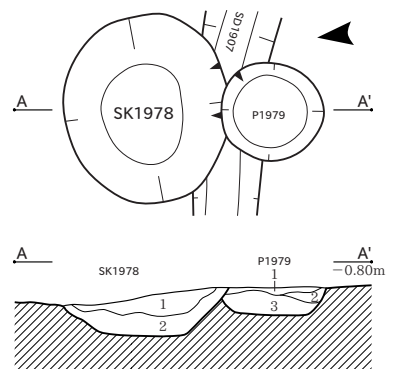
- SK1515 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 炭化物粒子・焼土粒子少量を含み、全体に締まる。
  - 2 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。

SK1819 (割図19)



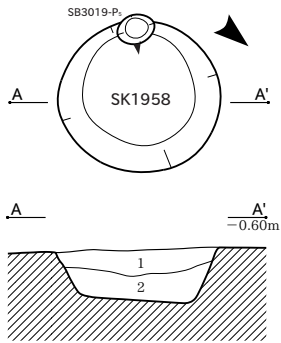
- SK1819 (A-A')
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (N6/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK1978 (割図16)



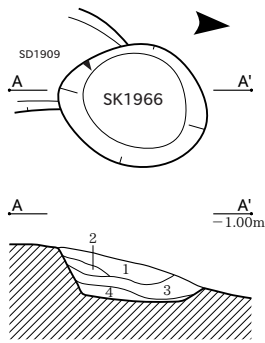
- SK1978・P1979 (A-A')
- SK1978
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量を含み、やや締まりを有する。
- P1979
- 1 黒褐色シルト (10YR3/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりに欠ける。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりに欠ける。
  - 3 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 炭化物粒子少量、褐灰色シルト小塊微量を含み、粘性・締まりに欠ける。

SK1958 (割図15)



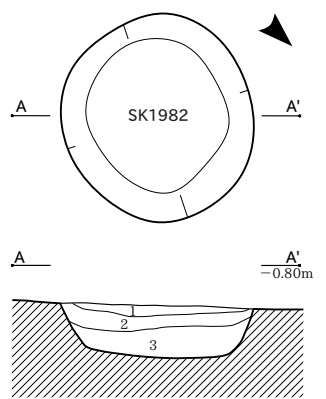
- SK1958 (A-A')
- 1 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子多くを含み、締まりを有する。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。

SK1966 (割図16)



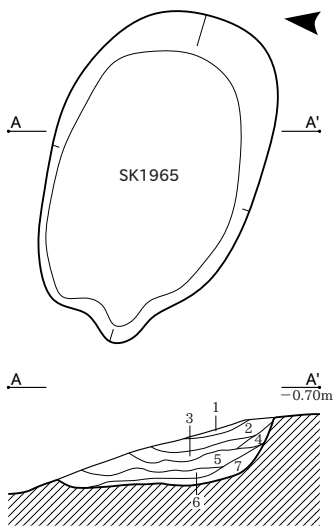
- SK1966 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
  - 2 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。
  - 3 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
  - 4 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。

SK1982 (割図16)



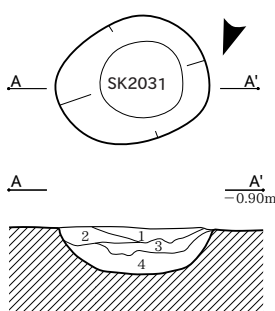
- SK1982 (A-A')
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。
  - 3 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

SK1965 (割図16)



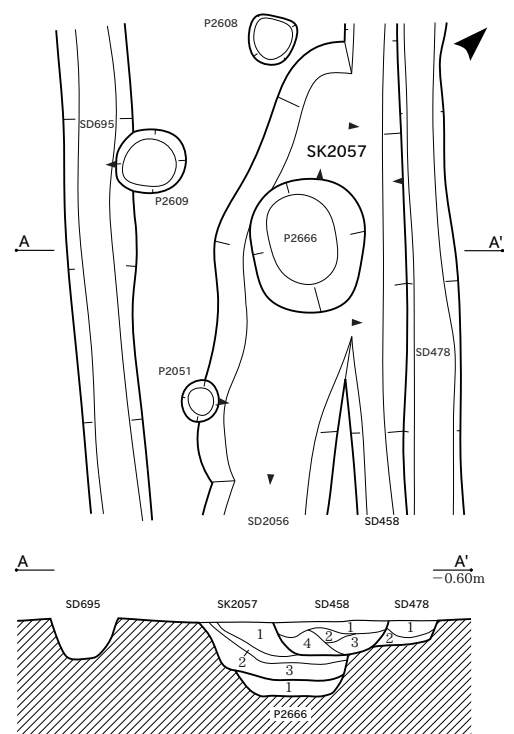
- SK1965 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 3 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 4 灰オリブ色シルト (7.5Y5/2) 炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。
  - 5 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子中量を含み、締まりを有する。
  - 6 灰色シルト (7.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 7 灰色シルト (7.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。

SK2031 (割図4)



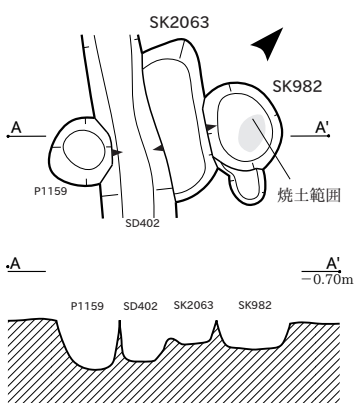
- SK2031 (A-A')
- 1 灰色シルト (N5/1) 炭化物粒子・灰色粘質土小塊少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 3 黒色土 (N2/1) 炭化物主体層、骨片少量含む。
  - 4 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK2057 (割図8)

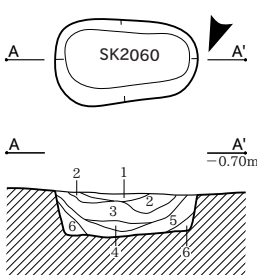


- A-A' (SD458・SD478・SK2057・P2666 割図8)
- SD458
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 4 灰白色シルト (10YR7/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
- SD478
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- SK2057
- 1 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性に富む。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y4/1~5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
- P2666
- 1 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。

SK982・SK2063 (割図8)

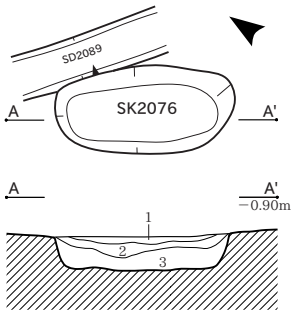


SK2060 (割図8)



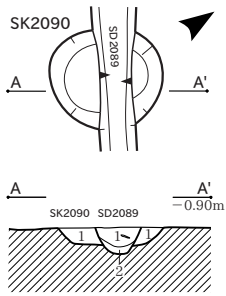
- SK2060 (A-A')
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1) 炭化物粒子中量を含み、やや締まりを有する。
  - 4 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。
  - 5 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 炭化物粒子・灰色シルト小塊微量を含み、やや粘性・締まりを有する。
  - 6 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 茶褐色粘質土中量を斑紋状に含み、粘性を有する。

SK2076 (割図10)



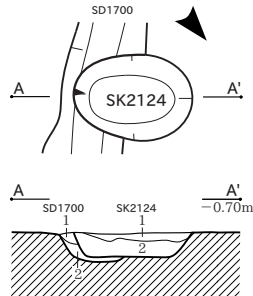
**SK2076 (A-A')**  
 1 灰色シルト (5Y5/1) ガツボ中量、炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。  
 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。  
 3 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

SK2090 (割図10)



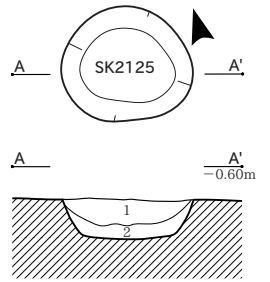
**SK2090・SD2089 (A-A')**  
**SK2090**  
 1 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。  
**SD2089**  
 1 灰色シルト (N4/1) 炭化物粒子少量、灰白色粘質土塊微量を含み、粘性を有する。  
 2 灰色シルト (5Y6/1) 炭化物微量を含み、粘性を有する。

SK2124 (割図15)



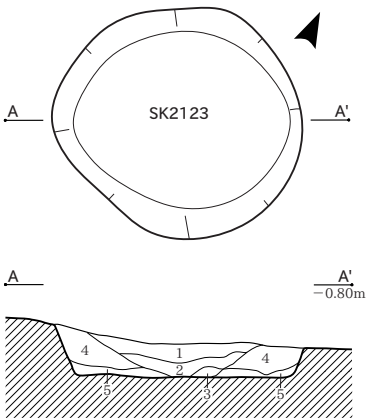
**SK2124・SD1700 (A-A')**  
**SK2124**  
 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄中量を含み、粘性・締まりを有する。  
**SD1700**  
 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、やや粘性・締まりを有する。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、やや粘性・締まりを有する。

SK2125 (割図15)



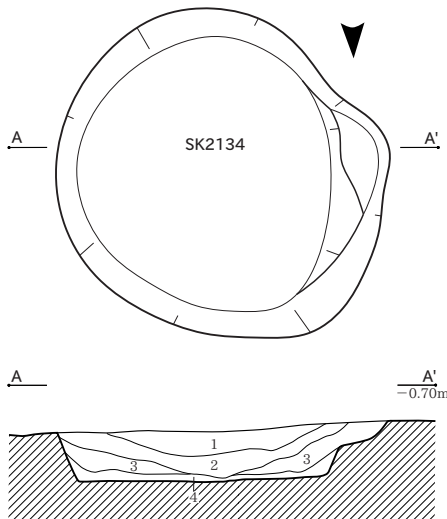
**SK2125 (A-A')**  
 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK2123 (割図15)



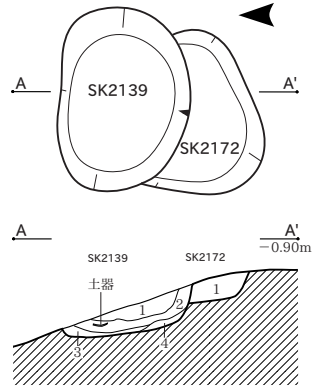
**SK2123 (A-A')**  
 1 灰色粘質土 (5Y4/1~5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。  
 2 灰色粘質土 (5Y4/1~5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。  
 3 灰色粘質土 (5Y5/1~6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。  
 4 灰色粘質土 (5Y6/1~7/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。  
 5 青灰色粘質土 (5BG6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SK2134 (割図15)



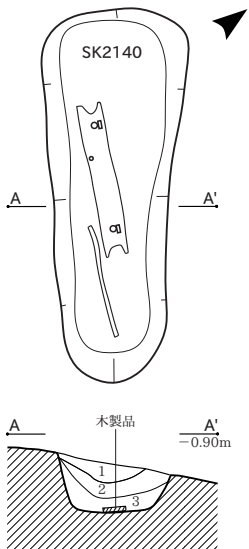
**SK2134 (A-A')**  
 1 暗灰色粘質土 (N3/0) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。  
 2 灰色粘質土 (N5/0) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。  
 3 灰色粘質土 (N4/0) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。  
 4 青灰色粘質土 (5BG6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SK2139・SK2172 (割図16)



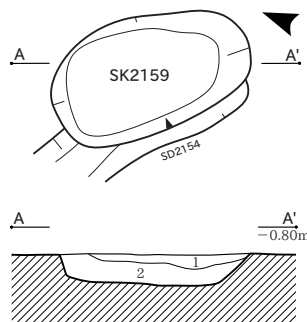
**SK2139・SK2172 (A-A')**  
**SK2139**  
 1 灰色シルト (10Y5/1) 酸化鉄多量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 2 灰色シルト (10Y6/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 3 灰色シルト (5Y5/1) 酸化鉄中量を含み、粘性を有する。  
 4 緑灰色シルト (10CG/1) 酸化鉄中量を含み、粘性を有する。  
**SK2172**  
 1 灰色シルト (5Y6/1) 酸化鉄中量を含み、やや粘性・締まりを有する。

SK2140 (割図15)



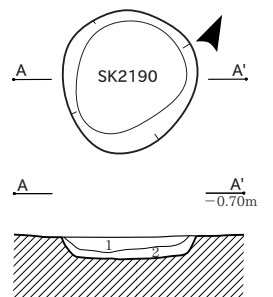
**SK2140 (A-A')**  
 1 灰色粘質土 (N4~5/0) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。  
 2 灰色粘質土 (N4~5/0) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。  
 3 青灰色粘質土 (10BG5/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。

SK2159 (割図14)



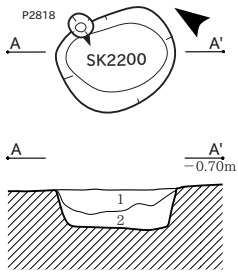
**SK2159 (A-A')**  
 1 灰色粘質土 (5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。  
 2 灰色粘質土 (5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。

SK2190 (割図14)



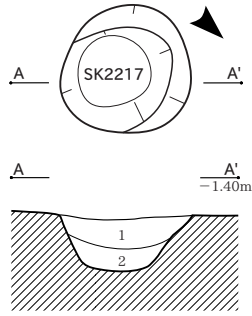
**SK2190 (A-A')**  
 1 暗黄灰色シルト (2.5Y4/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。  
 2 暗黄灰色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK2200 (割図15)



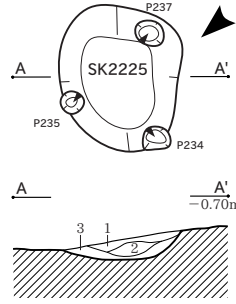
- SK2200 (A-A')
- 1 灰黄色粘質土 (2.5Y6/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。
  - 2 青灰色粘質土 (5BG6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性に富む。

SK2217 (割図12)



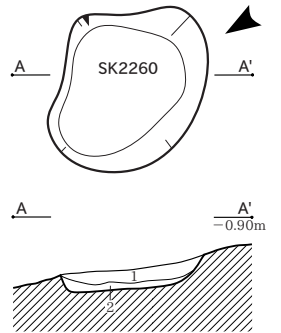
- SK2217 (A-A')
- 1 オリーブ黒色シルト (5Y3/2) ガツボ、酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや粘性・締まりを有する。
  - 2 オリーブ黒色シルト (7.5Y3/1) ガツボ、青灰色シルト小塊少量、炭化物粒子微量を含み、やや粘性・締まりを有する。

SK2225 (割図12)



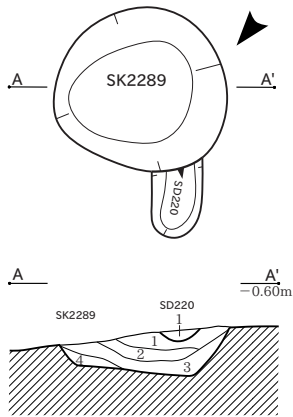
- SK2225 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y4/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 3 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性増。

SK2260 (割図12)



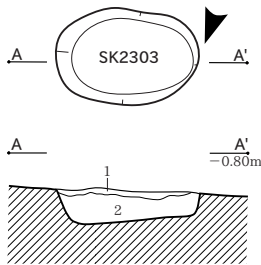
- SK2260 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/1) ガツボ少量、酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK2289 (割図12)



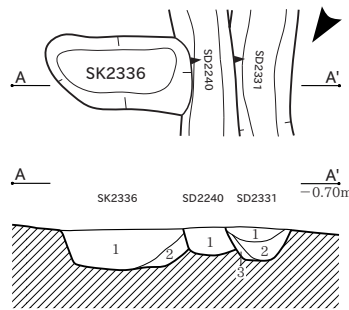
- SK2289 - SD220 (A-A')
- SK2289
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y4/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや粘性・締まりを有する。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 3 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 4 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
- SD220
- 1 黄褐色シルト (2.5Y5/3) 酸化鉄中量を含み、やや締まりを有する。

SK2303 (割図11)



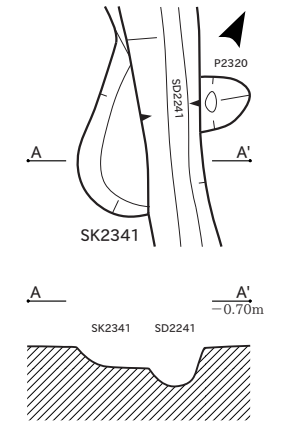
- SK2303 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄微量、炭化物粒子多くを含み、粘性・締まりを有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

SK2336 (割図11)

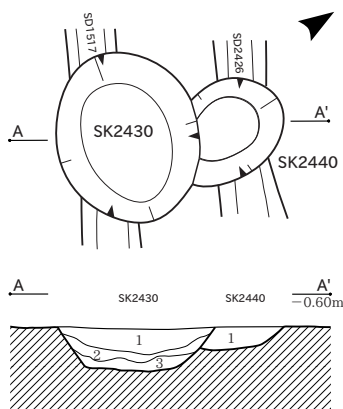


- SK2336 - SD2240 - SD2331 (A-A')
- SK2336
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、締まりを有する。
- SD2240
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
- SD2331
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄中量を含み、層下位に炭化物粒子集積、やや締まりを有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
  - 3 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。

SK2341 (割図11)

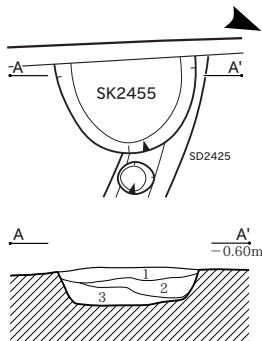


SK2430・SK2440 (割図17)



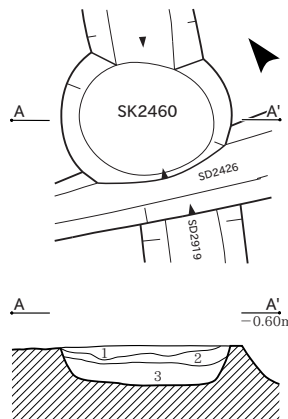
- SK2430 - SK2440 (A-A')
- SK2430
- 1 褐灰色シルト (10YR5/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
  - 3 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
- SK2440
- 1 灰色シルト (5Y5/1~6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。

SK2455 (割図17)



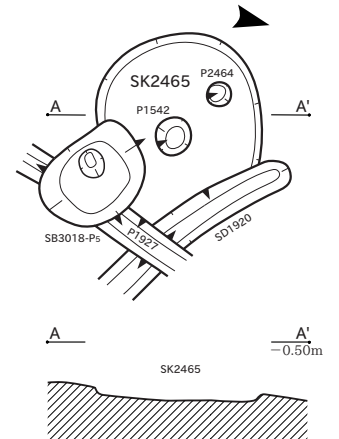
- SK2455 (A-A')
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。
  - 2 褐灰色シルト (10YR5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。
  - 3 灰黄褐色シルト (10YR5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。

SK2460 (割図17)

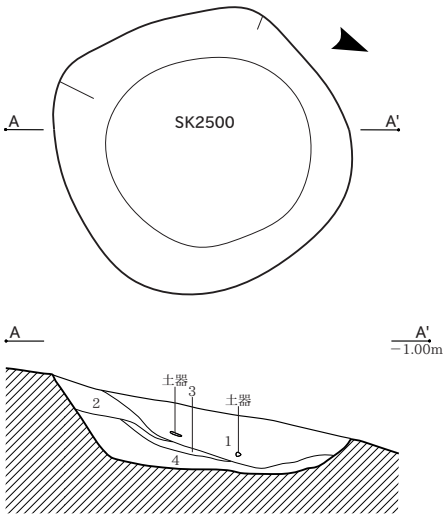


- SK2460 (A-A')
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 2 灰色シルト (5Y4/1~5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1~6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。

SK2465 (割図15)

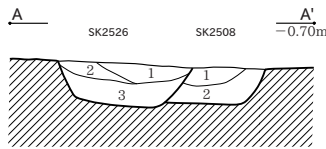
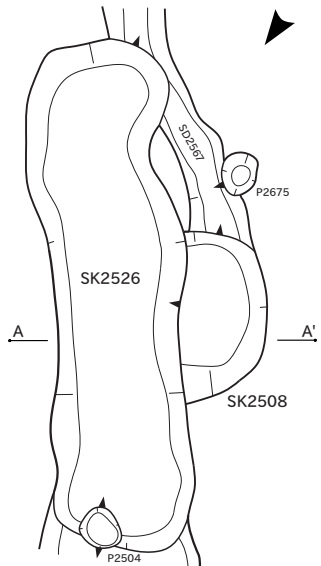


SK2500 (割図16)



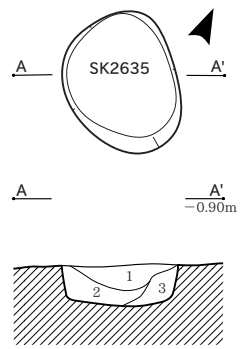
- SK2500 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
  - 2 褐色シルト (10YR4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。
  - 3 灰色シルト (7.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 4 褐色シルト (10YR4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

SK2508・SK2526 (割図11)



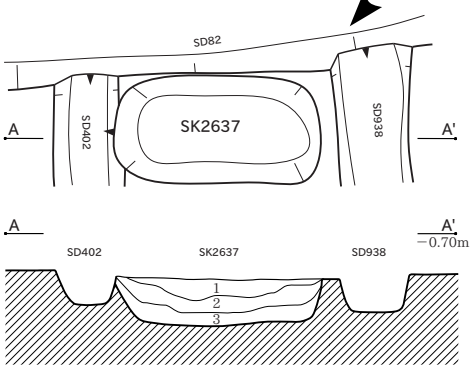
- SK2508・SK2526 (A-A')
- SK2508
- 1 オリーブ黒色シルト (5Y3/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 2 オリーブ黒色シルト (5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
- SK2526
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。

SK2635 (割図7)



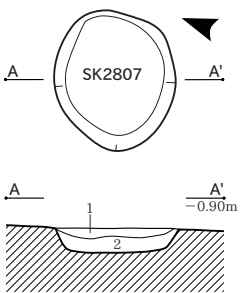
- SK2635 (A-A')
- 1 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK2637 (割図8)



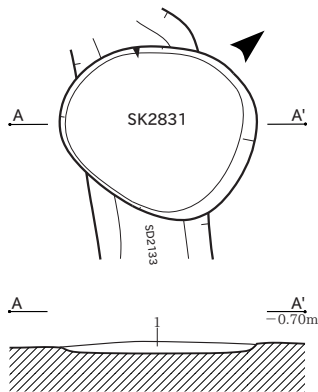
- SK2637 (A-A')
- 1 灰白色シルト (5Y7/1) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや粘性・締まりを有する。
  - 2 灰色シルト (5Y6/1) 酸化鉄・炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 3 灰色シルト (5Y5/1) 炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。

SK2807 (割図13)



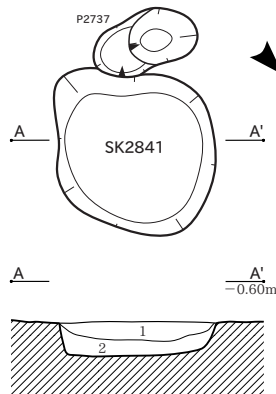
- SK2807 (A-A')
- 1 暗灰色シルト (2.5Y4/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 暗灰色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK2831 (割図14)



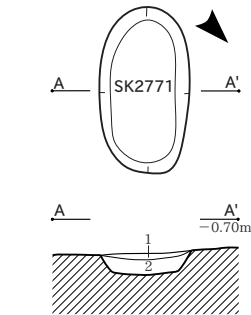
- SK2831 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK2841 (割図14)



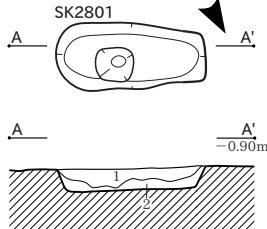
- SK2841 (A-A')
- 1 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK2771 (割図15)



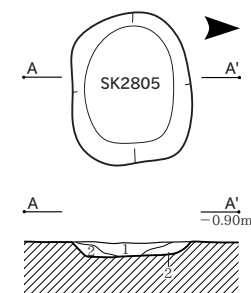
- SK2771 (A-A')
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

SK2801 (割図13)



- SK2801 (A-A')
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 暗灰色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。

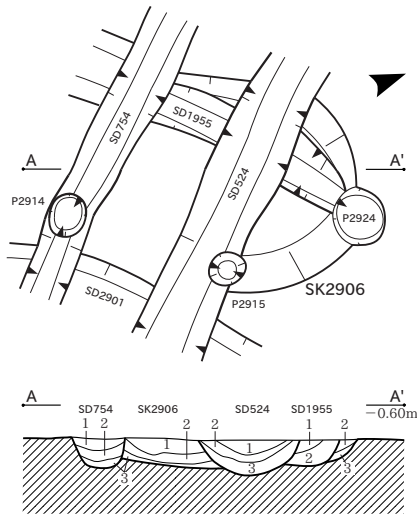
SK2805 (割図13)



- SK2805 (A-A')
- 1 黒色シルト (2.5Y2/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。
  - 2 灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、粘性を有する。



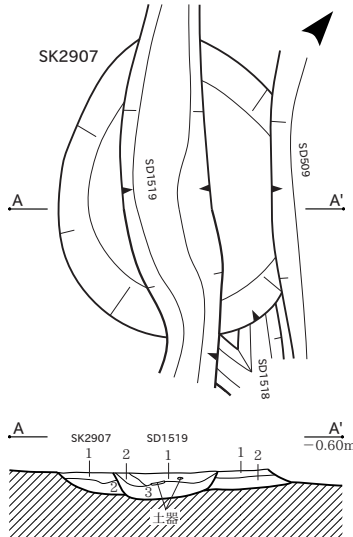
SK2906 (割図21)



SK2906・SD524・SD754・SD1955 (A-A')

- SK2906
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、締まりを有する。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
  - 3 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。
- SD524
- 1 褐色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子多くを含み、締まりを有する。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物粒子少量を含み、やや粘性・締まりを有する。
  - 3 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 灰黄色シルト小塊少量を含み、全体に締まりを有する。
- SD754
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子中量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 3 褐色シルト (10YR4/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子・灰黄色シルト少量を含み、粘性・締まりを有する。
- SD1955
- 1 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄中量、黒褐色シルト少量、炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりに欠ける。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄少量、黒褐色シルト小塊・炭化物粒子微量を含み、やや粘性を有する。

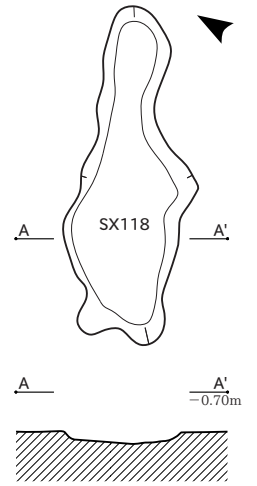
SK2907 (割図21)



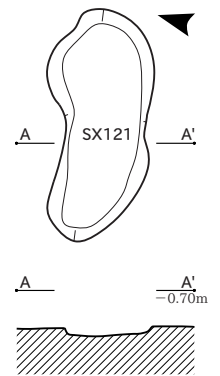
SK2907・SD1519 (A-A')

- SK2907
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
  - 2 暗灰黄色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
- SD1519
- 1 黒褐色シルト (10YR3/1) 酸化鉄中量、炭化物粒子・灰白色シルト少量を含み、粘性・締まりに欠ける。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄少量、炭化物粒子・黒褐色シルト・灰白色シルト小塊微量を含み、粘性・締まりに欠ける。
  - 3 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄微量、炭化物粒子・黒褐色シルト・灰白色シルト小塊少量を含み、粘性・締まりに欠ける。

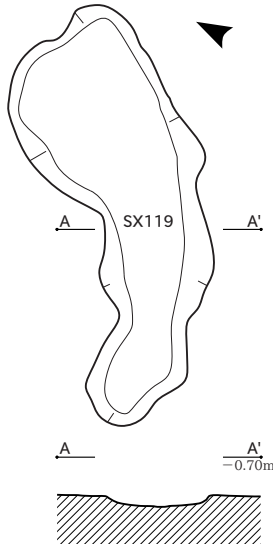
SX118 (割図24)



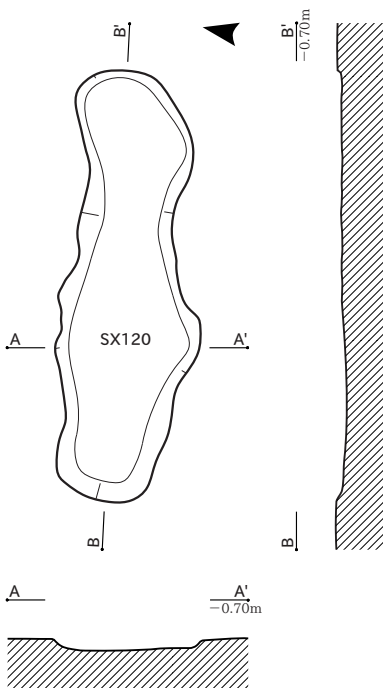
SX121 (割図24)



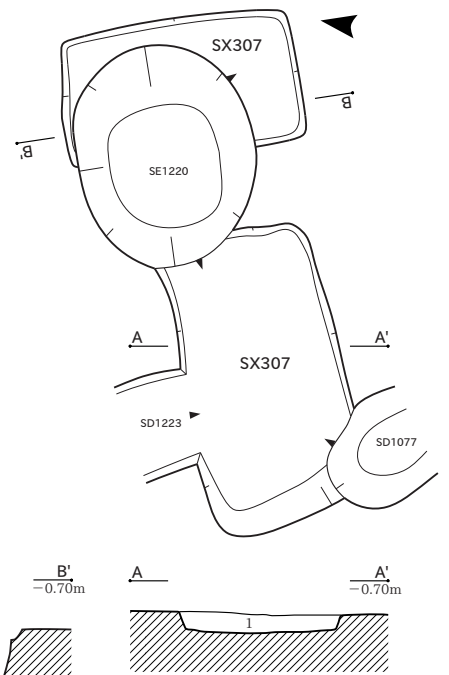
SX119 (割図24)



SX120 (割図24)



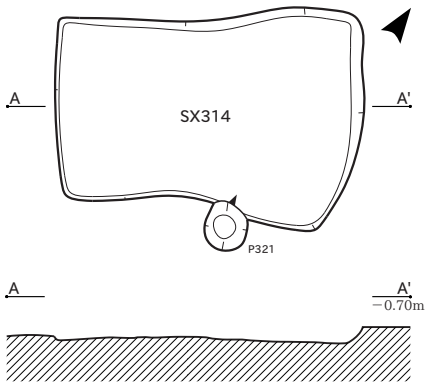
SX307 (割図3)



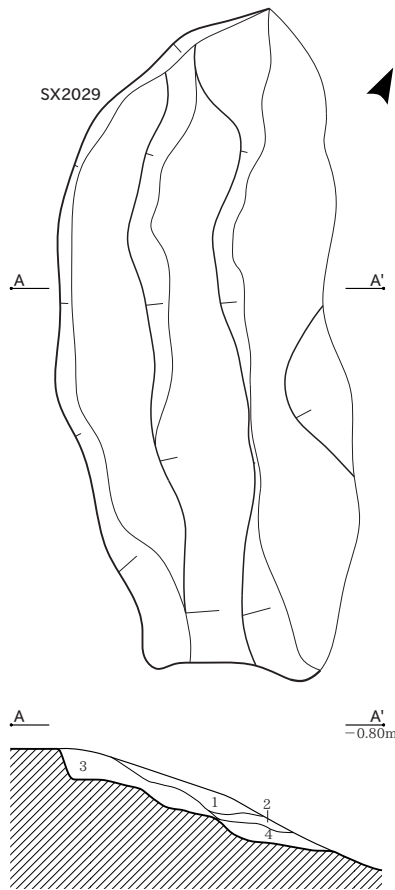
SX307 (A-A')

- 1 青黒色シルト (5B2/1) 青黒色シルト小塊少量を含み、粘性に富み、締まりを有する。

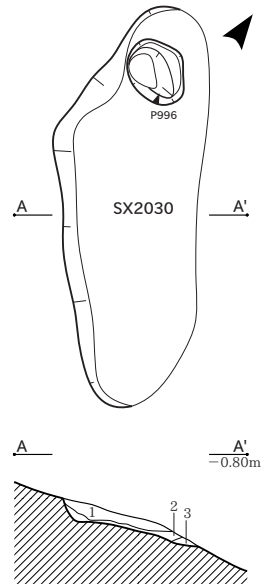
SX314 (割図2)



SX2029 (割図9)



SX2030 (割図9)



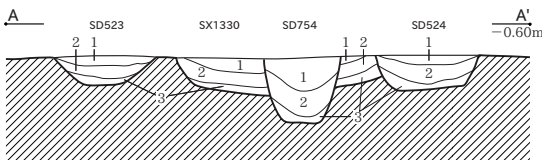
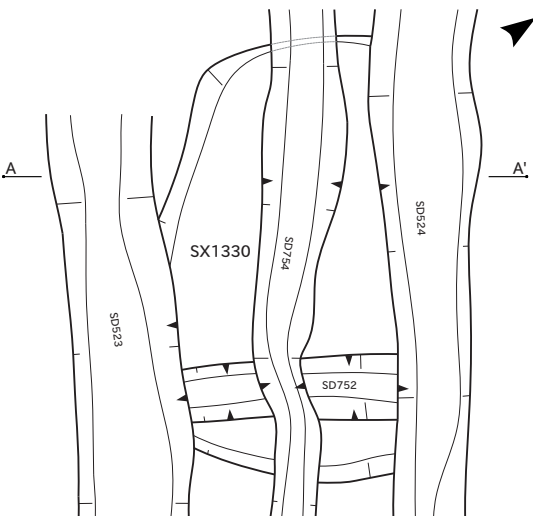
SX2030 (A-A')

- 1 褐灰色粘質土 (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性に富む。
- 2 灰白色土 (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、締まりを有する。
- 3 明青灰色シルト (5B7/1) 明青灰色シルト小塊中量を含み、締まりを有する。

SX2029 (A-A')

- 1 褐灰色土 (10YR4/1) ガツボ・炭化物粒子中量を含み、粘性・締まりを有する。
- 2 褐灰色土 (10YR5/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性を有する。
- 3 灰白色土 (10YR7/1) 炭化物粒子少量を含み、締まりを有する。
- 4 青灰色シルト (5B6/1) 明青灰色シルト小塊中量を含み、締まりを有する。

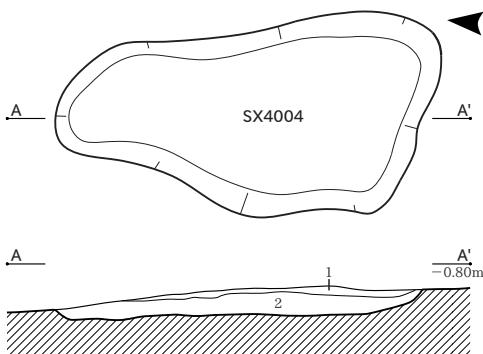
SX1330 (割図21)



SX1330・SD523・SD524・SD754 (A-A')

- SX1330**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 酸化鉄・炭化物粒子中量を含み、粘性を有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりに欠ける。
  - 3 暗黄灰色シルト (2.5Y4/2) 炭化物粒子微量を含み、粘性・締まりを有する。
- SD523**
- 1 暗黄灰色シルト (2.5Y5/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりに欠ける。
  - 3 灰黄色シルト (2.5Y6/1) 灰黄色シルト小塊少量を含み、粘性・締まりにやや欠ける。
- SD524**
- 1 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性・締まりに欠ける。
  - 2 灰黄色シルト (2.5Y6/2) 炭化物粒子少量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 3 灰黄色シルト (2.5Y6/1) 灰黄色シルト小塊少量を含み、粘性・締まりにやや欠ける。
- SD754**
- 1 黄灰色シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄・炭化物粒子中量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 2 黄灰色シルト (2.5Y4/1) 炭化物粒子中量を含み、粘性・締まりを有する。
  - 3 褐灰色シルト (10YR4/1) 炭化物粒子微量、灰黄褐色砂少量を含み、粘性・締まりを有する。

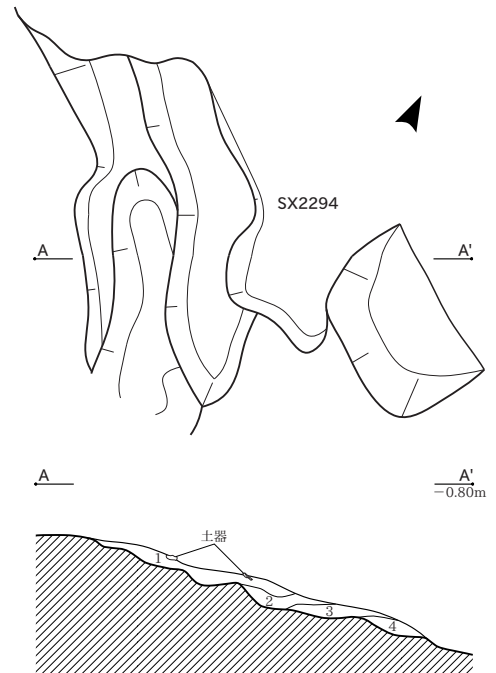
SX4004 (割図22)



SX4004 (A-A')

- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) ガツボ中量、酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、やや締まりを有する。
- 2 灰色シルト (5Y4/1) ガツボ中量、酸化鉄少量、炭化物粒子微量を含み、締まりを有する。

SX2294 (割図12)



SX2294 (A-A') 階段状遺構

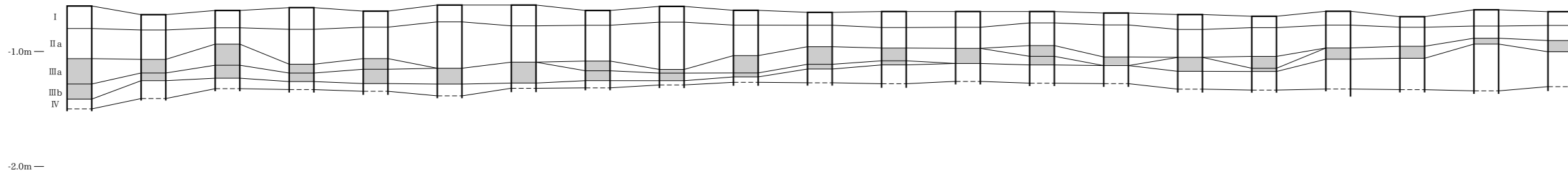
- 1 黒褐色シルト (2.5Y3/2) ガツボ中量、酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
- 2 黒褐色シルト (2.5Y3/2) ガツボ・酸化鉄少量、炭化物粒子中量を含み、やや締まりを有する。
- 3 黒褐色シルト (2.5Y3/1) ガツボ中量、酸化鉄・炭化物粒子少量を含み、やや締まりを有する。
- 4 灰色シルト (5Y4/1) ガツボ・酸化鉄中量、炭化物粒子少量を含み、締まりを有する。

0 (1:50) 2m

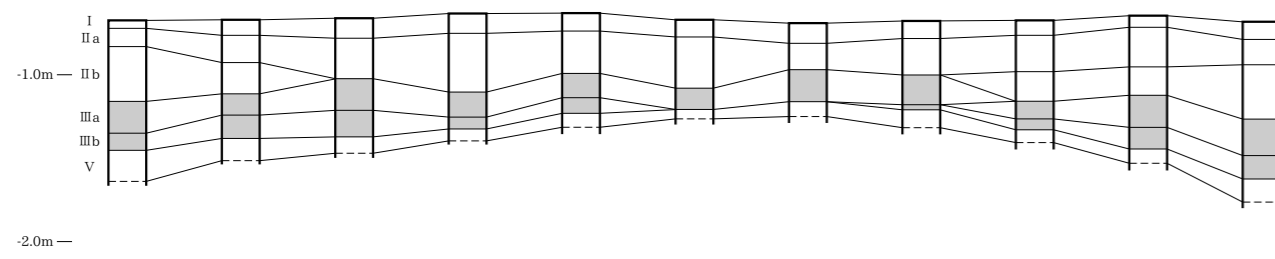




1T  
0.0m a



2T  
0.0m b



b'

1T (a-a') · 2T (b-b')

I a 黄灰色粘質土 (2.5Y4/1) 盛土。  
 II a オリーブ黒色粘質土 (5Y2/2)  
 II b オリーブ黒色粘質シルト (5Y3/2) 炭化物粒子少量含み、粘性を有する。  
 III a 黒褐色粘質シルト (10YR3/1) ガツボ多く含み、粘性を有する。  
 III b 黒褐色粘質シルト (2.5Y3/2) 遺物包含層相当層。  
 IV 褐灰色粘質シルト (10YR4/1) 炭化物粒子少量含み、粘性を有する。

包含層相当層 (III層)

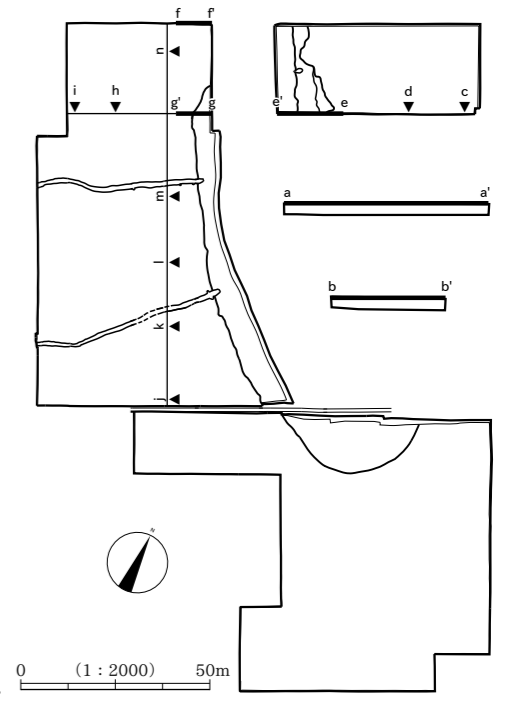
c · d · e · e'

II a オリーブ黒色粘質シルト (5Y2/2) 酸化鉄少量含み、全体に締まる。  
 II b オリーブ黒色粘質シルト (5Y2/2) 酸化鉄多量、炭化物粒子少量含み、全体に締まる。  
 II c オリーブ黒色粘質シルト (5Y2/2) 酸化鉄・炭化物粒子多量含み、全体に締まる。  
 II オリーブ黒色粘質シルト (5Y3/2) 炭化物粒子少量含む。  
 III a 黒褐色粘質シルト (10YR3/1) ガツボ多く含む。  
 III b 黒褐色粘質シルト (2.5Y3/2) ガツボ・炭化物粒子中量含む。遺物包含層。  
 III c 黒褐色粘質シルト (2.5Y3/1) ガツボ少量、炭化物粒子中量含む。遺物包含層。  
 IV 褐灰色粘質シルト (10YR4/1)  
 V 灰色粘土 (7.5Y4/1) ガツボ・炭化物粒子中量含む。

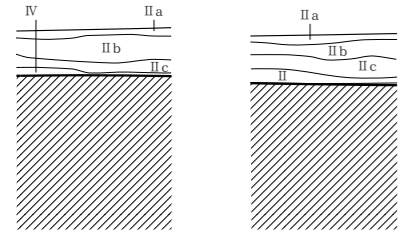
f-f'

I a 褐灰色土 (10YR6/1) 酸化鉄多く含み、やや締まる。耕作土。  
 II 褐灰色粘質シルト (10YR6/1) 酸化鉄やや多く含む。  
 III a 黒褐色粘質シルト (7.5YR3/1) ガツボ多量、酸化鉄少量含み、粘性に富む。  
 III b 黒色粘質シルト (10YR2/1) ガツボ少量含み、粘性に富む。  
 III c 灰色粘質シルト (10YR5/1) ガツボ中量含み、粘性に富む。  
 III d 黒色粘質シルト (10YR2/1) ガツボ・炭化物粒子少量含み、粘性に富む。遺物包含層。  
 1 灰色粘質シルト (10YR5/1) 炭化物粒子中量含み、粘性に富む。  
 2 オリーブ灰色シルト (5GY5/1)  
 3 オリーブ灰色シルト (5GY5/1) 粘性に乏しい。  
 4 灰色粘質シルト (10Y5/1) ガツボ中量含み、粘性に富む。  
 5 灰色粘質シルト (10Y4/1) 炭化物粒子中量含み、粘性を有する。

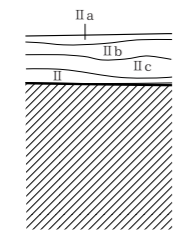
1m  
(1:50)  
0



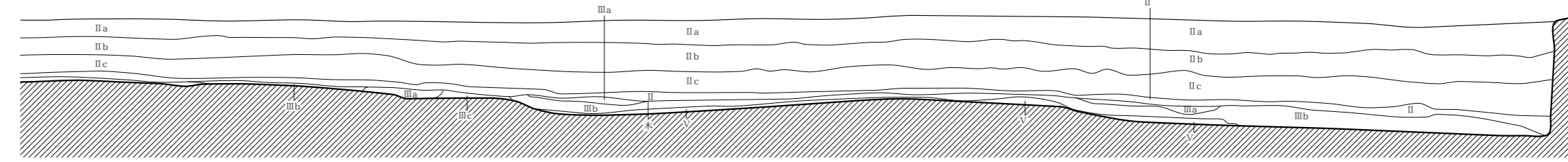
SPE c



d

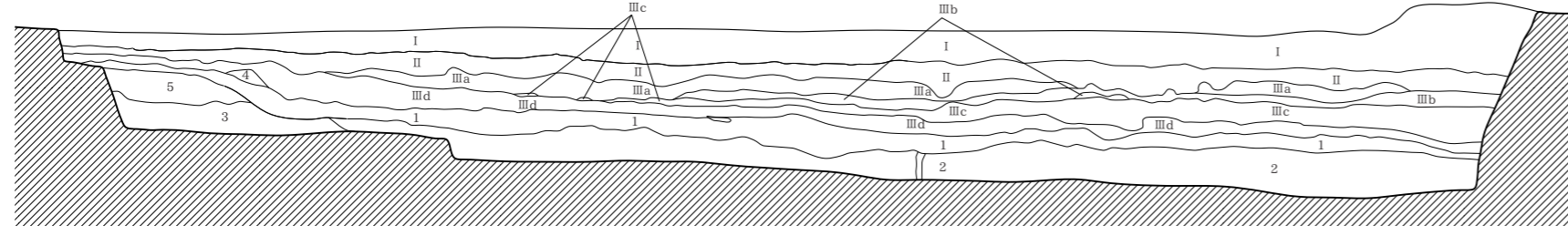


e



e'  
SPW  
0.0m

f  
SPW



f  
SPW  
0.0m

g-g' · h · i

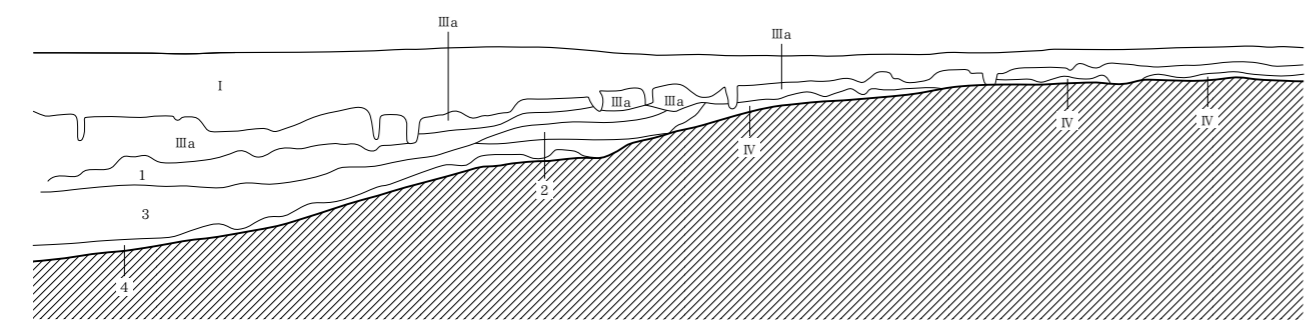
I b 黒褐色粘質シルト (10YR3/2) 酸化鉄多く含み、全体に締まる。  
 III a 黒褐色粘質シルト (10YR3/1) ガツボ多く含む。  
 III b 黒褐色粘質シルト (10YR3/1) ガツボ・炭化物粒子少量含む。  
 III c 褐灰色粘質シルト (10YR4/1) 酸化鉄微量、ガツボ少量、炭化物粒子少量含む。  
 IV 褐灰色粘質シルト (10YR4/1) ガツボ・炭化物粒子少量含む。  
 1 黒褐色粘質シルト (10YR3/1) ガツボ少量含み、粘性を有する。  
 2 黒褐色粘質シルト (10YR3/1) ガツボ・炭化物粒子少量含み、粘性を有する。  
 3 黒色粘土 (10YR1.7/1) ガツボ少量含み、粘性に富む。  
 4 黒色粘質シルト (10YR1.7/1) 炭化物粒子少量含み、粘性に富む。

j · k · l · m · n

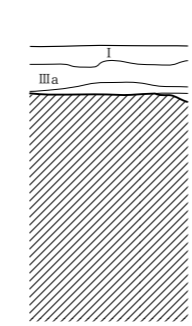
I a 灰オリーブ色シルト (5Y5/2) 盛土。  
 I b 黄灰色粘質シルト (2.5Y4/1) 耕作土。  
 II オリーブ黒色粘質シルト (5Y3/2)  
 III 黒褐色粘質シルト (10YR3/1) ガツボ・酸化鉄・炭化物粒子多く含み、全体に締まる。  
 SD2344  
 1 黄灰色粘質シルト (2.5Y5/1) 酸化鉄多く含み、全体に締まる。  
 2 黄灰色粘質シルト (2.5Y6/1) 酸化鉄多く含み、全体に締まる。

(1:50) 2m

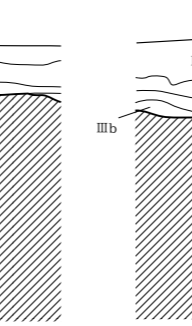
g  
SPE



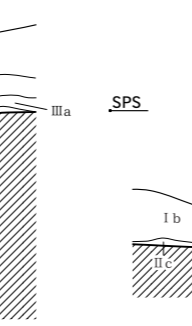
g'



h

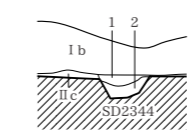


i

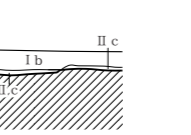


SPW  
0.0m

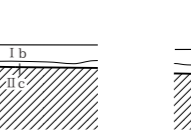
SPS j



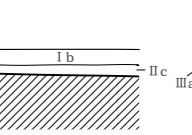
k



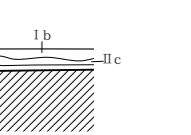
l



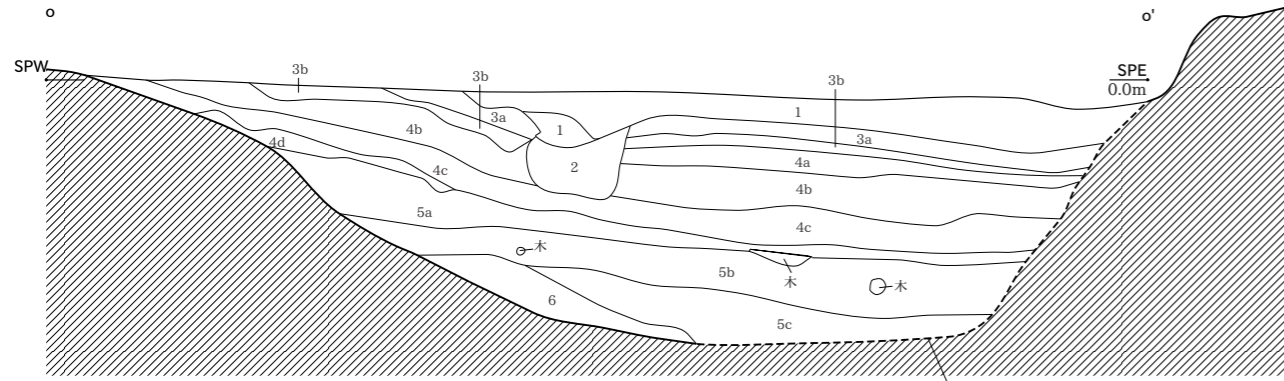
m



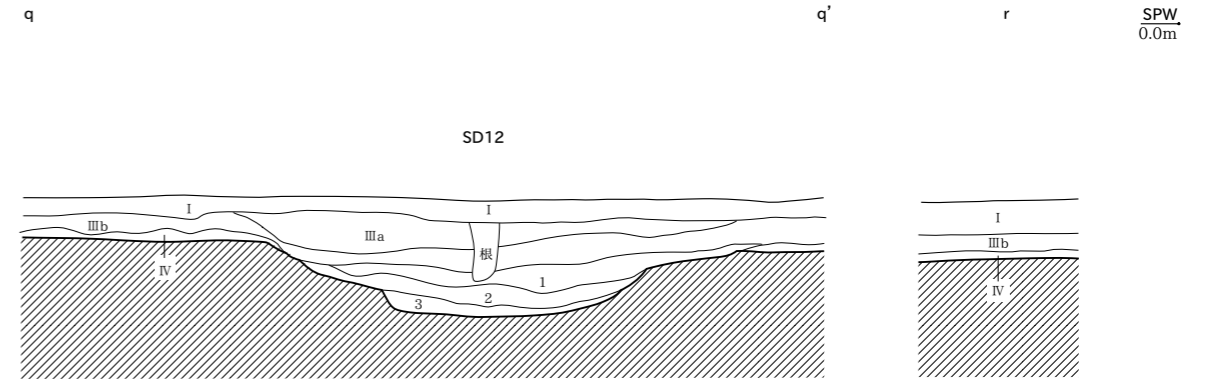
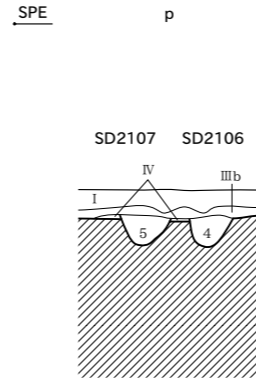
n



SPN  
0.0m



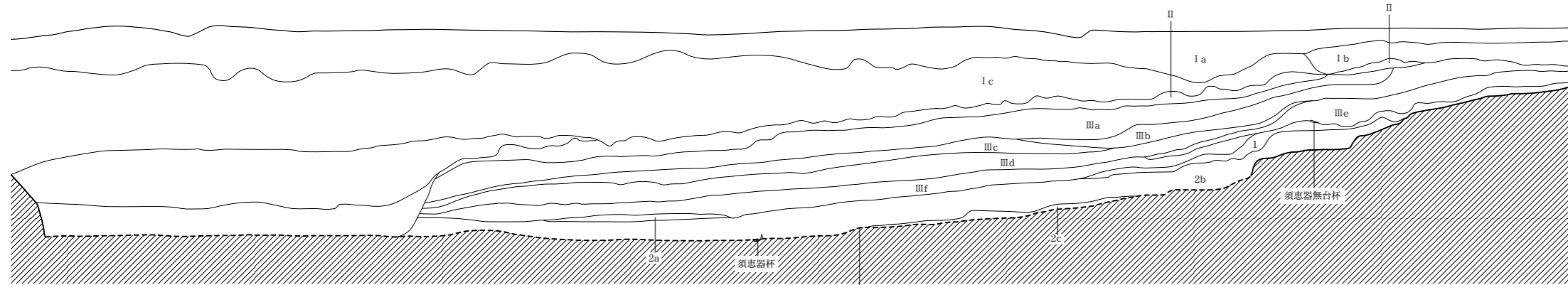
- o-o'
- 1 オリーブ黒色粘土 (5Y2/2) 酸化鉄多く含む。
  - 2a 黒褐色粘質シルト (10YR2/2) ガツボ中量、炭化物粒子多量含む。
  - 2b オリーブ黒色粘土 (5Y3/2) 炭化物粒子少量含む、粘性を有する。
  - 3a 黒褐色粘土 (2.5Y3/1) 炭化物粒子中量含む、粘性を有する。
  - 3b オリーブ黒色粘土 (5Y3/1) 炭化物粒子中量含む、粘性を有する。
  - 4a 黒褐色粘質土 (10YR3/1) ガツボ少量、酸化鉄・炭化物粒子多量含む、粘性を有する。
  - 4b 黒褐色粘質土 (10YR3/1) ガツボ・酸化鉄・炭化物粒子多く含む、粘性を有する。
  - 4c 黒褐色粘質土 (10YR3/1) ガツボ中量、酸化鉄・炭化物粒子多く含む。
  - 4d 灰色シルト (10Y5/1) ガツボ多く含む。
  - 5a オリーブ黒色粘土 (7.5Y2/2) ガツボ少量含む、粘性を有する。
  - 5b オリーブ黒色粘土 (5Y3/1) ガツボ・炭化物粒子少量含む、粘性を有する。
  - 5c オリーブ黒色粘土 (10Y3/2) ガツボ・炭化物粒子中量含む、粘性を有する。
  - 6 灰色シルト (5Y4/1) ガツボ・炭化物粒子中量含む。
- は任意の掘削ライン



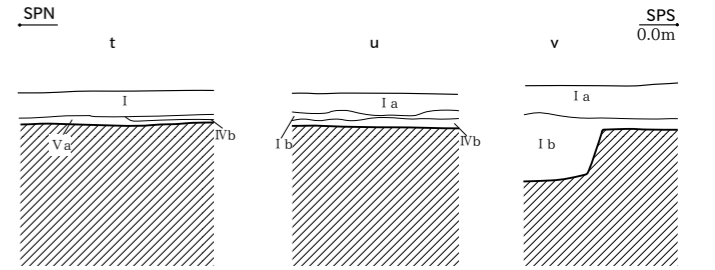
- p-q-q'-r
- 1b 黒褐色粘質土 (2.5Y3/2) 耕作土。
  - IIIa 黒褐色粘質シルト (2.5Y3/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量含む。
  - IIIb 黒褐色粘質シルト (2.5Y3/2) 炭化物粒子少量含む。
  - IV オリーブ褐色粘質シルト (2.5Y4/3)
  - 1 黒褐色粘質シルト (2.5Y3/1) ガツボ中量、酸化鉄・炭化物粒子少量含む、粘性に富む。
  - 2 暗オリーブ粘質シルト (5Y4/3) 酸化鉄・炭化物粒子少量含む。
  - 3 灰オリーブ粘質シルト (5Y4/2) 酸化鉄・炭化物粒子少量含む。
  - 4 (SD2106) 暗灰黄色粘質シルト (2.5Y4/2) 酸化鉄中量、炭化物粒子少量含む。
  - 5 (SD2107) 暗オリーブ褐色粘質シルト (2.5Y3/3) 酸化鉄少量、炭化物粒子少量含む。

s  
SPN

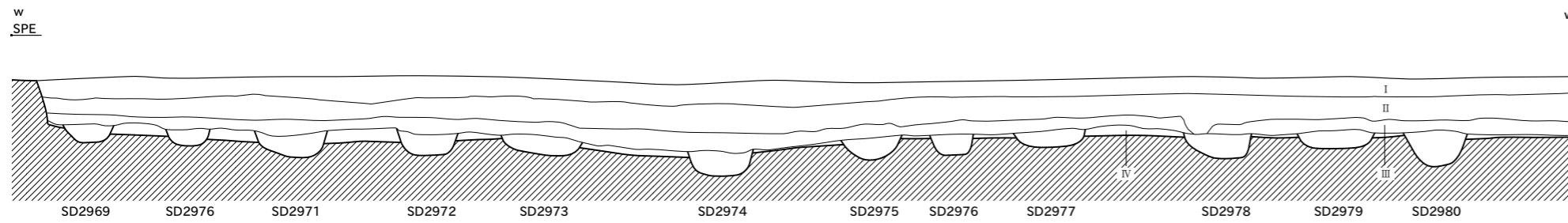
s'  
SPS



- s-s'-t-u-v
- I b 黒褐色粘質土 (10YR3/2) 酸化鉄中量含む、全体に締まる。耕作土。
  - I c 黒褐色粘質土 (10YR3/2) 酸化鉄多く含む、全体に締まる。耕作土。
  - I d 黒褐色粘質土 (10YR3/1) 耕作土。
  - II 黄灰色粘質土 (2.5Y4/1) ガツボ中量含む、粘性を有する。
  - IIIa 暗オリーブ褐色粘質シルト (2.5Y3/3) ガツボ多量含む、粘性を有する。
  - IIIb 黒褐色粘質シルト (2.5Y3/2) ガツボ多く含む、粘性を有する。
  - IIIc 黒褐色粘質シルト (2.5Y3/1) ガツボ多く含む、粘性を有する。
  - IIId 黒褐色粘質シルト (10YR2/2) ガツボ中量含む、粘性を有する。
  - IIIe 黒褐色粘質シルト (10YR3/1) ガツボ・炭化物粒子中量含む、全体に締まる。
  - IIIf 黒褐色粘質シルト (10YR2/2) ガツボ多量、炭化物粒子少量含む、全体に締まる。
  - 1 暗灰黄色粘質シルト (2.5Y4/2) ガツボ少量含む、全体に締まる。
  - 2a 黒褐色粘質シルト (10YR2/2) ガツボ多く含む、全体に締まる。
  - 2b 暗オリーブ褐色粘質シルト (2.5Y3/3) ガツボ・炭化物粒子多く含む、全体に締まる。
  - 2c 黒褐色粘質シルト (2.5Y3/2) ガツボ多量、炭化物粒子中量含む、全体に締まる。
- は任意の掘削ライン

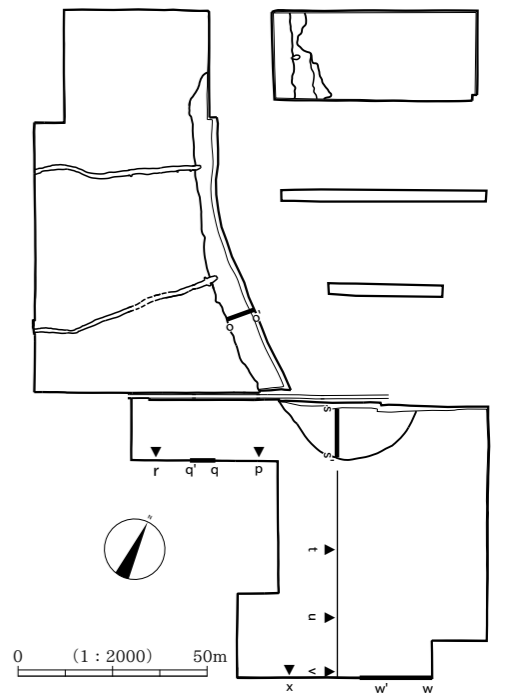


0 (1:50) 2m



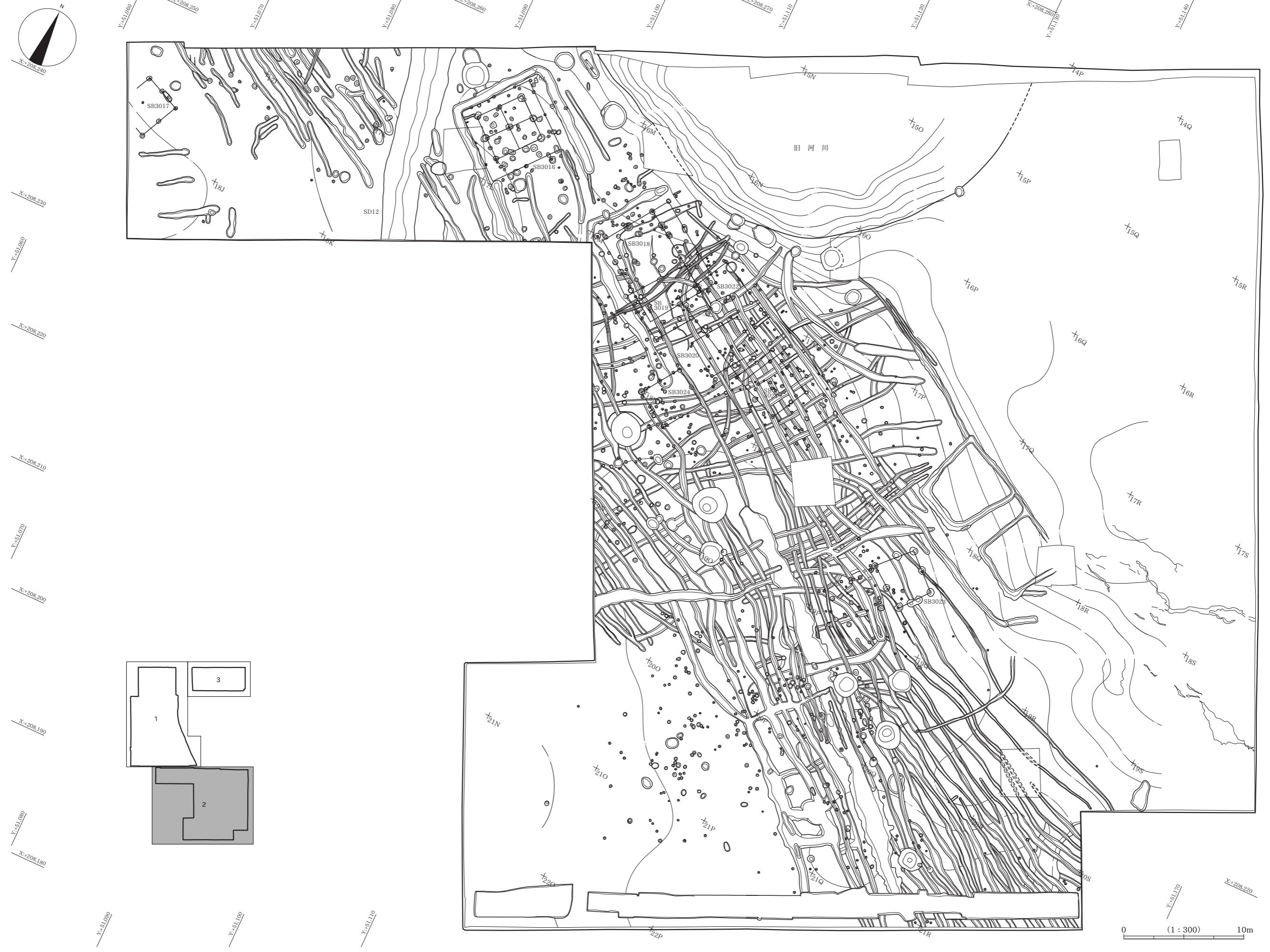
- w-w'-x
- I a 黄灰色粘質土 (2.5Y4/1) 盛土。
  - II 褐灰色粘質シルト (10YR6/1)
  - III 黒褐色粘質シルト (10YR3/1) ガツボ少量含む、粘性を有する。
  - IV 濃い黄褐色粘質シルト (10YR7/4) 酸化鉄中量含む、全体に締まる。

※各遺構の土層は遺構個別図参照



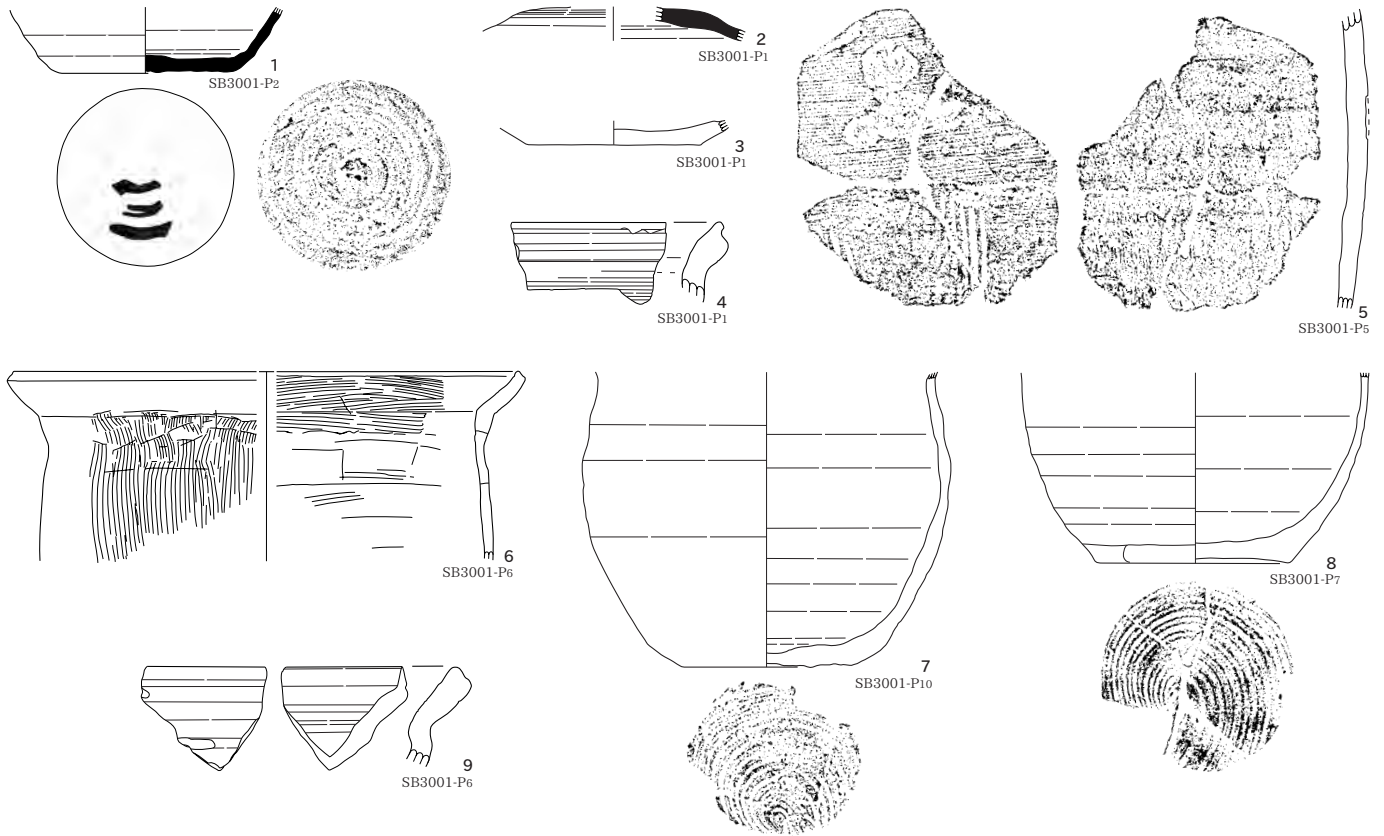




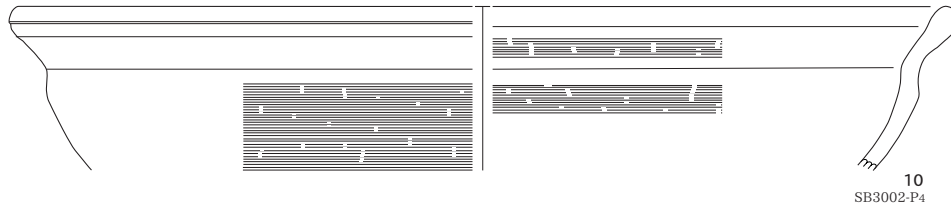




SB3001 (1~9)



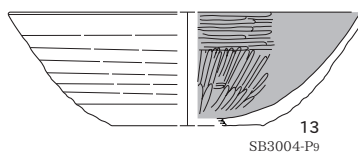
SB3002 (10)



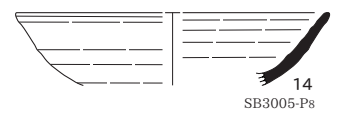
SB3003 (11・12)



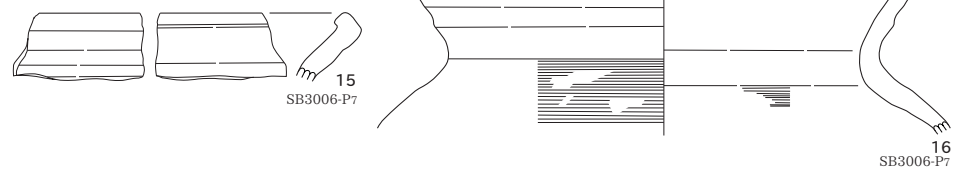
SB3004 (13)



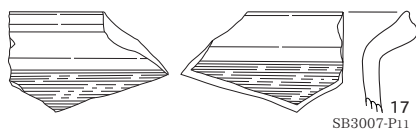
SB3005 (14)



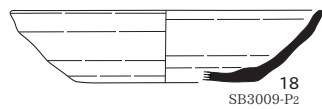
SB3006 (15・16)



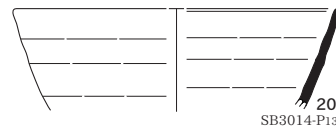
SB3007 (17)



SB3009 (18)



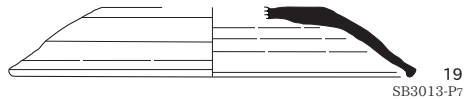
SB3014 (20)



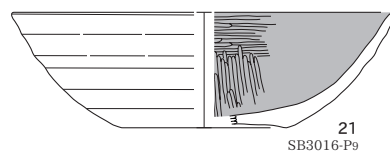
SB3017 (22)



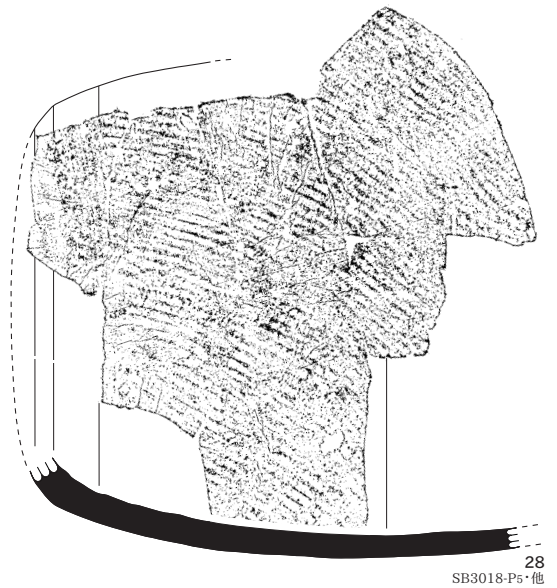
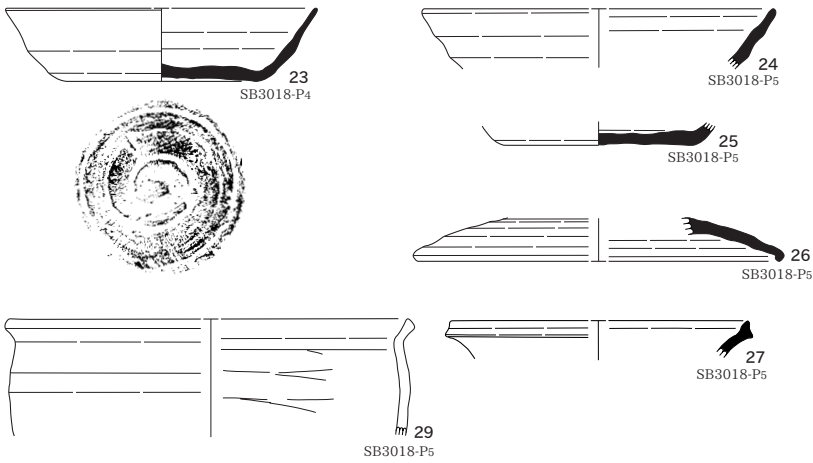
SB3013 (19)



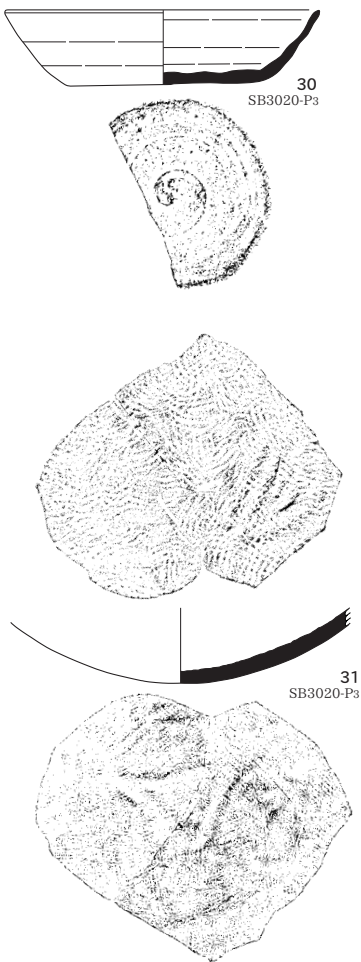
SB3016 (21)



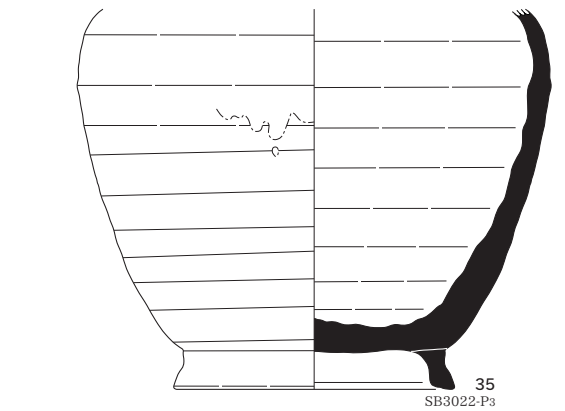
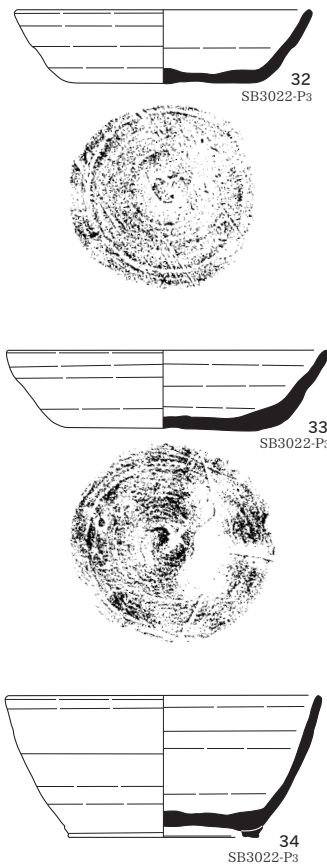
SB3018 (23~29)



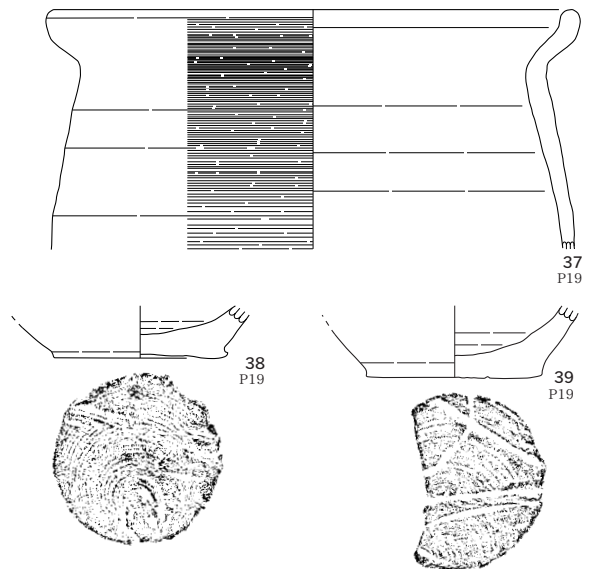
SB3020 (30・31)



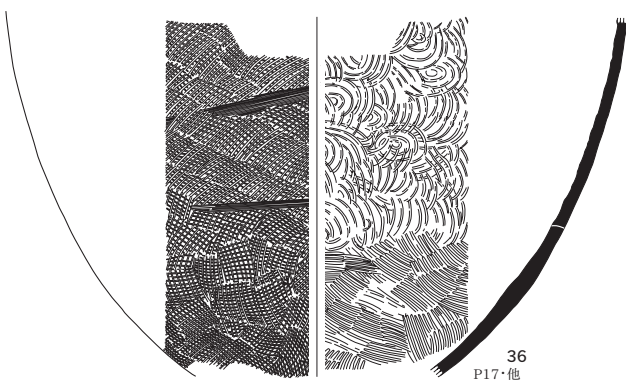
SB3022 (32~35)



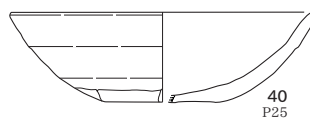
P19 (37~39)



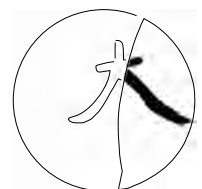
P17 (36)



P25 (40)

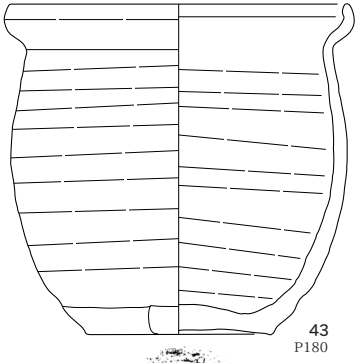
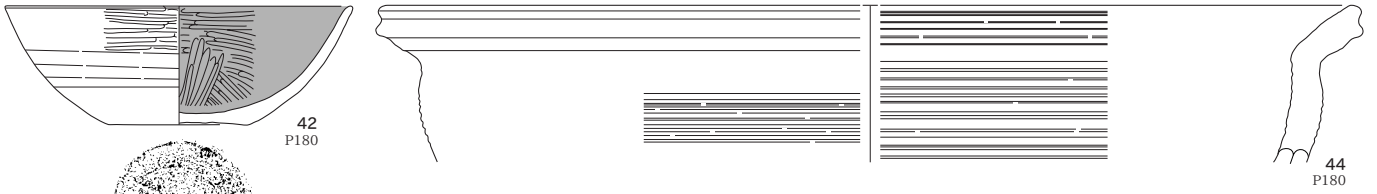


P72 (41)

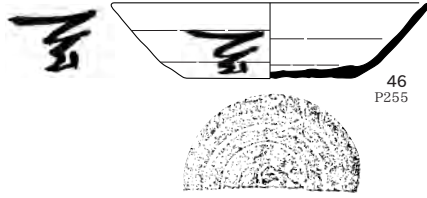


0 (31・36 1 : 6) 20cm  
 0 (その他 1 : 3) 10cm

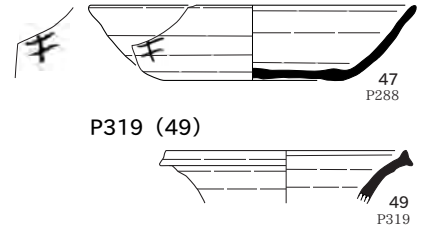
P180 (42~44)



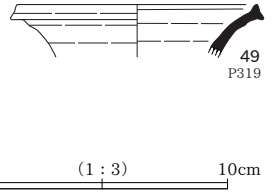
P255 (46)



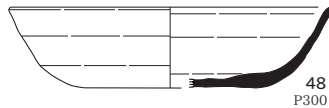
P288 (47)



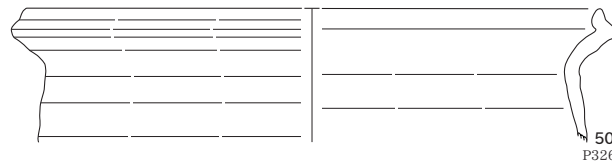
P319 (49)



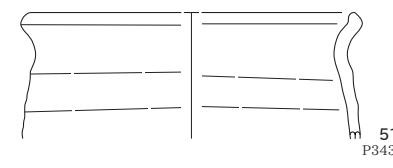
P300 (48)



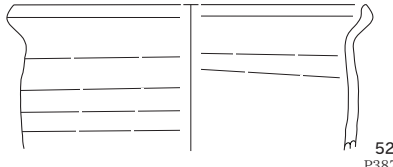
P326 (50)



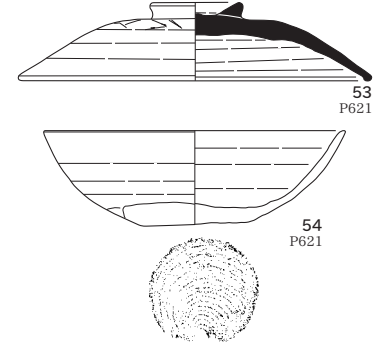
P343 (51)



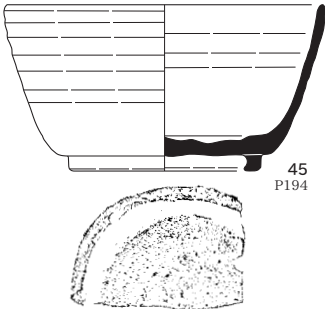
P387 (52)



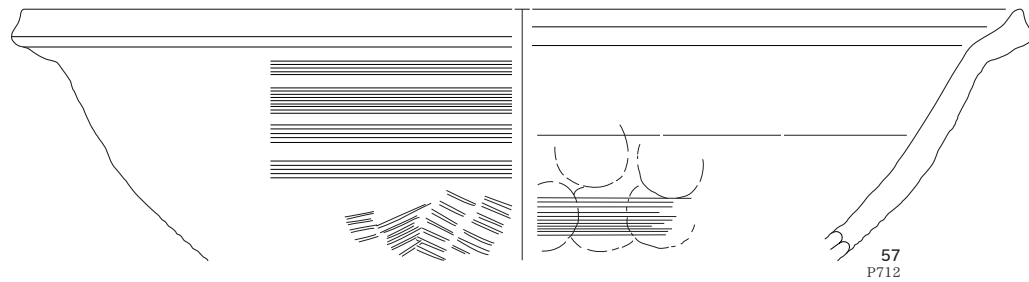
P621 (53・54)



P194 (45)



P712 (57)



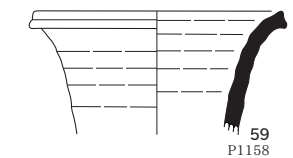
P647 (56)



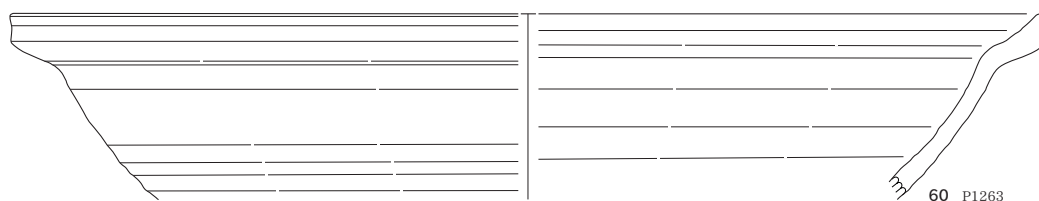
P1056 (58)



P1158 (59)



P1263 (60)



0 (1:3) 10cm

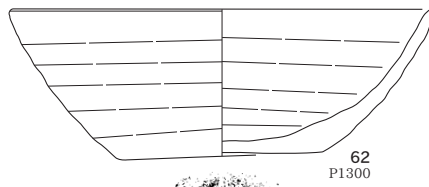
60 P1263



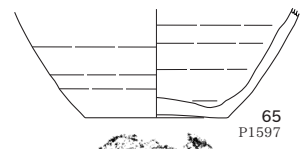
P1297 (61)



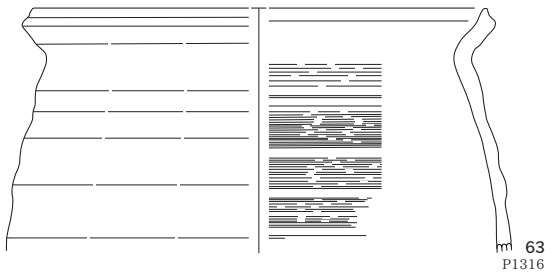
P1300 (62)



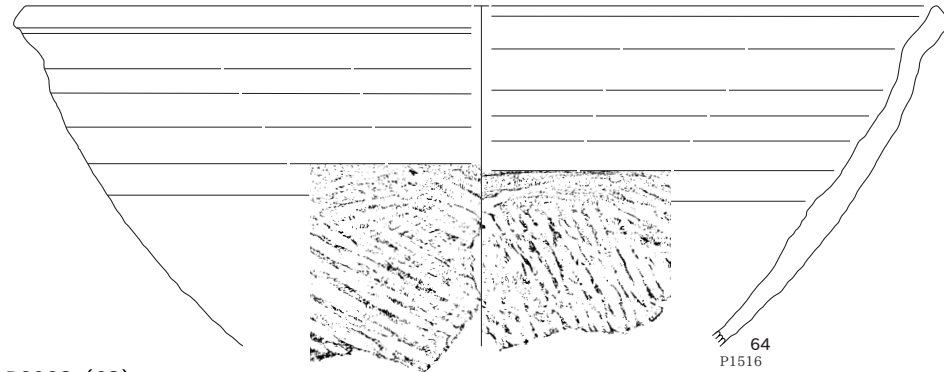
P1597 (65・66)



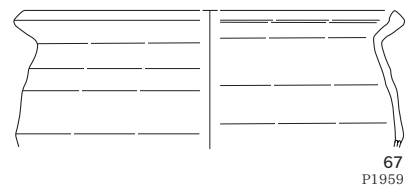
P1316 (63)



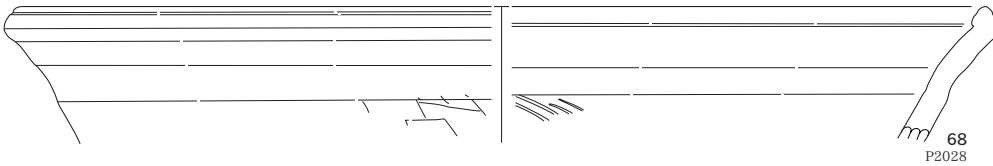
P1516 (64)



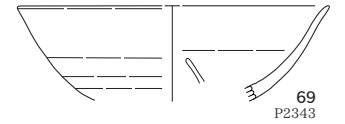
P1959 (67)



P2028 (68)



P2343 (69)



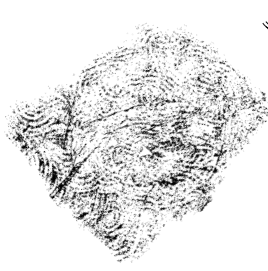
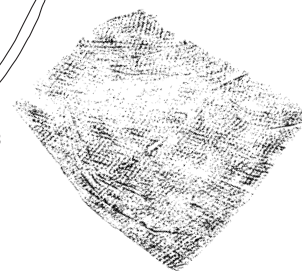
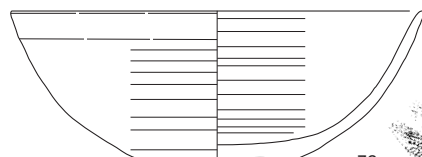
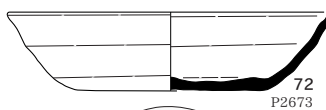
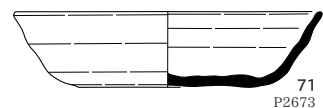
P2600 (70)



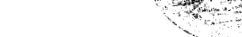
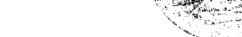
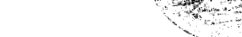
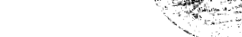
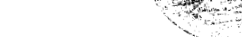
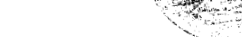
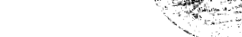
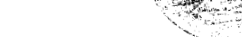
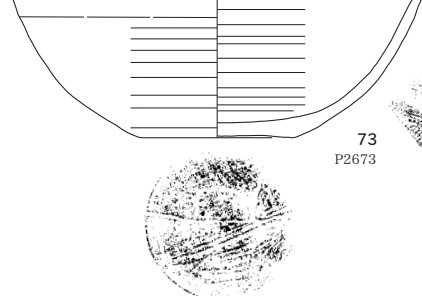
P2762 (74~77)



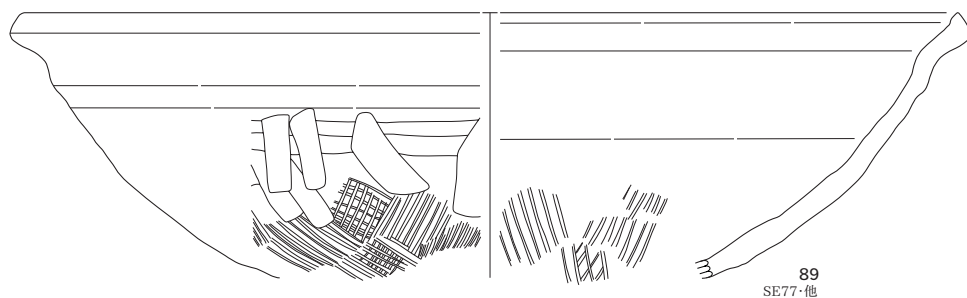
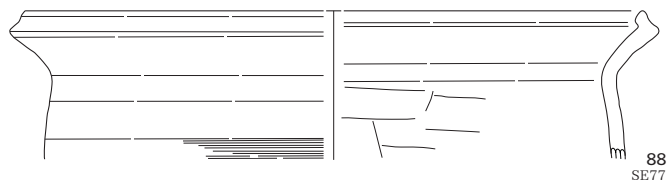
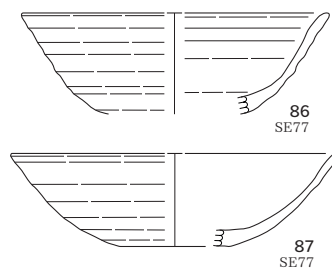
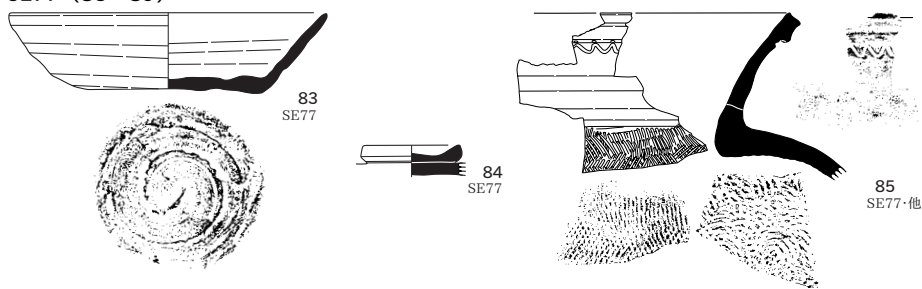
P2673 (71~73)



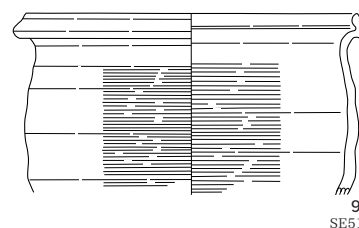
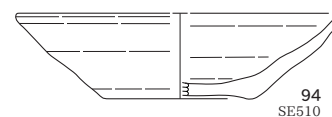
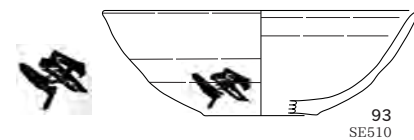
SE2 (79~82)



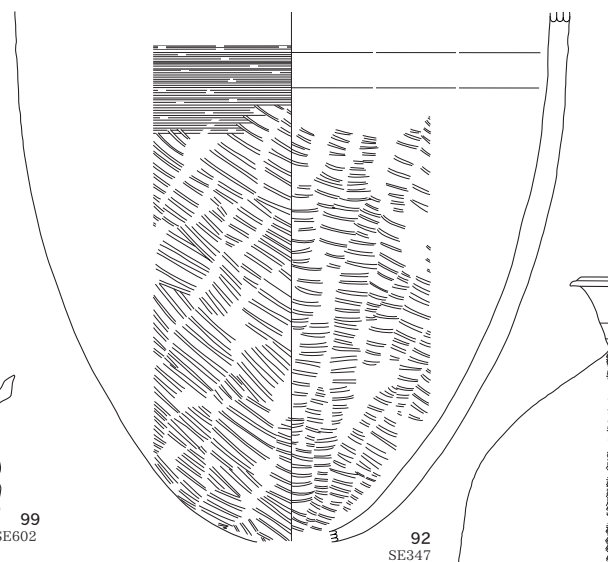
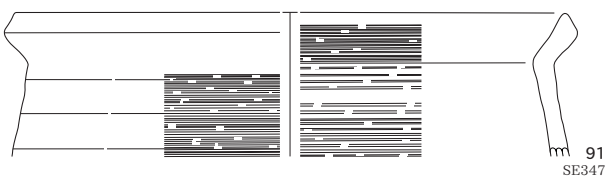
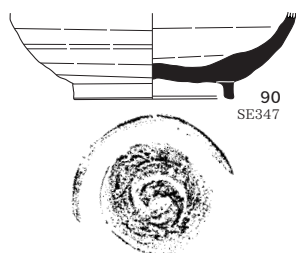
SE77 (83~89)



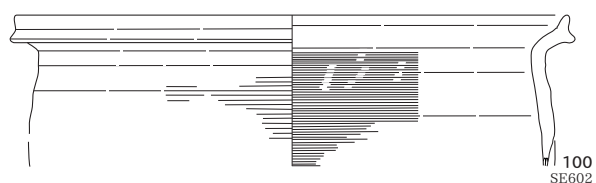
SE510 (93~96)



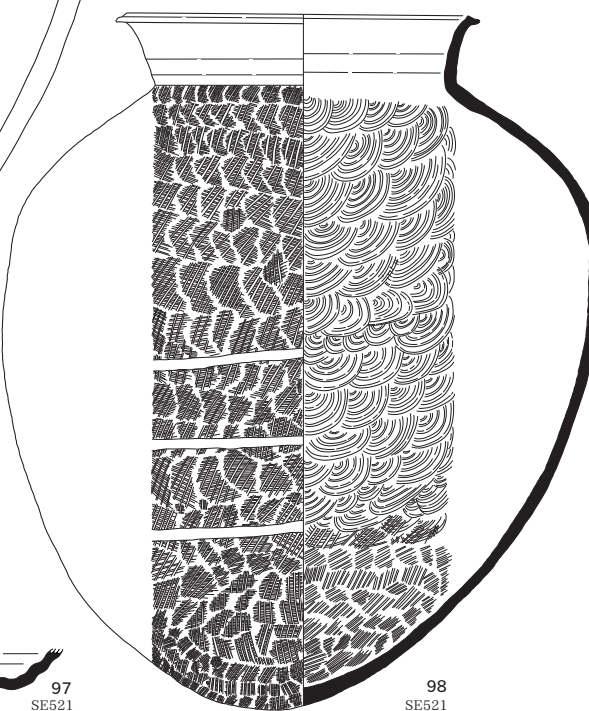
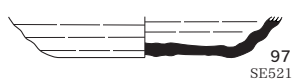
SE347 (90~92)



SE602 (99・100)



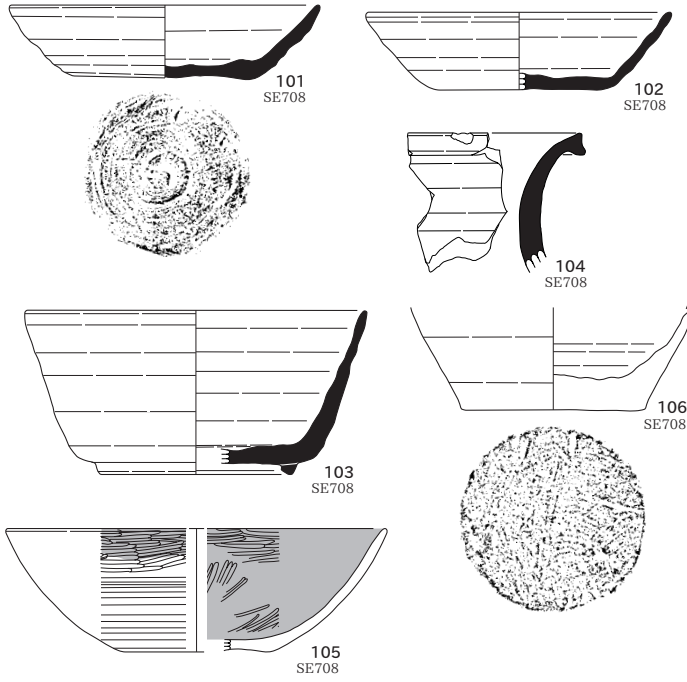
SE521 (97・98)



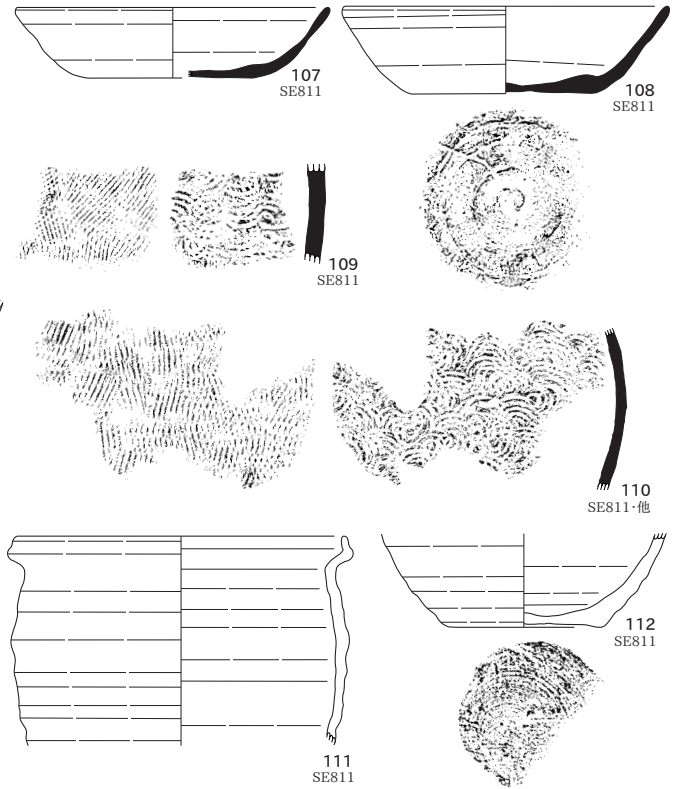
0 (85・98 1 : 6) 20cm

0 (その他 1 : 3) 10cm

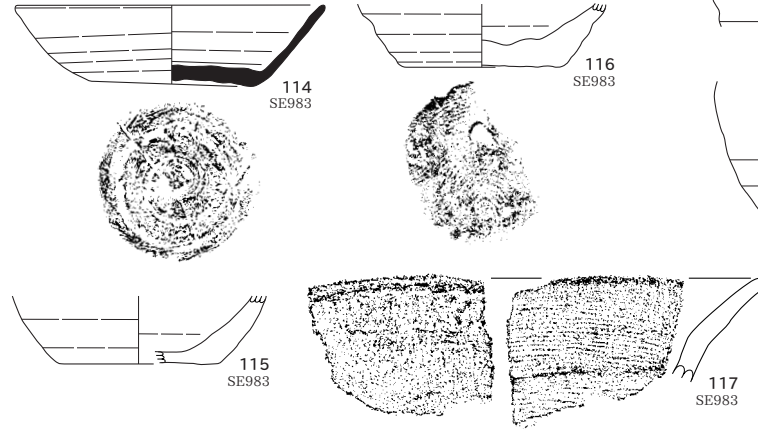
SE708 (101~106)



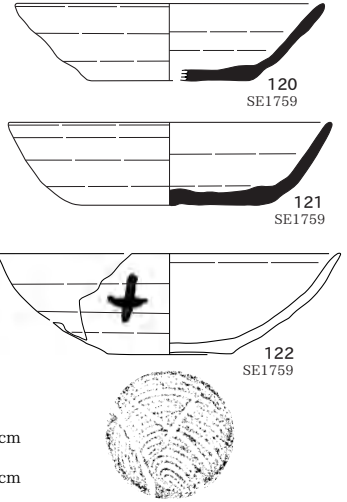
SE811 (107~113)



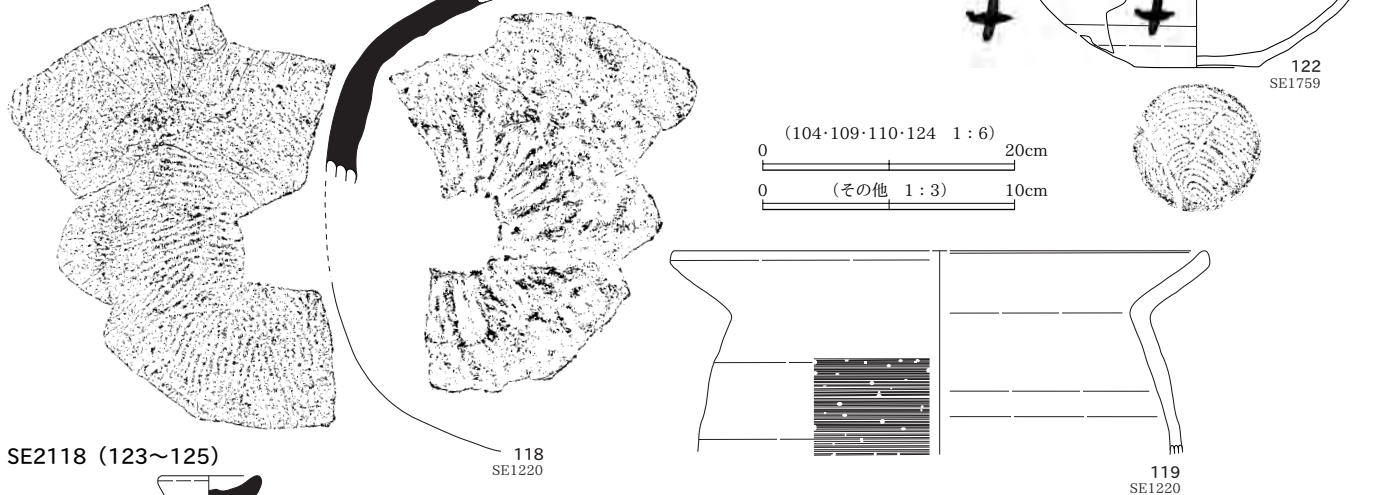
SE983 (114~117)



SE1759 (120~122)

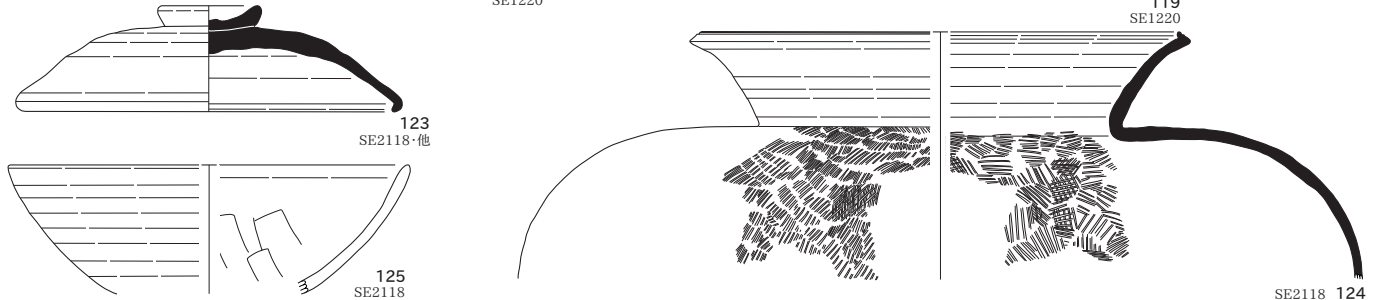


SE1220 (118・119)



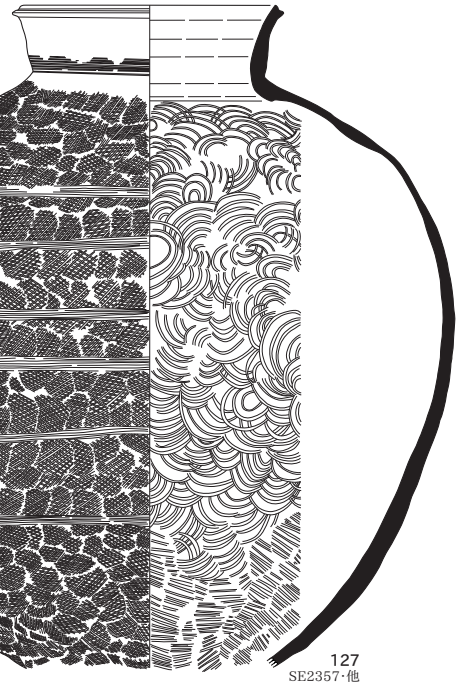
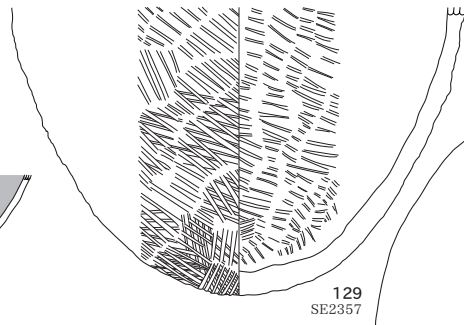
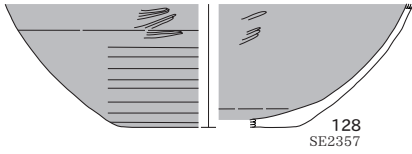
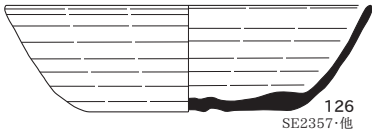
(104・109・110・124 1:6)  
 0 20cm  
 0 (その他 1:3) 10cm

SE2118 (123~125)

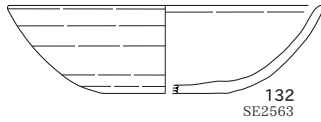




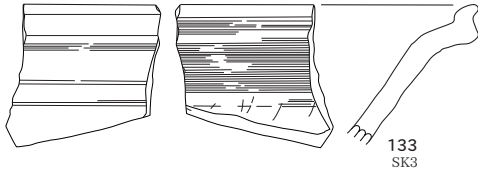
SE2357 (126~130)



SE2563 (131・132)

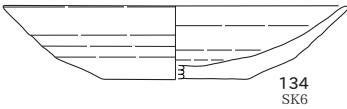


SK3 (133)



0 (127・131 1 : 6) 20cm  
0 (その他 1 : 3) 10cm

SK6 (134)



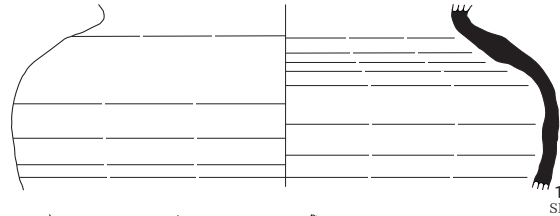
SK10 (135)



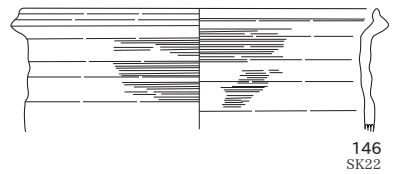
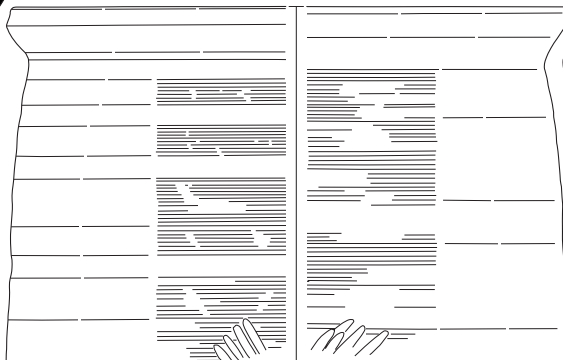
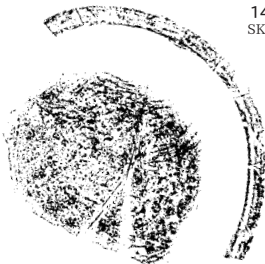
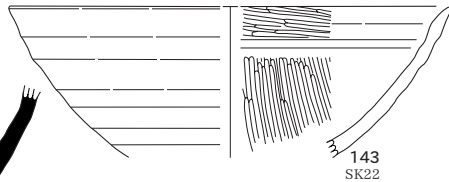
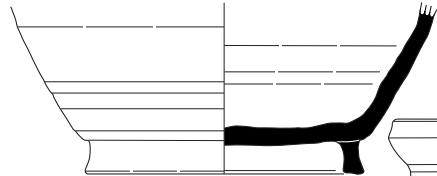
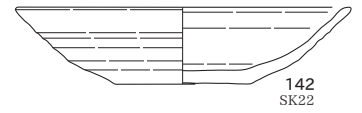
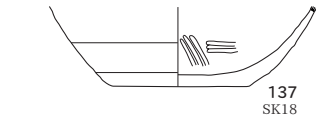
SK20 (138)



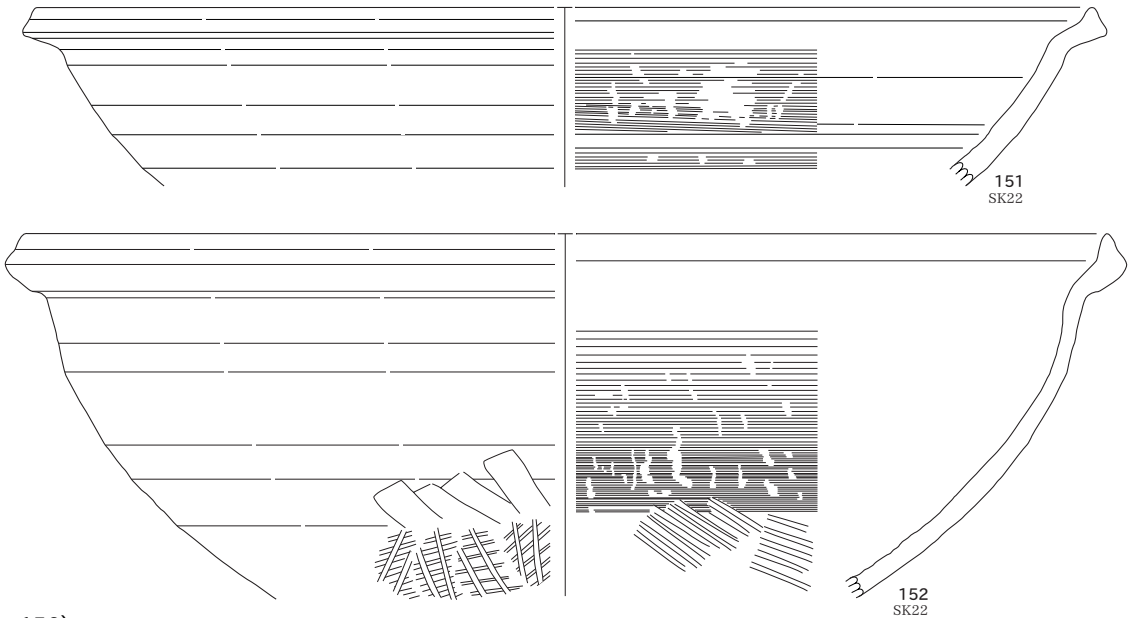
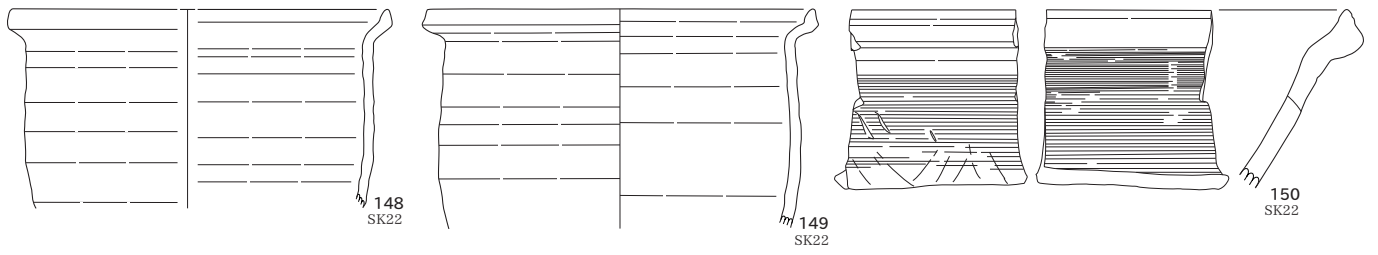
SK18 (136・137)



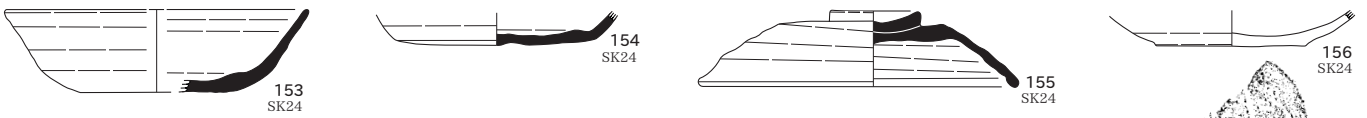
SK22 (139~147)



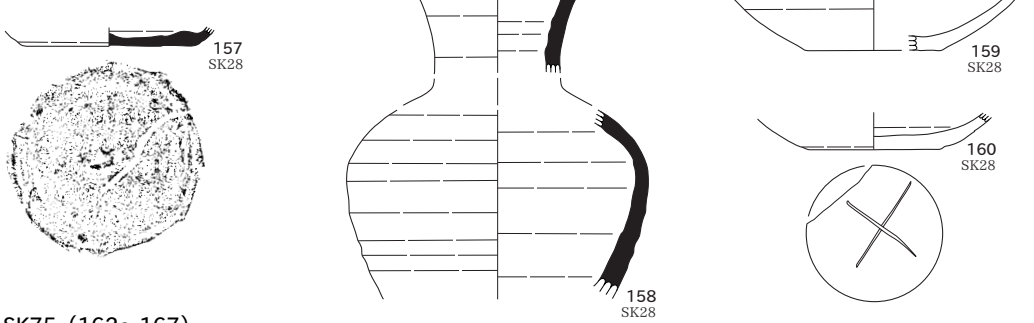
SK22 (148~152)



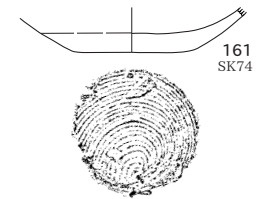
SK24 (153~156)



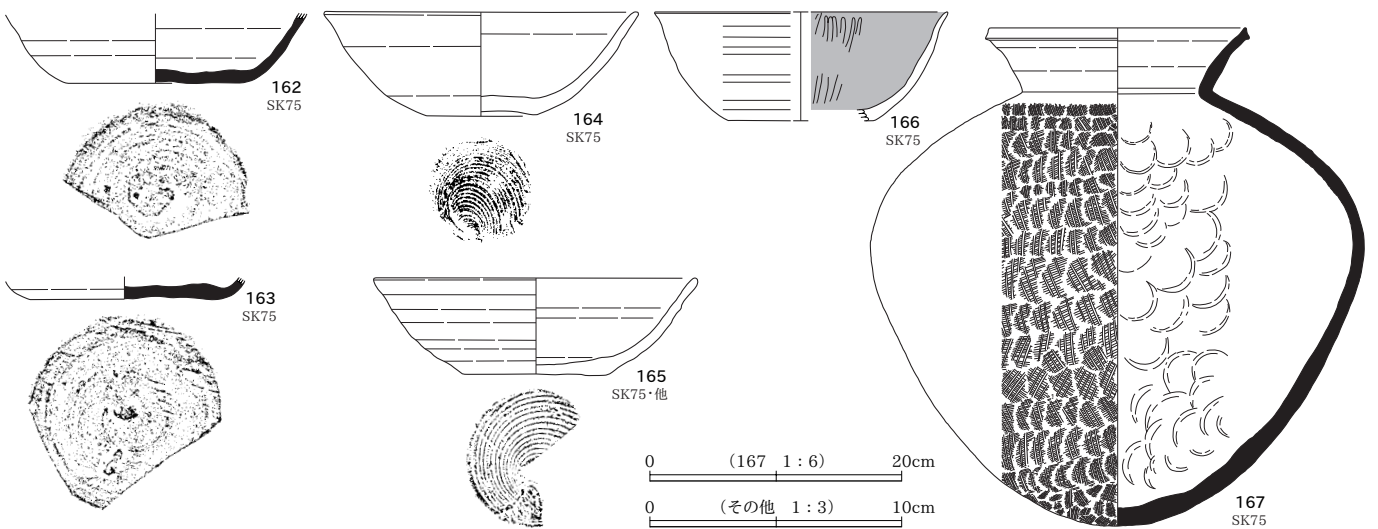
SK28 (157~160)



SK74 (161)

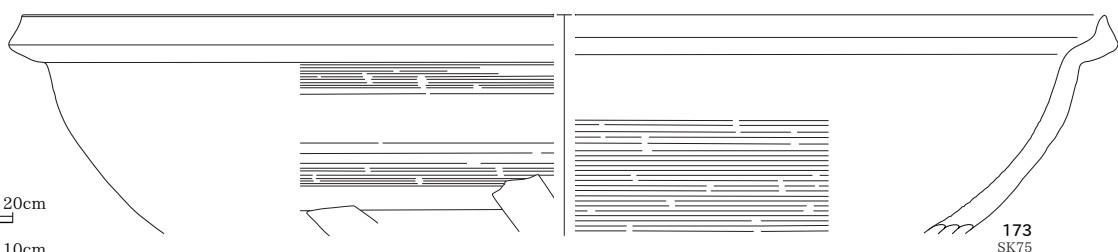
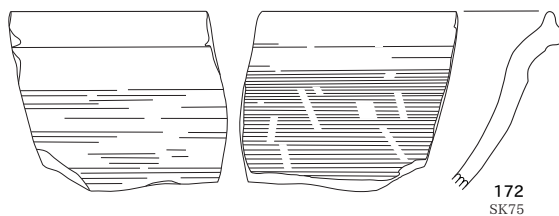
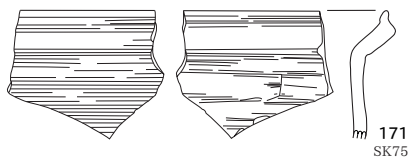
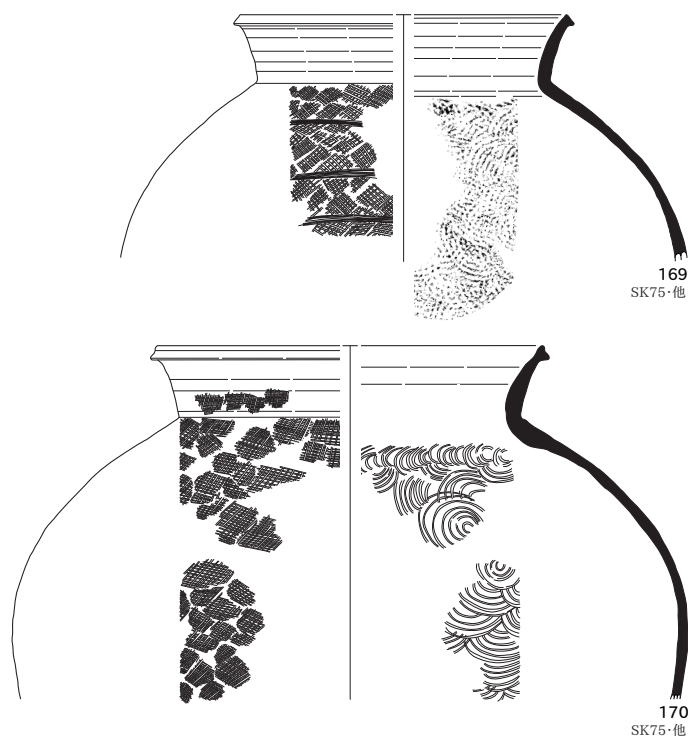
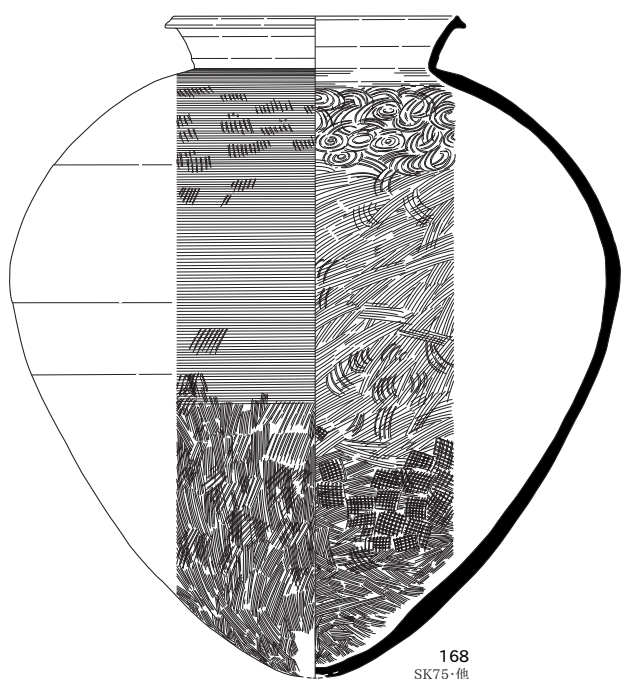


SK75 (162~167)





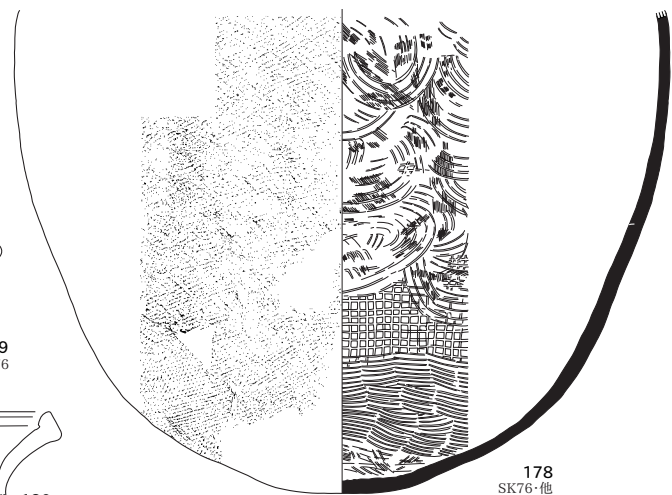
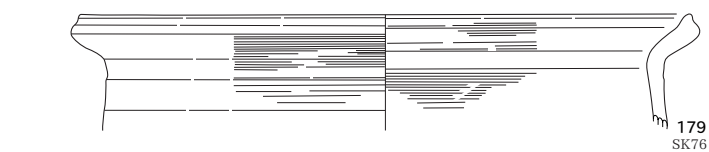
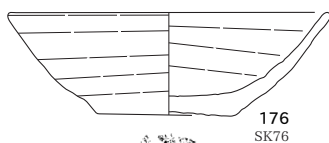
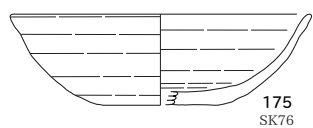
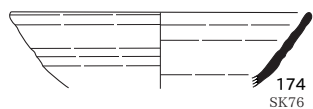
SK75 (168~173)



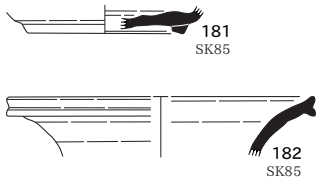
0 (168~170・177・178 1:6) 20cm

0 (その他 1:3) 10cm

SK76 (174~180)



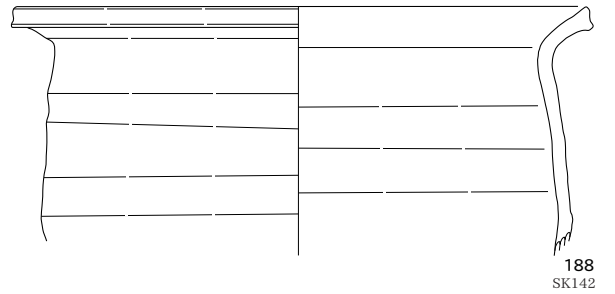
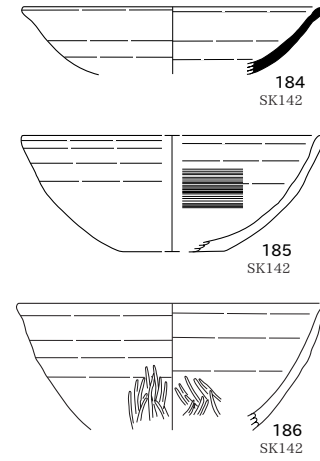
SK85 (181・182)



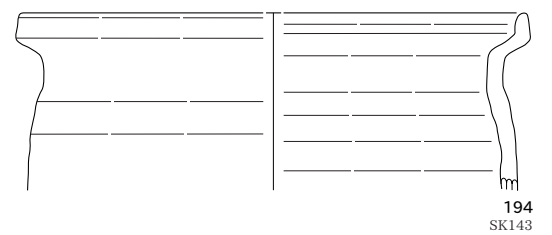
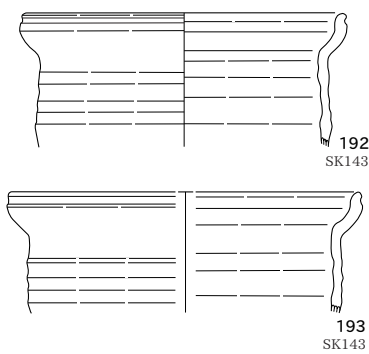
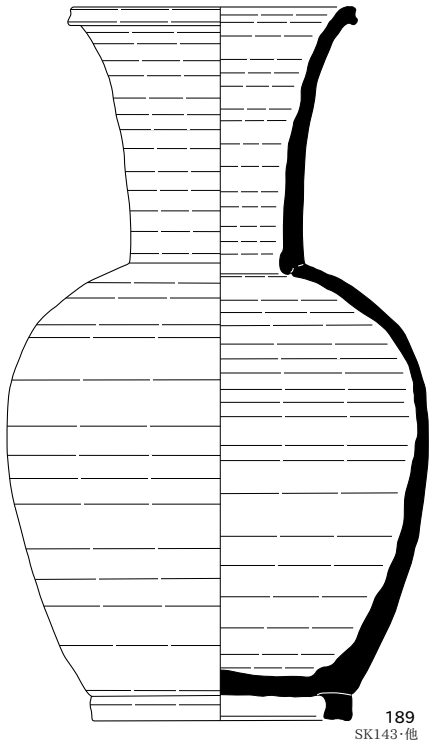
SK86 (183)



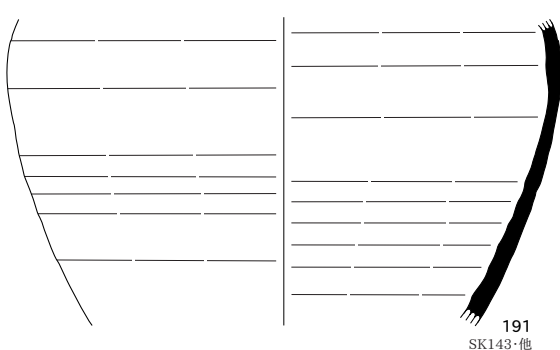
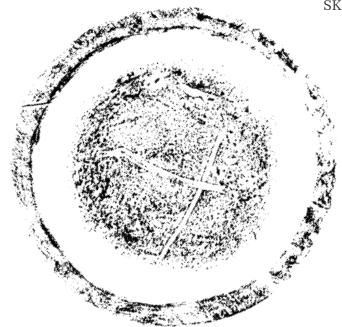
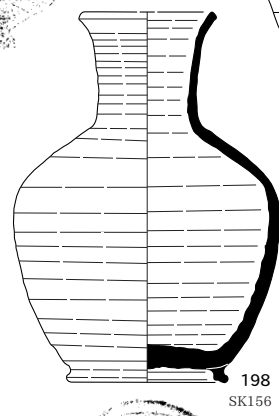
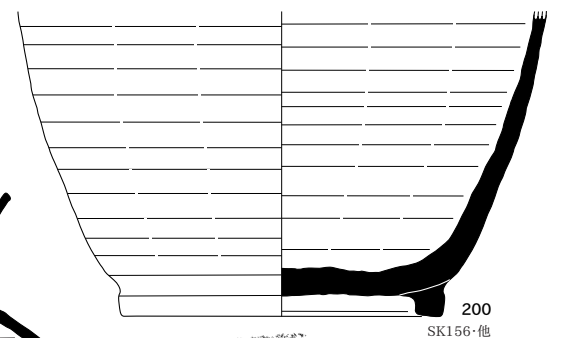
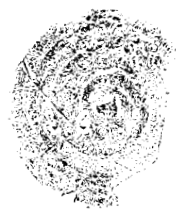
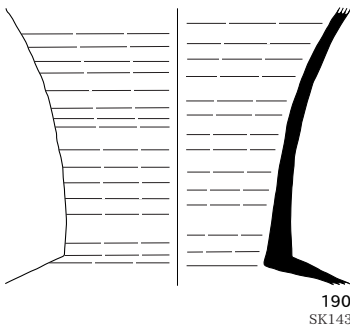
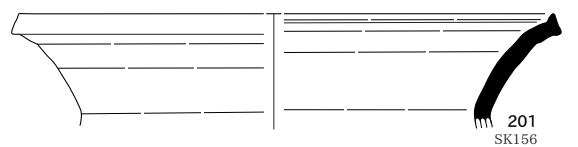
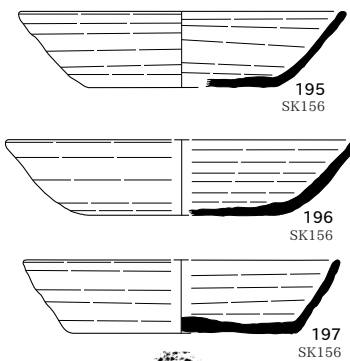
SK142 (184~188)



SK143 (189~194)

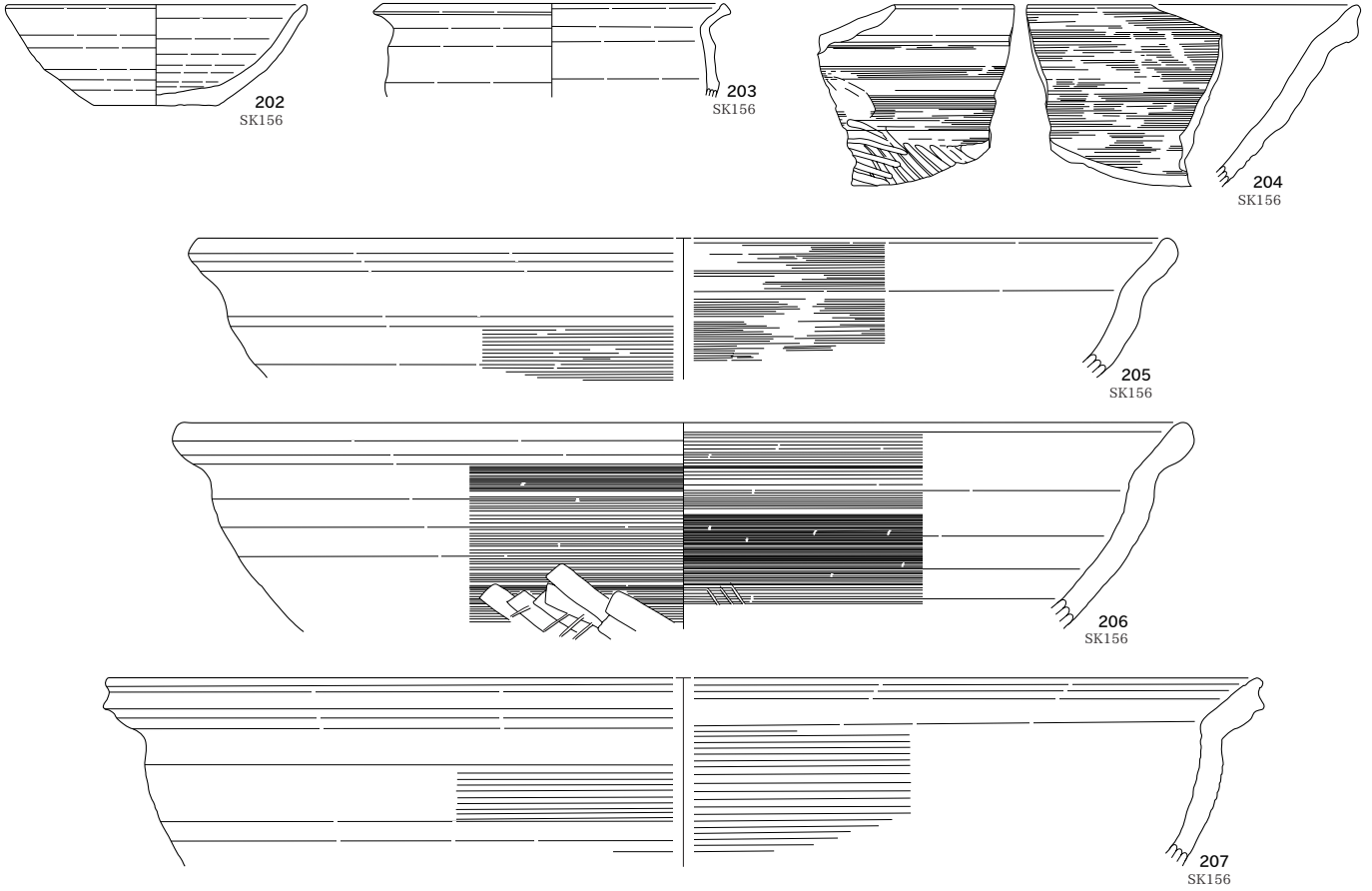


SK156 (195~201)



0 (187 1:6) 20cm  
0 (その他 1:3) 10cm

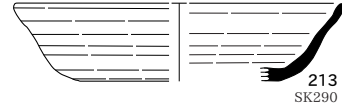
SK156 (202~207)



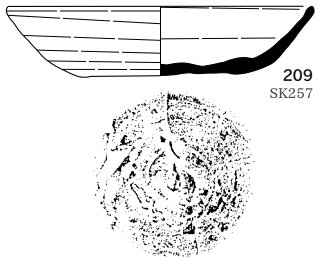
SK256 (208)



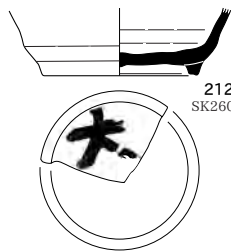
SK290 (213)



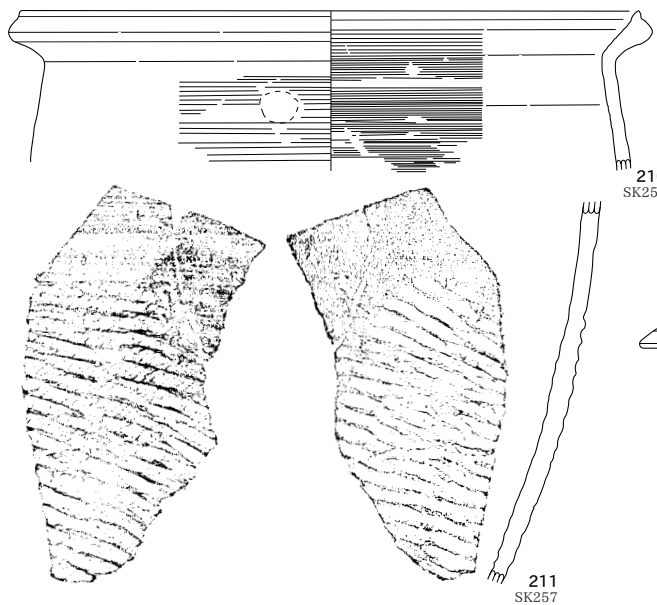
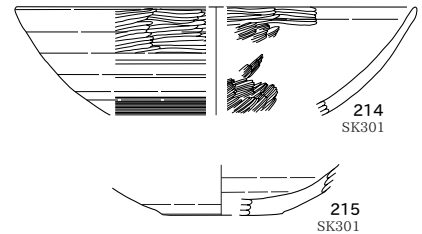
SK257 (209~211)



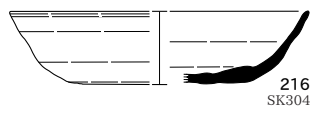
SK260 (212)



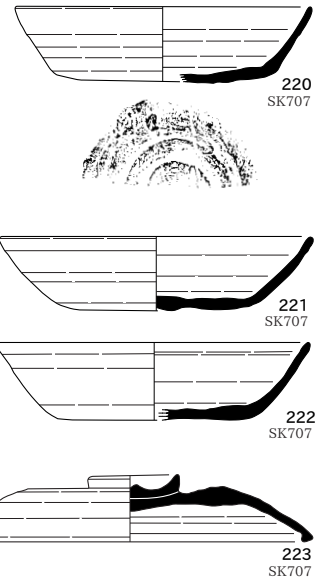
SK301 (214 · 215)



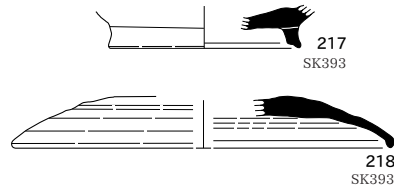
SK304 (216)



SK707 (220~223)



SK393 (217 · 218)

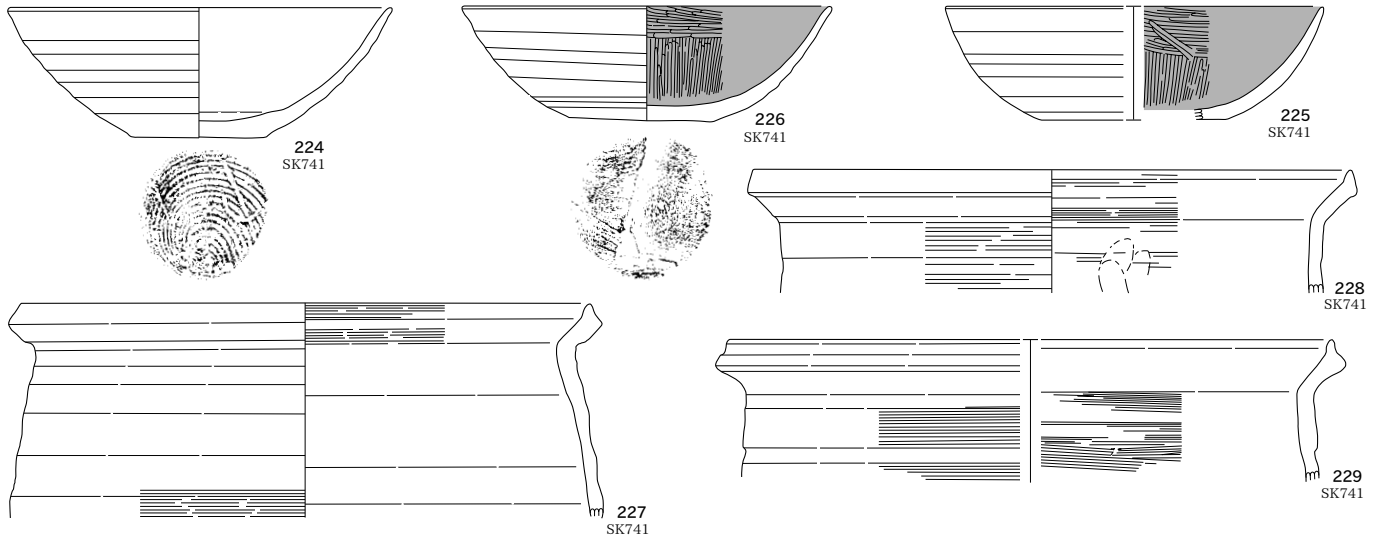


SK685 (219)

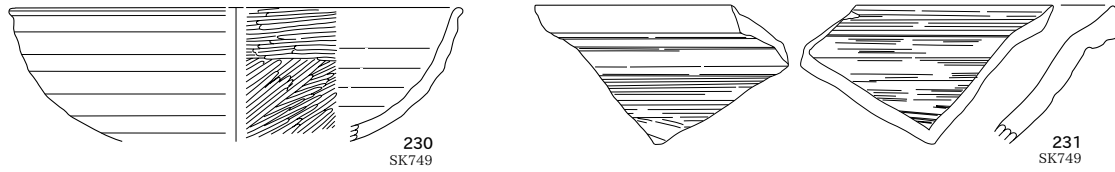


0 (1 : 3) 10cm

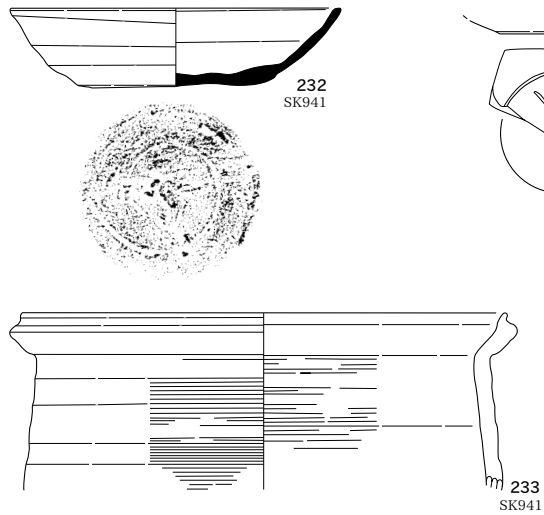
SK741 (224~229)



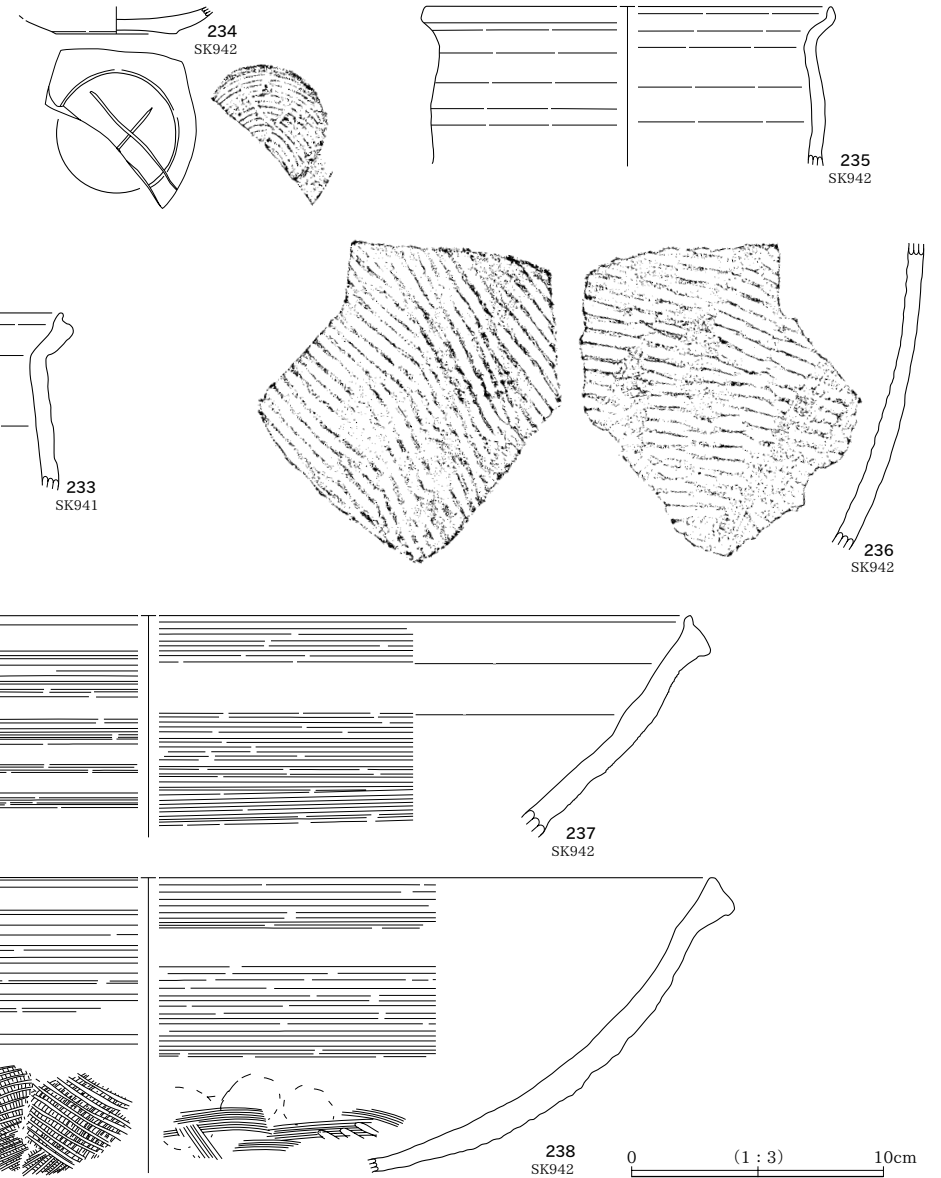
SK749 (230・231)



SK941 (232・233)

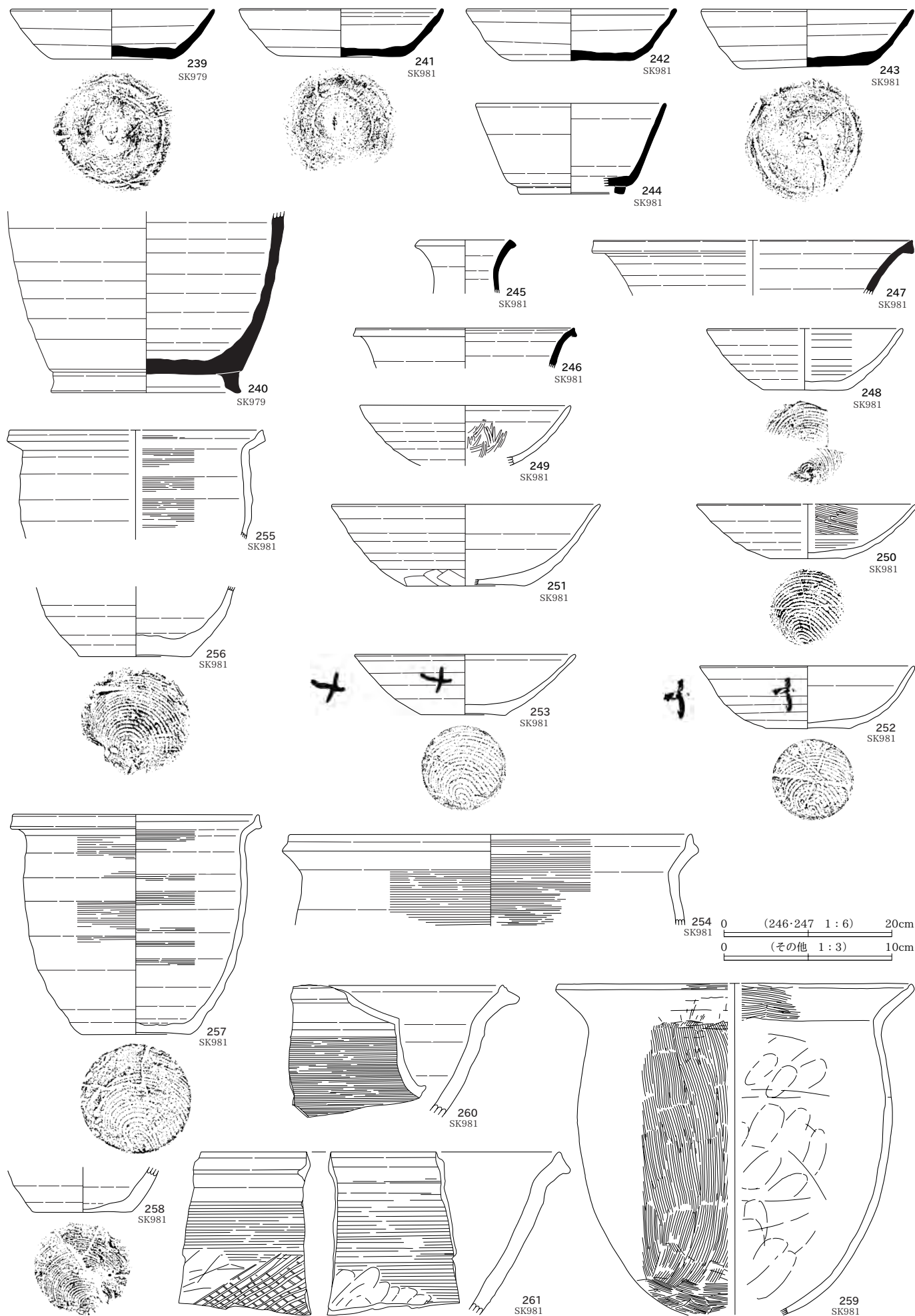


SK942 (234~238)



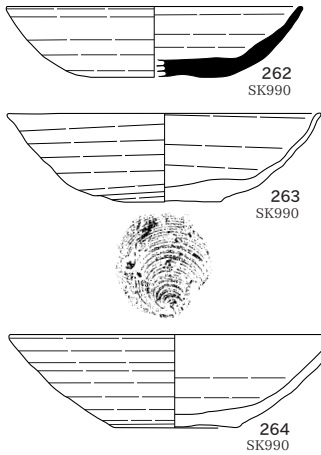
SK979 (239・240)

SK981 (241~261)

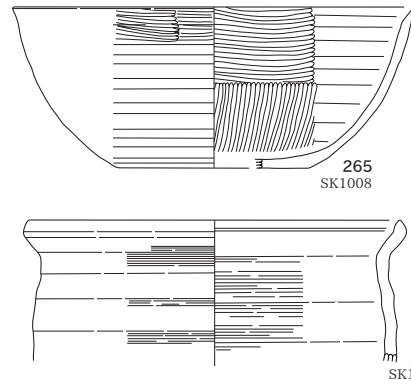




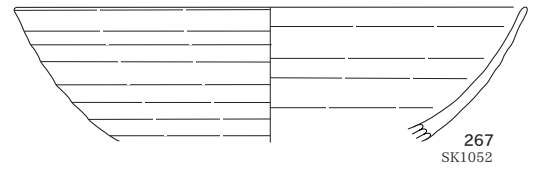
SK990 (262~264)



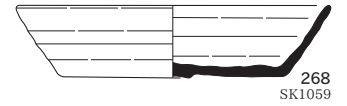
SK1008 (265・266)



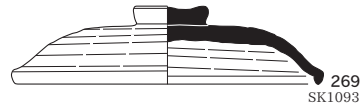
SK1052 (267)



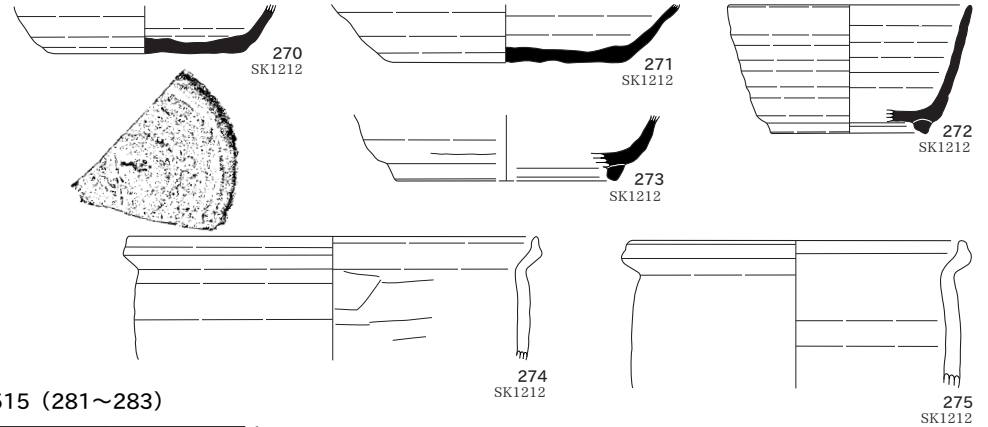
SK1059 (268)



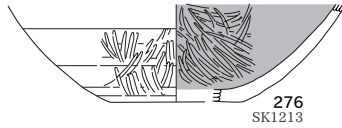
SK1093 (269)



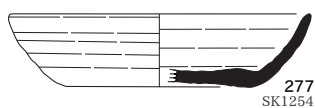
SK1212 (270~275)



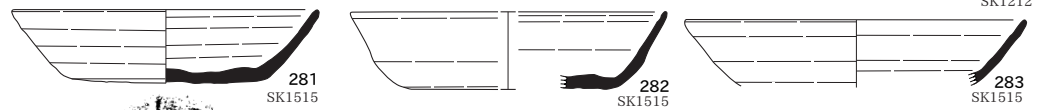
SK1213 (276)



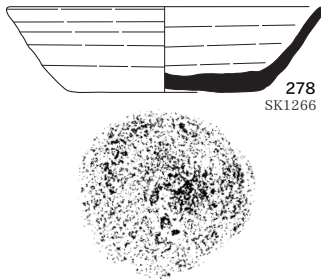
SK1254 (277)



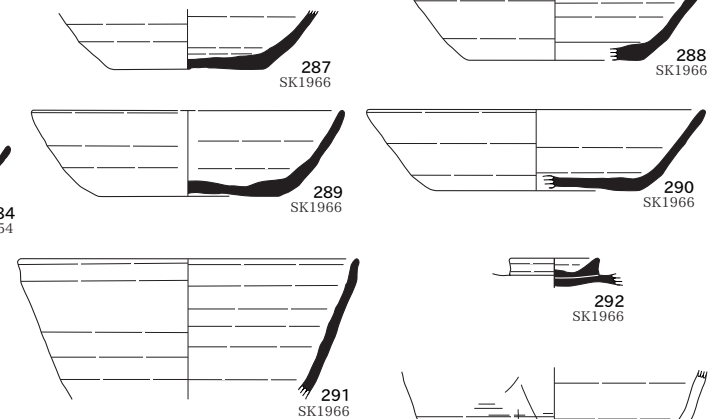
SK1515 (281~283)



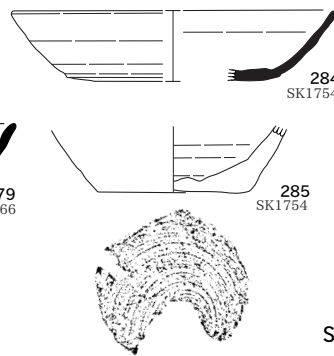
SK1266 (278~280)



SK1966 (287~293)



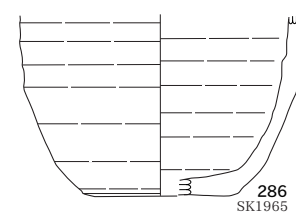
SK1754 (284・285)



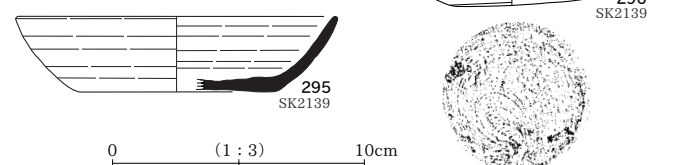
SK2134 (294)



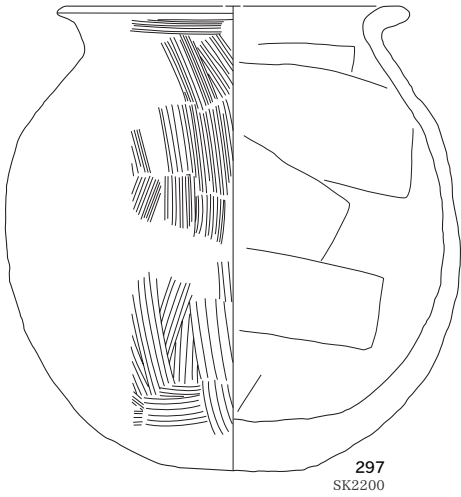
SK1965 (286)



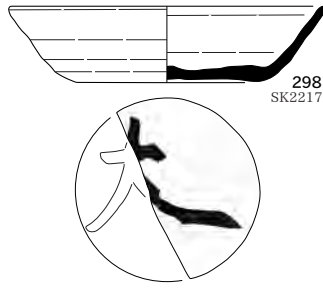
SK2139 (295・296)



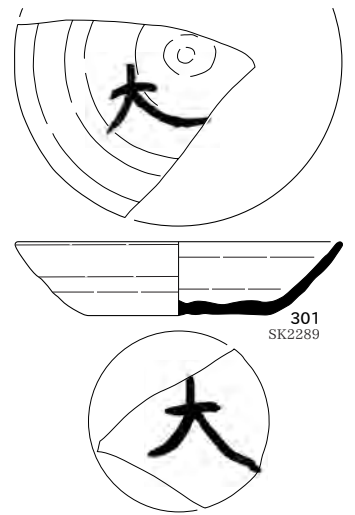
SK2200 (297)



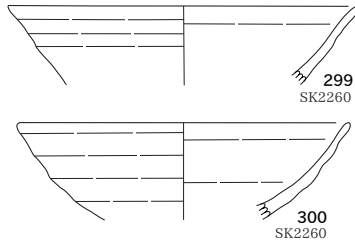
SK2217 (298)



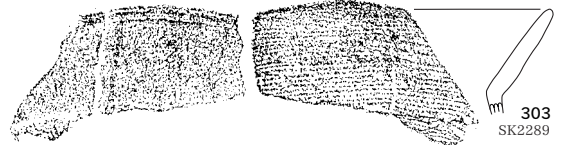
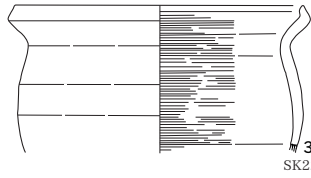
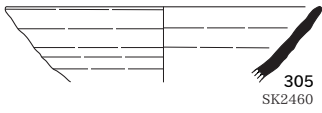
SK2289 (301~304)



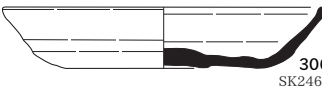
SK2260 (299・300)



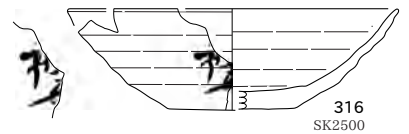
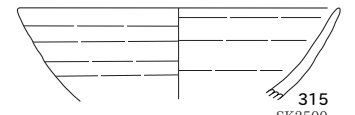
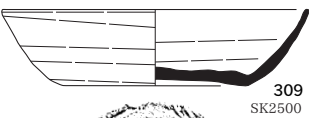
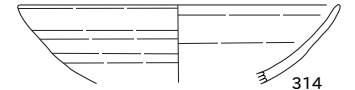
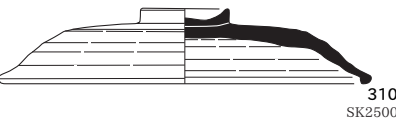
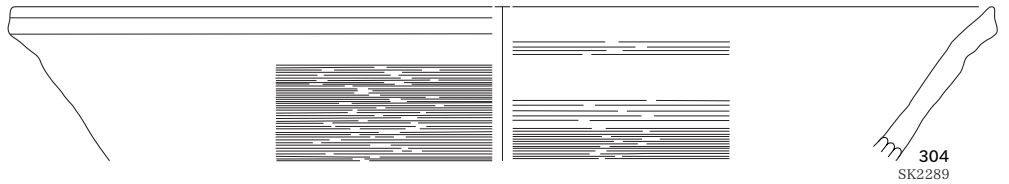
SK2460 (305)



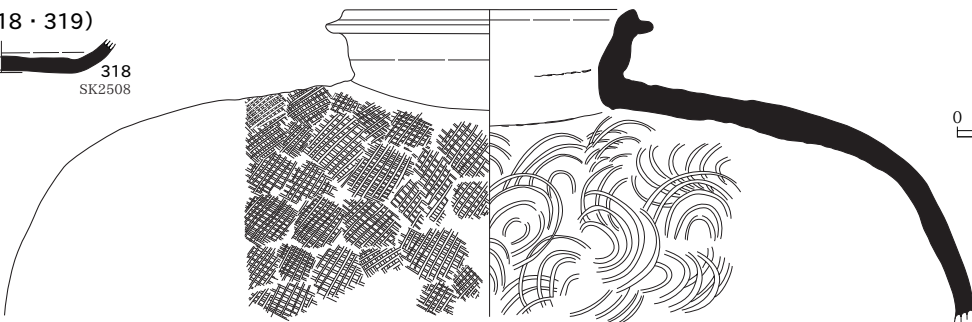
SK2465 (306)



SK2500 (307~317)



SK2508 (318・319)



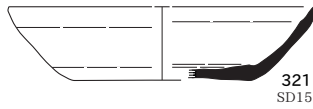
0 (1:3) 10cm

319 SK2508・他

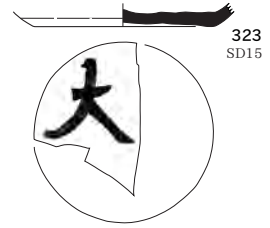
SD15 (320~325)



320  
SD15



321  
SD15



323  
SD15



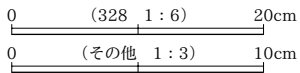
322  
SD15



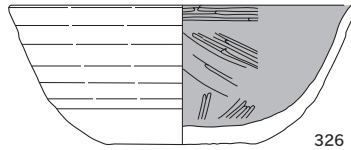
324  
SD15



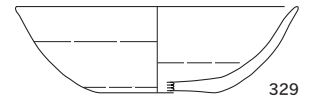
325  
SD15



SD32 (326)

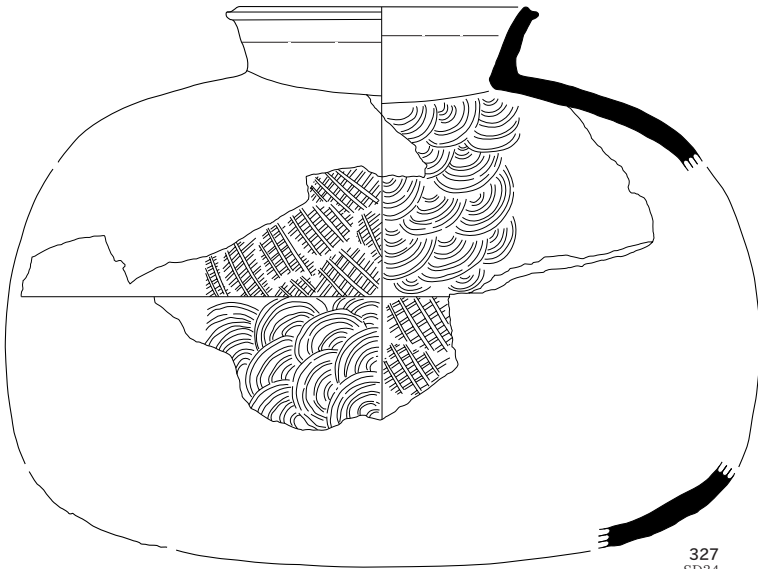


326  
SD32

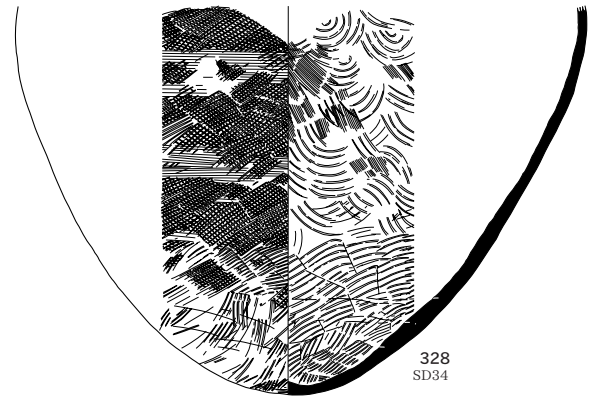


329  
SD34

SD34 (327~329)



327  
SD34



328  
SD34

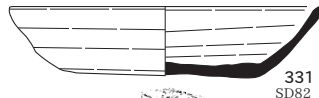


332  
SD82

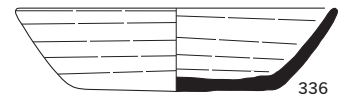
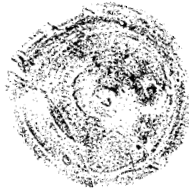
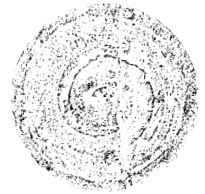
SD82 (330~339)



330  
SD82



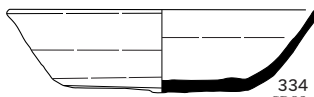
331  
SD82



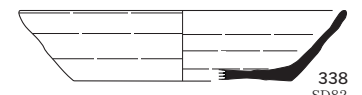
336  
SD82



333  
SD82



334  
SD82



338  
SD82



335  
SD82

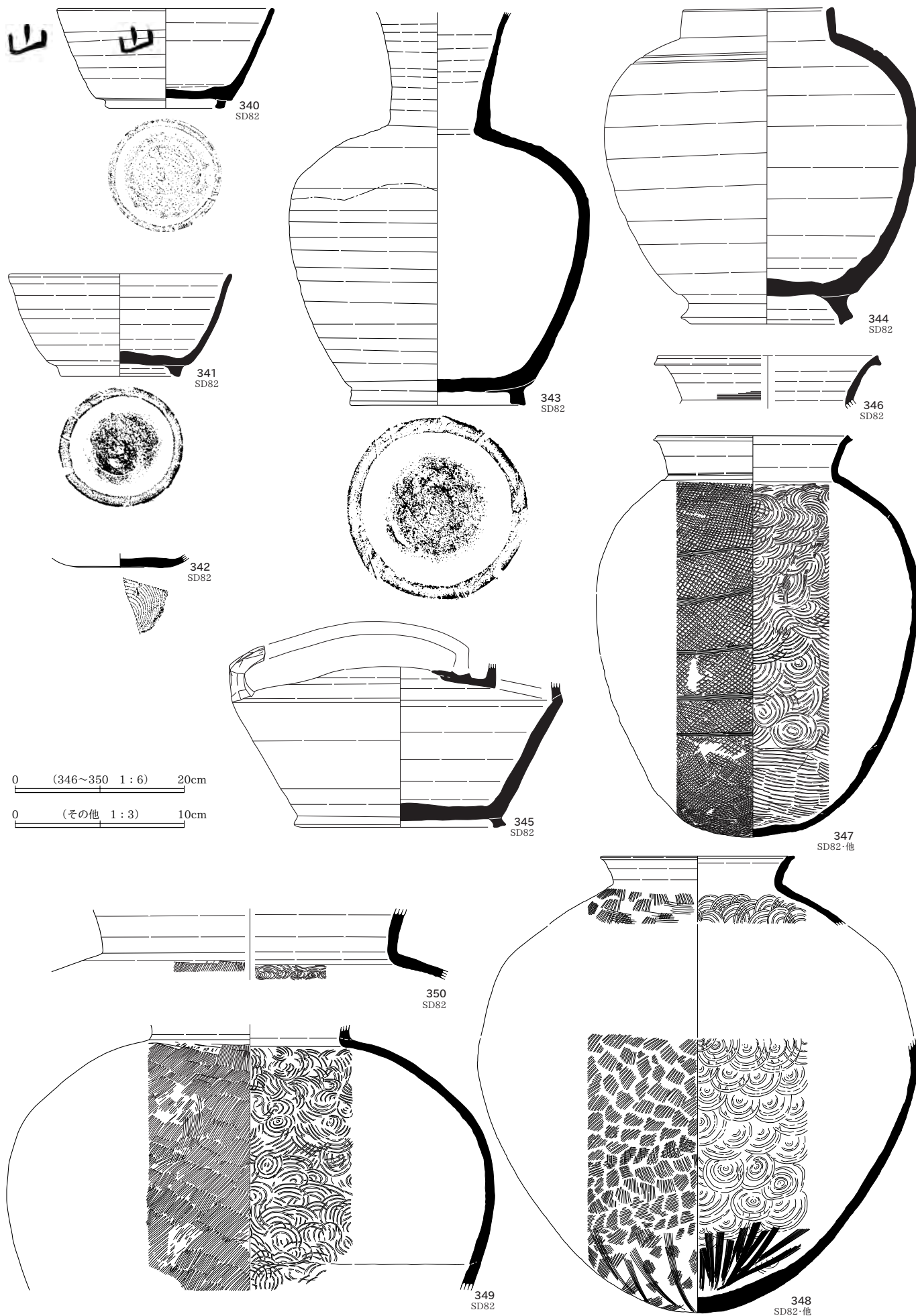


337  
SD82



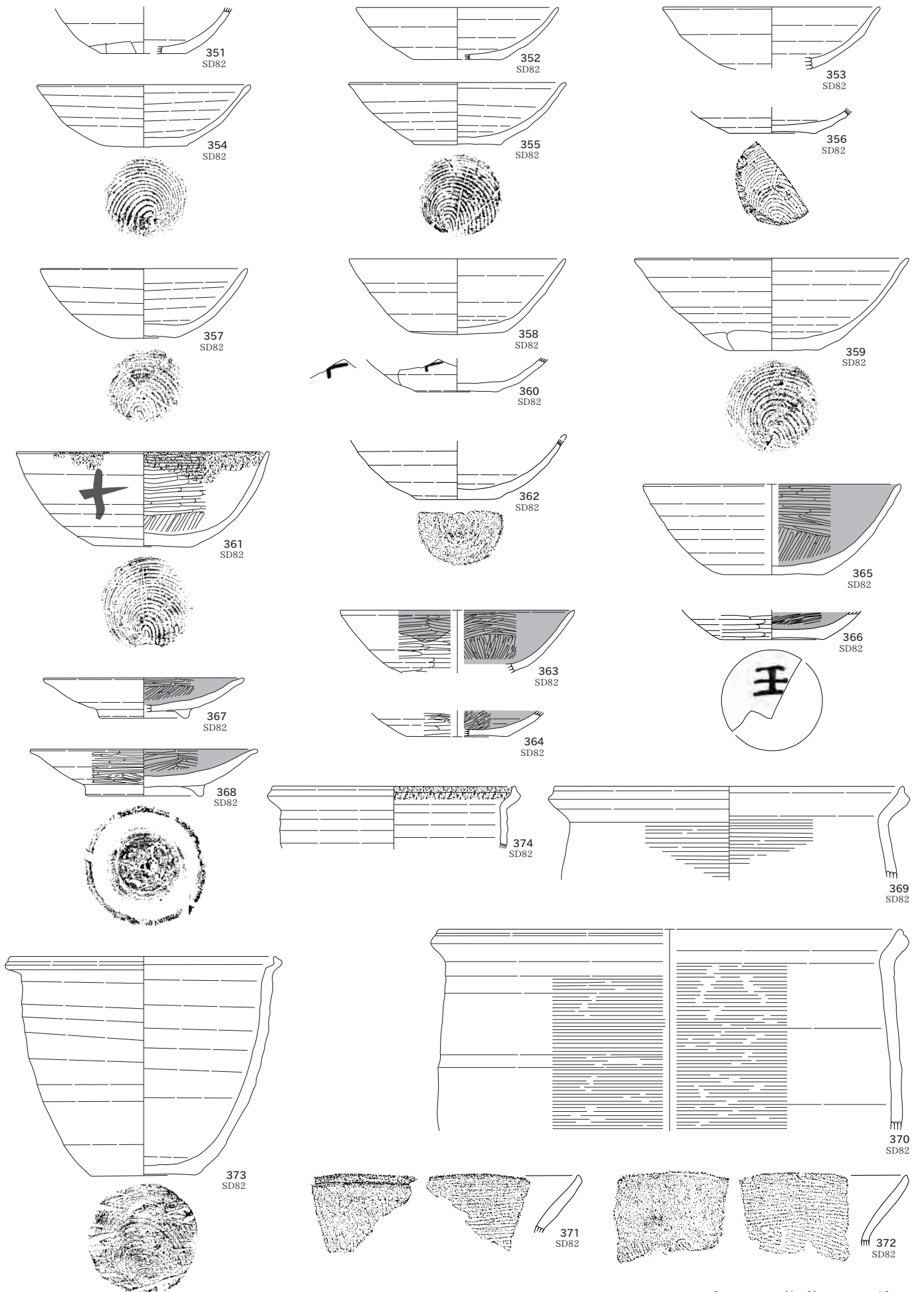
339  
SD82

SD82 (340~350)



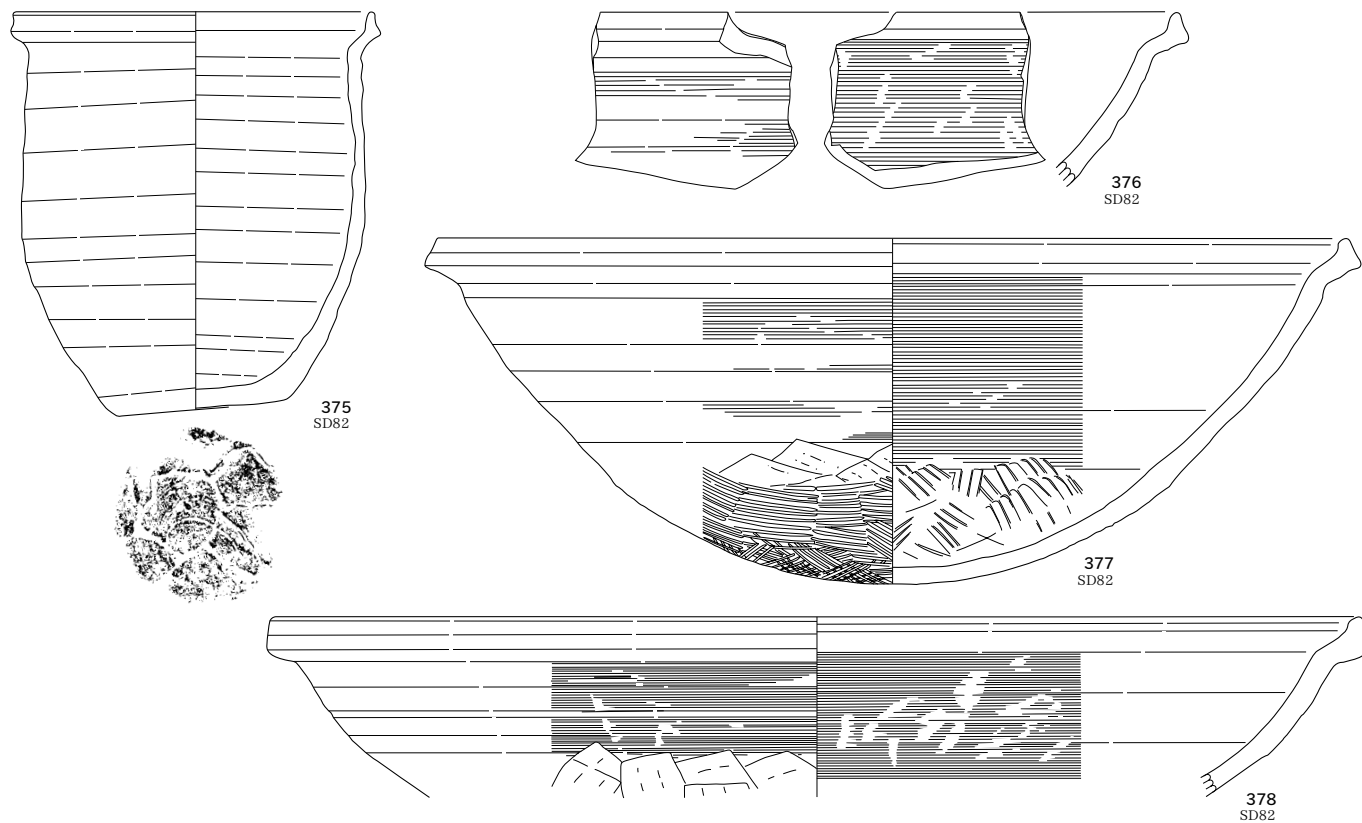


SD82 (351~374)

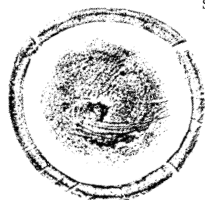
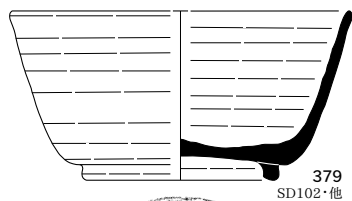




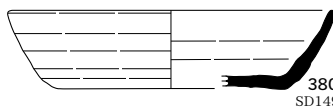
SD82 (375~378)



SD102 (379)

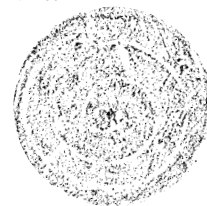
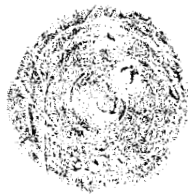
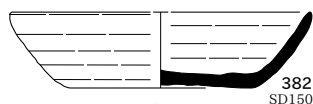
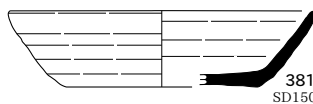


SD149 (380)

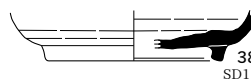
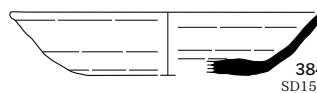
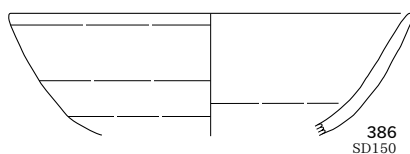
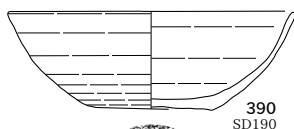


0 (1:3) 10cm

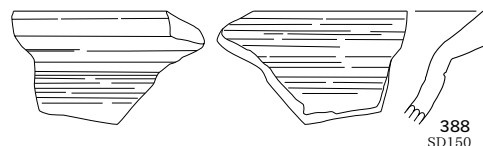
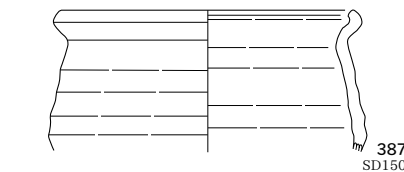
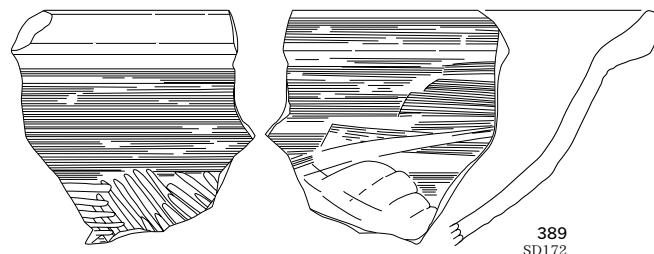
SD150 (381~388)



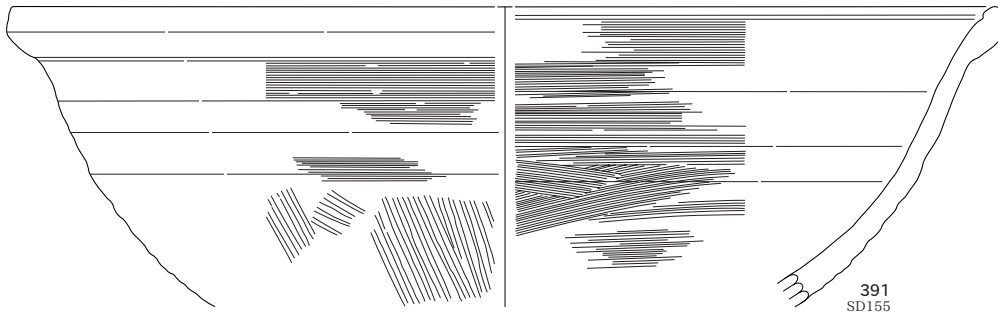
SD190 (390)



SD172 (389)



SD155 (391)

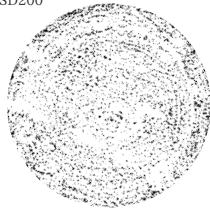


391  
SD155

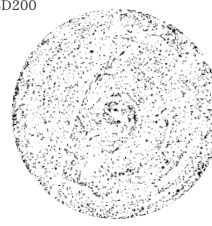
SD200 (392~395)



392  
SD200



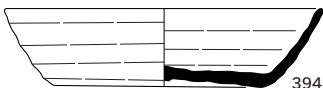
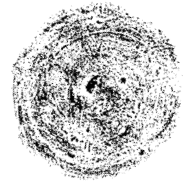
393  
SD200



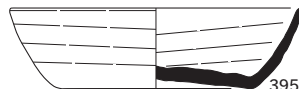
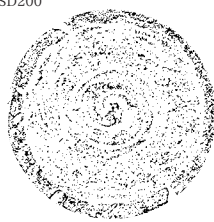
SD281 (396)



396  
SD281



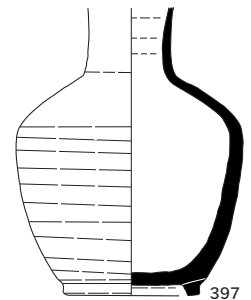
394  
SD200



395  
SD200



SD297 (397)



397  
SD297



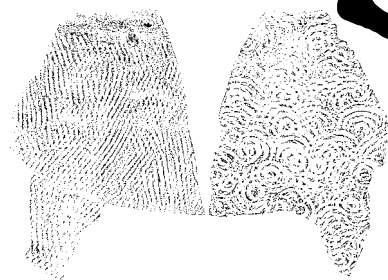
0 (399-400 1:6) 20cm

0 (その他 1:3) 10cm

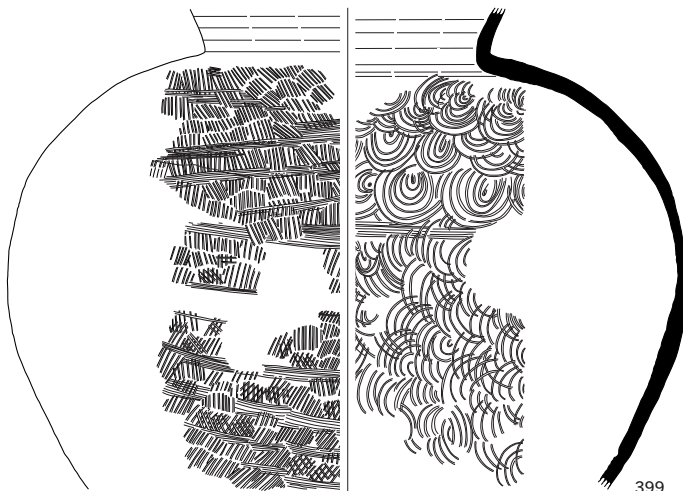
SD403 (398~402)



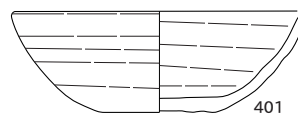
398  
SD403



400  
SD403



399  
SD403-他

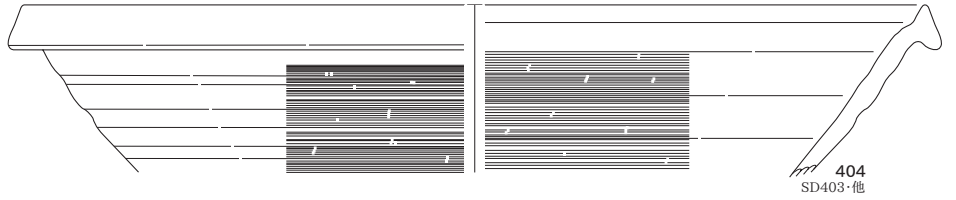
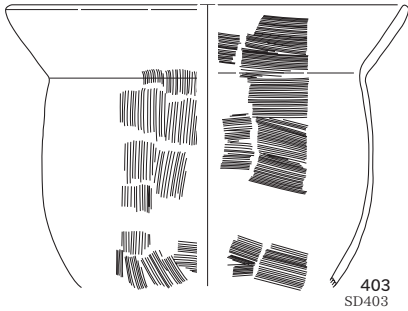


401  
SD403

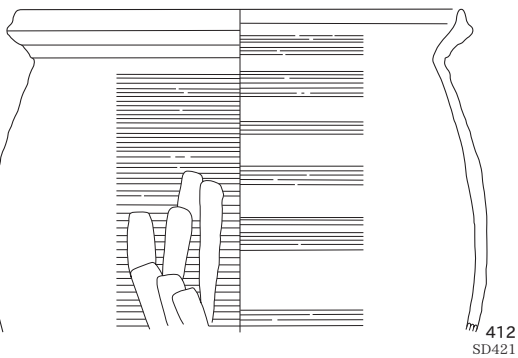
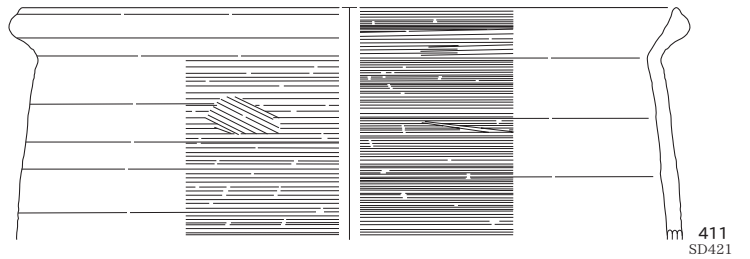
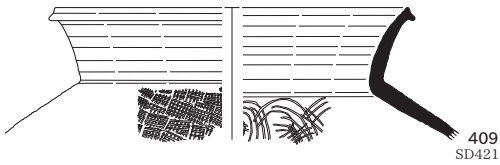
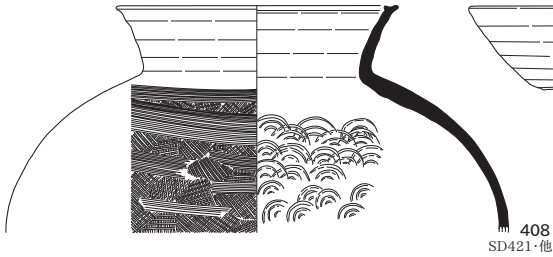
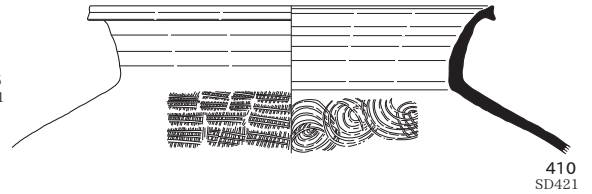
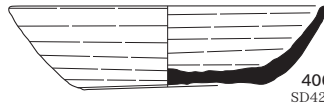


402  
SD403

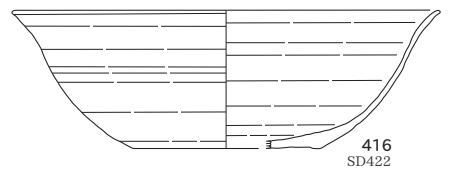
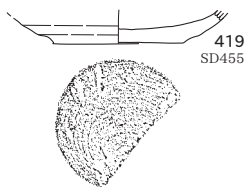
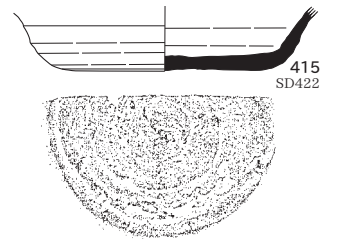
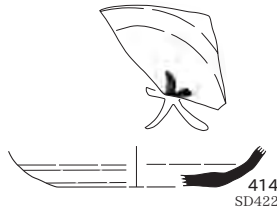
SD403 (403 · 404)



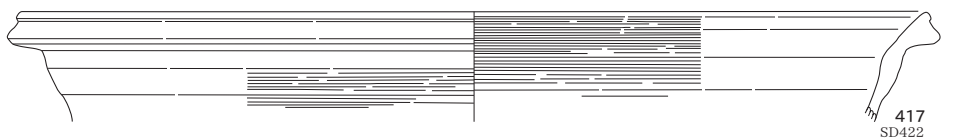
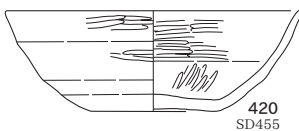
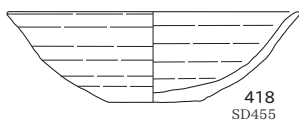
SD421 (405~413)



SD422 (414~417)

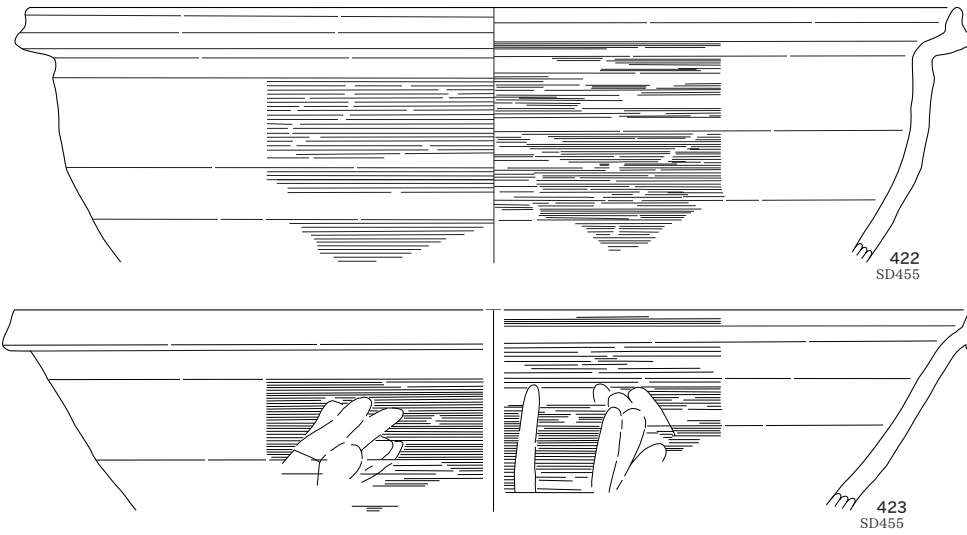


SD455 (418~421)

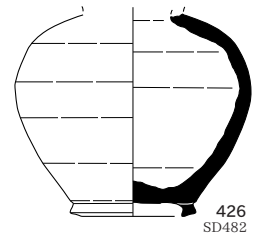


0 (408~410 1 : 6) 20cm  
0 (その他 1 : 3) 10cm

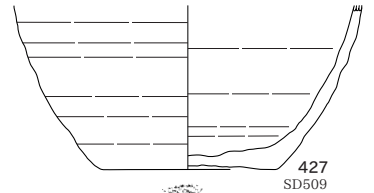
SD455 (422 · 423)



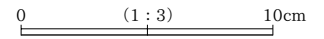
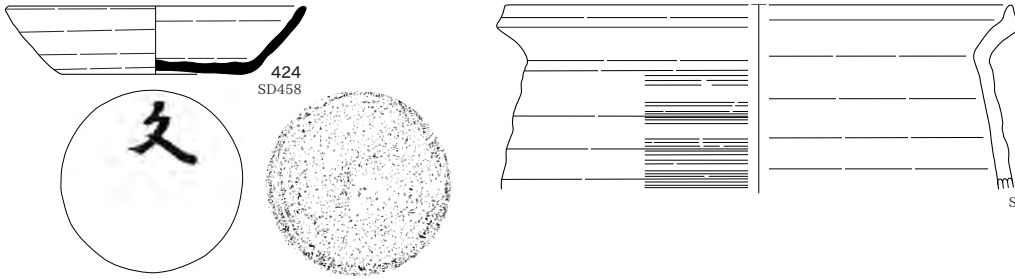
SD482 (426)



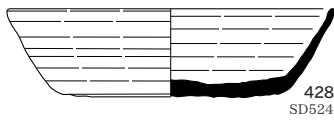
SD509 (427)



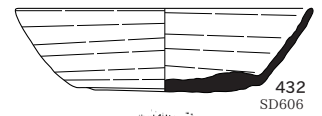
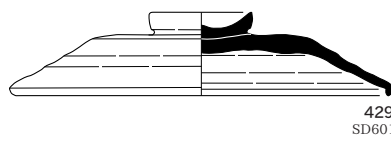
SD458 (424 · 425)



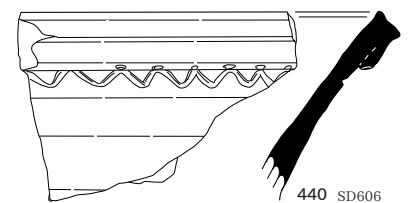
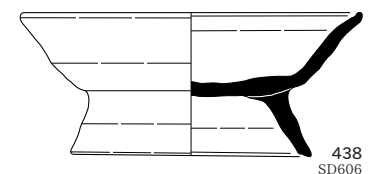
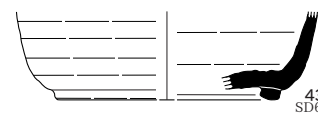
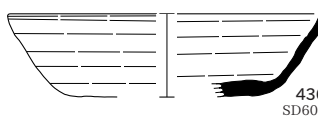
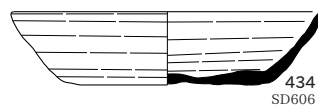
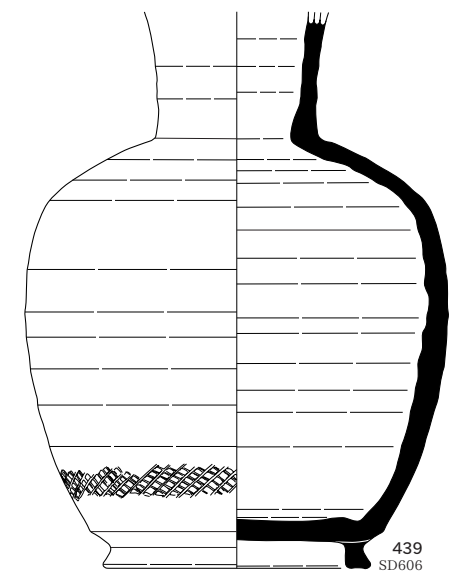
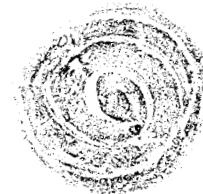
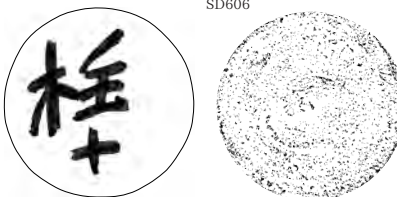
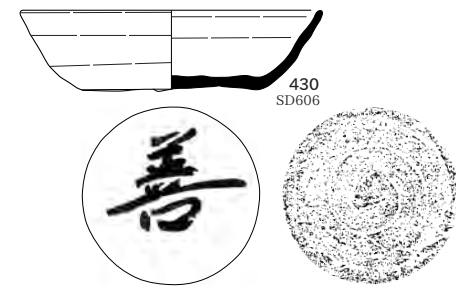
SD524 (428)



SD601 (429)

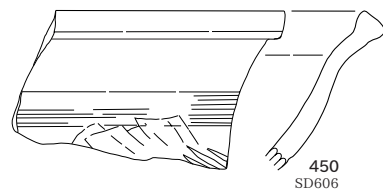
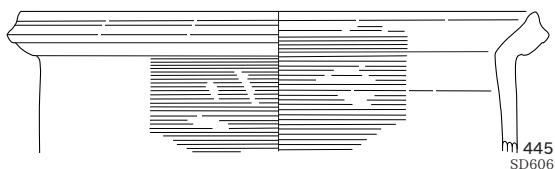
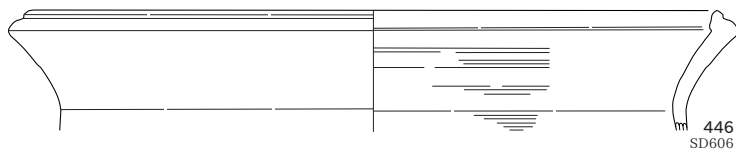
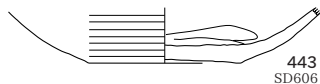
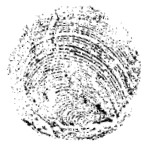
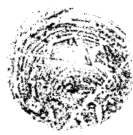
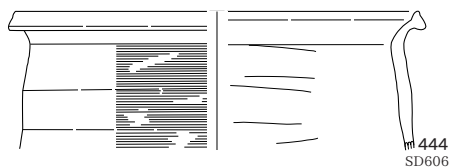
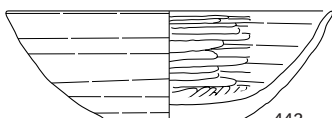
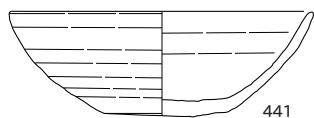


SD606 (430~440)

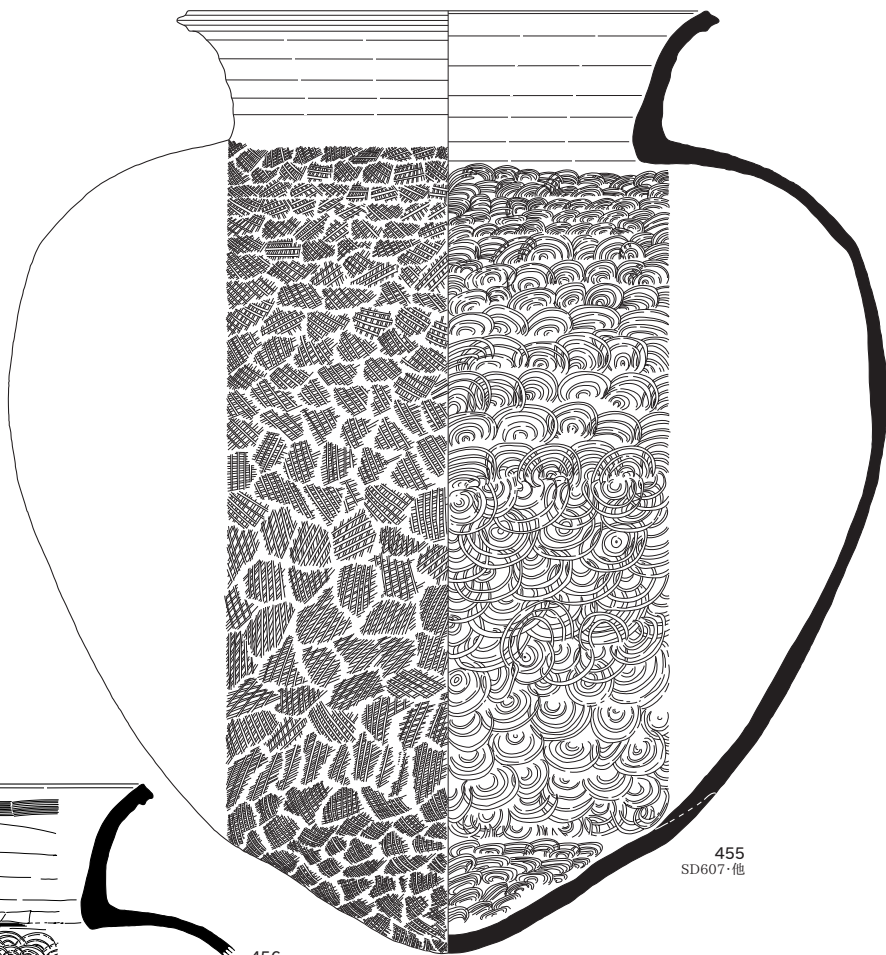
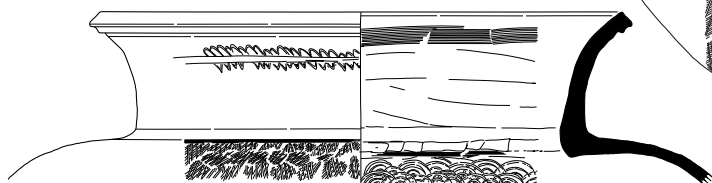
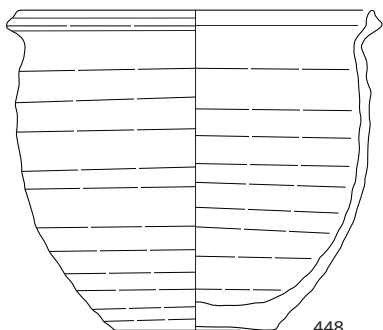
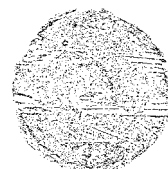
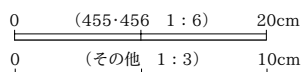
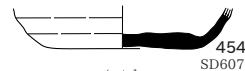
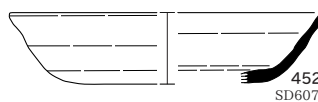
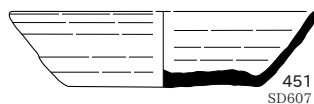




SD606 (441~450)



SD607 (451~456)

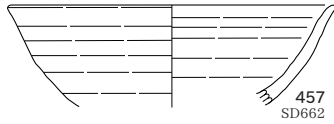


456 SD607-他

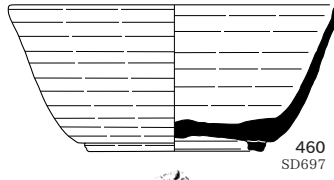
455 SD607-他



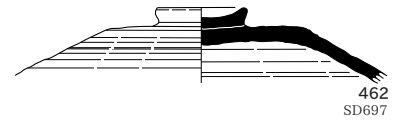
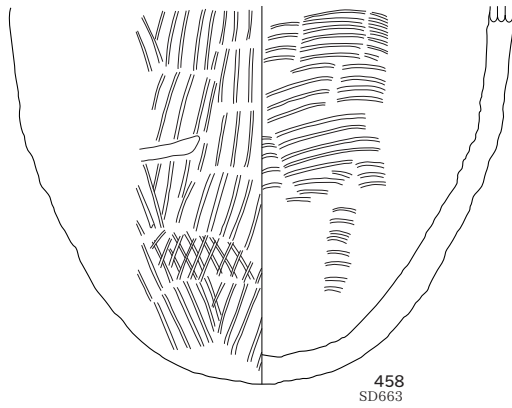
SD662 (457)



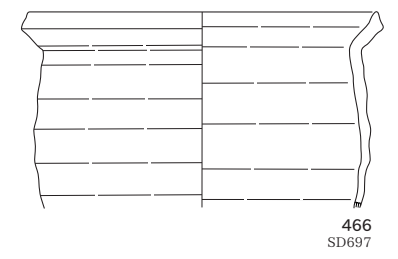
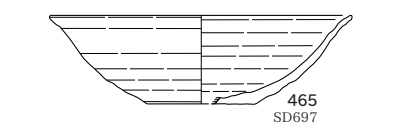
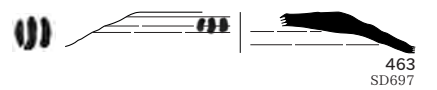
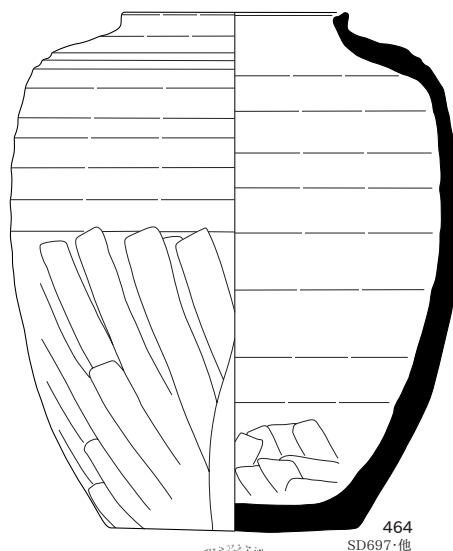
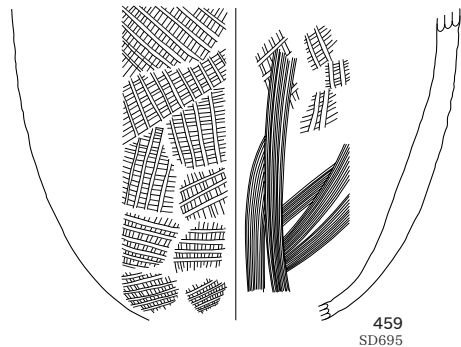
SD697 (460~469)



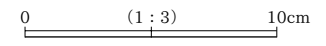
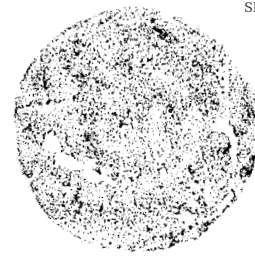
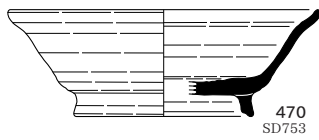
SD663 (458)



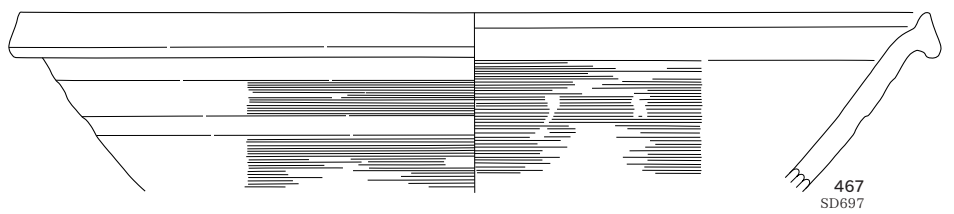
SD695 (459)



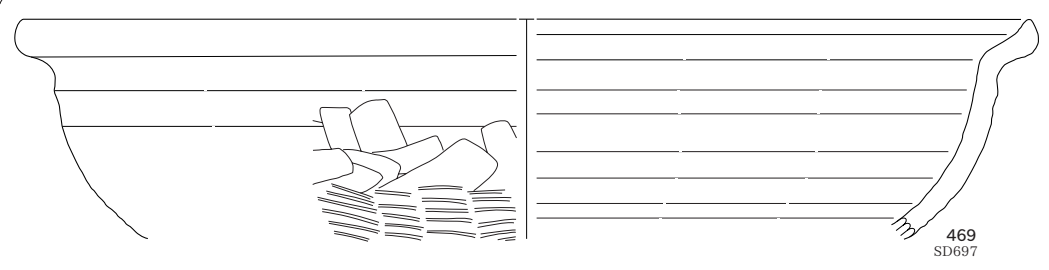
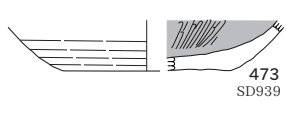
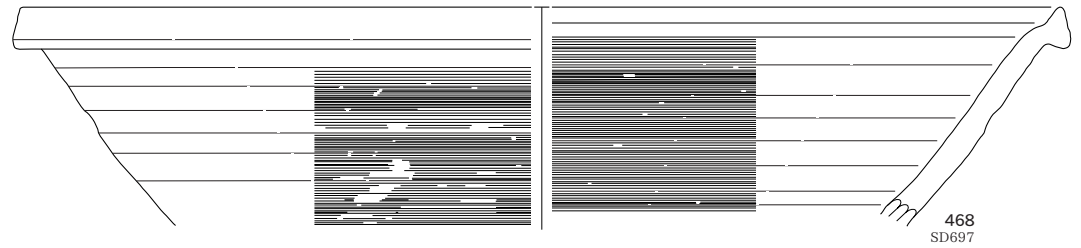
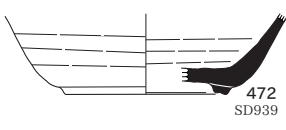
SD753 (470)



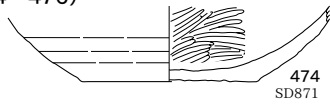
SD938 (471)



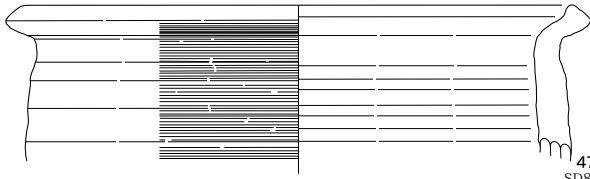
SD939 (472・473)



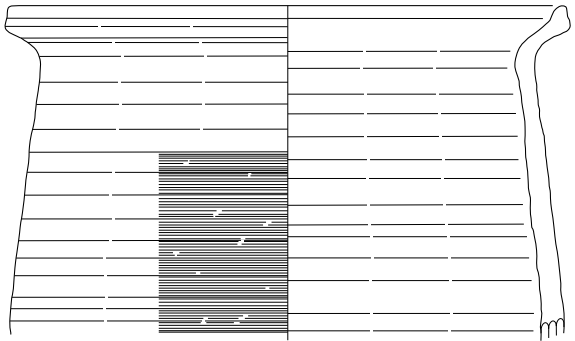
SD871 (474~476)



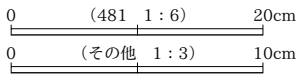
474  
SD871



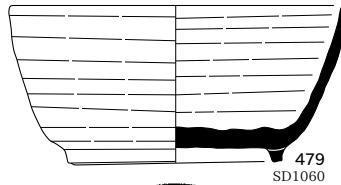
475  
SD871



476  
SD871



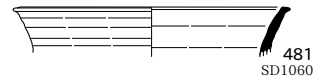
SD1060 (479~483)



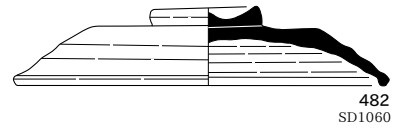
479  
SD1060



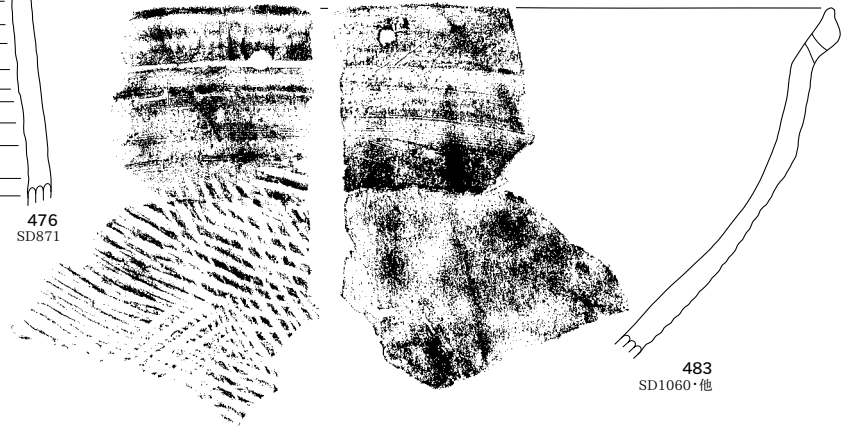
480  
SD1060



481  
SD1060

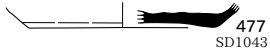


482  
SD1060

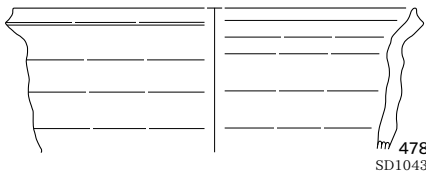


483  
SD1060・他

SD1043 (477・478)

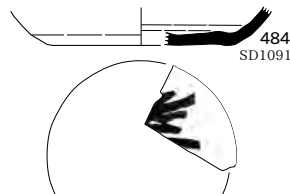


477  
SD1043



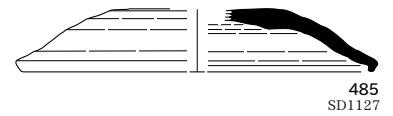
478  
SD1043

SD1091 (484)

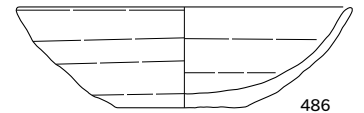


484  
SD1091

SD1127 (485・486)

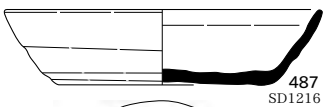


485  
SD1127

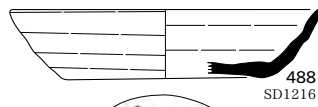


486  
SD1127

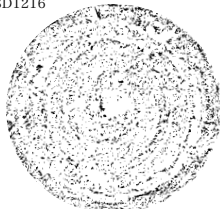
SD1216 (487~489)



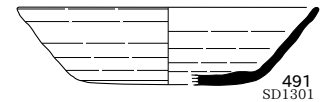
487  
SD1216



488  
SD1216

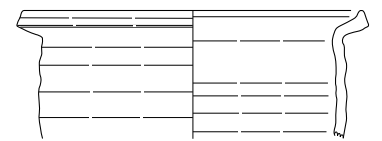


SD1301 (491)



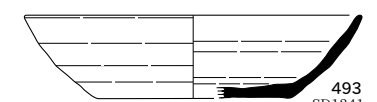
491  
SD1301

SD1302 (492)



492  
SD1302

SD1341 (493)

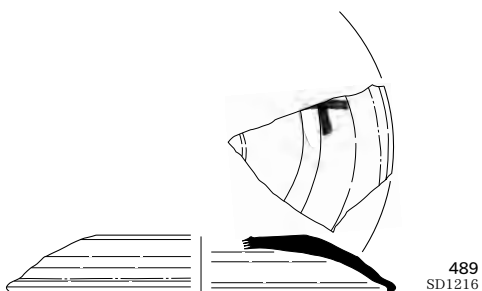


493  
SD1341

SD1218 (490)

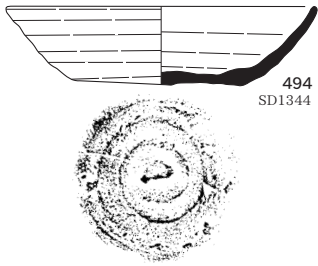


490  
SD1218

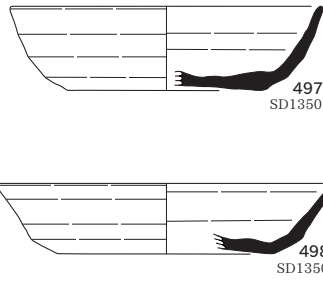
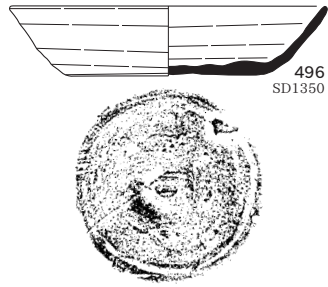


489  
SD1216

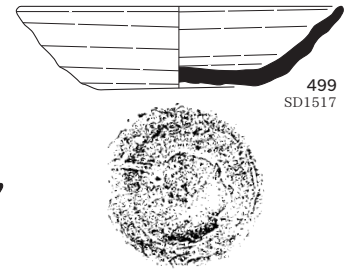
SD1344 (494)



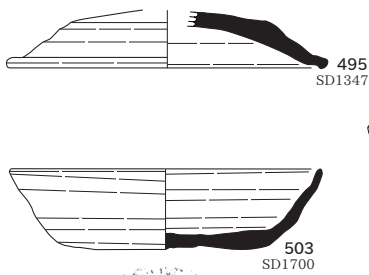
SD1350 (496~498)



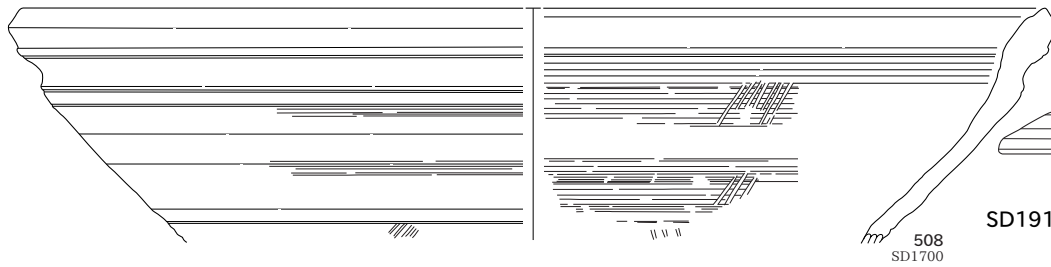
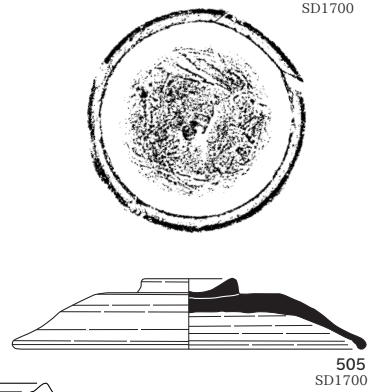
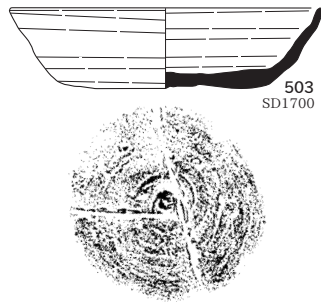
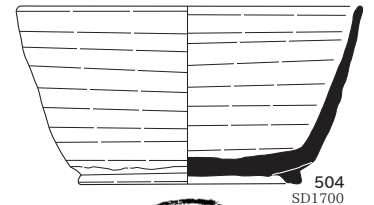
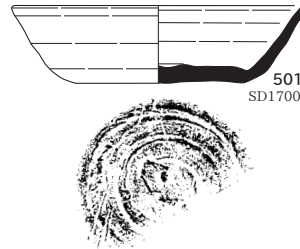
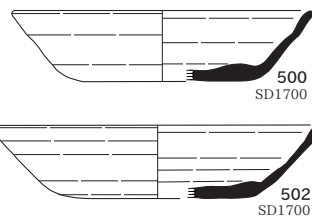
SD1517 (499)



SD1347 (495)



SD1700 (500~508)

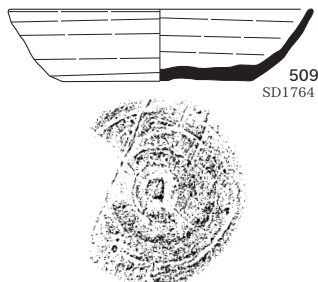


0 (1:3) 10cm

SD1911 (515)



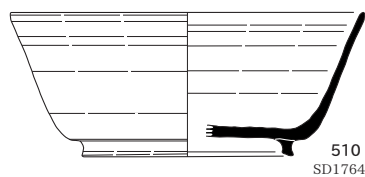
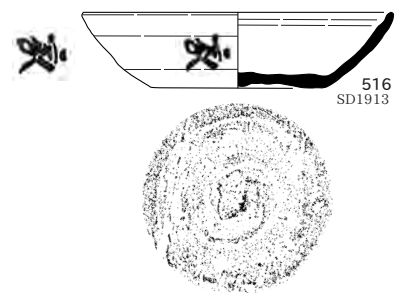
SD1764 (509·510)



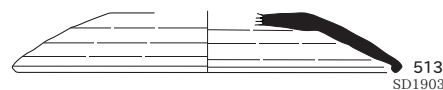
SD1822 (512)



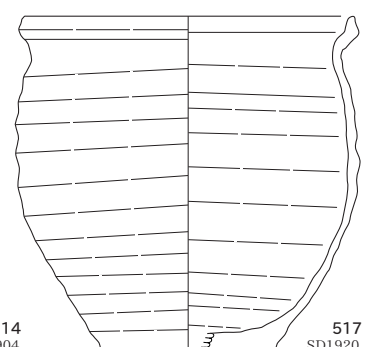
SD1913 (516)



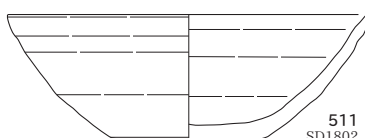
SD1903 (513)



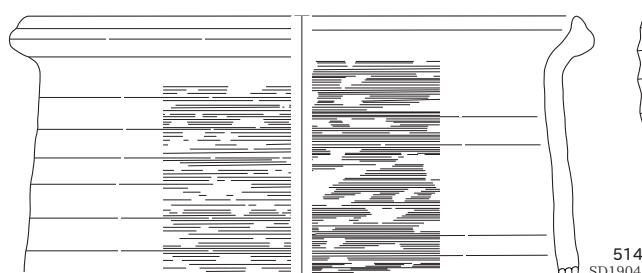
SD1920 (517)



SD1802 (511)



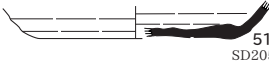
SD1904 (514)



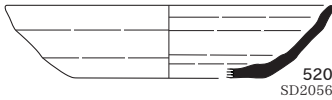
SD2056 (518~525)



518  
SD2056



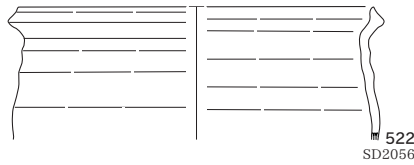
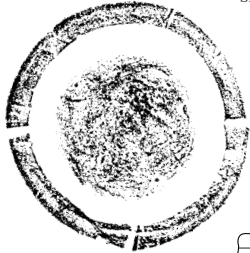
519  
SD2056



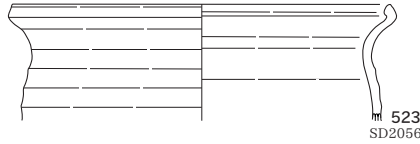
520  
SD2056



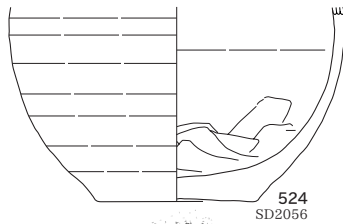
521  
SD2056



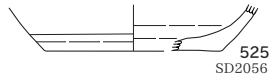
522  
SD2056



523  
SD2056



524  
SD2056

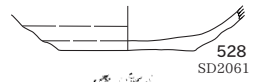


525  
SD2056

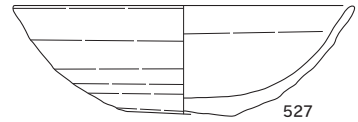
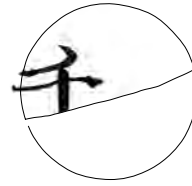
SD2061 (526~531)



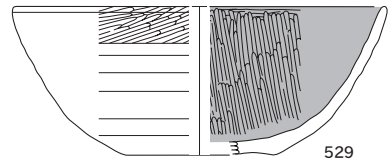
526  
SD2061



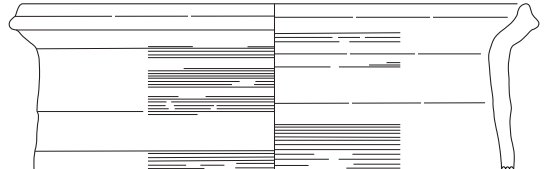
528  
SD2061



527  
SD2061

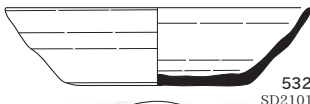


529  
SD2061



530  
SD2061

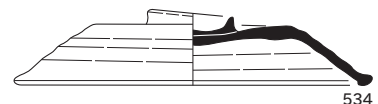
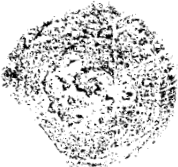
SD2101 (532~536)



532  
SD2101



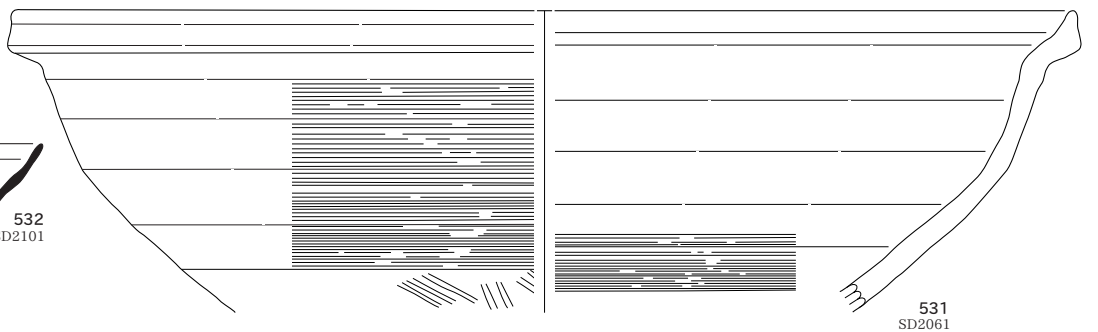
533  
SD2101



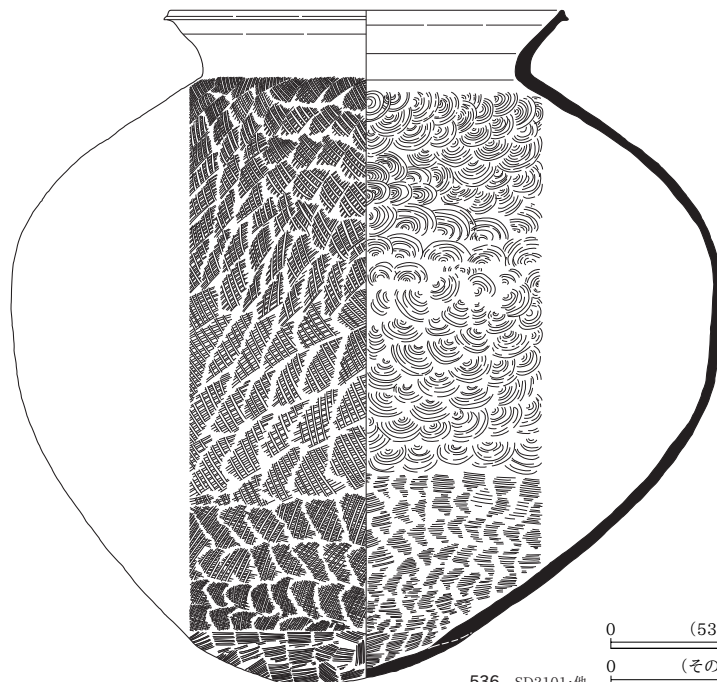
534  
SD2101



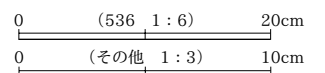
535 SD2101



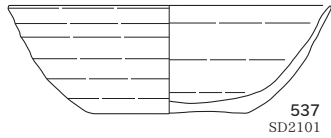
531  
SD2061



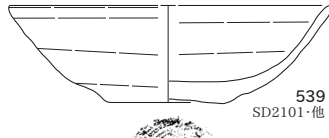
536 SD2101・他



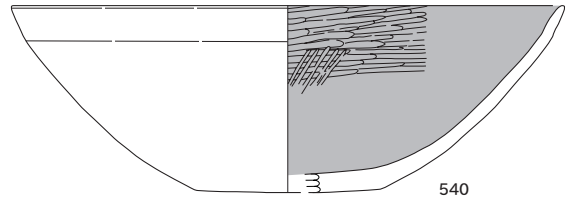
SD2101 (537~543)



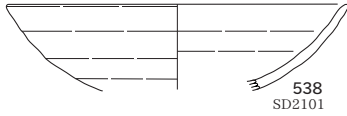
537  
SD2101



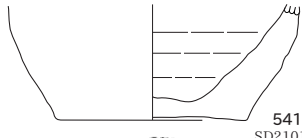
539  
SD2101・他



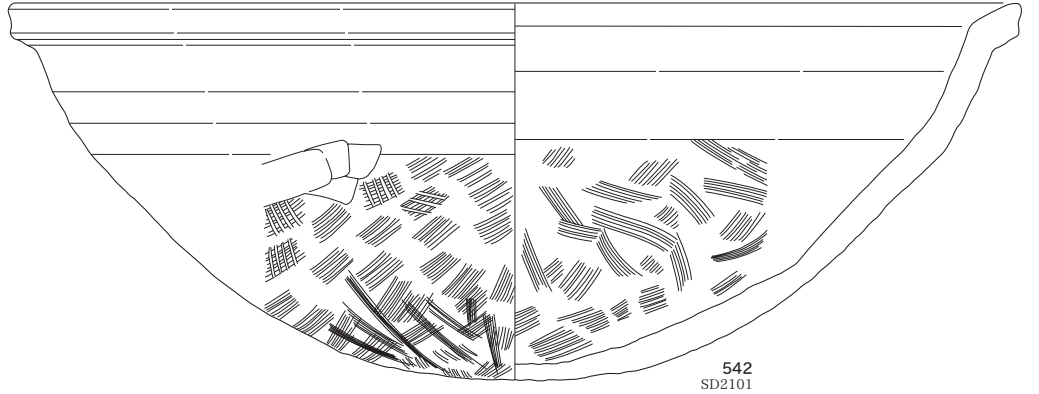
540  
SD2101



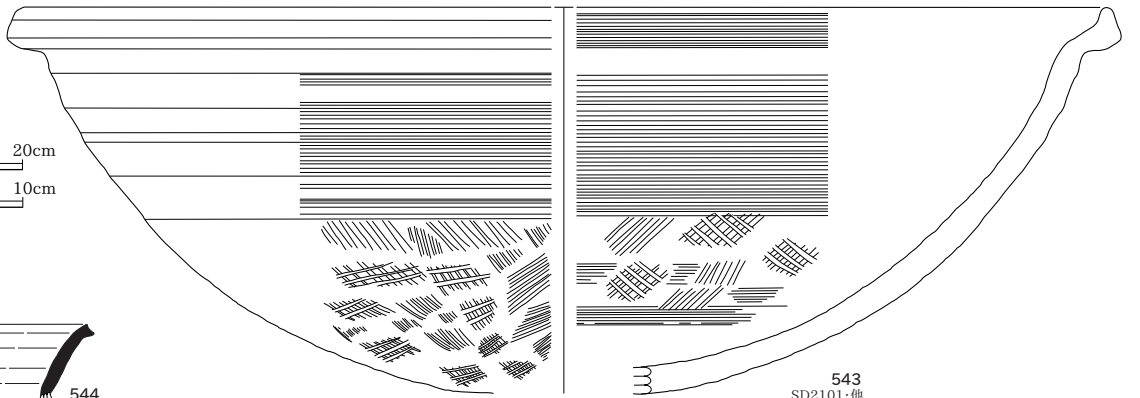
538  
SD2101



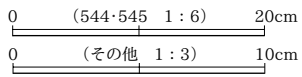
541  
SD2101



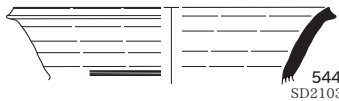
542  
SD2101



543  
SD2101・他

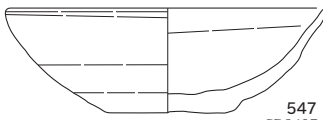


SD2103 (544)



544  
SD2103

SD2407 (547)



547  
SD2407



SD2130 (545)



545  
SD2130・他

SD2290 (546)



546  
SD2290

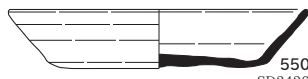
SD2408 (548)



548  
SD2408



SD2426 (550 · 551)



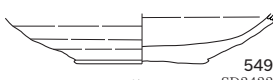
550  
SD2426

SD2461 (552)



552  
SD2461

SD2422 (549)

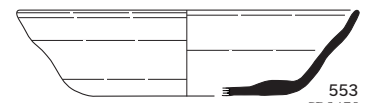


549  
SD2422



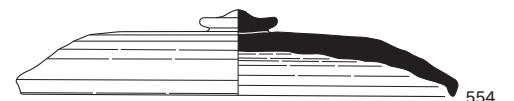
551  
SD2426・他

SD2476 (553)



553  
SD2476

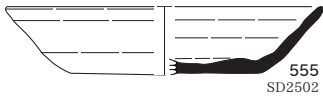
SD2475 (554)



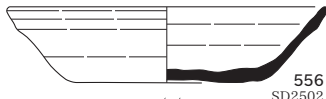
554  
SD2475



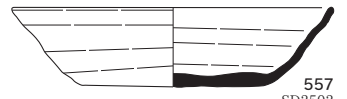
SD2502 (555~561)



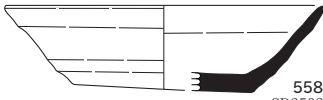
555  
SD2502



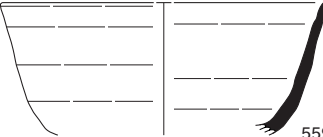
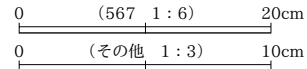
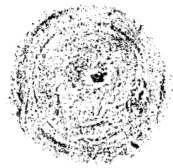
556  
SD2502



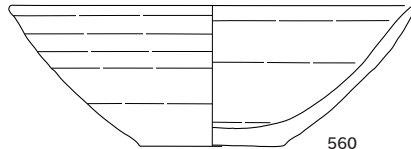
557  
SD2502



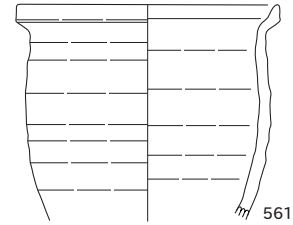
558  
SD2502



559  
SD2502

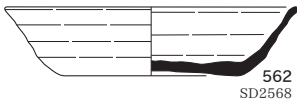


560  
SD2502

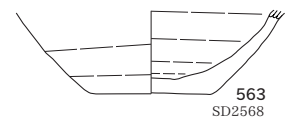


561  
SD2502

SD2568 (562・563)

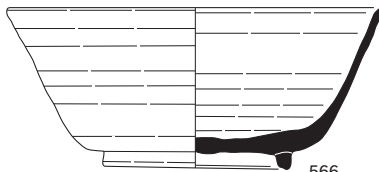


562  
SD2568

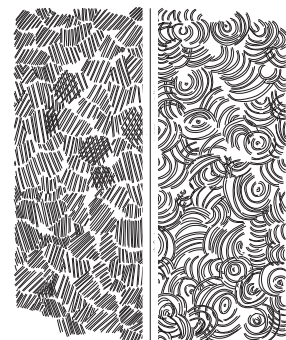


563  
SD2568

SD2930 (566・567)

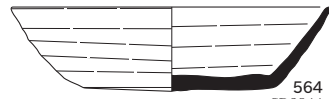


566  
SD2930・他

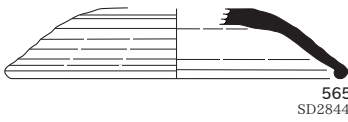


567  
SD2930

SD2844 (564・565)



564  
SD2844



565  
SD2844

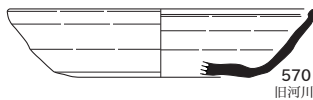
旧河川 (568~580)



568  
旧河川



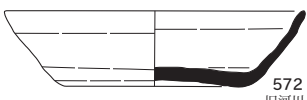
569  
旧河川



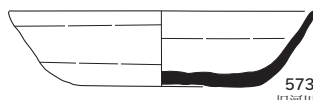
570  
旧河川



571  
旧河川



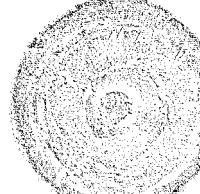
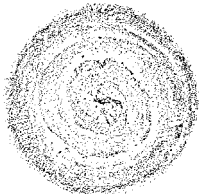
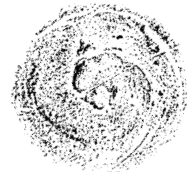
572  
旧河川



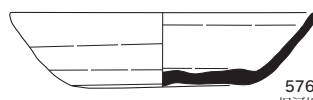
573  
旧河川



574  
旧河川



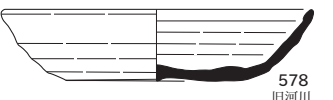
575  
旧河川



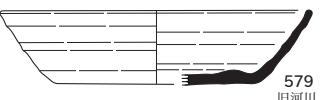
576  
旧河川



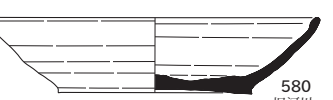
577  
旧河川



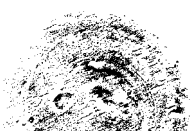
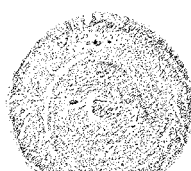
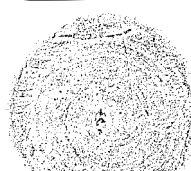
578  
旧河川



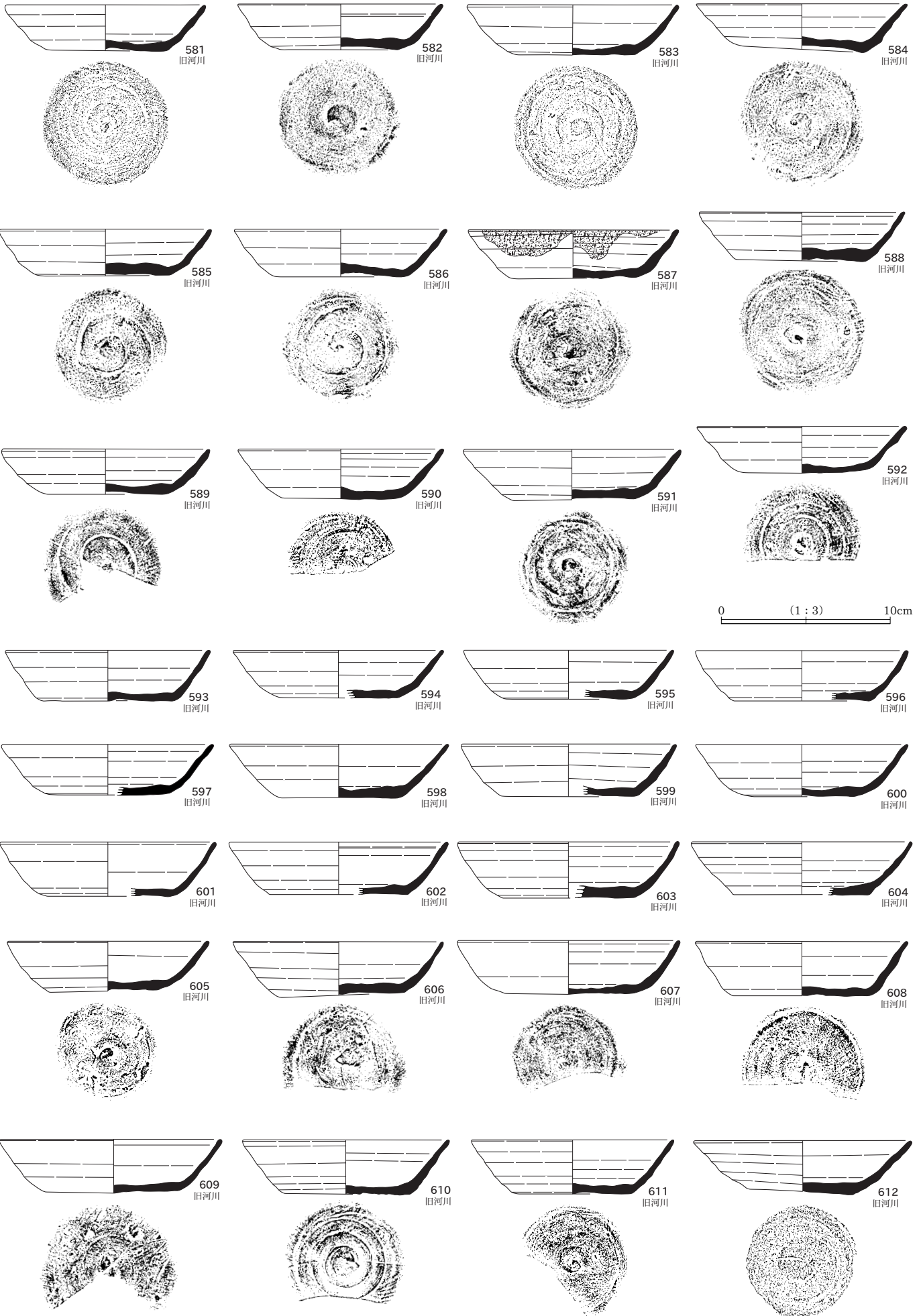
579  
旧河川



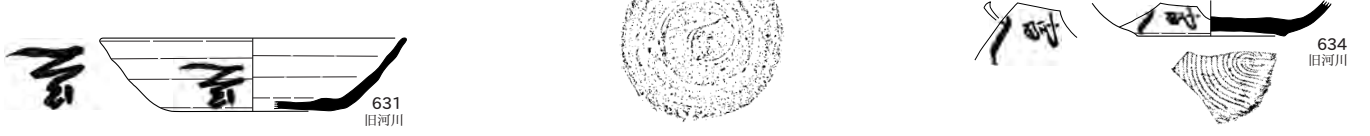
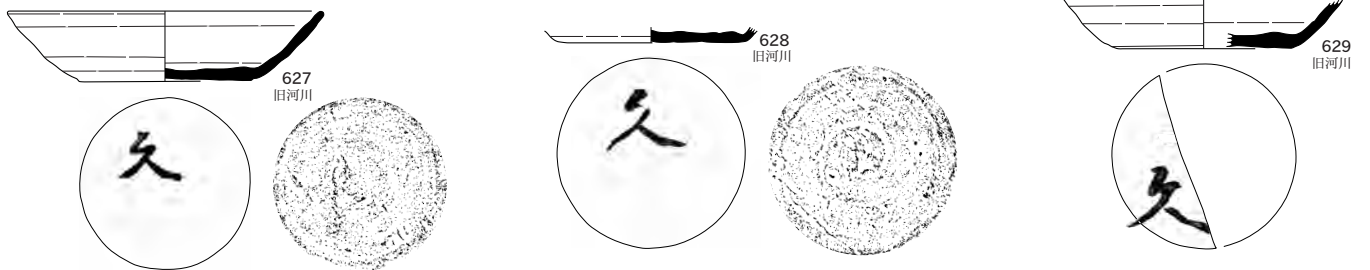
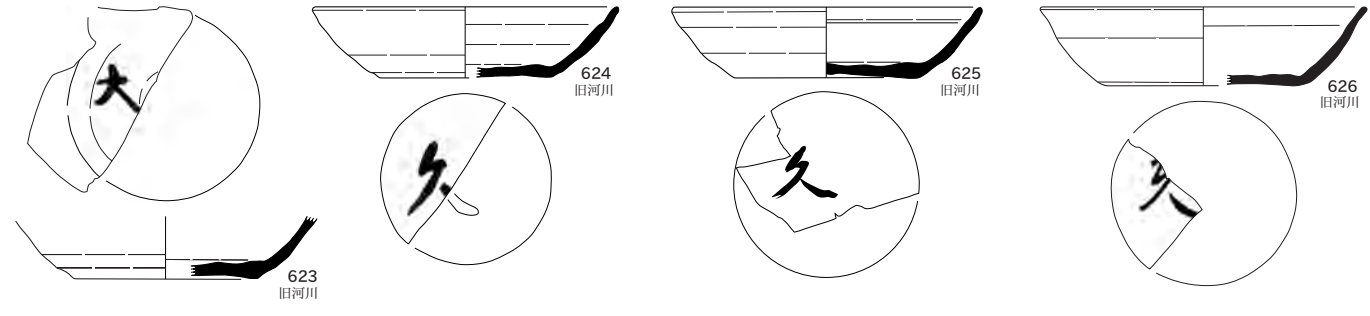
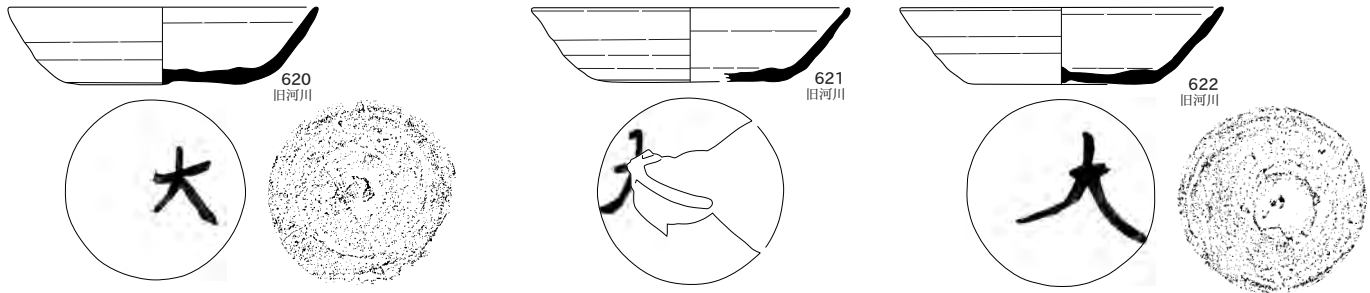
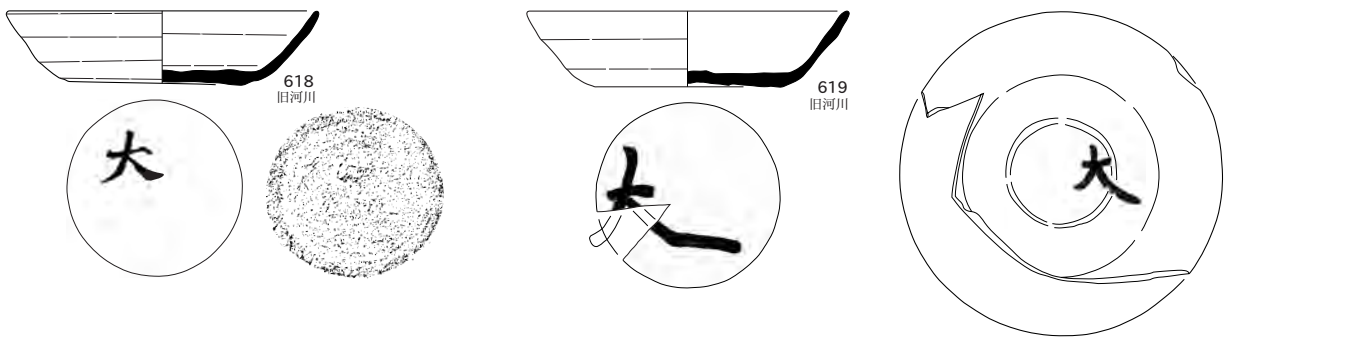
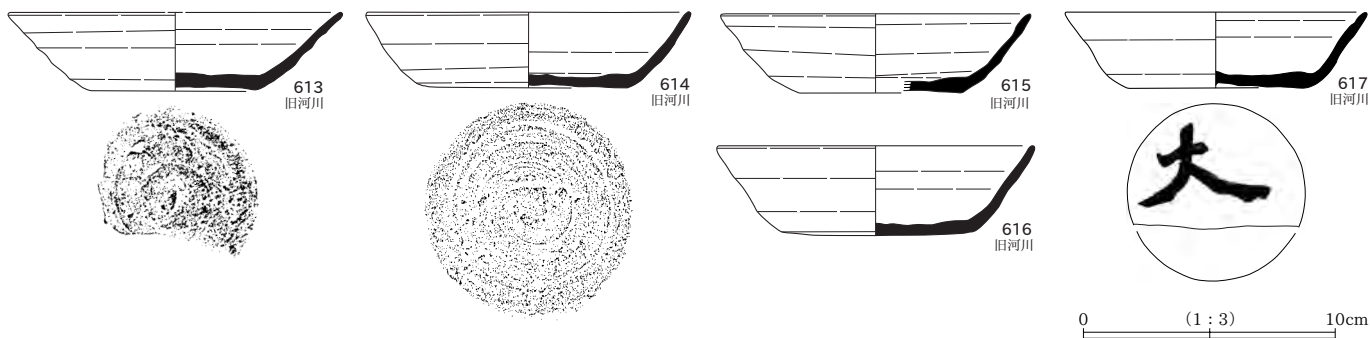
580  
旧河川



旧河川 (581~612)

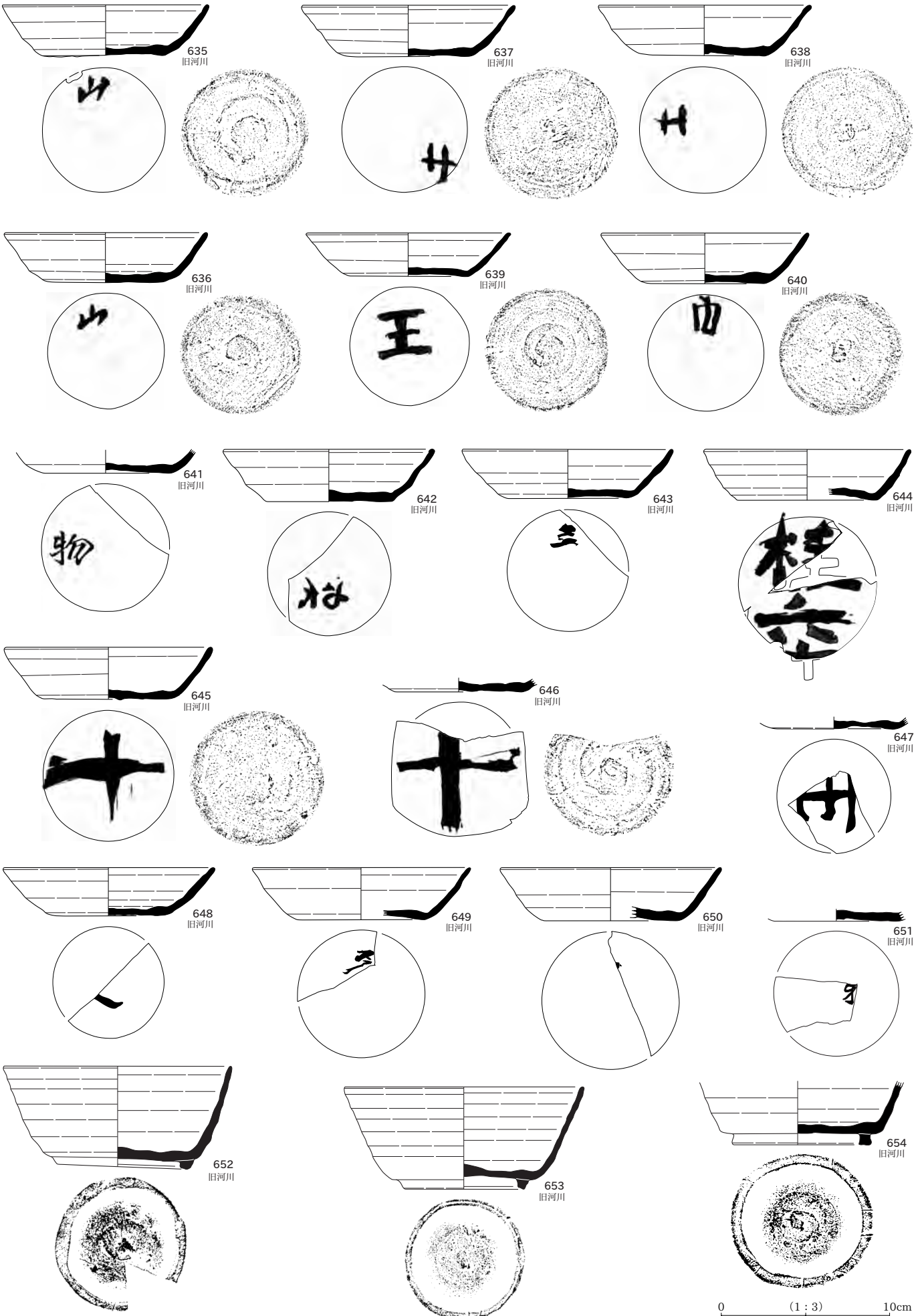


旧河川 (613~634)

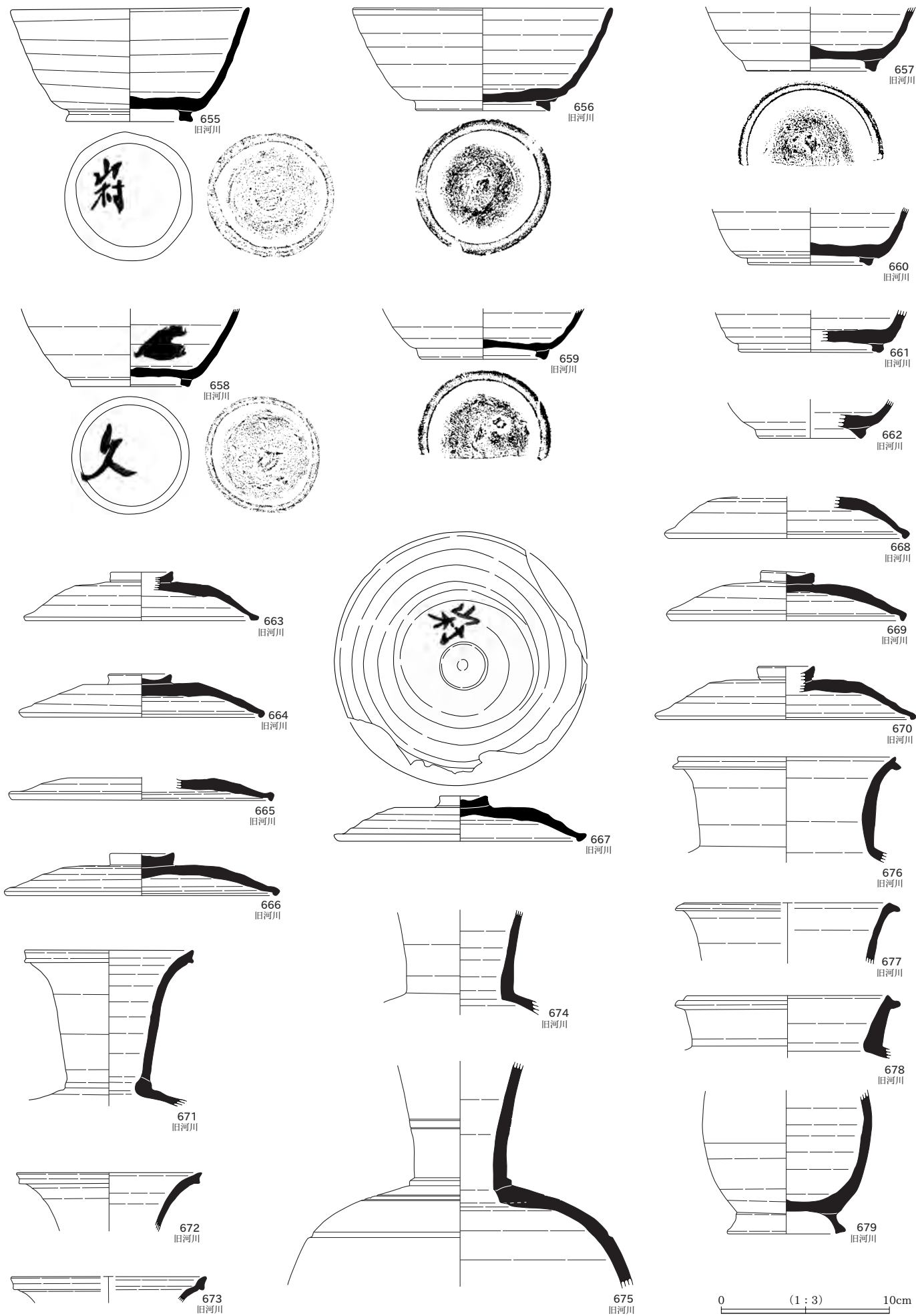




旧河川 (635~654)

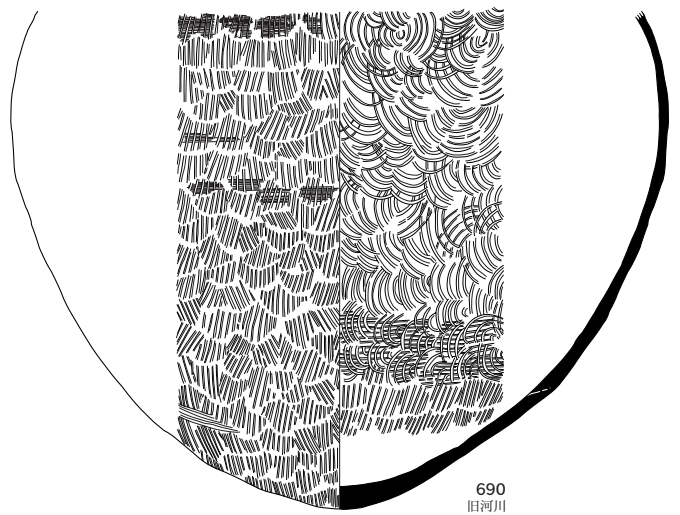
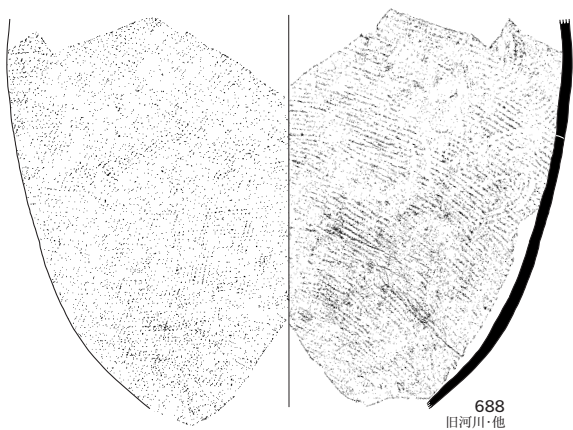
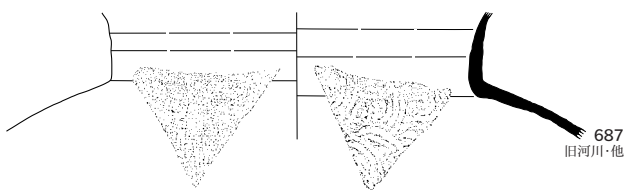
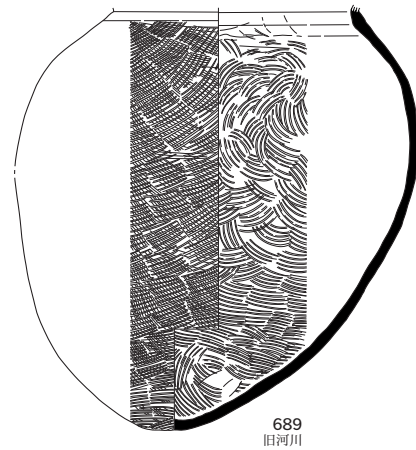
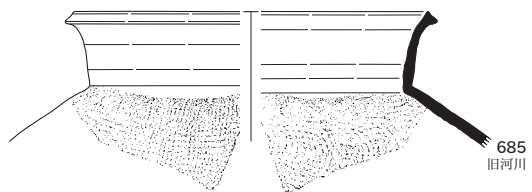
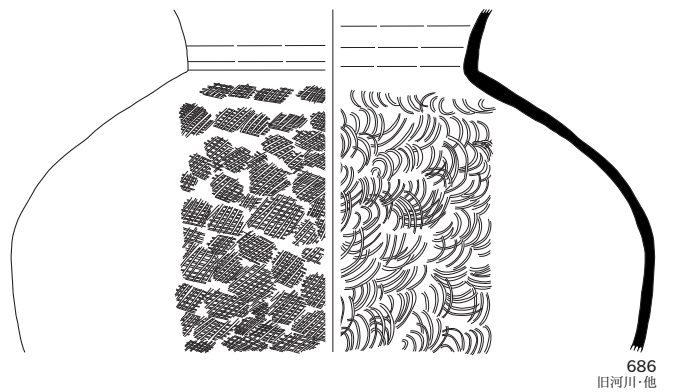
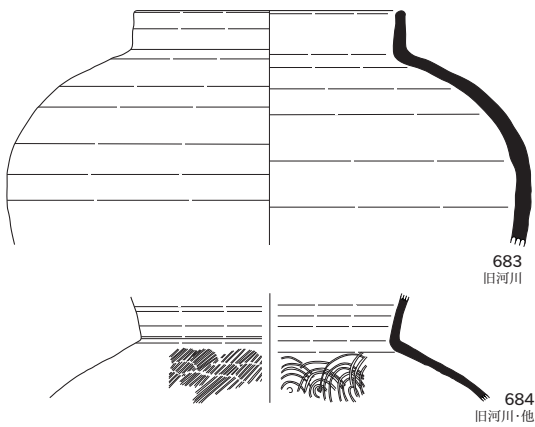
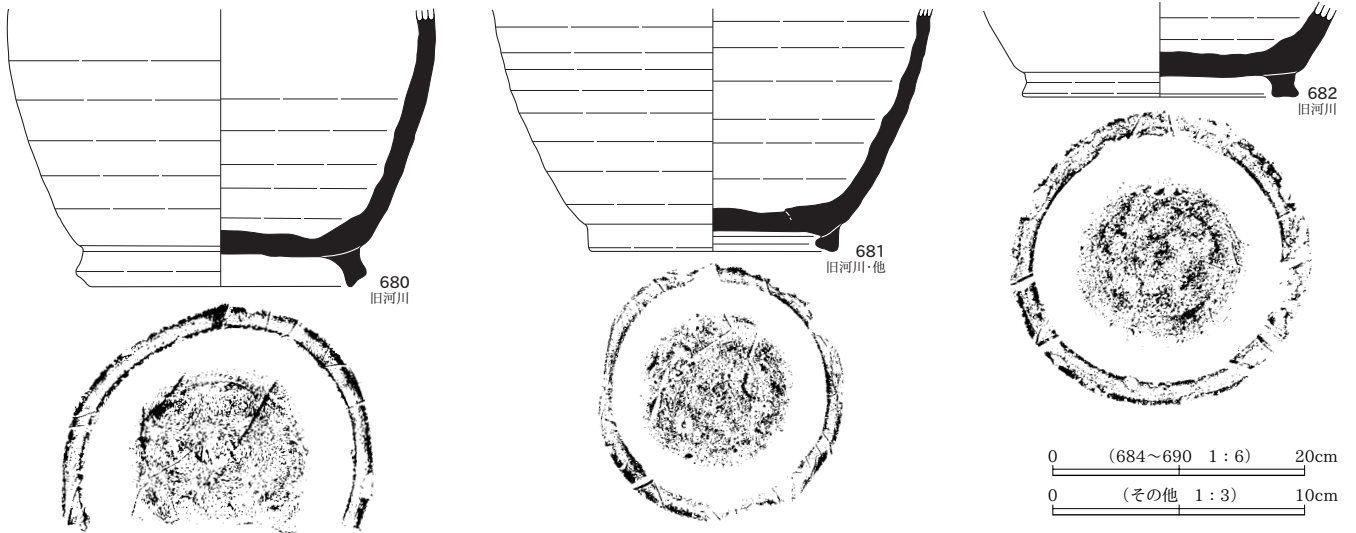


旧河川 (655~679)

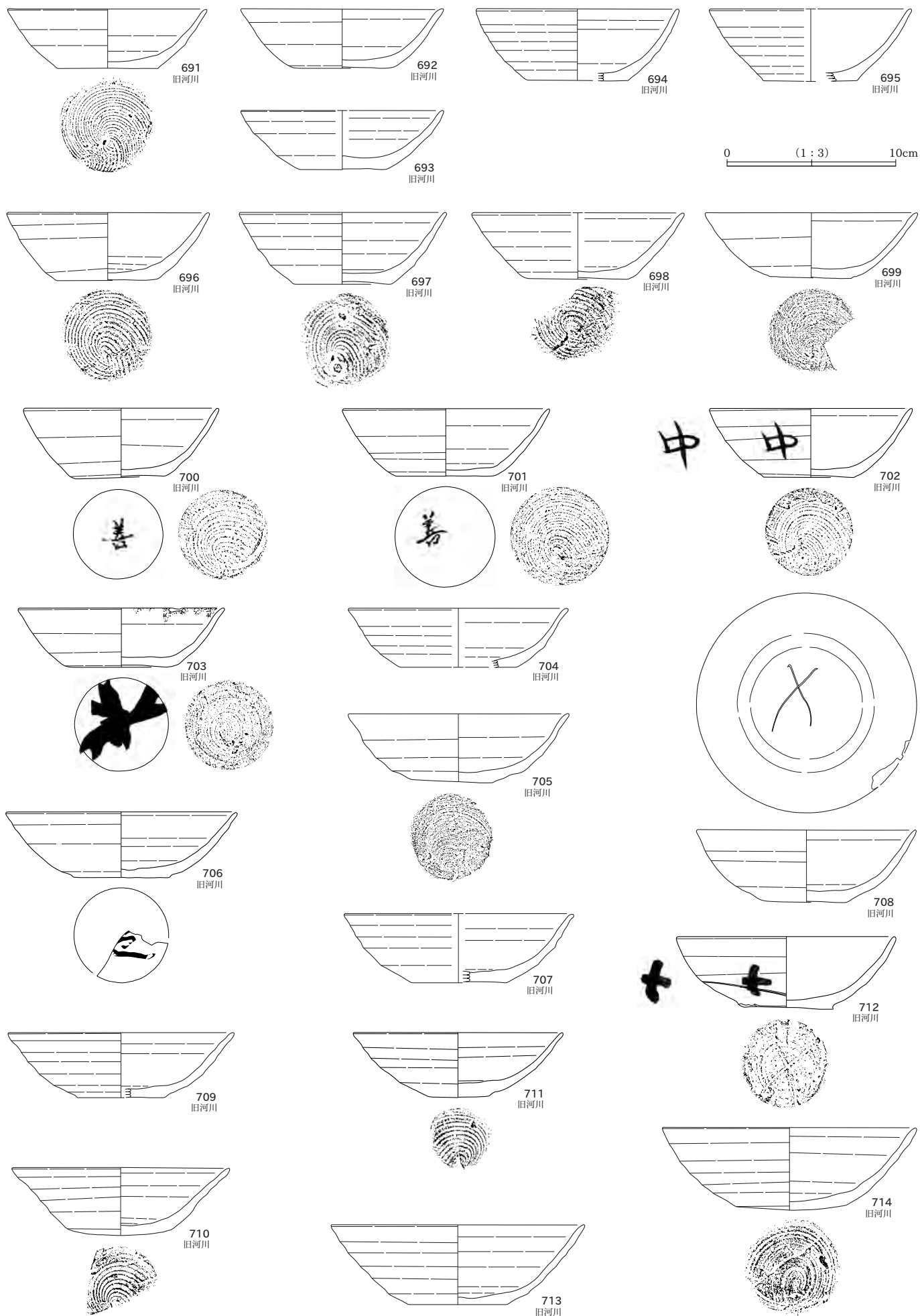




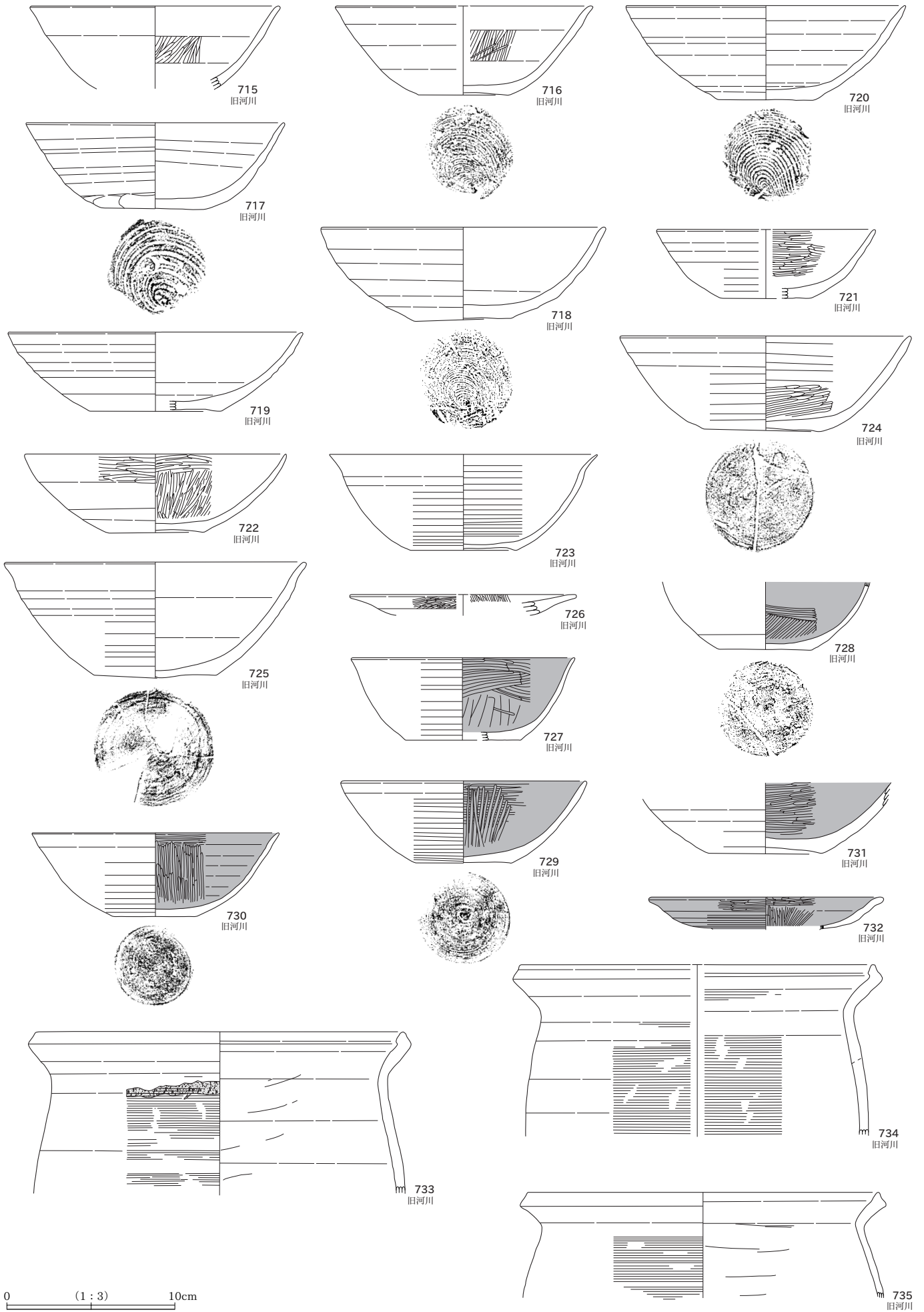
旧河川 (680~690)



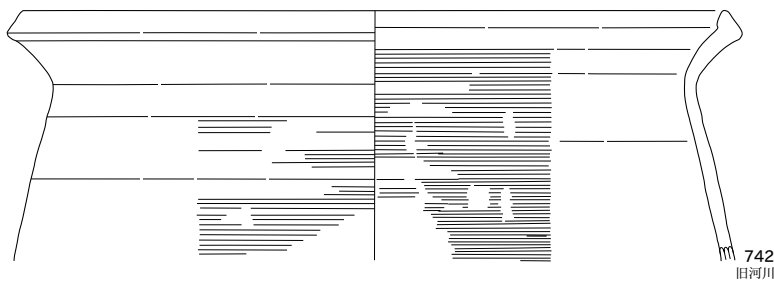
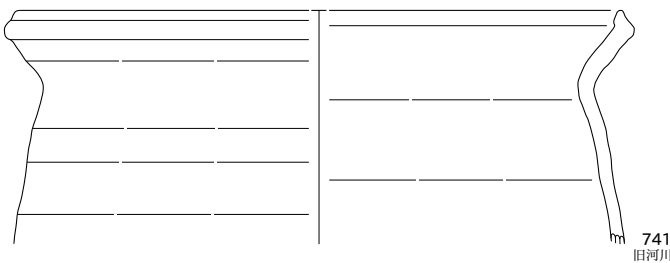
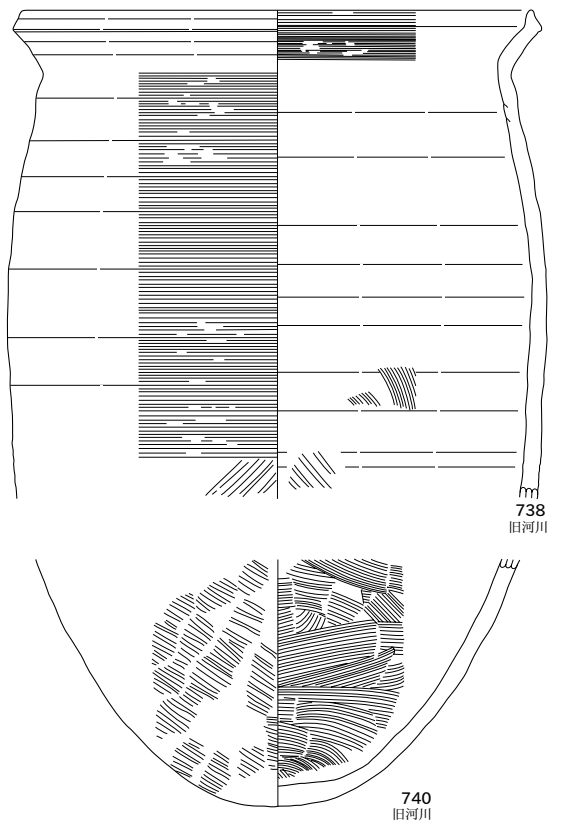
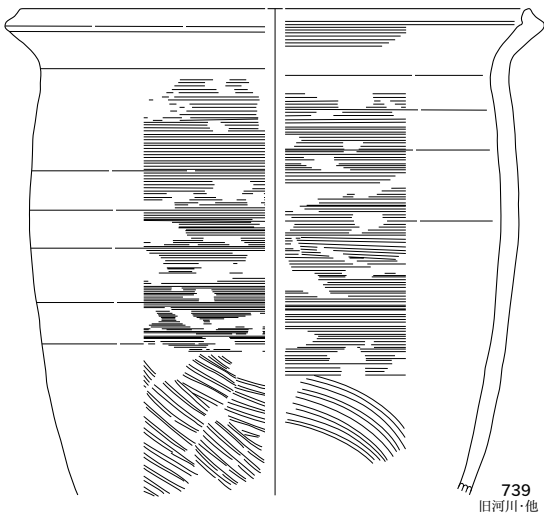
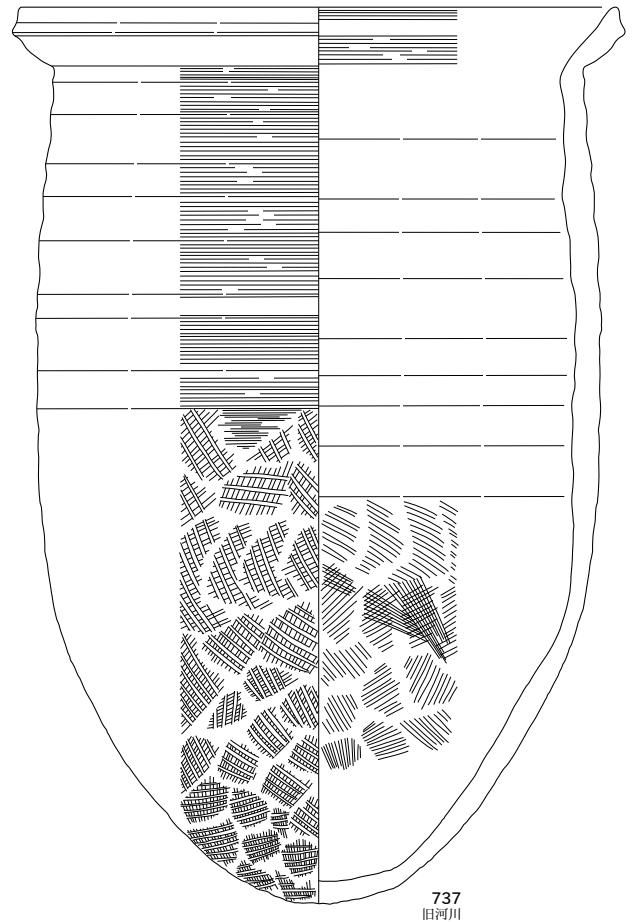
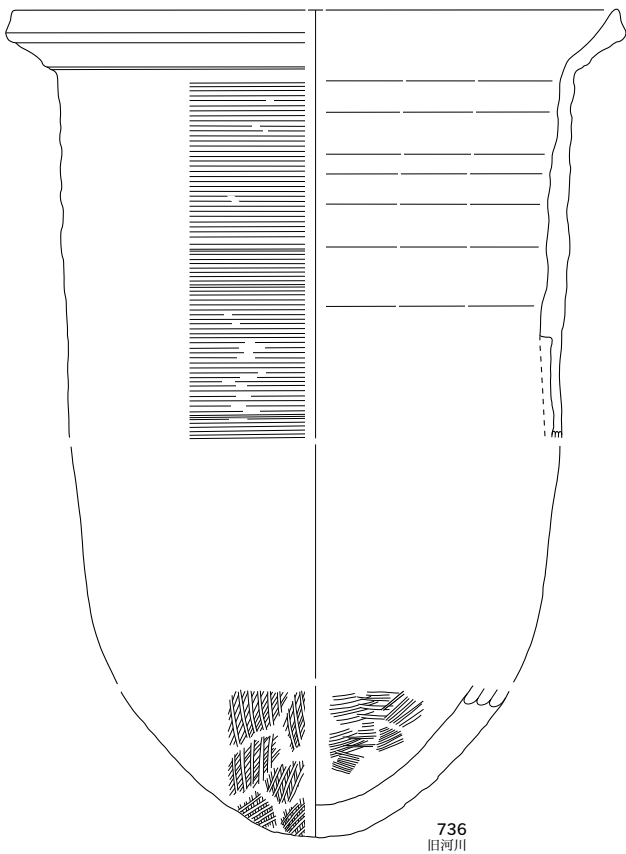
旧河川 (691~714)



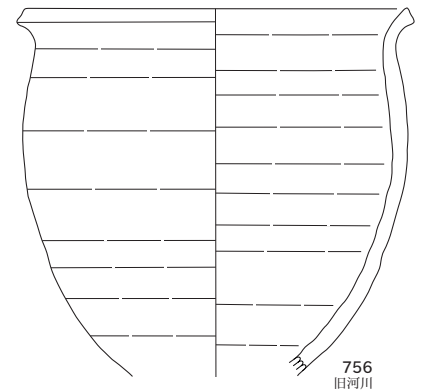
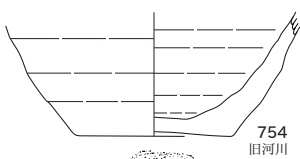
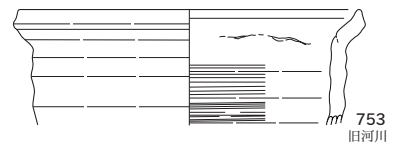
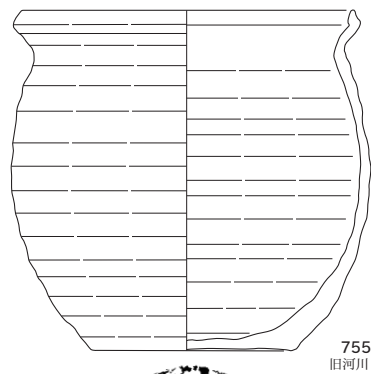
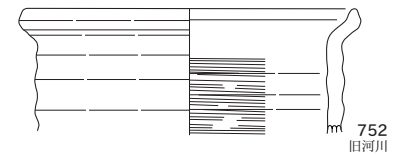
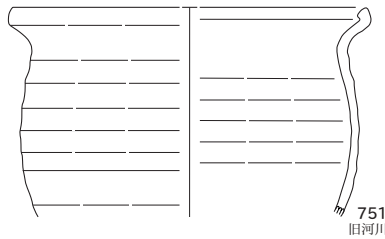
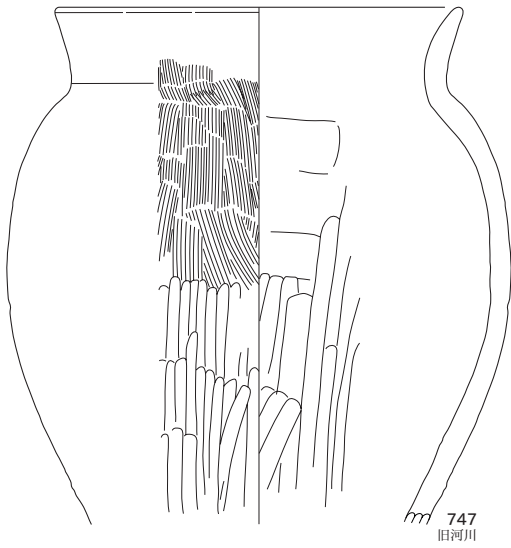
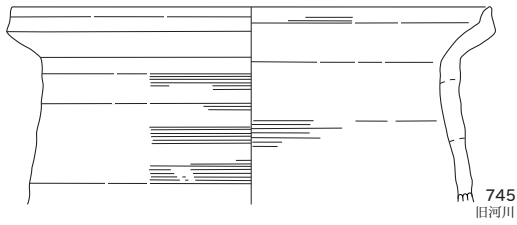
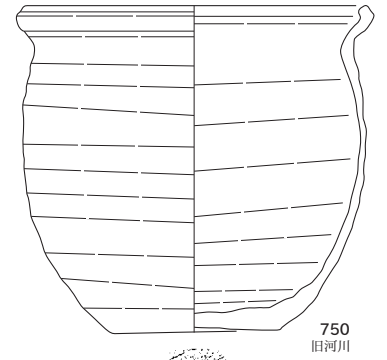
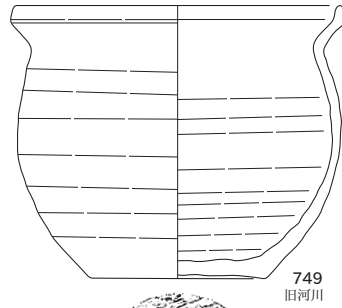
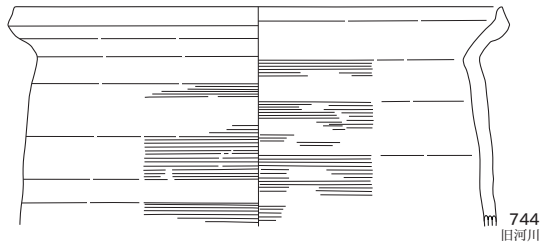
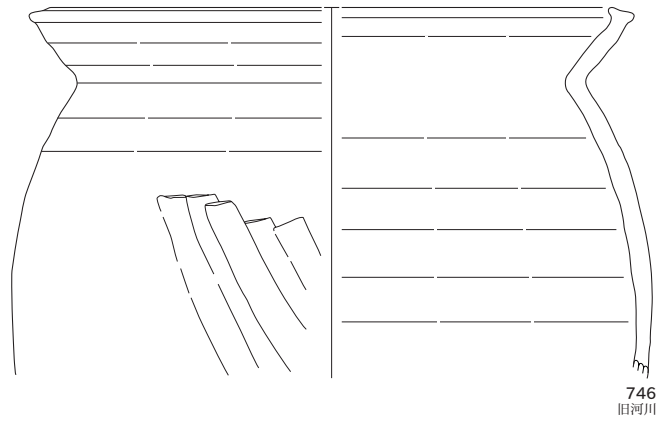
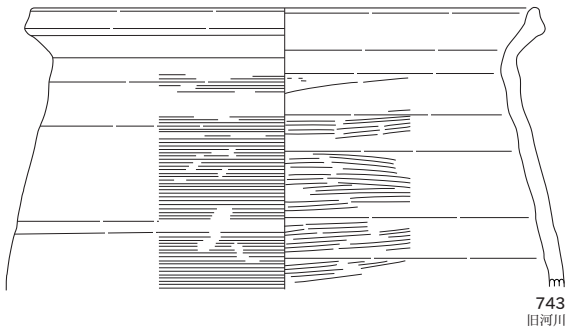
旧河川 (715~735)



旧河川 (736~742)

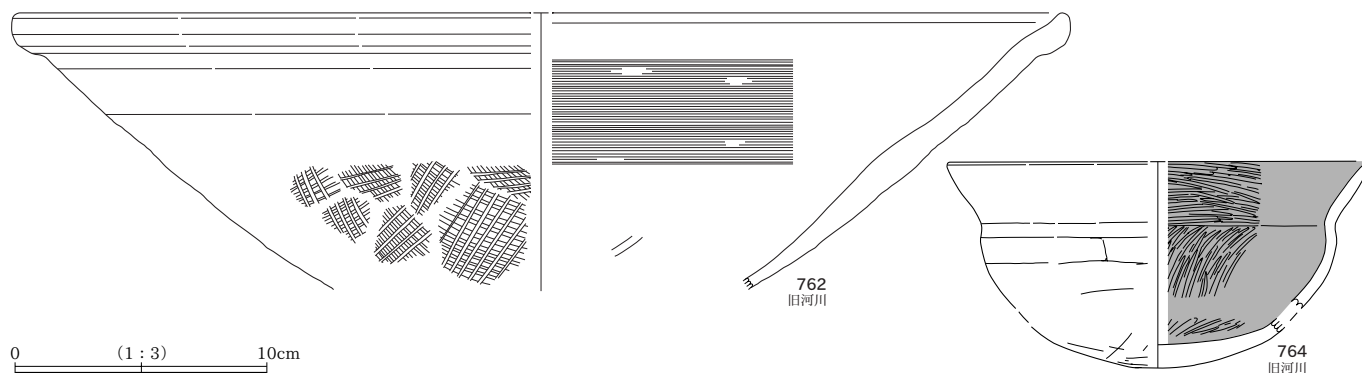
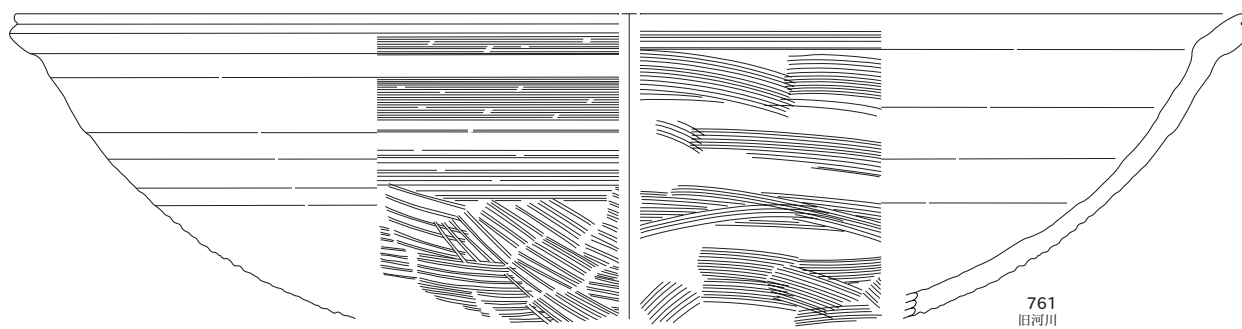
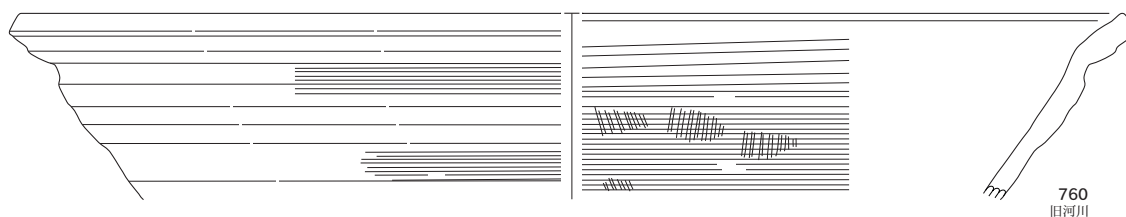
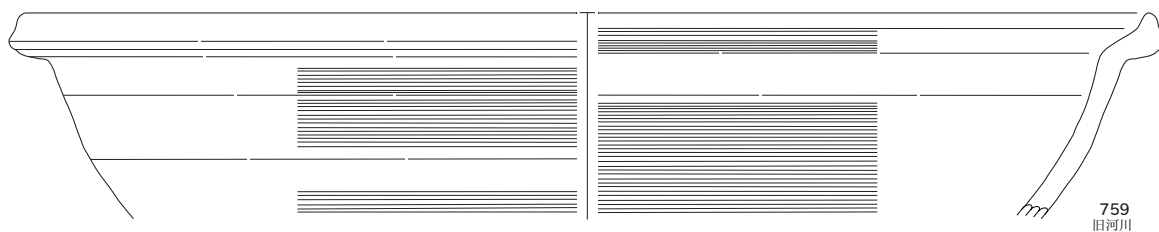
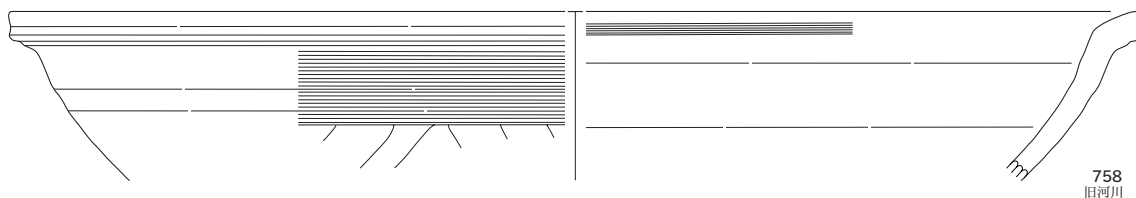
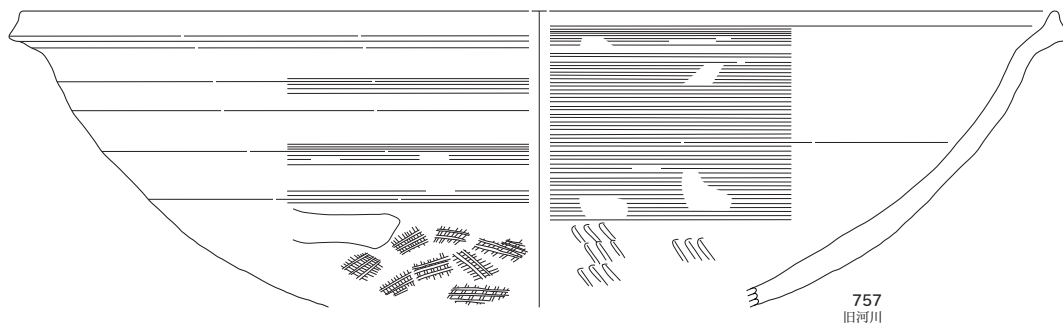


旧河川 (743~756)

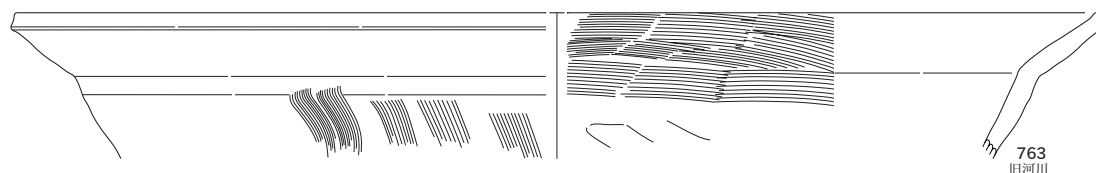




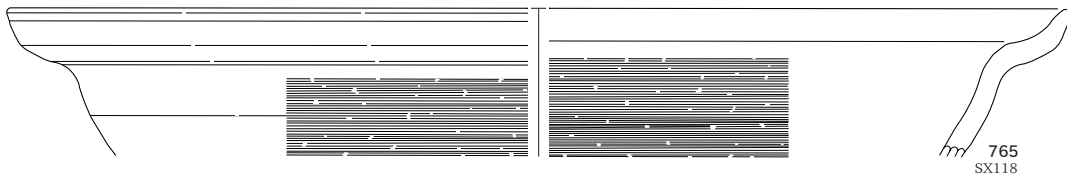
旧河川 (757~764)



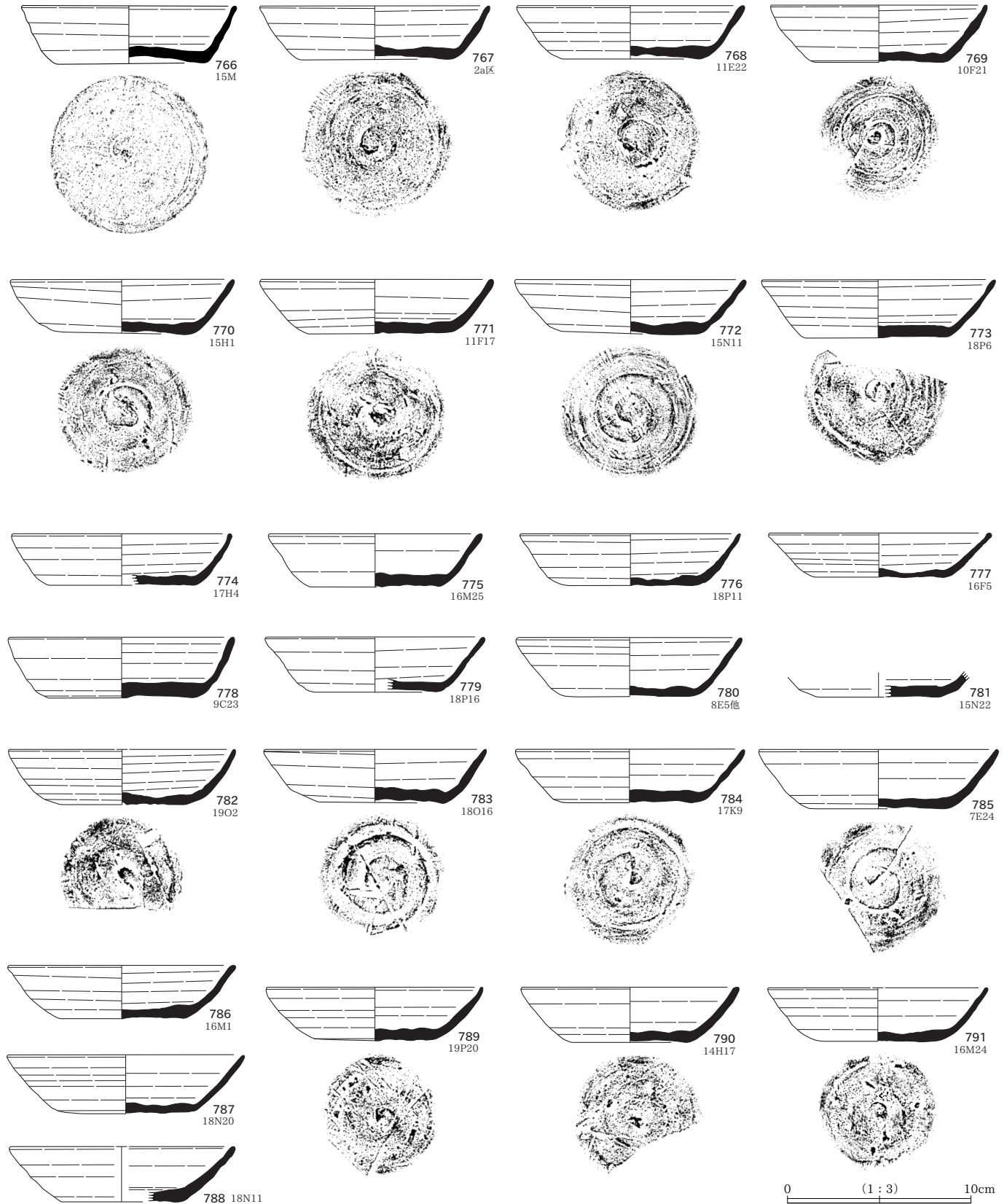
0 (1:3) 10cm



SX118 (765)



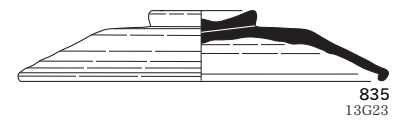
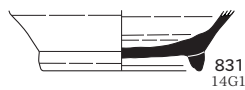
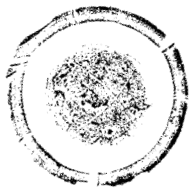
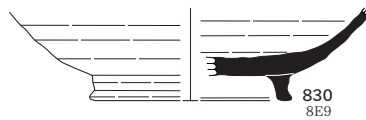
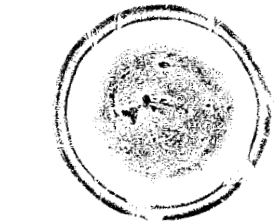
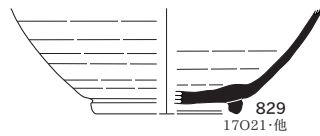
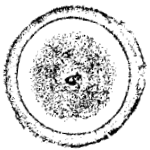
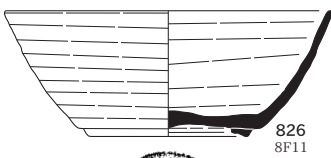
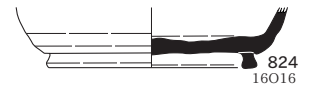
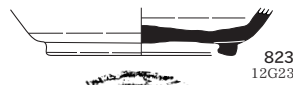
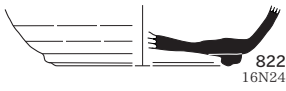
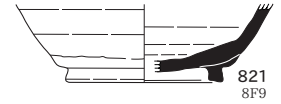
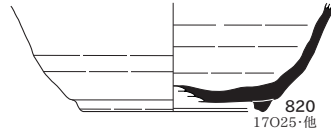
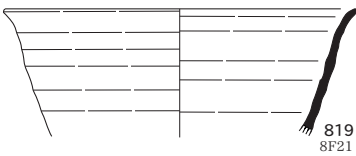
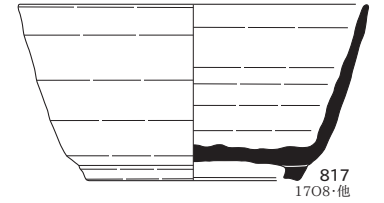
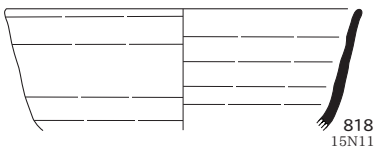
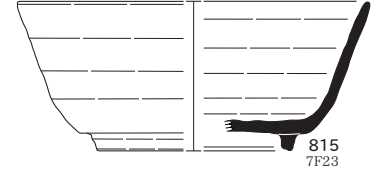
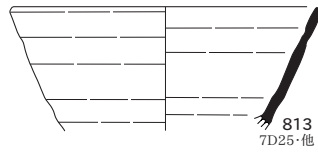
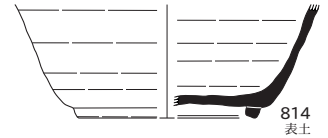
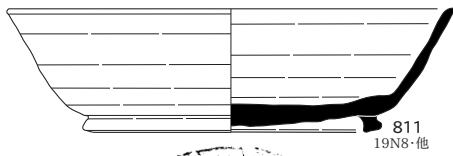
遺構外 (766~791)



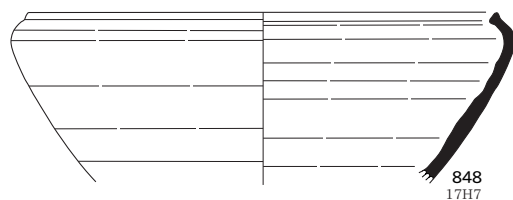
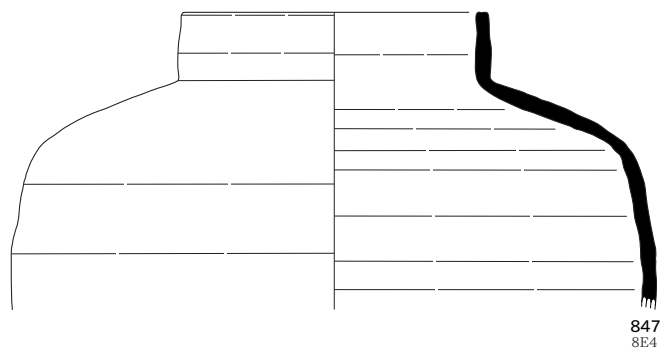
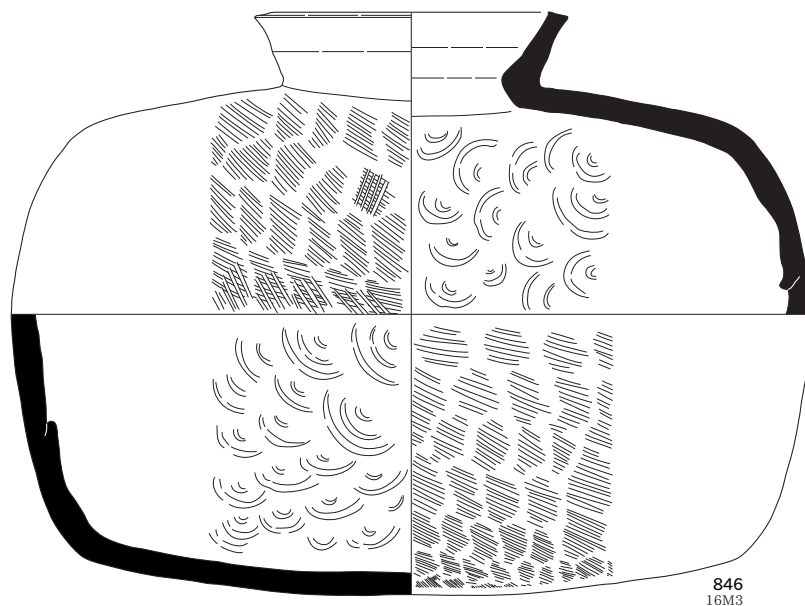
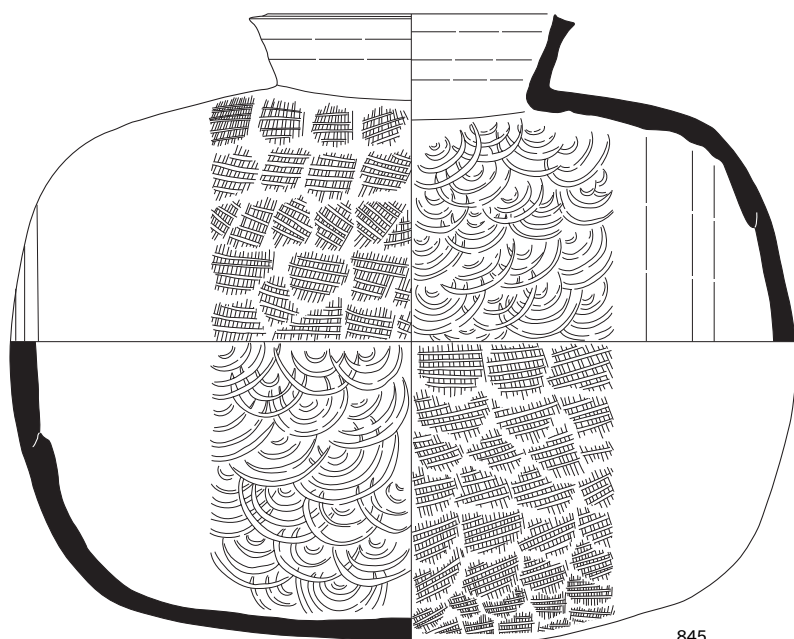
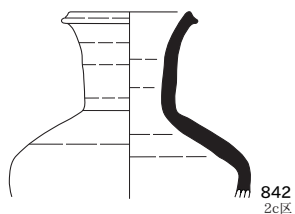
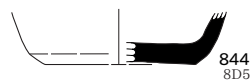
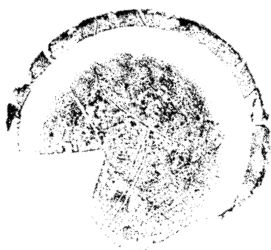
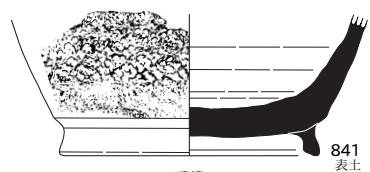
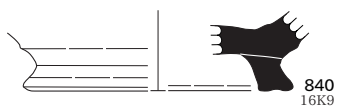
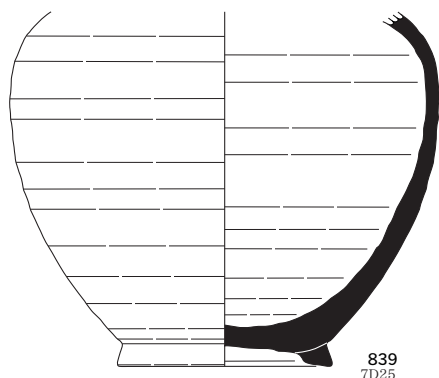
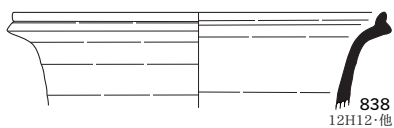
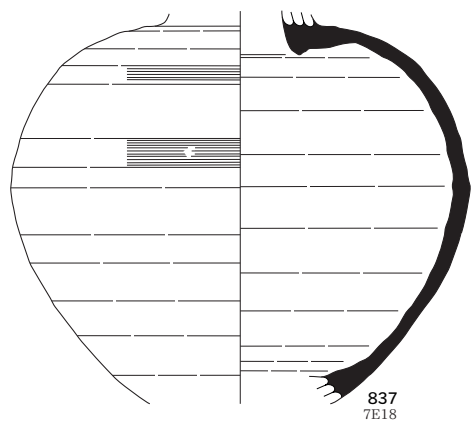
遺構外 (792~810)



遺構外 (811~836)



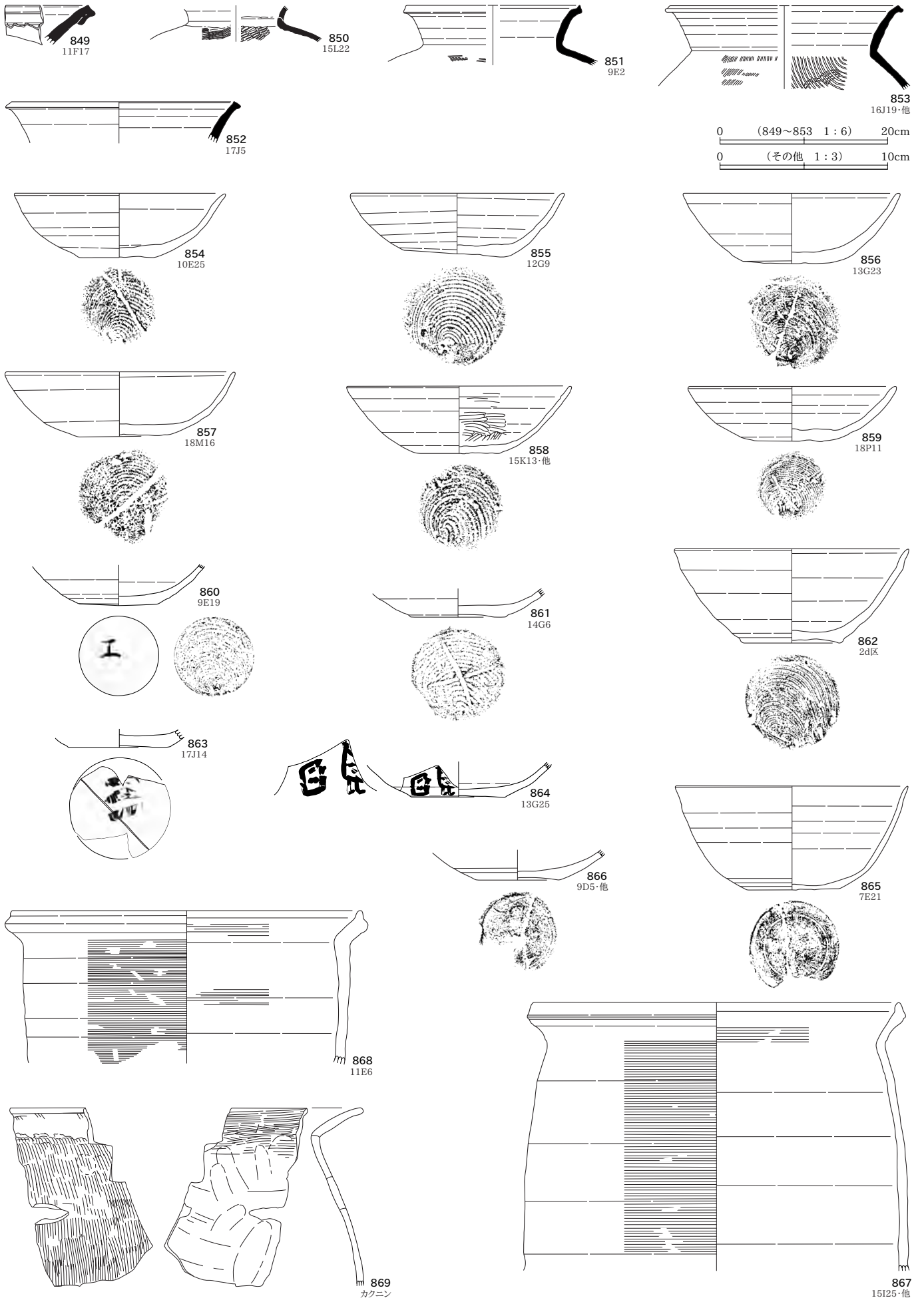
遺構外 (837~848)



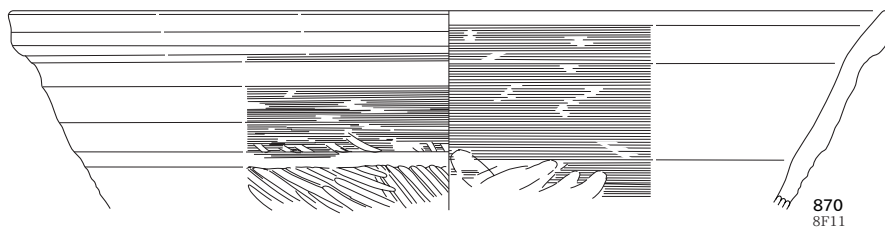
0 (1 : 3) 10cm



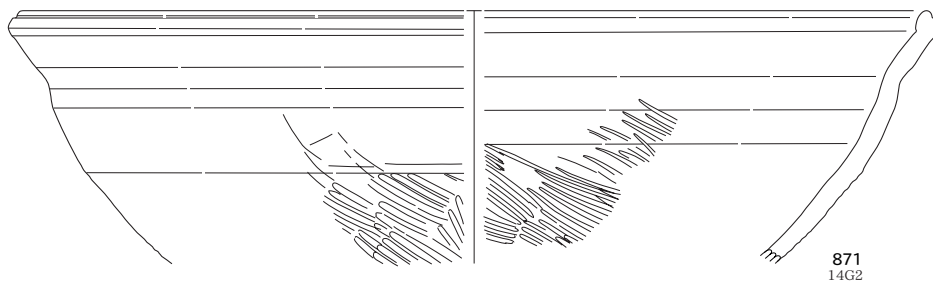
遺構外 (849~869)



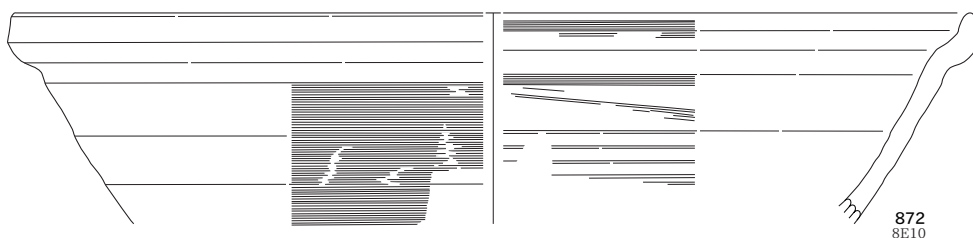
遺構外 (870~877)



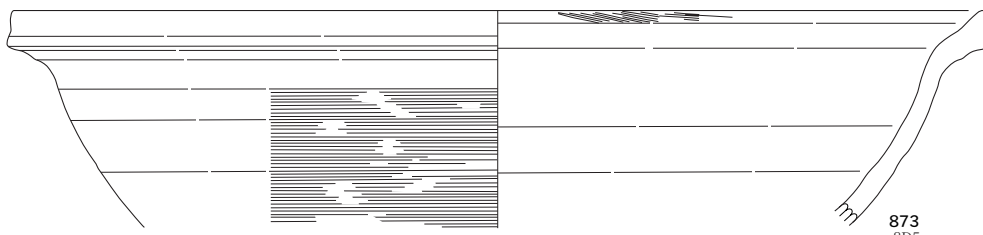
870  
8F11



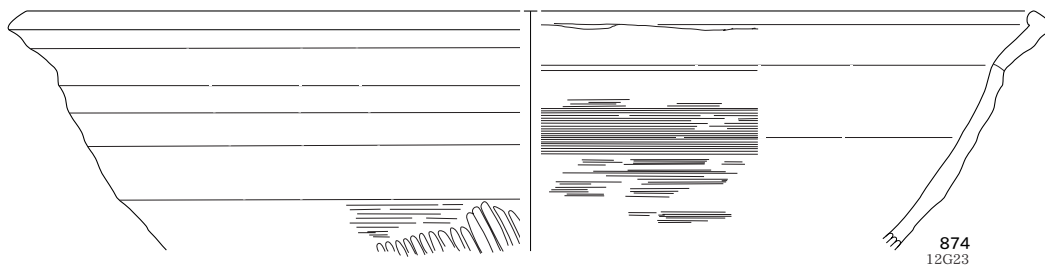
871  
14G2



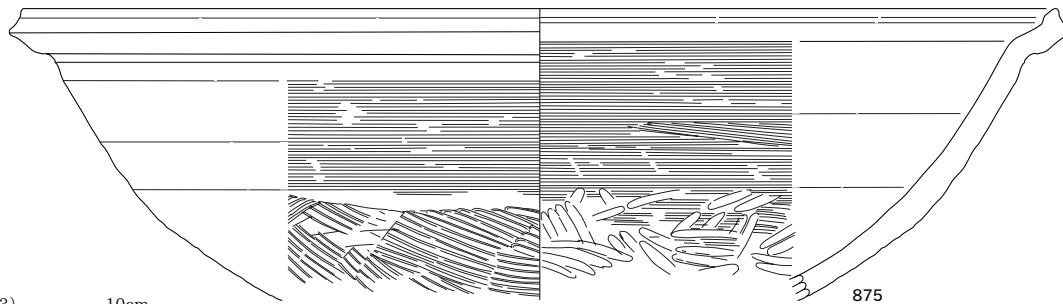
872  
8E10



873  
8D5

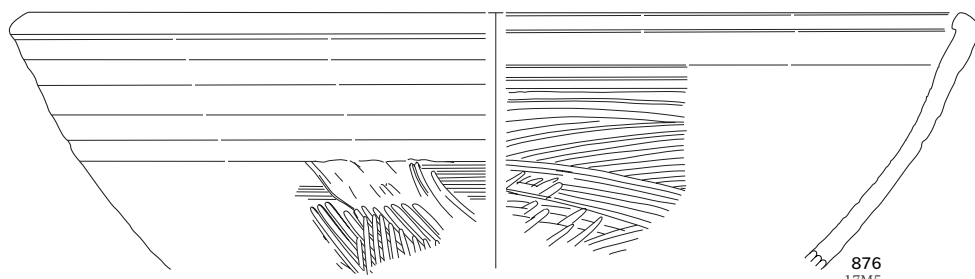


874  
12G23

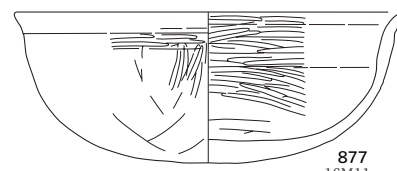


875  
20N15

0 (1:3) 10cm

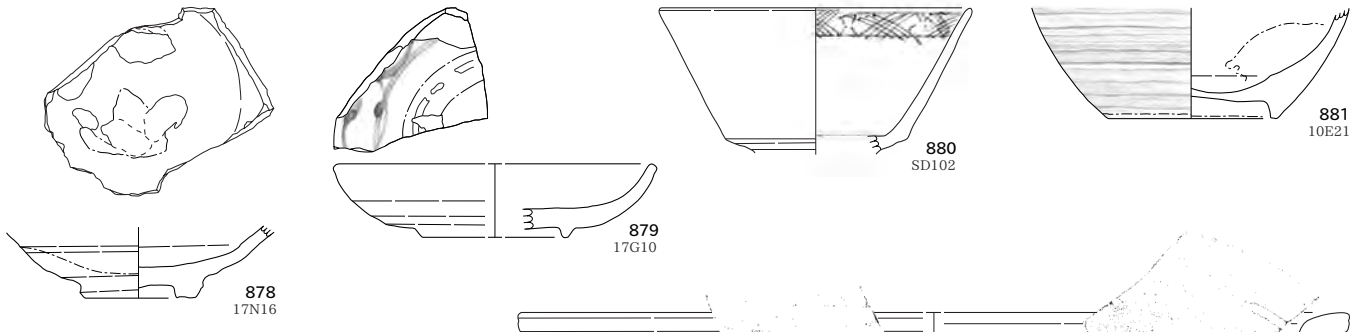


876  
17M5

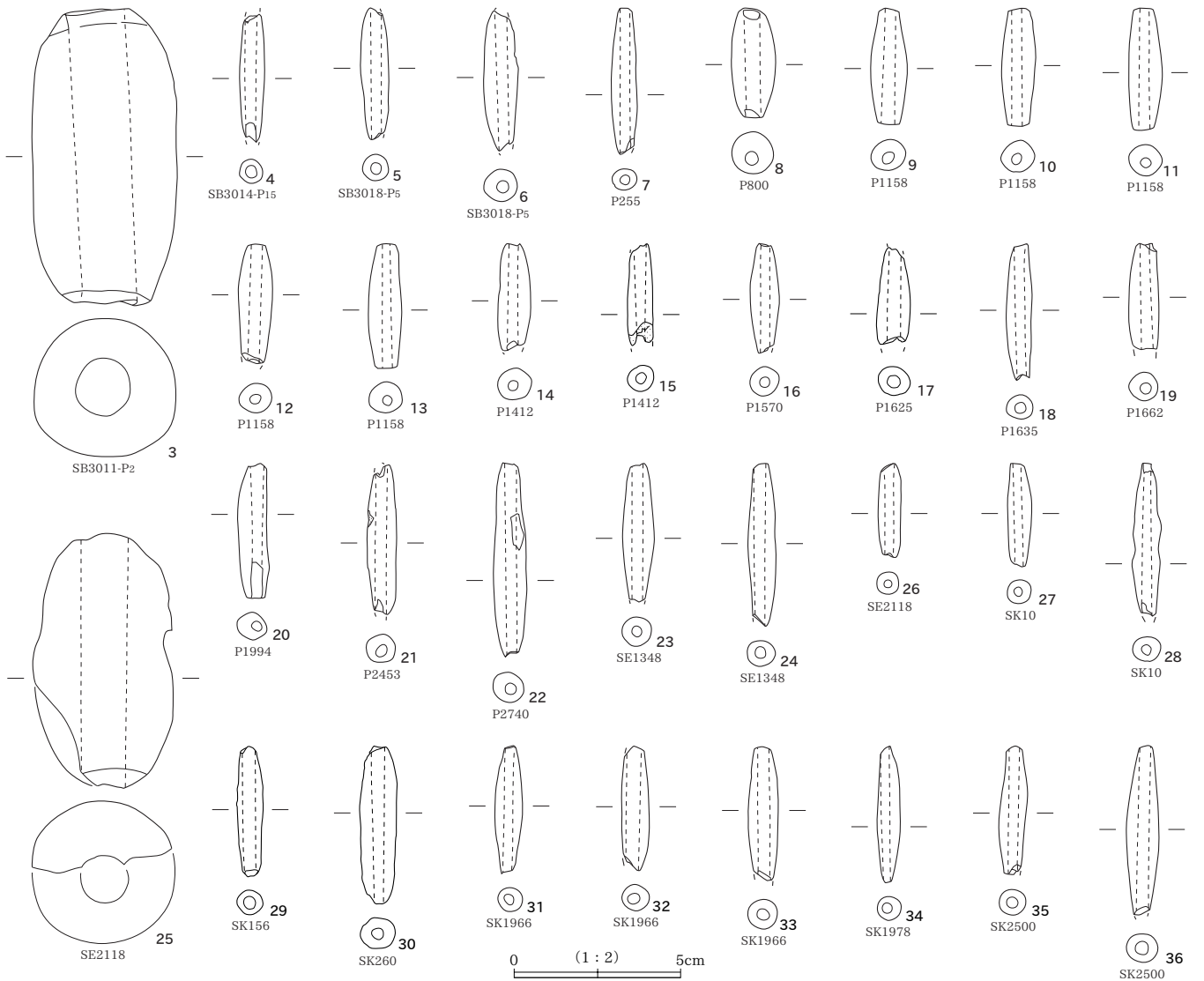
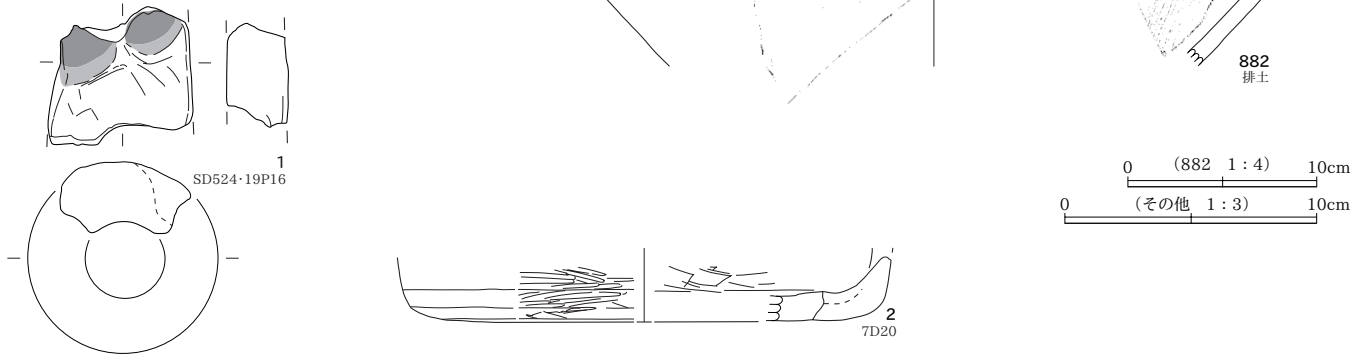


877  
16M11

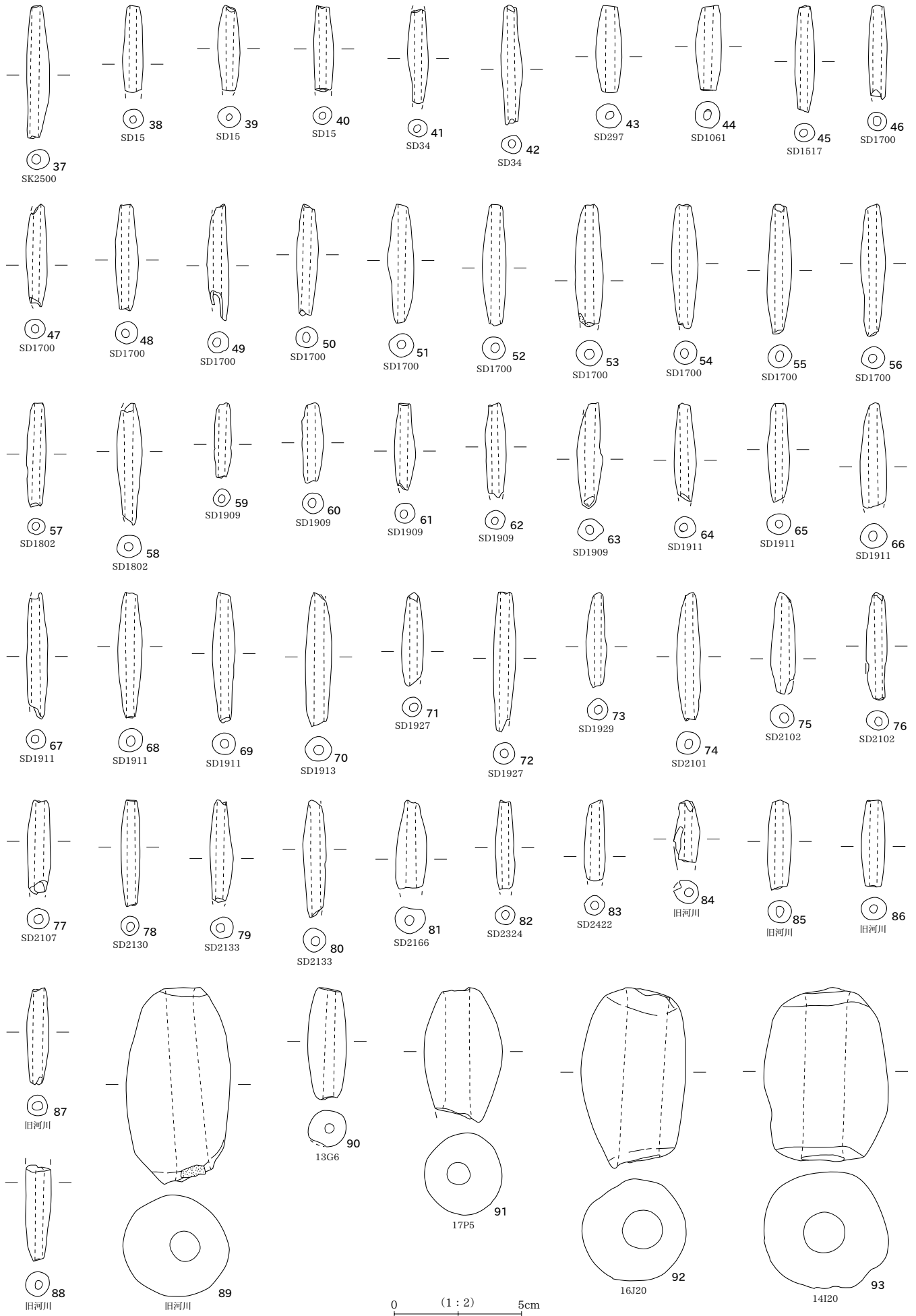
陶磁器 (878~882)



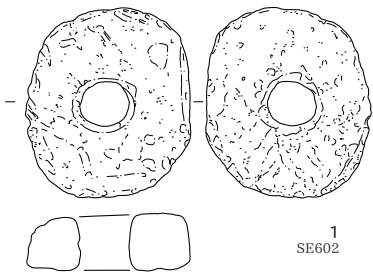
土製品 (1~36)



土製品 (37~93)

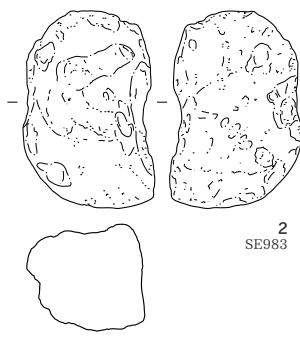


SE602 (1)



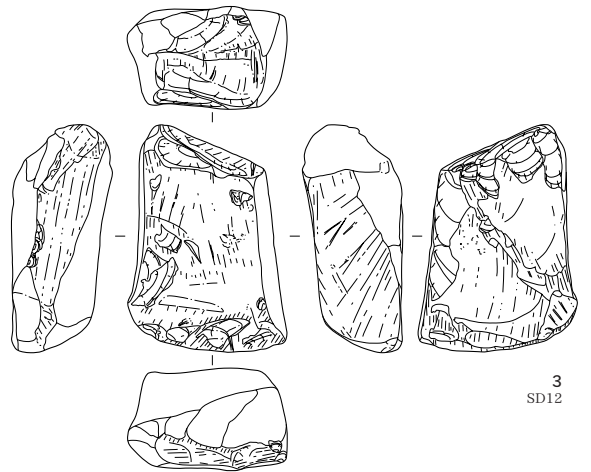
1  
SE602

SE983 (2)

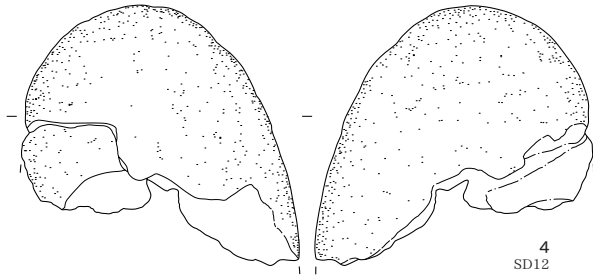


2  
SE983

SD12 (3·4)

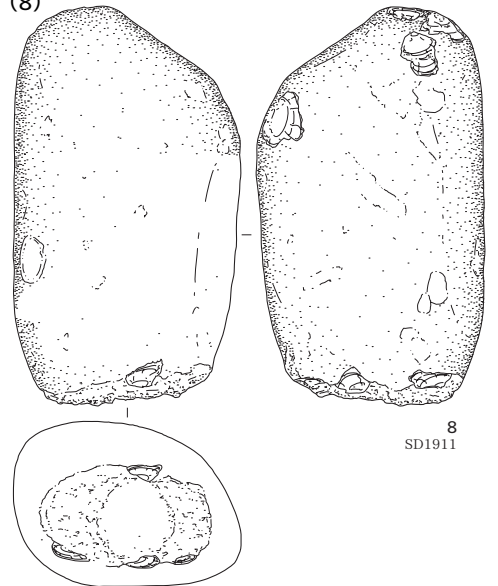


3  
SD12



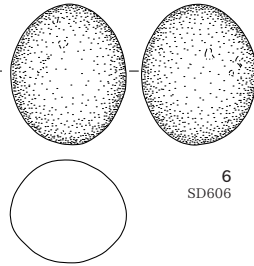
4  
SD12

SD1911 (8)



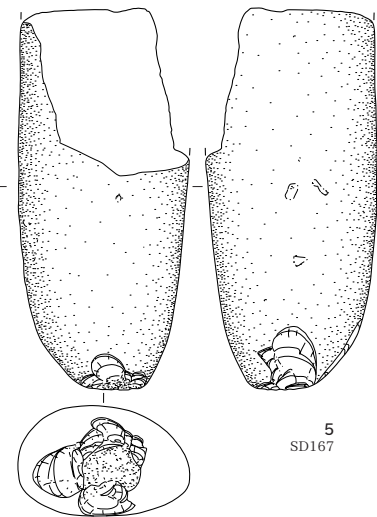
8  
SD1911

SD606 (6)



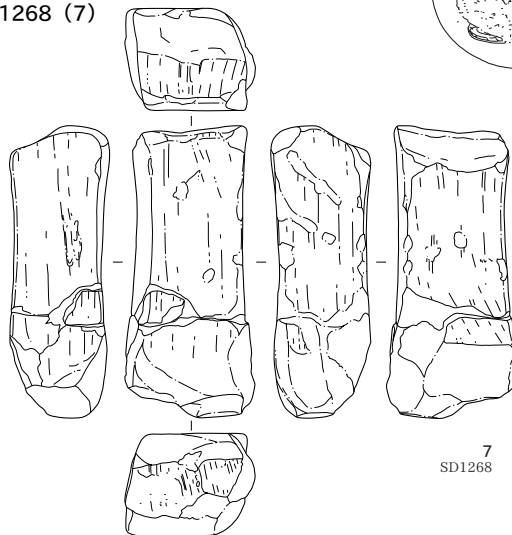
6  
SD606

SD167 (5)



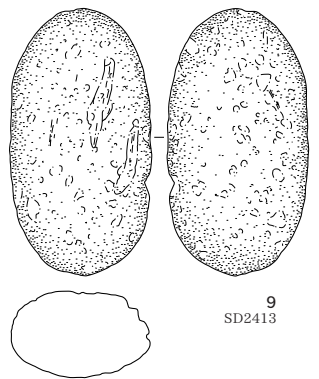
5  
SD167

SD1268 (7)



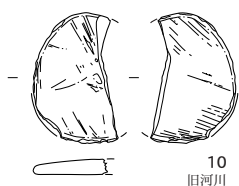
7  
SD1268

SD2413 (9)

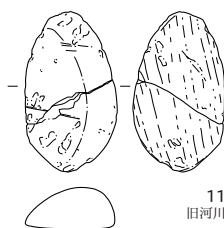


9  
SD2413

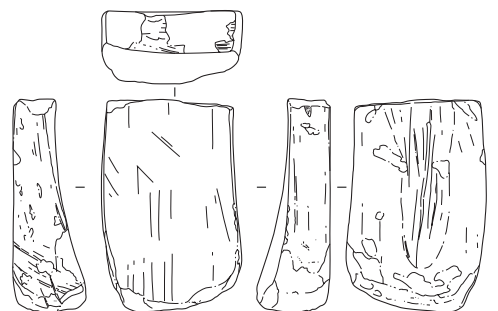
旧河川 (10~12)



10  
旧河川



11  
旧河川

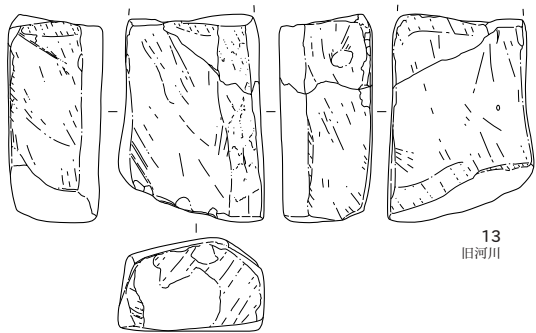


12  
旧河川

0 (1:3) 10cm



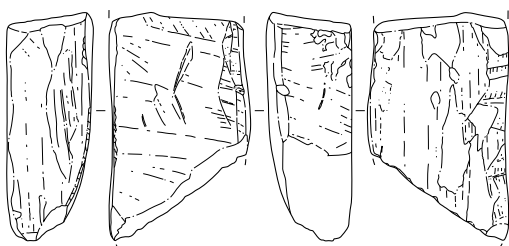
旧河川 (13~19)



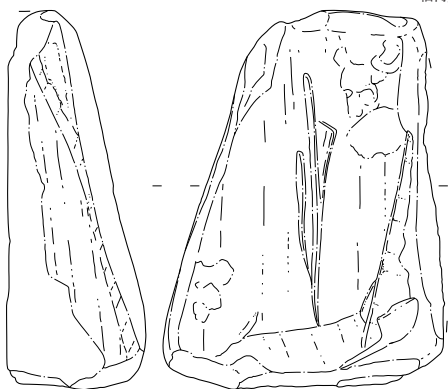
13  
旧河川



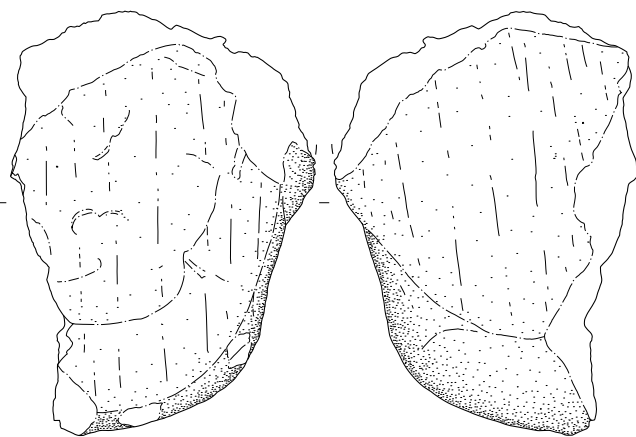
15  
旧河川



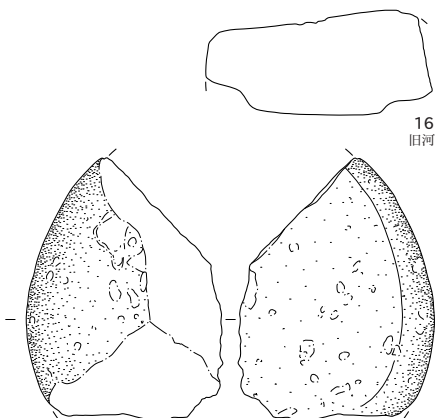
14  
旧河川



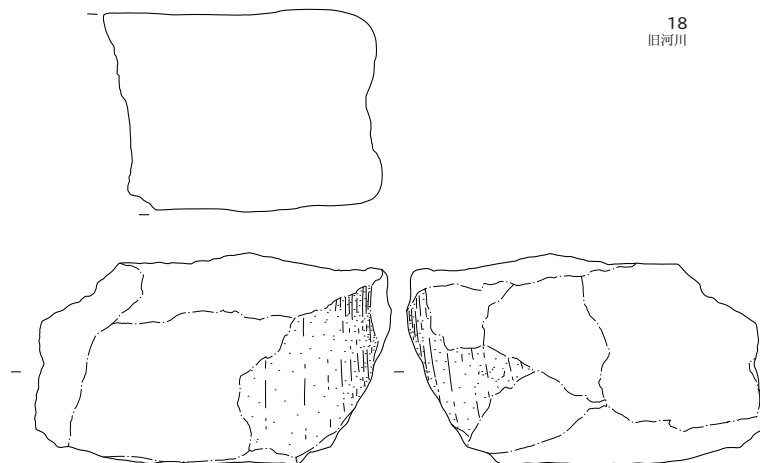
16  
旧河川



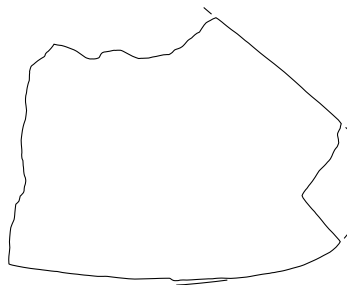
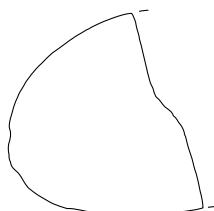
18  
旧河川



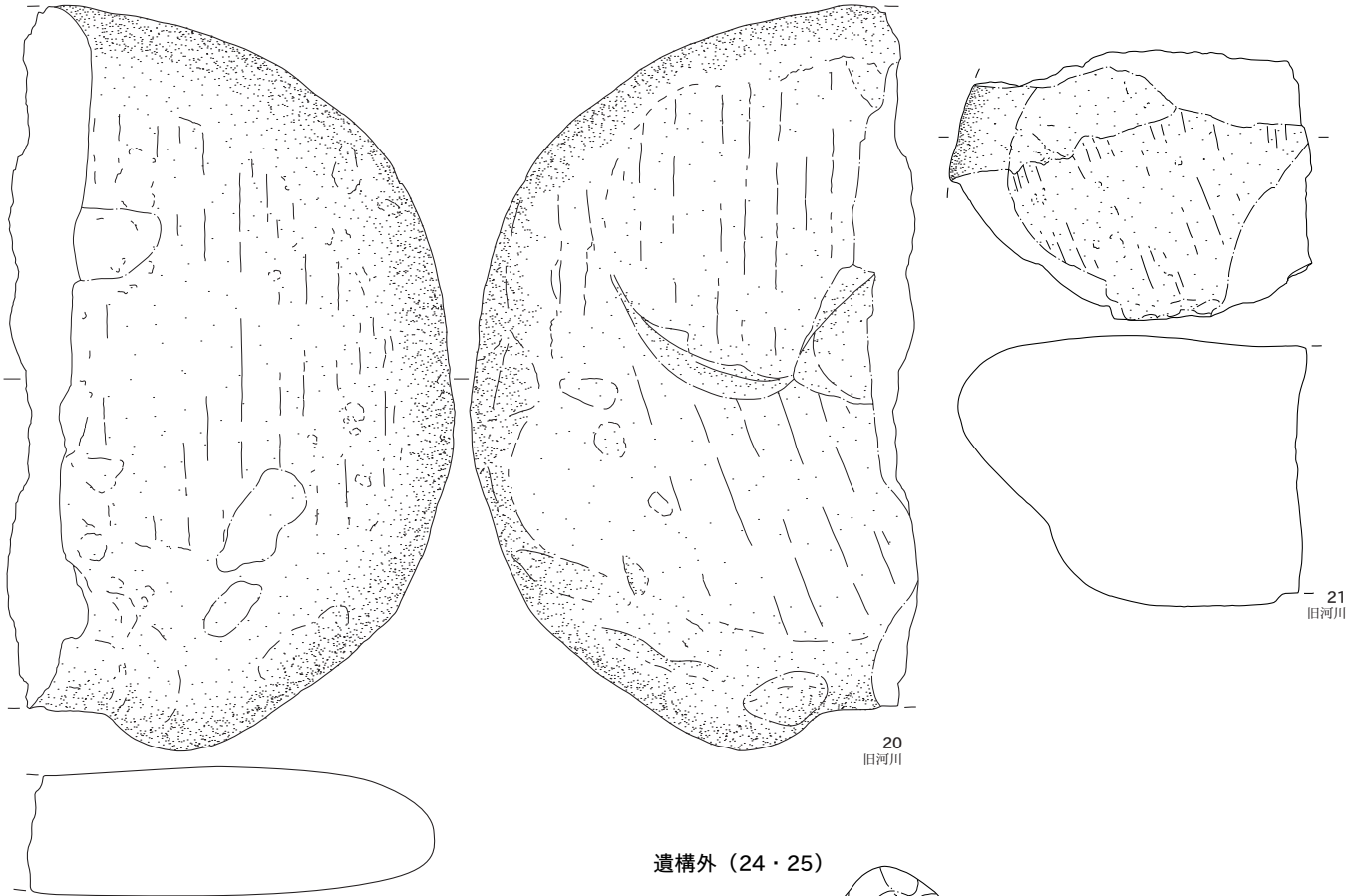
17  
旧河川



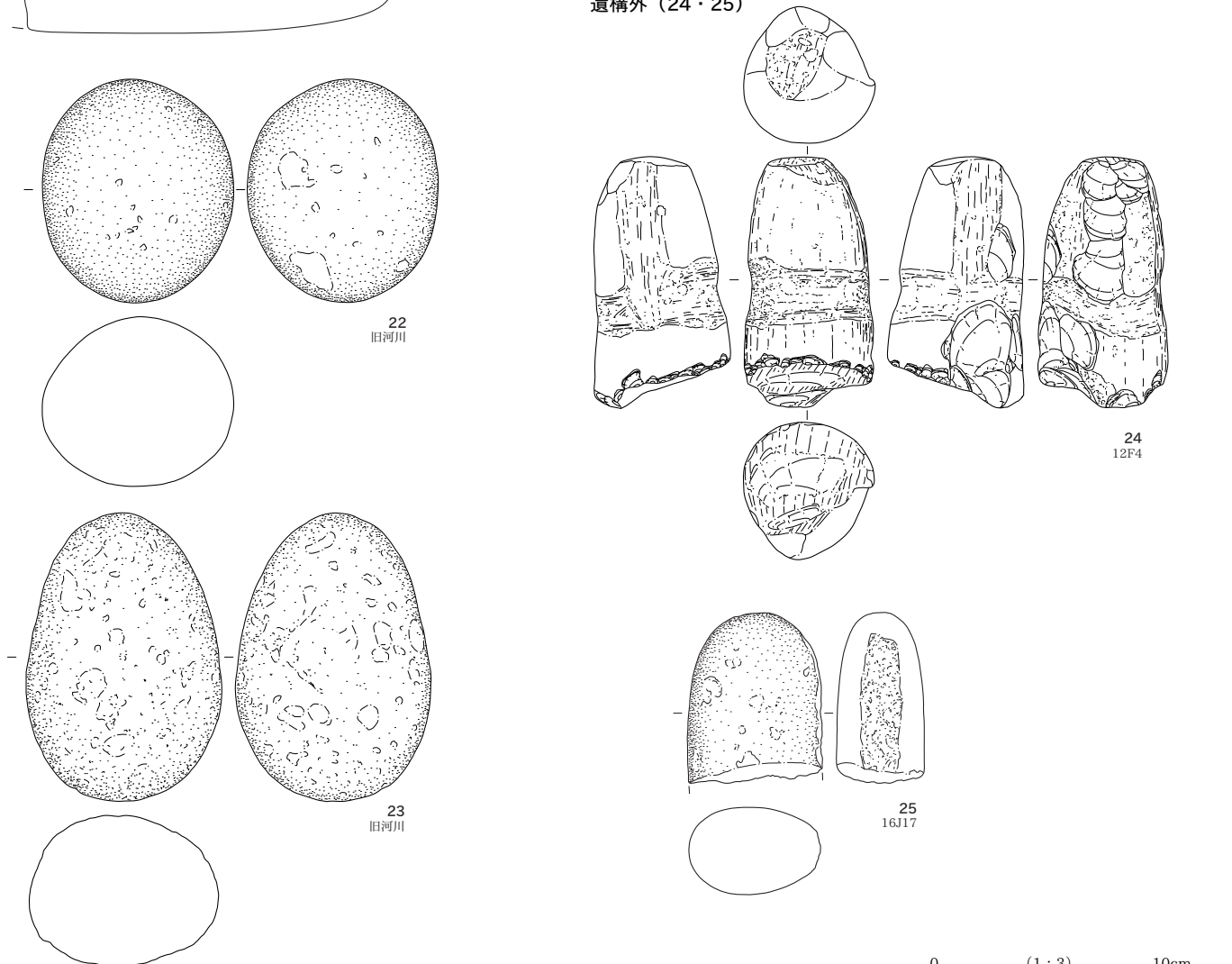
19  
旧河川



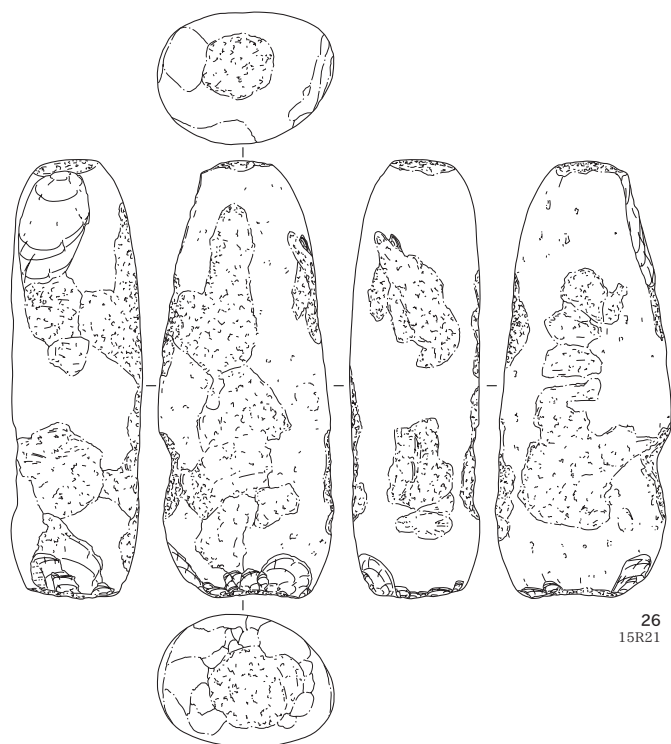
旧河川 (20~23)



遺構外 (24・25)

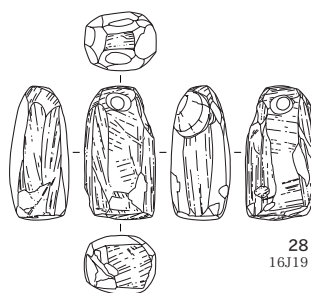


遺構外 (26~33)



26  
15R21

27  
18P2

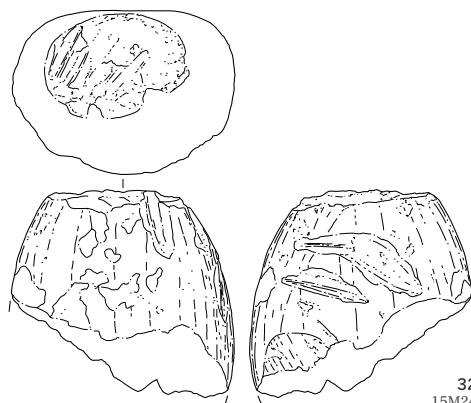


28  
16J19

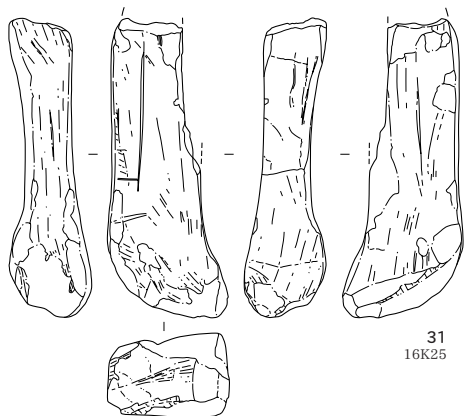


29  
8E23

30  
8F22



32  
15M24

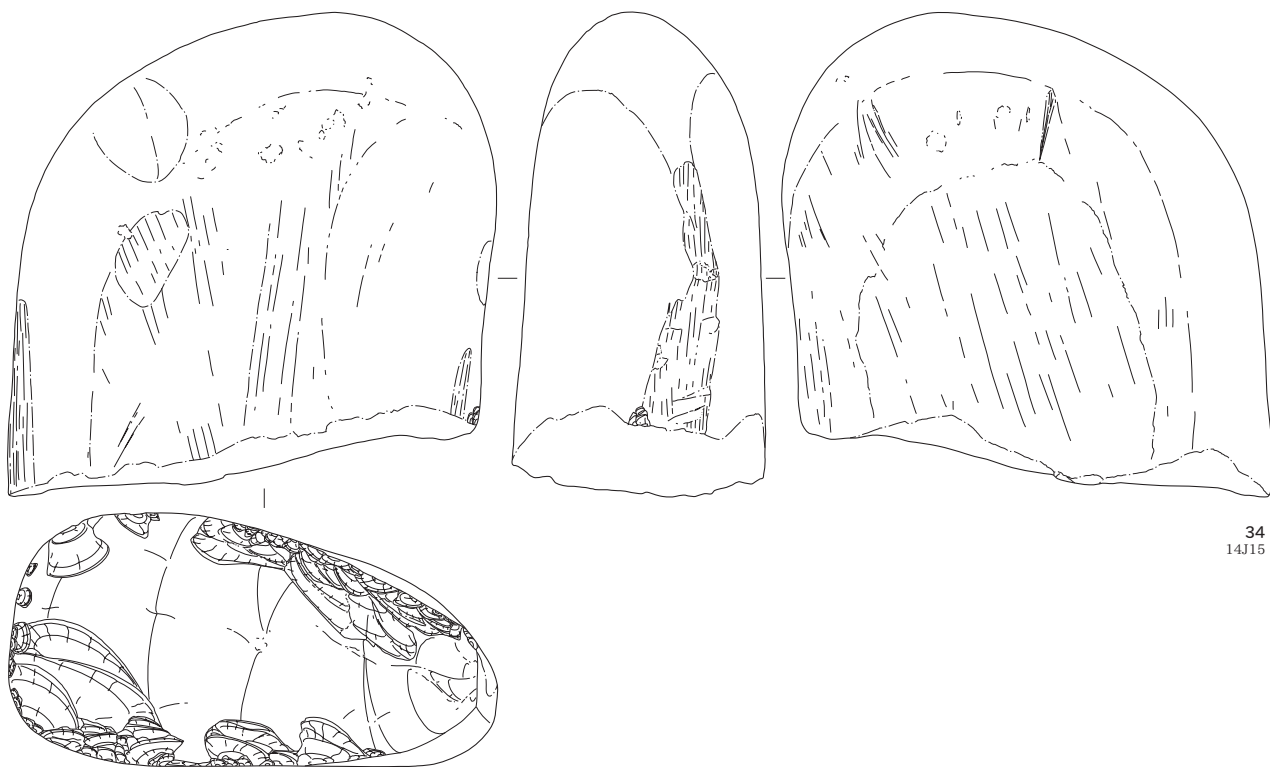


31  
16K25

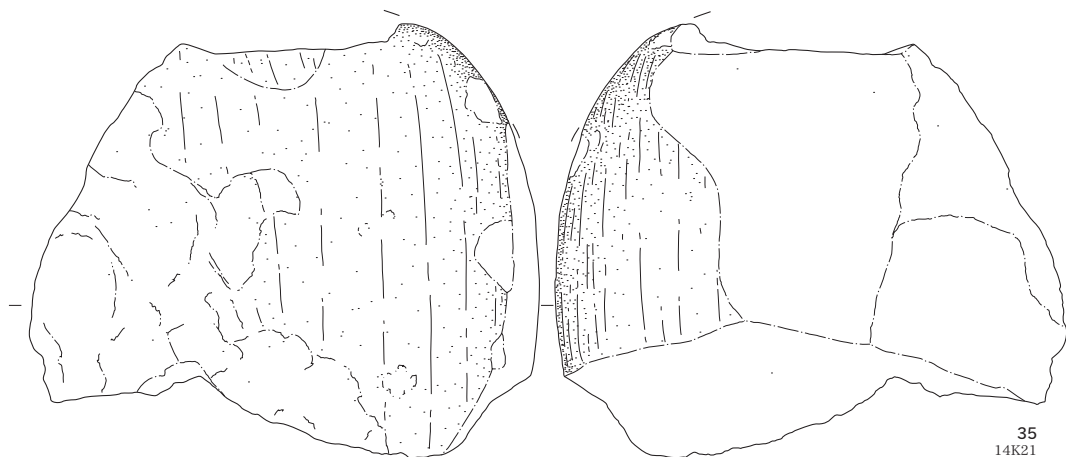
33  
16M24

0 (1:3) 10cm

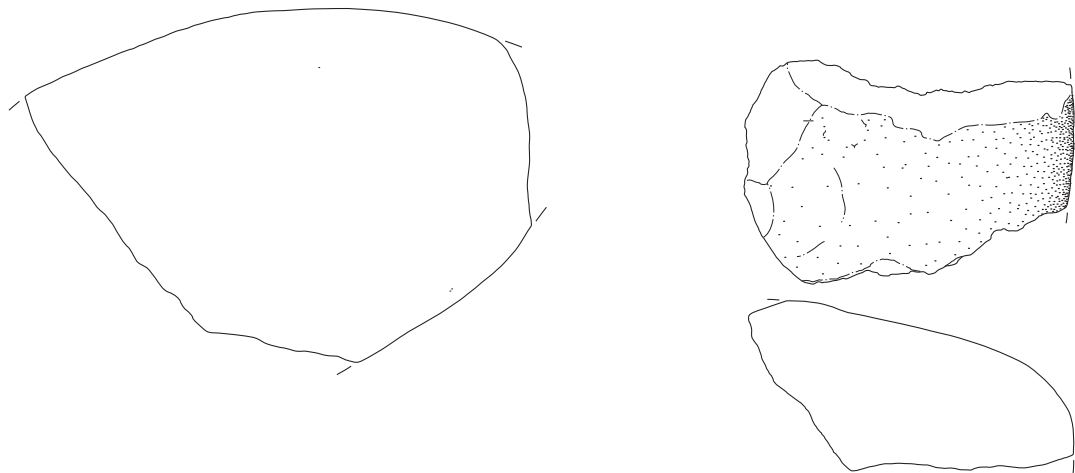
遺構外 (34~36)



34  
14J15



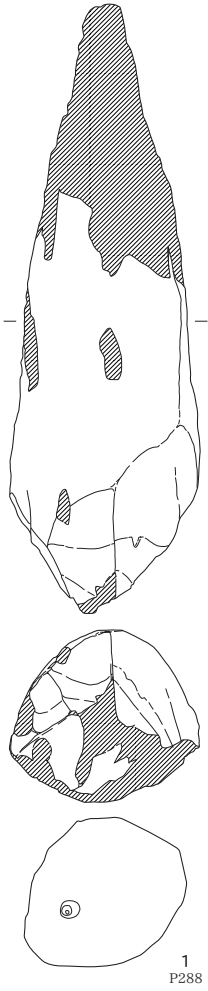
35  
14K21



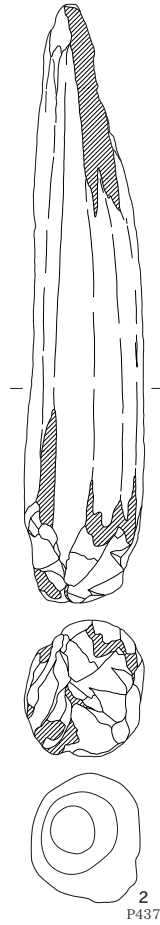
36  
16N22

0 (1:3) 10cm

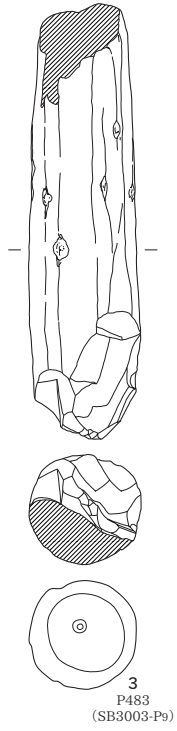
P288 (1)



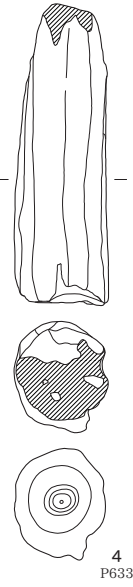
P437 (2)



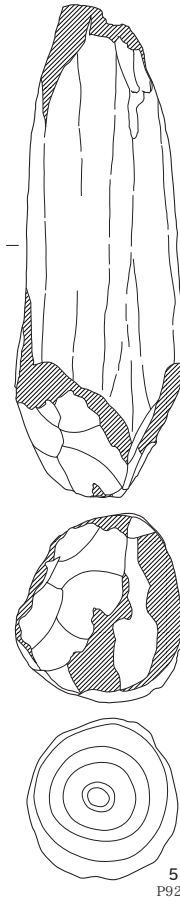
P483 (3)



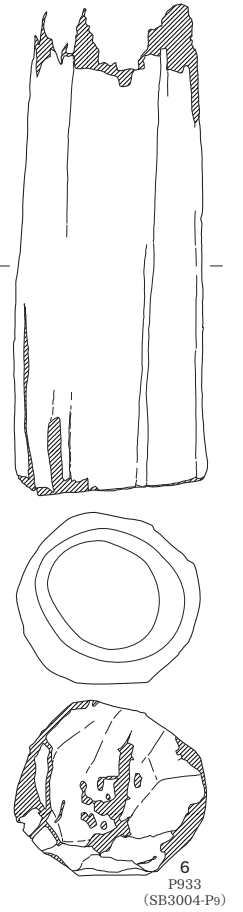
P633 (4)



P920 (5)



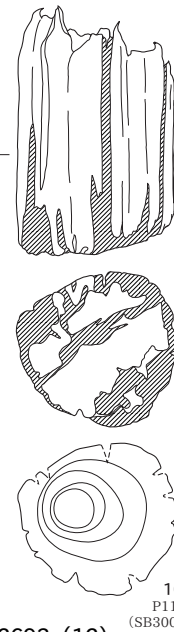
P933 (6)



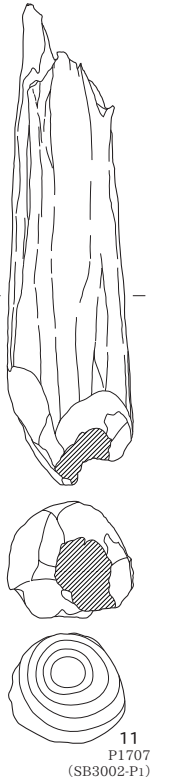
P1514 (9)



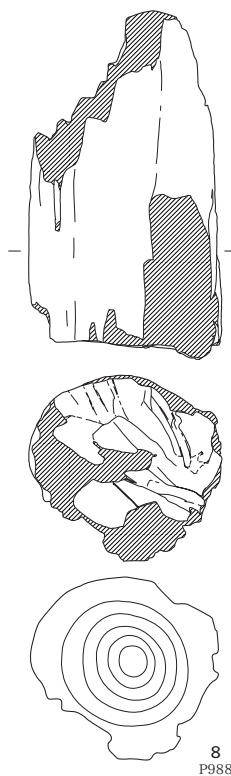
P1153 (10)



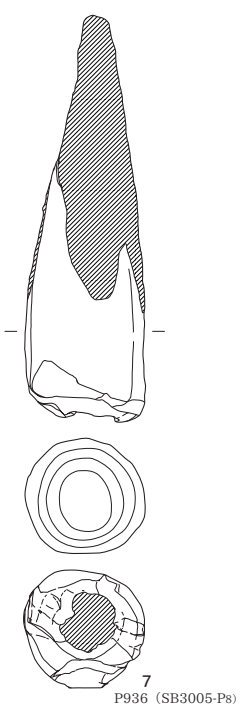
P1707 (11)



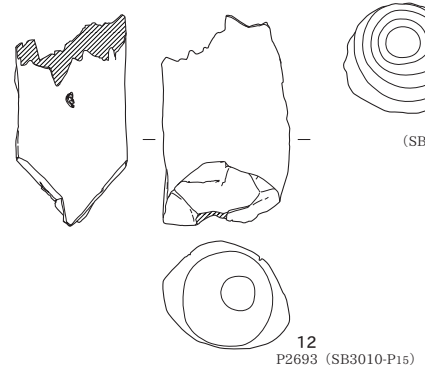
P988 (8)



P936 (7)



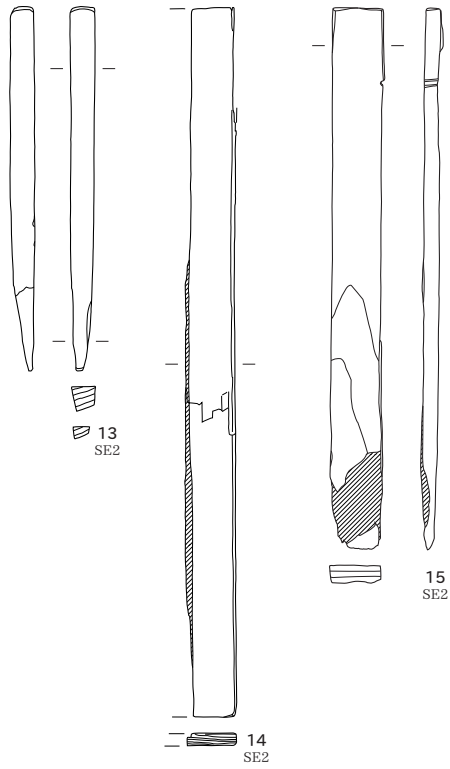
P2693 (12)



0 (1 : 6) 20cm



SE2 (13~16)



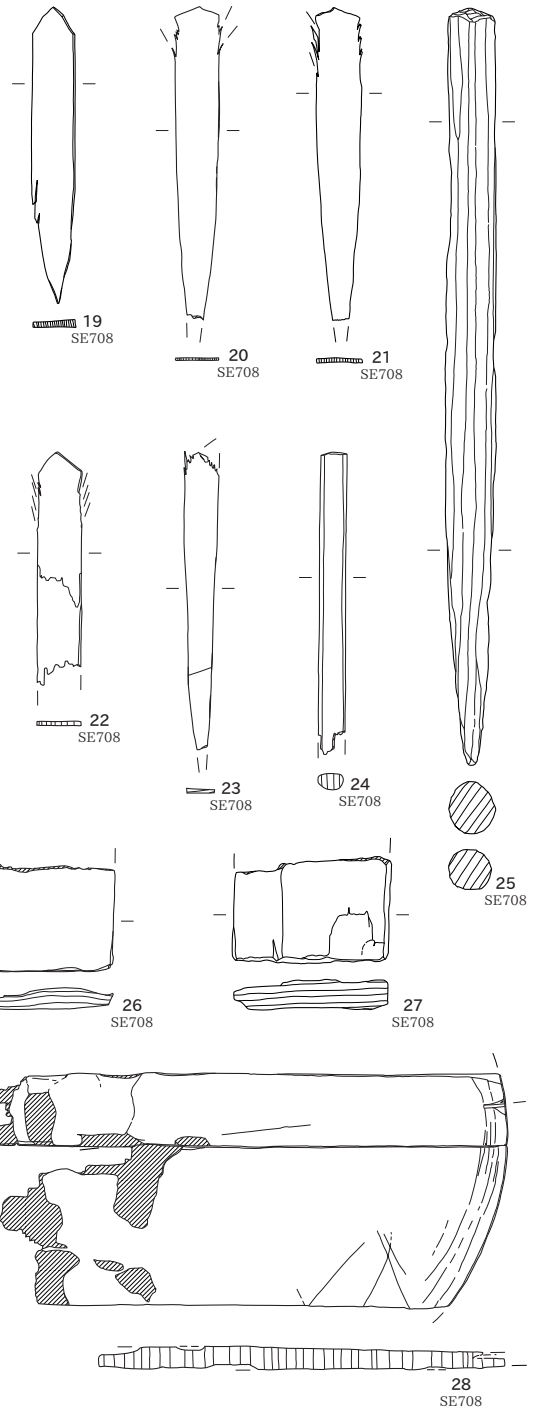
SE510 (17)



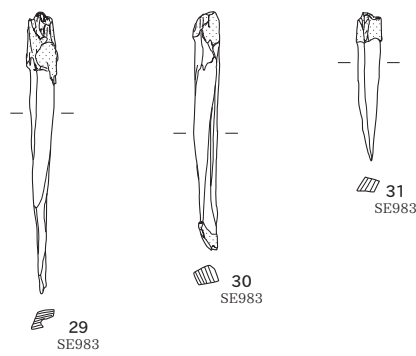
SE602 (18)



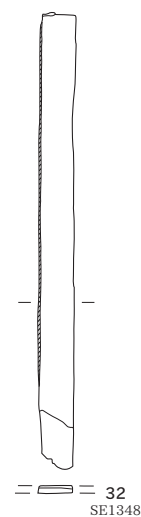
SE708 (19~28)



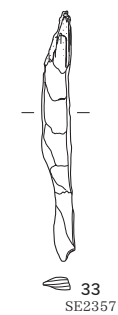
SE983 (29~31)



SE1348 (32)



SE2357 (33)

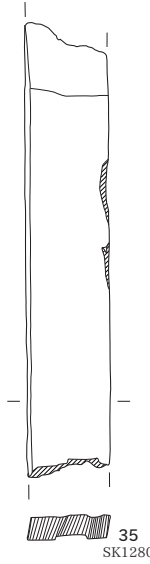


SK981 (34)

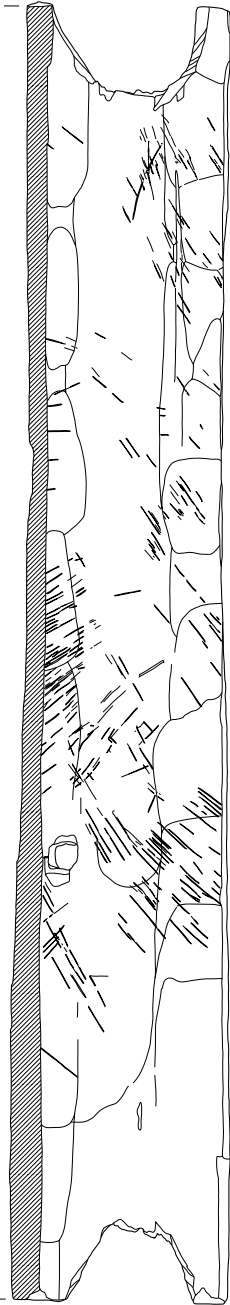


0 (1:3) 10cm

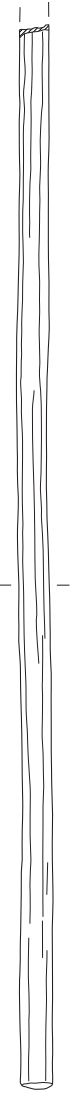
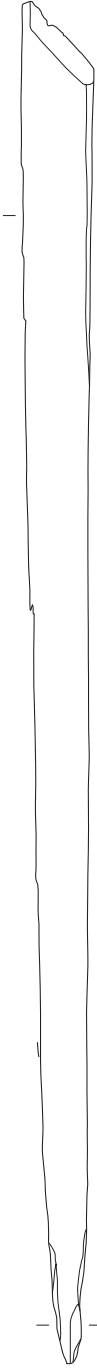
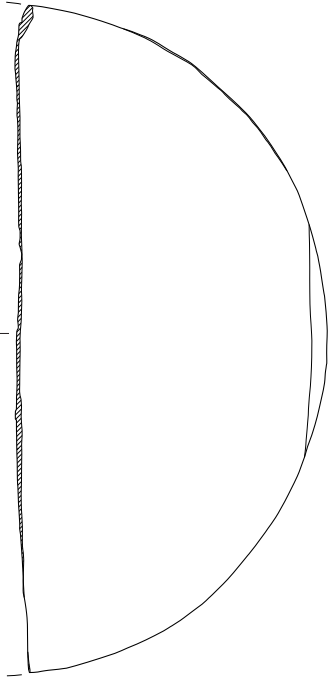
SK1280 (35)



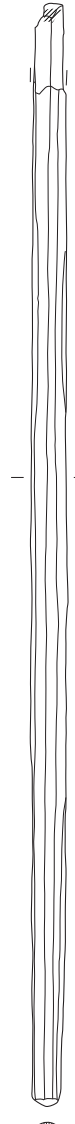
SK2140 (37)



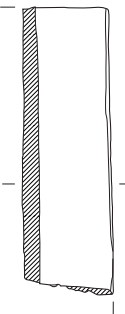
SK2500 (38~41)



SK1966 (36)



SD12 (42)

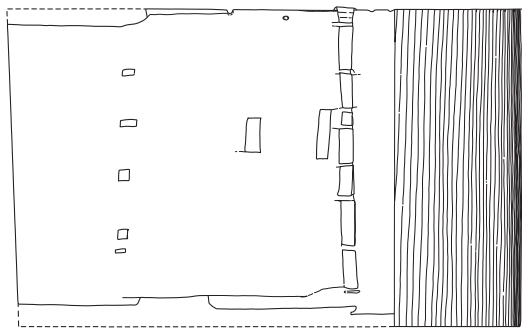
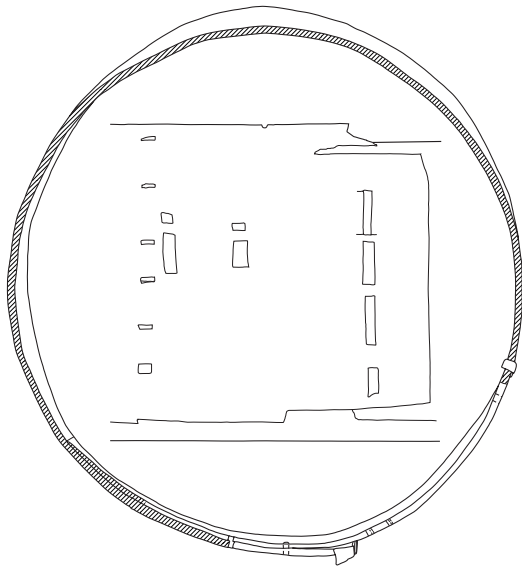


SD2061 (43)



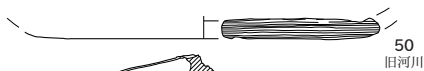
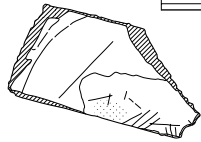
0 (1:3) 10cm

SE2563 (44)

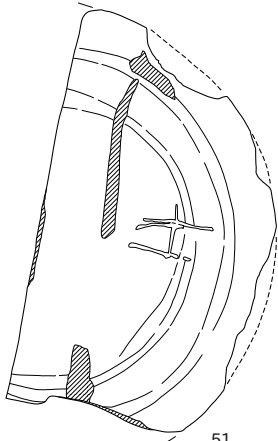
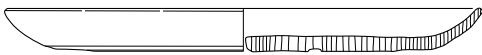
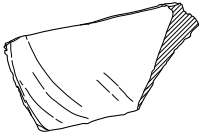


44  
SE2563

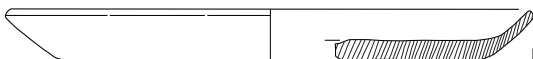
0 (44 1:6) 20cm



50  
旧河川

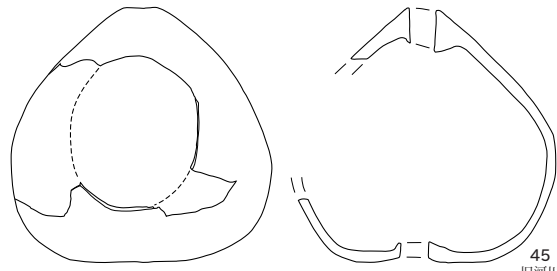


51  
旧河川

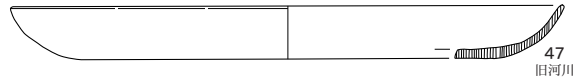


52  
旧河川

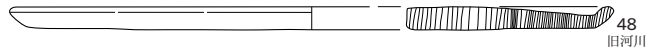
旧河川 (45~56)



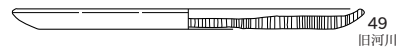
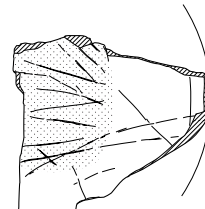
45  
旧河川



47  
旧河川



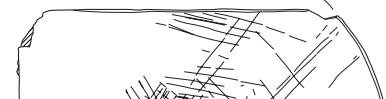
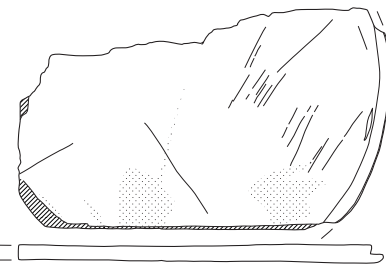
48  
旧河川



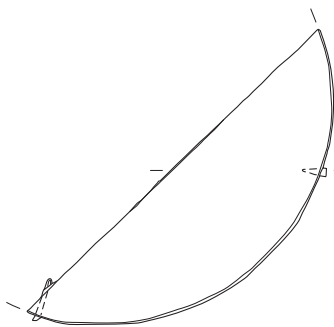
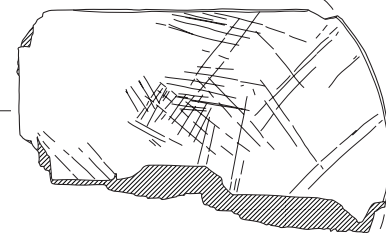
49  
旧河川



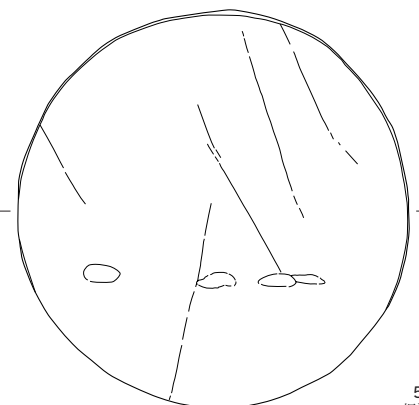
53  
旧河川



54  
旧河川

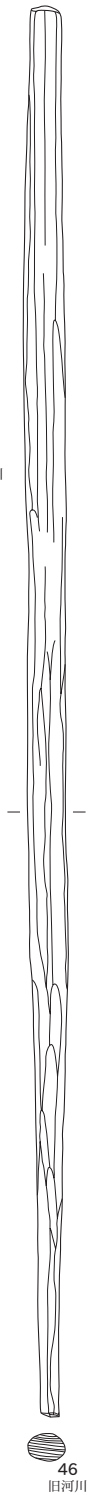


55  
旧河川

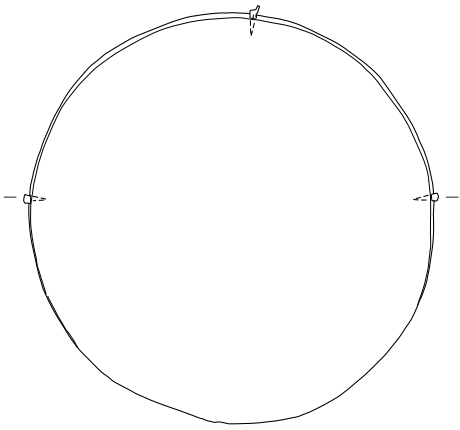


56  
旧河川

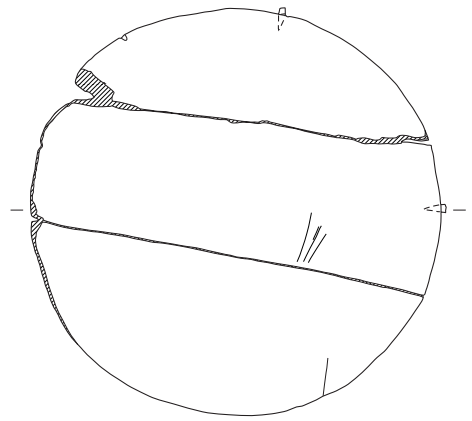
0 (その他 1:3) 10cm



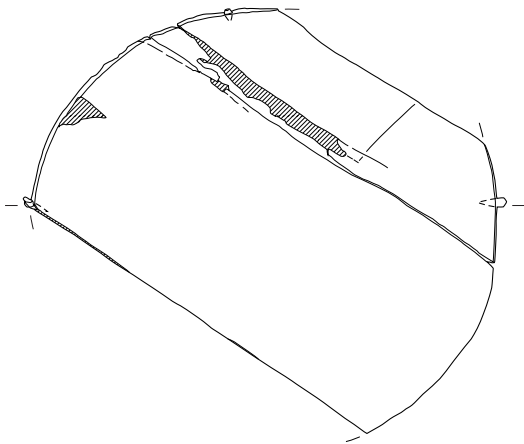
46  
旧河川



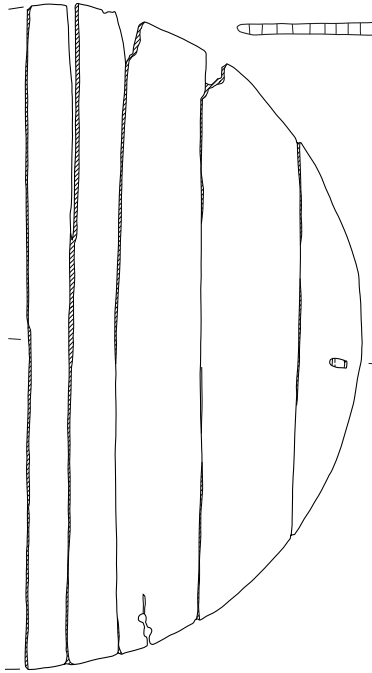
57  
旧河川



58  
旧河川

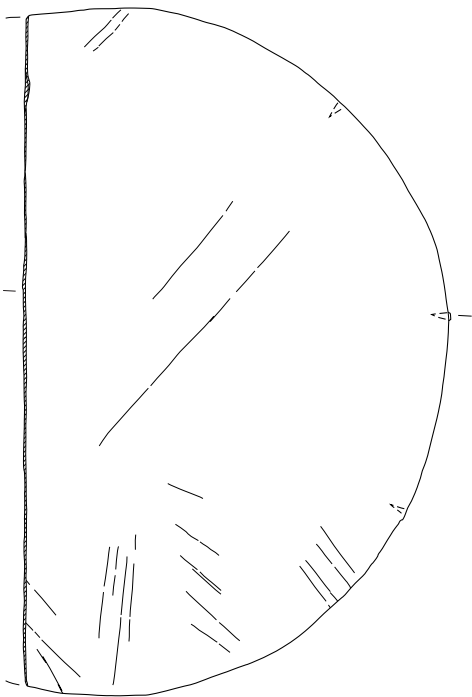


59  
旧河川

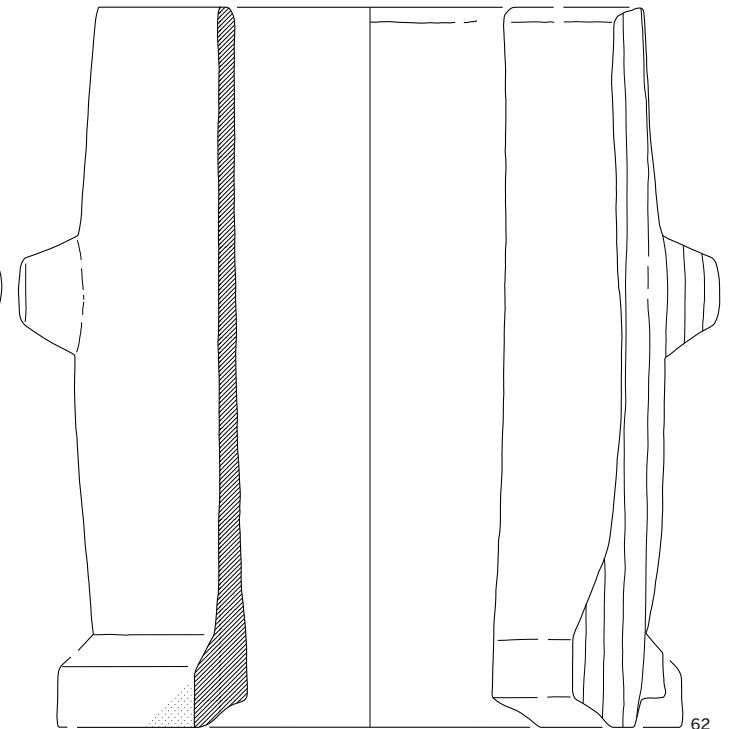
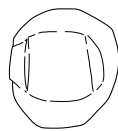


61  
旧河川

0 (62 1:4) 10cm  
0 (その他 1:3) 10cm

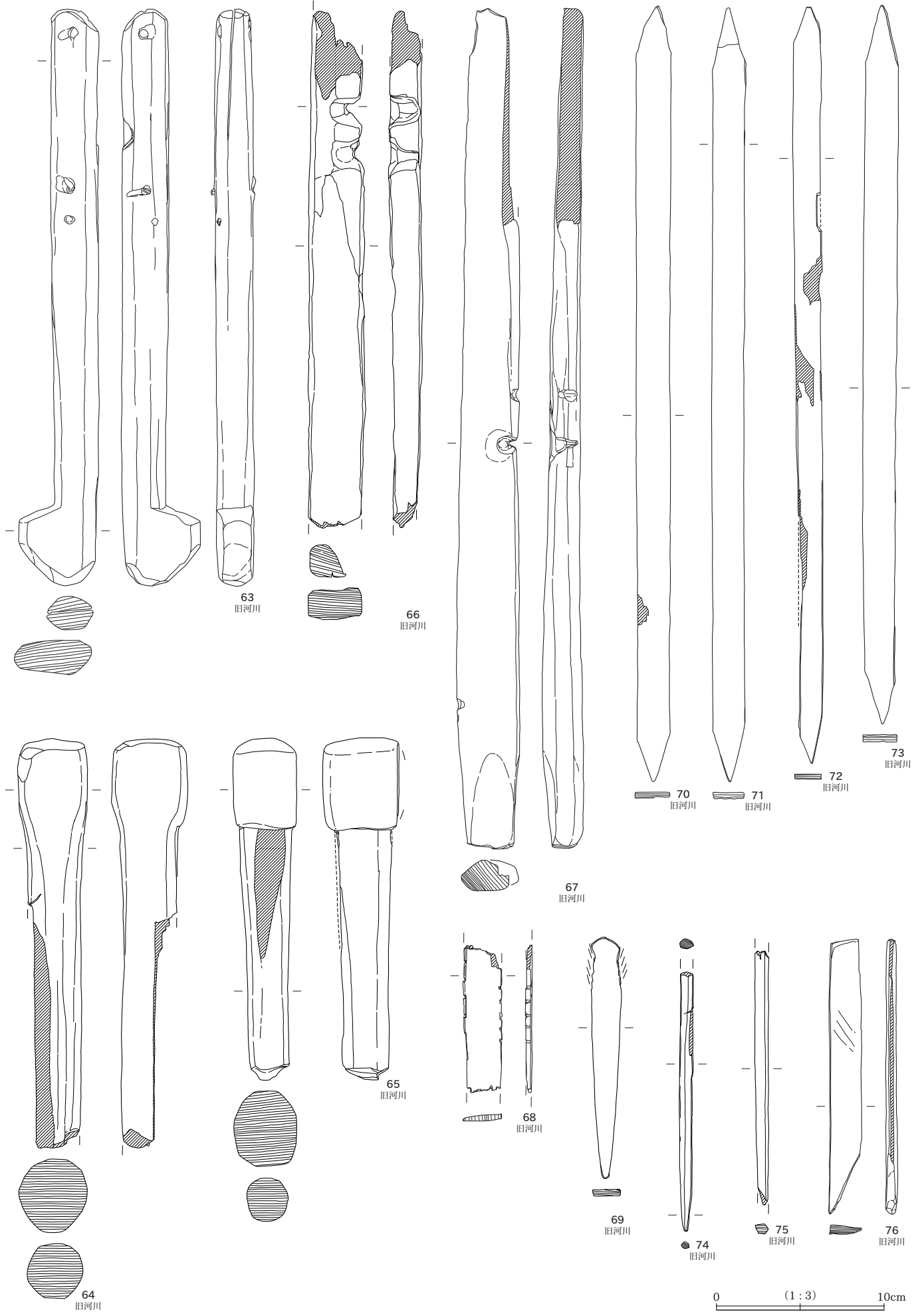


60  
旧河川



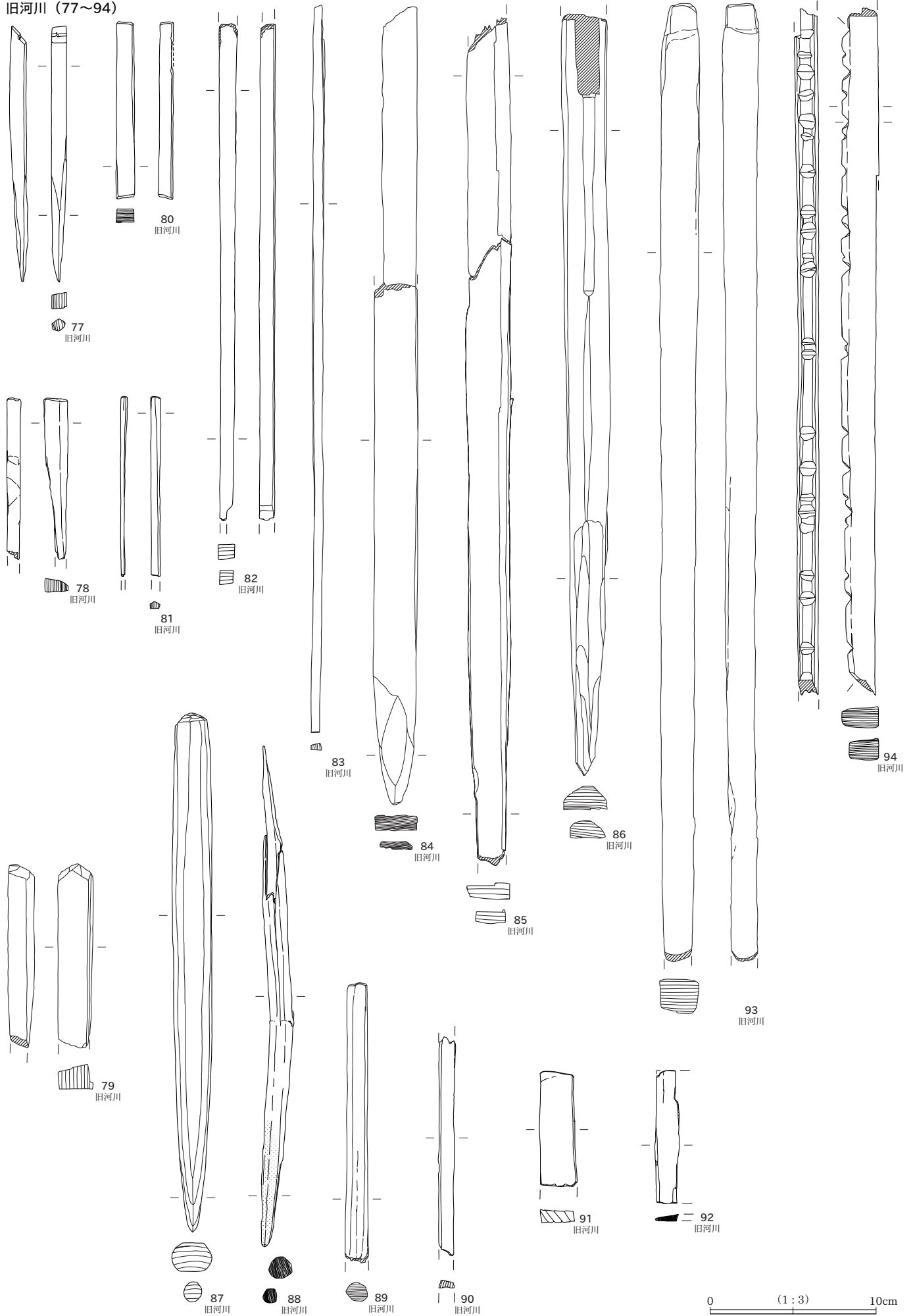
62  
旧河川

旧河川 (63~76)

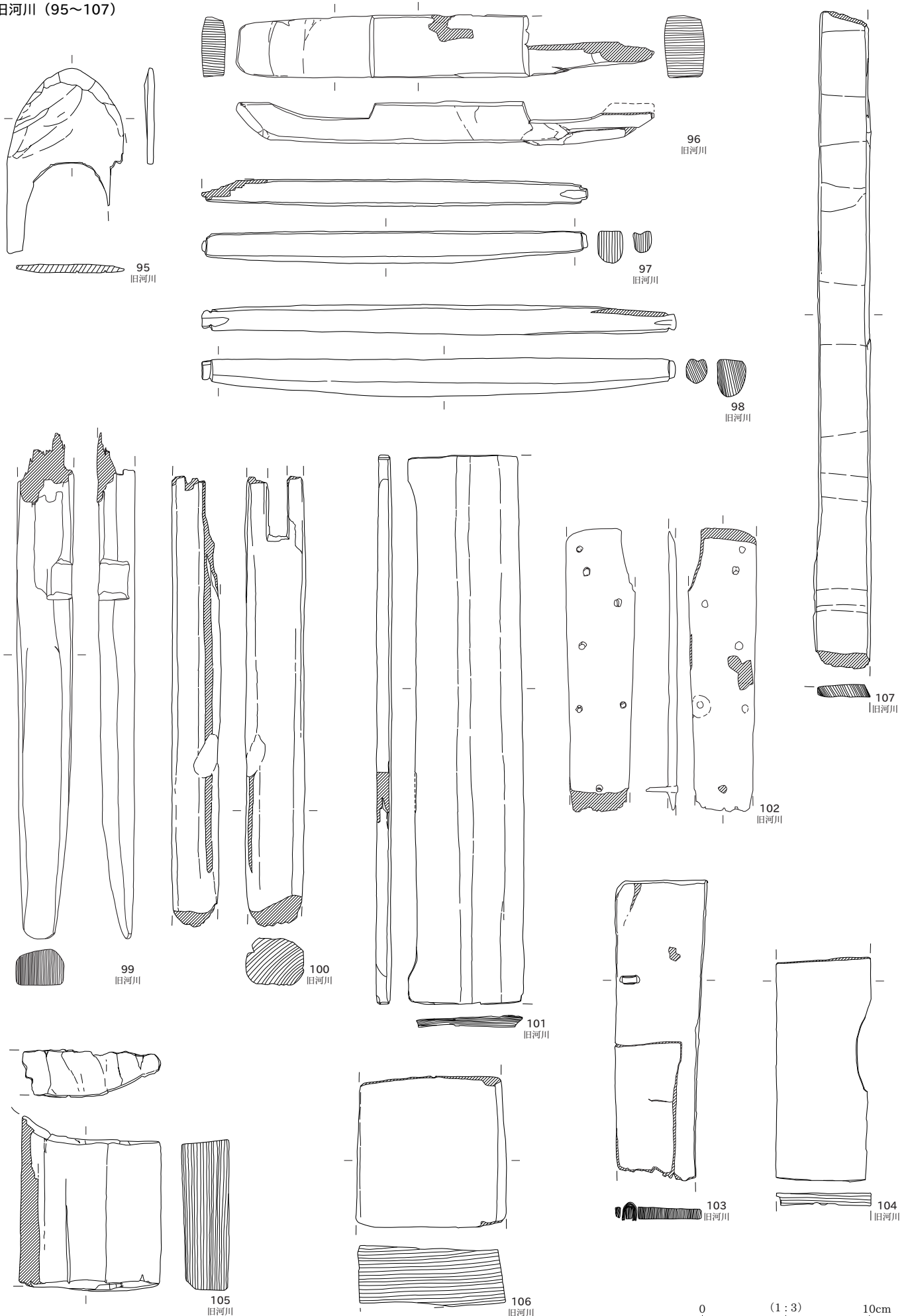




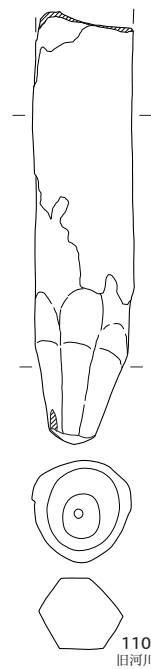
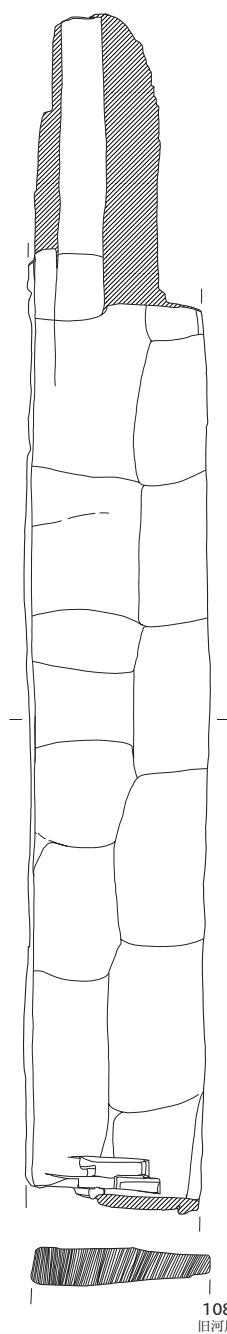
旧河川 (77~94)



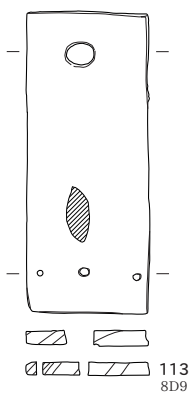
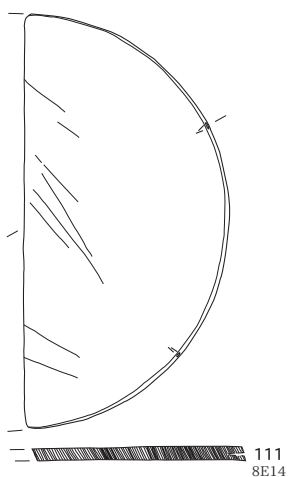
旧河川 (95~107)



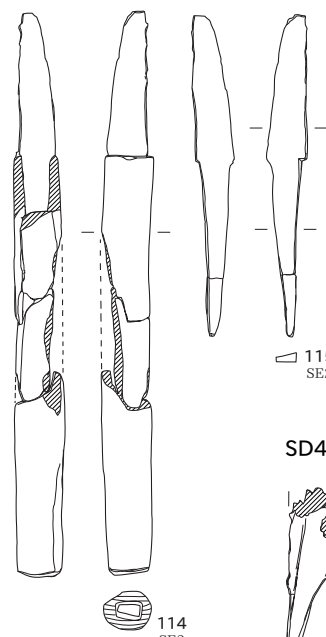
旧河川 (108~110)



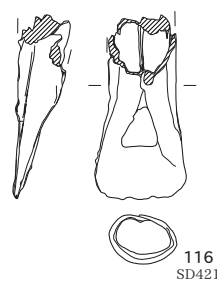
遺構外 (111~113)



SE2 (114・115)

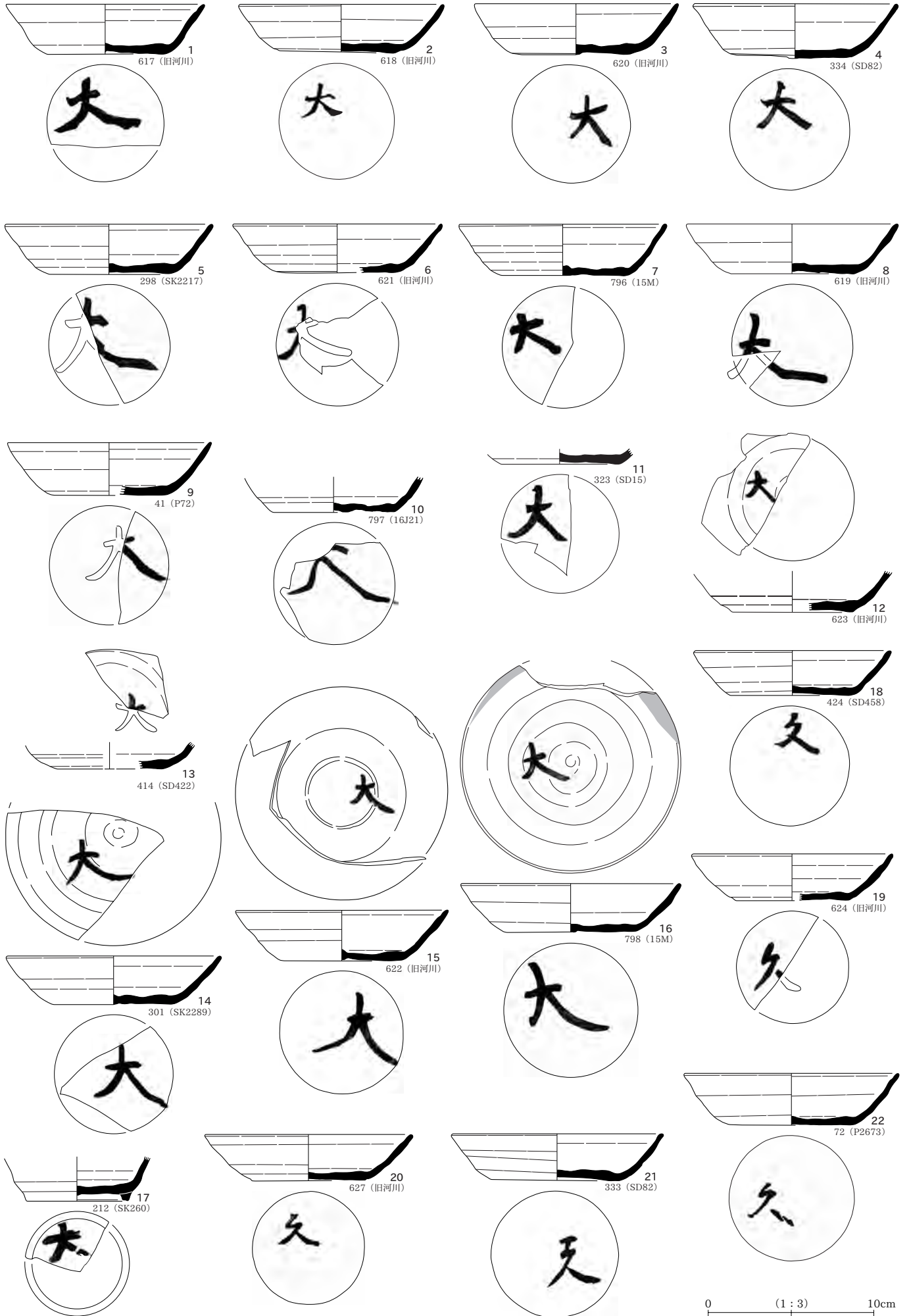


SD421 (116)



0 (1:3) 10cm

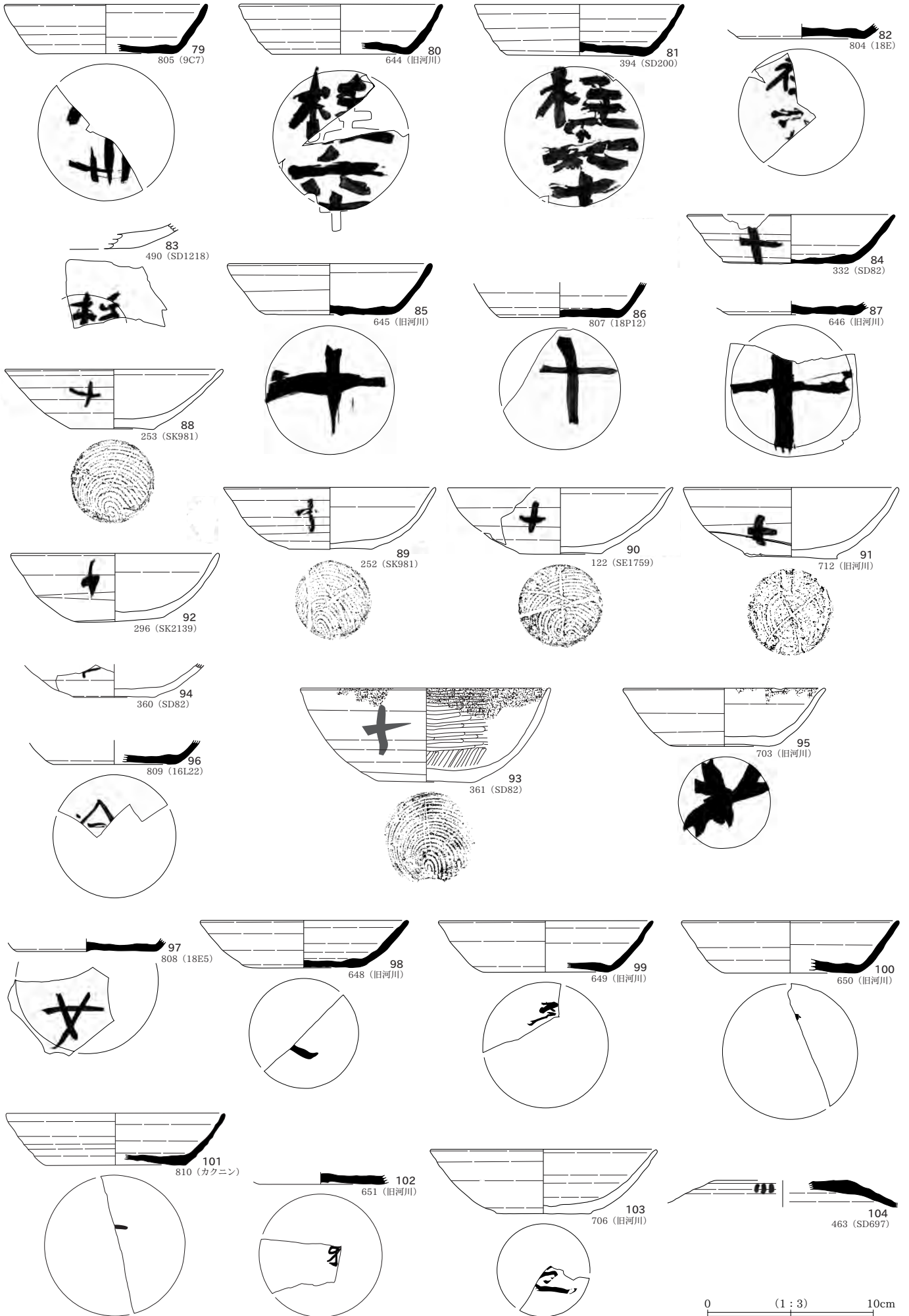


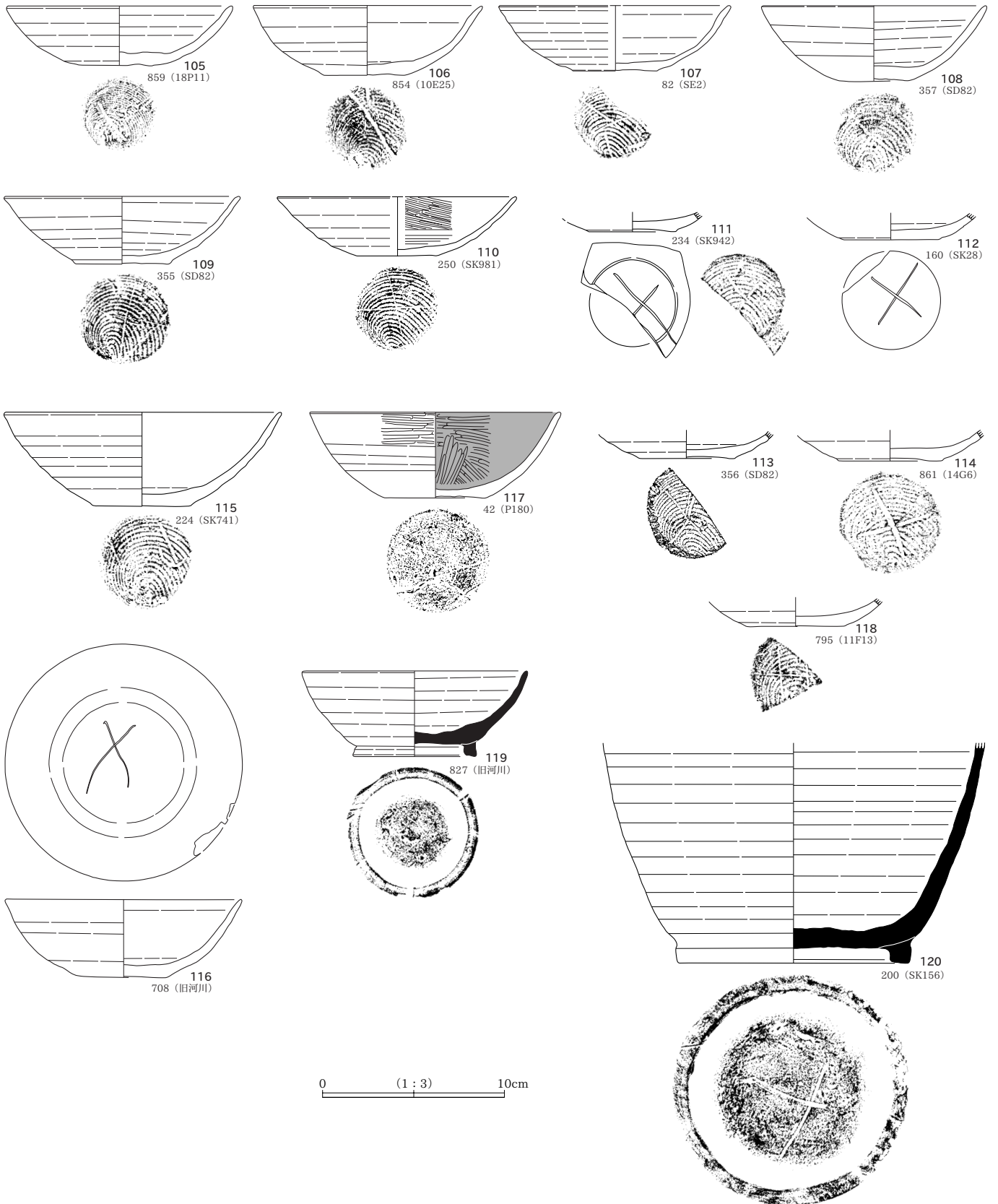






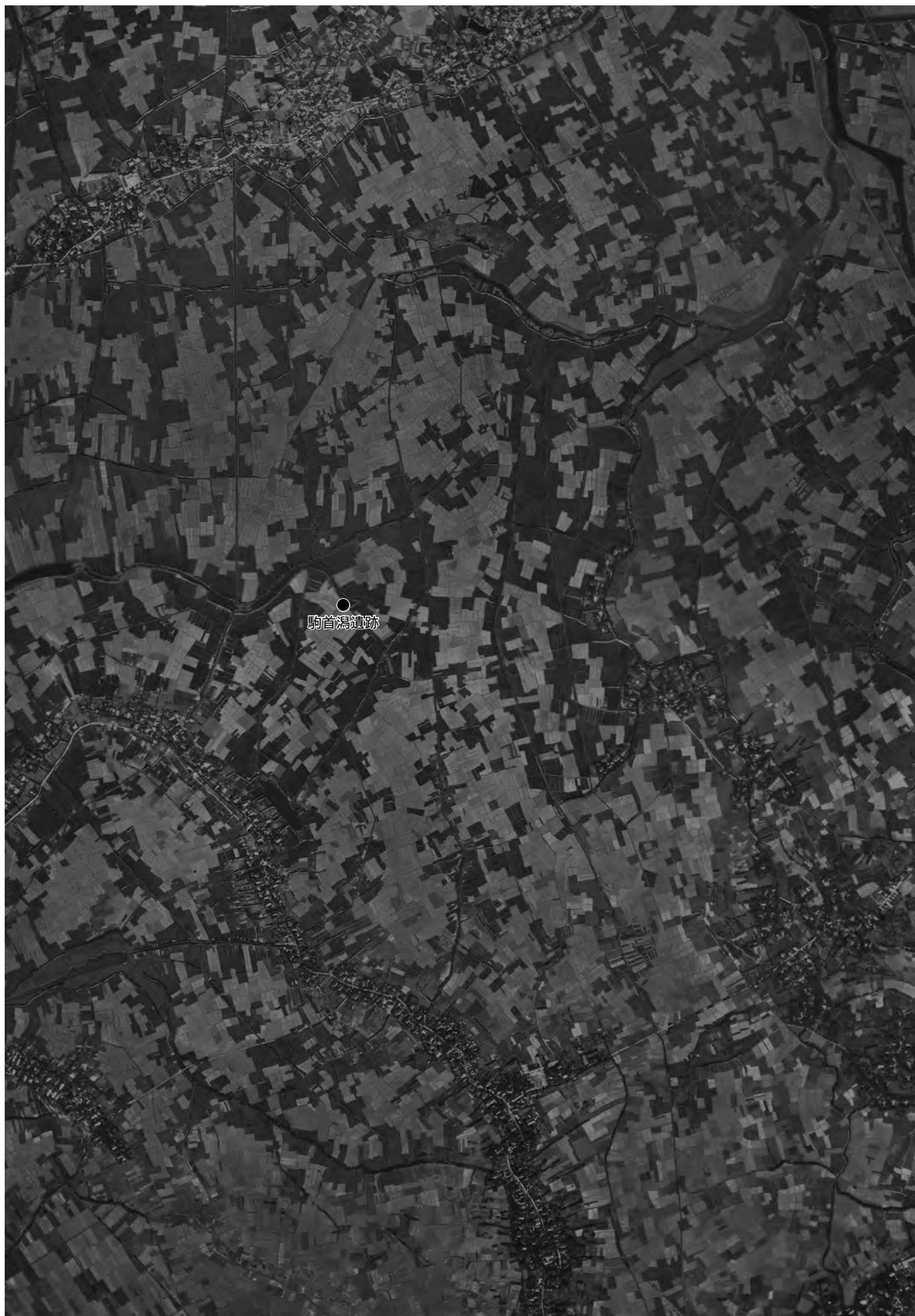






# 写真図版





駒首湯遺跡周辺空中写真

米軍撮影1948年



北東調査区全景空中写真（北北東から）



北西調査区SB3001・3002,テラス状遺構周辺（南南東から）



中央調査区SD82（手前）・SD606（奥）周辺（南南東から）



中央調査区SD606（手前）・SD82（奥）周辺（北北西から）





南東調査区近景空中写真（南東から）



南東隅調査区全景空中写真（東北東から）



SD102~114周辺 (南南東から)



テラス状遺構周辺 (南から)





駒首潟遺跡全景空中写真1（鳥屋野潟・日本海を望む）



駒首潟遺跡全景空中写真2（南西から）





駒首瀆遺跡全景空中写真3 (全調査区合成 上が北北西)





駒首潟遺跡全景空中写真4（北西から）



駒首潟遺跡全景空中写真5（東から）





SB3014,SA3051,SD421・2244周辺（東北東から）



SB3016,SD2101周辺（北西から）





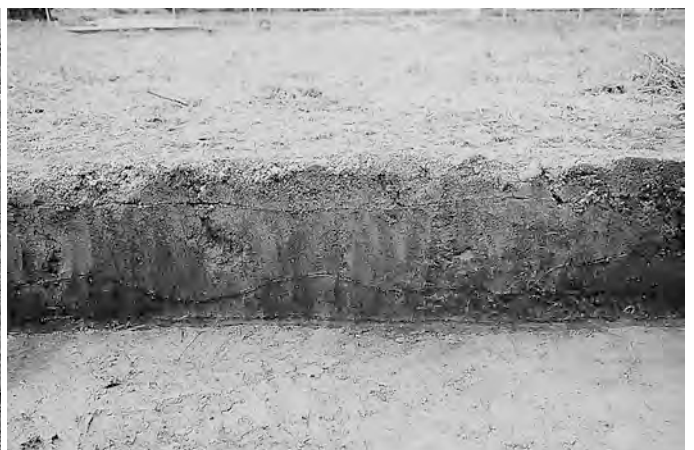
調査前近景 (西から)



調査前近景 (南側)



1T設置状況 (北東から)



基本層序 (a-a')



2T設置状況 (北東から)



基本層序 (b-b')



基本層序 (f-f'西側)



基本層序 (f-f'東側)





旧河川 (g-g' · h · i)



基本層序 (j · k · l · m · n)



旧河川 (o-o')



基本層序 (w-w' · x)



旧河川 (s-s')



基本層序 (p · q-q' · r)



基本層序 (c · d · e-e')



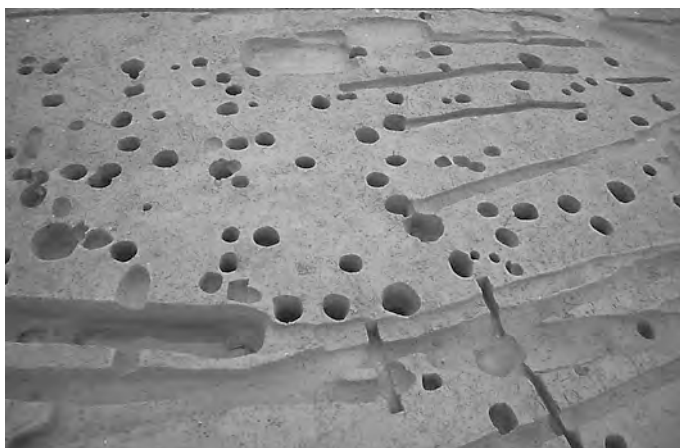
基本層序 (t · u · v)



SB3001完掘（南東から）



SB3003～3006完掘（南南東から）



SB3005・3006完掘（西南西から）



SB3007周辺完掘（北西から）



SB3007・3009・3010周辺完掘（北西から）



SB3009周辺完掘（北西から）



SB3010完掘（南西から）



SB3011完掘（北西から）



SB3012・3013完掘（北西から）



SB3014完掘（東北東から）



SB3017周辺完掘（南東から）



SB3018～3022・3024周辺完掘（南西から）



SE2土層断面



SE2遺物出土状況



SE2完掘（南から）



SE4土層断面





SE4完掘（東から）



SE9土層断面



SE9完掘（東から）



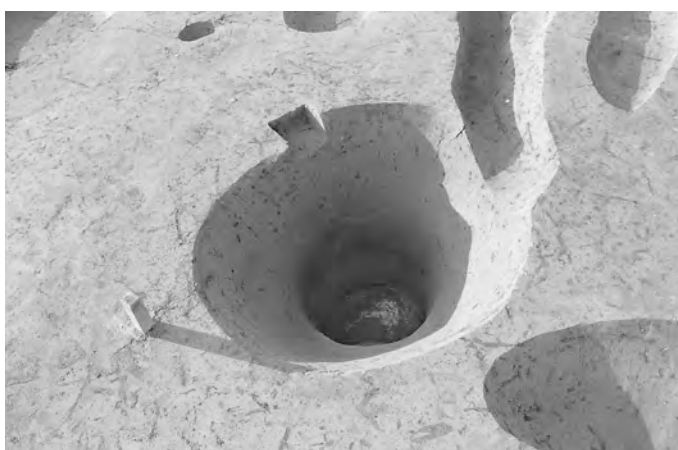
SE77土層断面



SE77完掘（北東から）



SE347土層断面



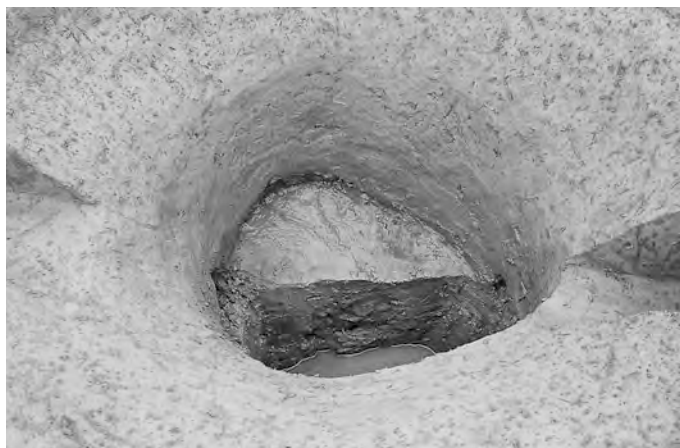
SE347完掘（南東から）



SE510土層断面



SE510完掘（南から）



SE521土層断面



SE521完掘（北東から）



SE602土層断面



SE602土層断面



SE603および周辺遺構（北東から）



SE708土層断面



SE708完掘（南から）





SE708遺物出土状況



SE708遺物出土状況 (図版142-19)



SE811完掘 (北東から)



SE984土層断面



SE983・2053土層断面



SE984土層断面



SE985完掘 (西から)



SE989土層断面



SE989完掘（北から）



SE1220土層断面



SE1220完掘（東から）



SE1348土層断面



SE1348完掘（南東から）



SE1759土層断面



SE1759完掘（東から）



SE2118土層断面



SE2357遺物出土状況



SE2357炭化物検出状況



SE2357完掘 (南から)



SE2563土層断面 (上層)



SE2563土層断面 (下層)



SE2563施設検出状況 (西から)



SE2563曲物検出状況



SK3土層断面





SK6土層断面



SK6完掘（西から）



SK10土層断面



SK10完掘（東から）



SK11土層断面



SK18完掘（北から）



SK20土層断面



SK21土層断面





SK21完掘（南から）



SK22遺物出土状況



SK22完掘（南から）



SK28土層断面



SK28完掘（南から）



SK35土層断面



SK74土層断面



SK75土層断面・遺物出土状況



SK75遺物出土状況



SK75完掘（南から）



SK76土層断面・遺物出土状況



SK85土層断面



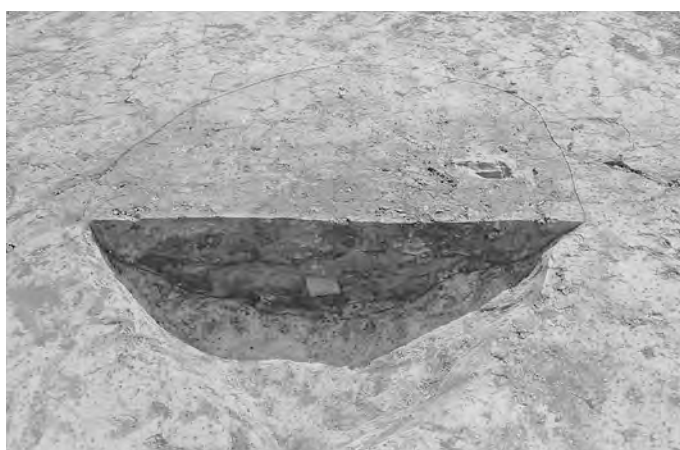
SK85完掘（南から）



SK86土層断面



SK87土層断面



SK141土層断面



SK141完掘（北東から）



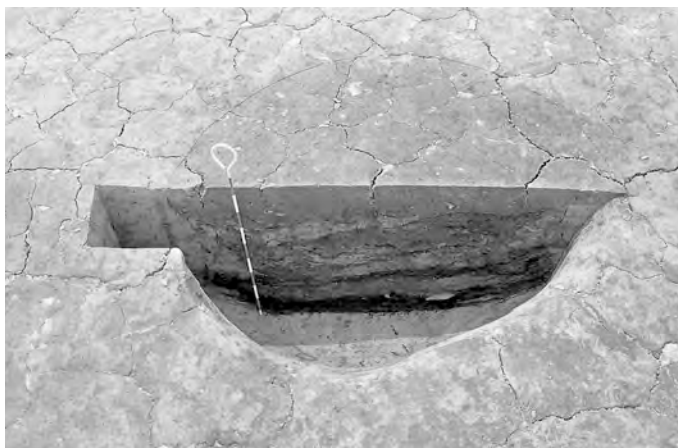
SK142土層断面



SK142遺物出土状況



SK142・1059・1291完掘（北東から）



SK143土層断面



SK143土層断面（下部）



SK148土層断面

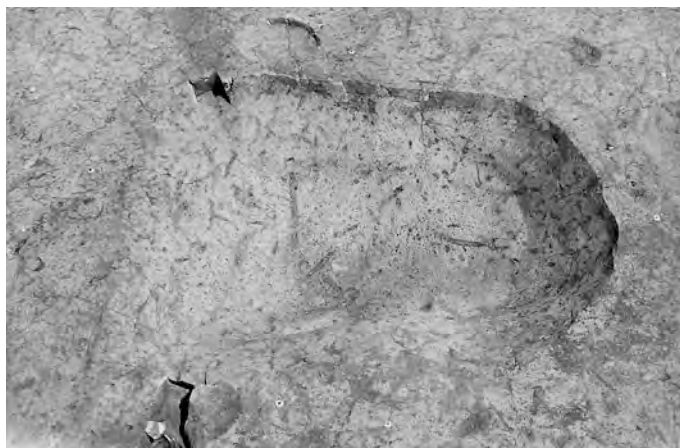


SK148・1256完掘（東から）

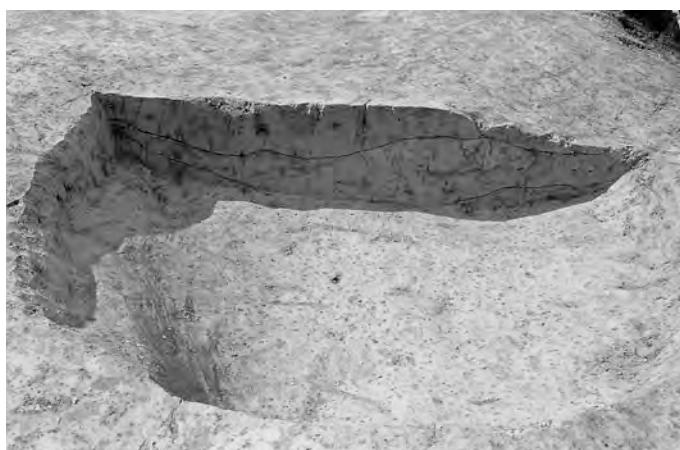




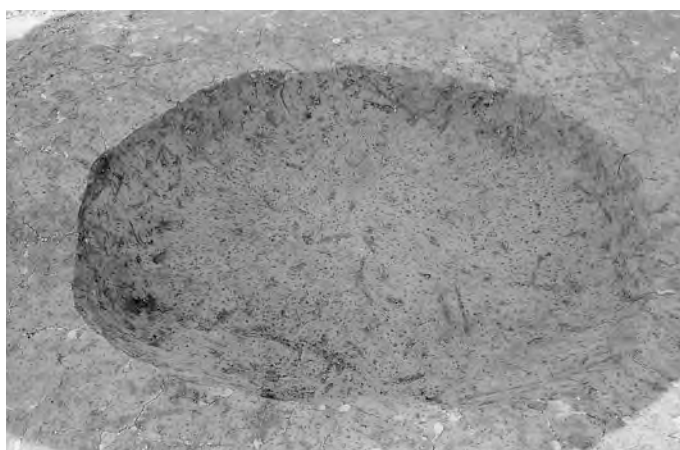
SK156土層断面・遺物出土状況



SK156完掘（南西から）



SK219土層断面



SK219完掘（南西から）



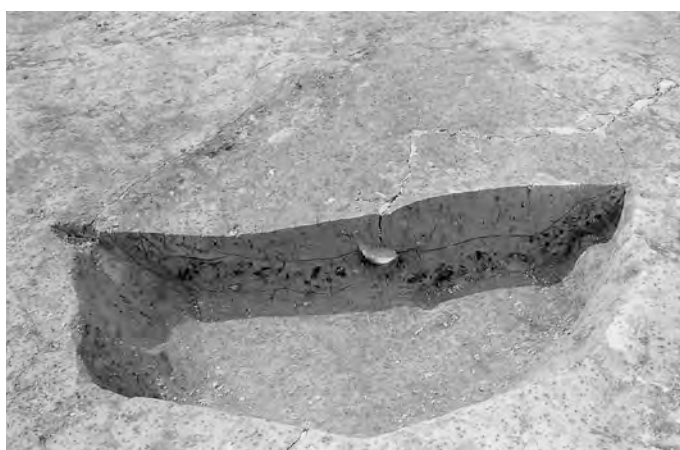
SK229土層断面



SK229完掘（西から）

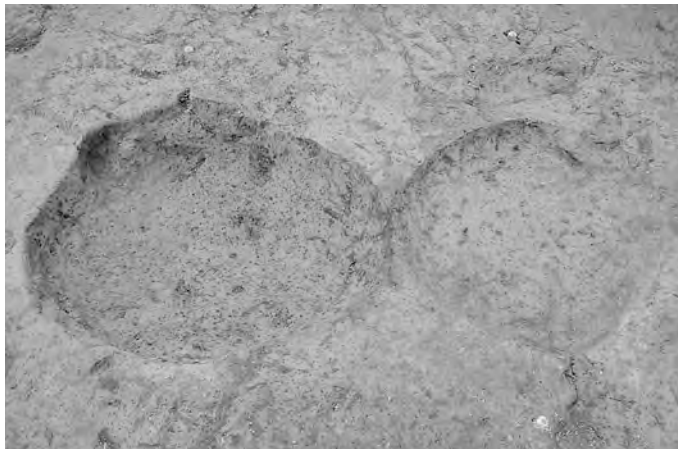


SK243・244土層断面



SK245土層断面





SK245・246完掘（北東から）



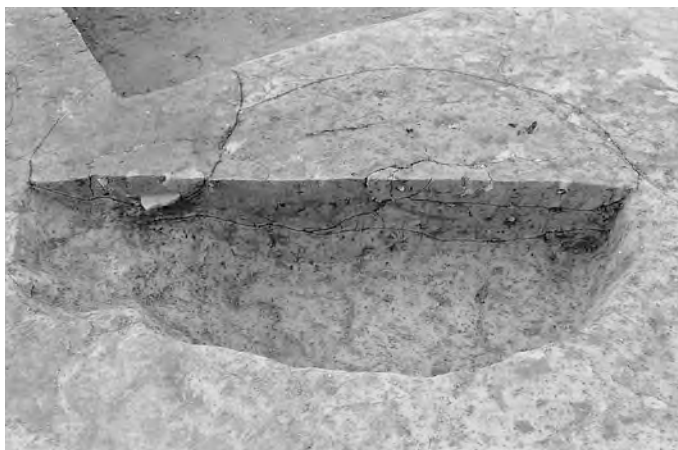
SK248土層断面



SK243・244および周辺遺構（南西から）



SK250土層断面



SK256土層断面



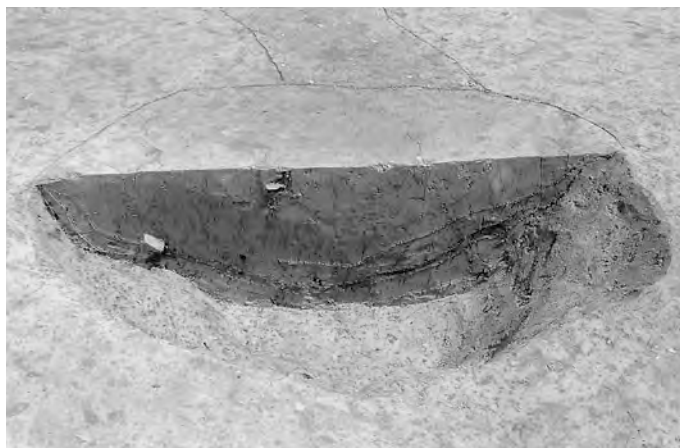
SK256完掘（南から）



SK257土層断面・遺物出土状況



SK257完掘（北西から）



SK260土層断面



SK260完掘（西から）



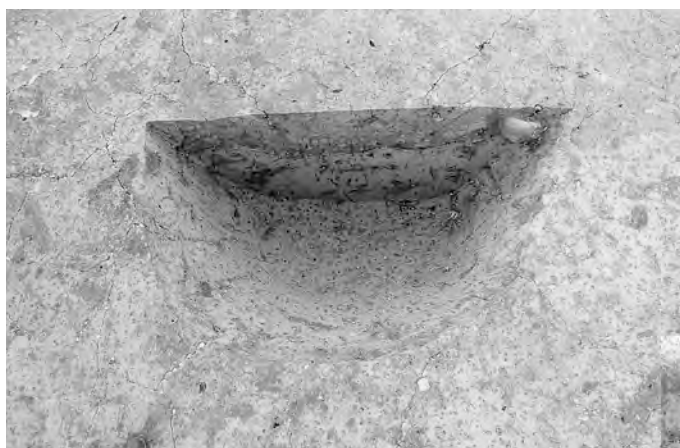
SK264土層断面



SK264完掘（北から）



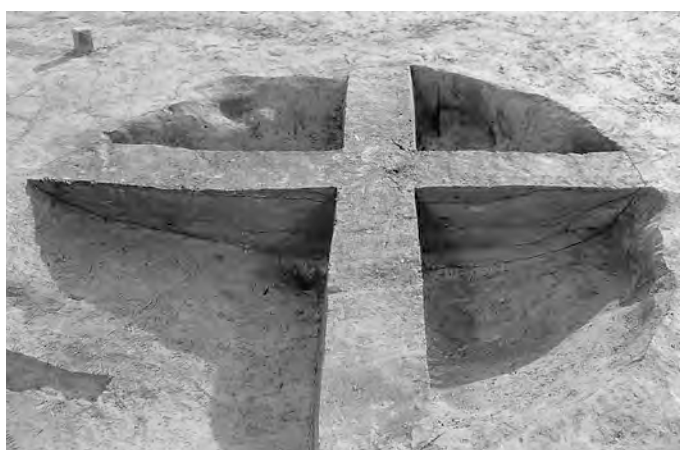
SK270土層断面



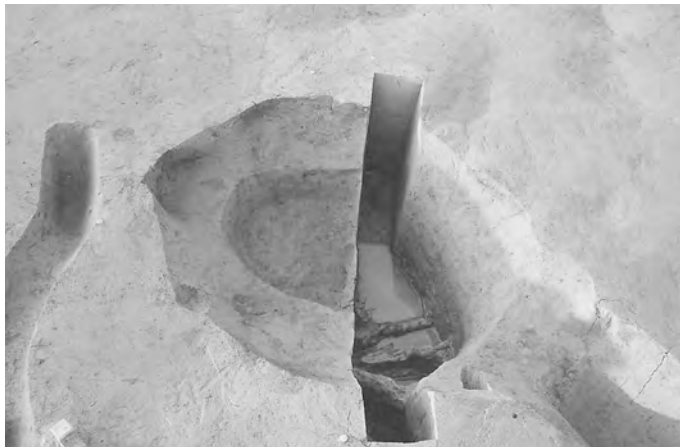
SK290土層断面



SK301南北土層断面



SK301東西土層断面



SK301完掘（南から）



SK304土層断面



SK393土層断面



SK393完掘（北西から）



SK424土層断面



SK428土層断面



SK447土層断面



SK605土層断面





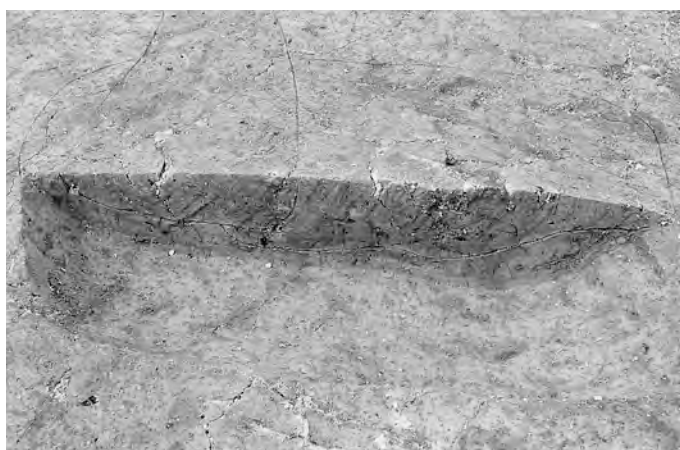
SK605および周辺遺構（南から）



SK609土層断面



SK609完掘（南から）



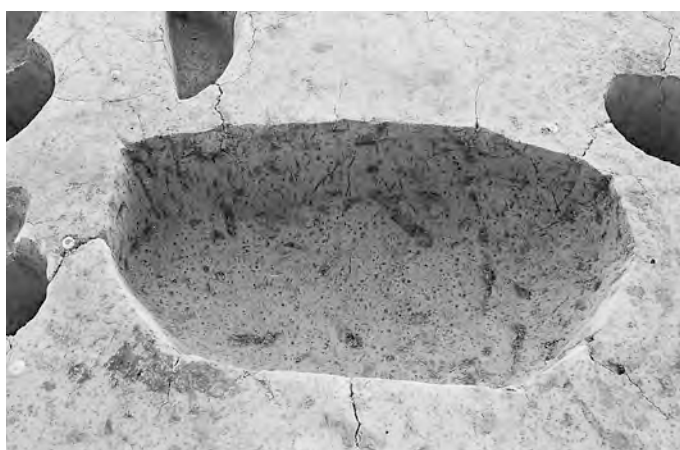
SK612土層断面



SK612完掘（北から）



SK625土層断面



SK625完掘（東から）



SK638土層断面

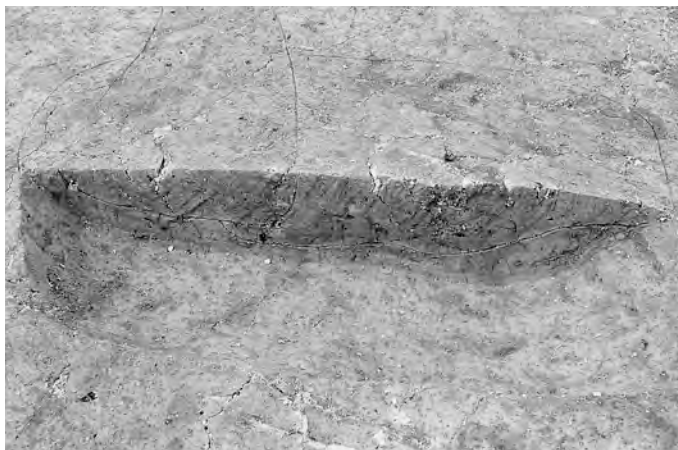




SK650完掘（東から）



SK661土層断面



SK685土層断面



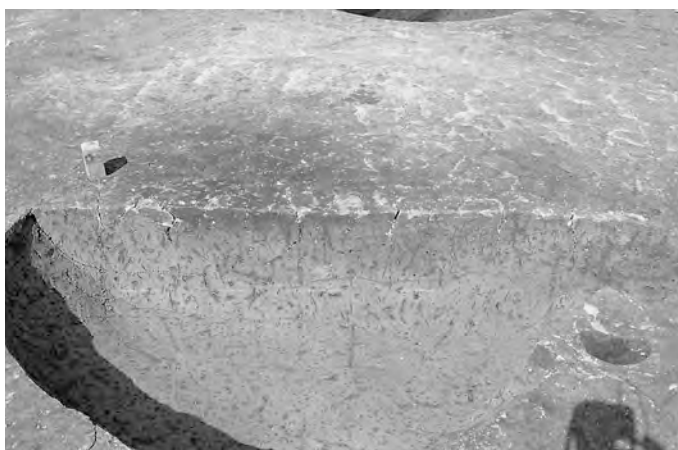
SK687土層断面



SK687完掘（北から）



SK685・688完掘（北東から）



SK707土層断面



SK707完掘（東から）



SK724土層断面



SK736土層断面



SK741土層断面



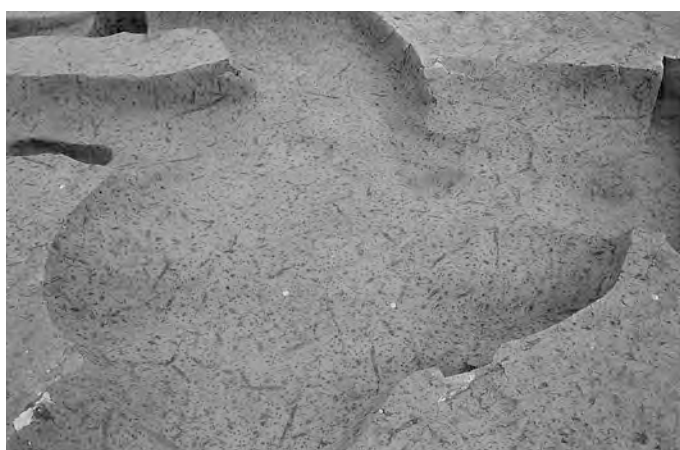
SK741完掘 (北から)



SK749土層断面



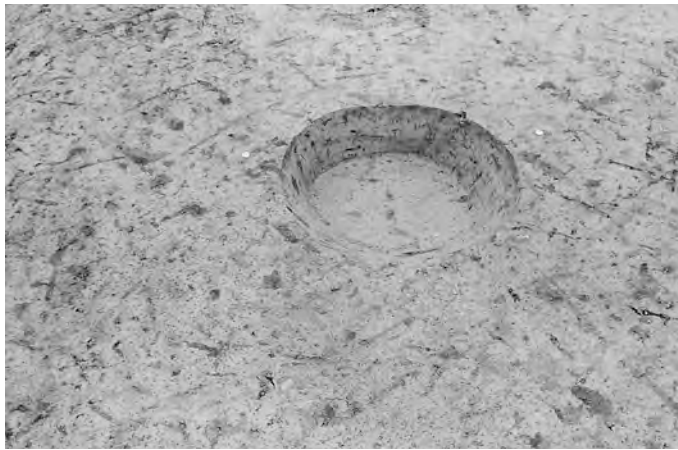
SK749完掘 (北東から)



SK790完掘 (南東から)



SK821土層断面



SK821完掘（北から）



SK941北側土層断面



SK941南側土層断面



SK941完掘（北西から）



SK942全体土層断面



SK942南側土層断面



SK942北側土層断面

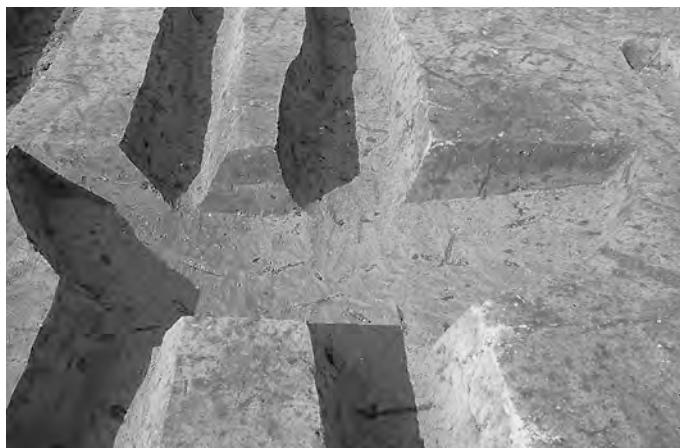


SK942完掘（北西から）





SK963土層断面



SK979土層断面



SK981土層断面



SK981完掘 (東から)



SK990土層断面



SK1008土層断面

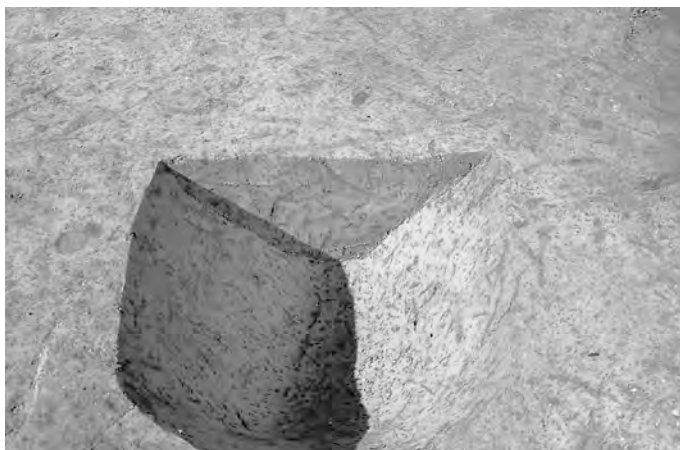


SK1044土層断面

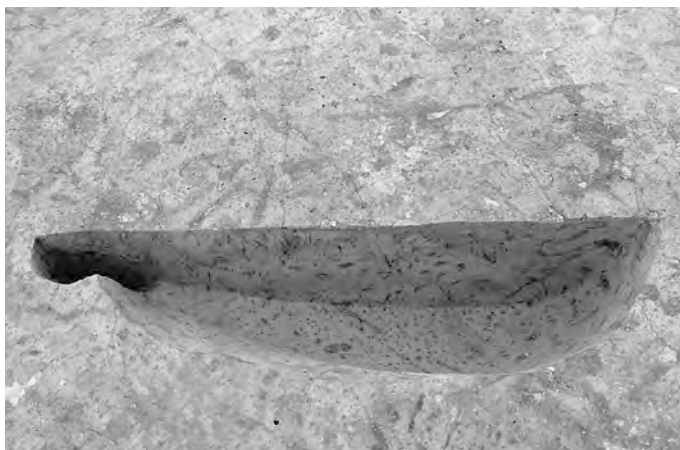


SK1044完掘 (東から)





SK1052土層断面



SK1057土層断面



SK1059土層断面



SK1073土層断面



SK1052・1073完掘 (南東から)



SK1093土層断面



SK1093および周辺遺構 (南東から)



SK1105土層断面



SK1105完掘 (南東から)



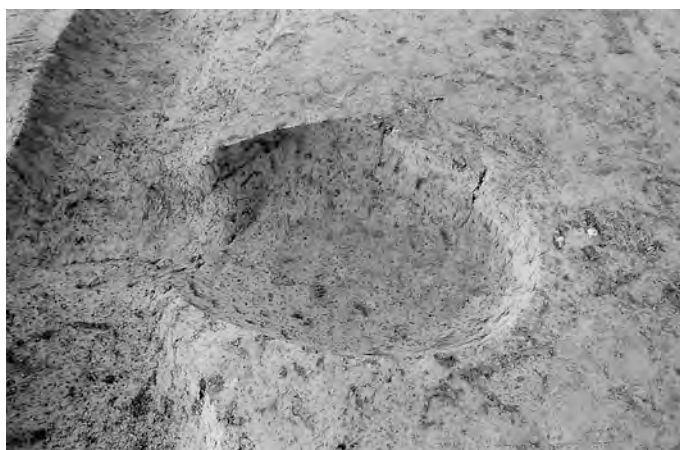
SK1126土層断面



SK1201土層断面



SK1201および周辺遺構 (南から)



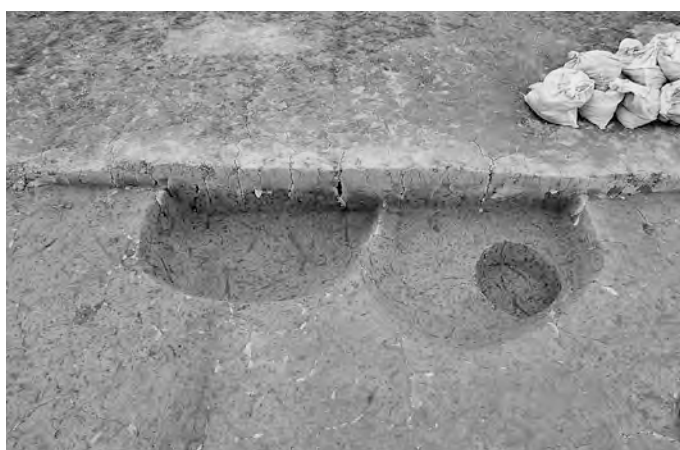
SK1203完掘 (南から)



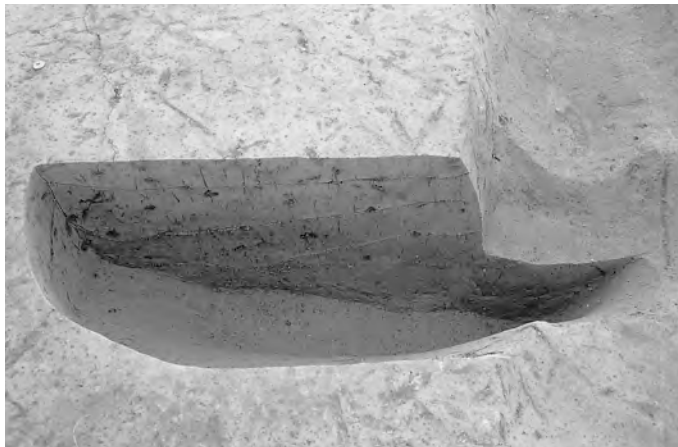
SK1210土層断面



SK1212・1213土層断面



SK1212・1213完掘 (南から)



SK1217土層断面



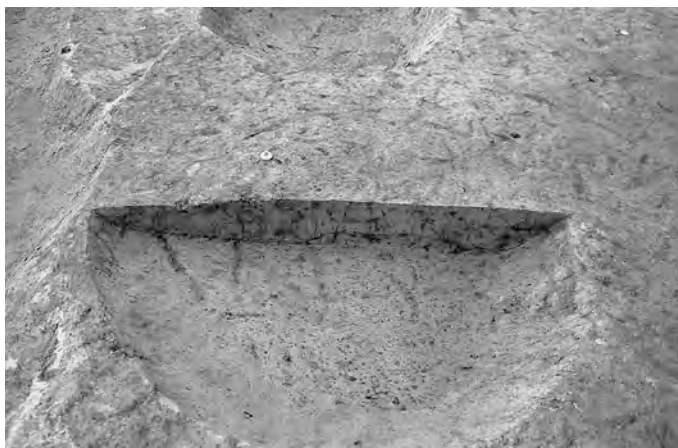
SK1217完掘 (南から)



SK1254土層断面



SK1256土層断面



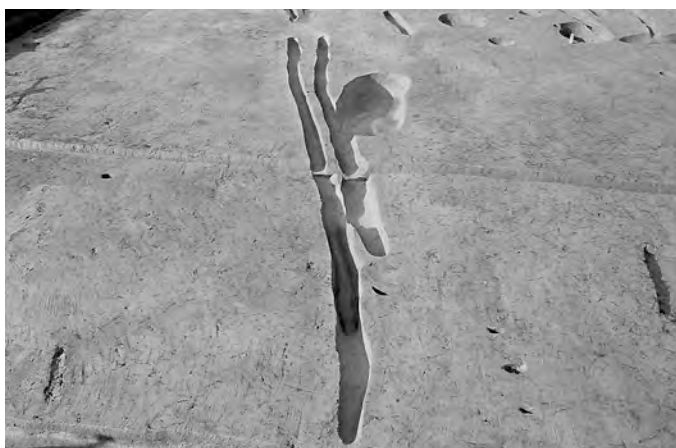
SK1260土層断面



SK1210・1260完掘 (南から)



SK1266土層断面



SK1266および周辺遺構 (南から)





SK1271土層断面



SK1272土層断面



SK1272完掘 (東から)



SK1277土層断面



SK1280完掘 (西から)



SK1079・1282および周辺遺構 (南東から)



SK1287土層断面

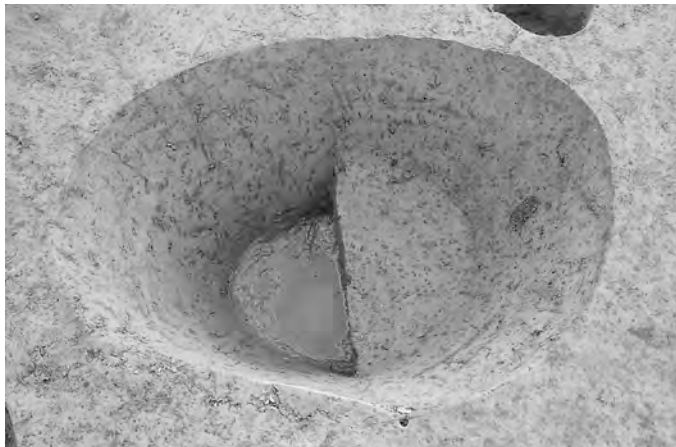


SK1287完掘 (南から)





SK1408土層断面



SK1408完掘 (北から)



SK1744土層断面



SK1744および周辺遺構 (南から)



SK1754土層断面



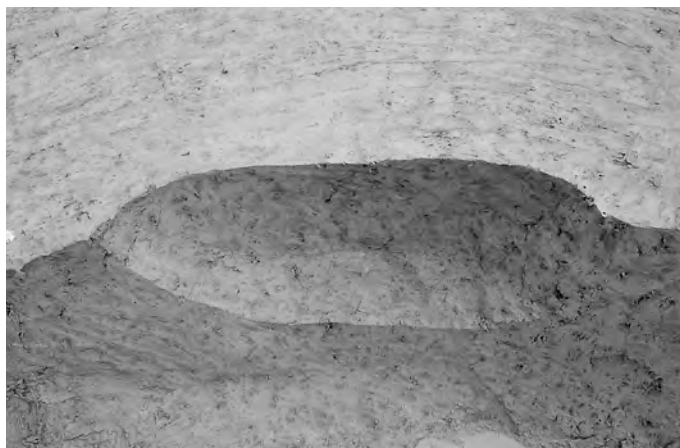
SK1754完掘 (南から)



SK1774土層断面



SK1774完掘 (南から)



SK1819完掘（北西から）



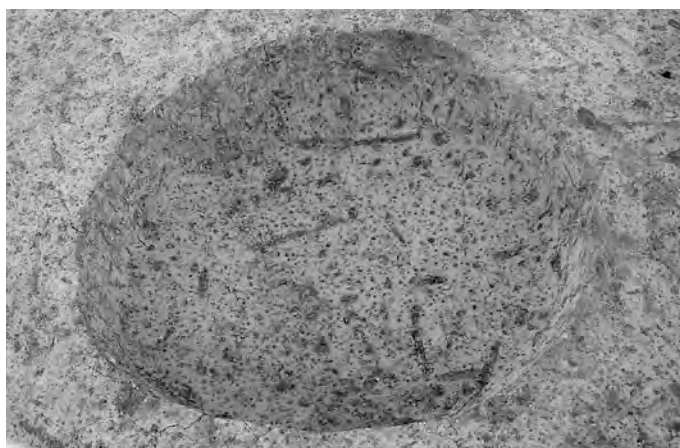
SK1820土層断面



SK1820完掘（西から）



SK1957土層断面



SK1957完掘（北西から）



SK1958土層断面

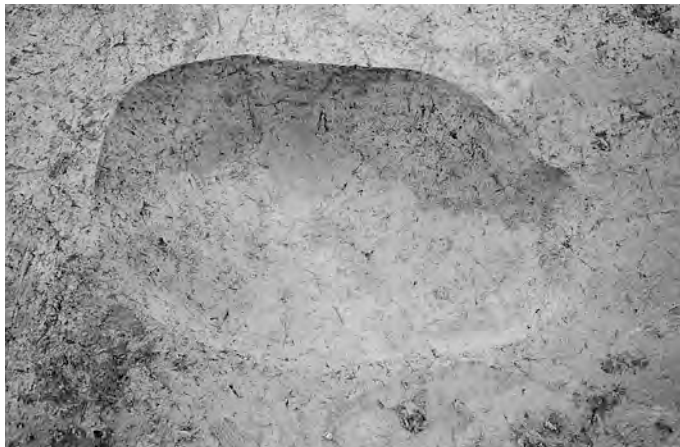


SK1958完掘（南西から）



SK1965土層断面





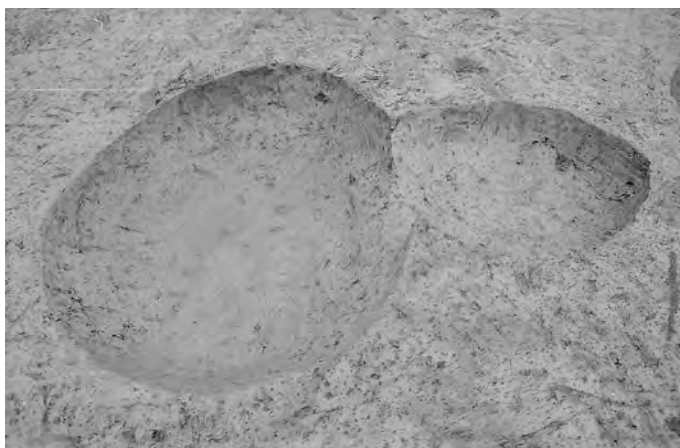
SK1965完掘（西から）



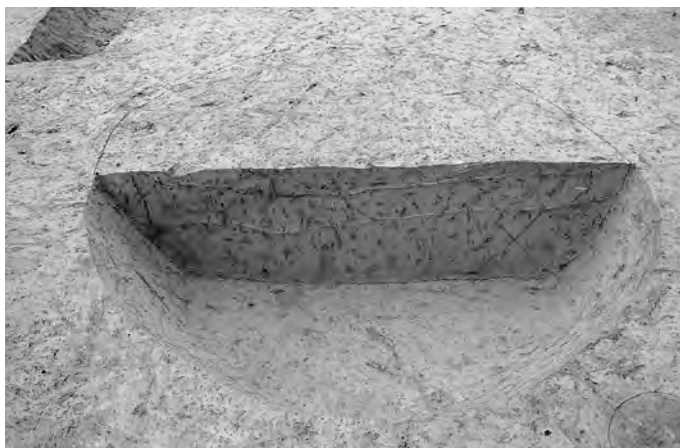
SK1966土層断面



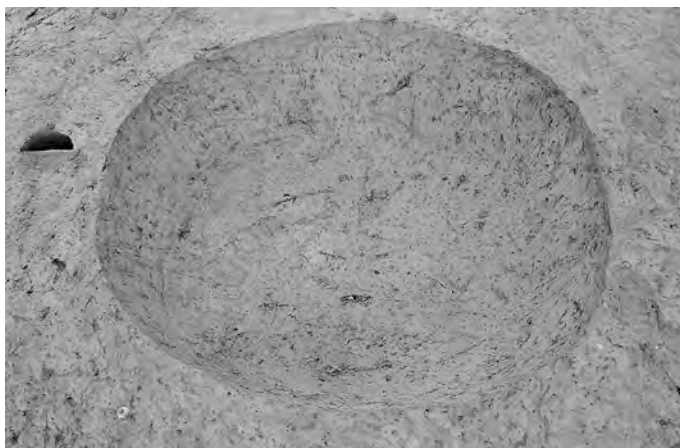
SK1978土層断面



SK1978 · P1979完掘（西から）



SK1982土層断面



SK1982完掘（西から）



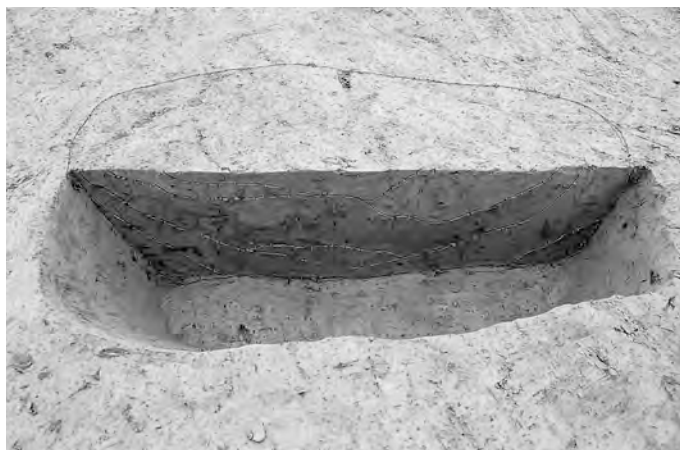
SK2031土層断面



SK2031完掘（北西から）



SK2050完掘（北東から）



SK2060土層断面



SK2076土層断面



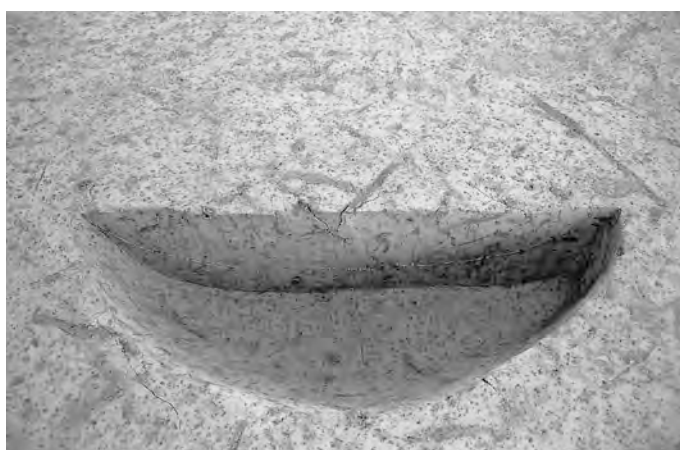
SK2090土層断面



SK2123土層断面



SK2123完掘（南から）

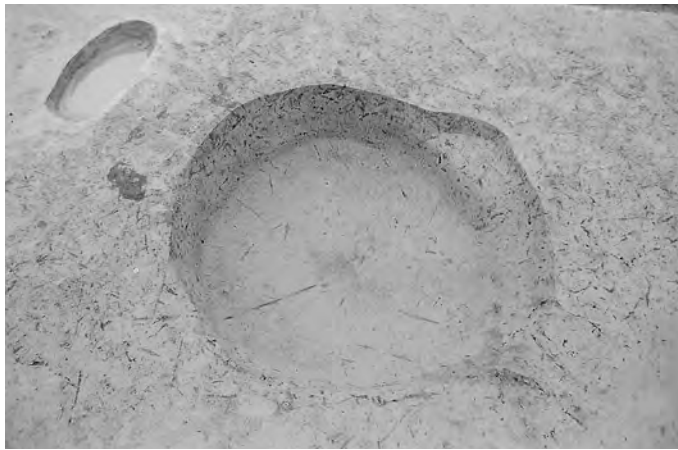


SK2125土層断面



SK2134土層断面





SK2134完掘（東から）



SK2139土層断面



SK2140土層断面



SK2140完掘（北から）



SK2159土層断面



SK2139・2172完掘（南から）



SK2200土層断面



SK2200完掘（北から）



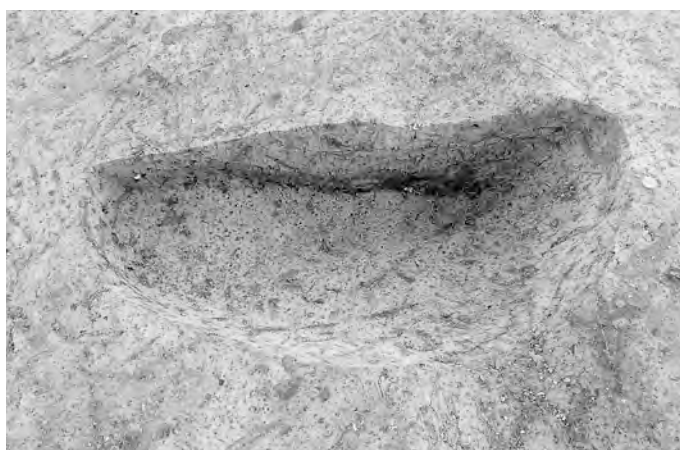
SK2217土層断面



SK2225土層断面



SK2260土層断面



SK2289土層断面



SK2303土層断面



SK2303完掘（北西から）



SK2336土層断面

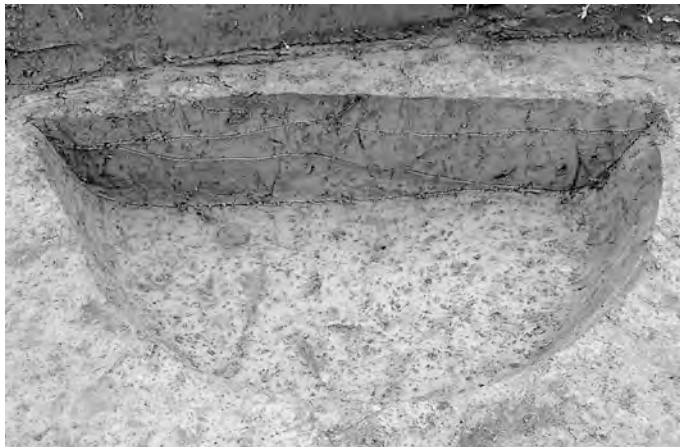


SK2430・2440土層断面





SK2430・2440完掘（東から）



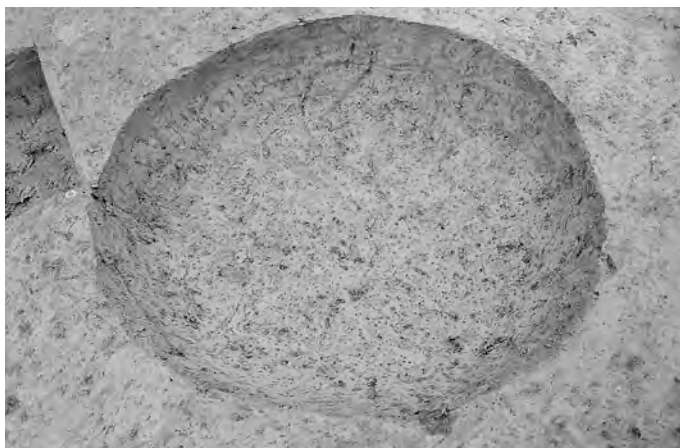
SK2455土層断面



SK2455完掘（南から）



SK2460土層断面



SK2460完掘（北東から）



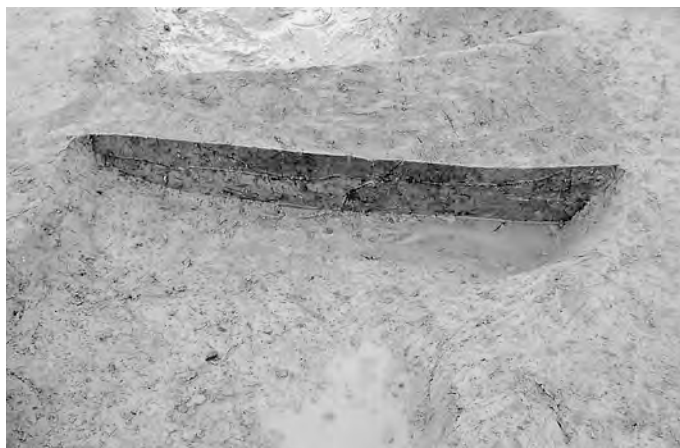
SK2465完掘（北西から）



SK2500土層断面



SK2500完掘（北から）



SK2508土層断面



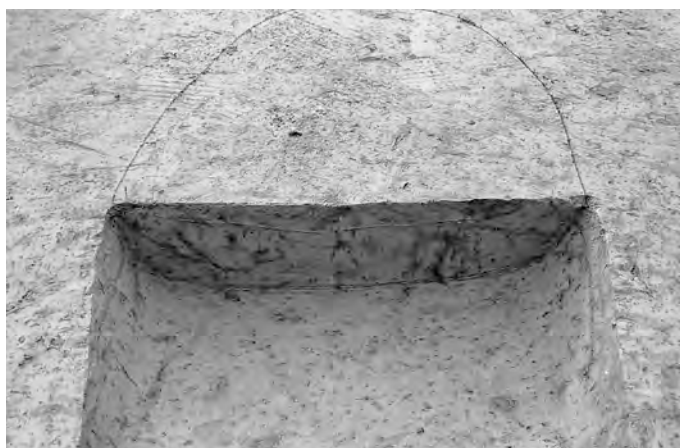
SK2508・2526完掘（北から）



SK2635土層断面



SK2637土層断面



SK2771土層断面



SK2801土層断面



SK2801および周辺遺構（南東から）



SK2807土層断面

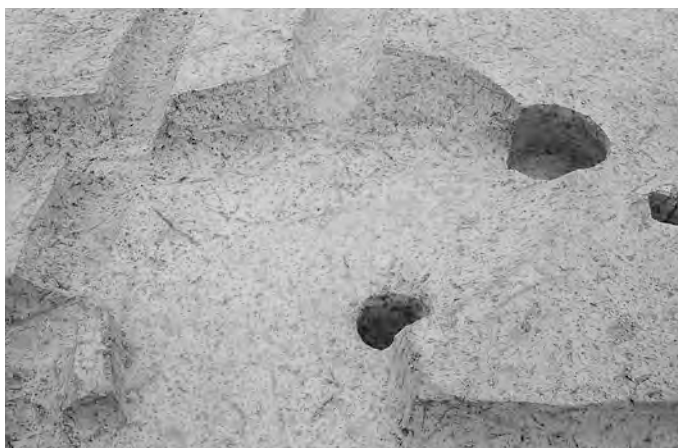




SK2841土層断面



SK2906土層断面



SK2906完掘 (南から)



SK2907土層断面



SK2907完掘 (南から)



SD15土層断面



SD15完掘 (南から)



SD34土層断面



SD82土層断面



SD82遺物出土状況



SD200土層断面



SD200完掘（南西から）



SD297土層断面・遺物出土状況



SD606土層断面1（東側）



SD606土層断面2（西側）





SD607土層断面



SD607遺物出土状況



SD697土層断面



SD1060土層断面



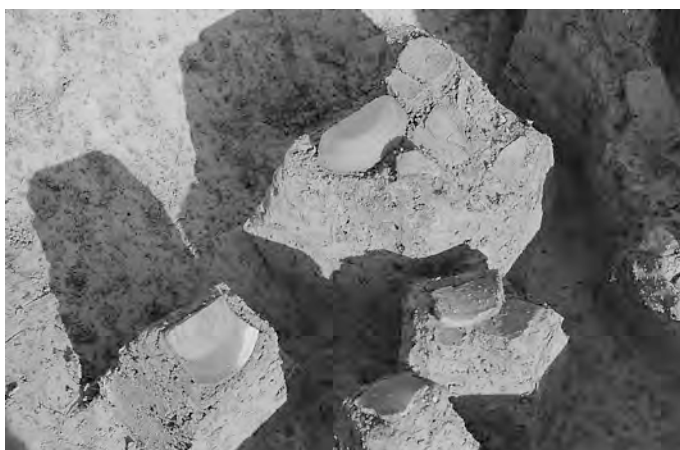
SD1216・1218土層断面



SD1344土層断面



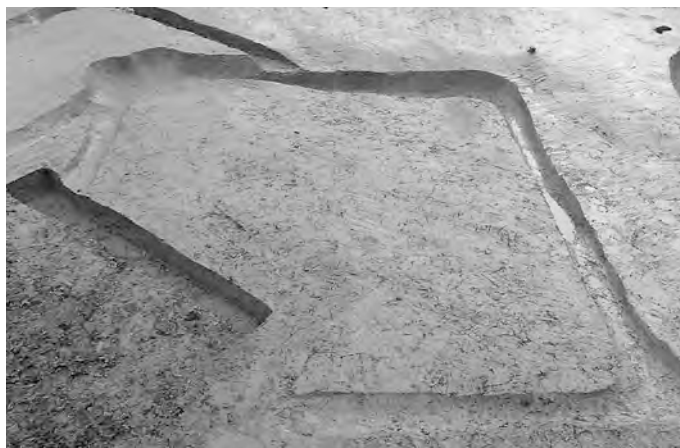
SD1700土層断面



SD1700遺物出土状況



SD1805完掘（北東から）



SD1806完掘（北東から）



SD1913土層断面



SD2056土層断面



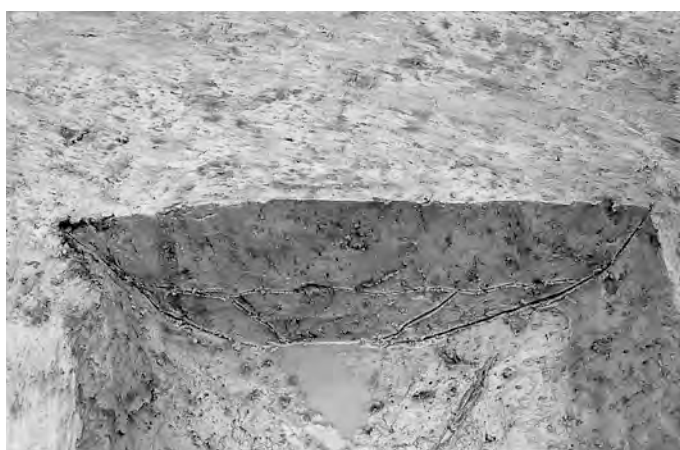
SD2101土層断面



SD2107土層断面



SD2426土層断面



SD2475土層断面





SD2844土層断面



SD2930遺物出土状況



SX118土層断面



SX119土層断面



SX121土層断面



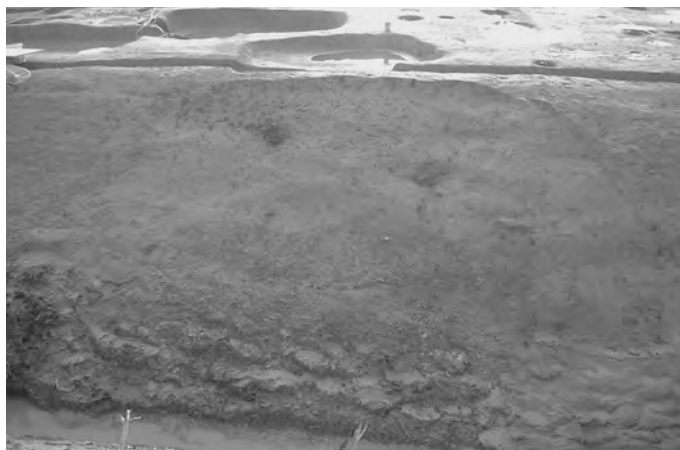
SX307土層断面



SX1330土層断面



SX2029土層断面



SX2029完掘（北東から）



SX2030完掘（北東から）



SX2294土層断面



SX4004土層断面



SX4004完掘（北西から）



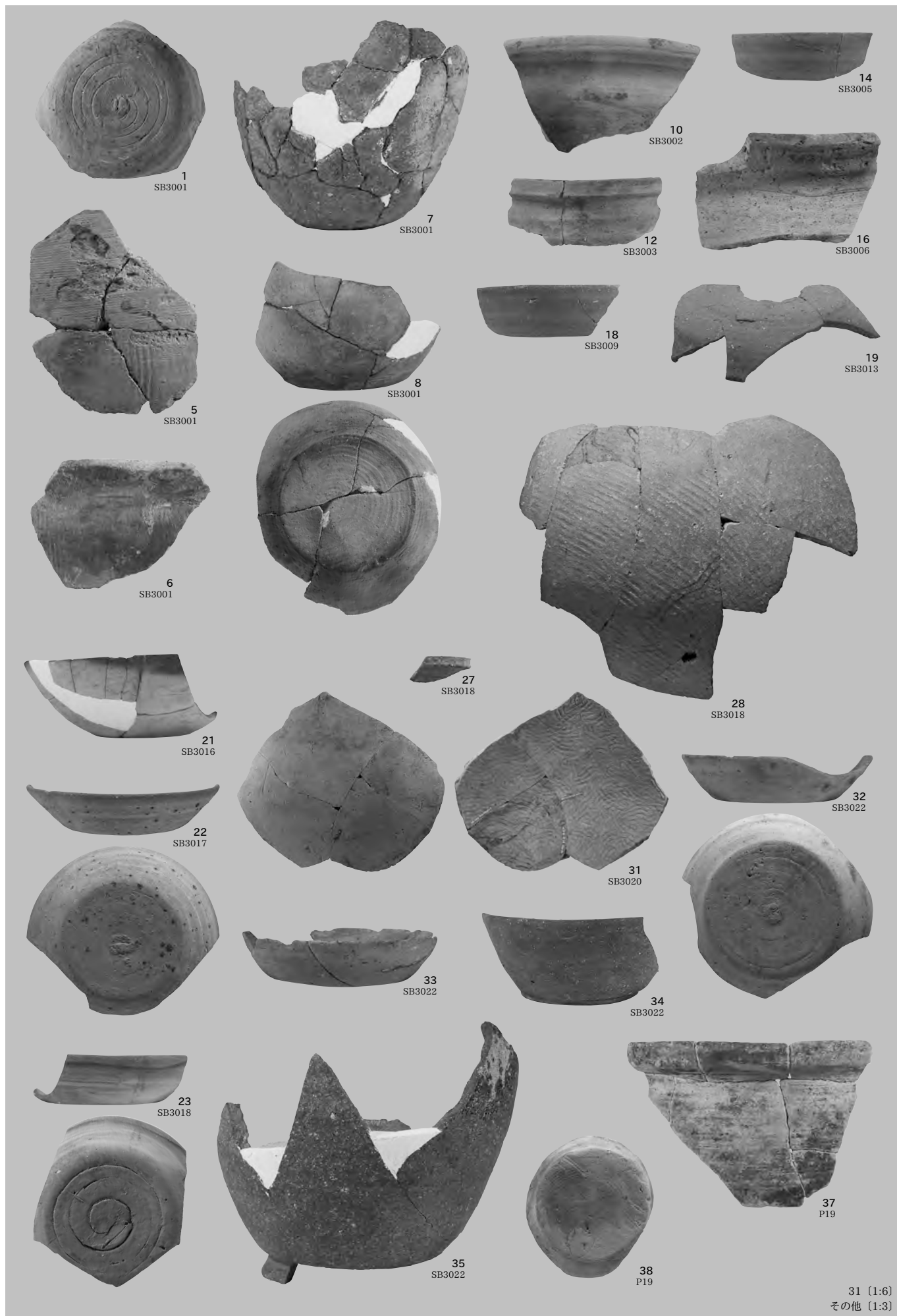
テラス状遺構完掘（南から）



2b区東側近世以降遺構完掘1（南から）



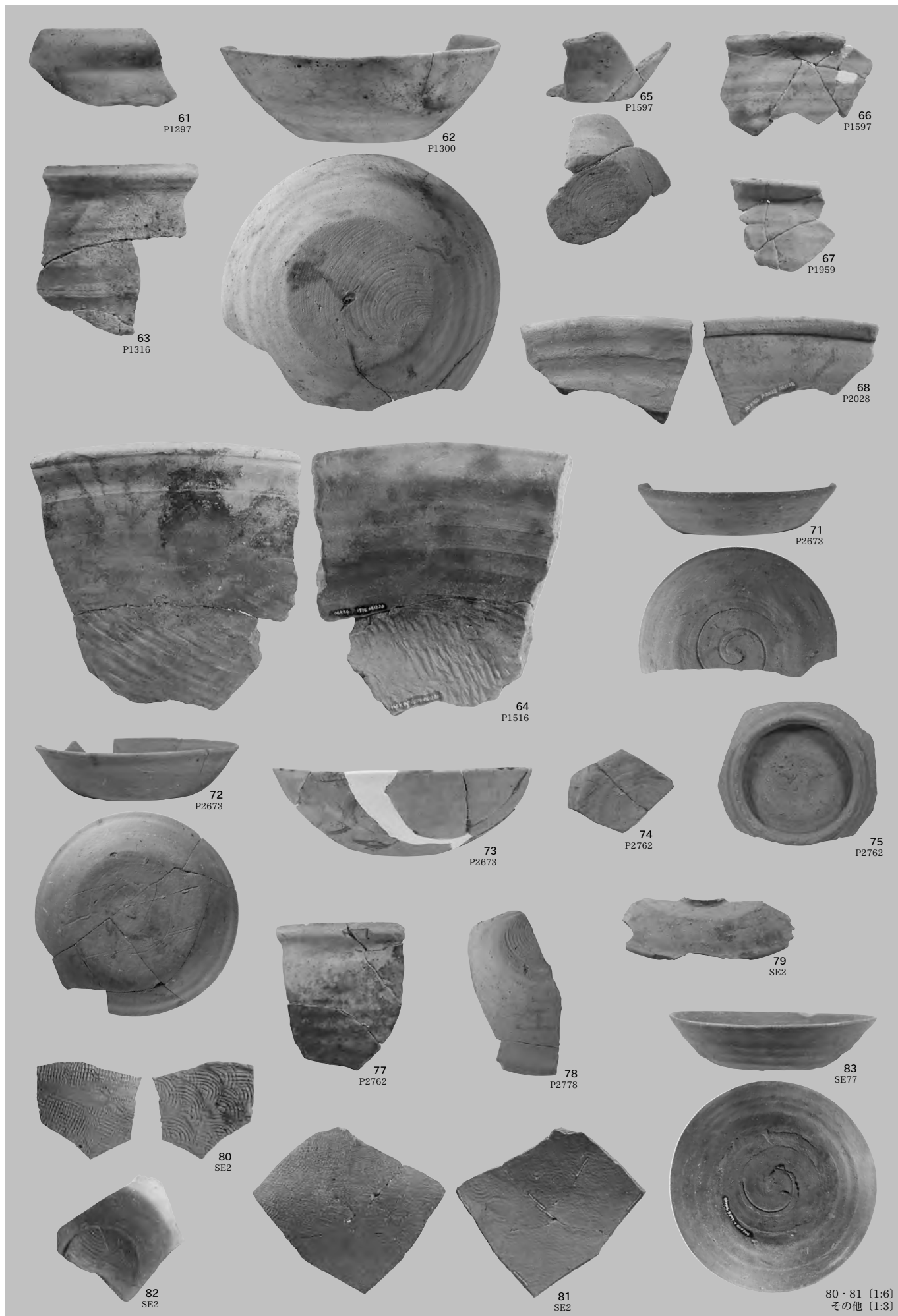
2b区西側近世以降遺構完掘2（南から）



31 [1:6]  
その他 [1:3]

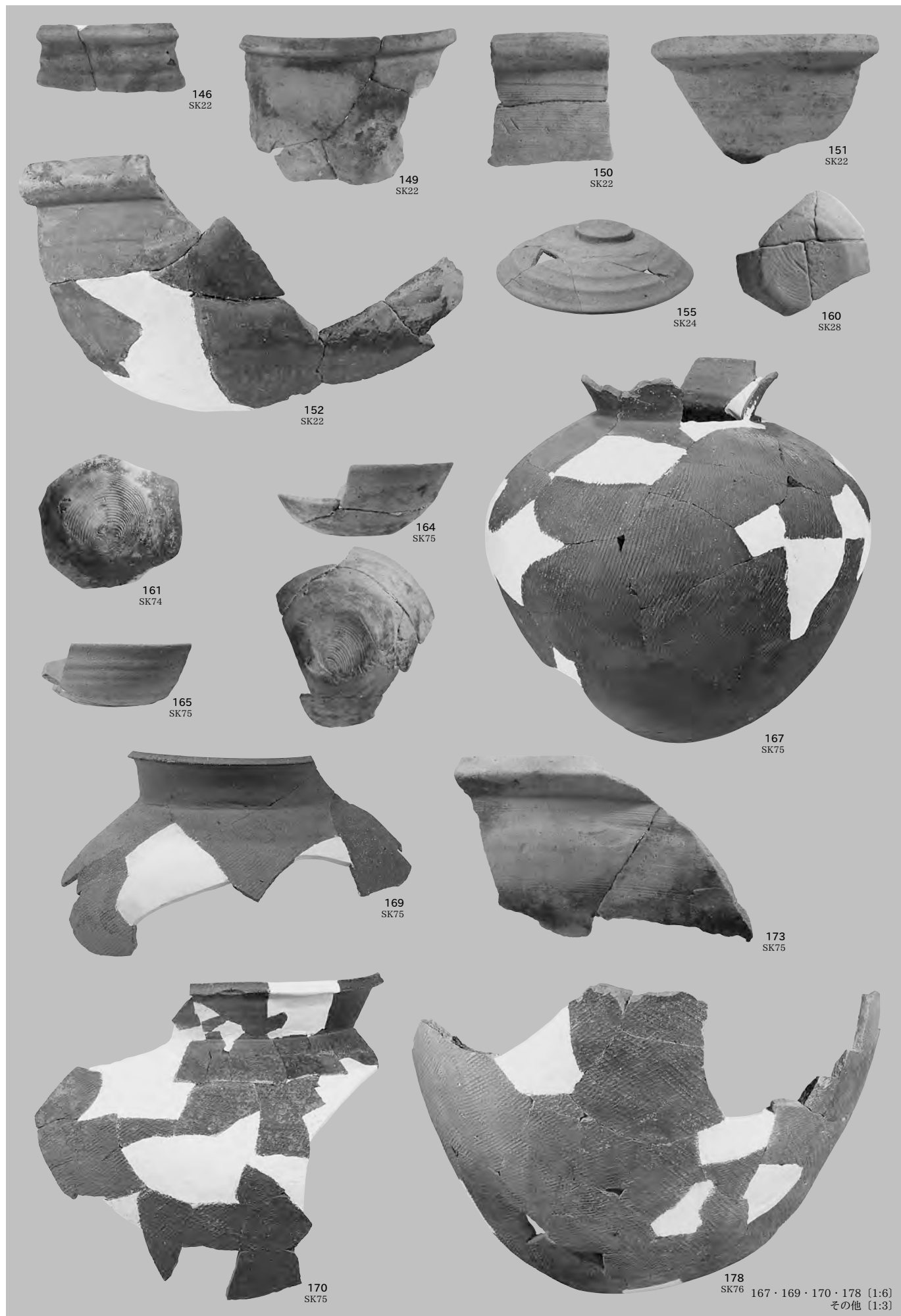








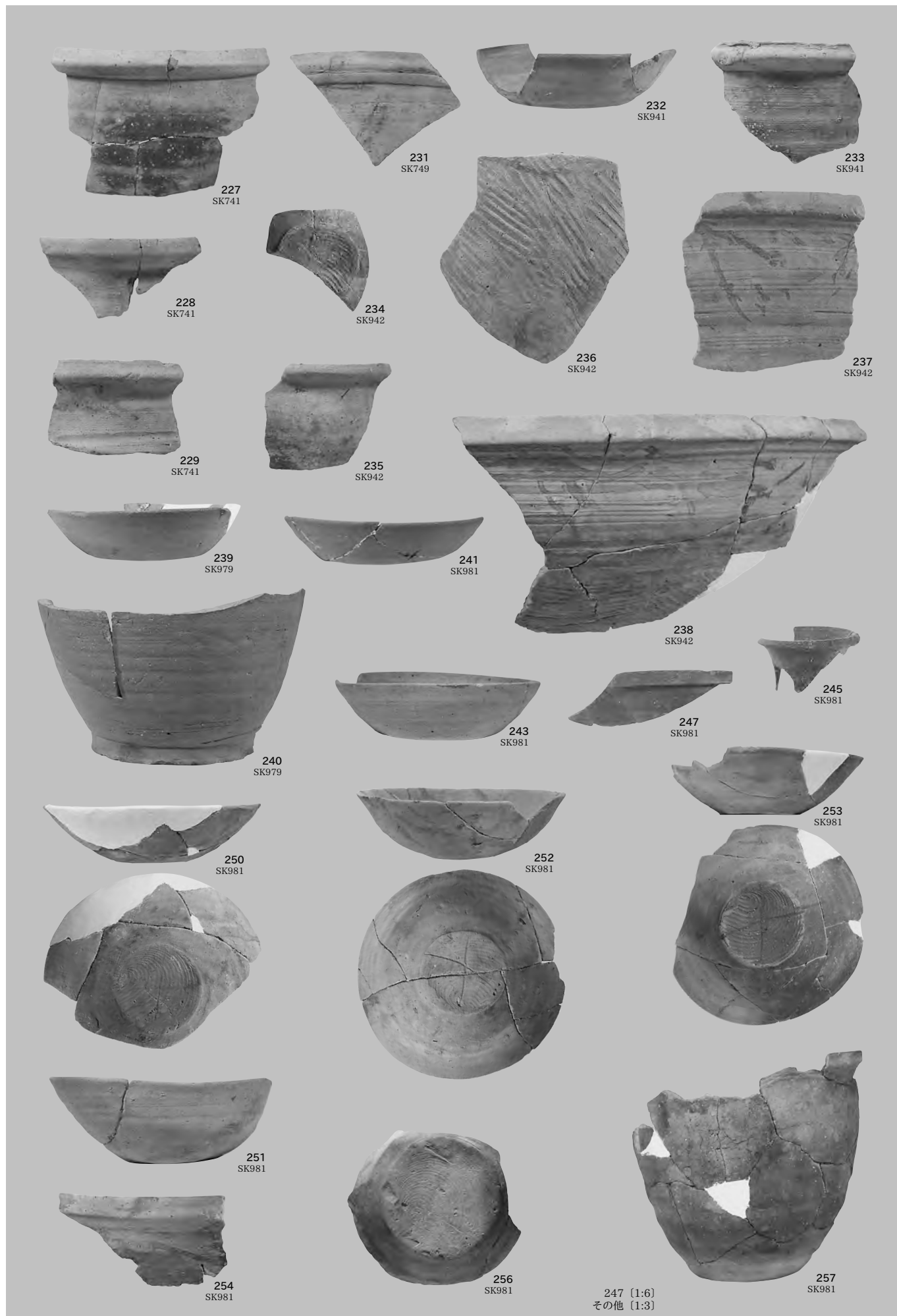








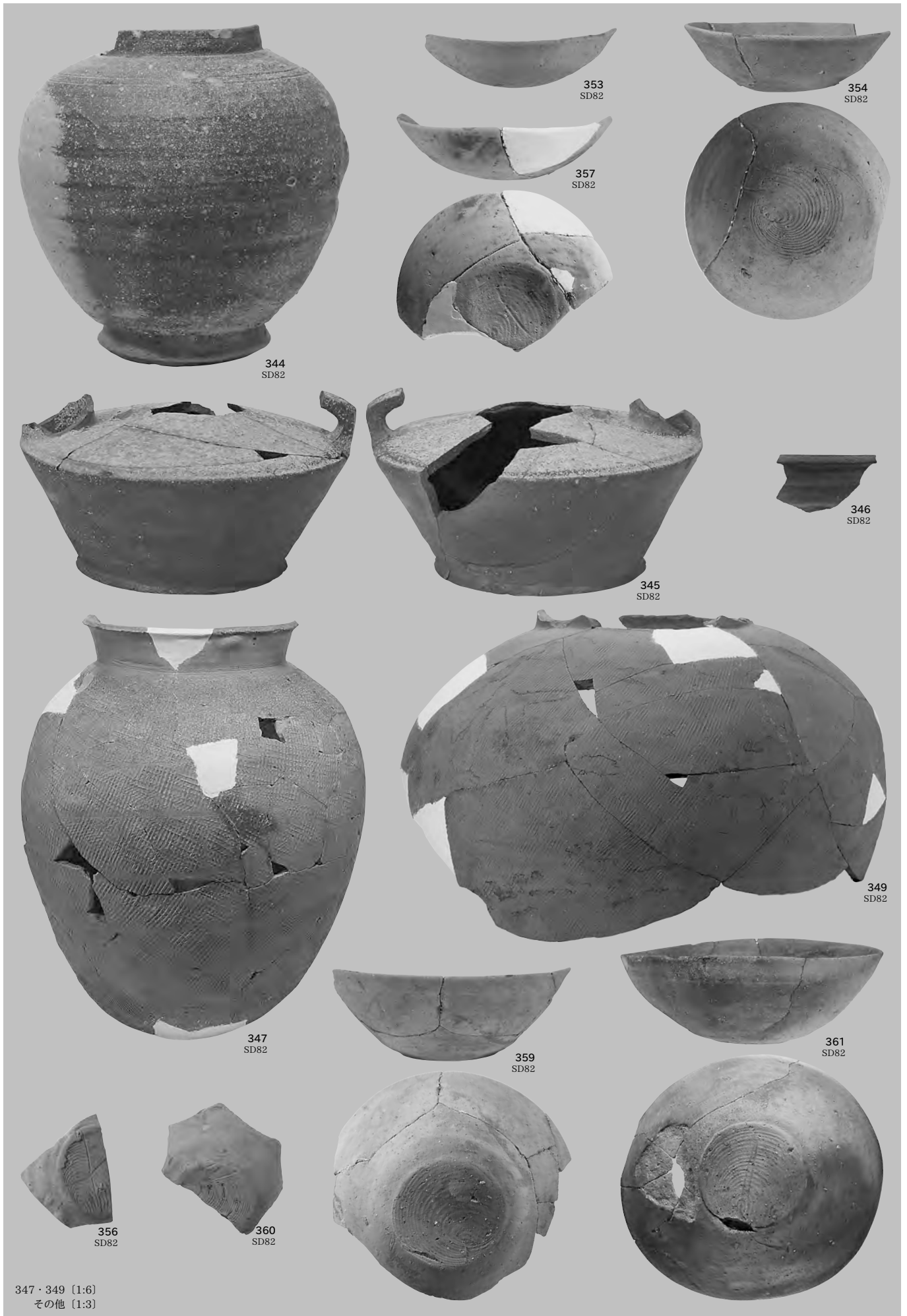
全て 1:3



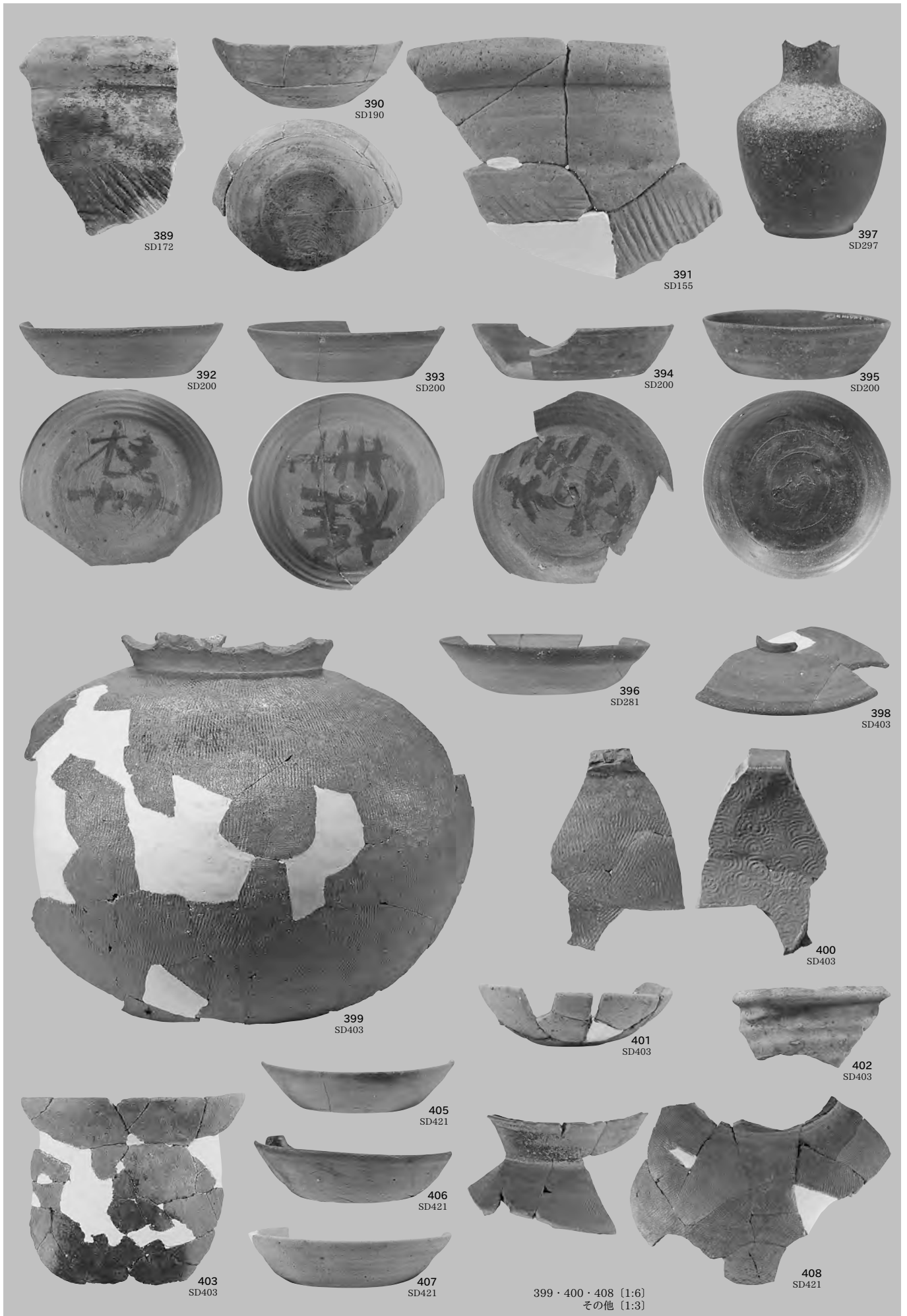












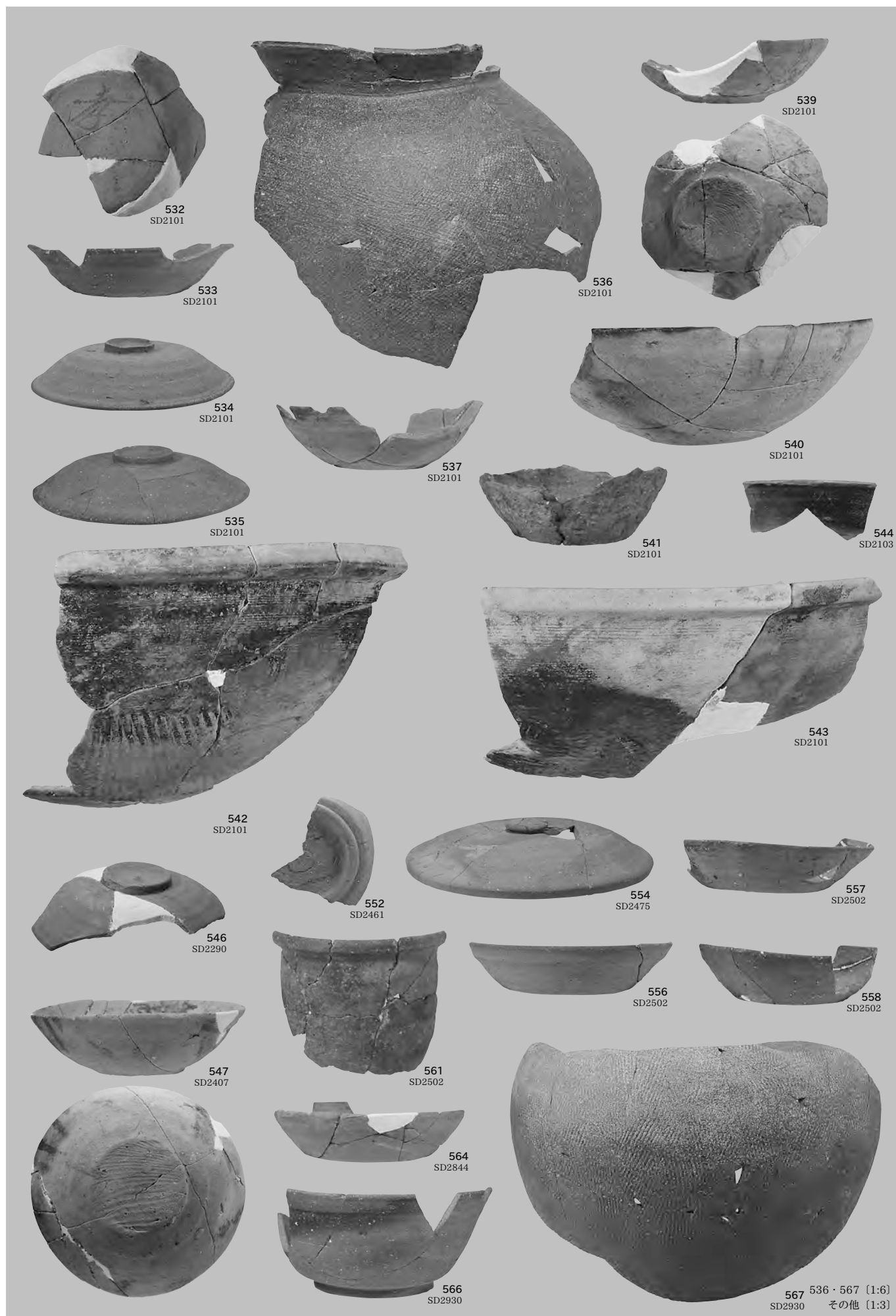




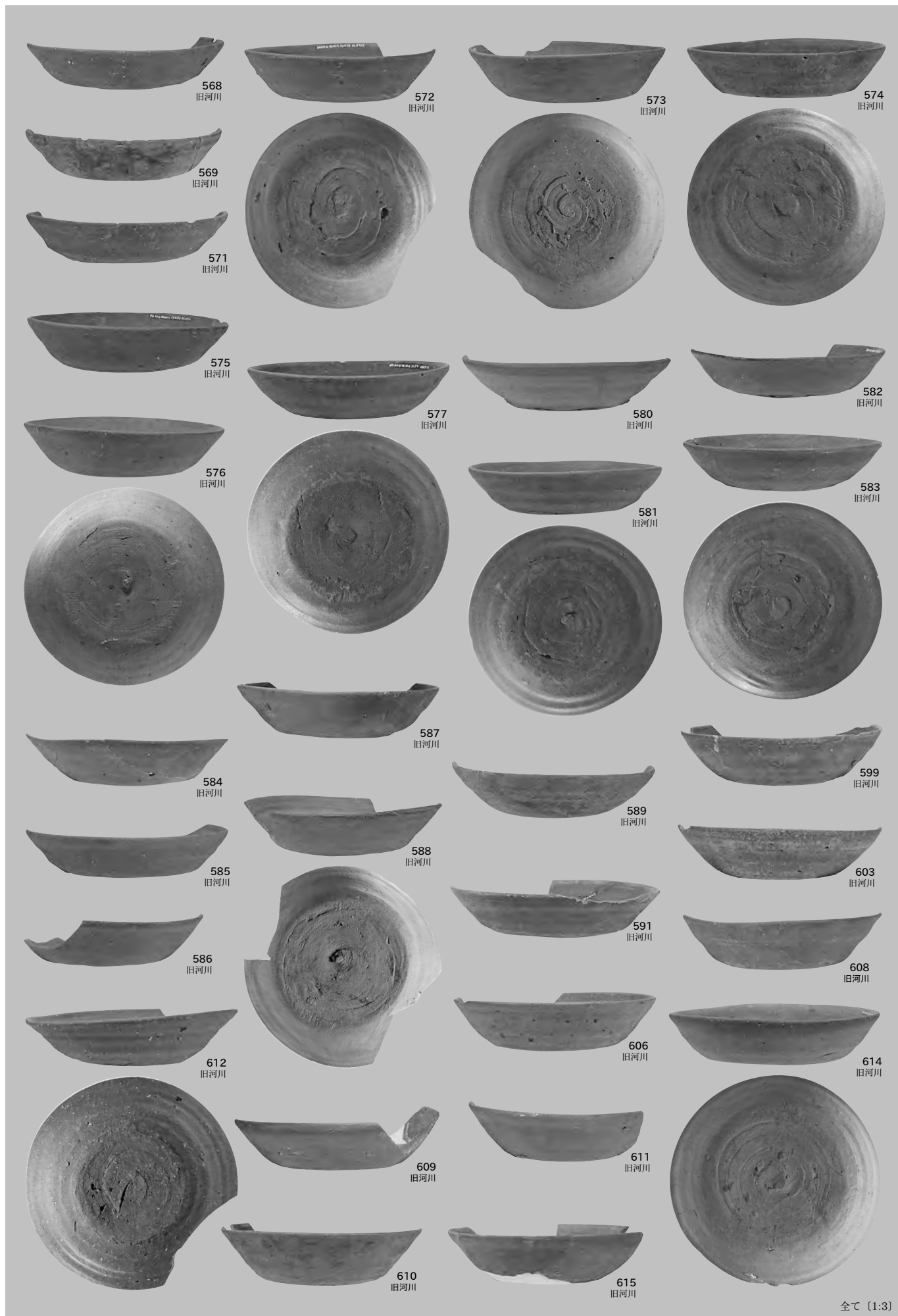




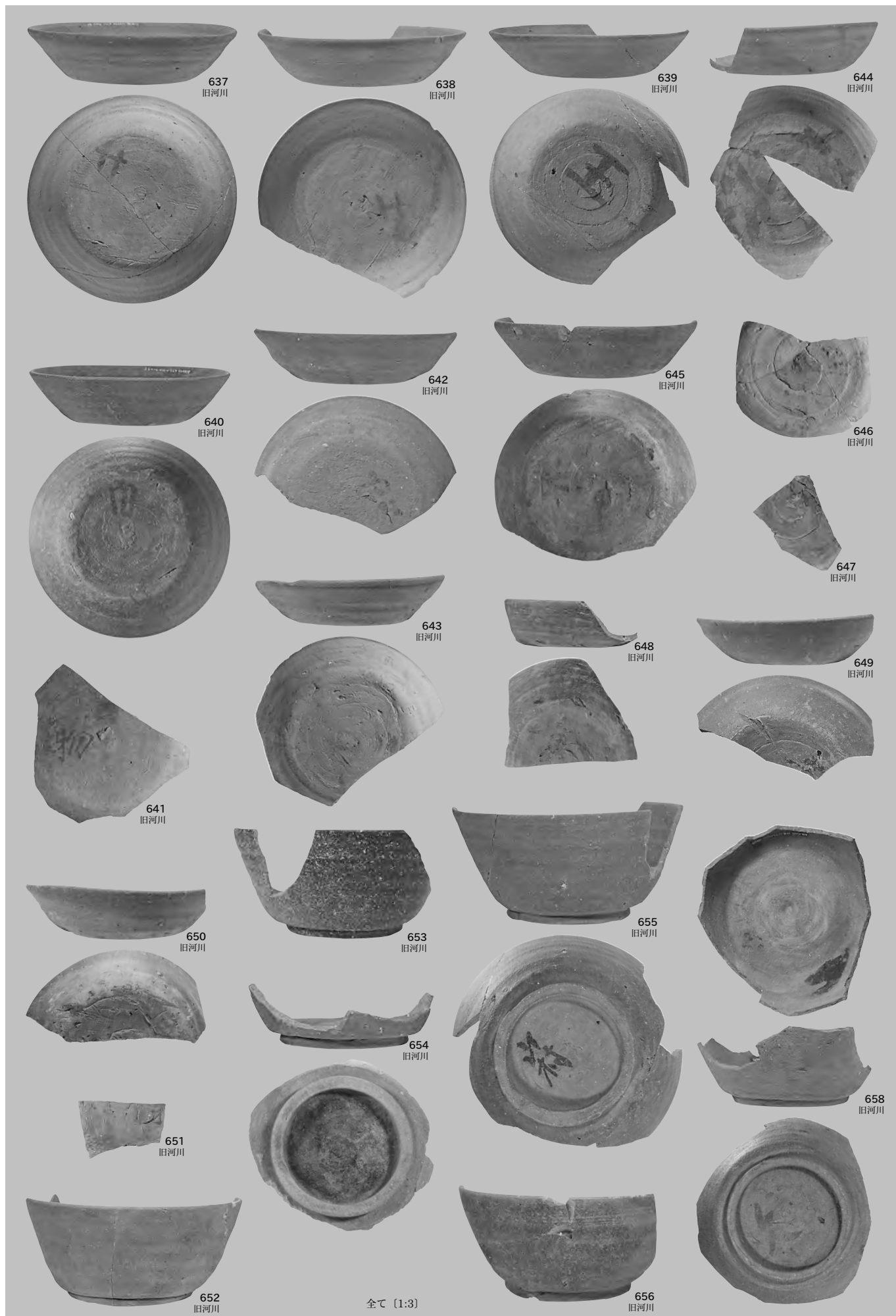








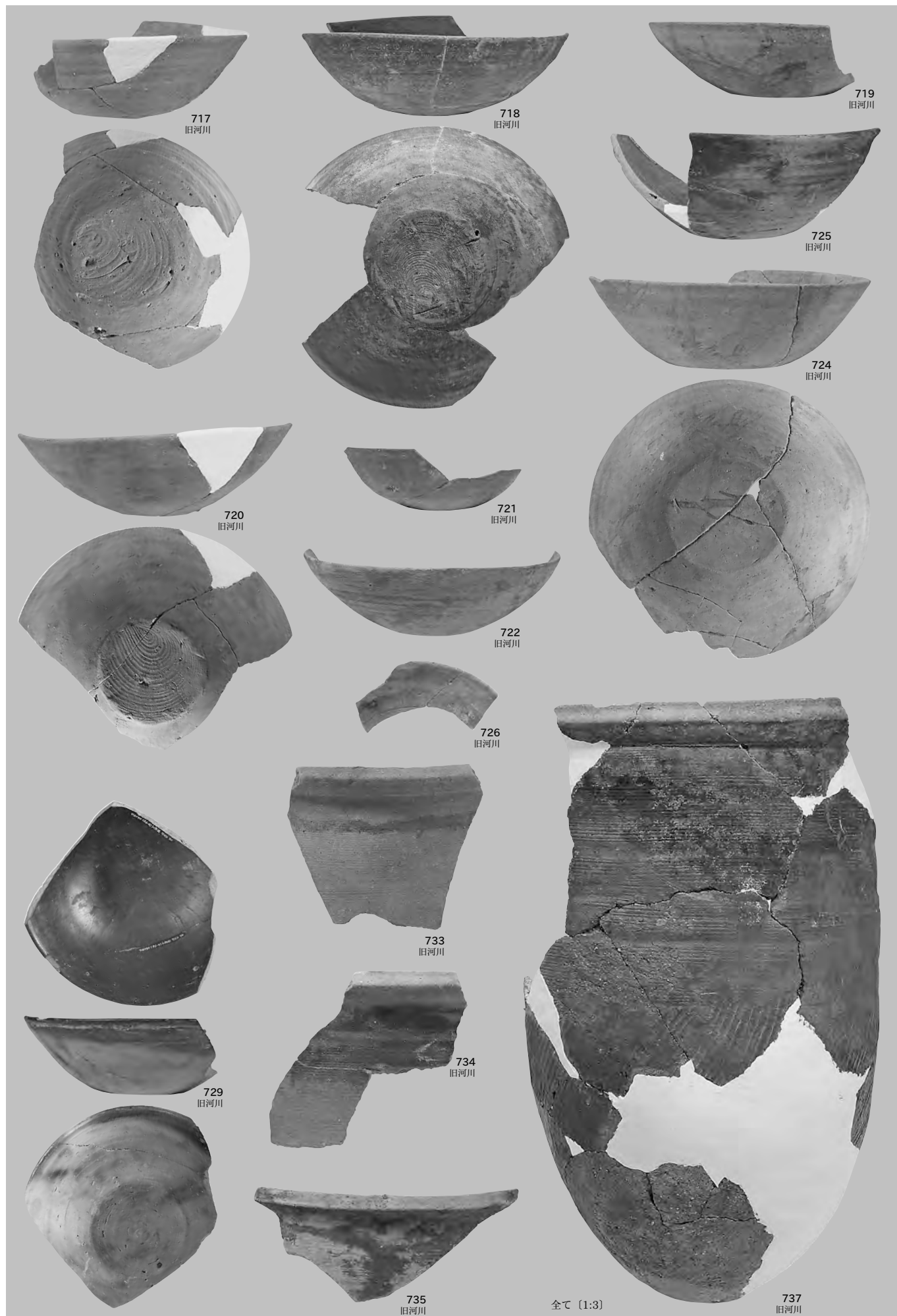












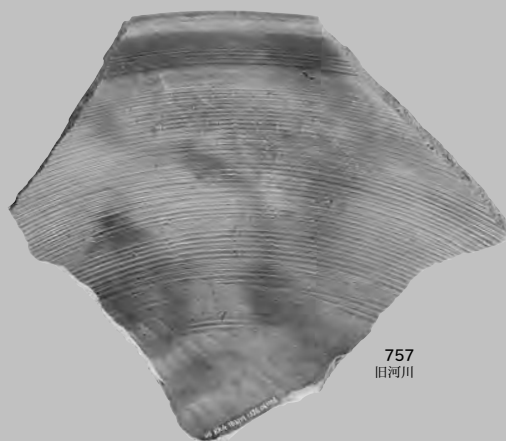
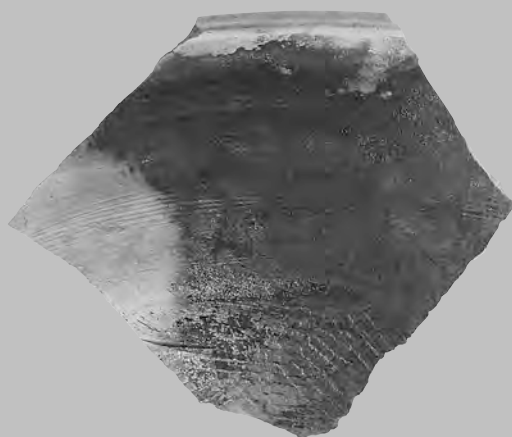




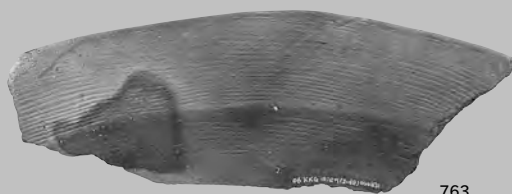
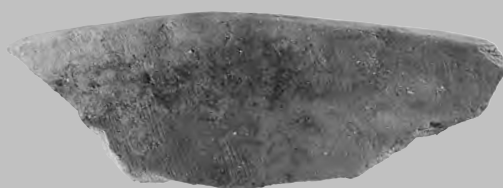
756  
旧河川



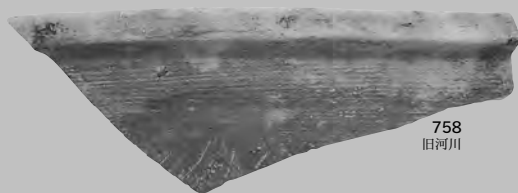
761  
旧河川



757  
旧河川



763  
旧河川



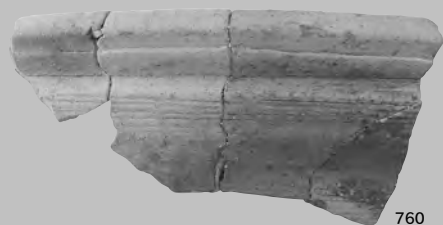
758  
旧河川



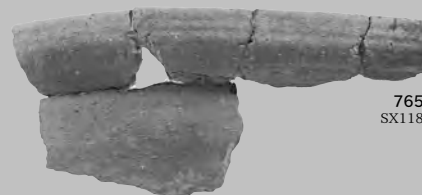
762  
旧河川



759  
旧河川

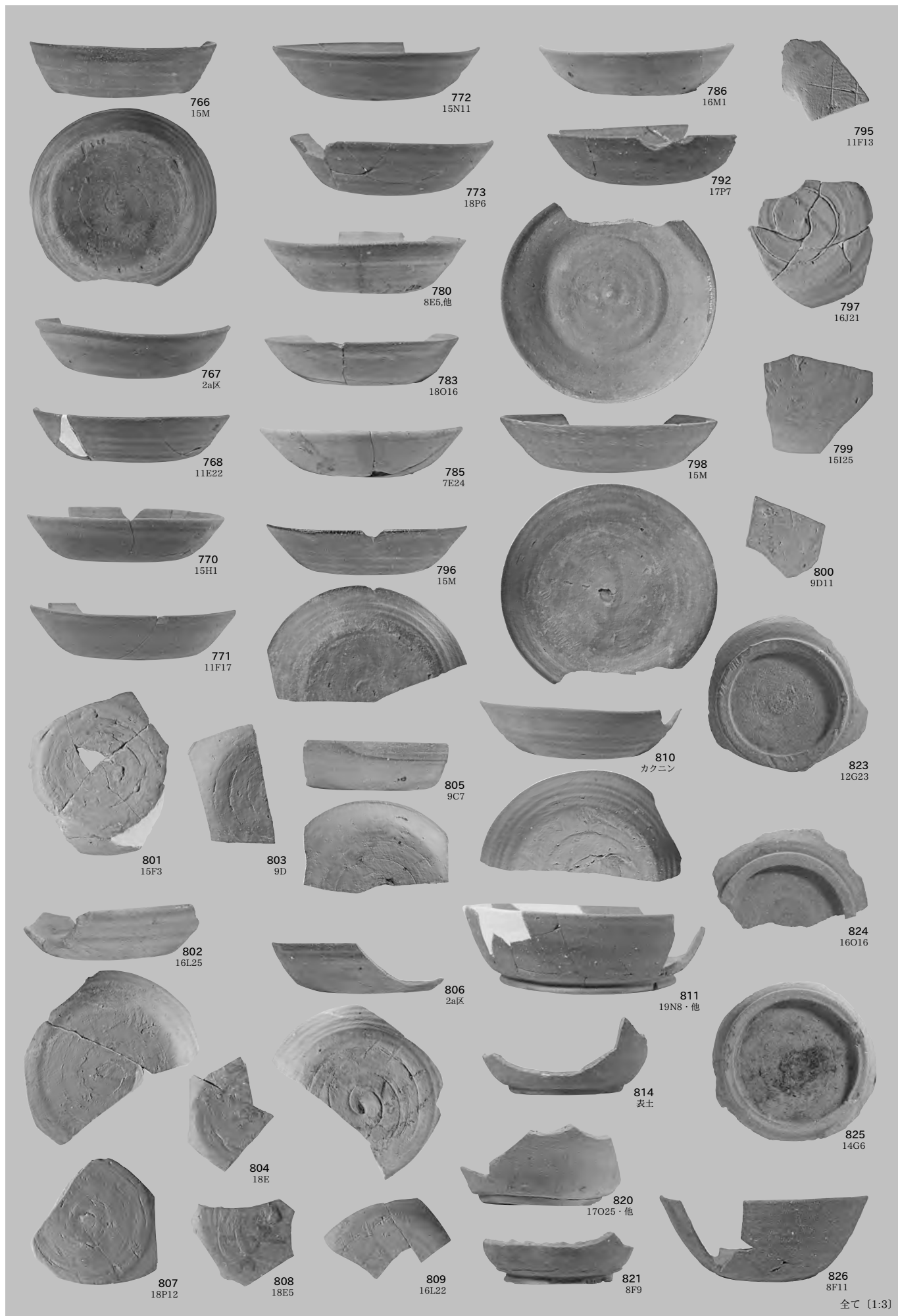


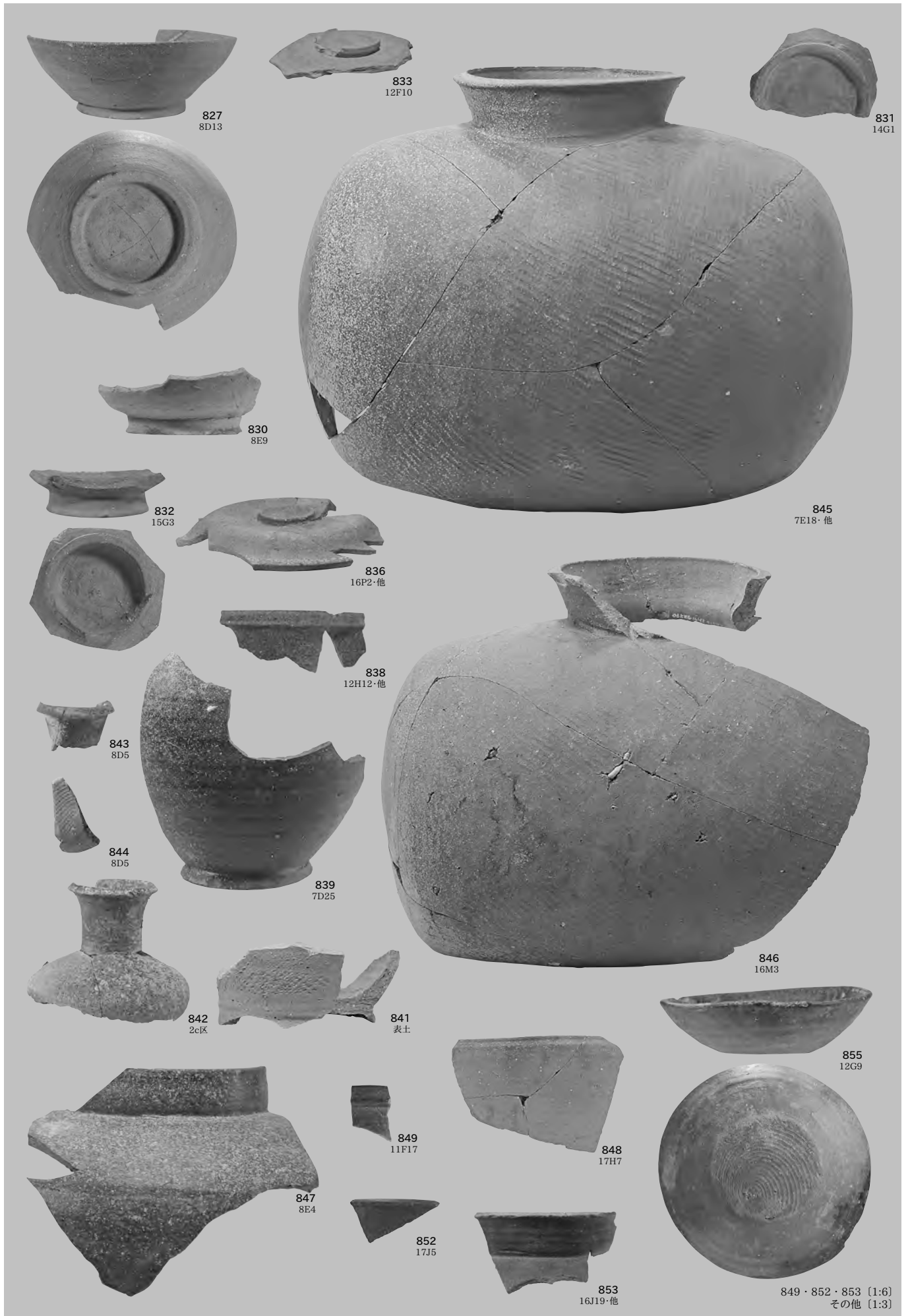
760  
旧河川

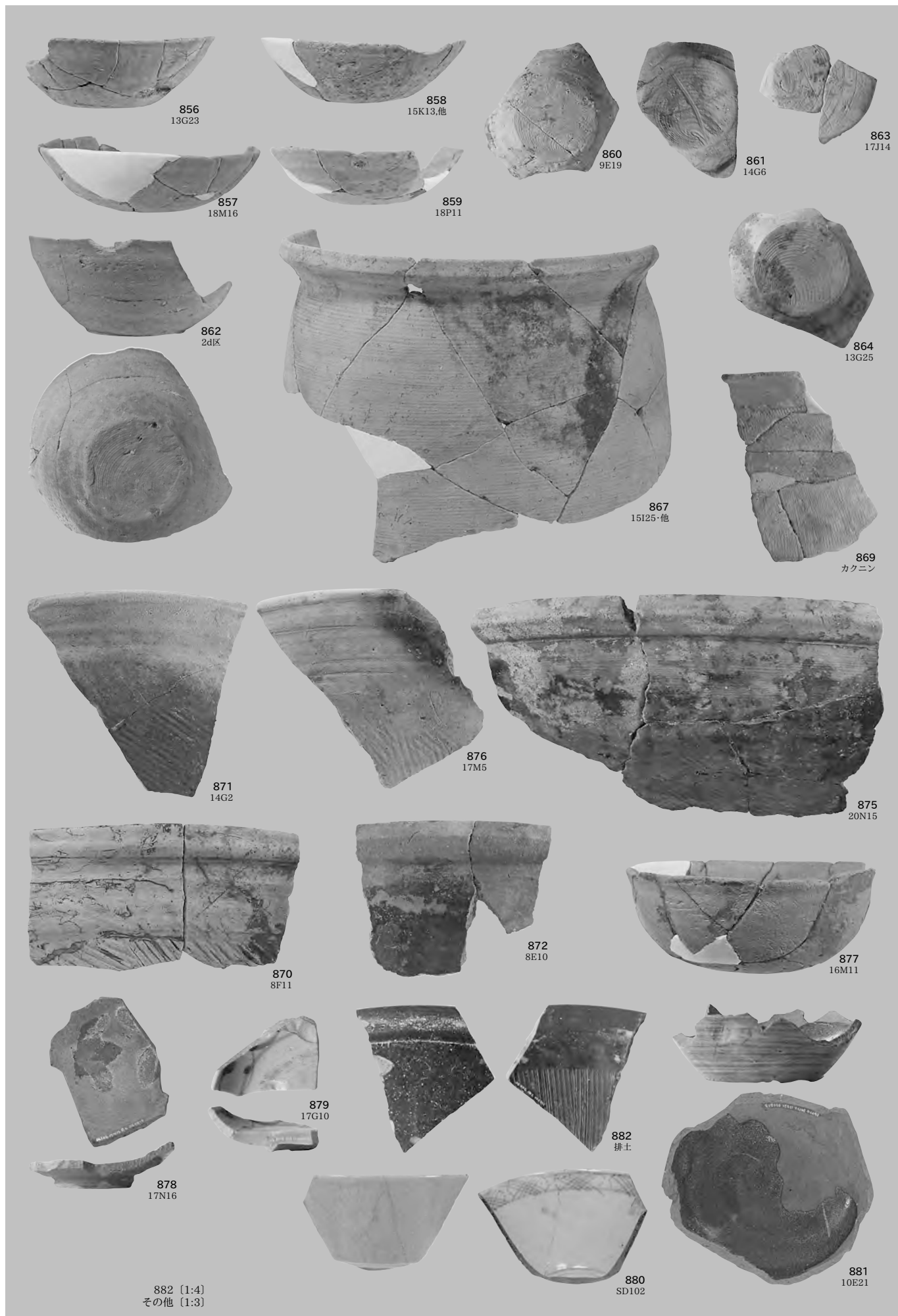


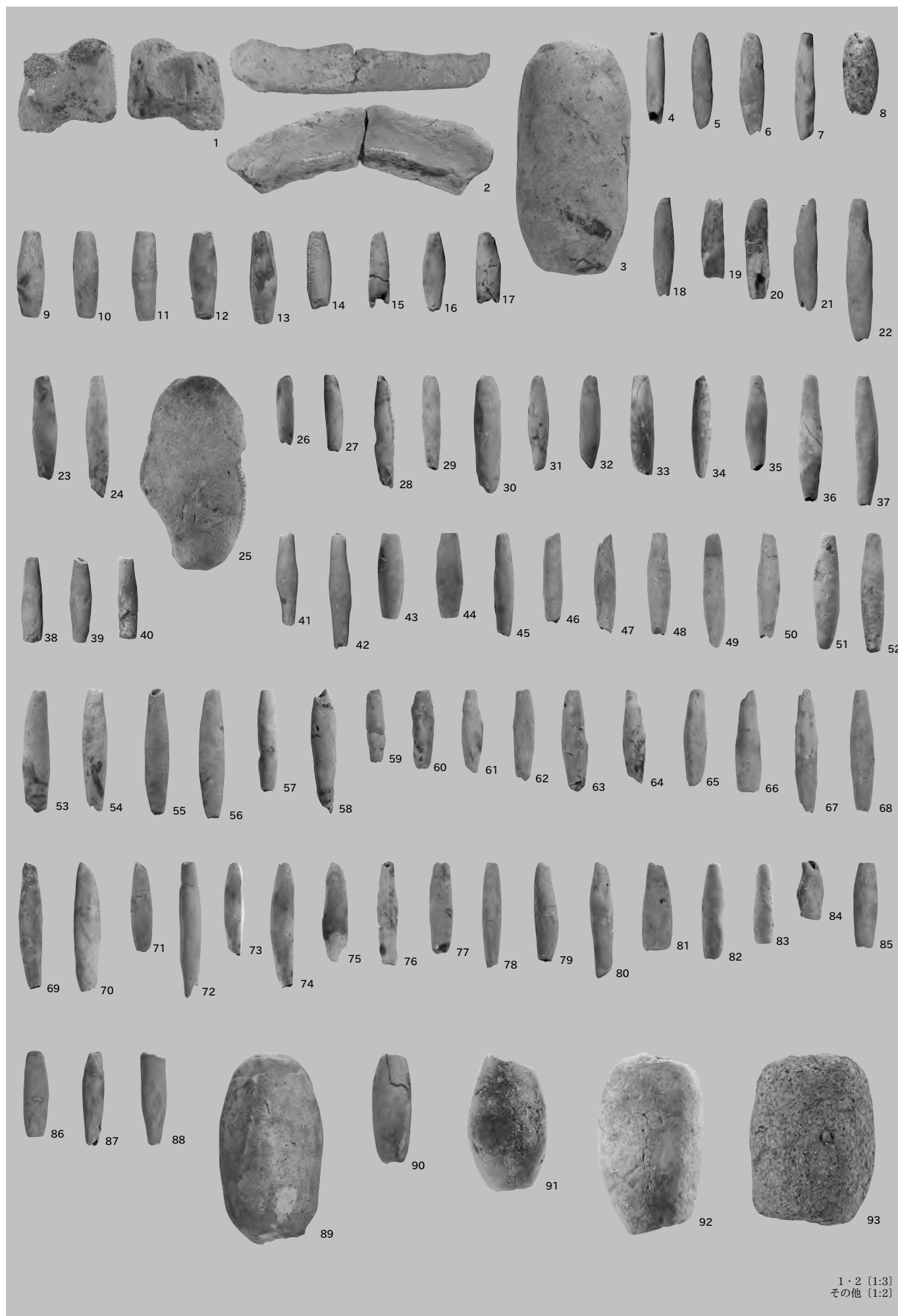
765  
SX118



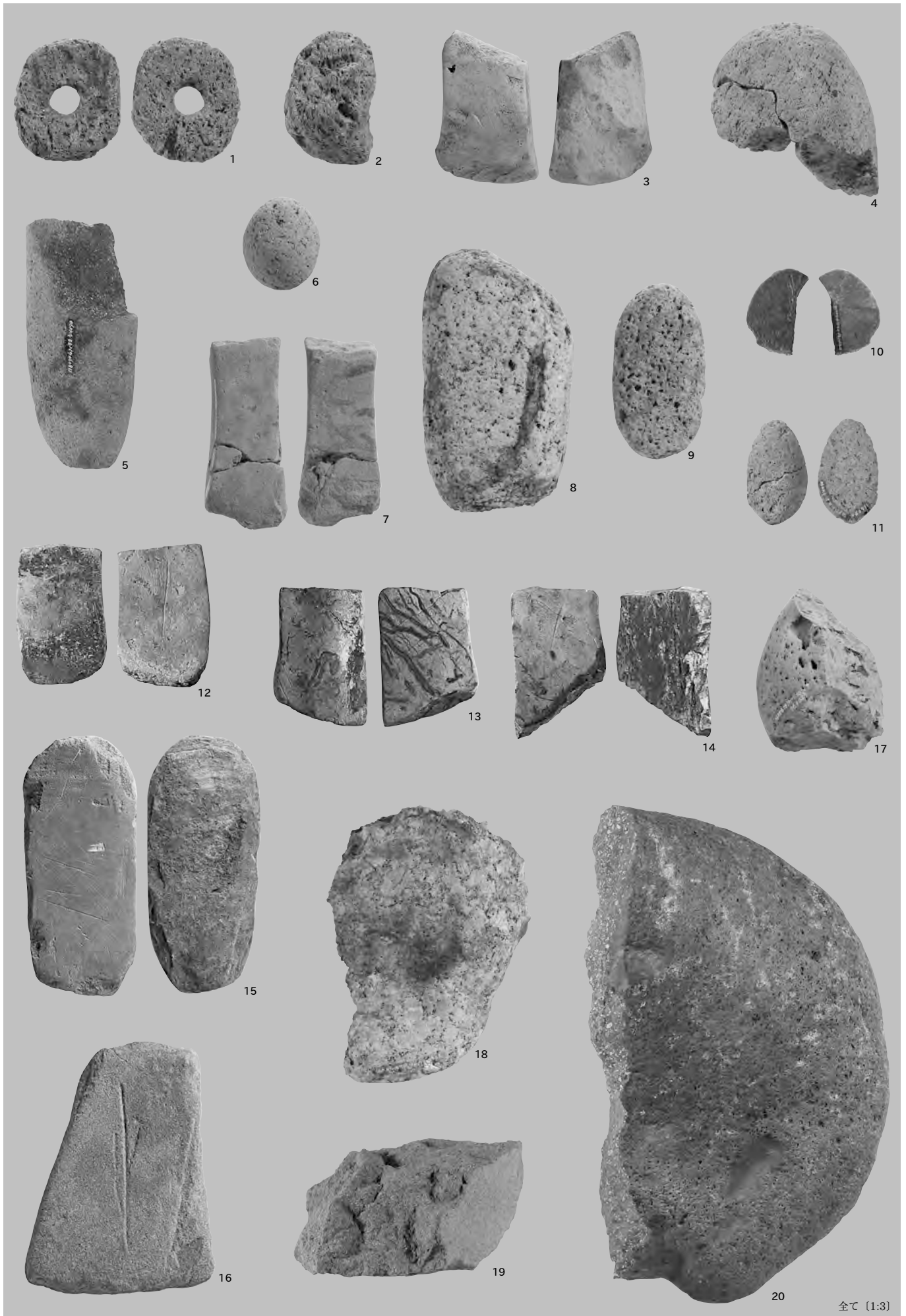


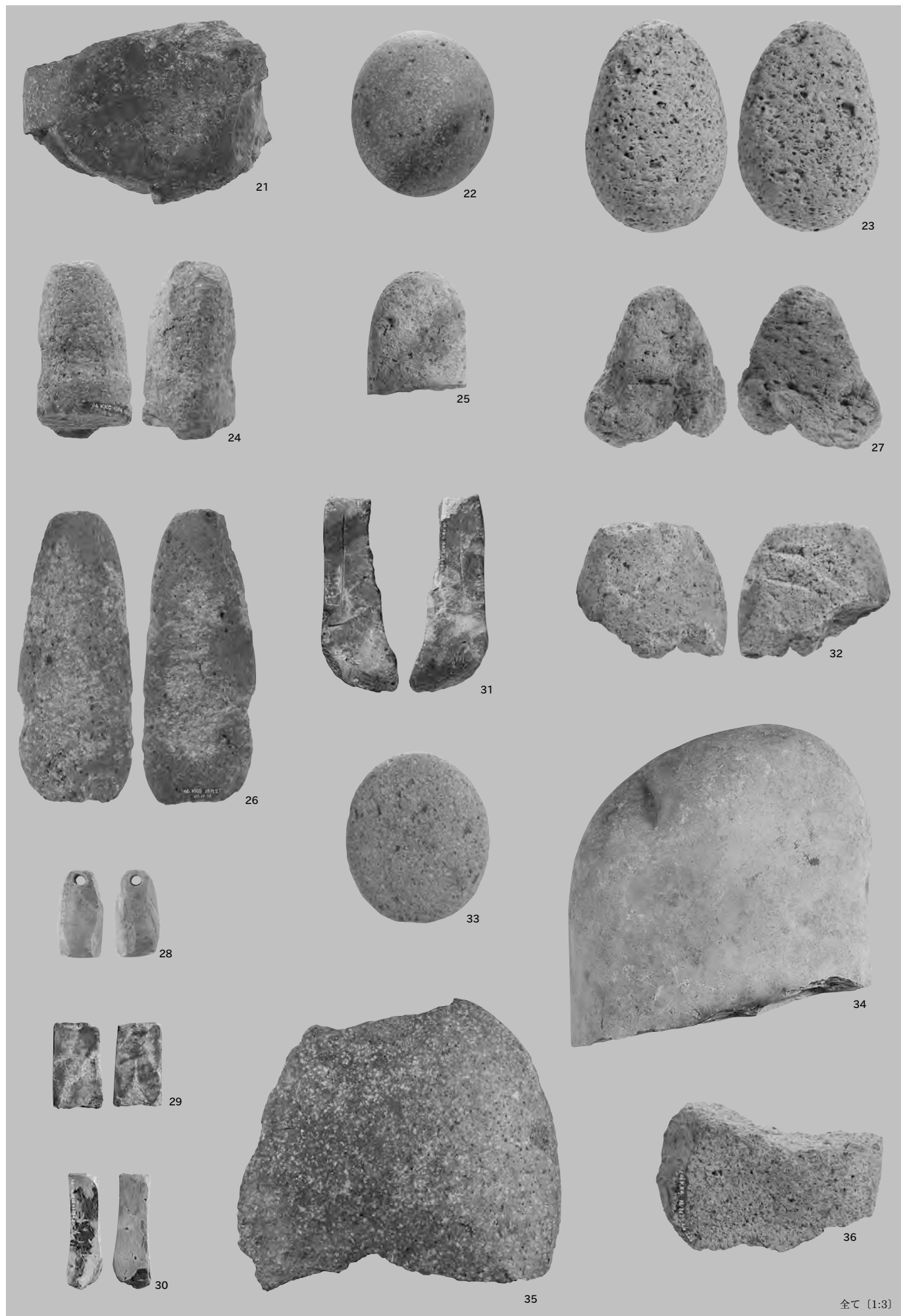


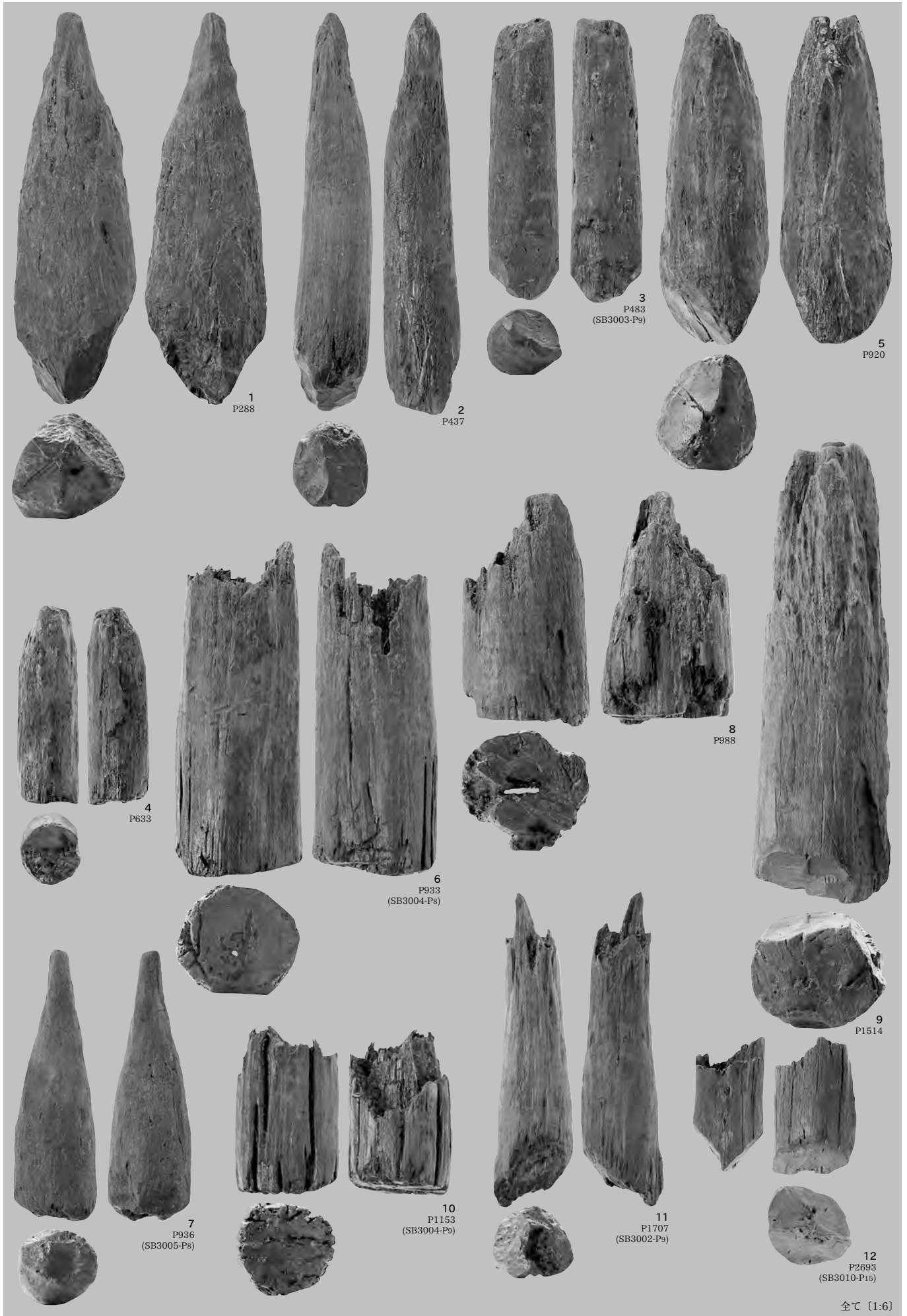


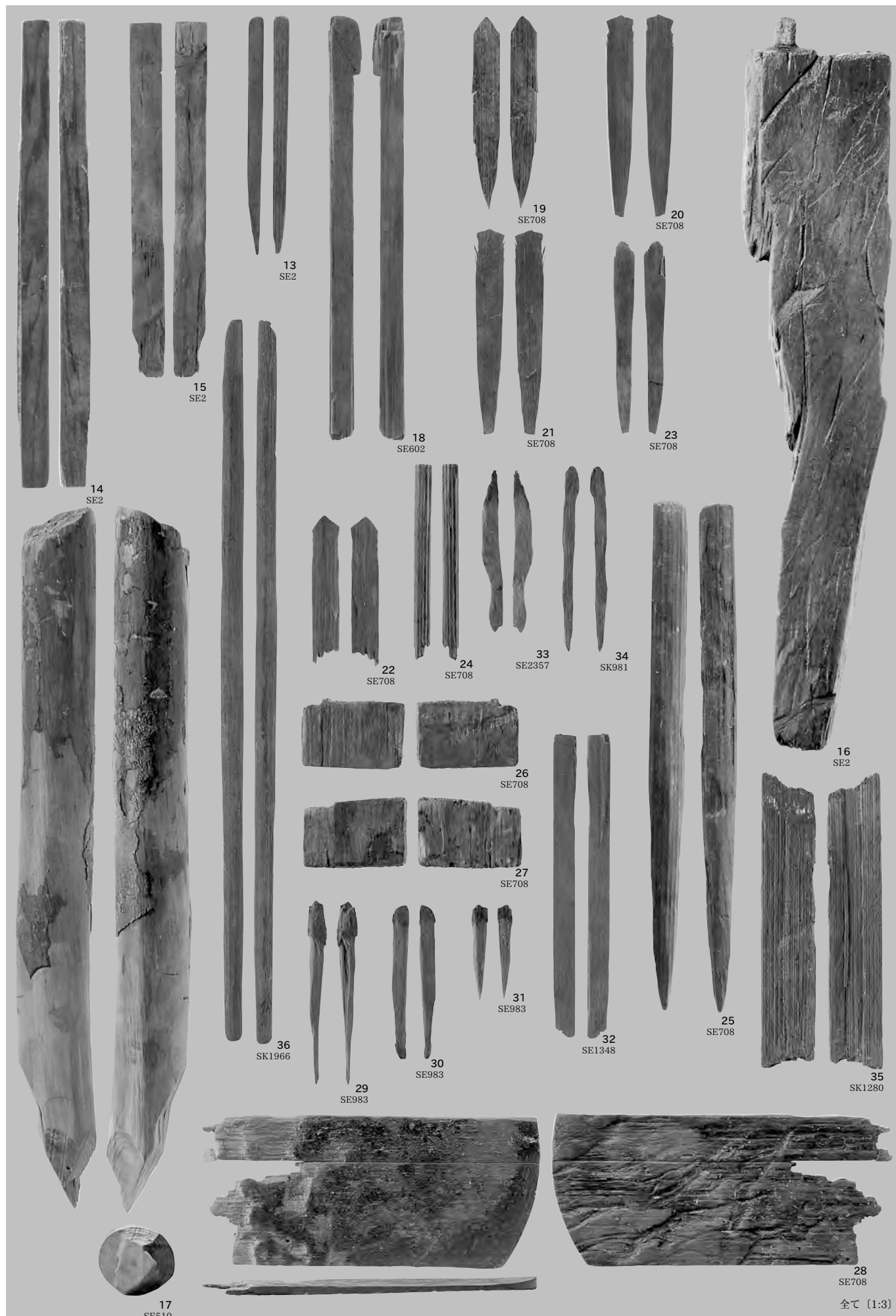






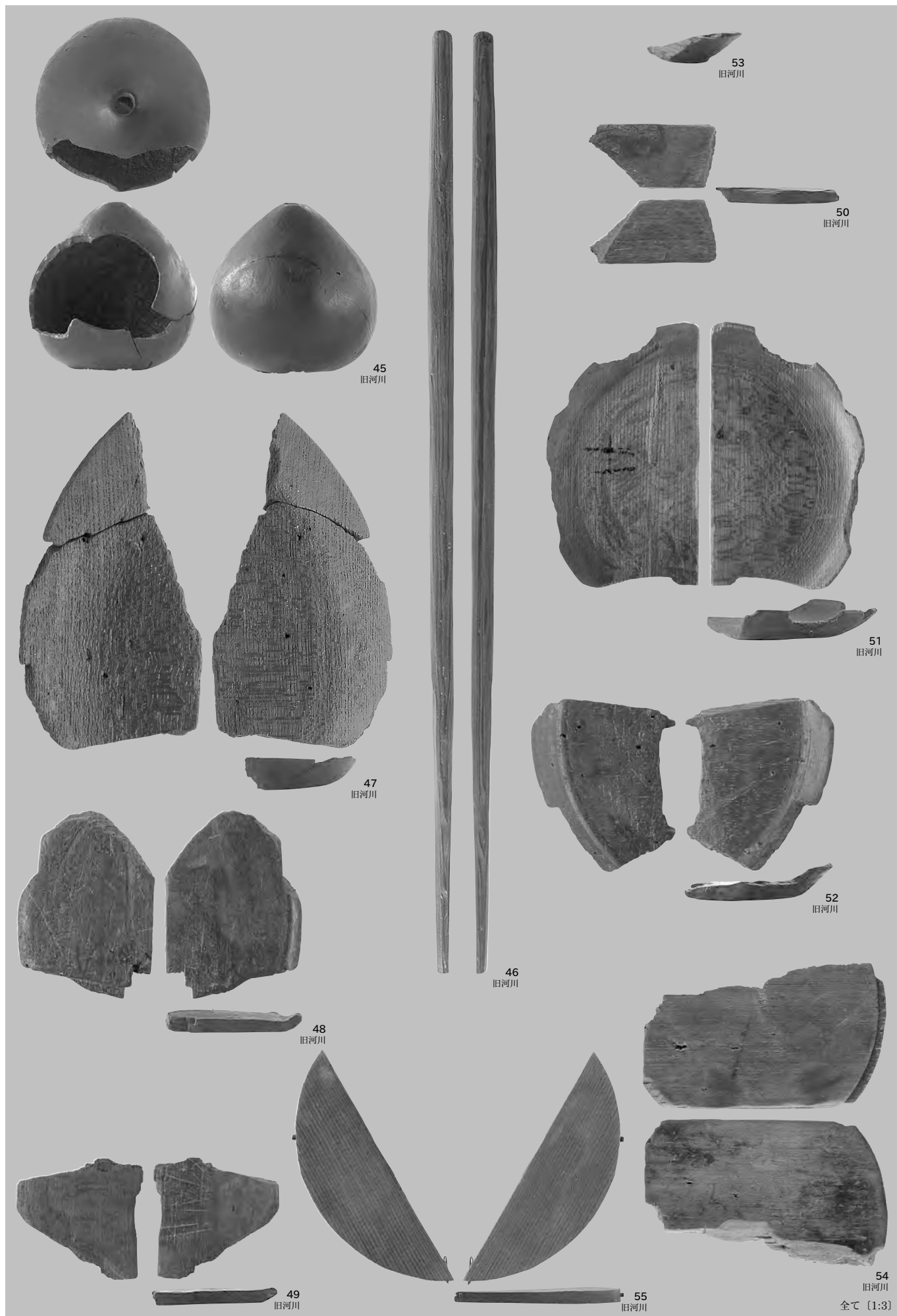


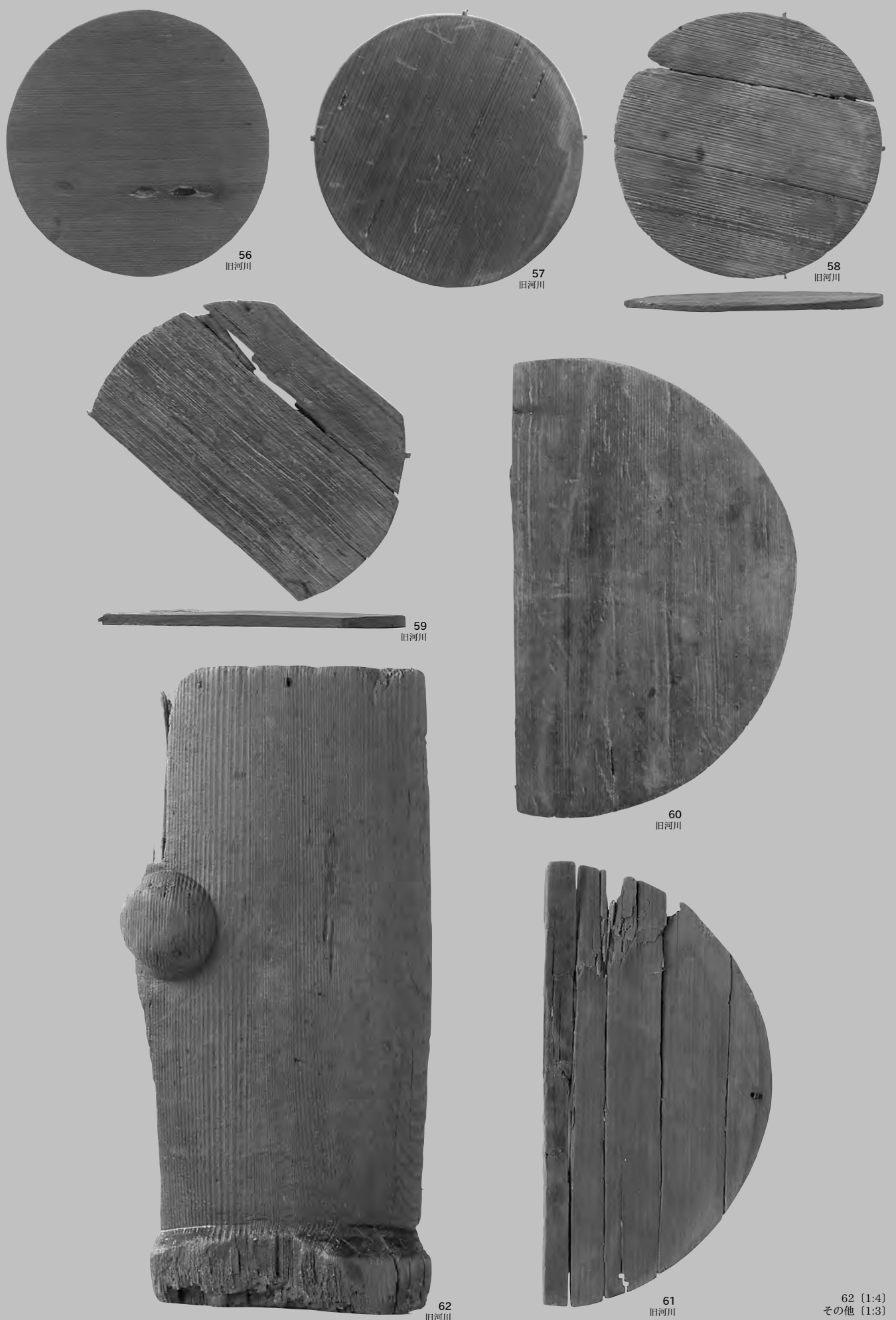


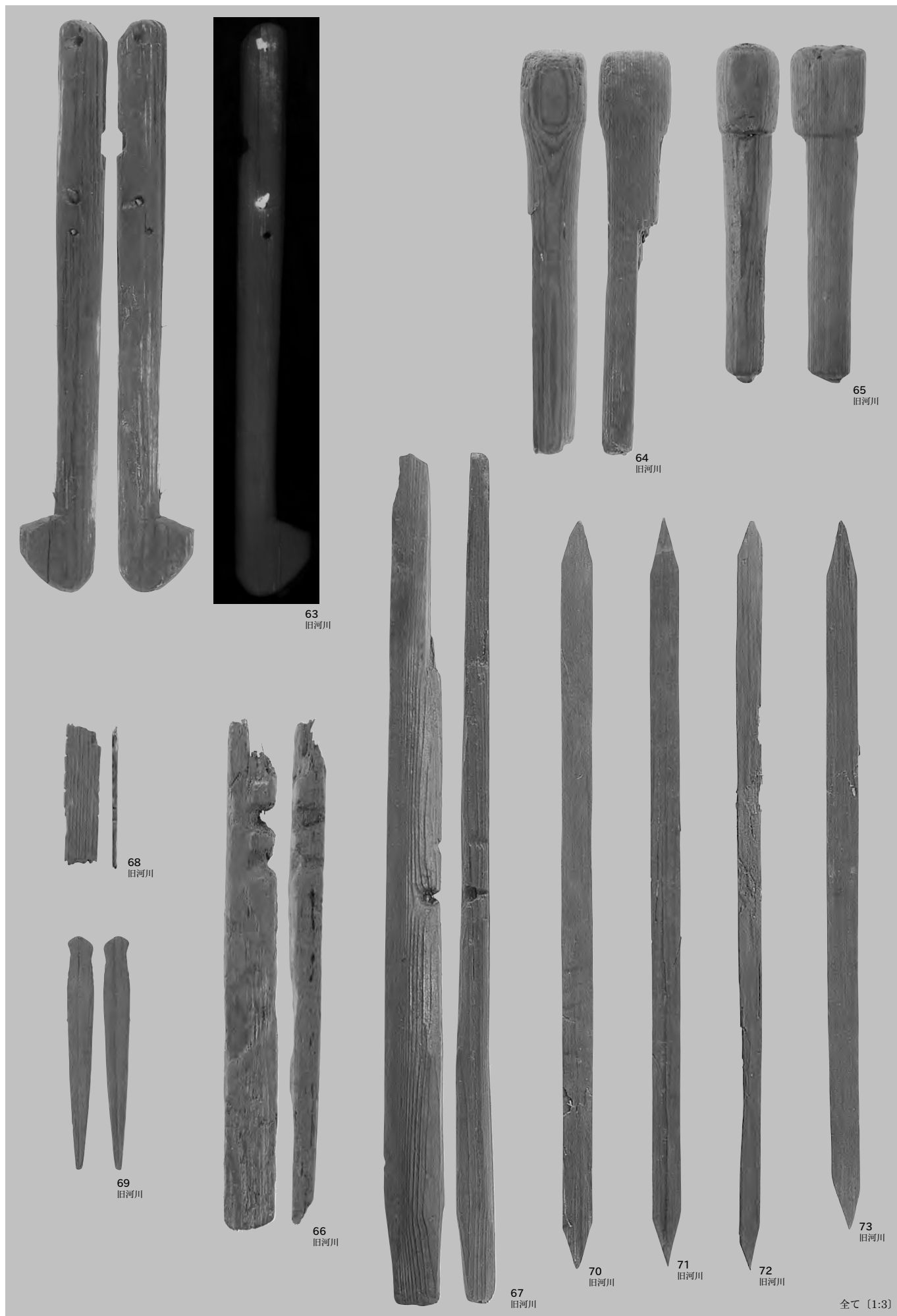




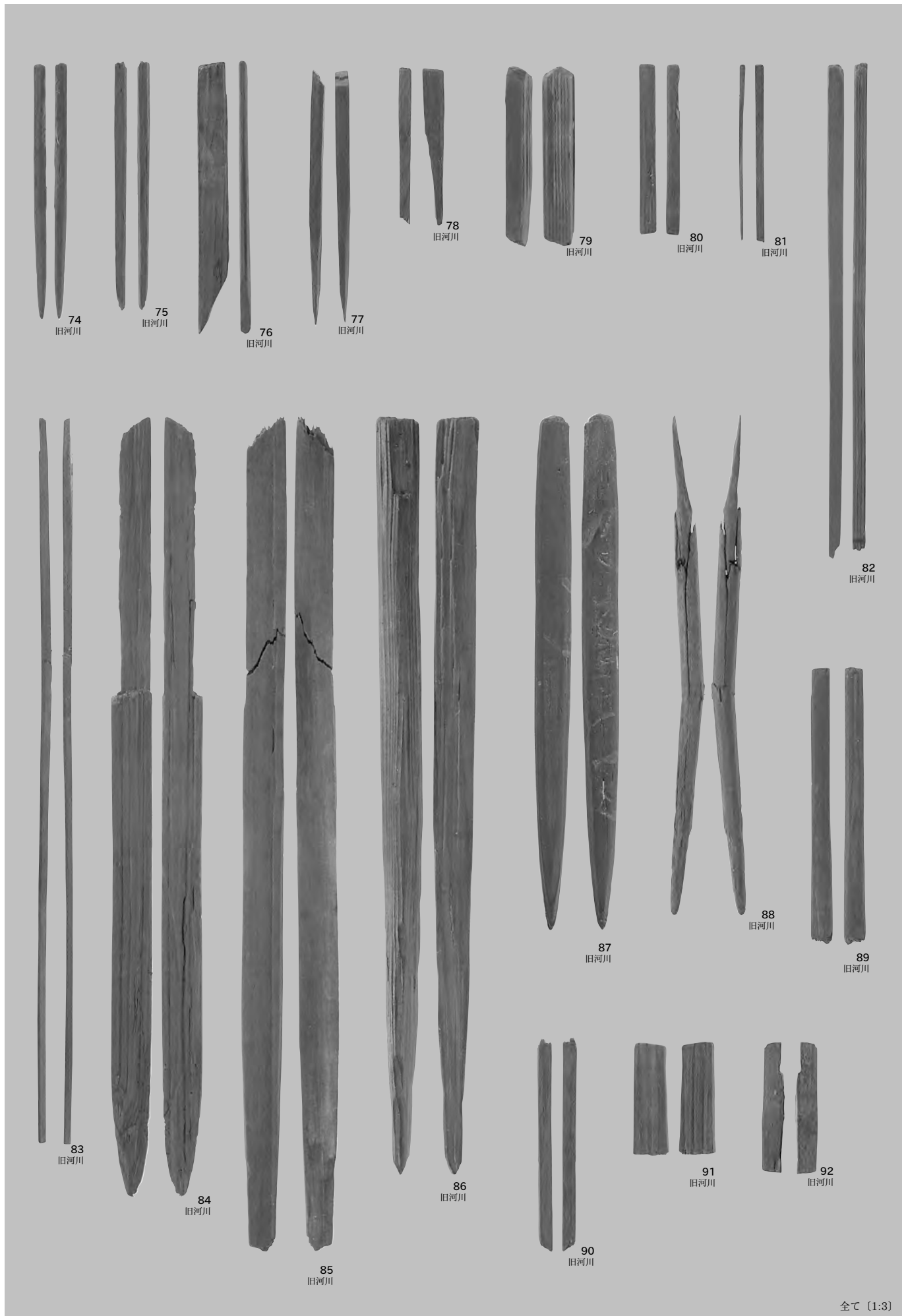


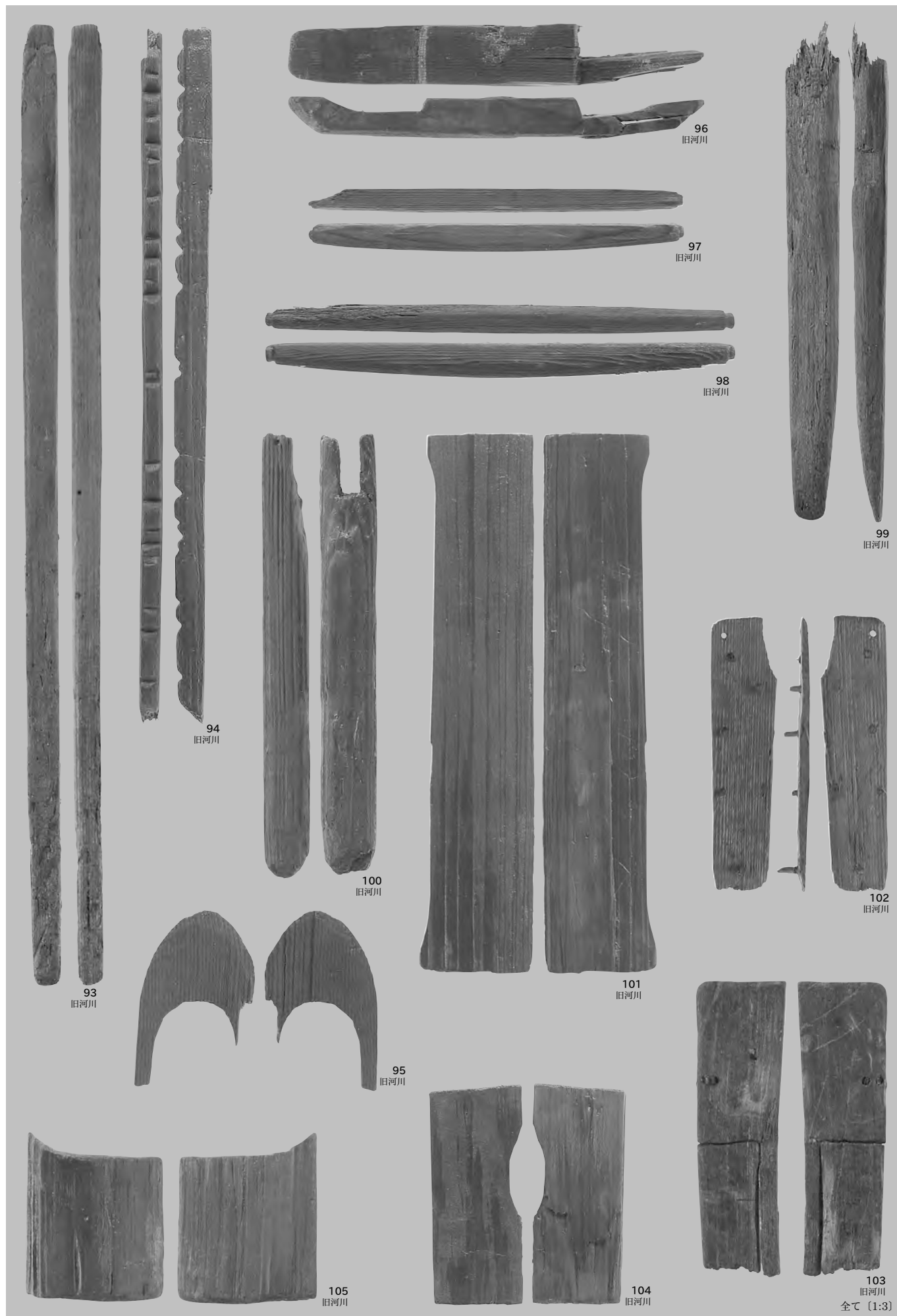










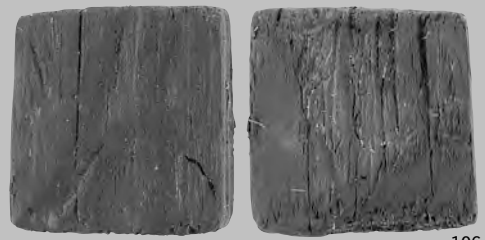




107  
旧河川



108  
旧河川



106  
旧河川



109  
旧河川



110  
旧河川



111  
8E14



112  
8E9



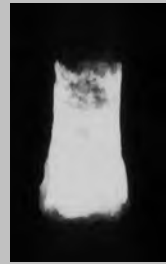
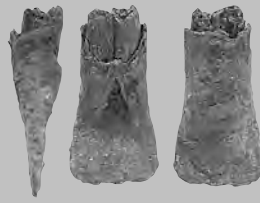
113  
8D9



114  
SE2



115  
SE2



116  
SD421

第3号木簡



119

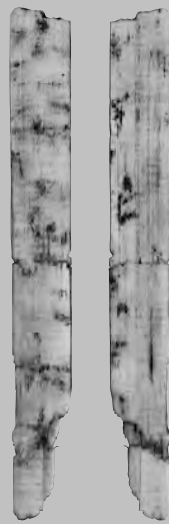
119 [1:4]  
その他 [1:3]

第1号木簡



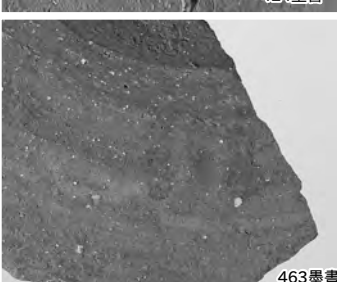
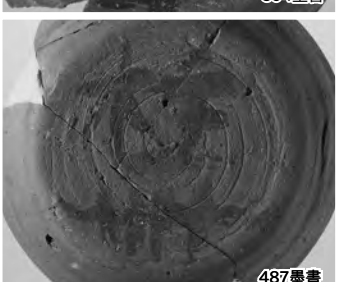
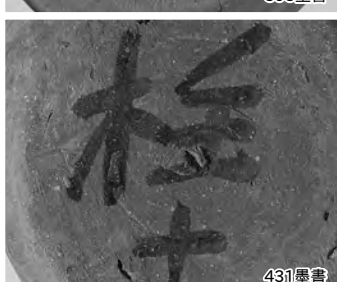
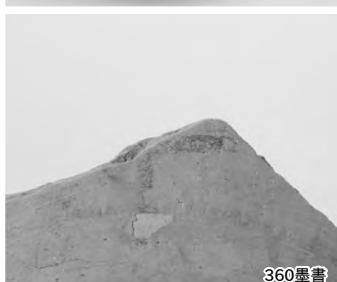
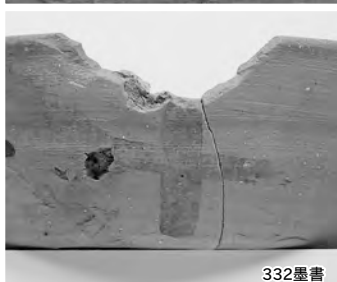
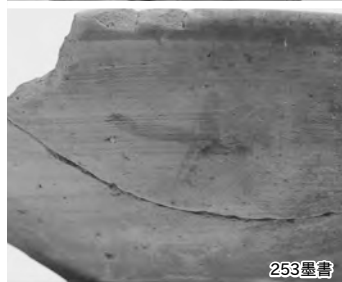
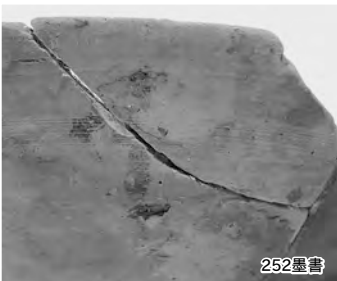
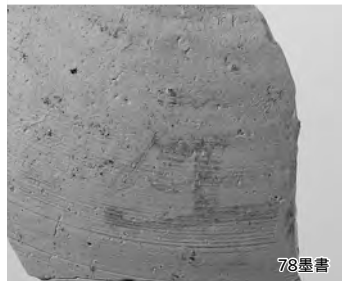
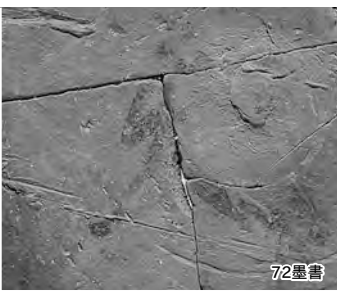
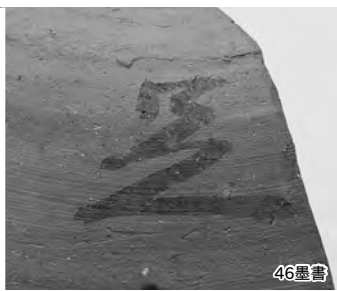
117

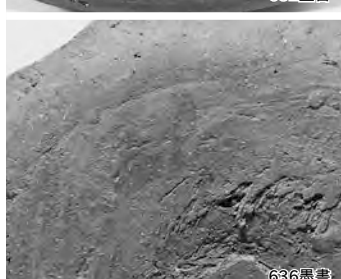
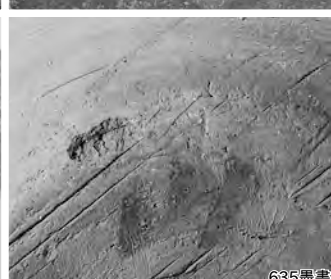
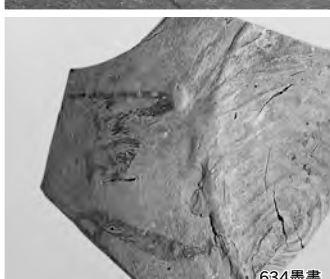
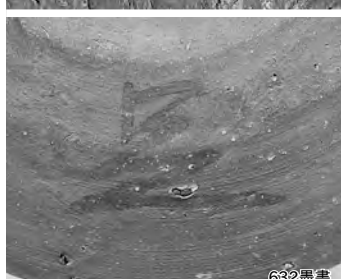
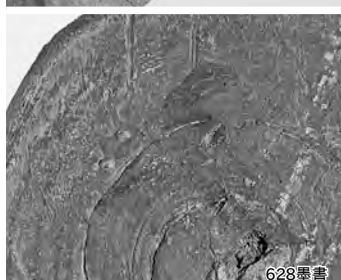
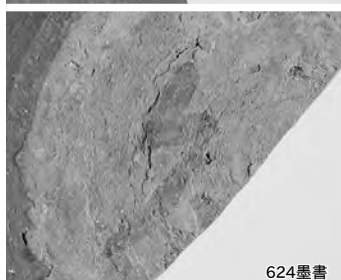
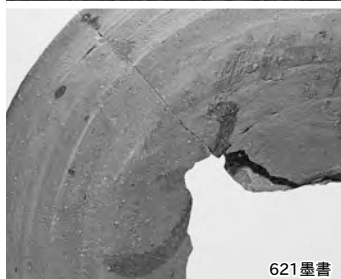
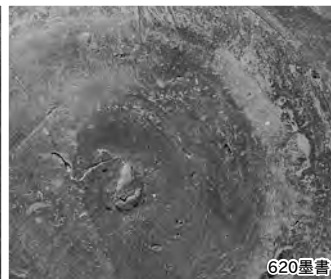
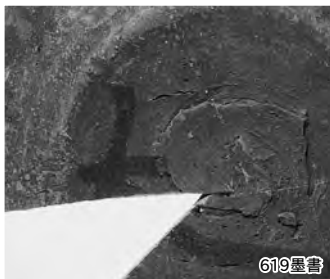
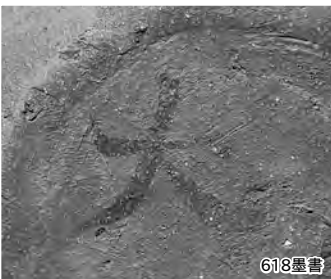
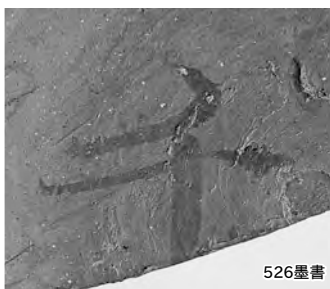
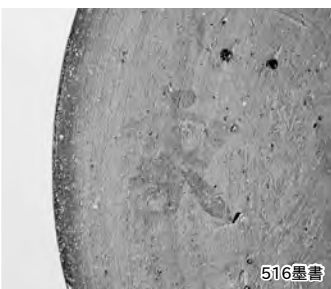
第2号木簡

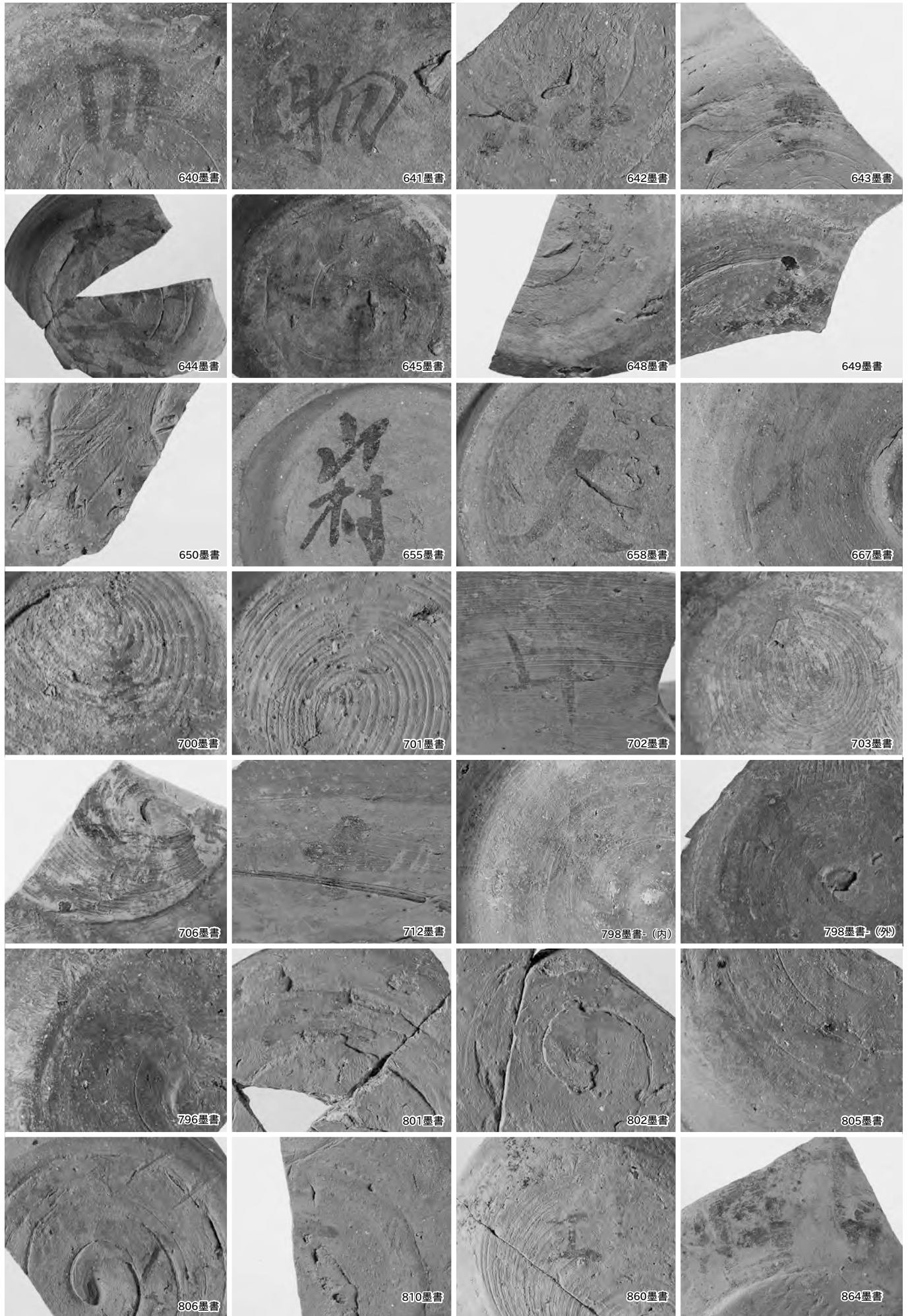


118











# 報告書抄録

ふりがな	こまくびがたいせき だいさん・よじちようさ							
書名	駒首潟遺跡 第3・4次調査							
副書名	大型小売店舗建設に伴う駒首潟遺跡第3・4次発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	新潟市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号								
編著者名	渡邊ますみ・相沢 央・河合英夫・迫 和幸・石川真紀・斎藤武士・前川昭彦							
編集機関	新潟市文化スポーツ部歴史文化課埋蔵文化財センター							
所在地	〒950-3101 新潟県新潟市北区太郎代2554番地 TEL 025-255-2006							
発行年月日	西暦2009年3月13日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
こまくびがたいせき 駒首潟遺跡	新潟県新潟市 江南区亀田 早通字駒首潟 4224番地ほか	151041	723	37° 37' 26"	139° 08' 36"	第3次 20060718～ 20061228 第4次 20070301～ 20070319	11,493.6	大型小売店舗建設 に伴う発掘調査
所収遺跡名	種別	時期		主な遺構		主な遺物		特記事項
駒首潟遺跡	集落遺跡	古代（9世紀）		掘立柱建物・ビット・ 井戸・土坑・溝・不明 遺構・旧河川		須恵器・土師器・黒色土 器・土製品・石製品・鉄製 品・木製品（祭祀具、木筒 等含む）		
要約	<p>駒首潟遺跡は、三方を大河川（信濃川、阿賀野川、小阿賀野川）に囲まれた亀田郷のほぼ中央部に位置し、旧河川がつくりだした現標高-1m前後の沖積微高地（自然堤防）に形成された古代の集落跡（9世紀後半）である。遺跡発見の契機は、平成18年1～2月に新潟市が実施した試掘調査であり、今回の発掘調査によってその面積は約20,000m<sup>2</sup>と推定され、新潟市域屈指の古代集落遺跡と考えられる。延べ7ヶ月にわたる調査によって検出された遺構は、掘立柱建物や井戸、土坑、溝、テラス状遺構、旧河川などがあり、集落の中心を構成する掘立柱建物は24棟を数えるまでになった。集落は、主屋・副屋・雑舎などの居住施設の他に、郡衙の正倉に近似した倉や四面廂付の仏堂、船着場など特徴的な施設を伴っていたと考えられる。出土遺物には、須恵器・土師器を主体とする多量の食膳具や煮炊具、貯蔵具があり、墨書土器や祭祀具などもまとめて出土した。また、9世紀後半に実在した「大納言阿部太夫殿」と記された木筒などの貴重な文字資料も含まれる。遺構の新旧関係からは、9世紀前半に成立した集落の発展から9世紀末の衰退、そして生産地に推移してゆく土地利用の変遷をたどることができる。検出された遺構の規模・様相・出土遺物から、9世紀以降に台頭する、いわゆる富豪層によって形成された集落と目され、変質する律令制下の蒲原郡亀田郷における在地社会の実態に迫る内容と評価される。</p>							



## 駒首潟遺跡 第3・4次調査

大型小売店舗建設に伴う駒首潟遺跡第3・4次発掘調査報告書

2009年 3月12日印刷  
2009年 3月13日発行

編 集 新潟市埋蔵文化財センター  
〒950-3101 新潟県新潟市北区太郎代2554番地  
TEL 025 (255) 2006

発 行 新潟市教育委員会  
〒951-8550 新潟県新潟市中央区学校町通一番町602番地1  
TEL 025 (228) 1000

印刷・製本 株式会社 第一印刷所  
〒950-8724 新潟県新潟市中央区和合町2丁目4番18号  
TEL 025 (285) 7161